### 不登校 50年 証言プロジェクト

半世紀にわたる「問題」を、いま問い直す。

全国不登校新聞社

# 不登校50年証言プロジェクト

#### 走上

民運動が立ち現れてもきました。いったい「不登校50年」の歴史は何を語るのでしょう。不登校をめぐっ この50年は学校に行かない子どもたちにとって受難の歴史だった一方、親の会やフリースクールなどの市 育行政、精神科医療、家族のあり方、働き方などが、さまざまに問われてきた「問題」だったと言えます。 この統計開始以降とも言えます。この50年、不登校は「問題」であり続けてきました。それは、学校、教 校制度とともに常にいました。 学校基本調査で「学校嫌い」の統計が開始されたのは1966年。学校を長期欠席する子どもは、学 時代ごとにどんな状況があり、どのように問題とされ、どう対応されてきたのでしょうか。 しかし、現在につながる「問題」として不登校が社会現象化してきたのは、

だき、多くのみなさんにご寄付をいただきました。ご協力いただいたみなさん、プロジェクトの記事を読 ンタビューはすべて無料で公開しています。そのため、このプロジェクトは寄付を募って運営させていた 47本、証言者の数は52名。これらの証言はアーカイブとして残したいと考え、その社会的意義を考え、イ 教員、学者、ジャーナリストなど、さまざまな関係者の生の声を集め、記事にしてきました。本数にして 2年あまりにわたり、不登校経験者、親、親の会、居場所・フリースクール、医療、心理、施設関係者、 んでくださったみなさんに、厚く御礼申し上げます。 統計開始から50年にあたる2016年、全国不登校新聞社では、不登校50年証言プロジェクトを開始し、

2018年10月15日 全国不登校新聞社

#### ●概要

- 実施期間:2016年7月~2018年10月
- ·記事本数:47本
- ・証言者数:52名
- ・公開方法:インターネット 上で公開(下記サイト) http://futoko50.sblo.jp/
- プロジェクトチーム
- 統 括 山下耕平
- 関東チーム委員 奥地圭子、 木村砂織、 朝倉景樹、石林正男、加藤敦也、 佐藤信一、 須永祐慈、 関川ゆう子、
- 野村芳美、藤田岳幸、前北海、増田良枝、松島裕之、山口幸子
- 全国不登校新聞社

関西チーム委員

山下耕平、

石川良子、

貴戸理恵、栗田隆子、

田中佑弥、

山田潤

- 東京編集局(関東チーム事務局) 〒1 14 0 0 2 1 東京都北区岸町 9 19
- 担03-5963-5526/メール tokyo@futoko.org
- 大阪通信局(関西チーム事務局)
- 置050-5883-0462/メール osaka\_c@futoko.org

38 倉地透さん912	松崎運之助さん620 # 38	# 28
37 古山明男さん884	保坂展人さん	# 27
30 常野雄次郎さん	松浦幸子さん	# 26
30 高岡健さん810	永井順國さん	# 25
34 田中達也さん 782	中沢たえ子さん	# 24
33 小林剛さん762	児島一裕さん490 # 33	# 23
32 山口由美子さん738	北村小夜さん462 #32	# 22
31 内田良子さん702	うめざわしのぶさん448 # 31	# 21
30 山下英三郎さん664	吾郷一二実さん、木村悦子さん41 #30	# 20
29 横湯園子さん636	堂本暁子さん394 # 29	# 19
18 竹淵陽三さんと「竹の子会」のみなさん374	石川憲彦さん184 # 18	# 09
17 若林実さん360	藤野興一さん······162 #7	# 08
16 清水將之さん332	佐々木賢さん	# 07
15 山田廣子さん314	滝川一廣さん100 # 15	# 06
14 中島浩籌さん294	大田堯さん80 #14	# 05
13 保坂亨さん27	小沢牧子さん	# 04
12 無着成恭さん250	最首悟さん46 #12	# 03
11 森英俊さん234	坂本悦雄さん28 #11	# 02
10 村上幸子さん214	佐藤修策さん08 #10	# 01
	日次	

**目 次** 不登校 50 年証言プロジェクト

# 47	# 46	# 45	# 44	# 43	# 42	# 41	# 40	# 39
奥地圭子さん	山田潤さん	西村秀明さん	兼子和美さん	斎藤環さん	本田真陸さん、彦田来留未さん	伊藤書佳さん	中澤淳さん	駒崎亮太さん
1234	1194	1156	1124	1080	1044	1014	976	950

◇本プロジェクトにおける用語の取り扱いについて

「不登校」を意味する用語は、長い年月のあいだに「学校恐怖症(school phobia)」「登校拒否(school refusal)」「学校嫌い」「不登校」など、さまざまな用語が使われてきました。立場や人によって、その言葉の使い方や、意味するところが異なります。不登校50年証言プロジェクトでは、統一した用語に整理校50年証言プロジェクトでは、統一した用語に整理

#### #01 佐藤修策さん

現在の児童自立支援施設

#### 屮 竹内道真さんという変わった精神科医で、 う評価と、神様という評価に分かれていた方でした。 佐藤修策さん #01

(さとう・しゅうさく)

1928年生まれ。1953年、広島文理科大学卒業。岡山県中央児童相談 所判定課長、高知大学教授、兵庫教育大学学長を歴任。教育学博士。 1950年代後半に児童相談所で登校拒否のケースに出会い、1959年、 日本で最初期に登校拒否の論文「神経症的登校拒否行動の研究―ケース 分析による一」を発表。以後、不登校・登校拒否に関わり続けてきた。 著書に『登校拒否児』(国土社)、『登校拒否ノート』(北大路書房)、『不 登校 ( 登校拒否 ) の教育・心理的理解と支援』(北大路書房) など多数。

インタビュー日時:2016年6月26日

聞き手:山下耕平、田中佑弥、貴戸理恵 所:フリースクール・フォロ(大阪市)

写真撮影:山下耕平

# 英語で鯛は釣れん

ングを中心にしていた方だったんですね。

なぜなら薬を出さない医者で、

いまで言えばカウンセ

(1947年) にできて中学校まで義務教育になった わると、学校に行っていない子がゴロゴロしていまし 瀬戸内海に面した下津井という漁村で、 そのころというの 中学校への就学は定着していませんでした。 は、 新制中学校が昭 家庭訪問にま 和 22 年

院に勤めたんです。その1年後に岡山県中央児童相\*\*(現・広島大学)を卒業して、最初は岡山県の教護 はじめたころのことからうかがいたいと思います。当 談所に配転になり、判定員を務めていました。所長は 時の長期欠席の様相は、どんな感じでしたでしょう。 私は昭和28年(1953年)に広島文理科大 まず、佐藤さんが児童相談所の職員として働き

だけではなく、町のほうでも、学校がイヤなら行くな もを学校へ通わせるのは親の義務です」という立て看 校まででいい。誰も中学校をつくってくれと言うてな 校に行かなければいけないという考えはなく、自由な ヤなら紹介してやるからパン屋で働け。 という考え方は多かったですね。教員も、 ら乗るな、飲むなら乗るな」みたいな感じですね。 板が、方々にありました。ちょうど、 が漁村ではふつうの考え方でした。そのころは「子ど はワシが漁師に仕込む」と毅然と断られました。 た。就学を勧めようと父親に面接すると「学校は小学 て問題にならないんですけどね 雰囲気でした。ああいう雰囲気だったら、 ていることにするから」と勧めたり。 自信があるので、 お父さんには中学校なんて必要ないという確固たる 英語を教えてくれる? 説得なんてできませんでした。漁村 英語で鯛は釣れん。 (笑)。 いまのように学 いまの「飲んだ 学校には行っ 不登校なん 「学校がイ それ

藪医者とい

いまのように学校に価値を置いてない それが時代とともに、 変わ って いくわけ わけです

ね。

: 50 年証言プロジェク

佐藤 私が大学生のころの広島は、戦後まもないころで、防空壕もそのままだし、焼けトタンを屋根に生活で、防空壕もそのままだし、焼けトタンを屋根に生活で、防空壕もそのままだし、焼けトタンを屋根に生活で、防空壕もそのままだし、焼けトタンを屋根に生活にで、防空壕もそのままだし、焼けトタンを屋根に生活にで、防空壕もそのままだし、焼けトタンを屋根に生活にで、防空壕もそのまが残ったままだったり、といった状況でした。 昭和30年代半ばごろになると、ずいぶ底と、関心の高い家庭とに分極化していましたが、昭和30年代後半から教育への関心が高まり、高校や大学への進学率を押し上げていきます。高度経済政策の学への進学率を押し上げていきます。高度経済政策のとほし、人口は田舎から都会へと移動し、教育への関心の分極化は薄くなっていきました。

つごろのことでしょう? 田中 最初に登校拒否の子どもと出会われたのは、い

佐藤 昭和32~33年のころです。昼休み、受付に座っな子どもだったので、びっくりしました。症状としては分離不安で、お母さんがいっしょらした。症状としては分離不安で、お母さんがいっしょなら学校に行くけれども、お母さんがついてこないとなら学校に行くけれども、お母さんがついてこないとないがにった。とれまでの混乱状でがない。しかし学校に行ったら、小学生を連れたお母さんがいて新聞を読んでいたら、小学生を連れたお母さんがいて新聞を読んでいたら、小学生を連れたお母さんがいたが、

田中 どんな感じのお子さんだったんですか?

は、めずらしい家庭でした。 佐藤 会社の社長さんの家庭で、奥さんもきれいな人 でした。小学3年生ぐらいの男の子で、服装といい、 だん児童相談所には要保護性の強い子どもが来ますか だん児童相談所には要保護性の強い子どもが来ますか いている家庭の子が多かったんです。そういうなかで れている家庭の子が多かったんです。そういうなかで

すが、判定員はケースを扱えないことになっていたんそれでケースを担当したいと、課長へ申し出たんで

担当しました。それが最初です。間外で面接や家庭訪問をすることができて、1年ほどです。そこを所長がうまくとりはからってくれて、時

れたということでしょうか?行かない子どもというのは、何か明るいものと感じら貴戸(当時の児童相談所のケースのなかでは、学校に

位にも恵まれている家庭が多かったですね。教員、弁護士、会社の社長など、経済的にも社会的地も家庭も。当時の登校拒否の子どもの家庭というのは、佐藤(そうです。優秀な子が多かったんですよ。本人

をくなかった。ところが登校拒否の子どもの場合、お登校拒否の前には継母子関係を研究していて、それが登校拒否の前には継母子関係を研究していて、それが別愛のあまり母子が性的関係を結んでしまうような、同性を疑わせるような関係もかなりありました。とくに、触法の非行をもつ子では、そんな親子関係が少くに、触法の非行をもつ子では、そんな親子関係が少くに、触法の非行をもつ子では、そんな親子関係に興味をもっていたんです。

んの経済力もあるし、しっかりした家庭でした。母さんは知的にも高いし、育児意欲もあるし、お父さ

### 登校拒否はの

当時、登校拒否については、論文なども発表されておらず、私たちのところではわかりませんでした。そおらず、私たちのところではわかりませんでした。それらず、私たちのところではわかりませんでした。それらず、私たちのところではわかりませんでした。それらず、私たちのところではわかりませんでした。それらず、私たちのところではわかりませんでした。それらず、私たちのところではわかりませんでした。それらず、私たちのところではわかりませんでした。

です。そこでムカッときまして、アメリカの雑誌、単され、で、廊下にプレイルームがあってから高木先生に「佐ました。そのとき、話し終わってから高木先生に「佐ました。そのとき、話し終わってから高木先生に「佐藤さんはいいね。治ったらそれでおしまいで。僕らは藤さんはいいね。治ったらそれでおしまいで。僕らは藤さんはいいね。治ったらぞれでおしまいで。僕らはずい。そこでムカッときまして、アメリカの雑誌、単当時の京大の精神科病棟は、ぼろっちい木造の建物

経験しないような、フレッシュな問題だったんです。 経験しないような、フレッシュな問題だったんです。 当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもな。当時の日本では、登校拒否は、精神科の医者でもないような、フレッシュな問題だったんです。当時は、行本や専門雑誌を取り寄せて読んだんです。当時は、行本や専門雑誌を取り寄せて読んだんです。当時は、行本や専門雑誌を取り寄せて読んだんです。当時は、

のような見立てをもたれましたか? 田中 初めて出会った登校拒否の子どもについて、ど

的な登校拒否では、母子関係が非常に近いんです。にあった。それゆえの分離不安ですね。多くの神経症め、お母さんと子どもとの距離が近く、固着的な関係め、お母さんと子どもとの距離が近く、固着的な関係が、お母さい、母子関係の問題だと思いました。お父

\*2 現在の統合失調症

たとえば、児童相談所が一時保護所で子どもをあずたとえば、児童相談所が一時保護所で子どもをあずなか離れない。母と子の別れが非常につらいんですね。お母さんもつらいし、子どももつらい。そこで、子どお母さんもつらいし、子どもはけろっと元気になるんです。不安定がなくなって、明るくニコニコして、みんなとうまく生活する。

連れていったこともあります。そういう強引な分け方 をあずけたら、さっさと帰ってしまう。分離に対し もをあずけたら、さっさと帰ってしまう。分離に対し て、お母さんは不安を示さないんですね。しかし登校 で、お母さんは不安を示さないんですね。しかし登校 で、お母さんが不安を子どもにもろに示す。 そういう特徴があります。一見、分離不安が見られな い子どもでも、分けようとした段階では、すごい抵抗 い子どもでも、分けようとしたら、たいへんなエ があります。親子を分けようとしたら、たいへんなエ があります。親子を分けようとした際には、分離がで を2年生の子どもを入れようとした際には、分離がで きないので精神科医が注射して意識をとってクルマで きないので精神科医が注射して意識をとってクルマで

していたんでしょうか?れていますが、当時のほかの機関は、どういう対応を

れてません。 
「大学以外では、児童相談所が登校拒否に 
佐藤 当時、大学以外では、児童相談所が登校拒否に

**山下** 強制的な分離はアメリカの理論から採られてい

うになるという日常体験がありました。 状っていた方法で、経験的なものでした。教師やケー 採っていた方法で、経験的なものでした。教師やケー 採っていた方法で、経験的なものでした。教師やケー

くって、じょじょに学校に近づけるという方法です。(forced attendance)という行動療法の方法を採りまその後、登校については、イギリスの強制的登校

をしていました。

ういう指導方法を採っていました。 で30日ほどあずかって家に帰すとき、子どもと親に学校に必ず行くと約束させて、ケースワーカーが学校に した。一見、それでうまくいくんですね。それで、そした。一見、それでうまくいくんですね。それで、そした。一見、それでうまくいくんですね。それで、そ やがう指導方法を採っていました。 一時保護所

年ほどかけて、子どもとの対話を通じて子どもが了解 は絶対ダメだということで、一時保護するのにも、 再発してしまう子どもが多い。ですから、強引な分離 すよ。また、一時的には登校しても、 壊してしまうんです。子どものほうが、 はまちがいだとわかりました。なぜなら、 ばには、そういうやり方はやめていました。 した段階でするようにしました。強制的な分離という を捨てたとか、 は、 しかし、1~2年もしないうちに、そういうやり方 いわば外科の大手術ですからね。昭和30年代半 いらん子扱いしたとか、後に残るんで しばらくしたら お母さんが僕 母子関係を 1

貴戸 強引な方法について、かなり早いうちに転換さ

う方法ですね。

会った当初から知られていたものですか? 田中 分離不安という言葉は、登校拒否の子どもに出

たが、当初は精神分析の言葉としては知りませんでした。 佐藤 親と別れるときの不安という意味で使っていまし

田中 学校恐怖症(school phobia)という概念を知っ

怖症は現象的なネーミングで、その本質は母子分離不怖症も、アメリカで言われていたものですね。学校恐怖症 昭和33~34年だと思います。分離不安も学校恐

安にあるというのが初期のアメリカの考えです。当時、アメリカは精神分析が盛んで、母子関係には父親が介在すなってきました。ふつう、母子関係には父親が介在するんですよ。お母さんと子どもが密着しすぎて、あまりにも赤ちゃん扱いしていたら、お父さんが外に連れて出るとか、介在する。それが父親の不在ややさしさのために、介在できない。

## 家庭の変容高度経済成長と

代ですからね。父親が稼いで奥さんは家を守るという は母と子しかいない。それに職業婦人はめずらしい時 は母と子しかいない。それに職業婦人はめずらしい時 は母と子しかいない。それに職業婦人はめずらしい時 は母と子しかいない。それに職業婦人はめずらしい時 は母と子しかいない。それに職業婦人はめずらしい時 は母と子しかいない。それに職業婦人はめずらしい時

都会にいると、マンションで母と子だけが生活している。もは家庭にポツンと置かれている。さらに悪いことには、かたちになっていったのです。その結果、母親と子ど

ではいけない。 いわば家庭の変革期にあったんだろうと思います。 分離不安には、そういう社会背景がありますね。そこ 分離不安には、そういう考えが強くなってきましたし、 一方では、明治以来の教育に対する考えが残っていた りして、そういう日本的なものがまぜこぜになって、 登校拒否は出てきたんだと思います。日本は、ほかの 先進諸国と比べても、登校拒否はずっと多くなってい ますからね。ですから、子ども個人だけを見ているん ではいけない。

私は、登校拒否は、学校と子どもと家庭の三角形で考えないとダメだと言ってきました。ケースによって、学校の要因が強いか、それぞれのアングルのウェイトがちが学校の要因が強いか、家庭の要因が強いか、子どもの学校の要因が強いか、のどれかを崩したら、充分な理解になられば、登校拒否は、学校と子どもと家庭の三角形で

概念はありましたでしょうか? 田中 当時、学校恐怖症や分離不安以外に注目された

た概念で、これは行動療法的な考え方ですね。 佐藤 登校拒否(school refusal)です。イギリスにあっ

症も同じく、アメリカより10年ほど後でした。メリカの発表から10年ほど後のことでした。学校恐怖たえ子らの論文が日本で初めて発表されましたが、ア自閉症も 1952 年に国立精神衛生研究所の鷲見

児童向けの精神治療もカウンセリングも、戦後にアメリカから入ってきたものですね。当時は日本の文献まりカから入ってきたものですね。当時は日本の文献とても、遊戯療法にしても、ほんの数ページ程度しかしても、遊戯療法にしても、ほんの数ページ程度しかです。ですから当時の専門家はアメリカの原書を読んです。ですから当時の専門家はアメリカの原書を読んで、それを応用していました。

# 神経症的登校拒否≯病気

舎へと、全国へ広がりました。
問題と思っていましたが、昭和30年代半ばごろから急問題と思っていましたが、昭和30年代半ばごろから急

登校に不安を持つという意味です。登校拒否という言 体的な自己主張だろうと。 異常がない、とすれば無意識的なレベルでの本人の主 を阻害する要因が見当たらない、本人の心身の状態も なぜなら、客観的には、家庭にも周囲の状況にも登校 批判もありましたが、本人が意識できるかどうかは別 るとみていたからです。主体的な拒否ではないという 葉を使ったのは、子どもが主体的に登校を拒否してい なりますから、神経症的登校拒否と考えたわけです。 うことです。 にして、主体的な行動としか理解できないんですよ。 して、そこに神経症的とつけた。神経症的というのは、 イギリスの登校拒否(school refusal)の概念を拝借 そうしたことから、分離不安だけでは説明できなく つまり、 病気ではないとい

> ういう病気ではなく神経症だということですね。 山下 児童の分裂病が疑われてもいたわけですが、そ

佐藤 そうです。分裂病の場合は、環境への関心をなくしたわけですから、病気です。登校拒否はちがいっぱけです。まあ、まぎらわしいボーダーラインがいっぱけです。まあ、まぎらわしいボーダーラインがいっぱいありますから、言葉では割りきれないわけですが、不登校という言葉になると、あれもこれも入ってしまって、広がりすぎて、ポイントを置きかねるようになってしまったと思います。精神科医や社会学者が使なってしまったと思います。精神科医や社会学者が使なってしまったと思います。

しょうか?ということのつながりは、どういう理解になりますでと、思春期以降の問題として、本人の主体的な行動だと、思春期以降の問題として、本人の主体的な行動だと、思春期以降の問題として、本人の主体的な行動だ

屮

低学年の問題として分離不安があるということ

佐藤 現象的には、小さい子の場合は母子関係の異常

体性確立の問題として出てくる。
てくる。思春期になると、まわりの環境との問題、主との関係がよくないことが、母子関係の異常として出として表現されることが多いです。たとえばお父さん

同じ親子の問題でも、年齢・発達レベルが上がると、

親子の直接の心 財題から、求め とのギャップの 問題になって、 問題になって、 でする。だ も家庭内暴力に も家庭内暴力に

例をあげると、ほかの

 $\lambda$ た。ところが、 支配していて、 な関係が続いていたんですね。つまり、親が子どもを 間取っているという、 ことをきっかけに、登校拒否になったケースがありま いかなかったわけです。 らっていたり、新婚夫婦の夫が妻にかしずかれるよう のもお母さんといっしょで、魚もぜんぶ骨をとっても 家庭は単親家庭で、中学生になっても、 ように見えますが、背景には母子関係からの離脱に手 した。表向きは生徒会での挫折から登校拒否になった 中学2年生の男の子が、生徒会の選挙で会長になった ですね。 子どものほうも親にぜんぶ相談してい 生徒会のことを親に相談してもうまく 葛藤の問題がありました。その これに類した例はかなり多い お風呂も寝る

ですから、登校拒否は子どもの発達上のトラブルだとりますからね。そういうところに登校拒否が生まれる。自我の主体的形成の問題。これは勉強だけではなくて、自我の主体的形成の問題。これは勉強だけではなくて、自我の主体的形成の問題。これは勉強だけではなくて、のまり、年齢発達レベルによって、表現がちがうだつまり、年齢発達レベルによって、表現がちがうだ

たりします (笑)。

ただ、扱いを失敗しますと二次障害が出てきますから、発達援助、発達支援と考えてもいいです。でするか、そこがポイントだと思います。治すとか治してるか、そこがポイントだと思います。治すとか治してやるということではなく、成長をどう進めるか。ですから、発達援助、発達支援と考えてもいいです。

## 子どもが元気に親が変わると

貴戸 長期的なスパンで関わってこられたんですね

ですね。 元気になっていきます。ですから、最初の指導は、子 急がなくなる。急がなくなると、子どもがじょじょに と、そのことをわかってくださって、親が学校復帰を 落ち込んでしまう。しかし、つきあいを重ねていく く、子どもを受けとめること。それができるようにな どもの状態を親が喜んで受けとめてもらうようにでき どもの生活に対して、 たとえば中学に入って登校拒否になった子の親に「中 早くと焦ってますから、そう急いでもダメですよ、と。 らの思いをいかに理解してもらえるかです。親は早く でやらないといけませんね。問題は親御さんに、こち ると、子どもがふだんの元気な状態にもどってくるの 学校の3年間くらいはかかりますよ」と言うと、親は つきあい始めたら5~6年以上は関わるつもり ということになります。 いかに親を抑えるか、 子どもの否定ではな いまの子

山下 それもある意味での母子分離ということでしょ

佐藤 親からの分離・独立は、子どもの受容が土台で 親子関係を見直すきっかけになったと喜べると、子ど まの子どもを受けとめるようになると、子どもが落ち まの子どもを受けとめるようになると、子どもが落ち す。親が、いい成績、いい子を望まなくなり、そのま す。

そういう意味では家庭がポイントですね。学校の先生は関わっても、せいぜい1~2年、私たちも一時的に関わるだけですが、親は一生ですからね。登校拒否の子どもの成長は、親の変革でもあると私は思ってます。子どもが登校拒否になってよかったという、親の幸福子どもが登校拒否になってよかったという、親の幸福子どもが登校拒否になってよかったという、親の幸福子どもが登校拒否になってよかったという、親の幸福子どもが登校拒否になってよかったという、親の幸福からね。子どもの登校拒否の経験が、家族や子どもの成長を助けてくれたという総括をしてくださる親になれば、成功したなと思ってます。

ただ、不登校のなかには、いろいろな精神障害の前

は、対応としては危ないと思います。ものが、思春期以降に精神障害が表に出てくる場合もあります。数は少ないですけどね。ですから、さまざあります。数は少ないですけどね。ですから、さまざあります。小学校では現れていない

されたんでしょうか? いての生徒指導資料を出していますが、これには関与いての生徒指導資料を出していますが、これには関与

**佐藤** 関係してません。文部省には、まったく関係し

ことになりますが、登校拒否を早期発見しても、軽い胃ガンだったら、早期発見しないと死にますよというは言えても、心の問題は難しいんじゃないでしょうか。佐藤「早期発見・早期対応」なんて、身体の問題で

ようと思っていても、どうにもならなくなって、 やく考えるというのが実際じゃないでしょうか。 うちには親もちゃんと考えないでしょう。なんとかし よう

# 登校拒否と医療の問題は

屮 校拒否症は早期に治療しないと30代まで尾を引く」と どのように思われますか? なりましたが、いま振り返って、この問題については、 いう見解が朝日新聞夕刊の1面トップに出て大問題と 1988年に稲村博さん(精神科医)の 一登

は難しい疾病をもつかもしれない子どもがいる可能性 もあると捉えれば、そうまちがいではない。 るわけですから。一般化はできないけれども、なかに どものなかには、放って置いたらそうなる子どももい 者としては当然で、否定はできませんね。不登校の子 私もよくわかりませんが、稲村さんの考えは 医

も社会病理に関心が高かったですからね。みんなが しかし、 ッと寄ってたかって、 あの当時は精神医学会も、 という感じではなかったか 個人病理より

> ところが、 いまの精神医学会は、アメリカの診断基

障害、 校は、 準(DSM)に拠っているものだから、日本での不登 準は好きじゃないですね。 しまっている。ですから、 行動障害など、こまかに分かれて病気化されて また病気になってしまっていますね。社会不安 私はアメリカのあの診断基

上 ね。 発達障害でも同じようなことが言えそうです

も、早期発見しても、治療方法はまだ充分に確立して のが急に最近生まれたわけではありません。発達障害 新しい名前で取り出されている。いままでなかったも 症も発達障害も昔からあったんですよ。言葉が変わっ いないですからね。 ただけです。母集団のなかにもともとあったものから、 いまは発達障害が関心を集めていますが、

発達障害による不登校も昔からありました。この場 不登校を起こすようなファクターを整理して取

思います。それをいっしょにしてはよくないですね。 校に行けない。同じ不登校でも、ちょっとちがうなと 経症的登校拒否の場合は、ひっかかりを取っても、学 り去っていけば、子どもは学校へ行けますからね。 神

ますよね。しかし一方で、そういう見方をとること 屮 ニーズを見落としてしまった面もあるとお考えでしょ 子どもの神経症的な問題や親子関係、 学校にこそ問題があるという見方を示したと言え 反精神医学的な見方は、家庭や子どもにではな 本人の支援

相対する関係になることが少なくないのです。 もそうですよね。トラブルが生じると、学校と家庭は 学校の責任だといい、なすりあいですよね。 学校の先生はたいが い親の責任だといい、 いじめで 親 は

さいかは別にして。家庭も同じことだと思います。指 ことは絶対にありません。そのウェイトが大きいか小 導に関わる者は、 すべてのケースにおいて、学校に責任がないという そのウェイトをどう見るかですね。

> るわけです。 だったら学校関係を集中的にと、ウェイトが変わって たとえば幼児期だったら家族関係を集中的に、中学生 くる。プラズマのように三角形がぐるぐるまわって

屮 いそうですね。 化することも、 そういう意味では、 三角形のバランスを見えなくしてしま D S M のように診断を細分

う。 る。 もという三者の関係で見ないといけない。アメリカの なってしまいます。子どもの場合、学校、 ということで、教育的・社会的支援という視点がなく 教育的視点が弱い。医者が対処するものになってしま 診断分類では、子どもの問題のみになってしまって、 勉強のできない子どもも、 病気にしてしまうと、あとは薬だ、心理療法だ 医者に連れていってい 家庭、

屮 L D (学習障害) なんかそうですね

よって子どもがどう変わるかという観点が弱い。 リカの診断基準は個人に還元しすぎています。発達に 思ってます。LDも治療ではなく発達促進と考えたら 思ってます。LDも治療ではなく発達促進と考えたら というのは無意味だと はない。アメ

不登校 50 年証言プロジェクト

うにお考えですか? 登校拒否に対する投薬治療については、どのよ

佐藤 薬というのは、症状対応として、落ち着きがないから落ち着けるようにとか、恐怖が強いから恐怖をいから落ち着けるようにとか、恐怖が強いから恐怖をは、閉じこもってしまっている子に、抗うつ剤を出したことで、親と話せるようになる、そこから親子関係をつくり直そうというところに結びつかないと、薬の意味はないです。医者でも、神経症的な登校拒否を薬意味はないです。医者でも、神経症的な登校拒否を薬で治すという考えの人は少ないと思います。

できるということだと思います。
できるということでしょう。治療の結果として、最終診断がということでしょう。治療の結果として、最終診断がということでしょう。治療の結果として、最終診断がということでしょう。治療の結果として、最終診断ができるということだと思います。

### 親の会の役割は

貴戸 親の会にも関わってこられたそうですね

知り合った人どうしが電話でつながって、情報交換し関わりました。親の会は、親どうしが自分の問題を自関わりました。親の会は、親どうしが自分の問題を自めが、いいるのは私だけではないと、問題を共有できる。 そして、そこに社会を形成できますよね。親の会でも、 
そして、そこに社会を形成できますよね。 
親の会には平成元年(1989年)から24年間、

とを防ぐ、ひとつの社会的活動だと思います。役立ったりする。親の会は、個々の家庭が孤立するこBとも言える親御さんの経験談が、いまの親御さんにたり、励まし合ったりしている。あるいは、不登校〇

ただ、私たちの立場から、方向性を示すことはありました。ケースによって、父親と会話できる機会を提ました。ケースによって、父親と会話できる機会を提ました。ケースによって、父親と会話できる機会を提ました。特別のように、家庭の恥ずかしいところまではンセリングのように、家庭の恥ずかしいところまではオープンにできないですしね。ですから、親の会の参加者には、カウンセリングのようなもので、親どうしはグループカウンセリングのようなもので、親どうしの気づきをうながすのが役割だと思っています。親の会のは、私にとっても、いい勉強になりました。

# 時代変化のなかで

いますよね。最近では、また新しいかたちで貧困問題山下 時代とともに、長期欠席の意味も変容してきて

でしょう。

強力な対応ができれば、なくなってくるでしょう。席は、福祉の不足という政治的な課題です。政治的にません。いま話題の親子の連鎖的な貧困による長期欠 長期欠席だけでは学問的な意味や対策は出てき

ではないかと思います。 不登校の社会的支援を 学校教育に採り入れようとしているでしょう。 それは 学校教育に採り入れようとしているでしょう。 それは のではないかと思います。 金をちょっと出す代わりに のではないかと思います。 金をちょっと出す代わりに のではないかと思います。 金をちょっと出す代わりに のではないかと思います。 金をちょっと出す代わりに のではないかと思います。 金をちょっと出す代わりに のではないから出されるのではかなわんでしょう。 僕はあ ことです。 不登校の社会的支援を それでいいですが、かえって、これまでの活動の芽を なくしてしまうのではないか、活動が狭まってしまう なくしているといるのは、議員立法でつくろ

**山下** 私も、学校的なものから身を引く時間や場所は

そういう意義が奪われてしまうように思います。

とが必要だと思います。 自由に子どもが息のできるところをつくってあげるこまう。ですから、学校教育の補完でもかまわんから、生様 そうですね。子どもの逃げ場所がなくなってし

\*3 消してしまわなくて済んでいる。つまり心の安全弁で 登校拒否というのは、自分を助けるひとつの手段だと 思ってます。登校拒否になることによって、自我を抹 逃げ回ってくれたら、打つ手はあったのに。ですから、 かったのかと思います。登校拒否になって、学校から まった子のことを聞くと、どうして登校拒否にならな は命の綱だと思ってます。 けてなかったんだろうと思います。登校拒否というの まで行った子どもというのは、よっぽど周囲が手をか が、手さえ加えていれば自殺までは行きません。自殺 りません。自殺まがいのことをすることはあります すよね。「腐ったものを食べたら下痢をする」と言っ 基本的に、登校拒否で子どもが自殺をすることは 渡辺位さん(児童精神科医・故人)の言葉 いじめなんかで自殺してし

> どね。 だれ否をしたら、よくやったと喜ぶのがいいんですけ 校拒否をしたら、よくやったと喜ぶのがいいんですけ でいる自衛能力だと思います。ですから、子どもが登 た人もいましたね。登校拒否というのは、生体が持っ

山下 まずは逃げることが大事なんでしょうね。その が大事だと思われますでしょうか?

### 納得が大事自分なりの

**佐藤** 登校拒否というのは、子どもにとって大きな心のダメージになっています。ですから、大きくなっていて、自分なりに納得したほうがいいと思います。それが当時の気持ちとちがうというのは問題ではありまれが当時の気持ちとちがうというのは、ということを回顧のダメージになって整理したというのは、子どもにとって大きな心

からないですね。いまの自分があるのは、不登校した一登校拒否になったわけは、本当のところは誰にもわ

イナスだと思う人の数は少ないです。 それが治療の終結ですね。それさえもてればいいす。それが治療の終結ですね。それさえもてればいいす。 それが治療の終結ですね。それさえもてればいいすかられ。逆に言えば、いまの適応がいい人は、不登校経られ。逆に言えば、いまの適応がいい人は、不登校経られる。 でんだったと思う傾向があります。しかし、マイナスだと思う人の数は少ないです。

うか。 山下 現在は、以前よりもよくなったとお考えでしょ

事件もありました。しかも、子どもの家庭内暴力は、気だ、狐が憑いた、狸が憑いたといって、家庭は狂乱気だ、狐が憑いた、狸が憑いたといって、家庭は狂乱気だ、狐が憑いた、狸が憑いたといって、家庭は狂乱気だ、狐が憑いた、狸が憑いたといって、家庭は狂乱気だ、狐が憑いた、

愛と憎悪が同居しているわけです。ら、お母さんを膝枕にして、赤ちゃんのように甘える。らてくれた人に暴力が向かう。一方では、落ち着いたお母さんに矛先が向かうことが多いですね。自分を育

は、不登校が社会的に認知されてきましたから、 いまは、不登校が社会的に認知されてきましたから、 は前に比べると家庭内緊張が高まらない。そのために が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつ始まったかわからない場合は遅いで が早いです。いつがまったかわからない場合は遅いで が早いです。いつがまったかわからない場合は遅いで が早いです。いつがまったかわからない場合は遅いで が早いです。いつがまったかわからない場合は遅いで が早いです。いつがまったかわからない場合は遅いで

てから学んでもいい。教育の重要さを認めながら、強時代ですから、小学校時代にできなくても、大きくなっとは思います。ただ、本質的には、問題を解決しようとは思います。ただ、本質的には、問題を解決しようとは思います。だだ、本質的には、問題を解決しようとは思います。問題が広がって、難しくなっている

**#01 佐藤修策さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

とかまえていれば、それでいいと思っています。
ますよ。なくそうというのはまちがいだと思います。
ますよ。なくそうというのはまちがいだと思います。
ますよ。なくそうというのはまちがいだと思います。
ますよ。なくそうというのは、学校教育があるかぎりは生まれる登校というのは、学校教育があるかぎりは生まれる

制しない方向にできたらいいと思います。

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#01 佐藤修策さん

インタビュー日時:2016年6月26日

記事公開日:2016年7月19日

場 所:フリースクール・フォロ(大阪市) 聞き手:山下耕平、田中佑弥、貴戸理恵

写真撮影 · 編集:山下耕平

- 27 - - - 26 -

#02 坂本悦雄さん

坂本悦雄さん #02



(さかもと・えつお) 1929年、青森県生まれ。1935年、入学した村の小 学校で不登校状態となり、祖母と同伴登校の日々を送る。1953年、弘前大学 卒業、郷里の中学校に赴任。この当時に不登校の生徒に出会い、以来、不登校 に関わっている。89年ごろからは自宅で、不登校、非行の子どもたちの居場 所「心の窓」を開いてきた。学習援助も週2回ほどやってきたが、親の相談 に力を入れてこられ、子どもたちが安心して家に居られるようにと「親の会」 も開いている。63年より、県立八戸北高校、青森県立六ヶ所高校教頭を経て、 83年より青森県教育庁に勤務。その後、八戸西高校、八戸中央高校校長を経て、 89年より八戸市総合教育センター勤務(5年間)。94年より八戸大学勤務(准 教授/5年間)。八戸あおば高等学院顧問。

インタビュー目時:2016年7月2日

聞き手:奥地圭子 所:栃木県小山市 写真撮影: 稲葉祐一朗

\*坂本さんは青森県八戸市在住だが、インタビュー当時、休養・保養のために御夫妻で小山市の娘さ

ん宅に滞在されていた。

奥地 ですが、 まずは坂本先生の生い立ちからうかがいたい ご自身、 不登校経験がおありだそうですね?

h

ない、 坂本 で針仕事をしてましたよ。 私自身がひとりでは小学校に行けなかったんですよ 祖母が私のことを毎日連れて行って、 バスも通っていなくて、 魚もない。それで小学校に入学するんですが、 もう本当に何もない青森県の山奥で生まれまし 食べ物が何もない。 それで廊下

坂本

奥地 何年ごろのお話ですか

校に行けないものだから、 坂本 とお願いしたんですが、ダメでした。お願いなんてし あと2時間遅ければ次の学年になるのにね (笑)。学 戦前ですね。 ないで黙って届ければよかったんでしょうけど んなには「おばあちゃんと行けてい て言われましたよ。 和 10 私は4月1日の午後10時生まれなので、 年(1935年)ごろだったかな? 役場に下の学年じゃダメか いな、 (笑)。 いな」

> 奥地 校に対してどう思っておられましたか? んですか? 今で言うところの同伴登校ですよね。 こわかった 当時、

校とも無欠席だったけどね。そのあと、\*\*れて行ってもらって、結局、尋常小学校 八戸までだから、32㎞、歩くんです。汽車のキップも 情がたいへん悪く、 なかなか買えなかったですし、 うのがまた遠くて大変なわけね。田舎から三戸に出て でダメだったね。それでも約2年間、 くものだから、 ただ、行けなかった。「学校」 次の日は肩が痛くて。 下宿先にあげるお米を背負って行 尋常小学校、 当時は戦時中で食料事 って言 毎日、 1週間 中学校に通 高等小学 1っただけ 祖母に連

そうやって育っ て、 それ から師範学校に行 か n

尋常小学校、高等小学校:1941 年までの学校制度では、

高等小学校(現在の中学校にあたる)は義務教

奥地

育ではなかった 小学校が義務教育で、

- 29 -

尋常

奥地

なるほど。

不登校 50 年証言プロジェクト 坂本

るところで、 ちょうど戦後になって、師範学校が切り替わ 弘前大学になりました。

たわけですかっ

奥地 わけですね。 それで弘前大学を出られて、 地元に赴任され

坂本 をもらってたんでね。村から、1年でもいいから地元 先生をはじめたのは。 10年間務めました。 の中学校に来てほしいと言われていたんです。それで、 昭和28年 (1953年) からです 大学時代に地元の村から奨学金 ね 学校 0

奥地 10年いたわけですか

坂本 年でいいってところを10年も (笑)。

弘前大学教育学部になった。 師範学校:戦前の教員養成学校。 青森師範学校は1949年に

#### Α んとの出会い

ごろ、 生徒がいた、と書かれていますね。Aくんが、ご自 分の出会われた不登校第1号だ、 小学4年生から不登校をしていたAくんという 先生はホームページで、昭和28年(1953年) ೬

坂本 学校に来れない生徒がいるからというの いに行ったんですよ。 っで、

奥地 遠くに住んでたんですか? 自転車で行かれたということですが、 その子は

坂本 地の奥地だったからね 遠かった。5~6㎞くらいかな。 (笑)。 温泉が出 「る奥

家まで行って、 だから会いに行こうとなったわけですね。 赴任して教室に行ったら、来ていない生徒が 会えたんですか? それ ~ V

坂 本 どね、鉞で、切り出してきた木を30㎝くらいに切って、 手伝うものだから、 立てて、それで割るんです。昔は家事労働を子どもが 薪割りをしていましたね。 鉞っていうんだけ すごく上手でね。

てい

た鉞は、

いまも八戸の私の家にあります。

もこっちもできなかったですからね。そのときに使っ を作って味噌をつけて焼いてあげていました。他に何 んですが、でも何もあげられないから、妻がおにぎり 坂本 そうやって、喜んで薪割りをやってくれていた

奥地

坂 本 をずっと続けてくれました。 れて、ほかの生徒が来る前に家に帰るわけです。 生徒たちが来る前に早く学校に来て、薪割りをしてく てほしい」って頼んだんです。そうしたら、 たんですよ。そして「上手だからぜひ学校の薪もやっ て的を外してね。「君は上手だね」ってAくんをほめ せてほしいって頼みました。それで、わざと下手にやっ それから何度も何度も家に行き、自分にも薪割りをさ はじめは それ

それで彼に学校に来るように言いましたか?

すぐ学校に来るようにとは、言いませんでした。

を使っていたと思うんですけど。 ろは薪ストーブだったんですね? 奥地 ちゃんと取ってあるんですね。 東京ではもう石炭 じゃあ、 そのこ

した。 坂 本 通機関がなかったですからね。 から車で40分で行けますけれども、 今では、 青森のなかでも僻地でしたからね。 道も舗装されてますから、 そのころは何も交 八戸の自宅 ずっと薪で

奥地 その後、 Aくんは教室には入れましたかっ

坂 本 なったね。 ようになってね、 毎日薪割りをしながら、だんだん学校にも来る だんだん明るくなってね。こちらも、 だんだんと教室にも入れるように

坂 本

それくらいしか、してあげられなかったのでね。

にな を3年間で卒業されたんですよね。

坂本 校に来ても、学校のトイレには行けないらしくて、 イレは大勢が使うからイヤだったようで。 たちの住居まで来てトイレをしてましたね。 そうですね。ただ、私の記憶が正しけ 学校のト ń ば、 私学

今でもそういう子はいますね

坂 本 持ってきて、恥ずかしくて隠れて食べたりしている子 Ŕ かなりいました。 それと米が少なかったので、粟や稗のお弁当を

奥地 わけですね それでおにぎりを食べさせてあげたりしてい た

> 奥地 たわけですね そうですか。 そのころ、 坂本先生は結婚され 7

坂本 3人もそこで生まれています。 はい。赴任して1年経ってからですが、 子ども

奥地 それは苦労されたんじゃないですかっ

坂本 ヤギも飼いました。 からないです(笑)。そうそう、 んでしたからね。今となっては、 本当に何もなくて、 ドジョ 子どもたちのために ロウくらい 何を食べたのかもわ L か いませ

奥地 ありましたけど、 しょうか? Aくんの親は学校に行かせようとしたと書 親の方とは相談したりしてたんで 11 7

坂 本 ね。 どうにもならないなと。 親はもう行けないからと、 あきらめていました

てどうだったんですか? 0 人たちの学校に行かない子に対する反応 っ

坂本 ですからね。 その当時は学校に行けない子なんていなかった その子くらいだったんじゃない でしょう

ども、 奥地 どんな方針の方だったんでしょう それから校長先生がおられたと思うんですけ ń

奥地

教員が提供したんですか?

費用は出たんです

坂本 子どもたちから呼ばれていましたね(笑)。 しい家庭の多い村でしたので、 キ校長がいなくなってから、女の校長になったんです うので、逆さに読んで「タンキ先生、 れ ない子どもたち、 その校長の提案で、学校給食を始めたんです。貧 厳しい人でしたね。 肉を食べたことがない、 名前が金田 おかずを何も持ってこ タンキ先生」と (キンタ) とい そのタン 魚を食べ

> 多い村なので、野菜とか味噌とかは近所の農家からい を作るんです。それを子どもたちに食べさせたら、 金曜日だけは、 みそ汁給食。でも、 たことがない子どもたちがいました。そこで、農家の ても喜びました。 転車で行って、 ただいてね、月曜から土曜まで給食をやったんですよ。 豚の細切れを買ってきて、それで豚汁 田舎から五戸町まで、 いつもは野菜だけの味噌汁でも、 20キロの道を自

坂本悦雄さん「自分史」より当時の写真

先生に信頼があったんですね。

坂本

信じられないですよ

坂 本

か?

りをしたり栗拾いもしてね。 てくれたんですね。 春の山菜採りや田植え、秋はキノコ狩りや稲刈 肉の代金は、 子どもたちといっしょに工面しま 婦人会の人たちが手伝

9

奥地 Aくんも食べましたか?

坂本 だち関係がうまくいってたから、 んでました。 学校に来れなくても部落では友 みんなと食べてまし

かった。 奥地 友だちはいたわけですね。 ただ学校には行け な

坂本 麦を作ったり、 かにもいろいろやりました。食べるものがないから蕎 (当時「幻灯会」と言っていました)。「家なき子」 学校は特殊だったんでしょうね。 娯楽が何もないから映画観賞会をやっ 田舎では、 ほ

> たりしてね (笑)。 りもしましたよ。でも、 「マッチ売りの少女」とかね。その弁士をやった 途中でフィルムが切れちゃっ

奥地 れたんですね。坂本先生は「学校に来い」とは言わな 験があったので、体験的にわかって、共感的に対応さ 生ご自身も、付き添いなしでは学校に行けなかった体 かったんですかっ 学校に来れない Aくんと出会ったとき、 坂本先

業するとき、校長先生に特別お願いして「薪割り賞」 坂本 来れるようにしてあげた気がするね。 顔は今でも忘れることはありません。 を彼のために出してもらいました。そのときの彼の笑 「来い」とは言わなかったね。 まったく自然に 彼が中学校を卒

奥地 あとはどうされたんですか? それはよかったですね。 Aくんは中学校を出た

坂 本 左官屋さんに入りましたよ、 見習いとして。

ういうようすだったんでしょう? 町会議員になられたとも書いてありますけれども、 技大会で二度優勝したと書いてありますね。それから 坂本先生がお書きになったもので、 全国技能競

坂 本

妻だけしかいないときでも家に来て、

. 「先生、

坂 本 話が通じなくても一生懸命きょろきょろしてるんです の教師をやってる時分、 たね。ちょっと変わってるなと思ったのは、私が高校 しても、その中に入ろうとするんですね。ぜんぜん 卒業してからも、ちょこちょこ遊びにきてまし 同僚の教師が飲みに来てた

ちょっと考えにくいですけどね 不登校だった子が先生の輪の中に入るっ (笑)。 て、

> 奥地 何時に帰ってくる?」なんて聞いて「じゃあ待ってる」 という感じで帰りを待ってるんですよ。 いう会社だったんですか? その後、社長にもなられたとありますが、

ました。 坂 本 家の風呂の内装などを手がける会社を立ち上げ どこからそんな力が湧いてきたの

奥地 ですが、その後の動きはそうではなかったわけですね。 不登校というと集団が苦手なのかなと思ったん

坂 本 でしょうね。 やはり得意なところを伸ばして自信がついたん

## 高校勤務時代

奥地 とですが、その後はどうされたんですか? 坂本先生は村の中学校に10年いらしたというこ

禁煙はないですからね。自分で吸わなくても、におい や本 八戸北高に新設から18年いました。北高の校長 大本 八戸北高に新設から18年いました。北高の校長 大本 八戸北高に新設から18年いました。北高の校長 大本 八戸北高に新設から18年いました。北高の校長

奥地 体調を崩されたんですね。

が家の洋服ダンスにまでついてしまいましたね。

**坂本** はい。復帰してから八戸西高校に行って、それ から中央高校の校長になったんです。夜間高校だった ので、生徒は5時にならないと来ないんです。それで んですが、それが有名になっちゃって、山形県の天童 んですが、それが有名になっちゃって、山形県の天童

奥地 いまでは夜間高校とか定時制高校もありますけ

を殴ったりして。あの子はとても大変でした。暴力がひどかった子ですね。馬乗りになってお母さん暴力がひどかった子ですね。馬乗りになってお母さん

奥地 その子は中学生ですか?

**坂本** そう。それで私の勤めてた高校に入れて、卒業

れたんですね。 奥地 高校に勤めながらも、不登校児と関わっておら

奥地 その子はよっぽど苦しかったんでしょうね。

**坂本** その子は生まれたときに肛門がなくて、小学校

ね。大変でしたね、本当に。
の関係がうまくなくなってね。子どもが暴力をふるうの関係がうまくなくなってね。子どもが暴力をふるうの関係がうまくなくなってね。子どもが暴力をふるうく。

**奥地** それでも坂本先生のいた高校に入られて、卒業

坂本 しましたね

奥地 高校では落ち着いたんですか?

したね。でも、いまはちゃんとお勤めしてますよ。みせびったり、いろいろ大変でしたけどね。お母さんのほうは、私の妻がいろいろ面倒を見ていました。その子は、はじめて会ったときは1年半も部屋から出てなかったんですよね。だからはじめに会いにいくときはかったんですよね。だからはじめに会いにいくときはかったんですよね。だからはりを見いている。でも、いまはちゃんとお勤めしてますよ。み

んなそうやってよくなってるんですよね

**奥地** そんな子たちは坂本先生のこと忘れないですよ

# 「心の窓」の活動

か? 奥地 「心の窓」を始められたのはいつごろなんです

坂本 本格的に始めたのは退職してからかな。中央高校を退職して、青年の船に講師として乗船しました。 めたんですよ。そこが登校拒否の子を受けいれるとこめたんですよ。そこが登校拒否の子を受けいれるところだったんです。

奥地 何年ごろのことですか?

坂本 退職したのが平成元年(1989年)ですね。

すね。 奥地 はじめは総合教育センターでの活動だったんで

坂本 もが。 親もですけど。 ところが家まで押しかけてくるんですよ、 子ど

かっ 奥地 総合教育センターではどんな感じだったんです

坂本 みに悩みましたね。 ふうにしようって言ってもなかなかできない はり 自 分一人のも のじゃな 11 0) で、 こうい ので、 悩 う

奥地 他の方と考えがちがったりするわけです

坂 本 ŋ して、 それで子どもたちもセンターに行かなくなっ 家に来るようになったんですよ。 た

奥地 その流れはなんとなくわかります (笑)。

> 坂 本 うちは犬連れてきてもネコ連れてきてもよかったの 行かない子だったんですよ。 で。(左の写真を示して) この子たち、 いからイヤだって。「ペットも連れてくるな」 ろえて脱ぎなさい」、 センターでは 「時間は守りなさい」ってうるさ 「買い物はしちゃだめ」、 みんな学校に 「靴はそ



坂本悦雄さん「自分史」より。ご自宅にて。 「心の窓の仲間たち一同」とある(1994年)。

奥地 何年までやってたんですかっ

奥地

本当に受けいれられて、

安心すると、

みんな自

もともとは

優しい子たちですものね。これはご自宅? 分の持っている力を発揮するんですよね。

ないんです (笑)。 と集まるんですよ。 坂本 たり、おしゃべりしたり。 別れたくないって。公民館で集まったり、山小屋に行っ だから、 道もあって、 ルの山にあって、「アインマール」と名づけて、 何年までというか、 親の会も解散したらって提案したんですが、 18張のテントを設営できます。 もう子どもたちも立派になったん もう親たちがスクラム組んで離れ 八戸に帰ると今もまだバーツ 山小屋は、 5・5ヘクター 遊歩

からね。 されてきたことになるんでしょうか いお仕事を残されましたね。ご自宅で何年くらい活動 世間がみん 安心できる仲間ってことですよね。 なわかってくれるわけじゃ すばらし ない です

奥地

坂本 25年以上はやってるんじゃないでしょうか 8 畳 と 10

奥地

「心の窓」は週に何日開いてたんですか

坂本

自宅です。

みんな自宅に来て、私も妻も誰も

ない

と玄関に立って待ってるんですよ。

坂本 畳の2間がぎっ 毎日ですよ。 しり りでした。 毎日生徒がやってきて、 30 人 か、 b っと来たろう

ね。

奥地 所という それだけ居心地がよかったんでしょうね。 か 居場

坂本 方も 板がまだありますよ。 いたりしてね お母さんたちにとってもね。そのころ作った看 それを見て盛岡や京都から来た

奥地

奥さんとい

っしょに、

ご夫婦でやってこられ

感じですね。集まってくる子どもたちで何か活動はさ れたんですか?

けて、 坂本 ンプしたり、 キノコをとって、 山に連れてっ いろいろしましたね。椎茸などの菌をつ て、小鳥の巣箱を作ったり、 鍋に入れて料理したり。 t

奥地 費用はいただいてたんですか?

坂 本 屋を暗くして、 出しです。一番おもしろかった企画は闇汁会だね。 どこからもいただいてないですよ。 みんなで鍋の具をつつくんですよ。 すべて持ち 部

てます。 奥地 あ 闇鍋ですね。 東京シューレでもたまにやっ

ですよ。 坂本 意してくださって、 子どもたちが好きなものを持ってきて入れる 弁当屋さんのご両親が大きいエビを2箱も用 すごい豪華な闇汁になりました。 ñ

> 奥地 そうやって、 いろんなつながりができてきます

世話になりましたって、 坂 本 よね。 私がその弁当屋にたまに行くとですね、 1000 円とは思えない 娘がお ょ

奥地 をはじめる前に倒れられたというお話でしたが、 うな豪華な弁当を作ってくれるんですよ。 やはり心がつながるってことですね。「心の窓」 始め

坂本 またやって、 またやり直しって感じで、 3 回

られてからは、ずっと順調だったんですか?

奥地 その間も子どもたちは来られてたんですか? らい

倒れてます。

坂本 そうなんです。

奥地 小。 山 ま (栃木県) にはいつ来られたんですか?

坂本 娘夫婦が心配だからって、 それで2人で生活するのが難しくなって、(小山の) 娘の夫が医者ですし、娘がデイサ 去年です。それまでに妻が2~3回倒れまして。 こちらに移ってくるように ービスをやって

奥地

奥さんも、

生徒やお母さんたちとの関わりのな

かでお疲れになっていたということでしょうね?

ますから。

そこで、ここに世話になっているんです。

坂本 でしたね。 すよね。そういうのは妻が相手になってあげて。 旦那さんと奥さんの歩調が合わないってことがありま 話もありますし、 やはり、 どうしても女どうしでしかわからない 子どもを受けい れようと思っても、

居場所、 奥地 とですよね。「心の窓」って相談室だと思ってましたが、 られたわけですね。そんなこと、なかなかできないこ 本当にご夫婦で力合わせて不登校と関わ フリースクールのような場所でもあったんで ってこ

坂本 もちろんです。

坂本悦雄さん(左)と敦子さん(右)

すね。

相談も無料だったんですよね

長年、ご夫妻で不登校の子どもや親に関わってこられた。

奥地 本当に完全にボランティアだったんですね。

かったりもするんじゃないですか? 夜になっても。日のように子どもが来るわけですよね。帰ってくれな

に食べるようにしてください」って言ったりしてましたね。 をいので、お母さんに連絡して「夜は子どもといっしょないので、お母さんに連絡して「夜は子どもといっしょないので、お母さんに連絡して「夜は子どもといっしょないので、お母さんに連絡して「夜は子どもといっしょないので、お母さんに連絡して「夜は子どもといっしょないので、お母さんに連絡して「夜は子どもといっしょないので、お母さんに連絡している。

感じなかったんですか?子どもたちが来るなかで、ご自身たちの休息の必要は要地 そういう方針を持っておられたんですね。毎日、

んくらい減りますからね。そのぶんがパア……。 全を取らないわけですよ。それで今回は40名だと思っ なたとえばキャンプに行きますって企画して、前

奥地 そういうこと、ありますよね

坂本 そろばんなんて弾いてられないですよ。

奥地 そういうとき腹立ったりしないんですかっ

坂本 しゃあないでしょ (笑)

は、学校に行っている子もいたんですよね? 奥地 心が広いんですね。来るお子さんたちのなかに

て、いまでは一流企業に勤めてますよ。人が、1人は東大に入って、1人は電気通信大学に入ったね。そのなかで兄妹2人、中学から行けなかった2切な、はい、行ったり行かなかったりって子はいまし

に学校に行かないのがよかったんだと思います。奥地(すごいですね。つらいとき、苦しいときに無理

そのおじいちゃんとかおばあちゃんがわかってくれな坂本 お母さんがわかって、お父さんがわかっても、

いって場合があるんですよ。

**奥地** とくに田舎はそうでしょうね。お年寄りはね、

### いま思うこと

彼らはぜんぶ立ち直る。みんな良くなるんだよ。でももい、ということ。ただ、早い遅いはある。けれど、ることは、叱ってはいけない、責めてはいけない、元ることは、叱ってはいけない、責めてはいけない、元をせるんじゃなくて。何万人も相談したなかで言えなる。とにかく待つってことですね。あせって何かを

親は待てないんだよね(笑)。

はどう感じられますか? 日本全体の話ですが。計開始から少しずつ減っていたのが、1975年かかは急激に増えるわけなんですけれど、それについていたのが、1975年か

うか。
がの
なかりかり
できていて、みんなカリカリしてるんじゃないでしょきてるんでしょうね。それと自然に触れる機会も減っきてるんでしょうね。それと自然に触れる機会も減って

奥地 これからやってみたいことってありますか?

(笑)。

奥地 八戸には帰られるんですかっ

坂本 ここにいつまでもいると娘には迷惑かかります

してしまうものだから娘は心配しますね。し、考えてはいるんですけれどね。帰るたびに無理を

るんじゃないですか? んでしょうね。それから新しい方も伝え聞いて来られぬ やはりみなさん、八戸に帰られると会いに来る

坂本 そうなんですけど、先生は「歳だからダメでら、医者の先生に「もうちょっとなんとかならないでら、医者の先生に「もうちょっとなんとかならないで

奥地 耳以外はお元気なんですね。

坂 本

自分も学校に1人で行けなかったからでしょう

坂本 内臓は健康なんですよね (笑)。

奥地

でも、

帰られると無理しちゃうんでしょうね。

2人が風邪をひくと差し入れがたくさん来ますし、一坂本 親の会の人たちは私たちを頼ってますからね。

奥地 本当に慕われてるんですね。

京都で働いている教え子がきます。
坂本 しょっちゅう人が来ますね。今日もこのあと、

う子たちを放っておけなかったんですかね?いるわけじゃないですか。坂本先生はどうしてそうい奥地 不登校の子が増えても、関心を持たない教員は

長い短いはあっても。わるのは楽しみでしたよ。みんな良くなるんだから。ね。建物に対する圧迫感とか。でも、不登校の子と関

**奥地** いろいろお話を聞かせていただいてありがとう

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #02 坂本悦雄さん

インタビュー日時:2016年7月2日 記事公開日:2016年8月26日

場 所:栃木県小山市 聞き手・まとめ:奥地圭子

写真撮影・テープ起こし:稲葉祐一朗(小山フリースクールおるたの家)

ありがたいこ

野菜のお惣菜がどんどん来るんですよ。

時的に帰宅したときでも、野菜がいるでしょと言って、

教育が軍事体制で大変だったんですね

こっぽ

最首 なきゃいけない時期だった。転校した喜多方小学校(福 令が解かれ、名称が小学校に戻るが、昭和23年に病気 地方にある学校に転校している。昭和22年に国民学校 20年3月、疎開した家族と合流、 僕の記憶では、 語りは、当時の国民学校のようすに関するものである を理由とした長期欠席を3年間経験している。 民学校に転校、 くで転地先の千葉県の小湊国民学校 に入学し、 最首悟氏は昭和18年(1943年)に、 僕は昭和18年に国民学校1年生になるんだけど、 国民学校の思い出 太平洋戦争終戦を経て、千葉県の房総 福島県の喜多方町国 ぜんそ 昭和

喜多方は醤油と味噌の工場があったので、 づくりが盛んだったのね。 ないからね。兵隊さんのためのフキで、 4月から7月までの1学期、フキを採ってた記憶しか 島県)では、 室内の授業がほとんどなかったですね。 そのころは教育勅語を直立不動で聞か 佃煮にする。 だから佃煮

> 語を読みあげる場面になると、ぶっ倒れちゃう子がい という噂があったのね。その緊張感が伝わり、教育勅 それがまたけしからん、ということになるんだけどね。 もあったね(笑)。 先生におぶわれて帰ったり、 たんだよね。 張具合はすさまじいものがあって、 は、ほんとうに緊迫していた。校長や教頭、教員の緊 かしてる場合じゃないんだよな。 かで教育勅語を読みちがえたら、 ろに伝わってきた。というのは、 ろくな記憶もないけど。 軍事体制で、子どもは少国民だから、 ぼくもぶっ倒れたことがあって、 で、 へらへらしちゃう子もいてさ、 うんこもらしちゃった日 かならずクビが飛ぶ 先生が朝の朝礼か何 教育勅語について それが子どもごこ 勉強なん 女の

時代の情景そのものなんですね。森の中に入ると、 たことですが、この歌は僕が通っていた喜多方小学校 けるかも」という志貴皇子の歌がある。 「石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりに 喜多方小学校のことを表しているなという思い い小さい滝があって、 さわらび (芽を出したば あとから思っ 出

# 最首 悟 さん #03

(さいしゅさとる)

1936年福島県生まれ。シューレ大学アドバイザー。元和光大学教授。東京大 学大学院で生物学を学び、長年同大学の助手を務めた。安保闘争などの学生運 動に携わり、水俣病などの公害問題に関わるなど、思想家としても有名である。 また、ダウン症であり、重複障害を抱える娘の星子さんとのかかわりから、「障 害児を普通学校へ全国連絡会」の運営委員(世話人)を務め、ケアをテーマと した数々のエッセイでも有名である。おもな著作に『星子が居る――言葉なく 語りかける重複障害を抱える娘との二十年』(世織書房)、『生あるものは皆こ の海に染まり』(新曜社)、など多数。

インタビュー日時:2016年5月17日

聞き手:加藤敦也 所:最首悟氏自宅

\*インタビューには丹波博紀氏(最首塾世話人)も同席されていた。

なりにける」喜多方、5月になっても雪があってね。わばしるたるみのうえのさわらびのもえいずるはるにかりのわらび)を採って、毎日の授業が終わる。「い

加藤 そもそも教授っていうか、普通に教育が成立し

## 長期欠席の経験

最首 僕は国民学校で3年間遅れたので、結局9年かかった。要するに学校がおもしろくない、つまらないから行きたくなかったのだろうね。本は読みたいし、決まりきった規律に従わなくて済むこともよかった。しかも「ぜんそく」の持病があったので苦しい。でも、しかも「ぜんそく」の持病があったので苦しい。でも、いわけじゃなかった。だから、それらを不登校と言われることもあるけど、不登校ということには入らないれることもあるけど、不登校ということには入らないれることもあるけど、不登校ということには入らないれることもあるけど、不登校ということには入らないれることもあるけど、不登校ということには入らないれることもあるけど、不登校ということには入らない。

に出ていたので、昭和9年生まれの姉が母親代わりに和24年にオヤジが死んじゃうのだけれど、母親は働き留守番という大義名分もできた。小学校の途中、昭

小学校5年生のときに3年間休んだけれど、再び行いうところに行くのですが、友だちはもちろんいなくた。そしてそのまま千葉県市川市にある国府台高校とかったから、その後の中学校3年間はあんまり行かなかったから、その後の中学校3年間はあんまり行かなかったから、そのですが、友だちはもちろんいなくいうところに行くのですが、友だちはもちろんいなくて、とうとう、ひとりぼっちになっちゃった。

なっていた弟も九段高校に行っちゃったので、私は国が都内の高校に行くのね(ずるをして)。同じ学年に卒業した人が、まあ大学を目指すとなると、ほとんどというのは、その当時、市川というところは中学を

とにして何とかクリアした。も高校は3分の1出ないとだめで、だから出席するこも高校にひとりで行かなくちゃいけなかった。しか

た、となっているだけね。登校とは言えないとは思う。ただ小学校9年間かかっそのような感じで、ちょっとふざけていたので、不

然にできるだろうという思いもあった。当たり前でね。友だちがいる状態は、大学に行けば自りちがっちゃうから、1人も友だちがいなくなるのはいうと、あまり苦痛でもないんですね。学年がまるきいうと、あまり苦痛でもないんですね。学年がまるきいうと、あまり苦痛でもないんですね。

# 長期欠席への周囲の目は教員の家庭訪問

**加藤** 最首さんの学校に行かなかった体験というの**加藤** 最首さんの学校に行かなかった体験というの

最首 まったく記憶にない。僕は3月ごろになると、よくぜんそくになったのね。というのは、新学期に学校行かなきゃいけないとなると、ぜんそく起こした気をもあるのよ。でもそのとき、学校はどうしたかというと、母親に聞いたこともないので記憶にない。だかうと、母親に聞いたこともないので記憶にない。だかっと、少なくとも、学校の先生が訪れてくることはいっぺんもなかったとは思うね。

か飛ばしてしまった期間があるんだよね。ハハハ。 にて昭和21~22年は千葉県の房総地域の興津小学校。 昭和23年4月から市川市の八幡小学校に通って、9月昭和20年までが喜多方小学校で、そのあと引越しを 昭和20年までが喜多方小学校で、そのあと引越しを

よりも戦後のほうが都会は飢えがひどかったねえ。だった。とにかく飢えは一番ひどかった時代。戦時中たかもしれない。まだまだ、全然秩序だってない時代だっだけど、学校も僕への対応どころじゃない時代だっ

加藤 その当時は、学校に行ってない子どもっていう

のは結構い

た?

最首 て暮らしているジプシーみたいな子どもたち、 から。地方に行けば「家船」があったしね。船に乗っ や戸籍が整備されておらず、戸籍がない子とかもいた それはいたでしょう。

働かざるを得ない子たち

ちがいた。

漁師た

八幡小学校の校庭であげたりしていたね。 たりしていたこと。それから凧あげに凝って、 ぜ道にある小さい流れで、老人趣味のタナゴ釣に凝っ おかしなのは、僕は、ぜんそくじゃないときは、 なぜか

加藤 学校行ってないときにですか

最首 くないよ、たまたまぜんそくが起こってないだけで」 と言い訳してたと思うんだけどね。そもそも、 おかしいよね、「おまえいいよなあ」って。 のガキ大将などが、 いいよなあ、学校来なくてって言われてた(笑)。 うん。それで、最初のうちは、休む前のクラス 休み時間になると出てきて、おめ だから「よ 薬もな

いから、ぜんそく起こすと大変だったし。

気に体が軽くなった。アドレナリンじゃダメなんです たと思うね。プレドニンという薬が入ってきて、 れない。プレドニンで大学に行く気にもなった。 よ。エフェドリンとアドレナリンじゃ全然体が解放さ ぜんそくから解放されたのは、中3のころからだっ

らしても、当時は長期欠席がありふれていたんだろう ごく自然に受けいれていたという。そのような経験か \* の雰囲気に関する語りである。 な、という。以下は最首氏が学校に戻ったときの教室 ん」というあだ名で呼ばれ、3歳年上の最首氏をごく 弟と同じ学年で通学を再開した。教室では「あんちゃ 最首氏は小学校在籍中、3年間の欠席を経て、

#### 後の 教室の雰囲気

加藤 当時の教室の雰囲気ってどうでしたか。

最首 学校に戻ったとき「あんちゃん」って言われ

そもそも崩壊しちゃってて、まだ立て直しできてない ういう意味では不登校という概念にはとうてい入らな が担任だったけれど、意外と何ともないんだよね。そ それをあんまり異常と感じないのが、当時の学校だっ 時代だった。 いよね。つまり、 しいじゃない。実際、弟が同じクラスにいるんだから。 小林先生という22歳くらいの先生になりたての人 教室の中で「あんちゃん」と言われるのっておか 要するに教育そのもの、 教育制度が

### および教員のよ戦後の学校教育 ようす

すか? 加藤 当時 (終戦後) の学校の先生は、 厳しかったで

若手がいたんだろうけど、全般的に教師という立場は、 最首 片方では意欲に燃えている、 ったい何なのかという疑問が強かったんじゃないか もうねえ、 教師としての自信がなかった感じ。 新しい学校づくりを担う

> いた一方で、逆に民主主義に燃えちゃっている人もい な。相変わらず戦前からのスパルタが混在しちゃって

る教育コースが、大学のなかになくなっちゃっていた した先生の教育を受けてないからだね。 んだよね。 一般的に自信がない先生が多かったのは、ち 先生を養成す や んと

外に連れ出して一日中蟻の観察させる、そういう日が とくに男の先生が(戦争によって)いなくなっちゃっ ていいかわからないので、 育となると、それがない。ぼくが好きだった代用教員 分の権威がなくなっちゃっていた。昭和21~22年は、 記されているけど、今から思えば、そういうのが一番 の女の先生は、石牟礼道子さんのような人で初恋の人。 国教育から免れているところはあるけども、新しい教 ていた。女の先生が代用教員になっていて、 昭和22年は旧態依然で、学校教育だけども教師は自 安野光雅という挿絵画家の回想記を読むと、どうし \$ (笑)。 今日は蟻の勉強をしようと つまり皇

**最首** そういう意味じゃ牧歌的だよね。だって、歴史

不登校 50 年証言プロジェクト

東大の英語の先生だった中野好夫の、1946年東大の英語の先生だった中野好夫の、1946年前ないいと、そこまで教師はダメなのかっていう。でも、そもそも教師は自分で考えちゃいけないので、しょうがないところがある。ほんとうの混乱の極みだった。

# レジスタンスとしての不登校娘さんの就学をめぐる問題

と、養護学校の先生が巡回に来たけどもそれを断った 山市の教育委員会から養護学校への通級要請が来たの 子さんが小学校入学の年齢を迎えたときに)埼玉県狭 ・\*\*。 山市の教育委員会から養護学校への通級要請が来たの ・\*\*。 はいての話に移りますが、

> 最首 断った。あれはね、要するに星子の就学免除の 最首 断った。あれはね、要するに星子の就学免除の した とたんに普通学校への道が閉ざされるから、出さな とたんに普通学校への道が閉ざされるから、出さな とたんに普通学校への道が閉ざされるから、出さな

そのものへの疑いにつながっていくわけ。 あくまでも普通学校へ行ける道を確保したくて、 あくまでも普通学校へ行ける道を確保したくて、 あくまでも普通学校へ行ける道を確保したくて、 あくまでも普通学校へ行ける道を確保したくて、 あくまでも普通学校へ行ける道を確保したくて、 あくまでも普通学校へ行ける道を確保したくて、

一つの単一基準を設けていろいろやりだすのは、そんで、寺子屋以上に発展しない幕藩体制のなかで、それはどこもぞれの藩がそれぞれの私学を持つけど、それはどこもぞれの藩がそれぞれの私学を持つけど、それはどこもで、寺子屋以上に発展しない幕藩体制のなかで、それで、寺子屋以上に発展しない幕藩体制のなかで、それで、寺子屋の収まっていたわけじゃない。

と。浪人はやっぱり秩序乱してるわけだよ。大学に入 会の秩序を乱してるわけで、だから不登校は、そうい れない人が、もう1回チャレンジしようなんてのは社 浪人観が変わったんだよ。なんで大きな顔してんだよ 持ってない。だから浪人共闘なんてできたそのときに もんな、やっぱり。秩序乱してるんだもん。国賊的だ は本人はまったくそう思ってなくても、反逆・反乱だ につながってくる話だと思うのね。不登校っていうの れるけど、それに抵抗し続けた人々=不登校の気持ち を収めさせ、学校に来させ、という苦労ばかりが語ら なになじむわけがない。近代化となると、いかに税金 かのぼっていける。 う秩序乱しだから、 もん(笑)。そういう見方はずっとあったんじゃないか。 たとえば浪人生っていうのは、ちゃんとした資格は 秩序乱しとなれば、根はずっとさ

ら、西欧列強の尻馬に乗りながら近代国家づくりをすすごい賠償金とったんだよね。そういう侵略したかいも侵略を開始しながら国家の基礎になったか。あれはとくに日本では急激に近代国家をつくりあげて、しとくに日本では急激に近代国家をつくりあげて、し

よね。

ジスタンスそのものの問題だからね。
当大きな問題。「不登校」なんて軽々しい問題じゃな当大きな問題。「不登校」なんて軽々しい問題じゃないんだよね。一言でいえば、権力的規制への抵抗、レいんだよね。一言でいえば、権力的規制への抵抗、レいんだよね。

# 自己否定の文化と不登校

加藤 イギリスやアメリカにおける教育問題とか、子

味で自己否定愛好の伝統があって、どういうふうに戦よりは、私ダメなのよというほうが好き。そういう意る。つまり自己否定好みなんだよ。俺が俺がっていうが否定されていくために起こる葛藤に回帰しようとすの特殊性のなかに自己否定があると思うのね。特殊性の特殊性がすごくあるでしょう。ぼくはそ

題と絡むのかを考えちゃう。 後民主主義教育の自己肯定感やアイデンティティの 問

ている。 気がつかないで無意識に苦しんでいる。そういう傾向 うしてもなじまないことに気がついちゃう。 から孤立文化としての日本の伝統に根ざしたところと を置いて自分のあり方を見る視点が続いていた。それ 明治時代以来のいろんな傾向であるけど、西欧に基準 肯定の問題で、 ソン、アイデンティティ、人格を受けいれるけど、ど の摩擦のようなもの。そこが強いために、西洋的なパー から入っている。 究でも、結局は、基本はアイデンティティとか自己 僕がアド 今でもあまり自覚化されないけど、少し現れてき バイザ 自己肯定が自分はできなかったところ つまり基準は西欧にあって、 -をしている、 シュー レ大学の自己 あるいは それは

どりつかない。だから当然ながら、 ティティそのもののあり方が、 つまり人間はなかなかアイデンティティそのものにた 展開は、人間という変なネーミングの人だからね、 つまり集団化そのものの基礎、根っこ、アイデン 西欧とちがう。 ひとまず集団化に 今の私

> どうもそれが根づいていない。 戦後、進歩的文化人の啓蒙というのが始まったけど 集団化に対して、アイデンティティ、 なるわけで、そこに近代国家がくっついたところで、 1945年まで押せ押せで破滅することになった。 個人をかざして、

ちゃうわけ(笑)。それをさ、 れて、整然とした軍隊を基礎とした近代国家をつくる えできない人たちが、スウェーデン体操とかを採り入 常に戻しましょうっていう。明治時代以来、スウェー まだいろいろちゃんとしてる。つまり逆説的にとらえ てくれたみたいな感じはあるわけね(笑)。 どめられない。まあ、ある意味では、みんなよくぞやっ 不登校をするのがちゃんとしている人なんだよ。 性もあるけども、 なんてこと自体が無理なんだよ。それに従っていく特 の隊形をとって、みんなと足や手を挙げて歩くことさ デン体操なんかを採り入れたりする。 ると、ちゃんとしてるから不登校なんだよなって言っ 要な課題で、それで押しとどめようとしたって押しと だから不登校というのは、ものすごく根が深くて重 本来は自分らしさを保とうしたら、 ダメだダメだとか、 つまり、 やっぱり、 ひとつ

なんていうと怒られちゃった(笑)。

加藤 誰に怒られたんですかっ

最首

13 Þ いや、

みんなに。

それこそ日教組なんか、

の理科教育の分野の関わりだから、

不登校問題に関わ

不登校は当然ダメ。さいわいこっちは分裂後の日教組

て、 ど。 ころがあるけれ 代派から眉をひ すっと、 そめられちゃっ らずにすんだと 造反派にさ でも、そう もう近

あるんだよ。そ 校っていうのは としてる不登 のことでどれだ だからちゃん

> ಕ್ಕ ティがないこと自体まともなんだよな ンティティがあるなんてのはさ、ふりをしてるだけで が見えてくる。まあ、そもそも、自分にはアイデンティ していくことによって、 しいんだけど、その苦しさの中身を、 いろんなことが是正されるか。本人たちは、それは 自分は本来まともであること (笑)。アイデ ある程度整理

れたうえで自己を規定しているのかという問 を、自己否定という。 入れているんじゃないかと思う。それを自分が受けい ちゃう。 よね。でも、 させて個人になろうというのも自己否定になるわけだ つまり自己否定というのは、自分の存在をはっきり それはいろんなふうに中途半端な規定を採 片方で自分はこうなろうと自己規定をし いと疑

先生の言うことを聞いて、 ずは毎日学校に行って、おはようございますといって ここらへんになると不登校そのもの わかりますかって言われた 0) 吟味だね。ま



註

る。 あると言われます」(芹沢俊介・村瀬学・清水真砂子・最首悟・小浜逸 身も講演録のなかで「『天皇は神である』ことを一番信じた年齢の子で 国民」を育成することとなった。1947年に廃止。なお、 皇絶対・国体信仰主義」という思想に基づき、戦争体制を賛美し、ゆ 210)と指摘している。折しも国家総動員法のもと、教育の目的は、「天 為に死して悠久の大義に生きる国民を作ること」(山中恒、 国民学校令の第1条は「国民学校は皇国の道に則りて初等普通教育を くゆくは国家のために戦闘行為で命を犠牲にする規範意識を持った「少 『子どもたちの太平洋戦争 山中恒は、皇国民の錬成とはすなわち、 1 9 8 6 国民学校令は昭和16年(1941年)2月28日に公布された。 国民の基礎的錬成をもって為すを以て目的とす」となってい 『家族の現在』大和書房:127)として世代経験に言 国民学校の時代』岩波新書 : 209 「天皇に帰一し天皇のおん 最首氏自

教育勅語を読みあげるまでの儀式(天皇が写った写真である「御真影」か「一恒のまとめによると、「戦前戦中のこの国(日本社会)の教育に関山中恒のまとめによると、「戦前戦中のこの国(日本社会)の教育に関山中恒のまとめによると、「戦前戦中のこの国(日本社会)の教育に関山中恒のまとめによると、「戦前戦中のこの国(日本社会)の教育に関山中恒のまとめによると、「戦前戦中のこの国(日本社会)の教育に関山中恒のまとめによると、「戦前戦中のこの国(日本社会)の教育に関山中恒のまとめによると、「戦前戦中のこの国(日本社会)の教育に関いている。

尿意を催した子どもが失禁することも多かったという。子どもは直立不動の姿勢で教育勅語および校長訓話を聞かねばならず、みあげ、校長訓話など多岐にわたるものであった。朝礼の時間中は、への敬礼に始まり、教育勅語の入った箱への敬礼など)、教育勅語の詩

。 最首氏は講演録のなかで長期欠席の経験を次のように述懐して

「傷を受けたということに関係があるといえば、昭和十八年に国民学「傷を受けたということに関係があるといえば、昭和十八年に国民学であった。二十九か三十かという年齢です。とても十一年生まれのようには生きてこなかった。」(最首 1986:128)。また、不のようには生きてこなかった。」(最首 1986:128)。また、不のおいは生きてこなかった。」(最前 1986:128)。また、不のおいは生きてこなかった。」(最前 1986:128)。また、不のおいは生きてこなかった。」(最前 1986:128)。また、不のおいは生きてこなかった。」(最前 1986:128)。

を抑える薬である。\* 4 プレドニンとは、副腎皮質ホルモン剤(ステロイド)で、炎症

かったため、教育委員会の要請を断った。ただ、著書では「公教育に抱えている。最首氏は子どもを普通学級に通わせたいという意思が強星子さんは1976 年生まれであり、ダウン症など重度の重複障害を\*5 最首悟、1984、『生あるものは皆この海に染まり』新曜社。

動もしくは公害問題に関わった思想家たちとキーワードが頻出する。携わった者としても有名である。インタビュー中の語りでは、学生運動に\*6 最首氏は、日米安保闘争、東京大学の全共闘など、学生運動に

する文明であると説明されている。に用いた言葉である。孤立文明とも言い、日本の場合、一社会で成立ンがその著、『文明の衝突』において、日本文明の特徴を説明するため\*7 孤立文化とは、アメリカの政治学者、サミュエル・ハンチント

る論考)、弁証法的否定など、思想史に連なる概念をも含む。でも語られているが、ニーチェの自己肯定に関する議論(超人に関す否定が始まるという。なお、最首氏のいう自己否定は、インタビューのように」見せかけて、その欺瞞に生徒が気づくことによって、自己のように」見せかけて、その欺瞞に生徒に主体性や自由がある「か

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #03 最首悟さん

インタビュー日時:2016年5月17日 記事公開日:2016年9月14日

場 所:最首悟さんご自宅

聞き手・文責:加藤敦也、編集:須永祐慈

写 真:加藤敦也撮影 (2p)、シューレ大学提供 (11p)

#### #04 小沢牧子さん

口

ッ

ハテストの研究分野は未開拓でし

屮

当時の専門はロールシャッハテストですか?

シャッ 時は成人のテスト結果についての研究が中心で、 沢 ハ研究の開拓者のひとりがいらしたんです。 研究所に片口安史さんという、 日本のロ

当 ル

小沢牧子さん #04



屮 出会ったあたりの経緯から、うかがいたいと思います。 小沢さんが 「心の専門家」として、 「不登校」に

校恐怖症に関する研究」という論文を出していますが 国立精神・神経医療研究センター)の研究生になり その第2弾に関わったということです。 ムでは、精神科医の鷲見たえ子さんたちが60年に こで学校恐怖症の研究チームに入ったんですね。「い ました。私が配属されたのは児童精神衛生部で、そ 業してすぐ、 965)という論文に関わりました。この研究チー ゆる「学校恐怖症」に関する研究」(玉井収介ほか 慶応大学の哲学科心理学専攻というところを卒 1 9 6 0 年に国立精神衛生研究所

> 屮 どういうテストですか

見ながら解釈仮説をあてはめていく作業をしていまし 小沢 ね。恥ずかしながら。 のおかしさに、最初はまったく気づいてませんでした されるのか、まったくわからない。 門家の側が複雑な評価尺度と解釈仮説を持っていて、 ね。それ自体は無意味なんですが、それをクライエン 一方的に解釈していくわけです。相手はなぜそう解釈 トに見せて、 して広げると、シンメトリーな図柄の染みができます 60年代はロールシャッハを含む性格テスト研究が 紙の上にインクを落として、それを2つ折りに 何に見えるかを言ってもらうんです。 一生懸命勉強して、手引き書を その一方的な関係

ち込んでいました。 えられるかたちで、 自分が関心を持って始めた面もありますが、 た。それで、 児童部にいた私に声がかかっ 生懸命、 技法の習得と研究に打 たんです。 課題を与

ルマン・ロールシャッハによって考案され、 ハテスト 性格テストのひとつ。スイスの精神科医へ 1921年に出版された

#### (おざわ・まきこ)

1937年北海道生まれ。大学と研究機関で心理学を学んだのち、心理相 談の仕事を通して心理学の理論と実践に疑問を抱き、臨床心理学の点検 と批判の研究を続ける。もと和光大学非常勤講師、国民教育文化総合研 究所研究委員、日本社会臨床学会運営委員。不登校新聞にも創刊時より、 論説の執筆などで関わってきた。著書に『心理学は子どもの味方か?』(古 今社)、『心の専門家はいらない』(洋泉社・新書 y )、『学校って何 ——「不 登校 | から考える』(小澤昔ばなし研究所)、『子どもの場所から』(同)、『老 いと幼なの言うことには』(同)など多数。

インタビュー日時:2016年6月13日

聞き手:山下耕平、栗田隆子

場 所:小澤昔ばなし研究所(神奈川県川崎市)

急速に盛んになっていました。

なっていたんですね 学校恐怖症が問題になった時期と、ちょうど重

所でしたから、 神科医、心理の専門家の関心を集めていた分野で、当 小沢 生の女の子で「貴重な症例」という感じで見られてい 城県から何時間もかけて通っていました。小学校3年 れてくるんですね。私が最初に会ったMちゃんは、茨 相談所や教育相談所などから、学校恐怖症の子が送ら テーマのひとつとして、症例を集めていました。児童 ていました。 てね。1年ほど、 そういう子はめずらしかったんです。国立の研究 重なっていましたね。学校恐怖症 児童精神衛生部は学校恐怖症を研究 週1回会って、 プレイセラピーをし は、とくに精

屮 プレイセラピーというのは

小沢 口 ジ ヤ ズという心理療法家の立場に基づ\*\* V

> を中心とした療法で、大人の治療ですね。それに対し ていました。不登校研究の初期の時代です。 セラピーを担当して、学校恐怖症の子の治療にあたっ テストと治療というのが臨床心理学の2本柱で、ロー る治療を行うのが、当時学んだプレイセラピーです。 した。ロジャーズの来談者中心療法というのは、 します。私は子どものロールシャッハテストとプレイ ルシャッハは心理テスト、プレイセラピーは治療に属 て、子どもにロジャーズの理論を適用した遊びによ の代表的研究者のひとりである、佐治守夫さんがいま た、子どもの心理療法です。研究所には、ロジャ ーズ

意味なインクの染み図形を見せて、見えたものを「自 んでい をした欺瞞」に、居心地の悪い思いをどこかで持って 由に」言ってもらいます。しかし場面の性質から言っ るというのが基本です。ロールシャッハテストは、 相手はもちろんですが、自分自身も、 て、「自由に」というのは言葉上に過ぎませんから、 プレ いよと言い、治療者はそれをそのまま受けとめ からは何も指示せずに、子どもに「自由に」遊 イセラピーは、玩具や画材などのある部屋で、 その「やさしい顔

いましたね

屮 でいるのを観察するんですよね? ときには、マジックミラー越しに子どもが遊ん

くのね。それはとても申し訳ないというか、のぞき見 は抑え込んで研究に打ち込んでしまっていました。 すね。折々に変だと思うことはあったんですが、それ 抗感は抑え込まないと仕事や研究が続けられないんで は子どもに失礼だなと思いました。でも、そういう抵 をトントンと叩いて、「この鏡ってなあに?」って聞 こっちから一方的に見ている。 あって、一方的に観察するのが、とってもイヤだと思 小沢 いましたね。向こうは見られているのを知らないで、 そうです。それには最初からすごく抵抗感が あるとき、子どもが鏡

屮 時期と、精神科医療の分野で児童精神科をつくろうと していたのとは同時期になりますでしょうか。 臨床心理の分野で児童向けの療法を始めてい た

> 神衛生部は研究所の設立時(1952年)からありま 辺位さん(児童精神科医・故人)にも会っています。 当時、国府台病院の児童精神科で、若かりしころの渡 タイルを採り入れてつくっていたと思います。児童精 が確立していて、国立精神衛生研究所もアメリカのス ね。アメリカでは、Child Psychiatry(児童精神医学) 行ってましたからね。 ときどき病院に研修やロールシャッハテストのために した。研究所は国立国府台病院と同じ敷地でしたから、 小沢 並行してアメリカから輸入されたのでしょう

屮 の問題で、 学校恐怖症の当時のとらえ方は、 母子分離不安といった見方ですよ 基本的に家族

もを観察しながら、ちょっとした行動を解釈理論にこ 心、私が勉強していたころはその一色でしたね。子ど いません。家族の問題、しかも母親との分離不安が中 小沢そうですね。当時、 学校の問題はいっさい出 7

だから何とでも言えてしまうわけです。じつけて、「やっぱり分離不安がある」とか。一方的

ですか? 山下 心理職として働いていたのは、どれほどの期間

小沢 研究所の心理学者、玉井収介さんの紹介で、66年に千代田区立の教育相談室に入ったのが最初でした。もうひとつ、私立学校の教育相談室にも行っていました。その後、70年にダンナがドイツに行くことになって、そのときに研究所も教育相談室も辞めて3歳と5歳の子ども連れで同行したので、それまでの5年と5歳の子ども連れで同行したので、それまでの5年と4年です。『子どものロールシャッハ反応』(日本文化科学社/1970)という本を書き上げてから渡航したのを覚えてます。

## 気づいたことドイツに行って

ひとつには、職場を離れたことで、自分が抑え込んドイツに行って、気づいたことがたくさんありました。

でいた疑念を見つめることができた。そして、ドイツの学校は、日本とあまりにも大きくちがったんですね。うが小学校生活を経験しましたが、ドイツの小学校は、日本とあまりにも大きくちがったんですね。 遅れてくる子も早く帰っちゃう子もいる。 それがふつうなんです。「〇〇ちゃんは今週は家族で旅行がふつうなんです。「〇〇ちゃんは今週は家族で旅行に行っているのでお休みです。来週に旅行のおはなしを聴かせてもらいましょうね」なんて、先生が言っている。 学校は行かせられるところでんです。

入学式というのはなくて、校庭に「わたしのはじめ入学式というのはなくて、校庭に「わたしのはじめての学校の日」というボードの前で個々に写真を撮っいう名の大きなとんがり帽子を親からもらうのですが、その中には、たくさんのお菓子が鉛筆やクレヨンが、その中には、たくさんのお菓子が鉛筆やクレヨンではまったくなくて、気軽に楽しく通うところというではまったくなくて、気軽に楽しく通うところというではまったくなくて、気軽に楽しく通うところというではまったくなくて、気軽に楽しく通うところというではまった。

# 栗田 公立学校ですか?

小沢 公立学校です。先生は、「今日は天気がいいか



小学校入学の子どものようす 帰って、

とか、 生徒も先生も 昼になったら 少し早いが、 んです。朝は 勉強は少ない に行く。一斉 ら先生に聞き ころがあった わからないと 強していて、 きなことを勉 的に自分の好 生徒も、基本 調子ですし、 そんな

は閉まってしまう。高校まで、学校は昼までの半日では閉まってしまう。高校まで、学校は昼までの半日ですから、かを発見させたり。ただ、一方では、小学校4年生でみを発見させたり。ただ、一方では、小学校4年生で職業を目指すコースに行く子と上級学校に行く子は進路が分かれてしまう。そこは、日本とはまた別の問題路が分かれてしまう。高校まで、学校は昼までの半日でがありますが。しかし小学校低学年の子にとっては、学校には充実した遊びを楽しみに行くわけですから、学校には充実した遊びを楽しみに行くわけですから、学校には充実した遊びを楽しみに行くわけですから、子どもは学校が大好きでした。

山下 何年ぐらいドイツにおられたんですか?

で、2年くらいですね。 小沢 73年のオイルショックのころに帰ってきたの

関係では、どういうことだったのでしょうか?とうかがったことがありますが、ドイツ滞在時期とのとすが、日本でお子さんが幼稚園に行きたがらなかった

小沢 上の子は、ドイツに行く前に日本の幼稚園に

抵抗して、それを無理やり通園バスに押し込めて行か抵抗して、それを無理やり通園バスに押し込めて行かいうときに強引に出すと、行くようになるんです。子いうときに強引に出すと、行くようになるんです。子どもがあきらめるわけです。それを「幼稚園に適応しどもがあきらめるわけです。それを「幼稚園に適応しどもがあきらめるわけです。それに毒されていたんです。子どもがあきらめるわけです。それに毒されていたんですが、入園はじめのころ、行きたがらずれえ」と謝りましたけれども。

更田 謝られたとき、お子さんのほうは、どうおっ

**小沢** ちゃんと覚えていて、「いいよ別に」って笑っ

て聞いたら、行っても、やらされることが多くてつま幼稚園を辞めたい」と言ったんです。「なんで?」っの3カ月くらい前に、「学校に行くようになると、ずっの3カ月くらい前に、「学校に行くようになると、ずっの子は、ドイツから帰ってきてからですが、卒園

らないって言う。そのときは私の毒も落ちていたんでらないって言う。そのときは私の毒も落ちていたんでの仲良しの子も誘って、いっしょに辞めちゃったんでの仲良しの子も誘って、いっしょに辞めちゃったんでのけ良しの子も誘って、いっしょに辞めちゃったんでのが節約になるよね」とか言う、のんきな人でした。そうしたら、幼稚園の園長さんに、「こんなことでそうしたら、幼稚園の園長さんに、「こんなことで

になりました。

なりましたら、幼稚園や学校について考えるネタを言われたんです。この大げさな言葉にはびっくりし辞めさせたら、あなたもお子さんも一生後悔しますよ」

時期というのは、意外と短いんですね。 栗田 そうすると、心理学に疑問を持っていなかった

職場、知識や技術、身につけたものを、いきなり放りると研究や相談の仕事をしていました。せっかく得たとした潔い話ではないんです。80年ごろまではずるず小沢 そうかもしれません。でも、そんなにキッパリ

話してほしいと声をかけてもらい、77年から和光大学時部でカウンセラーをしたり、いくつか非常勤の職中等部でカウンセラーをした。何ごとにつけ、私はわかりが遅いんですよ。とっても時間がかかる。これは何だろう、やっぱり変だなと迷いながら、7~8年は、だろう、やっぱり変だなと迷いながら、7~8年は、だろう、やっぱり変だなと迷いながら、7~8年は、だろう、やっぱり変だなと迷いながら、7~8年は、だろう、やっぱり変だなと迷いながら、7~8年は、だろう、やっぱり変だなと迷いながら、7~8年は、だろう、必ずできませんでした。帰国後は、青山学院の出すことができませんでした。帰国後は、青山学院の出すことができませんでした。帰国後は、青山学院の出すことができませんでした。帰国後は、青山学院の出すことができませんでした。

**山下** 和光大では臨床心理学の講座を受け持たれたん

で非常勤講師をするようになりました。

が固まっていったところがあります。 に突っ込まれ、厳しい討論をしながら、だんだん考えに突っ込まれ、厳しい討論をしながら、だんだん考えに突っ込まれ、厳しい討論をしながら、だんだん考えに突っ込まれ、厳しい討論をしながら、だんだん考えに変った。 は、まだ、迷うような感じで始めてます。そこを学生は、まだ、迷うような感じで始めてます。 とこを学生は、まだ、迷うような感じで始めてます。

# 「母性」は男目線心理学の言う

感を持たれたようなことはなかったのでしょうか? 山下 出産を機に、心理学の母親に対する視線に違和

小沢 心理学が女性についてけしからんことを一方的に言っていることに、子どもを産んで気づいたということはあります。「お母さんはふつふつと母性愛が湧いて」とか、書いているのは、みんな出産体験のないのでしょう。母性とか親子関係について、心理学は男が都合のいいことを書いている。

ぱい聞いて、みんな同じなんだと。私自身、最初の子をで、この子を愛せるか悩んだ」とか、そういう話をいっきぞっとした。大嫌いなおしゅうとめさんにそっくりまんて湧いたのか? そこで、「子どもの顔を見たとなんて湧いたのか? そこで、「子どもの顔を見たとなんて湧いたのか? そこで、「子どもの顔を見たとなんて湧いたのか? そこで、「子どもの顔を見たとなんです。どうして女性問題に目覚めた私は出産してから、突如として女性問題に目覚めた

からない理不尽さは何なのか。 いったい母性賛美みたいなものはどこかだろう、と。いったい母性賛美みたいなものはどこかだろう、と。いったい母性賛美みたいなものはどこかにはいかないものだろうか」とすら感じたんです。こを産んだときにはとても不安で、「この子を返すわけ

たんでしょうか? 栗田 当時、女性学やフェミニズムとの出会いはあっ

小沢 ぜんぜん出会ってないんです。60年代後半のことでしたしね。70年代に入って、『現代子育て考』編集委巻本(1975~1980「現代子育て考」編集委員会/現代書館)に出会ってないんです。60年代後半のこれました。これは今でも愛読書です。

そこにある力関係への問い直しを、いろんな局面でさト、大人と子ども、先生と生徒、親と子、男性と女性。対称性への違和感ですね。心理の専門家とクライエン山下 ここまでのお話に共通しているのは、関係の非

れてきたんですね。

小沢 そう言われれば、そうですね。子どもと大人の小沢 そう言われれば、そうですね。子どもと大人の世関係については、自分が人とちがっているという自覚関係については、自分が人とちがっているという自覚関係が好きなんですね。あまり意識はしてませんでしたが、それは自分が治療者として子どもや親に対して権力的な関係を持っていたことから足を洗いたかって権力的な関係を持っていたのかもしれないですね。

で、親子の力関係に気づいた面はあるわけですよね?山下 しかし小沢さんも、上のお子さんのときの失敗

親はいろいろな無礼を許してもらっている。をやるだけでご苦労さん、えらかったねって思います。のに、元気に育ってくれて、ほんとうにありがとうとという感じがあります。こんなバカな親で迷惑かけたという感じがあります。こんなバカな親で迷惑かけたという

本自身と親との関係を考えた場合も、私は2番目 を思える素地になったんだと思います。「おかしいな」 という直観は、私にとって、すごく大事なものです。 という直観は、私にとって、すごく大事なものですが、 とっても自由にされていました。 そういう育ちをした とっても自由にされていました。 そういう育ちをした とっても自由にされていました。 そういう育ちをした という直観は、 私は2番目 という直観は、 私は2番目

# 不登校運動「どの子も地域の学校へ」と

小沢 そうですね。そこで、自分が不登校の子どものは、なんが沢 そうですね。そこで、自分が不登校の子どもの

こう、整理していこうとしてきました。ら、自分がやってきたことのまちがいを考え続けていておかしいことをやっていたのかと気づいた。それか

70年代後半になると、心理学の解釈理論や「されるでいました。それで、篠原睦治さん、渡部淳さんはじていました。それで、篠原睦治さん、渡部淳さんはじていました。それで、篠原睦治さん、渡部淳さんはじめ、当時の日本臨床心理学会の人たちと付き合い出すようになったんです。だけど、臨床心理学会は私にとってすごく過激でおっかなくてね(笑)。ちょっと近寄りがたくて、しばらくは遠巻きにしていました。学会に入ったのは80年代に近くなってのことです。そして、に入ったのは80年代に近くなってのことです。そして、に入ったのは80年代に近くなってのことです。そして、の後、93年の社会臨床学会の立ち上げにも関わっていの後、93年の社会臨床学会の立ち上げにも関わっているました。

# 山下 臨床心理学会では、不登校については?

小沢 臨床心理学会がずっと取り組んできた課題のひ小沢 臨床心理学会がずっと取り組んできた課題のひとつは、「どの子も地域の学校へ」という運動でした。別に排除されているわけじゃないのに、選択の自由とか、そ いう話ではないでしょう、と。

立ち消えていったところがあったと思います。 のは、85年総会のシンポジウムです。「公教育を見限のは、85年総会のシンポジウムです。「公教育を見限のだったら、別に休んでいればいいんじゃないという
域の学校に行こう、という問題と、学校に行かれない
域の学校に行こう、という問題と、学校に行かれない
はの学校に行こう、という問題と、学校に行かれない
はの学校に行こう、という問題と、学校に行かれない
はの学校に行こう、という問題と、学校に行かれない
はの学校に行ころがあったと思います。

済社 1986)という本で、初めて章をひとつあげいて発言し始めました。『子ども差別の社会』(労働経私は臨床心理学会とは別に、自分で不登校問題につ

るからこそ、 自分がいったんそれを信じて否定していった経過があ ているから、それがいかに専門家に都合のいいように た。それは許しがたい。私は心理学の解釈理論を知っ 臨床心理学は登校拒否は病気だという診断カテゴリー したりしながら、80年代まで来ています。 校恐怖症でしたから、それをずっと点検したり、 た。私が心理学の世界に入って最初に出会ったのが学 つくられたものであるかを言える立場にありました。 に親子にあてはめる傲慢さ、理不尽さ、無礼さがあっ は専門家の側がつくった論理であって、 を用意していた。母子分離不安、自我の未成熟、 した。病気ではなく社会問題である、 るのは、「登校拒否を病気と考えるな」という問題で 私のなすべき役割があると思っていまし と。精神医学・ それを一方的 それ

て、拒否反応が起きている。だから、学校過剰、大人の都合を子どもに押しつけることが限界を超えていしての自然な拒否反応だと書かれていましたね。大人山下 『子ども差別の社会』では、不登校は生き物と

# の支配過剰を押し返すことが必要だ、と。

小沢 そう思ったのは、ドイツから帰ってきてすぐなかかりましたね。いまは親が問題だというところに来がかかりましたね。でも、いまはちょっと、ちがってきましたね。いまは親が問題だというところに来

### 親が問題?

# 山下 親が問題だというのは?

それは、そこに親の側の学校依存、国家権力依存を感たんです。折々に感じる、これはちがうなという印象。登校の運動には何か引っかかるところが、ずっとあっ小沢、これも、いまになって言葉になるんだけど、不

じていたんだと思います。

今回、教育機会確保法案の展開で、それがかたちに今回、教育機会確保法案の展開で、それがかたちにている。フリースクールを制度として認めてもらいたい、とい、子どもを不利な目にあわせないでもらいたい、といというか、そこを避けている。きちんと対峙する気いというか、そこを避けている。きちんと対峙する気持ちがなければ、運動なんて実っていかないですよ。

に、まっすぐ向き合えばよかったんだと思います。とノーって言ってる。そこで親も、子どもといっしょイヤなんだということで、単純です。子どもはちゃん子どものほうはわかるんです。学校が苦しいんだ、

期待する声もあった。 これにより、 常国会に上程された。しかし、審議にはかけられないまま見送られ、2016 年 8 月現在、 に相当する普通教育を十分に受けていない者に、多様な普通教育の機会を確保すること」を目的とし、対象は、年齢、国籍を問わないこととされた。 教育機会確保法案:2015年5月、 フリ ースクール、家庭学習、 しかし、 反対や慎重論の声も多く、2015年の通常国会では上程が見送られ、大幅に変更された案が20 夜間中学校や外国人学校などを含め、多様な場が教育機会として認められ、経済的支援がなされると 超党派の議員連盟により提案された法案(座長・馳浩議員)。不登校児童生徒など「義務教育段階 「継続審議」扱いとなっている。 16年の通

て書いています。私の不登校問題との関わりの軸にあ

うことですね。 合っている学校や国家、社会とちゃんと向き合うとい するとでする。

動を7年ほど重ねるなかで、そのことを実感しました。題にできなかったんだと思います。学校教育というのは、国家権力がむきだしになっているところです。腹は、学校権力を相対化でき、力が湧いてきて、楽になるはずなんです。私は70年代に地域の親たちといっしょに「さんすう教科書をしらべる父母の会」という活しょに「さんすう教科書をしらべる父母の会」という活しょに「さんすう教科書をしらべる父母の会」という活した。

られなかったことを責められてきたわけですよね? というのは、同じ「親が悪い」と言うのでも、ちがうというのは、同じ「親が悪い」と言うのでも、ちがうと、小沢さんが、親が権力に依存しているから悪いとと、小沢さんが、親が悪い」と言われてきたこ 栗田 専門家によって「親が悪い」と言われてきたこ

小沢 国家権力は親が悪いという。親は、逆に「ムリ

くて……。 くて……。

山下「悪いって言わないでほしい」となってしまった?

では出口はないです。 そんな甘えたことを言っても、それ

山下 しかし、親が責められてきたなかで、そういう山下 しかし、親が責められてきたなかで、そういう軸になるものは必要だと思います。小沢さんにしても、ドイツに行って、要だと思います。小沢さんにしても、ドイツに行って、で理職から引いて、国外に出たから、見えてきたこと心理職から引いて、国外に出たから、見えてきたことがあるわけでしょう。そういう軸になるものは必要だと思います。でも、その軸が救ってくれるわけではないし、国家権力の外に逃げられるわけではない。

本いで来ちゃったんだと思います。 もしれないけど、力が湧くし、気持ちいい。それをしもしれないけど、力が湧くし、気持ちいい。それをしもしれないけど、力が湧くし、気持ちいい。それをしいがでいた。 別の軸もまた、国家の中なのよ。緊張関係をつい、

今回の法案ですが、権力の側は喜んでるわよね。不今回の法案ですが、権力の側は喜んでるわよね。不能言見の共学運動がずっと言ってきたことです。それなのに自分たちから分けてほしい、選ばせてほしいななのに自分たちから分けてほしい、選ばせてほしいなんて、どういうことでしょうか。

# 恥ずかしい言葉「選ぶ」って

こでネックになるのは「選ぶ」というキイワードです峙する問題という面もあったと思います。しかし、そ 山下 不登校というのは、学校を問う問題、学校と対

と表明されてきたと思いますが。ね。小沢さんは、「選ぶ」という言葉への違和感をずっ

小沢 「選ぶ」という言葉は消費社会の言葉で、とてもこしいと思います。「選ばせて」なう言葉はとっても正しいと思います。「選ばせて」なう言葉はとっても正しいと思います。「選ばせて」なんて、権力の思うツボです。

生んできた文化を否定しているわけではないんです。は、不登校運動の勢いの成果でしょうね。そのの成果は、おおいに認めてます。だから、不登校新聞にもずっと関わってきたし、この運動はどこへ行くのいうのは、不登校運動の勢いの成果でしょうね。そのいうのは、不登校運動の勢いの成果でしょうね。そのいうのは、不登校運動の勢いの成果でしょうね。そのいうのは、不登校運動の勢いの成果でしょうね。その

選ぶといっても、それは親なのか、子どもなのか。子ですね。選び・選ばれる関係にある。また、こちらがだけではなく、国家がこちらを選ぶことと裏腹なわける。 というのは、こちらが選ぶ主体である

わけですからね。そこも大きな問題のように思います。とはないですし、第一、財布のひもは親が握っているどもが選ぶといっても、親の顔色を見ないで選べるこ

小沢 それは親でしょうね。おけいこごとをさせてい小沢 それは親でしょうね。親は子どもに対して権力者もは親の気配を察して従っているだけで、選んでいるだから。それをおいて「子どもが選んでるんです」「子どもがだから。それをおいて「子どもが選んだ」なんてね。親っていうのは、私を含めてずるいんです。

**栗田** 女性の労働問題に関わっていても、お母さんの おというお面で生きるのではなく、「私」で生きるというのは、すごく勇気がいる。´○○ちゃんのお 母さん´でいるほうが楽なように、制度も、主婦であることが有利であるようにできていますから、それを ることが有利であるようにできていますから、それを しりぞけて社会と向き合うのは大変です。

> 小沢 不登校の問題にかぎらないですけれどね。子ど もがせっかく「親をやめて自分になりなよ」と言って くれているのに、それを聞かないで来ているのでは。 いろんなことを子どもに突きつけられることで、私 も助かってきました。しょっちゅう「お母さん、それ ちがう」と言われて考えました。それがなかったら、

「選ぶ」って言葉は、恥ずかしい言葉だと思います。
「選べるのは、持てる者だけです。「選べない人たちのことが視野に入ってないから言えることでしょう。堂々とが視野に入ってないから言えることでしょう。

に選んで行かせたわけですよね。
山下 しかし、小沢さんも、息子さんたちは私立学校

と言ったのは、当の子どもです。下の子は、「民主教育っ校を」という、すけべ心がありました。それをちがう子どもを私立中学校に入れたときは、「より自由な学小沢 そうですね。だから大きなことは何も言えない。

いっしょに暮らすということが当たり前だと考えるか由な教育を否定してということではなくて、地域で小・中学校に行っています。それは「民主教育」や自て、もうわかった」とか言って、高校は地元の公立高て、もうわかった」とか言って、高校は地元の公立高

-

らだろうと思っ

ですから、え ですから、え らそうなことは まったく言えな いんです。だけ ど、選ぶことが だという自覚は あります。「選 あります。「選 あります。「選 あります。「選 あります。「選

いうか、好きではないので使いたくないですね。

非対称性をはらみますよね。 山下 選ぶということは、それ自体に権力性、関係の

い物、より得をするほうを選ぶわけでしょう? はふだん、時代のなかでやむを得ず、そういうふうにはふだん、時代のなかでやむを得ず、そういうふうに生きているんだけど、堂々と言っちゃダメでしょうったなっているとしたら、やっぱり、それはおかしいんになっているとしたら、やっぱり、それはおかしいんになっているとしたら、やっぱり、それはおかしいんではないでしょうか。あらためて聞きますが、「選ぶ」というのは、どういう文脈で使われてきたんでしょう?

山下 たとえば、学校で深刻ないじめや体罰などがあっても、学校しかないと思っているから、死ぬしかあっても、学校しかないと思っているから、死ぬしかはいら学校を選べる制度だったら、命を救えたはずだ、

しています。と

小沢 それはちがうと思います。イヤだったら、そのとき行かないで抗議すればいいのよ。それだけです。とき行かないで抗議すればいいのよ。それだけです。まう。単純なことでしょう。どうして、そこに「選ぶ」なんて言葉が入ってくるんですか。行かずに考え、たたかっていけばいいだけです。やはり、「選ぶ」といたかっていけばいいだけです。やはり、「選ぶ」といたかっていけばいいだけです。やはり、「選ぶ」といたかっていけばいいだけです。やはり、「選ぶ」という言葉は不登校運動を混乱させましたね。

不登校運動のなかで、私がずっと違和感を覚えてきるの。不登校運動のなかで、私がずっと違和感を覚えてきるの。

そういうなかでも、キチンと対峙して物を言おうとしていたのが常野雄次郎さんで、不登校新聞で「社会の中の登校拒否」という連載をされていましたね。彼の中の登校拒否」という連載をされていましたね。彼の中の登校拒否」という連載をされていましたね。彼れました。でも、それが不登校問題の議論の真ん中に来ることはなかった。私は、可能性はあそこだけだっ来ることはなかった。私は、可能性はあそこだけだったと思います。

ということのあいだには、大きな飛躍がありますね。ないですよね。「逃げる」とか「休む」ということと、「選ぶ」山下 子どもが不登校するとき、選んだという意識は

#### **ノー」から** イヤだ」

が、そのあたりはどうでしょう? 栗田 子どもの権利条約では自己決定権を言います

小沢 私はそれもイヤなの。向こうから「自己決定」っ 「自己決定」も、新自由主義の言葉、国家が自分の 権利・親の権利「子どもの権利条約」をよむ』(日 外教養選書/1996)という本も書きましたが、 そこでは「自己決定なんて変」ということを書いてま す。人が関係のなかで生きている事実を歪めてしまう。 「自己決定」も、新自由主義の言葉、国家が自分の 「自己決定」も、新自由主義の言葉、国家が自分の ではで回避して、人びとに責任を押しつけるときの言葉です。だから、死語にしないとダメですよ。 であ、

すよ。という言葉です。「選ぶ」って、力を生まない言葉でという言葉です。「選ぶ」って、力を生まない言葉でだと思います。ダメだと思うことに「イヤだ」「ノー」

ですね。保障を求めていない。 果田 「イヤだ」と言うのは、自分が引き受ける言葉

小沢とっても単純で正直でわかりやすい。子どもは小沢とっても単純で正直でわかりやすい。子どもはいいつもそうしているでしょう。比較してどっちがいいいつもそうしているでしょう。比較してどっちがいいいつもそうしているでしょう。比較してどっちがいいいつもそうしているでしょう。比較してどっちがいいか選ばらいですむと思います。

心は。の替えてしまうことと、つながっているかもしれませり替えてしまうというのは、心理学が一方的な解釈です山下 子どもが「イヤだ」と言うのを「選ぶ」にすり

小沢 同じですね。カウンセリングでは、クライエ

ばらしいことです。「イヤなものはイヤ」ってね。 すね」と受けとめつつ、語らせ受けいれながら、ちがうすね」と受けとめつつ、語らせ受けいれながら、ちがうのを提示して「どっち?」って聞く。そうやって上手のを提示して「どっち?」って聞く。そうやって上手にガンコさを取り上げてしまう。ガンコであるのはすばらしいことです。「イヤなものはイヤ」ってね。

います。そこには可能性があった。 とにかくノーということを突きつけた面はあったと思めなかで、レールを敷かれたことを選ぶのではなく、のなかで、レールを敷かれたことを選ぶのではなく、

小沢そう思います。

あって、今後をどう考えられるか、ですね。小沢さんなってしまった面もあると思います。そういうなかに山下 しかし、おっしゃるように、「元の木阿弥」に

年3月1日)~31号(1999 年8月1日)で連載。\*5 常野雄次郎「社会の中の登校拒否」:不登校新聞21号(1999

うに思います。か。そこが、とくに若い世代ほど苦しくなっているよか。そこが、とくに若い世代ほど苦しくなっているよけですが、世の中は心理主義も専門家依存も強まってけですが、世の中は心理主義も専門家依存も強まって

小沢やっぱり取り戻すとしたら、自分の「イヤだ」小沢やっぱり取り戻すとしたら、自分の「イヤだ、おらい」とかなんとか言ってないで、これはイヤだ、おらい」とかなんとか言ってないで、これはイヤだ、おら、学校に行くのイヤ、そこにこだわる。そこで、「なら、学校に行くのイヤ、そこにこだわる。そこで、「なんで?」と考える。単純よね。子どもが常にやっていんで?」と考える。単純よね。子どもが常にやっていんで?」と考える。単純よね。子どもが常にやっていることです。

# 足場がない」には

というのは、すごく気持ちいい。そこには怒りと、イを感じるのよ。たとえば「保育園落ちた、日本死ね」小沢 私は「生きづらい」って言葉にはね、甘ったれ

てよね、と思います。い。何がしたいの、何がイヤなのってところからやっい。何がしたいの、何がイヤなのってところからやっきづらい」という言葉には、どこにも自分の足場がなヤなことに対して、こうしろという筋がある。でも、「生

「……がっかしい」のは、「……、、、、、、、、、、、、、、、何かしたいと具体的に言ってきたときは協力したい。孫がそう言ってきても、私は相手にしません。でも、子どもが「つまんな~い」って言うのと似ている。

「生きづらい」というのは、「生きよくしてくれ」という言葉とセットだと、私は感じるんです。でも、こいう言葉とセットだと、私は感じるんです。でも、こいう言葉とセットだと、私は感じるんです。でも、こいう言葉とセットだと、私は感じるんです。でも、こいう言葉とセットだと、私は感じるんです。でも、こいう言葉とセットだと、私は感じるんです。でも、こいるなよと思います。

社会にどう対峙できるのか。それは、国家と対峙する
してどう怒ればいいのか見えなくなってきた。商品化
われてきたこととつながっていると思います。何に対
の社会で生きているなかで、具体性や身体性が奪

のと、またちがう工夫も必要のように思いますが。

小沢 市場本位の社会も、国家・資本の意志がそこに小沢 市場本位の社会も、国家の戦略や思惑が、細かだう変えられるかに注目して、学習指導要領の変更がどう変えられるかに注目して、学習指導要領の変更や教科書の中身に注目しています。そこには、次の世や教科書の中身に注目しています。そこには、次の世いところまで現れています。弱くなったように見せていところまで現れています。弱くなったように見せているだけですよ。

しく、でも見えにくい権力。
山下 カウンセラーはまさにそうですよね。一見やさ

くなったわけではない。見えづらくしているだけです。小沢とうです。 見えにくくなっただけで、権力がな

プルなノーに立つことが大事ということですね。 山下 見えづらくなってしまっているからこそ、シ

ば。それがおもしろいところです。 見ようと思えい沢 見えづらくたって、見えますよ。見ようと思え

かで、見えなくさせられていますよね。 栗田 でも、生活に追われて、いっぱいいっぱいのな

がない?
て楽になる。俯瞰するのに何がないんでしょう。時間て楽になる。俯瞰するのに何がないんでしょう。時間ることって大事ですよ。俯瞰することによって、初めい。でも俯瞰す

なっていますよね。 選ぶこと、消費者であることでしか主体性を持てなく 出下 軸を持ちにくくなっていると思います。そこで、

1週間でもいいから、「選ぶ」という言葉をいっさうな。イヤじゃない、自分が選ばれるとか、選ぶとか。ということに若い世代は振り回されているんでしょうということに若い世代は振り回されているんでしょう小沢 そうなってしまってるのね。そんなに「選ぶ」

あるし、自信がわいてくる。 どっちを選んで食べるかではなくて、自分は何を食べ それは、選ばされているときよりも充足感が あり合わせのものを組み合わせて、 こう作ろ

隣の人がイヤでも、 それって、住んじゃった地域と同じでしょう。 ちょっとでも気持ちいいところにしていければいい。 ことでいいと思いますね。そこで、 の程度に考えればいいんだと思います。 やるし、やりたくないことにはノーと言う。それで、 ろあっても、便利だから、みんなでそこに行くという 学校の話に戻れば、やっぱり地域の学校で、 から、工夫しながら折り合うしかない。 なかなか引っ越すわけにはいかな やりたいことは 学校も、 たとえ いろ V

屮 る。 うなっているし、 への安心感、 していく力が、 そういうところに、 他者と折り合っていく粘り、 信頼感がなくなっている。 市場にはないですよね。 親子関係までもがそうなってきてい いまの子ども・若者の困難さ 関係のなかで解消 学校も相当そ だから、 他者

があると思います。

使わずに過ごしてみたら変わりますよ。たとえば、

屮 生きようとしている。そんなに複雑にいろいろ考えな うものは変わってないわけですからね。 小沢 の足場から探していけばいいと思いますよ。 くても、自分の身体はそのままなんだから、 でも、 人は身体を基本に生きていて、 身体はいつも 身体とい 単純なそ

ございました。 小さい子はそうですもの ね。 今日はありがとう

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #04 小沢牧子さん

インタビュー日時:2016年6月13日

記事公開日:2016年9月22日 場 所:小澤昔ばなし研究所(神奈川県川崎市)

聞き手:山下耕平、栗田降子

記事編集:山下耕平

写真:山下耕平撮影 (2p、17p)、小沢牧子さん提供 (7p)

#### #05 大田堯さん

#### 奥地 大田 します。 る と思います。 いていまして、 は岐阜県の加子母という村(現在の中津川市加子 今日はありがとうございます。よろしくお願 は 出版社が名づけたものですが、「ひとな

いま、「ひとなる」という題で文章を書

う呼びかけになっていましてね、教育という大目的を

天皇に対する民、僕です。

教育勅語では、

爾臣民とい

V

けど、これはふつうの人々ということを言い表します。 昔は「臣民」と言ってましたが、これは神様である

これはおそらく生涯最後の著述になる

奥地

は「人間になる」ということなんですね。 大田 法にあるから、 国に属する民で、 んです。そもそも「国民」という言葉もおかしくて、 なるとか、すぐにそういうところに結びついてしまう 教育の目的というのが、 その序言でも説明していますが、「ひとなる」 プルとふりがなをつけています。 僕も「国民」という言葉を使いますけ 民というのは僕ということです。憲 国家のためとか、 横文字です よい国民に この国では

大田 堯 #05 さん



1918 年生。教育研究者(教育史·教育哲学)。広島県出身。 東京帝国大学文学部卒業。東京大学教育学部教授、学部長、日本子どもを守る 会会長、教育科学研究会委員長、日本教育学会会長、都留文科大学学長、世界 教育学会(WAAER)理事などを歴任。東京大学名誉教授、都留文科大学名誉 教授、日本子どもを守る会名誉会長、北京大学客座教授。おもな著作は『かす かな光へと歩む』(一ツ橋書房)、『教育の探求』(東京大学出版会)、『教育とは 何か』(岩波新書)、『生命のきずな』(偕成社)ほか多数。2013年、これまで の講演・論文の中から、大田さん自身による大幅な加筆を経た『大田堯自撰集 成』(全4巻)を藤原書店より上梓された。また、2011年には、教育を通し て人間を見つめ続けてきた大田堯さんの思索と行動の軌跡を追った映画「かす

インタビュー日時:2016年8月29日

写真撮影:藤田岳幸



かな光へ」(監督・森康行)が完成し、自主上映活動が展開中。

聞き手: 奥地圭子

所:大田堯さんご自宅(さいたま市)

『自撰集』にも出ていましたね

奥地

いま、

お話しいただいたことは、

人生全体から

大田先生

つむぎだされているご指摘だと思いますが、

きな村です。

の方言なんです。

檜の生産地で、

かなり有名な大

国のためにやることになってしまっているんです。

軍国主義の少年時代

の身にこびりついているんですよね。

教育は、

お上が 日本人

から、教育の観念は上から下へのものとして、

爾臣民と呼んでいたわけです。

もう、

そのとき

ビュ 大田 は現在98歳になられますか。

(笑)。

幸いなことに、

体温も血圧も正常です。

ーの日にちを聞いたとき、そこまで生きているか

99歳に向かっています。

だから、

今日

0

イ

ン 夕

(藤原書店201 『大田堯自撰集成第 4 巻 ひとなる―教育を通しての人間研究―』

流れていまして。 大田 本郷町の船木という場所で、沼田川という川が

奥地 私も沼田川で泳ぎました。

いかと思うと、寂しいですよね。 れてますね。夏休みになって、最初に水の中に入る、れてますね。夏休みになって、最初に水の中に入る、れてますね。夏休みになって、最初に水の中に入る、大田 ああ、そうですか。あなたの育った三原まで流

奥地 そのまま、本郷の小中学校に?

大田 私が船木に住んだのは12歳(小学校6年)まででした。家が破産しまして、何もかもなくして、大阪で学校の教師をしていたんです。学校を出て、大阪で学校の教師をしていたんです。

しては、わりと安定した暮らしをしていました。一軒家を借りたんですが、そこは以前は将校の家でした。そこに兄と姉といっしょに生活して、そのころとらくたって、月給も入るし、ちょっと余裕ができて、らば初の1年ぐらいは、長屋に住んでいました。しば

奥地 大阪の中学校に通われていたんですね

大田 大阪の八尾中学校でした。かつての第三尋常中大田 大阪の八尾中学校にというのは、ちょっと難しいんいきなり八尾中学校にというのは、ちょっと難しいんじゃないかと、兄も心配したようなんですけど、合格

当時は、何しろ軍国主義の少年でしたから、白い服

旧制高等学校に入ったんです。
旧制高等学校に入ったんです。
に短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしっと身につけるスタイルの海軍にあこがに短剣をびしていませい。

# 旧制高等学校での「変身」

と話で「変身」が起こるんです。宿舎生活の、格別な、 密接な関係のなかから、すばらしい親友ができました。 小説を書き始めたり、夜、高等学校の講堂に入り込ん で、置いてあるピアノを使って作曲をしたり、そうい で、置いてあるピアノを使って作曲をしたり、そうい で、置いてあるピアノを使って作曲をしたり、そうい で、置いてあるピアノを使って作曲をしたり、そうい が起こるんです。宿舎生活の、格別な、 ので、 高等学校の講堂に入り込ん

がたくさん往き来する状況でした。陸軍の兵隊の検疫それと、学校が広島の宇品にありましたので、軍隊

学校には残っていました。

そこで教育を選んだのがまちがいのもとだった。 はようと、友人とそろって東大文学部に行きました。 はようと、友人とそろって東大文学部で人間を研究 \*\*3 は経済にはまったく適さないし、法 を業を前に、どちらの学部に行くか、ということに

りまして、「教育実践を通して、社会を改革する」と広島時代には、長田新先生の特別講義を聴くことがああなたもペスタロッチ教育賞をもらったけれども、

独立して教育学部に。 \*2 当時の東京帝国大学は、文学部の中に教育学科があった。戦後\*3 当時の東京帝国大学は、文学部の中に教育学科があった。戦後

大学名誉教授。ペスタロッチ教育賞の提唱者。 \* 4 (おさだ・あらた)1887年―1961年 教育学者。広島

出す」ことと教わるんです。入ってすぐ、教育というのは子どものなかから「引き教育をやらなきゃ、と思ったんです。しかし、大学にいう、勇ましい話があるもんで、ついついまちがって

ですね。

**大田** そういう先生たちが教授としておられたんです。

### 「教育」は誤訳か

というお話をされていましたね。 奥地 いつぞや「教育」という訳語はまちがっている

国の本を、持ってきています。紀元 100年の本、誤訳ではないか、と。ここに『説文解字』という中大田 「エデュケーション」を「教育」と訳したのは

2000年前にできた字引ですが、中国の本ですか2000年前にできた字引ですが、中国の本ですのを模施すもの」と書いてある。「下のものは上のものを模施するの」と書いてある。「下のものは上のものを模がる、まねをするもの」。これが「教」の字の意味、と書いてあるんです。

明治になって、エデュケーションにどういう言葉をあてるかとなったとき、教の字があてられて「教育」となった。「育」は、子どもが産まれたときの産の字に関係があるのでいいんですが、「教」の字が、の字に関係があるのでいいんですが、「教」の字が、いう人もいるんですけど、『説文解字』にそういう説明があるわけです。しかも、歴代の王様が国教としてきて、儒教は2000年にわたって、現代に及んできて、儒教は2000年にわたって、現代に及んでも、儒教は2000年にわたって、現代に及んでも、儒教は2000年にわたって、現代に及んでも、信教は2000年にわたって、現代に及んでも、信教は、2000年にわたって、現代に及んでも、

とか、上から下に向かって、しつけるというか、押し下々の人民に、「こういう悪いことをしてはいけない」ません。使っていたのは「学問」です。教というのは、それまでの武士は「教育」という言葉を使っちゃい

点なんですよね。 エデュケーションの訳語としたのが、そもそもの出発す。その教の字と、育の字を結びつけて、「教育」をつけるというか、そういうふうに使われてきた言葉で

うになったんです。
が見がしても、フランス革命前後に人権思想が入ってくるようでも、フランス革命前後に人権思想が入ってくるようでも、フランス革命前後に人権思想が入ってくるようでも、フランス革命前後に人権思想が入ってくるようでなったんです。

翻訳するのに、「教」の字を入れてしまったんです。その大切な、新文明の言葉だったエデュケーションをすから、そこには人権思想が含まれているわけです。でエデュケーションは、ここから生まれた新語です。でユデュケーションは、ここから生まれた新語です。で

なさい、ということになって、その結果、教育というの名前で、天皇の誓詞によりまして、東洋的伝統にしがを引き継がなきゃいけない、と考えたんです。天皇が大明にかぶれちゃいけない、東洋の伝統、儒学の伝統で明にかぶれちゃいけない、東洋の伝統、儒学の伝

で、そこに教育という言葉が入ったわけです。言葉ができた。明治12年の教育令が最初の法令ですの

て天皇の直接命令、勅令によることにしました。とれいできますが、ここには教育という言葉は一つも法ができますが、ここには教育という言葉は一つも決めちゃって、議会では議論しない。法律や議会は、決めちゃって、議会では議論しない。法律や議会は、決めちゃって、議会では議論しない。法律や議会は、決めちゃって、議会では議論しない。法律や議会は、

また、東洋、儒教の2000年の伝統をふまえてまた、東洋、儒教の2000年の伝統をふまえてしたわけですね。そのために、朝鮮や中国でも、誤訳したわけですね。そのために、朝鮮や中国でも、誤訳された教育の観念をそのまま受けとめているという状きれた教育の観念をそのまま受けとめているという状態があります。

ですから、いまでも中国や朝鮮から「日本が教科書

から構成される(三省堂『漢辞海』第 3 版)。 下位のものがならう内容である。「攴(=強制する)」「孝(=ならう)」 下の効う所なり。攴に从い孝に从う。上位のものが施す内容であり、 下のがら所なり。 大にがいる。 人教之屬皆从教」上の施す所を

## 戦争体験と教育観

**奥地** 教育(エデュケーション)は引き出すことだ、**奥地** 教育(エデュケーション)は引き出すことだ、

身がとらえられていたように思います。 いう意識は変わってなかったと思います。教育観が内いう意識は変わってなかったと思います。教育観が内がら変わっていても、教育によって社会を改革する、とだと知っていても、教育によって社会を改革する、と

身につくわけはないですね。 また、戦争体験のなかで(将校にならず、一兵士として戦線に加わりました)、自分はなんでこういうことをやっているのか、なんのための行為なのか、引っぱの指示に従って行動する。引き出すどころか、引っぱの指示に従って行動する。引き出すどころか、引っぱの指示に従って行動する。引き出すどころか、引っぱいまわされる。すべて上下関係によって支配される状況に置かれていたわけですから、「引き出す」なんて、現事体験のなかで(将校にならず、一兵士と

奥地 兵隊に入られたのは、いつのことでしょう?

こから36時間、海の中に放り出されました。年、大学を出て24歳で陸軍に召集されました。そして、年の2時に敵の潜水艦にやられて、輸送船が沈没、そ中の2時に敵の潜水艦にやられて、輸送船が沈没、それの2時に敵の潜水艦にやられていて、1942大田 大学にいる人間は延ばされていて、1942大田 大学にいる人間は延ばされていて、1942

奇偶ですね。 奥地 29日というと、72年前の、ちょうど今日ですね。

大田 夜が明けて、1日中、熱帯の海の中で、いかだ大田 夜が明けて、1日中、熱帯の海の中で、いかだたまま、遠く離れて散らばって「助けてくれ」「俺に、あちこち、遠く離れて散らばって「助けてくれ」「俺に、あちこち、遠く離れて散らばって「助けてくれ」「俺に、あちこち、遠く離れて散らばって「助けてくれ」「俺に、あちことだ」という人たちを拾っていくんです。

持つてきてくれて、それを飲んだのが記憶に残っています。れ込んで、もう立てませんでした。海軍の兵隊が重湯をれ込んで、もう立てませんでした。海軍の兵隊が重湯をの込んで、もう立てませんでした。海軍の兵隊が重湯を れ込んで、もう立てませんでした。 海軍の兵隊が重湯を かいさな駆潜艇がやってきて、縄ばしごを必死になっ

奥地 45年に敗戦になりますね。

バナナを食べたりして、生き残ったわけです。46年にから、海軍が残していった食糧を少しずつ分けながら、いましたが、陸軍は足がなくて逃げられませんでしたりました。海軍は船があるので、そのまま逃げてしま大田 ですが、その後も1年間、セレベス島にとどま

召集解除されて、日本に帰還しました。

# 地域の人間のための教育を

奥地 その後、日本で教育活動に従事されるんですね。

大田 郷里に帰ると、学校の先生方が「社会科ってど大田 郷里に帰ると、学校の先生方が「社会科という科目が始まったんですが、それまで日本では、「社会」という言葉を使うだけで首になりかねかったわけです。それで先生方は何をやっていいのかわからない。僕が、社会科という科目がアメリカにあることを知っていたこともあって、そのイメージでやりましょうとなって、社会科を中心に、いろんな教科を関連づけた「本郷地域教育計画」をつくりました。なきゃと考えていたんです。教育というのは、地域のなきゃと考えていたんです。教育というのは、地域のなきゃと考えていたんです。教育というのは、地域のなきゃと考えていたんです。教育というのは、地域のなきゃと考えていたんです。教育というのは、地域のなきゃと考えていたんです。教育というのは、地域のなきゃと考えていたんです。教育というのは、地域教育計画」人間のものなんだと徹底的に考えて、「地域教育計画」

一挙にばっとではなく、

だんだんと段階を踏み、

意味では、同じだったと思います。 しかし、僕が東京から得た情報によって計画を進め ていたわけですから、結局は上からの指示によって教 で見にきて、GHQからも視察にきました。本当に自 して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して全国的に有名になりまして、いろんな人が全国か して、いろんな人が全国か して、いろんな人が全国か して、いろんな人が全国か

奥地 私は、三原の中学校で育ったんですけど、先生奥地 私は、三原の中学校で育ったんですけど、先生たちが、「これからは自分の頭で考えるのが学ぶといすごくいきいきとしてました。たぶん、それは本郷の動きに影響を受けていたのだと思います。のちに、周囲に私の中学時代の話をすると、「進んだ先生たちでしたね」という感想を聞きました。

先生たちは、そのために夜遅くまでご努力されたりしいカリキュラムをつくるというのは難しいことです。新し大田 先生方には、ご苦労をかけたと思います。新し

ているじゃないかと反省の思いが強いんです。を見直す最大の転機になっています。また上からやっ僕にとっては、本郷地域教育計画は、教育というものて、ご無理なことを求めたかと反省しているんです。

ことにビックリしていました。 のちに子ども図書館をつくるのは、「地域から」と 見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする が来たら「よく来てくれました」と迎え、「また来てね」 にした図書館のあり方です。その図書館では、子ども が来たら「よく来てくれました」と迎え、「また来てね」 と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする と見送る。学校の先生は、それを聞いてびっくりする

### 教育をとらえるいのちから

自身の経験から生まれてきた、ということでしょうか。うことが根本におありですね。そういうお考えも、ご奥地 大田先生は「教育はいのちからとらえる」とい

かと、いろいろ模索しました。 ち根拠を見つけていくことが教育哲学の目的ではない
ら根拠を見つけていくことが教育哲学の目的ではない
が頭にあったんですが、興味・関心を引き出すといっ
が頭にあったんですが、興味・関心を引き出すといっ

科書制度が始まったり、教師の身分を支配したり、上 ら考えなければならないと、 問題を考えていく、我々自身のもっている、 砕くわけです。 どうしたら裁判長を説得できるか、ということに心を たびに法廷に出かけていって、証言に立ってきました。 に抵抗しなければならなかった。裁判になると、その から押しつけてくる問題が出てきて、その一つひとつ 社会が反動的になっていきますよね。教育も、 るようになりました。お上からではなく、 なかで、「問いと答えの間」や「選びながら発達する権利」 ご承知のように、1950年に朝鮮戦争に入って、 そうしたなかで、これはいのちと関係があると考え 学びについての文章を書くようになりました。 仲間や弁護士を交えて議論をくり返す 考えるようになったので いのちから いのちか 検定教

到着したんではないかと思います。深めて、重ねていったなかで、いのちというところに

意味をみていたわけです。 
まいのちについての、いちばん大きなショックを理いのちについての、いちばも私たちも、みんなDNAからできているのがわかったんです。そのとき自然科からできているのがわかったんです。そのとき自然科がらできているのがれかったんです。そのとき自然科がらできているのがわかったんです。そのとき自然科がらできているのは、実は自然科学だったんです。

が、そこで発見されたと言ってもいいようなものですかとりの子どもが問題になりますので、その子その子のDNA構成は一人ひとりみんなちがっている、そうのDNA構成は一人ひとりみんなちがっている。文科系いうちがいにこだわって考える。個体がいのちの支え手は、個体にこだわって考える。個体がいのちの支え手へんすごいことです。いわば基本的人権の科学的基礎へんすごいことです。いわば基本的人権の科学的基礎へんすごいことです。いわば基本的人権の科学的基礎

自然科学者が、あくまでも物的研究としてみている自然科学者が、あくまでも物的研究としてみている」とみたわけです。「問いと答え」というのは、問う者と問われる者、主体と客体とがあるということ問うとも、自分が変わらざるを得ないという現象に触したとき、自分が変わらざるを得ないという現象になっているのではないかと考えたんです。

自分という存在は、ほかの人と異なるDNA、ユニークな設計図を持っている。ですから、まわりにある人は(物質もそうですが)異物なわけですよね。それをは、一方は自己中心に走りがちで、他方は他者依存には、一方は自己中心に走りがちで、他方は他者依存には、一方は自己中心に走りがちで、他方は他者依存には、一つの相反する欲求が交錯しあっている。そこに折り合いをつけるために、人間自身が変わる。それをずうっとやり続けているのが、いのちというものではないか、と考えてみたわけです。

分子生物学が発見したのは、生命が変わり続けるなかでもDNAの構成は変わっていないということでカニズムでは解明できない。これは、最近10年の分子生物学の定説です。ですから、「みずから変わるけれども変わらない」、これが生命個体の特徴なのだ、とども変わらない」、これが生命個体の特徴なのだ、ということが浮かび上がってくるわけですね。

とか、自分と他者との関わりのなかで変わりながら、 あげるのが教育なんじゃないか、と。変わるというこ 重く、重くとらえることができるようになったんです。 らを守っていく自発性を持っている。そういうふうに、 げるわけで、根源的自発性を持っている。 とは学習を重ねることです。 んです。ノミなんかでも、僕らがたたこうとすれば逃 んな、みずから変わる力、 のです。そういう関係でいくと、人間も、それぞれみ 基礎は変わらない。生き物というのは摩訶不思議なも い情報を提供することで、 その、みずから変わる力を励ましていくこと、新し 葉っぱが自分で太陽のほうを向くとか、風をよける みずから変わるのを助けて 根源的自発性を持っている 生涯を貫くのは、 根源的に自 みずか

す。こういうふうに、僕はいま、理論を立てているわけでこういうふうに、僕はいま、理論を立てているわけでら変わるという生物の根源的自発性によるんだ、と。

である、と考えています。方をしたほうがいい。これが人間の場合、基本的人権方をしたほうがいい。これが人間の場合、基本的人権でから、主体性だとか、興味を持たせるというとき、

# 自発性に立っている学習は根源的な

東地 根本に立って考えると、いろんなことがつな と、狭く国語算数などとなって、それをテストで評価 と、狭く国語算数などとなって、それをテストで評価 と、狭く国語算数などとなって、それをテストで評価 と、狭く国語算数などとなって、それをテストで評価 と、狭く国語算数などとなって、それをテストで評価 と、狭く国語算数などとなって、それをテストで評価 と、対して、という発想が強くあります。そうではなく、私 と、対して、という発想が強くあります。というところは根本の のですが、「学習とはなんだ」というところは根本の のですが、「学習とはなんだ」というところは根本の と、対して、というところは根本の と、対して、というところと思いますので、もう少しお話しいただ

大田 そのとおりですね。まず教育ありきではなく、大田 そのとおりですね。まず学習ありきと物事を考えなければならない。学習は、根源的な自発性に立っている。植物が根をおろすような、そういう自発性に立っているわけです。一人いとりの子どもが自発的に、外との関係、教師との関係で折り合いをつけて、自分らしいスタイルを身につけているわけだから、先生の言ってることをみんな同じように伝えられるのではなくて、みんなちがうように受けとめている。なかには拒否している子どもがいても、けっして不思議ではないわけで、そういうものなんですよ。

なく、むしろ学習を助ける、介添えのほうへ位置づけ教育の位置が変わっていく。教育を否定し去るのでは、個体の現象で、個体の根源的自発性に根拠を持っのは、個体の現象で、個体の根源的自発性に根拠を持っのは、個体の現象で、個体の根源的自発性に根拠を持っあって、それを助けるのが教育なんだと考えると、あって、ほんとうは個の問題が大事です。学習というあって、せいとうは個の問題が大事です。学習というをく、むしろ学習を助ける、介添えのほうへ位置づけ教育の位置が変わっていく。教育を否定し去るのでは、便宜上のことで子どもを東にして教育するのは、便宜上のことで

受けとりがちがいますからね。 この仕事はなかなか難しいと思います。 ということです。ですが、よほど慎重でないと、 一人ひとりの

仕方をすると考えたらどうか、と思うんです。 教えたところで、結局は、その人なりの生命の発達の ですから、教育はアートと考えたらよいんだと思い 教えたとおりになるということは、 クリエイトするということですね。創造物ですか アートというのは、 根源的自発性で自己創造す ありえない。

奥地 学校教育については、どう考えたらいいでしょうか。 が当たり前で中心だという考えも根強い。 というのがあって、二面性のなかで悩んでいる。 学校教育 人ひとりちがうのに、 学校教育では、 国からこういう内容をやりなさい 先生方自身も悩んでいますね。一 本来の学びと

教育です。 かうんですが、 は個と個です。 学校教育は便宜上できているものですね。 僕は 人間は社会的文化的胎盤のなかで育 個と個の響き合い、これがほんとうの 「社会的文化的胎盤」という言葉をつ 本来

> 育つ、と考えたほうがいいんです。 あります。そうした社会状況、地域の状況、こういう 育っていますから、家庭もあれば、友だちとの関係も ちます。学校で受ける影響というのは、たしかにあり 人間は「ひとなる」のであって、社会的文化的胎盤で ものからぜんぶ影響を受けるんです。そういうなかで ますけれども、人間は自己の根源的な内発性によって

ということはまちがいありません。 本来の教育は個を中心にやるというのが原点である、 をやらざるを得ないものとしてあるんです。 くさんの人を束にして一斉教育をやっているが、それ そういう意味で言えば、学校教育というものは、 しかし、

らかい胎盤感覚」が広まらないと、 要です。 と無責任に言うのではなく、そういうふうに考える「柔 りうるわけですから。親が悪いから、 わるとか、 まざまな学習を得ている子どもたちを考えることが必 ですから、社会的文化的胎盤という広い場面で、 つまでも国家に支配されたり、 たとえ学校で変わらなくても、 誰かとの出会いで変わる、 上から下への教育が この国の教育は、 学校が悪いから ということもあ 一冊の本で変

中心になると思います。

#### もっと幅広く強く いのちへの道」

ど悩みが深まりました。国が思うような教育をしよう という圧力がどうしても降ってきて、そこから自由に 私も教師時代、良心的にやろうとすればするほ

だけど

つは、 です。 きなくもない ので、 権利のためにある 校は子どもの学ぶ んですかね、ひと 二つの側面という いうなかで悩むん 四六時中見張って なれない。 いるわけではない たしかに学 学校教育の いろいろで と

> てい ているんです。そしていまも、やっぱり現場の先生は 期待されるところもある。だけど、子どもは国の教化 悩んでいる。先ほど便宜上とおっしゃられていました の対象にもなっているという、二つの側面でずっとき 使ってやっているわけですし、そういう意味で学校が それでやるしかないんでしょうか。 て、 私も教師時代は悩んで、 いろいろな動きをし

です。だから、教育基本法を変えられたとき、 たでしょう。これは憲法を改正する、 されていたんですが、その10条が消しとられてしまっ うおしまいなんじゃないか、と思ったんです。 配することは許せない。 大田 苦労しているのはそこなんです。 これは前の教育基本法に明記 改憲の一環なん 国が情報を支

そういう政府を選ぶからで、そこには理由 しかし、そこであきらめちゃいかんですね。 があるはず 国民が

育行政は、この自覚のもとに、教育の目的を遂行するに必要な諸条件 国民全体に対し直接に責任を負つて行われるべきものである。 旧教育基本法第10条:教育は、不当な支配に服することなく、 (2) 教



税金を の整備確立を目標として行われなければならない

占する傾向があるという警告だったんですね。に教わりましたが、それは、国家というのは情報を独とき「国家というのは悪いことをするもんだ」と最初とき「国家というのは悪いことをするもんだ」と最初に教わりましたが、それは、国家というのは情報を独たがるとが一般的傾向としてある。イギリスに留学したがるとが一般的傾向としてある。

念を変えるほかないでしょうね。

さなが、それが実現するためには、有権者の教育の観せんが、それが実現するためには、有権者の教育の観せんが、それが実現するためには、有権者の教育の観が、というとき、があら、誰が情報を保障すべきなのかというとき、

げないと変わらない。 奥地 教育は、子ども個々のものだ、という考えを広

ないとできない。いのちのほうが後まわしになっていろうとするには、財政的にも問題があります。人類はろうとするには、財政的にも問題があります。人類は大田 そういうことです。ですから、たいへん遠い道

と思います。の重要性に関心を鋭くするのが唯一の道じゃないか、の重要性に関心を鋭くするのが唯一の道じゃないか、て、経済のほうに金が動いています。しかし、いのち

ことではないでしょうか。。ちへの道」をもっと幅広く強くすることを求め続けるですから、まだまだ時間はかかるけれども、「いの

## 不思議じゃない

定こまでお話ししていただいたように、教育研究者とて、おうかがいします。私たちは長年、不登校のことで、おうかがいします。私たちは長年、不登校のことで、おうかがいします。私たちは長年、不登校のことで、おうかがいします。私たちは長年、不登校のことで、そのなかで大田さんにお話をうかがいたい、ということになったんです。戦前も戦後も見てこられて、うことになったんです。戦前も戦後も見てこられて、ここまでお話ししていただいたように、教育研究者とここまでお話ししていただいたように、教育研究者と

うか。にみて、不登校というものを、どう見ておられるでしょにみて、不登校というものを、どう見ておられるでしょして、いのちという根源からみておられます。総合的

大田 学校教育は、集団でやりますから、矛盾が起こたのは明らかなことなんです。そこで適応できない子なのは明らかなことなんです。学校教育を中心でものを考然なことです。むしろ、積極的に学校教育のあり方を然なことです。むしろ、積極的に学校教育のあり方を然なことです。むしろ、積極的に学校教育のあり方を然なことです。むしろ、積極的に学校教育のあり方をというえないで、広い社会的文化的胎盤で考えていくというます。

日本が学校というものに依存したのは、早くヨー日本が学校というものがあってもいいと思うんです。の場合は、たとえばエンジニアのような職業は、工業大学で育つのではなく、現場で育つんですよ。職人組大学で育つのではなく、現場で育つんですよ。職人組大学で育つのではなく、現場で育つんですよ。職人組大学で育つのではなく、現場で育つんですよ。職人組大学で育つのではなく、現場で育力を開いたのは、早くヨー日本が学校というものに依存したのは、早くヨー日本が学校というものに依存したのは、早くヨー日本が学校というものに依存したのは、早くヨー日本が学校というものに依存したのは、早くヨー日本が学校というものに依存したのは、早くヨー

けだから、不登校はあり得て普通だと思います。はだから、子校というものが重みを持って、それによってから、学校というものが重みを持って、それによってが来の職業が決まる、ということになっちゃったわけです。そういうところに、むしろ大きな原因があるわけだから、不登校はあり得て普通だと思います。

もっと目を広く考えれば、いまの職業の全般的なあり方が雇用中心になっていて、その雇用を学校のレベルによって支配しているじゃないですか。ヨーロッパルによって支配している。しかし、日本では雇用が当たり前になっているから、みんな雇われて仕事をやらされている。つまり、自分本位の時間じゃない仕事をさせられている。しかも、それが大部分の社会の状況になっられている。しかも、それが大部分の社会の状況になっられている。しかも、それが大部分の社会の状況になっられている。しかも、それが大部分の社会の状況になっられている。それに対して、自分が好きなことで、何か社会に役に立つことができる仕事をするというのが、就会に役に立つことができる仕事をするというのが、就会に役に立つことができる仕事をするというのが、就会に狭いんです。その就業のチャンスが、日本社会では非常に狭いんですよ。

だから、学校からはずれる子どもが出てくる。雇用

ことを、私は夢にしています。 就業へ。そういう大きなスケールで未来を考えていく向に社会を向けていく。モノからいのちへ、雇用から社会から就業社会へと、生命本来の姿を大事にする方

夢というのはすごく大事です。ほかのことを教えなくても、夢を持ってくれる子どもを育てられたらよいですよね。自分自身の好きなことで夢が持てる、「就業社会」へ向けて子どもを雇用社会に適用するようにと思わっていく。子どもを雇用社会に適用するようにと思うもんだから、名誉ある学校でことをなさないといけないとなっちゃって、政府の用意した箱にハマってしまっている。そこからはずれて、フリースクールをつくってやっていく。これが夢だ、と僕が言っている理

# 夢に近づいていく「させる」「やらせる」をやめ

由なんです。

に合った生き方を見つけているな、と。不登校の子がとを見つけている若者に数多く出会っています。自分奥地 私たちも、自分のやりたいことで生きていくこ

ところですね。 ところですね。 ところですね。 ところですね。 ところですね。 ところでは、 という ところですね。 ところで出てきて、 増えつつある。 ところですね。

しかしながら、石川啄木ではないけれども、るんです。それほど大きな問題なんですよね。へという問題になると、資本主義社会の基本に関係す大田(まさに、そういうことなんです。雇用から就業

こころよく 我にはたらく仕事あれ

それを仕遂げて死なむと思ふ

そういう方向へ向けたらいいと思います。そっちに社会を方向づけていく。ささやかな営みでも、というね、それがみんなの願いなんですよ。だから、

ですね。 それにはまず、「させる」という言葉をやめること

るのが気になります。させてますか?」とか「させないんですか」と聞かれさせてますか?」とか「させないんですか」と聞かれ奥地 フリースクールにいると、学校の先生が「〇〇

大田 学校の先生は、よく「させる」と言いますね。 大田 学校の先生は、よく「させる」と言いますね。 か、と思います。 だから、させられる人間から、させられない が、と思います。

奥地 最後もう一つお願いしたいのですが、9月1日奥地 最後もう一つお願いしたいのですが、9月1日奥地 最後もう一つお願いしたいのですが、9月1日

基本的人権の侵害でしょう。天から与えられたユニー待もあるじゃないですか。そういうこと一つひとつが 一言では言えませんが、自殺だけではなく、虐

僕は思っています。 (僕は思っています。) (は思っています。) (は思っています。) (はこれでいく。」でせる」とか「やらせる」をやめた近づいていく。」でせる」とか「やらせる」をやめたが軸にでいる。 (は思っています。) (は思っています。) (は思っています。) (は思っています。)

それが、最後の願いです。を乗り越えていく夢を、みんなで分かち合いましょう。を乗り越えていくために、大きな大きな課題として、それもではできるとは思いませんが、社会を少しずつで

気でいらしてください。 応えいただき、ありがとうございました。どうぞお元応えいただき、ありがとうございました。どうぞお元奥地 お疲れになったことと思います。ていねいにお

#**05 大田堯さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #05 大田堯さん

インタビュー日時:2016年8月29日

記事公開日: 2016年10月6日

場 所:大田堯さんご自宅(さいたま市)

聞き手:奥地圭子/インタビュー参加者:木村砂織、佐藤信一、藤田岳幸

写真撮影:藤田岳幸

まとめ:藤田岳幸、奥地圭子

- 99 -

屮

まずは、ご自身の学校経験からうかがいたいと

たので、

その乱暴な雰囲気には入れなくて、

どちらか

しかし、私は運動が苦手で身体が弱かっ

てましたね。

いまと比べるとかなり乱暴で、

クラスは騒然とし

というと観察していた気がします。

先生は、

出

滝川 クラスも

わんやで過ごした気がします。 10クラス以上ありましたしね。 あのころの子どもたち

どもがめちゃくちゃ多い時代でした。地域(名古屋市) 思います。子どもにとって学校というのは「おそれ」 の公立小学校に入りましたが、 としては、どうだったのでしょう。 のある場だったと言っておられますが、ご自身の経験 という感じがありましたね。 私は 1947 年生まれの団塊世代なので、 階段の下なんかが、 ちょっと怖い

のは、

なつかしく覚えてます。

あのころは、

それが当

が、授業中に友だちとふざけていて立たされたりした

怖いという感じはまったくなかったです

たり前のことでしたね。

造した平屋の木造校舎でした。1年生のときはワケも ス50人以上はいましたからね。その後、本来の校舎に わからず過ぎてしまった感じでした。児童数も1クラ 子どもにとっては向こうが見えないほどの長 教室は運動場の隅に急

屮

ご自身が、

学校へのすくみなどを感じることは?

私も同年代ですが、 1クラスに55 ( 56 人は てんや 11 ま

屮 はビリだし、 にはできないことを強く意識していました。運動会で くて、むしろ、 いいほうだったんですが、 したし、まごまごすることは多かったですね。成績は 遊び場はどんな感じだったんでしょう 歌は下手だし、 みんなが当たり前にできることが自分 あまりそれは意識していな 字も下手くそだとか

んそく持ちで、

4年生ごろまではよく学校を休んでま

そういうことはなかったと思います。

#### 滝川一廣さん #06



(たきかわ・かずひろ)

1947 年名古屋市生まれ。1975 年、名古屋市立大学医学部卒業。児童 精神科医・臨床心理学者。名古屋市立大学医学部精神科助手、名古屋市 立児童福祉センターくすのき学園園長、青木病院医師などを経て、現在、 学習院大学文学部心理学科教授。著書に『家庭のなかの子ども 学校の なかの子ども』(岩波書店 1994)、『「こころ」の本質とは何か』(ちくま 新書 2004)、『学校へ行く意味・休む意味』(日本図書センター 2012) など多数。

インタビュー日時:2016年8月19日 聞き手:山下耕平、山田潤、貴戸理恵

場 所:神戸市勤労会館会議室

写真撮影:山下耕平

別な時間でしたね。そして、 と言うので、家に戻る。学校のある昼間の時間に家に こまでが運動場でどこまでが野原かわからない。その 滝川 もらって、学校に戻る。 間は街はこんなふうなんだと思ったり、それは何か特 帰るのは、子どもにとっては知らない時間で、この時 うすると、先生も「家にもどって着替えてらっしゃい」 とお尻からどぶ池に落ちて、 越えられるのか、度胸試しでやっていて、跳び損ねる 赤土の斜面をすべり降りるのが楽しかったですね。そ 場所でした。すべり台でも遊びましたが、それよりも 斜面や池が、 き届いていないですから、 下には汚い池があって、あのころの学校は手入れが行 遊んでいました。 から、 学校の東側が急斜面になっていて、 池がひょうたん型だったので、どこまで跳び 子どもたちにとっていちばん楽しい遊び いろんな雑木が植わっていて、 隅っこのほうは雑草で、ど 泥まみれになったり。 母親にお小言のひとつも その斜面 その そ

山下 子どもが学校のやっている時間に外にいても、

周囲も目くじらは立てなかったわけですね。

滝川 そうですね。

な記憶がありますけどね。 ころにいるという気持ちで、学校に飛んで帰ったようころにいるという気持ちで、学校に飛んで帰ったよう

しいわけです。公然と休めますからね。 う意識はありましたね。ですから、病気になるとうれう意識はありましたね。ですから、病気になるとうれる。

届かない領域が豊富にあったんですね。 山下 学校の存在は大きくても、当時は、大人の目の

#### 楽園喪失

になったんです。そして、勝手に入って遊べなくなっ私が小学校5~6年生のときに整備されて自然観察園

一種の楽園喪失でした。する場になってしまった。それは、子どもにとってはてしまった。それは、子どもにとってはてしまった。理科の授業のときだけ入って、観察学習

山下 そういう領域が、失われつつある時代でもあっ か?

滝川 地域のなかでしたね。友だちどうし兄弟づれで、 といったがある。 といった場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなったちだけのテリトリーとして遊んでいた場がなくなった。

でしょう。当時は、決心して、丸刈りにして、黒い制山田 中学校に上がる緊張感というのは、どうでした

服を着るという感じがあったように思いますが。

か別の世界に入るという感じはありましたね。ショナブルではないですしね。たしかに、中学校は何としていました。当時の子どもは、いまみたいにファッ滝川 男子は丸刈りでしたね。それを当たり前のこと

ですか? 女性の場合はどうだったんでしょう? おさげ

滝川 記憶が確かでないですが、とくに決まりはなかっ

で、いっぺんに意識するようになってしまった。のテストで学年・クラスで1番を取ってしまったもの学年別・クラス別で貼り出されるんですが、私は最初ようになった記憶があります。テストの成績上位者はよりになった記憶があります。テストの成績上位者はよりになった。

**滝川** 中学校も、入ったときはワケがわからなくて、

た記憶があります。とびっくりした顔をして、それから意地悪がなくなっていたので、意地悪していた子が「君できるんだね」日でした。ところが、最初の中間テストで上位に入っ日でした。ところが、最初の中間テストで上位に入っとびっくりした顔をして、だらしがなかったものですかまごまごしてました。鉛筆を噛む癖があったり服も鼻まごまごしてました。鉛筆を噛む癖があったり服も鼻

**山下** 成績がよいことの価値が大きかったんでしょう

**滝川** あの当時は、勉強ができるのはリクツ抜きに一 とか、ケンカが強いというのと同じように。それと、 とか、ケンカが強いというのと同じように。それと、 と見なされてました。あのころだって、勉強ぎらいな 子はたくさんいたわけですが、できる・できないにか かわらず、みんなでいっしょに座って黒板に向かって ノートをとることが、意味のあることでした。そうい ノートをとることが、意味のあることでした。そうい

**山田** 高校進学については、いつごろから意識されて

まかせでした。 滝川 あんまり考えなかったですね。親と担任の先生

メージはなかった。かったですよね。いまのように偏差値で輪切りのイかったですよね。いまのように偏差値で輪切りのイ

ね。
竜川 そもそも偏差値という概念がなかったですか。

### 学校の価値を経済成長と

大きく変わったんでしょうか? - 高度経済成長期に入る前後で、学校のあり方が

**滝川** まず、戦前の中学校について言いますと、完全

社会的にものすごく大きな変化だったと言えます。 なったわけです。子ども期が延びてしまった。それは、い挽えると、15歳まで「子ども」として生きることにい換えると、15歳まで「子ども」として生きることになったわけです。子ども期が延びてしまった。言なったわけです。子ども期が延びてしまった。それは、なったわけです。子ども期が延びてしまった。それは、なったわけです。子ども期が延びてしまった。

それでも戦後間もなくは、佐藤修策先生がおっしゃっていたように、「中学校なんか行かせてどうなる。英語で鯛は釣れん」という状況だったわけですよる。英語で鯛は釣れん」という状況だったわけですよて、それまでは農林水産業を中心とした産業構造が、で、それまでは農林水産業を中心とした産業構造が、な、鯛を釣る仕事自体がなくなっていってしまう。農林水産業をしていた人たちは、佐藤修策先生がおっけられていきましたね。

に大きい意味を持ったのは、学校が集団行動を身につう力が問われる分野が広がった。それから、勉強以上に立ったわけです。計算したり、設計したり、そうい一方で、工業社会では、学校で学ぶことが実際に役

けです。 けです。 子どもに残し与える技術なり資産なりを持っていたわ ば、漁師だったら海で魚をとる技術を、農家だったら とを残したい、ということですね。以前の社会であれ ことで、高校をどんどんつくっていったわけですね。 事だった。つまり、学校と社会につながりがあったわ 力がないと生産性が上がらない。みんなでいっしょに 際、工業社会のなかでは、 子どもを学校に行かせることがリンクしてくる。 いえば、学歴しかなかった。子どもを育てることと、 ても知れている。では、子どもに何を与えられるかと  $\lambda$ 田畑で農作業を、商家だったら店で商いを、そういう がっていた。さらに、中学校だけでは足りないという 力を合わせること、 けさせる場だということです。工業社会では、 親の願いは、 ね。受け継がせられる技術もなければ、資産といっ ところがサラリーマンには、それがありませ 学校での体験が、その後の仕事、 子どもが将来生きていくのに役立つこ 勤勉にコツコツ努力することが大 学んだ知識や勤勉性、 将来につな

になっていたんですね。長時代には、学校へ行くということが当たり前の価値性が生産の場で力になっていた。だから、高度経済成

くこともあったと思いますが。 高校に進学するかどうかで子どもが振り分けられていことにも、当時は価値があったわけですね。一方で、ことにも、当時は価値があったわけですね。一方で、

山田 そうですね。高校に進学しない生徒は3割くら山田 そうですね。高校に進学しない生徒は3割くらいはいたと思います。その子たちは、もう自分は学校いはいたと思います。その子たちは、もう自分は学校のはいたと思います。

もであるというような意識もあったでしょうか。
山下 大人になっていく同級生に対して、自分は子ど

**滝川** よく覚えているのは、進学した高校には定時制

本はでは、 は、 ななよと。 とは は、 な師が授業に 遅れたら生徒が怒ったんですね。 は、 な師が授業に 遅れたら生徒が怒ったんですね。

しょう?
しょう?
に面があると思いますが、ご自身はどうだったんでいた面があると思いますが、ご自身はどうだったんでしょう?

しませんでした(笑)。と言われていたので、そういう意味でも過激なことはたりはしましたが、医者から「過激な運動はいけない」と言われていたので、そういう意味でも過激なことはです。安田講堂の事件は、病院のベッドからテレビで

全共闘世代は、社会が高度経済成長で近代的な秩序になっていくなかで思春期を過ごして、ある窮屈感というか、抑圧感を、すごく鋭敏に感じたんだと思います。小学校時代にはあった、よくも悪くもラフでマージナルな世界が、高度経済成長とともに失われていった。ふるさとのようなものを奪われたことに対する反発というか、世の中が秩序化していくことへの反発意気分みたいなところで言えば、そういうものがベース気分みたいなところで言えば、そういうものがベースにあったような気がします。

### 異議申し立て

当時の精神医学は力動精神医学が主流でしょうか?山下 大学は医学部で精神医学を学ばれたわけですね。

滝川 まだ生き残っていた、という感じですね。ちょ うど学園紛争と重なるかたちで、反精神医学の運動が 世界的に起きました。その背景には、当時の精神医療 の状況が非常に悪かったことがあります。ひとつには、 当時の精神医学は、どちらかというと研究主体で、患 者さんを治療する、患者さんをいかに幸せにしていく かという視点は少なかった。そのことに対する異議申 し立てが反精神医学でした。

は精神分裂病(現在の統合失調症)を中心に問題になっとしてきたことがあります。患者の脳に何か異常が起きている、あるいは心理に問題が起きていると見て、はがずれにしても、それは患者さん個人に起きている異常が起としてきたことがあります。患者の脳に何か異常が起としてきたことがあります。患者の脳に何か異常が起としてきだろうか、という異議申し立てが起きた。当時神分裂病(現在の統合失調症)を中心に問題としてきたことがあります。

指す。これに対し生物学的精神医学は、精神疾患を「脳の病気」と捉える。いや相互的因果関係の結果として捉える精神医学。狭義には精神分析を\*2 力動精神医学: 精神現象を生物・心理・社会的な力のぶつかりあ

滝川

私が最初に出会った不登校のケー

スは、

中学校

都大学名誉教授

考えてみましょう。たんですが、ここでは、現在に即して、うつ病を例に

くる。 それが説明できない、と問う。 というのは、 すぎた人が、うつ病になっている。そういう社会状況 と見ているわけです。だから、 た人、あるいはそういう条件に合わせようとがんばり 全体が強いている。そのなかで、なんらかの弱さを持 ているのは、 どうして、 ています。 いうクスリを開発するのが精神医学ということになっ ロトニンを増やすクスリを使えば治ると考えて、そう る生物学的な障害と考えますね。 .などの問題がある。無理な労働、無理な生活を社会 ラル うつ病は、 状況をそのままにしていれば、 って置いて、 アド むしろ問 それに対して、反精神医学では、 いま、こんなにうつ病が増えているのか、 V おかしいじゃないか。 ナリンやセロトニンの不足によって起こ 現在の医学では、 いまの社会が人びとに与えている労働条 われるべきは、 患者さんにクスリだけ与えれば治る こんなにうつ病が増え ノルアドレナリンやセ うつ病を生みだし、 脳の神経伝達物質であ 患者さん 仮に治 次々に患者が出 の脳 ったとして だったら 0 簡 7 9 題

もうひとつには、障害者差別の問題がありました。もうひとつには、障害者差別の問題がありました。思者を生み出すような社会状況があるのに、その社会のあり方を棚上げにして、患者個人の病理にしてしのあり方を棚上げにして、患者個人の病理にしてしまっている。それが患者が病的な存在として社会から差別・排除されることにつながっている。つまり二重だけ、という主張ですね。

影響力を持った。 張でした。 とではないのか、というのが反精神医学の基本的な主 入れたところに新しさがあって、 神障害をめぐる問題を、 いといけない、それが精神医学のほんとうにすべきこ こうした問題意識から、 たとえば、 えにして不登校を論じたものですよね。大人の精 それは、リ 渡辺位先生の不登校論は、 ーズナブルな主張だったと思います。 子どもの不登校の問題に採り むしろ社会を変えてい 大きなイ 反精神医学を ンパクトと かな

もありみたいな自由な雰囲気がありました。台風が過生きていた時代でした。だから、ある意味で、なんで神医学運動も収束しつつあった時代で、その残り火が私が精神科医になったのは、学園紛争のあと、反精

は、とてもよかったと思いますね。空気がある。そこから精神医学の勉強を始められたの空気がある。そこから精神医学の勉強を始められたのぎたあとって新鮮でしょう。もちろん枝がちぎれていぎたあとって新鮮でしょう。

暴力も出ていて、児童相談所に一時保護されていまし

相談所の心理判定員が統合失調症ではな

1年生の男の子でした。学校に行かなくなって家庭内

いかと心配されて、精神科医の私にリファ

た。そこで、

臨床だったんでしょうか? 山下 臨床医を始められたのは? 当初から子どもの

多いです。

ですが、そのころは、

くわしく調査診察をして、

いま、

一時保護というと「虐待」の

ケー

・スが

があった

たんですね。

ハッキリ診断するために、

\_\_\_

時保護することが多かっ

滝川 臨床に踏み込みました。 生のご指導のもとに、不登校や自閉症など、 が子どもに力を入れてやっておられて、 中康裕先生が講師としておられたんですが、 授になられて、 ちょうどそのころ木村敏先生が名古屋市立大の教 75年に、 名古屋市立大学の大学病院に入りまし 助教授に中井久夫先生が来られて、 私も、 子どもの 山 山中先 中先生 山

山下 何年ごろの話でしょう?

んでいました。いきなり児童相談所につれてこられて、ます。彼は、ふくれっ面して何も言わなくて、腕を組滝川 医者になって2年目でしたから、76年だと思い

### 不登校との出会い

山下 ご自身の臨床医としての不登校との出会いは?

(なかいひさお 1934~)精神科医。神戸大学名誉教授。元名古屋市立大学医学部教授。元日本精神病理学会理事長/ 名誉教授。/山中康裕(やまなかやすひろ \* 元国立精神・神経センター \* 4 3 木村敏 (きむらびん 1931 渡辺位(わたなべたかし 1925 国府台病院児童精神科医長。 ~) 精神科医。 2 9 京都大学名誉教授。 児童精神科医 甲南大学 中井久夫

判断を心理判定員に伝えて、本人には「これで家に帰 来ました」と言って、その後は定期的に通ってきまし という生活でしたが、お母さんの話から、暴力が出な 族とも顔を合わせようとしない、食事は運んでもらう た。その間、本人は、自分の部屋に閉じこもって、家 なずいたので、その後は、お母さんと面談を続けまし さんと話がしたいけれどもいいか」と聞きました。う に話しに来てくれないか。自分が無理だったら、お ることになると思うけれども、 つまでも、こうしていてもしょうがないと思ったので て1年ほどしたある日、突然、本人があらわれて、「い しずつ変わっていくようすが伝わってきました。そし くなったり、部屋のそうじをするようになったり、少 した。診察の結果、おそらく統合失調症ではないとの 時保護されてるわけですから、無理もないと思い よかったら家から病院 母 ま

彼は結局、学校へは戻りませんでしたが、学校には「少 やっていくと、 ていました。中井久夫先生の風景構成法を入れながら 何をしていたかというと、おもに絵を描いてもらっ 少しずつ風景が変わっていきました。

> いて、 れは今でもわからない」と言っていましたね。 卒業後は、 私が最初に出会った不登校でした。 「あれはどういうことだったんだろう」と聞くと、「そ ほかの仕事をしながらですが、ときどき個展を開いて す(笑)。ただ、彫刻で食べていくのは厳しかったので、 点はなくて、 りました。 します」と伝えて、ちゃんと卒業はさせてくれました。 しずつ成長しているように思うから、 案内が来ます。大人になってから会ったとき、 私も彼の絵は見ていたんですが、美術的観 東京の美術専門学校に行って、 その道に進むとは思いもよらなかったで よろしくお願 彫刻家にな それが

> > - 110 -

屮 ように考えておられたんでしょう? 臨床医としての当初、 不登校に つい て は、

不登校ではなく。 山田 登校拒否という言葉でしたか? 学校恐怖症

滝川 ところから見ていたという感じではなかったですね。 登校拒否でした。 ただ、 あまり登校拒否という

分類して、そこで見ていくというよりも、 ていくというのが、 治療の基本ですしね。 その子を見

# 学校へ行く意味は

態」になってしまっていた、ということでした。それ ても、 で言 わかるケースでした。 行けないということが、心理学的に説明できる、よく では続くわけがない。 ていたんですが、 た。治療がまずいのかな、見落としがあるのかなと思っ 続かないんですね。それは、当初は不思議に思えまし いる問題が解決して、元気になって学校へ戻っても、 . 年代末に出会った、別の高校生の女の子のケース いますと、彼女の場合は、こういう理由で学校に 勉強についていけなくて、 ふと思い当たったのは、 しかし、少しずつ彼女が抱えて いわば「お客さん状 学校に戻っ

時代ではなくなっていました。心理学的な問題が解決 学校に行って座っていること自体に意味があるという したからとい 当時はすでに、勉強がわかってもわからなくても、 って、 続かないのも当たり前だなと気が

> 学校へ行く、 く意味とは何なのかを考え始めました。 かを考えないといけないと思って、子どもが学校へ行 つきました。 学校にいることに、どんな意味があるの あらためて、一人ひとりの子にとって、

原因があるから不登校があると考えていたわけです。 育や戦後民主教育に求めるにしても、 る。それを親子関係に求めるにしても、 りを考えていたんです。学校を休むからには原因があ 校へ行くのか。 しかし、そうではなくて、 それまでの不登校の議論では、学校を休む意味ば そもそも、 なぜ子どもが学 いずれにしても 学校の管理教

ですね こってくる現象ではないかと、見方が変わってきたん が失われてしまう、見えなくなってしまうことから起 です。不登校というのは、学校へ行く理由や動機づけ けっこう大変なことです。 給料も出ないのに、 毎日、学校へ行くというのは、 何か理由や動機があるはず

画 **\*** 5 (芸術療法)の一つ。 風景構成法:中井久夫によって 1969年に創案された、 絵

とは、どうちがうのでしょうか?

滝川 反精神医学が意義のある主張だったのは確かで 、私からしますと、渡辺先生は、少しイデオロギー すが、私からしますと、渡辺先生は、少しイデオロギー すぎて、現実を一色に塗りつぶしてしまっているという見 方で、現実を一色に塗りつぶしてしまった。思いが強 すぎて、そちらに引き寄せすぎていたというのが、私 の率直な印象です。頭のなかに、どこか「理想の学校」 みたいなものがあったんでしょうね。ほんとうに一人 みたいなものがあったんでしょうね。 ひとりの子どもが見えていたのかなと疑問にも思って いました。

必要以上の批判になってしまった面もあると?わけですね。理想の子育て、理想の教育像があるから、わけですね。理想の子育て、理想の教育像があるから、

滝川 そう思います。ただ、逆もあるんですよね。 渡

んかも、そうでしょう。判もありますね。戸塚ヨットスクールの戸塚宏さんな判をを左派としますと、反対に、右派からの学校批

山下 その場合は、家庭に問題を求める向きも強かっ 山下 その場合は、家庭に問題を求める向きも強かっ

影響を及ぼさないのでしょうか? 理想が強すぎると、臨床現場で出会う子によ

**滝川** もちろん、渡辺先生と出会って、それまで学校に行かないほうが健康だ」と言ってもらって、ホッとしたということはあったと思います。一方で、なんとかたということはあったと思います。一方で、なんとかれ自体を否定されて傷ついたという子どもたちもいまれ自体を否定されて傷ついたという子どもたちもいましたよね。そういう面はあっただろうと思います。

**竜川** どこかぴったりこない感じはありました。渡辺 造川 どこかぴったりこない感じはありました。渡辺

#### 学校の聖性

言ったら、そのゴミのなかに中学校の卒業証書が入っる世代まではできなかったですね。兄弟があれば下のる世代まではできなかったですね。兄弟があれば下の子が使うとか、そうでなくても取っておく。台風で避酷めて避難した。そういうリクツ抜きの感覚がありま計めて避難した。そういうリクツ抜きの感覚がありました。ところが、私の体験でも、引っ越すときに息子した。ところが、私の体験でも、引っ越すときに息子した。ところが、私の体験でも、引っ越すとさい。

学校を休むこともそうですね。みんなが学校に行っている時間に、自分が学校にいないこと、理由なしに休むことはいけないこと、とんでもないことでした。ある時代、ある世代までは、学校というのは大事な場ある時代、ある世代までは、学校というのは大事な場ある時代、ある世代までは、学校というのは大事な場ある時代、ある世代までかったわけです。その結果、長欠でも、学校をリクツ抜きに尊いものだという意識は社会ら、学校をリクツ抜きに尊いものだという意識は社会ら、学校をリクツ抜きに尊いものだという意識は社会ら、学校をリクツ抜きに尊いものだという意識は社会ら、学校をリクツ抜きに尊いものだという意識は社会ら、学校をリクツ抜きに尊いものだという意識は社会をういう意識が消えていったんですね。

でもちがうと思いますが?学校への思いはそんなに強くないですね。戦前と戦後少校への思いはそんなに強くないですね。戦前と戦後して、しかし、「英語で鯛は釣れん」という時代は、

性に開かれていることが大事だったわけです。 に、これだけ情報化されてしまえば、高度な情報にい 学校は唯一の貴重な回路だったわけです。 書」(学制序文)ですね。学問こそが身を立てる基本 とえば 1872 年の「学事奨励に関する仰せ出され わけではないことは知っていたわけですが、その可 あった。もちろん、学校に行けば誰もが豊かになれる 初めて学問や知識にアクセスすることができたわけで くらでもアクセスできますが、以前は、学校を通じて、 が個人的にも、 います。実際に、 れるし、豊かな社会を築ける、 そういう意味で、 学校を門戸にして、私たちは初めて高い存在にな ほかに代わるもののない大事な場所という時代が 戦前にも学校の聖性はあったと思います。 社会全体としても、豊かになるには、 非常に貧しい社会のなかで、 学校というのは、かけがえのな ということが書かれて いまみたい 人びと

が、学校の聖性は純粋なものとして定着していたんだ識が根づいていたわけです。その意味で、戦前のほうことは、リクツ抜きに大事なことだった。そういう意そういうなかでは、子どもたちにとって学校に行く

生きていた。くからということではなくて、行くこと自体に聖性がと思います。学校に行って、こういうスキルが身につ

聖性と実利性がうまくセットになっていたんだと思いになっていきます。ただ、60年代までは、戦前からの戦後になると、それが、よくも悪くも実利的なもの

### 学校の価値

貴戸 60年代に問題となった学校恐怖症の子どもたちの場合、学校の聖性を内面化して、行かなければと思いつつ、なぜか行けなかったわけですね。しかし、学校の聖性が弱まるなかで、そういう臨床像がバラけて校の聖性が弱まるなかで、そういう臨床像がバラけてはなくて休む、というように。

こと自体に意味があるわけですから。ピタゴラスの定味が見いだせないという意識は生まれませんね。行く味が見いだせないという意識は生まれませんね。行く意

がったかというと、ひとつには、工業社会から高度消行くことの実利性が下がってきた。どういうふうに下れが機能していたわけです。しかし、その後、学校にれが機能していたわけです。しかし、その後、学校になが生まれない。戦後になると、たんに聖性だけでは理がいったい何の役に立つのかとか、そういう意識自理がいったい何の役に立つのかとか、そういう意識自

費社会に、社会の基本構造が変わったということがあります。 とがあります。 とがあります。

社会のなかで 何が価値とさ れるかという と、労働に役に 立つものが価値 とされるわけで

立とれ何が社かっまかっ基社

滝川さんの卒業アルバムより 1950 年代末の小学校の教室のようす

では、勤勉に働くことが生産性につながり、それが社会の豊かさにつながっていた。しかし高度消費社会では、基幹産業が消費産業ですから、勤勉はあまり価値は、基幹産業が消費産業ですから、勤勉はあまり価値にならない。「こんなものもほしいでしょう。これはどうでない。「こんなものもほしいでしょう。これはどうですか」と提示して、欲望をふくらませて、それを充足させていく。

いけない。それが高度消費社会の価値観です。 感、心地よさを与えないといけない。不快を与えては は、自分はこんなものがほしいと、欲望が個人化・私 は、自分はこんなものがほしいと、欲望が個人化・私 は、自分はこんなものがほしいと、欲望が個人化・私 は、自分はこんなものがほしいと、欲望が個人化・私

は、学校教育のシステムは、すんなり受けいれられなですね。一人ひとりが自分の欲求を追求するなかで知識を与えることを大きな目的としてつくられたものそもそも公教育は、全員に同じもの、同じ体験、同じそうすると、学校教育がそれに応えるのは難しい。

わ n なってきますね。 ていかざるを得なかったわけです。 そのあたりから、学校の聖性は 失

すると、 とでは休まなかった、というようなことで、 のメ 場で求められるものとのあいだに亀裂が入ってくる。 ちが学校を休むようになってくる。 てくるわけです。 えなくなってくる。 学校でこんなことをしていて、 協調性とか、 で協力する意味もないですね。 せてとい それに、消費産業は、個別サービスですから、 リットがあるのか、どう将来につながるのかが見 学校で培うものと、実際に社会に出て労働 うのは、消費産業のなかでは役に立たない。 勤勉性は価値ではなくなってくる。そう そこで、昔だったら、 学校に行く意味がわからなくなっ 何の役に立つのか、 学校でみんなで力を合 この程度のこ 子どもた 集団 何  $\sigma$ 

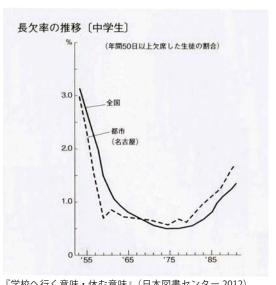
思い ない 判 突き崩し なんだ、 が それと、もうひとつには、 、ます。 ほうに価値があるという主張が、学校は大事な場 学校の聖性にとどめを刺したところがあったと たところがあったと思います。 学校は悪い場所である、むしろ学校に行 勉強することは大事なんだという意識を 渡辺先生のような学校批 か

> 中 ょう そうい った変化に気づかれ たの は、 13 つごろ で

#### 長欠率の 力 ブ

ていて、 した。 で、そのころには、不登校はむしろ中高生の 逆転して上がり始める。 律違反の状態でした。 れた治療施設ですね。 てつくられた施設で、 でした。 緒障害児短期治療施設 ĴĪ 実際に中学生も入って 70年代半ばに、それまで下がってい 中学生の受けい 情短施設は、 私が関わ 法律的には12歳未満を対象とし 小学校の不登校を念頭につくら (以下、情短施設)に そのことに気づい れの必要性が高くなっていま いましたが、 り始めたの たの 問 厳密には は た長欠率が 84年ごろ 13 題になっ たとき は、 法

長が きっかけは戸塚ヨットスクール事件でした。 しかし、 中学生まで受けいれてい 「社会は自分を非難するけれども、 80年代に入って厚生省 いという通達を出します。 (現・厚生労働省 じゃあ中学生 戸塚宏校



『学校へ行く意味・休む意味』(日本図書センター 2012) より転載。

てい てはい 考えたのが、 これはどういうことか、 か 方の現象だったの えていく。 を比べると、 席者数を調 できるデー 意味、 問題から近代性の問題に転換したのです。 0) る。 ぼると、以前はずっと多かったんですね。 たんですが、 大づかみに言えば、 学校を休 それまでは長期欠席はどちらかというと地 べ始めました。そうしたら、 タが必要でした。それで、 あるときから、 きっかけでした。また、 が、 むことの いつごろから増え始めたのかとさ ある時期から都会の現象になっ これをどう説明できるの 背景がここで大きく変わ 長期欠席が社会的後進性 名古屋市が全国 中学生 名古屋市と全国 たしかに増え 長期欠席 そこで、 よりも増 の長期欠 かと 9

たり

中学生の分教室をつくるためには、

行政を説

得

実際に中学生が入れるように部屋を改修し

20歳まで入所 上げたわ

可能となっている)。

かれたわけです。

けです

(※その そこで、 は誰がみ

るの

どこもやってないじゃな

いか」と抗

したん

です

Ŕ. か。

行政としては図星で痛いところを突

情短施設の対象年齢を引き

98年の児童福祉法改正

で

暴行、 大きく又)こだっしこ。)… ~……・ 厳しいスパルタ式のヨットが 1976 年に開設したヨットスクール。厳しいスパルタ式のヨットが 1976 年に開設したヨットスクール。厳しいスパルタ式のヨットォモ ルで 棄却し、判決が確定。 懲役6年の実刑判決を言い渡した。 て5人が死亡し、83年6月、戸塚宏校長は逮捕された。 大きく取り上げられた。79年~ 2人に対する傷害致死、 「指導」 傷害、 一を続けて 監禁などで起訴された。 06年4月、戸塚校長は満期で出所し、現在もスクー 2人に対する監禁致死、 「塚宏校長は逮捕された。 戸塚校長らは、一8年にかけて、職員らの暴力などによっ 97 年、 最高裁は戸塚校長の上告を 名古屋高裁は戸塚校長に その他20人に対する

のなかで下がったんじゃないかと考え始めたんです。 
のなかで下がったんじゃないかと考え始めたんです。 
に、学校に行くことの値打ち、学校の存在価値が社会に、学校に行くことの値打ち、学校の存割は終わったと 
に、学校に行くことの値打ち、学校の存在価値が社会 
に、学校に行くことのでは、 
に、学校のであるに、 
に、学校の役割に 
に、学校のであるに 
に、学校のであるに 
に、学校に、 
に、学校の役割に 
に、学校の役割に 
に、学校のであるに 
に、学校のであるに 
に、学校のであるに 
に、学校のであるに 
に、学校のであるに 
に、学校に 
に、学校のであるに 
に、学校に 
に、学校のであるに 
に、学校に 
に、学校のであるに 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校に 
に、学校の 
に

ほんとうに、いろんなことが考えられますね。山田 長欠数の推移をどう読むか。このグラフだけで、

と同じで、社会の変化を映し出していますね。 今度は近代的な理由から増加していく。長欠率もそれ をU字型を描きますね。前近代的な女性労働や離婚が とし字型を描きますね。前近代的な女性労働や離婚が という

**滝川** 長期欠席が増えたと言っても、そちらだけを見

に行く場所がないからだと思います。はどういうことなのか。一番の理由はおそらく、ほかり割以上の子は毎日学校に来ているわけですね。それていると片手落ちで、裏を返せば、そうは言っても、

会として、小学校がある。
は、いわば親の懐の延長ですね。親の懐を出た先の社のは、いわば親の懐の延長ですね。小学校は、いよいのは、いわば親の懐の延長ですね。小学校は、いよいこで成長することが大事です。保育園や幼稚園という

つの世界からなっていた。しかし、私たちが小学生のころは、学校から帰ってたったわけです。重なっている部分もありますが、二だったわけです。重なっている部分もありますが、二だったわけです。重なっている部分もありますが、二つの世界からなっていた。

界が学校しかなくなった。子どもにとって、社会的な界が消えていきましたね。子どもが社会体験をする世に入るにつれて、社会から学校の外の子ども集団の世ところが、高度経済成長が終わって、高度消費社会

居場所をつくるのは、成長のために必要不可欠なこと居場所をつくるのは、成長のために必要不可欠なことです。しかし、その場所が学校しかなくなってしまった。そうすると、勉強以前に、親の懐を離れた社会的な体験が得られる場として、学校へ行くしかない。そのために、9割以上の子どもは学校に行っているのでの場がないから、学校でよって学校は居場所として不可すから、子どもたちにとって学校は居場所として不可欠な場で、学校がなくなればいいということではすみたな場で、学校がなくなればいいということではすみません。

しかし、子どもは学校で人とまじわることを求めているのであって、学校が本来の役割として与えられている、アカデミックスキルを身につけるとか、集団体いる、アカデミックスキルを身につけるとか、集団体験をするとか、勤勉に努力するとか、そういうものをまれていて、学校は、子どもは学校で人とまじわることを求めてしかし、子どもは学校で人とまじわることを求めて

昔は、わからなくても座って授業を聞いていること

座っていることはストレスでしかありません。まじめ そうではないですね。わからない授業なのに、じっと 意味があったわけです。ある時代までは、学校体験、 けれども、 は、力と意欲があって、内容を理解していく人もいる が価値とは思えないから、 に黒板に向かって黙って座って授業を聞いていること 学校の授業とはそういうものだった。しかし、 いていることに価値があったのと同じですね。なかに 人が、お経の内容はわからなくても、ずっと座って聞 自体に価値があったわけです。仏教を深く信じている 私語することも多くなる。学級崩壊も起きるわけ そこで、 理解しなくても、座って聞いていることに 何かつまずきがあれば休みだしてしま きっかけがあれば騒ぎ出す いまは

山下 でも、怠学というのは昔からありましたね

したね。でも、それは聖性や秩序に対する反発の色のけです。非行で学校で暴力沙汰を起こす子どももいま流川 もちろん昔から、ある割合で怠ける子はいたわ

とた。一般の生徒が逸脱することはなかった。ところした。一般の生徒が逸脱することはなかった。ところした。一般の生徒が逸脱してしまう。それもハッキリが、いまは誰でもが逸脱してしまう。それもハッキリが、いまは誰でもが逸脱してしまう。それもハッキリだいなフラストレーションから、すぐ遅刻したり、体む子が増えている。さらに、そのなかでストレスを解む子が増えている。いまのいじめは、どこまでが遊びで、めが出てくる。いまのいじめは、どこまでが遊びで、どこからがいじめなのか、線がハッキリしないですね。基本的には、現在のいじめは、キュークツで退屈な、やっていることに意味を感じられない学校生活に対すやっていることに意味を感じられない学校生活に対するストレス解消として、出てきていると思います。

### 不登校と診断名

符的な役割、意味があったと書かれていますが、70年書(『学校へ行く意味・休む意味』日本図書センター書(『学校へ行く意味・休む意味』日本図書センターと、さまざまな診断名がついてきましたね。ご著ど、さまざまな診断名がついてきましたね。ご著

ついては、どう考えてこられたのでしょうか。代後半以降、臨床像が変わってくるなかで、診断名に

滝川 まず、そもそも精神医学における診断とは何か を考えないといけないと思います。内科における診断 を持神医学における診断は、同じ「診断」という言葉 を使っていても、まったく別のものです。内科の診断 というのは、病因、病巣、病理、この3つが同じもの というのは、病因、病巣、病理、この3つが同じもの というのは、病因、病巣、病理、この3つが同じもの を、ひとつの疾患としてカテゴライズします。たとえ ば、結核菌という病因を特定しますね。そして、結核 起きていると病巣(場所)を特定する。そして、結核 起きていると病巣(場所)を特定する。そして、結核 に、結核菌という病因を特定しますね。そして、結核 は、結核菌という病因を特定しますね。そして、結核 は、結核菌という病因を特定しますね。そして、結核 と診断できる。この3拍子がそろって、「肺結核」 と診断できる。

のときも結核のときも出る。症状による診断は客観性ように客観的な症状もありますが、非特異的で、カゼなのか、あるいはどの程度なのか、わからない。熱のなです。なぜなら、症状というのは、しばしば主観的るです。なぜなら、症状というのは、しばしば主観的このように近代医学の診断には、症状は入ってない

る診断は科学性に弱いとして捨てている。に乏しいわけです。そのため、現代医学では症状によ

です。 それに対して、現代の精神医学の診断は、症状による診断です。 たとえば「落ち着きがない」「じっとしりストのなかの症状が5つ以上あったらAD/HDリストのなかの症状が5つ以上あったらAD/HD同じ診断といっても、とらえているものがちがうわけです。

嫌っているとか、ぜんぶ主観的なものでしょう。ある のことを見つめているとか、みんなが自分のことを 病気のカテゴリーかはわからないですし、 えですね。どういう行動をするのか、どうふるまって 神医学の診断は、 は主観的です。 いるのか、 精神医学でとらえているのは、患者さんの行動や訴 診断している。ですから、それが本当にひとつの 統合失調症の場合もあって、 同じ寝込んでいる状態でも、 何を訴えているのか。それらを組み合わせ 誰かの声が聞こえるとか、 厳密な意味で同質性を持ったものと うつ病の場合もあ 非特異的です。精 誰かが自分 多くの場合

は言えないのです。

されていますから、混乱を招いてますね。ですから、DSMでも、disease =疾患とは言わず、がるんです。しかし、disorder は日本語では障害と訳いるんです。しかし、disorder は日本語では障害といっているんです。しかし、disorder は日本語では障害といいるんです。しかし、disorder は日本語では障害といいるんです。しかし、disease =疾患とは言わず、

不登校というのも、あくまで行動から捉えたものでんが)。身体疾患とか、外的な事情は見いだせないにもかかわらず、学校へ行っていない。学校に行っていなくても、本人がそれで納得していれば、別にいいわなくても、本人がそれで納得していれば、別にいいわなくでも、本人がそれで納得していれば、別にいいわなんが平気でも、家族が悩んでいる。それが本人の悩本人が平気でも、家族が悩んでいる。それが本人の悩本人が平気でも、家族が悩んでいる。それが本人の悩みや生きにくさを生み出している、そういうものを不登校と名づけているわけです。これは、肺結核やがんという診断とは、まったく次元がちがうものだという

<sup>\*7</sup> DSM:Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders アメリカ精神医学会によって出版された精神障害の診断と統計マニュアル。現在第5版まで出されている。

不登校 50 年証言プロジェクト

理解が必要ですね

屮 どうでしょう。 断名もつけられてきたと思いますが、これについては なるほど。不登校について、情緒障害という診

#### 混乱を招 情緒障害

滝川 れた大人が環境との関係のなかで失調を起こす神経症 かし、厳密に考えると、すでに一定の精神形成がなさ う言葉が使われるようになったんです。佐藤修策先生 にもそういう状態は起こる。そこで、小児神経症とい は大人の精神障害の臨床概念だったんですが、子ども という概念は、身体的・生物的な異常はないけれど の訳語です。順を追って話しますと、神経症(neurosis) 「神経症的登校拒否」というのも、そうですね。し まだ精神発達途上の子どもが失調を起こすもの 同じ神経症とカテゴライズするのは妥当性を欠く メンタルな失調が起きるものを言います。 情緒障害というのは、emotional disturbance 神経症

> と同じです。この場合も、disturbance を障害と訳し 緒的な活動や成長が、なんらかの環境的要因によって、 という指摘があって、そこで出てきたのが emotional アなんかでも、「don't disturb」とありますね。 さまたげられている状態を指す言葉です。ホテルのド disturbance という概念でした。これは、子どもの情 てしまったのが混乱のもとだったと思います。 あれ

屮 でしょうか? 情緒障害の状態像は、 不登校と関係してい たん

滝川 ライズされたと言えます。 題と捉えたものが、 に学校を休む小学生が出てきて、 常識的な意味では欠席の理由が見当たらな emotional disturbance にカテゴ それを神経症的な問 11 0)

屮 年代的には、 いつごろでしょう?

滝川 境もよく、 昭和30年代だと思います。 先生や友人との関係もうまくいっている 勉強も好きで家庭環

でも、それはまだ専門家のなかの話で、 心理療法や箱庭療法を採り入れてきた。とくに、遊戯 た。それから、 弟子さんのアクスラインが子どもの遊戯療法を導入し を知っている時代ではなかったですね。 の心理療法の考え方が日本にも導入されてきました。 療法や箱庭療法は子どもを対象とした療法で、 が入ってきましたね。もうひとつは、ロジャーズのお のに、なぜか学校へ行けない小学生が出てきたので そのころ、ひとつはロジャーズのカウンセリング 誰もがカウンセリングやメンタルケアという言葉 河合隼雄先生がスイスからユング派の いまのよう 子ども

よね。 屮 ましたが、 自閉症の場合でも情緒障害学級がつくられてい emotional disturbanceと自閉症は別です

滝川 のは、 あ「Autistic disturbance of affective contact」 カナーが自閉症をはじめて報告した論文のタイト 教育の世界なんです。 まったく別ですね。 自閉症を情緒障害と呼ん アメリカの児童精神科医 で ル だ

> てさまたげられている、という意味です。ここから「情 た (1943年)。 緒障害」という用語をつくったんでしょう。 のもとでしたね。 情緒的な対人接触が、自閉性によっ これも混

#### 情短施設の 経緯

中 に対応するためだったんでしょうか? 情緒障害児短期治療施設ができたのは、

滝川 で、家庭状況に問題を抱えていたり、 来の貧困などを理由とした長期欠席や怠学では理由の 童福祉では出会わなかった現象でした。不登校も、 されている る子どもの問題だったのが、恵まれた家庭で、 つかない現象でしたし、非行も、従来は思春期の問題 行を対象とした施設でした。どちらも、 てきた、小学校低学年の不登校と、小学校低学年の非 できたのが最初ですね (現在は37カ所)。そのころ出 1962年に全国で3カ所 のに小学校低学年で万引きしたり、 (大阪、 生活困難を抱え いままでの児 岡山、 家のお 大事に 静岡)

なんらかの神経症的な心理学的な問題だろう、 害 (emotional disturbance) の問題だろうということ 金を持ち出してしまうなどの現象が出てきていまし た。そういう理由のわからない現象に対して、 この二つをおもなケアの目的としてつくられたん これは 情緒障

屮 短期というと期間は?

カ月)。 滝川 ですね 原則3カ月で、 (※ 2011 年現在の平均在園期間は2年4 長くても6カ月というのが最初

か? 屮 不安説から、 入所型 母子分離をはかるためだったんでしょう (宿泊型) になったのは、 不登校=分離

滝川 ひとつは、それまでの児童福祉施設 護施設など)が、ぜんぶ入所型だったからです。 私が調べたかぎりでは、 入所型になった理由 (乳児院や児童養 戦後、 0

> したり、 象とする必要はなかったんですね。 かと考えられていました。子どもの欲望を過度に刺激 なかで、それが子どもにストレスを与えるんじゃない 会の近代化が急速に進められて、環境が急変していく 題だったということがあります。高度経済成長期、都 のでした。当時は、家から通えるような子は福祉の対 たわけです。 置くことで、 の悪環境から子どもを離して、自然に囲まれた環境に 環境のなかで、子どもを保護する目的でつくられたも つくられた児童福祉のシステムは、非常に貧 現れた不登校も年少非行も、 大人数詰め込み教室だったり、 それが、 のびのびできるのではないかと考えられ もうひとつの理由だったと思い 都会から出てきた問 もうひとつは、当 そういう都会 しい社会

屮 境だということですね。 disturb しているの は、 家庭よりも、 都会の 環

滝川 て集中的に生活的なケアもするし、 社会環境そのものですね。だから、 専門的な心理治療 施設に集め

のコンセプトですね。家庭分離が目的ではなく、 ケアすれば、 教室に入れるだろうと考えられていました。集中的に グマインドを持った教育をすれば、学校恐怖症の子も はかならず帰省させるのが当時の原則でした。 学校も施設内学級で少人数で、カウンセリン 短期間で回復するだろうというのが最初 週末



いつごろ

滝川 不登校は中学生 めたときには、 短施設が動き始 実際に情

> すでに事態が変わってい くった。物事って、そういうことがありますよね。 す。それなのに小学生をターゲットとした施設をつ 題が起きて計画を立てて対応策がとられたときには、 のほうが多くなって、問題がシフトしていたと思いま る。

中 ということでしたね。 ご自身が情短施設に関わり始めたのは 84年から

現実との

ところ

ている、 滝川 宅支援で対応できるわけで、むしろ、家庭基盤の崩れ 情短施設に関わりながら、 入所治療でやってもらいたかったわけです。 小学生の不登校や軽度の非行だったら、 にはギャップがあったんですね。児童相談所としては、 を受けいれてもらいたいという要望と、施設側の考え にありました。当時、 の医師でしたから、両方の事情がよくわかる立ち位置 はじめて、 そうですね。 いまで言えば「虐待」にあたる子どもこそ、 その後、 名古屋市のくすのき学園に関わり 園長になりました。私の場合は、 児童相談所が、 一方で児童相談所の診療所 こういう子ども 当時はもう在 しかし、

にズレがあったんですね。たから、厳密に言えば法律違反になってしまう。そこたから、厳密に言えば法律違反になってしまう。そこ上は12歳未満で短期が対象ということになっていまし施設側としては、それは元来の目的ではないし、法律

そうはいませんでした。また、家族の側も、ものものしい名前の施設で、しまた、家族の側も、ものものしい名前の施設で、しまた、家族の側も、ものものしい名前の施設で、しまた、家族の側も、ものものしい名前の施設で、し

私は両方の言い分がわかるので、両方に、それぞれの事情を理解してもらって、タテマエはともかく、実の事情を理解してもらって、タテマエはともかく、実際に困っているのは家庭基盤の崩れたなかで心理的問題にぶつかっている子どもたちでしたから、少しずつ時生が公式に認められて、先ほど申し上げたように、中学生が公式に認められて、先ほど申し上げたように、中学生の部屋や分教室をつくってもらって、対応できるようになりました。また、通所枠を増やして、中学ない不登校は通所でケアするようにしました。そうやって、入所対応は家庭基盤に問題のある子にシフトやって、入所対応は家庭基盤に問題のある子にシフト

滝川 8年に横浜で情短施設ではないんですよ、と。 くられた際、反対運動がありましたね。私たちとして くられた際、反対運動がありましたね。私たちとして は、実際に情短施設がどういうものか知っていただこうと、 は、実際に情短施設がどういうものか知っていただこうと、 がるりましたね。私たちとして を設や がるりましたね。

能してしまうこともあったのではないでしょうか? 反発、精神科における診断名が、ラベリングとして機

診断名です。たとえば、「太郎くんは自閉症です」とつかセットにすると、あるカテゴリに入るというのが前じゃないんですね。あくまで、その人の行動をいくルです。しかし、診断名というのは、その人につく名流川 そうですね。診断名とは何であれ、すべてラベ

は、「太郎くんは自閉症です」というように、太郎くういうふうには理解されなくて、どうしても日本語での特徴に診断名がつくわけです。しかし、なかなかその特徴に診断名がつくわけです。しかし、なかなかその特徴に診断名がいくわけではないですからね。人とうま別症という存在なわけではないですからね。人とうまいうのは、ほんとうはおかしいんです。太郎くんが自いうのは、ほんとうはおかしいんです。太郎くんが自

塚校長も情緒障害という言葉を使っていましたね。山下なるほど。それから、戸塚ヨットスクールの戸

自閉症のようになってしまう。

という意味で、また別内容ですね。 emotional troubled children という英語があてられてましたので、「情緒的にトラブっている子どもたち」をいう英語があてられては、戸塚さんの言う情緒障害児は、英語では

て、それで自信がついたり、乗り越える体験をしたりいたそうです。実際に、自然のなかでヨット訓練をしかったんだそうです。児相でケースを選んで紹介していた管轄の児相の所長から聴いた話では、最初はよ戸塚ヨットスクールについては、少し事情を知って

して元気になっていく子どもはいたんですね。また、そのころは、ふつうのヨットスクールとして開いていち上げたでしょう。そこから、アセスメントなしに、ち上げたでしょう。そこから、アセスメントなしに、ち上げたでしょう。そこから、アセスメントなしに、ち上げたでしょう。そこから、アセスメントなしに、ち上げたでしょう。そこから、アセスメントなしに、ち上げたでしょう。そこから、いろんな問題が出てきたんだと思います。

ね。 しいと願った親たちが、少なからずいたのも事実です山田(わが子をヨットスクールに入れて鍛え直してほ

子に語ったと言ってました。
かつて、大阪の親の会で知り合った中学生の子が、かつて、大阪の親の会で知り合った中学生の子が、かつて、大阪の親の会で知り合った中学生の子が、かつて、大阪の親の会で知り合った中学生の子が、かつて、大阪の親の会で知り合った中学生の子が、

戸塚には、彼なりの人間観、教育観があるのでしょ

れてはならないと思います。 見を受けいれたり、薬を処方していた事実があります。 見を受けいれたり、薬を処方していた事実があります。 しめた精神科医や心理療法家がたくさんいたことも忘しめた精神科医や心理療法家がたくさんいたことも忘りません。 ただ、一方では、精神病院が多くの不登校りません。ただ、一方では、精神病院が多くの不登校りません。

# **椔村問題をめぐって**

に思われてますでしょうか。 山下 88年に稲村博さん(精神科医)の「登校拒否症 は早期に治療しないと30代まで尾を引く」という見解 たが、いま振り返って、この件については、どのよう たが、いま振り返って、この件については、どのよう

の行動や特徴を、不登校と呼ぼうと、情緒障害と呼ぼあいます。学校に行けない、人と会うのがつらいなどわかっていれば、そんなに揉めることではなかったとあくまで行動についている名前だということが充分にありまで

うと、○○症候群と呼ぼうと、本質的な問題ではありうと、○○症候群と呼ぼうと、本質的な問題ではありますね。それは妥当なに、語感として響きのよくないものは、社会的な意味に、語感として響きのよくないものは、社会的な意味に、語感として響きのよくないものは、社会的な意味とはないと思います。

貴戸 当時、稲村さんの見解は、親にとって、一般論と受けとらせるような、社会的力学もあったように思と受けとめられるものではなかったんじゃないでとでけとめられるものではなかったんじゃないでというが、当時、稲村さんの見解は、親にとって、一般論

滝川 稲村先生がおっしゃったこと自体は事実で、実 のとつの生き方だという意見はあると思います。でも、 ひとつの生き方だという意見はあると思います。でも、 ひとつの生き方だという意見はあると思います。でも、 ひとつの生き方だという意見はあると思います。でも、 ひとつの生き方だという意見はあると思います。でも、 ひとつの生き方だという意見はあると思います。でも、 ひとつの生き方だという意見はあると思います。でも、

うと思います。はすまないと、稲村先生としては言いたかったんだろ校に行かなくても当然だという認識に対して、それでう。登校拒否は学校状況が悪いから起こる問題で、学のか、と考えるのも、否定してはいけないことでしょ

**山下** 一方で、無理な入院治療が問題にもされていま

だったのかをよく知らないので、コメントできません。 しかし、そのあたりは、実際にどう

### 学校の行方は

滝川 ねじを巻き戻すことはできないですし、何もかも昔がよかったわけでもないですからね。多くの子どもたちは、学校で勉強すること自体に価値や意味を見いだすことができないけれども、ほかに居場所がないので、やむを得ず学校に来ている。それはストレスの大きいことですね。それがいろんな問題につながって大きいことですね。それがいろんな問題につながって大きいことですね。それがいろんな問題につながって大きいことですね。それがいろんな問題につながってないということを、なんとか変えていく必要があると思います。

学校は当初の役割を果たし終えたわけですが、なくせということではなく、縮小していくことが必要だと思います。朝から夕方まで毎日というのを、もっと減思います。朝から夕方まで毎日というのを、もっと減て、意味のある体験に取り組めるようにする。そうすると、それは子どもによってちがいますから、いろんな種類のものが必要ですね。

ごろから保育園に行って、集団で成長していますが、いく必要があると思います。いまの子どもたちは3歳それから、もうひとつには、集団のあり方を変えて

くて、大人もそうなってますね。片方では「個性尊重」 とちがうことをすごく恐れますね。子どもだけじゃな かだけで育っていく。そうすると何が起こるかという んじゃないでしょうか。きわめて均質な人間関係のな もにとって同世代の友人は絶対に必要ですが、 大人になっていくというのは、長い人類の歴史を考え がうことを、 しまうわけです。ですから、 オンリー たら初めてのことで、 ぜんぶ同年齢集団ですね。ずっと同年齢集団のなかで 「多様性」と言いながら、実際には、 小さなズレやちがいに、 になってしまっているのは、かなり、 すごく恐れている。 とても不自然なことです。 いまの子どもたちは、人 必要以上に過敏になって 人と自分がち やば 同世代 13

体験が必要だと思います。がその役割を果たしてくれていました。そういう集団がその役割を果たしてくれていました。そういう集団必要じゃないでしょうか。僕らのころは、異年齢集団が

ない。そして先生とのつながりも薄くなってますね。すね。子どもが出会う大人は、親か学校の先生しかいすね。

大学生に小学校からの担任の名前を聞くと、言えない大学生に小学校からの担任の名前を聞くと、言えない大学生がけっこういます。子どもが大人になるには、大人と関わる体験が必要です。とくに思春期以降では、要で、子どもは、それをモデルにしたり反面教師にして、大人になっていきます。それが同年齢集団のなかにいると、そういう経験が乏しくなってしまう。これは、やはり不自然なことだと思います。戦前だったら、思春期になれば大部分は働いていて、働いている大人に鍛えられたり、導かれて大人になっていったわけでに鍛えられたり、導かれて大人になっていったわけでに鍛えられたり、導かれて大人になっていったわけでは、そのあたりを何とかしないといけないと思いますね。

ですよね。山下の子ども扱いする学校に閉じ込められているわれ

わけでしょう。それは、どう考えても無理があります。 滝川 高校生まで小学生と同じ生活スタイルで過ごす

その懐の機能も、厳しくなっているように感じます。山下 親の懐という言葉が何度か出てきていますが、

えでしょう?ように感じます。家族のあり方については、どうお考学校も家族も個人化して、消費社会に浸食されている

にあ てい ちにもなる。個々の家族の子育てが社会から守られて 厳しい状況になりますね。これが「虐待」というかた に言うと、ひとたび親が子育ての力を失うと、 面もあります。昔に比べれば、子どもたちはデリケー どもに集中できる世界で、こまやかに育てられている 家族だけの世界というのは、 りました。いまは、家族どうしのつながりがなくなっ ない、社会とのつながりを失っている。 て、それぞれの家族が孤立して子育てをしていますね。 くかは、とても大きな課題ですね。 って、その土台の上に、子どもの異年齢集団もあ おだやかに育っていると言えます。しかし、逆 昔は家族どうしのつながりが地域共同体のなか 一面では、親の思いを子 そこをどうし 一遍に

山下 家族がブラックボックス化してしまってますよ

つくっていくかは大事な問題だと思います。 ものは大きいですね。それに代わるものをどうやってものは大きいですね。それに代わるものをどうやって されだけみんなの意識が個人化してしまうと、

# 個人化社会のなかで

どおっしゃっていたように、学校以外に行く場所がな このまま不登校の数がうなぎのぼりになっていくと、 そういうなかで、それらの気持ちが混ざったような も安住できないということがありますから。 ます。これは、まっとうな気持ちだと思います。家で 所につながっていたいという気持ちがあるんだと思い 私たちは思っていました。しかし、それ以上は増えな は高止まりで横ばいで推移してますね。それまでは、 いからでしょうね。もうひとつには、みんながいる場 かった。これは大事な点だと思います。それは、 2001年に不登校の数がピークになって、 田 話は戻りますが、長欠率の推移で言うと、 しかし、 その後 先ほ

ことが出てくるような不安感を私は持ってます。うにも感じます。そういうなかで、わけのわからないからないような、もやもやとした状態が続いているよ子どもからすると、どこにどう反抗すればいいのかわ

なと思いますね。 それから、学校を学びの場としてよりも生活をとも それから、学校を学びの場としてよりも生活をとも なと思いまする場に、というのは、イメージとしてはわかるけ しまれる状況になってしまっている。これは具合悪い 込まれる状況になってしまっている。これは具合悪い さんだん 教科の数も勉 なと思いますね。

滝川 学校になんでもやらせようとしすぎてますよね!

山田 イギリスやドイツでは、学校以外にスポーツク山田 イギリスやドイツでは、学校以外にスポーツク 山田 イギリスやドイツでは、学校のは、子どもにとってピンチだなと思いますからね。日本では、そう

滝川 そうですね。

貴戸 不登校も個人化して、あなたの人生の選択だと 貴戸 不登校も個人化して、あなたの人生の選択だと しさを感じます。学校以外の場所としては、渡辺位さ んの言説を根拠に、親の会やフリースクールなどの連 がうことになっている。社会に問題を帰すのではなく、 いうこと

**滝川** いま、親の会などの運動はどういう方向になっ

子家庭、貧困層の長欠率も上がっています。そこでは大いっぱいくらいまでは、母親たちが、そのことを真代いっぱいくらいまでは、母親たちが、そのことを真めいうと裕福な家庭の専業主婦ですね。いまは、新しというと裕福な家庭の専業主婦ですね。いまは、新しく入ってくる親は少なくて、一方で、厳しい家庭、母校が母親の育て方のせいだと責められるなかで、90年校が母親の育て方のせいだと責められるなかで、90年校が母親の育て方のせいだと責められるなかで、90年校が母親の育て方のせいだと責められるなかで、90年校が母親の育て方では、日本のよりにより、そこでは

えるような関係は必要だと思って、細々と続けてます。話し合えて、場合によっては子どもをあずかってもらバラになってしまうと厳しい。親たちが同じレベルで親どうしが交流できる場は必要だと思ってます。バラ親の会は成り立たないんですね。ただ、私はやっぱり、

山下 子どもにとって、学校ではない社会は、いずれ山下 子どもにとって、学校ではない社会は、活度消費社会のなかで消えてきています。 台風うやっていけるのかが問われていると思います。 台風一過の話ではないですが、これまでのものが成り立たなくなってきているがゆえに、できることもあるのかなくなってきているがゆえに、できることもあるのかなくなってきているがゆえに、できることもあるのかなくなってきているがゆえに、できることもあるのかなと思います。

は、どうしてもそういうところがあります。そうする論になって先鋭化してしまいますね。運動というの張はリーズナブルなものだったと思いますが、それが張はリーズナブルなものだったと思いますが、それが

れは、むしろ、精神障害の個人化が進んでいます。療という存在自体が悪なんだと、自己否定まで進んで身動きがとれなくなってしまう。そこで行きづまってり動きがとれなくなってしまう。そこで行きづまってしまったところがあると思います。そして、そうなると、揺り戻しが来るわけです。その後の精神医学の流と、そもそも精神障害なんてものはないんだ、精神医と、そもそも精神障害なんてものはないんだ、精神医と、そもそも精神障害なんてものはないんだ、精神医と、そもそも精神障害なんでものはないんだ、精神医

地がない。 辺倒になってますよね。そこには社会や関係を問う余山下 力動精神医学から脳の問題になって、クスリー

げてきましたように、不登校が増えた理由というのは、 できまっと飛躍や無理が生じる。私は、これまで申し上 をよっと飛躍や無理が生じる。私は、これまで申し上 をよっと飛躍や無理が生じる。私は、これまで申し上 をよっと飛躍や無理が生じる。私は、これまで申し上 をよっと飛躍や無理が生じる。私は、これまで申し上 をよっと飛躍や無理が生じる。私は、これまで申し上

がいくと思います。らいでいて、そこで生じている現象とみたほうが合点かしろ、社会構造の変化によって学校へ行く意味が揺

ではない、働く場所があることが大事です。 ころにチャンスの芽を見ています。 く手入れしていくしかないですね。私は、そういうと ダメになっていく時期で、 機転のよさみたいなものばかりが求められています ことです。 る対象があるというのは、 われたという思いが強くあります。具体的に働きかけ すね。私自身、 出 大学院に行かず、 ての子が、サービス産業に適応できるわけではないで また、いまは高度経済成長時代にできたインフラが そんなことでみんながやっていけるはずがない。 しかし、 いまの社会では、発想の奇抜さや斬新さ、 大学で歴史を勉強していたけれども、 社会構造が変化したとい 板金工作の訓練に行って、そこで救 メンテナンスは個別に細か 人間の精神にとって大事な 対人サー っても、 ビスだけ す

造不況のなかで労組がつぶされていって、親たちが職70年代半ば以降というのは、オイルショック後の構

たように思っています。 場でもバラバラにされていった。そういうなかで、親場でもバラバラにされていった。それが子どもの側からすると、いよいよ学校にしがみつかざるを得ない。学校教と、いよいよ学校にしがみつかざるを得ない。学校教かなくなってしまった。それが子どもの側からすると、かなくなってしまった。それが子どもの側からすると、かなくなってしまった。それが子どもの側からすると、かなくなってしまった。そういうなかで、親場でもバラバラにされていった。そういうなかで、親場でもバラバラにとっています。

でも、生産労働なしでは社会は成り立たないですからね。

今日は長時間、ありがとうございました。いうことか、大人の側が考えるべきことは多いですね。ところがある。そういうなかで、大人になるとはどうところがある。そういうなかで、大人になるとはどう

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #05 滝川一廣さん

インタビュー日時:2016 年 8 月 19 日 記事公開日:2016 年 10 月 16 日 場 所:神戸市勤労会館会議室

聞き手:山下耕平、山田潤、貴戸理恵

写真撮影・記事編集:山下耕平

#### 佐々木賢さん



(ささき・けん)

1933年、中国・瀋陽生まれ。1961年~1990年まで東京都立高校の定時制 の教員として勤務。退職後は、和光大学公開講座講師、東京エアトラベル・ホ テル専門学校講師、神奈川県高校教育会館・教育研究所代表、日本社会臨床 学会運営委員などを務める。おもな著書に『高校生の意識と生活―戦後30年 の軌跡』(三一書房 1979)、『学校を疑う一学校化社会と生徒たち』(三一書房 1984)、『怠学の研究―新資格社会と若者たち』(三一書房 1991)、『親と教師 が少し楽になる本一教育依存症を超える』(北斗出版 2002)、『教育と格差社会』 (青土社 2007)、『商品化された教育』(青土社 2009)、『教育×原発』(青土社 2011) など多数。

インタビュー日時:2016年9月20日

聞き手:山下耕平、山田潤

場 所:セントラルホテル東京喫茶店

写真撮影:山下耕平

#### #07

屮 いと思います。 まずは、 佐々木さんの生い立ちからうかがい

佐々木 終戦後の満州は無警察状態になって、人が殺されたり、 いました。 チフスの流行もあって、そこらに死体がゴロゴロして 自殺しまして、いわゆる母子家庭で終戦を迎えました。 員だったんですが、私が4歳のとき、1937年に れました。 私は 旧満州の奉天ですね。 1933年に中国東北部の瀋陽で生ま 父親が満州鉄道の社

引き揚げることができたのは終戦の1年後で、 お寺の本堂が開放されて、 引き揚げ者 名古屋

て、

ら、

の仮設寮になってたんですね。そこで生活を始めました。 に行きました。

屮 ご兄弟は

佐々木 た。イモや米などを買い出しに行って、 人家族でした。 列車に乗って田舎のほうに行くんですが 2 つ 年 戦後、母は 上の兄と3つ年上の姉がいて、 <sup>\*</sup>担ぎ屋、をやっていまし それを売る仕 母 と 4

> うやく買い出してきても、 されました。「今日は統制があって取られたから何も が鈴なりになっていて、 窓から乗り込んだり 警察の手入れがあると没収 して、

#### 少年日雇い

かっ 中 学校はどういうことになってたんです

佐々木 その日の職を探す。 員兵が「おまえはいいから、 はどうしても無理だった。そうしたら、 るされたザルが並んでいて、そこに伝票が入っていて、 は少年日雇いが多くてね。 ほとんど学校に行った記憶はないです。 旧制中等学校併設中学というのがあったんです。 大きな鉄の塊をトラックに乗せる仕事で、 私はそのころは少年日雇いで働いてましたか 旧制中学が 1947年に新制中学に変わっ 「鉄塊」と書いてあった仕事に行っ 職安に行くと、天井からつ 近くにいた復 あのころ

私の友だちは、下男で空襲に遭って、家族も親戚も といしかなかったんで、日雇いから帰ってきて、街 で、初めてコカコーラを飲んだ。まあ苦くて、こん な変なものをアメリカ人は飲んでるのかと思いました な変なものをアメリカ人は飲んでるのかと思いました な変なものをアメリカ人は飲んでるのかと思いました なの下で教科書を読んだりしていました。そ 私の友だちは、下男で空襲に遭って、家族も親戚も

私の友だちは、下関で空襲に遭って、家族も親戚もなくして、小さいころの記憶をたどって、親戚がいるました。最近、そいつも死んでしまいましたが、そうました。最近、そいつも死んでしまいましたが、そうました。最近、そいつも死んでしまいましたが、そいつ時代で、みんなが苦労していました。

## 定時制高校に本屋で働きながら

山田 佐々木さんも定時制高校に通われていたんです

よね。

店に自転車やリヤカーで配達してました。番大きな取次書店でね。小僧が10人くらいいて、小売番大きな取次書店でね。小僧が10人くらいいて、小売はってました。川瀬書店という、当時は名古屋で一

ね。母は、職業を転々としていました。 に表からは、うらやましがられました。うちも、それで生活保護を打ち切られましてにしたがですが、兄が定時制があったんですが、兄が定時制でも、中卒で高校に行くのは半数以下でしたね。友

も多かったんじゃないでしょうか。 定時制高校という選択肢があること自体、知らない人山田 中卒で働く人がたくさんいましたよね。当時は、

ると言ったら、「本屋はいいぞ、本が読めるぞ」なんずぼらで、ぜんぜん教えてくれなかった。本屋に勤め行ってましたから、それで知ったわけですが、教師は佐々木 そうですね。私の場合は、兄が定時制高校に

ともあります。本を読んでいたら「本なんか読むな!」と怒られたこて言ってね。しかし、本なんかまったく読めなかった。

から送られてきたララ物資に救われた面はあります。が、多くの人が飢え死にしそうだった時代で、アメリカでいることもあって、家畜の飼育用だったらしいですべパンと脱脂粉乳が出る。脱脂粉乳にはウジ虫が入っていることもあって、家畜の飼育用だったらしいです。 実をでは朝7時から働き始めて、18時か19時まで残本屋では朝7時から働き始めて、18時か19時まで残



定時制高校の校舎(下)定時制高校時代の佐々木賢さん(右)



山田 4年で卒業されたんですか

佐々木 2年生のときに結核になって休学したので、 5年かかって卒業しました。その間、同級生が5人死 んでます。結核、栄養失調、自殺などで、1年に1人 ずつ死んでいく。当時の定時制は、ほんとうに貧乏人 ずかりでした。労働組合の組合員もいて、1952 年の大須事件で捕まったのもいました。仲間に感化されて、私もだんだん政治づいてきて、朝鮮戦争が始まったときは学校のなかに反戦組織をつくったり、大須事 たときは学校のなかに反戦組織をつくったりで、

て使われていた。 \*1 PX:Post Exchange アメリカ軍の基地内にある売店のこと。

助団体。LARA は Licensed Agencies for Relief in Asia の頭文字。となって設立した「日本難民救済会」を母体に設立された日本向け援\*2 ララは、1946年、アメリカ在住の日系人浅野七之助が中心

るなどの事件となった。警官隊と衝突し、デモの参加者 1 人が死亡すらデモへと発展したが、警官隊と衝突し、デモの参加者 1 人が死亡す帰国した議員を歓迎する集会が名古屋市の大須球場で開かれ、そこか\*3 大須事件:1952 年 7 月 6 日、日中貿易協定の調印式から

もいて、 佐々木 爿

当時の生徒は、

どんな感じだったんでしょう。

でしたが、

け」という感じでね。そういう雰囲気でした。 授業なんかそっちのけでした。先生も「おお、 行け行

#### 付き合い 人間どうしの があっ

屮 高卒後は?

佐々木 「生きてちゃいかん」と言われたような気がして、 定時制高校の先生のところに行ったんです。 れは死ぬよりしょうがない」と思って、とぼとぼ歩い 記もできなくて事務ができると思うか!」と怒鳴られ に「そろばんは何級? と書いて出したら、長いこと待たされたあげく、係官 働はしちゃいかん。事務労働がいいだろう」と言われ て、でも、お袋も悲しむなと思うと家にも帰れなくて、 てません」と言ったら「バカヤロー! そろばんも簿 ていました。それで、職安に行って「事務労働希望」 追い返されてしまいました。それはショックで、 結核をしていたので、医者からは「きつい労 簿記は?」と聞かれて、「持っ  $\overline{z}$ 

古木一という文学好きの国語の先生で、訪ねたら「そ

験もぜんぶ落ちて、しょうがないから大学を受けたん

です。それで、「そうか、なんとかなるか」と思えた。 立ちながら、 方になって、先生が「俺はこれから授業に行くから」と こに座っとれ」というので、半日ずっと座ってました。 「なんとかなるよ」と気楽に言ってくれたん

だ。おまえもやれ」って言ってね(笑)。ふらっと家 ときに見舞いにきてくれて、白隠禅師の『夜船閑話』 まで来てくれて、そういうことを言ってくれる先生も を持ってきて、「白隠禅師は座禅で結核を治したそう た。もうひとり、国語の田中先生が、結核で寝ている 肌で大学の先生になるような人もいて、いろんなのが いた。その二人の先生は覚えてます。 いましたね。そのなかで、生徒思いの人も何%かはい 定時制の教員には、管理職を狙う人もいれば、学問

ネを覚えた。勉強のことはぜんぜん覚えてない (笑)。 安では紹介してくれないけれども、定時制の仲間が紹 の付き合いが、そのなかでありました。バイトも、職 高卒後は、国家公務員も県庁や市役所の職員採用試 学校はロクでもないところなんだけど、 してくれて、 いろいろやりました。そこで人間のコ 人間どうし

になる、教わっているとできないですね。何ごとも自 なってくるんですね。勉強は人に教えるとできるよう にやってました。そうしたら、こっちもできるように 生の英語や数学なんかも、できもしないのに、いっしょ いから教えてよ」とかいうので、やってました。中学 怒られちゃったから、書き取りやってよ」「計算ができな

格した。とにかく試験というものが苦手なんですね。 ながら勉強して、都立大学(昼夜開講制)を受けて合 は受験した2校とも落ちちゃって、もう1年、

仕事し

なろうと思ったのもありました。しかし、卒業年度で

定時制高校の教員との出会いもあって、教員に

大学卒業時も教員採用試験に落ちて、当時は新卒でな

出 生徒の年齢層はそろってましたか 分からやる気にならないと身につかないんでしょう。

京の足立高校の定時制で教員を始めました。

活気ある定時制が

しらけてい

った

ようやく教員になったのが 1961 年です。

東

いと教員採用がなかったので、

仕方なく大学院に行っ

佐々木 ないことを手伝ってくれたり、騒いでいる生徒をなだ めてくれたり、ずいぶん助けられました。 た。「過年児」なんて言ってましたけど、 いでしたね。 ばらついてましたが、2~3年くらいのちが その後、うんと年上の人も入ってきまし 教師のでき

教員の関係も、当時は組合が強くて、人事も財務も、

んに育てられたという生徒もいました。その子たちと は空襲で死んでしまって、お父さんも戦死して、兄さ ものすごく気が合いましたね。授業は社会科担当 まだ戦争の記憶がある世代でした。お母さん 最初に担任した生徒には、いわゆる戦争孤児 「先生、仕事で伝票書くときに字まちがえて

合がつくった委員会が決めて、 校長は追認する感じ

がって授業を行なうこと。学生は昼夜の区別なく受講できる。 教育研究組織・教育組織において昼間及び夜間の双方の時間帯にまた 昼夜開講制:大学や専修学校における授業開講方式で、同一の

するようになっているので、びっくりしますね。でした。いまは組合が弱くなって、学校は上から命令

山田 私が定時制高校に勤め始めたのは77年です。そのころは、定時制高校の教員は自由出退勤に近い実態がありましたね。ほんとうは12時半に出勤しないといがなければ来なくてもいい。そうしたなかで、非常にまじめに生徒に付き合おうとする教員がいる一方、自まじめに生徒に付き合おうとする教員がいる一方、自分は建築事務所で設計士をしていたりして、生徒には教える値打ちもないと思ってる教員もいて、いろんな人が混ざっていました。

の先生になっていくような人もいましたね。 大学

を考えてるんだ」と職員室に怒鳴り込んでくる生徒もね。だから、教員が1時間目の授業に遅れると、「何昼間は働いて、やっとの思いで学校に来ていたんです山田 しかし、私が勤め始めたころは、生徒のほうは

まっていった。
まっていった。知識に飢えていて、勉強したくて、必死のいました。知識に飢えていて、勉強したくて、必死のだから、それにちゃんと応えろ、ちゃな感じになって、教員のほうも、そういう雰囲気がなくなっていく。「先生、来んでもええで」っていうような感じになって、教員のほうも、それにちゃんと応える、ちゃ思いで来ていった。

佐々木 60~70年くらいまでは、受験にしろ、実務にしろ、それを要求する生徒と、いっしょにやろうという雰囲気がありましたね。教員と生徒が討論したりね。たとき、「土で高い塔をつくったのだ」と話していたら、生徒が「先生、土だけで高い塔は建てられませんら、生徒が「先生、土だけで高い塔は建てられませんら、生徒が「先生、土だけで高い塔は建てられませんよ。接着剤を使っているはずです。何を使ってるんでしょう」と聞かれて、そんなこと知らない。実務を知っている生徒から、いろいろ教えてもらいましたね。それは非常におもしろかったです。

^。それは、高校が偏差値輪切りになっていったことしかし70年代に入ってから、生徒がしらーっとしだ

難しくなっていきましたね。大学に進学する人もいましたが、このころから進学は農・定」と言ってました。それまでは定時制からでもが関係しているでしょう。東京なんかでは「普・工・商・

山田 私は工業高校にいたので、建築科で「積算」と山田 私は工業高校にいたので、建築科で「積算」と小う工事の見積金額を出す実務の授業があったんですが、若い先生が「そんな積算やっていたら仕事の割にが、若い先生が「そんな積算やっていたら仕事の割にが、若い先生が「そんな積算やっていた」とがなくということが成り立っていた。そういうことがなくということが成り立っていた。そういうことがなくということはありませんでしたか?

佐々木 イヤにはなりましたよ。でも、定年までは勤

# 75年から荒れ始めた

山下 ハッキリ変わったという節目はあったんでしょ

うか?

佐々木 1975年ですね。その年の1年生からうた々木 1975年ですね。その年の1年生からうおっと荒れ始めました。当時は、荒れていると言っても、なかなか部外者には理解してもらえませんでした。 避してぶちまける、タバコの吸い殻が学校中にある、授業になっても教室に入らないのが3分の2くらいい 授業になっても教室に入らないのが3分の2くらいい で、出ていくのを追っかけると授業にならないし、授業していると教室に牛乳瓶を投げつけられたりする。 なんでこんなに荒れるんだろうと思いました。

それから、70年代後半から80年代にかけて、暴走族が出てきましたね。「阿修羅」とか何とかいってね。手を焼いてましたが、集団危険行為だということで、2~3年くらいで制圧されていきました。うちの生徒2~3年くらいで制圧されていきました。うちの生徒も逮捕されて、その交通裁判なんかには、付き合っても逮捕されて、その交通裁判なんかには、付き合ってました。

まあ、そうした状況があって、私も授業がぜんぜん

におもしろかったです。 におもしろかったです。「自分の歴史も社会のなかだ」をか言ってね。しかし、ぜんぜん書かない子がいる。とか言ってね。しかし、ぜんぜん書かない子がいる。になりました。そのメモが押し入れいっぱいになって、になりました。そのメモが押し入れいっぱいになって、になりました。そのメモが押し入れいっぱいになって、になりました。そのメモが押し入れいっぱいになって、になりました。そのメモが押し入れいっぱいになって、生徒に「自分史」をやろうと提できなくなったので、生徒に「自分史」をやろうと提できなくなったので、生徒に「自分史」をやろうと提びませている。

暴走族の連中が、深夜喫茶に集まって打ち合わせするのに出たことがあるんですが、私の存在を無視して、るのに出たことがあるんですが、私の存在を無視して、ほかの子と話しているのが、非常におもしろかった。 録になってマッポ(警察)をぶったたくのかとか、わりと民主的に、イキイキと話し合っている。試験ではりと民主的に、イキイキと話し合っている。試験ではつ点ばかりでも、車の免許だけはパッととる。自分のやりたいことがあれば、人間は能力を発揮するんですやりたいことがあれば、人間は能力を発揮するんですかりたいことがあれば、人間は能力を発揮するんですかりたいことがあれば、人間は能力を発揮するんですな。少年たちの話を聞いていくうちに、世間一般の言うことより、彼らの言うことのほうが正しいのではないかと思うようになりました。そもそも人間は活動しいかと思うようになりました。そもそも人間は活動しなうとして生まれてきている。「遊びをせんとや生ま

は抑圧の場になってしまっているのではないか。学校は抑圧している。進学するやつは勉強してりゃいがいっぱいになったら遊んでいる。そのエネルギーをれけむ」(梁塵秘抄)ではないですが、動物だって腹れけむ」(梁塵秘抄)

しているわけですね。
一次年に荒れ始めたというのは、時代状況も関係

技能オリンピックで金メダルをとる生徒がいたりし なって、 佐々木 て、その仕事の話を聞くのが好きだったんですが、 場に勤めても、旋盤がNC旋盤になったら、数値をイ ていく。町工場も、どんどん海外に移転していく。工 とか八百屋に勤めるのが多かったのが、 どん減っていきました。それまでは地元の商店、魚屋 管理人だって、 んだん、そういう生徒がいなくなりました。駐車場の ンプットする仕事になりましたよね。以前だったら、 スーパーや駅ビルみたいなところに集約され そのころから、 メーターで自動管理になって不要に 定時制の卒業生の仕事がどん ぜんぶなく

をなくしていったということがあると思います。
う状況が進行して、どんな仕事をしていいのか、目標社に外注にするようになる。あらゆる分野で、そういなった。学校にも用務員さんがいたのが、警備保障会

学ぶ、そういう職場がなくなってしまっている。かわからない。大学も、有名大学以外は同じですね。いのある仕事が、どんどんなくなっている。自分でやいのある仕事が、どんどんなくなっている。自分でやることです。自分がおもしろいと思える仕事、張り合ることです。自分がおもしろいと思える仕事、張り合いがら、だんだん覚えていって、先輩をまねながらりながら、だんだん覚えていってしまっている。

そうに思います。 
こととつながっている。同じことは、不登校にも言えこととつながっている。同じことは、不登校にも言えいととのながっている。 
同じことは、不登校にも言えいる。

## 実質不登校は8割

佐々木 私は「実質不登校」という言葉を使っている

山下 職場の環境の変化と、生徒の荒れていることが つながっているというのは、当初から気づいておられ

佐々木 「自分史」や暴走族の少年たちに教えてもらったことです。それまでは、よくわからなかった。私がたことです。それまでは、よくわからなかった。私がをしてくれる。教師として話すと拒絶される。それは、いわゆる「底辺校」の生徒と付き合って学んだことでいわゆる「底辺校」の生徒と付き合って学んだことでいわゆる「底辺校」の生徒と付き合って学んだことでいわゆる「底辺校」の生徒と付き合って学んだことです。

なって、エネルギーが消えていった。 いいかわからないような、よどんだ沈滞した感じにさまったころには、僕らのほうから、どう働きかけてさまったころには、僕らのほうから、どう働きかけていかわからないようと、乱暴ではあったけど、彼らに山田 いまから思うと、乱暴ではあったけど、彼らに

佐々木 消えていきましたね。校内暴力を経験して5~6年たったころ、ある生徒が「この学校から東大に行けますか? ここはクズのいる学校だ。自分はもっといい学校に行きたい」と言って、転校していった。それは、学校が自分を何とかしてくれると思う子がいないるわけです。自分でなんとかできると思う子がいなくなっていった。とくに90年代以降は、しらっとしていった。

とかしないといけない。自分が要求を出さないといけし、なんともしてくれないですよ(笑)。自分でなんし、なんともしてくれないですよ(笑)。自分でなんし、なんともしてほしい。今回の都知事選でも、「小れ質社会というのはそうでしょう。人にどうにかし

ない。

肥大化していきましたね。 72年のオイルショックで高度成長が終わって、高度

## 勉強が生活から乖離

つに不登校がある、と言えますでしょうか? されてますが、そうした状況から出てきた現象のひと 山下 そういうなかで学ぶ意欲も減退していると指摘

気づかないで「勉強しなさい」という。 に大人がとが若者からなくなっていますね。そのことに大人がとが若者からなくなっていますね。そのことに大人がとが若者からなくなっていますね。私も学校に行かないで働いていた。だけど、そこでいろんなことを学んいで働いていた。だけど、そこでいろんなことを学んいで働いていた。だけど、そこでいろんなことを学んいで働いていた。

学のサイン・コサインって、どこに使えるの?」と聞いても、教師はそれにまとも応えられなかった。「数定時制の生徒が、「何のために勉強するの?」と聞

虚業というのか、消費社会のなかで、実態のない、てね。勉強内容が生活から乖離してきたわけです。かれても、「思考力そのものが大切で……」とか言っ

です。 気景 P名大生 活力 引き 1 できたれいでき を 発見 P名大生 活力 引き 1 できたれいで を 実体経済と 金融経済のちがいもありますね。 実体経済と 金融経済のちがいもありますね。 実体経済と なっている 現状があると思います。 というのは、モノを生産して消費することですが、金というのは、モノを生産して消費することですが、金というのは、モノを生産して消費することですが、金というのは、モノを生産して消費することですが、金というのは、モノを生産して消費することですが、金というのは、モノを生産して消費することですが、 金というのは、モノを生産して消費することですがあると思います。 実体経済と 金融経済のちがいもありますね。 実体経済 というのは、モノを生産して消費することですが、 金というのは、モノを生産して消費することでする。 大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のいいが、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のでは、大川のいいがは、大川のいいのでは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいが、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川のいいがは、大川の

校が前景化してきた。

校内暴力も鎮圧され、その後に、いじめだとか不登た校内暴力も鎮圧され、その後に、いじめだとか不登た校内暴力も鎮圧され、その後に起きたが内暴力で荒れていたという面もあったわけ

佐々木 留学に行ったんです。そこで、学園紛争が起こった。 ます。当時、教員国内留学制度というのがあって、私 かにしようがないから行っている。中卒の仕事もない て、学校は目的のない状態になっていて、しかし、ほ ば教育を受けたくないということでしょう。受験でエ うのは、学校がつまらないということで、もっと言え 登校を結びつけちゃいけないと思います。 南さんはリベラリストで、 は9年に一橋大学の南博さんのところに1年間の研究 には、そうした社会変化は意識され始めていたと思い ないから奨学金を借りながら行くことになっている。 し、やることと言ったら進学しかない。しかも、金は リートになっていく人以外、残り8割の子どもにとっ (石原慎太郎も南研究室にいました)。 すでに 1968 年~70年ぐらいの大学紛争の時代 いじめは、古今東西あるわけで、 誰でも受けいれる人でした 大学がバリ 不登校とい いじめと不

聴いたかは覚えてませんが、彼の態度に教わった。人 れがリベラリストなんだと実感しました。講義で何を 避難させるなんてよせ、元に戻せ!」と言ってね。あ 何をされようと、学生と我々との関係が大切なんだ。 見て、温厚な南さんが烈火のごとく怒った。「学生に としたんです。 助手が書物を荒らされると困るといって避難させよう 的な人間の関係、 関係のなかで人は変わっていく。 ド封鎖されて、学生たちが荒れ始めたとき、南さん そういう関係のなかで学んでいくものでしょう。 少なくなってますね。 私もそれを手伝った。しかし、 できごとのなかで変わっていくとい いま、そういう具体 それを 0)

は実りのあるものになっていくわけですね。 山下 具体的な手仕事や媒介するものがあって、関係

用語の方言もすたれる。そういう全体の動きのなかでによって変化していく。地方がすたれていくと、生活聞いた言葉を重ねて覚えていくわけです。それが時代

たわけです。る。教育は、そういうものを、ことごとく疎外してきる。教育は、そういうものを、ことごとく疎外してきん間は生きている。関係、できごとのなかに変化があ

## 消費社会のなかで親は

佐々木 レッテルですね。ビールだって、味はほとんど同じだけど、ラベルは90種類以上あるそうですね。だけで 1500 種類以上、民間資格は数えきれないだけで 1500 種類以上、民間資格は数えきれないほど増えました。しかし、そんなにたくさんの資格が必要な社会かといえば、実際はちがうのに、策はほとんが増えている。

構造不況になっていく。そのころに、大阪では重厚長山田 オイルショックのあと、77~79年ごろにかけて

組合がつぶされていった。 大型の造船や鉄鋼の会社がつぶれていきました。私の大型の造船や鉄鋼の触合員もいた。しかし、希望退職募金金や鉄鋼労連の組合員もいた。しかし、希望退職募金金や鉄鋼労連の組合員もいた。

このころから、親たちも「この社会で働くというの

は、こういうことだよ」ということが語れなくなった。仲間とともにかまたは、子どもの教育に託すしかなくなった。そうなんです。大人の働き方の全般的なこで、親は子どもにが強くするんです。大人の

それは子どもにとっては厳しいことだと思います。の教育にしがみついて、教育に圧力がかかっていく。

佐々木 子どもが目的を見つけたら、親はやりなさいと言える。ところが先輩を見ていても、その仕事を子と言える。ところが先輩を見ていても、その仕事を子

私の長男が中学のころ、シカトにあっていたんです。しかし、その八百屋さんがつぶれて、スーパーです。しかし、その八百屋さんがつぶれて、スーパーです。しかし、その八百屋さんがつぶれて、スーパーに吸収されてしまう。

鉄鋼労連:日本鉄鋼産業労働組合連合会。1951年結成。/年に解散。/全金:全国金属産業労働組合同盟。1964年結成。/キ 6 全造船:全日本造船機械労働組合。1946年結成、2015

高校で学園紛争で暴れて退学になって、通信制高校に 近くにいたんですね。その新聞部の部長さんは32歳で、 ビューされたんですが、自宅で話していたんで息子も 50歳くらいで、 ようでした。私が通信制や定時制があるよとい れを聞いていて、自分も通信制高校に行こうと決めた 入りなおして大学に入ったと言ってました。息子がそ っさい聞く耳を持たなかったのにね(笑)。 サラリーマンをやってます。 っても、 いまは

関係が上下関係になっていて、「する・させる」になっ 関係ができる。親も、人間の先輩として子どもの言う ていたら、 ことを聞けるようになったら、子どもと関係ができる。 のすごく無力ですよ。逆に言うと、教師は教師を辞 親ではない、先輩のほうがいいんです。親と教師は、 先輩の顔をして話せるようになったら、 話にはならないです。 生徒と

るも 屮 けですよね。 ので、それが消費しかなくなってしまっているわ 何 かをやりたいというのも、 佐々木さんは、 教育も民営化して商品化 関係のなかで生じ

していると指摘されてますね

#### 損 民営化で をするの は

るけれども、 と少人数学級ができる。親御さんも少人数学級を求め すると、同じ予算で教員の人数を増やせる。そうする 正規教員はボーナスも何もないから、賃金は正規教員 公立小中学校でも16%が非正規教員になっています た。昔は教頭と校長とヒラしかなかったのが、 いる。そうなると生徒と話すヒマもない。学校側から の5分の1くらい。だから、学校をかけもちでやって が義務化した。先生は、 10種類くらいあります。そして、教員免許の更新研修 常勤が増えてきて、それから、職階が多様になってき かし、現場でみているとよくわかるんです。まず、 1 1 年/ 民営化の問題を指摘する人は少なくてね。 かけもちの非正規教員ばかりになって /文部科学省「学校教員統計調査」)。 やたら忙しくなったという。 いまは

それから、品川区で学校選択の自由をや ってますが

う現場のことが、 と品川区の教組の人が言っていました。品川区からは、 由に反対するのは難しい。親御さんが聞いてくれない」 かれないように民営化を進めてきた。「学校選択の自 家の子や偏差値の低い子は損している。その損に気づ 多くの子どもは、すごく損をしている。とくに貧乏な どもたちのぶんも、そこに予算が使われているから、 こに入れるのは成績上位の5%くらいです。 な校舎が建てられたと報道していました。 使っています。 あって、立派な校舎で、1年分の予算の大半をそこに 11 け 立案している。だから教育というのは、 現場を知らない人が教育を語っている。 かの区 野学園という義務教育学校(小中一貫)が五反田に と思います。 に転勤希望が続出しているそうです。 新聞も、教育自由化で、これだけ立派 新聞記者も、 学者もわかってない。 しかし、そ 信用しちゃ 知らない ほかの子 そうい

b  $\blacksquare$ わからなかった。 れをどう評価するか、 984年に始まった臨教審の自由化論も、 ほんとうに悩ましくて、 僕ら

> 屮 ると思います。 同じ「自由」という言葉で、 ちがうものをみて

のですが、 佐々木 て、こういうかたちの教育をするのがいいんだという 由討議の授業をやろうと、 がみんなで討論した。その人たちは、教育を自由化し 家庭科男女共修を主張していた人たちが企画して、自 呼ばれて、模擬授業をやろうということがありました。 女性民教審という活動があったんですが、私もそこに る自由化というのは、 80年代半ばに、 私は、その場で大反対した。 教育を商品化するということ 臨教審に対抗するとい テーマを決めて、大人たち いま言われて 9

が謳われた。 出された。「教育の自由化」が論議となり、規制緩和や 康弘首相の下で、 臨時教育審議会:1984年に発足した内閣諮問機関。 9 8 5 ・87年にかけて4次にわたって答申が 「教育の個性化」

会への代表提案機関として設立。世話人代表は俵萌子。 女性による民間教育審議会:1985年、 小沢牧子なども参加していた。 政府の臨時教育審議

女性民教審には、小沢牧子さんも参加されてたんですが、小沢さんは「心の専門家」をやっていて、心理学は子どもに失礼だと気づいて、そこから考えていた。私は教師をやっていて、教育というのはどうもおかしいと思いはじめていた。学校がおかしいのではなく、かと思いはじめていた。学校がおかしいのではなく、を子どもにさせることで、子どもたちのやりたいことを引限して、させようとする。そもそも自立性なんて尊重していないわけです。

すごく鈍感でしたね。ですが、対抗になっていない。民営化に対して、ものですが、対抗になっていない。民営化に対して、もの

を読むと、イギリスでは、親にも子どもにも、学校にう。山田さんが訳された『ハマータウンの野郎ども。子どもにも「先生の言うことは聞きなさい」なんて言子れと、日本の親御さんは学校に対して従順ですね。

対する反抗心がありますよね。

スも崩れていると思いますが。 教育だけを語っているのもおかしいですね。進学組で教育だけを語っているのもおかしいですね。進学組で山下 労働状況の変化など、社会状況と切り離して、

佐々木 足場は全世界的に崩されてきてます。

#### 教育を疑う

山田 私も、ある意味でイギリスを理想化していたと 山田 私も、ある意味でイギリスを理想化していたと 小田 私も、ある意味でイギリスを理想化していたと 山田 私も、ある意味でイギリスを理想化していたと 山田 私も、ある意味でイギリスを理想化していたと 山田 私も、ある意味でイギリスを理想化していたと いつごろから認識されてきたんでしょう。

佐々木 本的に疑う人が非常に少ないですね。ジョン・ホルトドマン、イワン・イリイチなど。日本には、教育を根トマー education というが、それも近代用語だと。近代以前 森重雄さんですね。 育ではなく」という意味で、教育を否定する本です。 訳されていましたが、とんでもないです。あれは「教 にちは』(訳・田中良太/学陽書房1980) なんて 本的に疑う人が非常に少ないですね。ジョン・ホル 信用しないという人は全世界にいます。ポール・グッ されていました。教育アナーキズム、教育をいっさい にはないもので、 『Instead of Education』は『21世紀の教育よこん んなが教育に毒されているものだから、 いろんな人に教えられたんです。 教育という言葉そのものに疑問を呈 教育という言葉は、 英語では ひとり 教育でな

んとかできると思っている。政府も、何か困ったことんとかできると思っている。政府も、何か困れには性があると、教育が必要だと言い出す。性の乱れには性があると、教育が必要だと言い出す。性の乱れには性があると、教育が必要だと言い出す。性の乱れには性たが、それでも運動していく。そういうものでしょう。たが、それでも運動していく。そういうものでしょう。それを教育でできると思い込んでいる。しかし、そんそれを教育でできると思い込んでいる。しかし、そんなことできっこないです。

山田 学校は教育を行なう場となっているけれども、

<sup>\*</sup> 9 Working Class Jobs」で1977年刊。日本語訳は、熊沢誠、山田潤の訳で筑摩書房より刊行された(1985)。現在はちくま学芸文庫になっている。 森重雄(もり・しげお/1956~2006)教育社会学者。教育というカテゴリ 『ハマータウンの野郎ども―学校への反抗・労働への順応』: ポール・ウィリス著。 ーそのものを批判的に研究した。 原題は「Learning to Labour: How Working Class Kids Get

<sup>\* \* \*</sup> 12 11 10 977) など。 イワン・イリイチ(1926~2002):オーストリア生まれの哲学者、 ポール・グッドマン (1911~1972):アメリカの社会・文学評論家、 社会評論家、文明批評家。著書に『脱学校の社会』(東京創元社詩人。『不就学のすすめ』(福村出版1979)などの著書がある。 著書に『脱学校の社会』(東京創元社

ジョン・ホルト (1923~1985):アメリカの評論家。 ホームスクーリング運動の創始者としても知られる

定時制なんかは異世代でしたし、非常勤講師をしてい 議論する場が消えてなくなっている。セグメント社会、 組は、ほとんど力がなくなった。あらゆるところで、 に話し合わない。職場でも臨時雇いが増えて、 増えている。学校も非常勤が増えて、教員がおたがい た和光大でも、 ですね。 分節化社会に入っている。これはヨーロッパでもそう まってますね。 が話し合わない。組合は分裂して弱くなった。日教 んなが話し合わなくなって、たこつぼに入ってし かし、そういう雑多に交流することがなくなって、 かった。ちがう文化が交流することがおもしろい。 それと、異世代が集まるほうがおもしろい。 地域社会も崩壊状態で、家族も離婚が 異世代が集まったときに議論がおもし おたが

いたんです。大阪では、職員会議のとき校長は平場有するものではない」と決めたとき、大阪では笑ってを補助するための機関であり、それ自体が決定権限をを補助するための機関であり、それ自体が決定権限をの職務の管理運営規則をつくって、「職員会議は校長の職務の

に座らせて、絶対に上座には置かなかった。議事運営に座らせて、絶対に上座には置かなかった。「校長のマネジメント能力」んぜん抵抗できなかった。「校長のマネジメント能力」とがして、であれて言い出してね。

佐々木 三鷹高校の校長など、抵抗している人もいますが、状況は厳しいですよね。それが民営化ということですね。PDCAサイクルとか言ってね。あれは生産管理のための企業の言葉なんです。しかし、教育は実績を示せといって、有名大学への進学者数や、企業への就職者数など、プランをつくって、自己評価させる。それで昇級するかどうかも判断する。金がからんでくる。そうやって教員を縛るようになった。この経済圧力は大きいですね。

### 教育商品は詐欺

山下 教育を疑うというのは、近代社会への批判です

とにもつながっているように思います。「これまでの学校は第2次産業モデルで、これからの「これまでの学校は第2次産業モデルで、これからの「これまでの学校は第2次産業モデルで、これからの「これまでの学校は第2次産業モデルで、これからのよね。それに対して、民営化や自由化を言う人たちも、よね。それに対して、民営化や自由化を言う人たちも、よね。それに対して、民営化や自由化を言う人たちも、

は、その典型です。教育商品は、いくらでも理想郷みは、その典型です。教育商品は、いくらでも理想郷みて、みんなが買って経済成長するということですね。これはわかる感じがするんです。しかし、いまはラベス、おんなが買って経済成長するということですね。ルだけを変えてイメージを売っていますね。生産といけ、区別して考えたほうがいいと思います。生産といけ、区別して考えたほうがいいと思います。生産というの体々木 まず、生産資本主義と消費資本主義というの

疑うことは何より大事です。
に入ったらいい、有名大学に入ったら何とかなると思う。教育商品は各国で売り出されて、きれいごとを並ら、教育商品は各国で売り出されて、きれいごとを並んでいなイメージを勝手につくれる。親はあそこの学校

きたと言えます。

されで、教育を商品化することが重要な時代になってなかで、教育を商品化することが重要な時代になっている。家電製品でも何でも、売るものがなくなっている世の中で実用性のある商品は、飽和状態になってい

でもイスラム国のテロは、5年間ずっと続いている。が空爆を1万6000回していると言います。それくって売っている。シリアには、アメリカと有志連合ム国がテロをやっていると言って、武器をどんどんつのは、戦争して兵器を売ることです。たとえばイスラのは、戦争して兵器を売ることです。たとえばイスラーをイスラム国のテロは、5年間ずっと続いている。

退職後の 2009年、 論の自由が消える。撤回を」と、都内の校長でただ一人異を唱えた。その後、ほぼ全員が採用される定年退職後の非常勤教員の採用試験で不合格となり、 2 06年、東京都教育委員会が、職員会議で意向を聞くための挙手や採決を禁じる通知を出したことに対し、都立三鷹高校の土肥信雄校長は「言 自身の不合格などに対する損害賠償を求め提訴。しかし1審2審とも敗訴している。

段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善するとされている。 PDCAサイクル:生産管理や品質管理などの管理業務を進める手法の一つ。Plan(計画)→ Do(実行) → Check (評価) → Act (改善)

ます。 識しないと、これからの世界情勢はわからないと思いの崩壊と、資本主義の末期状態にいるということを認の崩壊と、資本主義の末期症状です。我々は、国民国家

しろ 手にやっている。ロジャバ憲法というのをつくってい に自治区を始めて、放置された土地を共同農場にして、 をつくっている。 そのクルド人が、 学校をつくって、 ンのことですが、アサド政権が崩壊したあとに、 は 2 0 0 アルメニアに分割されてしまったんですね。 クルディ 7 そういう状況下、 います。第一次世界大戦後、クルド人の住む土地、 いです。 直接民主制で、 的自由を保障するなど、その理念は、 スタンは、トルコ、イラク、イラン、シリア、 0~3000万人いると言われていますが、 いま、 国家が関与しないで、自分たちで勝 ロジャバというのは西クルディスタ 女性の権利や、文化的・宗教的・ クルド人が自治区をつくりはじめ ロジャバ革命といって自治区 とてもおも クルド人 勝手

山下 資本主義の末期状況のなかで、いまの子ども若

どのように考えておられますか? 定的になっているように思いますが、今後については、 者が、時代状況も俯瞰することもできなくて、自己否

## 勝手にやるしかない

をやる。 ない 佐々木 ますし、そういう例はいろいろあります。 必要だと思います。メキシコでもサパティス 活動を、異年齢のものが集まって、やっていくことが き家占拠とかね。日本も空き家占拠したらい ミア運動というのがありました。勝手値引きとか、 ない、と思うでしょうけれど、イタリアではアウトノ をつくっていったらいいと思います。 なんか、 のではないか。つぶされても、その次に別のこと ロジャバ革命のように、若者が勝手にコミューン 生きていかないといけないからね。そういう そういう自分たちで勝手に運動するしか そんなことでき ハタがあり いですよ

かないんじゃないか。庶民の生産能力はかなりある。き、世界の庶民がどう暮らすかと言ったら、自治区しグローバルな資本や超富裕層が金を持っていったと

気があるのにね……。

にも 校で職業教育なんかできないし、 と本田さんは言ってますが、労働の分野で、まとまっ 結果を生まないと思っています。いちばん大事なもの かけ声だおれで、 た専門家というくくりはできなくなっている。だから、 くことが大事です。もう一つは、「一定程度の専門性」 たちにしてはいけない。実際に仕事の現場で学んでい 育の職業的意義 っできない。 学校なんかで教えちゃいけない。教育というか 職業教育論で、熊沢誠さんや本田由紀さんは「教 そこをみないといけないですね。 」と言っていますが、私は、 職業教育論の具体論を書くことが誰 したところでロクな いまの学

> いると、 だら、 佐々木 議論がまったく噛み合わない。まともな仕事があるな なさないといけないから、 を切り売りする。お寿司屋さんもチェーン店ばかり。 ら示してほしいです。 な仕事がなくなっている。その現状を知らない人とは、 卒業生 150 なっている。神奈川県で調査したことがありますが、 何であんなものが売れるのかと思います。 いまは存在しない仕事ばっかりが書いてある。 1 0 0 定時制高校の卒業生の就職がいっさいなく 村上龍の 人に調査をしたら、とにかく、 0 『13歳からのハローワー 円床屋ができて、 魚屋でも、スーパーに入って魚 雑談なんかしてたら怒られ たくさん数をこ 現場でみて ク』を読ん まとも

などを実践した。 指して行われた社会運動。労働の拒否、空き家占拠、自由ラジオ放送指して行われた社会運動。労働の拒否、空き家占拠、自由ラジオ放送代にイタリアを中心として、学校・工場・街頭での自治権の確立を目米16 アウトノミア運動:autonomia は、自主・自立の意。1970

族の農民たちを主体に組織されている。等しい」として、メキシコ南部のチアパス州で武装蜂起した。先住民AFTA)発効に対し、「NAFTAは貧しい農民にとって死刑宣告に\*17 サパティスタ民族解放軍:1994 年、北米自由貿易協定(N

くような例外もいますけどね(笑)。
は田さんみたいに、京都大学を出て板金工場に行だいたいエリート大学を出た人は現場を知らないですだいたいエリートが半耳ってるから、おかしなことになる。そういう現実をみないで、東大を出て官僚になっる。そういう現実をみないで、東大を出て官僚になっ

## 足場をどこに置くか

ていると思います。 学校を批判してきた不登校運動の言説も、問い直され学校を批判してきた不登校運動の言説も、問い直され

佐々木 学校に行きたくない子たちが増えてきて、ひたくさんいて、子どもを抱え込んだまま孤立ない人もたくさんいて、子どもを抱え込んだまま孤立ない人もたくさんいて、子どもを抱え込んだまま孤立している親がたくさんいる。居場所は非常に重要だとしている親がたくさんいる。居場所は非常に重要だとしている親がたくさんいる。居場所は非常に重要だとしている親がたくさんいる。居場所は非常に重要だとしている親がたくさんいる。居場所は非常に重要だと

なかには、ひきこもりを引っ張り出すと言ってい

ではないですね。「レンタルお姉さん」とかね。社人たちもいますね。「レンタルお姉さん」とかね。社代の表に引っ張りだすというのは、すごくイヤな感じがし会に引っ張りだすというのは、すごくイヤな感じがし会に引っ張りだすというのは、すごくイヤな感じがし会に引っ張りだすというのは、すごくイヤな感じがし会に引っ張りだすというのは、すごくイヤな感じがしたがします。

んと認められないというので、若者が苦しんでいる。でも無差別殺人が起きている。自分たちの存在がきち国家と言われている北欧のスウェーデン、デンマーク

は、地域ごとに、そこに住んでいる人が、現にあるもは、自然と労働と協働の3つだとおっしゃってましたは、自然と労働と協働の3つだとおっしゃってましたは、自然と労働と協働の3つだとおっしゃってましたはメンテナンスではないかと私は思ってるんです。いままでは、一からモノをつくるのは大量生産できた。しかし一度つくったものをどう上手に活かしていくかしかし一度つくったものをどう上手に活かしていくかしかし一度つくったものをどう上手に活かしていくかしかし一度つくったものをどう上手に活かしていくかは、地域ごとに、そこに住んでいる人が、現にあるもは、地域ごとに、そこに住んでいる人が、現にあるもは、地域ごとに、そこに住んでいる人が、現にあるもは、地域ごとに、

をみています。
をみています。
のをうまく再利用していくことが絶対に必要です。いのをうまく再利用していくことを協働してやったの職業ではなく、そこで生じたことを協働してやったの職業ではなく、そこで生じたことを協働してやったいくほかないと思うんですね。私は、そこに可能性でいくほかないと思うんですね。私は、そこに可能性でいくほかないと思うんですね。私は、そこに可能性である。

佐々木 それは重要ですね。成長経済ではなくて、メ佐々木 それは重要ですね。成長経済ではなくて、メ

特殊な集団はなかったと言ってます。鉄橋をつくるとランドル・コリンズは、昔は専門家や技術者という

いい、いまり仕合はさらなってないから、自分に験したものがなっていた。がヨーロッパまで見に行って、素人が集まってつくっがヨーロッパまで見に行って、素人が集まってつくっきも、地域の人がほしいと言ったら、商店主や会計士

いったん経験すると、みんながイキイキすると思いまいいから、そういう実践を積み上げることでしょうね。いいから、そういう実践を積み上げることでしょうね。いから、そういう実践を積み上げることでしょうね。けっ

<sup>1984)</sup> などがある。\*\* 18 ランドル・コリンズ (1941~): アメリカの社会学者、小\*\* 18 ランドル・コリンズ (1941~): アメリカの社会学者、小

#07 佐々木賢さん 不登校 50 年証言プロジェクト

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#07 佐々木賢さん

インタビュー日時:2016年9月20日 記事公開日: 2016年10月30日 場 所:セントラルホテル東京喫茶店

聞き手:山下耕平、山田潤

記事編集:山下耕平

写真:山下耕平撮影 (2p、15p)、佐々木賢さん提供 (5p)

- 161 -- 160 - 増田

はじめに、

鳥取こども学園とご自身についてう

. أ

ので書記になったんです。

先だって亡く

者が失業し

てホ

ムレスになっていたので、

反失業闘 雇い労働

石油ショックのときは、

横浜の寿町で、

日

すから、 分だけが目の前に親がいるので、逆に、非常に不便な か が 11 たいと思 僕は孤児院の住込み職員の子どもだったも 戦後、 まわりがみんな戦災孤児の時代に、 11 ます。

0

自

増田

勤務先に籍をおいたまま、 学自治会の委員長までやっていたんですが、 NTT)の労働組合の専従書記として入りました。当 ということで、 で挫折を味わいました。その後、 入学ですから、 ています。 んですね。そのことが、いまに活きているのかなと思 れて、そのなかで育って、ずっと施設と関わってきた 思いをして育ちました。ですから、 大学は、 が廃止になって、 I C 同 (国際労働機関)で、 志社の福祉を選びました。 全電通労働組合という、電電公社 学生運動の時代です。 そういうなかで大卒の専従を募 労働組合の専従者になるこ やっぱり労働運動だ 在籍専従 施設のなかで生ま 学友会という全 1 9 6 (組合員が 60年安保 Ď 年 現

藤野

なった日本労働組合総連合会初代会長の山岸章さん っておられました。 2 0 1 6 が、 当時は書記長的なことを

#### 短期治療施設をやってこられた理由が、 藤野さんが、 児童養護施設それから情緒障害児 なんとなくわ

#### かりました。 横浜・ 鳥取こども学園 寿町 から ^

年の女房も教員で組合運動をやっていましたので、 店から、その名前をいただきました。 書店という本屋を始めました。神田にあったウニタ書 たりともいつ首になるかわからない。 きたんです。 いかなければいけ もう1回、 しかし、 そのころ長女が生まれたんですが、 労働運動をやり直そうと、 70年でまた挫折というか、 ないというので、 吉祥寺で、ウニタ とにかく食べて 行き詰ま Š 7

#### <u></u> さん 藤野興-#08



(ふじの・こういち)

1941年、鳥取県生まれ。 同志社大学卒業。 学生運動、労働運動を経て、1976年、 鳥取こども学園の児童指導員となる。1994年、情緒障害児短期治療施設「鳥 取こども学園希望館」の開設に関わる。現在、社会福祉法人鳥取こども学園常 務理事・園長。

鳥取こども学園:前身は、鳥取孤児院・育児院(1906年創設)。1949年、財 団法人「鳥取子ども学園」に名称改称。1952年、社会福祉法人へ組織変更。ゆっ たりとした敷地内に、児童養護施設、乳児院、保育所、情短施設、診療所、養 育研究所などを開設、その他、自立援助ホーム、若者サポートステーション、 作業所など幅広く児童・青年のための福祉施設を運営。

インタビュー日時:2016年10月3日

聞き手:増田良枝、関川ゆう子

場所:全国社会福祉協議会種別談話室(東京都千代田区)

写真撮影:関川ゆう子

たりもしました。 という映画の上映運動をやっ成・小川伸介1975)という映画の上映運動をやっらい1日も休まず続けて、寿日雇い労働者組合をつらい1日も休まず続けて、寿日雇い労働者組合をつしょでした。カンパを集めたり、炊き出しを1年半ぐりもしました。そのときは、野本三書なんかといっ

鳥取こども学園で働くこととして、 怒り出して、頭から一升瓶の酒をかけられて、ようや 帰るから」と、女房に頼んで先に帰ってもらってたん 結局は両親を見送るまで15年経ちました。ともかく、 取に帰ったんです。ところが、女房の看病もいいし、 と話して、家財道具から何からぜんぶ寿に残して、鳥 「寿でやり残していることがあるから、 が「鳥取に帰って来い」という。僕は7人きょうだい く帰りました(笑)。寿の仲間には、「たぶん2年ぐら の男一人なんですね。それで姉たちがうるさくてね。 そこで骨をうずめようと思っていたんですが、家族 日採用となりました。当時、 したら親は死ぬだろうから、また帰ってくるから」 自分はなかなか帰れない。そのうち、 鳥取こども学園は80名 1976年12月 俺はゆっくり 女房が

> でした。 制でやっていました。最初は、その指導員ということ 業質の児童養護施設で、そのころから8ホームの小舎

**増田** 鳥取こども学園は、最初から小舎制だったんで

とても早いですよね。 始まったんですね。いまだに大舎制の所があるなかで、 増田 1961年から大舎制から小舎制への移行が

にしていました。幼児さんは四六時中いるので、幼児いて、一人の職員が休みのときには両方みられるよう置でした。二つのホームが双子ホームみたいになって藤野 最初は文字通り、10人の子どもに1人の職員配

ます。

ますけれども、やはり8人のホームが二つくっついていいるんですね。束京都も長いこと小舎制でやっていますけれども、やはり8人のホームが二つくっついてますけれども、やはり8人のホームが二つくっついているんですね。それが、いいんじゃないかと思っていたないかな。それが、いいんじゃないかと思っています。

### 不登校との出会い

育』ぐらいしか資料がなかったんですね。それを読む 育』ぐらいしか資料がなかったんですね。それを読む 下と思います。寿町では、ストリートチルドレンがいたと思います。寿町では、ストリートチルドレンがい だなんてぜんぜん知らなかったんです。児童相談所からは、その子のケースの厚い児童票が来て、そこには 指庭療法の写真がいっぱいついていました。でも、僕 にはぜんぜんわからなくて、本を探したんですけど、 平井信義されの『登校拒否児 学校ぎらいの理解と教 平井信義される。『登校拒否児 学校ぎらいの理解と教 ではぜんぜんわからなくて、本を探したんですけど、

とタイプが分けられていて「自主性が育ってないのだとタイプが分けられていて「自主性が育ってないのだに行きだしました。学校へ行かせればいいんだな」と思っに行きだしました。学校へ行って、ちゃんと発表したりもするんですよ。ところが、正月を越して、お母さりもするんですよ。ところが、正月を越して、お母さんに会わせたら、それからしばらくして、また行かなくなりました。不登校については、彼から徹底的に学くなりました。不登校については、彼から徹底的に学びましたね。

学校6年の子どもは、平井信義さんのタイプ分けによどんどん入ってきていました。その後、入ってきた小1974 年ぐらいから、すでに、不登校の子どもがその後、あらためて、うちのケースを見たら、

沖縄大学学長も務めた。本名は加藤彰彦。 教育学者、評論家、ノンフィクション作家。横浜市立大学名誉教授、教育学者、評論家、ノンフィクション作家。横浜市立大学名誉教授、

を研究した。 \*3 平井信義(ひらい・のぶよし/1919~ 2006):児童心 \*3 平井信義(ひらい・のぶよし/1919~ 2006):児童心

その後も、そんな子がどんどん来るようになりました。その後も、そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがました。そんないろんなことがありました。ところがなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなところ)があるけい、いけんだがなぁ」と言っていなと、

## 全面受容を問われた

入をかかげました。その前は、うちにいた9人の中3て、1978年4月入学の子どもたちから、高校全という運動をやったんです。僕が1976年に来その後、うちが「高校全入と18歳までの養護保障」

のうち、 ピークのころです。品行が悪くて、成績も悪くて、 80名定員の養護施設で、 その結果、 ないかということで、「うちは全員行かせます」とい らない子ほど、高校へ行かせて、施設でみるべきでは 品行も悪くて、そのまま社会に出たらどうなるかわか からね。養護施設の場合、成績優秀な子どもだったら、 に行かせて施設でみるんだということをやったもので のまま社会に出たらどうなるかわからん子ほど、高校 う方針をとって、かなり、いろんなことをやりました。 らは「それはおかしいんじゃないか」と。成績が悪くて、 高校に行かせるというふうになっていたんですが、 職です。非行がピークのころです。そのころから 985年にかけて、中学校が大荒れに荒れました ほんとうに大変でした。 高校に行けたのは2人だけでした。7 全員、高校へ行かせることができました。 28人の高校生、 しかも非行が ح

た。週に1回は、かならず高校生の会を開いて、高校とをすれば、誰もいないようになるぐらいの状況でしことをしたから、もうみられません」というようなこ要は、全面受容を問われたんです。たとえば「悪い

施設)をはじめ、 容を問われました。僕は、この高校全入運動があった 結婚したら辞めるというような時代でしたから。28人 員が住み込みで、若い人ばっかりだったですからね。 ながら、高校全入運動をやりました。うちの職員は全 ががんばったらよくなるから」と言って、「いっしょ すぐつぶれる。なんとか良くしようと思ったら、君ら なったんだと思っています。 職員の通勤制を導入するとかですね。だから、 ていったんです。変わらざるをえなかった。たとえば、 の高校生が生まれて、そこからいろんなことが変わっ に良くしようや」「君らになんでも相談する」と言い 生に「鳥取こども学園を君らがつぶそうと思ったら、 その後、情緒障害児短期治療施設(以下、 いまのいろんなことができる施設に 全面受

## 養護施設に不登校の治療として

るので、大変な子を、いっぱいうちが引き受けたんでとにかく、あそこに持っていけばいいやとまわしてく児童相談所からは、難しい子でも、どんな子でも、

になっていました。
になっていました。
で、養護施設が使われるようの子どもの治療の場として、養護施設が使われるようの子どもの治療の場として、養護施設が使われるよう。それで、職員も鍛えられました。不登校の子ども

うになるのでしょうか。 増田 どうして、児童養護施設に行くと学校に行くよ

展野 たとえば集団登校でしょう。平井信義さん流に 藤野 たとえば集団登校でしょう。平井信義さん流に 藤野 たとえば集団登校でしょう。平井信義さん流に 藤野 たとえば集団登校でしょう。平井信義さん流に 藤野 たとえば集団登校でしょう。平井信義さん流に をいました。「施設に帰ったら、学校に行かざるをえない ないました。「施設に帰ったら、学校に行かざるをえない ました。「施設に帰ったら、学校に行かざるをえない ました。「施設に帰ったら、学校に行かざるをえない ました。「施設に帰ったら、学校に行かざるをえない ました。「施設に帰ったら、学校に行かざるをえない ました。「施設に帰ったら、学校に行かざるをえない ないました。それをかなり強引に、また連れてくる。

ました。 ところがね、うちの場合で言うと、8人ありました。ところがね、うちの場合で言うと、8人が行れんですけれども、3~4人が行かなくなっ学校に行くんですけれども、3~4人が行かなくなったら、今度は、行っていた子まで行かないようになるんです。ある時期は3~4割がそういう子どもになりんです。ある時期は3~4割がそういう子どもになり、そんなことをした時期がどもを強引に連れてきたり、そんなことをした時期が

増田 3~4割というのは、すごいですね。

りました。最初、岡山の津島児童学院へ行ったら、そけれども、どうなのですか」と、情短施設を見てまわたースをもって、「こういうことをやっているのですの。僕が最初に受け持った子どものにれば、何とかしなければとなって、山陽3県に情

院は、 どい 生活部門は、養護施設のほうがはるかにすぐれている 部門はそのほうがいいなあと思いました。 の学生がアルバイトで来ていたりして、「ちょっとひ そこへ行けば学校という感じの、まだ学校にもなって の養護施設で、公立の学校に通っていますから、教育 なと思いました。津島児童学院は当時、 こでは、生活部門と治療部門と教育部門がありました。 いない感じでした。 な」と思いました。教育部門も、 当時は同じ敷地内に2人ぐらいの教員がいて、 うちは 夜は岡山大学 津島児童学 80名定員

増田 院内学級みたいな感じでしょうか。

ですね。しかも、そこには学校もあるんです。その友をれで、問題は治療部門ですね。結局、精神科医ととおりました。そこで、ボランティアで週1回来てくれが、島根で小児病棟のある病院の院長をやっていたんが、島根で小児病棟のある病院の院長をやっていたんが、島根で小児病棟のある病院の院長をやっていたんが、島根で小児病棟のある病院の院長をやっていたんが、島根で小児病棟のある病院の院長をやっていたんが、島根で小児病棟のある病院の院長をやっていた人

なっていました。しょっちゅう、うちの施設の子どもが、そこに世話にしょっちゅう、うちの施設の子どもが、そこに世話にぐらいで来てくれるようになりました。それからは、人に頼んだら、うちの近くの国立病院の医師が週1回

病院みたいな、きれいに整って、生活のにおいがしな子ばかりを集めて、養護学校みたいな格好で、不登校の子どもを合宿させてめんどうをみていました。 広島は、その当時、杉山信作先生が、がんばってお広島は、その当時、杉山信作。

病棟型の施設でした。

の川口孝一ドクターです。彼が国立病院から派遣されでも児童養護施設でいきたいと思ったんです。何よりに活を大事にしたかったんですね。そこで、児童養護施設に治療的機能を付加するということで、まずは1週間に 1回、ドクターにボランティアで来てもらおうと。そうしたら、若い医者で一生懸命やっている人を紹介してもらったんですが、その人が、いまのうちを紹介してもらったんですが、その人が、いまのうちを紹介してもらったんですが、その人が、いまのうちを紹介してもらったんですが、その人が、いまの言葉

生活型の情短施設をつくることになったんです。「ここは1週間に1回来ていても追いつかない。臨床「ここは1週間に1回来ていても追いつかない。臨床「まは1週間に1回来でいても追いつかない。臨床で、来てくれたんです。彼は、一生懸命やってくれて、

### 情短施設を開設

が不登校・ひきこもり児童指導強化施設の指定をして、19日の理事会で決めました。また、91年に厚生労働省B会館の建設を主とする第1次5か年計画を91年1月日の理事会で決めました。また、91年に厚生労働省

2011年3月に定年退職し、現在は広島市で開業医。 に携わり、同センター愛育園長、医療部長、センター所長を勤めた。 に携わり、同センター愛育園長、医療部長、センター所長を勤めた。精神科医。1975年、現在の広島市こども療育センター(前のれ。精神科医。1975年、現在の広島市こども療育センター(前のれ。精神科医。1975年、現在は広島市で開業医。

若干の心理職をつけて、若干の補助金をつける事業を 討委員会をつくって、2年の準備期間をもって、93年 否を考えるシンポジウムを鳥取で開いたんです。そこ 及び工作室の建設に着工しました。そして、 に施設名を鳥取こども学園希望館として、管理治療棟 やって、それに乗っかって 500 人ぐらいの登校拒 1日に開設しました。 「情短施設を併設します」と、 鳥取県民生部、 教育委員会、病院関係などで検 みなさんにも披露 94 年 4

4 ホ 在の通所部門は15名定員)。また、養護施設のほうは、 員をふたつに分けて、児童養護施設は45名に減らして、 管理治療棟を新たに建てたんです。養護施設の80名定 した。情短施設と分けないで、 45名と30名に分けました。施設長も2人に、 情短施設は入所30名、通所10名でスタートしました(現 が2ホーム)、 ひとつの棟にあったんですが(2階が2ホーム、 ムのほかに、ひとつのグループホームをもって、 養護施設の8つのホームのうちの4ホ しかし、子どもたちは、動かしませんで その1棟を情短施設の宿泊棟として、 児相と協議して、 職員も倍 ームが

> 5 でした。職員もそのままの職員と、 短措置の子どもと養護措置の子どもとが、ごちゃまぜ だけ変えたのです。だから、最初は一つのホー うでもない」と言いながら、 ストも3人増えました。そこで、「ああでもない、 し、情短の定員が30名ということで、 が、ごちゃまぜでしたしね。でも、 やってきました。 いろんなことをやりなが 職員が増えました 新しく入った職員 専門職のセラピ ムに情

短施設になったからといって、 校へ行っていたじゃないですか」と反論してね。「情 れまでだって、80名定員の養護施設から、 で、公立の中学校から、「なんで鳥取県下から、 やっぱり学校だったんです。まず、検討委員会のなか 児クラスを設けることになりました。 から」と言いました。 じゃない、 ればいけないのか」と言われました。でも、僕らは「こ な問題を抱えた子どもばっかりを公立が引き受けなけ 門や治療部門は何とかなりましたけれども、 最後まで残ったのは、学校の問題でしたね。 いままでだって難しい子をみてきたんです その結果、 ひとつも変わるわけ 中学校には情緒障害 みんな中学 問題は 生活部

教育保障を求めて、教員の派遣をお願いしたんですが、 ました。分教室に教員を派遣してもらうという格好に あがったような人だったので、 た方を施設長に持ってきたんです。教育長候補にまで なりました。 なかなか学校が動かないので、高校で校長をされてい 通所部門もあったので、僕らとしては、通所部門の そうしたら、 すぐ動き

学校は人数が少ないので、

分級です。

分校・分教室に

以下、けっこうな人数の先生が来てくれています。小

運動の結果、今は中学校は分校になっていて、教頭



ホー ムの食事風景

希望館生活棟(入所部門)

どもはいっぱいいます。 タイルになってしまうので、当然、そこに入らない子 ろ関わっています。それでも、やっぱり学校というス は、うちの通所部門の職員が教員といっしょにいろい そういう子どもたちには、「て



分校教室のようす

# 施設内にフリースペース

増田 同じ敷地内で、ですか。

います。 いになっています。両方とも、うちの職員が関わっていになっていましてね。その1階がフリースペースみた膝野 教育棟と言うんですが、通所部門の2階が学校

**関川** 自由な雰囲気のフリースクールみたいなもので

**藤野** そうです。それと、過年度生が来ます。中学校 を出てしまって、でも受験は目指している子とかです に入れる」とか聞いて、中3になってから来たりする んです。もうちょっと早く来ればいいのにと思うんで んです。もうちょっと早く来ればいいのにと思うんで

**増田** 比較的、学校にいづらい子どもたちが集まって

というのは、結果ですから。のトラウマを抱えたり、発達障害を抱えたり。不登校のトラウマを抱えたり、発達障害を抱えたり。不登校藤野 いやいや、いまは虐待ですね。すさまじい虐待

すか。とは、もともと養護施設にいる子もいるということでとは、もともと養護施設にいる子もいるということで増田 そうですね。行ってない状態ですね。というこ

**藤野** いまは、養護施設と情短施設は分かれています。

のですか。 増田 養護施設で不登校になった子は、こちらに移る

も、していない子もいます。いま現在も、学校へ行け校の子は、けっこういます。分教室に通所している子藤野 そういうことは、ありません。養護施設で不登

たし、いろいろ連携して対応をしていますけれどもね。の子は、通所部門に入って学校に行っていたりしましなくて、ずっと引きこもっている子が一人います。そ

## 通学の形態は多様に

のですか。 増田 情短施設は、地域に開かれているということな

藤野 校の情緒障害児学級に行く子、それから本校の普通学 学形態はいろんなかたちをとれるようにしています。 まり県外を受けると鳥取の子をみられないからという 級に行く子。子どもの実態に合わせて、登校形態はい 原籍校から籍を移さずに通所部門に通ってくる子、本 のことについては、とにかく、子どもに合わせて、通 ので、県外の定員は6名までになっていますが。学校 ら来ています。 ろ から来ています。 いろにしましょうということで、 もちろんです。 入所も児相を窓口に、 県外からもけっこう来ています。 通所のほうは、 やってきました。 いろんなところ いろんな地域 あ か

ところが、だんだん、そのあたりが変わってきて、学校のほうは、どちらかというと、やっかいな子は分だもがどこに通うかは、就学指導委員会で検討することになっています。「いままで、養護施設の80名の子どもは、みんな学校に行っていたじゃないか」と、いどもは、みんな学校に行っていたじゃないか」と、いがあやりとりはしましたけれども、いまは、就学指導委員会で決めているんですね。もちろん子どもの希望を聞いて、うちも方針を出して、だいたいは、うちの方針で行くんですけれども。

ればいけない。 ないか」と僕らは言っているんですが、 ういうことをしなければいけないのか。 ぐには学校に行けない。「情短の子だけが、なんでそ らすぐ学校に行けます。 護施設に来る子でも、 ればいけない。養護籍の子は、そんなことはない。 が情短施設に入ってきたら、教育委員会に話をしなけ いうシステムです。全員を検討しますからね。子ども 養護施設の子の場合は、 ケースについても、 情短施設に入ればそのよう しかし、情短施設の子は、 施設に入ったら、次 事前に話をしなけ いまは、そう おかしいじゃ の日か す

ステムになります。

希望館の事業概要は、僕が検討しながらつくったん

所後まもない観察適応期間や、 断されます。また、園内分教室独自の教育生活活動に 籍校への通学、 参加したときは、原籍校でも出席扱いとなります。入 ますが、通学のどのかたちを選ぶかは治療のなかで判 学校への通学、希望館分教室への通所などが考えられ 活を大事にしています。それから教育についても、 集団心理療法、 ですが、施設での治療的援助、生活療法、個人心理療法、 施設の子どもたちが通っている地域の 家族療法、園での生活、ホームでの生 治療導入期にある場合 原

まは離れているので、 自由に、選べるようになっていました。ただ、僕もい で、そこの分教室に通うと規定しています。とにかく、 には、希望館分教室を使います。それから、 いという場合、通所部門に措置された場合ということ るため、 登校及び教科学習そのものに支障となってい 情緒障害児学級などに在籍しても通学できな いまはちょっと変わってきてい 症状その

まだ指導員のころ、 月刊 『社会福祉研究』

で

るかもしれません。

設に入所すれば登校できるわけですが、そこでの、不 ます。「養護施設における不登校児童の処遇」をテー プによる処遇の違いなど、 どを書きました。養護施設における処遇の実際、 登校児の治療の場としての養護施設の利点と問題点な マに書いてくれと言われたんですね。たとえば養護施 厚生労働省の機関誌のようなものに書いたこともあり たんです。それから、「子どもと家庭」という題名で、 やっているわけですね。それが理想で、そういうこと 情短施設と養護施設ですけれども、両方コミコミで ができるような総合子どもホームをつくろうと提案し 「総合子どもホームの試み」を掲載しました。うちは うちで実践してつくったマ タイ

増田 多様性を尊重して、 とでしょうか。 子どもに合わせた処遇ということは、子どもの 子どもとつき合っていくというこ

ニュアルですね。

藤野 そうです。

#### 費用負担は

増 田 ようになっているのですか。 ところで、 情短施設の運営費というのは、 どの

ました。措置というのは、 を取り上げるということも含んでますね。 設や社会的養護の部分ですね。それと、虐待を受けて 負担になっています。措置が残っているのは、養護施 が8割だったのですが、いまは、都道府県と国が半額 けれども、僕らは、 いる障害児です。措置が残っているのは、 措置になっていますので、 その措置を残してくれと言ってき 行政処分で、 措置費は、 親から子ども 少ないです 以前は 玉

増田 児童養護施設もそうですね

藤野 そうです。 情短施設もそうです。

関川 いということですか。 利用している人たちは、 お金を払わなくても

> 藤野 収入に応じて何十段階かあります。 合は、負担ゼロです。 いえ、措置の場合は、負担金というかたちで、 生活保護家庭の場

ムは、 増 田 う感じなのですか。 らうのですけれども。 子どもが働くようになったら利用料を払っても うち(越谷らるご)がやっている自立援助ホ それなりに負担してもらうとい

ですが、 用は、 たのに、なんで私たちからお金をとるんだ」と言われ 準ずる扱いです。通所は不登校の子がけっこう多いん の多い方は全額負担のこともあります。それが、 もすぐやめますよ。効果があがればいいいですけどね。 25万円になることもあります。 る人もいます。収入が多かったら、たとえば月額20 に通所の場合はネックになっているんです。通所の費 そうですね。たとえば、情短施設の場合、 入所の半分となっています。 「学校から被害を受けて学校に行けなくなっ 全額となったら、 知的障害の通所に とく 誰で

ろでも、1カ月5~6万円です。 増田 それは無理ですね。フリースクールの高いとこ

る場合は、児童相談所に相談されるのでしょうか。 
ルに行ったりすると思うんですが、情短施設を利用す 
談しますよね。適応指導教室に行ったり、フリースクー 
談しますよね。適応指導教室に行ったり、フリースクー 
のに相 
一般に児童生徒が不登校になって、さて、困っ

藤野 そうです。学校が紹介する場合もいっぱいあり

ます。

**増田** 鳥取こども学園の場合は、活動が認知されています。

やっている情短施設は少ないです。 藤野 情短施設も、いろいろですからね。通所部門を

## 言い方をやめよう不登校という

**増田** 私たちは、不登校が登校拒否と言われている時 増田 私たちは、不登校が登校拒否と言われている時 増田 私たちは、不登校が登校拒否と言われている時

藤野 情短施設は、不登校の子どもを矯正する施設ではやめよう」と言っています。というのは、不登校という言い方では、本質が見えないんじゃないかと思うんです。学校へ行く・行かないが問題なんでね。いろんその子が抱えている問題こそが問題なんでね。いろんな問題を抱えて、結果として、学校に行けなくなってな問題を抱えて、結果として、学校に行けなくなってないるように思います。

僕は、よく引き合いに出すんですが、中学2年ぐらいまでは1日も学校に行かずに、ずっと不登校だったいまでは1日も学校に行かずに、ずっと不登校だったに、今度はすさまじい摂食障害になって、大変な状況に、今度はすさまじい摂食障害になって、大変な状況に、学校へ行くか行かないかの問題にしていたら、そて、学校へ行くか行かないかの問題にしていたら、そで、学校へ行くか行かないかの問題にしていたら、そのういう不幸が起こる。実際に、その子の抱えている問題にきちっと対応する必要がある、ということだと思題にきちっと対応する必要がある、ということだと思います。

ではないということですね。 増田 情短施設は、不登校の子のためにつくった施設

膝野 そうです。もともと、情短施設というのは、非藤野 そうです。もともと、情短施設というのは、非都を目的につてなが表面化してきて、入所対象が移ったり、そのを、なずっと小学生まででやってきていました。その後、は、ずっと小学生まででやってきていました。その後、は、ずっと小学生まででやってきていました。その後、などが表面化してきて、入所対象が移ったり、そのを、などだきの問題に移っているわけです。

とですね。 増田 そのときどきの社会現象に照準が移るというこ

**藤野** ですから、いまは虐待の問題と発達障害への対験でですから、いまは虐待の問題と発達障害への対象が中心になっています。いま、情短施設は全国でだいたが、ですから、いまは虐待の問題と発達障害への対象が

藤野

国ではなくて、

全国情緒障害児短期治療施設

0

## 小規模化には反対

増 田 向なのでしょうか。 厚労省としては増やしていくような方

発達障害の対応で、情短施設はますます必要になって くらないと宣言しています。 う話になっています。しかし、 いると思います。全都道府県に1カ所はつくろうとい ええ、もちろん増やす方向です。 東京都は情短施設はつ V ま、 虐待 Þ

東京都には、 ない のですか

藤野 設にしたいとおっしゃっていたことがありますが、そ うちに来られて、 ろんなタイプの養護施設をやってくださいという制度 ている養護施設には、 なりました。東京都は、情短施設のようなことをやっ の後、石原都知事になってから、その話は立ち消えに ない ・です。 都立の養護施設の何カ所かを情短施 一時、 職員の費用をつけています。 東京都の局長さんだったか、 W

になっています。

から、 ですか 社会的養護に養子縁組を入れ込んでいこうという方針 と問題がいっぱい出て、職員が受けとめきれない。だ アでやろうとやってきたわけです。 会の副会長は、小規模化には反対だということでした。 のようですが、そのヒアリング中で全国情短施設協議 ていくということです。 ないだろうと。 しい子がいっぱい入ってきているので、 4ホームを5ホームにしました。30名定員で5ホーム しかし、うちなんかは、徹底した小規模化、小規模ケ ヒアリングでは僕も話をしたんですね。大勢としては、 の検討委員会ができていまして、先だって9月16日の 社会的養護の課題と将来像は、施設の小規模化、 単位を小規模化していくことで、個別ケアを徹底し 小規模化には反対だ」というんですが、 ら、1ホーム6名の少人数です。ところが、「難 いま、塩崎厚生労働大臣直轄 建物も建て直して 小規模化する それは

増田 それが仕事ですよねえ。 本末転倒ですね

何それって思います。むしろ、生活のなかで子どもた う出てきていますから、 見学して、「小舎制でやろう」というところがけっこ は小舎制でやります」と言っています。実際にうちを ちといっしょにやればいいことです。徹底して「うち れたら、「ここはちゃんと包丁があるんですね。 てしまう。部屋に鍵をかけたり、 するから、管理になっちゃうし、外からの枠付けになっ グループで何か研究会を持とうと話しているところで かけまわったり、包丁を置かないなんて異常ですよ。 スチックじゃないですよね」と驚きます。でも、鍵を ね。うちの施設に、 それは、 ないですよね。 ほかの情短施設の人が見学に来ら 僕らとしては、その小舎制の 結局、集団でみようと 包丁を置かないとか プラ

す。

たんですね。 問されたら、

あれは、

議事録に残るなあと思っていま

うですけれども、そのへんはどうなんですか?」と質 取こども学園の情短施設も小舎制でやっておられるよ

副会長が「反対です」とハッキリ言って

うことです。

のヒアリングのときは、福岡の児相の所長さんが「鳥

全国協議会のいまの流れとして、そうなっているとい

だから、僕らは、反主流派です。委員会

関川 のですか。 仕事も大変だから、 国の方針としては、人数も増えているし、 小規模化には反対ということな 職員

と、と、 前に進めないですよ。

藤野

いいと思います。

職員は大変ですが、

とい 関川

41

ですよね。

子どもたちにとっては、

小規模のほうが、

ず

Ó

増田 私たちもそう思います。

藤野 こでの井上雅彦さん(鳥取大学) ナーを開いたら、 先日、 福岡の 6 0 0 小倉で西日本の養護施設のセミ 人ぐらい集まりました。 の基調講演が、 非常 そ

りをこれから議論していきたいと思っているところでりをこれから議論していきたいと思っているところでも、その一人ひとりちがうんだと言うんです。個別に、一生は一人ひとりにがっていかないと、発達障害への対応はできないと話されていました。だから、ますますが規模の生活単位でないとできないということを言われたと思っています。情短施設に関しては、そのあたれたと思っています。情短施設に関しては、そのあたれたと思っています。情短施設に関しては、そのあたれたと思っています。情短施設に関しては、そのあたれたと思っています。情短施設に関しては、そのあたれたと思っているところでりをこれから議論していきたいと思っているところでりをこれから議論していきたいと思っているところでりをこれから、

ないですよね。お話をうかがいながら、共感しました。ないですよね。お話をうかがいながら、共感しました。 フリースクールにも、最近は「発達障害かな」とす。フリースクールにも、最近は「発達障害かな」とす。フリースクールにも、最近は「発達障害かな」とす。フリースクールにも、最近は「発達障害かな」とす。フリースクールにも、最近は「発達障害かな」とす。フリースクールのやり方と重なる部分がありま増田 フリースクールのやり方と重なる部分がありま

## 入所者のその後は?

はどうしていらっしゃるのでしょうか。 らっしゃったわけですが、そのお子さんたちは、いまめに、いろんな不登校のお子さんたちと関わってい

これは、わからなかったですからね……。 にれば、わからなかったですからね……。 これは、わからなかったです。 高校全入のときに、高藤野 みんな、それぞれです。高校全入のときに、高藤野 みんな、それぞれです。高校全入のときに、高藤野 みんな、それぞれです。高校全入のときに、高

増田 私たちもそうでした。

応期だと考えて、それが過ぎたら、そこからが勝負で、てね。施設に来ているのは、過剰適応している仮性適藤野 わからないから、学校へ行かせればいいと思っ

よ」って言ったりしましたが、そんな話もあります。よ」って言ったりしましたが、そんな話もあります。と言うんですよ。たしかに、それでうまくいったケースもあるんですよ。たしかに、それでうまくいったケースもあるんですよ。たしかに、それでうまくいったケースもあるんですが、自分が職人になって、若い子をらっしゃるんですが、自分が職人になって、若い子をらっしゃるんですが、自分が職人になって、若い子をらっしゃるんですが、自分が職人になって、若い子をらっしゃるんですが、自分が職人になって、若い子をと言うんです。「いやあ、それはほんとうに申し訳ないなあ。それはカウンセリングを受けたほうがいいなあ。それはカウンセリングを受けたほうがいいなあ。それはカウンセリングを受けたほうがいいなあ。それはカウンセリングを受けたほうがいいなあ。

でしょうか。
たきっかけというのは、その経験からということなのたきっかけというのは、その経験からということなのか、その子の抱えている状況が問題だとお思いになっ
関川 不登校自体は問題ではなくて、その子の背景と

ラウマを抱えた子も来ていましたからね。きっかけは、藤野 いろんな子がいたんですが、とくに、かなりト

先ほどお話した、1日も行かなかった子が急に行くようになって、その子が高校生になってから、ひどい拒食症になったことでした。それは、やっぱり問題を見ていなかったんだと気づかされました。それと、うちの川口ドクターも、一生懸命そのことを言っていますし。川口ドクターも含めて、情短施設では、不登校にし。川口ドクターも含めて、情短施設では、不登校にし、川口ドクターも含めて、する地設では、不登校にである本を分担して読んで、レクチャーして、みんなが共有しようとしたんですが、そのときにだいぶ整理が共有しようとしたんですが、そのときにだいぶ整理が共有しようとしたんですが、そのときにだいぶ整理できましたね。

#### 力を信じる子どもの持つ

ことです。 のです。 子もいる。これは、人間の持つ自然治癒力みたいなも 震災でも、 すね。うちは、治療ではなく、養育でいくのだという つ自然治癒力、 いこうとしています。 いまは、 養育、 トラウマを抱えた子もいれば、そうでない トラウマの問題にしても、 かなりの議論をして、生活型の情短施設 それを大切にしていこうということで 生活型というのは、そういう人間の持 養育と治療という概念がありま たとえば阪神大

そうはいかないです。

いたように、健常児も障害を抱えた子どももいっしょ

-ムが分散してできればいいんですが、

なかなか

いたんですけどね。そうすると、

だから、

ほんとうを言うと、

うちが最初にやってやっぱりちがうんで

つまりは、子どもの持つ力を信じるということです。す。これは、ほんとうに大議論してつくったもので、す。うちの事業計画には、必ずその文章が載っていま

ちなんかは、

情短施設から大学に行ったりする子もい

が長いですが、

情短施設は短いですね。

ところが、

は、回転がちがうんですね。養護施設の子は、スパン

それと、養護施設の子どもと情短施設の子どもとで

とうございました。いう貴重なお話をうかがうことができました。ありがたいところですが、今日は社会的養護施設と不登校と増田(まだまだ興味が尽きず、もっとお話をお聞きし

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #08 藤野興一さん

インタビュー日時:2016年10月3日 記事公開日:2016年11月27日

場所:全国社会福祉協議会種別談話室(東京都千代田区)

聞き手:増田良枝、関川ゆう子 まとめ:増田良枝、関川ゆう子

写真撮影:関川ゆう子(2p)、鳥取こども学園要覧より転載(11p)

#### 屮 かが 11 たいと思います。 まずは、 ご自身の子ども時代、 学校経験からう

石川 代の空気のなかで育ってきました。 から何かが開けるという開放感があった。 いながら、どん底で不安も大きかったけれども、 地平にいたということです。 意味では、 しかし、それは当時の世界のほとんどの人と同じ 私は戦争直後(1946 日本社会がどん底の時代に生まれたわけで 食うや食わずやで生きて の生まれ。 そういう時

神戸市の岡本のあたりですが、まだ田んぼも多かった。 あやしげなものもたくさん残っていましたね。 が学校に行ってしまうと、 ました。戦後すぐの神戸は焼け野原で、廃屋だとか、 に教会学校に連れていってもらいました。近所では、 んでした。家の経済事情もあって、 学校はというと、まず幼稚園や保育園には行けませ ~ 5歳から中学1~2年までの子が混ざって遊んで みんなが学校から帰ってくると、ようやく遊べる。 4人兄弟の一番下だったこともあって、 ぽつんと家に残されてしま 日曜日だけ隣の人 いまの みんな

石川憲彦さん #09



(いしかわ・のりひこ)

1946年、神戸市生まれ。精神科医。東京大学医学部卒。1987年まで東大病 院を中心とした小児科臨床、とりわけ障害児医療に携わり、共生・共学の運動 に関与。患者の子どもたちが成人に達したことなどから、東大病院精神神経科 に移る。1994年、マルタ大学で社会医学的調査を開始し、1996年から静岡 大学保健管理センターで大学生の精神保健を担当。同所長を経て、現在は林試 の森クリニック院長。著書に『治療という幻想―障害の医療からみえること』 (現代書館 1988)、『こども、こころ学一寄添う人になれるはず』(ジャパンマ シニスト社 2005)、『みまもることば: 思春期・反抗期になってもいつまでも いつまでも』(ジャパンマシニスト社 2013) など多数。また、雑誌『ちいさい・ おおきい・よわい・つよい』編集協力人で、毎号、同誌に記事を載せている。

インタビュー日時:2016年9月21日 聞き手:山下耕平、栗田隆子、山田潤

場 所:林試の森クリニック

写真撮影:山下耕平

学校って、 やく認められた、みたいな思いがありました。 た。だから、 どんないいところなんだろうと思ってまし 学校に行けたときは誇らしくてね。 よう

あって、 分の1くらいは休んでいたと思います。学校を休んだ てうまくはないけど、 ザラバン紙にくるんで届けてくれたことです。けっし とき、すごく楽しみだったのは、給食のコッペパンを きは都合よく体調が悪くなって、小学校の前半は、 ん怖い先生がいたり、 しかった。 いろいろあったけど、 それと、戦後の学校は牧歌的な、開放された感じも あまり、 そういう郷愁というか、 いやな記憶は残ってません。 私は病弱だったんで、 友だちが届けてくれるのはうれ 子どもどうしでケンカしたり、 楽しかった思 イヤなと もちろ

## 生活の場としての学校

上 あったわけですね。 子どもどうしの人間関係は、異年齢で地域に

す。て、都市部から少しずつ変わっていったように思いまて、都市部から少しずつ変わっていったように思いまよ。同じ学年でしか遊ばなくなったのは、70年代に入っ石川 日本中、どこでも地域で異年齢で遊んでました

大人の子ども観も、いまとはちがいました。戦争直 後だから、栄養状態も悪いし、とにかく生きてくれて さえいれば、あとのことはどうでもよかった。それは さえいれば、あとのことはどうでもよかった。それは さえいれば、あとのことはどうでもよかった。それは と教員の共通の願いでした。北村小夜さんがおっ いて、風呂にも入ってない。それで、北村さんが「今 日は銭湯に行こうか」というと、子どもたちは大喜び。 親も学校で銭湯に連れていってもらえるんだから、あ りがたい。教員も楽しい。三者、利害が一致していた。 戦争直

に変わっていく過渡期にあたりました。成績の評価がが、灘中学校というのは、もともとは酒屋さんの建てかいのから。家から近かった灘中学校に行ったんですなってから。家から近かった灘中学校に行ったんです

代償としていたように思います。

代償としていたように思います。、それを苦痛のた。でも一方でエリート意識はあって、それを苦痛のた。当時、朝日新聞が「教育か飼育か」と書いすべてで、教員の態度も、学業しだいであからさまにすべてで、教員の態度も、学業しだいであからさまに

山下 時代は、高度成長期に入る時期と重なっている

られ始められるのは……。いったんだと思いますが、勤務評定で先生が締め上げいったんだと思いますが、勤務評定で先生が締め上げる。 そうですね。だんだん、学校の空気も変わって

も保たれていました。 は、そのころの勤務評定をめぐる闘争を描いています。 は、そのころの勤務評定をめぐる闘争を描いています。

石川 いまから思えば、まだまだ牧歌的だったですよ

まいなしに、みんなで、わーわー、ただ遊んでいました。学校やYMCAで子どもと付き合うことも多かったんですが、そのころでも、学校に行ってない子の問題は、ですが、そのころでも、学校に行ってない子の問題は、ですが、そのころでも、学校に行ってない子の問題は、ですが、そのころでも、学校に行ってない子の問題は、つけられそうな子も来ていましたが、そんなことおかつけられそうな子も来ていましたが、そんなことおかつけられそうな子も来ていましたが、そんなことおかつけられそうな子も来ていましたが、そんなことおかる場をつくろうというによりに、みんなで、わーわー、ただ遊んでいました。

## 不登校との出会い

山下 学校に行かない子に出会ったのは?

イ川 小児科医になっくりしました。 ~75年夏)。自分の楽しかった学校へ行かないの?」と たし、当初は、「え、なんで学校へ行かないの?」と たし、当初は、「え、なんで学校へ行かないの?」と たし、当初は、「え、なんで学校へ行かないの?」と

**山下** 当時の石川さんの見立てはどんな感じだったん

学校イメージからは、それがわからなかった。よくわからなかったんです。精神科の教科書を読むと、まくわからなかったんです。精神科の教科書を読むと、「学校恐怖症」だとか「分離不安」だとか書いてあり「学校恐怖症」だとか「分離不安」だとか書いてあり、たんに学校がイヤだったんですが、ひとりは、正直に言って、

私は子どもとキャンプしたり遊ぶのは好きだけど、私は子どもとキャンプしたり遊ぶのは好きだけど、はお母さんになって、いまでも、つれあいのところにはお母さんになって、いまでも、つれあいは児童精神科の看され、当時は小学校5年生の女の子でしたが、いまでは、当時は小学校5年生の女の子でしたが、いまではお母さんになって、いまでも、つれあいのところにはお母さんになって、いまでも、つれあいのところにはお母さんになって、いまでも、つれあいのところにはお母さんになって、いまでも、つれあいのところにはお母医がある。

通学校へ・全国連絡会世話人。 1950年~1986年まで東京都で小中学校の教員。障害児を普\*1 北村小夜(きたむら・さよ): 1925年福岡県生まれ。

ころには、その子も高校生になって、そこで、 その後も病院に来ていました。でも、 き、「これでもう会えなくなるね。だって、 子の場合も、ほんとうは、 子でした。自殺企図もあって入院してきました。この う身体化障害や解離性障害です。当時、中学生の女の ん終わりました。 いるんだし、私なんかワガママだから、来ちゃ しない人は診ないでしょう。私より苦しんでいる人が しんどい状況があったんですね。その子が退院すると していました。話を聴くと、家にも学校にもいづらい、 いう職業倫理から、とにかくわかったふりをして対応 でしょう」と言われて、私のほうも、 もうひとりは、当時はヒステリーと診断。 病室にいるかぎりは、命は守らないといけないと いじゃん。時間を決めておいでよ」って言って、 よくわからなかったんだけ 私が東京に戻る 思わず「来れ 命に影響 いまで言 いった いけな

になかったかというと、あったかもしれません。かっていませんでした。精神の弱い子という見方が私とは専門だったんですが、不登校のことはまったくわともと私の専門は神経学で、脳性まひなど脳のこ

た。まあ、倫理的に洗脳されていたわけです。のに自分から行かないなんて、という思いはありましられた子もいた。それでも学校に行っている。それな知的に障害のある子で、ウンチやおしっこをなめさせからも生徒からもいじめられ、ひどい目にあっていた。

栗田 倫理的に洗脳って、すごいですね

### 日本の学校と倫理

石川 日本の学校は封建的倫理に支配されてきましたからね。だから、学校へ行かないことは道徳的に悪になってしまう。欧米であれば、学校というのは、行ったほうが出世するから得で、行かないのは損、という感覚が第一。つまり、損得の問題です。ところが、日本では、行く人は尊くて徳のある人で、尊徳になってしまっている。学校には二宮尊徳像がありますしねしまっている。学校には二宮尊徳像がありますしねしまっている。学校には二宮尊徳像がありますしたしまっている。学校には二宮尊徳像がありますしたのよう。欧米と日本では、学校の成立基盤がちがうわけです。学校の役割は、農民社会を工業社会につくり替べてす。学校の役割は、農民社会を工業社会につくり替いになっている。

出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に技術を身につけている人のほうが、大学出ないで腕に大きないというないである。

アメリカは、もっと徹底している。サンディエゴ滞在中に新聞を読んでいたら、教育委員会が全校長に「不登校が増えているから、学校に行く意欲を高めるために、校長は子どもが帰るときに25セントずつおこづかいをあげるように」と指示したと書いてありました。お金を稼げるようになるには学校に来たほうが得だよお金を稼げるようになるには学校に来たほうが得だよいである。

しかし、日本は道徳が残っている。損得ではなく尊

子どもは身体の訴えで示すほかなくなるわけです。人と見なされてしまう。これは、きついです。だから、徳だから、行かない人は徳に欠ける人、尊も徳もない

的変換が、70年代にはハッキリしてきたのです。 があったのかもしれません。ところが、だんだんと、 があったのかもしれません。ところが、だんだんと、 があったのかもしれません。ところが、だんだんと、 方が変化していきます。70年代になると、アメリカで はハッキリと、不登校問題は貧困や怠学の問題が中心 とされていきます。60年代のある時期から起こった質 とされていきます。60年代のある時期から起こった質 とされていきます。60年代のある時期から起こった質 とされていきます。60年代のある時期から起こった質 とされていきます。60年代のある時期から起こった質

山下 日本の学校の倫理というのは、どこから来ているものでしょう?

業化を進めていく手段であったことは西洋と変わりま石川 日本の学校も、農村基盤を壊して、近代化・工

もの。 にもわたって続くが、身体疾患や薬による影響としては説明できないにもわたって続くが、身体疾患や薬による影響としては説明できない4~2.身体化障害:痛みや胃腸症状などのさまざまな身体症状が何年

で残ってますでしょう。 だ残ってますでしょう。 だ残ってますでしょう。 だ残ってますでしょう。 に残ってますでしょう。 に要されていった。 に生きる人間集団のルールと大きく矛 が崩されていった。 そういうなかで、学校に対する倫 が崩されていった。 そういうなかで、学校に対する倫 で残ったが、一方では臣民教育、天皇の民となるための教 で残ってますでしょう。

は。 共同体が崩されてバラバラになるところを、国山下 共同体が崩されてバラバラになるところを、国

石川 ただ、そこには最初から差別があります。明治
 石川 ただ、そこには最初から差別があります。明治
 石川 ただ、そこには最初から差別があります。明治

ものです。 は、そういう差別的倫理のなかで、つくられていったは、そういう差別的倫理のなかで、つくられていったは、第1次小学校令(1886年)では、貧乏な子び、第1次小学校令(1886年)では、貧乏な子

## 障害児運動と不登校は

ていったのでしょう? 校の問題は、ご自身のなかでは、どのようにつながっ校の問題は、ご自身のなかでは、どのようにつながっ

らん。学校に対して初めてもった怒りでした。生懸命に生きている子に「来るな」というのはけしかがあったんですね。これには腹が立った。こんなに一由になったとたん、普通学校に来るなと言われたこと由、私が診ていた子で、病気で入院して身体が不自

きました。言葉でイヤと言えないと、身体の症状で示なると、小児科に連れてこられる不登校の子が増えて一方で、東大病院に戻ったころ(1975年)に

プでもあったんですね。「どの子も普通学校へ」という運動をしていたグルーようになりました。その東大病院の心理の人たちは、ようになりました。その東大病院の心理の人たちは、すしかない。原因不明の熱などが続く。原因が心理的すしかない。原因不明の熱などが続く。原因が心理的

て、医者とケンカしながらやっていました。で付き合うから、よけいしんどくなる子がいる」と言って付き合うから、よけいしんどくなる子がいる」と言っで付き合うから、よけいしんどくなる子がいる」と言って、医者とケンカしながらやっていました。

夏には「治療キャンプ」と称して、野外で遊ぶことを心理的な治療としていたんですね。そこに障害を持を心理的な治療としていたんですね。そこに障害を持たい。の運動に関わる教員や学生ボランティアなども でいきました。親子だけではなく、「どの子も普通学でいきました。親子だけではなく、「どの子も普通学でいきました。

ンプを開くのは難しくなってしまう。そこで、77年にしかし、そうなると、病院が治療の一環としてキャ

費も全員、同額に負担。一昨年まで続きました。大学のなかに事務局を置くというかたちで活動を始め、「医療と教育を考える会」という任意団体をつくって、

たんでしょう。帰る前の晩に、「先生、ちょっと付き それでも、 見ていて」と言って、泳いで帰ってくると、「僕、こ 合って」と呼ばれたんです。浜辺で、 しょに水に入って遊んだりして過ごして、 しょにされたの」とは言えなかったんでしょうね(笑)。 すね」と言ってました。「なんで、こんな子たちといっ ころの「優等生の落ちこぼれ」という感じの子でした。 の男の子を誘ったんです。彼は平井信義さんの言うと んど学校に行くよ」と言ったんですね。「どうしたの?」 その子は来るなり、「ユニークな人たちの集まりで そのキャンプに、学校を休みはじめて3カ月の小6 11 たら、 4日間、彼なりに車イスを押したり、 「学校を休んだら人格ができた」と。 彼は「泳げるか 何かを感じ いっ 0

を研究した。不登校についても独自の見解を示した。 理学者、医師。ウィーン大学でハンス・アスペルガーに学び、自閉症理学者、医師。ウィーン大学でハンス・アスペルガーに学び、自閉症のより、 平井信義(ひらい・のぶよし/ 1919~ 2006):児童心

と言っていました。ら、「だって、みんなそうだから。僕、教員になりたい」ら、「だって、みんなそうだから。僕、教員になりたい」と聞いたまり、学校では人格がなかったということですよね。

キャンプに行くことが治療だということにして、毎週 不登校の子が来ても、専門性なんかいらないと思って、 同質だと、納得がいったんです。それで、それ以降は、 まの子どもたちからは奪われているんだと思ったんで みんなが助け合っていこうという自由な開放感は、 かったかどうかはわかりませんが、私が学校に感じて 自分のなかで結びついたんです。それでほんとうにわ りと、彼の言っていた人格を持てない学校というのが、 持った子が学校から閉め出されるのに対して感じた怒 をしていました。 いた開放感や希望、みんなが豊かに生き合うために、 いと思ったんでしょうね。そのときに、私が障害を 学校を人格のできる場として、みんなに取り戻した 博打したり、 ドライブしてキャンプして遊んで帰ってくること そこで、不登校という課題と、障害という課題は 勝手にしゃべってたりね(笑)。そうい キャンプでは、中学生でも酒を飲んだ W

ろかった。

**山下** 医者の専門性を脇に置くというのは、なかなか

## あたりまえのこと当事者にとっては

たし、 たんです。この矛盾をどう整理できるのかと悩みまし 何が悪い」と言って、普通学校で学ぶことを求めてい た人たちが、学校に向かっては「目が見えないくらい と起きてしまう問題なのですが、これが医療ミスだと 石川 ただ、人間が人間として生きることを求めているだけ。 学校があり、 でも、当事者にとっては、そういう問題なんですね。 に向かっては「おまえたちは目を奪った」と言ってい づくことがありました。保育器の酸素濃度が濃すぎる いうことで指弾されていました。しかし、そこで医者 もうひとつ、未熟児網膜症の問題を通して、気 そこで運動から脱落した医者も多くいました。 人間がいる。医療があり、 人間がいる。

者の立場には戻されるんだけどね。

老の立場には戻されるんだけどね。

さいすえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえの生に必要外の重圧がかかったり、問題があたりまえている。

んのなかでは、すんなりと噛み合ったんでしょうか?み合ってこなかった問題でもあると思います。石川さみ合ってこなかった問題でもあると思います。石川さい。

石川 当初、学校のことはよくわからなかったんです。 でるでしょう。そうじゃない。子どもにとっては生活 ないです。「石川さん、学校を勉強する場だと思っまど前、「子供問題研究会」で篠原睦治さんに一喝さ まど前、「子供問題研究会」で篠原睦治さんに一喝されたんです。 れたんです。そうじゃない。子どもにとっては生活

> だから、 神っていうのは、そういう異質な全体性があるところ ひとりが何かを「怖い、苦しい」と言っていることを、「俺 場で特定の技術で特別の人と接しているのでは、やっ ことをみんなで学び共有しないと、特定の人が特定の でみんなで生き合っていくには、生きるなかで必要な まり、シャバだというんです。たとえば、遺伝的に耳 から、みんなで集まって話そうと呼びかけて始め ない子がいるときに、私は自分の感覚ではわからない で、はじめて生まれてくるものです。差異を重んじる。 わせるからこそ、文化の多様性が生まれる。心とか精 は怖くない」と言う人もいて、 ていけない。それは精神の問題でも同じで、たとえば、 んなが口でしゃべると同時に手話をしている。シャバ の聞こえない人が多い島があって、そこに行くと、 の場なんだよ。いっしょに生き合う場なんだ」と。 医療と教育を考える会でした。 不登校の場合でも、目の前に学校に行きたく おたがいに両者が居合 たの

子供問題研究会代表、社会臨床学会運営委員、和光大学名誉教授。\*4 篠原睦治(しのはら・むつはる):1938年、東京生まれ。

**山下** 学校について言えば、健常者と障害者を分ける 山下 学校について言えば、健常者と障害者を分ける

石川 いやなときは行かないというのも、集団への参加のひとつのあり方でしょう。いろんな集団参加がある。多動の子なんかが、幼稚園から飛び出していくこともある。でも、また戻ってきたりもする。それをじっとしていなさいというのはバカげているわけです。その子なりの参加の仕方がある。ひきこもったまま社会に参加するということもある。ずっとひとりでいるないで、集団とは何か、社会とは何か考えている、それな参加していることでしょう。それぐらい多様なのがし間性。その多様性を学校でも認め合い含みこむべきです。でも、自由というと、何かの問題があって、ひきこもらされて、そこで苦痛を感じていることまでが本人の自由なんだからと責任放棄されかねないので、注意は必要ですが。

# 児童精神医学の動きとは

いたんでしょうか? 石川さんは、当時、児童精神医学の動きとは関係して学校恐怖症の診断は問い直されていたと思いますが、

石川 私は小児科医だったので、直接関係はありませ 石川 私は小児科医だったので、直接関係はありませ でした。とくに、当時はユングやフロイトの影響がま でした。とくに、当時はユングやフロイトの影響がま

ところが、8年代に入ったころになると、稲村博さところが、8年代に入ったころになると、稲村博さところが、8年代に入ったころになると、稲村博さところが、80年代に入ったころになると、稲村博さところが、80年代に入ったころになると、稲村博さところが、80年代に入ったころになると、稲村博さところが、80年代に入ったころになると、稲村博さ

山下 それは何年ぐらいからのことでしょう?

登校は何もしないと

り割はよくなる」と言ったんです。 校に戻る率を言っている。私は楽しく元気になること た。「治療するからよくならないんではないか?」み とか発表しているのに、その発表を引用して質問もし 治療してもなかなかよくならない。よくなるのは6割」 その後、福島医大の星野仁彦さんが、「不登校は入院 稲村助教授の言説に即して」と題して発表して、「不 れで、8年に学会で「登校拒否の「治療」とは何か: 院に入院させられたり、心理療法なのか。治療より生 必要だということでしたが、だからといって、 行きたいというのに苦しんでいる。そこに助けの手が 法など不登校の心理療法も流行していました。学校に たいな(笑)。何をもってよくなるとするか。 活のなかでの解決が大切だと私は思っていました。そ っている。 8年ごろからだと思います。同じころ、 だから、噛み合わない。 彼は学 箱庭療

養護教員のあいだで不登校のことも話題になっていまに共同研究者として関わりはじめました。同じころ、その以前、70年代末ごろから、日教組の障害児部会

きたんだと思います。かかったりして、だんだん不登校運動と関係ができてかた。そのあたりから、奥地圭子さんたちからも声が

### 稲村問題について

山下 88年に稲村博さんの「登校拒否症は早期に治療 山かと30代まで尾を引く」という見解が朝日新聞夕 れた緊急集会には、石川さんも出ておられましたね。 和たなんについては、この以前から問題とされていた

ひどい目に遭った人が来ていましたからね。から批判していました。入院体験のなかで、いろいろの治療方針については、記事になる前

当然ですが、つきつめれば「あらゆる人は病気じゃな然、怒りとして言わなければならない主張だったのはい」と言ったわけですが、私は、この言葉はカッコ付い」と言ったわけですが、私は、この言葉はカッコ付い」と言ったわけですが、私は、

う主張する必要があった。

う主張する必要があった。といって、そこに線引きは精神障害じゃありません」といって、そこに線引きなど、もっとひどい状況がありましたから、一度はそなど、もっとひどい状況がありましたから、一度はそなど、もっとひどい状況がありましたから、一度はそい」ということまで言わないといけない。「登校拒否い」ということまで言わないといけない。「登校拒否

**山下** 児童青年精神医学会のなかでも問題になってい

石川 1988年ごろから人権委員会に参加しました。河合洋さん、川端利彦さん、小澤勲さんらが、同た。河合洋さん、川端利彦さん、小澤勲さんらが、同じような立場で主張していたと思います。不登校について一番発言されていたのは渡辺位さんだと思いますが、渡辺さんは学会と一歩距離を置いていましたね。学会全体としては、むしろ戸塚ヨットスクール問題が学会全体としては、むしろ戸塚ヨットスクール問題が学会全体としては、むしろ戸塚ヨットスクール問題が開鎖病棟での入院治療への批判があって、学会内の人権委員会が問題にしていました。

#### 子どもと親と

てい 栗田 ですよね。子どもと関わるというのは、 るのに、その意識をいかに崩していくかと応えられて れるのか、 おられますが、親が聴いていたので、私も自然と聴い ことも必要ということかと思いますが。 ドキドキしながら聴いてました。相談というより問答 いる。よく、これで会話が成り立っているなって(笑)、 とすれちがっていますでしょう。どうしたら学校に戻 たんですね。いつも、 30年くらい前から、 わが子をどうしたらいいのかと相談してい 親から相談があるのに、 NHKのラジオ相談に出 親と対峙する 親 7

石川 小児科医は子どもの話を聴いて、子どもの側に石川 小児科医は子どもの話を聴いて、子どもと出会うまで気づかなかったことが、ていて、子どもと出会うまで気づかなかったことが、たくさんあります。もちろん、親だって、一生懸命やったくさんあります。もちろん、親だって、一生懸命やった、子どもと親と分担して、それぞれの味方になって、子どもの側に

のは、どういう事情からだったんでしょう? 山下 87年に、小児科医から精神科医になったという

を考えないといけません。大人はその場でいいけれど 達障害の人は、大人の精神科に行くと、ほとんど誰も たが、最大の理由は、自分の診てきた子どもが大人に 神科で子どもを診る人がいないという事情もありまし 私はそこに挟まれる立場だったんですね。くわえて精 う必要があるんです。それで、精神科医として、 対応していないというのが当時の実感でした。それ になってきていました。内科的な病気とか身体のこと なってきた、 に、内部理由もありました。職場内部に亀裂があって、 になっても付き合っていきたいと考えたのです。 は診てくれる人も多いけど、知的障害、 子どもはそういうわけにはいかない。長く付き合 ある時代によかった治療というのは、「賞味期限」 医者になって14年も経つと、子どもたちが大人 ということでした。 精神障害、発 大人 さら

# 「病気」「障害」 とは何か

なのかを問うてこられたと思いますが。 治るとはどういうことなのか、治すとはどういうこと治るとはどういうことなのか、治すとはどういうことのか、治療とは何か、治療とは何か、治療とは何か、の話に戻りたいと思います。

石川 何が病気かというのは、ほんとうはよくわから ないんです。社会の病気観はどんどん変わってきてい ます。たとえば「アル中」なんて、昔は文学的でカッ ます。たとえば「アル中」なんて、昔は文学的でカッ ます。たとえば「アル中」なんて、昔は文学的でカッ ます。たとえば「アル中」なんて、昔は文学的でカッ ます。たとえば「アル中」なんて、昔は文学的でカッ ます。たとえば「アル中」なんて、昔は文学的でカッ の状態に戻りたいという願いは、生き物としても、人 の状態に戻りたいという願いは、生き物としても、 ら、急性疾患を病気と呼ぶことに抵抗感はありません。 ら、急性疾患を病気と呼ぶことだと思います。ですか ら、急性疾患を病気と呼ぶことに抵抗感はありません。 もちろん事故の場合もあるけど、その場合も、医学が もちろん事故の場合もあるけど、その場合も、医学が もちろん事故の場合もあるけど、その場合も、医学が

しかし、それ以外の現象について、何を病気と呼ぶか、障害と呼ぶかは、非常にあいまいです。たとえば、か、障害と呼ぶかは、非常にあいましたが、彼は「シーさんというの名へッドコーチがいましたが、彼は「シー言って、手遅れになって死んでしまった。まわりは「早期に治療すれば治っていたのに」と思いますが、彼は「シーがンで死んだのか、みずからの生き方をまっとうして死んだと捉えるのか。これは文脈によってちがうわけです。長期に続く状態をどう捉えるかは、私はいろんな見方や裁量を置いておくべきだと思います。

急性疾患に関しても、厳密に言えば同じなんですが、これはまあ人情としてわかる。命に関わることはしまうがない。命は二度ないですからね。ほかのことは多様性がある。ですから、命がからむものは病気と認め様性がある。ですから、命がからむものは病気と認めないという場合は、病気と呼んで、医学的手段を使うことを否定しない。

ただ、医学的手段というのは、いったん方向を決め

たら、医者はそこからそれないほうがいいんですね。 たら、医者はそこからそれないほうがいいんですね。 たら、医者は得るが患者を縛るものであってはならない。そこが、いまは逆転しているわけです。医師は 自由で、患者を縛るためにルールや治療が語られることがある。とくに昔は実験治療が多かったですからね。 とがある。とくに昔は実験治療が多かったですからね。 を「治療」という言葉で語る際は、まず社会的文脈でを「治療」という言葉で語る際は、まず社会的文脈であることが必要です。

**山下**「障害」という言葉も、社会的文脈で見ること

石川 「障害」という言とを掲げていました。 おら、socially oriented へ、医学主導的世界観から、 書者年(1981年)の前は、一般にはよくわからな 書がした。国際障害者年は、medicaly oriented の前は、一般にはよくわからな

力は圧倒的です。 係が定められている言語ですからね。 さないといけない。障害という言葉も、権力的に力関 思っています。我々が使うレッテル用語全体を考え直 気も障害も社会的文脈で再整理しないといけないと 別すべきだろうと思っていました。しかし、 個性は、 ない」と言ったわけです。ここの対比における病気と そのころ、青い芝の会は「障害は個性だ。 私も、この文脈において、障害と病気は明確に区 身体的文脈だけを見るな、 素直にうなづけます。 と言っているわけです それは社会的文脈を見 しかも、 いまは病 病気じゃ 医療権

ものすごい真実だったと思います。言ってましたけど、でも、そこに含められていたのは、言ってましたけど、でも、そこに含められていたのは、ンだから、この言葉には引き裂かれる思いだった」とっまた、青い芝の会は、「愛と正義を否定する」と言また、青い芝の会は、「愛と正義を否定する」と言

## 反精神医学について

精神医学という潮流になると思いますが、石川さんは山下 社会的文脈をみるというのは、精神医学では反

反精神医学については、どのようにお考えでしょう。

いです。 石川 最近、ある一定の範囲内では、多量の薬を使うよりも 私は医学否定論者ではありませんし、疑問に思うとこ よしとする人もいました。これは医者としてはおか は反対しても、多量の薬を使うこと、薬による管理は 訴えた人たちのなかには、電気ショックや身体拘束に のではないんですね。 は認めざるを得ない。 有害性は少ないということがわかってきました。これ 時の電気ショック療法には反対していました。しかし は、電気ショック療法に反対してきました。私も、当 ろもあります。 反精神医学の思想には基本的に共鳴しますが 薬という猛毒を使って、脳を操作しているわ たとえば、 しかし、反精神医学など人権を ですから、形式的に否定するも 反精神医学に立つ多くの人

は、自己批判し続けています。 反精神医学を考えないといけません。私はその安易さ 見解のベースに立つべきで、その自制を持ったうえで 見解のは、以というのも形式主義です。医者は医学的 は、自己批判し続けています。

山下 東大病院ではどうだったんでしょう?

石川 にくいことです。 はなくて、地域のなかで折り合っていかないと成立し には限界があるわけです。病院という特殊なところで までの檻を廃してカギをかけないので、誰かが飛び出 よその閉鎖病棟に送ることもまれにありました。それ かし、その結果、どうしても引き受けられない患者を、 エステの取り組みは、それなりに評価できるものです。 したら、みんなで追いかけることになる。 そこでも、 :赤レンガ)は完全に開放病棟化していました。 東大病院の精神科は大学闘争で二分し、病室 拘禁する場合は、 拘禁をまったく認めないわけではありま そういう意味では、イタリアのトリ よっぽどの場合をのぞい でも、そこ (通 L

神医学の動きはつぶれていってしまいました。 で反精神医学をやろうとしたために、どこでも、反精地域を巻き込んで変わろうとしないで、病院の中だけ限に創造しないといけない。しかし、そういうふうに限に創造しないといけない。しかし、そういう制24時間以内に拘禁を解くことが原則です。そういう制

## 生活を足場にできない?

**栗田** 生活の場としての学校が奪われている。人格を **栗田** 生活の場としての学校が奪われている。人格を

明や文化の本質です。動物をワナにかけてとらえると同で生きてきたんですね。それと、ウソこそ人間の文たちだけの問題じゃなくて、私たちみんなの問題です。共なが、だからこそ、ですよね。それは子どもや若い人

リックを使う。からです。まともにやったら勝てないから、ウソやトいうのもウソを使うわけでしょう。それは人間が弱い

生活のイメージが湧かないという背景には、いろんということだと思ってますが、少なくとも私たちが人間な問題があると思いますが、少なくとも私たちが人間な問題があると思いますが、少なくとも私たちが人間な問題があると思いますが、少なくとも私たちが人間ないうことだと思ってます。

のということでしょうか? 栗田 すでにある生活というよりも、目指していくも

石川 そうですね。私自身、生活を奪われていると思います。たしかに、私には戦後の牧歌的な学校のイメージだったり、そこに一定の生活イメージはあります。 戦後のどさくさの生活のなかで、欠乏のなかで、ひと 戦後のどさくさの生活のなかで、欠乏のなかで、ひと 戦後のどさくさの生活のなかで、欠乏のなかで、ひと 戦後のとさくさの生活のなかで、欠乏のなかで、ひと

る。

ないは、ことの、その特殊な生き方が奪ってきたものがあたけのこと。その特殊な生き方が奪ってきたものがあいこの数十年の我々だけですよ。それも人類のごく一部とたわけですからね。欠乏を体験していない生物って、

れもできていない。情報産業社会のなかで、どう生きなを大事なものとして受けとめられるかというと、そは生きていないわけです。昔の苦痛だった労働をしなは生きていないわけです。昔の苦痛だった労働をしなは生きていないわけです。昔の苦痛だった労働をしないま、日本の農業人口は4%を切っているでしょう。

<sup>\*</sup> 8 法(通称バザ すべての精神病院が廃止され、地域精神保健医療へと転換している。 当局側の医師たちは「外来派」と呼ばれた。東大精神病棟の分裂は、 行なうことになった。 入院が禁じられ、精神医療は原則として地域精神保健サービス機関で 精神科医のフランコ・バザーリアが主導し、 1996年まで続いた。病棟の外観から赤レンガ闘争とも呼ばれる。 大学精神科医師連合は病棟を占拠し、 トリエステの取り組み:イタリア北部の都市トリエステでは、 赤レンガ:1969年9月、 ーリア法)を制定。 1980年からは精神病院への新規 森山公夫らを中心とする東京 自主管理した。対立する東大 1978年に180号

とう共有しなおすことができるか。 とう共有しなおすことができるか。 とうしなおすことができるか。自分に追い込まれている。そうなが私の生活のイメージです。もちろん、全員が農るがが私の生活のイメージです。もちろん、全員が農るかに追れというわけではないですが、そのまっとうさから生み出されてきた文化を、私たちが生きるなので、どう共有しなおすことができるか。

うことを、生活のイメージに置いているわけですね。 ガーは女性が低賃金で担っていますよね。それも問題 カーは女性が低賃金で担っていますよね。それも問題

人間一匹ではやられてしまうから、おたがいに守りきたんです。そのなかで人類が選び取ったパターンが、は、欠乏を共有するように、40億年かけてつくられて石川 これから、そうなると思います。私たちの身体

その時代が来たとき、 ぐに助け合う生き方が戻るとも思わない。大事なのは、 きないと思います。また、 そういう文化になりつつあるということだけど、それ ら、その豊かさ自体が本質的に怖いし、 出せるかというと、あやしい。 がほんとうに、生きていて楽しいと思える文化を創り を消費しなくても楽しめる。ネットも、ある意味では、 人口がこの豊かさを享受できることはないでしょう。 ているのは世界の一部の人間だけだからで、世界の全 いるのだと思います。それに、いまの豊かさが成り立っ いまはまったくちがう豊かさを生きているわけですか んよ。生き物学的にそうなっている。にもかかわらず、 40億年かけてつくられたものは、簡単には変わりませ 合って、ちょっとズルし合って生きるということです。 もちろん、 いますぐ欠乏に向き合えと言われてもで 楽しめるかどうか。 欠乏したからといって、す 何かを失って エネルギー

## 足場の見えないなかで

労働現場でサークルをつくっていたりして、良くも悪栗田 お話はわかるんですけどね。昔の話を聴くと、

うように思います。「生活」という言葉を聞いても、抽象論になってしまういうイメージも湧かない。イメージの湧かない人がくも労働文化がありますよね。いまの私たちには、そくも労働文化がありますよね。いまの私たちには、そ

石川

言葉の問題じゃないでしょう。私は、

自分の時

代に原点として持っていることを、生活という言葉をあいわけです。自分とういう言葉をあどういう言葉をあどういう言葉をあいただけです。自分とういう言葉をあいた。

は、高度成長にとが問題化したの

恐怖症的なものも出てきたように思います。あるいは、 工業へ、 すごく苦しいところではないでしょうか。 そこで障害なり病気なりと言われた人たちが、抵抗で そういうものが「障害」と名指されてきた。石川さん ね。学校も労働も、めまぐるしく変化して、農業から もなって、 にかかったりして、その枠組みのなかで自己規定して きる足場を持てずに、医者にかかったり、カウンセラー で、ディスオーダー=障害が増えてきたわけですよね。 に教わったことですが、 いったわけですね。そういう状況への違和感から学校 発達障害などは、その典型ですよね。 情報産業へと、モノと関わることから離れて 生活が消費に置き換わっていった時代です 社会のオーダーが変わること

石川まったくそうですね。

らいいことです。

ころが、その後の世代は、それが難しい。そして、不登て、これはおかしいと言っているように思います。とている世代は、それを原風景として、それを足場とし山下 大ざっぱに区分けすれば、高度成長以前を知っ

年 だから容易に、薬とか病院とか、狭いところに吸い取す ものをあらわす依り代ではあるけど=社会ではない。 栗田 だから、身体とか症状に出て、身体は社会的なり ややひきこもりが本格化したのは、その世代からですね。

られてしまう脆弱さがありますよね。そこから抵抗す

る足場をつくっていくことが困難な状況は広がってい

ると思います。

石川 きているから、チャンスはありますよ。 はとても及ばないように見えるけど、 権力側は持っている。その力は圧倒的で、 せないように、ちがう方向に向かわせるような圧力を がうところに向けられていますけどね。そこに気づか ての身体性はなくなりはしない。助け合って生きてい うに感じているけど、生き物であるかぎり、 いると思います。 いまはたしかに足場が見えなくなって空疎になったよ その機構は生き物としての人間に豊かに残されて それは、 ほんとうにそうだと思います。 いまは、煽られるなかで、意識がち ほころびは出 あるとき、ふ 私たちの力 7

験を共有しうるんだと思います。そこで出会うこと。そこから、これまでとはちがう経とちがうものが見えて、その瞬間に気づかされること、

て、依存症や暴力の問題にもなっているように思います。みたいなものが、「人格障害」みたいなかたちで現象化し壊されていて、そこに立てないなかで、そのむかつき壊されていて、そこにがたるまでが、きついですよね。足場を

石川 きついですよね。まだ、これからもっと壊れて ていんでしょう。それが、過去に幻想を持てる人間に比いくでしょう。それが、過去に幻想を持てる人間に比いくでしょう。それが、過去に幻想を持てる人間に比います」と言っていました。いまは、同じことを熊谷合おう」と言っていました。いまは、同じことを熊谷合おう」と言っていました。いまは、同じことを熊谷合おう」と言っていました。いまは、同じことを熊谷合おう」と言っていました。いまは、これからもっと壊れていいんでしょう。同じことです。

じです。でも、生き物としての人間を考えたら、そのしんどくなってきているのは、上の世代の人間も同

見えないことって、あるように思います。あるわけですからね。それくらいまで戻らなかったら命や生き物を産みだした原点である空も太陽も空気も

## いまの親子に届く言葉は?

ます。

います。 どもと父親の板挟みになって、四苦八苦していた。し 理解だったんだと思います。とくに母親は、「子ども 病的なものが現れる。それが当時の親の精いっぱいの とを異常視する社会が子どもを追いつめて、二次的に 校拒否は病気じゃない。けれども、学校に行かないこ 私が「二次症状」という言葉を使ったら、石川さんに「そ ひとりで、私が司会をやっていたんですが、そのとき、 全国合宿が開かれたとき、石川さんがシンポジストの かし逆に言うと、そこに、9年代いっぱいを通じて、 の育児はおまえに任せておいたはず」と責められ、子 れは何ですか?」と指摘されたのを覚えています。登 の会が力をもったエネルギーの源があったように思 田 1996年に、箱根で登校拒否を考える夏の ところが、2000年代に入ったあたり

と考え直さないといけない時期に来ていると感じていは分裂してしまった。この30年間ほどの動きをちゃんは分裂してしまった。この30年間ほどの動きをちゃんいます。もう旧来のスタイルでは続かない。そして、ら、その元気がなくなって、親の会の力は限界に来て

て、この子どもや親の気持ちを語る語彙がないんです とは、ぜんぜんちがう層で不登校が起きている。そし 貧困を理由にするものが全国で 100 もないんです なくなって からんでいるのはまちがいないのに、それを見る力が ね。一方で教員のほうも、 7~8%が不登校で、しかも8~9年代までの親の層 ね。ところが、たとえば大阪の門真市では、中学生の る長期欠席です。学校基本調査の統計を見ていると、 いま、 私がいちばん気になっているのは、 11 て、 不登校に分類するほうが無難とい 長期欠席に経済的な問題が 貧困によ

ある綾屋紗月と二人で、障害者の立場からの当事者研究を行っている。ひで生まれ、車イスの生活を送っている。アスペルガー症候群の当事者で生まれ。小児科医、東京大学先端科学技術研究センター准教授。脳性ま\*9 熊谷晋一郎(くまがや・しんいちろう): 1977年、山口県

く言葉を生み出していく必要があると思っています。語彙を与えるというのはおこがましいですが、そこに届欠乏のなかで、一生懸命、生きようとしている人たちに、うことになっている。難しいところに来ていると思います。

石川 不登校という言葉で共通軸を求めるところから解放されていかないと、言葉は見つからないでしょうは。でも、そのためにも、不登校から出発することに、いとも思います。こだわることは大事だけど、しかし、そこから次に開かれていく、普遍的な視野に開かれていかないといけない。その問題が持っている大事さをデリケートに捉えつつ、そこにとらわれすぎて足をすぐわれないことだと思います。

うイデオロギーに洗脳されすぎて、お金に縛られていの考えている貧困は、お金がないと生きられないといてはいけないけど、我々困の問題だから、いっしょにしてはいけないけど、我々はモロッコに行けば大金持ちです。 もちろん相対的貧ばモロッコに行けば大金持ちです。 もちろん相対的貧いといいの考えている貧困」というのも、よく考えないといけ

言えるような共通用語を見つけたいですね。くて、大胆に、貧困のなかから「ここを目指そう」とるわけです。私は、否定する言葉におびえるのではな

も、共通の言葉が見いだせないでいるように思います。なる、だから学力保障をということになってますね。不登校の地平で見えてきたものが後退している。ここで不登校の地平で見えてきたものが後退している。ここで不登校の地平で見えてきたものが後退している。ここで不登校の地平で見えてきたものが後退している。ここでは、

屮 たくちがうわけですね。 はない経済があった社会で貧乏というのと、貨幣でし そのなかで、 か生きられない社会でお金がないことの意味は、まっ らの疎外=お金がなくなることが問題になる。貨幣で か生活できない社会へと疎外されているから、 介さんは、「二重の疎外」と言っています。貨幣でし 一側面ということでもありますね。社会学者の見田宗 いまの貧困は、 不登校は、 生活が消費になっている問題 言葉を換えれば、足場がない。 いまの社会を相対化して、足 貨幣か 0)

て、ようやく気づくきっかけになる。がんばってしまう。がんばろうと思っても無理になっいます。この社会でやっていけると思っているうちは、場を取り戻していくきっかけにできるものだったと思

## ピンチからの希望

石川 たとえば、モーセの十戒では、人間世界について言っているのは、「殺すな」「姦淫するな」「盗むな」「偽なかったわけです。ところが、ユダヤ民族が奴隷生活なかったわけです。ところが、ユダヤ民族が奴隷生活なから解放されて国家をつくっていく時代になると、律から解放されて国家をつくっていく時代になると、律法主義になって、やたらルールが細かくなって、社会は、ごく一部の富裕層と圧倒的な貧民層に分かれていく。貧民層がまとまることのできる言葉がない。そこく。貧民層がまとまることのできる言葉がない。そこに登場してきたのがイエスですね。

除していく。イエスは私生児で、革命主義者で、いち切にし合えということでしょう。それ以外のことは排切にし合えということでしょう。それ以外のことは排イエスの言う愛は、日本人にはなじみが薄いですが、

ばん差別されている人間とともにいて、そこに天国があると主張して、あげくの果てには権力から犯罪者とみなされて殺されていった。抵抗して、軍事革命すらも、そういう人間の最貧の敗北者を、神の子だと認めも、そういう人間の最貧の敗北者を、神の子だと認める宗教が世界に広がったというのは象徴的なことだと思います。まあ、私は隠れキリシタンなので、その思想に拠るわけですが、もちろん、宗教に縛られなくていい。人類はそんなふうにデザインされた生き物なのだということを押さえたい。

大切なのは、人類はそういうことをくり返しながらた、栄養素のないなかで、どう生き残るかというとこと、栄養素のないなかで、どう生き残るかというとこと、栄養素のないなかで、どう生き残るかというのも、その地平が生み出したものです。でも、これから世界を襲うものは、当時の敗戦よりも、もっと大きな意味を持ってくるでしょう。それは現象としては貧な意味を持ってくるでしょう。それは現象としては貧な意味を持ってくるでしょう。それは現象としては貧な意味を持ってくるでしょう。それは現象としては貧な意味を持ってくるでしょう。それは現象としては貧な意味を持ってくるでしょう。それは現象としては貧な意味を持ってくるでしょう。

栄養欠乏状態に対して備えようとする身体のつくりが栄養欠乏状態に対して備えようとする身体のつくりがないうのも、そういう歴史を背負いながら生き物として生きている。ピンチで苦しいときほど、そこからして生きている。ピンチで苦しいときほど、そこからして生きている。ピンチで苦しいときほど、そこからして生きている。ピンチで苦しいときほど、そこからいかわからないけど、そこから人と出会っが人を生かすのだと思います。

葉をこれから苦労して見つけていく時代でしょうね。あった。いよいよ、それよりももっと深く、我々の言という言葉に、一定の意味はあったけど、その限界もという言葉に、一定の意味はあったけど、その限界もという言葉に、一定の意味はあったけど、その限界もとれが局地的なものではなくて、全世界的なものと

きているように感じます。そういう意味では、教育機た共同性があるのに、それが消費社会に呑み込まれて山下 しかし、不登校の場合でも、そこから見えてい

に感じます……。 のが、またたくまに消費社会に呑み込まれているようも、東日本大震災でも、いっとき見えていたはずのも会確保法案は象徴的ですね。あるいは、阪神大震災で

### もがくしかない

石川 そうですね。それが、ずっと、くり返されてきた人間と権力とのダイナミズムです。しかも人間は昔のように、見えるかたちでなく、権力に操作されるようになった。権力を持つ側ですら自覚がない。その解決方法はわからないけど、もがくしかないでしょう。そのもがきにおいて生を共有していくしかない。いろんな人間が生きている。言葉も、ぶつかったり葛藤しながら見いだしていくほかないと思います。そこまでから始まるんだと思います。

**炭してから先のことですね。破綻が前提にあって、そ山下** 石川さんのおっしゃることは、極論すると、破

いまの普遍性を見据えている。しかし、当面の問題との先の普遍性を見据えている。して、いまの学校や働き方をどうするかを考えたとき、そこでどうしたらよいのかは、みんなが見えにくくなっているように思います。たとえば、生活の場としての学校といっても、現実のいまの学校は、それと真逆の方向にありますね。理念としてはともかく、具体的には、どこにそれを見いだせるのか、苦しい問題とがと思います。そこで、自殺などの問題も起きている。だと思います。そこで、自殺などの問題も起きている。

ざるを得ない。 ということになってくる。そのなかで、我々はもがか 石川 ぜんぶムダになることはない。 わけです。ただ結果がどうなろうと、もがいたことが かで人を求めて生きていくことには何の変わりもない 分けてもらったほうがありがたい、もっといい指導を、 いだは、何も見えなくなってしまっています。 によって、 生きるってこと自体、 たとえば障害児の問題にしても、特別支援教育 細かく分断されて、 もがこうが、もがくまいが、分断のな ムダです。やがてはみん そこにはまっているあ ムダだというのであれ むしろ

ぶそうとするものには抵抗するしかない。つむぎあったりする。それをブルドーザーみたいにつていく。一つひとつを大事にして、いたわりあったり、死ぬんだから。でも、そうじゃない。そのなかで生き

ていくようなイメージでしょうか。ていますが、逃げつつ、もがきつつ、ゲリラ戦をやっように思いました。いまは、逃げることも難しくなっように思いました。いまは、逃げることは、つながっている

#### 栗田 局地戦とかね。

# 山下 全体を押し返すのは無理ですしね。

石川 この「バラバラに散らされていることこそ共通 している」というなかで、闘っていくということでしょ きるものでないと普遍性もない。昔のような大きなス きるものでないと普遍性もない。昔のような大きなス きるものでないと普遍性もない。昔のような大きなス は、どこかウソがあるんです。私たちの世

ことでしょうね。

**栗田** このプロジェクトも、もがきのアーカイブスに

山下 不登校でも、かつては大人が高度成長モードに山下 不登校でも、かつては大人が高度成長モードに

育の時代があったけど、管理教育というのは、管理す石川 そうですね。一昔前には、管理教育×反管理教

る方向が見えていたからできたことです。だから反対る方向が見えていたからです。それが情報社会になったをする時代だったからです。それが情報社会になったなかで、誰もわからないところにいる。それで気づいて、それでもどっこい生きている。そこで共感できるものを、ようやく大事にできる時代に近づいているとも思っています。

## エリート養成?

て、安倍政権がフリースクールを支持する時代です。来のエジソンやアインシュタインを発掘する」といっ組みでは考えられなくなりましたね。文科大臣が「未山下 フリースクールのあり方も、80年代のような枠

ら、パブリックスクールの代表みたいになって、ケン学校だったのが、そのなかに優秀な人がいたものだかて、いつの時代もそうですよ。たとえば、イギリスのて、いつの時代もそうですよ。たとえば、イギリスのの川 フリースクールやオルタナティブスクールなん

ますけどね。こんな法案、通っちゃったら、通した人ますけどね。こんな法案、通っちゃったら、通した人です。いつの時代も、オルタナティブ教育なんで、エリート養成に転化するに決まってるんです。なんで、エリート養成に転化するに決まってるんです。なからといって黙認するわけではなくて、そこで足をだからといって黙認するわけではなくて、そこで足をだからといって黙認するわけではなくて、そこで足をだからといって黙認するわけではなくて、そこで足をだからといって黙認するわけではなくて、そこで足をだからといって黙認するわけではなくて、そこで足をされないために、ハッキリ反対を言う必要はありすくわれないために、ハッキリ反対を言う必要はありますが、通した人

の私たちにつながり、どこを変えていく必要があるのきたことの焼き直しで、それがどういうふうに、いまず自分たちの最初の苦悩と思うと大変だけど、起きて栗田 歴史を知るというのは大きいことですね。これ

ほうが心配です。

か、考えていくことが大事ですね。

## 破綻からがスタート

絶対に破綻するし、すでに破綻はきたしていますね。適応できるわけではないし、それがいいことでもない。ですね。教育によって、みんなが産業構造の高度化にいますが、すべての人がそこに適応できるはずがないいますが、すべての人がそこに適応できるはずがないいますが、すべての人がそこに適応できるはずがないいますが、すべての人がそこに適応できるはずがないいますが、

れは第3次産業だからです。第3次産業はイメージが 家と言われてきた北欧でも移民排斥が起きている。そ を受けいれることができていた。でも、いまは福祉国 を受けいれることができていた。でも、いまは福祉国 を受けいれることができていた。でも、いまは福祉国 を受けいれることができていた。でも、いまは福祉国

かし、審議にはかけられないまま見送られ、 より、フリースクール、家庭学習、夜間中学校や外国人学校などを含め、多様な場が教育機会として認められ、経済的支援がなされると期待する声もあっ する普通教育を十分に受けていない者に、多様な普通教育の機会を確保すること」を目的とし、対象は、年齢、 しかし、反対や慎重論の声も多く、 教育機会確保法案:2015年5月、 2015年の通常国会では上程が見送られ、大幅に変更された案が2016年の通常国会に上程された。 インタビュー時の 2016 超党派の議員連盟により提案された法案(座長・馳浩議員)。不登校児童生徒など「義務教育段階に相当 年 9 月現在は「継続審議」扱いだった。 その後、2016年12月、法案は可決 国籍を問わないこととされた。これに

#**09 石川憲彦さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

と思います。

のではなくて、

破綻からスタートしようということで破綻しているものをつくろおうとする

そこをハッキリさせれば、

逆に希望は見えてくる

重要ですから、そこで一致しなかったらダメなんです。 そこで人種問題が起きている。人種間の平等を謳っていた社会民主主義が、もろくも崩れた。でも、そこからなんだろうと思います。 山田 雇用労働だけではなくて、その価値だけではかろうとすることも変えないといけないですね。新自由 き義は、非常に大きな力を持っているかのように見え ているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗してているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗してているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗してているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗してているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗してているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗してているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗してているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗して

山田 雇用労働だけではなくて、その価値だけではかろうとすることも変えないといけないですね。新自由主義は、非常に大きな力を持っているかのように見えているけど、一枚岩ではない。いまの破綻を糊塗しているだけのように思います。

栗田 いまの社会を破綻しているとみるのと、破綻しないとみるのでは大ちがいですね。

石川

9年代には破綻していたんです。ですから、

破すで

私は破綻していると思っているわけです。

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #09 石川憲彦さん

インタビュー日時:2016年9月21日 記事公開日:2016年12月8日

場所:林試の森クリニック

聞き手:山下耕平、栗田隆子、山田潤 記事編集・写真撮影:山下耕平

- 213 - - - 212 -

#### #10 村上幸子さん

村上幸子 さん



村上幸子(仮名/むらかみ・さちこ)

1958年、宮城県生まれ。社会福祉士、精神保健福祉士、保育士。 1964年、公立小学校入学、1970年、公立中学校入学、中学2年生のときに 不登校を経験した。1973年、公立高校(全日制)入学。高校卒業後、大手企 業に事務職で就職。1978年、保母(現在の保育士)資格を取得。1979年に 結婚し、その後、夫の転勤で関西へ。1994年、保母として就職。2001年、 宮城に戻って児童館の臨時職員になる。2009年、大学(通信制)に入学。 2014年、大学卒業と同時に、社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格を取得。 社会福祉協議会に入職 (臨時職員)。現在、放課後等デイサービスで働きなが らスクールソーシャルワーカーとしての就職を目指している。

インタビュー日時:2016年10月17日

聞き手:奥地圭子 場所:東京シューレ

#### #10

村 上 奥地 生まれは宮城県で、生まれた町は、 お生まれはどちらですか?

作られた工業地区と商業地区、

昔ながらの農村の色合

企業誘致で

が濃い地域が融合している町です。

小学校時代

奥地 小学生時代は1960年代後半ですね。 1 9 6 0 年代後半

学校

はどんな感じでしたか?

村 上 検するほどに活発な子どもで、学校自体も、 ほ が楽しくて仕方がなかったです。私は、 のぼのとしていました。 小学校3 ~4年生くらいまでは、 学校に行くの 山を越えて探 のんびり、

村 上

はっきりとした記憶はないのですが、

礼儀作法

生も、 としていましたよね。 0 おっかなく取り締まるような感じではなくて温 私が教師になったのも60年代ですが、 たですよね。 東京もそうでした。 人情が厚いというか、 ほのぼ 学校の先 0)

> 仮病を使って何週間か長く休んだことがありました。 村上 ですが、初めて学校に対して違和感を持ったの 小5のときです。 プレッシャーを抱えていて、 カゼをひいたのをきっかけに、 「学校を休

けれど。 奥地 何か学校に対して思うところがあったんですか? が治ったら、 し小4までのように楽しく通っていたのならば、 え始めていたのだろうと思います。 みたい」「学校に行きたくない」という気持ちが芽生 いま思えば、 カゼが治っても学校に行きたくなかったのは、 また学校に行きたいだろうと思うんです カゼ

たのかもしれませんね。私自身は当時、学級委員をやっ みんなのお手本にならないといけないというプレ の指導が厳しい担任の先生に対して思うところがあっ 1番か2番でした。

ていたし、

学校の成績はよくて、

がありました。

奥地 なるほど。それはわかります。本音を言うと、奥地 なるほど。それはわかります。本音を言うと、

と言われたことを記憶しています。 長引くなんて、万病の元だからしっかり治しなさい」 長明くなんて、万病の元だからしっかり治しなさい」と思います。そのころ、教師から「長いね。こんなに 村上 あいまいですが、半月ほど続けて学校を休んだ

職業を教えてください。 よろしければ、ご家庭のて何か言っていましたか? よろしければ、ご家庭の

一度も「勉強しろ」とは言われませんでした。 ば放任主義で、子どものことにはほとんど干渉せず、親は専業主婦で、家で内職をしていました。よく言え

のんびり、家庭ものんびりだった気がします。すね。だから楽しかったのかもしれませんね。学校もど、勉強しろとかこうしろとか言う親は少なかったで奥地 たしかに、そのころは東京の下町でも、ほとん

# 1970 年代前半から不登校をした中学校時代

生ぐらいのときに不登校をしたんですか? 関する思いをうかがうことにしているんですが、何年関する思いをうかがうことにしているんですが、何年

らです。 村上 中学校2年生(1971 年)の夏休み明け

奥地 中学校はどんな中学校でしたか?

でも、中学校1年生になると、小学校ののんびりムーらい、小学校からほぼ全員がそのまま進学しました。

ました。 ました。先生が長い物差しで子どもを叩く、アタマに 挙骨を落とす、教室でうるさくしていると廊下に出さ ました。先生が長い物差しで子どもを叩く、アタマに ドから一転、いまで言う先生の、体罰、があって驚き

気持ちでしたか? 奥地 体罰による管理教育ですね。たしかに、そうい 奥地 体罰による管理教育ですね。たしかに、そうい 奥地 体罰による管理教育ですね。たしかに、そうい

クラスのほとんど全員が塾に行くようになりました。ちょうど中学校入学のころに地元に塾ができ始めて、なければならない」と緊張した記憶があります。それと、村上 「ちゃんとしなければいけない」「勉強もがんばら

しました。ピアノ教室もガマンしました。思っていたので、塾に行きたいと親に言えず、ガマン村上 行きませんでした。自分の家は裕福ではないと

ていないことは、平気ではなかったですか?のなかでやっていた時期ですよね。自分だけ塾に行っ奥地 高度成長の途中で、まだまだ多くの人が貧しさ

からも、 います。 かったのは中学校2年生のときです。中学校になって くって休んでいた記憶がありますが、 があやふや。中学校3年生になっても何かと口実をつ 学校を休みました。3学期は、登校したかどうか記憶 月から行かなくなりました。そして、2学期いっぱい、 村上 学校での友だちの会話が塾のことだらけになっ かったんですが、 自分が取り残される気持ちになったことを覚えて 提出物も出したくなくなりました。 中2の1学期は行っていて、 あまり勉強しなくても相変わらず成績はよ 学校に行かなくなってからは成績が 夏休み明けの9 いちばん、つら もともとは

病院に行ったらいいのではないか」と言われたので、特別に行ったらいいのではないと思うようになりました。学校に行こうとすると身体の調子が悪くなる。頭は学校に行こうとすると身体の調子が悪くなる。頭は一学校に行こうとすると身体の調子が悪くなる。頭はもなると、お腹もおかしいし、めまいのようなものは、おいて、やらなど、大いのではないか」と言われたので、からな

奥地 うちの子の不登校も、村上さんよりも少し後の奥地 うちの子の不登校も、村上さんよりも少し後の といから不登校をしているんだなんて医者に言われま しいから不登校をしているんだなんて医者に言われました。村上さんは、病名はついたんですか?

処方された薬のことは、いまでも覚えています。 白い錠村上 名前のある病気の診断は、つきませんでした。

気がないのが、ますますやる気がなくなる状態でしたね。四六時中頭がボーっとして、とにかく寝ていました。やる剤なんですが、それを飲むと眠くて眠くて。家にいて

くなったかもしれませんね。 奥地 薬を飲んだほうがボーっとして、それでおかし

「勉強しなさい」と言わなかったことです。村上 たった一つの救いは、親が「学校に行きなさい

受診して脳波の検査をしましたが、問題はなく、身体

も正常。ホルモンのバランスが崩れているという診断

のみでした。

奥地 それがよかったですよね

りしていたと思います。親には感謝しています。非行に走るか、身体症状ももっとひどいことになった村上 もし何か言われたり強制されたりしていたら、

けじゃなくて、お父さんも何も言わなかったですか?も言わなかったのは、めずらしいですね。お母さんだのまうのが常なのに、専業主婦だったお母さんが何奥地 子どものようすを見ていると何か言いたくなっ

学校を休むことに理解があったのかもしれません。休日もほとんど家にいない状態でした。私がそういう休日もほとんど家にいない状態でした。私がそういうらないです。母は、自身が10歳くらいのころ(1936年)、腸に寄生虫が寄生して、腹痛のために長期で小学校を休み、学年を1年留年した経験があったので、対態だったことに理解があったのかもしれません。

奥地 中学3年生のときは、どうだったんでしょう?

村上 中学3年生になって、高校進学が気になり始め村上 中学3年生になって、高校進学が気になり始めた思いました。 英校に行くのはつらかったですが、休と思いました。 学校に行くのはつらかったですが、休と思いました。

## 〝学校〟 から解放されるまで高校時代

奥地 高校選びは、どのようになさったんですか?

地元の公立の全日制高校に進学しました。 で、高額な通学費のかかる仙台の高校を選択することで、高額な通学費のかかる仙台の高校を選択すること

学校の先生に対して失望して……。挫折ですね。ですが、中学校時代の自分の経験や弟のこともあって、んとうは、小学校時代は学校の先生になりたかったのよかったと、20代30代になってから後悔しました。ほと勉強をするか、将来の夢を持って進学をしておけばと勉強をするか、将来の夢を持って進学をしておけばと験勉強は、いっさいしませんでした。でも、もっ

おけばよかったと後悔したわけですね。 奥地 入れる高校に入ったけれども、もっと勉強して

底から楽しむということはなかったと思います。し、中学校時代の不登校経験を抱え込んでいて、心のし、中学校時代の不登校経験を抱え込んでいて、心のく、激やせしました。本気を出すことができずにいた材上 高校に入ってからは、食が細り、胃の調子が悪

卒業できました? ね。それって、ときどきあるんですよね。でも高校は奥地 不登校のことをずっと抱え込んでいたんです

感。、「晴れ、、快晴、、軽くなった感じでした。 村上 はい。 高校をどうにか卒業したときに感じた、村上 はい。 高校をどうにか卒業したときに感じた、村上 はい。 高校をどうにか卒業したときに感じた、

しておきたいと思いながら、これまで生きてきました。中学高校時代のことは、思い出したくない、フタを

# いま思う、不登校の理由

たりはありますか? 奥地 なぜ学校に行けなくなったのか、自分では心当

わりは「不登校に罪悪感を持つ必要はない」と思うかでした。それから40年近く、引きずってきました。までた。 なぜ不登校になったのか、当時はわかりません

した。 うな思い……罪悪感のようなものをずっと抱えてきまもしれないですが、本人としては、罪人であるかのよ

奥地 罪悪感は、ずっと抱え続けていたんですか?

村上 罪悪感は、長く引きずりました。不登校をして村上 罪悪感は、長く引きずりました。不登校をしていたくないし、関わりたくもなかったです。 人と会いたくないし、関わりたくもなかったです。 人と会いまでかあると「あのときの不登校が……」と、昔に引き戻されるんです。

尾を引いているっておっしゃっていました。 験者が同じようなことを言っていました。その方は、いまも精神科に通っておられるんですけれど、結婚もしてお子さんが大きくなられてからも、ずっと罪悪感を抱いて、家族のなかでもうまくいかなくて、ずっと発言がしているっておっしゃっていました。

村上 転機になったのは、私が51歳のときに入学した大学の心理学の講義のなかでの「将来、ソーシャルワー大学の心理学の講義のなかでの「将来、ソーシャルワーの発言でした。それで、過去の不登校経験と向き合わの発言でした。それで、過去の不登校経験と向き合わざるをえなくなりましたが、いまだに、自分の不登校経験と向き合わば解決されていないのかもしれないと思うことがありは解決されていないのかもしれないと思うことがあり

今年(2016年)の夏、仙台で開かれた「登校拒否・今年(2016年)の夏、仙台で開かれた「登校を考える全国大会」では、思いきって大勢の人の前でお話ししました。隠しておきたいというのが本音でしたが、一方では、当時の自分を丸裸にしないと解決しないのではないかと思い、自分で自分を押し出すようにして語っていたのが実情です。

ことなんですか? とでしょうか。自分のことを話すのは、めったにないとでしょうか。自分のことを話すのは、めったにない奥地 あのときは雰囲気に乗って話しちゃったってこ

村上 自分のことを話すことに抵抗はないのですが、不登校体験だけは別です、自分にとっては、勇気のいることなので、語ることはめったになかったですね。第から暴力を受けたときに「なんでそんなことをするの?」と訊いたら、学校で先生から「お姉ちゃんはあんなに優秀なのに、おまえはなんで出来が悪いんだ」と言われたからだと言ったんです。母親からは、家庭と言われたからだと言ったんです。母親からは、家庭と言われたからだと言ったんです。母親からは、家庭と言われたからだと言ったんです。母親からは、家庭と言われたと問きました。が悪いんじゃないですか」と言われたと聞きました。が悪いんじゃないですか」と言われたと聞きました。

ですね。 奥地 先生が、姉弟を比べたのですね。それってイヤ

さ。自分を責めて責めて……。先生から直接何か言わ弟から暴力を受けても反抗することができない情けなという自責の念を持つようになったんですね。それと、という自責の念を持つようになったんですね。それと、

も強く持ってしまいました。れたわけではないですが、学校や先生に対する不信感

東地 それも、自己否定感につながっちゃったかもし東地 それも、自己否定感につながっちゃったかもし、別々の人格なのんと比べられてつらかっただろうし、別々の人格なのんと比べられてつらかっただろうし、別々の人格なのんと比べられてつらかっただろうし、別々の人格なのんと比べることがまちがっていたんですよね。

村上 もしかしたら、弟のほうがつらかったかもしれ 村上 もしかしたら、弟のほうがつらかったかもしれ に言ったんです。「社会に出たら、テストで 100 点とったか、20点とったか、わからない。社会に出たら、みんな同じだ!」と。あとから弟の友だちに聞いたのですが、弟はとてもうれしそうに、姉ちゃんがそう言っていたと、その友だちに話していたそうです。でも、弟は社会人になってから自殺して帰らぬ人となってし弟は社会人になってから自殺して帰らぬ人となってし弟は社会人になってから自殺して帰らぬ人となってしまったので、もう語り合うことはできませんが……。

当時は、自分に起きていることがなんなのか、なぜと思っています。。 4年という時間を経て、自分はどうしほで不登校になっていると客観視することもできてい係で不登校になっていると客観視することもできていほせんでした。 4年という時間を経て、自分が弟との関に結果、いま、ようやく言葉にできるようになったのた結果、いま、ようやく言葉にできるようになったのか、なぜと思っています。

**奥地** それは大変つらく、苦しいことでしたね。ず(

# 就職、結婚、子どもと関わる仕事高校卒業後

À

は、どのようにやっていこうと思われたんですか? 奥地 そして高校を卒業して学校から解放されたあと

高卒の就職率がよく、就職できない人が大学に進学すしました。当時はオイルショックの後でしたが、まだれました。当時はオイルショックの後でしたが、まだい。

いのかと思い始めました。るような時代だったんです。でも、就職後、これでよ

奥地 就職してから思い始めたんですか。

合い結婚しました。 お主に、といったん学校から解放されて、落ち着いて、仕村上いったん学校から解放されて、落ち着いて、仕村上いったん学校から解放されて、落ち着いて、仕村上いったん学校から解放されて、落ち着いて、仕

**奥地** 昔は結婚も早かったし、見合い結婚の時代でし

ても、ろくなことにならない」と言われて育ちました。村上 私の両親は大正生まれです。「女性が大学に行っ

学に行くとろくなことにならない、って。
奥地 私も祖母から言われた経験があります。女は大

格を取りました。 強して、当時は大学卒業を必要としなかった保母の資 事がしたいと思うようになり、結婚前に6カ月間、勉

か。 
られたんですね。仕事をしながら試験勉強したんですられたんですね。仕事をしながら試験勉強したんです 
奥地 大企業に就職したあとに資格を取って保母にな

村上 仕事をしながら、夜、参考書と向き合いました。村上 仕事をしながら、夜、参考書と向き合いました。 村況でした。「あー、しまった」「あのときがんばって状況でした。「あー、しまった」「あのときがんばって状況でした。「あー、しまった」「あのときがんばっていれば、大学に進学していれば」と、過去の挫折を後悔しました。短大に進学した同級生よりも早く資格を悔しました。短大に進学した同級生よりも早く資格を悔しました。

奥地 そんなことがあったんですか。やっぱり学歴社

を取って保母になってるのにね。会ですね。立派な社会人としての経験もあって、資格

視されたんですが、夫の転勤で大阪に行ったら、学歴 が訪 育所に就職しました。 子育てがひと段落してから、 が重視されなくなったというのもあります。36歳ごろ、 れま そ した。 0) 後、 地域性もあって、 時代が変わって、 保母の資格を活かして保 宮城県では学歴が重 学歴不問 この求人時 代

母に抜擢されました。 児童支援センターの指導 を子どもに関わる仕事をしてか課後居場所事業のコーディ 文科省の委託事業として放課後居場所事業のコーディ 文科では、関わる仕事をしています。最初は、町の児 と子どもに関わる仕事をしています。最初は、町の児 と子どもに関わる仕事をしています。最初は、町の児

**奥地** いま現在は、どのように子どもと関わる仕事を

村上 現在は、障害のある児童生徒の放課後等ディ

9時から19時までです。 サービスが主な仕事です。週休2日で、勤務時間は朝

いるでしょう? 奥地 仕事で接する子どものなかには、不登校の子も

いまの職場にも不登校の子どもがいます。 村上 児童館では不登校の子ども1人に接しました。

その前に、自分の子どものことですが、実は息子も小学校1年生のときに不登校を経験しました。自分が小学校1年生のときに不登校を経験しました。自分が不登校を体験していても、自分の内では未解決で、電島分が不登校時代に学校のあり方と先生に対して不信息分が不登校時代に学校のあり方と先生に対して不信感を持っていたので、息子の友だちのお母さんの紹介で、全寮制のA学園に小学校2年生のときに送り出してしまったのです。個別性が尊重され、子どもが主体的に学び、自分らしく生きられるような"場"で子どもがのびのび育ったらよいという願いからでした。で

とう対応されるんですか? 奥地 そういう子に出会ったとき、どのように思って、

村上 やはり、自分が不登校のときにされたくなかったことは、したくないと思いますね。不登校の子の言動はまるごと受けいれ、関わりのなかでは否定しないことを意識しています。ほめたり支持したりしながら、その子らしさのなかから、強みやよいところを引き出し、伸ばし合う働きかけや環境を用意することを心がけています。もちろん、不登校の理由を聞いたりはしませんし、学校に行ったらよいとは、私は絶対に言わないです。

やるように」とたしなめられたこともあります。でも、親をはじめとした、職員も含めた関係者すべて酷なんじゃないですか」と言っても、なかなか理解で酷なんじゃないですか」と言っても、なかなか理解でも、親をはじめとした、職員も含めた関係者すべでも、親をはじめとした、職員も含めた関係者すべ

てつらい思いをしたそうです。すが、本人は「親に見捨てられた」と思い、ガマンし

点を意識する」ことなどの大切さを学びました。息子 もが自己決定しやすい環境を整えていく」こと、そし います。 は通信制の高校を卒業し、 じっくり待つ」こと、「子どもの意思を尊重し、 しつけてはならないこと」と、「先走りせず、あせらず、 のです。この失敗から、「親は子に自分の価値観を押 育むべき親と子の親愛関係を築くことができなかった に食べ、親子で団欒するなどの暮らしをして、 は親に甘えたい時期です。本来なら、夕食をいっしょ 天の霹靂だったでしょう。 て「子どもにとってどうだろうかと、子どもの側の視 フリースクールのように親元から通うのとはちが 生活の場が家庭ではなくなったわけですから、青 ましてや、 いまは社会人として働い 子どもにとって 相互に 子ど 7 0

くなるんですよ。となるんですよ。というには事で出会うと、うれしんな息子に似た子どもたちに仕事で出会うと、うれしんな息子に似た子どもたちに仕事で出会うと、うれしたな息子に似た子どもなっているの当時、東京シューレや親の会の存在を知ってい

とを強く言えない、情けない自分がいますが……。いという気持ちがこみあげてきますね。でも、そのこ択をしているのですから、まずは、認めてあげてほし択をしているのですから、まずは、認めてあげてほし子どもたちは、いまは勇気を持って不登校という選

奥地 お母さんたちに、自分も不登校だった時代があ

村上 自分が不登校だったということを、まわりの職材上 自分が不登校だったといないませんでした。ほ真に知られたくないので、話していませんでした。ほ員に知られたくないので、話していませんでした。ほ

ら、自分からは話しにくいですよね。 ましてカミングアウトしている人が身近にいなかった 人もいますが、不登校をした人がまわりにいないし、 くりで自分の経験を話しやすいし、スタッフになった ので自分の経験を話しやすいし、スタッフになった

ちだとわかっているからこそ、思いきって発言するこすね。仙台の全国大会では、まわりが理解のある人た顔をされるのではないかという思いが脳裏を横切りま材上 とくに、地元では言いにくいんです。また変な

とができたのだと思います。

奥地 全国大会では、参加者みんなが不登校の当事者か保護者か支援者だったから、理解があったんですよね。仙台には親の会がないんですよね。11月5日に親の方で集まります。親の会では、少し話しやすいのではないかと思います。みんな、経験者の話を聞きたがっています。当事者の話には説得力があるので。親は不安から学校に行かせたがるけれども、子ども側はつらいのだということがわかれば、親もあまり無理強いしなくなるだろうと思います。ほんとうは不登校経験があることは強みなのに、それを言えない空気があるということですよね。

類は別で、顔を使い分けています。児童館に学校の先す。また、学校で見せている顔と児童館で見せているす。子どもたちは、遊ぶ時間をけずって勉強していまがあるのですが、年々、全体のレベルは上がっていま的に補習を行なっています。自分も勉強を教えること的に補習を行なっています。自分も勉強を教えること

生が来ると急に、子どもたちは、いい子、になるんです。 日々の子どもたちのストレスを肌で感じましたし、学力の課題や家庭の問題、学校でのいじめなどの実態も子どもたちの口から聞こえてきました。なんとかしなければ……このままでは、いつ、自殺者や不登校、非行行為が起きてもおかしくないと思え、ほうっておけない気持ちになりました。でも、職場での仕事上の私の立場では、学校への介入や家庭への介入はできません。せいぜい、子どもたちの話を聞いてあげるくらいの支援しかできないのです。なので、役割として、また、自分の存在の意味づけとして、スクールソーシャルワーカーになりたいと考えるようになりました。

ということですね。 奥地 いろんな子どもと付き合うなかで、そう思った

保健福祉士の資格も同時にとりたかったので、1年余のとき、働きながら通信制の大学に入りました。精神資格をとるには、大学卒業が要件です。そこで、51歳

分に必要で、都合5年間通いました。

中できないんです。とにかく、

物理的に机に向かう時

- 228 -

こともありましたし、弟をはじめ、同級生、いじめで

りたいと思ったからです。自分も自殺したいと思った

課題を抱えて苦しんでいる子どもたちの命を守

を持っておられたんですね。 勉強するのは相当大変だったでしょう。生活もある に年齢は関係ないのだけれども、 がんばったところがすごいですね。ほんとうは、学び してもスクールソーシャルワーカーになりたい気持ち 体力や記憶力も落ちるし。そこまで大変な思いを 年齢にこだわらずに若い人といっしょに大学で それでも、 その年で

動力に思えます。 り返させてはならないという使命感のようなものが原 の当たりにしているからです。 自殺した近所の子など、自ら命を絶った子を数人、目 睡眠時間を削っての受験勉強と大学生活でした。朝 同じ悲惨な出来事をく

時間です。夕方、 4時に起きて、 家族の朝ごはんをつくる前に、 仕事から帰ってからでは、 眠くて集 まず3

> ダーに吹き込み、料理しながら、清掃しながら、 スクーリングで大学に行く生活でした。 運転しながら、それを聞いて覚えました。 間を生み出せないので、暗記するものはICレコー 毎週土日は

奥地 が支えになったかもしれませんね。 そういうなかでも、 資格を取るのだということ

卒業し、その年の社会福祉士と精神保健福祉士の国家 た 、励まし、だったのかもしれません。 56歳で大学を 定感も上がった気がしますね。 で自分に向き合うことができましたし、 試験に同時に一発で合格できました。その勉強の過程 村上~そうですね。そうすることが、 自分自 多少は自己肯 身 へ向け

うに整理されたんでしょうか。 不登校のことも含めて、 ご自分のことをどのよ

村 上 それまで、 ~よい子であらねばならな 11

を恐れ、まわりに気をつかっていたのです。 を自分に強いてきたんだと思いました。嫌われること

誰か気づいてほしい。たすけて!」という心の叫びの 発信であったのかもしれません。 ます。また、自己否定が根底にあるので、私にとって まの、素、の自分でありたいのですが、よい子を偽装 きたくない」と反発するもう一人の自分とのせめぎあ かなければならないよ」と強迫命令する自分と、「行 不登校は、「自分を認めてほしい。 しようとする自分に嫌悪感を覚えていたようにも思い いで苦しんでいたように思えます。本当は、あるがま 自分の心の内では、「よい子でいるには、 苦しんでいる私に 学校に行

続けました。そして、見えてきたのが、学校教育は国 ぜ不登校となると、まるで法律を犯した罪人のような 家が強制する規範であり、 罪悪感と負い目を抱くのだろうかと思い、 ないところ、という誤った固定観念で自分自身をがん い事教室や職場を休んでも罪悪感は抱かないのに、な がら、不登校経験を隠して生きてきました。 不登校後は、 自己肯定感は低下し、罪悪感を抱えな 、学校は行かなければなら 自分に問 でも、 習 13

> 隠しておきたかったのも、 じがらめに縛っていたということです。 という恐れが根強くあったからです。 レッテルを貼られ、偏見の目で見られるのではない 自分が社会の脱落者という 不登校経験を か

られるんですか? いまは、不登校を起こした自分をどう思って

だったのだろうと理解しています。 村 上 校を経験したのには意味があったと感じられます。 あったからこそ、いまの私があるわけで、自分が不登 自分にとって必要なことだったんだろうと。不登校が いまは、あの不登校は自分を守るために必要 弟の件もあって、

#### 伝えたいこと いま、不登校し 7 いる子たちへ

奥地 始められたんですか? 大学を卒業してすぐに社会福祉士として仕事を

村 上 現在は、 社会福祉協議会に臨時職員として勤め

目

一的のスクール

ソ

・シャル

ワーカ

ーにはなるこ

できましたか?

たか

村 上 まだです。 欠員が出ないので、 求人がない 'n で

奥地 ればいつでもなれるわけですね。 資格は取 れているわけですから、 チャンスが

村上 とで「自分は当事者なんだ」と自覚して、当事者とし になりました。 て何かできることがあるのではないかとも考えるよう ています。実は、 もちろんです。あきらめないでチャ 仙台の全国大会で人前で話をしたこ 、ンスを狙

ことを自覚されたのですね。 発言されたことをきっかけに、 現在も、 当事者だという 不登校などの相

談にも乗ったりされているのですよね

組みを変え、世間の不登校に対する認識を変えないこ 校に行くのがあたりまえ」という考え方です。国の仕 も、ほかの職員も親も、自分以外のすべての大人が「学 たりする子どもの存在を目の当たりにしています。 しています。 とには、苦しみ続ける子どもがいるということを痛感 かったり、 不登校だということが響いて望む仕事に就けな 放課後等デイサービスで働くなかで、学校を卒 暮らした居場所で暮らすことができなかっ で

奥地 不登校について、こうだったらいいなと思うことは? 最後にうかがいます。自分が不登校をしてきて、

はなく、 学校教育を根本から見直し、 ど、多様な学ぶ場が必要であると痛切に感じています。 す。そして何よりも、 村上 文科省が定める学校だけを学ぶ機関とするので フリースクールやホー 社会・世間の認識を変えること、 変えたいとも思っていま ムエデュケーションな

理解してもらえるような社会づくりが急がれます。

奥地 れないですものね。 それをわかってもらわなければ、 自殺も止めら

村 上 絶たないで!」と叫びたいですね。 早まらないでほしいです。「お願いだから、 子どもたちは、かけがえのない一人ひとりです。 自ら命を

なので、 子には、「休んで、充電して、エネルギーが溜まり、 うとする潜在能力が備わっていると言われています。 と人間には自然治癒力のような、 行っていいんだよ」と言ってあげたいですね。もとも 自分から行ってみようかと思えるようになったときに けれど自分の気持ちを殺して無理に学校に行っている ということを伝えたいです。ほんとうは行きたくない 、学校が……成績が……友だち関係がすべてではない。 に行かなければならないわけではない、ということ、 てくるのは、あたりまえ、のことであり、、必ず学校 そして、〝学校に行きたくない〟という気持ちが出 社会やまわりの人たちは、先入観や価値観に みずからを修復しよ

> 性を秘めているのですから……。 してとらえる視点を持ち、 つということです。その子らしさや強みや良さを意識 ただ、その〝待ち方〟は、受動的ではなく能動的に待 て、待つ、という勇気を持ってもらえたらと思います。 とらわれず、 きたいですね。どの子も未来に向け、 の子が主体的に自分自身の意志で歩めるようにしてい 登校をせかさず、子ども自身の力を信じ 受容し、支持しながら、 かぎりない可能 そ

関との連携の広がりと充実が必要であると感じていま ことが重要だと思います。そのためには、その子にとっ わりがあること、親どうしのつながり、 ての居心地のよい居場所で、さまざまな人たちとの関 いずれにしても、子も親も、 ひとりで抱え込まない 地域や関係機

奥地 もわかったし、なかなかほかの方からは聞けない話も うかがうことができました。 ありがとうございました。当時の時代のようす #**10** 村上幸子さん 不登校 50 年証言プロジェクト

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#10 村上幸子さん

インタビュー日時:2016年10月17日

記事公開日:2017年1月14日

場所:東京シューレ 聞き手:奥地圭子

まとめ:奥地圭子、勝野有美

- 233 - - - - 232 -

#### #11 森英俊さん

な状況に驚きました。

んですが、入ってみて、 そうなんです(笑)。それで、 その中学校のあまりの競争的

1学年180人ほどのうち、

毎

動が広がってい

ったんですが、

教育実習に来る学生さ

そうですね。

中学2年生のころ、

ね そうだったんですか。 因縁のある場所なんです 合格して入学した

屮 ですが。 まずは、 子ども時代のことからうかがいた

11

0)

年3~5人は東大に、

10人くらいは京大、阪大に入る

た場所なんです(笑)。 と言われて、あまり深く考えることもなく、 往き来していたので、私は小学校を2回転校していま のこの場所(とりぎん文化会館)が、その中学校のあ がままに受験したんですね。実は、今日のインタビュー ら、鳥取大学教育学部の付属中学校を受けてみなさい」 ときの小学校で、 美郡(現在の鳥取市)で開業しました。その6年生の 私が小学校6年生のときに、父は転勤をやめて岩 父親が医者で僻地勤務をしていて、島根と鳥取 担任の先生から「いいチャンスだか 言われる

岩

それは酷ですね。

小学校までとはまったくちが

行くと、成績順に廊下に名前が張り出されていました。

上位から最下位まで全員です。

ような学校でした。 5 月の連休明けに最初の中間テス

トがあったんですが、

テストが終わった翌日に学校に

ます。 した。 屮 う世界だったわけですね。 いんだ」と思って、 酷ですよ。そのことに、 自分の成績は平均以下でしたしね。 とてもショッ クを受けま

とをするんだな。このなかで生きていかないといけな 入られたのは1967年ですか。 お生まれが1955年ということは、 漠然と不安に襲われたのを覚えい 「すごいこ

#### 森英俊さん #11



(もり・ひでとし)

1955年、鳥取県生まれ。小児科医。自身、中学3年生のとき(1969年)に 不登校経験がある。高校在学時にハンセン病療養施設でのボランティア経験な どから、医師を志す。1981年、杏林大学医学部卒。1993年より、鳥取タン ポポの会(不登校の子と親の会)を立ち上げ、代表世話人として活動している。

インタビュー日時:2016年11月6日

聞き手:山下耕平

場 所:とりぎん文化会館(鳥取市)

写真撮影:山下耕平

全国的に学生運

まをしていますでしょう。子どもから見ると、大人側、体制側の人たちです。でも、その人たちが大学に戻る体制側の人たちです。でも、その人たちが大学に戻ると、ゲバ棒を持って火炎瓶を投げていたりしていた。 学の付属中学校だからこそ見えたことだったのかもし学の付属中学校だからこそ見えたことだったのかもした。 きの付属中学校だからこそ見えたことだったのかもした。 ことでした。そういう状況が、私にはとても耐えがたかったんですね。

#### 穴にこもる

でしょう? 学校に行かなくなったのは、いつからだったん

いこもったんです。 ができて、地下室みたいなのをつくって、2カ月くらしたら、下に土が見えたんですね。そこを掘ったら穴

学校には行かなかったということでしょうか。山下 文字通りのひきこもりですね(笑)。穴にこもって、

森 夏休みが明けても学校には行きたくないので、朝、 「行ってきます」と出かけたふりをして、そのまま勝 「行ってきます」と出かけたふりをして、そのまま勝 手口から部屋に戻って、地下室で過ごしていました。 り廊下でつながった診療所で働いていたんですが、ご り廊下でつながった診療所で働いていたんですが、ご のどきにならないと家のほうにはもどらなかったの で、夕飯までは穴で過ごしていました。

### 山下 学校から連絡は?

本、あったと思います。親は「出たと思います」とか言っていたんでしょうね。それでも、見つかったのは11月たんど寝て過ごしていたんですが、自分なりには充実とんど寝て過ごしていたんですが、自分なりには充実とんど寝て過ごしていたんですが、自分なりには充実とか言っない。

山下露見したきっかけは?

山下 お母さんは?

です。 母親は泣いていましたね。あまり言葉はなかった

### 家出して大阪に

山下 その後は?

スで通っていたんですが、その日は中学校のある停留森 12月半ばに家出しました。学校までは、いつもバ

た大阪行きの鈍行に乗り込みました。まで行って、そのまま、駅の1番ホームに止まってい所で降りられなくて、バスの一番後ろに隠れて鳥取駅

ですね。
山下 その日は学校に行こうと思ってバスに乗ったん

時は「金の卵」と言って、集団就職で都市に出てきて たら、 こで学生鞄と帽子は捨てて着替えて、朝になって起き その人のダンボールハウスで一夜を過ごしました。そ さんのひとりが「捕まるから入れ」と言ってくれて、 私は学生服に学生帽という姿だったんで、家出してき ムレスの人たちがダンボールハウスで寝ていました。 阪駅に着いた。お店はシャッターが降りていて、ホー と思って、 ていたんだと思います。「いましかチャンスがない」 いた人たちがたくさんいて、 た少年だなとわかったんでしょう。 そうです。でも、どこかで家出したい気持ちは持つ まわりには若い人がほかにもいるんですね。当 電車に飛び乗りました。それで、深夜に大 そこでうまくいかなかっ ホームレスのおじ

た人たちが、大阪駅のコンコースに集まっていました。 た人たちが、大阪駅のコンコースに集まっていました。 たこには彼の友だちもやってきていて、大検の予備 をこには彼の友だちもやってきていて、大検の予備 をこには彼の友だちもやってきていて、大検の予備 をこには彼の友だちもやってきていて、大人といました。 をの文化住宅を借りて住んでいました。 をの文化住宅に をに通っている人なんかもいました。 をに通っている人なんかもいました。 をいました。

1969年だったので、ちょうど万博の前の年ですね。翌年から万博が始まったんで、万博会場で下働きなさせてもらっていました。いわゆる日雇い労働ですが、働くのにも、名前も住所も何も聞かれなかったでが、働くのにも、名前も住所も何も聞かれなかったでが、から、働けたのかもしれないです。万博会場で下働きは、アイスクリームやジュースを売っていました。万博会場で下働きる生活でした。

> のでしょう? けですね。そこで感じたことは、どういうことだったけですね。そこで感じたことは、どういうことだったわいです。

しました。

で生きているんだなと思って……。学生服の集団を見ると、ぞっとしますね。集団のなかの集団を見かけるたびに隠れていました。いまでも、ですね。鳥取から来てないだろうかと思って、学生服で生きているんだなと思って……。

**山下** 万博で働いていたのは、どれくらいの期間です

松江でも、島根大学の学生さんのアパートに身を置か きました。金沢で、学生さんと友だちになると、学生 せてもらって、そこに自分の写真を貼って、 来たんですが、 屋に泊めてもらったり、駅のベンチで寝袋で寝たこと そこから南下して各地をまわりました。旅行といって 思ったとき、せっかく自由になったんだから日本全国 働きづめでしたからね。そのお金をどうしようかと ですね。その期間に30万円ほどお金が貯まりました。 バスの車掌さんのバイトをしていました。そうする せてもらいました。そればかりか、学生証をコピーさ もありました。昔は、そういうことができましたね。 を旅行してみようと思って、まずは北海道まで行って、 日本海側を南下してきて、 車掌さんの宿舎に泊めてもらうこともできたんで 旅館には泊まらないですからね。国鉄の駅員の部 70年3月に万博が始まって、9月までの半年ほど のアパートに転がり込めるということを覚えて、 しばらくは、 鳥取は飛ばして、松江(島根県)に行 それで生活をしていました。 新潟、金沢(石川県)と 松江市営

ところが、ある日、車掌の休憩室で朝日新聞を読んでいたら、たずね人の欄に「父危篤、英俊帰れ」と出でいたら、たずね人の欄に「父危篤、英俊帰れ」と出でいたら、たずね人の欄に「父危篤、英俊帰れ」と出げ、ハガキに何月何日に帰るから鳥取駅に迎えに来てが、ハガキに何月何日に帰るから鳥取駅に迎えに来てけいと書いて出したんです。家に帰ったのは73年5月だったと思います。69年12月に家出したので、3年半ほど経っていました。

## 家にもどってから

山下 そのとき、親御さんは?

ていましたし、妹とも、もう1年遅れたらいっしょになかったそうです。夜は電気をつけて、冬は高く積もった雪をかき出して、いつでも玄関が入れるようにしてた雪をかき出して、いつでも玄関が入れるようにしてわるような感じはありました。 弟は先に高校に進学しわるような感じはありました。 弟は先に高校に進学しわるような感じはありました。

山下 「父危篤」というのは方便だったわけですね。

でしょうね。 そう書かないと、帰らないと思ったん

山下 その後の状況はどうだったんでしょう?

森 その予備校にも、いろんなおもしろい人たちがいました。そこで出会った数学の先生とは、いまだに付き合いがあるんですが、実は、のちに自分のお子さんが3人全員不登校になって、私のところに相談に来られたことがあって、そこから親の会ができたという経緯があるんです(笑)。

その後、高校には進学しましたが、同級生と3年ほ

たんですが、成人式は通信制の職員室でやりました。人と自分を比べてしまう。大学では年齢差なんてぜんが、高校には定時制も通信制も併設されていて、いろおらかでした。僕が通っていたのは全日制でしたが、おらかでした。僕が通っていたのは全日制でしたが、おらかでした。僕が通っていたのは全日制でしたが、だんですが、成人式は通信制の職員室でやりました。

## ハンセン病との出会い

てだったんでしょうか?
山下 大学に進学されたのは、お医者さんになろうと思っ

たちは学校にまったく行っていなくて、だけど、自分でありを手伝っておられたんですね。ハンセン病の人たちのる長島愛生園というハンセン病の療養施設の人たちのがよりを手伝っておられたんですね。代わりに、岡山県にあ

さいというようなテストがあったりしました。で、原作はひらがななんですが、それを漢字に直しなていく作業を手伝われていた。その詩をいくつか選んたちのボキャブラリーを持っていて、それを文字化し

それで、私も高校3年生のときに、長島愛生園にボランティアに行きました。そこで聞いたのは、お医者のたが足りないということでした。こういうところで働くなら医者も悪くないと思って、医者になろうとしたが足りないということでした。こういうところでも、何回か行きました。

ではハンセン病患者を施設に収容していなかったんでいったとうない。そこで衝撃を受けたのは、インドスの横にあります。そこで衝撃を受けたのは、インドルの横にあります。そこで衝撃を受けたのは、インドルの横にあります。そこで衝撃を受けたのは、インドルの横にあります。そこで衝撃を受けたのは、インドのアグラにある、また、大学5年生のとき、インドのアグラにある、また、大学5年生のとき、インドのアグラにある、また、大学5年生のとき、インドのアグラにある、

てなんだろうと考えさせられました。いる人もいましたけど(笑)。日本のような隔離政策っいる人もいましたけど(笑)。日本のような隔離政策っすね。月に1回、お薬を配給して、保健師さんが患者

インドにはもう一度、大学6年生のときにも行ったんですが、滞在中に腎結石ができて上まったんですね。高熱が出て、でもインドでは手術ができないので、東京に帰ってきて手術を受けました。そのため、私には左の腎臓がありません。それで母親そのため、私には左の腎臓がありません。それで母親くずを卒業後は鳥取に帰ることにして、県の中央病院大学を卒業後は鳥取に帰ることにして、県の中央病院大学を卒業後は鳥取に帰ることにして、県の中央病院大学を卒業後は鳥取に帰ることにして、県の中央病院

す。県庁まで陳情に行ったり、院長に交渉したり、「研す。県庁まで陳情に行ったり、院長に交渉したり、「研値が技術的に難しく、保険適用もなかったんですが、 真取に帰ってきて、一番最初に診た患者さんは、が、 鳥取に帰ってきて、一番最初に診た患者さんは、が、 鳥取に帰ってきて、一番最初に診た患者さんは、 日本でも、ハンセン病に関わるつもりでいたんです。

<sup>1964</sup>年にインドにアジア救らいセンターを設立した。身の医師。国立ハンセン病療養施設の菊池恵楓園園長を勤め、退官後、\*2 宮崎松記(みやざき・まつき/1900~1972):熊本県出

年のことでした。 しょに、鳥取で初めての骨髄移植に成功しました。87 大変でしたが、兵庫医大に見学に行った人たちといっ修医のくせにナマイキだ」なんて言われて、なかなか

## 不登校と出会う

山下 小児科医になろうと思ったのは?

いました。 森 私は日本小児科学会にも、内科学会にも入ってまな、小児科だけをやっているわけではありません。 が、小児科だけをやっているわけではありません。 ないですしね。血

をかけて話を聴いていきましょう」とお母さんと話しの子でした。「この子は病気としてではなくて、時間の子でした。そして、そこで初めて診たのが、原因がないました。そして、そこで初めて診たのが、原因がないました。そして、そこで初めて診たのが、原因がないました。そして、そこで初めて診たのが、原因がないました。そして、そこで初めて診たのが、原因がない筋梗

間半くらいですね。

間半くらいですね。

山下 開業して最初の患者さんが、不登校だったとい山下 開業して最初の患者さんが、不登校たった、それまでの精神医療の見方も大きく問については、どのように見ておられたんでしょう?

て、とりあえずは血圧をはかったり血液検査をしたり、知識としてはあったんですが、患者さんを目の前にし森 渡辺位先生の本は、すでに読んでいて、ある程度、

元国立精神・神経センター国府台病院児童精神科医長。\*\*3 渡辺位(わたなべたかし/1925~2009):児童精神科医

さんに話しました。で、不登校として対応したほうがいいだろうと、お母で、不登校として対応したほうがいいだろうと、お母一通りの診察はやりました。しかし何も異常がないの

残された時間をいかに充実して、家族として生きられ れるか。それは、 ずいぶんちがうんです。治ることがすべてではなくて、 ました。白血病患者には、ドナーが見つからない人も 合ったほうがいいんですね。グループの必要性という えが強かったと思います。 だことでした。 いますし、手術が成功する人もしない人もいます。で のは、白血病患者との関わりから学んだことでもあり ているよりも、とくに親の方は親の会で複数で話し 最初は、自分のところで何とかなるだろうという考 そこでおたがいに支え合うような仲間がいると、 患者さんからも、 しかし、 ひとりで話を聴 ご家族からも学ん

山下 「治る」ことが、すべてではないわけですね

聴いたこともあります。その方は、戦時体制下、学校森 あるおばあさんから、国民学校での不登校経験を

に行かなくなって、千人針などもぜんぶ拒否して閉じに行かなくなって、千人針などもぜんぶ拒否して閉じに行かなくなって、千人針などもぜんぶ拒否して閉じて、感慨深かったですね。ちょうど親の会が始まる前で、感慨深かったですね。ちょうど親の会が始まる前のことでした。

れたこともあります (笑)。 と、それで昔の友人が知って、そうだったのかと言わらね。講演に呼ばれて不登校のことを話す機会があるらね。講演に呼ばれて不登校のことを話す機会があると、それで昔の人、それはあると思います。それまでは、

山下 親の会を立ち上げられたのは何年のことでしょ

7

になって、親から飛んでいくよ、と(笑)。 いくタンポポからつけました。そして、やがては綿毛踏みにじられても、そこから根をはって花を咲かせて森 93年です。タンポポの会という名前で、どんなに

会うようになったんですね。の広島大会のときでした。そこで全国のみなさんと出の広島大会のときでした。そこで全国のみなさんと出たようど親の会も全国ネットワークができて、全国

との関係はどうだったんでしょう? お子さんは3人おられるとのことですが、学校

孫は二人いて、上の子は4月から幼稚園に行き始め

してるんですが、なかなか難しいなと思います。と、親(私の娘)が大人の視線を押しつけているのがと、親(私の娘)が大人の視線を押しつけているのがたんですが、行きしぶる日があるんですね。そうする

ことは? されておられますが、校医として不登校の子と出会うにとって大事でしょうね。ところで、森さんは校医も山下(そういうおじいちゃんがいることは、お孫さん

### 学校で子どもは

ですから、自分の診療所で話を聴くときは、私は白衣にすから、自分の診療所で話を聴くときは、私は白衣いうことを子どもさんから聞くこともあります。ただ、基本的に、学校では子どもは話しません。学校に来て基本的に、学校では子どもは話しません。学校に来てなる大人は、みんな学校の味方だと思ってますからね。

ていました。それはとても大事なことだと思います。人間として受けとめるには、大人が鎧甲を着ていたらドバイスなんですが、内田さんは「子どもをひとりのドバイスなんですが、内田さんは「子どもをひとりの

の点については、どう感じておられますでしょうか。 は付けられるラベルとして、2000年代に入ってから「発達障害」が急増していて、就学時健診などで早ら「発達障害」が急増していて、就学時健診などで早ら「発達障害」が急増していて、親しの衣を脱げた 山下 白衣は象徴的ですね。親も「親」の衣を脱げた

養護の先生に相談があって、それから校医に相談があのときに落ち着きのなかった子が、学年が上がると落が、高学年になってからの子もいるし、逆に、低学年 就学時健診で発達障害と診断される子もいます

うがいいと言っています。ります。私は、あまり発達障害でラベリングしないほ

はないことですからね。

す。そもそも、発達障害は、ある割合はいて不思議です。そもそも、発達障害は、ある割合はいて不思議でちょっと風向きが変わってきている面もあると思いますが、いまは、差別と捉える先生もおられるし、またすが、いまは、発達障害児の子を探す傾向が強かったで

**山下** 不登校の問題が発達障害にスライドされた感じ

に行く日だけ薬を飲んで登校している子もいます。子どものなかには、発達障害と診断されていて、学校森 そうですね。おかしいなと思うのは、中・高生の

てこられるケースは、いまでもあるでしょうか? くべきではないですよね。不登校を理由に病院につれ

森 それは、いまでもあります。最近は鳥取でも、不

出下 親御さんが診断名を求める傾向は強くなってい と診断名がつくと安心する面がある。本人も、もやっ としたものが、ある意味では整理がつく面もあるとは としたものが、ある意味では整理がつく面もあるとは

た、「いつまで待てばいいんでしょう」となるわけでと、「いつまで待てばいいんでしょう」となるわけでは、学校復帰のためにはどうしたらよいか、適応指導は、学校復帰のためにはどうしたらよいか、というようなことですよね。しはどうしたらよいか、というようなことですよね。しはどうしたらよいか、というようなことですよね。しなるがは、相談に来られた方には「まずはゆっくり休かし私は、相談に来られた方には「まずはゆっくり休かし私は、相談に来られた方には「まずはゆっくり休かし私は、相談に来られた方には「まずはゆっくり休かし私は、相談に来られた方には「まずはゆっくり休かしない。

すが (笑)。

ているとも思います。第一、自分が休めてない。も、親のほうも、精神的にも経済的にも余裕がなくなっほしい、となっている。しかし待つ、見守るといってほしい、早く専門家に対応してもらって、早く解決して山下 待つことが難しくなっていますよね。早く見つ

の方は増えていると思います。で、子ども自身がゆっくり休める状況をつくれない親森 そうですね。そういう意味でも、ほんとうの意味

山下子どもの変化は感じておられますかっ

ているかなとは思いますね。いますし、コミュニケーションのとり方が下手になっ称。相談に来ていても、ずっとスマホを見ている子も

うに、ほんとうに世間から撤退して自分と向き合うよ山下 かつて森さんが穴を掘ってひきこもっていたよ

いますが、じっくり自分と向き合うのは難しくなっています。逆に言えば、孤立しないですむ面もあると思います。逆に言えば、孤立しないですむ面もあると思いますが、じっくり自分と向き合うのは難しくなっています。かますが、じっくり自分と向き合うのは難しくなっています。かるような気がします。

るかといったら、難しいですし、大変だなと思います。森、環境がちがいますよね。ネットやスマホまで切れ

## 新しい状況のなかで

て、親の会のあいだでも意見は対立していますね。90山下 話は変わりますが、教育機会確保法案をめぐっ

ておられますか。
たのかもしれませんが、この現状については、どう見たのかもしれませんが、この現状については、どう見ろに来ている。意見のちがいが法案を通じて顕在化し年代からつながってきた親の会が、いまは難しいとこ

は、法案にはなるべく触れない感じになっていました。けの意見を通そうとしないで、歩み寄れるところは歩けの意見を通そうとしないで、歩み寄れるところは歩なれで擦り合わせてもいいのではないか、自分たちだれ、

のなかでフリースクールに通っているのは3・5%とたような印象があります。しかし、不登校している人重ねて考えている人は、どちらかというと賛成してい山下 法案をめぐっては、不登校とフリースクールを

慎重論の声も多く、2015年の通常国会では上程が見送られ、大幅に変更された案が2016年の通常国会に上程された。しかし、審議にはかけら 家庭学習、夜間中学校や外国人学校などを含め、多様な場が教育機会として認められ、経済的支援がなされると期待する声もあった。 に受けていない者に、多様な普通教育の機会を確保すること」を目的とし、対象は、年齢、国籍を問わないこととされた。これにより、フリ・ れないまま見送られ、 教育機会確保法案:2015年5月、 インタビュー時の2016年11月現在は「継続審議」扱いだった。その後、 超党派の議員連盟により提案された法案。不登校児童生徒など「義務教育段階に相当する普通教育を十 2016年12月、 法案は可決・成立した。 しかし、反対や ースクー

に思います。都市部と地方では状況がちがうという問題もあるよういう調査結果でしたし、都市部に偏っていますよね。

ません。 てちがいますしね。 スを開いていた時期がありましたが、いまはやって る。現状はなかなか難しいです。鳥取でも ぜんぜんちがいます 学校の対応も、 自治体の対応も、 Ą 地方には地方 ラリ 地域によ 0 事情 スペ が 0 V 1 あ

通用しなくなっていると思います。そのうえで、 校に行かなくても社会でやっていける」という言説は 屮 にどう語れるのか、問い直されているように思います。 校やひきこもりをどう肯定できるのか、 が、どちらにしても若者の状況はたいへん厳しい。 で自分に軸ができれば、その後はなんとかなると言え しかし、 あせって追い 不登校その後の問題もありますよ いまは学校に行ってようが行っていまい つめるのではなく、 ゆっくり休ん ね。 いまの子ども 少し前 不登 学

> てい シングされているように思います。それは怖い すべを持っている。にもかかわらず、 ビニで働いたりしていますからね。 と れる若者たちも、親が倒れたり動けなくなると、コン し寄せてますよね。しかし、 いうような、 ると言います。 アリがいることでアリ社会のバランスが成り立っ たしかにそうですね。「働かざる者、 働かない若者たちへのバッシングが押 それに、実際は アリの社会だって、 それなりに生きる \_ = | 実態以上にバッ 喰うべからず」 ト」と言わ ですね。

が狭いですよね。

なさが、若い人をしめつけていると思います。て泊めてくれないですからね。そういう社会の余裕のなさが、若い人をしめかないですね。最近は、駅にだっ

山下 いまは若者が反抗しようにも、何に反抗していいかもわからない、大人の側もどうしていいかわから

なる。 みんなが同じようには生きられない生き方をしていうのは、困難さをともなうと思いますが、そのなかいうのは、困難さをともなうと思いますが、そのなかいくことが大事だと思います。それは個々の判断になると思いますが、学校では教えてくれない生き方をしてと思いますが、学校では教えてくれない生き方をしているとないのは、困難さをと思います。

山下みんなが「正解」を失っているわけですからね。

「農業を教えてほしい」と言うんですが、農家の人は、 や挫折をくりかえしながら、 すね。それは農業にかぎらず、 くり返しながら、 が自分の感覚でやってきたことで、 みんな誰からも教えてもらってないんです。 て、 ーンで農業を始めている人がいます。 」と言われても、 たとえば鳥取にも、 自分の生業が成り立って 身につけていくしかないものなんで 難しいという。 60歳を過ぎて、 自分なりの どんな職業でも、 いくんだと思います。 自分で試行錯誤を それを「教えてく U ター そういう人は やり方を模索 それぞれ ンやI

これからの生き方の希望になるのかなと思います。教科書や先生がいなくても、生きていける。それが、

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #11 森英俊さん

インタビュー日時:2016年11月6日 記事公開日:2017年1月15日 場 所:とりぎん文化会館(鳥取市)

聞き手:山下耕平

写真撮影・記事編集:山下耕平

#### #12 無着成恭さん

#### 奥地 こんにちは、

おひさしぶりです。

#12





(むちゃく・せいきょう) 1927年、山形県沢泉寺の長男として生まれ、跡継 ぎとして育てられる。山形師範学校に進み、1948年、21歳で同県山元村中 学校に赴任。戦後の民主主義教育の実践として展開した「生活綴方」は、後に 『山びこ学校』として出版され(現在は岩波文庫所収)、大きな反響を呼んだ。 1952年、沢泉寺住職に。1954年に上京し駒澤大学仏教学部に学び卒業。私 立明星学園教諭を経て、千葉県香取郡の福泉寺、大分県国東市の泉福寺住職を 歴任。1964年からはTBSラジオ「全国こども電話相談室」の名物回答者と して33年間出演した。

インタビュー日時:2016年10月30日

聞き手:奥地圭子

所:無着さんご自宅マンションの共同図書室(大分県別府市)

写真撮影:木村砂織

#### いますよ (笑)。

子ども電話相談室

奥地

そりゃあ、

そうですよ。

だって40年以上経っ

ぶん貫禄がつきまし

たね、

顔に。

奥地さんは、

私と出会ったころと比べて、

ず

無着 読んでくれた。 その本(『TBSラジオ全国こども電話相談室』)、

奥地 いる無着さんと変わらないなあと思って。 読みました。 おもしろかったです。 私が知っ 7

無着 てくれと言われて、 子ども電話相談室に現場の教師を入れたいので紹介し なマイクの前に立って、 その昔、奥地さんにも出演してもらいましたね。 30人ぐらい紹介したんだけどさ、 質問になったら、 ふるえ

さい 無着

んだけど、

こんな小さいおちんちんでも子どもを

そうそう。

それから、

「私のおちんちんは、

したよ。 あが 奥地さんだけでね。 ってしゃべれ な この人なかなかやるなあと思いま いのよ。 堂々としゃべったのは、

奥地 回答者を務められたんですよね。 いんですか」とか、珍問の連続で。 おもしろかったですね。 「馬の顔は、 無着さんは33年間、 なんで長

無着 問でした。 様と神様では、 たので辞めたんですが、俺が受けた最後の質問は、 行けなくなってね。 お寺の住職になってからは、お葬式やなんかあったら、 番組開始から33年間やりました。 どちらがえらいんですか?」という質 1997年に放送が日曜日になっ 1987年に

奥地 があるから仏様のほうがえらい それで「神様にはお経がなくて、 のです」 ح 仏様にはお経 (笑)。

ざとなったら、大丈夫だから」とか(笑)。つくることはできるでしょうか」とかね。それで、「い

がなかったんだよ。

(本葉) とうでしたね。いろいろ質問したり、発言した無着。そうでしたね。いろいろ質問したり、発言した無力。

す。そうしたら、「弁当は持ってくるな」とおっしゃっの体験をやりたいと思って、無着さんに電話したんでルをつくったんです。それで、フリースクールでお寺級もあって、1985年にフリースクール東京シュー奥地 その後、私は教師を辞めて、いろいろな人のご

学校。現在は小学校、中学校、高校がある。所在地は東京都三鷹市。\*1 1924年に大正自由教育運動の流れを汲み、創立された私立

ただきました。 で、ここでつくったりとか、いろんな体験をさせていどもたちと行かせていただきましたが、雑巾がけとか、どもたちと行かせていただきましたが、雑巾がけとか、て。ここでつくったものを食べて、お箸もお茶碗も、

今日、別府に来られたのも、ご縁のおかげです。い今日、別府に来られたのも、ご縁のおから無星学園での無着先生の最後の教え子だったんですね。星学園での無着先生の最後の教え子だったんですね。

5円は真ん中に穴が空いているから、ひもで結べるで無着だから10円より5円を大事にしないとね(笑)。

受けたんだけど、新卒の先生の担任のところに副担任の。でも、そういうわけにもいかなくて、教頭は引きがかわいくてね、校長とか教頭にはなりたくなかったがかわいくてね、校長とか教頭になるとクラスを持てな学校ではね、校長とか教頭になるとクラスを持てな

のほうに来ちゃう(笑)。佃恵は、その最後の生徒だね。 からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任からね。わざわざ大分まで来てさ。担任より、副担任は、その最後の生徒だね。

#### 子ども時代は

で、無着さんは何歳になられましたでしょうか。 奥地 それだけ、魅力があったのでしょうね。ところ

無着 妊娠からですか、生まれたときからですか?

てもう存在しているんだから。じゃあ、それを含めて。んでしたね。あれはすばらしい発想ですよね。命とし奥地 仏教って、おなかの中にいるのを1年と数える

無着 お腹の中で約1年間育てられてから、出てくる知識です。

奥地 すごいですね、長生きですね。

**無着** はーって、長息 (笑)。

奥地 なるほど (笑)。お生まれはどちらで?

あって、燃えているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしていました。ところが、ある日、干していた私生をしていました。ところが、ある日、干していた私生をしていました。ところが、ある日、干していた私会焼してしまったんです。学校とお寺は歩いて30分く全焼してしまったんです。学校とお寺は歩いて30分く全焼してしまったんですが、学校からは見える場所にあって、燃えているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのが見えて、母親は裸足で駆け出生をしているのでは、母親は裸足で駆け出生をしているのでは、母親は裸足で駆け出生をしているのでは、母親は裸足で駆け出生をしているのでは、母親は神経にないる。

「はけご」という藁で編んだ背負子で、俺を背負ってその総代さんが、子守もしてくれていて、桑を摘む ますけどね。 くれてたんです。 いまは背負子もぜんぶ商品になって

たんでしょう 無着さんの子ども時代、 学校はどんな感じだっ

無着 という気持ちはあったから、 に深い印象はないですね。ただ、学校を休むと遅れる ば兄弟なんだ!」と思ったんですね。あとは、そん れたの。それで私は「学校では親子だけど、家に帰れ たら、「テンノウヘイカモホトケノコデス」と教えら モデス」と教えられたの。それを家に帰って父に言っ 学校で、「ワタシタチハテンノウヘイカノコド 休みたくないという気持 な

> ちだけは、 ありました。

#### 玉 の部品だった

奥地 飛行機(群馬県) ね。学徒動員で、 戦争中は、 に行かれていたとか。 ゼロ戦や戦闘機をつくっていた中島 兵隊さんには行かれてない んですよ

て、カッカッと曲げては出していました。 かにも、銀河という双発爆撃機なんかをつくってまし ることができなくてね。だんだん、熟練工になってき いました。最初は、油圧パイプをくねくね上手に曲げ た。私は、 の7月から動員されました。中島飛行機はゼロ 中島飛行機の工場に、 銀河とゼロ戦の油圧パイプをつくらされて 昭和19年 (1944年) 一戦のほ

すよ。1万メートルの上空を飛んできてね。でも、 B29がゆうゆうと飛んで来たんです。きれいだったで 警報が鳴って、 のところは爆弾も何も落とさなかった。だから、 昭和19年の11月ごろ、秋晴れのいい天気のときに、 防空壕に入れって言われても、 我々

いで眺めていたんです。

奥地 軍事工場は狙われそうなものですけどね

しょう。\* 無着 そのころは航空写真を撮って調べてい たので

奥地 か。 どういう気持ちで爆撃機をつくっていたのです

飛行機のどの部分に使われるかなんて、考えたことも ね。パイプを曲げるという意識しかなかった。これが、 なかったです。 いや、爆撃機をつくるという意識は、 ないです

奥地 そういうものかもしれません ね

無着 部品ですから。だって、 人間自体が日本という

島飛行機の工場は破壊されている \* 2 編集部注:その後、 昭和20年2月以降に何度か空襲を受けて中

国の部品だったわけですから。

奥地 なるほど。 そのころは何歳ですか。

あ、みんないろいろ考えたんですよ。 たとしても役に立つとか、 校と師範学校系統だけでした。お寺だから、 す。学徒出陣を免れられるのは、医学系と高等工業学 たですからね。それで、山形師範学校に進学したんで たんです。 継ぎだから、卒業後は駒澤大学に行くように言われて くちゃいけないでしょう。まだ戦争は終わってなかっ 和20年3月に旧制中学を卒業したんですが、お寺の跡 17歳ぐらいですね。旧制中学5年生でした。 でも、文科系だと招集受けて兵隊に行かな いろいろ考えてね。そりゃ 生き残っ

な役割を果たしていたわけです。 る学校)も、 つまり、 医学も、工業も、師範学校(教員を養成す 日本の軍国主義国家をつくるための 重要

奥地 戦争が必要とするものをつくるということです

### を養成するということですね。 先生は軍国主義の手先

師範学校では、少国民教育をしっかりやる教員

支配されているから同じです。 現在の日本の学校だって、自民党の権力の下に学校が 教育するわけです。 のは、そのときの権力者が、 っている人の理想を実現する教育しかできない。 そうです。日本の教育者というのは、 国民を利用できるように 日本の学校教育という 国家権力

義教育の手先だった。 うになる。だから、学校の先生というのはね、 月経つと伍長になって、兵隊を10人ぐらいあずかるよ 集されていました。最低の二等卒から始まって、3カ 山形師範学校の学生も、卒業すれば山形32連隊に招 軍国主

奥地 戦の日のことを覚えておられますか。

\* 3 年少の皇国民。 銃後に位置する子どもを指した語

> いたら、 こを掘るために、羽黒山の山中に動員されてたんです。 戻って来いと言われたんです。「天皇陛下が放送する いの」なんて話しながら、 んだってさ」「何だろうね、がんばれってことじゃな ら5キロほど山道を登ったところで、松の根を掘って その管理をしていたのは海軍でした。 の根っこを蒸して油を採ってたんです。その松の根っ た。日本は石油がないので、飛行機を飛ばすために松 無着 覚えてます。8月15日は羽黒山の山中にいまし 玉音放送があるから12時までに社務所まで 山から降りてきました。 山麓の手向村か

だ。そうしたら、教師が「戦争は終わりだ。負けたん だ」と言い出した。それで私は「ああ、終わったのか。 忍び難きを忍び」しかわからない。「耐えがたきを耐え、 ているの?」「いや、 山から降りてくるときにシャベルを持ってくるんだっ 負けたって言ってんじゃねえのって、 忍び難きを忍び」戦争しろって言ってるのかな、いや、 でもね、ラジオを聞いていても「耐えがたきを耐え、 でも、 また、取りに行かなくちゃ。 泣いている人もいてね。「おまえ、 負けたからだよ」「そりゃあ、 失敗したなあ」と思っ わかんないわけ

か んべえ」って具合でした。

こんなのなら、熱くてしょうがないだろうなあ」なん 時はわかんなかったですからね。「熱線利用の爆弾っ てね。「原子爆弾」とは書いてなかった。だって、当 日か8日の山形新聞に「熱線利用の爆弾」と書いてあっ 8月6日に広島に原子爆弾が落ちたときも、 すごいんだってさ」「いやあ、こりゃ大変だよ。 言い合ってたの。 8 月 7

ですよね。 だんだん本当に負けたんだとわかってくるわけ

を越えて帰らないといけない。漢文の教師いわく、鉄 ました。我々は山一つ越えれば行けるところだったん 晩山の中で野宿しないと帰れないなあ」なんて話して 道もアメリカ軍に抑えられるかもしれないから、内陸 まだ帰りやすかった。でも、内陸の人は月山という山 の人は山を越えて行かなくちゃならないと。だから「一 の家に帰れ」という。 漢文の教師が 負けたんだからね。海側の人は、 「要するに負けたらしい」「自

> まで20キロぐらい歩いて、 うことで、 れは大変だなあ」とね。でも、汽車は動いているとい ですが、米沢の人はもう一山越さないといけない。「そ 午前2時か3時に起きて、 汽車で家に帰りました。 荷物背負って駅

奥地 それはたいへんでしたね

える人には見えていたわけですね。 です。それを密告されて、 たから村会議長になっていて、8月1日の村会で「ア たとのことでした。坊さんなのに、村に男がいなかっ 牢屋にぶち込まれてしまった。戦争に負けるって、 なくちゃだめだ、男はみんな殺される」と話したそう メリカ軍が日本に入ってきたときは、女子どもを隠さ 無着 寺に帰ると、 伯父(母親の兄)が憲兵に捕まっ 翌日には憲兵たちが来て、

#### 山びこ学校」 ができた

奥地 戦争後、 教員になられたのは?

実践に取り組まれたわけですね。 奥地 そこで、のちに有名になる「山びこ学校」の

無着そうです。

たのでしょう。 というにはなくて、子どもの生活から学びとって、それを書きつづっていくという「山びら学びとって、それを書きつづっていくという「山び鬼地 一方的に教えるのではなくて、子どもの生活か

無着 それは、須藤克三先生のおかげです。敗戦後、

学校は2009年3月に廃校となった。 で刊行した書籍(青銅社)。現在は岩波文庫所収。舞台となった山元中に刊行した書籍(青銅社)。現在は岩波文庫所収。舞台となった山元中成恭さんが、教え子の中学生たちの生活記録をまとめて、1951年が校は2009年3月に廃校となった。

農山村へ深く関わりながら、教育文化運動の実践に力を注いだ。童文学者。山形県出身。教員、編集者を経て山形新聞社論説委員など。\*5 (すどう・かつぞう 1906―1992):日本の教育者・児

師範学校でも、先生たちは何を教えたらいいかわから ないという状況があったわけです。それで、山形新聞 の社説を読んでいたらおもしろくて、その社説を書い てたのが須藤克三先生だったんです。小学館の編集も していた人ですが、そのころは山形新聞の論説委員を していた。それで、新聞社に遊びに行ったんです。だっ て、学校に行ってたって、何も教わるものがないんで すからね。

すから、 いは、 ば、 そこで、 そこで初めて、須藤克三先生から、 校に申し入れて、須藤克三先生の講座を開いたんです。 部長になったんですが、生徒で講座をつくりたいと学 う人物や大正デモクラシーのことを教わったのです。 そして、 「山びこ学校」はなかったと思います。 私が師範学校に入って文化部長になってなけれ 須藤克三先生と出会わなかったならば、ある 生活綴方運動のことも出てきたんです。 私は師範学校1年生のときに生徒会の文化 鈴木三重吉とい で

**奥地** それも、ご縁ですね。須藤先生と出会って、心

でした。もと

もともと専門は数学だったですからね。

頭

0

師範学校の学生だった俺にとっては問題

中は理科系なんですよ。

どういうふうに書かせれば、書かせたことになるのか

たくさんありました。いたとかね。須藤先生から聞いて初めて知ったことがとか国分一太郎のように牢屋にぶち込まれた先生もとか国分一太郎のように牢屋にぶち込まれた先生も無着 とにかく、おもしろかったのよ。村山俊太警

うイメージがおありだったわけですね。 に、教師になったら、こういうことをやりたいなといぬ。 そうすると、現場の先生として教壇に立つまで

**無着** ええ。生活綴方で自分たちの生活を書かせなく

どうしで関わっていく。それがすばらしい、 すよね。 ら国が教える内容を伝達していくようなものが主流で 価されていました。教育って、戦後になっても、上か ものこそ学びだとおっしゃっていました。 のなかにあるものを引き出していく。それから子ども ら出発していた。子どもの現実とか生活とか、子ども タビュー#05参照) 大田堯先生 でも、「山びこ学校」では、子どものほうか が「山びこ学校」をすごく高く評 (教育学者/本プロジェ ク そういう ŀ イン

# 自分たちの問題から社会を

るのか、自分の抱えている問題がいったい日本の中でとしては、子どもたち自身がどういう問題を抱えてい無着 そうですか、ありがとうございます。私の考え

\*7 (むらやま・としたろう 1905―1948):教育運動家。 1940年には、生活綴方運動を理由に治安維持法で検挙された。 1940年には、生活綴方運動を理由に治安維持法で検挙されている。 1941年に践家、児童文学者で綴方教育の実践家・理論家だった。1941年に治安維持法により検挙された。戦後は、日本作文の会などの民間教育治安維持法により検挙された。戦後は、日本作文の会などの民間教育治安維持法により検挙された。戦後は、日本作文の会などの民間教育

ころから始めればいいという思いでした。どういう意味を持っているのか、それを考えさせるとはどういう意味を持っているのか、人類史のなかでは

ことですね。
ことですね。
は対しているというの問題が見えてくるというのはではなく、そういった広

うことがわからなければ、行動は起きてこない。実は全体のなかでどういう意味を持っているのかとい実は全体のなかでどういう意味を持っているのかとい無着 そりゃ誰しも、自分の問題、目先の問題は小さ無着

学びを追求されていたわけですね。
央地 そういう意味では、大きい学びというか、深い

無着 まあ追求といっても、俺もいい加減だからね。

とですかね。 奥地 子どもたちといっしょに考えていったというこ

無着 そうだね。子どもたちは「何でこうなの?」と無着 そうだね。子どもが書いたことをそのまま謄写版でだんだん、ふくらんでいく。子ども自身が書いたものだんだん、ふくらんでいく。子ども自身が書いたものだんだん、ふくらんでいく。子ども自身が書いたものだんだん、ふくらんでいく。子ども自身が書いたものが教材になったということが、山びこ学校の原点でしょうね。

は、何年間ぐらいですか。 奥地 山元中学校で生活綴方教育をなさっていたの

無着 6年間です。師範学校に入ったら、義務として3年間は先生をしなくちゃいけないので教員になったんですが、私はお寺を継がなきゃならなかったんです。だけど学校がおもしろくなってね、あと3年、教師をさせてくれって、親父に頼んだんです。それで6年間。世間ではクビになったように言われましたが、実際は世間ではクビになったように言われましたが、実際は

いろんなことを経験してから行くといいと思います。も先にそういう経験を積んで、大学に入ったので、大学も非常におもしろかった。とくに仏教史がおもしろから大学には入ったほうがいいですよ。かならずしもから大学には入ったほうがいいですよ。かならずしもから大学には入ったほうがいいですよ。かならずしもから大学には入ったほうがいいですよ。かならずしもから大学には入ったほうがいいですよ。学問より

がいるので、まったくそうだなと思いますね。する子がいます。自分は、学校が好きじゃない。それがよかったと言っている子がいます。自分は、学校が好きじゃない。それずる子がいます。自分は、学校が好きじゃない。それ

いと、丈夫じゃないんですよ。尺八だって節があるかいいんじゃなくてね。竹だって、ところどころ節がなめてくれないとね。なんでもストレートに行った人が無着だから、そういうシステムを日本がちゃんと認

ら、いい音が出るんだ。

## 長期欠席の子どもは

**奥地** 山元中学で教員をされていたとき、長期欠席の

はいなくなった。 無着 いたよ。働かせられるから長期欠席してたね。

すね。 校のような子は見かけたことはなかったということで校のような子は見かけたことはなかったということで 奥地 なるほど。そのころは、いまの登校拒否や不登

無着 そうです。

とですか。 奥地 駒澤大学を卒業後は、お寺を継がれたというこ

寺の鎖から解き放たれて、髪の毛を伸ばしました(笑)。は自由にしていい」と。それでやっと、昭和33年、おろが、親父が兄さんの子どもを弟子にして、「おまえ無着 昭和27年から沢泉寺の住職をしたんです。とこ

奥地 それで、選んだのが教員の仕事だったんですか。

奥地 そうだったんですか。知らなかったです。

もそうだけど、根っからが子どもと同じでしょ。発想事とちょっとちがうなと思ってたんです。俺は、今で無着 でもね、美術館の事務局長は、俺がやりたい仕

られて、「はい、わかりました」って返事をしたんです。られて、「はい、わかりました」って返事をしたんです。のは似合わない。そこに、明星学園の方から手伝ってのは似合わない。そこに、明星学園の方から手伝って起学園の校長から「人からこういうことを教えるかとおれたことを教えるのはダメなんだ。何を教えるかとと言われてね。「おっ、いいこと言うなあ、この校長」と思ってね。そんな言葉に、こちょこちょっとくすぐと思ってね。そんな言葉に、こちょこちょっとくすぐと思ってね。そんな言葉に、こちょこちょっとくすぐと思ってね。そんな言葉に、こちょこちょっとくすぐられて、「はい、わかりました」って返事をしたんです。

# 明星学園で「続山びこ学校」

のことでしょう? 奥地 それで、明星学園に赴任されたんですね。何年

無着 昭和31年、1956年ですね。

奥地 それで、『続山びこ学校』が出ますよね。あれは、

う実践だったんでしょうか。明星学園の実践が土台になっているのですね。どうい

無着 たとえば、小学校1年生の教科書で最初に出会う文字は、「はい」と「せんせい」です。「はい」は問題ないんだけど、「せんせい」は「せんせー」と言うでしょう。「い」とは読まない。1年生を担任した先生から、俺が質問されてね。「せんせい」を「せんせん」と記るいる。「はい」と同かれてね、「はい」は問題ない。と読むのはどうしてですか、と聞かれてね、「はい」は問意な」と。

それから、日本語の音声教育とか、発音、ふりがなと書いて「てえねえ」と読む。「とけえ」や「とけー」をまちがいだとしていいのかどうか。あるいは、「ていねい」と書いて「てえねえ」と読む。「ねいさん」と書いて「ねまさん」と読む。もちろん、そこで悩まない教師もいます。でも、それがなぜかを子どもにわからせないと、ます。でも、それがなぜかを子どもにわからせないと、ます。でも、それがなぜかを子どもにわからせないと、ます。でも、それがなぜかを子どもにわからせないと、ます。でも、それがなぜかを子どもになるのかというですから、何を教えたら教えたことになりました。

られたわけですね。 奥地 それで、そういう問題に取り組む研究会をつく

は、そのころですね。 無着 あなたが明星学園に来られるようになったの

無着 そうそう、教科書もね。

力を感じて研究会に参加していました。その後も、明私は一般の学校の教師だったんですが、明星学園に魅みいろ研究したり、実践したりしてましたよね。当時、のいろ研究したり、実践したりですが、明星学園に魅力を感じ 国が決めた指導要領に沿うのではなくて、ゼロ奥地 国が決めた指導要領に沿うのではなくて、ゼロ

れたりしていました。PTA総会が大変でしたよね。そういうことを糾弾さが持ち上がって、自由の森学園をつくる流れもあって、そこから、別に新しい学校をつくるべきだという話

う人たちとが、そうとう揉めていましたね。

くると言い出した。でも、俺は「もう学校をつくるこです。そのころ、遠藤豊たちが、自由の森学園をつ和48年から教頭をやって、昭和59年に退職しているん無着 問題が起きだしたのは昭和50年代で、私は、昭

になったんです。てね。それで、成田空港のそばの空き寺に入って住職とからは抜けるよ」と。同じことを繰り返すだけだっ

## 学校はもういいよ

奏地 自由の森学園と東京シューレは、同じ1985 のあいだで、ちょっと悩んだんですが、いい学校をつくりたいという思いと、不登校のことを 考えて、学校以外の場がいるんじゃないかという思い のあいだで、ちょっと悩んだんですが、いい学校をつくりたいという思いと、不登校のことを がと外の場をしている人は、ほかにもいたんですね。学 くる運動をしている人は、ほかにもいたんですね。学 くる運動をしている人は、ほかにもいたんですね。学 くる運動をしている人は、ほかにもいたんですね。学 ないなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、 でいなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、 ないなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、 ないなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、 ないなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、 ないなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、 ないなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、 ないなくて、私はそっちをやったほうがいいと思って、

ころ、俺も学校はこれで卒業だと思ってました。自由無着 ちょうどあなたがシューレのほうに頭が行った

の森学園をつくるとき、遠藤豊に頼まれて埼玉県知事 と会ったりしてたからね。遠藤豊や松井幹夫は、明 と会ったりしてたからね。遠藤豊や松井幹夫は、明 思ってたと思います。でも、俺は「学校はもういいよ。 思ってたと思います。でも、俺は「学校はもういいよ。 相手だとね、めんどうくさくて。死んだ人はね、なん でも俺の言うこと聞くんだ。「あら、シンデレラ」っ てね (笑)。

ちょっとがっかりしました。それと、不登校だった子ちっては、中学校で明星学園に行って、高校も明星にちの子は、中学校で明星学園に行って、高校も明星にちの子は、中学校で明星学園に行って、高校も明星にないだり、 教師にもがっかりしたんですが、学校が荒れていたり、教師にもがっかりしたんですが、学行って生徒会の活動をしていたりしたんですが、学校が荒れていたり、教師にもがったりしました。それと、不登校だった子

なりいたと思うのですけれど、ご記憶にありますか?くれるからということで。だから、不登校の子が、かくれるからということで。だから、不登校の子が、から、うち以外にも、行っていたんですね。一般の学校は、

**無着** 公立の学校になじまないということで来ていた 子が、私のクラスにもいました。でも明星には、みん子が、私のクラスにもいました。だから、私のクラスにいた

曳地 なるほど。楽しい雰囲気がいろいろあったで

えないといけなかった。拭き方もなってなくてね。おぶざぶと洗ってキュッと絞るんだ」ってところから教がざぶと洗ってキュッと絞るんだ」ってところからない子もいたからね。「おまえら、勉強なんかしなく無着 でもね、中学生ぐらいで雑巾の絞り方もわから無着

の森学園学園長。 \*10(まつい・みきお 1927―2012):1959年明星学園の森学園学園長。

## おもしろくないから不登校するのは

学校は不登校をたくさん出したのだと思われますか。増えるんですね。無着さんから見て、どうして日本の増えるんですね。無着さんから見て、どうして日本の

は教えるが、なぜちぢむのかを教えないからでしょう。んで内部構造を見せないからでしょうね。『おっぱいんで内部構造を見せないからでしょうね。『おっぱい無着 日本の義務教育では、操作的知識だけで詰め込無

奥地 そうですよね。

という質問をしてくるんだから。教師が「おっ、 虫メガネを持って、 さんから「無着先生、 とおっぱい見せて」って言った子がいてね。そのお母 てみようとなって、わあっと集まってやってました。 質問だ」とか「わかんないよ」とか言うと、みんなが れで「おっぱいの乳首に穴が何個あいているんですか」 を飲ますときに乳首からおっぱいが出るでしょう。そ 問題意識を持っているかを教師は考えなければ、子ど ない。それは明快でしょう。どういうことに子どもが んです」って わあっと笑うでしょ。そうやって、みんなしてしゃべっ いですよ。たとえば、お母さんが赤ちゃんにオッパイ もはついてこないですよ。だって、子どもはおもしろ から自由でね。 それで、クラスの子のなかに、お母さんに「ちょっ 学校の教師も、 (笑)。 おっぱい見せてと追いかけてくる あのころは、俺も副担任だった 何を教えてるんですか? 教えられる内容も、 おもしろく 娘が Λ, Λ,

況も変わらないだろうということですね。ね。いまの教育のあり方が変わらないと、不登校の状ぬ。 そういう授業が、もう、なくなっちゃいました

ベルは、世界のなかでは、非常に低いのでしょうね。も、文部省、国家の側が子どもたちを自分たちの思いをういう意味では、日本の教育システム、教育者のレどおりの人間につくりあげようとするシステムがあるどおりの人間につくりあげようとするシステムがあるどおりの人間につくりあげようとするシステムがあるとですけれど

奥地 日本の教育制度は、政府が決めた学習指導要領奥地 日本の教育制度は、政府が決めた学習指導要領

いと言ってきたんです。多様な教育を選べるのがいいればいいけれども、ほかの多様な教育も認めてくださ私たちは、政府が用意する学校も当然あって活用す

いう意味では、日本は非常に遅れているんですよね。 いう意味では、日本は非常に遅れているんですよね。 ですね。ほかの国々は、政府の用意した学校でけが正規の教育で、学校へ行けなですね。ほかの国々は、政府の用意した学校教育もあですね。ほかの国々は、政府の用意した学校教育もあるけれども、ホームエデュケーションも含めて、ほかの教育方法でもいいことになっている国が多い。そうの教育方法でもいいことで、ずいぶん動いてきて、最

いと、教師になれないんですね。くて、どういう子どもを育てたいのかという考えがなくて、どういう子どもを育てたいのかという考えがなかエー、デンマークなどでは、教師自身が何を教えた無著:北欧3国と言われているスウェーデン、ノル

奥地 教師の主体性ですよね

#### 教師の条件は

無着 北欧では、人間として幅広く豊かであるという

江戸時代には、文部省なんてなかったんですよ。徳川幕府は、各藩が自分の藩の子弟を教育するには、藩川幕府は、各藩が自分の藩の子弟を教育するには、藩に賀藩が一番教育のシステムが進んでいて、米沢藩がそれを見習って続いていた。

番多いんじゃないですかね。長がとったけれども、実質の部署には佐賀藩出身が一長がとったけれども、実質の部署には佐賀藩出身が一

奥地 佐賀藩や米沢藩は、どう進んでいたんですか。

無着 自由だったんですね。藩の教育というのは、 気

育とちがって、生徒に点数をつけてなかったんですね。 育とちがって、生徒に点数をつけてなかったんですね。 というのは、本になっていて、教えた人がちゃんとい るでしょう。仏教も、お経という本があって、教えた 人がお釈迦様となっているでしょう。教えた人がいて、 教えた本があるというのは、これは世界宗教になりう るわけです。NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」 るわけです。NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」 るわけです。NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」 るわけです。NHK朝の連続テレビ小説「あさが来た」 るわけです。 の商人たちも、寺子屋ですから仏教の 系統で教育されていた。 江戸時代は明治以後の学校教 系統で教育されていた。 江戸時代は明治以後の学校教 の学校教

奥地なるほど、寺ですものね。

## **「お経」がない日本**

舞伎なんかでも松の木の枝が書いてあるでしょう。松ろしてくるという所作しかないわけです。だから、歌ろしてくるという所作しかないわけです。だから、歌のしてくるという所作しかないわけです。地面に降ないのでは、お経がな無着 それに対して日本の神様というのは、お経がな無着 それに対して日本の神様というのは、お経がな

から天に昇らせる祝詞の二つしかないのです。様には、松の木に神様を降ろす祝詞と、神様を松の木神社に松の木を植えないといけないのです。日本の神の木の枝に神様が降りてくるわけ。だから、日本では

わけです。 そして、 せばあの蛍光灯がともる、ということは教えるが、 言ってね。 運動だったわけです。廃仏毀釈運動は、明治の慟哭と どね。日本が仏教国になったというのも、天皇家のお ラクリはすべて壁の中に隠されているわけです。 あります。 して天皇を生き神様にした。 かげなんです。 日本に仏教を持ち込んできたのは、天皇家なんですけ めに、仏教から天皇家を切り離したんです。そもそも そして明治維新では、天皇を絶対的な神様にするた お経がないので、仕方なしに教育勅語をつくった。 廃仏毀釈運動が起こる。これは、 つまり、 そういうことを、ほとんどの方は知らない 日本はこれで滅びると書いた本がたくさん ところが、その天皇家と仏教を切り離 明治維新以後、このスイッチを押 しかし、お経がないんで すさまじい カ

けですね。

と技術を教えることに終始しているのですね。という内部構造については教えないで、操作的な知識という内部構造については教えないで、操作的な知識

## 知識とはいかなるものか

さい。 
こうなったらいいと思っておられることを教えてくだこうなったらいいと思っておられることを教えてくだ 
奥地 いま、無着さんから見て、日本の教育がもっと

無着 教師自身が、北欧やアメリカで子どもをどう教無着 教師自身が、北欧やアメリカ人と結婚した人がいるんですが、その子どもですが、「日本の学生って、つまんない。話に幅がなが日本の国籍を取るとき、日本の上智大学に行ったんが日本の国籍を取るとき、日本の上智大学に行ったんが日本の国籍を取るとき、日本の上智大学にもをどう教無着 教師自身が、北欧やアメリカで子どもをどう教

そ

- 269 -

思いますか。 
奥地 そうでしょうね。でも、それはどこから来ると

無着 日本のテスト体制も問題ですけれども、知識というものは何なのかということの哲学が不足しているがかないと言っていいと思います。この『おっぱい哲学がないと言っていいと思います。この『おっぱいな音学がないと言っていいと思います。

「おはは、おもしろいねえ」と。そうすると、そこで「おはは、おもしろいねえ」と。そうすると、そこでらむんじゃないかと思った」とか答えると思うのね。らむんじゃないかと思った」とか答えると思うのね。らむんじゃないかと思った」とか答えると思うのね。らむんじゃないかと思った」とか答えると思うのね。

初めて水に溶けるとは何かということが問題になって 初めて水に溶けるというのは、塩も水に溶けるし、砂糖も水に溶ける。 じゃあ、デンプンはどうか、粉石けんはどうか。 だから、ナメクジを10匹くらい捕まえてきて、砂糖かだから、ナメクジを10匹くらい捕まえてきて、砂糖かけてみたり、塩かけてみたり、実験してみたらいいと思うの。いろんな粉を振りかけてみて、どうなるかを見てみる。ナメクジにとっては迷惑だけどね(笑)。人間の考える豊かさをつくるために、ナメクジに犠牲になってもらう。そういう教育がないんですよ、日本になってもらう。そういう教育がないんですよ、日本には。

えていて。
できないんですよね。教えなきゃいけないことも増う授業をする先生は減りました。たぶん、仕組みとし授業を勝手にやっていたんですけどね。いま、そうい授業を勝手にやっていたんですけどね。いま、そうい

振りかけたこともない子どももいるからね。日本の子無着。そもそもナメクジを見たこともなければ、塩を

どもの思想が貧困になるのは、当たり前ですよ。

## 戦争は餓鬼のすること

平和についてどう思われていますか。が、戦前からいろいろな経験をされてこられて、いま、奥地 無着さんは平和こそ大事と強調されています

無着 地球を壊すのは、ヒトだけです。戦争というの無着 地球を壊すんですよ。ヒト以外の動物は戦争をしは、地球を壊すんですよ。でも、武器は持たない。武器を持つのはヒトだけです。畜生という言葉がありますが、自分は何もつくらないけれども、大自然がつくっすが、自分は何もつくらないけれども、大自然がつくっすが、自分は何もつくらないけれども、大自然がつくってくれたものをいただいて生きているものを畜生と言てくれたものをいただいて生きているものを畜生と言てんです。ですから、畜生は中立なんです。ところが、武器を持ったとき、ヒトは畜生以下の餓鬼です。

無着 餓鬼は欲ばりで、人を助けることができない。奪い合っても、あまったら、ほかにあげちゃうら、戦争というのは餓鬼がやるもので、人がやるものない。奪い合っても、あまったら、ほかにあげちゃうない。

あって畜生です。 おには人格はないんです。赤ちゃんや子どもは、人では「として生まれる。犬、サル、猫、虎、人、ぜんは畜生として生まれる。犬、サル、猫、虎、人、ぜんは畜生として生まれるんです。すべての生物

という。それが人格の形成ということです。だと言います。かたわらの人を楽にさせることを働く「働く」というのは、「はたのひとを楽にさせる」ことできたときに初めて、「格」ができるんです。あるいは、

を見てから俺が死ぬか、俺が死んでからそうなるのか地球をいったん、しっちゃかめっちゃかにするところしかし、世界中で人格のレベルが落ちていますね。

**#12 無着成恭さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

です

つまり畜生が傍

教育論』を私の遺言書として残しておこうと思ったのだからと言ってはおかしいのですが、この『おっぱい

が、そのころには俺はもういないからね

(笑)。

(笑)。日本の学校教育が、ヒトという哺乳動物、

(かたわら・はた)の人を楽にさせる

ことで格が上がるのだという教育をしなければ、

ヒ

か

が餓鬼になって地球をダメにしてしまうのではない

まあ、よけいなと言われるかもしれない心配をし

得ない状況にあると思います。わかりませんが、このままいったら、そうならざるを

しょうか。 奥地 それでも、できるだけそうしない方法はあるで

## 欲ばらず、本当のことを

いる。 もいいでしょうね。 は店に行って現金で買うことしかしないんだよ 無着 たいへんな時代に、 ているでしょう。 や円やドルを指先でピッピッと動かす世界になってき いうかたちで終わりになるかわからないけどね。 人類は大変な時代をつくり出 欲ばらないことですよ。資本主義社会が、 俺にはわからない世界だからね。俺 人類は差しかかっている。 人類は世界中の畜生を痛めつけて していると言って 逆に言 (笑)。 どう いま

**奥地** 教育は、そういう本当の意味の平和に貢献でき

無着 貢献しようと思えば、教育は貢献できますよ。かだけ教えていることも本当のことの一部かもしれないけれないのには、本当のことを教えることですよ。いま無がでいることも本当のことを教えることですよ。いま

を考えていくと、 かという大問題が出てくるでしょうね。 の富裕層と言われる人、権力者どもに富が集中するの とによって、 ることによって、大変な利益を得るけれども、 ムを造るというのも、 うのは、本当のことです。 たとえば、水は高いほうから低いほうに流 困ることもあるわけです。 なぜアメリカでも日本でも、 人がやったことでね、ダムを造 そこで、水をせき止めてダ そうい れるとい そのこ うこと

**奥地** もう、世界的にそういう構造になっていますか

くでしょう。まあ、たいへんな時代になると思いてだから、資本主義って何なのかというところま

で 無



『おっぱい教育論』 無着成恭/どう出版 2016

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #12 無着成恭さん

インタビュー日時:2016年10月30日

記事公開日:2017年2月23日 場 所:無着さんご自宅マンションの共同図書室(大分県別府市)

奥地

どうか、

お元気でお過ごしください。

今日はた

ん長時間、

2時間以上、

お話しいただきまし

あ

がとうございました。

てい

るわけです

(笑)。

聞き手:奥地圭子、まとめ:奥地圭子

写真撮影:木村砂織

#### 保坂 亨 さん #13



(ほさか・とおる)

1956年、東京生まれ。1983年、東京大学大学院教育学研究科博士課程中退。 東京大学教育学部助手(学生相談所専任相談員)、千葉大学教育学部講師、同 助教授を経て、2002年より同教授、2013年より同大学教育学部附属教員養 成開発センター長。千葉市教育委員会いじめ等の対策及び調査委員会委員長、 子どもの虹情報研修センター企画評価委員。著書に『学校を欠席する子どもた ち一長期欠席・不登校から学校教育を考える』(東京大学出版会 2000)、『"学 校を休む"児童生徒の欠席と教員の休職』(学事出版 2008)『いま、思春期を 問い直す一グレーゾーンにたつ子どもたち』(東京大学出版会 2010) など。

インタビュー日時:2016年10月14日

聞き手:奥地圭子、松島裕之 所:東京シューレ葛飾中学校

写真撮影:松島裕之

奥地 現の問題についてなど、うかがいたいと思っていま のあたりを研究されているので、 て50年ということで始めたものです。保坂先生は、 で不登校(学校ぎらい)の児童生徒数の調査が始まっ 966年に始まったのか、 よろしくお願いします。 本プロジェクトは、文部科学省の学校基本調査 その時代背景、 なぜ、この調査が 用語や表

ح

保坂 は M よろしくお願いします。

奥地 しょうか そもそも、 なぜ不登校に関心を持たれたの で

何より、 保坂 その略歴なども読んでいただくとよいのですが、 と教員の休職』(学事出版)という本を出していて、 と言えば、 かくよく休みました。なぜ不登校に関心を持ったのか 2008年に『、学校を休む』 自分も学校をよく休んでいたからです。とに 根っこはそこにあると思います。 児童生徒の欠席 まず

> 奥地 それは、 いつごろのことでしょう?

的に休み、 保坂 らまっとうに通うようになりました。 1962年だったので、 大学が一番行かなかったです。大学院か 中学校は病気でよく休んで、 60年代から70年代にかけてで 小学校入学は 高校は積極

奥地 しょうか。病気だったとのことですから、 ころのまわりの対応というのはどんな感じだったんで 「病欠」ということになりますでしょうか。 なるほど。中学卒業が1972年ですね。 Ŋ わゆる その

た。 を休むことは、すごくいけないことだと感じていまし 両親が教員だったということもあって、 いる数少ない子どもの一人だったと思います。 で入院して休んでいたので、1年間で50日以上休んで 保坂 そうですね。とくに小学校6年生のときは盲腸 学校を休む子なんてほとんどいなかったですから 当時は、 でも、 学校

保坂 奥地 奥地 うです。 る歴史、 保坂 ろしいんですか どもたちを援助する側にまわったわけです。 不登校の歴史を研究 そうです 教育相談、 なるほど。 は 今日は、 中学生(年間30日) 現状や課題ということでよろしい 13 ぜひそのころのことをお聞きし ね おもな研究としては、 臨床心理、 60年代のことを話すということでよ 歴史というのはめずら 高校生(年間30日) カウンセリングです。 中学生(年間50日 不登校をめ しかったよ  $66\,67\,68\,69\,70\,71\,72\,73\,74\,75\,76\,77\,78\,79\,80\,81\,82\,83\,84\,85\,86\,87\,88\,89\,90\,91\,92\,93\,94\,95\,96\,97\,98\,99\,00\,01\,02\,03\,04\,05\,06\,07\,08\,09\,10\,11\,12\,13\,14\,15\,16$ でしょう (年度間) た 11 子

不登校の子どもの数推移 (文部科学省「学校基本調査」 「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より

図 1

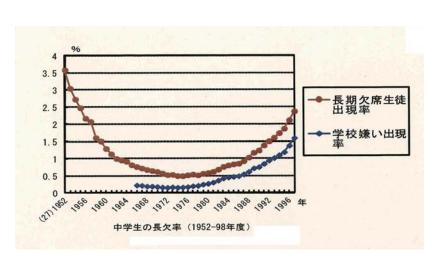


図 2

フ これは、 **図** 1 よく不登校のことを話すときに出てくるグラ なんですが。

ても、 奥地

肩身の狭い思いをされていたんじゃないかと思

大学院以降のご専攻をお聞きし

そうですよね。

病気など仕方のない

理

由

があ

0

13

のですが。

ます。ところで、

保 坂 家が そのデ んです。 た。 年から調査対象となったわけですね。 りましたよね。 出さないと誤解を生むんじゃないかと言ってきまし また増えるU字型になっているんです。 すぐは長期欠席者数が多く、 てきました。 ないとか親が は 戦後すぐに長期欠席が多 ほんとうはデー 1, タも入れてグラフをつくると ただ、 出てくるんじゃない しかし、 V これはおかしいと私は思っている ないとか、 今でいう不登校は、 タは1952年からあって、 その後いったんは減って そういう社会状況があ (V  $\mathcal{O}$ かと思って私も持 は 一人ひとりの問 これも重ねて (図 2)、 たとえば住 9 6 戦後 6

なったと言えると思います。 題としては、 が始まったんでしょうか。 本社会が不登校というものと直 それ以前にもあったわけですが 文部科学省に問 面してくることに 966年に調査 11 合わ ここで

かりませんでした。みても、そのころの事情がわかる方は見つからず、わ

## とだえた「学校ぎらい」

保坂 言うと1949年度から調査はありますが、 て、 も含むものでした。しかし、その分類はいったんとだ 靴がなくてバカにされるとか、そういう経済的な理由 当時の「学校ぎらい」は、たとえば学校に履いていく 類もあり、 中学校長期欠席児童生徒調査)。そこに欠席理由の分 50日以上で、基準がちがっています。 えるんですね。長期欠席の子どもの人数自体が減っ い」という項目もすでにあったんです。ただし、その 952~1958年にもありました(公立小学校・ 細かく分類する必要がなくなったんです。 年間 おもには貧困でしたが、実は「学校ぎら 50日以上の長期欠席を調査したものは、 1学期で 厳密に

奥地 ちょうど義務教育制度が整ったあたりですね

も、実際には、生徒は来ていなかったんですよね。ことになったんじゃないかと思います。制度が整って、中学3年まで整ったところで、長期欠席を調べる保坂 そうですね、1947年に新制中学校ができ

れを分けて問題視するということはなかったわけですね。 奥地 「学校ぎらい」という項目はあっても、当時は、そ

い家庭も多かったですから。 当時は経済的理由で子どもを学校に行かせる余裕のな当時は経済的理由で子どもを学校に行かせる余裕のな

ぎらい」に入っていたんでしょうか。 ります。当時も、いまの不登校に相当する人は「学校持っていけないということもありましたからよくわかだったのですが、すごく貧しくて、お弁当もろくにというのですが、すごく貧しくて、お弁当もろくにのは、私も戦後すぐから50年代にかけて小・中学生

料を読んでいても、ほとんど出てきません。長期欠席保坂 入っていたのかもしれません。ただ、当時の資

い」という項目も復活したということです。 は1948年から始まってますが、長期欠席の調査がは1948年から始まってますが、長期欠席の調査が組み込まれたのは、1959年からです。そのときに組み込まれたのです。そして1966年から「学校基本調査 で、いっとん終えます。その後、調査は、1958年で、いったん終えます。その後、調査は、1958年で、いったん終えます。その後、

うなことがあったんでしょうか? と思ってなくなったものが、再び1966年に復活しと思ってなくなったものが、再び1966年に復活し奥地 なるほど、いったんはあまり区別も意味がない

保坂 復活した理由は今からではわかりませんね。おはしるいなと思うのは、経済学の分野では、1965年ごろが高度経済成長期の真ん中で、そこで日本の質困の概念が、それまでの絶対的貧困から相対的貧困に変わってきたと言われているんです。ただ、それが「学校ぎらい」が復活したことには直結しているわけではありませんが。

1950年代末から1960年代初頭にかけて、精神科医や心理学者も「登校拒否」とか「学校恐怖症」で使ったのが1959年「神経症的登校拒否の研究」で使ったのが1959年「神経症的登校拒否の研究」ですね。同じく1959年には、精神科医の鷲見たえ子さんや高木隆郎さんが「学校恐怖症」とか「学校恐怖症」

でしょうか。 奥地 どうしてこのころ、いろんな言葉が出てきたん

保坂 おそらく、精神科医や心理の人たちはあえて「学校ぎらい」という言葉を使わなかったんです。 すりカではやり始めていた school phobia を学校恐怖 が、多分に経 が、多分に経 が、多分に経

い出したんですか? 奥地 「学校ぎらい」というのは文部省(当時)が言

校拒否になっちゃったというのが、僕の解釈です。 て「学校ぎらい」を使ったのかはわからないですが、 たぶん5年代の調査項目をそのまま使ったんじゃない かと思います。ただ、文部省の調査で「学校ぎらい」 が使われていなかった6~7年のあいだに、「学校ぎらい」 らい」の中身が、経済的なものから心の問題である登 らい」の中身が、経済的なものから心の問題である登

は中身がちがうということでしょうか。 奥地 では、グラフとしては一続きでも、最初と後で

## 登校拒否という名前は

奥地 その前に「登校拒否」もありますね。

い = 登校拒否」になっちゃったんだと思います。おそらく1966年に復活させたときから「学校ぎらい」は登校拒否のことだと言っていますが、知などでは出てきます。1980年代には文部省は知などでは出てきます。

奥地 保坂先生は『不登校をめぐる歴史・現状・課題』という論文(教育心理学年報第41集2002)で同じたの『学校ぎらい』の数が『登校拒否』とされ、以来これが一般的には登校拒否の全国調査として定着する」と書かれてますね。また「欧米においては学校恐怖症という名称が多くの研究者に使われていたのに対して、わが国では登校拒否という名称の方が一般に広まっていった。」とも書かれています。 もともと欧米を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と欧米を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登を参考にして研究が始まったものの、学校恐怖症と登れているのでしょ

保坂 ひとつには、精神分析的な色合いが強いのをき

たんじゃないかという人もいます。
科医たちも大学紛争時代を潜り抜けてきたアンチ世代科医たちも大学紛争時代を潜り抜けてきたアンチ世代らったということもあるでしょう。それと、児童精神

(同席者の) 松島さんのときはどうでしたか?も何となく違和感を感じる人が現れて「不登校」といり言葉にもなっていくわけですね。私の息子が行かなくなったころは「登校拒否」と言っていましたけど、

ていたと言っていました。会で「どっちの言い方のほうがよいか」なんて話をしすが、ちょうど両方使われている時期で、母も、親の枚島 私は1992年から学校に行かなくなったんで

うる」と認識転換をしたころですね。 奥地 ちょうど文部省が「不登校はどの子にも起こり

松島 そうですね。その当時、親がどこまで知ってい

もしれません。
うのも、私が行かなくなって数年経ったころだったかたのかはわかりませんが、親の会で議論があったとい

保坂 ちょうどそのころ、私も院生から教育相談の専門家になったんですが、あのころは、「学校に行かせることが治すことなの?」と考える援助者がいっぱい出てきた時代でしたよね。「登校拒否」というのは、アンチ、あえていかないというイメージでついた名前だったのに、やっぱり行かない子どもや親のほうが悪いというニュアンスがしみついちゃっていて、それをおかしいと考えた人たちが「不登校」という言葉を使おかしいと考えた人たちが「不登校」という言葉を使おかしいと考えた人たちが「不登校」という言葉を使おかしいと考えた人たちが「不登校」という言葉を使おかしいと考えた人たちが「不登校」という言葉を使おかしいと考えた人だち思います。

ですね。 寒いイメージではない言葉にしようということ

してはどう呼ばれようと実際は変わらないんですが、が前提で、それを拒否している印象が強くて、本人と松島 登校拒否というと、あくまでも学校に行くこと

てい

たんですが、

先生たちに「この子は学校に来ない

奥地

それは生徒指導室が始めたんですね

け」と言われていたのは、80年代半ば~90年代にかけ保坂 そうです。いま、奥地さんが「登校拒否=怠

てくらいですね。そのころ、私はすでに学校に関わっ

こによけいな価値観が入ってない不登校のほうがしっ 態を表しただけの言葉なので、どちらかを選ぶならそ 不登校のほうが、たんに学校に行っていないという状 くりくると、私も感じてました。

保坂 「不登校」という言葉をはっきりと支持していたとい う印象があります。 ほうだ」と言っている人たちもいて、その人たちが 一部にはもっと積極的に「治療すべきは学校  $\mathcal{O}$ 

## 登校拒否=怠け?

生への調査の結果、不登校の理由は怠けが一番の理由 「怠けてるにしちゃ苦しいよ」「怠けだったらこんなに だと報道されていました。それでシューレの子たちも 京シューレをつくった1985年ごろには、学校の先 意図もあったのではないかと書いておられますね。東 「怠学」というのがまず想定されて、そこから分ける うになるわけですが、 それで「不登校」という言葉が多く使われるよ もともとは長期欠席というと

> という見方は長いこと続いていたんでしょうか? 悩まないよ」と思って、 いてみようとアンケートを実施してました。「怠け」 全国の登校拒否の子どもに聞

けていかない」という見方はなかったのではないかと 概念を採り入れましたが、むしろその前の時代は「怠 で来ない子を「学校恐怖症」と名づけた。日本もその 経済的理由より先に、怠学のモデルからスタートして 保坂 長いこと続いていたかは微妙ですね。欧米では 思います。 いるんですね。そこから切り離すために、 心理的要因

すが。 奥地 70 80年代は 「怠け」という見方が強 かか 0

したか。 保坂 そのもっと前、 ご自身が子どものころはどうで

奥地 うふうでしたね。 たしかに、 そのころは家庭の事情とか、 そうい

保 坂 の諸問題に関する調査」では、「学校ぎらい」の要因 「経済的理由」「学校ぎらい」「その他」の4分類です て調査し始めるんですね。学校基本調査では「病気」 イプが混ざっているからと、怠けと怠け以外を区分し 導室が出てきて「学校ぎらい」のなかに、 あまりにも増えてくる。そこで文部省のなかで生徒指 拒否という概念とともに「怠け」という見方も出てき ているんです。 の中身は経済的理由だったところから始まって、登校 さらに細かく区分して調査しています。 それに加えて「児童生徒の問題行動等生徒指導上 そうなんです。「学校ぎらい」と言っても、そ 調査が進むにつれて「学校ぎらい」が いろんなタ

うことですね

なるほど、

理解の仕方がそうなっちゃったと

とうによく聞かれました。

んですが、怠けですか、登校拒否ですか」って、

ほん

理由の分類は無意味

いですか。 かといえば疑問です。 に来ない子の「心理的理由」と「怠け」って別物なの りますよね。ただ、当時から不思議なんですが、学校 保坂 そういう枠組みで調べるわけですから、そうな 重なっている部分もあるじゃな

奥地 難しいですよね、 線引きは

す。「50日以上休んだ」というのは明確な事実がある 保 坂 まっている。 重なっているのに、調査では二分法になってし 本人も保護者も納得できる。 僕は、区分には意味がないと思っていま 僕だって、 小学校

- 283

のときは休んでましたしね。だけど、そこに理由をつのときは休んでましたしね。だけど、それ以外にもす。でも、入院で休んだ日もあるけど、それ以外にもしょっちゅう休んでいたから、合計して50日以上になるわけですよね。欠席の理由を一つでくくるのは無理るわけですよね。欠席の理由を一つでくくるのは無理があると思います。だからかもしれませんが、いつのまにか「複合要因」というのが出てきて、いまはそれですけど、始めちゃった調査って、なかなかやめられですけど、始めちゃった調査って、なかなかやめられるいんですね、先生に負担をかけているだけなのに。それに、学校に通っている子たちだって、欠席の理由を学校になんてつけられているかは知らないと思うんを学校になんてつけられているかは知らないと思うんを学校になんてつけられているかは知らないと思うん

奥地知らないですね。

ですよね。

今でも続いている。文部科学省に異議申し立てしてもいる理由を向こうが勝手に決めてつけていて、それがでないですか。自分が休んで

いいことですよね。

を親には知らせていないですね。 といけないので非常に悩みながらやっています。それといけないといけません。欠席理由も何かはつけないとってい意飾中学校を開いてますが、学校なので調査 奥地 非常に悩ましいところです。私たちも東京

ましたが、公立扱いなんですか? 生徒指導室の問題行動等調査は来ていないと思ってい生徒指導室の問題行動等調査は来ていないと思ってい

奥地 公立扱いというと?

調査していないんです。 場査していないんです。 にあるのは公立学校だけだから私立の学校は 調査をしているのが生徒指導室なんですが、生徒指導 調査をしているのが生徒指導室なんですが、生徒指導 選査をしているのが生徒がです。そのなかの不登校 との傘下にあるのは公立学校だけだから私立の学校は が、生徒指導

**松島** 生徒指導室の調査というのは「問題行動等調

てるんですが。 つ(笑)。以前から「やめちゃえばいいのに」と言っつ(笑)。以前から「やめちゃえばいいのに」と言ってるんです。あの膨大な質問のめんどうくさいや

奥地調査は実態を表していないということですね。

難しいんですね。 があるわけだし、そもそも実態を調査すること自体、があるわけだし、そもそも実態を調査すること自体、

## 出席・欠席の定義は

保坂 それともう一つ、「出席・欠席」って、実は定 保坂 それともう一つ、「出席・欠席」って、実は定 さかね。

が多くあがってました。 奥地 「校門タッチ」ですね。親の会では、苦情の声

保坂そう、そこもグレーなんです。

にいるんですから完全に欠席ですよね。 助かる子がいるから、私たちも活用していますが、家きたら出席扱いになるというのもありますね。それで奥地 IT等を活用して、家で学習したことを確認で

すよ。 すね。でも、もう認めざるを得なかったんだと思いま 保坂 ITは一番もめて、最後にようやく認めたんで

保坂 高校生の不登校も2004年度から調査するようになりましたが、高校生って学校に来れば出席にはなりますが、授業に出てないと単位とれないでしょう。だけど、毎日学校に来たから皆勤賞ほしいっていう子がいて、もめたりしています。そういうことがあり子がいて、もめたりしています。そういうことがあります。

不登校が増えていないというのも、学校には来るけ

が。
るんじゃないかと思います。推測の域を出ないでするんじゃないかと思います。推測の域を出ないでいしょうね。そこを入れると、裾野はもっと広がっていど教室には入れないという子の数を含めてないからで

## 現場で調査してみたら

あったんでしょうか。 
ぬ。現場に入って9年かけて調査したということですね。現場に入って9年かけて調査したということです。 
ないます

保坂 まったく、ちがいましたね。89年~91年にかけて3年間、坂本昇一千葉大教授がチームをつくって調査したんですが、私は、その年に偶然、千葉大に着任かいるというので、最初からそのチームに入れられたがいるというので、最初からそのチームに入れられたがいるというので、最初からそのチームに入れられたがいるというので、最初からそのチームに入れられたがです。

奥地 坂本さんは、児童生徒の問題行動等に関する調

**査研究協力者会議の座長をなさっていましたよね** 

保坂 そうです。坂本先生が座長で、その協力者会議保坂 そうです。坂本先生が座長で、その協力者会議のなかに千葉市の教育長も入っていたんです。それでのなかに千葉市の教育長も入っていたんです。それで「これって病気なの?」とか「これがどうして不登校「これって病気なの?」とか「これがどうして不登校の?」っていうケースがたくさんあって、分類がめなの?」っていうケースがたくさんあって、分類がめなの?」っていたということが、よくわかったんです。

奥地 なるほど。

保坂 ですから、見方によっては、ぜんぶ不登校なんにないと思った最初のきっかけは、そのときでしてもいいと思いました。欠席日数だけを調べて理由はじゃないかと思ったんです。90%以上は不登校と言った。

奥地 現場に行ってそう思ったわけですね

保坂 先生たちは、ほんとうに困っているんだな、苦保坂 先生たちは、ほんとうに困っているんだな、苦が、教育行政には受けいれられなかったですね。反すが、教育行政には受けいれられなかったですね。反すが、教育行政には受けいれられなかったですね。反文科省的な意見なんでしょうね。だから、僕は文科省の不登校関係の会議には呼ばれないです(笑)。

### 学校環境が問題

と学校環境との関係も指摘されてますが。 奥地 そうなんですか (笑)。ご著書では、長期欠席

保坂 不登校について、子どもがや保護者が責められ てた時代から、学校が変なんじゃないかという声が大 さくなった時代に、僕は研究のスタートを切っている んですね。自分も行っていなかったし、学校ってそん ないいところなの? という疑問を持ってスタートし ないいところなの? という疑問を持ってスタートし

でも、 そういう研究はなかったんですね

変わる学校に多いことがわかってきました。 期欠席は大きな学校に多いし、学校の先生がころころ が不思議でした。それで、 なかったですね。いくら調べてもなくて、 いろいろ調べてみると、長いろいろ調べてもなくて、それ

奥地 ね。 大きな学校は管理的になっちゃうんでしょう

言っていいほど、注目されなかったですね。とくに僕 保 坂 のいた教育心理学では、ぜんぜん注目されませんでし ことをデータとして出せたと思いますが、まったくと 心理学と社会学では見方がちがうからでしょうね。 のを後から知って、 しかし、教育社会学の方には読まれていたという そうですね。 だい 僕も教育社会学会に入りました。 たい、 みなさんが感じてい る

# 心理学の見方は自己責任

奥地 教育心理学から見た不登校というのは

保坂 です。そのなかでは、怠けなのか、 題、個人の責任、学校に行けない子が悪いという見方 校拒否=心の問題、という捉え方ですよね。個人の問 人のせいですから。 は、あんまり意味がないですよね。どっちにしても本 いまだにずっと、 マスコミも含め、 心理的要因なのか 不登校 = 登

すが。 奥地 たりしますよね。そういうところも問題かなと思いま ない」っていうプレッシャーが、逆に行きにくくさせ 校が本人にとってよかったとしても、「行かねばなら もちろん学校のあり方の問題もあります

すよね。 奥地さんたちは以前から、 ただ、それは研究者たちにはあまり支持され そう言っておら れま

学校が問題と内心では思っていても、 が活きていない。 今でも「学校に戻す」治療をしているわけですしね。 ている印象はないですね。カウンセラーの先生たちは 9割方が、そうじゃないですかね。 支援活動にそれ

ますか。 奥地 らは、不登校をめぐって、 そうなんですか。そうすると、研究者の立場か どういう課題があると思い

要因、 保 坂 全国的に、クラス編成が1年で変わって、 年間ずつで入れ替えでしたでしょう。 るることが増えているんです。 不思議ですね。 学校環境にどうして目がいかないのかがすごい これだけ行かない子がいるんだから、 たとえば、クラス編成って、従来は2 しかし、 担任も替わ 学校側 いまは 0

奥地 それは親の会をやっていても感じます。

ば、 毎年、 そうでしょう。 環境が変わるのは落ち着かないですよね。 でも、子どもたちからしてみれ

> 奥地 と仲良しとも離れちゃうし。 そうですね。落ち着かない Ļ クラスが変わる

す。 2年間の編成で安定している」って書かれているんで 育が世界的に注目されていたから、 保 坂 議です。日本の研究者はまったく注目してません。ア メリカの研究者は注目していて、80年代には日本の教 しれないという発想を、どうして持たないのか、不思 でも、 それが学校に行かない子を生み出して 日本の研究者は誰も言わない 「日本の小学校は

奥地 てくれたところで、また替わっちゃうわけですから。 うっとおしいんですね。なかなかわかってもらえない Ŕ それは不登校も続くしかないよね、 し、先生どうしは連携してくれないし、やっとわかっ 不登校の話を毎年しなきゃいけないのは、すごく 現場では感じています。 不登校の親にとって という話も出てい

いんです。交流もないし。 
つ、中学校3年間と、同じクラス同じ担任でやっていつ、中学校3年間と、同じクラス同じ担任でやっている地域があるんです。でも、他県の先生は誰も知らなる地域があるんです。 
でも 
るいれている。

成が変わるようになったのは、なぜなんでしょう。 奥地 それは私も知りませんでした。毎年、クラス編

目を向けた研究をされているわけですね。 奥地 なるほど。そういうことも含めて、学校環境に

入学式も苦手だったのでね。不登校には親近感があるは苦手でしたから、運動会もイヤだったし、卒業式も保坂 そうです。僕も、みんなでいっせいにというの

すよね。んです。でも、教員はいっせいに、というのが好きでんです。

あり方を考えたほうがいい、ということですね。これだけ学校と距離をとる子が多いんだから、学校の奥地 動かしやすいっていうのはあるんでしょうね。

になと思います。 保坂 そうしたら、日本の学校も、もっと変わったの

## 先生はグレーぎらい

思っておられる研究は、どんなことでしょう。 奥地 そうですね。今後、保坂先生が取り組みたいと

変わるのではないかと思っています。
査はしたいですね。それが表に出たら、もっと学校も教室に入れない子どもがどれくらいいるかという調味が、たとえば、先ほど申し上げた、学校に来ていて

ますからね。として、保健室に鍵をかけるようなことも、まだありとして、保健室に鍵をかけるようなことも、まだあり奥地 教室に入れない子を強引に教室に連れて行こう

は、先生にとって心地悪いらしいですね。まだしも、来てるのに教室に入らない状態というのに耐えられない人が多いようです。来ないんだったら保坂 そうですね。先生というのは、中途半端な状態

奥地なぜ、これまで調査がなかったんでしょうね。

保坂 やっぱり、都合が悪いんじゃないですか。

**奥地** やりにくさもあるでしょうし、指導力が問われ

保坂 両方ありますね、たぶん。

でますが、不登校にかぎらず、教室からはみ出してい奥地 子どもたちはみんな学校に行っていると思われ

もしろい図だなと思いました。る子は、どこにでもいるわけですよね。それって、お

保坂 もう少し言えば、学校に来ていても教室に入れない子が増えているということは、逆に、完全に来ない子は減っているんじゃないかと、ひそかに思ってい学校に完全に来ない子が増えちゃうと、ごそかに思っているんじゃないかなと思っています。

東地 そうですね。東京シューレ葛飾中学校では、休奥地 そうですね。東京シューレ葛飾中学校では、休奥地 そうですね。東京シューレ葛飾中学校では、休奥地 そうですね。東京シューレ葛飾中学校では、休

欠席と出席のあいだのグレーゾーン。でも、先生たち保坂 それも、いわばグレーゾーンじゃないですか。

同じ背景があるように思います。も、なかなか学校の先生が理解しなかったというのもはグレーゾーンが苦手なんですよね。LGBTの問題

奥地 を問題行動と捉えて「治す」としていたわけですか 校児童生徒が悪いという根強い偏見を払拭」すること 月に文科省から通知が出されました。そこでは「不登 てきたなと思いますが、 んまり変わっていないんですが、文科省は変わり始め が重要とも書かれています。 い」という話になって、それに基づいて2016年9 校の調査研究協力者会議で「不登校は問題行動ではな ずいぶん変わってきたと思います。学校現場はあ なるほど。 最後にうかがいた どう思われますか。 文科省は、以前は不登校 11 のですが、 不 登

保坂

すごい変化なんじゃないかと思いますよ。

不登

校にかぎらず、

LGBTの話でも、

最近は文科省のほ

**保坂** 20~30年という単位で見ると、文科省はよく変

奥地 現場が変わるには、時間がかかると思います。

変化は感じますか。 がのやり方も、もっと知られてほしいです。そういういう研究を、今後もしていただきたいですし、学校以て、こう変えていったらもっと居やすくなりますよとないでしょうか。学校のあり方を子どもの側から考えどう変えていいかわからないということもあるんじゃ

だと決めつけず、変わっているところを見て、それを奥地 最近はそうですね。国は上から管理するところうが先を行っていると思います。

保坂同感です。

現場に活かしてもらいたいなと思います。

.ます。どうもありがとうございました。お時間ということで、今日はこれまでにしたいとおだまだお聞きしたいこともたくさんあります

奥地

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #13 保坂亨さん

インタビュー日時:2016年10月14日

記事公開日:2017年3月1日 場 所:東京シューレ葛飾中学校 聞き手:奥地圭子、松島裕之

まとめ:奥地圭子 写真撮影:松島裕之

#### #14 中島浩籌さん

ができますからね

屮 中島浩籌 #14

THE PERSON NAMED IN 

(なかじま・ひろかず)

1946 年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。同大学院修士課程終了、パリ大 学ヴァンセンヌ校で哲学を専攻。東京都立高校教員時代に、いわば教員の「不 登校」となって退職した経験がある。その後、河合塾COSMO講師、法政 大学非常勤講師、日本社会臨床学会運営委員、YMCAオープンスペースLi by運営委員などを務める。著書に『逃げだした教師の学校論一良心的教師・ その権力性』(労働経済社1986)、『心を遠隔管理する社会―カウンセリング・ 教育におけるコントロール技法』(現代書館 2010)、小沢牧子さんとの共著に 『心を商品化する社会―「心のケア」の危うさを問う』(洋泉社 2004)。

インタビュー日時:2017年1月23日

聞き手:山下耕平

場 所:東京YMCA山手コミュニティセンター

写真撮影:山下耕平

係はどうだったんでしょう? 中島さんご自身は、子どものころ、 学校との関

は自分の心を読んでいるんじゃないか」と思っていま ないですし、まわりの人は、みんな超人間みたいで、「実 思い始めたんです。でも、 とんどダメだったんですね。10歳ごろ、なぜかわから くわけにもいかないですしね ないんだけど、「他人って自分と同じ人間かな?」と かったんですが、それ以前に他人との付き合いが、 学校そのものは、それほどキツいとは感じてな おふくろに「あなた人間ですか?」と訊 いくら考えても確証は持て ほ

他人にそういうことを話したのは、50歳も過ぎたころ

ていたんですが、ずっと、人には言わずにいました。

で、河合塾COSMOに勤めているときに、生徒と話

うに、この世界にいるんだろうか?」と思ってました。

そんな感じで、自分でも異常なのかなと不安に思っ

的だったとも言えるかもしれません。「自分はほんと

じもありました。リアル感が薄くて、

広い意味で解離

て、自分をななめ後ろの上のほうからから見ている感

ときどき、離人感というか、この世界から抜け出

家族に対しても、 その感覚だったんですね

屮

すね。スポーツだと、考える前に動けて、 ありませんでした。でも、 しっくりしない。自分と同じ仲間だという意識は 自分以外は、 みんなです。友だちもいるんだけ スポーツは好きだったんで そこで関係

屮 離人感はいくつぐらいまで? ことなんだ」と言ってましたし、

私自身も楽しく話

話してい

れは楽しかったですね。その子も「これ、

言ってました。私も自身の離人体験を話しました。 画面を見ながら自分を操作しているような感じ」と ンダムのモビルスーツみたいで、

そういう話になって、

ひとりの子は「自分の身体はガ たまたま生徒3人と立ち話で、

奥にある操縦席から

したのが最初でした。

でも、 なっています。 いました。他者存在への疑問はいまでも、 年齢とともに、 じょじょに薄れていき大学時代にはなくなって 別の問いの立て方で他者存在を考えるように 「まあ、 いいや」という感じに あります。

は? 屮 そういう感覚で、 学校でうまくいかないこと

という感情も湧きませんでした。 中島 いて、 引いた目で見ていたので、トラブルがあっても流して いろんなことがあっても、「あいつは許せない」 「こんなもんだ」と思って生きてました。 教師は教える機械のように思ってましたから 友だちに対しても、

屮 んでしょうか そういう感じがあって、 哲学に関心を持たれ た

調和から問いが立ち上がってきたように思います。 そうですね。 周囲との不調和があって、 その 直 不

> 接には、 対他存在がひとつのテーマになっていて、 を読んだのが大きかったですね。他人とは何なのか るんだ」と思って、すごくほっとしたのを覚えてます。 んだけど、 高校3年生のときにサルトルの 「あんなにすごい人も、ここから考えてい 『存在と無』 難しかった

> > - 296 -

屮 その後は大学で哲学を学ばれたんですか

どを勉強していました。経済学部なのに卒論のテーマ あと、大学院は哲学に進みました。 はサルトル やりたくなって、 慶應大学の経済学部に入ったん (哲学者)の疎外論で、 経済思想のゼミでマルクスの思想な 41 んですが ったん就職した 、哲学を

そこは自分の生き方に関わらないとおかしいだろう\_ 方とがつながってない。私は「実存主義なんだから、 自分を切り分けて考えていました。学問と自分の生き と思っていました。私自身は、 トルは実存哲学なのに、その研究者の多くは、研究と ルは、慶應に来たことがありましたしね。でも、 サルトルの研究者は多かったんです。 大学闘争のとき、 サルト サル

自分と現実がつながった感じがありました。 の世界が現実に通じた感じがあって、そこではじめて、

判に対して、 のころ、慶應大学医学部に米軍から資金が提供されて いましたが、 いたことがすっぱ抜かれて問題になっていました。批 大学院に入ったのは1969年だったんですが、 そこでは学問と社会のあり方、 大学側は「研究の自由だ」と突っぱねて 学問と権 そ



(コレージュドフランスの前にて) フランス留学時代の中島浩籌さん

のか、 て研究者になろうと思っていたので、 力との関係が問われていたわけです。 自分の足下が問われました。 私も大学に残っ 研究者とは何な

#### 自分の足場に根ざし た 知

ジュ 学者/現象学)の研究もしていたので、 的に関わって、パリ大学ヴァンセンヌ校にいました。 てなかったんですが、 強したいとも思っていました。当時、サルト ティの研究者だったリオタール(哲学者)のもとで勉 ンセンヌ校哲学科の最初の学科長でした。その二人の した(両者とも哲学者)。フーコーは70年にはコレー ほかにも、 トルの影響もありましたし、私はメルロポンティ(哲 それで、 ・ド・フランスという大学に移りましたが、 その大学にはフーコーもドゥルーズもいま 72年からフランスに留学したんです。 リオタールは5月革命に積極 メルロポン ルは教え ヴァ サル

ラル・ストライキを中心とする反体制運動。大学もストライキに入った。 ベトナム反戦運動をはじめ、 1968年5月、 パリの労働者や学生によって行なわれたゼネ さまざまな問題提起をしていた。

論理構築を積み重ねていると思ってたけど、フーコー そこには、ゲイリベレーションもあったし、反精神医 学の運動もあったし、いろんな闘争が混じり合ってい ヴァンセンヌは実験的な大学で、ラディカルでした。 ざさないような語り口はおかしいと言っていました。 るような、そんな立場はあり得なくて、特異的知に根 ズは、知識人といっても、上空から俯瞰して全体を語 につながっていました。 そこでは、 ん柔軟で、学生との対応もイキイキとしていました。 対談を読んでみたら、サルトルよりもずっと私たちが .題にしていたことに近かった。フーコーとドゥルー 意外と思いつきでやっていました。でも、 私たちはヨーロッパの思想家って、すごく緻密に そこと哲学が直結していた。おもしろかったです ゥルーズもリオタールも、授業に参加してみる 8年の5月革命以降の問題と学問とが密接 そのぶ

山下 そこが日本とはちがったわけですね。

中島 日本では、学問は中立的なもので、権力者が利

ど、高校生はわかる」と言っていました(笑)。 別で、アカデミズムからは疎んじられていました。ドゥ リキュラムも無視していた。ただヴァンセンヌ校は特 ないですし、講義にはどんな人でも参加できるし、カ はありました。ヴァンセンヌ校では、単位なんて関係 徹底していたり、 かし、女性が壇上に駆け上がっていたり、個人主義が われている問題は日本と通底していたと感じます。 ルーズは「アカデミズムには私の発想はわからない それを問う姿勢が強くありましたね。その意味で、 で、研究者の権力こそ問題なわけです。 た。それが大学闘争の中で問われたのです。知も権力 用するかどうかは別問題ということになっていまし いろいろ日本とちがうなと思うこと フランスでも、 け

ていたことも、同じです。
ことも、河合塾COSMOやフリースクールで話されかもしれないけど、ヴァンセンヌ校で議論されていた問題が根底から考えられていました。抽象度はちがう何なのか、セクシュアリティって何なのか、そういうそこでは、なんで勉強するのか、他人っていったい

ね。日本に戻ってこられてからは? 人が、現実と結びついて考えられる場だったわけです いて大学ヴァンセンヌ校は、問題意識を持った

### 教員の不登校に

いて、すごくおもしろかったです。 と思っていて、試行錯誤しながらゼミをやったりしてと思っていて、試行錯誤しながらゼミをやったりしていました。私はヴァンセンヌの授業をモデルにしたい中島 74年に帰国して、77年から都立高校の教員にな

所に立ってと言うだろうけど、私の場合はそういう立 ともあったんだけど、高校に入ってから、どんどん流 男子生徒がレポートに「中学は楽しくて、 といったことを書いてきたんです。 場にないから、できるだけ小さくなりたい。 かで考える場を持ちたい。そこで大人物なら、大所高 されて、自分がどうしたいかわからなくなった。どこ カ 目 教えていたのは倫理社会でしたが、 月くらいして学校に来なくなった。私は、 から見えなくなって、 そこでゆっくり考えたい」 そして、それから 80年ごろ、ある やりたいこ 先生や親 なるほ

でも、3~4カ月したら戻ってきて、そのまま、ふつでも、3~4カ月したら戻ってきて、そのまま、ふつうに卒業して進学していったんですね。後になって、「あの間にどうしてたの?」って聞いたら、「釣りをしていた」と言ってました。誰からも見えなくなるというのは、ドゥルーズなんかも語っていたことですが、現実にそれを宣言してやるというのは、すごいなと思いました。

当時、「不登校」が問題化されてきていましたが、とかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあしかない、逃げるしかない、自分も、ここからとりあ

ですね。 山下 何か具体的なトラブルがあったわけではないん

中島 何もなかったんです。むしろ楽しかったんです。中島 何もなかったんです。むしろ楽しかったんです。 いまは、 登校」とどこかで通じあっていたと思います。 いまは、 その苦悩や矛盾感はめずらしくもないでしょうけど、 その走りみたいなものでしょうね。

(2015年度)ですから、それよりも多いんですよね。になるそうです。小学生の不登校は全体の0・42%になるそうです。小学生の不登校は全体の0・42%はなるそうです。小学生の不登校は全体の0・42%は、 いまは精神疾患で休職している教員も増えてま

ますけどね。 中島 これも精神疾患にしてしまっていいのかと思い

しょうか?
教員の持つ権力性に対しての葛藤だったと言えるで 山下 そうですね。中島さんが感じておられたのは、

中島 そうだと思います。ハッキリ意識して考えていたわけではないですが、千年ほど休んで、教員という仕事をていたんですが、1年ほど休んで、教員という仕事をちがう角度からやってみたくなり、公立高校の非常勤ちがう角度からやってみたくなり、公立高校の非常勤スクールに関わるようになりました。ちょうど、各地でフリースクールが立ち上げられ始めていたころです。

ないね」と素直に言えるようになった。教員として背すると、「なんとかなるから大丈夫だよ」とか応えてに、私は将来大丈夫なんでしょうか?」と聞かれたりに「私は将来大丈夫なんでしょうか?」と聞かれたりたんだけど、フリースクールでは、学校になじめない生徒がったんです。それまでと自分の視点がぜんぜんち

いました。ですが、いっしょに考え合う関係に近づけたように思ですが、いっしょに考え合う関係に近づけたように思ます。もちろん、まったく同じ立場には立てないわけ負っていたまなざしから、少し離れられたんだと思い

# 情短施設への疑問から

山下 高校の教員を辞められたあと、86年に『逃げ出した教師の学校論』(労働経済社)を出されています程しつつ、「登校拒否は病気ではない」と言ってしまいのも危険だと指摘されてますね。そういう問題意識は、どこから来ていたものだったのでしょう。

ぐる言説の影響もあったように思います。 もありましたが、教員を辞めたときには、不登校をめ発言などを聞いていました。先ほどの生徒との出会い発言などを聞いていました。先ほどの生徒との出会い

医。元国立精神・神経センター国府台病院児童精神科医長。\*\*2 渡辺位(わたなべ・たかし/1925~2009):児童精神科\*\*2

それと、85年から「子どもの宿泊治療に反対する会」という運動に関わっていました。当時、全国に11カ所という運動に関わっていました。当時、全国に11カ所の治設は「3~6カ月の短期で治る」という触れ込み短施設は「3~6カ月の短期で治る」という触れ込みでしたが、実際は入所期間が長期化している人も多くでしたが、実際は入所期間が長期化している人も多くいました。これは何なんだろうと思いました。

それから、日本臨床心理学会に入っていたので、

1993年に日本社会臨床学会を設立している。 1969年\*4 日本臨床心理学会:1964年に設立された学会。1969年に日本心理臨床学会を別に 立ち上げた。その後さらに、国家資格化をめぐって意見が対立し、国家資ごろから、臨床心理学会:1964年に設立された学会。1969年\*4 日本臨床心理学会:1964年に設立された学会。1969年\*\*

理学者。

来談者中心療法の創始者

力

ル

・ロジャーズ(1902~

1987):アメリカの臨床心

は何かを考えるきっかけにもなりました。 一方では、宿泊治療に反対する運動をするなかで、石川憲彦さん(精神科医/本プロジェクトインタで、石川憲彦さん(精神科医/本プロジェクトインターで、石川憲彦さん(精神科医/本プロジェクトインター方では、宿泊治療に反対する運動をするなか

**山下** 「子どもの宿泊治療に反対する会」の運動から

中島 運動には2~3年関わっていて、集会をやった中島 運動には2~3年関わっていて、集会をやったり署名活動をしたりしたんですが、一方では、文部省\*5 渡部淳(わたなべ・あつし)大学卒業後、国立小児病院(現在は国立成育医療研究センター)に心理職として勤務。自閉症児のデイケアを行なうなかで「自閉症」というラベルを貼り、子どもを「治療」ケアを行なうなかで「自閉症」というラベルを貼り、子どもを「治療」ケアを行なうなかで「自閉症」というラベルを貼り、子どもを「治療」の子も地域の学校へ」運動の先駆者の一人。

政の問題だったと言えるかもしれません。いうよりも行政用語なんだと感じました。医療より行その過程で、情緒障害というのは、精神医学の用語と(当時)の認識や対応も変わってきていたころでした。

## 自己コントロールカウンセリングと

山下 臨床心理学会に関心を持たれたのは?

中島 1979年に養護学校が義務化されて、そのと中島 1979年に養護学校が義務化されて、そのときに、日本臨床心理学会はこの問題をきちんと受けとめて考えていました。子どもを養護学校に振り分けるのに、心理テストが大きな役割を果たしていたんですのに、心理テストが大きな役割を果たしていたんですのに、それはいったい何なのかというのが、大きな問題を言いている。

4~5年のあいだ受講していました。当時はロジャーングが浸透しはじめたころで、無料で受けられたので、リング講座を受けたことがあったんです。カウンセリーをれと、私自身も高校教員になったころ、カウンセー

んです。 に問題意識を持っていたのが臨床心理学会だったかったんですね。でも、何かおかしいと感じていて、かったんですね。でも、何かおかしいと感じていて、ぶもしろズが主流で、その考え方は、教員のように上から押

「しなやかですこやかな自我形成」を掲げて、 子どもの自己規制力が弱まっている。だから家庭だけ そして、 校拒否などにどう対応するかということで、 と言われていて、校内暴力、 東京都でカウンセリングが導入されることが問題に にまかせるのではなく、学校で育成しないといけない。 いうことでした。家庭が過保護過干渉になっていて、 が弱まっているから、それを育成する必要がある、と つは力で抑えること。もうひとつは環境を変えること。 めには3つのポイントがあると言っていました。 なっていました。 臨床心理学会に参加し始めたのは80年代初めです。 もうひとつは、消費社会のなかで自己規制力 そのころは戦後非行の第3のピーク いじめ、家庭内暴力、登 東京都は そのた ひと

> ました。そして、教員全員がカウンセリングマインド 登校は薬では治らない。その対応にはカウンセリング 針になっていました。ところが、河合隼雄さんを中 教員がカウンセリングマインドを持つべきだという方 を持つべきなのか、カウンセラーという専門家が学校 成で、そこでカウンセリングが必要だと言い出して 期の課題になる。中長期で必要なのは自己規制力の育 をしていました。 が必要で、 ラーを学校に配置することになった。スクールカウン 心とする日本心理臨床学会が動いて、 果、東京都では、専門家まかせにするのではなく、 に入るべきかで、議論になっていたん 力で抑えるのは短期でできるが、環境を変えるのは長 ですね。河合隼雄さんは、85年には新聞で「不 そのための専門家が必要」だという言 専門のカウンセ ですね。その結 全 方 13

会臨床学会運営委員、

和光大学名誉教授

篠原睦治:1938年、東京生まれ。

ーズの

その一つですね くる方向に向いてます。「一億総活躍」なんていうのも、 です。そういう力を育成する。つまり、いまの心理学は、 ントロールやコミュニケーション能力、問題解決能力 共感なんて言わないですね。必要とされるのは自己コ の必要性が言われるようになってきました。いまはカ中島 日本でも、80年代ぐらいから自己コントロール の健康開発を目指す傾向が強くて、そういう人間をつ 心の「病気」を問題にするよりも、 ウンセリングでも、 認知行動療法なんかだと、 心の健康増進、心 内面の

屮 力も強かったですよね。 のようにまなざされ医療の対象とされていたことに対 しかし、 80年代ごろは、まだ「病気」扱いの圧 登校拒否にしても、 「病気」

> たように思います。 して、いったんは「病気じゃない」と言う必要はあっ

ことになっているわけです。 という二分法ではなく、もっと分け方がきめ細かく それぞれに合わせて、分相応に生きるように、という なっています。たとえば「自閉症」でも、線引きは難 しいからスペクトラムということになっていて、でも、 いう力はありますしね。だけど、いまは病気か健康か 」と思ってます。 そうだと思います。 いまだって「病気」に 私も、いまでも「病気じ しようと

# 公教育を見限る」をめぐ

屮 除するなというのは、一見、反対の方向のようですが 学校に行かないことを認めろというのと、 「ふつう」から分けてくれるなということですよね。 ある意味で同じことのようにも思います。どちらも、 てと、「障害児を分けるな」という異議申し立ては、 「登校拒否は病気じゃない」という異議申し立 学校から排

つながっていることのように思うのですが

史さんが当事者として話されています。 した。このとき、登校拒否を考える子どもの会の篠原 ことから」というテーマでシンポジウムを呼びかけま 淳さんが「公教育を見限る? きた問題ですね。でも、 いところだと思います。85年に臨床心理学会で、 つながっているんでしょうけど、すれちがって ここはよく考えないといけな -登校拒否体験を聴く 渡部

屮

渡部さんが発題されたのは、

どういう経緯だっ

ここでは重要な問題が語られていたと思います。 た。シンポジウムの議論はすれちがっていましたが

もう1回学校に行ってほしい」と反論していまし

たんでしょう。

たら、学校を関係の創造という文脈で意味づけなおし にはいかない」「登校拒否している人も、ひと休みし てよ。子どもが共に育つ場としての学校を見限るわけ ました。それに対して、篠原睦治さんは「ちょっと待っ ます。渡部さんは「学校教育そのものが登校拒否を生 渡部さんはずいぶん思いきって発題されたのだと思い み出している」「内なる学校を見限ろう」と話してい の子も地域の学校へ」という運動をしてきたなかで、 がっこの会などで、養護学校義務化に反対して ピ

きの 社会臨床学会で何度かにわたって議論の機会を設けて けて対応するようになってます。それだけに、このと 合は特別支援教室へとか、コース別にして、早めに分 れですよね。同じ「不登校」でも、 きました。でも、いまは、もっときめ細かく分ける流 でいましたし、このときの問題提起を受けて、その後 もあってのことだと思います。私もその刊行物を読ん いましたが、その誌上での議論や渡部さん自身の経験 「公教育を問う」という問題提起は、 がっこの会は『がっこ』という刊行物を出 「発達障害」の場 いまこそ老

子供問題研究会代表、 屮 篠原睦治さんがおっしゃ っていたのは、

えないといけない問題だと思っています。

勉強の場よりも生活の場であって、いろんな子が共に
 勉強の場よりも生活の場であって、いろんな子が共に
 勉強の場よりも生活の場であって、いろんな子が共に
 してきたとも言えると思いますが。

えて、そこで活躍してもらおうという発想法に回収さなっている状況のなかで、どうやったら、「共に」という関係をつくれるのかは、試行錯誤するほかないでしょうね。それは、学校を見限って、学校の外にユートピアをつくればいいという話ではないと思います。学校外といっても、それがまた「一億総活躍」の文脈学校外といっても、それがまた「一億総活躍」の文脈で連のな問題を抱えた子」には特別な教育の場を与った。

れてしまう可能性があるわけですしね。

子どもの場合は、難しいところがあると思います。 思ってますが、 あいだを縫いながら、うまい具合にできない をつなぐネットワークを、 まってきました。いずれにしても、いろんな立場の人 たんですが、こちらのほうは、いろんな立場の人が集 てきました。まあ、当然かもしれません。でも、99年 立ち上がったときも、不登校の子だけが来る場では にURA―1ibyという若者の話し合いの場も始め ました。でも、実際には学校に行ってない子が集まっ くて、誰でも入れるようにしようと私たちは考えてい 98年に東京YMCAでオープンスペースー: なかなか難しいところですね。とくに いかにつくれるか。微妙な かなと b y が な

関係を想定するのかで、ちがうような気がします。た濃い関係を想定するのか、ネットワーク的なゆるい山下 「共に」というとき、古い共同体をイメージし

関係を求めている傾向があります。強い連帯を求めて中島 今までの多くの社会運動においては、濃い人間

てはいますよね。でも、私みたいに「他人って何だろう」とか考えてしまう人間には、薄い弱い関係のほうがいい。ある場がきつくなったら逃げちゃおうと思っていい。ある場がきつくなったら逃げちゃおうと思っていいかと思っています。いずれにしても、どのように「共いかと思っています。いずれにしても、どのように「共いかと思っています。のかというのは、すごく難しくなってはいますよね。

### 学校から「逃げる\_

には包摂されたくない感じがあるというか (笑)。か、感覚的にわかるんじゃないでしょうか。熱い関係か、感覚的にわかるんじゃないでしょうか。熱い関係

逃げるというのも簡単ではないですね。わしくて、「逃げる」ことを大事にしてきました。でも、わしくて、「逃げる」ことを大事にしてきました。でも、

ことを積極的に支持しているんです。向かうべき方向ドゥルーズは「逃走線」という概念を使用し、「逃げる」

性が決められている場、閉じられているテリトリーから逸脱し、逃走していくことはむしろ創造的な行為であるとしているんですね。世間的には、直面すべき問題や現実から目をそらし、責任から逃れようとするダメな行為であると見られていますが、けっしてそうではない。むしろ既成のあり方を壊し、新たなあり方を模索し創造していくものなのだとドゥルーズは主張しているんです。学校のなかで行きづまり、どうにもならなくなったら「逃げる」しかない。これから先どうなるのだろうという不安は確かにあるとは思いますが、それはけっして現実から目を背けることではない。

私が出会った「不登校」経験者の多くは苦しみながらも、現実の社会でこれからどうしようかと模索しているのです。ですから、大学に入った「不登校」経験者からよく聞くのは、「『普通』の大学生ってこれからのことか不幸か、学校をやめたとたんに「これからどうするか不幸か、学校をやめたとたんに「これからどうするなかたちにしろ、現実に目を向けざるを得ないのです。どんなかたちにしろ、現実に目を向けざるを得ないのです。でも、「逃げればなんとかなる」ということではあるがら

りません。不安に押しつぶされることもあるし、これりません。不安に押しつぶされることもあります。だからこそ逃げる方向性をいっしょに考え合う関係が必要だと思っていけるネットワークが必要だと思うのです。いまの社会のなかで、どうやって逃げたらいいのか、新しいあり方をどうやって模索しあえるのか、それを共に考えていけるネットワークが必要だと思うのです。いまの社会のなかで、どうやってネットワークを張っていけるか。それは、どうかってネットワークを張っていけるか。それは、どうかってネットワークを張っていけるか。それは、どうかってネットワークを張っていけるか。それは、どうかに理想的な空間をつくればいいということではどこかに理想的な空間をつくればいいということではどうかに理想的な空間をつくればいいということではどうかに理想的な空間をつくればいいということではは「あの人たちは特別な人たちだ」という周囲の眼差は「あの人たちは特別な人たちだ」という周囲の眼差しを強めてしまうことになりかねないのです。

れてきていて、学校に対するアンチとしての不登校やい。とくに最近は、学校の外も含めてコントロールさても、「学校」の力学から逃げたことにはなっていなることにならないわけですね。フリースクールに行っは、「学校」から逃げ

なったとも言えますよね。ル社会になってきたからこそ、ネットワークが可能にル社会になってきたからこそ、ネットワークが可能にえると思います。でも、逆説的に言えば、コントローフリースクールという図式は成り立たなくなったと言

皮に呑みこまれてしまうように思えます。 中島 そうです。昔がよかったわけではないですから中島 そうです。昔がよかったわけですが、学校外のな教育機会とかバウチャー制度を言うようになって、な教育機会とかバウチャー制度を言うようになって、な教育機会とかバウチャー制度を言うようになって、な教育が認められたというだけでは、柔軟化した学校制教育が認められたというだけでは、柔軟化した学校制教育が認められたというだけでは、柔軟化した学校制教育が認められたというだけでは、柔軟化した学校制教育が認められたというだけでは、柔軟化した学校制教育が認められたというだけでは、柔軟化した学校制教育が認められたというだけでは、

山下 そのあたりは、ねじれてますよね。

# 早期発見・早期対応の問題

中島 先ほどお話ししたように、私自身、「他人って

思って、抑えていた。 思って、抑えていた。 はので、抑えていた。 とても言えなかったとかもしれません。昔だったら、とても言えなかったとかもしれません。昔だったら、とても言えなかったとからでます。それは、

ます。 三ういうことでも言っていいんだと思えて、それが考 こういうことでも言っていいんだと思えて、それが考

屮 には、 うにも撤退しきれないですよね。 それがよかったとは言えませんが、 かで自分と向き合っていたところがあると思います。 「学校」をシャットダウンしてひきこもって、 えに、それが自分をかたちづくってきた面もあるので はないかと思います。たとえば不登校でも、 自分自身で深く考えていかざるを得なかったがゆ そういう苦しさがあると思います。 でも、 逆に言えば、そういう言いにくさのなか いまの子ども・若者 いまは、撤退しよ かつては そのな

中島 そうですね。たとえば「生きるって何だろう」中島 そうですね。たとえば「生きるって何だろう」とか言っていると、「そういう頃向にず校で強まっていると思います。早期発見・早期対応で、早めに対処されて、発達障害と診断されたりし応で、早めに対処されて、発達障害と診断されたりしたで、早めに対処されて、発達障害と診断されたりしたで、早めに対処されて、発達障害と診断されたりしたで、早めに対処されて、発達障害と診断されたりしたで、早めに対処されて、発達障害と診断されたりした。

山下 いまは、柔軟化の一方でコントロールの網の目したり、俯瞰して物事を観て考えるようなことが難しくなっているように思います。そして、発達障害のように、専門家によってカテす。そして、発達障害のように、専門家によってカテゴライズされた枠組みのなかで自分のことを整理することが増えている。

名や診断名では、自分を整理しきれないですよね。ているけど、圧倒的にボーダーが多い。それに、障害見られることが多いんですよね。診断される人は増え中島 そうですね。しかもボーダーライン上にあると

## ズラしながら、共に

暴力になってしまう。そうなると、治療対象となって、 場際法の発想なんですよね。自分に自己病名をつけて、 自分を「見つめる」のではなく「ながめる」。原因を きえるのではなく、抱えている困難さに対する工夫を、 どうやったら具体的にうまくいくか、仮説を立てて検 どうやったら具体的にうまくいくか、仮説を立てて検 でも、どうしても見つめてしまう、考えてひっかかっ でも、どうしても見つめてしまう、考えてひっかかっ でも、どうしても見つめてしまう、考えてひっかかっ でも、からしても見つめてしまう、考えてひっかかっ でも、からしても見つめてしまう、考えてひっかかっ でも、からしても見つめてしまう、考えてひっかかっ でも、からしても見つめてしまう、考えてひっかかっ まやを自分に抱え込んでしまっていると、治療対象となって、

えた当事者の地域活動拠点。 1984年に設立された北海道浦河町にある精神障害等をかか

くほかないのだと思いますが、難しさはありますね。に、アンチでは成り立たないなかで、試行錯誤していた。アンチでは成り立たないなかで、試行錯誤してい薬を処方されていたりする。もやもやを共有して考え薬を処方されていたりする。もやもやを共有して考え

**中島** 難しいですよね。たしかに、別の対抗軸をつく す。そこで、ネットワークでつながって、共に逃げな す。そこで、ネットワークでつながって、共に逃げな がら、共に物事を考え合っていく。それは楽しいこと だと思います。「それでは教育機会確保法を推進して だと思います。「それでは教育機会確保法を推進して だと思います。「それでしても、捕らわれるかもしれ ないですけどね。どっちにしても、捕らわれることは ないですが、そこに穴はあけられると思ってます。

ですから。

ですから。

ですから。

ですから。

ですから。

ですから。

ですから。

ですから。

ですから。

きでなくても、対話していくことはできるわけですよもらおうと思って、上司に「発達障害の本を読んでくもらおうと思って、上司に「発達障害の本を読んでくは「絶対に読まない」と言うんです。でも、「君は何ださい」と頼んでいたんですね。ところが、その上司ださい」と頼んでいたんです。それはおもしろいなにいちいち対応していたんです。それはおもしろいなにいちいち対応していたんです。それはおもしろいなにいちいち対応していたんです。それはおもしろいないちいち対応していたんでする。

もあるように思います。 者も、その枠組みをアイデンティティにしていること 者も、その枠組みをアイデンティティにしていること 対話があればいいわけですが、あらかじめ専門家の枠 対話があればいいわけですが、あらかじめ専門家の枠

ズレているほうが心地いいんですね。でも、たとえばティティがカッチリするほうがしんどくて、むしろ、自分自身のことを考えると、なんにせよアイデン

それはかえって苦しい面もあると思います。いですが、たしかなアイデンティティを求めすぎると、いですが、たしかなアイデンティティを確立したいといいですが、たしかなアイデンティティを確立したいといいですが、大

を知っていればよくて、 れている。しかしそのアイデンティティの部 のです。ただ他方で、「社会人」としてのアイデンティ があればよいのです。アイデンティティは問われない 個人のある側面のデータがあればよい。 なんですね。個人はデータの束でしかない。ビッグデー 責任でやってください、 いのか、どんな食品を買いたがるのかといったデータ い好みのデータ、たとえばこの人はどんな本を読みた タなんかもそうですが、 ィ形成も強く求められています。自己実現も求めら デンティティの管理ではなくて、データ管理の社会 そうですね。しかも、 つらいですよね。 ということになっている。 そして、 企業はそれぞれのデータだけ 個人全体は知らなくていい。 コントロール社会は、ア つらくなったときの 各企業がほし 分は自己

**#14 中島浩籌さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

山下 いまの社会でアイデンティティ問題が苦しいの山下 いまの社会でアイデンティティ問題が苦しいの 山下 いまの社会でアイデンティティ問題が苦しいの 山下 いまの社会でがしました。ありがとうござい ころに手が届いた感じがしました。ありがとうございました。

すよ、と。

ためにカウンセラーやソーシャルワー

カーを配備しま

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#14 中島浩籌さん

インタビュー日時:2017年1月23日

記事公開日:2017年3月6日

場 所:東京YMCA山手コミュニティセンター

聞き手:山下耕平

記事編集・写真撮影:山下耕平

- 313 - - - - 312 -

#### #15 山田廣子さん

#### そうでしたね。 高校で不登校に

年に亡くなりましたけれども。

に行かなくなったのでしょう。 お子さんは、 何年ごろから学校

学期の終わりごろ、

て書いてきなさい」という用紙があったんです。

た。それで、 の男の子が、

その持ってきてくれる荷物のなかに、

「何でもいいから先生のことにつ

パンとか宿題を持ってきてくれ

れていまし た同級生

休んでいるあいだは、同じ団地に住んでい

### 奥地 親の会を立ち上げられたのは何年ですか?

出 990年1月です。

奥地 トのことは、すでにご存知でしたか? トワーク)を立ち上げた年といっしょですね。全国ネッ (現在はNPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネッ ちょうど登校拒否を考える全国ネットワ ク

山田 ても深刻な話なのに、みなさんそれを笑いに変えてい うシンポジウムに出させていただきました。 れた合宿に行って、主人が「父親が語る不登校」とい とても盛り上がりましたね。 知っていました。主人といっしょに東京で開 その主人も200 内容はと

とってよくないことがあるたび、 生でね。息子は学級委員をしていたんですが、先生に まう」と言っていました。 かったです、 言うんです。 には鍵がかかるんですが、 子が悪いように言われていたんです。 びに、息子に「あなたのせいだ」と言って、すべて息 は50代の女の先生だったんですけど、 行かれなくなったことがありました。 その以前にも、 した。息子は「僕が悪いせいで先生がいつも泣い 1986年で、高校1年生のときでした。 息子のほうが学校に行けなくなってしまいま 悪かったです」って。 そこに息子が行って謝るわけですね。「悪 小学校5年生の3学期に、 先生がそこに入って泣くと クラスで何かあるた そうこうしている それで、理科室 そのときの担任 1カ月ほど て

#### 山田廣子さん #15



(やまだ・ひろこ)

1943年、山口県下関生まれ。1962年に大洋漁業へ入社し、1968年に退社、 その翌年に結婚して 1971 年に長男が、1974 年に長女が生まれる。1986 年、 長男が高校1年のときに登校拒否し、1989年に高校を退学。1990年に親の 会「下関虹の会」を発足。1991年、長男は東京へ。同年、「下関虹の会」の 代表になり、現在にいたる。

インタビュー日時:2016年10月29日 聞き手: 奥地圭子、木村砂織、山口幸子

場 所:ご自宅(山口県下関市)

写真撮影:木村砂織

科室に入ってすぐ泣くようなことはしないでほしい」 と思っていたんですが、息子は「書く」と言って、自 それを学校に持って行ったんです。 らせたりしないでほしい」とか10項目ぐらい書いて、 とか「授業中に机のイスを外に出して、教室で床に座 分がしてほしくないことを箇条書きにしたんです。「理 員に配られたものなのか、息子だけに渡されたものな かはわかりませんし、私は、たぶん書かないだろう

用紙を学校に持っていったのは本人ですか? 床に座らせるというのは、 ひどいですね。 その

「行く」と言って、 本人が持って行ったんです。それからは学校に 行くようになったんですね。

奥地 それは勇気がありましたね

出田 と思って覚悟をしていたところ、 れはひどいことになるぞ」「また親が呼び出されるな」 私のほうは、「ヒステリックな先生だから、こ 案の定、 呼び出され

> と言われたんです。怒られると思っていたんですが 「いろいろ反省せんといけんところが私にあります」 反対にしょぼんとされて、それから「実は……」と、 たんですが、ところがどっこいですね、先生のほうが いたんだろうと思います。 な内容は省きますが、そのイライラが子どもに行って 自分の子育ての悩みごとを話し始めたんです。具体的

年生は休まずに行きました。中学校も何とか通って ですね。それからもうずっと行かれなくなって……。 が、5月の連休明けからパッタリ行かれなくなったん のお友だちも「いっしょに行かないか」と言ってくれ ました。高校は自分が希望して、中学のときの剣道部 まあ、そういう経過があって5年生は終わって、 本人も納得づくめで行った県立高校だったんです 13

#### 理由はまるで わからなかった

奥地 のように思われてましたか? お母さんから見て、不登校の原因や事情は、 تلح

とうにつらかったです。主人も遠洋漁業の船に乗って 周囲には不登校の子どもなんてまったくいなかったん ります。そんな感じですから、息子が小さいときなん 主人のいないあいだに、誕生日を2回迎えたこともあ 出てしまう。長いときは1年半ぐらい出たきりです。 家にいないんです。戻ってきても、また2カ月ほどで 背負いこんでしまっていました。主人は1年間ずっと おりましたから家にはいませんでしたし、 ですね。誰にも打ち明けられない状況で、もう、 一人で孤立って言うか孤独って言うか、ぜんぶ自分に 主人のいないあいだに大きくなっちゃって、会っ 「どこのおじちゃん?」という感じでね まるでわかりませんでした。1986年当時は、 ほんとうに ほん

のね。 手紙は届 当時のことだから、携帯もメー 11 たんですかっ ルもないです

らい ほど経ってからで、その返事が届くのがもう半年後ぐ になるので、 手紙は出せたんですが、本人に届くのは3カ月 そのころには「ええっと、 そんなこ

> と書いたっけ?」っていうような具合でした(笑)。 も私を責めなかったことです。 でも、 本当に救いだったのは、主人が、 ただの一度

奥地 それ は、 すばらしいですね

ころだけが見えるのではなくて、私は生前から常に主 人のことで悪く言ったことはないですね。 んたノロケ言うてから」って、よく言われました。 人のことをほめていました。友だちからは「また、 山田 ほんとうにね。亡くなったから、すばらしいと

ない という話がほとんどですよね。 親の会では、お父さんがなかなかわかってくれ

が、 父、母、お姑さん、舅さん、兄弟、地域の人……。 いう話を聞かされて、 いがいは、 山田
そうですね。まず主人が大変、 ご主人に肩書がある場合は 理解しない大変な人がまわりにいる。そう いつもいっしょに涙するんです (先生と名のつく弁護 それから自分の た

んでどうするか」って言いますね。います。やっぱり社会的な地位のある人は「学校も出士とか教師とか医者とかね)、とくに難しいなって思

奥地 そうね、体面を気にされるからね。

山田 体面をね。そういう点でも、主人はただの一山田 体面をね。そういう点でも、主人はたいの一日のができて第1回の大会では、なしる協力的でした。

## 「虹の会」へ「乗り切る会」から

名前でした。 が、最初は、実は「登校拒否を乗り切る会」っていうが、最初は、実は「登校拒否を乗り切る会」っていう私たちの会は1990年の1月に立ち上げたんです

奥地 そういう名前だったの (笑)。

山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田 最初のきっかけは、お二人の子どもさんが不登山田

奥地 「会をつくりたい」っておっしゃったのは?

の方たちの言われることは、やっぱり何かおかしい。 を1月に向けて立ち上げようという話で、大阪に「登校拒否を乗り切る会」があったので、それにあやかって「登校拒否を乗り切る会」になっちゃったんですね。その先生は大阪とつながりがあったんです。そこに、いろんなお医者さんが来られたりしてたんですが、そいろんなお医者さんが来られたりしてたんですが、そいろんなお医者さんが来られたりしてたんですが、その方たちの言われることは、やっぱり何かおかしい。

きにまずいじゃないか」って。
意見があがったんです。「もし万が一、本人が出たと否を乗り切る会の何々ですが、とは名乗れん」というそしてあるとき、「電話をするときに 〝こちら登校拒

**奥地** そうね。「乗り切る会」なんて本人を否定して

山田 私も「名前を変えたほうがいい」と言いまし山田 私も「名前を変えたほうがいい」と言いました。それで、新しい名前を次の例会(1990年6月)までにみんなで考えようと決めたんです。でも、その先生が「名前を考えてきた方は?」と聞いたら、ほかたんです。それで「虹の会」という名前を提案しました。なぜ「虹の会」かと言うと、そのころ山下英三郎た。なぜ「虹の会」かと言うと、そのころ山下英三郎た。なぜ「虹の会」かと言うと、そのころ山下英三郎た。なぜ「虹の会」かと言うと、そのころ山下英三郎た。なぜ「虹の会」という本を読んでいたとして』(黎明書房1989)という本を読んでいたとして』(黎明書房1989)という本を読んでいたとして』(黎明書房1989)という本を読んでいたとして』(黎明書房1989)という本を読んでいたとして』(黎明書房1989)という本を読んでいた

んです。そのあとがきには、こう書いてありました。

(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中略)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)(中級)</li

たのが、6月から「下関虹の会」になりました。 文章をみなさんの前で読んで、その先生が「みなさん 文章をみなさんの前で読んで、その先生が「みなさん どうですか?」って聞いたら「いいです」ってみんなどうですか?」って聞いたら「いいです。それで、この 私は「これだ!」って思ったんです。それで、この

シャルワーカーとして実践活動を行なった。まれ。1986年から埼玉県所沢市において、日本で初のスクールソーまれ。1986年から埼玉県所沢市において、日本で初のスクールソーまれ、山下英三郎(やました・えいざぶろう):1946年、長崎県生

そして、その年の8月に東京で開かれた全国ネットですが、主人も私も「わからんね~。日本語かね」っですが、主人も私も「わからんね~。日本語かね」って言っていました。あんまり深いお話だから、わからなかったんです。「猫の話はいいから本題に入ってよ!」ってね。「猫の話が大事なのに」って、娘と今よ!」ってね。「猫の話が大事なのに」って、娘と今よ!」ってね。「猫の話が大事なのに」って、娘と今よ!」ってね。「猫の話が大事なのに」って、娘と今よ!」ってね。「猫の話が大事なのに」って、娘と今は、2回ほど虹の会でお呼びしましたし、各地で講演されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されたときなどに10回以上お話を聴いて、ようやく渡されている。

しょう?
め地 第1回の大会で「父親が語る登校拒否」のシン

日目から行かれなくなりました。その後は、まったく年になって、次の年も最初の1日だけ行ったけど、2年にする。 自校は留

うに申し訳ないことをしたと思っています。 込んだんですね。いまから思えば、息子には、ほんとすごく不安だったので、先生に来てくれるよう、頼みは、毎日、家に来てくれました。私も主人はいないし、一度も行きませんでした。1年の担任だった山田先生

奥地 お子さんはどんな気持ちだったかよね

子がこの客間にいたんです。 こない。でも、あるとき先生が突然来て、たまたま息びに、2階にいる息子の名前を呼ぶけど、絶対に出て山田 とんでもないことですよね。先生が来られるた

奥地 この部屋は、玄関のすぐそばですね。

に、身体をグルグル巻きにして、身を隠したんです。山田 そうしたらどうしたと思います? カーテン

のころは、親もどうしていいか、よくわからなかった奥地(姿を見られたくなかったんでしょうね。まだそ

んでしょうね。

そして、2年目に精神科医を紹介されたんですよ。たときは、2階のあの子の部屋から、がリケードを張られいことをしました。そうしたら、バリケードを張られいことをしました。そうしたら、バリケードを張られいことをしました。そうしたら、がリケードを張られいる。息子の部屋の中に入らせんようにされました。

# 思っていても…… 薬なんか飲ませないと

奥地 学校の先生から?

夜逆転している」とか正直に状況を話したら、「それで逆転している」とか正直に状況を話したら、「それで人だけ行こうと思ったんです。「行きました」って担任の先生には無下に逆らえないと思って、義理で、担任の先生には無下に逆らえないと思って、義理で、地田 2年目の担任の先生からです。その当時から、山田 2年目の担任の先生からです。その当時から、山田 2年目の担任の先生からです。

ぜるとかジュースに混ぜるようにと言うわけです。対飲みません」と言うんですね。つまり、薬をご飯に混かせなさい」と言うんですね。つまり、薬をご飯に混とか、延々と言われました。私が「息子は薬なんか絶じゃ、社会人になれません」「薬飲ませんといけん」

山田 息子は絶対に行かないじゃってね……。ました。それで、とりあえず「はいはい」と言って、いちおう薬をもらって帰ったんですけど、やっぱりね……揺らぐんですね。「絶対、何を言われても、薬をもらっても飲ますものか」と決心して、「ただ義理で行くだけだ」って自分に言い聞かせて行ったにもかかわらず、帰るときには「本当にそうなのかな」「社会人になれんのかな」って揺らいじゃってね……。

奥地 不安になっちゃうんですよね。

山田 そうなんですね。それで、大分で小児科医をされている矢野英二先生に相談しようと思って、電話したんです。矢野先生は、下関の「子どもの広場」という子どもの本を売っている書店によく来られていたんですね。そこでお話をうかがっていて、不登校に対する姿勢はちゃんとされていたので相談しようと思ったんですが、もう、けんもほろろ、ものすごい勢いで怒られたんです。「今まで何を勉強していたんですか!」って怒られて、「うわー、ほんとうにそうだ」と思って、「わかりました」と言って、電話を切ったんです。それでかりました」と言って、電話を切ったんです。それで本は捨てました。

て言ったから、驚いたやろう」って言われたんです。は「山田さん、あのときはひどい口調で言うて、すまは「山田さん、あのときはひどい口調で言うて、すまは「山田さん、あのときはひどい口調で言うて、すまは「山田さん、あのときはひどい口調で言うて、すまは「山田さん、あのときはひどい口調で言うて、すまは「山田さん、条野先生と下関でお会いしたとき、矢野先生

ませていません」って言いました。

#### 会の代表に

ころ、「自分はやっぱり働かないと、子どもも2人い 言ったんです。私は「とんでもない!」って。私はそ すから、私はその恩は忘れたらいけないと思ってます。 らっています。会を最初につくられたのはその先生で 命日なので、毎年、命日には娘と二人で拝まさせても き受けられない事情がある」と言われて、 て、食べさしていかんといけないので、代表を降りた んな器ではない、内助の功の役割はできるけれども 1992年にガンで亡くなられたんです。9月26日が 「お願いできませんか?」って言ったら、「自分には引 い」って言ったんです。それで、その中学の先生に の方はご主人を亡くされていたので、会が2年目の いて、私は何もしていなかったんですね。でも、そ それで、主人が私に「おまえが代表をやれば」って の会の代表は、最初の1年間は別の方がされ その先生は

もんで、「できない!」って。

でも、主人は「じゃあどうするんだ」と言うし、中でも、主人は「じゃあどうするんだ」と言うので、まおくれよ。あとはぜんぶ私がします」と言うので、「まおくれよ。あとはぜんぶ私がします」と言うので、「まおくれよ。あとはぜんぶるがします」と言うし、中でも、主人は「じゃあどうするんだ」と言うし、中でも、主人は「じゃあどうするんだ」と言うし、中

う1回を家でやれば?」と言ってきたんです。 くわえて、主人が「月に1回の例会では少ない。も

奥地 それはすごいね。

ましたし。 ましたし。 主人は「うちの家だったら、子ども連れてきて山田 主人は「うちの家屋にはマンガ本もたくさんあり屋に親が集まっていました。子どもは子どもで2階で屋に親が集まっていました。子ども連れてきて

すね。 奥地 じゃあ、ちょっとした居場所になっていたんで

います。 山田 そうそう。そういう感じで10年ぐらいはやっていました。最初のころは100名近い会員さんがいたいました。最初のころは100名近い会員さんがいたいました。最初のころは100名近い会員さんがいた

## たいへんなのは学校

う言ったんです。 方が来られたんです。そうしたら開口一番、息子がこあるとき、家で会を開いているところに、NHKの

か。僕は何も言うことありません」でいる子どもたちは、たいへんな状態で学校に行っている子どもで、家にいる僕は守られているから、どうもないんだ。だから学校のほうに取材に行ってくれませんいんだ。だから学校のほうに取材に行ってくれませんが。僕は何も言うことありません」

すばらしい

山田 ぶさってきて、 うとしたら、何か莫大な、大きなものが自分に覆いか なくなったんですか?」ですね。息子は「自分でもわ かりません。ただ、しいて言えば、学校の校門に入ろ した。かならず出る質問は、「どうして学校に行かれ に、質問に対して応えてもらうようなことをしていま ほかにも、息子には、親の会とか講演会の際 息苦しくなって、すごく何とも言えん

少しおかしいなと思われただろう」と思ったのね。そ があったら入りたいな~」と思ったの。「先生方がた 気持ちになる。息苦しくなる」と言っていました。 くさん来ているのに、ひどいことを言うな。 しても許されません」と言ったの。そのとき、私は「穴 4、3、2、1とランク付けするということが僕はどう せんが、あえて言えば、学校というところで人間を5、 なかで、そういう質問が出たときは「原因はわかりま それから、ある講演会で先生方もたくさん来ている やっぱり、

> 会で、奇しくも大田堯先生(本プロジェクトインタ 私は息子が何十年も前に言ったことを思い出して、 ビュー#05参照)が同じことをおっしゃったんです。 れほど学校信仰が私の中で根深かったんです。それが 場で言いました。 敬する大田堯先生が息子と同じことを言われるのを聴 ね、2014年に埼玉で全国大会があったとき、講演 いて、「今日はほんとうにうれしかったです」と、

ことですよね。そこがすごいですよね。 すよね。直観力も優れているし、それを大勢の前で表 現できるし、 息子さんは、本質的なことをわかって お子さん自身が自分を持っていたという 11 たん で

かケンカとか、 んだ。機嫌が悪いときは、たぶん家で何かいざこざと かったりする。それは教室に入るときにパッとわかる 「学校の先生は、その日によって機嫌が悪かったり良 られました。もう一つ、こうも言っていました。 山田 息子には、ほんとうに、いろいろなことを教え 何かあったな。大人である先生が、

はないと思った」 るで子どもじみていて、こんな人から自分は習う必要

と思いました。 の講演を聞いて、 最初のころは、そういうことを大勢の前で言われる 私はもう、 困っちゃいました。でも、大田堯先生 息子はすでに気がついていたんだな

すか? 奥地 息子さんは、 高校2年目以降はどうされたんで

した。 出 3年目になって「もう辞める」と本人が言い ま

奥地 学校に行く意味を考えちゃったの

### **劇団に入っ**

出 旅立ったんですが、 いと言っていて、 そうですね。 大検(現在の高認試験)を取るため それまでは、高校の教師になりた それで20歳になって半年で東京に

> だ言えない」って言うんですね。それで、 て東京から電話がかかってきたんです。 に行って帰ってきたんです。そして、1カ月ぐらいし 「何ごとかね?」と聞いても「はっきり決まるまでは、 然「ちょっと東京に行ってくる」って言うんですよ。 に小倉の予備校に手続きに行ったんです。 ちょっと悪いけど絶対に言われない」と言って、東京 は行かない。あるちがうことをやる。 から帰ってきて、急に変わったんですね。「予備校に でも、 でも、小倉 ある日突 それはま

というチラシを見て「よし」と言って行ったんですね。 岡へ公演に来ていたんです。そこで息子が製作者募集 出せないが、それでいいか?」ということで。 先方も「自分の劇団は貧乏でお金がないので汽車賃も KERAさんという方が主宰する劇団で、ちょうど福 それで、「劇団健康」という劇団に入ったんです。

動産屋さんに行って、 東京へはついていかなかったです。自分で不 下北沢の、 家賃3万ぐらいの、

心に旗揚げされた劇団。田口トモロヲさんも参加していた。92年に解 \* 2 93年からは「ナイロン100℃」として活動している。 985年、バンド有頂天のボーカルだったKERAさんを中

布団だけ送ってね。 安くて古い風呂もトイレも共同の下宿に決めて。 私は

劇団に通ったの?

田

それで猛烈にがんばったけどね。

そうですよ。

ているようです。

何年目かで辞めて、独立ってわけじゃないけど、

も演劇には関わっていて、

自分で脚本書いたりとかし

いま

奥地

いま何歳になられたんですか

45歳です。 いま、いっしょに暮らす彼女もい

て、

出

やりたいことをやっているみたいです。 **「はい、さよなら」** 

絶対にできない

奥地 の不登校だったわけですけど、 らすようになってからも、ずっと虹の会をやってこら 親の会を始めたきっかけは、ご自分のお子さん お子さんが自立して暮

れたわけは?

出

すね、息子の不登校時代、 孤独でつらくて苦しくって、関門海峡に息子と身 よいところを聞いていただきました。それはで ものすごく私自身が孤立し

投げしたいぐらいの気持ちだったんです。

教師に会ったときには立ち止まって、最敬礼して、「先 生こんにちは」と言ってたくらいです 私は学生時代はほんとうに生真面目な生徒で、 (笑)。 町で

奥地 戦後すぐですよね

時代でも、 山田 やつのある家もあったんですよ。「うちは、 こらない。 に火をおこして、でも消し炭がないと火がなかなかお も働いていたから、自分でおかずを買ってきて、七輪 飯のおかずを買いに行ってね。家が貧しくて、両親と 私は100円持って、手編みの買い物籠をさげて、 小学校入学が昭和25年です。 子どもが「ただいま~」って帰ったら、 消し炭がなかったら涙が出てきてね。その 小学校4年から、 どうして 夕

よかったなって。 たことに、年が経つにつれて感謝しています。 貧乏なんだろう」と思ってましたけど、貧乏で生まれ すごく

貧乏人を選ぼうと思ったの。 自分でアルバイトしたお金で大学に行って、 分でアルバイトして高校まで行って、船に乗ったけど、 おたがい貧乏で育っていたら、貧乏人の苦しみや、 の人だったら絶対に合わないだろうと思ったんです。 て結婚しました。 強して免許を取って大洋漁業に入社して、 いつまでも下積みだからと言って、船から上がって、 の優しさがわかるから。そうしたらほんとうに的中し だから私は、自分のパ 主人は貧乏人だったんです。貧しかったから、自 ートナーを選ぶときは絶対に なぜかと言うと、 私と出会っ そこで勉

奥地 けてこられたのは、ご自身がすごく孤立してつらかっ た経験があって、 なるほど、なるほど。話を戻すと、 ということでしたね。 虹の会を続

出 話が飛んじゃって、すみません。 そんな苦しみ

> はつらくあたらなかったから、そこは別問題ですけど。 んに味わってほしくなかった。ただ、私の場合、 ないと思ったの。自分と同じ苦しみを、 ほかの親御さ

なったからと言って「はい、さよなら」は絶対にでき

があったものだから、自分の子どもが不登校でなく

奥地 ほかの人はそうだもんね

位さんは、学校に行かなくなったら、子どもが犬や猫 いうか、 さんでしたけどね。そういうことを思うと、やっぱり、 地域の人たちにわかっていただききたい。 自身も不幸だし、母親も大変な状況ですからね。 さっさと逃げるわけにいかんって思ったの。防波堤と 方といっしょに泣いてしまいます。 ていたけど、 になるのか した。不登校を正しく理解してもらわないと、子ども んやなかった」と言われたとかね。その方は医者の奥 山田そう。 私は残って、 (犬や猫に失礼だけど)って、よく言われ そういう社会の異常な状態を、 もう、ほんとうにすさまじい。相談者の いっしょにやるべきだと思いま 「こんな嫁もらう そのために 少しでも 渡辺

う思いがすごくありました。登校を正しく理解していただくように広めたいっていは、すばらしい方を呼んで講演をして広げたいと。不

ただ、自分の弱点は自分がよく知っているものですから、誰か次の代表になる人をと思って目星をつけるんですが、みんな子どもが巣立つと「お世話になりました」って辞めていくんですね。もうがっくりですよね。でも反面、とてもうれしいことでもありますけれどね。それで、いつか、奥地さんに講演に来ていただとね。それで、いつか、奥地さんに講演に来ていただとれる。それで、いつか、奥地さんに講演に来ていただいたときに……。

奥地 会を辞めようかってね、相談があった。

山田 相談しましたね。そうしたら、「いいじゃない。 山田 相談しましたね。そうしたら、「いいじゃない。だから、あなたがやれるまでやったらどう?」って。ふつうだったらがやれるまでやったらどう?」って。ふつうだったらがつぶれたらどうするの? 責任を持って、ちゃんとがつぶれたらどうするの? 責任を持って、ちゃんと

ずいぶん楽になりました。いました(失礼な言い方でごめんなさい)。それから、いました(失礼な言い方でごめんなさい)。それから、でも、反対のことを言われて、奥地さんは大物だと思相談する前には、そう言われるかなと思っていました。

奥地いつでも辞められると思ったら。

山田 よけいに、ますます元気になって(笑)。

したね。そこは、今も活動しているんでしょうか。 正施設が、フリースクールを名乗っているけど、そこ 正施設が、フリースクールを名乗っているけど、そこ 正施設が、フリースクールを名乗っているけど、そこ 正施設が、フリースクールを名乗っているけど、そこ 正施設が、フリースクールを名乗っているけど、そこ に行ったら1杯数千円の水を買わなきゃいけないと かる がいましたね。そこは、今も活動しているんでしょうか。

# この地獄から逃れるには

山田 今もあるかなあ……ちょっと、わからないです。

に行っていて、すごく頭がよかったんです。あのとき は高校2年だったんですが、虹の会につながったきっ かけは、おばあちゃんが虹の会のことが載った新聞記 かけは、おばあちゃんが虹の会のことが載った新聞記 もし登校拒否なったらここに行かせよう」と思って。 もし登校拒否なったらここに行かせよう」と思って。 もし登校拒否なったらここに行かせよう」と思って。 おちゃんが相談に来られたんです。その次にお父さん が来て、その次に、お母さんと息子さんが来ました。 お母さんが先に帰って、私は息子さんとした。 たんですが、すばらしい息子さんでした。

寝ようが、テレビ見ようが、 合いのあるものを、ぜんぶ身の回りからよけてみた か?」って言うのね。私も涙してね。「学校と関わり ん、この地獄から逃れるにはどうしたらいいでしょう んだと思う」と言ったのね。そうしたら、「おばちゃ ね。私は「いや、そんなことない。 彼は、「おばちゃん、 もっと地獄なんでしょうか?」 24時間、 あなたの好きなように、 いまが地獄だ。社会に出 パソコンしようが、 って言ったんです いまが一番たいへ 朝から晩まで マン た

好きなことをして過ごしたらどう?」って言って「そうしたら地獄から逃れられるでしょうか?」って間くから、「たぶん逃れられるんじゃない」って言ってね。彼は「自分の苦しみで、大人でいっしょに泣いてね。彼は「自分の苦しみで、大人でいっしょに泣いてくれたのは、山田のおばちゃんだけだ」って言ったの。

子が 苦しくて脱走して、ところが、そこでは犬を5 う、そういう変なところにあずけられたんです。 飼っていて、犬に追わさせて噛まさせたんです。 と涙が出ます。ずうっと、 を聞いて腹が立ってね。ほんとうに、 新興宗教に行ったら新興宗教にという具合で、 ト教に行ったらキリスト教に、仏教に行ったら仏教に、 その子はね、優しいんですよ。だから、 か わいそうで……。 つらいことをさせて、 そのことを思う 親がキリス とうと でも、 それ **6** 匹

でしょうね。 奥地 ほんとうにね。その子、その後はどうなったん

# 奥地 そう。親から離れたんですか?

出

その後、

四国の大学に入ったんですね。

ないことにしています。 と聞けば、「ああ、よかったね」って言うんですけど、 ができました」「就職できました」「大学行きました」 向こうから報告があったら、「ああ、 私からは、いっさい聞かないようにしているんです。 けっしてこっちからは と返しますけど。 田 そうですね。 ほかの方でも、「結婚しました」「孫 でも、 「どうされました?」 気になっても。 それからはわかりません。 よかったですね」 って聞か

ました。

奥地 そうね。そういうもんです。最後に、もう一言。

が、子どもに約束されていてほしいと思っています。いるけれど、不登校やいじめで死を考える子どもが減いるけれど、不登校やいじめで死を考える子どもが減いるけれど、不登校やいじめで死を考える子どもが減い。

むがれた30年間の心打たれるお話、ありがとうございまりずっと不登校が理解されない時代に、下関の地になりずっと不登校が理解されない時代に、下関の地になりがならのご縁、そして、山田さんというお人柄のつれてからのご縁、そして、山田さんというお人柄のつれてからのご縁、そして、山田さんというお人柄のつれてからのご縁、そして、山田さんというださいました。いま奥地 今日は、どうもありがとうございました。いま

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #15 山田廣子さん

インタビュー日時: 2016年10月29日

記事公開日:2017年4月25日場所:ご自宅(山口県下関市)

聞き手:奥地圭子、木村砂織、山口幸子

まとめ:奥地圭子 写真撮影:木村砂織

#### #16 清水將之さん

#### #16



(しみず・まさゆき)

1934年、兵庫県芦屋市牛まれ。1960年、大阪大学医学部卒業、1965年、 同大学院修了。医学博士。大阪府立中宮病院、大阪大学医学部精神医学教室、 名古屋市立大学医学部精神科助教授を経て、三重県立こども心療センターあす なろ学園園長(現在は三重県特別顧問)、日本子どもの未来研究所所長、関西 国際大学名誉教授、神戸レインボーハウス顧問。著書に『青い鳥症候群』(弘 文堂 1983)、『思春期のこころ』(NHKブックス 1996)、『新訂 子ども臨床』(日 本評論社 2009)、『養護教諭の精神保健術―子どものこころと育ちを支える技』 (北大路書房 2013) など多数。

インタビュー日時:2017年1月30日

聞き手:山下耕平、田中佑弥

所:ご自宅マンションの談話室(神戸市)

写真撮影:山下耕平

屮 11 今日は、 長期的な視野から、

親と作業をともにしながら、大人になっていったわけ 近代に入るまでの時代は、ほとんどの民衆は農漁民 子どもは農作業や浜仕事のできる年齢になれば、 まずは、 学校がない時代には不登校はあり得なかった そこから考えてみたいと思います。 で

子弟のための、 国学は郡司の子息のための学校です。 儒教を教えていました。 主要都市に国学が設置されました。大学は貴族のため、 701年に大宝律令が施行され、 公務員養成所のようなもので、 都に大学が、 いわば支配層の おもに 地方

開かれた寄宿舎制の学校だったと言えます。 ます。藤原冬嗣が建てたもので、これは一般貴族にも は誰でも来ていいという学校だったんです。 ます。これは身分貧富にかかわりなく、 さらに829年になると、 平安時代に入って、821年、 空海が綜藝種智院を開 京都に勧学院ができ 勉強したい 学費は無

ただけるということですが。 不登校について

料で、教員にも生徒にも給食まで供されていたそうで 閉鎖されてしまいます。もちろん、史料もほとんど残っ 思想・学芸を総合的に学ぶことのできる場だったよう す。空海は教育論も書いていて、その写本が残ってい てないから、 儒教だけではなく、 実態はわかりません。 綜藝種智院は空海が他界して4年後に 仏教、道教など、あらゆる

#### 庶民に 開かれた寺子屋

ばボランティア活動で成り立っていました。 室町期に始まり、 その後、庶民に教育の機会が広がるのは寺子屋です。 神官、 僧侶、 医者などによる、 いわ

れますが、 きました。 読み書きそろばんが庶民にも必要になり、広まってい とくに、大坂では商取引が盛んになったこともあって、 社会が安定してきたことも影響しているのでしょう。 しかのようです。ちょっとした町には寺子屋があって 本格的に広がるのは、江戸時代に入ってからです。 その数、日本全国で1万とも3万とも言わ いずれにしても、 万単位であったことはた

には領内に62カ所の寺子屋がありました。いました。備中松山藩は禄5万石の小藩ですが、幕末一般庶民の子が通っていた。武士の子どもは藩校に通

親の出せる範囲で付け届けをするぐらい。寺子屋は来寺子屋には授業料がなかったようです。盆や暮れに、

不登校など生じ得ない状況だったと言えるでしょう。らで勉強して、バラバラで自由自在だったようです。が浮世絵に残っています。こちらで遊んでいて、あち

子どもは、悪いことをすると、

左手に火の付

いた線



一掃百態 寺子屋図 渡辺崋山画 文政元年 田原市博物館蔵

設しています。 池田光政は、他藩に先駆けて、藩校の岡山学校も開

庶民の子も、いろんな学生がいたようです。 開谷黌は勉強したい子は誰でも、1年間、無料で食 関谷黌は勉強したい子は誰でも、1年間、無料で食 展子の子も、いろんな学生がいたようです。 強烈ないじめもあったそうですが(城山三郎『わしの眼は十年先が見える』新潮文庫)、資産家の子もしの眼は十年先が見える』新潮文庫)、資産家の子も、いろんな学生がいたようです。

## 民衆がつくった学校

る場所があったわけですね。 日本には、近代以前にも、身分を問わずに学べ

清水 だ、それでも言うことをきかないと、 き学校のひとつに、 屮 させられた。懲罰と言っても、牧歌的なものです。た 光政は領内をくまなく視察し、 1670年、 だけ広がっていたというのは、 れにしても、 て行かされたということです。 門となり、 香、右手に水の入った手桶を持って、文机の上に正座 学校に領地を与えました。学田や学林を運営さ 寺子屋は集団教育ではなかったわけですね。 そうですね。 自分で持ってきていた文机を背負って、 近代以前に民間による教育の場が、 岡山藩主の池田光政が開いた学校です。 閑谷黌(閑谷学校)があります。ほかにも、江戸時代で特筆すべ すごいことですね。 場所を選定して敷地を 師匠の一存で破 それ 出

良し悪しは別にして、1872年の学制施行後、たっ 良し悪しは別にして、1872年の学制施行後、たっ たい こまの側からすれば学制は富国強兵のためでも あったわけですが、それ以前からの寺子屋などがベー あったわけですが、それ以前からの寺子屋などがベースになっていたわけです。

ば地区センターのような役割も持っていました。 きています。番組というのは、住民自治組織のようなものです。番組ごとに京都市内に4の学校をつくった。 しかも、町方の寄付だけでつくっています。これはす しかも、町方の寄付だけでつくっています。これはす はなくて、保健所機能や、消防団機能もあって、いわはなくて、保健所機能や、消防団機能もあって、いわばなくて、保健所機能や、消防団機能もあっていました。

しょう。西陣があり、知識人が多くて、ゆとりのあるでしょうし、それを支える旦那衆もいたということでそれが可能だったのは、京の都という自負もあった

るのも帰るのも三々五々。

そのようすが描かれたもの

の旦那衆の財力が推量されます。

それから、1889年に山形県鶴岡市の大警寺境内に開かれた忠愛小学校があります。お坊さんたちが話し合い、宗派を超えて、貧しくて学校に行けない子どもを引き受ける学校をつくったんです。赤ん坊の弟妹を連れてきてもよかったし、弁当を持ってこれない子を連れてきてもよかったし、弁当を持ってこれない子が学校給食の元祖なんです。いまも学校給食発祥の地が学校給食の元祖なんです。いまも学校給食発祥の地が学校給食の元祖なんです。いまも学校給食発祥の地という石碑が寺の境内に建っています。

れてきた動きもあったわけですね。 学校は上からつくられただけではなく、下からつくらん とがしている といれてますし、

情水 そうです。1872年に学制ができた当初は、清水 そうです。1872年に学制ができた当初は、 高って、1873年6月には、鳥取県で徴兵制の反対 と小学校廃止を求めて農民が蜂起しています。そ 月には徳島でも学校焼き討ち事件が起きています。そ りいう事件が各地であって、けっして順調に就学率が

上から学校をつくってきたという面を言えば、上から学校をつくってきたという面を言えば、そ1884年には、文部省が不当と認めた場合には、そ小学校の教科で兵式体操実施を行なうことが明文化されます。これらなどから、あきらかに兵士養成を前提れます。これらなどから、あきらかに兵士養成を前提れます。これらなどから、あきらかに兵士養成を前提れます。

いったわけです。第1次「小学校令」に就学猶予規れて、何度か改訂されて、だんだんに法制化されてできました。同年に第1次小学校令と中学校令が出さるれから、1886年に師範学校(教員養成所)が

義務化されたときです。

門拳さん 私は1934年生まれですが、 実際問題としては、貧しかったり、家業を手伝う労働 が100%近くに達していることになっていますが、 たちのようすを写真に残してますね。 て子守をしていた情景の記憶があります。 うことはありましたね。子どもが赤ちゃんをおんぶし て、 力だったり、 文部省の統計では、学制発布から40年ほどで就学率 学校に行けていない子はたくさんいたわけです。  $\begin{array}{c} \widehat{1} \\ 9 \\ 0 \\ 9 \end{array}$ 幼い弟妹のめんどうをみないといけなく İ 990)が、 私のころでも、 そうした子ども 写真家の土 そうい

田中 清水先生の小学校時代のことをうかがえますで

しょうか。

#### 国民学校で

清水 私は、じつは小学校に在籍していないんです。

**山下** 国民学校だったということでしょうか?

清水 そうです。ちょうど6年間、国民学校でした。

国民学校は、どういう感じだったでしょうか?

田中

清水 1年生の12月8日の朝、「戦争が始まった」と清水 1年生の12月8日の朝、「戦争が始まった」と ですし、竹槍訓練だとか手榴弾(木製)を投げる練 下ですし、竹槍訓練だとか手榴弾(木製)を投げる練 下ですし、竹槍訓練だとか手榴弾(木製)を投げる練 \*1 国民学校:1941年の国民学校令によって設立された、初等 教育と前期中等教育を行なっていた学校。教育勅語の教えをもって皇 教育と前期中等教育を行なっていた学校。教育勅語の教えをもって皇 教育と前男中等教育を行なっていた学校。教育勅語の教えをもって皇 教育と前男中等教育を行なっていた学校。教育勅語の教えをもって皇 教育と前男中等教育を行なっていた学校。教育勅語の教えをもって皇 教育と前男中等教育を行なっていた学校。教育財子校と中学校に改組さ が濃厚だった。1947年の学制改革で新制小学校と中学校に改組さ が濃厚だった。1947年の学制改革で新制小学校と中学校に改組さ が濃厚だった。1947年の学制改革で新制小学校と中学校に改組された。

敗戦の年は10カ月ほど、縁故を頼って福井県へ疎て、5年生の夏に敗戦となったんです。

敗戦の年は10カ月ほど、縁故を頼って福井県へ疎開していました。もともと住んでいたのは芦屋で、いまとしい家庭の子もいましたし、漁師町もあって、いまとはだいぶ様相がちがいました。自宅のあたりは無事でしたが、空襲もありました。

不登校 50 年証言プロジェクト

田中 中学校は新制中学校でしょうか?

使ったりしていました。 入っても校舎がありませんでした。隣の小学校の講堂を借りて、間仕切りして授業を受けたり、空き教室をを借りて、間仕切りして授業を受けたり、空き教室をを借りて、間仕切りして授業を受けたり、中学校に

なっていましたから、それを使って教育をしているとです。抜き打ち検査が来ると「世界地図を隠せ」と言われて、窓の外のひさしに隠したりし図を隠せ」と言われて、窓の外のひさしに隠したりしなっていました。当時の世界地図は、朝鮮半島が日本領になっていましたから、それを使って教育をしているとなっていましたから、それを使って教育をしているのは、進駐軍の抜き打ち検

山下 国民学校時代に教えられていたことがウソだっ

清水 そう思っていました。 記憶にないと言っていました。 ないですね。一学年上の中井久夫さん(精神科医)も 塗の教科書だったと言いますが、なぜか、その記憶も をいですね。一学年上の中井久夫さん(精神科医)も でいですね。一学年上の中井久夫さん(精神科医)も はの場合、そういう記憶はあまりないのです。世間で はいですが、なぜか、

戦争は負けるよ」と言ってましたね。
の影響もあったのかもしれません。戦争中から「このの影響もあったのかもしれません。戦争中から「こので、それとで、戦中は反体制的なところがあったので、そ

### 氏間による福祉

ておきましょう。
りました。そのことも少し、教育との関連で思い出しりました。そのことも少し、教育との関連で思い出します。

思います。岡山孤児院では、最盛期には1200名の 三郎さんが「石井先生の名前を汚してはいけないから」 孤児を養育して、その後、宮崎に移って孤児院を立ち 広まって、孤児院になったそうです。社会福祉制度の れて引き受けたところから始まった。それが口伝えで てられないので、一人あずかってもらえないかと言わ そもそもは、 が日本孤児教育会(後の岡山孤児院)を開設します。 でしょうか まどきの財界 『大原孫三郎-しまいます。巨額の借金が残ったようですが、大原孫 上げますが、 ない時代に、寄付を集めて運営して苦労されたことと 利息も含めてぜんぶ支払ったそうです(兼田麗子 887年に石井十次さん(1865-1914) 人に、 石井十次さんは48歳の若さで亡くなって お遍路さんの女性が、子どもを二人は育 -善意と戦略の経営者』中公新書)。 そういう懐の深さを持つ人はい V

上げてきたものとが、せめぎあっていたということが国が上から統制してきたものと、民間人が下から立ち国。ここまでのお話で、教育にしても福祉にしても、

言えそうですね

清水 そうなんですね。一面的ではないわけです。 ・もうひとつ、虐待についての視点も重要です。明治 以降、近代に入ってもしばらくは、子どもの虐待と いう視点はなかったのです。子ども虐待という視点 が日本でいつできたか、1916年に三田谷啓医師 が日本でいった。先駆的な施策だったと思います。

おかし げて、 待について語った例としては、 アメリカ いかと思います。ずっと後になって、1 ト、性的虐待などを記述しておられる。医者が児童虐 三田谷医師は新聞記事から116例の事件を拾 9 8 4 いまで言う身体的虐待、心理的虐待、ネグレク いと思って調べはじめて、 の医師ケンプ(Henry Kempe が、不自然な骨折のレントゲン写真をみて、 世界でも最初ではな 子ども被殴打症候群 961年に、 1 9 2 2 13

が指摘していたわけです。 の元年と言われていますが、その45年前に、日本人のが指摘していたわけです。

1919年には、社会運動家の賀川豊彦さん(1888-1960)が「児童虐待防止論」という(1888-1960)が「児童虐待防止論」というたとえば、赤ん坊を貸す親がいて、それを借りた人がを親に渡す。そういった、いろんな貧困の実態を書いています。日本では、1933年10月1日に児童虐待防止法が施行されましたが、子どもの貧困のすさまじさが、法制化につながったと言えます。

う思いのほうが強かったのではないでしょうか。たり、治安維持法が制定されたり、急速に右傾化が進たり、治安維持法が制定されたり、急速に右傾化が進たのころの政治情勢を考えると、国際連盟を脱退し

話だけではなくて、それはいまに続く問題でもあるわを含めて考えることが必要だと思います。古い時代の不登校を多角的に論議するのであれば、貧困や虐待

ていたのは、押さえておきたいことです。くさんいる。そういう問題意識が大正時代から出発しけですからね。いまだって行政上、行方不明の子もた

# 児童精神医学の始まりは

ようというところに、医療が参入していったわけです。社会から排除されていたわけですが、そこを何とかしし、家族にも地域社会にも影響したからでしょうね。目につくがは知的障害から始まっています。目につく清水 ドイツでもフランスでも、アメリカでも、子ど

ね。それを病院に収容していった。
山下 それまでは私宅監置だったりしたわけですよ

ドイツでは、1887年にエミングハウス(Hermann清水 病院というより施設です。施設化が始まった。

Emminghaus 1845—1904)が教科書を刊行したのが児童精神医学の最初です。フランスでも行したのが児童精神医学の最初です。フランスでも知的障害児の療育を始めています。セガンはナポレオン・ボナパルトの圧政を避けて、1848年にアメリン・ボナパルトの圧政を避けて、1848年にアメリン・ボナパルトの圧政を避けて、1848年にアメリン・ボナパルトの圧政を避けて、1848年にアメリカへ渡り、アメリカで最初の知的障害児学校の校長にカへ渡り、アメリカで最初の知的障害児学校の校長にカへ渡り、アメリカで最初の知的障害児学校の校長においている。

ていて、だいぶ遅れて医療が入ってきた。始まっています。民間の善意の人による福祉が先行し始まっています。民間の善意の人による福祉が先行し

本来、児童精神科の臨床というのは、医療、保健、本来、児童精神科の臨床というのは、医療、保健、いない医者は、ほんとうの児童精神科医とは言えませいない医者は、ほんとうの児童精神科医とは言えません。そういう意味では、日本にどれほど児童精神科医に成り立つるということでもあります。そこをしっかり理解してるということでもあります。そこれに成り立つと言える医者がいるか、疑問ですね……。

田中 投薬だけの治療も多くなっているようですね。

清水 それは、おおいに問題ですね。そういう医者に は、児童精神科医と騙らないでくれと言いたいです。 な、児童精神科医と騙らないでくれと言いたいです。 は、児童精神科医と騙らないでくれと言いたいです。 は、児童精神科医と騙らないでくれと言いたいです。 は、児童精神科医と騙らないでくれと言いたいです。 は、児童精神科医と騙らないでくれと言いたいです。

初と言えるでしょう。 山下 児童精神医学で不登校に着目したのは、誰が最

二つの論文はいずれも、アメリカ矯正精神医学雑誌 が学校恐怖症 (school phobia) を提唱する。 Broadwin)が怠学(truancy) (American Journal of Orthopsychiatry) ンソン(Adelaide M. Johnson 1859-人が最初だと思います。その9年後、1941年にジョ いまからすると、 1 932年に 書く媒体がちょっとちがうよ ブ 口 を提唱しますが、この 1 ド ゥ イ に載ってい ン 1 9 5 5 ) (Isra この

うな。子どもの社会問題としては非行が目についたんでしょち上がったころの論文が、いくつも出ています。当時、ち上がったころの論文が、いくつも出ています。当時、方に感じますが、あのころは、ほかに書く場所がなかっ

など、いろいろな用語が出てきました。 でfusal)、不登校に相当する non-attendance at school refusal)、不登校に相当する non-attendance at school など、いろいろな用語が出てきました。

たの人の見方によって表現や枠組みが変わるのです。たの人の見方によって表現や枠組みが変わるのです。たの人の見方によって表現や枠組みが変わるのです。たの人の見方によって表現や枠組みが変わるのです。たら、そういう見方はしなかったのではないかと推量さら、そういう見方はしなかったのではないかと推量される例です。

れと似ていますね。 の精神分裂病ではないかと考えていたそうですし、その精神分裂病ではないかと考えていたそうですし、そ山下 高木隆郎さんの場合も、当初は不登校を児童

てしまう。これはおかしい、となった。たということでしょう。ところが、入院させると、治っ要な課題でした。それで、まずはそういう枠組みで見薄水(そうですね。従来、精神医学は統合失調症が主

いうことのようですね。山下のアメリカでは、カナーが最初の児童精神科医と

の頭のなかで、最初にできたようです。 イヤー(Adolf Meyer 1866―1950:精神科医) イヤー(Adolf Meyer 1866―1950:精神科医)

カナーはドイツ人で、初めはベルリン大学で内科医

を行ない、1959年に発表した(「長欠児の精神医学的実態調査」)。精神科医。1956~1957年に京都市で長期欠席児童の実態調査\*2 高木隆郎(たかぎ・りゅうろう):1929年、三重県生まれ。

常設化していったようです。 常設化していったようです。 おったようです。ある財団からの財政支援を受けて、 がったようです。ある財団からの財政支援を受けて、 担当するようになったんです。しかし、当初は児童精 担当するようになったんです。しかし、当初は児童精 担当するようになったんです。しかし、当初は児童精 といったようです。ある財団からの財政支援を受けて、 がったようです。ある財団からの財政支援を受けて、 がったようです。ある財団からの財政支援を受けて、 がったようです。ある財団からの財政支援を受けて、 がったようです。ある財団からの財政支援を受けて、 がったようです。 がったようです。 がったようです。 がったようです。 がったようです。

以前、1936年のアメリカの精神科診療所の住所以前、1936年のアメリカの精神科診療所の住所に33カ所と、3分の2は東部の大都市に集中していまかし、ニューヨーク州に90カ所、マサチューセッツ州かし、ニューヨーク州に90カ所、マサチューセッツ州に30カ所と、3分の2は東部の大都市に集中していました。

日本人で唯一、カナーの下で学んだ牧田清志医師日本人で唯一、カナーの下で学んだ牧田清志医師できたのでしょう。

### 自閉症と登校拒否

は、1950年代ということでよいでしょうか。 童精神医療がつくられて、それが日本に入ってくるの 山下 いずれにしても、アメリカで1930年代に児

清水 そうです。登校拒否については、佐藤修策さんの論文(「神経症的登校拒否行動の研究―ケース分析の論文(「神経症的登校拒否行動の研究―ケース分析の論文(「神経症的登校拒否行動の研究―ケース分析の論文(本プロジェクトインタビュー#01参照)。同年に、高木隆郎医師が京都市で長欠児の調査を行なっていますが、高木医師の頭のなかで、登校拒否というながあって調査されたのかどうかはわからないですね。調査の結果、後に登校拒否と呼ばれることになる事例も入っていたということでしょう。

究センター)の紀要に掲載されました。そして、児童して国立精神衛生研究所(現・国立精神・神経医療研沢たえ子)が「学校恐怖症の研究」という論文を発表して国立精神の年に鷲見たえ子さん(精神科医/現在は中

校恐怖症がブームになった。回大会になると、何ケースか報告されて、いっとき学順大会になると、何ケースか報告されて、いっとき学精神医学会の第1回大会で報告なさった。そして第2

名を変更)。 そのあたりで、日本で児童精神医学が始まったと言えます。日本児童精神医学会の設立は1960年の11 えます。日本児童精神医学会の設立は1960年の11

の「発見」が同時期だったのはなぜでしょう。 山下 児童精神医学の始まりと、学校恐怖症と自閉症

清水たまたま、そうだったのでしょう。

とにテーマを決めて議論していました。第1回の世話 おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご おもだった精神科の教授や若手が集まって、その年ご

人が村上世で表授(1910—2000)で、児童に人が村上世で表授(1910—2000)で、児童にとても関心がおありで、子どもをテーマにしようと提客したんです。そして、その当時は大阪市立大学精神ない。『この子らを世の光に』(2003年にNHK出版で復刊)で知られている糸賀一雄さん(1914—1968)が開設された知的障害児の療育施設ですね。糸賀さんと黒丸さんは京都大学の同期で、ずいぶん親糸賀さんと黒丸さんは京都大学の同期で、ずいぶん親しくしておられた、酒を飲みながらいろいろ話し合っておられたそうです。

をめぐってきたばかりの牧田清志さんも参加しておられま)のみでは捉えがたい子を2名、近江学園から連れてきて報告されたんです。黒丸さんは、これがカナーできて報告されたんです。黒丸さんは、これがカナーなめぐって、いろいろ活発な議論がありました。島崎をめぐって、いろいろ活発な議論がありました。島崎をめぐって、いろいろ活発な議論がありました。島崎をめぐって、いろいろ活発な議論がありました。島崎をめぐって、いろいろ活発な議論があり、これがカナーできたばかりの牧田清志さんも参加しておられ

組織する引き金になったと言えます。て、お墨付きをもらった。このシンポジウムが学会を

期で、不即不離の問題のように思えますね。れて、不登校とも重ねられていますが、出発点も同時れて、発達障害は2000年以降もクローズアップさ

清水 Developmental Disorders」という、タイトルそのもの 思いますね。アメリカでも「Journal of Autism and ダーラインパーソナリティがブームになったりしてい たり、そのあいだに拒食症がブームになったり、ボー 論も何度か山あり谷ありで、 扱った論文がゼロになっています。発達障害や自閉症 き が自閉症・発達障害の雑誌が、いまだに続いています。 みたんです。そうすると2000年以降、不登校を 今世紀に入ってから、 しかし、ベースにはずっと自閉症があるように 私は過去の学会誌掲載論文を計量的に振り返って 自閉症にからんで学校生活を続けられなくなる児 2 10年に学会50周年で記念誌を出したと 高機能自閉症への関心が高ま 関心が強まったり弱まっ

要がありましょう。

# 高学歴化社会と不登校

学歴化が進んだ時代でもありますね。 山下 不登校が増えた時代は、高度経済成長期で、高

登校とはどう関連するのか、考えてもいい主題だと思大学進学率が高まっていく。その高学歴化の流れと、不学進学率は8%ほどでした。60年代から、急速に大大学に入ったのは1953年、そのころの

不登校 50 年証言プロジェクト 屮

います。

学と学校へ行く期間が長くなってきたわけですね。 中学で子どもが中学校に行くようになって、高校、 高校進学率の上昇もありますよね。 戦後、新制

かった。 清水 という助言をくれた人もいました。父親は職人でした まる。それで、高校ではがんばって大学に入れたんで ありました。小・中学校時代は、運動会に出たことな で食べていけると、真剣に考えていたようです。 やれば、日銭は入ってくるんじゃないか、ひとり独身 ました。でも、 うと、自分自身が、 駅前のたばこ屋の権利を買って、息子にやらせて 医師資格を取っておけば、病弱でも食べていける そうですね。 小児ぜんそくで2学期はずっと自宅で寝てい 小児ぜんそくは思春期を過ぎるとおさ 子どものころ虚弱児だったことが 私が、なぜ医学部を選んだかと言

年代以降、 大学進学率が急激に上昇した。そこには、 当時は高学歴などという言葉もなかったですね。60 大学の数が増え、 師範学校が大学になり、 戦争で青春

> という思いもあったのでしょう。 の夢を果たせなかった親たちが、 「せめて子どもには」

国に要請してきた加圧の結果でもあるので、 営者団体が、高度経済成長を進めるための人材養成を ても考えておきたいものです。 かたちを変えて、同じ構造を持っている可能性につい いう事態を起こしたか。それと通底するものがある。 的な側面もあったと思います。戦前の国家主義がどう 一方で高学歴化は、 いまの日本経団連など経 国家主義

からの 屮 戦争だけではなくて、経済成長も高学歴化も上 側面があったわけですね。

こに疑問を感じる子はワリを喰ったと言えます。 大人数授業で内容にとぼしい。粗製濫造と言うほかな が乱立して、いろんな名前の学部がやたらと増えて、 たのでしょう。 い。そんなことに、親も子もあおられてしまって、 いう意味では、不登校と高学歴ブームとは関係がある だから、 しかし高学歴化の内実を見れば、 外国から経済侵略と批判的にも見られ 大学 そ

のでしょうね。

じる。 74年には高校進学率が9割を超えます。不登校の数は、 66年の統計開始から減っていって、75年から増加に転 60年代に高校全入運動が始まって、高校が増設され、

あまりいい説明はないように思います。 くわかりません。いろいろなことを言う人がいますが ると思います。 不登校が減ってきたのは、全入運動の成果とも言え しかし、 なぜ増加に転じたのかは、よ

大きく乱したと思います。 いずれにしても、 大学の粗製濫造は、 日本の教育を

屮 の子ども・若者にとって、進学の意味も空虚にならざ るを得なかったと言えるでしょうね。 大学や学部は増えても、 かたちばかりで、多く

清水 別にして、多くの子ども・若者にとっては、 かかわりなく、 勉強が大好きで、研究者を目指して進学する人は そうです。 若い世代に悲劇を与えていると思いま 高学歴化は、 大学に行く行かない 高等教育 K

の意味がわからない。

基礎構造の問題がある。偏差値という数字や学歴で人 間が査定されてしまっているのですからね。教員にも ると言っていますが、そんなことでは追いつかない、 結果が求められるし、 入ってしまっている。これは大きな問題でしょう。 政府は、 いまごろになって給付型の奨学金を創設す 小学生にまで選別のまなざしが

岸 んばらないといけなくなっている。 何のためか、よくわからないことのために、 が

清水 子が生きづらくなっている。遅咲きの子もつぶされて ない。それなのに競争させられて、そこで一服したい という言葉が、 いる。金子みすゞの「みんなちがって、みんないい」 子どもだけではなく、保護者も教員も見えて いちばん伝わらないのが教育界です。

#### 「不登校」 という言葉は

屮 不登校という言葉は、 清水先生が最初に使 い始

すでしょうか。

校」に相当する non-attendance at school と言ってい 義もされていないし、まずは「不登校」という言葉で、 覚からして、逆方向ではないかと思ったんですね。定 phobia)と登校拒否(school refusal)は、言葉の感 最初です。その準備をしていたころ、「不登校」とい は ることは後から知りました。 ひとつのバスケットに入れておいて、後で整理すれば う言葉をふと思いついたんです。学校恐怖症(school 大阪大学病院の精神科外来で思春期外来を始めまし いと思ったんです。アメリカで何人かの人が「不登 いたのだけど、思春期外来を始めたのは、これが 水 それまでも、 1965年7月6日の火曜日、 思春期に関心を持っていた精神科医 午後1時から、

山下 翻訳ではなかったんですね。学校恐怖症(school phobia) と登校拒否 (school refusal) が逆方向とい

から、 青年も、 清水 んです。 という感じでね。これぞ refusal という感じがあった。 ないといけないのか、自分で勉強したほうが効率いい じゃないですか。だから別物かと思っていたのです。 けでしょう。それに対して拒否(refusal)は意志表示 来を始めるときに、 ベルに合致するように観てしまうと思って、思春期外 た。学校に行かない子のなかには、いろんな子がいた の時代ですから、拒否(refusal)という言葉に見合う 65年というと、60年安保のあと、全共闘の大学紛争の前 あるいは怠学(truancy)がぴったりという子もい 恐怖症(phobia)は、いわば、びびっているわ 最初にラベリングをして仕分けてしまうと、 たまにやってきていました。なんで学校に行か 「不登校」という言葉をつくった ラ

田中 思春期外来を始めた経緯を教えてください。

が、それまでは離人症の研究をしていました。それな肩水(55年の春に大学院を出て博士号を取得しました

もですね。 はかなり不登校の数が多かったです。 とで、どんどん送ってくる。拒食症や自己臭症の患者 からない、どう相手すればいいかわからないというこ 紹介してくれない。そして、不登校は病気かどうかわ 分たちでも治療できると思っておられたのか、 みたら、医局のほかのドクターは、統合失調症なら自 みようと思ったんです。しかし、思春期外来を始めて がいなかった。それで、 かわらず、思春期に焦点を当てた臨床をする精神科 たとき、統合失調症の好発年齢は思春期であるにもか を続けるほどの材料ではない。次に何をやるかと考え りにおもしろかったけれど、そんなにいつまでも研究 不登校外来とまでは言わないけど、 同期の精神科医数名でやって 患者を 一時期 医

すことを疑問視する認識があったのでしょうか?ますが、当時、阪大のなかで、登校拒否を疾病とみな拒否は疾病か」という論文を1974年に書かれてい田中 同じく大阪大学ご出身の藤本淳三先生が「登校

清水ありました。藤本さんは同級生です。

を使われたのは? 田中 そうだったんですね。学会で不登校という概念

した。 類されていたんです。それを受けて、 とか怠学型であるとか、 年のシンポジウムで「不登校」という概念で発言しま も、まずは大枠で捉えたほうがよいと私は思って、 名あり、それをさらに、 を発表しています。そこで情緒障害児とされた者は67 の松下裕さんが「情緒障害児と学校生活」という論文 ジウムが同じ学会でありました。そこで京都市児童院 2年前、 「思春期心性とその病理」で初めて使いました。その 1968年の日本児童精神医学会シンポジ 1966年に「学校精神衛生」というシンポ 未熟型であるとか、 学校恐怖症の神経症型である 細かな分類より 細かく分

テをぜんぶ見ました。そこに不登校と書かれた数の推りました。そのときに、阪大病院の精神科の外来カル童の治療・処遇をめぐって」というシンポジウムがあるれから、1978年の学会で「思春期登校拒否児

移がこのグラフ (左図) です。昭和33年 (1958年) どうかわからなかったんでしょうね。 に「学校に行かない子」と書かれていました。 から昭和35年 途をたどっています。ちなみに最初の一例は病名欄 れど、その後、昭和49年(1974年)まで上昇の (1960年) にかけては、 すごく低い 病気か

屮 昭和41年(1966年) から急上昇しています

阪大病院精神科外来における不登校者の推移 37 39 45

たんでしょうか が、思春期外来の 開設と関係してい

清水 りまえという感じ 子が来るのがあた よりは、不登校の ているという実感 だったから、増え うね。 どうでしょ 無我夢中

になっ ていまし

『児童精神医学とその近接領域』第20巻より転載

いました。 らいまで外来をやり、 対応しきれなくなって、週2日に増やして、夜7時く た。だんだん受診児も仲間も増えてきて、週1日では その後にケーススタディをして

だったんでしょうか 中 思春期外来に来て W た のはどんなタイ プ

えでの添え木になったということは、 ということよりも、私が悩んでいたのは「これは病気 清水 付き合っていたことが、その子が大人になっていくう どもが来て、 りませんね。 なんだろうか?」ということでした。病気と断言でき くったわけです。そのころは不登校をどう分類するか とは許されるのか、という倫理的な悩みもありました。 ないものを健康保険で診療して診療報酬を請求するこ ただ、そういう問題は、不登校にかぎった話ではあ タイプ分けしないために不登校という概念を その典型的な事例を『思春期のこころ』(N 結局、病気ではなかったけど、伴走して 思春期外来をやっていると、いろんな子 いろいろとあり

HKブックス1996)に書いておきました。私自身、 だんだん開き直っていきましたけれども、 うなのかは、ずっと考えていたことです。 理念的にど

ばい 人は、 言って、「Bitte um Hilfe」という言葉で語ってくれま した。 教授は、哲学的精神医学の方ですが、私の悩みに対し たときに師事したミュラー・ズーア(H. Müller-Suur て「そんなふうに考えることは何も必要ないんだ」と そこに答えを与えてくれたのは、 9 1 1 いんだ、 つまり、 ぜんぶ患者なんだということです。 -2001) 教授でした。ミュラー 助けを求めて医者のもとにやってきた ドイツに留学し そう捉えれ ・ズーア

### 学校精神保健 の取り組み

きたのがきっかけでした。 できないかと、 ゼで通院 仕事を始めました。その学校の生徒が軽いノイロ 1969年から大阪府岬町の公立中学校で学校保健 していて、 生徒指導主事が私のところまで相談に 学校でその子を支えてやることは 1

> スト スタディをする。わりと早くに教育委員会が予算化し どちらかが気になった子について、ショート・ケース 2泊3日で、1クラスに2時間か2時間半くらいかけ ピックアップして、それを7月ごろ学校に持っていき、 年間続いています。 てくれて、 からも、気になる子を挙げてもらって、学校と医者と、 て、担任とディスカッションするんです。学校のほう コロジストがスクリーニングします。 Completion Test:文章完成法テスト)の3セットを 1年生全員に行なって、 具体的には、学年始めに、知能テストと、 (投影描画テスト)、思春期用のSCT(Sentence 私はもう関わっていませんが、 それを大学に持ち帰ってサイ 気になる子を 現在まで48 バ ウムテ

れども、 岩 医者の仕事としては、 だからこそ見えてきたことがある だいぶはみだしてい 0 です ねる

分が子どもには多いのですね。私はのぞき見根性が強 清水 くて (**笑**)、 そうなんです。 病気ではない、 診察室だけでは見えてこない部 ふつうの子どもとも付き

らはうまくいかなかった。
らはうまくいかなかった。
一学校の構造もちがうし、同じやり方では無理で、こちやりました。しかし中学と高校では、子どもの育ちも学校の構造もちがうし、同じやり方では無理で、こち

陽英先生が書かれているものと同じでしょうか? 科臨床』(清水將之編、金剛出版1981)で北村科臨床』(清水將之編、金剛出版1981)で北村

事を北村さんが引き継いでくれました。 の継時的研究」1979)のテーマでもあります。私の継時的研究」1979)のテーマでもあります。私

**田中** その中学校では不登校の事例はどれくらいあり

現場へ行って早期に問題を把握して、早期に支援を開清水 不登校はあまりなかったです。 医者としては、

ない時期もありました。はありました。結果、長期化する不登校はほとんどい始すれば、予防効果が生じるのではないかという思い

どんな感じだったのでしょう?
一学校の教員との具体的なやりとりは、たとえば

清水 たとえば修学旅行に行ったとき、ある男の子が清水 たとえば修学旅行に行ったとき、ある男の子が りました。ところが先生たちは緊急会議を開いて、加 害者とおぼしき生徒を集めているので来てください」 と言ってきたんです。私は、「加害対被害ではないから、 と言ってきたんです。私は、「加害対被害ではないから、 とだを戻してやってください」と伝えました。生徒た ちには「旅先で興奮しているから気づかないかもしれ ないけど、疲れもある。そういうことも起きうるから 気をつけてね」と伝えました。

員に向かって、精神保健を講義しても伝わらない。現見を交わすことで見えてくるものがあるんですね。教見を交わすことで見えてくるものがあるんですね。教

場で考えて、現場で何が出てくるかが大事です。

でも、ほかに例がないと思います。 清水 長期的に同じ学校で継続するというのは、いま

していると思いますが。

していると思いますが。

しているとは、めずらしくなくなった。

していると思いますが。

しているとは、めずらしくなくなった。

していると思いますが。

していると思いますが、

していると思いますがはないますが、

していると思いますが、

していると思いますがは、

している

機能していないところが多いことと似ています。でしょうね。要保護児童対策地域協議会(要対協)も、たという形跡を残すためであったりして、ほんとう清水 そうですね。でも、実際のところは、やりまし

養護教諭の役割

山下 先ほど、ドイツで「助けを求めて医者のもとに

やってきた人は、ぜんぶ患者」と教えられたとおったかでは養護教諭の存在が大きいと、清水先生は指摘なかでは養護教諭の存在が大きいと、清水先生は指摘されてますね。生徒が「おなかが痛い」と言ってくれざ、診断して治療的に対応するというよりも、子どもの訴えをそのまま受けとめる。そういうことが大事なんだと。

2013)という本を書きました。ていて、『養護教諭の精神保健術』(北大路書房でいて、『養護教諭の精神保健術』(北大路書房では、)という本を書きました。

1990年ごろ、高木隆郎さんが養護教諭とかかわるよ 他強しようと提案されて、学会の教育に関する委員会 他強しようと提案されて、学会の教育に関する委員会 たいて、きれいに二分されていたんです。「精神疾患 はないの?」と聞いたところ、外科系も内科系も、ぜんぶメンタルの問題が関係していると言われたんですんぶメンタルの問題が関係していると言われたんですん。それは衝撃的で、その後、養護教諭とかかわるよ

うになりました。

ますからね。途中で切れてしまったり、根付かなかっ ました。それから毎年、学会のたびに、あちこちでや りました。そうすると向こうも旅費を考えないですみ 96年に山形で児童青年精神医学会があり、 山形の中学校にうかがって、ケーススタディをし

です。 **員が参加するためには2日間滞在して、半日ずつ。1** は行っています。情短は24時間交代勤務なので、全職 た地方もありますが、いちばん続いたのは山形と青森 ケース3時間~3時間半かけてケーススタディをしま いまでも、 青森の情短施設のケーススタディに

員とおしゃべりして、そういうなかで見えてくること でもやってます。 もある。まあ、 しますから、 ふつうの医者がやらないことを、 その晩の飲み会で、 いろいろ職

r V

ま

屮 80歳代にして、 活動的でいらっ しゃいます ね

清水 多動爺と言われています (笑)。

> 屮 生野学園にも関わっておられるそうですね

その翌日

たり、 そっと支援し続ける学校です。 りと見明かし、そのところに自分で気づいていく作業 へ、信じられぬほどに根気よく、教員たちが寄り添 した。生野学園は、一人ひとりの生育可能性をしっか り、講演会の講師を紹介するなどして、 生野学園20周年記念本の編集をお手伝 2001年に日本子どもの未来研究所 前理事長の森下一さん (精神科医)から相談を 関わってきま をつくっ 11 をした 13

とうにひどい実態がある。月1回、 青山学園が問題になりましたが、当然のことだと思 ころも多いでしょう。通信制や単位制高校でも、 50%以下でも助成金をもらっている。最近、ウィッツ まは不登校の子を、 無責任に引き受けてしまうと 出席する生徒が ほん

を対象とした全寮制の中学・高等学校。 \*3 生野学園:兵庫県朝来市にある、 1989年設立。 不登校を経験した子どもたち

伊賀市は学校運営を学校法人神村学園に変更した。 要領違反などが発覚して問題となった。2016年、 \* 4 2015年、広域通信課程における就学支援金不正受給や、 ウィッツ青山学園:三重県伊賀市にある株式会社立の高等学校。

います。 に事を進める生野学園は、生徒募集に苦労しています。 安易な道に保護者が流れる風潮の時代、誠実

屮 ているように思います。 営利目的で規制緩和を利用している学校も増え

## 稲村問題をめぐって

屮 ようにお考えでしょうか。 学会でも問題になりましたが、こうした問題は、 博さん (1935-登校拒否と医療をめぐっては、80年代に、 1996)の入院治療をめぐって、 どの 稲村

清水 でも、 は言 題になっています。 うですね。幼児教育と称して、 法犯として服役したので、法的には責任を取りました。 ンをやらせたりしていて、 ってみれば、不登校史の恥部ですね。戸塚宏は刑 戸塚ヨットスクールは、 戸塚ヨットスクールの問題もありました。 子ども虐待防止学会でも問 3歳児に海でサーフィ いまでもやっているよ あ ń

> もを入院させている」とコメントしていました。 神分裂病の人でもイヤがる閉鎖病棟に、 たとえば、堂本暁子さんは、当時TBSの記者で「精 ますが、学会としては一定の批判をしたわけです。 はひどく差別的な物言いだったと思います。 方、あの事件では報道のあり方にも問題がありました。 稲村さんの問題については話しにくいところもあり 不登校の子ど

と思います。 たほうがいい それは無視できない問題ですね。不幸せな状態になら 言えば、不登校していた時期にうまく支援できていな システムとしてセーフティネットがあることが大事だ のか医者なのかが問題ではなくて、単一の人ではなく、 いけないと思います。そういう意味でも、早期に関わっ ないため、 かった人が非常に多いという問題はあると思います。 ひきこもりにしても、家庭内暴力にしても、数から 不登校の段階で何ができるかを考えないと のはたしかです。その関わる人が教師な

屮 対応だけではなく、 稲村さんがおっしゃっていたこととして、 入院治療のあり方が問題になった 早期

を問う問題として捉え、

不登校の運動に大きな影響を与えた。

不登校を個人の問題とみるのではなく、

渡辺位(わたなべたかし

1925-2009):児童精神科医。

たから、 清水 ない でしょうか。 国立大学に勤めながら民間病院でやっていまし そうですね。 兼業問題で告発されることもあり得たのでは 入院させていた人数も多かったで

田中 と書かれていますね。 いるとき、入院でいったんリセットすることも必要だ 清水先生は、 不登校の子が家で親に責められて

清水 なくて、入院が必要な場合、必要な時期もあり得ると るシェルターですね いうことです。 いシェルターになります。 そういうことは、 子どもを親から離すためには、 あり得ます。 専門家のいる、 入院が絶対では 屋根のあ 病院は

甲中 とでしょうかっ 治療というよりも環境調整として必要というこ

> 清水 そういうことです。

も必要だと書いておられましたが、清水先生は、 はどのようにされてきたのでしょうか? 稲村先生は、 社会復帰を早めるために投薬治療

清水 られないです。 出したり。 人が納得すれば、軽い安定剤 めに睡眠薬を出したり、 たまには使いました。睡眠リズムを調整するた しかし、 治療の主役が薬なんてことは考え いらつきがひどいときに、 (トランキライザー)を

かっ 田中 「治療の主役」とい うの は何になるのでしょう

清水 るかです。 育ちをサポートするネットワ クをどう構築す

かし、 中 そこに力を注がれてきたということですね。 一方で精神医療の流れとしては、 むしろ投薬治

療一辺倒になってますね。

清水 ない 間効くだけです。 療法だけでしょう。メチルフェニデートなぞ、 です。 そうですね……。 療育を抜きにして、 とくに AD /HDなんて薬物 治療は考えられ 十数時

田中 渡辺位さんが1章書いていますが、 き合いがあったのでしょうか? 『青年期の精神科臨床』(金剛出版1981)は、 渡辺さんとお付

ました。 走ってしまっていたように思います。私は、批判や批 評よりも、学校現場でのケーススタディを重視してい られたとは思いますが、私からすると、 したが、その程度でしたね。渡辺さんはがんばってお 共著を出 医者だけではできないことを、 Eしたり、 シンポジウムでお声かけ やや批判が先 具体的に誰と し ま

> どう組むか。商人の町の大学を出ているので、 務家なんです。 私は実

うか 屮 社会的批判に傾きすぎていたということで

年に新潟で「不登校問題を巡って」という講演を行なっ たと思うのですが、 え方をしている人物ではないことは理解していただけ でした。よく聴いていただければ、私がそのような考 ものとして見ているのはよくない、 て関わることがよくない、不登校をあってはならない た際、質疑の時間に、 ワークの方ということでしたが、とにかく専門家とし たことがありました。奥地圭子さんたちの全国ネット ぎていた時期はあったように思います。たとえば、 いました。 渡辺さんにかぎらず、 やや硬直した批判だったように思 現地の親の会の方から批判され 全般に社会批判 というような批判 へ傾きす

学校のあり方や社会のあり方 屮 そこには、 不登校が精神医療の問題にされすぎ

山下 今日は長時間、ありがとうございました。

ていたことへの批判もあったのだろうと思います。

そこでは 生は、 登校というのは、精神医療と重なる部分もありますが、 されようとしていたのだと思いますが、 忘れられてきている面もあるように感じます。 傾きすぎて、 視点は不可欠と思います。とくに、 11 かがでしょう。 不登校という概念で、 切り取れない面も多く含みますね。社会的な 不登校から問われていた社会的文脈は、 社会的文脈も含めて包括 いまは発達障害に そのあたりは 清水先

かで、 清水 に着目しない人は児童・思春期の臨床家とは言えませ 生きていけない年ごろ。 セーフティネットが必要な年ごろです。自分だけでは でも医療の視点のみで仕事をしている人が圧倒的に多 です。最近だと、 しかし、 そういう臨床家を育てていくことが、 社会的視点は必要不可欠です。 11 かにセーフティネットを構築できるか。 くりかえしますが、 認知行動療法のみとかね。 複雑化、 とくに児童思春期は、 硬直化した社会のな たしかに、 児童精神科 そこ 医者

医としては必要なことだと思っ

ています。

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #16 清水將之さん

インタビュー日時:2017年1月30日 記事公開日:2017年4月29日

場所:ご自宅マンションの談話室(神戸市)

聞き手:山下耕平、田中佑弥 記事編集・写真撮影:山下耕平

横浜家庭学園は

奥地 横浜家庭学園について、 教えてください

### 若林 実 さん #17



(わかばやし・みのる)

1937年、神奈川県横浜市生まれ。1944年より3年間、佐渡島に疎開。田園 生活を味わう。1968年、横浜市立大学大学院(小児科専攻)修了。医学博士。 同年社会福祉法人国際親善病院小児科医長として赴任、私立の児童福祉施設横 浜家庭学園嘱託医兼任、いわゆる非行少女たちと出会う機会をもつ。著書に『工 ジソンも不登校児だった』『アインシュタインも学校嫌いだった』(いずれも筑 摩書房) など。(元) 小児心身医学会評議員。

インタビュー日時:2016年11月17日 聞き手:奥地圭子、関川ゆう子、石林正男

場 所:横浜家庭学園 写真撮影:石林正男

奥地 んでしょうか。 いただくことになりました。 今日は、 横浜家庭学園にてインタビューさせて いまは、ここにお勤めな

たる、 います。 保健室の養護の先生みたいなものですね。 のですが、有馬さんは「何もしなくてもいい、 有馬四郎助氏(1864 たときも、夜に来ていました。 ぐらいの関わりになります。 薬を出したり、 したりしなくてもいい。 」と言っていました。 亡き有馬嗣郎氏に依頼されて来るようになった 週に1回、 毎回、 かならず2~3人は来ます。 場合によっては病院を紹介したりして 医務室に来ています。 話し相手になってくれれば 1934)のお孫さんにあ 国際親善病院に勤めてい 横浜家庭学園創始者の 学校で言えば カゼ薬や胃 も う 30 年

> 非行の少女たちをあずかっています。 は児童自立支援施設になっています。 横浜家庭学園は、 学校教育から外れた、 制度上 は、 V 現在 わば

うです。 でも、 き、有馬が所長をしていた監獄が全壊したそうです。 を設立したところから始まっています。 自警団をつくって、 かつては教科書にも載っていました。関東大震災のと 有馬四郎助は、クリスチャンで刑務官をしていた人で、 少年でも大人と同じ監獄に入れられていたそうです。 この学園は、有馬四郎助が1906年に幼年保護会 有馬に恩義を感じていた受刑者は、 ひとりの逃走者も出さなかったそ それまでは、 自分たちで

道に分校をつくったのが、 を使った刃傷沙汰は、 で農作業をやって、鎌とか短刀も持たせるのに、 す。北海道家庭学校では、 が「男は俺があずかる」と言って、 心が穏やかになるのでしょう。 1899年に東京家庭学校を設立していますが、 留岡幸助 これまで一つもないそうです。 札付きの子どもたちばかり 北海道家庭学校の始まりで 1 8 6 4 1914年に北海 1 9 3 4 留岡

もうひとり、

大宜見義夫さん(小児科医)には、

ですね。 たとは思えない」と言って、びっくりすることが多い 横浜家庭学園に見学に来る方も、「とても非行をし

くらいの子どもがいらっしゃるんですか。 えない」と言われてきました。横浜家庭学園は、何人子たち、ごくふつうの子ですよね。不登校したとは思奥地 フリースクールでも、見学に来る人から「この

脱走するということは、教育のほうが悪いんです。大きくなる予定です。人里離れた場所がいいというの大きくなる予定です。人里離れた場所がいいというのともありました。いまは脱走する子はいないですが、ともありました。いまは脱走する子はいないですが、今後は、もう少し若林 平均して20人ぐらいですが、今後は、もう少し

### 小児科医として

て来られたんでしょうか。
奥地 小児科医として、子どもと何年くらい付き合

若林 来年80歳になるので、約50年になりますね。いま思えば、小児科医でよかったです。内科医は秀才ばま思えば、小児科医は何も知らないくせに何もやらない」という悪口があります(笑)。小児科医は、頭はそんなにいらないし、子ども相手ですし、楽しいからそんなにいらないし、子ども相手ですし、楽しいからなれがギーをもらえます。子どもと接していると若返ります。いろんな個性があるからいいんです。

でしょう。 奥地 国際親善病院には何年くらい勤めておられたん

私はだいぶ絞られました。いましたが、途中からエラい先生が院長になってきて、いましたが、途中からエラい先生が院長になってきて、た。一人医長で、部下もいないので、のんびりやってた。 1968年から2003年まで勤めていまし

それで国際親善病院という名前がついています。で、外国の人や船員たちを診るためにできた病院です。国際親善病院は、横浜の開港に合わせてできた病院

の子たちも来ましたでしょうか。 医として働きはじめたわけですね。病院には、不登校で、1968年というと、ちょうどそのころに小児科奥地 1966年から国が不登校の調査を始めたの

若林 「おなかが痛い」と言って、学校を長く休む子などが来ていました。小児科学会の先輩の医者たちなどが来ていました。小児科も細分化は、それを怠けだと言っていました。小児科も細分化は、それを怠けだと言っていました。小児科も細分化は、それを怠けだと言っていました。小児科も細分化は、登校は学会でも病気扱いになっていて、私の論調は不登校は学会でも病気扱いになっていて、私の論調に共感してくれる人はいませんでした。とくに、富田に共感してくれる人はいませんでした。とくに、富田に共感してくれる人はいませんでした。とくに、富田に共感してくれる人はいませんでした。とくに、富田に共感してくれる人はいませんでした。とうに、富田に共感してくれる人はいませんでした。とうに、富田さんは、親が悪いと言っていました。「お茶を習わせて学校に戻れるようになるんですか」と言ってやりましたけど(笑)。

れました。もう一人、久徳重盛さん(精神科医)が『母原病』(教育研究社1979)を書いてましたね。不登校にかぎらず、お母さんが責められることが多かったですが、そんな神様みたいなお母さんはいないわけです。親の欠点を見つけ出そうと思えば、誰しもいっぱいあるわけです。でも、学校に行っている子と行っていない子の親はどこがちがうのかというと、何も変わりませんでした。

です(笑)。 摩書房1990)は、売れたといっても1万部くらいですが、私が書いた『エジソンも不登校児だった』(筑ですが、私が書いた『母原病』は100万部ほど売れたそう

的だったんですね。いずれにしても、学校へ戻すのが、この人たちの目

いまでも通じる話ばかり書いてあると思います。くま文庫に入ってますね。私も読んで助けられました。奥地『エジソンも不登校児だった』は、いまは、ち

本林 いまでも通じるということは、つまり、ぜんぜ 大沢が変わっていないということですよね。 横浜市 大沢が変わっていないということですよね。 横浜市 大登校でも、いまでも「児童相談所に行きなさい」と 大登校でも、いまでも「児童相談所に行きなさい」と 大登校でも、いまでも通じるということは、つまり、ぜんぜ

## 稲村問題をめぐって

生も来てくれていました。 
集神科医の稲村博さんですよね。1988年に稲村さんの「登校拒否症は早期に治療しないと30代まで尾をしたよね。私たちが緊急集会を開いたときは、若林先したよね。私たちが緊急集会を開いたときは、若林先したよね。私たちが緊急集会を開いたときは、若林先

いました。稲村さんは筑波大学の助教授でしたが、ど怠け者になるから閉鎖病棟に入院させなさいと言ってました。彼は、不登校は生半可のことでは治らず、将来、 あのころは、何かというと稲村博さんが出てい

テいうわけか浦和の精神病院(浦和神経サナトリウム) さすがに児童青年精神医学会で問題になって、川端利さすがに児童青年精神医学会で問題になって、川端利さすがに児童青年精神医学会で問題になって、川端利さすがに児童青年精神医学会で問題になったらしいですね。ですがに児童青年精神医学会で問題になったらしいですね。ですがに児童青年精神医学会で問題になったらしいですね。ですがに児童青年精神医学会で問題になった。

親善病院ぐらいじゃないでしょうか。時、「不登校は病気じゃない」と言っていたのは国際の児童精神科も、不登校を病気扱いしていました。当という主旨のしおりを出していましたし、横浜市立大という主旨のしおりを出していましたし、横浜市立大

中に倒れて、2週間ほど入院しました。れてしまったんです。午後からのカウンセリングの最ていたんですが、その前に、60歳のときに胃潰瘍で倒るは、定年になったら、いっさい手を引こうと思っ

すか。 奥地 よっぽどストレスがかかっていたんじゃないで

したので、よく過労死しなかったなと思います。当直する日の晩に相談に来てもらって対応していたり苦林 そういうことですね。時間の取れない人には、

# 専門家を信じてはいけない

**奥地** 最初に、不登校は病気じゃないと気づかれたの

若林 いろんな子がいました。なかには、精神科でたくさんの薬を出されている子もいました。私も、最初くさんの薬を出されている子もいました。私も、最初の本もずいぶん読みましたが、その通りにやっても、の本もずいぶん読みましたが、その通りにやっても、の本もずいぶん読みましたが、その通りにやっても、の本もずいぶんな子がいました。なかには、精神科でた

りました。

母さんには責められました。
母さんには責められました。
母さんには責められました。
母さんには責められました。
母さんには責められました。

もう一人、吉沢勇(児童精神科医の常識からみて、くらなんでも彼の処方は、精神科医の常識からみて、くらなんでも彼の処方は、精神科医の常識からみて、くらなんでも彼の処方は、精神科医の常識からあった。り減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることり減らしたりするから、ふだんの3~4倍になることはある」と証言した人もいましたが、若い医者が「いくらなんでも彼の処方は、精神科医の常識からみて、くらなんでも彼の処方は、精神科医の常識からみて、くらなんでも彼の処方は、精神科医の常識からみて、

からなかったですけれども。ました。示談の内容は公表されませんから、詳細はわちょっとひどすぎる」と証言して、結果、示談になり

神科医が不登校の専門家と思っている人も多いです。 奥地 親は、お医者さんを信じてしまいますよね。精

**若林** だから、いけないの。児童精神科医が専門家だと言っても、専門以外のことはまるでわからない人が多い。いわゆる専門バカです。それに、専門家でも学多い。いわゆる専門バカです。それに、専門家でも学多い。いけないの。児童精神科医が専門家だは自分で判断しないといけないです。

引き起こされたわけです。
政治も同じです。政治家を信じて任せておいたら、
なんてことはない。戦争だって、お上を信じたあげく、
なんてことはない。戦争だって、お上を信じたあげく、
なんてことはない。戦争だって、お上を信じたあげく、

奥地 私は4歳のときに東京大空襲に遭ってます。中

くさんいました。

若林 あれだけの惨事を引き起こしたのに、いまだに若林 あれだけの惨事を引き起こしたのに、いまだに いうことではないですね。 いうことではないですね。 おがめた戦争かもわからない。 日本には、そういう と思ってしまう。 宗教でも、 日本ではキ 大しかいませんが、 少数派だから、まちがっていると トしかいませんが、 少数派だから、 まちがっていると

# 精神科と小児科のちがいは

は、不登校への対応はちがっていたんでしょうか? 奥地 不登校の話にもどりますが、精神科と小児科で

神科に行くけれども、どうも結果がよくないわけです。かれていました。一般には、何か心の問題があると精ですが、小児科学会誌には不愉快なこともいっぱい書

感じがありますよね。

**若林** 児童精神科医は、小児科のことを知らない人が になっています。SSRI(抗うつ薬、選択的セロト こン再取り込み阻害薬)も、これが輸入されればうつ ニン再取り込み阻害薬)も、これが輸入されればうつ

い実態がありましたね。 では、戸塚ヨットスクールなどの矯正施設でも、ひど奥地 多剤多量処方は大きな問題だと思います。一方

クールを出た人が暴走族になって、戸塚ヨットスクークールでは、子どもがこんなにたくましくなっている」上げていたんです。「いまの親は甘い。戸塚ヨットス上げていたんです。「いまの親は甘い。戸塚ヨットスクールも、マスコミが盛んに取り

ルに押しかけて窓ガラスを割る事件があったんでするのも当たり前だ」と言ったという話があります。そるのも当たり前だ」と言ったという話があります。そも起きたのは知られている通りです。しかし、戸塚宏も起きたのは知られている通りです。しかし、戸塚宏り投げたりして問題になってます。自分の信念が一番り投げたりして問題になってます。自分の信念が一番でしいと思っているわけです。

のが信じられないですよね。 奥地 実際に人が死んでいるのに、続けているという

表林 1992年、名古屋地裁は、暴力の事実を認定 しながらも、「訓練は情緒障害の治療教育という正当 な目的によるもの」だったということで、戸塚校長に 対して懲役3年、執行猶予3年の判決を言い渡しまし た。おかしいですよね。その後、高裁では懲役6年の た。おかしいですよた。裁判も、裁判官によって判断 が変わります。専門家だから正しいとはかぎらない例 のひとつと言えるでしょう。

奥地 大事だというスタンスを持つようになったのには、 判断をあずけるのではなく、 か背景があるんでしょうか。 く見られる傾向がありますね。若林先生が、専門家に 人権侵害でも、教育という名目があると、ゆる 自分の頭で考えることが

### 戦争体験 が原点

島に疎開させました。たしかに、そのころの横浜でも、 大事だ」と言って、私を叔父(父親の兄)のいる佐渡 ですが、父親は「そんなことは言ってられない。命が 思っていたころ、 隊にも行ってないし、戦争はやばいと思っていたそう 左足が不自由で松葉杖をついて歩いていて、だから兵 1年2カ月後、 空襲にそなえて、 です。1944年3月、世間では、まだ戦争に勝つと した。周囲からは非国民扱いされたようですが、 の原点は、やはり戦争体験です。 1945年5月に横浜大空襲があり、 夜はサーチライトで空を照らしてま 私は幼稚園の卒園式を控えていたん 私の父親は、 その

> 島に逃げてきました。でも、住む家もなく、田んぼに わが家も焼かれてしまいました。それで、両親も佐渡 あったバラック小屋で、 水道もないところで暮らしま

とがガラッと変わりました。担任の先生は兵隊あがり 民主主義や自由はすばらしい、新しくできた憲法も、 ちますよね。小学校2年生でも、それはわかりました。 たちからすると、「何だ、この先生は」と不信感を持 中の人と仲良くしましょう」と言うわけです。子ども 殺せば勝てるんだ」と言っていたのに、突然、「世界 を知らない。 和な教育だったように思います。その後も、学校では、 の人で、それまでは「兵隊ひとりでアメリカ兵を10人 ことでした。そして9月からの新学期、先生の言うこ 戦争が終わったのは、私が小学校2年生の夏休み 小学校3年生まで佐渡島にいたんですが、非常に平 人たちです。 私は、 子どもたちには「このあたりもみ 安倍首相も戦争がどういうものか

ころが、近ごろは憲法も古くなったので変えようなど こんなすばらしい憲法はないと叩き込まれました。と と言う勇ましい人が出てきましたね。みんな戦争を知

という冗談がかわされたほどです。 雑草が生えて、 あたりも兵舎だったのが、米軍が引き揚げたあとは、 て、 話すんです。横浜も、戦後しばらくは米軍兵舎があっ んな焼け野原で、死体がゴロゴロしていたんだよ」と いまの沖縄と同じような状況でした。親善病院の そこで牛でも飼って牧場にでもしたら

生の言うことを聞かずに逃げた人は助かったけれど れて死んじゃった人がたくさんいましたね。 えらい人や専門家の言うことを鵜呑みにしてはいけな いと思っているわけです。東日本大震災のときも、先 まあ、そういう戦争体験が原点にあるものですから、 言うことを聞いていたがために、津波に呑みこま

符を買ってくれたりしました。産学の癒着です 言っていたものが、 から簡単に信用してはいけないんです。 しがらみがありますからね。僕が医者になりたてのこ 薬害なんかでも、えらい先生がこれはいい薬だと 大阪まで学会に行くというと、製薬会社の人が切 問題になるわけです。 大学教授は Ą

奥地 医者になられたのは、 どういうきっかけでした

か。

確率の問題で医者のほうが楽だと思ったから医者にな 森鴎外も医者でしたしね。でも、医者は毎年1万人近 説家になりたかったんです。とくに森鴎外が好きで、 な影響からです。 エジソンやアインシュタインの本を書いたのも、 りました(笑)。もともと書くのが好きだったので、 く新人が出るんですが、小説家は1万人もいません。 私は、 文章を書くのが好きだから、 もともと小

だった』を読むことができたわけですね。わかりやす と思います。 い言葉で伝えてもらって、 そのおかげで私たちは『エジソンも不登校児 たくさんの親子が救われた

若林 ように思います。たとえば、 られた方でも、波長の合わない方が半分ぐらいはいた 行かせられるようになると思っている親の方は、 いや、 それは相性がありますからね。 相談に来ることで学校へ 相談に来 1

やってました。はありますが、話を聴いてやればいいんだと思って、るだけです。不登校にかぎらず、いろいろつらいこと2回で来なくなります。基本的に、私は話を聴いてい

ので、みなさんびっくりされてました。 ていると、どこの会へもまめに、お返事が返ってくる奥地 各地の親の会で通信を若林先生のところに送っ

(笑)。

# レッテル貼りはいらない

考えたんでしょう。 と呼ぶのがいいと提唱されていますね。どうしてそうとか「登校拒否症」と言われていたのを、「不登校」と呼ぶのがいいと提唱されていますね。どうしてそうと呼ぶのがいいと提唱されていますね。 どうしてそう

きなさい」と言うのも、そのひとつでしょうね。 と言うしかないでしょう。「○○症」というのは病気 にも立派な人はいるわけです。一方で学校へ行っても 自殺してしまう人もいます。子どもが亡くなる理由は、 自殺してしまう人もいます。子どもが亡くなる理由は、 自殺してしまう人もいます。子どもが亡くなる理由は、 と言うしかないでしょう。「○○症」というのは病気 と言うしかないでしょう。「○○症」というのは病気

てはいけません。

思いをする。

思いをする。

とえば私はお酒が飲めないんですが、それだけで「飲めないのはかわいそう」と言われてしまう。飲めないのはかわいそう」と言われてしまう。飲め

世間は少数派にレッテルを貼る。だから、学校に行っ

うは、そんなレッテルはいらないんです。てないと「不登校」とレッテルを貼る。でも、ほんと

奥地 私も『登校拒否は病気じゃない』(教育史料出奥地 私も『登校拒否は病気じゃない』(教育史料出 奥地 私も『登校拒否は病気じゃない』(教育史料出

**若林** 私もかつては、不登校というのは「子どもがだらしないし、親もだらしない。何とかしなくてはいからしないし、親もだらしない。何とかしなくてはいからしないたんです。そうでえば学校に行かなくて、えらい人いっぱいいるなあ」と思って、コペルニクス的転い人いっぱいいるなあ」と思って、コペルニクス的転い人いっぱいたんです。そう言えば、あの人も学校にほいからめいたんです。そう言えば、あの人も学校にほとがだがらいたんです。そう言えば、あの人も学校にほとがだがらいた。

方を変えましょうということだったんですね。 奥地 不登校とエジソンをつなげて書かれたのは、見

**若林** そうですね。私が通っていた小学校の近くには、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですが、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですが、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですが、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですが、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですが、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですが、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですが、大天才歌手の美空ひばりさんが住んでいたんですね。

僕は、変わった人の言葉が好きなんです。ニュートという言葉だとかね。

売れませんでした。という本も書きましたが、これは二番煎じで、あまりという本も書きましたが、これは二番煎じで、あまり2冊目で、『アインシュタインも学校嫌いだった』

までは学校がつまらなくて誰とも話さなかったけど、そういう偉人ではなくても、私の友だちにも、高校

大学に入ったら「もう自由だ」と感じて、非常に明る大学に入ったら「もう自由だ」と感じて、非常に明る大き活躍する人もいますよね。その人に合う場所さえです。芽を出す環境がなければ、誰しも芽を出せないです。芽を出す環境がなければ、誰しも芽を出せないですよね。結婚だって、フィーリングが合わなければ、ほんとうに幸せかどうかわからないです(笑)。給食だって、日本の学校では、好き嫌いを認めていないですね。

て過労死してしまった事件もありましたね。際は行ってみなければわからないんです。東大に入っ際は行ってみなければわからないんです。東大に入っにがしいというイメージがあったわけです。でも、実ばらしいというイメージがあったわけです。でも、実

# 分類して見るのではなく

てきましたが、これについては、どうお考えでしょう。奥地 90年代末ごろから「ひきこもり」が問題になっ

**若林** 不登校を病気だと思うのと同じですよね。いまれ、「ひきこもり」も、「発達障害」も、レッテルを貼る、「ひきこもり」も、「発達障害」も、レッテルを貼るのは、そもそも「病気」と思っているからでしょう。のお医者さんは、ぜんぶ診たんです。科学というのはのお医者さんは、ぜんぶ診たんです。科学というのはのお医者さんは、ぜんぶ診たんです。科学というのはのお医者さんは、ぜんぶ診たんです。科学というのはのお医者さんは、ぜんぶ診たんです。科学というのは現野が狭くなっていると思いますね。

奥地 児童生徒が悪いという根強い偏見を払拭することが重 育一本を変えたいですね。 となれば、 在り方について」 要、フリースクー 不登校を「問題行動」と判断してはならない、不登校 めて驚いています。 ですね。 いなどと言っています(「不登校児童生徒への支援の てきまし 「不登校」というのは学校を中心にした言い方 学校が合わない子は学校以外で育ってもい 「不登校」ではなくなるわけです。 2016年9月14日)。 ルなどと連携することの意義は大き 最近、文科省から出た通知では、 でも、最近は国が変わり始 学校教 41

す。 最後に、不登校の子どもや親たちに一言お願いしま

**若林** 不登校には、すばらしい先輩がいますから、一生はわからないもので、だからこそ、おもしろいんでだって、最後は首を切られてしまったわけですし、人だって、最後は首を切られてしまったわけですし、人だって、最後は首を切られてしまったわけですし、人てって、最後は首を切られてしまったわけですし、人てことはありません。

いです。どうぞお元気でお暮しください。でも元気で、若い方と関わっておられるのはすばらしお話しいただいて、ありがとうございました。80歳前奥地 今日はなつかしい話も含めて、不登校の原点を

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #17 若林実さん

インタビュー日時:2016年11月17日 記事公開日:2017年5月10日

場 所:横浜家庭学園

聞き手:奥地圭子、関川ゆう子、石林正男 テープおこし・写真撮影:石林正男 #18 竹渕陽三さんと「竹の子会」のみなさん 不登校 50 年証言プロジェクト

### ◎竹渕陽三さん

(たけぶち・ようぞう) 1932 年、長野県生まれ。立教大学卒業後、牧師になるため神学校に進むが中退し、法務教官として神戸萬度山学院(初等少年院)に勤務。その後、大阪少年鑑別所を経て、1962 年、大阪市立児童院(情緒障害児短期治療施設)開設当初から、児童指導員として1989 年の定年まで勤めた。定年後は、児童養護施設で働いていた。(写真中央)

### ◎竹の子会

大阪市立児童院の入所経験者の有志で竹渕さんを囲む会。インタビュー当日は、 以下の4名の方が参加しておられた。

- ・児島一裕さん:1956年兵庫県生まれ。小学校5年生で登校拒否になり、小学校卒業までの1年10カ月、児童院に入所していた。その後、1985年にフリースクール地球学校を設立。愛称はラーたん。(写真左から2番目)
- ・A さん (男性): 1962 年大阪市生まれ。小学校 4 年生から 5 年生にかけて 児童院に入所していた。
- ・森脇涼美さん:1956年兵庫県生まれ。小学校をほとんど行かず、6年生終了時に原級留置となり、その後の1年間を児童院で過ごした。(写真一番右)
- ・B さん (女性): 1955 年兵庫県生まれ。登校拒否の経験はないが、小学校 5 年生のとき (1966 年) に児童院に入所し、1 年を過ごした。

### ◎情緒障害児短期治療施設

1961年の児童福祉法改正で定められた施設(開設は1962年~)。当初は学校恐怖症(不登校)や年少非行児童のメンタルケアなどを目的とし、12歳未満を対象としていた。しかし、近年は児童虐待への対応が求められるようになり、現在は在籍児童の7割以上を被虐待児が占める。また、約3割が広汎性発達障害の児童となっている。現在は全国に45施設できている。2016年の児童福祉法改正で、2016年4月より児童心理治療施設と名称変更された。

### #18 竹渕陽三 t<sub>ん</sub>と 「竹の子会」のみなさん



今回は、情緒障害児短期治療施設(以下、情短施設)の実際をうかがいたいと、大阪市立児童院(情短施設)で 1962 年から 27 年間、児童指導員を務めていた竹渕陽三さんと、 $60 \sim 70$  年代に情短施設に入所していた方で、現在も竹渕さんを囲む「竹の子会」に集まっておられる 4 名の方に、お話をうかがった(偶然にも、そのうちのおひとり、児島一裕さんは、日本で最初期のフリースクール「地球学校」創設者であり、本プロジェクトで、あらためてインタビューにうかがう予定)。前半は竹渕さんに、後半は、おもに「竹の子会」のみなさんにお話をうかがっている。

インタビュー日時:2017年2月19日

聞き手:貴戸理恵、山下耕平

場 所:竹渕さんが入所されている老人ホーム (大阪府堺市)

写真撮影:山下耕平

- 375 - - - 374 -

と思い、インタビューをお願いした次第です。 で思い、インタビューをお願いします。滝川一廣先生(本費) 今日はよろしくお願いします。滝川一廣先生(本貴戸 今日はよろしくお願いします。滝川一廣先生(本

施設長は児童精神科医で、大阪市立児童院の施設長は 学園、大阪市立児童院の3カ所でした。どの施設も、 と思います。私は、1962年の開設直後から、 改正されて、情短施設がつくられたという経緯だった もしていました。フランスへ視察に行かれて、 林修三先生でした。当時、 になる1989年までの27年間、 情緒障害というものを勉強して日本に概念を持ち帰っ ていました。 962年に児童福祉法の改正施行で認められた施設 当初は岡山県立津島児童学院、静岡県立吉原林間 厚生省(当時)で勉強会を開いて、児童福祉法が 情緒障害児短期治療施設(以下、情短施設)は、 林先生は児童相談所の所長 児童指導員として勤 そこで

さい。 
专が、情短施設に勤め始めるまでの経緯を教えてくだすが、情短施設に勤め始めるまでの経緯を教えてくだ

## 牧師への道から福祉へ

竹渕 私はクリスチャンで、親父も聖公舎の牧師でした。長野県の岡谷、諏訪湖の近くで生まれ育ちましした。長野県の岡谷、諏訪湖の近くで生まれ育ちましった。霜柱の立ったグラウンドに裸足で立たされてった。霜柱の立ったグラウンドに裸足で立たされていた。霜柱の立ったグラウンドに裸足で立たされてい世界です。そういう時代でした。

受験するのに宿泊したときは、「米扶持」といって、たのは1950年のことです。まだ戦後の混乱期で、か数大学に進むことにしたんです。大学に入学して、立教大学に進むことにしたんです。大学に入学して、立教大学に進むことでしたし、アーメン

カトリックとプロテスタントの中間と位置づけられている。\*1 イングランド国教会の系統に属するキリスト教の教派のひとつ。

ラーシップ(奨学金)を出してくれたんです。学費か会の中部教区を通じて、カナダ聖公会の婦人会がスカ大学に行く経済的な余裕はなかったんですが、聖公宿代代わりに米を持参しないといけませんでした。

ら生活費まで援助してくれました。

大学では、文学部社会科に入って、社会事業につい大学では、文学部社会科に入って、社会事業についとか、わけのわからん横文字だと思ってました(笑)。とか、おけのわからん横文字だと思ってました(笑)。

たんですが、ここは講義が英語でね。英語はちんぷ てくれまして、 した。司教も「イエスさまにお願いしましょう」と祈 ていたことで、 てくれました。 方法ではない」と言ってくれて、中退することを認め 談しました。校長は「牧師になるだけが神に仕える 大学を出たあとは、牧師になるために神学校に入 困ってしまって、1年が終わったところで校長に で、わかるのは聖人の名前くらいだったもの ただ、問題はスカラーシップをもらっ 中退を了解してくれました。 中部教区の司教邸に頭を下げに行きま こういう 9 h 9

とき、神さま仏さまはありがたいですね(笑)。

しかし、中退して、さてどうするか。私は金儲けには向いてない。商売人と付き合うのは無理。だけど、は向いてない。商売人と付き合うのは無理。だけど、勉強した。それで、児童福祉の仕事を考えたんです。ちょうど大阪矯正管区で教官の採用試験があると聞いて受験しました。しかし、発表がなかなか出ない。結果が出るまで10カ月ほどかかったんです。後から聞いたところでは、法務省関係では、身元調査があるそうです。それで待たされていたわけです。

めました。 (現在の第一種少年院)、神戸再度山学院で勤め始院(現在の第一種少年院)、神戸再度山学院で勤め始

### 少年院と鑑別所で

貴戸 少年院では、どんな関わりだったのでしょう。

竹渕 基本は刑務所の看守と同じです。夜勤もあって

の影響もあって、ごっつい子もいました。回していて音がしたら、壁に穴を空けてないか、悪い回していて音がしたら、壁に穴を空けてないか、悪いの影響もあって、ごっつい子もいました。

しかし、私は柔道も剣道もやっていなかったんで、とかり、私は柔道も剣道もやっていなかったんです。とにかく話し相手になる。上で少年の話を聴く担当でした。いまで言うカウンセリで少年の話を聴く担当でした。いまで言うカウンセリングのようなことです。とにかく話し相手になる。上いるから」と言っていました。

たと思います。いまにして思えば、いい経験だっでした。そこで、現実の世界で人とぶつかる厳しさをのアーメンソーメンの世界とは、まったくちがう世界のアーメンソーメンの世界とは、まったくちがう世界のでした。

**山下** 鑑別所では、少年からどういう話を聴いておら

竹渕 たいがいは武勇伝のような話で、反省した話な竹渕 たいがいは武勇伝のような話で、反省した話な声されましたが、連中は少年と言ったって、すれっからしですからね。審判でも、家裁の裁判官の前ではぺらしですからね。審判でも、家裁の裁判官の前ではぺらしですからね。審判でも、家裁の裁判官の前ではぺらしてすからね。審判でもと言ったって、すれっからしている。

# 魔法がかかった登校拒否?

山下 少年院や鑑別所で出会った子どもたちと、その

わけですね。後、情短施設で出会った子どもは、まったくちがった

**竹渕** ぜんぜんちがいましたね。それまで少年院や鑑がました。

ルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とは、その後、劇団に入って、劇団で出会った人と結婚しました。何年かして会ったときには、子どもと結婚しました。何年かして会ったときには、子どもを産まれていて、その子にも会いました。ただ、本来、も産まれていて、その子にも会いました。ただ、本来、も産まれていて、その子にも会いました。ただ、本来、も産まれていて、その子にも会いました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてました。とくに心理屋=セラルをやかましく言われてまります。

ピストはうるさかったですね。現場のことは何もわかピストはうるさかったです。現所後にたいへんになるこにいるあいだはよくても、退所後にたいへんになることも多いですからね。アフターケアが必要だと職員のなかで話し合いを続けて、だんだん、それが理解されなかで話し合いを続けて、だんだん、それが理解されるようになっていきました。

出会い続けていくことが大事だと思っていました。かった。すべて手弁当でやっていました。それでも、されるわけでも、訪問する交通費が出るわけでもなしかし、そのための手当が出るわけでも職員が配置

貴戸 訪問されていたんですか。

竹渕 そうです。幸か不幸か、その当時、うちのカミさんが児童相談所のケースワーカーだったんでね。そちらを通して情報をもらって、訪問していました。うちは子どもがいなかったこともあって、家でも人さんの子どもの話ばかりで、どっぷり生活ぐるみで関わっている。

# 見えること

山下 情短の入所期間は、開設当初は3~6ヵ月だっ かるですよね。

竹渕 そうですね。最初は文字通りの短期入所でした。しかし、実際には、そんな短期間ではどうにもならない。というよりも、短期では猫をかぶっているだらない。というよりも、短期では猫をかぶっているだらない。というよりで、気視では猫をかぶっているだらなっていきました。今日、ここに来ている人たちも、くなっていきました。今日、ここに来ている人たちも、くなっていきました。今日、ここに来ている人たちも、くなっていきました。今日、ここに来ている人たちも、

**貴戸** 現場の職員のなかで、認識を変えていくチーム

の人と心理屋 = セラピストでは見方がちがうのでね。竹渕 チームワークと言えば聞こえはいいけど、現場

緊張関係がありました。心理屋はまったく現場がわかってないし、担当者によって見方がまったくちがうんですよ。心理屋の見方は、それなりのリクツはあるだろうけど、口先だけだと思ってました。実際の生活だろうけど、口先だけだと思ってました。実際の生活たのうけど、口先だけだと思ってました。実際の生活たのが大事だと思いますが、少年審判で、少年が裁判を積むのが大事だと思います。年数をかけて、ようやく実際のところが見えてくるんです。

がいたんでしょうか。 
山下 実際、最初の登校拒否の子のほかに、どんな子

がいいでしょう。 竹渕 それは、ここに来ているみなさんに聴いたほう

# 入所者から見た情短施設

### ・児島一裕さん

1年10カ月いました。
児島 1966年、小学校5年生のときに入所して、

げる人でね。無理やり食べさせられたんです。そうす を覚えるようになったんです。 でたまごが出るかもしれないと思うだけで、固まって ると恐怖心が生まれて、学校に行くたびに、給食にゆ をかけてくれて、食べなくてもいいことになっていた 給食で出るでしょう。 4年生までは、母親が先生に声 ントツできらいだったのが、ゆでたまごでした。でも、 があって、好き嫌いがハッキリしていたんですが、ダ くれたんです。 しまう。でも、 んです。ところが、5年生の先生は厳しくて、 当時、ゆでたまごが食べられなくて、学校に恐怖感 ほんとうにそうなってしまうんです。 熱が出て、 そうなったら、ちゃんと病気が助けて お腹も痛くなる。 僕は天真爛漫なところ 仮病じゃ 手もあ

送中からは温度計をお湯に入れてごまかしてましたけ

ことになりました。
ことになりました。
ことになりました。
ことになりました。
ことになりました。
ことになりました。
ことになりました。
ことになりました。
ことになりました。

入所してからは、一方ではいじめもひどかったし、 た生も厳しかったし、ルールもうるさかったし、たい へんだったんですが、あそこで自分にもどったように 思います。なぜかと言えば、自分の時間があって、思 思います。なぜかと言えば、自分の時間があって、思 とは思ってなかったですが、児童院での経験が原点に とは思ってなかったですが、児童院での経験が原点に をは思ってなかったですが、児童院での経験が原点に なる とは思ってなかったですが、児童院での経験が原点に なる とは思ってなかったですが、児童院での経験が原点に とは思ってなかったですが、としているかったら、まちがいな とは思ってなかったですが、としているかった。

<sup>\*2 1985</sup>年10月、児島一裕さんは兵庫県高砂市で「地球学校」

児島 恐ろしかった (笑)。竹渕先生は覚えてるかわからないけど、面接のとき、竹渕先生は僕のことを「好からないけど、面接のとき、竹渕先生は僕のことを「好いま直だなと思いました。児童院では、上っ面の関係は正直だなと思いました。児童院では、上っ面の関係は正直だなと思いました。児童院では、上っ面の関係は正直だなと思いました。児童院では、上っ面の関係にんとうに安心できる、家族みたいな関係ですね。竹はんとうに安心できる、家族みたいな関係ですね。竹はんとうに安心できる、家族みたいな関係ですね。竹り先生は、そういう空気をつくっていたんだと思います。おかしいと思うときは、ハッキリおかしいと言う。す。おかしいと思うときは、ハッキリおかしいと言う。だから、けじめもついた。それと、いろんなことが体だから、けじめもついた。それと、いろんなことが体験できたのがよかったですね。

僕にとっては児童院は運命的な場所です。竹渕先生

思っています。 らね。ほんとうに長い、親密な関係で、宝物みたいにになりました。いまでも、毎月1回、集まってますかとも当初は犬猿の仲だったのが、ずっと長い付き合い

### ・Aさん(男性)

にかけてです(1972年~1974年3月)。世話になったのは、小学校4年生から5年生いっぱいて、父親と二人暮らしをしていたんです。児童院におる。

活でした。退所してからも、また行きたいなと思って活でした。退所してからも、また行きたいなと思ったようです。児童相談所の一時保護所に見童院では、いじめもあったし、グループが分かれて児童院では、いじめもあったし、グループが分かれて児童院では、いじめもあったし、グループが分かれて鬼童院では、いじめもあったし、グループが分かれて鬼童院では、いじめもあったし、グループが分かれて鬼童院では、いらいろありましたけど、いろんなことを経験させてもらいましたし、私にとっては楽しい生を経験させてもらいましたし、私にとっては楽しいて、父親になると思って

近況報告させてもらったりしてきました。たぐらいです。退所後も、折々に竹渕先生と会って、

聴かせていただけますか。

同じことを言う方もおられましたね。 のなかには、 なだけではなくて、児童院に来ていた人のなかには、 をは思うんですけど、足が向かない。自分でも、なん とは思うんですけど、足が向かない。自分でも、なん がお迎えに来てくれても、玄関から一歩が出ない。 たちが迎えに来てくれても、玄関から一歩が出ない。 なだけではなくて、児童院に来ていた人のなかには、 を がいではなくて、児童院に来ていた人のなかには、

**山下** 児童院は学校とはちがったんでしょうか?

A 月曜日から土曜日のお昼までのあいだ、朝から晩A 月曜日から土曜日のお昼までのあいだ、朝から晩

たね。 家に帰るんですが、もうひとつの家族という感じでして、児童院で生活を味わえたように思います。週末は

**山下** 情短で生活しながら分校に通っていたわけです よね。でも、そこは登校拒否はしなかったんでしょう

貴戸 竹渕先生は、どんな感じでしたか?

A いや、怖かったですよ。もっと怖い女性の職員もA いや、怖かったです。だから、いまでも集まってるんだと楽しかったです。だから、いまでも集まってるんだとおられましたけど(笑)。でも、振り返ってみると、

山下 中学校は行かれたんでしょうか。また、児童院

そういう面ではよかったと思いますね。域の行事には、できるだけお手伝いに行っております。 までは引っ込み思案で、これでも無口でしてん(笑)。中学校は行って、中卒後は働いてきました。それ

### ・森脇涼美さん

りました。小学校の勉強も、ぜんぶ親に教えてもらってなかったんですね。はじめは幼稚園のときに風邪でくて休み始めたんです。でも、だんだん、行きたくても行けなくなって、ときどき行っても、へとへとに疲れて「ああ、しんど」となって、ほとんど学校に行っない。小学校の勉強も、ぜんぶ親に教えてもらっない。小学校の勉強も、ぜんぶ親に教えてもらっない。

と、毎日、みんなで遊んでいて楽しかったです。とまていました。父が校長先生に「今年こそはがんばって行いたのままでは卒業させられない」と言われて、中1になる年の1年間、児童院に入っていました。入っていたので、もっと早いうちに入れてくれたらよかったのにと思いました。女の子は人数が少なかったんですけにと思いました。女の子は人数が少なかったんですけど、毎日、みんなで遊んでいて楽しかったです。

**山下** 児童院を出たあと、中学校には行ったんです

森脇 1年遅れて中学に入ったんですけど、1年生だけ行って、2年生の1学期に、また行けなくなったんけ行って、2年生の1学期に、また行けなくなったんに入れられたんです。そのときには竹渕先生も心配して手紙をたくさんくださって、文通させてもらっていて手紙をたくさんくださって、文通させてもらっていて手紙をたくさんくださったんですけど、1年生だ

**貴戸** 竹渕先生とは、お手紙でやりとりされてたんで

### Bさん (女性)

B 私の場合は、登校拒否ではなかったんです。なん と思います。

ことも聞いたこともなかったです。私も、学校には絶んです。僻地で、まわりでは登校拒否の人なんて見た親は勤めるために、私と弟二人を義兄夫婦にあずけた私が小学校2年生のころ、両親が別居し始めて、母

対に行きたくなかったんですけど、親戚にあずかって 対に行きたくなかったんですけど、親戚にあずかって 黒います。学校には行くものの、授業だとか、先生の 農団登校で、1年生~6年生までいっしょに行くんですが、私は下級生に対して厳しい言葉をぶつけてたんですね。どんなことを言っていたかは覚えてないですけど、イヤミを言っていたんだと思います。それが 原因だったのか、5年生のときに児童院に入れられました。児童院で起こったことは、断片的にしか覚えて ないです。きっと楽しかったからだと思います。

に来られているわけですね。
山下 大事な場だったと思うから、いまでも、この会

B そうですね。でも、ずっと年賀状ぐらいだったん

# 親元から離されることは

ショックなことだったのではないでしょうか。齢で、親元から離されて施設に入れられるというのは、

児島 僕の場合は、児童院に入る前、児童相談所(一児島 僕の場合は、児童院に入る前、児童相談所(一りとすうっと行ったんですが、母親と離れることは、ものすごくさびしかったです。2カ月ほどして、やっものすごくさびしかったです。2カ月ほどして、やっものすごくさびしかったです。2カ月ほどして、やっものすごくさびしかったです。2カ月ほどして、やっものすごくさびしかったです。2カ月ほどして、やっものすごくさびしかったです。そのときは、ずっと母れると思ったり、帰っていたが、母親と離れることは、わりとあっさりと「バイバイ」と言ったのは覚えてまわりとあっさりと「バイバイ」と言ったのは覚えてまわりとあっさりと「バイバイ」と言ったのは覚えてまわりとあっさりと

きなかったですからね。りたくなったんですけど、自分の意志で帰ることはでりたくなったんですけど、自分の意志で帰ることはで

でも、そのうち、不思議なことに自分がそこのボス

になっていったんです。僕をいじめていた子が何人かいたんですね。僕はサッカーが得意で、思った通りのいたんですね。僕はサッカーが得意で、思った通りのいたんですね。僕はサッカーが得意で、思った通りのいたんですね。僕は女の先生の後ろについてまわってました。怖くて、僕は女の先生の後ろについてまわってました。怖くて、僕は女の先生の後ろについてまわってました。怖くて、僕は女の先生の後ろについてまわってました。に入れてやる」と。そこで、やっといじめが止まったんです。

そのころ、洗い場で顔を洗ってたら、僕より年下のそのころ、洗い場で顔を洗ってたら、僕より年下の方こうしているうちに、あっというまに自分が児童院うこうしているうちに、あっというまに自分が児童院の中心になったんです。みんな暇そうにしていて、僕の中心になったんです。みんな暇そうにしていて、僕より年下のをができ提供するのが大好きだったんで、いろんな遊

びを考え出しては、提案していっしょにやってました。

捨てられたような感じはなかったんでしょうか。 元から離れるのはさびしかったということですが、見元から離れるのはさびしかったということですが、見

児島 それはなかったですね。そのうち児童院が自分児島 それはなかったです。週末でも、先生に頼んで残らせてもらったこともありました。卒業が近づくと、らせてもらったこともありました。卒業が近づくと、ここを出ないといけないと思うとさびしくて、なるべく帰らないようにしてました。

## 人生で一番の大暴れ

父親と二人で生活していて、何も聞いてないのに、突れして、職員3~4人がかりで押さえ込まれました。れして、職員3~4人がかりで押さえ込まれました。れして、職員3~4人がかりで押さえ込まれました。

ベルト通しがとれましたからね。ました。あのときは、人生で一番暴れたと思います。然、なんでこんなところに入れられるんだろうと思い

で。それからは、おとなしくしてました。 それがらは、おとなしくしてました。 それからは、おとなしくしてました。 それがらは、 1 回だけ、 1 回だけ、 5 生にお迎えに来られて、 1 回だけ、 6 生にお迎えに来られたことがありまた。 6 で、 7 回だけ、 7 生にお迎えに来られたことがありまた。 7 回だけ、 7 生にお迎えに来られたことがありまた。 8 世にお迎えに来られたことがありまた。 6 世におって、 8 世にお迎えに来られたことがありまた。 7 中で、 8 中で、 9 世において、 1 中保護所に入れられていて、 1 中保護所に入れられていて、 2 中で、 6 中で、 7 中で、 7 中で、 8 中で、 9 中

んでしょうか?
山下 おとなしくしてれば帰れるという思いはあった

いきましたから。そのうち、上の年齢の人は出て行くいろいろありましたけど、だんだん、居場所になってけ込んでいこうと思ってました。いじめもあったし、A 多少はね。だけど、むしろ割り切って、ここに溶

し、こっちが長いことおるから、 居心地もよくなるで

クでした。でも、児童院に行くときは、そうでもなく え込まれたまま部屋に運ばれて。それがすごくショッ と思ってたのを覚えてます。 見上げながら、「私、どこに連れていかれるんやろう」 まくって、車の中で押さえ込まれて、車の窓から空を すんなりと行きました。 初、 児童相談所に運ばれたときは暴れ 児童相談所に着いて、抱

知らない人が入ってきて、連れていかれたのはショ んでいたんです。それが、 でひとりで本を読んだり、猫と遊んで、 クでした。 ていたんです。平日は家にいて、週末は外で元気に遊 児童相談所に連れていかれるまでは、ずっと家の あるとき急に、 平和に暮ら 私の部屋に ッ

屮 への恨みはなかったですか

それはなかったですね。 その後が楽しかっ

> 代わってほしい」と頼んだんですけど、先生は「女の 竹渕先生が日記の担当で、 子が好きだからダメだ」と言って、 ださるのが楽しみでした。私は「女の先生がいいから 365日、日記をつけたんです。そのときだけです。 でるかもしれません。あのとき、 らかもしれないです。 んでした (笑)。 楽しくなかったら、 いつもコメントを書いてく 人生で最初で最後、 代わってくれませ 親を恨

れ で、そういうショックはなかったです。でも、 にあずけられた時点で、母親と別れる経験はしてたの 大阪のほうに連れてこられました。すでに、親戚の家 思ってました。最初は姫路で、 すごく涙が出てきますね。 もドラマで母親と別れるシーンなんかを見ると、 いかれるんやから、私はよっぽど変わってるんや」と てい たと思います。突然ではなくて、数日前から聞かさ 私の場合は、 たと思います。 児童相談所に連れて でも、「こんなところに連れて 気持ちがわかるので。 しばらく経ってから、 いかれ て、 いまで

### 情緒障害という名前は ?

屮 かされていたんでしょうか みなさんは、 当時、 自分が 「情緒障害」だと聞

児島 そういう言葉は聞いてないです。

Α 私も聞いてないです

森脇 です。 自分はふつうやと思ってました。 自分がおかしいとは、まったく思ってなかった

ろうと思って、 ました。でも、 なんで私だけ、こんなところに連れてかれるん それは自分がおかしいからだと思っ 情緒障害とは聞いてなかったです。 7 Þ

ぐら 竹渕先生にお話を戻したいと思いますが、

竹渕 いの子と関わったんでしょう。 27年間で50 人くらいになりますね。

0

りません。大阪市には定年があるから、それで区切り ということです。自分から辞めようと思ったことはあ 上げたということです。 く、わけのわからん子たちと出会って、過ごしてきた がついただけです。まあ、 きざな言い方だけど、

たい 転身しますけど、情短施設では、その心理屋が一番え 僕は生活指導というのは、 「小間使い」と言われることまでありました。 下にみなされてたんです。生活指導なんてのは、 けのわからん子どもを相手にしてね。心理屋は華麗に ずらしいそうです。どろくさい児童指導員として、 らのように、現実を見ている職員がいたから、 スだとか、えらそうに言うけど、現実を見てない。僕 たるも八卦、当たらぬも八卦で、ケースカンファレン から、一番大事なことだと思っています。心理屋は当 して、ご飯食べさせて、それだけだという見方ですね。 らいことになってました。 情短施設で、ずっと児童指導員として続ける人は 、なワルがいられたんです 生活を支えているわけです そして、児童指導員は一番 でも、 わ

屮 のは、 現場では関係なかったようですね。 お話をうかがっていると、「情緒障害」という

ともと法務教官の経験があって、それがベースになっ てたからかもしれないです。それは、よかったと思い まったく関係なかったですね。それは、 僕がも

貴戸 ですね。 その人をト タルに人間として見てこられたん

### セラピ や医療 の実際は

屮 セラピーは、 みなさん受けてたんでしょうか?

ピー 児島 の時間がありましたね。 みんな受けてたんちゃう。 1週間に1回 セラ

象深くはないですけど、そんな感じでしたね。 箱庭療法とか、 木の絵を描いたりね。 あんまり 郋

> 屮 医者とのつながりは、どうだったんでしょう。

竹渕 はそれぞれの病院と関係してたでしょうけれ 僕は直接は関係してなかったです。 セラピス

うか? 屮 みなさんは医者にかかることはあったんでしょ

同 なかったですね

非常勤で来ていましたけど、基本的には医療行為はな 竹渕 かったです。 所長は精神科医だったですし、 精神科の医者も

貴戸 親のネットワークはあったんでしょうか

竹渕 んですが、だんだん養護施設的な感じになっていった ので、難しかったですね。 最初は親も定期的に来て会を開くとか 親担当の職員がいるわけで んていた

もなかったですし。

貴戸 いたんでしょう? 定員は何人ぐらいで、 児童指導員は何人ぐらい



森脇 導員) は5 記憶では先 生(児童指 私の

> 人で、 男の先生2人と女の先生3人でした。

だったと思います。 児島 僕の記憶では、 入所していた子どもの数は28人

### 出会って しまっ から

児童

すね。 屮 もみ合いながら生活してきたということだったわけで 場面緘黙とか自閉症とか、 いういろんな子たちと、ごちゃごちゃといっしょに、 よね。情緒障害と簡単にくくることができない。そう 情短施設には、登校拒否の子だけではなくて、 いろんな子がいたわけです

から、 竹渕 関係なかったです。 児相では心理判定はするけど、 そうです。児童相談所の措置として入ってくる 実際のところは

屮 間だけの関係では切れなかったわけですね。 生活をともにされてきた。だからこそ、 それを手

さん、

今日はありがとうございました。

をうかがえて、

すごくよかったです。竹渕先生、

みな

きたいと思って修士論文を書いたのが、

の人にとって不登校はどういう経験だったかを見てい

いろんな人の不登校経験の語りのなかで、

そ

のスタートでした。ですから、

今日はみなさんのお話

研究者として

そこで、

きな問題になってしまって、なざしは受けいれられない。

自分の経験からは遠い。社会学の不登校研究は大

施設に、

どういう関心があったんでしょう。

弁当でやってきたと。

逆に、貴戸先生に聞きたいんですが、不登校や情短し、それが楽しみでもあったからね。 し、それが楽しみでもあったからね。

ですね。 貴戸 片方だけが熱くなるのがイヤだったとか、 に教室から出てきて手を洗う……自分がそのなかの一 行かなくなったんです。 かいところから、「あ、 バターがイヤだったとか、 人になるとは思えなかった。 ンレスにずらっと並んでいて、 がきらいだったんです。あれが廊下の洗い 私も、 私は、 小学校6年間、学校に行ってなか 学校にぶら下がってるレモン色の石け 無理」という感じがあって、 ストーブ近くの席で身体の あと、給食のピーナッツ 子どもたちがい そういう細 場のステ っせい 0 た

児島 かなり自分を持ってはったんやな

で。 とんをかぶって、動かなかったという感じだったもの 貴戸 いやいや、自分の意志を持ってというより、ふ

**児島** でも、それはかなり意志を持ってないと、でき

貴戸 そうかもしれません。私が学校に行かなくなっまた。

竹渕 それが許されたんですね

精神科医の本などを読んでも、不登校を病気とみるまなのだろうという問いをずっと持ってきたんですね。としていました。そういう経験のなかで、学校って何登校運動のつながりのなかで、不登校を認めていこう貴戸 そうですね。母は東京シューレを中心とした不貴戸

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #18 竹渕陽三さんと「竹の子会」のみなさん インタビュー日時: 2017 年 2 月 19 日

記事公開日:2017年5月11日 場 所:竹渕さんが入所されている老人ホーム(大阪府堺市)

聞き手:貴戸理恵、山下耕平 記事編集・写真撮影:山下耕平

奥地 おひさしぶりです。

今日は不登校について、

V

ろい ろお聞きしたいと思います。 私が奥地さんとお会いしたのは、

て言 だったと思います。どういう経緯だったかは覚えてま せんが、水道橋の交差点で「それじゃあ、 った景色はよく覚えてます。 82 年 か 83 またね」っ 年

奥地 ださっていたんですね。 私がTBSにいたころです。 水道橋で集会をやったので、 奥地さんに会わな そのときに来てく

まず印象に残っているのは、 んについてです。 たんですが、 がいに何か相乗効果があったんでしょうね。 かったら、私は、 して、番組をつくることはなかったと思います。 今日、お話しすることを整理しようとメモをつくっ テーマとしては5つほどになりました。 あんなに登校拒否の子どもの取材を 長男さんは、 奥地さんの3人のお子さ いま、 どうされてるの おた

堂本暁子さん #19



(どうもと・あきこ)

1932年アメリカ合衆国カリフォルニア州生まれ。東京女子大学文学部卒業後、 1959年、TBSに入社。記者・ディレクターとして、教育、福祉、ODA問 題はじめ、チベットや北極への取材、日本女性マナスル登山隊同行取材など、 報道番組やニュース番組の制作に携わる。1989年より2001年まで参議院議 員、2001年より2009年まで千葉県知事を2期務めた。著書に『生物多様性』 (岩波書店 1995)、『堂本暁子と考える医療革命』(中央法規出版 2009) 『生物 多様性―リオからなごや「COP10」、そして…』(ゆいぽおと 2010) など多数。

インタビュー日時:2017年4月6日

聞き手:奥地圭子、木村砂織 所:堂本さんご自宅

写真撮影:木村砂織

奥地 にいます。 大の大学院に行って、 いまは科学者です。京都大学を卒業して、 いまは地球物質科学系の研究所 東工

堂 本 学定期が使えるようになった。それは、 校拒否の子どもたち。 たことです。 県知事になって、 な経験だったろうと思うんです。5番目は、私が千葉 に国会審議を傍聴し、 が傍聴に来てくれたでしょう。子どもたち自身が実際 ど、文教委員会(当時)に東京シューレの子どもたち ら出会った子どもたちです。 大きな影響を受けました。3番目は、私が取材した登 神科医/1925―2009)のことですね。 そうですか。 県のモデルスクールをつくったり 2番目は、 議員に要望して、 4番目が、国会議員になってか いまでも覚えているけれ 渡辺位先生 自分たちの通 すごく大き (児童精 すごく

出席扱いと認めた場合、 用が認められるようになった。それまでは通学割引はなかった 993年、 小中学生で民間施設に通う場合、 その施設への通学に「実習用通学定期」 在籍校の校長が の使

料で県の施設を貸してくださいましたね。 千葉県の「菜の花スクールモデル事業」で、 無

堂本 したからね。 県のことは、 でもね、 そのあたりは少ししか覚えてない たくさん、 いろいろなことをやりま 0 で

して、 奥地 が。 まずは、 そうですよね。では、その5点を中心に聞くと ご自身のことからうかがいたいのです

## 奔放に育った少女時代

校に移りました。この学校に行ったおかげで、 戦前に帰国して、 いじめとか不登校ということに、 心配して、青山にあった啓明学園という帰国子女の学 んだけど、そこでは英語ばかり使っているので、親が 私は、 1932年、 最初は聖心女子学院の語学校へ行く アメリカで生まれました。 比較的無縁で過ごせ 私は、

> (小野洋子) がいたのよ。 た気がします。啓明学園では、 隣の席にオノ 3 コ

奥地 そうなんですか。学友なんですか

授になりました。ほかに男の子が3人いて、 最初の国連職員になって、 では川島陽子がいて、この方は超優秀な人で、日本で ぐらいまで、 人しかいないクラスだったので、授業も、 人教授でした。 戦争で、じきに別れちゃったけど、 いっしょでしたね。もうひとり、 30代で慶応大学経済学の教 小学校4年 ほとんど個 全員で6 女の子

奥地 よく、 そんな学校がありましたね

堂本 成蹊学園から先生たちをリクルートしてきてね。 たんです。三井家ですから、お金はいくらでもあって、 の高橋是清翁記念公園(港区赤坂)のところにあった の子どものために創った学校で、私も設立当初に入っ 1940年に、三井家の三井高維さんが、 自分 いま

たり。 三井さんの自宅を開放したんですが、広い芝生のお庭 られないですね。 でね。栗山重先生の自然観察の授業は、いまでも忘れ 絵の先生も、 画家の方が来られてい

奥地 超一流の人たちに育てられたんですね

ので、 堂 本 まいますから、 当時は「鬼畜米英」という時代で、非国民にされてし に行っていたら、いじめに遭っていたかもしれません。 でレベルもちがいましたし、6人でしたから、 というような時代でしたからね。 奔放に過ごすことができました。普通の小学校 ええ。しかも個人授業に近い。みんな帰国子女 ていねいに教えてくれた。そういう学校だった 必死になって英語を忘れないといけな 一人ひ

奥地 『窓際のトットちゃん』みたいですね

> ことが書いてあるような気がします。でも、だんだん 堂本 そうそう、同じ。あれを読むと、なんか自分の その前に集団疎開していたんです。 戦争が激しくなってきて、1945年3月10日の空襲 で自宅も啓明学園も焼けちゃったんです。 私たちは、

奥地 も経験しました。 私も、 集団疎開の経験があります。 東京大空襲

堂 本 感じでした。 ら、そこにも毎日空襲があったの。すごかった。近く の別荘でね。立川の陸軍の飛行場のすぐ近くだったか に爆弾が落ちて、生きているほうが不思議なぐらいの いました。集団疎開した先は、拝島にあった三井さん 東京大空襲のときは、ずうっと火の海が見えて

学校が焼けちゃったから転校証明をもらえてなくて、 軽井沢の小学校には入れてもらえなかったんです。 なかったんです。その後、信州に疎開するんですが、 たので、あんまりかっちり勉強しろと言われることが でも、逆説的ですけど、よかったことは、戦争中だっ

描いた自叙伝。

1981年、

舎の子と遊ぶ毎日でした。とれだけで、あとは田いました。勉強らしいことは、それだけで、あとは田数学と絵の先生に、算数と絵を教えてもらったりして数学と絵の先生に、算数と絵を教えてもらったりして

奥地 ホームスクーリングですね。

**堂本** そう、ホームスクーリング。ですから、不登校 中まれていれば、この子たちの仲間だったにちがいな 生まれていれば、この子たちの仲間だったにちがいな の子に出会うたびに思ったのは、私も、ちがう時代に

いから (笑)。 戦時中は、兵隊さんが来て教練をやらされたり、そがう全体主義的なことはあったけど、いまのようにからね。子どものことなんて、ほったらかしだった。からね。子どものことなんて、ほったらかしだった。からね。子どものことなんで、ほったらかしだった。からないから (笑)。

で活躍されてるじゃないですか。 奥地 国会議員をやって、知事をやって、充分に社会

**堂本** 何にも勉強しなくても、国会議員はできるし、 関知事ぐらいはできますよ。私なんて、小学校の勉強 県知事ぐらいはできますよ。私なんて、小学校の勉強 県知事ぐらいはできますよ。私なんて、小学校の勉強 標業だったから、1年生でも、できる子はどんどん2 軽業だったから、1年生でも、できる子はどんどん2 をり方だったの。だから、好きなように伸びた。でも、 そのほうがいい教育だったのだと思います。

さいと言われる。青山に憲兵隊があって、「英語を話さいと言われる。青山に憲兵隊があって、「英語を話にろが日本に帰国したら、戦争が始まり英語は忘れなら、日本語を忘れて英語だけになっていたんです。とら、日本語を忘れて英語だけになっていたんです。ところが日本に帰国したら、戦争が始まり英語は忘れなころが日本に帰国したら、戦争が始まり英語は忘れないと言われる。青山に憲兵隊があって、「英語を話していて、小学校でも中学校でも、毎日、日記を書かせていて、小学校でも中学校でも、毎日、日記を書かせていて、小学校でも中学校でも、毎日、日記を書かせていて、小学校でも中学校でも、毎日、日記を書かせていて、小学校でも中学校でも、毎日、日記を書かせていて、「英語を話

教えて、そこから先は何語を教えてもいい。 ですから、 ですが、 言語というのは、 10歳までは母国語をきたんですが、 言語というのは、 10歳まで、 そうすると言言と、 20歳までは、 20歳までは

う動きがありますね。 奥地 でも、いまは小学校から英語を必修にするとい

**堂本** それは、私の経験から言うと、まちがってます。 をです。私も、言語混乱はずっと引きずっている子はいっぱいいます。 るが取材したところでは、日本の大学にもアメリカの大学にも入れない子たちが、けっこうにもアメリカの大学にも入れない子たちが、けっこうにもアメリカの大学にも入れない子たちが、けっこうにもアメリカの大学にも入れない子たちが、けっこうにもで、私も、言語混乱はずっと引きずってます。

るんです。れるんだけど、本人は、すごく言語劣等感を持っていれるんだけど、本人は、すごく言語劣等感を持ってい

# 私の教育は「どさくさ」

奥地 中学卒業後は、どうされたんでしょう。

**堂本** 東京の自宅は焼けてしまったので、神奈川県に引っ越して、清泉女学院高校に行きました。そこで初めて、大人数のクラスに入ったんですね。カトリックの学校ですけれども、これがまた幸せなことに、1期生だったんです。ちょうど、そのときに学制改革で旧生だったんです。ちょうど、そのときに学制改革で旧生だったんです。ちょうど、そのときに学制改革で旧人です。私たちは大学の先生に高校1年から教わったんです。私たちは大学の先生に高校1年から教わったの。だから、授業はとてもおもしろかった。

奥地恵まれていたんですね。

**堂本** ものすごく恵まれていました。国語は言語学者

な一高の先生を引っ張ってきていました。洋史は三上次男さん。日本史は亀井勝一郎さん。みんの大野晋さん、英語はケンブリッジを出たイギリス人の大野晋さん、英語はケンブリッジを出たイギリス人

奥地 どさくさがよかったのかもしれないですね。

学に入ったという感じでした。 受験勉強らしい勉強はしなくて、いきなり中学から大受験勉強らしい勉強はしなくて、いきなり中学から大堂本 そうなの。私の教育はぜんぶ、どさくさです(笑)。

ですか?

れるので、とってもおもしろかったんです。それで、たからです。英語も国語もみんなきらいでした。数学たがらです。英語も国語もみんなきらいでした。数学大学でご自分のやっている研究を持ってきて話してく大学でご自分のやっている研究を持ってきて話してく大学でご自分のやっている研究を持ってきて話してくなが、とってもおもしろかったんです。それで、大学でご自分のやっている研究を持つです。

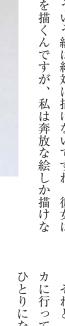
ほんとうは北海道大学に行って生物学を学びたかったにんですけど、母に「北海道なんて行かないでくれ」とんですけど、母に「北海道なんて行かないでくれ」とんですけど、母に「北海道なんて行かないでくれ」とたら、私なんて、どの学校も受からなかったと思います。受験勉強なんて、まったくしないまま、私は通ってきたの。

**奥地** それは、幸いだったかもしれないですね。やみ

**堂本** そう、記憶力は悪いし、もし、時代が10年ずれ せだったと思います。この絵も母が描いたものです(次せだったと思います。の絵も母が描いたものです(次とだったと思います。母は絵描

奥地いきいきとした絵ですね。

几帳面な絵を描くんですが、私は奔放な絵しか描けないていたの。でも、私が描く絵について、「こうしたいていたの。でも、私が描く絵について、「こうしたいていたの。でも、私が描く絵について、「こうしたい」



れも幸いだったと思うの。ど、けっして押しつけることはなかったんですね。そい。それから、本なんかも、借りてきてくれましたけい。それから、本なんかも、借りてきてくれましたけ

ひとりになっちゃった。カに行ってしまったんです。だから、母ひとり子どもカに行ってしまったんです。だから、母ひとり子どもそれと、ちょうど戦争が始まる直前に、父がアメリ

ですね (笑)。 奥地 そうやって奔放に自由に育って、大学へ行った

### TBSの記者に

かり。 い時代ですからね。どこを見ても就職するのは男ばっ 性には就職先がなかったの。雇用機会均等法なんてな 性のは就職先がなかったのは就職先です。当時、女

奥地 女は家庭で男に仕えるみたいな感じでしたよね。

読んで、文化人類学を研究したかったんです。 ない。だけど、ほんとうは大学院に進みたかったんで とをやりだしたのね。気がついたら、その手伝いとし SISで、日本向けのアメリカの宣伝放送みたいなこ 体で経理の仕事に就きました。ちょうどそのころ、U Information Service)というアメリカ大使館の外郭団 女子大の先輩の紹介で、 上打てることが条件というので、習いに行っているあ 求人もあったんですが、タイプライターで80ワード以 校の食堂の皿洗いから始めました。アメリカ大使館の ど、どうしても働かなくてはならないので、最初は学 いだに、ほかの人が採用されてしまいました。その後、 そうすると、毎日、新聞を読まなければならない ラジオのディレクターみたいなことをしていまし 中根千枝さん(社会人類学者)のチベットの本を いろいろやりました。 そこから先は、生活のために働かなくてはなら そうそう。奨学金があったから大学は出られ USIS (United States だけ

で、女性キャスターを探していたんです。なぜか女子そのころ、TBSが婦人ニュースを始めるというの

た。た。なです。私は、あんまりテレビに興味がなかったんだは結婚して妊娠していたので、私に話がまわってきた私と私の親友の名前があがって、でも、友だちのほう大ばかり探しに行っていてね。それで、先生の紹介で、大ばかり探しに行っていてね。それで、先生の紹介で、

奥地 まだ、テレビが出始めたころですよね。

**堂本** そう、テレビ局といっても、お給料さえ出るか

かったですものね。なでいっしょに見ていました。家にテレビなんてななでいっしょに見ていました。家にテレビなんてなに大きいテレビが置いてあって、洗面器抱えて、みん奥地 当時、私は大学に入ったころで、お風呂屋さん

うね。時事問題の試験は100点だったと思います。日、すべての新聞を読んでいたのがよかったんでしょ者がいて、何度も試験はあったんですけど、仕事で毎世本 そうよね。それで、各大学から10人ぐらい候補

成功したんです。私は会社と大学のどっちに行こうか トやミクロネシアをテーマにした、文化人類学的な番 たんです(笑)。でも、会社に入ってからも、 れで試験を受けられなくて、文化人類学は、 ないか」と言われて、会社に行くことにしました。そ と思って、駅の赤い公衆電話から会社に電話をかけた 日に、ソビエトのガガーリンが、初めての宇宙飛行に らくは続けていました。でも、運悪く都立大の試験の 都立大の聴講生をしていて、TBSに入っても、 思っていたので、そのころは昼間は働きながら、 「あなたに決めました」と言われたのを覚えてます。 断ろうと思ってTBSへの坂を登っていったところで ト学会にも入っちゃった。生物のほうも、 組をいっぱい制作して、学者並みに勉強して、 でも、 いてます。学者じゃないくせにね。 「いま、どこにいるんだ。早く来なきゃダメじゃ 私はどうしても文化人類学を研究したいと 何冊も本を あきらめ チベッ チベッ

たの(笑)。人生って、すごく不思議なもので、初めは「テや」と思っていたんですが、それから30年続いちゃっ最初、TBSは「イヤだったら1年で辞めればいい

#19 堂本暁子さん

たときは、みなさんが勧めるんなら、 おもしろくなりました(笑)。ですから、県知事になっ 議員に向いているというので、やってみたら、3日で でした。ずっと断っていたんですけど、 自分で思っているよりも、 に向いていると見抜いてくれていたんだと思います。 たんですね。 るのだろうと思って、あまり抵抗感なく、決心しちゃっ いることってありますね。国会議員になるときもそう ですね。私を紹介してくれた先生は、 いたこともあって、やってみたら映像が好きだったん レビなんか」と思っていたんだけど、母が絵を描いて 人から見たほうがあたって たぶん向いてい ジャーナリスト みんなが国会

奥地 県知事は、何年なさいましたか?

そのときどき、無我夢中で走ってきましたが、85年 いるな辞めてから8年間は、市民活動をやってます。 です。ジャーナリスト30年、政治家20年。そして政 です。ジャーナリスト30年、政治家20年。そして政 です。ジャーナリスト30年、政治家20年。そして政 です。

もつらい時代だったと思います。たのかなと思います。真ん中を生きていたら、とってなと思います。それも、どこか外れてきたのがよかっ生きてみると、けっこうドラマチックな時代に生きた

て、どんどんやっていくという感じがありますね。とってあると思いますけど、堂本さんはおもしろがっ奥地 そういう時代だと、自分のほうが負けちゃうこ

しろいと思えなかったと思います。 くなかったら、ジャーナリストでも政治家でも、おもくなかったら、ジャーナリストでも政治家でも、おもえるのは、好奇心が強かったことですね。好奇心が強して言いる。との仕事でも共通して言

## 不登校と出会ったのは

子に関心が向いたきっかけを教えてください。 奥地 不登校の話に戻りますが、学校に行っていない

**堂本** それは、まったく覚えてないんです。水道橋で

いうことでしょうね。前段はぜんぜん覚えてない。たぶん取材で出会ったと奥地さんに出会ったことからしか覚えてなくて、その

でしょう。堂本さんは、その取材をされていましたよね。 な矯正施設に入れられたり、いずれにしても、施設に な矯正施設に入れられたり、いずれにしても、施設に な のころは、不登校になると、病院に行って薬

**堂本** 先にその関係を取材していたんですかね。でも、 変辺位先生のところに行こうと思ったんだけど、何カ 渡辺位先生のところに行こうと思ったんだけど、何カ を辺位先生のところに行こうと思ったんだけど、何カ を辺位先生のところに行こうと思ったんだけど、何カ

奥地 3カ月待ったんです。

堂本 それで、やっと会えて、渡辺さんのところから

ごく印象的でね。おにぎりが食べたい」だったって。もう、その話がす場ってきたご長男が最初に言った言葉が「お母さん、

安地 よく、覚えてらっしゃいますね(笑)。

際にやってきた青年が「奥地です」と挨拶されてね。でしょう。そのときも、学校に支配されるんじゃなくて、自分で授業を選択して、出たくない授業には出ないとおっしゃっていて、子どもというのは、苦労すると、そういうふうになるんだな、すごいなと思って、印象と、そういうふうになるんだな、すごいなと思って、印象と、そういうふうになるんだな、すごいなと思って、印象と、そういうふうになるんだな、すごいなと思って、印象に、かっている。

「おまえ大検かよ」みたいな蔑視があったんですって。 を取って、京都大学を受けて入ったんですが、みなさを取って、京都大学を受けて入ったんですが、みなさん、すごい受験競争をくぐって入ったんですが、みなさ

てました。になって、堂本さんを講演に呼びたいと思ったと言っになって、堂本さんを講演に呼びたいと思ったと言っ

だとばかり思っていたんですが、逆さまだったんですね。私は、誰かが呼んで、たまたまそこに奥地さんがいたん堂本 そうだったんですね。それは初めて知りました。

ドなのに、よく覚えていてくださったですね。奥地(逆さまなんです。でも、それも小さなエピソー

# 旧陸軍病院と児童精神科

は戦争で精神障害になった人がいる。戦争がなければ、生のいらした国府台病院に取材に行ったんですが、強生のいらした国府台病院に取材に行ったんですが、強生のいらした国府台病院に取材に行ったんですが、強生のいらした国府台病院に取材に行ったんですが、強生のところで、旧陸軍病院のほうを指して、「こっちにのところで、旧陸軍病院のほうを指して、「こっちにのところで、旧陸軍病院のほうを指して、「こっちに対している。戦争がなければ、

きしかしたらバイオリニストになったかもしれない、 を神経を持った人たちが戦場で耐えられなくて、神経な神経を持った人たちが戦場で耐えられなくて、神経 たんです。当時、白服を着た傷病兵がおられたんです たんです。当時、白服を着た傷病兵がおられたんです なって冷には児童精神科のほうを指して、「こっちには、受験戦争の犠牲になった子どもたちがいる」とおっしゃったの。「いずれも戦争の犠牲者で、片方は、自分が人を殺さなきゃならなかったり、それに自 け、自分が人を殺さなきゃならなかったり、それに自 なの神経が耐えられなくて、神経が壊れちゃった人たち。片方は、受験戦争という戦争のなかで、壊されて きた子どもたち」だってね。

定されて、いわば自分が壊れちゃったのね。でも、すある中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おある中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おある中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おある中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おおる中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おおる中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おおる中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おおる中学1年生の女の子は、シャガールが好きな、おおる中学1年生の女の子は、シャガーは、カースを表している。

ごくセンスのいい子どもでした。何度かラジオやテレ もたちがどんなに苦しんでいるかということが如実に 教育や偏差値教育がまちがっていて、 た。私自身、渡辺先生に出会ったことで、いかに学校 生のところで何人もの子どもに取材させてもらいまし ことは、いまでもよく覚えてます。ほかにも、渡辺先 たということとは縁を切ります」とおっしゃって、 ビに出てもらって、自分の詩を詠んでもらったり、 起きたわけですよね。 わかったのね。彼があって、 もそれっきり縁がなくなってしまいました。その子の の後、短大に入って「もう出ません。 校に行けなくなった話をしてもらいました。でも、そ その後のいろんな動きが 自分が不登校だっ そのために子ど

もよくわかりました。でながった」って思いました。人間は生き物だから、つながった」って思いました。人間は生き物だから、は同じだと言われて、「ああ、すごい。本質がパッとが学校から自分を守るために、登校を拒否しているの

**堂本** 子どものほうがナイーブだから、より反応が出 やすいんでしょうけれども、それにしても受験「戦争」 というのは、すごいことですよね。いまもシリアとか、 あちこちで紛争が起きていますが、いっぱい、そうい あんな病んでいく。そのことをはっきり、わからせて みんな病んでいく。そのことをはっきり、おり反応が出 されたのは、渡辺先生でした。

## 不登校の取材を通して

選手をしていました。彼女は、日本語がよくできないロサンゼルスで生まれ育って、フィギュアスケートの最初は、当時、小学校5年生ぐらいだった女の子で、その後、帰国子女の不登校の子どもを取材しました。

術家になっています。いまはアメリカにおられて、芸連絡をとっています。いまはアメリカにおられて、芸連絡をとっています。いまはアメリカにおられて、芸連絡をとっています。いまはアメリカにおられて、芸連絡をとっています。いまはアメリカにおられて、芸連絡をとっています。いまはアメリカにおられて、芸連絡をとっています。いまはアメリカにおられて、芸神をと、でいった。彼女と、でいった。

その後、青森県の精神病院に不登校の子どもたちが入っていると聞いて、取材に行きました。そこは、かならずしも悪い病院ではなくて、精神科の先生もいいならずしも悪い病院ではなくて、精神科の先生もいいたところでした。もうひとり、同じような子がいましたが、彼がその子に「すぐ走るなよ。足がふらふらにたが、彼がその子に「すぐ走るなよ。足がふらふらにたが、彼がその子に「すぐ走るなよ。足がふらからに出てきたところでした。もうひとり、同じような子がいましたと、先輩面をして言っててね。

談したそうなんです。それで「病院に入れるのが一番もが学校へ行かなくなって、自分の友人の警察官に相その子のお父さんは赤十字病院の外科部長で、子ど

いいよ」と言われて、彼は入院させられて、いきなりいいよ」と言われて、1カ月経って出てきたところに、独房に入れられて、1カ月経って出てきたところに、独のたの?」と聞いたら、茶髪にして、それを直せとなったの?」と聞いたら、茶髪にして、や枕に行かなくなったら、親が病院に連れてきたと。「俺は何にもたなったら、親が病院に連れてきたと。「俺は何にもたれてきゃならないのか」と言っていました。それで、テレビカメラに向かって、けっこう長いことしゃべったんです。そのテープは捨てずにとってあったんですが、2~3日中に捨てられることになってるの。もったいないわね。

奥地 そうですね。二度と撮れないものですからね。

その子は「医者とか看護婦というのは、判断するんだんだろう。僕には何一つ言わないのに」というのね。んだろう。僕には何一つ言わないのに」というのね。れだろう。僕には何一つ言わないのに」というのね。

ないかと思って、期待を持って話すのね。とういうレッテルを貼る。堂本さんは、医者じゃないとうな意味で話してくれる。それは、ほかの子たちもような意味で話してくれる。それは、ほかの子たちもような意味で話してくれる。やれは、医者じゃないよ。それで、点数をつける。躁だとか鬱だとか、必ずよ。それで、点数をつける。躁だとか鬱だとか、必ずよ。それで、点数をつける。

でも、その病院の先生は、とてもいい方だったので、その後も連絡はとっていて、何年か後に「あの子で、その後も連絡はとっていて、何年か後に「あの子が手術でミスをしたらしくて、それまで親と口をきかなかった子どもが、初めて「お父さんがんばれ」みたいなことを電話で言ったんですって。親がとても大変な目に陥ったときに、初めて優位に立ったのね。それで電話をかけたというのを聞いて、「ああ、そういうで電話をかけたというのを聞いて、「ああ、そういうことがあるんだな」と思いました。

## 全国の児童精神科に

ほかの個別のケースはあまり覚えていませんが、日

ました。それを聞いて、私はすごく怖いと思ったんで 児童精神科医は、その判断ができるけれども、 行かなくていいよ」と言えば治ると言っていました。 に酷似しているけど、これは不登校だから、「学校へ じこもってしまうような症状は、分裂病(統合失調症) ランで、不登校の子の示す、幻覚を見たり、部屋に閉 けられて……。 よりひどかったです。二重の扉で、ガチャンと鍵をか 登校の子どもがゴロゴロいたの。しかも、 本各地の、子どもの入っている精神病院をまわりまし の精神病院にも入れられていました。 精神科医は分裂病だと診断してしまうことも多くて、 た。そのなかでも、 子どもたちは、児童精神科だけじゃなくて、 当時、児童精神科って、 人生を誤ってしまう可能性もあると言ってい U病院のF先生は児童精神科の大ベテ 東京のU病院には驚きました。不 ものすごく少なかった 大人の病院 大人の

う筑波大学の医者が、文科省の登校拒否対策でも中心いうので、有名だったんです。そのころは稲村博とい奥地 東京では、U病院は、すぐ入院、すぐ薬漬けと

「30代まで尾引く登校拒否症」「早期完治しないと無気力症に」の見出しで、トップ記事として稲村さんの治療が紹介されて、大騒ぎになりました。つまり、不登校は見守るだけじゃだめだ、病院に行かせろとなった。 お父さんがお母さんに言うとか、学校の先生がその記お父さんがお母さんに言うとか、学校の先生がその記がすると方向性がいっしょの医者が多かったと思いたのが、東京では自殺者も出たほどです。 世病院には、稲村さんと方向性がいっしょの医者が多かったと思いたのが、東京では自殺者も出たほどです。 世病院には、不登校の大生を受けとめよう、見守ろうという流れもあった、子どもを受けとめよう、見守ろうという流れもあって、子どもを受けとめよう、見守ろうという流れもあって、大いでは、不登校を病気扱いしないという学会の方針が出たんです。

堂本 でも、その数年間がかわいそうだった

うことで、U病院の独房に1週間入れられた子を知っえます。最近でも、昼夜逆転とゲーム漬けを治すとい奥地 その通りです。でも、いまも変わらないとも言

堂本 ていますね。 ひどい、信じられないですね。 むしろ、悪くなっ

ています。

奥地 うにまでなったんです。 の会、居場所、 ちのような取り組みの輪も広がっているんですよ。親 「不登校は問題行動ではない」という通知を出すよ いている。この流れのなかで、 専門家依存は、 フリースクールなどに、世間の関心も 11 まもありますね。 やっと最近、文科省 でも、

堂本 50年遅い」と言うべきです

奥地 一方では、 そういう意味では、 まだまだ病気扱いも多いですね。 11 い方向もあるんですが、

堂本 発達障害なんかもありますから

それが重なっちゃ 0 ています。堂本さんは、

> 神病院以外にも、 ていましたね。 仏祥庵などの矯正施設も取材され

### だ つ た仏祥庵

されたと聞いたことがあります。そういう小屋に、 務所で真っ暗な部屋に入れるのは人権侵害だから廃止 が入らないようになっていました。アメリカでは、 いて、地獄のようでした。 かには足枷もされて動物のようにつながれている人も っさい出られないように囲われていて、 仏祥庵は、ほんとうにひどかった。 独房の小屋は、 建物から いっさい光 入所者のな 小 刑

が死亡、 暴力行為をしないことなどを約束することで和解した。 たという。2013年、裁判は、心道園が入所者の行動の自由を確保し、 自らの意思に反して収容され、 などを求める民事訴訟を東京地裁に起こした。男性は、2006年に 活動している。2011年には、被害者の男性(当時52歳)が慰謝料 がうら市に移転し、名称を「心道園(通称:仏祥院)」と変えて現在も 者3人が焼死するなどの事件を起こす。しかし、 1984年に火災事故、1985年に集団暴行で入所者1人(当時26歳) 1972年に合田正が静岡県富士市に設立した「更生施設」。 987年には火災で「反省室」に閉じ込められていた入所 3年間にわたって監禁され暴行を受け 施設は茨城県かすみ

んどんと壁を叩いていたらしいんだけど、 た大柄な女の子だったけど、暴れに暴れまわって、ど 学校6年生の女の子を入れていたのね。 ちょっと太っ レと水だけ。 そこに1週間、 入れられてました。 あるのは

たよね もされていましたね。また、 に出るときは目をいきなり開くと危なかったという話 真っ暗な部屋だから、 よく親がそこへ入れまし 入れられている子は、

た子もいました。 取材で訪れたときに、ちょうど親に車で連れてこられ なかったり、座禅のようなことをさせたりするんです 者への殴る、 裟を着たおじさんで、 覚があるのでしょうね。主宰者は、 分たちが殺されてしまう」「もう手に負えない」となっ たすら虐待に近い暴力が振るわれてました。私たちが 男女関係なく、 そう思うでしょう。親には 蹴るは、 家で暴れるので、 入所者には大人もいましたが、ひ 朝飯前。食べ物をちゃんと与え 職員もヤクザな人たちで、入所 「罰する」という感 坊さんみたいな袈 父親も母親も

> さんは「あなたは、あの子が私の大事なグラスをどの るよう頼まれました」と言ったんです。でもね、 殺されるかもしれない。だから助けてほしい〟と伝え 以上、ここにいたら発狂してしまうかもしれないし、 の取材に行って、息子さんにお会いしました。、これ 「これ以上、ここにいたら、たぶん発狂すると思いま るんです」「迎えになんて行きません。 暴れまわったか知らないから、 ぐらい割って、家じゅうの家具をめちゃくちゃ壊して、 です。それで、彼の実家に電話したんです。「仏祥庵 るから」と、彼の自宅の電話番号を聞いてメモしたん す」と言ってました。「親にそのことを知らせてあげ ある高校生の子に「あなた大丈夫なの?」と聞くと、 しめます」と言われたの。 取材中、 仏祥庵に入れて、罰してもらおうとしていました。 私を見張っていた男がいなくなったとき、 そんなことをおっしゃ もう少し懲ら お母

奥地 うわ あ

堂本 私は、 11 つ た 1, 家具と息子とどっちが大事

ね……。 子どもはかわいいものだと私は思っていたんですけどい気味だ」と言わんばかりの親でしたよ。親にとって、の子はたぶん、出してもらえなかったと思います。「いなの?」と言いたかったけど、言えませんでした。そ

ました。ほかにも、女の子で、何度か逃げ出しては私へ連絡してきた子もいましたが、あるときピタッと連絡が取れな動をしていましたが、あるときピタッと連絡が取れな動をしていましたが、あるときピタッと連絡が取れな

いた。あそこは、ほんとうに地獄でしたね。 縛るとか、独房に入れるとか、そういう対応になっています。だから、抑えるほうもそれに対して、手足をいる子には、暴力をふるうタイプの人が多かったと思いる子には、暴力をある小学生の子は、いっさい笑わず、

ことができなかったのね。結局、人が何人か亡くなっさんざん訴えましたが、当時の法律では、取り締まる私は、仏祥庵で行なわれていることは人権侵害だと、

くさん行なわれていたと思います。したが、それまでに、すさまじい人権侵害行為が、たて、火災事件が起きたりして、ようやく問題になりま

す。 かし、そんなところなのに、よく取材できたと思いまかし、そんなところなのに、よく取材できたと思いま

TBSには映像が残っているかもしれません。 堂本 そうですね。映像も撮らせてくれましたからね

ければいけないのかと思いますね。

奥地

なんで不登校というだけで、

そんな目に遭わな

ひきこもる子もいるけれども、逆もいるわけです。
堂本 暴れることでしか表現できない子どももいる。

### 国会議員に

同じころ、民間施設の問題として、「ベビーホテル」

福祉法改正まで漕ぎつけることができたんです。 の問題がありました。「ベビーホテル」というのは、の問題がありました。「ベビーホテル」というのは、の問題がありました。「ベビーホテル」というのは、の問題がありました。「ベビーホテル」というのは、の問題がありました。「ベビーホテル」というのは、

その件で、私は有名になっちゃって、国会議員になってくれと、自民党からも社会党からも言われました。 医挙のたびに依頼があったのですが、そのころはTB 医で、ようやく思う存分仕事ができるようになっていたので、3回は断ってました。でも、89年に土井たか子さんが社会党(当時)の党首だったとき、「もっと女性議員を増やしたい。市民派の議員を増やしたい」「あなたを待っているのよ」と言われて、「やっぱり、ここは行くべきかなあ」と思って、大好きな映像の仕事を辞める決心をしました。選挙の2週間前でした。 当時の土井さんは、すばらしかったですね。いま、当時の土井さんは、すばらしかったですが、そのころはTB

> は女のことは忘れられているけど、女の人があれだけ 活躍して、土井さんのときに、参議院で与野党が逆転 通学定期のこともできた。いまとちがって、ちゃんと 毎野党のバランスがとれていて、野党からの要求でも、 いろいろなことが実現していた時代でした。通学定期 のことで国会に来られていたのは、何年ごろだったで のことで国会に来られていたのは、何年ごろだったで

奥地 92年ごろですね。その年に文部省(当時)が「不 登校はどの子にも起こりうる」という見解を示したん です。そのころには民間施設もだいぶ増えていて、民 間施設への通所を出席日数に認めるという方針も出 て、「だったら通学定期を出してください」と、私た ちが運動したんです。実現したのは33年でした。署名 ちが運動したんです。実の年に文部省(当時)が「不

**堂本** 文教委員会の傍聴に来られてましたよね。私、

です。 を受けている時間だから」と(笑)。それで、堂本さ 派な勉強じゃないの」って言って、交渉してくれたん たんです。なぜなら、「学校に行っている子は、授業 行きたい」「文部省に交渉に行きたい」と言っていた んです。びっくりしました。 したら、堂本さんは「何を言ってるの。市民になる立 んだったら力になってもらえるんじゃないかとお願い んですが、 それで、 当初、文部省は「子どもはダメ」と言って 国会や文部省に行くのがOKになった

まう。そのときは、 たこともあって、そのときは文部省不要論を唱えたん 文科省は、そういうところね。私は文教委員にもなっ いたと思います。 大学入試もなくして、偏差値教育をなくしてし ああ、そうでした。いろんなことがあったわ 不登校のことも、 かなり質問して ね

国会議員時代、 シューレもNPO法人にされたんですね。 私はNPO法にも関わってたんです それは

どうしてだったんですか?

ない」と、 行っても、 ていたのですが、何か適切な法人があれば移行させた 請したんです。 それで、NPO法が通ってすぐに、 いと思っていました。たとえば寄付や後援のお願いに 東京シューレは、もともと任意団体でやってき 公的機関にも民間団体にも言われました。 「どこの馬の骨かわからない団体にはでき 内部で決議して由

堂本 大変でしたが、 私は、この法律づくりに全力投球したんですね できてよかったと思います。

ボレーションということで「菜の花スクールモデル事 奥地 業」を打ち出されて、2003年に千葉県と協働で、 2001年でしたね。それで、行政とNPOとのコラ 認証されて、堂本さんが千葉県知事になられたのが、 流山シュー 98年にNPO法ができて、 レを開設することができました。 99年にNPO法人に

### 千葉県知事として

ういう意味でも、コラボレーションは重要でした。 にして、ボトムアップにしようということですね。そ 葉県は47位のビリでした。それを、県民の活動を活発 千葉県をNPO立県にしようと思ったんです。 で千葉県の県政はトップダウンで、NPOの数も、千 NPO法は、自分が携わってできた法律ですし、 それま

おもしろかった。不登校の問題でも、ジャーナリスト ことです。それぞれの関わり方はぜんぶちがうから、 事として実行することができた。 法律をつくって、そして、自分のつくった法律を県知 時代に出 会議員としての活動があって、県知事として携われた 私が幸せだったのは、その前にジャーナリストや国 会った問題を、国会議員として国会で訴えて、

補して、 の花スクールモデル事業」には、6団体ぐらいが立候 とても筋が通っていると思います。千葉県の「菜 私たちも委員会にプレゼンに行きました。結

> 武野田線) ションは終わってしまいましたが、 は11年間やらせてもらっています。 ニュースタートは何年かでやめましたけど、シュー 局、シューレとニュースタートの2団体に決まって、 近くの マンションを借りてやっています。 いまも初石駅(東 県とのコラボレー

堂本 にしているのは残念なことです。 いまの知事が、 私がやったことを、 み んな廃止

者や親の会の人が親の相談を受けたり、子どもの場で もと親のサポートセンター委員の半分は市民で、 も、当事者の青年がスタッフに入ったりして、 入らせていただきましたし、相談センターでは、 ほんとうに残念です。 でも、その期間は、 私も 子ど

堂本 そうでしたね。 そのあたりは、 言われて思い出しました。 だいぶ忘れてしまっ てますが

奥地 全国的にも例があまりなかったので、 私たちは

がっていましたね。 は知事部局でやっていたことで、 政との協働の例としてアピールしました。 教育委員会はち でも、

堂 本 から それはもう、 大反対ですよ。 文科省と同じです

す。 懸命動いてくれました。 奥地 校経験者で、堂本さんがつくった仕組みのなかで育っ を船橋で開いています。それから、現在のフリー 発に活動しています。現在の理事長は前北海さんです をした仕組みのなかで、 てきた若者です。彼は教育機会確保法のときも、 ル全国ネットワークの事務局長、松島裕之さんも不登 センターの職員も経験して、 自分自身が不登校経験者で、 いま、 千葉県では、ネモネットという団 人が育って、 ですから、 いま、フリースクール 子どもと親のサポー 堂本さんが種まき 実を結んでい ・スクー 体が活 一所 ま

堂本 すごいですね。 う ń しいことです。ずっと、 14

奥地

Ŕ

今日ひさしぶりにお会いして、

とてもう

れしかったです。多くの

人に知ってもらいたい不登校

の歴史そのものでした。

お話、

ありがとうございまし

た。

しょにやってこれて、 よかったわね

奥地 要な子にはゆっくり充電してもらって、 を活用してできた学校で、 習指導要領1本ですが、 像作品や教材を寄贈してくださいました。 に合ったかたちで、 不登校の子どもたちが120人来ています。 子どもに合わせたやり方ができるんです。 きには講演にも来てもらいましたね。日本の学校は学 校を開校したときも、 よかったです。 子どもが創る学校です。 堂本さんは合計50万円相当の映 私たちが東京シューレ葛飾中学 葛飾中学校は、 学習指導要領を緩和して、 いろいろ自分 構造改革特区 3周年のと ですから、 充電が必

たなと思っています。

員、千葉県知事、どの時代にも、

非常に助けられてき

ですから、堂本さんには、ジャ

ーナリスト、

国会議

たと思います。

堂本

変えても、 11 11 ずっ え。 私のやってきた仕事のなかで、 と接点があったことは、 すごくよかっ 立場を

不登校50年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#19 堂本暁子さん インタビュー日時:2017年4月6日

記事公開日:2017年6月9日 場 所: 堂本暁子さんご自宅 聞き手:奥地圭子、木村砂織

写真撮影:木村砂織

#20 吾郷一二実さん、木村悦子さん 不登校 50 年証言プロジェクト

### 屮 がいたいと思います まずは、 転校をきっ それぞれ、 け お子さんの不登校経験から

楽しい学校だったんですね。 を弾いて歌っていたり、 とからわかったところでは、 班競争なんかもあって、すごくカチカチしていた。あ はあるし、道徳教育研究校で、校則や管理も厳しくて、 いあって、もっとのんびりできるかと思っていたんで です。神奈川の学校では、先生が机の上に立ってギター そして2学期始業式の日、 に、神奈川から松江(島根県)に転校してきたんですね。 校に行きませんでした。長男が小学校6年生の夏休み 登校経験はなくて、 が、 をプールに浮かべて遊んだり、遊びほうけていて、 実際は、まったく逆でした。 子どもは3人いるんですが、 2人目の長男と3人目の次男が学 木をくり抜いてつくったボー 帰ってくると泣いていたん 体罰もひどくてね。 松江では、自然もいっぱ 小学校なのに制服 一番上の長女は不

> 彫刻刀のことだったり。 ンを買って持っていったら、 もん持ってこい」と言われて、 葉がわからなかったこともあったでしょうね。 た解き方をしないといけない しかった。いじめらしきものもあったようです。言 「ほるもん」とい スーパーで肉のホルモ どうでもい いことが う 「ほる

(きむら・えつこ) 1948 年、岡山市牛まれ。1990 年より、3 人のお子さんの うち2人が不登校に。1991年、吾郷一二実さんたちとともに親の会「カタク リの会 | を立ち上げ 1997 年まで代表世話人を務めた。1991 年より子どもの 居場所を始め、1992年より「フリーダス」としてスタート。 1997年までスタッ フ代表を務める。2004年よりNPO法人YCスタジオを立ち上げ、理事長を 務めている。(写真右)

インタビュー目時:2017年2月6日

聞き手:山下耕平

場 所:かたくりのはな(島根県松江市)

写真撮影:山下耕平

### #20 吾郷一二実 きん 木村悦子 きん



(あごう・ひふみ) 1951年、島根県生まれ。1989年より、3人のお子さんが、 それぞれ不登校に。1991年、木村悦子さんたちとともに親の会「カタクリの会」 を立ち上げ、1997年から世話人を務める。子どもの居場所「フリーダス」にも、 立ち上げ当初から現在まで関わっている。(写真左)

めっ子がいたんでしょうね。雨のなか傘をさして、 たとたん、 たちも後ろからついていったんですが、 にしていて、 校の入学式は、 その後、 それでも、 から恨めしそうに校舎を見てました。 まったく行かなくなったの 3カ月くらいは、 ダーッと飛び出てきて……。 小学校は行かないまま卒業になって、 飛び跳ねるようにして行っ かなり無理をしてがんばってたんだと思 ちがう学校に行くから、 行ったり行かなかったりし は、 きっと、 たん すごく楽しみ クラスに入っ 12月ごろでし です。

ていて、 います。

と、ほかの子たちが外から石を投げてきたりするので、

そこに行ってたんです。

でも、

そこにいるのがわかる

しばらくは

中学校には自学室というのがあって、

ステリ

クな女の先生で、算数なんかでも、決まっ

じれて入ってました。窓に半紙を貼って見えないようにしてね。そのうち、その自学室に行くのもつらくなっにしてね。そのうち、その自学室に行くのもつらくなっにしてね。そのうち、その自学室に行くのもつらくなっ

からは、頑として行きませんでした。 一的な雰囲気がイヤなんだ」と言ったんです。それ がはだったら耐えられた。僕は、なんとも言えない になんで行かないの?」と聴いたら、彼は「学校では、

山下 行けなくなった当初は、どう受けとめておられ

木村 よく言われるように、まさに「青天の霹靂」で 木村 よく言われるように、まさに「青天の霹靂」でもうとすると、靴ひもがなかなか結べなかったり、「おうとすると、靴ひもがなかなか結べなかったり、「お母さん、学校はイヤだ」と言ってしがみついてくる。それでテコでも動かない。

山下年代はいつごろになりますでしょうか。

木村 最初、長男が小学校に行かなくなったのは木村 最初、長男が小学校に行かなくなったり、教科書やノートが墨汁で真っ黒にいたずらする友だちもいて、この子は大丈夫と思ったんですが、長男と同じぐらいの時期に、だんだんてたんですが、長男と同じぐらいの時期に、だんだんなってたり、「宇宙人みたい」と言われたり、いろいなってたり、「宇宙人みたい」と言われたり、お谷とこれたり、教科書やノートが墨汁で真っ黒になってたり、「宇宙人みたい」と言われたり、いろいるかられてたみたいです。でも、学校の配慮もまったくなくてね。

**山下** 次男さんのほうは、どんなようすだったんです

と、おなかが痛くなってトイレから出てこない。それかで軟体動物みたいになっていて、8時半ごろになる木村 まず、制服に手が通せないんです。コタツのな

学校のほうは、先生が迎えに来たり、クラスの子に学校のほうは、先生が迎えに来たりしてね。「みんな、いい子ばっかりです」とか言うんだけど、子どもからしたら残酷ですよ。その子たちが帰ったあと、泣いしたら残酷ですよ。その子たちが帰ったあと、泣いしたら残酷ですよ。その子たちが帰ったあと、泣いしたら残酷ですよ。その子たちが帰ったあと、泣いたら、夜も泣くので抱いて寝てました。

### 親の会の立ち上げ

木村 まったく、どうしていいかわからないなかで、木村 まったく、どうしていいかわからないなかで、もに3人いたんです。そのうちひとりが吾郷さんで、もに3人いたんです。そのうちひとりが吾郷さんで、もに3人いたんです。そのうちひとりが吾郷さんで、もに3人いたんです。とか言って、ぜんぜん教えで、おうしていいかわからないなかで、木村 まったく、どうしていいかわからないなかで、木村 まったく、どうしていいかわからないなかで、木村 まったく、どうしていいかわからないなかで、木村 まったく、どうしていいかわからないなかで、木村 まったりの方と3人で1991年に親の会を立ち上げるからないためで、

ました。

山下 出会うきっかけは?

あるから、 当初、私は親の会なんて思いもよらなかったですが、 れで3人で会いましょうということになったんです。 るからじゃないかとか、私はそういう見方しかしてな 方の問題じゃないかとか、 不登校していて、でも、そのころは、お母さんの育て 電話したんです。もうひとりの方は、 と言っているので、電話してください」と言われて、 あって、「吾郷さん、おたくのお子さん、学校に行か 不登校の親どうしで集まるのは、すごくうれしかった かったんです。でも、自分の子が不登校になって、そ いた方だったんですね。長女さんが、 れないそうですね。実は木村さんという方が話したい あるPTAの役員の方から私のところに電話 全国の動きもご存じでしたね。各地に親の会が でも、木村さんは、すでに奥地圭子さんのこ 松江でもやろうとおっしゃって。 お父さんが単身赴任してい だいぶ以前から もともと知って

田良子さんの本を読んだ記憶はあります。

あと、

の会の世話人合宿に行ったのは覚えてます。 すけど、最初、 そういう情報を得ていたんですかっ どこで知ったんだろう。ぜんぜん覚えてないで 1990年ごろに山口県で開かれた親

屮 きていった時期ですね。そこで、 うしが知り合って、全国ネットワークができていった。 90年代前半は、あちこちで親の会や居場所がで 全国の親の会の人ど

だけですが、合宿に行ったら、世の中には、こんなに みなさんニコニコしていて、 たくさんの不登校の人がいるんだと思って。しかも、 びっくりしましたね。 その影響は大きかったですね。地元では私たち 不登校で笑うんだと思っ

木村 ほどうれ どんどん不登校の数も増えていて、 しかったですよね。 数が増える

> 校がおかしいのかと思ったら、見方が変わってきて、 そういう子を育てた自分が悪いと思ってたけど、学 と気がついたんです。学校に行けない息子が悪くて、 と言うのを聞いて、 と思えたし、 なってしまったんだと思ってたんです。でも、 てました。育て方が悪かったから、こんな弱い子に パーッと視野が広がったんです。私はこれでいいんだ んが「学校がおかしい。学校ってきついところよね」 親の会に出会うまで、私は、 それは大きかったですね。 初めて、 学校を疑っていいんだ ずっと自分を責め

木村 が見えやすかったんだと思います。 うちの場合は、転校してきたから、 学校 0

### 私が悪いと思 子どもが悪 つ てた

中 子さんの不登校経験について、うかがえますでしょう なるほど。話を先に進める前に、 吾郷さんのお

とでした。 の長男で、小2の5月連休明けごろ、 くなりました。最初に行かなくなったのは、まんなか 人目の長男、3人目の次男と、3人とも学校に行かな うちも3人の子どもがいて、1人目の長女、2 1989年のこ

も引いても動かない。こちらも出勤しないといけ しゃがみこんで、動かなくなる。そうなると、 しぶるので、いっしょについて行くんですが、途中で 所よりも学校の雰囲気だと言ってました。 づらくなったんです。でも、イヤだったのは学童保育 私たちは学童の共同保育所をつくって運営していたん りました。 ですが、そこに行かなくなった。その後、学校も行き 、ます。 きにしなさい!」と言い置いて、出勤したこともあ からイライラしてきて、「いいかげんにしなさい 彼は最初、学童保育所に行かなくなったんですね。 長男は、 そのまま家に帰ったんだろうと思 毎朝、行き 押して ! な

学校に行かなくなって、それからは、 玄関で足が固まって、 そうこうしているうちに、家から出られなくなって、 靴を投げたりしてね。 私は子どもを家 とうとう

> るのは、 と押し入れのものがいっぱい出して遊んだあとがあっ て、それでまた叱ってしまう。 分ひとりでも食べられるようになって、 場が近かったので、お昼ご飯は帰ってきて、いっしょ につくって食べてました。そのうち、 に置いて職場に行ってました。夫のほうは、 よっぽどヒマだったんでしょうね。私が帰る 料理を覚えて自 でも、家にい 自宅と職

性格の問題で、 るう子になってしまった。こらえ性のない、 すると荒れて、 ないかね」と言われたり、 そうすると、近所のおばちゃんに「なんで学校に行か うんですけど、私もワケがわからなくて、「暴力をふ へんでした。いま思えば、 ているうちに、家にこもるようになったんです。 だんだん、家の外にも出るようになったんですが、 ぜんぶ、 物を蹴散らすし、穴は開けるし、 あの子が悪い 私の対応もまずかったと思 あちこちで説教されたりし んだ」と思 あの子の たい そう

だと思っていて、平井信義の さん』(企画社1984)を読んで、登校拒否の状況も、 一方で、 そういう子にしたのは母親の育て方の問題 『「心の基地」はおかあ

てるから、 父さんが、もっときちんと決めるところで決めてくれ こととか、聞けば、いろいろ理由を言いましたが、ま 努力したんです。でも、ぜんぜん変わらなくて……。 言って。でも、彼が叱ったところで、子どもも見抜い ないと、結局、叱るのはいつも私がやっているじゃな がに疑問に思いましたけど、「平井信義もそう言って が足りないですよ」と言われたんです。それは、 ていた担任に、「お母さん、お父さんには父親の権威 よその子が群がってくるんですね。でも、それを見 あ、いろんなことが積み重なったんだろうと思います。 体育のときに並ばされることとか、音楽室に移動する 男は、「だって、並んでばかりいる」と言ってました。 お母さんの対応で変わると書いてあるから、一所懸命 いた」とか思って(笑)、夫とやり合ったんです。「お の。こういうときはお父さんの出番でしょう」とか 夫のほうはと言うと、もともと、すごく子ども好き 私が「なんで学校がイヤなの?」って聴いたら、 保育園でも小学校でも、 ぜんぜん言うことなんて聞かなかったです 子どもを迎えに行くと、 さす

とが、弱いところに向かっていたんだと思います。 とが、弱いところに向かっていたんだと思います。 とが、弱いところに向かっていたんだと思います。 とが、弱いところに向かっていたんだと思いて、私が長男に当たるから、長男は次男にあたる。だから次男も荒れて、でも、当時の私は「このたる。だから次男も荒れて、でも、当時の私は「このたる。だから次男も荒れて、でも、当時の私は「このたる。だから次男も荒れて、でも、当時の私は「このたる。だから次男も荒れて、でも、当時の私は「このたる。だから次男も荒れて、 3番目の次男も、入学していたんだと思います。

山下 その後、長女さんも行かなくなったんですよね。

**吾郷** 下の2人が行かなくなってからも、長女は行ってました。いま思えば、それもしんどかったんだと思いへんだったと思うのに、先生に、弟たちのことをたいます。ただでさえ、〝お姉ちゃん〞をしてきて、たいます。ただでさえ、〝お姉ちゃん〞をしてきて、たいませんだったと思うので、

それに、長女は少し大人びた子で、先生との折り合

いもよくなかったんですね。あの子がまっさきに不登いもよくなかったんですね。あの子がまっさきに不登に聞いたりして、担任に目をつけられてました。担任に聞いたりして、担任に目をつけられてました。担任に聞いたりして、担任に目をつけられてました。担任に聞いたりして、担任に目をつけられてました。担任たんですけど、体育の授業ではプールに入らなくなったんですけど、体育の授業ではプールに入らなくなったんですけど、体育の授業ではプールに入らなくなったんですけど、体育の授業ではプールに入らなくなったんですけど、体育の授業ではプールに入らなくなったんですけど、体育の授業ではプールに入らなくなったんですけど、体育の授業ではプールに入らなくないう、自分は出ない」と言ってました。そうによくないもよくなかったとないったとないった。

子どもを責めなかったと思います(笑)。に親の会が救いでした。例会のあと、1週間くらいは、らい経っていて、親の会もできていたので、ほんとうでも、そのときは長男が不登校になってから2年ぐ

べってたよね。 木村 あのころは、集まると明け方4時ごろまでし

**吾郷** そうそう、木村さんの家に集まってね。文部省の資料とかを集めて学習会をしたり、すごく刺激的で

とを言うおまえがノータリンだ」と言ってました。のとか書いてあって。次男は、それを見て「こんなこのとか書いてあって。次男は、それを見て「こんなこ成熟だとか、親子の不和だとか、過干渉、母性がどう

## 専門家をめぐっても

山下 親の会ができるまでは、どこか相談に行ったり

んですね」って、私の言ったことをオウム返しでくり「そうなんですね。そのとき、こういうふうに考えたころに行きました。相談員はカウンセリングの手法で、所、教育センター、青少年センターとか、いろんなと所、教の会ができる前の2年間ぐらいは、児童相談

(笑)。子どもが学校に行くようになるかな」と思ってました的な視点はなかったですから、「これをくり返すと、返すでしょう。それで、どっと疲れてね。当時は批判

木村あのオウム返しの疲れること。

**吾郷** そう。それで、児童相談所に子どもを連れて行 も、すごく腹が立って、ひどいと思いました。つらい も、すごく腹が立って、ひどいと思いました。つらい ときに描いた絵は、つらい絵になるに決まってるし、 ときに描いた絵は、つらい絵になるに決まってるし、 ときに描いた絵は、つらい絵になるに決まってるし、

木村いまでも、あちこちでやってるからね。

か? 本村さんは、専門家めぐりはされたんでしょう

木村 私は、あまり行ってないです。長男は、教育セ

かなかったですから。ところに行かないといけんの」と言って、テコでも動ところに行かないといけんの」と言って、テコでも動ンターに連れていこうと思っても、「なんで、そんな

1カ月が長かったですね。
おかったですね。ほかの人が語っていることで、自分よかったですね。ほかの人が語っていることで、自分共感してもらえて、そして、広い視野で考えられて、共感してもらえて、そして、広い視野で考えられて、

でしょうね。 や世間とはちがう見方と出会えたことが大きかったんや世間とはちがう見方と出会えたことが大きかったん

吾郷 そうですね。

木村 自己紹介を始めると、みんな泣いてね

自分のこと思い出して泣けてきたりしてね。それと、**吾郷** そう。ほかのお母さんの話を聴くと、こっちも

全国合宿に行くようになって、さらに視野が広がりました。全国合宿で聞く話は、どなたも、とことん子どもの側に立って考えようとしていて、それはすごいことだなと思いました。もちろん親は子どもの立場にはなれないんだけど、子どもの側に立って、ひとりひとりを人として大事にしようとする。それは全国合宿で学んだことです。初めて参加したのは、1992年の学んだことです。初めて参加したのは、1992年の学んだことです。初めて参加したのは、1992年の

読みしたり、夜通し、おしゃべりしたり。人合宿がよかったですね。それぞれの会の通信を回しその後は、ほぼ毎年、参加してました。とくに世話

山下 カタクリの会という名前は?

**吾郷** マンガ好きの夫が提案したんです。『家栽の人』 (毛利甚八作・魚戸おさむ画/小学館) に、カタクリ というのは、最初は葉っぱだけなんだけど、7~8年、 その話を聞いて、決まりました。いろいろあるけど、 その話を聞いて、決まりました。いろいろあるけど、

> ういう経緯だったんでしょう。 コリーダス(子どもの居場所)を始められたのは、ど カリーダス(子どもの居場所)を始められたのは、ど は、植物由来が多いですよね(笑)。

# 子どもの居場所フリーダス

**吾郷** 親の会を始めると、子どももついてくるようになり、小学校低学年ぐらいの子たちですから、学校になっとも静かにならない。それで、子どもにも居場所ちっとも静かにならない。それで、子どもにも居場所ちっとも静かにならない。それで、子どもにも居場所付さんがお世話してくれて、最初は公民館で週何回か付さんがお世話してくれて、最初は公民館で週何回かというかたちで始めました。

山下 実際上の必要性からだったんですね。

子どもがつまらないというのも何だかなと思いました木村(自然発生だったね。親だけが盛り上がっていて、

よね。

木村 吾郷 木村さんのお宅でも集まってましたよね

L<sub>o</sub>

そう。 明け方までいて、 ずっとしゃべってんだ

けど、あいつも、こいつも学校に行ってないというの たちで、そんなにしゃべることあるのって思いました よかったんでしょうね。仲間が見つかったという ゲームがあるわけでもなくて、小学生の子ども

ずらするんですよ。走り回ったり、いたずら書きした られて……それは忘れられないです。偏見がひどか ても、「不登校の子になんて貸せない」と言われて断 ほしくてね。探したんですけど、不動産屋を何軒まわっ てきたり、不自由さがいろいろあって、自前の部屋が り……館長が「不登校の子はあいさつもせん」と言っ 初は公民館だったんですけど、みんな、 11 0 た

> というので、貸してくれました。 ルだったんですが、雀荘が夜逃げしたあとの部屋で (笑)。少々やかましくても、近所に迷惑がかからない た。それで、 やっと見つけたのが、 市役所のそばのビ

ガも、 たちに言われる筋合いはない」とか言ってね。 中学生ぐらいの年齢の子たちが自分たちで運営してま が交代でいることにして始めたんですが、途中からは、 女の子たちが強かった。 が口出しすると、その子たちが怒るんです。「おまえ した。自分たちで経理もして、通信も出して、 子どもたちは喜びましたね。野球道具も、 いろんなものを置いておけるし。大人は、 こちら 誰か マン

屮 フリーダスの名前の由来は?

木村 けたとか何とか……。 というマンガがあって、 長男が発案したみたいですけど、 それと自由のフリーをくっつ 「カメダス」

吾郷 かったですね。 聴いたんだけど、くわしいことは教えてくれな

十 名前も子どもたちが決めたんですね

か麻雀とか、 そうなんです。まったくの自主管理で、 夜を徹してやってたりしてましたね。

木村 に取り組んだりね。 すごい人たちだったですよ。 中海の淡水化問題

す。それに反対する運動があって、子どもたちで中海 会ってくれたんですよね。それで、もうズバズバ質問 の中にある大根島の八東町の町長に会いに行ったんで うとかね。 して、そのインタビューを冊子にして販売して儲けよ 中学生ぐらいの子たちだったんですけど、町長も 水にするという国のプロジェクトがあったん 宍道湖と中海(ともに汽水湖)を淡水化して農 で

> ときは、 木村 もう一度行ったんです。そうしたら、塾長が「君たち 院に行ったほうがいい」とか言うので、「こんど行く 上から目線の人でね。「ピアスして茶髪の子は精神病 こに、みんなで見学に行ったんですが、そこの塾長が くるので、ある子が「まずは、あんたが辞めてほしい」っ はどういうところだったらいいと思うのか」と聞いて (笑)。ほんとうに強者でした。 あと、光人塾という適応指導教室があって、 みんなで茶髪でピアスで行こう」と言って、

吾郷 どこにでも爆弾を投げる感じでしたね

## 公的機関での人権侵害

木村 た。 んで話を聞 親の会では、県内のいろんな専門機関の人を呼 !いたんですけど、とにかくひどい 現状でし

春期病棟の若松分校。「竹」はわかたけ学園という教 湖陵病院(現在は島根県立こころの医療センター)思 島根では、「松」と「竹」があったんです。「松」 は

護院 (現在の児童自立支援施設)。 若松分校では、「不登校の子は弱いから、

私、逃げたいから」って言うのね。それは忘れられない。 て、「おばちゃんの家、畳一畳あったら貸してくれる? めに」と言って、生ゴミを素手で拾わせるとかやって ついて、だまして入院させていたり、問題だらけでし あるとき、入院している子から電話がかかってき 湖陵病院では薬の問題もありましたし、 鍛えるた 嘘を

吾郷 電話もできなかったって言う子もいたね。

悪の状態でした。 ました。中学校では「あそこはすごくいいところだ」っ たりしていた子が、松江市内の中学校から措置されて て言うのね。でも、 かたけ学園では、 実際には施設内虐待もあって、 いじめで万引きをさせられ 最

見ずに、 を措置することになってましたから、 屮 教護院は、 万引きを理由に入れられていたということで 虞犯 (罪を犯すおそれ いじめの背景を のある) 少年

> 動もありましたね。私自身、その運動に関わっていた 更される際、不登校の子も対象にするといって反対運 のですが。 すね。教護院は、1997年に児童自立支援施設に変

亡くなる事件もありましたね。ほんとに、 木村 在の若駒学園)では、 代だったよね。 そうでしたね。 いろいろあったな……。 職員による集団暴行で入所者が 鹿児島の教護院、牧ノ原学園(現 受難の時

屮 民間の矯正施設は、 島根にもありましたか?

木村 に連れていかれた子はいました。 それはなかったですね。 ただ、 東京の タメ

\* 2 て活動している。 た。1999年からはNPO法人化し、青少年自立援助センターとし 方の登校拒否生徒の復学を支援するとして、入寮施設なども開いてき れ、懲戒免職。その後起訴され、鹿児島地方裁判所で有罪判決を受けた。 13歳の男児が職員7名から集団で暴行を受け死亡した。職員は逮捕さ 1977年、工藤定次氏が東京都福生市に開設した学習塾。地 1987年12月3日 鹿児島県立牧ノ原学園に収容されていた

吾郷 そうそう。 逃げて帰ってきてね。

きず ってます。 ものすごく傷ついていて、 いまだに、ずっと引

て、 屮 代だったと言えるでしょうね。 不登校への偏見は、いまよりずっと強くて、 いまでもずっと続いてますが、90年前後というと、 矯正施設の問題は、ひきこもりなどを対象にし きつい時

ぱいあるだけに、苦しい。ですから、 はまた、別のきつさがありますよね。選べるものがいっ 親の会のつながりは強かったのだとも思います。いま いとは言えないですね……。 そうですね。でも、 そういう偏見があるから、 いまのほうがよ

屮 根本的に見方を変えないといけなくて、 11 が、 親にも子どもにもあったのでしょうね。 逆説的ですが、偏見や圧力があったからこそ、 それゆえの勢

> んで、 吾郷 たち学校行ってないぜ」って。 肩で風を切って歩いている感じでしたね。「俺 フリーダスの子たちは、ポケットに手を突っ込

木村 があった。 「学校に行かない、 自由な子だ」 みたい

吾郷 でも、 いまはちがいますね…

### あの活気はどこへ

ますね。それは、いまの子どもや親のしんどさとも、 屮 どこかつながっているように思います。 だと思いますか? があったのに、その勢いは続かなかったところがあり 90年代ごろは、 親の会も居場所も、すごく活気 それは、

吾郷 えなくていい時代になりそうだったんですけどね。 なんででしょうね……。 一時期は、 不登校を考

木村 また、専門家にからめとられてしまっていると

参加者が減ったのは、スクールカウンセラーが配置されたり、学校内に居場所がつくられたり、学校で相されたり、学校内に居場所がつくられたり、学校で相お金を積めば、選択できるところが増えたということお金を積めば、選択できるところが増えたということもあると思います。松江にもいっぱいサポート校があります。

れたのでは?
山下 サポート校の人は、フリーダスにも営業に来ら

**吾郷** 生徒を紹介してくださいって、来られましたね。 をんなに増えてないようですけど、だんだん、自 復帰のために来させる感じでしたけど、だんだん、自 復帰のために来させる感じでしたけど、だんだん、自 ないです。でも、行っている子は、 でんなに増えてないようですね。以前は学校 とんなに増えてないようですけど。

あるでしょうね。 ているのは、子どもからしたら、かえって苦しい面もしょうけど、やさしく、きめこまやかに見守られてい山下 公共機関が柔軟化したのは、いい面もあるで

吾郷 学校のオーラを出しながらですし、ゆるいとこ

## 医療への敷居が下がった

そこの心療内科がよかった」と紹介し合っていたともかっておられるようです。例会後、会員どうしで「あそれと、親の会に来られる人が、だいたい医療にか

聞きます。即改善させたいという思いがあるんだと思

山下 早期発見・早期対応ですからね。

で不登校になっていると言われることも増えてます。木村 発達障害の影響も大きいよね。発達障害が理由

る前に、特別支援学級に行かされたりしてますよね。 山下 就学時健診などで診断名がついて、不登校にな

**吾郷** 不登校になって、さみだれで行っていたら、学 **吾郷** 不登校になって、さみだれで行っていたら、学 **吾郷** 不登校になって、さみだれで行っていたら、学 **一個 一個 一個 一個 一月 <b>一月 一月 <b>一月 一月 <b>一月 一月 一月 一月 一月 <b>一月 一月 一月 一月 一月 一月 <b>一月 一月 一月 一月 一月 一月 一月 一月 一月</del> 一月 <b>一月** 

れているんですね。学中に支援学級に移っておくほうが有利だと、せかさ学中に支援学級に移っておくほうが有利だと、せかさ校もいっぱいみたいで、学校からは早く判断して、在

それから、お子さんが不登校してまもなく、家にひきこもっておられる方は、まわりから思春期のうつとか、統合失調症だったら、早期に発見して早期対応したか、統合失調症だったら、早期に発見して早期対応したが追いつめられている。親の会に来ている人でも、あちこち専門機関に行かれていて、やっぱり病院にかちこち専門機関に行かれていて、やっぱり病院にかちこち専門機関に行かれていて、お母さんが不登校してまもなく、家にひかっている方は多いなと思います。

## やさしい顔して薬が出る

何がちがうんでしょう?いなかったわけですよね。専門家めぐりもしていた。山下でも、吾郷さんのころだって、ろくな専門家は

**吾郷** そうですね。ひとつには、医療の敷居が低くなっ

ますよね。
ますよね。
といるのは感じます。私たちのときは、偏見もあったているのは感じます。私たちのときは、偏見もあったですね。いまは話をじっくり聴いてくれるけど、薬も出す。それと、学校からも、病院を勧められているのは感じます。私たちのときは、偏見もあった

いまはやさしく、くるまれてしまう……。 山下 昔は親が否定されて、それはちがうと思えた。

木村やさしい顔してね。だけど、薬が出る。

**吾郷** 子どもが変わったというより、ソフトにじわっ と来られることのストレスがあるのかなと思います。 くて、いろんな症状として出さざるを得ないことに なってきているのかもしれないと思いますね。それで、 お母さんの調子も悪いんですよ。昔のように、親の会 に来て元気になるという感じは、あまりなくなってい に来て元気になるという感じは、あまりなくなってい

吾郷

学校との関係でも、「担任の先生がすごくよくて、学校との関係でも、「担任の先生がすごくいい」と言う人は少ないですね。「学校の生はけしからん」と言う人は少ないですね。「学校の生はけしからん」と言う人は少ないですね。「学校のがますね。

木村 親も発達障害と言われたりしてますよね

するなどの変化などもあって、状況が変わってきた。 さこもりが問題化されるにつれて、また高校が柔軟化 さこもりが問題化されるにつれて、また高校が柔軟化さこもりが問題化されるにつれて、また高校が柔軟化 かったものの、2000年ごろから、発達障害やひ さいかい 不登校を問題視するというよりも、問題のまな 山下 不登校を問題視するというよりも、問題のまな 山下 不登校を問題視するというよりも、問題のまな 山下 不登校を問題視するというよりを

たくしてないのに。

でも、相談は増えているんですよね。PRはまっ

木村 いろいろやってみてダメだったから、親の会に

戻ってきているんだと思います。

## 若者の居場所YCスタジオ

しょう?
Cスタジオを始められましたね。いつからだったでCスタジオを始められましたね。いつからだったで

木村 2004年3月です。韓国のハジャセンター\*\*

そしてハジャセンターのことを知って……。毎年、韓国に行っていました。初めはサイバーユース、フリーダスが紹介されて、そこから交流が始まって、吾郷 98年ごろ、韓国の教育雑誌『ミンデュルレ』に

もオルタナティブな生き方を模索できたらいいと思っ木村 せっかく学校に行かなかったんだから、その後

験センター。ハジャは韓国語で「やってみよう!」の意。
\*3 1999年、ソウル市が延世大学に運営委託した青少年職業体

タジオという名前にしました。地ということで、ユースカルチャースタジオ=YCス地ということで、ユースカルチャースタジオ=YCスきる場をつくろうと思ったんです。若者文化の発信基て、でも、ひとりではしんどいから、みんなで模索で

山下 実際、始めてみて見えてきたことは?

京 親の会とか、そこでつくった居場所とは、またちがう 逃れてやって来ている。そういう意味では、不登校の ようになって、来るのはいいけど、帰らない。 家にも学校にも居場所のない子たちが押しかけてくる 人たちが来るようになったと言えます。それから、東 出している子とかにも声をかけたんですね。そのうち、 ではなくて、 0 ケ 最初から、不登校の子たちだけを対象にするの ノッキ ・ング 路上で音楽活動している子たちとか、家 ハウスの人たちを招いて講演会を開\*\* 家から

トラン。 トラン。 1987年、ソーシャルワーカーとして病院の精神科で働いて米4 1987年、ソーシャルワーカーとして病院の精神科で働いて、1987年、ソーシャルワーカーとして病院の精神科で働いて、

増えました。 たことがあって、 そこから精神的な障害を持つ人が

直面 屮 したわけですね。 不登校その後というよりも、 もっと広い問題

困難を重ねて抱えている人がたくさん来るようになっ て、 木村 困難を抱えて、 なかなか、 そうです 食べるのに困っている人もいます たいへんです。 ね。ほかに行き場のない もちろん、経済的な 人 いろん な

#### 学会に物申す

屮 療の問題で、ずいぶん発言されてこられてますね。 童青年精神医学会でも、発表されていたり。 そういうこともあってか、木村さんは、精神医 児

木村 親の会やフリ それは、 ーダスの相談のなかでも、 YCスタジオを始める前からですね。 いろんなケー

> ました。 問題や、 山崎晃資さんが、「この学会はオープンだから、そう たら、当時、 登校シンポジウムが開かれたとき、席上で意見を言っ 夜中に風呂のなかで叫んでる」という相談があったり、 と、みんな使ってたんです。 このへんのクリニックでは イドから言いたいことがある」と言って、 いい」と言われたんです。 いうことは学会の会員になって、人権委員会に言うと 2000年代初頭に松江の精神保健福祉センターで不 入院の話が増えたりして、何かおかしいと。それで、 SSRIと呼ばれるタイプの抗うつ剤)が出たとき、 スがありました。パキシルとかルボックス いたり、本人の同意のない入院治療に対して当事者サ 暴力を使ったり、 児童青年精神医学会の理事長をしていた 本人をだまして入院させて それで、「多剤多量処方の でも、「あの薬を飲んだら、 「新薬でいい薬ができた\_ 学会に入り (両方とも

屮 いわば乗り込んだんですね(笑)。

木村 そうです (笑)。 2 0 0 4年に理事にな 0

と市民学習会を開いてきました。 くれるお医者さんや各地の親の会や居場所のみなさん あり方について、受け手の側から問題提起をしてきま お薬の問題や子どもへのインフォームドコンセントの した。また毎年の学会総会に合わせて、 げ、理事会や「子どもの人権と法に関する委員会」で、 子どもの人権と精神医療を考える市民の会を立ち上 味方になって

ぜんぶコピーして調べたり、情報公開で、 第1回の資料から、不登校の文字が入っている資料を 実地指導について調べたりして。 奥地圭子さんもいっしょに、学会の倉庫で、 精神病院の 学会の

あなたたちはどういう契約をしているのか」と発言し すごくバカにされましたし、 知らずと言えば、そうだったと思います。 医者からは、 学会で「学会誌に薬屋の宣伝が多いのはなぜなのか。 シーンと、 しずまりかえっちゃったりね。 いろいろ、 たいへんでし 怖い者

屮 ね。 母親が過保護だとか、 かつて、 不登校では家族が問題視されてました 父親に父権が足りないだと

> たもの なってしまっているのは怖いですね。 な面もあるのかもしれませんが、薬物療法一辺倒に しまってますね。それは、 いまは、 Ő, いろんなことが、すべて脳の問題になって 親の育て方の問題にはされなくなってき ある意味では親にとって楽

刻も早く止めたいと思いますね。最近になって、被害 ば、パキシルは18歳未満の重度のうつ病患者への処方 にはからず、 は禁忌になっていたんですが、 島根県で減薬を指導しているのは島根医大だけです。 者の側から、いろんな動きが起きています。 話などを聴くと、あまりにひどい状況があるので、 何しろ、 薬物オンリーです。 製薬会社の力は大きいですからね。 精神医療被害連絡会の方の それを学会が理事会 一方で、 たとえ

投与する際には適応を慎重に検討すること。」 加するとの報告もあるので、本剤を18歳未満の大うつ病性障害患者に 有効性が確認できなかったとの報告、また、自殺に関するリスクが増 ~18歳の大うつ病性障害患者を対象としたプラセボ対照試験において 現在は、次のような警告が表示されている。「海外で実施した7 いたこともありました。

厚労省に禁忌を解くように要望を出して

あります。なかなか、少数で勝てる相手ではないです。る対象が広がっていて、いろいろ、おそるべき実態がされてますよね。不登校だけではなくて、薬を処方すいまや小学校入学以前の子どもにも向精神薬が処方

## 学校に行かない生き方は

ても、 屮 ても行かなくても、若者の状況は厳しい。そのなかで、 動に勢いもあったわけですが、 とはあることと思います。かつては「学校に行かなく よね。YCスタジオを立ち上げた当初と比べて、そこ 2000年代後半ごろから、 で実際に、 い状況にあることが見えてきたということもあります かに不登校を肯定できるのか、というあたりはい 社会でやっていける」という思いがあって、活 医療の問題も大きいですが、それだけではなく、 いろんな現実と出会ってきて見えてきたこ いろんな面で若者が厳し いまや学校に行ってい か

木村 そうですね。やっぱり現実はそうとう厳しい

で

ないことだと思います。 ないことだと思います。 ないことだと思います。 ないことだと思います。 ないことだと思います。 ないことだと思います。 は、どう折り合いをつけていくかは、考えないといけないとき ないことだと思います。 ないことだと思います。 は、どう折り合いをつけていくかは、 でいことだと思います。 という反省はあります。まちがっていたとは思いませ という反省はあります。まちがっていたとは思いませ という反省はあります。まちがっていたとは思いませ という反省はあります。まちがっていたとは思いませ という反省はあります。まちがっていたとは思いませ という反省はあります。 ないことだと思います。

うの 問題になっているのは、たしかでしょうね。実際の仕 らずあると思います。でも、就職では、とても大きな を必要としない仕事もあるのに、学歴がないと生きて いますけど。 事内容としては、 いけないかのように思わされているところも、 か、 わからない面もありますが、 いですね・・・・・。 学歴なんて関係ないことが多いと思 いまと昔の社会の 実際に ?何がちが は、 相変わ

木村 学校歴はどうでもいいことにちがいないです

んなぜいたくなことか」と言っています。 もしないで、好きなことを学ばさせてもらうのは、ど事しながら放送大学に行っています。それで、「仕事場面はたくさんある。長男も、40歳手前になって、仕が、手段として必要なこと、持っておいたほうがいい

親としては、そういうぜいたくをさせてやれなかっ 親としては、そういう時間をたっぷり持つことは、学校が必要なことだと思います。ですから、手段としての学校歴の問題だけではなくて、学ぶ機会の問題としても、学校が必要なことはあるだろうと思います。もちろん、自分で学べる人もいますし、生きていくうえで必要なことは、学校外でいくらでも学べるんだけど、学校でことは、学校外でいくらでも学べるんだけど、学校でよいと思います。

ては難しいところはあると思いますが。 人は都市部に出ていく一方で、学校に行かない生き方というのは、もっと地に足のついた、地域に根ざしたというのは、もっと地に足のついた、地域に根ざしたというのは、もっと地に足のついた、 学歴を身につけた

> 足まではできなくても、まずは食べ物と屋根があるこ 実は厳しいですが、そういうセーフティネットをつく 詩だとか、そういう栄養がとれることも必要です。 すでしょう。心の食べ物も大事ですからね。絵だとか ること。ひとりでいると、どんどんつらくなってきま との安心感。そして、いっしょに話ができる仲間がい 農と食は手放さないことが必要だと思います。自給自 ることが大事だと思って、 では、なかなか厳しいところがありますが、とにかく いけると思うんですよね。 のできる仲間がいれば、現金収入が少なくても生きて ます。でも、 そうですね。そこは、ものすごく試行錯誤して 単純に食べるところと住むところと、話 いまの日本の社会保障制度 やってます。

りますよね。 山下 不登校その後も、都市部と地方で、ちがいはあ

るか、たずねたいという思いがあります。たとえば、木村 島根県内でも、不登校の後、みんなどうしてい

をしている。それをひきこもりと呼ぶのかどうか。ですね。賃労働はしていないけれども、草刈りをしたり、畑仕事を手伝ったり、あるいは、おじいちゃんやちと野球をやったり、お年寄りと話をしたりしてるんちと野球をやったり、お年寄りと話をしたりしてるんー歩も外に出ないと言ってた若者が、地域の子どもた一歩も外に出ないと言ってた若者が、地域の子どもた

地域や家に残っている人に対して、も域のなかで、周辺の、不登校その後の話ではなくて、地域のなかで、思ってます。それで、まずは「いまどうしている?」っ思、訪ねてまわりたいと思っています。東京や都市部で、訪ねてまわりたいと思っています。東京や都市部で、訪ねてまわりたいと思っていまざ。東京や都市部で、活ねてまわりたいと思っていまざうしているか。

のって思います。くのはいいですけど、食糧危機になったらどうするくのはいいですけど、食糧危機になったらどうする

を回し読みしていたんですよね。そこでは、地方も都てたみたいに、全国ネットでは、昔は各地の会の通信にも言いたいことがあるんです。さっきも話にあがっそれと、東京一極集中ということでは、不登校新聞

しまったと思ってます。かたちになってしまった。あそこで、関係が変わって校新聞が出てきたことで、東京、大阪、名古屋中心の会も対等の関係だったと思います。でも、それが不登

どう思われてますでしょう。 ぶ亀裂が入ってしまいましたね。その現状については、ぶ亀裂が入ってしまいましたね。その現状については、だいけり、それは、ご批判として承ります。 親の会の全国

### 原点に戻る必要が

**木村** どうして、からめとられてしまったのかと思い

変更された案が2016年の通常国会に上程され可決・成立した。を更された案が2016年の通常国会に上程され可決・成立した。と期待する声もあった。しかし、反対や慎重論の声も多く、大幅にどを含め、多様な場が教育機会として認められ、経済的支援がなされどを含め、多様な場が教育機会として認められ、経済的支援がなされた。古道教育を十分に受けていない者に、多様な普通教育の機会を確保る普通教育を告めているい。

にシフトしてましたよね。居場所という言葉で、私がとてもよく覚えているのは、新潟で親の会をされていた桜井裕子さんの言葉です。桜井さんは、「子どもが場所だ」っておっしゃっていたんです。いまは、そういう話から、どれだけ遠くなってしまったのかと思いいう話から、どれだけ遠くなってしまったのかと思いいう話から、どれだけ遠くなってしまったのかと思います。いつのまにか、柔軟なカリキュラムがどうのとか、そういう話になって……。子どもの居場所という原点に立ち戻ることが必要だと思います。

山下 吾郷さんはいかがでしょう。

**吾郷** いつごろからか、全国ネットの世話人合宿も、 とてもスケジュールを追うようになってしまったんで すね。議題がたくさんあって、じっくり話すことがで きない。参加者の半分くらいは東京シューレのスタッ きない。参加者の半分くらいは東京シューレのスタッ

教育法案と言っていたころからですね。2010年ごそれは、教育機会確保法より前に、オルタナティブ

山下 教育機会確保法は、突然出てきたものではなく山下 教育機会確保法は、突然出てきたものではなくなった。2000年代に入って風向きが変わってきたときに、どっちを向くかが問われていたのでしょうね。私自身、ずっとフリースクールに関わってきてうね。私自身、ずっとフリースクールに関わってきていますので、とても考えさせられました。

**吾郷** そうですね。私自身も、全国ネットに学んできたので、揺らいでくれるなと思って、舌足らずでしたが、がんばって意見してきたんだけど、もう無理かなが、がんばって意見してきたんだけど、もう無理かな

それは、自分たちでやっていくほかない。 木村 逆に原点に戻る必要は出てきてるでしょうね。

山下 かたちは変わってもいいですし、反省点はある 山下 かたちは変わってもいいたものを昔話にしてはい にしても、親の会で見えていたものを昔話にしてはい ると、いまの現役の親世代とは、だいぶ感覚がちがっ てきているところもあるのだと思いますが、共有して はいるところもあるのだと思いますが、共有して

**吾郷** そうですね。何度もお話はしているのですけど

て、自分で感じて、考えるほかなかった。 いまだって、木村 私たちのときは、親が自分の毛穴をぜんぶ開い

そこは共通すると思います。そこは共通すると思います。そのは、子どもを守るために何でもする。追い込まれたら、誰かにゲタをあずけるのではなくて、自分で考えら、誰かにゲタをあずけるのではなくて、自分で考えら、誰かにゲタをあずけるのではなくて、自分で考えら、誰かにゲタをあずけるのではなくて、自分で考えら、誰かにゲタをあずけるのではなくて、自分で考えるに共通すると思います。

どうされているのでしょう。
すが、不登校その後について、それぞれのお子さんは、ないのか、という問題はありますね……。話が戻りまないのか、という問題はありますね……。話が戻りまないといけ

### それぞれ不安定

とって辞めて、小さい会社に転職しました。家を建てしかできないので満足できなくて、施工関係の資格をしかできないので満足できなくて、施工関係の資格を明は演劇をやってたんですが、いまは京都の建設会社男は演劇を

が、忙しくて身体を壊さないか心配です。いまは最高にやりがいを感じてやっているようです。たりリフォームしたり、全般をやっているようです。

飯はありますからね。いまは、休日はしっかりとって、 心にやってます。でも、仕事漬けだったせいか、一時 容はまったくわからないですけど、おもしろがって熱 自分の身体のことも思いながら働ける状態になったの と言うので、私は「ダメになったら、いつでも帰って 「日進月歩の世界だから、 われ、結局、少し休養して回復したようです。本人も は、うつっぽい状態になってました。ちょっとようす でプログラマーの仕事をしてます。私には、仕事の内 がおかしくて、 んですが、 なと思います。 いで」と言っています(笑)。それこそ、 次男はずっと家にいて、パソコンばかりやって 22歳ごろ、 周囲から病院に行ったほうがいいと言 突然出てしまって、 いつどうなるかわからない」 いまは東京 屋根とご いた

ころじゃない」とは言ってますが、こっちに帰ってくど、バイトもしながら生活してます。「東京はいいと長女は、東京でシューレ大学の学生をやってますけ

るのかどうかはわかりません。

3人とも中卒ですけど、学校に行かないで生きるという信念は、長女にはあるかもしれませんが、下の2いう信念は、長女にはあるかもしれませんが、下の2のかからない人たちでした。「ひもつきの金はいらない」とか言って、16~17歳から年齢をごまかして夜のい」とか言って、16~17歳から年齢をごまかして夜のバイトをしてたりしましたからね。

学校に行かない生き方がよかったどうか、本人たち学校に行かない生き方がよかったけど、私自身のなかには、そういう気持ちはあったので、子どもは何か感じていたかもしれません。学歴があったほうがよかったのかたかもしれません。学歴があったほうがよかったのかにしても、どの子も不安定な状況にいることはたしかです。でも、学校歴のある人も、いまは同じように不です。でも、学校歴のある人も、いまは同じように不です。でも、学校歴のある人も、いまは同じように不

登校であったかどうかに関係なく、不安定になってい山下 そうですね。若い人の置かれている状況は、不

ると思います。フリーダスのほかの方のその後は?

で。それは止めようがないです。 ます。ひとり行くと、みんなつられて行くような感じます。 フリーダスを出た子の多くは、関東に行ってい

### 答えは出てないけど

山下 木村さんのお子さんたちは?

木村 長女は岡山にいますが、長男と次男は親元にい木村 長女は大学まで、ずっと学校に行った子で、「自ます。長女は大学まで、ずっと学校に行った子で、「自ます。長女は大学まで、ずっと学校に行った子で、「自 と結婚する」って言って (笑)、結婚して子どもを3 と結婚する」って言って (笑)、結婚して子どもを3

ね。でも、あるとき突然、技術訓練校に入ったんです。からずっと家にいて、そのころは、しんどそうでしたて、大検(現在の高卒認定)を取得してました。それ長男は、高校は通信制に行って、2年くらいでやめ

ところに行った」と言われた(笑)。で決めてきて、「初めてお母さんの手垢のついてないそれまでずっと家にいたのに寮に入って、ぜんぶ自分

**吾郷** ずばり (笑)。

木村 左官屋さんのコースでね。高所恐怖症を克服しようとして、バンジージャンプをしたり、ジェットコースターに乗ったりしたらしい。職人の先生は、学校の先生とぜんぜんちがって、よかったみたいです。卒んな友だちができて、寮も楽しかったみたいです。卒業後も家にいて、ときどきバイトをしてましたけど、いまは知人の介護の事業所で事務の仕事をしています。それで、放送大学も受講しています。介護の仕事もたいへんですね。夜勤もあるし、働き過ぎですね。もたいへんですね。夜勤もあるし、働き過ぎですね。身体を壊さないといいんだけど……。

次男は、YCスタジオのスタッフをしています。

**吾郷** 役者をやってたよね。

ショックだったと言ってました。度、俳優座の人と仕事をして、あまりのレベルの差にんだけど、田舎のアマチュアの限界というかね。一木村(役者というより、音響とか照明でがんばってた

あと、YCに来ている子は東京に行かないですね。も、お総菜のメニューや調理法を考えたり、ものすごも、お総菜のメニューや調理法を考えたり、ものすごは思いますけど、よくわかりません。

動けない子も多いですし、お金もないですし。

山下 いずれにしても、若い人が苛酷な状況に置かれ 山下 いずれにしても、若い人が苛酷な状況に置かれ 山下 いずれにしても、若い人が苛酷な状況に置かれ

てしまいますね。 そうでないと、状況に振り回され

木村 私たちは若いころに学生運動をやっていて、それが 私たちは若いころに学生運動をやっていて、そうがあります。そういう意味では、みんな子どものころがあります。そういう意味では、みんな子どものころから、がんばったなって思います。でも、答えは出ろから、がんばったなって思います。でも、答えは出てないよね。たぶん……。

山下 私自身もですが、不登校に関わってきた人が、あらためて問い直しつつ、話せる場をつくっていかないといけないと思います。一方で、NPOの関係者も、食べていかないといけないですから、そのあたりは悩ましいですね。NPOはブラック企業以上にブラックになってしまっているという問題もあります。そこはきついところだと思います。

**木村** きついよね。若い子には、下手にNPOで働か

う意味では、フリースクールが経営重視になったのも、 吾郷 たしかに、お金の問題は大きいですね。そうい

不登校 50 年証言プロジェクト #20 吾郷一二実さん、木村悦子さん

> 屮 誤しながら、いっしょに考え合っていければと思って問題だと思います。いろいろ悩ましいですが、試行錯すし、お金との折り合いをどうしていくかは、大きな 生きていく道がない。でも、 あてにできないですからね。 産」を使える立場の人で、いまの多くの子ども・若者は、 お金の問題を軽視できるのは、これまでの 自分の労働力を売るほか

わからなくはないですね。

います。

今日はありがとうございました。

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #20 吾郷一二実さん、木村悦子さん インタビュー日時:2017年2月6日

記事公開日:2017年6月23日/2017年10月10日改訂

場 所:かたくりのはな(島根県松江市)

聞き手:山下耕平

写真撮影 · 記事編集:山下耕平

大人になっても?

# の前に長戻りスーパーがあるんですよ。ハウム「家にということですが、幼児期・小学生時代はどのようにということですが、幼児期・小学生時代はどのようにということですが、幼児期・小学生時代はどのように奥地 しのぶさんは小6のときに、不登校が始まった

私の年齢が一番人数が多くて6人で、そのうち女の子 校生徒15人の小さい小学校に入りました。人数が少な 実家がスーパーを始めました。私が通っていた保育園 イプの子」だったから、上の子から叩かれるところが とお勉強ができて、ハッキリものを言う「リーダータ が私を含めて5人、女の子ばっかりで、低学年のころ かったので、 帰りたいのに」って思っていましたね。小学校は、全 の前に実家のスーパーがあるんですよ。 (ふたつ以上の学年をひとつにした学級)でした。 よく高学年の子にいじめられました。 たのかも。 1~2年、3~4年、5~6年の複式学 いまだにそうだけど。 いつも「家に 私は、 0) 10月に、

考えを刷り込まれる場所だと思っていました。 生の考え方を押しつけられてるな」っていう窮屈感が たんです。だって、学校でやっている勉強は、 を教育によって引き伸ばされるというよりは、先生の ど、同級生のなかではリ うめざわ に行くんだったら、私には学校は必要ないな」って思っ クシャクした時期があって、 のは、「学校は必要ない」ってことです。 いつもありました。小学校は、自分の思っていること く意味がなくなったんですね。「勉強するために学校 ハッキリものを言うし、 それで、 学校の授業に対しては、「学ぶ」というよりは「先 小学校6年のとき(1990年)に思った かわいくないでしょ、そんなの 大人になってもそう。 痛いところを突いたりするわ ーダータイプになるっていう。 自分にとって、学校に行 上からは叩かれるけ 友だちとギ

## 奥地 自我に目覚めちゃったわけですね

うめざわ

昔から本を読むのがものすごく好きで、

#### 素がスーパー ながスーパー なが なん 21 うめざわ しのぶ さん



1978年、山口県周南市生まれ。小学6年生のころ、学校に行くつらさを感じ、無理をしながら登校を続けるなか、山口県精神保健センター(現在の精神保健福祉センター)と出会い、不登校となる。不登校時代は各地のシンポジウムやセミナーで、パネラーや講演などをして活躍。同センター内の居場所「星のうさぎ」を中心に、「東京シューレ」や各地のフリースクールと交流を持つ。中学卒業後、2年間のアルバイト期間を経て、福岡の調理師専門学校へ進学。19歳でレストランへ就職。20歳で結婚、出産。子育てをしながら飲食店で経験を積み、2005年、27歳で夫婦で飲食店を独立開業。10年目にして、自分をつちかってくれた土地でパン屋を開業するために、廃業。現在、夫と息子を福岡に残し、単身、山口県周南市でパン屋開業準備中。

インタビュー日時:2016年10月29日 聞き手:奥地圭子、木村砂織、山口幸子

場 所:福岡市博多区の飲食店

写真撮影:木村砂織

まあ、 その後、 世の中に出て学ぶことも多い

か

らないことを知るのが好きでした。

みというのは、専門的なことは無理だけど、 な成り立ちはテレビを観てればわかる。 うめざわ そうですね。社会と理科とか世の 中の仕 おおまか 組

ことは、自学自習にすごく役立ったんじゃない。 暮らしのなかで学べるんですよね。 本が好きな

うところがありますけど、中途半端にできない性分で、 ぽちゃしてたから、それをほかの子から指摘されたの 思春期で、女の子は外見を気にしますよね。私はぽちゃ うのと、あとは、いろんなことが重なったんですね。 ダイエットのつもりが、だんだん行き過ぎて神経的に がイヤで、ダイエットを始めました。いまも、 した。それで、「もう行く必要がなくなったな」とい 幅広いものの考え方ができるようになりま そうい

> 「学校に行きたくない」というのが重なって、 えば、うつ状態だったんですね。 食べられなくなって、拒食症ぎりぎりでした。 それと いま思

#### 私、 61 なくなれば 17 1)

奥地 当時は、ずっと家にいたんですか

ころで、 た。 から、 うめざわ 1分でいいから毎日通いなさい」と言われまし 「1日でも学校に行かないと行きづらくなる いえ、一番最初に通ったのは精神科医のと

奥地 連れて行ったのですか? うつ状態になったので、 お母さんが医療機関に

うめざわ そうですね。「いいところよ」って聞いて。

奥地 お母さんは行かせたい。 医者も「行け」と言う。

ている私」は、 も悲しませている。でも「学校に行きたくないと思っ なんだと思ってました。みんなを困らせる、お母さん 私」は、まちがっている存在で、いてはいけない存在 うめざわ のに」って思うようになりました。 いてはいけない存在なんだ」「私、 だから「学校に行きたくないと思っている たしかにここに存在していて、「私は いなくなればい 11

しませていい存在」ではなかったんですよね。 お母さんは言うわけです。結局、私は「お母さんを悲 わないで」「そんなことを言われたら悲しいから」って、 それで「死にたい」と言っても、「そんなことを言

この世の中になかった存在として、 もっと言えば、「死にたい」というよりも、 W のに」と思っていました。 消えてなくなれば 「元から

奥地 は、 「存在そのものが消えてなくなれ 相当の自己否定ですよね ばい 11 Ľ とい

かを訴えたい」とかいうのは、「自分が世の中に存在 うめざわ 「自分が死んで何かを変えたい」とか「何

> 抱えながら、学校には毎日行っていました。 か。そういうのじゃなくて、消えたいという気持ちを していること」を自分が否定していないじゃないです くたくたでした。 ですから、

奥地 だって、行きたくないのに行くわけだから

だ」って感じて、ちょっとホッとしていたりもしてい 「そういう子が世の中にいるんだ」「私以外にもいるん そこの子も行ってないらしいよ」という話を聞くと、 ていました。だけど、 いかん存在やけん、「行かなきゃいけないんだ」と思っ **うめざわ** でも、私は「行きたくない」とは言ったら そういう時期にチラッと「あ

てもいいんじゃない」って言われたんですよね。その 談員の人に「こういうふうに思っています」という話 リングを受けてみたら」って言われて、そのときの相 とき、「え、行かなくてもいいっていう選択肢がある をしました。すると、 小学校6年の秋に、精神保健センターで「カウンセ 「そんなにイヤなら、 行かなく

奥地 そのときに、

初めてそう思ったの?

んだ」って思いました。

#### 白黒テレビが カラーになった感じ

んな状態から、急に目の前に色がついてきたんです。 まま起きなければいいのに」とも思っていました。そ 来なければいいのに」って思ってて、「寝たら、その それまでは真っ暗闇だったんですよ、 きのことを鮮明に思い出したんですけれど、「白黒テ スポンジとかをぎゅーって押し固めると小さくなるで レビがいきなりカラーになった」ような感じでした。 うめざわ あんな感覚。 でも手を離すと、ぱーってふくらむじゃないで うん、 なんかね。 いま話していて、 毎日。「明日が そのと

に」って、そういう表現をした人は少ないです。そこ すごいですね。「白黒テレビがいきなりカラー

> 色がついたと感じて、その後は、どういうことがあり の居場所「星のうさぎ」につながるんですね。世界に で、精神保健センターでされていた、不登校の子ども

生きていけんじゃん」と、 と」が当たり前じゃないですか。こんなに行っていな れで生きていける」と感じて、「じゃあ、 私もそう思っていたけど、星のうさぎに行ったら「あ、 に行っている人もいて。それまでは「学校に行かなく とこ」って思いました。 なったらお先真っ暗だ」と、みんなが言っていたし、 い人がいっぱいいて、20歳くらいの人も入れば、高校 うめざわ 星のうさぎに来ると「学校に行ってないこ 頭で考えるよりも「私、こ 学校行かん

奥地 なったということ? そこではっきりと「学校に行かない気持ち」 K

てました。学校に行かなくても生きていけるとは、 うめざわ それまでは「そうは言ってもね……」と思っ

5 んぜん思ってなかった。だけど、星のうさぎに行った 「みんな生きてんじゃん」って思って。

校に行かないで生きるのが私の生き方」って思ってる また親に不信感を持ちました。 わけです。「一度は学校に行かなくてもいいよって言 ときには星のうさぎに刷り込まれているから(笑)、「学 じゃないの?」と言ってきました。でも、私は、その ば環境が変わるし、新しく勉強も始まるから行けるん いながら、また学校に戻れというのか」って思って、 クシャクして学校に行けなくなったけど、中学に行け その後、中学生になるとき、母は「友だち関係がギ

それ以外の日はどうやって過ごしていましたか? 星のうさぎは週2回の居場所だったそうです

歳くらいから16歳くらいまでアルバイトして、 で読んでました。あと、料理をつくるのが好きだった んで、晩ご飯もつくってました。それと、 うめざわ バイトをさせてもらったこともありました。 家で本を読んだり、新聞をスミからスミま 喫茶店でア その 13 間 14

> らったこともありました。 に1~2カ月ほどの期間、 ひとり暮らしをさせても

すか? んは、 その後は「学校に行け」って言わなかったんで 「自分で生きている」って感じですね。 親御さ

#### 不登校のなか の優等生に

わけです。 さないけど講演会とかで話していて、それを親が聞く そのころ、 たし、私はわりと話すほうだったので、親と直接は話 うめざわ 言わなくなりましたね。親の会とかもあっ そして、ここポイントなんですけど、 不登校のなかの優等生になろうとしたんで 私は

奥地 そういう意識はあったの

ダメとは思ってないですよ。思ってないけれども、 うめざわ いま思うと、そうだと思う。ひきこもりが

そうすれば、親も安心するでしょ。
丈夫よね」って思われるようにふるまっていました。校に行かないなら、学校に行かないでも「この子は大

#### 奥地 なるほどね

じゃなくて、子どもがどんな状況でも「あなたはあな とか「学校に行かなくても、あなたみたいにしっかり ね。それなのに、「学校に行かないなら、こうしなさい」 きゃいけないんですよ、「学校に行かない」というこ てないじゃないですか。自分を偽っていますよね。ほ なんですよ。そういうのって、結局は自分自身を生き してたら大丈夫」とか、そんなことを考えさせなきゃ たでいいんだ」って言える土壌がなければダメですよ とに対して。 んとうは、そんなことを感じなくてすむ価値観がな うめざわ 世の中っていうのが、第一にまちがってるん でもね、 「学校に行かないなら、これをしなさい」 それ は、ほんとうはよくないこと

ぬっちゃうんだよね。それは、いつごろ気がついたの?
奥地 不登校そのものを社会が認めてないから、そう

**うめざわ** わりと早くに、10代のうちだったと思い

業できましたか? 奥地 それは鋭いですね。中学は無事にすんなりと卒

**うめざわ** できました。中学校には、学割をもらいに うことを自主的にレポートに書いて中学校に提出して あって、「いま、私はこういうことをしてます」とい あってもしてましたし、担任の先生がよかったのも

さぎの活動で覚えていることは? ては評価しやすかったのかもしれないですね。星のうのが県の精神保健センターだったから、公立学校とし奥地 そういうことを認めてくれたのね。通っていた

## 調理師専門学校に飲食店のバイトから

中3になると、「高校に行く?」という話になるじゃ中3になると、「高校に行く?」という話になって、世の中のことを何も知ないですか。ただ中学生って、世の中のことを何も知ないですか。ただ中学生って、世の中のことを何も知ないですか。ただ中学生って、世の中のことを何も知るいですか。ただ中学生って、世の中のことを何も知ないですか。ただ中学生って、世の中のことを何も知ないですか。

した。実際、働くなかで、料理の仕事がしたいと強くし、一度社会に出てみたいんですけど」って話しま親には「その後に必要になれば高校か専門学校に行

に、福岡の調理師専門学校に行きました。思うようになりました。それで、18歳になる年の4月

奥地 その調理師専門学校はどうだったんですか?

かったですよ、いろんな人がいて。60歳くらいのおばあちゃんまでいました。私の行っていた学校はちょっとゆるかったから、なんかね、楽しいの表でも、学生は中学を卒業した15歳くらいの子から

奥地 何年通ったんですか?

うめざわ 1年で修了のところだったので、1年間通うめざわ 1年で修了のところだったので、1年間通うめざわ 1年で修了のところだったので、1年間通うめざわ 1年で修了のところだったので、1年間通

うめざわ

は

れたんです。 年の10月に三越がオープンして、そこに新店舗を出す

奥地 運がよかったというか……。

**うめざわ** 運がよかったんです。私、面接に落ちたこ

で何年働いていたの? 奥地 それは、あなたの能力だと思う。それでキハチ

ね。それで、そこはわりとすぐに辞めました。
思い描いていたフレンチの世界とはちがったんですよ

奥地 なるほど。その後はどうしたの?

けど、その後、20歳で結婚、出産しました。

奥地 愛する人ができたんだから、よかったよね。

**うめざわ** そして、相手がわりと年上で、仕事がしっ

店をやろうってなったわけ? 奥地 それで、20歳で結婚して、その後、自分たちで

**うめざわ** そうです。開業したのは、私が27歳のとき

## いっしょに育っている

奥地 27歳というと、お子さんは……

くれたんですね。私たちだけの価値観ではなくて、おんですけど、お店のお客さまたちが息子を好きでいてんですけど、お店のお客さまたちが息子を好きでいて

を整えてあげるのが、公の仕事かな。それは「育てる」った整えてあげるのが、公の仕事かな。それは「育てる」ったして、息子は福岡県の公立高校でナンバーワンのととして、息子は福岡県の公立高校でナンバーワンのととして、息子は福岡県の公立高校でナンバーワンのととして、息子は福岡県の公立高校でナンバーワンのととして、息子は福岡県の公立高校でナンバーワンのととして、息子は高いで、親だけじゃない大人が彼の店をやっていたおかげで、親だけじゃない大人が彼の店をやっていたおかげで、親だけじゃない大人が彼の店をやっていたおかげで、親だけじゃない大人が彼の店をやっていたおかげで、親だけじゃない大人が彼の店を

私が一番最初にしたのは、子ども自身の興味を大事のかな。

て思ったんです。 で思ったんです。 で思ったんです。 そして開店から10年目、去年要だということを、私が身を持って体験したのは、自要だということを、私が身を持って体験したのは、自要だということを、私が

り不安はなくやれそう? 奥地 「店をたたもう」って決めて、これから、あま

メージはあったの?
のかり、どういう仕事をしようかというイン

です。 
のは、 
のは、

出てきたんだね、人生に。 奥地 「原点に戻りたい」ということですね。余裕が

きっと。「ここまで」っていう。
できない」という枠を、自分でつくってたんですよね、かったというか、「こんなことがしたいのに、それがかったというが、「こんなことがしたいのに、それがいるない。

奥地 ご主人もいっしょに山口に?

をやろうかなと言っています。 をしていて、子どもが独り立ちしたら、また福岡で店をしていて、子どもが独り立ちしたら、また福岡で店

木村 じゃあ、それぞれで生活されるということです

#### 自分を映す鏡

うふうに感じていますか? 奥地 いま振り返ってみて、不登校について、どうい

ちっていうか、根底にあるものをちゃんと見れるようたと思います。物事を表面だけじゃなく、その成り立たと思います。物事を表面だけじゃなく、その成り立

は、学校に行かなくなってから出会った人たちですね。は、学校に行かなくなってから出会った人たちですね。自分の考えだったり、ほんとうの自分を取り戻すにいま、自分を生きてる?」って問いただしてくれるにいま、自分を生きてる?」って問いただしてくれるにいま、自分を生きてる?」って問いただしてくれるにいま、自分を生きてる?」って問いただしてくれるになった。その人たちと話していたら「あ、私ちがって存在。その人たちと話していたら「あ、私ちがって存在。その人たちと話していたらしているが出会った人たちですね。は、学校に行かなくなってから出会った人たちですね。は、学校に行かなくなってから出会った人たちですね。は、学校に行かなくなってから出会った人たちですね。

**奥地** しのぶさんが不登校してから26年くらい経って、でいる」「情けない」とか見られてしまって、苦しに行かないと、「死んでしまいたいくらい価値がない」に行かないと、「死んでしまいたいくらい価値がない」のぶさんが不登校してから26年くらい経って

しくないと、学校に行ってなかったことがあるといううめざわ それはありますよ。私だって、よっぽど親

れてしまう。を知ってもらってからでないと、何かあったときに「学校に行ってなかったから、こうなんだ」って、フィルターをかけて見らたから、こうなんだ」って、フィルターをかけて見らたから、こうなんだ」って、 フィルターをかけて見られてしまう。

て、どういうことを言いたいですか? は意味のあったことだ」と思っているということですは意味のあったことだ」と思っているということですか。 いま、悩んでいる人たちに、かつての体験者としぬ。 いまではことだけど、心の中では「不登校ランクには言えないことだけど、心の中では「不登校ランクには言えないことがあるから、いまでもフ

### 自分を生きることどこにいても

人もいて、みんな、それぞれが自分を生きていくしかたしている人もいる。学校へ行ってる人も行ってないいうことです。世界中をヒッピーみたいに放浪して旅のがさわ あのね、「自分を生きていくんだな」って

場所。自分が行きたい場所が、その場所。思っています。いまいるその場所が、自分を見つけるす。何をやって、どこにいても、それは変わらないとない、自分を見つけるために生きてるんだって思いま

奥地 不登校もそのひとつだよってことですよね。

うめざわ そのひとつだと思う。それはね、誰にもわ からない、自分にしかわからないことだと思う。 見つけたと思ったものも、また見逃してしまうから ね。ぐるぐる回ります。それは一生続くことだと思う。 自分を見失うこともあるし、私もたぶん、もう2回く らいは来ると思う。でもそれは、学校へ行ってるとか

木村 40代は40代でね。

でしょ。

30代女性は悩みますよ。

奥地 50代になってもまたね、人生、新しいことにずっ

思っているけど。生きていれば、どこでも生きていける」って、いまはいいのかな?」って確認しながらですね。「私は私で、うめざわ」自分の中でも自問自答があって、「これで

## いっぱり土台は不登校に

もあるのかな? とこでつちかわれたんでしょう。そこには不登校経験とこでつちかわれたんでしょう。そこには不登校経験

り土台は不登校にあります。あの世界が色づく感覚が。ずつ上乗せされていったんだと思いますけど、やっぱのとがされていった。

ですね。 
を 
の 
感覚から、いまの自分を肯定しているわけ

**うめざわ** 自分だけじゃなくて、子どもに対してもで

だけ学校に行っているのだったら意味がない。もしろいと思わなかったら行く意味がないし、かたち学校に行っていても、不安なことはあるじゃない。おすね。学校に行くかどうかだけじゃなくて、子どもがすね。学校に行くかど

てことですね。 奥地 自分をいかに生きるかが、あくまでテーマだっ

ていくかです。だって、人生すごい楽しいもん。いても。何の仕事をしていても、自分とどう向き合っいても、自分とどう向き合って

えになったものはなんだったんでしょう? 奥地 つらかったとき、世界に色がなかったころ、支

海のなかを漂っているような状況ですよね。目を開けか、どっちに進めばいいかもわからない。真っ暗闇の付が正しいかわかんなかったし、自分を責めたと思う何が正しいかわかんなかったし、自分を責めたと思ううめざわ やっぱり母親のことを思いますね。彼女も

かった。
おつけたのが母親だったと思う。そこで、いっしょにみつけたのが母親だったと思う。そこで、いっしょにみつけたのが母親だったと思う。そこで、いっしょにないたとり着くものがないときに、唯一、しが

ごいですね。 理解もなかった時代に、それができたお母さんは、す理解もなかった時代に、それができたお母さんは、す

しょに揺れてくれていたんです。言われるまでは、母は思ってもなかったし。ただ、いっ校へ行かなくていいよ」なんて、精神保健センターで校へ行かなくていいよ」なんて、精神保健センターで

いま、息子との関係でも、自分が不登校していたことは活きていると思います。誰かの目で見た自分じゃとは活きていると思います。誰かの目で見た自分じゃし、彼が思ってることのほうがいっぱいある。彼のほし、彼が思ってることのほうがいっぱいある。彼のほうが知識は上やけんね。

とをやってくれれば。から学歴とかはこだわらないです。自分のやりたいこがも、自分の人生を自分で生きてほしいですね。だ

とうに、ありがとうございました。 ではの生き方をつくっているなあと思いました。ほんせていただいて、うれしかったです。しのぶさんならぬ地 今日は久しぶりにお会いできて、深い話を聞か

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #21 うめざわ しのぶ さん インタビュー日時:2016年10月29日 記事公開日:2017年6月28日 場 所:福岡市博多区の飲食店

聞き手:奥地圭子、木村砂織、山口幸子 写真撮影:木村砂織

屮 なるほど、 たしかに符合することが多いように

#### #22 北村小夜 さん



(きたむら・さよ)

1925年、福岡県久留米市生まれ。1950年~1986年まで都内の小・中学校 で教員(そのうち1965年から86年の退職まで中学校で特殊学級担任)。子 どもたちとのつき合いのなかから、子どもを分けてはならないことに気づき、 共に学ぶ地域の学校づくりを目指して、障害児を普通学校へ・全国連絡会世話 人などで活動してきた。1990年~1991年、中国の長春師範学院で日本語を 教える。著書に『一緒がいいならなぜ分けた』(現代書館 1987)、『再び住ん でみた中国』(現代書館 1992)、『能力主義と教育基本法「改正」』(現代書館 2004)、『戦争は教室から始まる』(現代書館 2008) など。

インタビュー日時:2017年6月5日

聞き手:山下耕平

場 所:北村小夜さんご自宅(東京都大田区)

写真撮影:山下耕平

屮 村さんは、 お生まれは何年になりますでしょ

うか

私が生まれた年に治安維持法が公布されて、 厳しくて……。 わからなくて、 べ物はないし、 なりましたが、 どんどん戦争に向かっていって、 92歳なので、 私は1925年、 多くの人が死んでいるか生きているか 戦後の混乱期は相当なものでした。食 人さがしをしていて、 明日には死んでるかもしれません(笑)。 福岡県久留米市に生まれまし 20歳のときに敗戦に 進駐軍の検閲も その後、

ざっぱに言えば、 来年が明治維新から150年ということですが、 ちょうど少し前に震災もあって、偶然かもしれ 私が子どものころ、戦争前の状況とよく似てい 敗戦後から現在までが70年ちょっとですね。 なかったと思います。 いろんなことが重なる。 明治維新から敗戦までが70年ちょっ こんなに物騒 11 ま ま

> たのは何年になりますでしょうか? の関係からうかがいたいのですが、 ますね。 まずは、 ご自身の子ども時代の、 小学校に入学され

思

13

#### んな軍国少女だ つ

北村 も、お手伝いさんが先回りして待ちかまえていて、 を盗んで学校に行ったことがあります。 ど、家で寝ているのは、 わりとひ弱で、 運動場はゴビ砂漠みたいに見えて、 れ帰られてしまいました。 ものすごく学校に行きたくてね。二度くらい、 が来ても縁側までで、 に走ってもいいよ」と言うんだけど、 しょに行って、先生が「よく来たね。 みんなといっしょ 低学年のときは、そんな感じでした。 1932年、 学校を休むことも多かったです。だけ 昭和7年でした。 それ以上、 とってもしんどいし、 運動会の日は、家族でいっ 親しくできないし、 おそろしくて走れ 私からしたら、 小さいころは、 でも、

屮 何 か、 病気をされていたんですか?

**北村** 大きな病気ということではないですが、いわゆれて終わり(笑)。

山下 一方で、軍国少女だったということですね。

思います」でね。もう覚えてしまっていました。当時 間では「今日は満州の兵隊さんにお手紙を書きましょ ならず「極寒のみぎり、 書いてました。 う」と言われて、 まる時代でしたからね。たとえば、 なか 体は何だと思いますか? 子どもに書かせていたんでしょう。書き出しはか 匪賊というものがいると思っていたわけです。 ったですよ。 あ のころは、 学校に頼まなければ数を得られない 兵隊さんの慰問袋に入れる慰問文を 日中戦争が始まって、軍国主義の強 軍国少女(少年) さぞ匪賊討伐も困難のことと 小学校の作文の時 じゃない子は 正 か V

山下 中国の人たちということでしょうか

北村 そうです。中国の人たちからしたら、愛国の志士ですよね。でも、中国には匪賊、悪い人がいるもんだと思っていた。だから討伐するんだって。後に、日本人から匪賊と言われた人たちに実際に出会って、私本人から 乗国の人たちからしたら、愛国の志

山下疑いがなかったわけですね

れ村 それが教育ということですよね。いま、教科に 北村 それが教育ということですよる。 いおけです。国民ひとりひとりに考えさせないという というものではない。肝心のところは絶対に見せな いおだに、教育勅語はよいという人がいますが、あそ くというものではない。肝心のところは絶対に見せな くというものではない。肝心のところは絶対に見せな いわけです。国民ひとりひとりに考えさせないという のは、権力者が治めるうえでは有効な手段でしょうね。

勇公ニ奉シ」というところでしょうか。

けです。 北 村 勅語の通釈を出してますが、 になっている。 顯彰スルニ足ラン」となっているでしょう。 わ づいて、と書かれています。 天皇制国家を維持することが最終目的になっているわ 「忠良ノ臣民タル けです。 その後に「以テ天壌無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」 国民が死ぬのも生きるのも、すべてそのため 1930年には文部省(当時) ノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ そこには「神勅」にもと そこまでが一連のものな 要するに が教育

**山下** 国民が主語ではなく、あくまで天皇が主語に

も、それが君主の命令によって強制されたというとこ1983)は「たとえ完全なる真理を述べていようと除を決議したとき、参議院で羽仁五郎(1901-14村 そうです。1948年に国会で教育勅語の排



1938 年、福岡県久留米市立南薫小学校 6 年 3 組(北村さんのいた学級)の最後の授業(国語 27 課)

そこを抜けられてないわけですね。は、この一言に尽きると思います。日本は、いまだに、ろに大きなまちがいがあった」と述べています。要点

#### 修身と道徳

**山下** この写真(前ページ)は、北村さんがおられた

とえば、 き、 南側を日本領にして、1910年に韓国を併合します 民地にし、日露戦争(1904-日本は、日清戦争(1894-1895)で台湾を植 ではなかったので、教室にいるのは女子だけですね。 の最後をやっているところです。小学校でも男女共学 この写真1枚から、いろんなことがわかります。た さらに第一次世界大戦 (1914 国語の授業で、読本「ハナ・ハト・マメ・マス」 ツから山東省とパラオやマーシャル諸島などの統 そうです。 壁の右上には日本全図が貼り出されてます。 1938年、 私が小学校6年生のと -1905) で樺太の 1918)で、

> けです。 治権をとる。それが、この1枚の地図に書いてあるわ

が飾ってあって、左下に皇居の写真があります。入っているわけです。年表の右下には伊勢神宮の写真神から今上天皇までの国史年代表で、歴史に神代が黒板の上のほうにあるのは年表なんですが、天照大

勢にまで、道徳が貫かれているわけです。安右側の壁には、机に座る際の姿勢の絵があります。姿ところで育てば、ひとり残らず軍国少女です。あと、年生になったら教育勅語を暗唱させられる。そういう国語も音楽も、すべて手段だったんです。それで、4国語は、修身が首位教科で、あとの教科は、算数も当時は、修身が首位教科で、あとの教科は、算数も当時は、修身が首位教科で、あとの教科は、算数も

機能、姿勢までチェックするようになってきている。肢の状態」を検査することになって、子どもの四肢の教科」にするとしている。健康診断でも、昨年から「四のは、すべての教科が道徳的でないといけないと言っのは、すべての教科が道徳的でないといけないと言っのは、すべての教科が道徳的でないといけないと言っのは、

山下 北村さんは、「修身に書かれている内容は立派

ですね。ですね。

たら、 「それは自分で考えなさい」ということでした。 忠臣になってもらいたいからだよ」と言ってくれたん が親孝行で、みんなが忠義だったら修身の本はいらな た。そのとき、 ながら勉強してたの? がっかりした」と言われまし の先生が「間もなく卒業だけど、聞いておくことはな けです。それが不思議でした。それで、卒業前に担任 たく出てこない。みんな刻苦勉励して、えらくなるだ 困らせたりしているのに、修身では、そういう子はまっ 子どもは、なかなか親孝行なんてできないし、 でも、「誰がやってもらいたいんですか?」と聞いたら、 です。それで、長年の疑問が解けたように思いました。 いね」「修身を教えるのは、親孝行してもらいたいから、 いですか?」と言うので、そう聞いたんです。 自分でもいいことを聞いたと思います(笑)。 担任の先生には「ほんとうに決まってます。6 一所懸命勉強してきたのに、そんなことを考え 隣のクラスの若い男の先生が「みんな むしろ そうし

> まわりには、そういう大人がいないとダメですね。 考えると、よく言ってくれたなと思います。子どもの

れたんでしょう。
メですよね(笑)。小学校を卒業したあとは、どうさ
山下 上の言うことを忖度するばかりの大人では、ダ

になりました。錬成服と言ってましたね。を着る期間は少なくて、だんだん、もんぺを履くようあって、すごく自慢に思っていたんです。でも、それあり、 田制の女学校に行きました。女学校は制服が

かに長刀が入ってきたり、そういう感じでしたね。てました。学校の校庭は畑になっちゃうし。体育のなあって、そのころは、よく防毒マスクつけて演習をしあって、そのころは、よく防毒ですけど、防空演習が女学校にいたのは日米開戦前ですけど、防空演習が

## 看護婦として満州に

州に行かれたそうですね。 女学校を出られたあとは、救護看護婦として満

屮

実家に帰られたんですか。

去です。 北村 満州に派遣されました。 間は3年なんですが、戦争になって繰り上げられて、 した。 をどう考えるかは、 たまたま新聞で募集しているのを見つけて、 女学校を卒業後、 ソウルの養成所に2年いて、ほんとうは養成期 そのあたりは、ほんとうは消してしまいたい過 何度か書いたり話したりはしてますが、そこ まだ課題として残ったままです。 いろいろあって進学できなくて、 応募しま

屮 関東軍付の看護婦ということですね



歩くような小さい子もいました。 の兵隊の大部分は、少年兵で、自動小銃を引きずって て関東軍を武装解除したのは、 いの非常に激しいところで、 した。そこで敗戦を迎えたんですが、 満州の南のほうです。 そうです。陸軍病院があったのは鉄嶺という町 そのあたりは、 政治犯の刑務所もありま ソビエト軍でした。そ 鉄嶺に最初に来 政治的な争

軍に随行することになったんです。 しかったですね。それで、 くんですが、八路軍は、前の二つに比べたら、 八路軍が来ました。みんな片っ端から物を持って行 ソビエト軍のあと、国民政府軍が来て、そのあとに どういうわけか、 私は八路 礼儀正

岩 うことでしょうか? 看護婦を必要としているから、 連行されたとい

北村 そうだったんだと思いますが、 よくわかりませ

1947年、 八路軍:日中戦争時に華北方面で活動した中国共産党軍の通称。 人民解放軍に改編

ました。 賊」だったわけです。それには、 そして、この人たちが、私が慰問文に書いていた「匪 は感じませんでした。八路軍は関東軍とは大ちがいで、 分けられているときは、1日におかゆ1杯でも飢餓感 えというのは量の問題じゃないと思いました。平等に ぜんぜん居心地は悪くなくてね。そのとき初めて、 いました。当時の八路軍は、毛沢東の うなってしまったんです。1年ほど、八路軍とともに ぜんぶ、なりゆきだからね。その場にいたら、そ 糸1筋も盗るな」などの規律が守られていて、 ほんとうに愕然とし 「民衆の物は針 餓

ちょっと日本を見てこようと思って、 ましたけれど。 頼って帰国しました。 たんですが、 私は、 日本人が引き揚げているという噂を聞いて、 ずっと八路軍とともにいてもいいと思ってい 1946年の夏、 結局、 そのままになってしまい ハルピンに出たとき 知人のつてを 私も

> 住んで、 北村 主だったら1町は残せるというので、父の実家の蔵に た。それまでは不在地主で、 して、どうしていいかわからなかったですね。 に切り替わって、 いたんですが、 した。あのころは、お金がなかったうえに、円が新円 実家に帰ったんですが、 1年ほどは1町のうち1反で稲作りをしてま 農地改革で許されなくなって、在村地 価値が10分の1くらいに暴落したり いわば余米で暮らして さまがわりしていまし

## エロ本の絵師から教員に

ほかの学科の学生も興味を持っていました(笑)。 ら煙が出ているときは、裸婦を写生しているときで、 のころは軍隊の兵舎跡のボロボロの校舎でね。そこか の芸術科は受けいれるというので、 んです。当時、芸大は女子を受けいれてなくて、日大 そんななか、 絵描きになろうと思って、東京に出た 入学しました。 そ

買い上げ、 と。戦後の農地改革で、 \*2 不在地主:小作地などを所有しながら在村していない地主のこ 実際に耕作していた小作人に売り渡された。 不在地主の小作地は、政府が強制的に安値で

てもらうために薪を焚いていたんです。 だんは、寒くても薪なんかないときだけど、裸になっ ただ、ここにいても何ともならないと思って、2年

口本ですか それはびっくりです。

北村 と言うわけ。けっこう売れてね。これでしばらく食え なるかと思ったんです。 困ってしまって、どうしようかと考えて、 それが問題になって、クビになってしまった。それで たんだけど、ピンハネされているにちがいないと思っ 面した一角に闇市があって、そこにミルクホールとい て、出版社に直接交渉しに行ったんです。そうしたら、 うのがあったのね。 るなと思ってました。だけど、一般の本屋には出ない、 ていい、下手ほどエロを目的にしている人にはいい」 ルートで出回るものでしょう。後楽園の白山通りに これはね、 おもしろかったよ。「上手じゃなく いつも、そこで取次と交渉してい 教員にでも

> 屮 なんでまた、教員だったんでしょう。

てもらって、 立の商業学校の教員の口が空いているからと声をかけ 権も剥奪されて、九州へ戻ってきたんです。 いて、 てきたら、そんなことは誰も気にしなくて、久留米市 たんです。解雇されたばかりか、工兵少尉の位と選挙 ところが、海軍とのあいだで事件を起こして解雇され 工業高校を出て、神戸造船で技術者として働いて 父も教員をしていたことがあったんですね。 加賀という軍艦の設計なんかもしていました。 理科の教師になったんです。 でも、戻っ

子どもから見ても見事だと思いました。親戚の女連中 描きで、みんな反対するんです。そうしたら「私が働 と結婚することになったんですが、これが売れない絵 す。最初の夫を早くに亡くして、昔のことで、その弟 あっちのほうが絶対に格好いいと思ってね。 は、伯母の悪口を言っていましたけど、子ども心には、 けばいいんでしょ」と言って、教員になった。それは、 それと、 私の伯母(父の姉)も教員をしていたん

そういうことを身近に知ってたものですから、

えてやったら、 給料はもらえるし、そんなに悪い仕事じゃないでしょ れていたりね。昔の教師は、 となったら教員になればと思ってたんです。最低限 人情的につき合うことができた。 父も、困っている生徒の授業料をちょっと立て替 その人は、ずっと父のことを信じてく その人を丸抱えにして、  $\mathcal{O}$ 

屮 持っ ておられ いわゆる「でもしか先生」ですね。 たんですかっ 教員免許は

花街みたいなのもあって、下町でね。私は何だかよく たんです。墨田川の向こう側を指していたんですが、 すか?」と聞いたら、「川向こうならありますよ」と言っ たんですが、教員の臨時免許があって、それだけは取  $\lambda$ いて「教師になりたいんですけど、どこか口はありま ておいたんです。それで、東京都の教育委員会に出向 ですが、その晩、 たんです。それが1950年6月29日のことだった からないまま、 大学にいたとき、ほとんど単位はとってなか いったん帰って、そのうちと思って 江東区の平久小学校の校長が家ま 0 0

> とつありました。あのあたりには、学校はその4つし ると、親が船で迎えに来る。それから、朝鮮学校がひ で平日は学校が子どもをあずかっていて、土曜日にな て、これは水上生活者の学校だったんです。寄宿舎制 が平久の分校だったんです。それから、水上学校があっ 平久小学校しかありませんでした。あと、豊洲小学校 うんですね。それで、 でになると、 でやってきて「明日から来てください。明日 かなかった。いまは、すごくハイカラなところになっ 当時、江東区の永代通りから海岸側には、公立では 6月分の給与が差し上げられます」と言 のこのこ教員になったんです。 からお

しょう 屮 親は、 木場で仕事している人が多かっ たん

学校もたくさんできていますけど。

たですね。それと造船関係。造船といっても大きな船 けど、ほとんどは材木置き場で、材木関係の人は多かっ ではなくて、 あのあたりは、 木の船を造っている職人さん。仕事はた いまは堀を埋め立てら れて 11 る

な工夫して生きてました。くさんあったけど、材料がないとできないから、みん

#### 授業中に銭湯に

でしょう? 当時の小学校のようすは、どんな感じだったん

北村 何しろ、何もなかった。平久小学校は鉄筋コンクリートで、空襲で焼け出された人が住んでいたんです。窓から、空襲で焼け出された人が住んでいたんです。窓がラスがなくて雨の日は困りましたし、地下には水が溜まったままで、探すと、まだ遺体がある状況でした。そういう状況でしたから、何かすれば、それだけで、みんなが喜んでました。当時は、学習指導要領も試案でしかなかったので、教師は子どもと相談して、自由にできましたしね。

山下 授業中に銭湯に行かれたと聞きましたが。

きたら、 呂だよ」と行ったら、大急ぎで手ぬぐい2~3本集め 道すがら、親の人に「どこに行くの」と聞かれて、「風 あ、行こうか」って。ほかの人に知られないように、 はいかないから、認めるほかなかったんでしょうね。 ので、「風呂に行ってきました」と言ったら、「ああ、 ほら煙が出てるよ」って言ってきてね。それで「じゃ 都営浴場はときどきやっていて、それをみんなが注目 場があったんです。ふつうの銭湯はやってなくても、 かったわけで、でも、学校中でいっしょに行くわけに いいことなさいましたね」と。誰だって風呂に行きた てきて「これ持ってきな」って言ってくれて。帰って ひそかに歩いて、30人くらいでいっしょに行きました。 している。 学校の近くに都営住宅があって、そこに都営浴 校長が「どこへ行ってきたんですか」と聞く あるとき、 授業中に子どもたちが「先生、

山下 お風呂代はどうされたんですかっ

北村 どうしたんだろう、払った覚えはないね (笑)。

山下 当時、学校に来ない子はいたんでしょうか?

北村 いたかもしれないけど、登校拒否というほど、です。ずっと後になって、自分が直面するより先に、あしろ学校には来たかったんだと思います。学校に来るほうが、何かと付き合ってもらえるわけですしね。 当時は、登校拒否なんて考えたこともなかったです。ずっと後になって、自分が直面するより先に、世間で話題にされているのを聞いたときは、「なんて上等なことを考えるんだろう」と思いましたね。当時は、学校に行かないとか、行くのがイヤだというほど、学校を批判的に考えたことはなかったです。

う? の後、大田区に移られたのはいつごろだったのでしょの後、大田区に移られたのはいつごろだったのでしょうね。そても、その背景はずいぶんちがったのでしょうね。そ

離婚したんですが)、大田区の大森第六小学校に異動北村(4年ほどして、同僚と結婚したことで(のちに

しました。

しょう。 山下 そのあたりの地域は、どんな感じだったんで

り造船関係の人は多かったですね。 漁業権を放棄しちゃいましたけどね。あとは、やっぱい海苔の干し場があったりしました。いまは、みんない村 ちょっと海岸に行くと、海苔屋さんが多く、広

ますが。さんは、大きな変化は1958年にあると書かれていさんは、大きな変化は1958年にあると書かれていいが、かまりいなかったのでしょうね。北村山下 いずれにしても、自営業の人が多くて、サラリー

# -958年、すべてが変わった

初に組合活動に参加したのは、朝鮮学校廃止反対の運前の話からしますと、1950年に教師になって、最北村 1958年にすべてが変わったんです。その以

いくんです。

「なんです。
いくんです。
となっていくんです。
となっていくんです。
となっていくんです。
となっていくんです。
となっていくんです。
となっていくんです。
とれとともに、国民は力を失っていくんです。
とれとともに、国民は力を失っていくんです。

とうございます。日教組はおそろしい団体だと思って えてます。 の実施を強行したんです。 ろが、それから何カ月もしないうちに、 いたけど、ありがたいです」と言ってたんです。とこ 来ない寒い 松に渡って、 ないですから、 した。愛媛県の松山で開かれて、当時は新幹線なんて 1956年に、 何せ1万人も集まるものだから、 時期に、おおぜい来てくださって、ありが 1995) 知事があいさつに来て、「人の 塩田を眺めながら予讃線に乗ったのを覚 長い時間かけて電車に乗って、 初めて日教組の教研集会に参加 彼は勤務評定 久松定武 船で高 じま

山下 愛媛からだったんですね

しましたが、 勤評闘争が本格化します。 りました。同時に、それは国の政策でもあったんです なって、石川達三の小説『人間の壁』のモデルにもな るために思いついたんです。その後、 とになってしまいました。 一里塚」というスローガンを掲げて激しく反対運動を しょう。それで、1957年 教育長協議会が「教職員の勤務評定試案」を発表しま ね。文部省は勤務評定の全国実施を要望し、都道府県 国の目的は教員を管轄下に置くことだったんで 久松知事が、財政難から教員の人件費を抑制す 勤務評定は1958年から実施されるこ 日教組は「勤評は戦争への 1958年にかけて、 佐賀でも闘争に

**山下** 教員が、上からの評価を気にしないといけなく

とがいっせいに始まったんです。まず、学習指導要領すね。1958年は、それだけではなく、いろんなこ北村(そうです。そのへんのことは、いろいろありま

を斉唱することが望ましい」という文言が入りました。そについていけない子、「できない子」が出てくる。そして、学校保健法が制定されて、就学時健診が実施さして、学校保健法が制定されて、就学時健診が実施さいた。つまり、子どもを分け始めたわけです。でわえて、「道徳の時間」が始まります。学習指導要についていけない子、「できない子」が出てくる。そについていけない子、「できない子」が出てくる。そについていけない子、「できない子」が出てくる。そについていけない子、「できない子」が出てくる。そについていば楽」から「基準」になりました。

小下 1958年に打ち出された一連の動きは、セットだったということですね。

章「特殊教育の使命」には、こう書いてあります。が国の特殊教育」という文書を出しますが、その第1 化村 そうです。その後、1961年に文部省は「我

ひとりの教師によるじゅうぶんな指導が行われ得るが交じり合って編入されているとしたら、はたして難聴や、さらに精神薄弱や肢体不自由の児童・生徒この、五十人の普通の学級の中に、強度の弱視や

はいられません。

・生徒の教育そのものが、大きな障害を受けずに
が、学級内の大多数を占める心身に異常のない児

ボナ。五十人の普通学級の学級運営を、できるだけ完全 五十人の普通学級の学級運営を、できるだけ完全

があるわけです。 がよくなる。ここに、特殊教育が推進されてきた理由学級から障害のある子を追い出すと、普通学級の能率つまり、障害のある子のためだけではなくて、普通

### 特殊学級の教員に

身、最初から問題をわかっていたわけではありませんそんなに悪いこととは思わないかもしれません。私自「能力適性に応じた教育」ということだけを聞けば、

教育なるものを勉強してみようかと思ったんです。教育なるものを勉強してみようかと思ったんです。小学校の教師をしていて、最初は、「できない子」が出てくる。そこに、特殊教育の情報が入ってくるわけです。「その子に合った教育」という言い方をされると、何か特別の教育法があるように思ってしまう。それぞれの子どもに合った教の教育をしてくれるように思う。それで、最初は、「できなでした。小学校の教師をしていて、最初は、「できなでした。小学校の教師をしていて、最初は、「できなでした。小学校の教師をしていて、最初は、「できなでした。小学校の教師をしていて、最初は、「できなが、

それまで、特殊教育の教育法を学んだ教師はいな教育課程を設けて、現職の教員から受講者を募集したんです。学費はかからないし、給料をもらいながら勉強できるし、学割で映画に行けるし(笑)、これはいいと思って、喜んで応募しました。ふつうの先生より、いと思って、喜んで応募しました。ふつうの先生より、ましたが、あとから考えたら、そこで教わったことは、ましたが、あとから考えたら、そこで教わったことは、ましたが、あとから考えたら、そこで教わったことは、

山下 おもには、知的障害 (当時で言う精神薄弱)

見分けようということでしょうか。

北村 いちばん大きな目標は、そこですね。でも、当地村 いちばん大きな目標は、そこですね。でも、考えたし、特殊教育の免許状をもらって、1965年、大田区立志茂田中学校の特殊学級の担任になりました。まあ、すごく素直だったんです(笑)。でも、考えてみると、ちょうど60年~65年ごろは、第1次ベビーブームが終わって、子どもが減る時期だったんですね。だから、現職の教員を派遣する余裕があった。特殊学級をつくるための空き教室もある。そういう条件がそろっていたんですね。

**山下** いったん増やした教員と教室の使い途をつくる

と、お金をかけずにできるんです。だから、子どもの害児教育にかぎらず、子どもの減る時期に改革をやる特殊学級は、ぜんぶ空き教室から始まってました。障北村「うまくやるよね。少なくとも大田区の場合には、

減る時期は危ないよ。

山下 日本で、いわゆる登校拒否の子どもが病院や児 のようなんですね。その時期に、学校に拒否感を覚え のようなんですね。その時期に、学校に拒否感を覚え のようなんですね。その時期に、学校に拒否感を覚え

## なぜ分けたいっついるら

つごろだったのでしょう。 山下 子どもを分けることの問題に気づいたのは、い

> 生なら大丈夫だと思うよ。 と、特殊学級は、けっして子どもが望んで来ているわ 通学級に戻れば」と励ましてくれたんです。それでやっ 分自身も、 級落第してきたの?」と言われたんです。 でくれるだろうと思って教室に行ったわけです。とこ がそんなに喜んでくれるのだから、 んです。 けではなくて、そこに分けられているんだと気づいた て、返事もできずにいたら、その子は肩をたたいて「先 るわけでしょう。でも、とっさには意味がわからなく ろが、教室に入ったとたん、Hくんに「先生も普通学 たが来てくれてよかった」と言ってね。それで、教師 くれました。「誰もやり手のなかったところに、 が特殊学級に赴任して、その学校の教師たちは喜んで それは、赴任したその日に気づいたんです。 落第して、ここに来させられたと思ってい もう1回、 子どもたちも喜ん 試験を受けて普 つまり、自 あな

師なんだから」と言われました。一方で、少し経ってう。でも、それにとらわれてちゃダメだよ、それが教「そういうことは教育を受けた時期にも聞いたでしょでも、そのことを特殊学級担任の同僚に話したら、

い」と、ほめてくれました。なた、よくその子の声が耳に入ったね。子どもたち、なた、よくその子の声が耳に入ったね。子どもたち、から、その話を金井康治。

山下善意だと耳に入らないんでしょうね。

北村 そうでしょうね。それで、その日に決心したの 北村 そうでしょうね。それで、その日に決心したの 北村 そうでしょうね。それで、その日に決心したの

普通学級の子といっしょに交流する時間が1時間でもそこで私は、おろかにも、交流を思いついたんです。

\*3 金井康治(かない・こうじ):1969年、東京都足立区生まれ。 \*3 金井康治(かない・こうじ):1969年、東京都足立区生まれ。 \*3 金井康治(かない・こうじ):1969年、東京都足立区生まれ。 \*3 金井康治(かない・こうじ):1969年、東京都足立区生まれ。 \*3 金井康治(かない・こうじ):1969年、東京都足立区生まれ。 \*3 金井康治(かない・こうじ):1969年、東京都足立区生まれ。 \*3 金井康治(かない・こうじ):1969年、東京都足立区生まれ。

なんとか説得した。

なんとか説得した。

なんとか説得した。

でも、それはまちがっていたんです。まず、教員を 先に説得しようと思っていたことが変ですね。子ども たちと先に話し合うべきでした。教員を先に説得して、 喜びいさんで「今年から学芸会をいっしょにやろうよ」 と子どもたちに言ったら、Hくんから「いっしょがい と子どもたちに言ったら、Hくんから「いっしょがい と子ともたちに言ったら、Hくんから「いっしょがい と子だもたちに言ったら、Hくんがら「いっしょがい と子だもたちに言ったら、Hくんがら「いっしょがい と子だもたちに言ったら、Hくんがら「いっしょがい と子だもたちに言ったら、Hくんがら「いっしょがい と子だもたちに言ったら、Hくんがら「いっしょがい と子だもたちに言ったら、Hくんがら「いっしょがい

よ(笑)。分けておいて、いっしょにしているわけだらからしたら、おかしいわけです。そういう意味では、もからしたら、おかしいわけです。そういう意味では、分けておいて交流しようというのは、分けられた子ど分けておいて、分けてないふりをするのはよくない。

たら、そういうウソはつきたくないね。なんて、私は、分けておいてのところが許せない。だったとか、お金が動いているわけでしょう。それをもらっだとか、お金が動いているわけでしょう。それをもらったとか、お金が動いているわけでしょう。それをもらったら、そういうウンはつきたくないね。

護学校義務化は大きな分岐点だったと思いますが。 るわけですね。北村さんは、特殊学級は先に箱をつくっ るわけですね。北村さんは、特殊学級は先に箱をつくっ ますね。けっして子ども望んだわけではない。しかし、 ますな。けっして子ども望んだわけではない。しかし、 ますね。おり早期に分けていく方向 になってますね。そういう意味でも、1979年の養 になってますね。そういう意味でも、297ルにそこにあ

## 養護学校義務化問題

す。美濃部亮吉(1904—1984)知事が「心身 北村 東京は5年早く、1974年から始まったんで

学校をつくりました。のを受けて、都は「全員就学」を掲げて、次々に養護のを受けて、都は「全員就学」を掲げて、次々に養護

たとえば、いまの七生特別支援学校は、もともと養 たとえば、いまの七生特別支援学校は、もともと養 にとえば、いまのたちが、なかでも、おもに障害を持っている子が入所していましたが、なかでも、おもに障害を持って、ない草っ原があってね。校庭の裏門のところでは、広い草っ原があってね。校庭の裏門のところでは、 で、広い草っ原があってね。校庭の裏門のところでは、 要性職員と男の子たちが、おしっこの飛ばし競争をしてました (笑)。そのころは、入所している子どもたちは、なるべく地域の学校に行こうとしていて、職員ちは、なるべく地域の学校に行こうとしていて、職員ちは、なるべく地域の学校に行こうとしている子どもたちは、なるべく地域の学校に行こうとしていて、職員が、毎日、手分けして送り迎えしてたんですね。途中が、毎日、手分けして送り迎えしてたんですね。途中が、毎日、手分けして送り迎えしている子どもと養

に行くことになる。それで喜んだ親もいるけど、結果んです。そうすると、子どもたちも必然的にその学校は大変だ。土地はいっぱいあるんだから、ここに学校ところが、そこに美濃部知事が見学に来て、「これ

校義務化阻止共闘会議

その後、79年の養護学校

義務化に対 って、

ľ

T

は、 0

養護学

八王子

ったんですね。

うの は

は、

あくまで子どもを分けたうえでの就学

分けられ

てしまったわけです。

「全員就学」

#### 障害の重い子どもを小・中学校で教育することの問題点

- ①障害の重い子どもに対しては、小・中学校では適切な教育ができない。
- a. 一般の教育課程に適応することが困難。
- b. 障害に応じた特別指導(点字学習、口話法等の指導、機能訓練など)を受けられない。
- ②一般の子どもたちの教育に支障が生じる恐れがある。
- a. 40 人学級では、担任教員が、障害児の世話に追われ、一般児童の教育に支障が生ずる。
- b. 教員および一般児童の負担が増える。(善意の手助けのみを当てにできない)
- ③多額の財政負担を強いられる。
- a. 学校施設の改善(スロープ、エレベーターなど)や、特別設備、スクールバスの整備が必 要となる。
- b. 専門教員、介助職員が必要となる。
- c. 盲、ろう、養護学校整備との関連で二重投資となる。

④現行の特殊教育制度、ひいては学校教育制度全体の根幹に触れる大きな問題となる。

そこはつながってい るように を中心にして反対運動を展開 たわけですよ (現在のセンタ それ そうです 養護学校 なっ まで就学免除・猶予だった子たちが就学でき たのだから、 Ą の義務化を推進した側 |試験) L ると思います。 か をつく し実際のところは、 が始まっ それはよいことだと言 しました。79年は共通一 た年でもあって 0) 理 学籍は 扈 養護学校 とし 5 与 7

北村

13

は、

下

就学したということにしていました。

に2回ぐら えても訪

11

先生が2時

間ずつくらい

、来て、

それで

問指導が増えたん

です

とくに地方では、週

こう言われたことがありました。

また、

そのころ岩手に行ったとき、

おばあち

P À

> 校にとられました」 息子を軍隊にとられましたが、 こんどは孫を学

とか言う。 されるときは、「自然豊かなところに学校があります」 岩手では、 11 か っぱい ·らは通えず寄宿になってたんです。 自然はあっても、 あったと思います。 養護学校が県にひとつとかしかなくて そこに社会はない でも、 教研集会で報告 そういうこと わ けで

者対策協議会 と平等」がスロー いうメモを渡 その 後、 1 してるんです 9 (政府の有識者会議)に、 8 ガンに掲げられます。 1 年は国際障害者年で、 定ペ ージ参照)。 文部省がこう 中央心身障害 「完全参加

れたら、 きない 子どもたちの教育に支障が生じる恐れ 重 け い子どもに対しては、 私たちは、ここに書 ないと言ってきました。 」という文言には反発できても、 結局、 こたえます。 日本の教育は、 「支障が生じてもい いてある① 小中学校では適切な教育がで 実際、 できる子をも 親は①の ④を論破 れがある」 ② Ø い」とは言 しっとでき 「障害の 「一般の しな と言わ

どまっ 進という方向になって、 るようにするの と平等」を謳いながらも、 け Ó が方針なわ て、 41 分けておいて、 っしょにはならなか かけです。 結局は、 だから、 障害へ 交流するにと 0 ったわ 理解推 17

化 屮 おられたんでしょう。 ように思います。そこに不登校の増加も重なるわけ した80年代以降の学校のしんどさは 北村さんは、教員として不登校にどう関わ 79年の養護学校の義務化と、 11 つなが じめ などが 9 ている 深刻 0 7 で

#### 障害児を普通学校 ^ と不登

りは、 いうことで来てい 校は特殊学級だったら行くようになるのでは いました。 いう子どもには、あまり出会ってない 村 家に遊びに来ているうちに、 私 は、 それから、 V わ る子も Ø る 小学校で不登校になって、 「学校ぎらい」 11 た。 それで済 その んです 「登校拒否」 子 は ない ね。 んでしま 中学 かと ひと

らも、遊びに来てくれてました。と来るんですが、迎えに来られることは、彼にとってと来るんですが、迎えに来られることは、彼にとってとればいいじゃん」と言っていたら、毎日ではないけど、てきとうに来るようになって、卒業してかないけど、てきとうに来るようになって、卒業してかないけど、てきとうに来るようになって、卒業してかないけど、てきとうに来るようになって、本学校のときは、先生が迎えに行く

別の中学校で不登校になって、教師に特殊学級でみてほしいと連れてこられた子もいました。その教師は、でほしいと連れてこられた子もいました。その教師は、いと思ってたんですが、実際は、その子にとっては、いと思ってたんですが、実際は、その子にとっては、あ前に逃げてしまうようになったんです。その子は、る前に逃げてしまうようになったんです。その子は、る前に逃げてしまうようになったんです。その子は、る前に逃げてしまうようになったの子にとっては、からとさは居心地よくしていましたが、卒業後特殊学級で過ごしたことをくやしがっていましたが、卒業後特殊学級で過ごしたことをくやしがっていましたが、卒業後特殊学級で過ごしたことをくやしがっていましたが、卒業後特殊学級であるからいけないんだ」と言っていましたが、本籍に対する方と思います。

地よくしていることもありましたが、担任のほうは、何人か、そういう子はいて、特殊学級のほうが居心

できるだけ普通学級へ戻すようにしていました。通学級の問題を助長することにもなる。だから、私はているわけですね。それは、子どもをはじき出した普そういう子を特殊学級へはじき出すことで、ほっとし

山下 学校が変質していくなかで、そこで養護学校や山下 学校が変質していくなかで、そこで養護学校や特殊学級へ分けられた子と、みずから学校に拒否反応を示す子が出てきたのは、同じ状況のなかで生じたことですね。それに対する「障害児を分けるな」という意味どちらも、「ふつう」から分けてくれるなという意味どちらも、「ふつう」から分けてくれるなという意味どちらも、「ふつう」から分けてくれるなという意味とちらも、「ふつう」から分けてくれるなという意味とある。

地域の普通学校に、子ども自身が行きたくないといこりました。一所懸命、運動して、がんばって入ったなったころ、障害を持った子にも似たようなことが起北村 80年代だったと思いますが、登校拒否が問題に

でものです。運動をしてきた側としては、がんばり続けてほした。
 でも、子ども自身は、そうはいかないわけだ。そこで、障害児を普通学校へ全国連絡会でも、ずいぶん話し合って、児を普通学校へ全国連絡会でも、ずいぶん話し合って、別を普通学校へ全国連絡会でも、ずいぶん話し合って、「ただでさえ、ふつうの子よりしんどいんだから、登「ただでさえ、ふつうの子よりしんどいんだから、登「ただでさえ、ふつうの子よりしんどいんだから、運動が担否になっても当然のこととして認めないといけない」「それぐらい学校ってひどいんだよということをいう。運動をしてきた側としては、がんばり続けてほしう。運動をしてきたります。

人にとってどうか、ですよね。 よわりの大人にとってではなく、当の子ども本

#### **シャバなんだ** 「いいところ」じゃない

私は、「ふつうは、いいところじゃない。シャバなんだ」人のなかには、「ふつうがいい」と言う人もいますが、北村 そうですね。全国連絡会の運動に関わっている

しでもいいところにしていこう」と言ってきました。やめよう。それよりも、いま、自分のいるところを少になってしまうんです。だから、「いいところ探しはと言ってきました。いいところ探しを始めると、特殊

山下シャバは問題含みのところだと。

ない。だから、学校だけの問題じゃないよね。のでなければ、シャバに暮らしつづけるほかないじゃれ村 そう。将来にわたって、特別なところで生きる

山下 その時期だけ守られるのはちがうということで

うのところです。 はいられないよ。シャバはいいところじゃない。ふつはいられないよ。シャバはいいところじゃない。ふつ

ら、子どもが苦しんできたわけですよね。山下(でも、そのシャバの寛容度が低くなってきたか

まってきた。きない子も分けられてきたから、ふつうがどんどん狭きない子も分けられてきたからね。できる子も、で

山下 なるほど。障害児だけではなくて、できる子も 山下 なるほど。障害児だけではなくて、できる子も とですね。でも、実際のところは、子どもたちは、より細かく分けられてきていますね。2000年代に 入ってから発達障害がクローズアップされて、特別支援学級へ分けられる子どもは急増しています。発達障 援学級へ分けられる子どもは急増しています。発達障 まについては、どうお考えですか?

と付き合いきれないなと感じてます。 知らない診断名がどんどん増えて、それには、ちょっ度のことに、ぜんぶ診断名がついてしまってますね。

もしました。診断が的確になったとか、学校がしんどずいぶん論議した時期があります。いろいろ調べたり障害児教育の分野でも、なぜ発達障害が増えるのか、

の懐が狭くなったということでしょう。くなったとか、いろんな見方がありますが、要は社会

最終報告には、こう書いてありました。扱いされてますね。2000年の教育改革国民会議のしかも、発達障害のなかでも、できる子だけが特別

どもがいる可能性があることにも十分配慮する。いにしない。その一方で、問題児とされている子どもの中には、特別な才能や繊細な感受性を持った子との中には、問題を起こす子どもへの対応をあいまいるが、問題を起こす子どもに配慮すること

なかにいる、できる子を探せということです。できない子を普通学級から追い出すと同時に、その

て、フリースクール支援を言明しました。そういう選表来のアインシュタインやエジソンが眠っているか臣(当時)は、2014年に「不登校児のなかには、臣(当時)は、2014年に「不登校児のなかには、

別のまなざしは、かたちを変えて、くりかえしている

北村
そうですね。ぜんぜん変わってない。

## シャバは完全にはならない

には、 屮 慮ということだろうと思います。しかし、この「い あるのではないでしょうか。つまり、シャバのあり方 思います。それは、とても息苦しい。「いっしょに」 抑圧になったり、攻撃対象になったりしてきたように しまって、「ふつう」とちょっとでも異なることが、 しょに」というのは、ややもすると同調圧力になって 慮するのではなく、いっしょに過ごすために必要な配 いうことが求められますね。それは子どもを分けて配 ばれないように思います。 問われている。そうでないと、 合理的配慮がないと、 インクルーシブ教育というとき、合理的配慮と 抑圧になってしまう面も 個人の力だけではが 0

> 北村 合理的配慮も勘ちがいされてるからね。でも、 いくことが必要なんです。いい世の中なんて、あるはいくことが必要なんです。いい世の中なんて、あるはいくことが必要なんです。いい世の中なんで、あるはずがないんだから。

と思います。
と思います。
と思います。

**北村** 私は、本気でつき合ってれば、子どもはなんと

山下 分ける見方というのは、その人のある面だけを しているのは、そういう大人のように思います。でも、 う大人のかまえの問題なんでしょうね。子どもが求め う大人のかまえの問題なんでしょうね。子どもが求め でも、シャバでつき合うというのは、

- 485 -

まの教員には要求できないと思います。 北村 忙しいですし、夜中まで働いていて、とても

## 障害者雇用はつまらない

山下 シャバということで言えば、雇用環境も厳しく なってますね。かつては自営業など、地域で生きてい が厳しい状況にいる。そういうなかで、障害者が働け る場も、障害者雇用という分けられたところにしかな る場も、障害者雇用という分けられたところにしかな

北村 法定雇用率を満たそうと思ったら、「どは特定子会社をつくるしかないですね。障害者がそこに集まっている。それじゃ学校と同じでつまらないよ。いまや養護学校にも序列があってね。たとえば杉並区にある永福学園は、就職率100%を目指すと宣伝していますが、入学者を選んで入れているんです。そういう養護学校が増えてます。一昔前だったら、「どれ村」 法定雇用率を満たそうと思ったら、大きい会社

子が特別支援学校に行ってます。うしてこんな子が支援学校に行くのか」というような

なって、 れが、 まったようにこなすだけの毎日で、本人はつまらない、 親からすれば心配はない。でも、 なんだけど、本人はそれがおもしろくて仕方ない。 ぜんぶ試している。もちろん親や周囲から見たら危 おもしろいことがいっぱいあるって言うのね。それを 導員の指示どおりにしないといけない。それがイヤに 自分なりに能率よく工夫することも許されなくて、 暇もあるし、寮もあって、労働条件はそろっている。 仕事しかないんです。ただ、待遇はいいし、保険も休 材料の袋入れです。卒業しても、こういう単純作業の ちょ銀行の子会社に入ったんですが、仕事内容は宣伝 なっかしくて、 て永福学園に行った女の子がいます。 んばったけど、先生に「就職できるから」と勧められ 私の シャバで生きるということなんでしょうね。 知っている子でも、 家出したんです。それで、夜、街を歩くと、 何が起こってもおかしくないから心配 中学校までは普通学級でが 決まったことを決 卒業し て、 ゆう

ろにいるよりはいいわけですね。
仏なに危なくても、仕分けされた安全なとこ

北村
そう。こたえられないくらい、おもしろい。

## 学校外の取り組みは

10人がみんなで少しずつ進もう」とか、えらそうに言っかで子どもは疎外されている」「1人ができるよりは渡土が東大の学生だったころに、この近くで始めた塾護士が東大の学生だったころに、この近くで始めた塾

ているので、「私が付き合っているような子どもとったら、めないやがるわけです。それでも、とに所の人も、みんないやがるわけです。それでも、とに所の人も、みんないやがるわけです。それでも、とにがく非常識を押し通して、いろんな事件を起こしながかく非常識を押し通して、いろんな事件を起こしながらも、地域で生き続けることの困難な子どもや若者のらも、地域で生き続けることの困難な子どもや若者のたまり場として活動してました。

主張を自分たちの外に広めることで、世間の常識も、く舎/国土社1985)という本にまとまってますが、く舎/国土社1985)という本にまとまってますが、く舎/国土社1985)というたまり場を必要としない地域はあるけれど、こういうたまり場を必要としない地域に集まってくるのではなくて、そういう人が生きていける地域を、それぞれが身のまわりで目指すべきだということですね。もうひとつは、らんがく舎だけで通用する非常識で通すのではなくて、共に生きるという用する非常識で通すのではなくて、共に生きるという用する非常識で通すのではなくて、共に生きるという用する非常識で通すのではなくて、共に生きるという

す。とにかく非常識だったからね(笑)。自分たちの非常識も修正されるだろうということで

らんがく舎は、いまも活動されてるんですか?殊な場になってしまうといけないということですね。殊な場になってしまうといけないということですね。

屮

のになってしまう。だから、シャバに立って

関係が、わかってくれる人とのあい

だだだけ

のも

いかない

ら、すっかり変わりました。 ちでやってますね。支援にお金が出るようになってかちでやってますね。支援にお金が出るようになってか

山下 なるほど。制度の狭間で場をつくろうとしてきがありますね。運営だとか、お金の問題も大きいようがありますね。運営だとか、お金の問題も大きいようがありますね。運営だとか、お金の問題も大きいよう

えてなかったね。助け合って活動してました。もちろ支援してましたけど、お金のことなんか、ぜんぜん考学校義務化反対のころは、学生やら労働者が集まって北村 丸めこまれてしまったんです。たとえば、養護

るけど、隣の人には何も言えてなかったりしてね。はうも、すでに仲間だと思った人にはいろいろ要求すくなったとか、それをどうするとか。でも、障害者のかったわけです。急に泊まりの介助の人が来てくれなん、たいへんだったし、そのころの障害者はしんど

す。 シュ といけないということですね。しかし、 とも言えますしね。 る。教育機会確保法は、 狭間でやろうとしてきたところがあったように思いま いまの学校や地域で失われてしまったものを、制度の フリースクールなどに関わってきたんですが、 てますし、 しかし、 ーレを始めとした学校外の居場所は、もともとは、 足場をどこに置くかは難しいですね。 それが制度に回収されてきている面もあ 不登校を学校から分ける法律 地域も衰退し 東京 私は

児を普通学校へ全国連絡会の会員になっていただいて北村 そうね。東京シューレの奥地圭子さんは、障害

しておられるようですね。さってたんです。でも、いまはフリースクールに集中いて、一時期は実務も含めて、ずいぶん関わってくだ

私の言いたいことは、それだけです。悪くても、子どもは分けてはダメだ、ということです。いうことではない。原則として言えるのは、良くても大事だと思います。いいところだから分けてもいいと大事だと思います。いいところだから分けてもいいと

的なインタビューで、たいへん楽しかったです。山下 長時間、ありがとうございました。とても刺激

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #22 北村小夜さん

インタビュー日時:2017年6月5日

記事公開日:2017年7月7日/2017年8月17日改訂

場 所:北村小夜さんご自宅(東京都大田区)

聞き手:山下耕平

写真撮影・記事編集:山下耕平

#23 児島一裕さん 不登校 50 年証言プロジェクト

は、ご本人だけではなく、児島さん含む当時の入所者 れるということでした。竹渕さんへのインタビューで 屮 7 られた経緯など、 のみなさん参照)。 4名の方にお話をうかがうことができ、貴重な証言を まも竹渕さんを囲んで、当時の入所者で集まっておら 年ほど前に児童院に入所されていた経験があって、い ていた竹渕陽三さんにコンタクトをとった際、 童院(情緒障害児短期治療施設)で生活指導員をされ ただいたと思います 経験だけではなく、 児島さんに行き当たったのでした。児島さんは50 のインタビューで2回目になります。 児島さんにお話をうかがうのは、このプロジェ 11 今回は、 ろいろお話をうかがえればと思っ フリ (#18竹渕陽三さんと竹の子会 ースクール地球学校を始め あらためて、 情短施設 大阪市立児

児島 会だったと思います。 自分にとって原点となる経験でしたので、 ほんとうに、 偶然でしたね。 児童院での経験 V 11 機

児島

どうでしょうね。

っぱいありました。

新しいものもすぐ入ってきて、 うちは質屋だったので、

#### ま たく自由に育 つ

まず、 ご実家の家業は何をされてい 子ども時代のことからうかがい たんですか? たい 0)

屮

だったのが、 際は父が切り盛りしていました。ボクで3代目のはず は国鉄の職員でもあったので、建前上は副業を持てな は継ぎませんでした(笑)。 いですから、 うちは祖父の代から質屋をしていたん 質屋は母親名義になっていましたが、 いきなりフリースクールを始めて、 です。 実

生まれというと、ちょうど物心ついたころに高度成長 変わっていく感じはありましたでしょうか が始まっているわけですね。まわりの風景がどんどん 宮沢賢治みたいですね (笑)。 1956年の

屮

#### #23 児島一裕 さん



(こじま・かずひろ)

1956 年兵庫県生まれ。小学校 5 年生で登校拒否になり、1966 年から小学校 卒業までの1年10カ月、大阪市立児童院(情緒障害児短期治療施設)に入所 していた。大学時代にアメリカに留学、その後、日本語学校の教員を1年間 勤める。アメリカ各地のフリースクールをまわり、1985年、兵庫県高砂市で フリースクール地球学校を設立。1999年に地球学校を閉じて、現在は、GHB センター (グローバル・ヒューマン・ブリッジ・センター) 代表、000 グロー バルビジョン代表、地球大学(NPO法人000 PAF GLOBAL UNIVER-CITY) プロジェクト会員など。愛称はうーたん。

インタビュー日時:2017年5月21日

聞き手:山下耕平、山田潤 場 所:飲食店(大阪府堺市)

写真撮影:山下耕平

した。

はボクがおもしろいと思っているものを詰め込んでま遊んでました。学校にも遊びに行っていて、机の中にが見に来ていました。まったく自由に育っていたので、かラーテレビなんかもいち早く家にあって、近所の子

それと、家の金庫の開け方を覚えて、そこからお金を持ち出して、いまの金額にしたら10万円近いお金をだったので、うちには子どもたちが集まっていて、遊だったので、うちには子どもたちが集まっていて、遊だったので、うちには子どもたちが集まっていて、遊が場にしていました。

山下 どんなことをして遊んでたんですか?

のように計画を立てるんです。手際はよかったんで、てました。どの店からどういう手順で盗むのか、毎日で言えば、小学校3年生ごろからギャング集団をやっ児島 まあ、いろいろやってましたけど、悪いところ

ラダイスでした。
たようなものです。ほんとうに楽しかったですね。パいうことを仲間と考えるのが楽しくて、学校に行っていきも捕まったことはありませんでした(笑)。そう一度も捕まったことはありませんでした(笑)。

おそろしい金額になったと思います。となさい」と言ってね、ほとんど全員が出したんです。らった人、何をいくらおごってもらったか、書いて出き、ホームルームの時間に教師が「児島におごってもき、ホームルームの時間に教師が「児島におごっても

て、出し抜いたりしてました(笑)。

ただ、こっちも負けてなくてね。いつもポケットに
ただ、こっちも負けてなくてね。いつもポケットに

います(それは、前回に話しましたね)。 をでボクの大きらいなゆでたまごを無理やり食べさせ食でボクの大きらいなゆでたまごを無理やり食べさせでいちばん厳しい先生が担任になって、その先生に給

## **「病気」が守ってくれた**

**山下** もともと好き嫌いはハッキリしていたんです

児島 ハッキリしてました。19歳まで、緑色の野菜は児島 ハッキリしてました。19歳まで、緑色の野菜はにだったのに、ゆでたまごが出るかもしれないと思うだけて、給食でゆでたまごが出るかもしれないと思うだけて、給食でゆでたまごが出るかもしれないと思うだけて、給食でゆでたまごが出るかもしれないと思うだけて、お食でゆでたまごが出るかりした。それで、「病気」がボクを守ったりして、いま思えば、それは「病気」がボクを守ったりして、いま思えば、それは「病気」がボクを守ったりして、いま思えば、それは「病気」がボクを守ったりして、いま思えば、それは「病気」がボクを守ってくれたんだと思います。そのおかげで学校に行かないですむ。

時保護所に入れられて、2カ月ほどいました。なってすぐでしたが、5月には明石の児童相談所の一なってすぐでしたが、5月には明石の児童相談所の一でも、その代わり、精神科医や児童相談所に連れて

う感じだったんですか? 山下 学校に行かなくなった当初、親御さんはどうい

童相談所にも行ったんでしょうね。 だから医者や児 だかわからなかったんだと思います。だから医者や児も痛くなるし、チックも出る。ほんとうに、何がなんり 純粋に心配してましたね。熱が出るし、おなか

山下 無理に学校に連れていこうとは?

**児島** それはなかったです。「病気」でしたからね。

両親にはおっしゃっていたんですか? 山田 ゆでたまごを無理に食べさせられたことは、ご

**児島** どうでしょう。言った記憶はないです。

ごされていたんですか?
・児童相談所にいた2カ月は、どういうふうに過

児島 母親と離れるというのは、すごくつらく、さび しいことでしたけど、自分の意志では帰れないですし、 したけど、ボクは開きなおって、思いつくかぎり、お もしろいことをやろうと思ってました。いちばん大き もしろいことをやろうと思ってました。 がある子もいま

山下 プールですか?

くれたんです。それで、とうとう砂をぜんぶかき出し とうとう職員のほうが根負けして、いっしょにやって がめられました。だけど、懲りずに毎晩やってたら、 たら、砂がたいへんなことになっていて、職員に見と をかき出したんですが、一晩では無理でね。朝になっ です。夜、みんなが寝てから、友だちといっしょに砂 ぶ出して、上からすべれるプールにしたいと思ったん れても抜けてしまう。 水を入れてみた。 そう。砂場にすべ それで、 でも、 り台があって、その砂をぜん スキマがあって、 コンクリを買ってきて 水を入

たので、実現できませんでした(笑)。の上に家をつくって住みたいと思って計画していたんの上に家をつくって住みたいと思って計画していたん補修して、とうとうプールにした。それで、次には木

されて、大阪の児童院に入所することになったんです。されて、大阪の児童院に入所することになったんです。なごく元気で、おもしろいことをいっぱいやるけど、学校には行かない。それで、その後は岡山の情短ど、学校には行かない。それで、その後は岡山の情短ど、学校には行かない。それで、明五の児童相談所を引いう感じだったので、当時、明石の児童相談所

てこられたのかは知らされていたんでしょうか。 山下 児童相談所に2カ月いたとき、なぜここに連れ

てくれて、「いまから行くよ」と言われて、どこに行由は、親にもまったく聞いてませんでした。レゴを買っかく、どう時間をつぶすかばかりを考えてました。理児島まったくわからなかったですね。だから、とに

光景は、いまでもハッキリ覚えています。くのかもわからないまま、連れていかれました。その

山下 そのことは、その後、親御さんと話したことは?

**児島** 後になっていたんでしょうね。 りしても、仕方なかったんだと思います。学校に行かない=病気という構図ができあがっていて、親も、どこかに入れて治療してもらわないといいて、親も、どこかに入れて治療してもらわないといいて、親も、どこかに入れて治療してもらわないといいて、親も、どこかに入れて治療してもらわないといいて、親も、

があったでしょうね。 山田 しかし親にとっても、子どもを手放すのは葛藤

**児島** そうだと思います。学校に行かないという行為 児島 そうだと思います。学校に行かないという行為 で言ってましたでしょう。親 だけじゃなくて、児童院のほうも手探りだったと思い ます。竹渕先生も「わけのわからん子たちだった」っ ます。竹渕先生も「わけのわからん子たちだった」っ

### 児童院での生活

山下 児童院では、いじめもあったとおっしゃっていましたが、具体的にどんないじめだったか、聞かせて

児島 たとえば寝るとき、いじめっ子たちをうちわで 場がないといけなかったんです。腕がすごく疲れるん ですけど、手が止まったらバーンとやられる。あとは、 布団にくるまれて、2段ベッドの上から飛び降りられ たりもしました。覚えてないことも多いですけど、と たりもしました。覚えてないことも多いですけど、と

楽しかったんでしょう。
のませんでした。彼らにとってもヒマつぶしというか、明ませんでした。彼らにとってもヒマつぶしというか、はまはんでした。彼らにとってもヒマつぶしというか、らませんでした。彼らにとってもヒマつぶしというか、その入った窓の外の夕陽に向かって手を合わせて、「よ子の入ったんでしょう。

てれで、まさしく窮鼠猫を噛むといった感じで、あ

なって、 そうしたら向こうから手をさしのべてきて、 童院の職員になりたいと言っていたそうです。 したけど、すっかり自分の居場所になって、将来は児 童院のルールはあって、守らないとバシッと怒られま して、 からは、逆に、彼らに時間のおもしろい使い方を提供 まったんです。 も仲間に入れてやる」と。そこで、やっといじめが止 に、いじめっ子の顔に、わざと何度もボールを当てて、 るとき反撃に出たんです。サッカーをしているとき いつのまにか5年生のボクがリーダーみたいに 楽しくてしかたなくなりました。もちろん児 そのあたりは、 お話しましたね。それ 「おまえ

山下 どんな生活だったんでしょう?

なされる授業はなかったんです。国語・算数・理科・にうことになっているから、情緒に支障を与えるとみいうことになっているから、情緒に支障を与えるとみいうことになっているから、情緒に支障を与えるとみから朝ご飯を食べて、午前中は明治小学校より短くて、特別ですね。それと、おりは、朝台時半に起きて、掃除ですね。それ

情緒に障害があるから(笑)。 情緒に障害があるから(笑)。

山下 体験学習が多かったというのは、後につながっ

児島 後から考えると、まさにそうなんですね。地球児島 後から考えると、まさにそうなんでするのではなくて、棟梁のもとで仕事しながら学ぶわけですよね。そういうことができたらいいなと思ったんです。何かを勉強してから、それを使うというのではなくて、何かかをしたいから、それを使うという順番。そこでボクかをしたいから、それを学ぶという順番。そこでボクかをしたいから、それを学ぶという順番。そこでボクかをしたいから、それを学ぶという順番。そこでボクがした仕事は、有名無名を問わず、いろんな人に会っがした仕事は、有名無名を問わず、いろんな人に会っがした仕事は、有名無名を問わず、いろんな人に会っがした仕事は、有名無名を問わず、いろんな人に会った。

験事業「トライやる・ウィーク」になっています。人に書き込んでもらって、それを情報源にしてリストをつくる。そのリストのなかから、自分がやってみたい職業の人にコンタクトをとって、実際に行くのは本人、行ってからやりとりするのも本人です。そのプロ人、行ってからやりとりするのも本人です。そのプロイラムは、その後、兵庫県が採り入れて、県の職場体グラムは、その後、兵庫県が採り入れて、県の職場体が、アンケートをとることでした。400人くらいのて、アンケートをとることでした。400人くらいので、アンケートをとることでした。

フリースクールと似ていたのかもしれないですね。 はちがう集団だったようですが、そういう意味でも、 はちがう集団だったようですが、そういう意味でも、 はちがう集団だったようですね。その発想の原点が児童 はちがら 集団だったようですね。その発想の原点が児童 はちがら 集団だったようですが、そういう意味でも、 ダイレク山下 学校で知識を蓄積するのではなくて、ダイレク

リースクールのことを、当時はぜんぜん知っておられ児島 言われてみれば、そうですね。竹渕先生は、フ

なかったですけどね。たぶん、人間の本質的なところなかったですけどね。たぶん、人間の本質的なところに何かがある。そのあたりで、竹渕先生たちは、ころに何かがある。そのあたりで、竹渕先生たちは、ころに何かがある。そのあたりで、竹渕先生たちは、いろいろな試行錯誤をしていたんだと思います。それに対して、心理屋は専門職として子どもを扱っていたがら、現場とはギャップがあったようです。

山下 竹渕先生からすると、頭で分析して子どもを見 るのではなく、あくまで「わけのわからん子たち」だっ

家にはわからない。 児島 そう、肌感覚、現場感覚です。その感覚が専門

#### 中学校以降は

か? 山下 児童院を退所後、中学校はどうされたんです

年度から実施している職場体験事業。習させようとする趣旨から、県内の中学2年生を対象として1998半1 トライやる・ウィーク:兵庫県が、中学生に働く場を見せて学

児島 て、 ました。中学校はお弁当だったんで、自分の好きなも それよりも消える魔球とか必殺技を生みだそうと言っ 目的だったんですが、だんだんバカバカしくなってね。 思います。 を買ってもらっていたので、 辞めて、自分で卓球部をつくったんです。 卓球をやらせてもらえなくてね。おもしろくないので のだけを食べられましたし (笑)。中学校では卓球部 に入ったんですが、素振りとしごきばかりで、 みんな毎日、 自宅を部室にしました。20人くらいは来ていたと それがウソのように、 最初は、第1卓球部と試合して勝つことが 真剣に技に磨きをかけてやってまし 「第2卓球部」を名乗っ 初日からふつうに通って 家に卓球台

学校は行かなくなるようなことはなかったんですか?山下 遊びをつくりだすことは一貫していますね。中

きに出会ったのが、バンジョーという楽器でした。学児島 ずっと行ってました。それで、中学3年生のと

をのことが影響しているのかもしれません。 とのことが影響しているのかもしれません。 とのことが影響しているのかもしれません。 そのことが影響していたので、それを取り寄せて、でも、よりないったので、ボクもブルーグラスをやってカルーグラスをやっていたので、ボクもブルーグラスをやってました。そのことが影響しているのかもしれません。

山下 中卒後はどうされたんですか?

**児島** 公立の工業高校の電気科に行きました。だけど、 自分で望んだわけではなくて、ブルーグラスのバンドを けちゃったんです。ボクの意見はどこにもありません でした。ボクは数学が大の苦手でしたから、学校の科 目には何一つ興味がなくて、先生が偏差値で振り分 自かで望んだわけではなくて、先生が偏差値で振り分

伝承音楽をベースにして発展させたアコースティック音楽のジャンル。クバンド。 ブルーグラスは、アメリカに入植したスコッチ・アイリッシュの\*2 ザ・ナターシャー・セブン :1971年に結成された日本のフォー

でも、大学には行ってみたくなって、電気通信大学の推薦入学だったら可能性があると言われて、受けてみました。倍率が20倍以上で、とても受かりそうになかったんですが、面接で話が盛り上がってね。ふつうは5~6分くらいのところ30分近く話し込んで、合格しちゃったんです。それで入った学科が、情報工学科。これまた、ぜんぜん興味がない(笑)。それで、毎日パチンコ屋に行って、腕はセミプロになって、電気通信大学を稼いでました。

### アメリカで出社拒否

いまとまったくちがって、建物もボロボロで汚れてい明日には帰るのにね(笑)。当時のリトルトーキョーは、ホームステイ先の人が「日本食を食べてないだろう」と言って、リトルトーキョーに連れていってくれたんです。て、リトルトーキョーに連れていってくれたんです。で、リトルトーキョーに連れていってくれたんです。

ろうと決心したんです。とこうできる」と思って、アメリカでレストランをやとこうできる」と思って、アメリカでレストランをやきいうえにおいしくない。そこで、「ボクだったら、もっました。入ったレストランも薄暗くて、料理も値段が

18時間くらい必死に働いて、シェフになりました。メリカに行きました。その1年間の数カ月はファースメリカに行きました。その1年間の数カ月はファーストラード店で働いて、いったん帰国して大学を卒業した。本格的にレストランの道に進みました。ロッキー青木という人が経営していた紅花というレストランに入ったんですが、とっても厳しいところで、1日ンに入ったんですが、とっても厳しいところで、1日ンに入ったが、

かく苦しくて、とうとう辞めてしまいました。なうもできなかった。理由もまったくわからず、とにが垂れ流しになっている感じがして、自分でもどうしになってしまったんです。胸に穴が空いて、エネルギーのレストランを持つという直前になって、出社拒否分のレストランを持つという直前になって、出社拒否分のレストランを持つという直前になって、出社拒否分のレストランを持つという直

手をあげるのが見える。誰の手だろうと思っていたんんですね。毎晩、夢で「ハイ、ハイ」と子どもたちがんですね。毎晩、夢に児童院の子どもたちの手が出てきた

児島

家を探してまわ

0

ていたんですが、

そのころ、

無性に子どもと遊びたくなったんです。そこで思いつ

いたのが紙芝居でした。紙芝居も児童院でやっていた

気づきました。一度、

#### 日本語学校から リースクー ^

あなたに来てほしい」と連絡があったんです。「でも、 ボクは何の免許もないんですよ」と言ったら、 日本語学校の教員になって、丸1年、 トを受けてライセンスをとればいいから」と言うので、 いの日本語学校の校長から「先生の空きができたので、 て帰国したんですが、帰国してしばらくして、知り合 そういうこともあって、 2カ月くらい各地をまわっ 勤めました。

行っちゃうんです。宿題も出さないし、テストもしな もが イキと何かをなしているかどうか、でした。そうした い。ボクがポイントを置いていたのは、子どもがイキ この1年はおもしろかったですね。たとえば、子ど 「外に行きたい」と言ったら、授業中でも何でも

て、 のにいいなと思ったんです。それで、紙芝居をつくっ のを覚えていて、子どもとコミュニケーションをとる アメリカ各地(46州)をまわりました。

出 どんな紙芝居だったんですか

児島 で描いたり、 の伝統的な紙芝居です。それを英語にして、絵は自分 「聞き耳ずきん」とか「一寸法師」とか、日本 ルームメイトが描いてくれました。

まわっている最中、ナイアガラの滝のところでイミグ ンの人が荷物のなかにあった紙芝居を見つけて「これ そこで強制送還になるところですが、イミグレーショ レーション(出入国管理)に捕まってしまったんです。 ところが、ビザがとっくに切れていたので、各地を

や決まりとボクのやり方が合わないから問題になって えだったんです。でも、 いる。だったら、その決まりから自分たちでつくれば しんでやっている。問題なのはシステムで、システム た。ボクと子どものあいだには何の問題もないし、楽 いと思ったんです。 自然に日本語を学ぶだろうというのが、ボクの考 それが問題になってしまっ

がボクが求めていることだ」と思ったんです。その後、

1982)と出会いました。その本を読んで、

「これ

何カ所か実際に見学に行って、これはまちがいないと

た本、『教育に強制はいらない』(大沼安史/一光社

す。そこでスタッフになり、フリースクールを紹介し ス(駆け込み寺的な場)に行ったことがあったんで ケン・ジョセフという牧師が開いているアガペハウ

学び場をやろう」と言いました。そうしたら、 うと思って、なぜ辞めるのかをていねいに話して、「将 部屋から出さなかったんです。ボクは納得してもらお されて、子どもたちはバリケードをつくって、ボクを てました。朝礼で、校長からボクが辞めることを聞か たちも納得して、 でも、辞めるときは、子どもたちはショックを受け 家を1軒借りて、そこで自分たちで、いっしょに 出してくれました。 子ども

屮

アメリカでまわったのは、

どんなところだった

思いました。

屮 ですかっ 日 本語学校を解雇されたあとは、 どうされたん

> 教と、 児島 えを柱にしている学校で、 A・S・ニールと、カール・ロジャー おもしろかったです。 · ズッの考 クロ

んですか? たとえば、プレイマウンテインプレイスは、

\* 3 と言われるサマーヒルスクールの創設者。 1973):イギリスの新教育運動の教育家、フリースクールの先駆け A・S・コール (Alexander Sutherland Neill / 1 8 8 3

1987):アメリカの臨床心理学者。来談者中心療法の創始者。 カール・ロジャーズ (Carl Ransom Rogers / 190

思って、以後、毎年、ツアーをしていました。説明できないので、これはいっしょに行くしかないと20校ぐらいまわりました。フリースクールは言葉ではフリースクールツアーをやって、キャンピングカーでフリースクールも行きましたし、85年には、全米ンララ・スクー\*\*5

近ったんでしょう。
山下 アメリカをまわられて、その後、日本でフリー

州にある私立学校。 \* 5 仲間だと思って、ぜひ会いたいと林先生に手紙を書い ング活動も行なっている。 たんです。そうしたら「1時間くらいだったら会って スクールという単語が目に入ってきたんです。これは みになってるのを見つけて、パッと開いたら、 島 『教育亡国』(筑摩書房1983)という本が平積 クロンララ・スクール 1984年に帰国した際、 1969年設立。 (Clonlara School):アメリカ、ミシガン 1979年からホームスクーリ 本屋で林竹 フリー 三\*

学者。東北大教育学部教授を経て、宮城教育大学学長を務めた。 林竹二(はやし・たけじ/1906―1985):日本の教育哲

あるもの』(径書房1984)の中に書かれてます。た。そのときのエピソードは林先生が『教育の根底に実際に会ったら、8時間ぐらい話し込んでしまいまし話してもいい」というので、会いに行ったんですが、

です。 に たんです。それを話したら、 ルをしたほうがいいのか、ボクのなかで迷い たほうがいいのか、 す。その響きで、これはフリースクールだと思って、 ので、学校の先生をしたうえでフリースクー ではアメリカでフリースクールをするつもりだったん 1985年10月から地球学校を始めたんです。 林先生と出会ったことは大きかったですね。それま 「児島くん、 でも、それまで日本語教師の経験しかなかった 君も教師になるのかね」と言ったんで それともいきなりフリースクー 林先生は独り言のよう ルをやっ があっ

## 地元の反対のなかで

山下地元の、兵庫県高砂市で始められたんですよね。

児島 そうです。これは大変でした。当時は、学校

は、ボクの親まで反対していたことです。
け、何かワケありで、まっとうじゃないから、学校にり、何かワケありで、まっとうじゃないから、学校に行ってないんだとみられてました。ですから、地元は猛反対で、反対署名まで起きました。当然、全員反対で、賛成している人なんて誰もいない。きつかったので、賛成している人なんて誰もいない。きつかったのは、ボクの親まで反対していたことです。

ティングをするところがあればいいんだと思った。そ えたんです。そうか、地域を学校にして、 スコート、いろんなものが、ボクにはぜんぶ学校に見 家に向かって自転車をこいでいたら、図書館や、テニ ジがありますよね。でも、 もらおうと思っていたんです。 るお金もなかったので、実家の質屋の建物を使わせて フリー で、 の建物があって、運動場もあって、というイメー 親はダメだという。 実家の建物を借りられればと思ったわけです。 スクールを始めようと思ったとき、家を借り あるとき、 ふつう、学校といえば、 加古川の土手を あとはミー

ら、そのための学校もあるし、資格もある。でも、フ母親が言うには、たとえば医者や学校の先生だった

きずに、 カにも研修制度なんてなかったし、どうすることもで けです。これには返す言葉がなかったですね。 することはできないし、 13 のは人間で、もし何かあれば、お金で弁償 思いだけでは太刀打ちできない。 スクールにはそれがない。 1カ月ほどは悶々としていました。 取り返しがつかないというわ しかも、 しかし、 対象にしてい して解決 自分の アメリ

ができました。
です。それで、家を使えるようになって、始めることないけど、反対はしないでおこう」と言ってくれたん親が、「あれだけ熱心にやってるんだから、賛成はし親が、「あれだけ熱心にやってるんだから、賛成はし

の声は、 すね。でも、そういう教育は、山や川がある自然のな 新聞によく出ていて、スタッフをやりたいという人や、 かでやってもらったほうがいい」という。 口もきいてくれない。 生徒はたくさん集まるんだけど、地域の人は猛反対で ただ、地域の反対は根強かったです。 ろ アイディアが湧いてきたんです。 どうやっても変わらないなかで、 町内会長は「すばらしい教育で 当時、 あるとき、 ふと、 地元の反対 ボクは おも

でおいて、実際は始めたんです。これは、我ながらすのいさつしてくれるようになりました。でも、そう言っあいさつしてくれるようになりました。でも、そう言っら、町の人たちは手のひらを返すようにニコニコして、クが「フリースクールはやめます」と町の人に言ったクが「フリースクールはやめます」と町の人に言った

当然ですが、子どもたちはウロウロしてますし、町会長は「児島さん、フリースクールはやめられたん内会長は「児島さん、フリースクールはやめられたんはボクの秘書です。フリースクール研究所をやっているんで、その秘書です。何か問題があったら言ってくるんで、その秘書です。何か問題があったら言ってくるんで、その秘書です。何か問題があったら言ってく

いた子たちは、やさしい、おとなしい子たちでした。いた子たちは、やさしい、地元を侵略されると思っていまやさしくて、ものすごくいのちに敏感な子たちでした。悪いことをするなんて、あり得ない。まあ、そのた。悪いことをするなんて、あり得ない。まあ、そのた。悪いことをするなんて、あり得ない。まあ、そのは暴走族の親分とかも来てましたけど、最初に来ていた子たちは、やさしい、おとなしい子たちでした。

山下まず、実際に出会わせてしまう戦法だった。

年くらいかかりました。 理解されていったのは、時間をかけて少しずつで、10いてきたんです。自分でも不思議でした。それでも、いてきたんです。自分でも不思議でした。それでも、かと湧

### **地球がぜんぶ学校**

山下 地球学校という名前はどこから?

児島 林竹二先生が「グローバルスクール」という言葉を使っていたんです。そこから地球学校としました。 業え方としては、地球がぜんぶ学校だということです。 そこに関わる人は全員が先生だし、子ども自身も誰か の先生になる。いまも、その考え自体は変わってませ ん。何かをさせられるのではなく、自分で選択するの が人生だということです。

山下 地球学校に集まってきたのは、どのあたりの地

域からだったんでしょう?

だけで、 を

全国各地から集まってました。在籍者数は平

寄宿制だったこともあって、

地元の子はふたり

均して10

12人くらいでしたね。

入学するのも卒業

地球学校の前にて(1989 年) 肩車をしている男性が若かりしころの児島一裕さん

も、ぜんぶ子ども本人が自分で決めることでしたが、も、ぜんぶ子ども本人が自分で決めることでしたいと言ってますけど、お金を払えますか」と確認していと言ってますけど、お金を払えますか」と確認していと言ってますけど、お金を払えますか」と確認していました。

が払えない場合などもあったんでしょうか?山下。先に子どもと話し合っているわけですね。お金

児島 親がヤクザだとか、お母さんが薬をやってると児島 親がヤクザだとか、お母さんが薬をやってるとしたいうことで受けいれられたこともありまて、OKだということで受けいれられたこともありました。

山下 寄宿制にしたのは、どういう理由からだったん

か、

そういうことになってしまってますよね。

そうで

決まりだから、校則だから、

先生が言うからと

れたことをする場合でも、

それを自分が選んでいるか

かどうか、だけですね。軸足を自分に置く。

人に言わ

まのボクが思うのは、シンプルに、自分を生きている

当時、どう思っていたかはわかりませんが、

11

メリカではフリースクール連合があって連携してい

あれはあのやり方でよかったと思います。ア そうしたら、あらゆる団体のスタッフがやっ

てきて、 んです。

どうか。既存の学校だと、まわりがそうしているから

でも、

うど10年でやめました。

- 507 -

員を大幅にオーバーするくらい、人が集まってました。 途中からは子どもも参加するようになって、宿舎の定 て、ああいうふうにならないかなと思っていました。

最初から10年でやめると決めていたので、

児島

験や、

ど、

さまざまなことが影響していると思いますが、既

明確な対抗軸みたいなものはあっ

でも、スタッフどうしだったら集まりやすいと思った

ね。それはもったいないなと思って、

団体間では無理

が強かったせいか、団体間に往き来がなかったんです

なフリースクールができてきて、でも、

おたがい個性

アメリカでの経験、大沼安史さんの本の影響な

存の学校に対して、

たんでしょうか

屮

地球学校の方針には、

児島さんの児童院での経

児島

始めたのは1991年でしたが、

当時、

13

ろ

その後は、どうでしょうね……。

ろうなとは思います。

だけど、

社会に出たら、

いろんな人と出会うから

あったんでしょうか?

フ交流会もされていましたね。

これは何かきっ

かけが

フリースクールスタッ

とを大事にして、自分の意志をしっかり持っているだ そこではやっていけなかった。だから、自分であるこ

中

なるほど。児島さんは、

めないといけなかったし、

自分の言葉で話さないとあ

はなくて、

あくまで軸足が自分にあるかどうか。

意識はしてなかったけど、

それは児童院の影響

屮

地球学校を巣立った人たちのその後は

卒業生のその後は

- 506 -

かも

屮

しれないですね。

生活ぐるみであることが大事だったと

そうです

ね。後から知ったところでは、

ニール

ているので、

ボクのほうからコンタクトはとらないことにし

わからない人も多いですが、

毎年、

同窓

親といると、その価値観の影響を受けるし、 も親と離すことが大事だと言ってますよね。子どもは、

プレッシャーを受けてしまう。

でも、それは後づけな

いろんな

あったんだと思います。 自分たちでやっていくという共同体的な意識が

年齢層は

屮

児島 学生でした。

5歳(

23歳までいましたが、

だいたいは小

中

屮

地球学校で学んだことがベースになっている感

じはありますかっ

たり。

あと、

家業を継いでいる人は多いですね。

ムをしていたり、飲食店をしていたり、

海外留学をし

北海道で農業をしていたり、

ると思います。たとえば、

環境問題をやっていたり、 コンピュータープログラ

話を聞くと、それぞれ自分のやりたいことをやってい 会をやってくれたり、ときどき訪ねてくれる人もいて、

児島

ひとつ言えるのは、地球学校では、

すべてを自分で決

のも確認はしてないし、ボクからはわかりませんが、

それは、どうでしょうね。何を学んだかという

トワークになりましたね。くーりんぐ」という関西のフリースクール団体のネッくーりんぐ」という関西のフリースクール団体のネッ山下。その後、その交流会のつながりは「ふりー!す

ているだけで、ぜんぜんタッチしていません。児島をうみたいですね。でも、ボクは参加名簿に載っ

# 地球学校をやめたのは

ね。これは、どういう経緯だったんでしょう。 山下 地球学校も1999年にやめられたんですよ

児島 これは、不思議としか言いようがないんです。 現島 これは、不思議としか言いようがないんです。 荘厳な声で、「あなたは何をしに、そちらへ行かれた な地球学校をやることが天命だと思っていたから、無 はしていたんですが、1週間くらいして、また起きが けに、もっと荘厳な声で同じことが聞こえてくる。だ

です。です。

苦しかったです。

苦しかったです。

おは学校に何も問題はなくて、経済的にもうまく運
がきない。日増しに、その思いがあがってくる。
にとができない。日増しに、その思いがあがってくる。
がうはウソはつけないので、スタッフに正直に話した
がうはウソはつけないので、スタッフに正直に話した
がうはウソはつけないといけないと思うと、ほんとうに
ともの前で言わないといけないと思うと、ほんとうに

ちょっと小さくなったと感じていたんだと思います。れたと思います。いま思うと、地球学校という服が、明できない。子どもや周囲からは、自分勝手と思わがきない。子どもや周囲からは、自分勝手と思わいたと思います。

すね。だった。でも、それも表現できないまま、やめたんでだった。でも、それも表現できないまま、やめたんで

その後は、森真由美(現在は神宮真由美)さんといっその後は、森真由美(現在は神宮真由美)さんといったと、地球学校はスタートラインだったんですね。いまの活動は、ボクが死ぬまで続くと思います。林竹二まの活動は、ボクが死ぬまで続くと思います。林竹二まできなかったと思います。やめるのは、すごい勇気はできなかったと思います。やめるのは、すごい勇気のいることだったけど、必要なことだったんだと思いある。

# 自分のポテンシャルを

山下 どのような活動をされているんでしょう?

**児島** 抽象的に言えば、「なんとか地球がよくならな

が丘トモエ幼稚園出身。森眞由美名での著作多数

神宮眞由美(じんぐう・まゆみ):東京都世田谷区生まれ。

自由

まる日生にしま也はことで、なず、是ない、、、この、どうにかしたいと思う。そこで何ができるか。の地球の危機的な状況は、ひとりではどうにもならない。でいかな」と思って活動しているということです。いま

界で、6が地球です。 無限の可能性を実現できる。それをジャマしているの ていますが、Alignment は、整列とか調整という意味 きると言っていました。 英語では Re-alignmentと言っ 持っているポテンシャルは地球を塗り替えることがで 3つを柱に世界を拡げていました。森さんは、人間が 環境とつながって、木や石、 つながっていくんです。それには順番があって、 あらゆる面が正しくまわり始める。その流れが世界と よって解けていく。仕事などの活動も、経済面でも、 てくると、 は、実は頭、 ですね。自分自身をほんとうに整えることができたら、 ートナーや親子との関係も、自分を調整することに 森眞由美さんは地球大学で、教育、 2がパートナー、 すばらしい循環が起きてくる。たとえば、 思考なんです。自分の中心と対話ができ そこまで行くと、あらゆる自然 3が家族、4が活動、5が世 植物や微生物ともコミュ 農業、アートの 1 が

を去ってしまっている。
いても、ほとんどの人はそれを使わないまま、この世解できていないだけなんです。ポテンシャルを持って解できていないだけなんです。ポテンシャルを持っていることなんですが、我々が理

児島 とです。それは教育というくくりではないですね。子 くりです。理解されにくいかもしれませんが、宗教で どもたち、 環境が整えば、ジャマさえしなければ、自分で育って 分のシステムを持っているでしょう。それが発芽する はないんですね。あちこちでフォーラムやセミナーや いく。ボクらが、 すべてがある。たとえばタンポポは、種として自 -クショップなどを開いてますが、それも向こうか ちょうど風が吹くようにやってくるときが、 ヘッキリい 人間が持っているものをヒラクきっかけづ いまやっていることは、そういうこ って、 そう感じます。 自分のな W W

ラティックスクールもあるんです。タイミングなんです。その活動全体のなかに、デモク

したところもあるのでしょうか? の多くのフリースクールの流れと、児島さんとは分岐はあるように思えます。そういう意味で言うと、ほかはあるように思えます。そういう意味で言うと、ほかはあるように思えます。

に、自分を生きるということですね。 に寄せて言うなら、フリーは自分を生きるという意味 に寄せて言うなら、フリーは自分を生きるという意味 に寄せて言うなら、フリーは自分を生きるという意味 にあせて言うなら、フリーは自分を生きるという意味

を国に認めさせたいという法案でもあったんですが、2015年から2016年にかけて、不登校やフリー2の15年から2016年にかけて、不登校やフリーのなどでの学びになりました。当初は、フリースクールなどでの学び

それらの動きは、ご存じでしたでしょうか?

**児島** 聞いたことはありますが、くわしくはわかりま

ていたのでしょうね。 山田 児島さん自身の、いまの切実な関心からは外れ

いくんだろうと思います。分たちのところから、それぞれが何らかの変革をして分。のところから、それぞれが何らかの変革をしていい。

## 誤ったイメージをフリースクールの

ルを日本に広めることを考えていて、教育の多様性をれていたんです。当時、ボクは、とにかくフリースクーいたんですが、最後の手紙は奥様が代筆されていて、いたんですが、最後の手紙は奥様が代筆されていて、本竹二先生とは、亡くなるまで手紙でやりとりして

「慎重に」とおっしゃった意味に気づいたんです。なことに気づいたんです。そのとき初めて、林先生が訴えて活動していました。でも、あるとき、たいへん

していました。 していました。 していました。 していました。 に可か問題があって、それを修復する場としてのフリースクールというものでした。活動を始めて何年もいってから、そういうイメージが蔓延していることに経ってから、そういうイメージが蔓延していることになってから、そういうイメージが蔓延していることにでした。ですからボクは、心のなかで林先生にお詫びでした。ですからボクは、心のなかで林先生にお詫びでした。ですからボクは、心のなかで林先生にお詫びでした。

意識をきちんと持たないと成立しません。何年か前かが出てきました。デモクラティックスクールは、親がンスとして、デモクラティックスクールという概念ところが、ここ最近になって、それを挽回するチャ

フも、ともに1票のミーティングによって決められる。学び、カリキュラムやテストはなく、運営や予算まで、子どももスタッ学び、カリキュラムやテストはなく、運営や予算まで、子どももスタックも、ともに1票のミーティックスクール:アメリカのサドベリーバレースクー

できて、ネットワークを組み始めています。のおツポツとできはじめて、いまは日本全国で十数校

デモクラティックスクールに関わっていて感じるのは、親の意識が変わってきたということです。親が教は、親の意識が変わってきたということです。親が教育を選ぶようになった。学校でダメージを受けてからではなくて、その手前から学校を調べて、親が選ぶようになっています。林先生は、「親こそが教育の権利を持っているのであって、国が持っているわけではない。親が自分の意志で教育をつくっていかないと、この国に教育はない」と言っておられました。政治も同じですね。民衆の力、民衆が目覚めて、変えていく。そうでないと、取り込まれてしまう。いまになって、ようやく林先生の言葉にきちんと応えることができるようやく林先生の言葉にきちんと応えることができると思っています。

年に親の会をつくったときも、フリースクールは不登さたころから、あった意見ですね。私たちが1991で、最初から自分たちで新しい教育の場をつくろうと山田 子どもが学校でひどい目にあってからではなく山田

りますね。校児の受け皿ではないと言われました。それは一理あ

私は、林竹二さんとは不幸な出会いをしているんでも、80年代の兵庫県は解放教育派の運動が活発で、そす。80年代の兵庫県は解放教育派の運動が活発で、そす。80年代の兵庫県は解放教育派の運動が活発で、そす。80年代の兵庫県は解放教育派の運動が活発で、それはちがうだろうと思っていたんです。私

**児島** それはないですね。ただ、一度だけ集会に呼ば

山田 解放教育の関係者は、学校のなかで理想の教育 山田 解放教育の関係者は、学校のなかで理想の教育 立と思っていたんです。林さんとは、そこの部分でし の学校教育を少しでも変える力として考えておられた のかもしれないですね。しかし、児島さんは、そうい のかもしれないですね。しかし、児島さんは、そうい のかもしれないですね。しかし、別島さんは、そうい のかもしれないですね。しかし、別島さんは、そうい のかもしれないですね。

## 自分に立つしかない

しょうか。ひとつの納得できるかたちになっているということでひとつの納得できるかたちになっているということでひとつの対けできるかたちになっているということでひとつの納得できるかだけである。

よって生み出していくものです。かが教祖的になるのではなくて、みんなの話し合いにかにするのですね。デモクラティックスクールは、誰

「サドベリースクール」と名乗ってますよね?山下でも、ほとんどのデモクラティックスクールは、

自分にはどうにもできない」と言ってました。ンバーグにも聞いてみたけど、「勝手に名乗られていても、ドベリーバレースクール創始者のひとり、ダニエル・グリードへリーバレースクール創始者のひとり、ダニエル・グリー

ひとつの名前をつけたら、それに縛られるでしょう。

ルに行ってみたり、あるいは映像を見たりして。るのかもしれません。実際にサドベリーバレースクーでも、サドベリーを名乗りたがるのは、あこがれがあ

山下 以前、ある親の会の方から、「私は学校信仰の山下 以前、おりにはいた。

えしていくように思います。 学べたらいいけど、学ばない人は、同じことをくりか立つしかない。それもレッスンだと思います。それをいずれ答えは出てしまいますからね。結局は、自分にいずれ答えは出てしまいますからね。 すがっていても、

山下そのあたりに、危うさもあるように思います。

みんな人間だから、どうしても危うさはありま

すね。 学せず、自宅学習という方法をとっている。著書に『見てる、知ってる、\*9 中島芭旺(なかしま・ばお):2005年生まれ。小学校へは通 考えてる』(サンマーク出版2016)。 と思っています。 こっちから塗るのではないと言われてましたが、 クも本で読んだだけですが、言葉がすごく響くんです 育とは言わない、混ぜられたくないと言ってます。ボ 歳で本を書いて、 た中島芭旺くんなんかも、 ボクのまわりにもたくさんいます。最近、 いう本質的な教育は、 います。林先生も、educationは引き出すという意味で、 い宣言をしてます。彼は、 そういう意味では、 でも、 依存しない いま11歳ですが、彼は学校に行かな これからどんどん出てくるんだ 意識が変わってきていると思 人もどんどん出てきていて、 人に教えてもらうことを教 すごいと思ってます。 話題になっ そう 10

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #23 児島一裕さん

インタビュー日時:2017年5月21日

記事公開日:2017年8月29日場所:飲食店(大阪府堺市)間き手:山下耕平、山田潤写真撮影・記事編集:山下耕平

- 515 - - - 514 -

### #24 中沢たえ子さん

### 研究を始めたころ 児童精神医学の

しょうか。 どうして児童精神医学を学ぼうと思われたの

どもを診るようになったということでしょうか が人間をきちんと見ていない、 とは思ってはいませんでした。 う思いはありました。 精神医学を学び始めたときは、 出会いとつながりのなかで、 そこを見なければとい ただ、従来の精神医学 とくに子どもを

そのなかで不登校の子どもと出会ったのでし

中沢 たく話題になっていませんでした。 そのころ まだ登校拒否なんてことは、 まっ

報告の反響はい

かがでしたか

るので、 第一例を報告しました。それをきっかけに、私は、 どもにどんどんのめり込んでいったんですね。 ども、「困ったら僕が何とか応援するよ」っておっし と言われて。 先生が、「何でもいいから九州の学会へ出してみろよ」 K ちゃんが、 が、子どもをよく見て書いてありました。その論文と 閉症について書いた論文を勧められて読んだのです とで言うと、 まだ、そういう相談もない時代でした。そのころのこ 思い返せば、1例だけあったように思いますが 1952年の日本精神神経学会で、 私はぜんぜん自信がなかったんですけれ マッチしていたんですね。それで、 当時、ずっと診ていたKちゃんのことが お世話になっていた村松常雄先生から (精神科医/1894 -1981)が自 村松

### 



(なかざわ・たえこ) 児童精神科医。 1926年、 兵庫県神戸市生まれ。 子。 戦争中に東京女子医学専門学校 (現在の東京女子医科大学) に入学し、 1950年より、 名古屋大学医学部精神医学教室にて児童精神医学を専攻。 最先端を知りたい と思い、 アメリカ行きを決心。 1955年から3年間、 マサチューセッツ州ボストンにて、 当時アメリカで主流だった精神分析学および幼児の play therapy を修める。 帰国後、 国立 精神衛生研究所 (現在の国立精神・神経医療研究センター) に勤務し、1960年に論文 「学 校恐怖症の研究」 を発表。 この論文は注目を集め、 今なお不登校の初期の論文として引用 されることが多い。 結婚後の 1962 年、 再度渡米し、 ロサンゼルスで障害児保育を学ぶ。 帰国後は児童精神科のクリニックを開き、 その草分けとなる。 2016 年まで院長を務める。 著書に『子どもの心の臨床 心の問題の発生予防のために』(岩崎学術出版社 1992)、『障 害児の心の臨床 知的・情緒的障害児とその親の心』 (岩崎学術出版社 2001) など。 翻 訳書にアンナ・フロイト 『家庭なき幼児たち:ハムステッド保育所報告:1939-1945 上・ 下』 (岩崎学術出版社 1982) など多数。

インタビュー日時:2017年7月7日

聞き手:奥地圭子、朝倉景樹

場所:中沢たえ子さんご自宅(神奈川県藤沢市)

写真撮影:朝倉景樹

日本の

児童精神医学者の草分け

(むらまつ・つねお

9 0

1981):精神科医。

総称。1946年にウィリアム・フルブライト上院議員(当時)によっ

の研究者などを対象とした国際交換プログラム、および奨兴\*2 フルブライト・プログラム(Fulbright Program)は、

および奨学金制度の

るなら、

てました。

アメリカ

は「自分の子どもが、自分が経験しなかったことをす た娘をアメリカへ出したわね」って言いましたら、

母

私は何も止める気持ちはなかった」って言っ

て設立された。

中沢 つくれよ」って言われました。 「鷲見さん、早く結婚して、 自閉症の子どもを

朝倉 まあ、 なんとごあいさつな。

アメ リカ へ留学

朝倉

その後、

アメリカに行かれていますね。

なぜ行

かれたのでしょうか。

中沢 れで仕方なく英語の勉強から始めたんです。それと、 それでよかったのかどうか、たしかめたかった。そう 葉県市川 留学の前に、それまでの名古屋大学から国府台病院(千 すると、アメリカに行かざるを得なかったんです。そ らっしゃったものですから。 いたいと思ったんです。 自閉症について、誰かにしっかりと教えてもら みんな国府台病院や国立精神衛生研究所にい 市)に移りました。村松先生のお弟子さんた 自分で学会発表したものの、

> 奥地 2009) はご記憶ですか? 渡辺位先生(児童精神科医 1 9 2 5

> > - 518 -

中沢 はい。渡辺先生もおいででした。

会い 奥地 して、 うちの子が不登校になった際、 救われたんです。 渡辺位先生にお

です。 中沢 症について勉強したいと思って、 を診ているうちに、どうしてもアメリカに行って自閉 て、 私は分院にいました。 渡辺位先生は本院の児童病棟にいらっ 病院で大人と子どもと両方 飛び出して行 L こったん ゃ 0

朝 倉 簡単ではなかったでしょうね その時代にアメリカに3年間留学するというの

中沢 れる奨学金) そうですね。 が、 ありましたけれど。 フェローシップ (研究者に与えら

朝倉 フルブライトのような?

中沢 学をやりたいのだが、 ないと受かりませんでしたから、私は手当たり次第に れないか」と。 んです。「私は日本の精神医学者で、子どもの精神医 アメリカの国立精神衛生研究所あたりに手紙を送った フルブライトはありましたが、英語が相当でき どこか私にフェローシップをく

朝倉 はな い制度を探されたんですね。 すでに日本に紹介されているフェ 口 l シップで

奥地 積極的でしたね

中沢 何も恐れを知らなかったんですよ(笑)。

中沢 奥地 28~29歳ですね。母親に「よく20代後半になっ そのころ、 先生は何歳だったんでしょう。

した。

ストンの精神分析学協会の講義も受けさせてもらいま 一辺倒でしたから、精神分析学研究者の牙城だったボ いました。それと、そのころのアメリカは精神分析学 設と、マサチューセッツ総合病院と両方を掛け持って

とくに幼児期の子どもたちを保育して治療している施

を3年に延ばしてもらいました。それで、

中沢

そういうことです。

しかも、

2年というところ

自閉症の、

チュー 朝倉

セッツから「いらっしゃい」というお声がかか そうやってお手紙を出されたなかで、マ

# 9

たのでしょうか。

ぱりアメリカに行きたかったんですね。
には、やっらないようですけど、あのころは、勉強するには、やったがしただろうと思います。いまの学生は留学したがはりませんけれども、心中沢

実際、子どもと接していると、アメリカの人たちよりも、日本人のほうが感性が鋭いみたいでね。私は末っ子ですから子どもなんて知らなくて、最初は怖かったんですけど、名古屋大学でKちゃんなんかの後を追っかけ回しているうちに、子どもがかわいくなってきてね。アメリカではとても楽しく、子どもと遊んでいたようなものでした。私のやり方は、とても子どもと親和性なものでした。私のやり方は、とても子どもと親和性なものでした。私のやり方は、とても子どもと親和性なものでした。私のやり方は、とても子どもと親和性なものでした。私のやり方は、とても子どもと親和性なものでした。私のやり方は、とても子どもと遊んでいたように残らないか?」と言われてたんですが……。

朝倉 相当、認められたんですね

中沢 ええ。親がいなかったら、きっと残っただろう中沢 ええ。親がいなかったら、まっと思って、帰って、「これはもう帰らなきゃならない」と思って、どうと思います。でも、やっぱり親に悪いと思って、どうと思います。でも、やっぱり親に悪いと思って、どうと思います。でも、やっぱり親に悪いと思って、だろう中沢 ええ。親がいなかったら、きっと残っただろう

# 学校恐怖症を知ったのは

年からですね。 奥地 国立精神衛生研究所に入られたのは、1958

のですか。 朝**倉** アメリカでは子どもの自閉症を中心に学ばれた

中沢 そうです。同時に精神分析学ですね

**朝倉** すでにそのころ、学校恐怖症についてご存知で

所に戻って来てからです。 りませんでした。私が知ったのは、国立精神衛生研究中沢 ぜんぜん。まだ、アメリカでも話題になってお

奥地 そうですか。

されたものが多いんでしょうか。 帰国されてから、学校恐怖症の研究のためにリサーチ おれて論文を書いてらっしゃいますけれども、日本にすれたも、子生は、アメリカの研究をていねいにフォロー

**中沢** そうです。日本へ帰ってからです。

\* 3

reluctant な、

気が進まない、

しぶしぶ、などの意味

朝倉 そうですか。

ダーになっていったら、私は一生、独身だわいと(笑)。 です。 です、 結婚して辞めちゃったんですね。 このままリーされることがきらいだったんですね。 このままリーされることがきらいだったんですね。 まわりは、これからまれることがきらいだったんですね。 まわりは、これからまれることがきらいだったんですね。 まわりは、これからまれることがきらいだったんですね。 このままリーされることがきらいだったんですね。 このままリーされることがきらいだったんですね。 このままリーない 大切 でも、その後2年ほどで、結婚して精神衛生研中沢 でも、その後2年ほどで、結婚して精神衛生研中沢 でも、その後2年ほどで、結婚して精神衛生研中沢 でも、

奥地 なるほど (笑)。

朝倉 当時では、そうなんでしょうね。

アメリカから帰るとき、父がお金を出してくれまして、アメリカ人と結婚するのはイヤだったんです。それと、「結婚しよう」と言われたこともあったんですけど、中沢 そうですよ。アメリカ留学中にアメリカ人から

(笑)。 (笑)。

# 奥地 まあ、若者らしい (笑)。

中沢 わがままだって人に言われたこともあるんですけれども、何か自分を固めてしまうのはイヤだったんちゃって(笑)、でも、母が考えてくれて、ある方とちゃって(笑)、でも、母が考えてくれて、ある方と出会いまして。

奥地 それが中沢さん。

中沢 そうです。私の主人は、大学か専門学校かの1年生のときに韓国から引き揚げてきて、代用教員をしながら受験勉強をして、東大の法学部へ行ってました。素直で、勉強するのが好きで、えらい人だったなって悪ですが、お子さんも4~5人いらして、ご自分の家んですが、お子さんも4~5人いらして、代用教員をしたですが、お子さんも4~5人いらして、代用教員をした。

していません。ほんとうによかったと思ってます。をがあってもやっていける、戦友だな」と思ったんでとがあってもやっていける、戦友だな」と思ったんでとがあってもやっていける、戦友だな」と思ったんでとがあってもやっていける、

その後は、いったん、お仕事は身を引かれたんですか?朝倉(それで結婚されて研究所をお辞めになられて、

中沢 研究所で、ときどき講演などに出ていたりは、

しゃって。 医師/1919―2006)が愛育研究所にいらっ 医師/1919―2006)が愛育研究所にいらっ

### 奥地・朝倉 はいはい。

人がロサンゼルスに転勤になったんです。 
その間に子どもが生まれて、それでもき受けました。その間に子どもが生まれて、それでもまではました。その間に子どもが生まれて、それでものですが、 
ののでは、 
ののでは、 
ののですが、 
ののですが、

**朝倉** そうすると、ロサンゼルスへは研究のために行

命令ですから仕方なく、再びアメリカに行くことになうアメリカいやだ」って言ってたんですけど、役所の中沢 彼の転勤にくっついて行ったんです。私は「も

する総合的研究を行なうことを目的に、1938年に設立された。

\*4 母子愛育会が運営する研究所。児童及び母性の養護、教育に関

子ど

の令ですから仕方なく、再びアメリカに行くことにな

てい

ました。そこでも、とてもよい経験をしました。ナーサリースクールという障害児保育の施設で働いてと思って、ボストン時代に知り合った医者の紹介で、りました。その間、やはり子育てだけではつまらない

クールに行かれるというのは、めずらしいですね。朝倉 精神医学をやってらっしゃる方がナーサリース

中沢 やっぱり幼児期を診たかったんですね。精神医学は、ほとんど子どもの分野に手が及んでいなかった学は、ほとんど子どもの分野に手が及んでいなかったと思って、とてもそこを知りたかったんですね。それと思って、とてもそこを知りたかったんですね。精神医にくわえて自閉症があって、子どもに関心があったんにくわえて自閉症があって、子どもに関心があったんに、

子どもの世界に探索の目が入っていってましたからていたんです。アメリカの精神分析学では、大人から障害児のナーサリースクールは、アメリカで流行し

朝倉

そうですね。

画期的ですね

を言ってました。私も、ヨーロッパを周っているとき ね。アンナ・フロイトなんかが盛んに子どものこと アンナ・フロイトに会って来ました。

奥地

中沢 そうですか

子どもを診たいと思っていたんです。子どものときの そういうこともあって、私は、やはり大人はいいから、 害児とふつうの子どもたちをいっしょにしたナー 問題を診たいと。それで、精神科医がやっている、障 ースクールに、週2回ぐらい行ってました。 シッターにあずけてね。 ええ。とてもいいおばあちゃんでした(笑)。 娘は

ベ #

### 再び愛育研究所で

奥地 の後、 帰国されて開業されたんですね。 アメリカにおられたのは4年ぐらいですか。

ント・フロイトの娘で、イギリスの精神分析家。児童精神分析の開拓者。\*5(Anna Freud 1895―1982):精神分析の創始者・ジークム

ないか」って言われて行ったんです。牛島先生は当時、 育心理学者/1906-障害児の入所施設をつくられていました。 1966年に帰国して、今度は牛島義友先生(教 1999)に「また愛育へ来

うのは、才能はあるけど、自閉的で人間関係をつくれ 口 l には、親たちが一生懸命、通ってました。 ない。だから普通学級で教えるべきだ」と盛んにおっ ない人たちのことを言うので、けっして知恵遅れでは 所へいらっしゃって、自閉症はアスペルガー 日本に戻ってらして、愛育におられたんですね。そこ しゃっていました。そういう確固とした信念を持って そのころ、平井先生はドイツのアスペルガーの ・ムだとおっしゃってました。「アスペルガーとい ・・シンド

を描いて、 知恵遅れの子もいるじゃないですか。全員才能がある か考えているから空けてあるんだ」って言うんです。 なんてね、 でも、それは私の考えとはちがったんです。だって 「これは才能があるから、真ん中に将来何を描こう ど真ん中が空けてあったんです。平井先生 おかしいです。たとえば子どもが何かの絵

でも、私は中心視野欠損じゃないかって思っていました。

朝倉 見立てがまたくちがったんですね

した。 受け入れてなかったんです。すべての地域ではありま のころの日本では、障害の重い子は、どこの施設でも わってました。家庭指導グループと言ってました。そ 養護学校の前身だった、障害幼児の保育グループに関 せんが、ようやく幼児期の通園施設が始まったころで それで、平井先生のそばには寄らないで、愛育

できない子は、通園施設でも拒否されていました。 葉がしゃべれなかったり、おしっこ・うんちの自立が べて受け入れたんです。 かし、牛島先生が始められた家庭指導グループは、す 就学猶予も盛んに行なわれていた時代で、 あれはすばらしかったと思い

> ます。 愛育養護学校にはずっと関わって、 島先生とは、おたがいに心がマッチしたものですから、 学校に機構改編されたのですが、ほんとうに子どもを 中沢 家庭指導グループは、1977年から愛育養護 付き合いがあります。先生の弟子たちのグループも、 しっかり観察して、受け入れようとしていました。牛 ても良い経験で、牛島先生にはほんとうに感謝してい みんな年をとって辞めていきましたけれども……。と いまだに学校との

奥地 なるほど。

# 児童精神科開業の走り

して、 中沢 ことをやれる場所があるだろうかと、 それと、アメリカから帰国後、 1971年に開業したんです。 ずいぶん悩みま 私が学んできた

40歳を過ぎたころですね

たくありませんでした。 で開業医で、しかも児童精神科なんて、当時はまっくて開業医で、しかも児童精神科なんです。病院じゃなくて開業というのは、私が走りなんです。病院じゃなくて開業というのは、私が走りなんです。病院じゃなたくありませんでした。

奥地たしかに。

です (笑)。中沢 それからね、高年結婚も、高年初産も私が走り

来た感じがあるわけですね。
のようなんですね (笑)。いろいろ、道を拓いて

込んでね。
・ いばるわけじゃありませんけどね(笑)。それで、中沢 いばるわけじゃありませんけどね(笑)。それで、小子前中は小児科をやって、午後は相談を受けたり、心理の遊戯治療などをやって、午後は相談を受けたり、心理の遊戯治療などをやって、午後は相談を受けたり、心中沢 いばるわけじゃありませんけどね(笑)。それで、

朝倉それはやはり、よい同志、よい戦友ですね。

て言ってました。 で言ってました。 いんは不思議な人でした。いわ中沢 ほんとうに、あの人は不思議な人でした。いわ

げてますね。 奥地 渡辺位先生も「外地育ち」で、韓国から引き揚

中沢 そうですね。それで、もうすってんからりになっ中沢 そうですね。それで、も、開業して4年ほどしたころ、1975年に片瀬山(神奈川県藤沢市)へ移ってきたんです。 それから、本物の登校拒否に、たくさん出会うようにそれから、本物の登校拒否に、たくさん出会うようになりました。

奥地 そのころの登校拒否の実例というのは、どんな

感じだったんでしょう?

校の先生の指導、ご本人の治療ですね。 
せることにして、もっぱら、登校拒否の方たちの心理せることにして、もっぱら、登校拒否の方たちの心理の 
が療にあたるようになりました。お母さんの指導に任

# **一学校恐怖症の研究」について**

**朝倉** 1960年に発表された「学校恐怖症の研究」 は、不登校の歴史を学ぼうと思うと、かならず拝読す る代物ですので、そのことをもう少しくわしくお聞き

およそどこでもやってない時代でした。
さは、子どもの心理的・行動的問題の相談というのは、だけ子どものことを研究する人が少なかったんでしょだけ子どものことを研究する人が少なかったんでしょうね。子どもの心理的・行動的問題の相談というのは、や沢 実は、くわしいことはないんです。ともかく、

れていたんです。

をのころ、登校拒否に出会ったのは1例だけで、小学校1年生ぐらいの子でした。両親が、おじいちゃん学校1年生ぐらいの子でした。両親が、おじいちゃん学校1年生ぐらいの子でした。両親が、おじいちゃん

たちばかりで、東京からわざわざ来るなんてことはなは、相談してくる親は、研究所のある市川市近隣の人相談が多いわね」って話になったんです。でも、当初相談が多いわね」って話になったんです。でも、当初の共著者)と、「最近、子どもが学校に行かないっての共著者)と、「最近、子どもが学校に行かないっての共著者)と、「最近、研究所にいるころ、玉井収介

1936年に日本で初めて児童精神科の外来を始めた。\*6 (ほり・かなめ 1907-1983):児 童精 神科 医。

かわかりませんが、2年目に小・中学生の登校拒否を 年性精神病の臨床的研究」という論文を出 含めた相談が来るようになったんです。 そうしたら、どういうかたちで一般に知られたの そうです。 研究所に入って1年目に学会へ「幼 したんです

朝倉 1年目は小・中学生ではなかったんですか?

中沢 小学校の低学年が多かったですね

朝倉 ひとつ目です 「学校恐怖症の研究」で3群に分けられている、 Ą

\* 7 分析している。 小学校3~6年生を第Ⅱ群、 中高生を第Ⅲ群にグループ分けして 13の症例を小学校1 〜2年生を第I

> 中沢 はい、 そうです。

> > - 528

### 教育状況はわかってな か つ

奥地 が。 開業のころには「登校拒否」とおっしゃっていました この論文のころは「学校恐怖症」と言っていて、

中沢 の翻訳なんです。 学校恐怖症という名前は英語の school phobia

奥地 そうですよね。 どなたが訳されたんでしょう。

学校に行かない子たちのことも出そうと、 中沢 に出す論文を考えていて、 とは何もわかってませんでした。 けれども、 小林さんで話し合って、 たぶん、私です。 そのとき私たちの頭のなかでは、 児童精神医学会の第1回総会 何とかでっち上げたんです。 自閉症は当然出すとして、 国立精神衛生研究所 玉井さんと

見つけて、じゃあ「学校恐怖症としよう」と、 そこに school reluctant, school phobia という言葉を 育状況もわからない。だから、アメリカの文献を見て、 たんだと思います。 の塔みたいなところで、庶民のことはわからない。教 なんていうのは、大学の精神科と同じで、 いわば象牙 名づけ

朝倉 それは使い分けをなさっていたんでしょうか? 校拒否」と「学校恐怖症」と両方使われてますね。「こ ては登校拒否という言葉もお使いになっていますが の子が登校拒否を始めたのは……」など、 なるほど。 でも、「学校恐怖症の研究」では、「登 個別に関し

7 なっているんです。ただ、 いう言葉を使ったんだと思います。 うときには、私なりに精神分析学的な心理的メカニズ はきわめて精神医学的な表現であって、行動を表現し が頭にあるわけですが、行動上としては登校拒否と いるわけではありませんね。phobia(恐怖症)と言 いえ、 使い分けはしていません。 school phobiaという言葉 混ぜこぜに

> 朝倉 なるほど。

中沢 ら始まったんです。 言葉としては、 登校拒否は school reluctant か

朝倉 沢さんということですが、 を使われたのも中沢さんなんでしょうか school phobiaを学校恐怖症と訳されたの 最初に登校拒否という用語 は 中

中沢 ていたんじゃないかと思います。 私だけじゃなくて、 仲間の連中が何となく使っ

奥地 すでに使われていたということですか

とい 中沢 う言葉を使ってましたが、 ええ、まあ、そうですね。玉井さんも登校拒否 「rufusalっての はきつ

している。 立ちすくむというニュアンスがあると、 \*8 登校拒否は school refusal の訳語。 滝川一廣(精神科医)は指摘 refuse は拒否と訳されるが、

います。 れにしても、登校拒否という言葉にして、始めたと思いねぇ。reluctant でいいよ」と言ってました。いず

すね。 朝倉 少なくとも、使い初めのお一人ではあるわけで

中沢そうです。

### 母子分離不安は

気で休んでいる場合は除いて研究されていますよね。奥地 「学校恐怖症の研究」でも、経済的な理由や病

中沢 そうです。そこで問題になったのが恐怖症だったんです。しかも、背景に母子分離不安があるというたんです。しかも、背景に母子分離不安があるというな。実際に世間のことはわかっていませんでした。自閉症もそうです。そこで問題になったのが恐怖症だっ

て。家族に何で母子分離不安が起きるんだ」と言われまし家族に何で母子分離不安が起きるんだ」と言われまし家先生に「日本人のように川の字になって寝ている

奥地 あはは (笑)。

ですからね。

ストレスを受けたときに退行現象を起こしますね。 ストレスを受けたときに退行現象を起こしますね。 ストレスを受けたときに退行現象を起こしますね。 ストレスを受けたときに退行する。 人間は、世間、外界からこされたりしますでしょう。 人間は、世間、外界からこされたりしますでしょう。 人間は、世間、外界からのはあります。 私は母子分離不安は、幼児期や小学うのはあります。 私は母子分離不安は、幼児期や小学されたりしますでしょう。 人間は、世間、外界からこされたりしますでしょう。 人間は、世間、外界からこされたりしますでしょう。 人間は、世間、外界からこされたりしますでしょう。 人間は、世間、外界からこされたりしますな。

のもとで学び、日本に自閉症の概念を紹介した。\*9 (まきた・きよし 1915―1988):精神科医。レオ・カナ・

奥地 そうですね。

中沢 その退行現象を起こしたときに、ちょうど2~中沢 その退行現象を起こしたときに、ちょうど2~中沢 その退行現象を起こしたときに、ちょうど2~中沢 その退行現象を起こして、2~3歳のあいだの正常な分離不安が、人間の成長過程として歩一歩進むことによって自我の成長は始まる。子どもの自我成熟の過程として、正常な過程として母子どもの自我成熟の過程として、2~3歳のころの分離不安状態に行現象を起こして、2~3歳のころの分離不安状態に行現象を起こして、2~3歳のころの分離不安状態に行現象を起こして、2~3歳のころの分離不安状態に精神分析学的な子どもの発達過程における理論であり、一般の人はそれを知らないわけです。

朝倉 そうですね。

中沢 私は「そんなことをいちいち説明するのは、

め

んです。
いう言葉は、いま申し上げたような意味で使っていたいう言葉は、いま申し上げたような意味で使っていたと

実際、高校生ぐらいになって登校拒否になった子どもたちでも、すごく不安になりますよね。朝起きられなかったり、母親を嫌っていて「何だこのクソババなかったり、母親を嫌っていて「何だこのクソババア!」って言っていて。まさに母子分離不安の様相を示け。母親がいない場合でも、ものすごく不安状態を示して、やっぱり自分の家にしがみつきたいという子が多い。その場合の家は親のシンボルですね。ともかく外へ出られない。

かる方にはわかったと思いますが、いろんな反論がなかったと思いますが、通用しなかった。それで、私なかったと思いますが、通用しなかった。それで、私なかったと思いますが、通用しなかった。それで、私なかったと思いますが、通用しなかった。それで、私なかったと思いますが、通用しなかった」って言ったら、「やはり、その退行現象は母子分離不安が起きたら、「やはり、そのと思いますが、いろんな反論があったと思いますが、いろんな反論がですから、母子分離不安という言葉はまちがっていてすから、母子分離不安という言葉はまちがってい

はイヤになってしまいました。あったものですから、私は、それっきり学会に行くの

自閉症のことも、親のせいだと言われても、どうにもわかりませんでした。あのころ、親がエリートで、か、よく言われてましたね。働き盛りで父親不在になって、母親は子どもにしがみついている。自閉症でも登校拒否でも同じことが言われている。でも、私にはわからなかった。ほんとうに、わからなかったんではわからなかった。ほんとうに、わからなかったんではわからなかった。ほんとうに、わからなかったんではんとうのことはわからない。やっぱり、ほんとうにほんとうのことはわからない。やっぱり、ほんとうにほんとうのことはわからない。

奥地 文献ではなく、直接にね。

世田谷区に嬉泉子どもの生活研究所ができて、自閉中沢 ええ。ほんとうに自分でわかりたい。そのころ、

症と思われる子どもを追いかけ回したりしてましたが、私は、どうにも賛成できなくてね。私は開業したころ、1970年前後から、ひそかに「自閉症は親子ころ、1970年前後から、ひそかに「自閉症は親子していて、そういうことを私が話したら、猛烈に反対されたことがありました。とくに関西の方たちからの反対が多かったですね。それから、牛島先生の開いた反対が多かったですね。それから、牛島先生の開いた反対が多かったですね。それから、牛島先生の開いた反対が多かったですね。それから、牛島先生の開いた反対が多かったですね。それから、牛島先生の開いた反対が多かったですね。それから、牛島先生の開いた紅反発にあって、ほんとうに立ち往生させられたこともありました。

イヤなので(笑)。とにしたんです。私は、戦うのは、めんどうくさくてけないなと思いまして、その後はいっさい言わないことにしたんです。私は、戦うのは、めんどうくさくてとにしたんです。私は、戦うのは、めんどうくさくて

奥地 あはは (笑)

中沢 それで、藤沢で開業してから、自閉症の親の会中沢 それで、藤沢で開業してから、自閉症の親の会にない。「あなたたちが、ほんとうの自閉症といい方にとを言ってよ」って。そうしたら、親たちは「やっじることを言ってよ」って。そうしたら、親たちは「やっじることを言ってよ」って。そうしたら、親たちは「やっぱり親だけのせいとは思えない」と言ってました。それと同時期に、イギリスのモズレー病院の医者たちが、れと同時期に、イギリスのモズレー病院の医者たちが、れと同時期に、イギリスのモズレー病院の医者たちが、自閉症は器質的な問題だという論文を発表し始めたんです。それで、私はホッとしました。

(笑)。 奥地 ここでも、やっぱり先生が走りだったんですね

なに叱られるから(笑)。 中沢 いやいや、怖くって言えなかったんです、みん

り、これはけっして、ふつうには戻らない」というこ閉症と言われる子どもの遊戯治療をやって、「やっぱ私は国立精神衛生研究所にいたときに1年間、自

2001)に書いています。
のことは後に『障害児の心の臨床』(岩崎学術出版社ど、親御さんに助言したりはしていて、そのあたりとを体験して、遊戯治療はやめてしまいました。だけ

# 登校拒否の子どもたちと出会って

くさん出会われたわけですよね。 奥地 開業されてからは、登校拒否の子どもにも、た

中沢ほんとうに

うか。 日本は社会的背景もちがうし、ちがっていたんでしょ 奥地 やっぱりアメリカの学校恐怖症の捉え方とは、

母子分離不安と言っていましたが、だんだん、世の中分の診察でしか診ませんから、そこで学校恐怖症とかたというか、発展していきました。最初のころは、自中沢 そうですね。もちろん、捉え方は変わっていっ

は、日本ほど猛烈に増えてはいませんね。でも、増えていきましたよね。それでも、ほかの国で

朝倉 そうですね。ぜんぜんちがいますわ

奥地だいたい不登校って言葉がないですものね。

中沢 そうですね。私も外国旅行に行ったとき、ドイ中沢 そうですね。私も外国旅行に行ったとき、ドイ いるっていう問題はある?」って聞いたら、「ぜんぜ いるっていう問題はある?」って聞いたら、「ぜんぜんない」って言ってました。やはり日本独特のものなんだなと思いました。それだけ、やはり日本の社会が 厳しかったんですね。

**奥地** そうですね。「学校へ行って当たり前」みたい

ば点数を取ることが一大事になっている。5段階評価中沢 ええ。当たり前だけじゃなくって、言ってみれ

になったのは最悪でしたね。

奥地 相対評価で、内申書でも評価されて。

朝倉

そうですね。

偏差値がすべてで

中沢

それで、

生徒を締めつけましたね

て湘南高校には行ってないじゃないか」って(笑)。をうしたら、5段階評価になっていて、先生が、ことそうしたら、5段階評価になっていて、先生が、こと東京にいて、3年生のときに藤沢へ移って来ました。東京にいて、3年生のときに藤沢へ移って来ました。

タスだったんですね。 奥地 あははは(笑)。このあたりは湘南高校がステー

ら「鎌倉にも行かれないぞ」とかね。それから生活の中沢 そうです。その次は鎌倉高校なんですよ。だか

られてね。その相談も、よく受けました。の合間には体育祭でしょう。子どもがのんびりする暇の合間には体育祭でしょう。子どもがのんびりする暇

奥地 そうなんですね。追い立てられてね。

中沢 そういう子どもが高校に行って、学校に行かれなくなったりする。子どもたちは、じっくりと本を読むせい。そういうなかで、子どもたちが非常に追い詰きない。そういうなかで、子どもたちが非常に追い詰きない。そういうなかで、子どもたちが非常に追い詰められて、どこかでパタンと、神経症的な状況になる。どなたかが登校拒否は自己防衛だって書かれてましたよね。

奥地 渡辺位先生は、古くから、そうおっしゃってい

れの体質、環境がありますからね。では一律にされても、それぞれの子どもには、それぞないよっていうことなんだろうと思うんですね。学校中沢 ああ、そうでしたね。このままでは、もう続か

# フリースクールについて

ついてはどう思われますか?そういう場をつくってきたんですが、そういう活動にそういう場をつくってきたんですが、そういう活動に壊所で、まあ今はフリースクールと言っていますが、奥地 私たちはそれで30年ぐらい前から学校以外の居

ね。 中沢 私は最初は「何じゃこれ」と思ったんですけど

奥地・朝倉 あははは (笑)。

遊べる、そういう場所があるっていうことは、こんなていないで、親以外の人たちとしゃべれる、友だちと中沢 でも、ともかく、子どもたちが家だけにこもっ

を、私もやりました。ルを一種の教育の単位として認めさせようという運動よいことはないと思いますね。それでフリースクー

にも認められるようになりました。 奥地 いまは、フリースクールへの通学が学校の出席

うなものをつくるようになりましたね。 員会が文部省(当時)の指導により特別指導教室のよ

奥地 適応指導教室ですね。

でました。 中沢 私も、藤沢市の適応指導教室にしばらく関係し

奥地 そうですか。

それで、そこにも来れないという子どもには家庭訪問中沢 そこには、カウンセラーなども来ていました。

をしていました。

ど、家庭のなかで年寄りの支配があってね。母さんもときどき相談にいらっしゃっていましたけですが、やはり家庭事情が影響していたんですね。おある子は、小学校高学年からすごく落ち込んでたん

フリースクールとまではいかなくても、適応指導教 フリースクールとまではいかねるようにと相談を受けて 室で、高校には何とか行かれるようにと相談を受けて は、学校の先生はいろんな手立てを知ってらっしゃる は、学校の先生はいろんな手立てを知ってらっしゃる ひとつが、日々輝学園だったんですが、ご存知です ひとつが、日々輝学園だったんですが、ご存知です フリースクールとまではいかなくても、適応指導教 フリースクールとまではいかなくても、適応指導教

奥地・朝倉 はい。

もしていました。 中沢 私は、その学校のカウンセラーというか相談役

スが複数ある。 信制、単位制、普通科があり、栃木のほか、埼玉、神奈川にキャンパ信制、単位制、普通科があり、栃木のほか、埼玉、神奈川にキャンパポーコ 日々輝学園高等学校:栃木県に本校を置く高等学校。広域通

奥地 そうでしたか。

中沢 学校へうかがって、先生たちと話し合ったり、中沢 学校へうかがって、先生で行くの無理だ」って言ったら、「いいですよ、先生。生徒を寄こしますから」って言ってね。それで、ずいぶん、いろんな方にお会いいたしました。

長い期間、不登校に関わってこられたんですね。 奥地 では、非常に古くから、つい最近まで、相当か

中沢もう、ずうっとです。

## 時代による変化は

らない部分と、いかがでしょうか? 古い登校拒否から今の不登校で、変わった部分と変わすい登校拒否から今の不登校で、変わった部分と変わ

きたんだと思います。昔は掘り起こされてなかった。中沢 変わったというよりも、むしろ掘り起こされて

奥地 そうですね。

問題ですね。
問題ですね。

にアンバランスで情緒的にも不安定だという話を聞いしゃることが多かったですね。以前からボーダーラインの知能の方たち(IQが80~100前後)は、非常といることが多かったですね。以前からボーダーラインの知能の方たち、発達障害という概念が入ってきました

んですね。集団指導の学校をイヤがる。ていたんです。そのなかに、登校拒否もけっこういた

嬉々として行くようになりました。
がら特別学級へ移してもらったんです。そうするとから特別学級へ移してもらったんです。そうすると発達障害という言葉もまだ出ない時代ですけれど

ね。 教育熱心な親たちが、重度の障害の子どもを、どう

### 朝倉 ありました

ぱり自分に一番合うところを知っていたんですね。す。それは登校拒否だということで、私のとこにいらっす。それは登校拒否だということで、私のとこにいらっすらから、「それなら養護学校へ行きなさい。 そうしたらから、「それなら養護学校へ行きなさい。 そうしたらから、「それなら養護学校へ行きなさい。 そうしたらから、「それなら養護学校へ行きない。

できる子がいました。それで、親はもう一生懸命になっ完全に自閉症の女の子で、勉強だけは親が教えれば

て受験させて、高校に入れたんです。でも、入学後にて受験させて、高校に入れたんです。でも、入学後にしゃったんですけど、私は「高校生は自分で論文を書いうなかで、その子は少し錯乱的になっていたんですいうなかで、その子は少し錯乱的になっていたんですね。お母さんはまじめで一生懸命な方で、「先生、無理してここまで入れましたのに」って、残念そうにおっしゃるから、「お母さん、わかりますけど、ちょっとしゃるから、「お母さん、わかりますけど、ちょっとしゃるから、「お母さん、わかりますけど、ちょっとは養だと思って、この子は養護施設へ」と勧めました。人がでして治療だと思って、入所を勧めました。それで、入所したら、よくなって落ち着いてきました。

ら、お母さんが病気になったときには、いっさいの家ら、お母さんも、さんざん暴れられたので、「わかりまきって、立派だったのは、帰って来てからは、勉強は言って、立派だったのは、帰って来てからは、勉強はといっさいやらないで、家事、料理を教えた。そうしたいっさいやらないで、家事、料理を教えた。そうしたいっさいやらないで、「わかりま

た。「ほんとうによかったです」って。
事をやってくれたって、お母さんが電話くださいまし

に思いますね。ことで言えば、子どもたちの個が弱くなってきたよう起こされてきたんだと私は思います。変わったというですから、登校拒否も変わったんじゃなくて、掘り

### 奥地 そうですよね。

中沢 学校では集団でつるむのもひどくなりましたちなかったんですけど、登校拒否がだんだんひどくらなかったんですけど、登校拒否がだんだんひどくらなかったんですけど、登校拒否がだんだんひどくらなかったんですけど、登校を担否がによるには、集団で行動しなきゃならないでしょ中沢 学校では集団で行動しなきゃならないでしょ

むことに入れない子と、つるむのがイヤな子がいる。こんな悲惨なことはないんです」って言うのね。つる校でお昼のお弁当食べるときに、ひとりで食べるって、学校へ行かれなくなった子どもたちが、「先生、学

をするようになってきたことは事実だと思います。
れ会の価値観の変化により、子どもたちがつらい思いがあると思います。でも、そのことで、ひどいれ会の価値観の変化により、子どもたちがつらい思いがあると思います。でも、そのことで、ひどいればの価値観の変化により、一つないが、の強さがあると、つるんだり集団に従うだけの学校がイ

ありがとうございました。 まいました。長時間、お付き合いくださって、どうもまいました。長時間、お付き合いくださって、どうも奥地 そうですね。お約束の時間をすっかり過ぎてし

**#24 中沢たえ子さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#24 中沢たえ子さん

インタビュー日時:2017年7月7日

記事公開日:2017年9月9日

場 所:中沢たえ子さんご自宅(神奈川県藤沢市)

聞き手:奥地圭子、朝倉景樹 まとめ:朝倉景樹、奥地圭子

写真撮影:朝倉景樹

- 541 - - - 540 -

読売新聞社に入って、 年間いました。 60年安保の年でした。 并 奥地 今日はよろしくお願いします。

永井

は何年生まれでしたでしょうか。

9 1 年 (昭和16年)です。

奥地 私とい 0 しょですね

永井 ておられますでしょう。 奥地先生は広島県三原市出身で、三原高校を出 私は忠海高校を出たんです。

奥地 県で近隣の高校にいたことになります。 たあとは 存じています。 同郷の衆ですね。 忠海高校を出 どちらも広島

### 新聞記者とし

早稲田大学に行きました1960年入学です。 1998年に退職するまで、 大学を1964年に卒業して、 34

奥地

不登校に関わられたのは、

永井さん 奥地

退職後は?

養系で、 授というと芸術系みたいに聞こえますけど、 究大学院大学の客員教授になりました。 (2017年) 65歳の定年まで勤めて、 女子美術大学の教授になりました。 教職課程も受け持っていました。 3月で退職しました。 その年の4月に、 それも、 美術大学教 2 0 0 7 私は教 政策研 今年

検討会議の座長をされてましたね。 な委員をされてきたんでしょう。 最近では、文科省のフリースクール等に関する それ以外に、

奥地

涯学習分科会に関わりました。 等中等教育分科会、 文部科学省の中教審(中央教育審議会)で、 教育制度分科会、 大学分科会、 生 初

### #25 永井順國 さん



(ながい・よりくに)

広島県生まれ。 早稲田大学卒。 1964年、 読売新聞社東京本 社入社、 社会部司法・教育担当、 解説部次長などを経て、 87年から論 説委員(教育・文化・ボランティア論担当)。 退職後、 女子美術大学芸 術学部教授 (1998~2007年)を経て、 国立政策研究大学院大学客員教授 (2007年~2017年)。 専門分野は教育制度・教育政策論、 著書に 『学校をつくり変える― 「崩壊」 (小学館 1999)、 共著に 『危機の義務教育』 (読売新聞解説部/有斐 「市民教育」』 『英国の (日本ボランティア学習協会 2000) な 文部省教育課程審議会委員、 生涯学習審議会委員、 議会臨時委員、文化庁高松塚古墳壁画劣化原因調査検討会座長、 フリースクール等に関する検討会議座長などを歴任。 振興会理事、 国立青少年教育振興機構運営諮問委員などをつとめている。

インタビュー日時:2017年7月18日

聞き手:奥地圭子

場 所:東京シューレ葛飾中学校

写真撮影:木村砂織

学校不適応対策調査

永井 その最終報告(1992年3月) に関わりまし

研究協力者会議ですね

たね。

奥地 登校につい その て書かれてい 委員になら ħ た たからだったのでしょうか 0 は、 読売新聞 で教育 や不

永井 担当していました。 載をやったり 記者クラブに所属しました。 携わるようになったんです。 4年、その後も社会部、 1976年から、 していました。 社会部記者として教育問題に その後、 文部省記者クラブ詰めは 教育問題を担当して、連 解説部記者として教育を 文部省 (当時)

奥地 のころには、 うちの子が不登校になったのは78年ですが、 いじめや校内暴力が けっこうありまし そ

童生徒の 992年3月に最終報告『登校拒否(不登校)問題について 文部省(当時)が1989年に発足した会議(主査・坂本昇一)。 「心の居場所」づくりを目指して』を出した。

# 学校状況への意義申し立て

研が、 したね。 永井 校状況への異議申し立てが、子どもは声が出せないか 力が増えてきた。そして、 枠組みにはめて、 校の息苦しさは、70年代には始まっていたと思います。 校受験で猛威を振るうようになりました。東進研と進 追うごとに感じていました。 思います。 で発生してくる。そうやって息苦しさを増していく学 を含む管理教育が強まった。また、 安としてありましたが、 した。大学受験には、 体の反応として出てきた。それが不登校だったと 模試で都内を二分する時期がありましたね。 あれよあれよという間に学校がおかしくなりま 私が最初に取りかかったのは、 教育担当記者として、 平均点主義で、 以前から偏差値に近いものが目 70年代後半には、 それを抑えるために、 その一方で、 そういうことを年を いじめが同時進行 偏差値問題で 偏差値は高 校則

たと。 拒否 議申し立てということですね。 の子たちが出るのも、 そのころは登校拒否と言ってましたよね。 学校の息苦しさに対する異 それを身体で示してい 登校

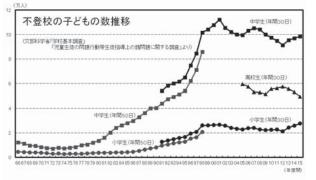
永井 夕方には治ったりするんですけどね。 になるとお腹が痛くなったり、頭が痛くなったりする。 は学校に行こうとして教材を整えるんだけれども、 行くと存在不安を覚えるから、 は言えませんからね。 子ども、 とくに小学生だと、論理立てて言葉で 身体が学校に行かない。 行きたくない。 前日に 学校に 朝

奥地 それは 70 80年代ごろですかね

永井 いぶん少ないですが、当時の記事を読み直してみたら、 い増え方なんですよ。 そうですね。 いまと比べると、数そのものはず

けて、

奥地 いから増えてますよね。 この グラフ (下図)ですね。 年間50日で調べていたのが、 70年代半ばぐら



増し 2 も年 ね。 推移してきた。 調べるようになって、 91 態 年 0 から 間 で その後は横ば 7 12万人前後で す 11 が、 たんですよ 年までは急 年間30日 それで 11

そし 年代から いずれ 増えてきてますね。 井 また、 て、 にしても、 そうです ここ3年間 90年代にか ちょっ 80 ح

にあらわになってきた。新聞記者としては、 ようは何だと気になったわけです。 不登校の数が急激に増えていることが世間の目 この増え

奥地 なるほど。

## 塾の先生の集まりで

やす会」でしたね。 ところで、私が永井さんに最初にお会いしたの奥地 ところで、私が永井さんに最初にお会いしたの

赤井そうでしたいて、会員にもなってました。支援塾全国ネット」につながっていきましたね。私も 支援塾全国ネット」につながっていきましたね。私も が、現職の教員を含めて人数が

う流れがありましたよね。 奥地 塾が、学校で傷ついた子を受けとめているとい

**永井** 居場所を提供していて、いわばフリースペース

奥地 当時、まだ私も学校を中心に物を考えていて、突験競争を乗りきるために子どもがどんどん塾に行くとうになるなかで、「学校と塾とどっちが大事?」と言っていました。でも、わかる子をふやす会の人たちに出会って、その塾の先生たちがほんとうに子どもにに出会って、その塾の先生たちがほんとうに子どもにでの自分の考えは、ちょっと恥ずかしいな、ちがってでの自分の考えは、ちょっと恥ずかしいな、ちがってたなと思ったんです。学校ですごく、つらかったり苦たなと思ったんです。学校中心の考え方はちがうなって、初めるのを見て、学校中心の考え方はちがうなって、初めて思ったんです。

さしく受験競争に放り込まれるものですが、補習塾は、3つに分類できる。そのうち進学塾とテスト塾は、またりしてますと、塾は、進学塾、テスト塾、補習塾のいかと思ってたんですけど、ずっと観察したり取材しいかと 私も最初はひとくくりに、塾なんか邪道じゃな

リースペースや居場所的な要素がありました。そういう面がないわけじゃないけれども、いわゆるフ

れたんですか。 奥地 そういう民間の動きにも、取材で関わっておら

たり、一光社の鈴木大吉さんに会ったりしていました。み井 そうですね。フリースクール研究会に顔を出し

奥地 鈴木大吉さんは一光社という出版社の社長で、奥地 鈴木大吉さんは一光社という出版社の社長で、ツースクールを取材されて書いた『教育に強制はいらびァーナリストの大沼安史さんがアメリカなどのフ

て、その立ち上げの輪の中に入ってました。ど、フリースクール研究会には、すっかり賛同しちゃっか非 新聞記者としての仕事を超えてるんですけれ

奥地 80年代以降も、教育問題を取材されていたんで

しょうか。

ましたね。 ましたね。 ましたね。 ましたね。 おり 1983年に社会部から解説部には4年ばかりいま み 1983年に社会部から解説部に移って、教育・ ましたね。 ましたねる。 ましたねるねる。 ましたね。 ましたね。 ましたね。 ましたね。 ましたねる。 ましたね。 ましたね。 ましたね。 まし

奥地 たとえばどんな連載でしょう。

永井 「What義務教育」という連載は、後に『危機の義務教育』(有斐閣1984)というタイトルで本にしました。この連載は、義務教育って何だというのがテーマでしたから、必然的に不登校問題も入ってのがテーマでしたから、必然的に不登校問題も入ってました。それから1987年まで臨教審の動きを取材1984年から1987年まで臨教審の動きを取材していました。

<sup>1987</sup>年まで4次にわたって答申が出された。
諸間機関として発足(会長・岡本道雄)。4つの部会が設けられれ、諮問機関として発足(会長・岡本道雄)。4つの部会が設けられれ、の関総理大臣(中曽根康弘)の

を進んでいると見ていいと思います 私は「自由の教育化」が必要じゃないかと書きました。 由の教育化」という議論はほとんどなかった。それで 校選択の自由とか、許認可を自由化して裁量を増やす ぐって激しく論争になりました。そこで教育における 様化」でした。教育改革は、 集約して、個性重視の原則に落とし込んでいったわけ 生きられるような教育が見えて来るんじゃないかと。 和を保つ道を模索していけば、おのずから人間らしく 「教育の自由化」と「自由の教育化」を、ほどよく調 とか、「教育の自由化」という議論はありましたが、「自 「自由」とは一体何ぞやという話になった。たんに学 結局、 臨教審では最初の1年半ぐらい、教育の自由化をめ 臨教審のキーワードは、「自由化」「個性化」「多 臨教審の最終答申では、それを「個性化」に いまだにその流れのなか

しろいよ、学校を設立する自由と学校選択の自由がセッそのころ京都大学のある先生から「オランダはおも

奥地 80年代に行かれているんですか?

の学校、 多かったかな。シュタイナー、フレネ、 永 井 が1000校を超えるんです。 んです。それと、おもしろいことに、 さな村でも、 いになっている。何でそんなことができるんだと不思 な。何しろ、 いろいろあって、フリースクールの見本市みた そうです。 プロテスタント系の学校と、 公立の小学校、中等学校、カトリック系 あそこの国はおもしろかった。どんな小 84年ごろから、 シュタイナー学校が 合計3回、 フリースクール 最低3種類ある モンテッソー った

成主義を排し、自発的なグループ活動を重視している。 成主義を排し、自発的なグループ活動を重視している。 成主義を排し、自発的なグループ活動を重視する。モンテッソーリ教育は、フルスでセレスタン・フレネが1920年代に創始した教育方法。格性を引きだす教育方法と教具・教材を特徴とする。フレネ教育は、フルスでセレスタン・フレネが1920年代に創始した教育方法。格性を引きだす教育方法と教具・教材を特徴とする。フレネ教育は、フルスでセレスタン・フレネが1920年代に創始した教育方法。権力の主義を排し、自発的なグループ活動を重視している。

たいと地元の自治体に申請する。

奥地 市民が、そうやって勝手にできるんですね。

奥地 そこがすごいですよね。

永井 それで、いつからやってるのかと聞いたら、

100年は経つと言うので、驚きました。

議ですが、そこがすばらしいですね。 算を見つけて来るんですかね。私たちからすると不思いったら、そうでもないわけですよね。どこかから予いったら、そうでもないわけですよね。どこかから予奥地 国家予算は決まっているけれども、市民に設立

校を選ぶ自由・つくる自由」というテーマで書いてま 訪問するんですが、各学校の校長には会う義務があっ も、小学校の場合は親が決めます。親は複数の学校を す。オランダでは、中等学校の場合は、親と子どもが なっていましたが、私もオランダの教育について、「学 クールの特集がありましたね。奥地さんもお書きに して、「質問はいくらでも受けます」とか言うんですね。 て、来年度担任予定の先生も紹介して、 いっしょに説明会に行ったりして決めるんですけれど の科学』(第18号/日本評論社1988)でフリ 永井 それで思い出しましたが、そのころ、 さらに、 そこに通わせている子どものお母さん 学校内を案内 **『**こころ ĺЗ

トになっている」と聞いて、実際に行ってみたんです。

# 「どの子にも起こりうる」の背景

不適応対策調査研究協力者会議に入られるんですよね。 奥地 80年代にそういうことを経験されたうえで学校

が井 そうです。1989年に学校不適応対策調査研 のましたね。

最終報告が出るのは1年くらい延びましたよね。 奥地 1991年に風の子学園事件があった影響で、

罪判決、控訴および上告されるも実刑が確定した。 
北否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
打否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
拒否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
拒否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
指否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
指否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
指否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
指否などの「問題行動」の更生を目的とした民間施設。1991年、 
指示などの「問題行動」の更生を目的とした。

について書いてました。 をのころ、しきりに不登校問題やフリースクールた。そのころ、しきりに不登校問題やフリースクールを員になって、やっぱり教育・司法を担当していまし 永井 そうです。それと同時期に、1987年に論説

おられたんでしょうか。 奥地 では、オランダのようになっていったほうがいいなと思ってれって、日本の学校も、

らすれば、変な記者がいるなと思ってたでしょうね。ういう記事をいっぱい書いていましたから、文部省かなヒントにはなると考えていました。また、実際、そなヒントにはなると考えていました。また、実際、そかままの導入はできないが、大き

奥地 よく協力者会議に入れましたよね

特定性格傾向の子どもに起こると言ってましたよね。はないかと思います。あのころ文部省は、登校拒否は、 おそらく文部省内でも、相当論争があったので

があるだとか書いてありました。 は、本人の自我が未成熟だとか、親の養育態度に問題は、本人の自我が未成熟だとか、親の養育態度に問題を中心に」で奥地 1983年に文部省が出した手引き書「生徒の

りゃ、 永井 記事を書いていたのに文部省に呼ばれたものです の出発点だ」と全教員に檄を飛ばしていたんです。こ そうとするな、 の校長先生は、不登校・登校拒否の子どもについて「治 りした覚えがあります。それから、 防衛反応で病気ではないんだと。それを聞いてびっく ました。腐ったものを食べてお腹をくだすのは健康な づく不登校というのは、学校批判者だとおっしゃって ビューしていたんです。渡辺先生は、不安心理にもと 童精神科医/ 「あれ、 いいなと思って、新聞に書きました。そういう そう、そう。 変だな」と思いました。 1 9 2 5 わかろうとせよ。それが登校拒否問題 私は、そのころ取材で渡辺位 **-2009**) 先生にインタ ある茨城県の高校

ましたから、文部省も模索してたんですかね。

永井 これは今まで通りじゃどうにもならんと思ったんでしょう。学校不適応対策調査研究協力者会議の第1回会合で、私は「学校不適応と言うけれども、不適応を起こしているのは子どもじゃなくて学校のほうではないか」という趣旨の発言をしたんです。これ、かなり問題発言ですよね。

奥地 そうですね。文部省もびっくりしたでしょうね。

でいきました。が、そうしたら、どんどん議論はそういう方向で進んが、そうしたら、どんどん議論はそういう方向で進んみる必要があるというニュアンスで言ったわけですみ井、私は、そういう視点からも、この問題を考えて

奥地 その協力者会議のヒアリングに、山下英三郎\*\*6

ルワーカーとして実践活動を行なった。 1986年から埼玉県所沢市において、日本で初のスクールソーシャルワーカーとして実践活動を行なった。

奥地

80年代後半は、

ですね。 
ですね。

かったでしょうし。 奥地 だけど、ほかの方たちは私たちのことは知らな

かいなかったかもしれません。 奥地先生の名前出せるのは、私し

曳地 それで、会議の報告は「登校拒否はどの児童生

**永井** 「どの子にも起こり得る」と報告したことで、

**論争はあまりなかったです。** に言えば、論争が起きそうな気がするでしょう。でも、は、それほど驚きはなかったんですよ。そういうふう世間の反応は大きかったですけれども、会議のなかで

成だったということですか。 奥地 そうなんですか。委員の人たちは、おおかた賛

永井 そうです。もちろん、委員のなかに濃淡はありました。会議全体としては、学校という安定した装置ました。会議全体としては、学校という安定した装置言っても、物事は結論を得られませんので、極論は排して、真ん中のグレーゾーンのなかで考え得ることからやっていくしかないでしょう。

ですよね。 奥地 そういう幅がないと、跳び跳ねても変わらない

**永井** でも、協力者会議を開いている最中に、風の子

のガイドラインをつくったんです。す。「これは論外だ」ということになって、民間施設学園事件が起きたので、これには困ってしまったんで

その後、

公民協力や市民協働を進めていくうえでの目

安になっていますよね

# 民間施設のガイドラインは

**奥地** 事件が起きる前は、民間施設のガイドラインの

ですか。

席日数にカウントする話も、

会議のなかで出ていたん

くったのがガイドラインでした。あのガイドラインは、きたために最終報告が遅れて、その間に一生懸命つきたために最終報告が遅れて、その間に一生懸命つまたがなかったわけじゃありませんが、事件が起

ラインがなかったら難しかったことだと思います。出トするということになりました。それは、あのガイドてから、民間施設への通学を学校の出席日数にカウン奥地 そうですね。それと、協力者会議の報告書が出

があって、その翌年に通学定期が認められましたね。 まず、指導要領上の出席扱いとして認めるという措置 論を踏まえて、文部省が行政的に行なったことです。 おいり とは出ていましたけど、あれは会議の結

んが国会に出してくれたんですね。でも、出席扱いが議院議員だった堂本暁子さんに持っていって、堂本さだったら通学定期を認めてよ」って大運動を起こして、だったら通学定期を認めてよ」って大運動を起こして、

\*7 1992年、学校不適応対策調査研究協力者会議の最終報告と\*7 1992年、学校不適応対策調査研究協力者会議の最終報告ともに、民間施設についてのガイドラインが試案として発表された(現ともに、民間施設についてのガイドラインが試案として発表された(現ともに、民間施設についてのガイドラインが試案として発表された(現ともに、民間施設についてのガイドラインが試案として発表された(現ともに、民間施設への通所が指導要録上の出席扱いたの要件を目安として、民間施設への通所が指導要録上の出席扱いることとなった。

クト#19堂本暁子さんインタビュー参照)。 なかったら実現できなかったと思います (本プロジェ

永井 そりゃ、そうでしょうね

奥地 それから、「登校拒否はどの児童生徒にも起こりうるもの」という文部省の見解は、当時、新聞の1面トップに出たんです。そうしたら、母親たちは、それまで「母親の育て方が悪いから子どもが登校拒否になるんだ」と、さんざん言われたものだから、電話してきて涙ですよ。「どの子にも起こりうると国が言いだしてくれたんですね。これまで、親の育て方が悪いと責められまくって、ほんとうに立つ瀬がなかったんだけど、やっとちょっと国が進んできてくれましたんだけど、やっとちょっと国が進んできてくれました。

のは、身体は学校にいるんだけど、心では学校を受け永井 「どの子にも起こりうる」という見解になった

いう話も出ていました。のころ学校に行きたくないなと思ったこともある」とけれども、雑談レベルでは、「私たちだって、子どもね。いまのように「潜在的不登校」とは言わなかったいれていない子もいるんだという話があったんです

奥地 協力者会議では、永井さんがすとめられた でしょうか。

永井 ワーキンググループというのは起草委員会のこれだよ」と言ってね。坂本先生も、どちらかというととですかね。どうだったかな。坂本昇一先生(現在はとですかね。どうだったかな。坂本昇一先生(現在はとですかね。どうだったかな。坂本昇一先生(現在はとですがね。どうだったかな。坂本昇一先生(現在はとですがね。どうだったかな。坂本先生も、どちらかというというのは起草委員会のこんだよ」と言ってね。坂本先生も、どちらかというとんだよ」と言ってね。坂本先生も、どちらかというとんだよ」と言ってね。坂本先生も、どちらかというとんだよ」と言ってね。坂本先生も、どちらかというととでする。

いますよ。られたと思います。彼がいなければ、ダメだったと思学校を変えないといけないという問題意識を持ってお

奥地 私たちからすると、80年代は「首に縄をつけてのいう方向に行ったわけですね。

ようやく、そのころから出始めてましたね。ない時と、してもいい時があるというような議論が、ない時と、してもいい時があるというような議論が、

たことで、子どもたちからすると、多少は学校を休みましたが、「どの子にも起こり得る」と文部省が認め奥地 その後、9年代は不登校がどんどん増えていき

やすくなったと言えるでしょうか

永井 それはあると思います。私はそういう言い方は 報告書によって、明るい登校拒否が増えたと語られ ないの」というような感じの不登校が増えたと語られ ないの」というような感じの不登校が増えた」という向 報告書によって、明るい登校拒否が増えた」という向 ないの」というような感じの不登校が増えたと語られ ないの」というような感じの。

し、ひきこもっている人を無理に引き出すようなこという意味では、ほんとうに明るくなっていました。それまではものすごく苦しかったのに、「なんだ、別にそういう育ち方でもいいじゃないか」とわかってくると、非常に力を発揮しました。ただ、大河内清輝くと、非常に力を発揮しました。ただ、大河内清輝くと、非常に力を発揮しました。ただ、大河内清輝くと、かきこもっている人を無理に引き出すようなこと

ていた。 1994年11月、愛知県西尾市の中学2年生、大河内清輝くん(当時13歳)が、いじめを苦に自殺。遺書には、同級生からくりかえし暴行を受けていたこと、多額の金銭をとられていたことなどが記され

## 学校外での学修を

学習審議会と、次から次に入るようになりました。 課程審議会、教育職員養成審議会、大学審議会、生涯 になったんです。同時に、文部省との関わりも、教育 になったんです。同時に、文部省との関わりも、教育 になったんです。同時に、文部省との関わりも、教育

奥地すごいですね。

アやNPOの時代について語った記憶があります。 は「地域共同体の崩壊こそ問題だ」と言ってボランティ 題を意識して発言していましたし、生涯学習審議会で 現を意識して発言していましたし、生涯学習審議会で

**奥地** 公的な審議会の場でも、オランダのように多様

来られたということですね。

ますけれども)。いわば、硬い岩盤はありました。様化」という枠組みのなかにあって、ゆるやかでも、だ、昔ながらの路線にこだわるタイプの教育委員会やだ、昔ながらの路線にこだわるタイプの教育委員会やだ、古ながらの路線にこだわるタイプの教育委員会やがでも、

と主張したんです。つまり、フリースクールやアメリと主張したんです。いま考えると、前川喜平さんが仕掛けたんだろうと思いますが、なぜか私にお鉢がまわってきただろうと思いますが、なぜか私にお鉢がまわってきたがで、私は文書にして「欧米や戦前の日本のように、学校以外での学びを認めることを検討すべきである」学校以外での学びを認めることを検討すべきである」学校以外での学びを認めることを検討すべきである」学校以外での学びを認めることを検討すべきである」

べきであるということです。カンスクールなどでの学修を可能とする方向を模索す

ぱり私のような意見を述べる人は少なかった。くて、結局は両論併記で終わってしまいました。やっところがね、議論が深まらないんです。結論は出な

奥地 まだ時期が早かったのかもしれませんね

永井 早かったですね。私の記憶では、賛同してくれる人は数人しかいなかったですね。私は、学校不適応 る人は数人しかいなかったですね。私は、学校不適応 方制度や、欧米におけるフリースクールやホームス 方には反映されませんでしたが、それをもとに、さか 告には反映されませんでしたが、それをもとに、さか んに議論していたんです。

となってます。 
明治12年の教育令第17条は「学校ニハイラスト雖モ別明治12年の教育令第17条は「学校ニハイラスト雖モ別見れば、学校外が認められているんです。たとえば、見れば、学校外が認められているんです。たとえば、

がなかったです。 奥地 ほんとうだ。すごいですね。教育令は見たこと

学びを修めることができると書いてあるわけです。第条は「学齢児童保護者ハ就学セシムへキ児童ヲ市町村立尋常小学校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ得」となっ於テ尋常小学校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ得」となっ於テ尋常小学校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ得」となっ於テ尋常小学校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ得」となった。第

奥地 家庭も入っているんですね。

し、なぜか国民学校令で、この条文は消えてしまい永井 実際に、これを使った人もいたそうです。しか

を目的としていた。 
を目的としていた。 
を目的としていた。 
を目的としていた。 
を目的としていた。 
の道に則って初等普通教育を施し、国民の基礎的錬成を行う」ことを行なう国民学校について定めた勅令。1941年4月1日施行。「皇を行なう国民学校について定めた勅令。1941年4月1日施行。「皇

奥地 国民学校令ということは、戦時体制ですね

ます。

永井 そう。少国民錬成のための教育に切り替わる。 とでも、それまでは、わが日本においても、学校外で学ぶことが認められていたんですね。この資料は、「フリースクール等に関する検討会議」に出すはずだったのです。私から亀田徹さんに「戦前の規定をしっかんです。私から亀田徹さんに「戦前の規定をしっかり調べて資料にしておいて」と頼んでいたんです。ところが、流れが変わってしまって……。

わっちゃいましたからね。奥地 多様な教育機会確保法案が、原案から大きく変

永井 それで、とても踏み込めなくなっちゃったんで \*11 年少の皇国民。銃後に位置する子どもを指した語。 \*12 (かめだ・とおる) 元文科省官僚。2006年に文科省を辞職 し株式会社PHP研究所へ。2014年、文科省に戻り、フリースクール等担当官に。2017年、再度文科省を辞職し、現在は株式会社Lル等担当官に。2017年、再度文科省を辞職し、現在は株式会社L

> た。 す。なので、この資料は幻のペーパーになってしまっ

**奥地** 残念でしたね。戦前の教育令のことなどは、永

てもくれなかった。 
だけど、当時はそんなことを言っても、誰も振り向い由化論争のころに、あれこれ調べて知ったと思います。 
由教事の自

# 教育再生実行会議からの動き

奥地 先ほど、2003年~2007年の中教審で2013年からの教育再生実行会議でも、そっくりそのまま、その議論が出てましたね。それで、2014年7月の第5次提言で「フリースクールや、国際化に年7月の第5次提言で「フリースクールや、国際化にの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けにの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けにの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けにの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けにの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けにの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けにの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けにの学校外の教育機会の現状を踏まえ、その位置付けに

もういっぺん浮上したという感じを受けました。と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。その後、9月に安倍首相が東京と打ち出されました。

よね。それは文科省から依頼があったんでしょうか。リースクール等フォーラムで講師を務められてましたその一連の動きのなかでは、文科省主催の全国フ

永井 文科省から電話があって、私は「こんな年寄をいました。

奥地 フォーラムは文科省の講堂で開かれて、全国から600人くらい参加してましたし、文科省の職員もたくさん参加していました。私たちの仲間は「文科省の講堂で、国の教育以外もあるよということを目的に集会が開かれるなんて、すごい歴史の曲がり角に来た。感激だわ」と言ってました。

**永井** 前代未聞ですね、たしかに。

というような気持ちはありましたでしょうか。 奥地 講師をされてみて、「やっとここまで来たか」

ですけどね。あんまり、いないようですね。 もうちょっと若い層で、ほかにいないのかと聞いたんもうちょっと若い層で、ほかにいないもりでしたが、 ことですから、最後のご奉公みたいなつもりでしたが、 もうちょっと若い層で、ほかにいないのかと聞いたん

奥地

そう思います。

永 井 います。 は50代くらいの研究者がいらっしゃればいい はなくて、もともとは新聞記者ですからね。ほんとう 私も、 大学の教員はしてましたけど、

のにと思

多明 さん(教育学者/東京大学名誉教授、白梅学園大学学 係の研究者のなかにはいないっておっしゃってまし から出られていないんですね。 も、学校外を視野に入れての研究者は、教育学関 日本の教育関係の研究は、 人さん(教育学者/早稲田大学教授)と汐見稔幸 多様な学び保障法を実現する会の共同代表、 なかなか学校教育の枠 喜

と個別的な教育需要に弾力的に対応し得るよう、学校 「教育を受ける側としての児童、 れはあるんです。臨教審の第2次答申(1986)では、 の権利と意見を十分に尊重し、 でもね、 先ほどから申し上げているように、流 能力に応ずる機会均等 生徒、学生、 両親等

> ます。私は、これはうれしくて、 認など、多様な選択の機会を拡大する」と書かれてい 体系の多様化、学校、家庭、社会の諸教育機能のネッ きました。 トワーク化、年齢制限・資格制限等の緩和、例外の承 あちこちで引用して

研究者で

奥地 ういう方向をおっしゃっていたということですかね 永井さんのほかにも、どなたか委員の方が、 そ

かも、 自律を重んじるような諸制度、諸施策が一層導入され よりも柔軟を、集権よりも分権を、 なければならない」とまで言っているんです。 この第2次答申では「画一よりも多様を、 私は新聞記者として取材していただけです。 統制よりも自由・ 硬直

奥地 そうですか。 相当、 意識が高いですね

先の改革論議から、 永井 向へと大きく舵を切った」と書きました。 そうなんです。 個人のニーズにも心配りをする方 それで、私は「社会のニーズ優

奥地 よか たということですね。そこで、もう少し議論が進めば ったんでしょうけど、残念でしたね。 なるほど。新聞記者として、そういう評価をし

永井 げたとおり、「教育の自由化」と「自由の教育化」の ほどよい調和を、 おかしくなかったんです。それで私は、 もう一歩踏み出せば、就学義務の話になって、 と書いたわけです。 先ほど申し上

た流 奥地 りうるもの」という見解が出された背景にも、 れの影響はあったんでしょうか なるほど。「登校拒否はどの児童生徒にも起こ そうし

尊重し」と書いているわけですからね。 ての児童、生徒、学生、両親等の権利と意見を十分に それは、 ありえますね。「教育を受ける側とし

奥地 のがありますね。 そうですよね。 歴史をひもとくと見えてくるも

### 教育機会確保法案の 変遷で

等に関する検討会議の座長を引き受けられるとき、 奥地 ういう方向でやろうと考えておられましたでしょう 話を最近の流れに戻しますが、 フリースクー と ル

とい 永井 にインターナショナルスクールなどについて検討する のないフリースクールの扱いについて検討し、 化して中間的にまとめたあと、不登校とは直接関わり んとも相談して、最初に不登校とフリースクールに特 · う、 文科省のフリースクール担当官だった亀田徹さ 大まかな流れを示していたんです。 その後

奥地 そうですね。 それは覚えてます。

永 井 あり方そのものまで行くと思ってました。 んと広がりを持ったところに行くはずで、 それを最初に確認しましたね。だから、話はぐ 検討会議の 就学義務の

ことないです。

養の必要性」なんて言葉づかいが入っているのは見た

協力で、

つまり公共的なことを民間も行政もいっ

に担っていくようにしていきたいですね。

律はないので、これをベースにして、

市民協働、

公民

- 563 -

そうでしょうね。こんな異例の文言の入った法

しては異例とも思える文言が入っています。法律で「休

永井

しかし、

教育機会確保法には、この手の法律と

所で学ぶような、ねじれ現象でやっているんですよね。

籍で、学校に籍を置きながら、

実質的には、

ほかの場

奥地

その文言を残すのが、

なかなか、

たい ^ んだ

たみたいです。

えるところまではいかなかったので、相変わらず二重 歩は踏み出せたかなと思います。ただ、就学義務を変 に学校以外で学んでいる子どもたちがいるわけですけ どもたちは学校以外を必要とし、家庭を含めて、実際 ようにも、法的な根拠がなかったわけですからね。子

法的な位置づけがなかったわけです。

だから、一

るわけです。

はフリースクールや自宅でけっこうですよと言ってい 動の重要性に鑑み」と書いてあるわけですから、これ 生徒が学校以外の場において行う多様で適切な学習活 も学ぶことが重要であると認めている。「不登校児童 学習できる状態になったときには、学校以外の場所で わけです。休んでもいいんだと。その次に、子どもが

奥地

そう思いますね。いままでは、学校以外を認め

永井

突破口は開けたと言ってもいいのではないかと

永井

個々の不登校児童生徒の休養の必要性を認めた

思います。

もつ

いたので、これから変えていくということですね。

奥地

そうですよね。これは、最初の案から現法律に

変わるプロセスで入ってきた文言です

そうですね。さいわい3年で見直しという目安

委員も、

意気込んでおられたように見受けました。

みなさん明るい希望に満ちた感じだっ

奥地

座長としては、

残念なお気持ちだったと。

永井

受けましたね。

- 562 -

最初は、

しかし、

永 井

法チームのなかでゴチャゴチャになってしまったで

たんですけどね。

多様な教育機会確保法案が、立

11

や

座長というよりも委員としては、最初

結局、

しょう。

ほんとうに。右も左も、

そういう意味で

わけです。

だ、そこで座長という立場を踏まえると、行政内部に

やりがいはあると思っていたんです。た

ある検討会議が、法律以上のことを言えるわけがない

は重いけど、

交通整理のとおりのことをするつもりでしたから、

保守主義的な考え方もありましたし、革新系の党の人 登校を助長するんじゃないか」みたいな、ゴリゴリの は学校中心主義がありましたね。古い考え方の、「不

たちも、最初は協力してくれると思っていたのに、多

様とか学校以外を認める前に、やっぱり学校を変える

フリ

べきだろうという主張になっていきました。それで、

結局は中途半端な法律になってしまったということで

組みのなかで、可能なかぎり、

やるべきことと、

でき

ることを盛り込むことにしよう」と思った記憶があり

それしかないと。

たと思いますが、私は「こうなったら、この法案の枠 す。だから、みなさんのなかにも腹ふくるる思いがあっ その範囲以上のことは何も言えないことになるわけで います。文科省の役人も、ああいう法案になったら、

行政と立法とは、おのずから役割分担も機能もちが

したね。一歩前進にはなるかと思いますが、法律の方

向がそうなったので、 ースクール等に関する検討

会議も影響を受けたんですよね。

永井

そうなんです。

それで、途中でわかったことは

議の報告書も、公民連携を強く打ち出しましたね。 奥地 そうですね。フリースクール等に関する検討会

# 新しい公共に向けて

永井 そこが一番のミソだと思います。98年のNPO法施行以来、20年近く経って、ようやくNPO法の趣旨が成熟してきたように思います。私はNPO法のときも、その輪の中に入って、さんざんやっていたんときも、その輪の中に入って、さんざんやっていたんときも、その輪の中に入って、さんざんやっていたんと

ごく似ているし、学ぶことがあると言われました。 ちからは、教育機会確保法はNPO法の成立過程とす のですか。NPO法に関わった人た

\*13 特定非営利活動促進法。1998年3月公布、同年12月施行。 が広がって、NPO法につながりましたが、私は80年が広がって、NPO法につながりましたが、私は80年の場合を表現します。

当時は人が集まらなくてね。代半ばからNPO研究会に関わっていたんです。でも、

奥地 ほんとうに早すぎですね。

永井 東京でも、大阪でも、名古屋でも、フォーラムなどを開いたんです。でも、人は集まらないし、「NPOってなんだい、プロパンのもとのLPGかい?」なんて言われたりしてね。そういうことをしていたものですから、NPO法のときには、それをつくる輪の中にいて、それも新聞記者の枠をはみ出しちゃうので、表向きは目立たないように、その運動に関わっていま表向きは目立たないように、その運動に関わっていま

のは実際のものにならないということですね。 奥地 やはり時期を待たないと、なかなか先駆的なも

うのがありましたね。2000年に最終報告書を出しが座長をされていた「21世紀日本の構想」懇談会といが生

す。 した。そこから新しい公共論がスタートしているんでした。そこから新しい公共論がスタートしているんでてますが、そこでは、公と民と官の整理をされていま

出の枠にフリースクールが入ってるんです。イギリスの教育制度のように、オランダでも、

こられて、いま振り返ってみてどうでしょうか。て、若いころから、ずっと日本の教育問題に関わってうことですね。機が熟さないと広がらない。そうやっ奥地 なるほど。物事を進めるには時間がかかるとい

永井 30年ぐらい前に、オランダでも、不登校や登校ちばん感動しましたね。オランダでも、不登校や登校打否問題について、役人、先生、校長など、もう会う担では、いろんなところで聞いたんです。100人がとに、いろんなところで聞いたんです。100人が、いる、けげんな顔するんですよ。

2. 火。 といった。 とういう問題自体がなり、 といった。 とういう問題自体がない。 とういう問題自体がない。

ぶということになる。 校には行かなくても、「不」ではない。別の学びを選校には行かなくても、「不」ではない。別の学びを選

登校なんて、探してもいないんですよ。が法の枠組みのなかで機能しているわけですから、不が法の枠組みのなかで機能しているわけですから、不

奥地 私もイギリスに何回か行って、ホームエデュ

で、それは実感としてわかります。ケーション家庭に泊めてもらったこともありますの

# 引き出すには一人ひとりの可能性を

永井 していかない 高めていく以外にないわけです。社会の活力維持とい 子どもたちの一人ひとりのポテンシャルを引き出して る人々が減るということです。 子どもの数が減るということは、社会の活力を維持す 教育の枠組みのなかに認めて、 を最大限に引き出して伸ばしていくということに注力 う点から考えてみても、 く方向が必要だと思います。 それを踏まえれば、やっぱりフリースクールを と、日本はえらいことになると思います。 一人ひとりの子どもの可能性 いまは少子化でしょう。 そうすると、 公的な補助を出してい 数少ない

永井

な行く行かないは勝手だったわけですしね。

。学校とい

明治以前、江戸期の手習い塾や寺子屋は、

ります。

量に育ててきたことはまちがいないけれども、

それだ

とも効率のよい枠組みと方法でつくってきた側面があうのは、兵士や近代化を担う人間をつくるために、もっ

学校が、近代化と経済成長に資する人間を大

の子に合わないわけですよね。 奥地 そこですよね。学校教育一本では、一人ひとり

めない発想ではないと思います。 ていたんですからね。日本においても、そんなになじていたんですからね。日本においても、そんなになじかます、 私教育という発想を、日本だって戦前は持っ

強いですよね。 はみ出さずに、いっせいに付与するものという発想がはみ出さずに、いっせいに付与するものという発想が

みませんかと思います。けで、みんなが幸せになるのか、もうちょっと考えて

がとうございました。 奥地 それが今後の課題だということですよね。あ

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #25 永井順國さん

インタビュー日時:2017年7月18日

記事公開日:2017年9月26日場 所:東京シューレ葛飾中学校

聞き手:奥地圭子 まとめ:奥地圭子 写真撮影:木村砂織 不登校 50 年証言プロジェクト

### #26 松浦幸子さん

う

と聞いてくれると、すごくホッとしたんです。

くれないと、「ご飯食べてない」とは言えない。

ました。それで、その家の方が「ご飯食べてきた?」

屮 には子どもが3人いて、 てこられたそうですね。 かがいたいと思います。 46年11月に引き揚げてきました。 母は満州の安東(現在の丹東) まずは、 松浦さんの子ども時代のことから、 お母さんは満州から引き揚げ 私は3番目、

ず父が見つけて迎えに来て、帰らないといけ

のときは屈辱的な思いがありましたね。

それでも、

私がいじけないですんだのは、

母が子守

らにすごくうれしくて、

安心しました。

でも、

ない。

子どもなが

だから、 聞いて

「ご飯食べてきた?」と聞いてくれると、

ていて、 ぶして、新潟の農家に嫁いだんです。その家では、結 手を探していたんですね。 核で先妻を亡くして、先妻の子どもも2人いて、 の年の12月30日、 にかく、 食べていけない状況だったんですね。父は病に臥せっ 948年5月ですが、とても貧しくて、ほんとうに この冬を越せるだけでもという思いから、 このままだと赤ん坊の私を育てられない、 母は子ども2人を置い に13年住んで、 生まれたのは 父とのあいだ て、 私をおん そ ح

> と思います。 歌のように、

母は隠さない人だったので、

「あなたの

実の父のことを話してくれていたからだ

だったらDVで問題になるところですが、 暴力がひどくて、 う殴られ でも、当時の農村は貧しかったですし、 たり蹴られたりしていて、 私は母を連れて、 母はすごく苦労していました。 友だちの家に避難して ケガをして働けな 育ての父の しょっちゅ 11 ま

対にしてはいけない」ということでした。「戦争をす

口グセのように言っていたのは、

「戦争は絶

あの状況に耐えられたんだと思います。

ほんとうのお父さんは立派な人だと

暴力をふるう人はほんとうのお父

思うことで、 さんではなくて、 の心の誇りとして、 のことを尊敬していたことが伝わってきました。 ほんとうのお父さんは」とよく語ってくれて、母も父

自分

ると人の心がずたずたに引き裂かれてしまうから、

### #26 松浦幸子 さん



(まつうら・さちこ)

1948年、新潟県生まれ。働きながら法政大学文学部で学び、1972年卒業。 1982 年、東京 YWCA 専門学校社会福祉科を卒業し、精神科ソーシャルワー カーに。1987年、心を病む人たちが食事づくりで交流する居場所、クッキン グハウスを設立。クッキングハウスは、1992年に玄米食のレストランを始め、 2001年にはティールームも開設。2005年12月、精神障害者自立支援賞(リ リー賞) 受賞。著書に『不思議なレストラン』『続不思議なレストラン』『生き てみようよ! 心の居場所で見つけた回復へのカギ』(教育史料出版会)など。

インタビュー日時:2017年9月14日

聞き手:山下耕平

場 所:クッキングハウス(東京都調布市)

写真撮影:山下耕平

実のお父さんは、 満州では、どんな仕事を。

屮

帰国後も何年も病気が癒えず、 んだったようです。その後、いまの新潟県三条市で信 満州鉄道の社員で、安東で税務署の署長をして 引き揚げのときは、最後まで引き揚げ 過労で担架で船に運ばれて、 復帰するまでがたいへ

用組合をつくって、

信頼のある仕事をして亡くなった

そうです。

た。母は「そのことだけは申し訳なかった」と悔いて しかし、私は父には1回も会うことはできませんでし いました。 が兄弟にわかって、兄たちと会うことができました。 父が亡くなったとき、遺産相続の手続きで私の存在

屮 父さんにもお母さんにも、 農の家だったんですよね。かなり生活状況は厳しかっ があったのでしょうね……。 950年代の農村地域で、 戦争が引き起こしてしまった事態のなかで、お 引き裂かれるような思い しかも、 松浦さんが育ったのは、 もともとは小作

たんでしょうか。

ると、屋根の石がごろごろ落ちてくるんです。 葺いた上に重石が乗っかっていてね。台風なんかが来 そっと通り抜けないと中に入れない。屋根も、杉皮を 開けると馬がいて、その馬が横を向いているあいだに、 は、玄関はむしろがかかっているだけで、むしろ戸を ほんとうに貧しかったですね。母が再婚した家

ですね。 投げつけられて、母は足をケガしていました。でも、 や油を使ったというだけで怒鳴られて、 くは許せないというので、あるとき、料理にしょうゆ 貯めて田んぼを買うたんだ」と言ってました。ぜいた うちだけではなくて、当時は、どこの家も貧しかった おじいさんは、口ぐせのように「塩をなめなめ金を 養父に茶碗を

とめてくれて、癒やしてくれる。それで、「土はい なくて泣いたとき、誰にも言えない思いを、土が受け そこで泣いていたそうです。ほんとうにどうしようも もんだね。 母は、 夜遅くまで畑にはいつくばって働いていて、 さんざん泣いても、土の上だと、

気になって体がしゃんとする」と言っていました。

屮 松浦さん自身も、ご苦労があったでしょうね

先妻の子も2人いるでしょう。どうやって隠して食べ ご飯を食べられることができたらいいのにと、 て緊張して食べていたのを、いまでも覚えてます。で ていいかわからない。必死になって、真っ赤な顔をし まわりには、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、 に生卵が沈めてあることがあってね。丸いちゃぶ台で、 じるんだけど、音を立てないようにするのが大変でね。 たんです。 た人と出会ったときに、やはり、ご飯が大事だと思っ てくれるんです。 て、夜、寝ていると、布団のなかに煮干しとかを入れ そういう経験があるから、後に、私が心の病気をし それくらい、栄養が足りなくて弱かったんですね。 就学前にそう言われたものですから、母は心配し 一番つらかったのは、私の茶碗だけ、ご飯の下 当時、私は栄養失調みたいな状態だったんです 緊張しないで、 ふとんをかぶりながら、煮干しをか みんなで明るく笑い合って ずっと

思っていたんだと思います。

## 学校が居場所だった

中 学校との関係はどうだったんでしょう。

に書い れとか言ってね。父と酒を飲んで、話し込んでもくれ れるようになりました。家で飼っていた馬に乗せてく ます。先生も気にかけてくれて、私の家によく来てく それからは、学校のなかでは明るくなったように思い て、びくびくしていたんですが、先生は「もっと書い 父が暴力をふるっていてつらいなんて、 と書いていいよ」と言ってくれたんです。それまでは、 たんだと思います。それを教師が読んで、「幸子、もっ たんです。誰にも言えなくて、書かずにはいられなかっ いけないことだと思っていたんです。ですから、作文 いよ」と言ってくれた。それで緊張がほぐれて、 小学校2年生のとき、作文に、 たことで先生に怒られるんじゃないかと思っ 心配してくれていたんだと思います。 家のことを書い 人に言っては

ね

話をしたり、おやつを分けてもらったりしていました。て、そうすると日直の先生がいて、そこで勉強したり、す。家がとってもつらいときは、日曜日でも学校に行った品場所ではなくて、むしろ学校が居場所だったんでです。 先生と人間的なつきあいができた。家はぜんぜだから、私自身には、学校にはいい思い出が多いんだから、私自身には、学校にはいい思い出が多いん

でしょうし。

・ 学校に行くことで、生活苦から逃れることがで

・ はいっというとがで

・ はいっとがで

・ はいっとがで

・ はいっとがで

くてね。農作業で楽しい思い出はないです。 な、田植え休み、稲刈り休みと1週間ずつの休みがあ は、田植え休み、稲刈り休みと1週間ずつの休みがあ けましたが、学校は休みといっても、家の仕事は手伝 わないといけない。町の子は遊べるから、うらやまし かないといけない。町の子は遊べるから、うらやまし

ら」とか言って、休んだりしてました(笑)。先生のいたくないときは、学校の先生に「家の仕事があるかでも、高校ぐらいになると、逆手にとって、学校に

いう意味では、いまの子はたいへんですね。うだけ。抜け道がいっぱいあった時代でしたね。そうほうもわかっているんだけど、「ああ、そう」って言

たのではないかと思いますが。
山下 高度経済成長期に入ると、農村も変化していっ

松浦 経済成長は、ちょっと遅れてやってきた感じで れた。農村では、冬場は収入がないので、男性は、オリンピックや地下鉄の工事で、東京に出稼ぎに出てま した。それで行方不明になって帰ってこないお父さん もいました。そのうち、洗濯機とかテレビとか、少し ずつ入ってきてね。テレビの入った家には、みんなで 集まって見せてもらうとか、宝物みたいにしていました。それと、私が中学生ぐらいのとき、兄にお嫁さん が来て、嫁入り道具に洗濯機を持ってきたんです。手動でしぼっていく洗濯機でしたけど、すごくびっくり して見た覚えがあります。

**山下** 生活改善運動なんかもあったそうですね。

松浦 村の公民館に女性が集まって、料理を教えてもらうんですね。そこで、マヨネーズづくりを教わったりしました。卵とお酢と油を混ぜると、マヨネーズがんっていて、そんなものは食べたことなかったですが入っていて、そんなものは食べたことなかったですが入っていて、そんなものは食べたことなかったですが入っていて、そんなものは食べたことなかったですが入っていれ。でも、こんなおいしいもの、家ではつくれいしいね。でも、こんなおいしいもの、家ではつくれないよね」と言ってました。家では、ぜいたくだと怒られてしまう。だけど、みんなで集まって、料理を教えても出し合って、ご飯を食べるのっていいなって感じても出し合って、ご飯を食べるのっていいました。考えました。そこでは、母もイキイキしていました。考えてみたら、それも自分の原点なんですね。

## 進学組と就職組と

当時、高校に進学する人は、まだ少なかったんですよ山下 松浦さんは、中卒後、高校に進学されてますが、

松浦 私の育った村の近くに、栃尾市(いまは合併して長岡市)があって、繊維の町だったんです。町中でると、織物工場の社長たちが、菓子折のなかにお金を入れて各家に来てました。中学を卒業すると、みんな機織女工になっていました。高校に進学したのは、全体の3分の1ほどだったと思います。でも、私は機織の音がきらいで、こんなことをするのかと思うと、気の音がきらいで、こんなことをするのかと思うと、気持ちが真っ暗になるくらいイヤだったんです。

それと、教師たちも、私を高校に行かせてくれと思ってくれたんですね。そのためには先妻の子であと思ってくれたんです。教理の子だけ高校に行かせないと生たちが家に来て父を説得してくれたんです。父には生たちが家に来て父を説得してくれたんです。父にはいうことはできないからと、私も高校に行かせてあげたいることになりました。

けど、どうしていいかわからない。それで18歳で高校は耐えられないことでした。家を出たいと思っていた過ごすということでしたからね。それは、私にとってでも、高校に行くということは、また3年間、家で

間部に入りました。 ど行けない人たちを採用してくれていたんです。最初 の年は、独身寮に入って、その1年後に法政大学の夜 を卒業して、集団就職で東京に出てきたんです。 当時、北里研究所が、貧しくて、学校に行きたいけ

屮 ちはありましたでしょうか? 進学することへの、うしろめたさみたいな気持

ことでもありましたし、そういう意味でも、 時期は、子どもたちもたいへんだったなと思います。 忘れられないですね。いまでも思い浮かびます。あの もいました。そのときの、ほんとうにつらそうな顔は なって出稼ぎから帰ってこなくて、就職組に移った子 進学組に入った男の子でも、お父さんが行方不明に 生徒間に断絶が生まれる。それはつらかったですね。 ると、進学組と就職組で分けるんですね。そうすると たさはありました。それで、 それと、東京に出るということは、母を置いていく すごく、 ありました。中学校3年生の後半に あんなに農村がイヤで うしろめ

> 農民文学をテーマにしたんです。 あんなに離れたいと思っていたのに、大学の卒論では、 れられなかったんだと思います。 やっぱり、 どこか忘

屮 文学部だったんですね

けない 糾弾されていたり、学長も館詰めにされたり、中核派 受けてないんです。 なって大学に入れないし……。 を持って囲んでいて、しょっちゅう、ロックアウトに 田舎から出てきたのに、なんで暴力に直面しないとい とか革マル派が内ゲバをしていたりね。 じかった。 て大学に行ったのに、毎日が闘いで、とにかくすさま が、当時は学生運動がすごくてね。暴力から逃れたく そうです。働きながら夜間部に行ってたんです のって思いました。 しょっちゅう誰かが「自己批判しろ」って 大学のまわりは機動隊が盾 だから、 暴力がイヤで あまり授業を

中 大学入学は何年だったんでしょう。

地にデモに行って、「アメリカはベトナムから出て行 たと思いますが、 でも、私はどうしても暴力がダメで、そういう場には でフランスデモに参加したりしたことはありました。 け」ってシュプレヒコールをあげたり、国会議事堂前 私も上京してすぐに、同郷の先輩に誘われて横田基 いに、3畳の部屋に逃げこんでくるのね。よく泊まれ くまったりしていました。友だちが、夜中の2時くら いられなかったんですね。 あの時代はすさまじかったと思います。 1968年でした。学生運動真っ盛りのころで、 何人も来たりしてました。 むしろ、逃げてくる人をか いま考え

屮 れたんですよね。 そんななか、 大学生のときにお子さんを出産さ ても、

松浦 産後も学生は続けて、4年生のときには、母に子ども 学生結婚で出産するというのは異端の目で見られても してました。家庭教師もしていましたし、あの当時は、 のめんどうをみてもらって、母校で教育実習をしたり 2年生で結婚して、3年生で出産しました。出

> いましたし、 いろいろたいへんでしたね

屮 おつれあいも学生だったんですかっ

松浦 んです。 ました。 いえ、 7歳年上で、 中国文学研究会の友人のお兄さんだった 東京ガスで技術者として働いて

# 子どもの不登校で見えたこと

松浦 が学校を拒否するとは思ってなくて、ショックでした。 げ場でも居場所でもあったので、まさか自分の子ども くなったんです。私にとっては学校は文化の場で、 70年に長男が生まれて、その子が学校に行かな

屮 学校に行かなくなったのは何歳ごろだったんで

松浦 でした。教科書をズタズタに破られたり、いじめもあっ 行きしぶり始めたのは、 小学校3年生ごろから

をして、ご飯も食べない。昼夜逆転して、夜通し起きないて、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人でいて、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人でいて、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人ないて、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人をして、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人をして、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人をして、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人をして、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人をして、私たちが起きるころに寝ますでしょう。本人をしても、ずいぶん心配しもたいへんでしたけど、親としても、ずいぶん心配しもたいへんでしたけど、親としても、ずいぶん心配しもたいへんでしたけど、親としても、ずいぶん心配しもたいへんでしたけど、親としても、ずいぶん心配し

ばる」とか言うんです。 私も息子を追いつめてしまいましたが、私自身、夫 をもに対しても「教科書1冊勉強したら、お小遣いあ が大学に通うために息子を保育園にあずけたりし ないがらそうなったんだ、とかね。子 で、愛情が足りないからそうなったんだ、とかね。子 でもに対しても「教科書1冊勉強したら、お小遣いあ があまりないからそうなったんだ、とかね。子 ましたし、たいへんでした。

山下 母親が責められることは多かったですよね

ら責められることはなくなりました。 
れ」と言ってくれたんです。それからは、夫側の親かきに変わって、自分の親に「いっさい干渉しないでくす。一時期は、夫も私を責めていたんですが、あるとす。一時期は、どこの家でもそうだったと思いま

山下 おつれあいが変わったきっかけは?

いう影響もあったかもしれません。そのころから、私がこの活動を始めていたから、そうそのころから、私がこの活動を始めていたから、そう、

**山下** 一方で、松浦さんのお母さんは、だいぶ見方が

ますように」と、毎日、お地蔵様に祈っていたそうでが心配だと言って、「幸子が心にゆとりをとりもどせ学校に行かないことよりも私の心にゆとりがないこととがいいことのよのを育てるとき、いのちそのものを育て松浦 母は、私を育てるとき、いのちそのものを育て

ら言えるようになりました。とういうことが、カタカナまじりの手紙に書いて、息子が悪いのではなくて、心にゆとりがないのはな子から奪ってはならないと思いました。そこで初め息子から奪ってはならないと思いました。そこで初めた。息子に「学校に行かなくてもいいんだよ」と心から言えるようになりました。

まったく行きませんでした。校には行かないことにしたよ」と宣言して、その後は分なりに結論を出して、中学2年生になるとき、「学分なりに結論を出して、中学2年生になるとき、「学のなりに結論を出して、中学2年生になると

だりもしていましたね。 
照)の学習会に参加したりして、不登校について学ん会ったり、佐々木賢さん(本プロジェクト記事#07参会のころ、奥地圭子さんの登校拒否を考える会に出

山下 そうすると、見方が変わったのは、親の会など

いつのまにか学校の尺度で自分の息子を見ていた。 勉強しても頭の理解ですよね。それよりも、ハートに 勉強しても頭の理解ですよね。それよりも、ハートに 思い返すと、母は私のいのちを育てることしか思って 思い返すと、母は私のいのちを育てることしか思って 思い返すと、母は私のいのちを育てることしか思って 思い返すと、母は私のいのちを育てることしか思って 思い返すと、母は私のいのちを育てることしか思って いなかったんですね。それなのに、私は自分の息子に、 学校に行ってほしいとか、成績をよくしてほしいとか、

子さんは中学校卒業後は、どうされたんですか?して生きてきた都市部では、生きている世界も大きくして生きてきた都市部では、生きている世界も大きく

# 英語もできないままアメリカに

て、しばらく活動していました。 球の子どもの家というフリースクールに通い始めまし 松浦 中学校は形式的に卒業して、府中市にあった地

山脈を3カ月かけて越えるキャンプをしたり、そうい上いうついたそうです。でも、着いたいで、突然、アメリカに行って勉強してくるとで、英語もできないのに、ひとりで行ったんですよね。学ビザを取って、『地球の歩き方』という本だけを持っけで行くよ」と言われて、そのまま1カ月ぐらい、メプに行くよ」と言われて、そのまま1カ月ぐらい、メラに行くよ」と言われて、そのまま1カ月ぐらい、メラに行くよ」と言われて、そのまま1カ月ぐらい、メラに行くよ」と言われて、そのまま1カ月ぐらい、メラに行くよ」と言われて、そのまま1カ月ぐらい、メラに行くよ」と言われて、そのまま1カーでは、アパラチアルというでは、アメリカに行った。

るようになったんだと思います。やすことができて、自分の力で生きていくことができた。アメリカに行ったことで、それまでの心の傷を癒

3人の子どもの父親です。25歳で結婚して、26歳で父親になって、いまは47歳で3年ほどアメリカにいて、帰国後は大工になって、

昼夜逆転していたことも、その起きている夜のあいば、不登校の先駆者みたいなところがありますね。 歴関係なし、腕1本でやってきました。時代的に言え を選くまで働いて、たいへんだったと思いますが、学 大工仕事も、朝5時に起きて、厳しい親方のもとで

ワーがあったかもしれないですね。
た。いま思うと、あのころの子どもたちのほうが、パいて、結果としては、それが大工の仕事にもつながった。いまでうと、あのころの子どもたちのほうが、パールを表しては、それが大工の仕事にもつながって

山下
ほかのお子さんたちは、どうだったんでしょう。

ですが、3番目の娘も、一時期は不登校でした。小学松浦 子どもは3人いて、次男は不登校はしなかった

校5年生のときの担任が暴力をふるう人で、自分が直接やられたわけではなかったんですが、それを見ているのが耐えられなかったそうです。長男のことがありるのが耐えられなかったそうです。長男のことがありましたから、私は認めていたんですが、そうすると、生が「お兄さんが不登校だから、この子もそうなんですかね」とか言ってきたりね。あるいは、クラスの子が娘を取り囲んで「あんたが学校に来ないことで、担任の先生が教育委員会に呼ばれて大変なのよ」っていました。小学校6年生から絵を描いていて、クッキングハウスの内装なんかは、彼がぜんぶ手がけてくれてます。ウスの内装なんかは、彼がぜんぶ手がけてくれてます。

# **,ッキングハウス立ち上げまで**

たちの不登校経験がきっかけだとか。 山下 クッキングハウスを始められたのも、お子さん

通って、 指導してもらうというプログラムです。昭和大学付属 神科病院を選んだんですね。当時は、あまり行きたい した。それで、専門学校で実習に行くというとき、精 きは、常に少数者の側で考えたいと思うようになりま 直したいという思いがありました。子どもが学校に 経験は強烈でした。 人がいなかったんです。1年間、毎週1日、 うになった自分でいいのか。それと、何か判断すると の子と同じようにできるようになってほしいと思うよ 入ったときから、成績がよくなってほしいとか、 して、自分自身の生き方がこれでよかったのか、 の社会福祉科に入学したんですが、息子の不登校を通 病院という単科の精神病院でしたが、 そうですね。私は82年に東京YWCA専門学校 スーパーバイザーの先生にレポートを出して 実習先に そこでの ほか 考え

ほどでした。10畳の部屋に10枚のふとんが敷いてあっました。病棟内は、おしっこや汗のにおいと、食事のました。病棟内は、おしっこや汗のにおいと、食事のにおいるがであった駆け寄ってきて、握手を求められ

て、窓には鉄格子がはまっていて、そこにパンツやタて、窓には鉄格子がはまっていて、そういう事実が誰にも知られていない。そういうで、そういう事実が誰にも知られていない。そういうなかで、窓には鉄格子がはまっていて、そういう事実が誰にも知られていない。そういう事実が誰にも知られていない。そういう事実が誰にも知られていない。そういうなかけている人たちに、たくさん出会いました。そして、そういう事実が誰にも知られていない。そういう社会への怒りも湧いてきました。

それと、実習を重ねるうちに、だんだん心が通い合きていきたいという共感を覚えましたし、しっかり自きていきたいという共感を覚えましたし、しっかり自たと感じて、それを自分の仕事にしていきたいと思ったんです。

シャルワーカーとして仕事をされていたんですね。山下 クッキングハウスを始められるまでは、ソー

ですし、保障はどこにもありませんでした。点数にもならないので、どこの病院も雇いたがらない松浦(そうです。ただ、まだ制度のない時代で、医療

院で、 亡くなって、退院させてあげたいけど、社会的サポ 療センター)に18歳から20年間、 暮らせるようにサポートしてほしいと依頼されたんで かということでした。 トがないと退院できない。 体を気にして、娘のことを隠していたんですね。 いました。親は社会的地位のある人だったので、 下総療養所は、戦争神経症になった人が入っていた病 すね。その方は、国立下総療養所(現在の下総精神医 た精神科医の恩師に、長期入院していた女性が地域で ポートする仕事をしていました。実習でお世話になっ 最初の5年間は、 当時は、兵隊さんだった人もいっぱい入院して 退院した方をマンツーマンでサ それで、 入院していました。 サポートできない 親が 世間

すが、ほんとうにたいへんでした。てんかん性の精神たりして、地域で暮らせるように取り組み始めたんでそれで、その方を自宅に泊めたり、アパートを借り

ングハウスを立ち上げることにしたんですね。とうにもならない。そこで、逃げるか続けるかの、崖っどうにもならない。そこで、逃げるか続けるかの、崖っどうにもならない。そこで、逃げるか続けるかの、崖ったらがいくらエネルギーをつかっても、ひとりでは病で、知的障害もあって、被害妄想や幻聴もあって、病で、知的障害もあって、被害妄想や幻聴もあって、

# **「おいしいね」から始まる文化**

当時、精神障害をもつ人の共同作業所は、いくつかはできていましたが、調布にはなかったんです。だから、つくるしかなかった。ほかの作業所も見学しましら、つくるしかなかった。ほかの作業所も見学しましら、つくるしかなかった。ほかの作業所も見学しましたが、内職仕事を黙々としているだけで、なんか雰囲たが、内職仕事を黙々としているだけで、なんか雰囲たが、内職仕事を黙々としているだけで、なんか雰囲たが、内職仕事を黙々としているだけで、なんか雰囲たが、内職仕事を黙々としているだけで、なんか雰囲たが、内職仕事を黙々としているだけで、なんか雰囲になって、方にはないで、大化をつくっていけるような場所を開かないといけないと思って、居場所を始めようと思ったんいといけないと思って、居場所を始めようと思ったんいといけないと思って、居場所を始めようと思ったんいといけないと思って、居場所を始めようと思ったんいといけないと思って、居場所を始めようと思ったんいといけないと思って、居場所を始めようと思ったん

です。

らしく暮らせるかもしれないと思ったんです。飯を食べられる場所と想像できる。ご飯を食べられる場所と想像できる。ご飯を食べられる場所と想像できる。ご飯を食べられるりということから気持ちのいいコミュニケーションは始ということから気持ちのいいコミュニケーションは始という名前は、誰が読んでも、ごクッキングハウスという名前は、誰が読んでも、ご

きる媒体になる、食事を文化にしたいと思ったんです。見ていて、食事は、気持ちよくコミュニケーションで入れて病室に帰っていく。そういうわびしい暮らしをて、誰とも話さずに食べて、余ったら、青いバケツに当時、病院の食事事情はとても悪かったんです。黙っ

山下 なるほど。食べることを大事にするというのは、山下 なるほど。食べることを大事にするというのは、

キングハウスに来てくれていて、元気にしています。松浦 いま、彼女は74歳になりますけど、いまもクッ

のなかでは、つながっていたのでしょうか? る人に地域に居場所が必要だと思われたことと、息子る人に地域に居場所が必要だと思われたことと、息子

屋さんだったんです。脱サラしたおじさんが個人で開 松浦 所というものに自分なりの思いがあったと思います。 たように、私も居場所を開きたいと思いました。最 だったんですね。その本屋さんが居場所だったんです。 なったんですね。 てましたが、その前に救われたのは、地域の小さな本 が居場所だったんですが、 もあったかもしれません。 の配達でOKだったから、昼夜逆転していても大丈夫 つぽつ、おじさんと話し始めて、 息子が孤立しないですんで、 た本屋さんで、そこで立ち読みしているうちに、ぽ 不登校に無理解だったことへの償いという気持ち そうですね。息子は地球の子どもの家にも行 配達と集金の仕事ですが、 自分の経験としても、 私が子どものころは、 話のできる人を見つけ バイトをするように 夕方から 学校 9

> 本の感じはわかるように思います。 との感じはわかるように思います。 との感じはわかるように思いて受けとめて、その人が生きられる場として開いているかのちがいかもしれないですね。私もフリースクールなどに関わってきたので、ですね。私もフリースクールなどに関わってきたので、ですね。私もフリースクールなどに関わってきたので、その感じはわかるように思います。

松浦 先ほどお話ししたように、自分が子どものころ、ケガをした母と友だちの家に行ったとき、「ご飯食べてきたかい」と聞いてくれたことで安心した思いがありましたから、そういうことを心から言ってあげられるような居場所をつくりたいと思っていました。だから、クッキングハウスでは、何より先に、おいしいもら、クッキングハウスでは、何より先に、おいしいもら、クッキングハウスでは、何より先に、おいしいあら、クッキングハウスでは、何より先に、おいしいあっかあった。だいたい落ち着くんです。

どう対処するという話ではないわけですね。山下にくわかります。症状に目をとられて、そこに



ランチの準備のようす

水油 どういう状態で来ても、その人がそのまま、丸 松浦 どういう状態で来ても、その人がそのまま、丸 に立ち会える場なんです。ただ、いつ、そうなるか はわからない。その人を迎え入れているうちに、いつ はわからない。その人を迎え入れているうちに、いつ はわからない。その人を迎え入れているうちに、いっ はわからない。その人を迎え入れているうちに、いっ

松浦 それをみんなで喜べる場なんです。わっていく。

こっちが変えようとするのではなく、

本人が変

### 不思議なレストラン

なるような不安や孤独のなかで、一生懸命、生きてきないですから、堂々と生きてほしいですし、死にたくない。

と思ってます。たこことはすごいことなので、胸をはって生きてほしい

接客が上手なんです。そして、 じょじょに動き始めて、始めてみたら、みんな私より を見ているうちに、自分でもできそうかなと思って、 米か胚芽米か、などなど、私とお客さんとのやりとり に出すのは、熱いお茶か、つめたいお茶か、ご飯は玄 がら覚えていこうということで始めたんですね。最初 れから始めるのではなくて、人がやっているのを見な を立ち上げて5年後に、玄米食のレストランを始めま レストランになりました。 ファーストフードのように、 した。みんな、 そのためには社会参加も大事で、 お店の経験なんてなかったですけど、 マニュアルがあって、そ いつのまにか不思議な クッキングハウス

と、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっなんてないですよね。ここでは、みんなが心の病気をなんてないですよね。ここでは、みんなが心の病気をくださいね」など、かならず声をかけます。そうするくださいね」など、かならず声をかけます。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。そういうときは、せっと、思わず泣き出す人もいる。

大丈夫というサインを、いつも送ってます。ださい」と言ったりしてね。ここでは本音で話してもけんとタオルを持っていって、「これで顔を洗ってく

お店を始めてから、メンバー自身も変わりました。お店を始めてから、メンバー自身も変わりました。と思います。こうをしていた人たちも、レストランなんだがらと、きれいにしようと自分で思って、身ぎれいにけるのでわずかですが、自分が働いたことが認められけるのでわずかですが、自分が働いたことが認められて、給料のかたちで返ってくるというのは大事なことで、それで生きる張り合いを取りもどしたところはあると思います。

語って、仕事をして、遊んで、そういう場で、仲間といますが、全員が精神疾患を持っていて、それぞれ主いますが、全員が精神疾患を持っていて、それぞれ主いますが、全員が精神疾患を持っていて、それぞれ主いま、20代から70代まで、60名を超えるメンバーがいま、20代から70代まで、60名を超えるメンバーがいま、20代から70代まで、60名を超えるメンバーがいま、20代から70代まで、60名を超えるメンバーがいま、20代から70代まで、60名を超えるメンバーがいま、20代から70代まで、60名を超えるメンバーがいまでは、10名を超えるメンバーがいま、20代から70代まで、60名を超えるメンバーがいまでは、10名を超れた。10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますがは、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますがありますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますがありますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を超れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいまないますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたいますが、10名を述れたい

こでは、そういうことをしています。ともにでなければ、人間らしくは生きられません。こ

山下まさに、不思議なレストランですね。

## 登校拒否と医療について

山下 また、不登校に引き寄せてお聴きしたいと思い山下 また、不登校に引き寄せてお聴きしたいるケーます。80年代は、登校拒否と病気を線引きしていいた。しかし一方で、登校拒否と病気を線引きしていいた。しかし一方で、登校拒否と病気を線引きしていいた。しかし一方で、登校拒否と病気を線引きしていいからという疑問も呈されてきました。松浦さんは、精のかという疑問も呈されてきました。松浦さんは、精のかという疑問も呈されてきました。松浦さんは、精のかという疑問もというまでしょう。

しまいだ」と思ったという人がいます。ところが、実態になって、病院に入れられたとき「自分の人生はおだったのに学校に行かなくなって、ものすごく混乱状だったのに学校に行かなくなって、ものすごく混乱状

らしています。そうやって自立した人もいます。つうの人たちで、やさしくて、親切で、とてもいい時間を過ごせたというんです。いまは、ここに来てます間を過ごせたというんです。いまは、ここに来てますきがら入院を選んでいました。退院後は、実家にはいる人たちで、やさしくて、親切で、とてもいい時際に入院してみたら、そこにいる人たちは、みんなふ際に入院してみたら、そこにいる人たちは、みんなふ

と思います。と思います。と思います。いま思えば息子も、いっときはうつ状態だった私は「病気の人は差別されちゃうの?」と思います。学校に私は「病気の人は差別されちゃうの?」と思いますね。

多いという問題もありますね。 したし、精神疾患にかぎっても、日本は極端に入院がしたし、精神疾患にかぎっても、日本は極端に入院がました。

大人の病棟に混ぜられていましたし、それは問題だっ松浦 たしかに、それはあります。児童病棟ではなく

すね。
ちが、そこで救われたということもあったりするんでたちが親切で、同世代の人間関係に苦しんでいた子たたかもしれない。でも実際に入ってみたら、その大人

的に入院が悪いとは言えないということですね。山下のある種、シェルター機能を果たしていて、一面

う人は、けっこう多いです。 病院に入って、むしろ人間的なふれあいがあったといろんなことがあって、ここに来ている。その人たちで、ろんなことがあって、ここに来ている。その人たちで、の人はい思いをした人はひとりもいません。何年もいます。うちのメンバーも、学校時

山下 おっしゃることはわかります。ただ、ここは、山下 おっしゃることはわかります。それがよかった療の対象にしてきた面はありますね。それがよかった療の対象にしてきた面はあります。ただ、ここは、山下 おっしゃることはわかります。ただ、ここは、

に出会うかによって、人生が分かれてしまう。 ―1996) など極端な人たちもいましたし、民間でいう矯正施設もありましたし、痛ましい現実があったと思います。学校に行かなくなったあと、どういう場と思います。学校に行かなくなったあと、どういう場と思います。学校に行かなくなったあと、どういう場では、民間でも、戸塚田のようがによって、人生が分かれてしまう。

合えるような場所があるといいと思います。 の会によく行ってましたから、クッキングハウスには、 の会によく行ってましたから、対して元気になって、エネ てくれてました。子どもも、親も、みんなでご飯をつ てくれてましたら、出て行っていました。ですから、 ルギーを充電したら、出て行っていました。ですから、 ゆるやかで、決めつけないで、大人も子どもも混じり ゆるやかで、決めつけないで、大人も子どもも混じり

ます。いまは、あまりにも分断されていて、学校に行人たちが、赤ちゃんを連れてきたりしています。みんくっの不安を解消できたりね。そういう意味でも、子育ての不安を解消できたりね。そういう意味でも、それで、かまは、うちのメンバーで結婚して子どもができたいます。いまは、あまりにも分断されていて、学校に行います。いまは、うちのメンバーで結婚して子どもができたいます。いまは、あまりにも分断されていて、学校に行

ね。それはよくないと思います。かない子はこっちとか、そういう流れになっています

## 混乱を招いた発達障害

類していく流れは強くなっているように思います。ですが、その人の存在を見るのではなく、とにかく分思われてますでしょう? 特別支援学級などに振り分思が、そういう意味では、発達障害については、どう山下 そういう意味では、発達障害については、どう

松浦 問題だと思います。国が研究のお金を出して、松浦 問題だと思います。写達障害外来ができて、でも半年乱が起きています。発達障害外来ができて、でも半年はんとうは、ていねいに診ないと診断できないはずなんですが、1時間くらいの診察で診断してます。でも、 
はんとうは、ていねいに診ないと診断できないはずなんですが、1時間くらいの診察で診断してます。でも半年がある。すごく混乱を起こしていると思います。

山下 医療にかかることへの偏見を変えることは必要

るように思います。
て、自分たちの世界から排除してしまっている面もあでいっしょに過ごせるはずのところを医療に丸投げしだと思いますが、一方で、学校も社会も、分類しない

松浦 医療にかかったからといって、発達障害がよくなってよくなるものでもない。いっしょに生きていといってよくなるものでもないことだと思っていますしないことできるように環境を整えるほかないんです。うちにも発達障害も持っている人がいますが、たしかに、こだわりが強かったりするから、まわりも、たいへんなところはあります。その場の状況を読めないことも多いですし、一度こだわると、ずっとそのことを言い続けたりしますしね。だからといって、医療にかけたからといってよくなるものでもない。いっしょに生きていくしかないことだと思っています。

なっているとも言えます。それと、子どもと精神医療は異質な子を排除することで、ますます苦しい場には

います。 います。 なっていますね。親も教師も、ちょっと落ち着きがななっていますね。親も教師も、ちょっと落ち着きがなかったり、こだわりの強い子を、受けとめるのではなかったり、こだわりの強い子を、受けとめるのではなかったり、こだで見ない。就学前の子どもに向精神薬が出ということで言えば、就学前の子どもに向精神薬が出

松浦 医者のところに行って、「イライラしてます。 います。 を聴くことです。 れる場が必要だと思います。私の仕事は、 り話せる場は必要だし、話を聞いてくれて安心感をく 夫なんです。 そして、そこで安心をプレゼントしてもらえれば大丈 「話していい?」とやってきます。 く薬を出すだけになって、ちっとも解決しない。 せん」と言うと、 自分の気持ちが語れることを何よりも大事にして それは、 そうすると、いろんなことを話してくれます。 ところが、自分の気持ちが言えないまま、 その通りですね。 みんな、ちょっとでも不安があると 医者も忙しいですから、 クッキングハウスで 1 日 中、 手っ取り早 眠れま 何よ

## 安心感のプレゼント

に生きてきた人から生み出されてきた場ですね。関わりを持ちつつも、医者ではなくて、当事者ととも山下 クッキングハウスも、べてるの家も、医療と

松浦 べてるの家でも「三度の飯よりミーティング」 松浦 べてるの家でも「三度の飯よりミーティング んなに薬に頼らなくても大事にしていますね。最 と言っていて、話題になってますが、クッキングハウスでは、ずっとオープンダイアローグをやってきているん は、ずっとオープンダイアローグをやってきているん なに薬に頼らなくても大丈夫なんですよ。

★1 1984年に設立された北海道浦河町にある精神障害等をかかま1 1984年に設立された北海道浦河町にある精神障害等をかかかった。

看護師らを交えて「開かれた対話」をする精神療法。症に対する治療的取り組み。患者と主治医だけでなく、家族や友人、症に対する治療的取り組み。患者と主治医だけでなく、家族や友人、統合失調\*2 フィンランド西ラップランド地方の病院で始まった、統合失調

では、ずっとやってきていることのように思いました。ンランドの例を紹介しなくても、日本でも居場所など

とは、 ときは、 人が立っていたら、 よね。そこから成長していける。そこに不安を与える プレゼントしてくれる人がいさえすれば、 していい とにかく安心感のプレゼント。 それだけです。 そうです トンネル現象になっている。真っ暗で、 かわからない。その出口のところに安心感を Ą 病気の症状のようになって出てく 人は誰しも、 つらいとき、 私がやっているこ 大丈夫なの 苦 どう

的にSSTと言い出したのはいつごろでしょう。山下 SSTもやっているということですが、自覚

松浦 87年にクッキングハウスを始めたころから、い

1994年には入院生活技能訓練療法として診療報酬に組み込まれた。の技術を向上させることによって困難さを解決しようとする技法。鄭を抱える状況をコミュニケーション技術の側面からとらえ、そ難を抱える状況をコミュニケーション技術の側面からとらえ、そ

と、人に伝えられないと思って、探していたんです。 ぎらないわけです。そういうSSTは、 たちのSST、家族のSST、一般市民も参加できる 伝えると、薬よりも大きな力がある。 SSTの紹介が始まったんです。そこには毎週、通い そうしたら88年に、東大の精神科のデイホスピタルで てありがとう」、 で、前向きになって元気になっていくことを実感して クッキングハウスは、 入れないでしょう。医者が指示した人だけが参加する。 ちが元祖です。病院はクローズドだから、 は、誰にとっても役に立ちますからね。 間関係をよくするためのコミュニケーションの練習 誰でもSSTと、 ました。どんな小さなことでもいいところを見つけて わかっていたんだけど、もっと体系的、理論的でない めてくれているとわかると元気になる。それは実践で かったわ」、あいさつしてくれても「声をかけてくれ いところをちょとでも見つけて伝えると、すごく喜ん いました。 茶碗ひとつ洗ってくれても「ありがとう助 そうやって、誰かが自分のことを認 いろいろなSSTをやってます。 地域のなかで、 いまは、メンバー どなたもどうぞ 日本では、 病気の人にか 一般の人は

です。とやっていますが、そういう場は、ほかになかったん

ているんでしょうか? 行ですね。クッキングハウスでも、当事者研究はされ行ですね。クッキングハウスでも、当事者研究はされるいるの家でもSSTをしてますが、ある時期

松浦 プログラムのなかに入ってます。あれは自分なと思います。

には、大きな意味がありますよね。 見るのでもなく、当事者の語りが発信されてきたこと 小下 病気を問題として見るのでも、医者の枠組みで

松浦 スタッフも含めて、みんなが自己病名をつけ

けではないけど、笑ってね、なんだか楽になる。説明して、すごくおもしろいですね。何が解決したわ

の例が頭にあって、始めたわけではないですよね。 ウスも、枠組みで言えば、地域精神保健医療というこ ウスも、枠組みで言えば、地域精神保健医療ということになるのかもしれませんが、イタリアのトリエステとになるのかもしれませんが、イタリアのトリエステル・

では、うわついてないと思います。 理論的に裏づけていることが多いです。そういう意味理論的に裏づけていることが多いです。そういう意味

とかまえているように感じることがあります。直に受けとめるのではなくて、はじめから分類しよう

れるようなことをすればいいのにと思います。 れるようなことをすればいいのにと思います。多くの場合は、作業所で作業をして、 かても、そこには文化がない。それでは、社会参加しいても、そこには文化がない。それでは、社会参加していくことにはならない。もっと、町の人が喜んでくれるようなことをすればいいのにと思います。

れることも多いですしね。ですよ。たいがいのお店では、赤ちゃん連れはきらわたくさんしゃべって帰っていく。ほんとうに楽しそうご飯と味噌汁はおかわりできるから、しっかり食べて、ご飯と味噌汁はおかわりできるから、しっかり食べて、す。座敷コーナーには、赤ちゃん連れも多いですし、す。座敷コーナーには、赤ちゃん連れも多いですし、

### 地域の反対は?

山下 開設当初、地域からの反対や偏見はなかった。

でしょうか?

大浦 それが何もなかったんです。調布でも、別の精 松浦 それが何もなかったんです。調布でも、別の精 松浦 それが何もなかったんです。調布でも、別の精 松浦 それが何もなかったんです。調布でも、別の精 松浦 それが何もなかったんです。調布でも、別の精 という反対運動が起きたことがありました。 はいのね。それで、ある日、その反対運動の代表の方が かのね。それで、ある日、その反対運動の代表の方が です。その方は1万円渡されて、「おつりはいりません。 自分たちも、こういう文化をつくってくれる場所なら 賛成なんです」と言ってました。

スを希望にしてくれている。それは幸せなことだと思りて、それどころか、町を歩いていると、「松浦さんけてもらえます。また、全国から物資や物産を届けてけてもらえます。また、全国から物資や物産を届けてけてもらえます。また、全国から物資や物産を届けてはないで、それどころか、町を歩いていると、「松浦さんくて、それどころか、町を歩いていると、「松浦さんくて、それはありがたいことに、1回も反対されたことはな

変わらない。

**交 50 年証言プロジェク** 

います。

特殊な人たちの場となってしまう。そのために偏見があることが大きかったんでしょうね。そうでないと、ありないら、クローズドではなくオープンな場で

松浦 こういう場所は地域の大事な社会資源で、だか をました。ですから、相談室以外は常にオープンにし きました。ですから、相談室以外は常にオープンにし また、伝えたいことは、メンタルヘルス市民講座にし て、メンバーもそこで語ってくれています。でも、地 方に行くと、そういう場は、ほんとうにないですね。 ものすごく閉鎖的な場所が多いです。

いうちがいもありますね。
いうちがいもありますね。東京では約800カ所くところは決まってますしね。東京では約800カ所くところは決まってますしね。東京では約800カ所く

また、精神病院も、いまは改装して、きれいになっ

う印象を与えてしまったところはあると思います。精神障害者が関わるところというと、世間に、そうい不衛生で、鉄格子があったりしたのもよくなかった。ているところが多いですが、かつてはおぞましいほど

#### 薬の問題は

山下 大づかみな質問になりますが、一世前までは、山下 大づかみな質問になりますが、一世前までは、の人が精神疾患になるという認識だったと思います。そして、そういう人は、自分たちの生活世界から見えないところに排除されていた。ところが、いまは、みながしんどくなって、そうであるがゆえに、昔ほど精神科医療への敷居は高くないですね。その一方で、薬を飲む人が増えた。このしんどさは、個人が医療にかかって、薬で解決すべきことになっているとも言えます。居場所で、ともに支え合っていくということは、とても少ない。そのあたりの人びとの意識の変化をどう感じておられますでしょうか。

水浦 精神医学の分野では、心理社会的な研究と、脳松浦 精神医学の分野では、心理社会的な研究と、脳の問題なんだから薬を出せばいいという医者も多いいす。だけど、それでは治らない。最前線の脳科学をです。だけど、それでは治らない。最前線の脳科学をです。だけど、それでは治らない。最前線の脳科学をです。だけど、それでは治らない。最前線の脳科学をです。だけど、それでは治らない。最前線の脳科学をです。だけど、それでは治らない。最前線の脳科学をです。だけど、それでは治らない。最前線の脳科学の大野では、心理社会的な研究と、脳松浦 精神医学の分野では、心理社会的な研究と、脳松浦 精神医学の分野では、心理社会的な研究と、脳

ただ、一方では、脳科学の研究でも、言葉の力がすただ、一方では、脳科学の研究でも、言葉を語りかけると、脳のポジティブな部分が活性化言葉を語りかけると、脳のポジティブな部分が活性化する。不安なことやイヤなことを言われていると、ネガティブな部分が活性化する。そういう研究は大事だと思いますが、薬一辺倒はまちがってます。私が実践と思いますが、薬一辺倒はまちがってます。私が実践と思いますが、薬一辺倒はまちがってます。私が実践と思いますが、薬一辺倒はまちがってます。私が実践ということで、方の人のありのままを出せる場が大事だということでその人のありのままを出せる場が大事だということでその人のありのままを出せる場が大事だということで

山下 それはよくわかります。しかし、たとえば不登

をが最初に精神医療で問題化されたときは、学校恐怖校が最初に精神医療で問題化されたときは、学校恐怖時報。心理といっても、家族関係に問題を求めると、 は本のではないでしょうか。発達障害も、いまは脳機あるのではないでしょうか。発達障害も、いまは脳機あるのではないでしょうか。発達障害も、いまは脳機あるのではないでしょうか。発達障害も、いまは脳機あるのだと思います。しかし一方で、脳の問題ではないという見方が確立して、そのことで親が解放されたいという見方が確立して、そのことで親が解放されたいという見方が確立して、そのことで親が解放されたいという見方が確立して、そのことで親が解放されたいという見方が確立して、とのというと、 まで問題化されたときは、学校恐怖校が最初に精神医療で問題化されたときは、学校恐怖校が最初に精神医療で問題化されたときは、学校恐怖校が最初に精神医療で問題にあれたときは、学校恐怖校が最初に精神医療で問題化されたときは、学校恐怖校が最初に精神医療で問題化されたときは、学校恐怖校が最初に持神医療で問題というないでは、

はあると思います。ですね。自分で考えずに時代に流されてしまうところですね。自分で考えずに時代に流されてしまうところ一昔前には母原病説もありましたし、いまは発達障害松浦 時代によって、流行の考え方がありますよね。

いときはどう育てましたか?」とか聞かれて、「そのね。初対面で「母乳を飲ませましたか?」とか「小さカウンセリングをする人も、いまだに多いみたいですそれと、たしかに家族関係を分析するような旧式の

悪くて寝込んだ」という人もいます。私は、家族に相 談を受けても、 の前でいきなり裸にされたみたいで、すごく気持ち 聞きません。 うことから始めてい 今までどう育ててきたかなんて、 いつも、 、ます。 いまからどうしましょうか 11 9

チル 屮 はおられるのでは? られる方でも、 ドレンが大流行でしたね。 そのあたりのことで言うと、 自分をアダルトチルドレンだという方 クッキングハウスに来 一時期はアダル 卜

責任で自分を生きていくことにならないと思うのね。 全の家庭で育ったという方はいます。私はそれを否定 人はわかってほしいから、 どうなりたいの」って。 いことは何?」ということから聴いてます。「あなたは、 ですから、 はしませんけど、 の言葉には乗らないようにしてますけど、そういう います 「いま、 ね。 それを言っているかぎりは、 とにかく親が悪くて、 あなたが熱中できること、 なるべく、 熱心に本を読んでいて、 アダルトチルドレ 自分は機能不 やりた 自分の

を持ってきて読んでほしいとか言いますね

中 しょう 離したほうがうまくいくと思われ むしろ、 松浦さん の場合は、 ているということで 親子関係は距離を

松浦 復しています。だから、 に行こうと言ってね。実際には、そのほうがずっと回 す。憲法25条で保障されているんだから、 るんです。 障害年金や生活保護なども、 の相談も、 私は、家族と離れて住むことを応援しています。 経済的なことから、 SSTもある。 ここはやることがい 11 家族のことから、 っしょに申請に行きま 堂々と取り っぱいあ

# 暴力沙汰は起きたことが

屮 ことですが、 まったことはない 松浦さんは、 クッキングハウスで暴力沙汰が起きてし んでしょうか? とにかく暴力がい やだったという

松浦 それが、 まったくないんです。

屮 しょうね。 それはすごいですね。 場の持っている力なんで

> とが、 十

> > シンプルに、食べることを大事にされているこ

いのちを育むことになっているわけですね。

めてなかったんだと思います。 ですけど、きっと、生きていることをおたがいに楽し 力なんて起きないと思います。 ことをしてます。 語り合って、 あれは何なんでしょうね。 よく施設 の職員が暴力をふるう事件が起きます 歌ったり踊ったり、 安心をプレゼントされていれば、暴 ここでは、ご飯を食べ 逆のこともあるよう 41 つも、 そんな

器用で、 ました。そういう偏見はありますが、包丁を持ってい 「精神障害者に包丁を持たせて大丈夫か」って聞か の使命だと思ってます。 のちが輝くようにしなければならないというのが、 みなさん、 るからといって、 クッキングハウスを開いたときは、保健所の職員に 一生懸命生きている人たちなんです。 心の病気にはなったかもしれないけど、不 一度も何か起きたことはないです。 その n

日はありがとうございました。

不登校50年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp 松浦幸子さん #26

インタビュー日時:2017年9月14日 記事公開日:2017年10月20日

所:クッキングハウス(東京都調布市)

聞き手:山下耕平

写真撮影·記事編集:山下耕平

## \* 1 http://www.futoko.org/column/column-2/

それが大きく変わるの

は、

小学校4年生から5年生

#### #27 保坂展人 さん



(ほさか・のぶと)

1955 年宮城県仙台市生まれ。高校進学時の内申書をめぐり、16 年間の内申書裁判をたたかう。新宿高校定時制中退後、数十種類の仕事を経てジャーナリストになる。1996 年から 3 期 11 年衆議院議員を務め、「国会の質問王」と呼ばれる。2011 年 4 月、世田谷区長に当選、現在 2 期目。著書に『いじめの光景』(集英社文庫 1994)、『88 万人のコミュニティデザイン』(ほんの木 2014)、『脱原発区長はなぜ得票率 67%で再選されたのか?』(ロッキングオン 2016)ほか多数。

インタビュー日時:2017年8月22日

聞き手:奥地圭子、木村砂織場所:世田谷区役所(東京都)

写真撮影:木村砂織

奥地 保坂さんには、以前、親の会や子どもたちの集実地 保坂さんには、以前、親の会や子どもたちの集まりでお話しいただいて、こういう生き方もあるんだに連載していただきましたが、その記事は、現在もホームページで見ることができるようになっています。まず、どんな子ども時代だったかということから、うかがいたいと思います。

ちらかと言えば内気なほうでしたね。仙台にいました。そのころは、活発というよりは、ど似を 生まれたのは仙台市で、幼稚園の途中までは、

吳地 ちょっと、いまからは想像できないですね(笑)。

て、ようやくコッペパンを指さしたという記憶がありてから店の人が気づいて、「僕なんなの?」と言われてから店の人が気づいて、「僕なんなの?」と言われて、と言われても、店先に群がるお母さん方に押されて、と言かれても、店先に群がるお母さん方に押されて、

ます。

奥地 かわいい話ですね。

として麹町中学校があり、 態でした。そのころも、 下げて、「鍵っ子」って言われますけど、 りで電車に乗って通うことになったんです。鍵をぶら こから都心の麹町小学校まで、小学校1年生からひと 住んでいたのは世田谷区の桜上水だったのですが、 て、小学校は越境通学することになったんです。 校として3つの小学校があるという情報を仕入れてき 目指すには日比谷高校があり、 て、母が幼稚園で仲よくなったお母さんから、東大を 東京都世田谷区の幼稚園に移りました。東京に出てき て東北大学付属の幼稚園に移って、 ふつうの子でした。 に転勤することになって、幼稚園年長の5歳ごろに、 その後、 地元の幼稚園から、 そんなに活発というよりは 麹町中学に入りやすい小学 日比谷高校に行く学校 さらに父親が東京 くじ引きで当たっ そういう状

か? 奥地 お父さんとのふれあいが増えたということです

正したい」と書いているんです。 ときの作文には、「内閣総理大臣になって政治の姿を も増えましたし、 とも気になるようになった。この先どうしようとなっ に戻らなければいけないかもしれないし、経済的なこ たんです。 しっかりしなければいけない、みたいな意識が生まれ の父が病気になってしまったことで、なんか自分も は父がぜんぶ稼いできて一家の大黒柱だったのが、そ という感じがありました。 母親の相談相手にもなったことで、すごく読書量 いえ、そういうことじゃないです。 もしかすると越境通学もやめて地元の学校 活発になったんです。 小さな大人になった 小学校6年の それまで

奥地 そうですか。なかなか意識が早いです

は、いまから名前を呼ぶ」と言ってね。 保坂 そうですね。そこで自分が大きく変わりました。 かし、 麹町中学校のびのびとすごしていたんです。 しかし、 麹町中学校に入ると、 受験に特化した成績至上主義の学校で、 ぎトから番付が公表されるんです。 「100番以内のテトから番付が公表されるんです。「100番以内のテトから番付が公表されるんです。「100番以内のテストから番付が公表されるんです。」と言ってね。

### 受験戦争のなかで

奥地 中学に入られたのは、何年ごろですか

保坂 1968年(昭和43年)です。大学闘争がだん ないぞ。朝早くやるか夜に深夜までやるか、人間に てないぞ。朝早くやるか夜に深夜までやるか、人間に はふたつのタイプがあるから選べ」みたいなことを教 はふたつのタイプがあるから選べ」みたいなことを教

るぞ」と、先生に叱咤激励される。 型だという診断が出て、朝4時から勉強するんですが、 型だという診断が出て、朝4時から勉強するんですが、 型だという診断が出て、朝4時から勉強するんですが、 と、 先生に叱咤激励される。

ね。 奥地 じゃあ、ほめられる人はほとんどいないんです

績がよいときでも、20番以内には入れなかったですね。い。でも、1学年で500人いますし、結局、一番成い。せめて20番以内に入れないと志望校には行けな

判的な意識は持っていたんですか。 奥地 その当時、そのような仕組みとか、やり方に批

ぜんぶ手製のプリントでした。中学1年生の最初に元学校は徹底していて、まず教科書を使わないんですよ、学板 いや、順応しないといけないと思っていました。

素の周期律表を覚えるところから、理科の授業が始ま素の周期律表を覚えるところから、理科の授業がわからて、かぶりつきみたいなところで勉強していました。だから、わからない子は、4月の段階で授業がわからだから、わからない子は、4月の段階で授業が始まれなくなる。いま考えてみれば、すごいですよね。

奥地 そうですね。振り落としながらですものね。

の旧仮名づかいの本は、ぜんぶ読んでいました。ストセラーになっていたので読んでみたり、岩波書店

りしましたよね。
のしましたよね。
ですか。「てふてふ」なんて書いてあった

奥地 部活などはされてたんですか。

事故で車にはねられたときは、とっさに受け身ができ保坂 柔道をやっていました。おかげで、のちに交通

ました。

研究をやったりしました。(それと、2年生の文化祭では、クラスで社会問題の)

奥地 文化祭では、どんなものを出されたんですか

と、それぞれちがうことが書いてあるという、 とを書いたんです。パッと見ると「反戦」「青年」「委 保坂 おふざけでした。しかし、 員会」と並んだ見出しが見えるけど、中身をよく読む 員会活動を活発にするにはどうしたらいいかというこ は荒野をめざす』というベストセラーからの引用を入 です。その次に「青年」と書いて、 ない、平和主義、平和が大事だということを書いたん 模造紙に、まず「反戦」と大きく書いて、戦争はいけ 年委員会」というのをつくっていたんです。 学生や、労働組合に飽き足らない若者たちが 見出しに目を止めて、 れた。そして一番右に「委員会」と書いて、学校の委 ジョークだったんですけどね。当時、 校長室に駆け込んだんです。 自民党の区議会議員がその 五木寛之の『青年 全共闘 それで、 「反戦青 一種の

てしまったんです。ジョークが通じなかった。になって、校長は青くなった。それで撤去しろとなっれで「これは、ついに中学で紛争が起きた」という話

央地 中学生らしい校内活動だったんですね。

保坂 ややシニカルなね。ほかにも、「砦の囚人」というアイロニーのこもったタイトルのミニコミ誌を出していました。「砦の上にわれらの世界を」(東大全共闘編/亜紀書房1969)に影響を受けて、「砦」という言葉を使って、「囚人」というのは、自分たちはできない檻の中にいる囚人だという意味ですね。そもそも学校から外れる予定はなかったので、自分たちはついまりです。

## 学校から拒否された

そうしたなか、中学2年生のあるときに、ベ平連\*\*

や作家の小田実らが呼びかけて始まった、無党派の反戦運動

\*2 ベトナムに平和を!市民連合。

1965年、哲学者の鶴見俊輔

ではないんです。 その公園は麹町の集会が清水谷公園であったんです。その公園は麹町ではないんですが、「仲のよかった友人と人生を語りではないんですが、「仲のよかった友人と人生を語りではないんですが、「仲のよかったんです。その公園は麹町

それで、 生べ平連」みたいなかたちで参加していて、中学校の 外に出ました。しかし、その集会には中学生も「中学 参加した」ということになってしまった。 学校の生活指導の先生は「ついに一線を越えたな」と を表しながら行ったわけです。にもかかわらず、翌日、 制服・制帽を着て、集会に参加していないということ て、通報されてしまったんです。僕たちからすれば、 ら中学生じゃないか」「どこの学校だ」という話になっ 校長会から監視要請みたいなのが出ていたんですね。 分ぐらいだけいて、「もうそろそろ出よう」と会場の た3~4分なんですけれどもね 言われて、 ただ、「人生を語る散歩の途中」ですから、 制服・制帽で目立っていた僕たちは「おまえ 「大胆不敵にも、 制服・制帽で反戦集会に でも、 3 たっ

**保坂** それで、生徒指導の先生には「これで地元の学 保坂 それで、生徒指導の先生には「これで地元の学 ないか」と言われました。

僕も、いったんはそれを受けいれたんですが、受けなってしまいました。それで、家にこもって、まったくいれたとたん、10日ぐらい脱力してしまったんです。いれたとたん、10日ぐらい脱力してしまったんです。いれたとたん、10日ぐらい脱力してしまったんです。

という新聞をつくり始めました。なってからは、「砦の囚人」の「囚人」をとって、「砦」なってからは、「砦の囚人」の「囚人」をとって、「砦」ようにガラッと変わっちゃったんです。中学3年にそして、10日ぐらい経って、なんか憑き物が落ちた

しかし、学校としては、一線を越えたところで、

てもらえなくなりました。らに越えてきたということで、ほとんど授業には出し

ぬ地 授業に出してもらえないというのは変な話です

保坂 ですから、僕の場合は、登校拒否とはちがうんですね。むしろ学校から拒否されたのかもしれない。学校には行っているんだけど、教師からは「問題児の学校には行っているんだけど、教師からは「問題児の学校には行っているんだけど、教師からは「問題児の学校には行っている。というアプローチを受け続けました。 たいっぱいた。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がメだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がメだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がメだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がよだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がよだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がよだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がたった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がよだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がよだった。その後、入れ代わり立ち代わり教師に説がない。とても役に立ちました。

奥地 先生が生徒に?

保坂 最後は、泣き落としですよね。「中学でこんな問題を起こすようなことをやっていると、もう高校へは行けない。行けないとどうなるかわと、もう高校へは行けない。だから、そんな変なことしないで、高校に行ってから、おおいに政治活動をすればいで、高校に行ってから、おおいに政治活動をすればいで、高校に行ってから、おおいに政治活動をすればいで、高校に行ってから、おおいに政治活動をすれる

**奥地** それは、不登校の子たちが言われたことと重な

**保坂** 似ています。「高校へ行ってからやれ」あるいは「大学を出てから、ジャーナリストでも何でもなりは「大学を出てから、ジャーナリストでも何でもなりは「大学を出てから、ジャーナリストでも何でもなりれた。しかし、そこは古今東西の文学作品を読んでいれた。しかし、そこは古今東西の文学作品を読んでいた影響なのか、中学生がいささか早く目覚めたかもした影響なのか、中学生がいささか早く目覚めたかもした影響なのか、中学生がいささか早く目覚めたかもした。

か」と、そういう話をずっとしていたんです。なってしまうのではないかと思って、「先生どうですうクセを覚えると、のちの人生も最後に悔いることに

ぬ地 仲間というか、友人たちは、どんな感じだった

保坂 友人たちはね、僕が暴力をふるっていたわけ でもなく、ただミニコミをつくって配っていただけな のを知っていたので、協力的だった子が多かったです ね。「難しいことを言ってるのでよくわからないけど、 はいたいことがあるんだ」みたいな反応で、排除する でもなく、ただミニコミをつくって配っていたわけ

# 全校生徒の前で引きずられ

頭は「言いたいことがあるのはわかった。だったら、態が続いていたさなかに、教頭が出てくるんです。教の子は、あまり学校に来なくなった。それで、対立状問題児とされたのは、もうひとりいましたけど、そ

手を出して握手してきたんです。 手を出して握手してきたんです。 手を出して握手してきたんです。 手を出して握手してきたんです。 手を出して握手してきたんです。

奥地 お芝居みたいですね。

です。だからどうしても、僕が全校生徒1500人の議題を提案したのは、僕が入れた1件しかなかったんしたい生徒が、箱の中に議題を入れるんですね。結局、したい生徒が、箱の中に議題を入れるんですね。結局、 と 教頭が、生徒会での発言を保証すると言うの

で決定した」と言ってところ、教師に呼び出されて、 「君が明日登壇することになってしまっているようだ 「君が明日登壇することになってしまっているようだ 「君が明日登壇することになってしまっているようだ で決定した」と言われました。「それはおかしい。男 で共定した」と言われました。「それはおかしい。男 を期の約束をしたんですよ」と言ったら、「それは教 と男の約束をしたんですよ」と言ったら、「それは教 とまったらでは認めないということ で決定した」と言われました。「それはおかしい。男 で決定した」と言われました。「それはおかということ

そこで翌日、生徒総会になるんです。1500人がひしめいて立っているところで、「意見はありませんか?」と、司会の生徒が言ったとき、「あります」とか?」と、司会の生徒が言ったとき、「あります」とた瞬間、マイクのスイッチが切られたんです。それで、「み生活指導の教師が「発言させるから、手続きを踏め」と下から大声で言ってきました。「君は指名を受けていなんだ」と。まあ、それは形式論ですが、「1回降りて、議長の指名を受けろ」という言葉を半分信じて、いったん下に降りたところ、はがい締めにされて、全いったん下に降りたところ、はがい締めにされて、全いったん下に降りたところ、はがい締めにされて、全いったん下に降りたところ、はがい締めにされて、全いった人が

げていました。まのはなかったことにして進めろ!」と大声を張り上校生徒の前で引きずられていったんですね。教師は「い

奥地 それは屈辱ですよね。

保坂 全校生徒が見ている前での出来事で、強烈な思い出としてだけではなく、それ以来、生徒間の雰囲気い出としてだけではなく、それ以来、生徒間の雰囲気い出としてだけではなく、それ以来、生徒間の雰囲気い出としてだけではなく、それ以来、生徒間の雰囲気が出

内申書裁判に

ね。 奥地 それが内申書裁判につながっていくわけです

「君の思想は難しすぎるので、単純な俺には理解でき保坂 そうです。内申書作成のときに、担任の先生が

しに行け」と言ったんですよ。
秀な先生がいるから、内申書を書いてもらう先生を探秀な先生がいるから、内申書を書いてもらう先生を探

奥地えつ、変な話ですね。

保坂 その理由は、後でわかるんです。結局、文面を 示されていたんですね。内申書の文面を書くのに彼の 裁量の余地はなかったんです。この生徒はこんなにい をいう趣旨の文面が示されていて、担任はそれを書き という趣旨の文面が示されていて、担任はそれを書き んですね。それまで担任は「内申書に書くようなこと は絶対しない」と言っていたので、それを裏切るよう なことは言えなくて、「誰かに書いてもらえ」と乱暴 な話になっていたわけです。

から」と言われました。僕の内申書は、教師が志望校なし。直接、君には渡さない。そういう特別な扱いだ僕の番になったとき、名前をわざわざ呼んで、「君は、内申書は、生徒全員に出席番号順に渡すんですが、

長の古関彰一先生にもお話しましたけどね。に直接持っていって、和光高校の面接では、内申書をに直接持っていって、和光高校の面接では、内申書をに直接持っていって、和光高校の面接では、内申書をに直接持っていって、和光高校の面接では、内申書をに直接持っていって、和光高校の面接では、内申書を

あとでわかったんですが、成績は上位で十分入れたのに、面接態度がDということで最低評価でした。Cのに、面接態度がDということと、卒業式ではういう内申書が作成されたということと、卒業式では大勢の先生に引きずられて組み伏せられたまま卒業式を迎えたことがあったので、それをもって学校を訴えるべきだと。

いう経緯だったんでしょう。 裁判まではなかなか考えないと思うんですけど、どうぐらいの年齢の子たちだと、理不尽なことがあっても、奥地 それは、すごいですよね。まだ中学を卒業した

**保坂** 僕自身は、さめた少年だったので、「裁判なん保坂 僕自身は、さめた少年だっていで、「どうしてもやりたいという大人かやってもどうせ負けるに決まっている、時間のムダ

奥地 そういう心境だったんですか。

保坂 ええ、かわいげもなく生意気でしたね。麹町中保坂 ええ、かわいげもなく生意気でしたね。麹町中学の悲劇事も出たんです。「15の青春を返せ」「麹町中学の悲劇事も出たんです。「15の青春を返せ」「麹町中学の悲劇の少年」みたいなね。

# 自分自身はサバサバしていた

てサバサバした部分がありました。というのは、受ただ、僕自身としては、定時制高校に入って、かえっ

で、僕の実感とは、ちょっとズレていたんです。で、僕の実感とは、ちょっとズレていたんです。をこれにないろいろなことがあった中学3年のあいだも塾に近っていて、学力で追いつこうとかしてましたからね。ですから、降りたことで、かえってえらく充実感を覚ですから、降りたことで、かえってえらく充実感を覚がう大人たちがいっぱい出てきて裁判をするというのいう大人たちがいっぱい出てきて裁判をするというので、僕の実感とは、ちょっとズレていたんです。

うことですかね。 **奥地** なんか、自分らしく生きている感じがしたとい

保坂

そうですね。

それとやっぱり、

たくさん本も読

保坂 15~17歳というのは、自分が大きく変わる時期保坂 15~17歳というのは、一過性でしかないた。だって、中学生のときの話は、一過性でしかないた。だって、中学生のときの話は、一過性でしかないた。だって、中学生のときの話は、一過性でしかないた。だって、中学生のときの話は、一過性でしかないた。だって、中学生のときの話は、一過性でしかないた。だって、中学生のときの話は、一過性でしかないた。だって、中学時代のことはものすごく遠い過去のことに思え

した。でも、それはしょうがないということで、結論かて。でも、それはしょうがないということで、結論がて。でも、それで、よいで、を消費を相手に裁判を起こしました。それで、とか、憲法論だとか、それはしょうがないということで、結論か

ているんですね。
奥地 でも、その後の人生には、それがぜんぶ役に立っ

みましたね。

奥地 その後、定時制高校も中退されるんですよね。

んじゃないかみたいな、少年特有のヒロイズムみたいりました。中学生のときは、中学生ですら運動を始めたということで、メジャーな歴史に残る役割ができるたということで、メジャーな歴史に残る役割ができるたということで、メジャーな歴史に残る役割ができるたということで、メジャーな歴史に残る役割ができるたということで、メジャーなどの機能を表している。東大全共闘は、エリートですよ

奥地

言葉というと。

なものが、あったわけですね。 ところが70年代に入って、連合赤軍事件や学生どう 内ゲバ事件が起きてきて、

どういうメカニズムでこの国が動いているかを、 がら学生運動では世の中変わらないけど、自分が気づ 旅をしながら見てやろう」と思ったんですね。残念な りたんだし、この国やこの社会がどうなっているのか、 あったんですが、「せっかくベルトコンベアーから降 して、留学でもしたらどうか」とか、 さめたところがありました。それで、 思って、学生運動みたいなものに対しての熱も幻想も 学生運動やその延長では世の中は絶対に変わらないと とき、ショックを受けたんです。このときの失望感で、 いではないだろう、と。でも、何がどうおかしい た素朴な原点、世の中おかしいと思ったのはまちが いに殺しあうみたいなことが現実に起きてしまった 何か対立すると、 いろいろ誘いも 「高校に入り直 のか、 自分

家を出て、ひとり暮らしを始められたんですよね

で働きながら見てやろうという気持ちでした。

保坂 かしていました。 に行って働いたり、 そうですね。 働いたお金で本を読んでいたりと 19歳ぐらいから、 いろんなところ

奥地 か。 そのころも充実感みたい なも 0) は あ ŋ É

保坂 めてました。ただ、日々アルバイトをしても満足でき 意地っ張りなところがあるので、 ろうと思えば、もどれたかもしれない。でも、どこか て捨てたわけじゃないですか。そこで思い返してもど いました。 ないので、 ろか挫折感です。高校、大学と行く将来を、意地を張っ いや、 ほんとうに短い1週間のアル そのころは、正直に言って、 絶対もどらないと決 バイトをして 充実感どこ

奥地 中卒で仕事を探していたわけですよね

保 坂 こんなこともありました。 ええ。 いろんなことをやりました。たとえば、 定時制高校中退と書いて履

正社員になったことがあるんです。 歴書を出したら、面接した人が「おもしろい」と言っ 務だかの決済で、「おもしろいから採る」となって、 で基本は大卒採用だったんですが、面接にあたった専 集の仕事どうだ」と言われた。300人ぐらいの会社 てね。僕も「なんだってできます」と言ったら、

会社に入るなんて絶対にできないと言われていたなか ナスも出してくれると言うし、サラリーマンにもな なってましたが、そのままいれば、けっこう高いボー みようと、試したよう感じでした。 ることもできたんです。定時制高校中退で正規雇用で 社内報では、 じゃあ、 ほんとうに入れないかどうか1回 なぜか定時制高校卒業ということに I やっ

まで、ぜんぶを捨てる必要もなかったなと思って、 もらってサラリーマンをやっているんだったら、これ めてしまったんですね。 3カ月ぐらいやって、安定した仕事と給料 19歳のころの話です。 を

その後、 一番こだわってきたのは、言葉です。

### 自分自身の言葉を

ころは、文章を書くのは速くて無尽蔵に書けたんだけ やがて頭の固い年寄り世代と代わっていけば、世の中 書かれたもので、魯迅は進化論者で、 う短い言葉でした。これは、中国の辛亥革命のときに 魯迅の「青年を殺戮するのはやはり青年である」とい ど、それは結局、仮のもので、自分自身の内側から発 は、自分の言葉ではないと気づくわけです。昔、学生 ぐらい書いてみると、誰かが言っていそうな、どこか て、それを嘆いて「青年を殺戮するのはやはり青年で かの進歩派と保守派が激突して殺しあうことがあっ がよくなると信じていたんですね。 してくる言葉じゃなかった。そのときに出会ったのが 運動の影響を受けてチラシやミニコミをつくっていた の本に書いてある影響を発見することができる。 は何なのかを3行ぐらいずつ書いていくんです。 ある」と言ったわけです。 大学ノートに、 いま自分がこだわっているもの 非常に含蓄の深い言葉です しかし、青年のな 当時の若者が、 これ

てもらって、ミニコミで、月刊で新聞を出してみよう て、当時、僕の周囲にいた若者に呼びかけて記者になっ あって、そういう暴力が起こることに気づきました。 た」とか言われたりしてたんだけど、やっぱり理由は われていて、「食品添加物のせいで暴れる子が多くなっ 響があった。当時、校内暴力は「理由なき反抗」と言 んどん聞けたんです。それを雑誌に書くと、すごく反

一方では戸塚ヨットスクールの問題なども出てき

5

0

0

部ぐらいまで伸びました。

となったんです。

それが『学校解放新聞』で、

る時間があるときに考えないことにあるのだ」と言う。 うんうん言いながら書いていました。 をずっと眺めながら、自分も、こういうふうに書いて た。そのエッセイは心の内側に入ってきて、その1行 くつも変えながら、そういうエッセイを書いていまし 魯迅は非常に緊迫した状況のなかで、ペンネームをい 失言の根拠とは考える時間がないことではなく、考え みたいと思って、2時間ぐらい毎日喫茶店に入っては、 よね。あるいは「急場の失言」というのも、「急場の

奥地 そこで自分と向き合ったということですね

は、 ると、文体も生まれてくる、だから、僕の文章の特徴 みたいなものができた気がします。考え方ができてく 半ぐらい続け 引用がぜんぜんないということです。 誰にも頼まれてないですけれども、それを1年 たんです。その結果、 自分なりの考え方

それが自己を確立する土台になったんですね

筆の仕事は、月刊『宝島』という雑誌の100ページ にわたる特集で、ぜんぶ任されたんです。 驚いたのは、その後、21歳で最初にもらった執

れるようにというか、自動筆記のようにペンが動いて、 2カ月ぐらいかけて行動をともにしたんですね。その ではないんですけどね。 するすると書けました。そのために訓練していたわけ 吉の世界」という特集を書き下ろしで書いたんです。 ときに起きたことを記録して、章立てして「喜納昌 00ページを1週間で書きました。そのときは、流 ミュージシャンの喜納昌吉さんと出会って、

になり、中高生向けの『学校解放新聞』をつくったり しました。 その後も言葉の仕事をずっとやっていくこと

#### 反抗 には理由 があ

う。 奥地 『学校解放新聞』 のきっかけは何だったんでしょ

あって、「それに反発して俺たちはやってるんだ」み と一晩中、話をしたりしていると、実はすごい体罰が たツッパリ連中の、とんがり頭に長ランみたいなヤツ 既存のマスメディアばかりですからね。そこで出会っ 星』で仕事をしていて、学校現場に行くことが多かっ かに取材に来るのは、教師や親向けに情報を発信する たんですね。子どもが読者ですから、その代理人とし 学校事件が起きると現場に行っていたんです。ほ 子ども向けの雑誌、『セブンティーン』や マスメディアがつかんでいない話をど 保坂 奥地 だったと思いますが、 を映像で紹介されていました。80年の終わりぐらい たちのところにも訪ねてこられて、 たよね。『学校解放新聞』編集部の伊藤書佳さんが私 ニスト社/1992)というビデオをつくられてまし そのころ、『ここならGOO!!』 (ジャパ

いろいろな居場所

ンマシ

では、 興味がなかったんです。 は、子どもたちが学校で何をしているかということに ね。言葉と格闘していたときも、18~20歳ぐらいまで 雑誌で学校現場の取材を始めるまでは、 動が深まりました。 やっぱり自分だけがつらいと思ってたんですよ それは、9年代初めごろですね。 おかげで居場所のつながりの活 話をもどすと、 僕自身の意識

たいな話とか、

業式では生活指導の先生と抱き合って泣いたりしてい ぱい粋がって、強がっている。でも、 るんです。 と、当時の暴走族文化に影響を受けた子たちが、精 ところが校内暴力が起きてきて、取材に行ってみる マスメディアは殴るシーンを中継したくて その彼らが、 ころ 卒

た「ツッパリたちがオイオイ泣いた」という記事は、 たんですね。それで、僕が『セブンティ けです。なぜ彼らは泣いたのか。彼らは学校が好きだっ すごく反響を呼びました。 っているから、 抱き合って泣かれちゃったら困るわ ーン』に書

あって絶望感があったわけで、 僕がくぐった中学での体験というのは、痛みや傷でも 理由はぜんぜんちがいますけど、よく似ていますよ 要素としてあったんですね。 ほしくない体験ですが、それが、 があったんだと思います。心がつながるものがあった。 らと、学校から叩かれ、つまみ出された僕の経験は、 ツッパリだからということで学校から排除された彼 彼らの話を抵抗なく聞けたのも、そういうところ あまり多くの人にして 彼らと会話が可能な

奥地 しょうね そうでしょう ね。 「わかるなあ」という感じで

うね。 そこで子どもたちが支持してくれた。 なんとなく、 においでわかってくれたんでし

> 保坂 るけど、 \* 3 考えて、話もできる立場だったんですね。その後、 13歳)がいじめを苦に自殺。遺書には「俺だってまだ死にたくない。 くんや大河内清輝くんのいじめ自殺事件が起きたり、 忙しくなる仕事だったとも言えるんですね。鹿川裕史 して議員になろうと思われたんですか 1996年に国会議員になられたわけですけど、どう もう君達もバカな事をするのはやめてくれ、 それまでの仕事は、子どもたちの不幸な事件で 986年、 そうじゃなくて、共感というかい 東京中野区富士見中学2年の鹿川裕史くん(当時

5 からって他のヤツが犠牲になったんじゃ、いみないじゃないか。だか 実態や家族への気持ちが書かれていたほか、「借用書 書かれていた。1994年、 だけどこのままじゃ『生きジゴク』になっちゃうよ。ただ俺が死んだ 内清輝くん(当時13歳)が、 14万200円 暴行がくり返されるなどのいじめがあった。遺書には、いじめの 働いて必ず返します」などと書かれていた。 いじめを苦に自殺。多額の現金をとられ 愛知県西尾市立東部中学校2年の大河 最後のお願いだ」と

牟田さんを代表にして、なんとかいじめを暴走させな 番のようなものがあればいい、と考えていたんです。 ティネットのいじめ110番というか、いじめ119 はどう考えるか」と相談を受けたりするようにもなっ が本になったりということを、くり返していたわけで りましたね。そのたびに事件現場に飛んで行って取材 石田僚子さんの神戸高塚高校の校門圧死事件とかあ いざ命の危機があったとき、救命されるセーフティ て、 して、レポートを書き、ときにはテレビで語り、それ ネットワー た牟田悌三さんが世田谷区教育委員会にいらして、 そのころ、イギリスにいじめ問題を視察に行って いじめが起きてしまう学校の日常があるなかで、 うシンポジウムを96年にやったんです。 30代になって、 クをつくろうと、「いじめよ、とまれ!」 教育委員会から「こういうケー そのとき ス

> げく通ったりもしていました。 動とは別に、議員会館の土井たか子さんの部屋に足し されたころでしたしね。一方で、子どもについての活 盛り上がったんです。 関心だったわけです。折しも子どもの権利条約が批准 家として子どもを守る仕組みをどう構築するかという した。それはジャーナリストとしてよりも、社会活動 は、世田谷区内だけで500人も集まったりしていま あるとき、イギリスで、 シンポジウムの会場の中学校に 子どもが子どもの 11  $\mathcal{O}$

ネットワークでどう支えられるかという話で、たいぶ

子どもがいよいよピンチになったときに、

地域

0

校で交流したことがあったんです。その子どもたちが 活動をしているロンドン郊外のグランド・バーリーと 立ち会ってくれ」と言われて、1週間ぐらい立ち会っ 「衆議院が解散して、たいへんなことになっている。 全員帰ったあとのことでした。電話がかかってきて、 相談にのるという活動をしていることを知って、その いう学校の子どもをつれて来て、世田谷区の松沢中学 から土井たか子さんへの交代の道をつくったんです。 社民党の党首を決める立会人として村山富市さん

国会議員に

そうでしょうね。大人たちは指導しようとす

っしょに

門にはさまれ、 ところ、門限間際に校門をくぐろうとした女子生徒 取り締まることを目的として登校門限時刻に校門を閉鎖しようとした 990年、 死亡した事件。 兵庫県立神戸高塚高等学校で、 同校の教諭が遅刻を (当時15歳)

ドラマに出演する一方、 (むた・ていぞう 市民活動にも多く関わった。 9 2 8 -2009):俳優で、 数多くの映画

と思わなかったでしょう(笑)。と思わなかったでしょう(笑)。 と出井さんに言われたんですね。その話があったのが9月30日、選挙があったのが10月20日。だから、のが9月30日、選挙があったのが10月20日。だから、たい」で、子どものことしか言っていない。当選すると思わなかったでしょう(笑)。

奥地 まず、思わなかったです。学歴が中卒で生きていて、国会議員にまでなるんだというのが、わりと衝撃なんですね。親の会やシューレ関係でお呼びしたのを覚えていますか。何回か来てもらいましたが、子どもたちもね、なんかすごい励まされました。学校を順もたちもね、なんかすごい励まされました。学校を順番にあがっていかないとダメみたいに思われているな番にあがっていけるんだみたいに思って、それには非やってやっていけるんだみたいに思って、それには非常に支えられたんですよね。

て社会へ出た人は何人かいますが、全員が楽しくやっ分もあったんです。その当時、中学生で運動に参加し がいるですか。僕の場合は、いろいろ運がいい部

長く過ごした人もいます。でも、僕の場合、裁判をやる大人たちに対して生意気な態度をとってはいたけれる大人たちに対して生意気な態度をとってはいたけれども、定期的にしゃべる場があったことで、自分の位ども、定期的にしゃべる場があったことで、自分の位とも、定期的にしゃべる場があったことで、自分の位とも、定期的にしゃべる場があったことで、自分の位とも、定期的にしゃべる場があったと思います。それと、ちょうど教育問題が活発に論じられた時期でもあった。そういうことも要素としては、プラスだったかなと思います。

と思っていたことはありましたか。 国会議員としては、こんなことができるんじゃないか 国会では、質問王ということで有名でしたね。

て、僕が国会のあらゆる委員会で質問しなければいけしかも、その15人のなかに前議長、前総理がいたりし民党にいて、当時、議員が15人しかいなかったんです。社のといろいろできたかもしれないですけれども、社保 坂 もう少し大きな政党の議員になっていれば、

の段階での仕事ですね。

ツパクトがあったと思います。
とくに、子どもの側に目を向けろというところは、イとくに、子どもの側に目を向けろというところは、イとくに、子どもの側に目を向けろというと思います。

たちが児童福祉法改正問題でやってきましたね。
保坂 僕が議員になったころ、東京シューレの子ども

ないんだというので運動したのですが、子どもたちもた。なんでフリースクールに通うのに通学定期が使えぬ。 そうですね。あと、通学定期の問題がありまし

だったのでしょう。ども、区長になられようとした経緯は、どういうこととも、区長になられようとした経緯は、どういうこと会いに行ってお願いしたり、やっていただきましたよ会いに行ってお願いしたり、やっていただきましたよ

### 世田谷区長として

の人を探してください」と言っていたんです。 は、 区長になるつもりはなかったんです。 は、 なんか転がる石みたいなもので、その前までは、 はなかったんです。ただ、2009年の政権交代 ことはなかったんです。ただ、2009年の政権交代 ことはなかったんです。ただ、2009年の政権交代 にという話があって、最初は丁重にお断りして「ほか いという話があって、最初は丁重にお断りして「ほか いという話があって、最初は丁重にお断りして「ほか いという話があって、最初は丁重にお断りして「ほか

並区の区長室で、作戦会議みたいなのをやりました。区役所の前に僕の事務所があったんです。それで、杉区役所の前に僕の事務所があったんです。というのを用意して南相馬へ行こうとなったのです。というの長の田中良さんと話して、あの修羅場のなかで、物資長の田中良さんと話して、あの修羅場のなかで、物資

地点で、すべて通行止めにしていたんです。だから、 に向かわせたんです。しかし、南相馬市まで20キロの かぎられた情報が集まっていた。官邸にアクセスする 杉並区が支援物資を載せたトラックを何台か南相馬市 福山哲郎官房副長官(当時)などにパイプをつないで、 のはすごく大変だったんですが、僕がアクセスできて、 んなインターネットとテレビしか見ていなかったん れだけの大震災なのに、国会の議員会館に行っても、 それ以外の情報は何もなくて、結局、

長選挙に出てくださいと唐突に言われたんです。選挙 れていました。そこから帰ってきた翌日に、世田谷区 ずの立候補会見をして、 いなかで、「全責任は自分にある」と言って、 その後、南相馬市長の桜井勝延さんと会ったんです 4月24日と目前に迫っていて、 国からも県からも東京電力からも、何の指示もな 19日間の選挙戦をしながら、 4月6日、 とりあえ 奮闘さ

政策を練って、チラシをつくりました。

奥地 すごいですね

保坂 かったんです。 僕が世田谷区長選に出るとは誰も予想していな 僕自身、 知らなかったんだから(笑)。

につい 選され それと重なるのですけど、 したね。私たちは教育の多様性を大事だと思っていて、 ていち早く取り組んでこられましたよね。 て、区民の立場に立った区政を目指されてきま いやあ、びっくりしましたね。それで見事、 世田谷区では、性の多様性

物資が何も入らなくなっていたんです。「それはおか

しい、市内救援用なので、物資を入れるように」と言っ

話がついて搬入できたんですが、そういう役割を

保坂 はい。 やっていたんです。

#### 教育 **(7)** 多様性は

奥地 ところに、 れと同じように、教育の多様性も、 行政も法律も変わらなくても、 みなさんすごく励まされたと思います。 もっと認められて 取り組むという

活動と重なるんじゃないかと思うのですが、そのあ じゃないかと思うんですね。それは保坂さんの長年の ひとりの子どもの学ぶ権利を考えたら、おかしいん いて、不登校になったら学校へ戻れというのは、一人いいんじゃないかと思います。学校教育1本になって いんじゃないかと思います。学校教育1本になって いかがでしょう。

きたんです。 しろ遊びのなか、 なかでやっていく力が学びだと思います。 現実に通用するかどうかやってみて、そういう反復の ことではなくて、 がします ようやく時代が追い ^ね。学ぶとは何かというのは、別に記憶する 問いを立てて、その構築した論理が 趣味のなかにもあることだと思って ついてきてくれたという気 それは、む

とか、インターネットで検索するという段階を超えて、 くなってきたわけですね。 きたときに、記憶型の競争というのは、どうも歩が悪 いろんなことは機械が知っているという世界になって 最近、AIショックと言われていますが、 記憶する

ゃあ、それ以外の、 決定的な回答がない難題に対

> が多い とで、アクティブラーニングとか言いだしてきてます して、 ります。最近も文科省の幹部と話す機会がありました なものと、 を問いかけて来た人たちの、ある種の共通言語みたい ね。それは、フリースクールも含めて、学びとは何か 中学に何回も来ています。 し、たとえば馳浩元文部科学大臣も、 んです。 比較的それでも近い回答を準備する力というこ わりと近くなってきているという印象があ 夜間中は少人数で、 世田谷区の夜間

います 奥地 教育機会確保法には、 夜間中学のことも入って

保坂 徴ある学校ができてもいいんじゃないかと思っていま ガラッと変えていくのは、なかなかいろいろ難しい点 シンポジウムなどでいっしょになる機会があります 分の区でありながら驚きました。ほかにも、文科省と があるけれども、 いま考えているのは、 僕も、これほどちゃんとやって たとえば90万都市に、いくつか特 スタンダードな公立学校を いるんだと、

りますよね。すっ。たとえば、北欧にあるような寄宿制の学校ってあ

奥地 フォルケホイスコーレとかですね

保坂 2年間、合宿しながらの学校だとか、そういったことを多様に考えていこうと。それから、やっぱりできすぎる子もはみ出しちゃいますよね。最近も学校へ行って、そういう教室で孤立している子と話したりしてみました。いろいろやってみる、またゆっくりと休むことも含めて、子どもには可能性があると思って休むことも含めて、子どもには可能性があると思って

遊ぼうというプロジェクトを、区をあげてやっていまう名前で、冒険遊び場をもっと増やしていこう、外でます。世田谷区では「そとあそびプロジェクト」とい遊びも含めて、もっと使えるんじゃないかなと思っていまひとつの鍵は、放課後の居場所ですね。これは、

学ぶ全寮制の学校。 した教育内容を旨として、テストがないなど、自由な雰囲気のなかでもた教育内容を旨として、テストがないなど、自由な雰囲気のない独立

> います。 います。 ではなくて、その子にとってフィットする学 断するのではなくて、その子にとってフィットする学 断するのではなくて、その子にとってフィットする学 の居場所には、個別学習の最適な部分もあるので、分 のによってのではなくで、その子にとってフィットする学 のには、個別学習の最適な部分もあるので、分 のには、個別学習の最適な部分もあるので、分 のには、他別学習の最適な部分もあるので、分 のには、他別学習の最適な部分もあるので、分

がでしょう。 世田谷区内での応援などは、いかを目指しています。世田谷区内での応援などは、いかを目指しています。世田谷区内での応援などは、いかを目指しています。 世田谷区内での応援などは、いかを目指しています。 世田谷区内での応援などは、いかでしょう。

保坂 世田谷区でも2カ所、公立のほっとスクール(適保坂 世田谷区でも2カ所、公立のほっとスクール(適味が) 世田谷区でも2カ所、公立のほっとスクール(適

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#27 保坂展人さん インタビュー日時:2017年8月22日 記事公開日:2017年10月27日 場 所:世田谷区役所(東京都) 聞き手:奥地圭子、木村砂織

まとめ:奥地圭子 写真撮影:木村砂織

いと思っています。です。そこは、もうひとつ特徴のあるものをつくりた保坂(ほっとスクールは、今度、3ヵ所目をつくるん

いました。 時間がなくなりました。今日はどうもありがとうござ時間がなくなりました。今日はどうもありがとうござ

ご自 身につい 今日はよろしくお願いします。 て、 お話

最初に松崎さん

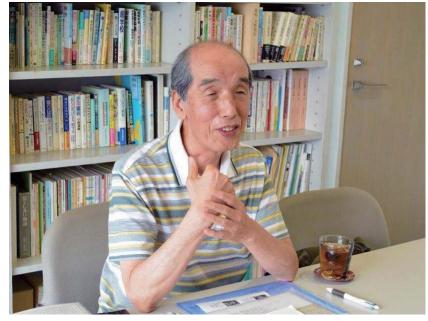
、ます。

に「亡くなった子のぶんも思いを託してその子を産む んだと言って騒いでいたそうですが、まわりの人たち は自分も が子をそういうふうにさせたということで、 なかに亡くなってしまった。親がついていながら、わ だ、みんなの希望になると思うよ」と説得されて、 いたのだけど、 僕は1945年に満州で生まれました。 (お腹の中にいる) この子とい 日 じい 本に向かって逃避行を続けるさ ただきた 11 と思い 9 しょに死ぬ おふくろ 上に

支えてもらったんだ」ということをまっすぐに話す人 た、たくさんの子どもたち、大人たちの思いがつながっ だったんです。 ているん から、おまえの命の後ろには、無念の思いで死んでい もたちのお余りをもらって命をつないできたんだ。だ 混乱や貧困のなか)無念の思いで死んでい おふくろは誕生日が来るたびに、「おまえは みんなに生かされてきたんだ。みんなに いった子ど (戦後 2

それで僕を生んでくれた。

#### #28 松崎運之助 さん



(まつざき・みちのすけ)

1945年、中国東北部 (旧満州) 生まれ。 中学卒業後、三菱長崎造船技術学校、 長崎市立高校(定時制)を経て、明治大学第二文学部卒業。 江戸川区立小松 川第二中学校夜間部に14年間勤務ののち、足立区立第九中学校を経て、足立 区立第四中学校夜間部勤務。2006年定年をもって退職。 著書に『夜間中学― その歴史と現在』(白石書店 1979)、『学校』(晩聲社 1981)、『青春』(教育史 料出版会 1985)、『母からの贈りもの』(教育史料出版会 1999)、『ハッピーア ワー』(ひとなる書房 2007)、『路地のあかり ちいさな幸せ はぐくむ絆』(東 京シューレ出版 2014) など多数。

インタビュー日時:2017年8月22日

聞き手:佐藤信一、野村芳美 場 所:東京シューレ王子

写真撮影: 佐藤信一



ふくろとの幸せな瞬

る道々、 見える、 す。早めにおふくろを迎えに行こうと。 たいことが山ほど溜まってるわけ。 と思ったら、 かけて行って、 子どもである僕らは寂しくてしかたがない。 になって寝ちゃうんですよね。おふくろに寝られると、 はんを買ってくるんですが、疲れているから、 食べさせるために、 日銭を稼いでいました。帰ってくるのが遅いので晩ご 長崎に戻ってきたあと、 話すことができると思ったんですね。 あの橋の街灯の下でおふくろを迎えれば、 寝てしまうでしょう。 夜遅く帰ってきて、 男の人に混じって力仕事をして、 おふくろは3人の子どもを それで考えたんで 子どもなりに話し やっと帰ってきた 向こうの橋が 朝早く出

おふくろの帰りをひたすら

子ども3人で影踏

妹と弟を連れ

やがて角を曲がっておふくろの小さな

み遊びなんかやりながら、

て橋の街灯の下に出かけて行って、 保育園の迎えも僕が行ってましたので、

僕は小学校3年生で、2歳と3歳の妹・

弟

 $\sigma$ 

1日で一番幸せな瞬間なんです。 抱きついたり、それで3人が同時に話し始めて、もうかえりなさい」って、大騒ぎ。押したり、引っぱったり、姿が見えると、もう3人が歓声をあげて「母ちゃんお

野村 なんか、すごくぜいたくな感じがしますね

たんですよ。 よ風みたいなものが、以後の3人の生活を支えてくれ と風みたいなものが、以後の3人の生活を支えてくれ

## 学校でのいじめ経験

惨でもなんでもないことでした。けだしね。慣れてしまえばどうってことはなくて、悲のを待ってました。だって、どうしたって叩かれるわ生の足音が聞こえてきたら、手をひろげて、叩かれるもう慣れっこになって、朝、教室に行って座って、先

ういう実態を、先生たちはまったく知らないんですね。 忘れてるんじゃなくて、持ってないんですよ。そして、 忘れ物が多い子ね」って、いつも言われること。でも、 け。でも母ちゃん、一生懸命働いてるんですよね。な 最後に吐き捨てるように言われていたことです。さら チ買って」とか「ちり紙買って」なんて言えない。そ ことが、ふたつあったんです。ひとつは、「あんたは かな学校の先生なんかより、うちの隣で飲んだくれて んで、こんな人に吐き捨てるように、つめたく言われ に「あんたの母ちゃん何考えてるのさ!」って言うわ は、お嫁さんなんて絶対こないからね」って、 いっぱいいっぱいで生活してるおふくろに、「ハンカ それよりも、その先生の言ってることで引っかかる もうひとつは、「あんたみたいにだらしがない子に いけないんだって思ってました。あんなひやや 毎日、

として学んできたなって。として学んできたなって、として学んできたなっていう感じがするんですよ。人間才教育を受けたなっていう感じがするんですよ。人間方数でを受けたなっていう感じがするんですよ。人間として学んできたなって、

# 保母さんの温かいまなざしに

> 日標を持つことができました。 をのあと必ず「あんたは良い子。あんたはえらい子よ。 そのあと必ず「あんたは良い子。あんたはえらい子よ。 がんばりなさいね」って、毎日言ってくれるわけ。こ だって、つらいときはつらい。人間としては大人と同 じですから。そういう励ましを保母さんにもらい、し かも「あんたのこと見てるよ、あんたのこと応援して るよ」というまなざしでしょう。僕は大きくなったら、 あんな保母さんみたいな大人になりたいなって、淡い 目標を持つことができました。

だから、そのころから思いますと、どんなに崩壊している家庭であっても、どんなに問題を抱えてる家ででしてるよ」って、まなざしをくれる人がいれば、それがけでどれだけ救われることかと思います。そのまなだけでどれだけ救われることかと思います。そのまなだしや励ましに、そのときにお返しはできないけれども、かならず、この歩いて行く人生の道筋で、それはあっても、かならず光になる。これはまちがいなく、そう思うんです。

援助者というか、伴走者にとって、すぐに成果が出ないと「私はダメなんだ」「この人は心を開いてくれない」って思いがちになるけど、当事者からしてみると、そんなに上手に表現できないんですよ。むしろ、底暴れてしまうことがあったり、楽しいから何か知らに暴れてしまうことがあったり、楽しいから何か知らないけど泣きたくなったり。人っていうのは、それぐらい複雑で、宇宙の果てしない広い世界を抱え込んでいるから、相手のことはわからないという謙虚なところからスタートすることが、自分の小さな世界を開けるからスタートすることが、自分の小さな世界を開けるからスタートすることが、自分の小さな世界を開けるからスタートすることが、自分の小さな世界を開けるからスタートすることが、自分の小さな世界を開けるからスタートすることが、自分の小さな世界を開けるからことにもつながるんじゃないかと思います。

# さまざまな人々が集うなかで

入って、4年間、働きながら通いました。 就職しました。そして18歳で定時制高校に1年生から 中学を卒業してすぐ、自分の希望で長崎の造船所に

て、夜、明かりの下に集まってくるわけです。寄り添そういう人たちが昼間へとへとになるまで仕事をし年齢もちがえば仕事もちがう、家庭環境もちがう、

したうよ、がんばろうよ」と一生懸命、支えてくれまあって、そういうときは、みんなが「いっしょに卒業あって、そういうときは、みんなが「いっしょに卒業逃げ出したい気持ちとか弱い気持ちとかはやっぱりうように支え合うような感じで勉強を続けながらも、

定時制高校を卒業したあとは、東京に出てきて町工場で働きながら、夜間の大学に通ったんです。夜間中学と出会ったのは、そのときで、教員免許を取りたいと思ったんです。といっても、教師になりたいという動機があったわけではなく、その後の進路をつくって助機があったわけではなく、その後の進路をつくって動機があったわけではなく、その後の進路をつくって恵ったがあったんです。昼間部は通用するけど、夜間部の大学を出ましたと言ったところで、どこの企業だって相手にしたんです。昼間部は通用するけど、夜間部の大学を出ましたと言ったところで、どこの企業だって相手にしたんです。昼間部は通用するけど、夜間部の大学を出ましたと言ったところで、どこの企業だって相手にしないし、就職も初期の段階ではねられてしまうってね。そのときに思ったの、せっかく大学に行ったんだから、その証拠を社会に示すには、教員免許を取ってればいいかなと。

### 夜間中学との出会い

ると言われたんです。 さと言われたんです。 だけど、教育実習は昼間の時間帯ですよね。3週間 だけど、教育実習は行ったら、長崎の家族が干 とがってしまうし、僕自身も生活費をまかなえない。 とがれる校あって、そこなら夜に実習することができ 学校が8校あって、そこなら夜に実習することができ とがってしまうし、僕自身も生活費をまかなえない。 とがってしまうし、僕自身も生活費をまかなえない。 とがってしまうし、僕自身も生活費をまかなえない。 とがってしまうし、僕自身も生活費をまかなえない。

それで、僕は町工場で働きながら、夜間中学で教育 実習を始めたんです。その初日のことです。年配の80 に行ったら、目をきらきら輝かして、「先生、この いらがなの、の、はね、おたまじゃくしの宙返りなん ですよ。おたまじゃくしがポンって飛び上がって、く るんって返ってるでしょう。かわいいわよね、すてき よね」とか、おっしゃるわけ。僕はもう、あぜんとし てね。だって字が動くなんて思ったこともなかったし、 てね。だって字が動くなんて思ったこともなかったし、 で無表情なものと思ってた。

いったい何だったんだろう」って思いましたね。そういう感性がない。そこで、「えっ、僕の学びって、わけで、いっぱい学んできてるはずなんです。だけど、わけで、いっぱい学んできてるはずなんです。だけど、よく考えてみたら、この人は学校に行ってないんだよく考えてみたら、この人は学校に行ってないんだ

た。

学問というのは何で「問」という字が入っているの学問というのは何で「問」という字がふいます。そんなちゃちなものではなくて、「問」ものではない。そんなちゃちなものではなくて、「問」か。「問」は教科書や先生が問いを出します、という学問というのは何で「問」という字が入っているの学問というのは何で「問」という字が入っているの

どこにも受けいれられなかった人たちが学ぶことがでです。救急学校とも言えます。戦後の混乱で学校に行けなかったとか、家庭が貧しくって行けなかったとか、家庭が貧しくって行けなかったとか、重度障害のために就学を猶予や免除されたような人たちがやってくる。あるいは在日朝鮮人で民族差別を受ちがやってくる。あるいは在日朝鮮人で民族差別を受ちがやってくる。あるいは在日朝鮮人で民族差別を受ちがやってくる。あるいは在日朝鮮人で民族差別を受ちがやってくる。あるいは、日本の教育制度のなかで、というのは緊急避難の学校なん

ない。入学するのも、何歳からでもいいんです。の学校ですから、入学条件なんてものは、あるわけがの学校ですから、入学条件なんてものは、あるわけがき、憩える場所をつくろうと、善意の教師たちの発想き、憩える場所をつくろうと、善意の教師たちの発想

## 不登校の子どもたちと

僕らにとって特別意味をなさなかったんです。りだという認識があるから、不登校ということ自体は、わけですが、不登校の子たちも、多様な人たちのひとそういう学校に不登校の子たちも来るようになった

ります。

最初、面談に来たときは、みんなうなだれてたり、
ま初、面談に来たときは、みんなうなだれてたり、
なかには外

らせると恨みつらみを、きゃんきゃん言われるわけ。の子はですね、学校がですね……」って、もうしゃべいてい付き添ってきた母親なんだよね。「先生、うちいどもは無表情で、僕らの問いに反応するのは、た

が来たいかどうかだけなんです。で、だけど、僕たちが一番大事にしているのは、本人一方で、子どもたちはなんか遠くを見てるような感じ

決まり。 手じゃないから……」と言ってくるので、お願いだか 来たいと思ったの?」と聞くわけです。それでも、親 ない?」って聞く。そうしたら「……はい」と。「よし! ら黙ってと(笑)。それで、「どう?こっちの目を見て、 の方が「いや、うちの子はですね、あんまり表現が上 う」と伝えて、本人に向かって「大事なことだから、ちゃ てください。来るのはあなたじゃなくて、この人でしょ は、ダメなんです。本人の問題ですから。だから、 あとは何もいらない。 いまだけでいいから、一瞬でいいから見て答えてくれ んと答えてほしいんだけど、あなた自身がほんとうに の方には「いろいろ言われてますけど、ちょっと待っ 親が行かせたいとか、先生が行かせたいとか 入学! いっしょにやろう。 がんばろう」と。

育てなかったでしょう」とか、「共稼ぎだったでしょし、何も心配しなくていい。今までさんざん「母乳でもうお母さんは、学校のことは何も聞かなくていい

と追いつめられて、つらい思いをいっぱいしてきたとと追いつめられて、つらい思いをいっぱいしてきたとと追いつめられて、つらい思いをいっぱいしてきたとと追いつめられて、つらい思いをいっぱいしてきたとの、僕らにまかせてくださいと言ってね。「お母さんは、ら、僕らにまかせてくださいと言ってね。「お母さんは、ら、僕らにまかせてくださいと言ってね。「お母さんは、ら、僕らにまかせてください。学校のことは子どもが話したくなったら話すでしょうから、それを聞いてくれればいいです。聞き出そうなんてしなくてかまわないです」とか、「スキンシップが足りなかったでしょう」とか、「スキンシップが足りなかったでしょう」ということを伝えてました。

変わらないと言われていました。
の規がすべての元凶で、親が変わらなければ子は一時期、不登校の原因は母原病だと言われてました

# 本人が動きたいと思ったときに

人が動きたいと思ったときが一番いいときだから、本らがずっと若い先生たちに言い伝えてきたことは、本らがずっと若い先生たちに言い伝えてきたことは、本らがすっと若い先生たちにも、また入ってきます。僕の間中学はいつでも入れる学校ですから、たとえば

いですね。 人の意志で入学相談に来たのであれば、真冬であろう と真夏であろうと、即入学だよということです。公立 と真夏であろうと、即入学だよということです。公立

だいたい、初めのうちはみんな固まってますね。ようすを見ている。なかには真夏なのにフードをかぶって、ずーっと柱のところで突っ立っていることもある。つの風景みたいになっちゃうんですね。あれはほんとうに不思議。でも、人間っていうのはおかしなもので、あるとき、彼がフードを取ったら、みんなが逆に不安あるとき、彼がフードを取ったら、みんなが逆に不安あるとき、彼がフードを取ったら、みんなが逆に不安あるとき、彼がフードを取ったら、みんなが逆に不安あるとき、彼がフードを取ったら、みんなが近に不安あるとき、彼がフードを取ったら、みんなが近に不安あるとき、彼がフードを取ったら、みんなが近に不安あるとき、彼がアードを取ったら、関れると、といたいと思った。

んと学校が運営されてないんだと下に見られてしまうがあったんですが、「学校嫌い」に入れちゃうと、ちゃや「学校嫌い」(\*98年以降は「不登校」になっている)になってきましたね。長期欠席の調査項目には「病気」不登校とか登校拒否というのは、児童精神科の問題

薬をもらってくることになる。 すよと言って、児童精神科に行かせて、そうすると、 症状で、これは放っておくとたいへんなことになりま 症状で、これは放っておくとたいへんなことになりま がら、学校は極力、入れなかったんです。そこで、児

## 比較は意味をなさない

東京シューレもできてなかったですしね。当時、どこにも受け皿がなかったですからね。まだ、当時、どこにも受け皿がなかったですからね。まだ、

がいいんですね。 特った人から、いろんな人がいっしょにいて、居心地持った人から、いろんな人がいっしょにいて、居心地のかと言えば、年配の人から、外国の人から、障害をのかと言えば、学校には行かなくても、夜間中学には通える

みんな笑って、「かわいいなあ、7年か。俺は行っててなかったんだ」って言ったら、そこにいた人たちがうになって、「計算してみたら、7年間も学校に行っすごいなと思ったのは、ある女の子がしゃべれるよすごいなと思ったのは、ある女の子がしゃべれるよ

(笑)。「俺たち、ひょっとしたら登校拒否の大先輩だ(笑)。「俺たち、ひょっとしたら登校拒否の大先輩だよな」とか「いや、もう神様の世界だよ」とかなんとか言ったりしてるのよ。そういう場所だから、同年齢ときに行ってなかったとか、そのブランクが何年あるとさに行ってなかったとか、そのブランクが何年あるといっても、夜間中学では、そんなことは自慢にもならない。それより、みんなでどう楽しく過ごすかということが大事になってくるわけです。

入ってきますからね。 なころが80年代に入ると、不登校の子たちが急激に はこころが80年代に入ると、不登校の子たちが急激に ところが80年代に入ると、不登校の子たちが急激に

ました」とか言ってインタビューをしていたんです。なる不登校児家庭だとかいうコーナーをやっていたんたる不登校児家庭だとかいうコーナーをやっていたんなご苦労をされて、孤立している家庭におじゃましビをつけていたときのことです。たまたま、困難を抱ビをつけていたときのことです。たまたま、困難を抱

先生」とか言ってきたんです。

先生」とか言ってきたんです。
これ、許せないよね、ると不登校が悪いみたいでさあ。これ、許せないよね、ると不登校が悪いみたいでさあ。これ、許せないよね、ると不登校が悪いみたいでさあ。これ、許せないよね、ると不登校が悪いみたいでさあ。これ、許せないよね、が、音声を変えていたり、親がすりガラスの向こうでが、音声を変えていたり、親がすりガラスの向こうでが、音声を変えていたり、親がすりガラスの向こうでが、音声を変えていたり、親がすりガラスの向こうで

ビの向こう側なんだよって話をしました。との子たちは夜間中学のほうが少数派で、大多数はテレけど、実は夜間中学のほうが少数派で、大多数はテレけど、実は夜間中学のほうが少数派で、大多数はテレけど、実は夜間中学のほうが少数派で、大多数はテレけど、実は夜間中学のほうが少数派で、大多数はテレビの向こう側なんだよって話をしました。

#### 社会に発信を

を持ってるから、社会にもっと訴えたほうがいい」と、そのころ、「不登校の子は、夜間中学ではみんな自信これらの話は、東京シューレができる前のことです。

な」とか言ってね。 「自分たちだけが夜間中学に来僕らは言ってました。「自分たちだけが夜間中学ではやってないはずだからうような学びは、夜間中学ではやってないはずだからのような学びは、夜間中学ではやってないはずだから

です。 た。 集まりにしかすぎないでしょう。それで、奥地圭子さ 参加がありました。 で、全国から参加があって、最後は400人ぐら に最終回だったんですが、新聞に大きく予告が出 なのかを話してもらおうと思ったんです。 したので、第1回目の講師は奥地さんにお願い 国府台病院の児童精神科の親の会につながりがありま んに声をかけたんです。奥地さんは、希望会という にね。だけど、自分たちだけで開いても、 1984年8月にスタートして、合計7回、翌年2月 それで、登校拒否を考える連続講座をやり始めたん 一般社会が不登校に対して、どういうまなざし 不登校の子たちと夜間中学の子たちといっしょ 自分たちの 1 回 しまし たの 目は  $\mathcal{O}$ 

たくさんの人が集まって、すごく明るい元気のいい

していくんですよね。

「登校拒否を考える会」はあったんですね。 野村 このころ、すでに東京シューレの母体となった

長をやりました。 をしてスタートする。スタートのときは、僕が事務局をしてスタートする。スタートのときは、僕が事務局をしてスタートする。スタートのときは、僕が事務局をでいる。

話していました。 会の最初のときに、とてもお世話になったんだよ」と野村 そうそう、奥地さんが「松崎さんには、考える

> てました。 にまじり合いながら、遊んだり、バンド演奏したりし 松崎 当時は、不登校の子も夜間中学の子も、いっしょ

野村 当時、奥地さんとは教員どうしの知り合いだっ

家だった。授業を組み立てるのに非常に有能な人で、家だった。授業を組み立てるのに非常に有能な人で、実践れないた。その運動のなかで、奥地さんとの出会いがてました。その運動のなかで、奥地さんとの出会いがてました。その運動のなかで、奥地さんとの出会いがあったんだと思います。彼女は小学校の先生で、実践あったんだと思います。彼女は小学校の先生で、実践あったんだと思います。彼女は小学校の先生で、実践を記述されていたが、というによっている。

東京シューレにつながっていきましたね。が登校拒否になったことをきっかけに、教員をやめて、いろんなことをやってました。だけど、自分の子ども

## ほとんどが学齢満期除籍

たちが夜間中学に入ってきていたということでしょう除籍なのか退学なのかわかりませんが、そういった子卒業してない人たちですよね。不登校で地元の中学を野村 このころ、夜間中学に来ていたのは、中学校を

とめを課せられていたころです。 は校門に30回タッチしなきゃいけないとか、何か見せは校門に30回タッチしなきゃいけないとか、それもダメな場合は校門に30回タッチしなきゃいけないとか、それもダメな場合とめを課せられていたころです。

(2011)によると、1986年度の東京の夜間中野村『東京都夜間中学校研究会50周年記念誌』

の子どもとなっていますね。 学生468人のうち、159人が引き揚げ者で日本語学とは168人のうち、159人が引き揚げ者で日本語

**佐藤** 普通学級の約3分の1が不登校ということです

い出されていたということでしょうか。 野村 それだけ、当時の不登校の子たちは、学校を追

松崎 学校に残していると恥になる、ということだったのでしょうね。中学3年までは、授業をいっさい受になったとき、ぜんぜん学校に来ていなかったら留年になったとき、ぜんぜん学校に来ていなかったら留年になったとき、ぜんぜでさえ学校に来ていなかったら留年の学年に落ちて、ただでさえ学校に行きたくないのに、かうので、あんまり留年という手は使われなかった。 だけど学校としては、いてもらっても困るし、早く出だけど学校としては、いてもらっても困るし、早く出

業証書を出すわ出すわ(笑)。それも、もう早く出て行 来てましたね。 時は、ほとんどが学齢満期除籍になって、 除籍にする。それを学齢満期除籍と言うのですが、当 課題を出されても、ほとんど行かないんですよ。そう ないと、卒業証書は出せないということになっていた しがつかない。そこで、苦役のような課題をクリアし 7 てくれってことでしょうね。 したら、義務教育年齢は終わったからということで、 けです。でも、学校に行かない子たちって、 いない子どもに卒業証書を出すのは学校としても示 一方で、まったく、あるいはほとんど通学し いまは反対で、 1日も行かなくても卒 夜間中学に そんな

#### 共通する「学び」 夜間中学とフリースクールに

(山田洋次監督1993)のなかでは、夜間中学の教答えが一番多いのではないかと思います。映画『学校』ジかを聞くと、「行かなきゃいけないところ」という佐藤 いま、子どもたちに「学校」ってどういうイメー

ていかなきゃいけない、「学校」の意味を取り戻して 世界があり続けてしまっている。そのこと自体を変え くの学校は、ほんとうはそういうすばらしい意味を持 スクールとも共通するところで、いま、残念ながら多 けど、まさにそうだよなって思いました。それはフリー あるんだ。それが学校じゃないか。だから僕が来なさ 映画を見て、 いくっていうか、変えていかなきゃいけない つ場所でありながらも、 よ」というセリフがありますね。あたりまえなんです いって言うんじゃないんだ。君がどうしたいかなんだ のつくり合い、分かち合いのなかに学校っていうのは れに対してじゃあ教えようって教師が来て、その相互 「学校っていうのは、学びたい子どもが来て、 あらためて思ったんですよね。 ぜんぜん、それとはまた逆の

たとか、いろんな人たちが来るんですよね。作業着をけないという学校じゃないから、教員も楽なんですよ。んたちも、来たいと思うから来るわけで、来なきゃい松崎 ほんとうに、そうですよね。夜間中学の生徒さ

着たままで、ねじり鉢巻きして、えらそうにして「おらよ、入れてくれんのかよ! 俺みたいなのはどうせらよ、入れてくれんのかよ! 俺みたいなのはどうせが言ってきたりするわけ。でも、こっちは、そういうのには慣れてるからね(笑)。そういうふうに本人がのに来てくれてるのだから、こんなに楽なことはない。来たいと思う根拠が、その本人にはあるわけ。人それぞれちがうけどね。

だから、学校というシステムを不登校の子が嫌ってあがうんだよなって思いますね。そのあたりをちょっとわれてって窓口いっぱいつくっても、そういうこととはんだって窓口いっぱいつくっても、そういうこととはんだって窓口いっぱいつくっても、そういうこととはんだって窓口いっぱいつくっても、そういうこととはたがら、学校というシステムを不登校の子が嫌って

やってる若い子といっしょに比べたって何の意味もならがな読み書きのできない人と、ドイツ語を独学で年配の人と15歳を比べたってどうしようもないし、ひまず比べないし、通知表なんて、あるわけないしね。及間中学の場合は、個別指導が原則だから、人とは

同じだよね。
同じだよね。
を称ないしね。だから作業服で来てもいいし、革ジャ要がないしね。だから作業服で来てもいいし、革ジャい。それと、校則もないでしょう。服装とか決める必

いう感じがします。 野村 ほんとう、いま、お話をうかがっていて、そう

佐藤 ほんとうに、そうですね。

ないと思うけどね。そういう財産にもっと学んだほうがいいと思うけどね。そういう財産にもっと学んだほうがでいいけど、それはその土地でいいわけで、そこの生活風土のなかにあるもので、日本は日本で、日本なりの歴史的な経過を得て、やっとつくり出した。そういうのがあるんだからね。

**野村** ほんとうに、そう思います。目の前にいる子ど

**#28 松崎運之助さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

松崎 だから学びっていうのは、空気みたいにどこに松崎 だから学びっていうのは、空気みたいにどこに

思います (笑)。

野村 ほんとうに、そう思います。そういうほんとうの学びとは何かって、あらためて考えました。いう感性をみんな持ってるんだけど、なんだか、いろいう感性をみんな持ってるんだけど、なんだか、いろいされって変ですけど、そこが見えなくなってしまい。それって変ですけど、そこが見えなくなってしまい。そういうほんとうの学びとは何かって、あらためて考えました。

うございました。 佐藤 ほんとうに今日はお話しいただいて、ありがと

野村

非常に感動しまくりでした。

る。それはすばらしいですよ。自分を褒めたらいいとても、あなたたちはそうやって深く豊かに捉えてくれなの。だから、こんなまとまりのない雑駁な話を聞い松崎 そう言われるお二人は、そういう感性をお持ち

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#28 松崎運之助さん

インタビュー日時:2017年8月22日 記事公開日:2017年11月15日

場 所:東京シューレ王子 聞き手:佐藤信一、野村芳美 まとめ・写真撮影:佐藤信一

#### #29 横湯園子さん

9

18事件」と聞いてますが、

それがどういう事件 わかりません。2

横湯

横湯

父は治安維持法で逮捕されたようなんですね。

年半の実刑に処せられて、 だったのかは調べたことがなくて、

獄中で満身結核になったそ

いた。された事件。 1933年9月18日、 横湯さんの父、 芹澤総一郎さんは、労農運動に関わって 神奈川県や静岡県で共産党員が一斉検挙

屮 まずは子ども時代のことからうかがいたいと思

います。

お生まれは、

どちらでしたでしょう。

うです。

獄中で亡くなると抗議運動が起きるというこ

歳のときに沼津大空襲を経験して、 1939年、 静岡県三島市に生まれました。5

ときに亡くなりましたので、母子家庭で育ったんです。 た。その後、母の故郷に移って、そこで高校生が終わ 焼失し、私たちの住んでいた家も焼かれてしまいまし るまで過ごしました。それと、父は私が1歳1カ月の 沼津は98%以上が

屮 11 でしょうか お父さんが亡くなられた経緯をうかがってもよ

横湯 持って逃げて、それが唯一、父の遺したもので、 社会主義に近づき、 岩 とで仮釈放になって、 以上のことはわからないんです。 それまでにも何回も逮捕されていたようですが。 文学青年であった父は、文学サークルを通して 何か活動されていたんでしょうか 釈放後に亡くなったようです。

沼津空襲のとき、母が父の原稿用紙とノートと写真を 労農運動に身を投じていました。

お母さんも苦労されたことでしょう

中

追い出されて、子どもを抱えて苦労したようです。母 たそうです。父が亡くなったあとは、 の記録では、 て辛酸をなめ、 「獄中結婚宣言」をして、一族から勘当された女性だっ 母は父の身元引受人になるために、新聞紙上 父が亡くなったあと思想犯の未亡人とし 戦争が終わるまでの4年間で、 父の実家からも

#### #29 横湯園子 さん



(よこゆ・そのこ)

1939年、静岡県生まれ。心理臨床家。日本社会事業大学社会福祉学部卒業。 1970年~1985年まで国立国府台病院児童精神科病棟の院内学級で教員を務 める。その後、千葉県市川市教育センター指導主事、女子美術大学助教授、北 海道大学教授、中央大学教授などを歴任。定年退職後はフリーの心理臨床家と して子ども・青年に関わる。著書に『登校拒否 専門機関での援助と指導の記録』 (あゆみ出版 1981)、『登校拒否――新たなる旅立ち』(新日本出版社 1985)、 『アーベル指輪のおまじない』(岩波書店 1992)、『魂への旅路 戦災から震災へ』 (岩波書店 2014) など多数。

インタビュー日時:2017年10月8日

聞き手:山下耕平

場 所:飲食店(東京都) 写真撮影:山下耕平

母はあまり語らなかった人ですが、活動家では 住所を変えてるんです。

だったので、「ひどすぎるので、 以上のことがあったそうです。 あいだや腿を刺されたと言ってました。実際にはそれ だった父をさがしてアジトを訪ねたところを、 かった母自身も2回逮捕されているそうです。 にむごい拷問も受けていたんです。 の親族が動いて、すぐに釈放はされたものの、その際 た人から少し聞いたところでは、畳針で手足の爪の でいた警察官たちによって逮捕されています。 私もまだ中高生のころ 園子ちゃんには教え いっしょに逮捕さ 張り込 恋人 東京

ましたが、残っていた体力を使いはたしたのでしょう るかもしれないから、断固闘ったんだよ」と言ったん を寄せている私に気づくと、母は「結核菌を飲まされ すぶすやられる感覚から、拷問のときのフラッシュ です。私は母に身をよせて手を握って、 バックが起きたんだと思います。処置室に入って、身 が点滴を失敗したとき、 母は84歳で亡くなったんですが、入院中に看護婦さ 大暴れしたんです。 点滴は成功し 肌をぶ

られない」と言ってました。

のは、こんなに時間が経っても、 か。母は、その2日後に亡くなりました。拷問という のだと、あらためて思いました。 人の人生に影響する

な

片 どもの苦労も相当だったのではないでしょうか。 さんも、さぞかしご苦労されたことと思いますが、 ほんとうに苛酷な状況を生きてこら ń て、 子

連絡をとらず、食べ物もないなかで、 **横湯** たいへんでしたけど、母の苦労と比べれば、 いしたことはなかったと思います。 しい母子生活でした。 戦後も、 間借りしての貧 一族とは

#### 文学少女だった

屮 れてたんでしょう。 横湯さんは、学校では、 どういうふうに過ごさ

横湯 これまで、 去年、めずらしく中学校の同級会に出たんです。 故郷に帰るのは好きではなく疎遠になって

私のほうは、 程度のいじめだったのでしょう。私は文学少女で、休 と言って園子ちゃんをいじめていた」と言うんですが、 そこで男子の同級生の何人かが「僕らは、 でしょうね。 み時間は本ばかり読んでいたので気がつかなかったん んな亡くなっていくと思って、みなさんと会いました。 て、同級会にもめったに出てなかったんですが、 ぜんぜん記憶にない。 いわゆる「無視」 親がアカだ

は禁止」と先生に言われたほどです。 吐して体調を崩してしまって、「しばらく本を読むの ただ、『基地の女』(中本たか子)を読んだときは、嘔 ショル兄妹の『白バラは散らず』も忘れられません。 ランス文学を夢中になって読んでました。 ルストイやドストエフスキーなどのロシア文学や、 ず本をくれる人だったんです。 母は、貧しい生活のなかでも、 中学生のころには、 お誕生日にはかなら おませですよね。 ドイツの ኑ フ

屮 係はどうだったんでしょう 貧しくても文化はあったのですね。 先生との 関

> 先生もいました。 ます。特別いい先生というわけではなかったですが、 を教室に入れてくれる。その先生のことはよく覚えて 横湯 扉を開けておいてくれました。休み時間になると、弟 小説『宮本武蔵』(吉川英治)を読み聞かせてくれる 子どもたちを河原に連れていっては、ご自身の好きな のときは廊下に弟を置いて、先生は弟が見えるように 小学校1年生のとき、弟を連れて学校に行くと、授業 先生たちは、やさしかったですね。 たとえば、

もたちにやさしかったように思います 敗戦直後からしばらくは、先生たちも自由で、 子ど

屮 中学校はどうだったんでしょう。

集を出しておたがいに討議することなどを通じて学ぶことが目指され 横湯 た。そのひとつ、 たちが自分の生活を自分の言葉でつづり、それを推敲する過程や、文 やっておられて、授業とは別に、原稿用紙をくれて、「あ \*2 生活綴方運動は、 とくに覚えているのは国語の先生で、綴方を\*\* 『山びこ学校』については、本プロジェクト 1910年ごろに始まった教育運動。子ども

成恭さん参照

関心になっていきました。

と言ってくれたんです。それが書くことに対するなたの思っていること、感じていることを書いてごら

のですが。

本うです。私も、亡くなられてから本を読んで知ったはうです。私も、亡くなられてから本を読んで知った、「「「「「「「「」」」である。

すね。 一方で、コンプレックスもあったと書かれてま

論や理屈はわかってなかったんです。 算数や理科はきらいでしたね。私は直観像素質者傾向 算数や理科はきらいでしたね。私は直観像素質者傾向 が、この年になると、ぜんぶ消えたみたいですけど、

なるまで、人前でうたったことがないんです。子守歌をはずしていたのでしょう。先生に「あなたは声を出をはずしていたのでしょう。先生に「あなたは声を出んですね。それはすごくショックで、以後、この年にんですね。それはすごくショックで、以後、この年にんですね。それはすごくショックで、以後、この中で、私が音程

まいました。くのは好きですのに、歌をうたえない人間になってしくのは好きですのに、歌をうたえない人間になってしころです。自意識過剰だったのでしょうか。音楽を聴もうたったことがない。4年生と言えば思春期に入る

山下 子どもにとって、大人からの言葉の影響力は大山下 子どもにとって、大人からの言葉の影響力は大いですよね。多かれ少なかれ、誰しも、そういう自分のなかの未解決のコンプレックスを自覚していることが、ご自身のお仕事には役に立ったとおっしゃってまが、ご自身のお仕事には役に立ったとおっしゃってます。

大いるんですね。 横湯 そうですね。 利は、ほかの人のいる前で子ども 大いるんですね。 大いるんですね。 大いるんですね。 大いるんですね。 大いるんですね。 大いるんですね。 大いるんですね。 大いるんですね。 大いうより話し 大いるんでする。 大いうより話し でいるんでする。 大いうより話し でいるんでする。 というよりに というよりに というより にいるんでする。 というより にいるんでする。 にいるんでする。 にいるんでする。

# 山下 子どもの側もそれを察知するんでしょうね

### 国府台病院の分校で

**山下** 横湯さんは国立国府台病院の院内学級に勤めて

たんですね。 
た」と聞いて、どんな学校だろうと思って見学に行った」と聞いて、どんな学校に行けない子の学校ができ葉県市川市で養護学校の教員をしていたんですが、「病薬県市川市で養護学校の教員をしていたんですが、「病

たんです。それが、院内学級の木造校舎だったんです。うに生えたグラウンドで、ひとりの少女がコスモスを摘んでいたんです。私がその少女に「病気でも怠けで摘んでいたんです。私がその少女に「病気でも怠けで摘たら、彼女は黙って、ひとりの少女がコスモスを

それで、職員室で話を聞いていたら、その彼女が入ってきて、先生に黙ってコスモスの花を渡したんです。 花をの線がやわらかく変わったのがわかったんです。 花をのりと少女は教室を出ていって、それを見送る女性のたんです。 転勤をしたくて教育委員会まで行ってお願たんです。 転勤をしたくて教育委員会まで行ってお願いをして、翌1970年に転勤しました。

山下 どういう学級だったんでしょう。

日本で初めての試みでした。 通称は「分校」でしたが、正式には「情緒障害児学級」。 横湯 治療的教育の場としての学級だったんですね。

でも留年があったのでしょうか。過年児もいました。 最初に受け持った子どもは12名でした。当時は中学校 最初に受け持った子どもは12名でした。当時は中学校の担当で、私は中学校の両方あって、私は中学校の担当で、私は71

かったと聞きましたが?ですよね。情短施設では、教科をせず、体験学習が多ですよね。情短施設では、教科をせず、体験学習が多山下 この学級は、情緒障害児短期治療施設とは別

横湯 それについては、私は断固闘ったんです。国府台病院の情緒障害児学級は、日本で初めての登校拒否児を対象とした院内学級として1965年に開設、1968年から3年間、文部省の研究委託を受けて、「情緒障害児の教育内容・方法の実験研究」をしていたんです。私はその3年目に入って、ちょうど研究結果を出す年でした。私たちが教育実践の報告をして、それをもとに精神科医や小児科医、教育委員会、校長会の方も入って議論して、結論として答申を出すので会の方も入って議論して、結論として答申を出すのでまが、その内容に、若かった私はナマイキにも異を唱すが、その内容に、若かった私はナマイキにも異を唱えたんですね。

「この子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふ「この子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったの子たちは病気ではなく、症状がとれれば、ふったりにないの子にない。

うしたら、 場では「わかりました」と言って引き下がったんです 「次の会議であやまりなさい」と言われました。その 生たちを前に、なんてこと言うんだ」と校長に叱られ、 体育だけでいい」とされていることに対しては、私は 以上はおとがめなしですみました(笑)。 論になったんです。校長はにらんでましたけど、 てくださって、すべての科目を保証すべきだという結 が、次の会議では、また言い張ったんです(笑)。そ 了後、校長室に呼ばれて「えらい精神科医や大学の先 である、道を狭めてしまってはいけない、と。会議終 ば、その後、自己実現に必要な科目が保証されるべき ひとりで猛反対しました。ふつうの生徒たちであれ し、「情緒の障害だから、教育は音楽・図工・技術・ つうの子である」とあったのはよかったんです。 1 9 1 9 平井信義先生(小児科医・児童心理学者) -2006) が「それはそうだ」とおっしゃっ しか

#### 教育って難しい

山下 横湯さんは何を教えておられたんですか。

横湯 私は社会科だったんですが、英語の教員がいなかったので、英語も担当してました。全科目が保証されるようになったのはよかったんですが、長期欠席による学力の遅れもあったので、英語と数学はグループにつの科目は同時限・全教室展開となり、3グループにつの科目は同時限・全教室展開となり、3グループにかして教師が複数つくことにしていました。しかし、かけ算九九や分数がわからないとか、ABCもあやふかけ算九九や分数がわからないとか、ABCもあやふかけ算九九や分数がわからないとか、ABCもあやふかけ算九九や分数がわからないとか、ABCもあやふかけ算九九や分数がわからないとか、ABCもあやふかけ算九九や分数がわからないとか、英語の教員がいなからに配慮もしていました。

体育と音楽は、先生がいなかったので、体育はふつれていたと思います。

フリータイムという時間を設けていて、農作業だと

り自由に、ゆるやかにやっていたと思います。ろんな活動をやってました。そういう意味では、かなか、遠足やバーベキュー、パーティーや劇だとか、い

**山下** 分校に来ていたのは、入院している子たちだっ

横湯 原則として来る生徒もいました。 繁急のために少しは空けておかないといけないですなくなったんですね。ベッドは45床ありましたけど、が、だんだん不登校の子たちが増えて、ベッドが足り

うことですか。 山下 そうすると、最初は12名だったのが増えたとい

してくれたんです。毎年、4月時点では人数が少ない員会のほうも、教員の数を5~6人ぐらいまでは増や定数オーバーで無理してやってました。ただ、教育委権湯 そうなんです。途中からは50名を越してました。

会が柔軟に対応してくれてました。 んですが、年度内に増えることを見越して、教育委員

それと、私がいた最後のころは、元将校病棟の木造校舎ではなくプレハブ校舎でやってたんです。 小学校のほうで、お金を盗んだ子がいて、それに対して「絶対に許してはいけない」と厳しく指導されて、隠し場がまでわかったんですが、その次の日に深刻な仕返しをされてしまったんです。

戦場に送るな」と、真っ先に日教組に入って運動した こちらがいいと思っていても、 悪いのか、迷われる。 どもの問題行動に対して、どこまで指導していいのか めてしまったと心を痛められて、その事件をきっかけ 先生でした。それなのに、自分がまた子どもを追い く自分に対して厳しい方でした。そういう方でも、子 んです。その先生のことは忘れられません。ものすご に結核を再発して、まもなくして亡くなってしまった 極的に生徒を送った反省から、 厳しく隠し場所も言わせた先生は、満蒙開拓団に積 教育って難しいなと思いました。 戦後は「教え子を再 やりすぎてしまうこと 9 び

## 給料袋まで盗まれても

横湯 いろんな子どもがいました。たとえば、盗みの横湯 いろんな子どもがいました。たとえば、盗みの様湯 いろんな子どもがいました。たとえば、盗みの様湯 いろんな子どもがいました。たとえば、盗みの横湯 いろんな子どもがいました。たとえば、盗みの時間を いったんですね。だから、教員や医者や看ありとあらゆることをやられました。でも、私は叱っありとあらゆることをやられました。でも、私は叱ったとはなかったんですね。だから、教員や医者や看たことはなかったんですね。だから、教員や医者や看かとあらゆることをやられました。でも、私は叱った。

感というのでしょうか、看護婦が何か怖い感じがする吹っ飛ぶところだったという事態があったんです。予ちょっとでも火の気が起きたら、児童精神科病棟がしかし、あるとき、彼がプロパンガスの栓を開けて、

への通学は継続になりました。

、ない通学は継続になりました、事なきを得ましたが、分校するけれど、外来の治療は続けるということで、分校特神的にも厳しい状態にあって、結局、強制退院にはお父さんは亡くなっているし、お母さんは経済的にもお父さんは亡くなっているし、お母さんは経済的にもと言って、窓を開けて発見して、事なきを得ましたが。

らくなって叱るなんてしない。しい状況を吐露して泣くんですね。そうると、私もつしい状況を吐露して泣くんですね。そうると、私もつただ、泣かれたりすると、弱かったですね。亡くなっ

でも、ガマンの限度を越すことが一度あり、私も警察に届けようとしたことがあったんです。それを若い男性の先生に「僕らにまわしてください」と言われた。 教員たちも、おたがいにぶつかりながら彼と向き合っだったと思います。 そういうなかで、彼は人間に対するだったと思います。 そういうなかで、彼は人間に対するだったと思います。 そういうなかで、彼は人間に対するだったと思います。 そういうなかで、彼は人間に対するだったと思います。 そういうなかで、彼は人間に対する 基本的な信頼感を取り戻していったように思います。 基本的な信頼感を取り戻して働いていて、彼の働いていま、がマンの限度を越すことが一度あり、私も警

それを聞いたときは、うれしかったですね。しい看護師に出会ったことがないということでした。

山下 自分が受けとめられた経験が大きかったので

横湯 そうですね。彼の主治医は上林靖子先生で、心横湯 そうですね。彼の主治医は上林靖子先生で、心が広くてやさしくて、彼をかばうことも多かったです。 でも、彼にかぎらず、窮地量はすばらしかったです。でも、彼にかぎらず、窮地量はすばらしかったです。でも、彼にかぎらず、窮地したいと思う気持ちというのは、理屈ではなく、愛かしたいと思う気持ちというのは、理屈ではなく、愛とでも言うのでしょうか、そんな気がします。

つごろのことだったんでしょう。ありますよね。耕助さんと関わっておられたのは、いわされたり、巻き込まれたりするほかないことって、山下、冷静さも必要でしょうけど、たしかに、振りま

ました。でも、

齊藤先生のほうから「この地点で、

昼下がりの決

闘ではなく、

昼下がりの食事にしましょうか」と言っ

来の子は私の側について、別々に行動したこともあり

お昼はいっしょに食べようということ

中

たとえば、どんなことで?

#### 医者とのケンカ

屮 との関わりは、どんな感じだったんでしょう? 国府台病院のなかで、お医者さんと分校の教員

横湯 けですが、常時関わる職種でもあるわけで、 あり、教員も看護婦も心理職もそれに従って関わるわ すか。そこで教員と医者とは、 育が主導して、 療と教育が協働しつつも医療が主導、第3段階では教 階あって、第1段階では医療が主導、 療と教育の両面から子どもに関わるわけですが、3段 て、 「医者の下にはつきません」というようなことを言っ がちがうわけです。医療と教育は組織が別ですから、 りました。お医者さんは診断・治療方針を出す立場に よく対立してました。 始終、 11 医療がそれをカバーするとでも言いま い意味でケンカしてました(笑)。 やりあうことも多々あ 第2段階では医 関わり方 医

> りあい 生が盗まれてください」って怒ってしまったり。こち 私は「だったら、先生があちこちにお金を置いて、 らは給料まで盗まれてますからね(笑)。 が「盗み飽きるまで盗ませたらいい」と言うわけです。 か」とやり合う。あるいは、盗みがひどいので、カン ファレンスで合同で話すことになったとき、ある医者 「強制退院だ」となった。でも私が「彼には帰る場所 耕助のことで言うと、盗みをして、医者たちが、 は、 のに、どうしてそんな無責任なことが言えるの 始終でした。 そういうや 先

中下 たお医者さんというの その 「盗み飽きるまで盗ませたらい Ú い」と言 0

横湯 渡辺位さんです (笑)。 渡辺先生 は、 W つもそ

府台病院で児童精神科医長を務め、登校拒否は個人病理ではなく、 校を含めた社会への子どもの防衛反応であると、 (わたなべ・たかし/1925 -2009):児童精神科医。 いち早く世に訴えた。 学 玉

て、 んくらい、 ていて、遠足のとき、病棟の子は医者の側につき、外 とがありました。子どもたちも、そのようすはよく見 あったと、後になってからわかったように思います。 そのようなことはよくあるんです。渡辺先生のよさで うわけにはいかないですから、本気で怒って、 んが渡辺先生に腹を立てて、おそばやおすしを30人ぶ 音をあげていたことがありました。耕助が問題を起こ んを呼んで話されたりしていました。現場の現実って、 か」と言ったりしてね(笑)。 んです。それには、さすがの渡辺先生も音をあげてい ゆるかたちで、渡辺先生を苦しめていたことがあった していたころ、 ういう感じだったんですけど、さすがの渡辺先生も、 齊藤万比古先生(児童精神科医)とも、 私は思わず「やりたいだけ注文させたらどうです 渡辺先生の名前で注文したり、 別の外来の子で、なぜだかわかりませ でも、さすがにそうい やりあうこ ありとあら 親御さ

> てきたりね (笑)。齊藤先生も楽しい方でした。 信頼し合っていました。 ですから、意見のちがいでやりあっていましたけど、

中 心理職との 関わりはどうだったんでしょう

です。 横湯 護の人たちとの付き合いが多かったです。 グやカンファレンスの場でのつきあいが多くて、 とでした。ですから、重い子どもの場合やミーティン に来ている生徒のことでは、あまり関わってなかった いねいに関わって、その後は必要に応じて、というこ 教員の私たちが日常的に関わるのは、 心理の先生たちは、 入院した最初のところでて むしろ看 分校

中 る、 や看護の人たちは子どもたちと日常をともにしてい というちがいはあるのでしょうね。 お医者さんは基本的に診察の局面だけで、 教員

横湯 朝から晩までですから。 教員よりも看護の人のほうがたいへんですね。 基本的にはあたたかくて、 Þ

した。こともあって、看護の人たちと対立することもありまさしかったんですが、当然、厳しい要求を出してくる

## 戦争神経症と登校拒否

山下 国府台病院は元陸軍病院で、戦争神経症の方も 、その人の置かれた状況を見ないといけないと教 じく、その人の置かれた状況を見ないといけないと教 じく、その人の置かれた状況を見ないといけないと教 こられたと書いておられましたが、その医師というの えられたと書いておられましたが、その医師というの えられたと書いておられましたが、その医師というの

着ている人は精神科医ですから、「この先生なら」と、 が、見童精神科の医長は渡辺位先生だったんですが、 当時はまだお若かったですし、私も分校の教員になったばかりのころでもあって、相談に乗ってくれそうなたばかりのころでもあって、相談に乗ってくれそうなたばかりのころでもあって、相談に乗ってくれそうなたばかりのころでもあって、精神科工リアで白衣を

> と結核、トラコーマが急増したときが、戦争前夜の徴 どもなんだというけれども、 男子成人病棟までついていったんです。「ふつうの子 なさい」とおっしゃったんですね。 を育てなさい。そのうえで、目の前の子どもと関わり けないですよ」と言われたんです。そして、 まずは社会現象を見る目を自分のなかに育てないとい かったら学校を拒否しなかっただろうし、 言われている子どもたちも、社会や学校状況が悪くな 神経症はありません。いま学校恐怖症とか登校拒否と 症の話をされたんですね。「戦争がなかったら、戦争 き、その先生が「一人ひとりの子どもとつきあう前に、 候と言えます。 ならなかったでしょう。そういう意味で、あなたは、 もっと大事なことがあります」と言われて、 て、どう扱っていいかわからないです」と相談したと いまでも私の原点です。 あなたはしっかりとその徴候を見る目 いろいろ問題行動もあっ その言葉、視点が、 神経症にも 戦争神経 「神経症

情熱もいっぱいあるのだから、子どもとぶつかりなさりません」と食い下がったら、「あなたはまだ若いしでも、「目の前の子どもとどう関わっていいかわか

思います。
思います。
思います。
思います。
のときは私たちが手伝いますよ」と言ってくれたんでのときは私たちが手伝いますよ」と言ってくれたんでのときは私たちが手伝いますよ」と言ってくれたんでのときは私たちが手伝いますよ」と言ってられたんでい」とおっしゃいました。「でも、目いっぱいやったら、い」とおっしゃいました。「でも、目いっぱいやったら、い」とおっしゃいました。「でも、目いっぱいやったら、い」とおっしゃいました。「でも、目いっぱいやったら、い」とおっしゃいました。「でも、目いっぱいやったら、いっぱいます。

病棟でした。

林が教員になったころは、婦長も、元従軍者護婦の私が教員になったころは、婦長も、元従軍看護婦の

いたのかもしれないですね。 
 本は、戦争神経症の話は渡辺位さんからうか 
 山下 私は、戦争神経症の話は渡辺位さんからうか

ことがあったんですが、「あなたに見せるわけにはい症のカルテを見せてください」と総婦長にお願いした横湯 そうだと思います。私も若いころ、「戦争神経

先生が、ドラム缶に詰めて地面に埋めて隠していたそ ことなのですが、戦争神経症のカルテは、すでに国府 所が明らかになったら、 聞が報じたのですが(2017年2月19日)、保管場 ことですから、膨大量です。その事実を最近、東京新 あったそうです。 わったとき、軍部からカルテを焼却するように命令が 急激な変化は怖いです。 を焼却しかねないですね。 医療センターに移して保管した。8000人分という うです。それを1951年に掘り起こして、下総精神 台病院から別の場所に移されてたんですね。戦争が終 きません」と断られました。最近、あきらかになった しかし、 いまの安倍政権は、 そういう意味では、 浅井利勇先生と諏訪敬三郎 その資料 時代の

消してはいけない過去だと思います。
山下 戦争神経症の資料というのは、重要でしょうね

## おたがいに悪さを許容

山下 国府台病院での話にもどりますが、横湯さん

「なんちゅうセン公だ!」ってあきれられたりね。しました。子どもたちから「おまえ、それでも教師か」けど、よく、いっしょに騒いだり、いたずらしたりも横湯 そうですね。悪さといっても、ちょっぴりです

いたずらではないですが、毎年、秋になると、病院の敷地内の銀杏を拾って売るんですね。若い男の先生の敷地内の銀杏を拾ってましたし、子どもたちは外来のたちも飲み屋で売ってましたし、子どもたちは外来の来たなという風物詩みたいになってました。乾かして水る最中に、盗んで売ったことがあると、おとなしいな子グループの卒業生に告白されたこともありました。「私たちも悪いことができたとうれしかった」とた。「私たちも悪いことができたとうれしかった」とれまりでくれました。

もと響き合うのに大事かもしれないですね。 ちですが、悪さをいっしょにしたりすることも、子どちですが、悪さをいっしょにしたりすることも、子ど

それと、ある年のキャンプで、私が参加しなかったのに。

て、許容の範囲は許し合っていた感じでした。生と私で、「もう疲れたからサボろうよ」と言って、なんなが作業しているとき、木に登って、隠れてサボったこともありました(笑)。でも、子どもたちにもバレてて、夜になってから、みんなの前でバラされたりとかね。子どもも教員も医者も、おたがいに悪さをしとかね。子どもも教員も医者も、おたがいに悪さをしとかね。子どもも教員も医者も、おたがいに悪さをした。

とめられる土壌があったのでしょうね。もにとって楽かもしれないですね。そういう土壌があもにとって楽かもしれないですね。そういう土壌がありた。大人がワガママを言えているというのは、子ど

横湯 そうだと思います。でも、蛇がきらいでキャン 神湯 そうだと思います。でも、蛇がきらいでキャン 神湯 そうだと思います。でも、蛇がきらいでキャン がっているというのは、ワガママですよね (笑)。 がったいをいうのは、ワガママですよね (笑)。

んでは、なかなかなさそうですね。 加してたんですね。そういうことは、いまのお医者さしまいますしね。しかし、当時は医者もキャンプに参しまいますしね。しかし、当時は医者もキャンプに参いでは、なかなかなさそうですね。

先生も、ほんとうに、よく子どもたちとつきあってい横湯 そうだと思います。齊藤先生も渡辺先生も上林

も、そこで成長し、幅も培えたと思います。も教員も、なかなかできないように思います。私たちも教員も、なかなかできないように思います。私たちも教員も、なかなかできないように思います。私たちは教員も、なかなかできないように思います。

のつながりはあったんでしょうか? 位さんが国府台病院で開かれていた親の会、希望会とが変わっていくということがあったわけですね。渡辺山下 子どもも含めて、揉めごとを通して、おたがい

程度でした。 横湯 ときどき、のぞくことはありましたけど、その

でしょうか?
山下 分校に来ていた人の親御さんは参加されてたん

横湯 参加している親の方もいましたが、外来の人の

ほうが多かったと思います。

渡辺先生とのことで言いますと、退院して高校を卒

は思ってなかったんですが、 うになりました。それまでも、不登校をダメなことと 子どもたちをとりまく環境なんだと、強調して言うよ は悪いことではない、悪いのは学校であり社会であり、 代半ば過ぎだったと思います。そのころから、 んです。ちょうど希望会が始まったあとぐらい、70年 登校のイメージを大きく変えていこうという話をした たあとも不登校を悪いことのように感じてしまってい それで、渡辺先生が私のところに来られて、「退院し とを結婚相手に言えなくて、自分が罪人のように感じ 業後に結婚した女子生徒で、 のことなんだと知らせていったほうがいいね」と、不 苦しい思いをしている人がいる。不登校はプラス 結局、離婚してしまったという例がありました。 自分が不登校していたこ 前面に出してはいなかっ 不登校

屮 のですね。 直接のきっかけとして、 そういうことがあった

たんです

#### 子どもの 規則ありきではなく 側から

屮 が問題だということをおっしゃってますね は、なかなか子どもに「ごめん」の一言が言えない うかがいたいと思います。横湯さんは、教員というの 少し話は変わりますが、教員のあり方につい  $\mathcal{O}$ 7

りきで、 景から起きているかを見ないで、行動だけを見て、悪 ことはできません。 いと判断してしまう。それでは子どもの側から考える いる。だから、問題が起きたとき、それがどういう背 に出ていて、それに合うか合わないかで子どもを見て しょう。「こうでなければならない」というのが前 教員の多くは、子どもありきではなくて規則 規則に子どもをあてはめてしまってますで 面 あ

ずっと、 中 度、 そのフィルターで見てしまうということはあ 問題行動として見てしまうと、 その後も

りますよね

子どもの側に立って、子どもが何を求めているのか、 と問題を起こして、自殺の危険性のある子たちもいま とくに私は、3人に自殺されてますので……。 ぎり、子どもの行動を判断してはいけないと思います。 何に苦しんでいるのかを考える。それがわからないか んな子どもがいて、 教えてくれたのは、 したし、たいへんでしたけど、そこで学んだんですね。 そうですね。 それではちがうんだということを 変化球は出しますし、 不登校の子どもたちでした。いろ 次から次へ

屮 るような経験だったと書かれてらっしゃいますね。 教え子を亡くされたことは、 自分の人格が崩 n

とうに根気よくつきあっていたのに、 ひとり目の生徒のことは、『登校拒否 立ち』に、佳奈という仮名で書きました。彼女は、毎 このように死にたいと言ってました。私たちも、ほん どう受けとめていいかわからなかったですね。 死なれてしまっ 新たなる旅

> 禄の えたのです。そこにいたるまで、1年くらいはかかり 共に生きていこう、 悩み続けて、 私にとって、ものすごく大きな転換点でした。上原専 ました。 た。どうしたらよかったのかわからない。彼女の死は 『死者・生者』(未來社1974)を読み続け、 ある夜、 死者と共生・共存していこうと思 父の気配を感じたとき、佳奈と

屮 は、その後につながっていきますけれども、 をするのは難しいですよね……。 れてしまうと、とりかえしがつかないですから、 いろいろあっても受けとめることができた場合 亡くなら

話したんです。おばあさんが出て、 ない彼が来ないのはおかしいと思って、 子でした。「ヘルプミー」と大学ノートにびっしり書 でます」と言う。 んですが、ある日、約束の時間に来ないので、遅刻し いていました。男性の先生がカウンセリングしていた 難しいですね。もうひとりは通院してい 「とにかく、 ようすを見にいってく 「いま2階で休ん すぐ自宅に電 ・た男の

ださい」と頼んだんですが、「寝てますから」と言ったさい」と頼んだんですが、「寝てますから」と言っまいまってがス管をくわえて自殺されていたんです。で家族は、すごくご自身を責めておられて、それを見ているこちらもつらかったです。もうひとりの女子生徒は、自我が壊れていくような感じがあって、主治医からも「いじらないほうがいい。感じがあって、主治医から、「寝てますから」と言ったさい。

もうひとりの女子生徒は、自我か壊れていくような感じがあって、主治医からも「いじらないほうがいい。感じがあって、主治医からも「いじらないほうがいい。様女とですが、その先生がひさしぶりに訪ねてくるときに、んですが、その先生がひさしぶりに訪ねてくるときに、んですが、その先生がひさしぶりに訪ねてくるときに、自我が壊れていくような自我が壊れていくような自我が壊れていくようなものか、自殺してしまったんです。

ますし、一概には言えないです。どうすればよかったのか、一人ひとり背景もちがい

いけないという思いは強いです。
く敏感になりました。重い課題ですけど、死なせてはに合ったこともあります。自殺に対しては、ものすごく敏感にない」と感じることがあって、駆けつけて間の子が危ない」と感じることがあって、駆けつけて間の子が危ない」と感じることがあって、駆けつけて間の子が危ないという思いは強いです。

**山下** 亡くなった3人の方は、国府台病院にいたとき

ク以上のショックです……。 
げないことはある。患者に死なれるというのはショッた。どんなにトレーニングされた医者であっても、防れてしまったことがあって、ご自身が入院されてましれてしまったことがあって、 
担当の子どもに自殺さ

いことだとおっしゃってますね。
イトで照らすように把握しすぎてしまうのも、よくなることを起こしてしまう子に対して、あまりサーチラることを起こしてしまう子に対して、あまりサーチラ

は子どもを追いつめてしまう。その元になっているこす。問題行動ばかり取りだして、そこばかり見ていてこともありますが、始終、光をあててたらよくないで横湯 もちろん、サーチライトをあてることで見える

かることだと思います。ているかをわかりたい。でも、それは時間をかけてわれない、虐待があるかもしれない、何に追いつめられとをわかりたい。学校でのいじめや暴力があるかもし

山下 信頼関係がないと言えないこともありますから、子どものほうから言ってくれるのを待たないといら、子どものほうから言ってくれるのを待たないといけないこともありますよね。それには、直してやろうという人よりも、力の抜けている人のほうがいいこともあるように思います。そういう意味で言うと、いまは、なんでも早期発見・早期対応が求められてますね。不登校でも、休み始めたらすぐにシートを作成して対不登校でも、休み始めたらすぐにシートを作成して対応するとか、発達障害でも、早期に発見して特別支援があるとか、発達障害でも、早期に発見して特別支援を対している。

必要もあると思います。それまでは、おつきあいしてぐにはわからないですよね。相手が話せる時機を待つ行動は見えても、その行動の背景に何があるかは、す横湯 そうですね。早期発見と言っても、表面に出た

きるような対応ですよね。
と言うなら、押しつけがましいものではなくて、「どと言うなら、押しつけがましいものではなくて、「どと言うなら、押しつけがましいものではなくて、「どと言うなら、押しつけがましいものではない。子どものほうからSOSを出してくれ

# スクールカウンセラーの役割は

立でしょう。 山下 1995年からスクールカウンセラーが配置さ 山下 1995年からスクールカウンセラーが配置さ

横湯 役割の前に、条件を考えたいと思います。スクー だけの勤務で何ができるのでしょう。相談室に座って だけの勤務で何ができるのでしょう。相談室に座って だけの勤務で何ができるのでしょう。相談室に座って だけの勤務で何ができるのでしょう。相談室に座って だけの勤務で何ができるのでしょう。相談室に座って だけの勤務で何ができるのでしょう。

子どもたちの抱えている困難に対応しようとするの

解決するプログラムを持って、コンサルテーション、 メントなどをやっていました。日本でも、そういうプ もたち自身が、ピアヘルプ活動、コンフリクトマネジ ると思います。 コーディネーションの役割を果たしていました。子ど はともかくとして、 であれば、スクールカウンセラーは、常勤か非常勤か ングで、子どもたちが自分たちの問題を自分たちで ウンセラーは相談だけではなくて、小集団カウンセ アメリカに視察に行った際、スクー 毎日1~2名は常駐する必要があ

ログラムを持てたらいいと思っています。

ようになれば、教員もずいぶん楽だろうなと思います。 が、心を支えることにもつながる。カウンセラーとソー ように、仕事の確保も支援する。生活面を支えること シャルワーカーが協働していました。日本でも、 の役割も果たしていました。つまり、親が生活できる では、スクールソーシャルワーカーは、ハローワーク ていますし、虐待の問題も増えていますし、アメリカ それと、スクールカウンセラーだけではなく、スクー 先生は忙しすぎます。何か問題や事故があるたびに、 ソーシャルワーカーも必要です。 生活困難層も増え

> きあう時間が減ってしまっている。せめて報告業務を 膨大量の報告業務が求められる。そのために生徒とつ なくすだけでも、 とができる。 先生たちの疲労や多忙感を減らすこ

ル

屮 問題ではすまない 教員の置かれている状況を変えないと、 わけですね 意識

生は、 す。つまり、子どもの思いと教員の思いはいっしょな 生徒とともに過ごしたい」という回答が多かったんで も、僕らは先生たちといっしょに過ごしたいです。 彼らは先生たちの問題点をいっぱいあげたあとで、「で は楽になると言うので、 た人だったんです。 んです。調査委員のひとりが、文科省の係長をしてい した。また、教員たちのアンケートでも、「私たちは ですが、自殺した生徒の友だちにヒアリングしたとき、 区のいじめに関する調査委員会の委員長をしていたん そう思います。 僕らのところに降りてきてほしい」と言ってま 彼が、 私は、2013年に東京都足立 提言に盛り込んだんですが、 報告業務をやめたら、

をつくる会の提言のなかでも、 それを聞いた先生たちは手を叩いて喜んでました。 しました。 それで、国連子どもの権利条約市民・NGO報告書 報告業務の多さを指摘

してほしいです。 の委員をやってます。自殺しないで、せめて登校拒否 現在も、 東京都葛飾区で、 自殺に関する調査委員会

よね。 屮 むしろ、 学校に行っている人のほうが心配です

ど、 校になったからとい しいです。 生きていれば、 もちろん、学校に行かないことは苦 いつか何とかなりますから、不登 って、 自分を過剰に責めないでほ しいですけ

### 用務員や事務員が 大

屮 員も楽になって、 学校に他領域の専門職が入ってくることで、 子どもと関わる余裕を持てるように

> 思いますが、いかがでしょう。横湯さんも、 どもを見立てていくより、子どもとぶつかりながら、 なるというのはわかります。しかし、 つきあってこられたわけですよね。 存になって、 丸投げになってしまう問題もあるように 一方で専門家依 心理で子

まって、 見にきてくれと言われたんですが、授業を見てしまう 横湯 と、どの生徒が勉強ができて、できないかわかってし 監視の目が入っているから来ない。 た。相談室に座っているだけでは、来る生徒は少ない もスクールカウンセラーとして中学校に入ったこと お昼休みに、 から、それも断わりました。その代わり、 んです。とくに、いじめられている生徒は、加害者の 1で中学校に行きました。ほんとうに勉強になりまし があるんです。東京都内の学校のことを知りたくて、 1999年に中央大学に赴任したときから3年間、週 そうです 劣等感のある生徒は来なくなってしまいます 校内をぶらついたんです。 ね。 具体的なことで言いますと、 教員からは授業を 休み時

それで、

警戒してないんです。現場をおさえてもらって、そこ ちというのは、 現場をおさえてくれと頼むんです。いじめ集団の子た に行って聞くんですね。事務の方たちは、家庭状況か うと、すぐ動かれてしまうので黙っておいて、事務室 確認するんです。でも、その時点で教員に言ってしま しょう、いなくなります。さらに近づくと、セカンド ひとりがグループから離れる。 思う生徒たちに近づいたりしますでしょう。 ら何からよく知っている。次に、用務員室に行って、 スらしき生徒の顔だけ覚えて、あとで生徒台帳を見て くらいの生徒が声をかけてくるんです。その生徒とボ 「カウンセラーが来たから行け」と言われるので 用務員を自分たちより下に見ていて、 いじめられている生徒 すると、

いて、よくおみやげを持っていってました(笑)。ですから、私は用務員のおじさんたちとは親しくしてに行くと、何かが動いて、何かが解決していました。

で初めて、教員に言うんです。

彼らは、意外といじめの加害者にはなってないことが善それと、ツッパリの子と仲良しになったんですね。

**くれたりね。** 多かったです。「俺らは許さない」と言って、情報を

とか言われて。 「相談室にいないで、ぶらついて遊んでばかりいる」ただ、生徒指導の先生には私の評判は悪かったです。

性の良し悪しについては、いかがでしょう。 山下 心理の枠組みで子どもを見ることや、その専門

は。 は、いじめの構造やプロセスについては話し合いま は、いじめの構造やプロセスについては話し合いま は、いじめの構造やプロセスについては話し合いま は、いじめの構造やプロセスについては話し合いま は、いじめの構造やプロセスについては話し合いま は、いじめの構造やプロセスについては話し合いま

した。養護教諭は、虐待をよく見つけられるんですね。養護教諭からよく話を聞いてましたし、お願いもしまうが重要だと思います。私は週1回だけでしたから、専門性ということで言うなら、むしろ養護教諭のほ

諭とは親戚関係だと思います。ほんとうに勉強になりと仲良くしてました。スクールカウンセラーと養護教ですから、私は、事務員、用務員、養護教諭の方たちいじめも、ほかの教員よりも、よく気づいてました。

山下 いわば周辺の人たちで、それが重要なわけです山下 いわば周辺の人たちで、それが重要なわけでまり、いわゆる不登校ではなく、虐待や貧困で長期欠席していることもありますね。そのあたりがと思いますし、いわば周辺の人たちで、それが重要なわけです山下 いわば周辺の人たちで、それが重要なわけです

あの子はどうも性虐待を受けているようだとか。 を活をよく知っています。貧困の場合でも、ネグレの先生が重要だと思います。貧困の場合でも、ネグレは、ふらふらっと養護教諭のところに行ったりしていは、ふらふらっと養護教諭のところに行ったりしていは、ならないの方たちは、ほんとうに子どもたちのは、なら、養護教諭の方たちは、ほんとうに子どもたちの先生が重要だと思います。貧困の場合も、やはり養護教諭を活をよりです。

が重要だということはありますよね。 山下 家庭が厳しい状況のとき、親以外の大人の存在

ルカウンセラーだけでは何もできません。 教員と連携すれば、いい仕事ができる。これだけ貧困教員と連携すれば、いい仕事ができる。これだけ貧困が広がって、家庭の困難が蔓延しているなかで、スクーが広がって、家庭の困難が蔓延しているなかで、スクールカウンセラーやスクールソー横湯 他領域のスクールカウンセラーやスクールソー

とネットワークを組むことが必要ということですね。山下 心理職だからというよりも、教員が、教員以外

### 受苦の共同化

われてますね。すぐに専門家に解決してもらおうとい山下 横湯さんは、「受苦の共同化」ということも言

ということでしょうか。うのではなく、苦しみこそ共同化していく必要がある、

横湯 子どもや大人が抱えている困難の多くは、すぐ 横湯 子どもや大人が抱えている困難の多くは、すぐ が第一だと思います。どういう工夫で、それを超えら れるか。同じ思いを共有しながら、ときに分析しなが ら、ときにアイディアを出し合いながら、子どもと大 人、生徒とカウンセラー、教員どうし、共に考え合っ ていくほかない。

そこで問題になるのは、やはり、教員が多忙すぎて、いることでしょうね。多くの先生は子どもが好きで、いることでしょうね。多くの先生は子どもが好きで、子どもといっしょに生きていきたいと思って教員になられるようにするには、事務職を増やすことも必要いられるようにするには、事務職を増やすことも必要があうと思います。

み聞かせたりしてたわけです(笑)。その先生が持っ敗戦直後の教員は、自分の好きな『宮本武蔵』を読

は、もっと必要でしょうね。てたんだと思います。そういうことが、いまの教員にている長所とか特技が、自然に出て、それが共有され

か? で、フリースクールなどについては、どうお考えですで、フリースクールなどについては、どうお考えです 山下 学校が具体的に変わっていく必要がある一方

いと思ってます。 は、自分のいまを支えてくれる場所がないですから は、自分のいまを支えてくれる場所がないですから

ん、おじいさん、おばあさんとかね。専門職だけでなば、何か特技のある兄ちゃんとか、おじさん、おばさはダメで、さまざまな人が必要だと思います。たとえ横湯 そうですね。子どもと関わるのは心理職だけで

役割を果たしてましたでしょう。く、そういう人が大事かな。昔は、祖父母世代がその

キャッチできる余白のある大人が必要ですね。いということもありますしね。子どもの言うことをいということもありますしね。子どもの言うことを

かもしれません。 うことにもなりますし、居場所への老人の参加は大事テレビだけ見ている年寄りたちが社会参加できるとい横湯 そうですね。そうしたら、ヒマを持てあまして

## ひきこもりについて

そのあたりは、どうお考えでしょう。て、いまや世代を越えて大きな問題になってますね。その後は学齢期を越えて、ひきこもりとして現象化し、山下かつては不登校として現象化していたことが、

横湯 難しいですね。不登校だった子どもの一部はひ

安心だと感じてくれたら、共同作業ができます。 終わりにして、再び出発するのにつきあう。信頼され、 ないの傷を負って、その後も、ずっとひきこもってい ます。その心の傷、心的外傷後遺症と、どうつきあっ ます。その心の傷、心的外傷後遺症と、どうつきあっ ないが、いじめや暴力だった場合、深

心的外傷で苦しんでいる方たちは、直接は会えない心的外傷で苦しんでいる方たちは、直接の緊急相談だということを家族に理解してもらって、家族がひきだということを家族に理解してもらって、家族がひきたられるかが課題です。追いつめられると、自殺の危急性もありますから。実際、いまも、自殺の緊急相談がよくあります。

理で、家族だけで抱え持っていると危ないということでしょうけれども、それを支えるのは家族だけでは無<br />
でしょうはれども、それを支えるのは家族だけでは無

はあるでしょうね。

横湯 半 間、 弾するのではなく、 ます。支え合いのあり方は、その本人、 が必要だと思います。 で決まっていくのではないでしょうか。 教育・福祉・心理などが重なり合うことが大事になり えることで安心・安全を感じてもらう。 いくことが必要だということでしょうね。 ありがとうございました。 ですから、 教員にしても、 家族を問題視するのではなくて、支 外の風も入れながら、 家族にしても、 余裕のなさを指 そういう理解 家族のようす 医療·保健· 支え合って 今日は長時

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #29 横湯園子さん

インタビュー日時:2017年10月8日 記事公開日:2017年11月29日

場 所:飲食店(東京都)

聞き手:山下耕平

写真撮影・記事編集:山下耕平

山下さんは、

さまざま

その後、

18歳で長崎を出

て、

東京の大学に行き、

りたいこともなかったので、

鉄鋼関係の商社に就職し

1969年に大学を卒業しました。卒業後、とくにや

#### #30 山下英三郎さん

るまで、

体のことや命のことと密接に関わって

十 屮 な子どもたちと出会ってこられたと思うのですが、 なかったけれども、 子爆弾が落ちました。 てよろしいでしょうか? の話の前に、 よろしくお願いします。 長崎市内です。 生まれは長崎市で、 長崎市内ですか? 山下さんご自身の経歴からおうかがい 翌日、 9 46年に生まれまし

ただ、 爆心地に行ったそうです。そのとき僕はおなかにいた 突然、被爆者手帳がきた感じでした。 ので、胎内で放射能を浴びた「胎内被爆児」なんです。 被爆認定は18歳になってからと遅くて、 僕の母がいた場所は中心街では 僕が生まれる7~8カ月前に原 何もわからず知人を探しに ある日

須永

おもしろいですね。

増田

法学部で鉄鋼ですかっ

屮

そうです。

上

法学部なんですよ。

増田

大学の学部は

胎内被爆児という経験は、 に大きく影響するからなんです。 なんでその話をしたかというと、その後の人生行動 僕にとっては現在にい 突然降ってわい た た

須永

当時は学生運動の時代ですかっ

なかっ 毕

たんです

(笑)。

法学部はいただけで、

法律を勉強したわけ

#30 山下英三郎 さん



(やました・えいざぶろう)

インタビュー日時:2017年9月18日 聞き手: 須永祐慈、増田良枝、中村国生 場所:山下英三郎さんご自宅(長野県)

写真撮影:中村国生

1946 年、長崎県生まれ。日本社会事業大学名誉教授。NPO 法人修復的対話 フォーラム理事長。早稲田大学法学部卒業後、社会人経験を経た後 1983 年 にユタ大学ソーシャルワーク学部修士課程に入学、1985年に同課程を卒業。 1986年から埼玉県所沢市において、日本で初のスクールソーシャルワーカー として実践活動を行なう。また、1987年から2010年まで子どもの居場所「バ クの会」の運営に携わる。1997年から日本社会事業大学教員。1999年、日 本スクールソーシャルワーク協会を立ち上げた。著書に『いじめ・損なわれた 関係を築きなおす』『エコロジカル子ども論』(ともに学苑社)など多数。

- 665 -

山下 そうです、全共闘の時期です。1965年、大学を封鎖して、全学ストライキが100日間にわたって続くということがあったんです。だから、そのぶんずれ込んで、2年生になったのは8月でした。田舎からぽっと出てきて大学に入って、いきなりそうい舎からぽっと出てきて大学に入って、いきなりそういるようになりました。それまでは生き方も迷ってて、るようになりました。それまでは生き方も迷ってて、あまり先のことは考えてなかった。

大学闘争の影響はすごく大きかったんですね。当時、大学闘争の影響はすごく大きかったんですね。当時、大学闘争の影響はすごく大きかったんですね。当時、大学闘争の影響はすごく大きかったんですね。当時、大学闘争の影響はすごく大きかったんですね。当時、大学闘争の影響はすごく大きかったんですね。当時、大学闘争の影響はすごく大きかったんでする。当時、大学闘争の影響はすごく大きかったんでする。

見て、おおもとの言っていることは同じはずなのに、した。大学のなかでも、運動する人どうしが争うのをたころには赤軍派の活動がだんだん活発になる状況でだけど、運動がどんどん過激になって、僕が卒業し

は、は、は、は、は、は、が、は、が、は、が、は、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、

同時期に、アメリカでは公民権運動が始まってました。キング牧師の非暴力主義に、僕はすごく惹かれて、キング牧師のことを研究したとまでは言わないけど、大事なのはこれじゃないかと思ったんです。とはど、大学なのはこれじゃないかと思ったんです。とはが、大学時代には何も考えがまとまらず、とりあえず就職するしかないので、鉄鋼関係の商社に行ったわけです。

のではないかと思ったのが就職の動機でした。 鋼関係の小さい商社で英語ができれば、外国に行けるので、英語サークルに入って英会話を学びました。
ですいう活動に参加したいという想いがありました。
ですいう活動に参加したいという想いがありました。
ですいう活動に参加したいという想いがありました。

だけど、実際には行くチャンスはなかったですね。

入ったら、会社自体ぜんぜん合わなくて……。そのころはちょうど経済成長期で、とにかくイケイケな雰囲気で、だけど僕は、学生のときに産学協同路線にすご気で、だけど僕は、学生のときに産学協同路線にすご気がちがうことにすごく苦しくなっちゃったんです。 されいないと思ったんです。

だけど、辞めたところで何をやっていいかわからない。だけど、辞めたところで何をやっていいかわからない。なだちがで、友だちが営業に行くと、僕もいっしょにたちといっしょにボウリングに行ったりしてました。しかし、そればかりだと、ちょっとむなしいなと思ってね。いくらなんでも、会社に迷惑をかけるし、自分もつらかったので、とにかく辞めようと思ったんです。もつらかったので、とにかく辞めようと思ったんです。

# カメラマンから植木屋に

#30 山下英三郎さん

そういうとき、物を書いたりはできないんだけど

カメラだったら何かを表現できるんじゃないかと思ったんです。自分が胎内被爆児ということから、戦争問題を扱って表現したいという思いがあったんですね。題を扱って表現したいという思いがあったんですね。

かくやってみたいと思っていました。どう表現すればいいかはわからない。それでも、とにどう表現すればいいかはわからない。それでも、とはいえ、

らいの仕事して、写真をやり始めたんです。 渋谷の写真スタジオで、無給にちょっと毛が生えたぐ 法での写真スタジオで、無給にちょっと毛が生えたぐ

1年半ぐらい経ったところへ行きました。 日年半ぐらい経ったところ、自分のなかのテーマが少ました。サイパンは、戦争の傷跡がまだ生々しく残っていました。サイパンのすぐ横にテニアン島があるんですが、テニアン島から原爆を積んで、長崎・広島に出発が、テニアン島から原爆を積んで、長崎・広島に出発したという事実もありました。ある意味、僕にとってのひとつの原点だから、そこの現場に立ちたいと思って原爆の格納庫だったところへ行きました。

ちょっと才能があるかと思って錯覚しちゃった(笑)。ちょっと才能があるかと思うんだけどね。その写真を銀は、よく考えてたなと思うんだけどね。その写真を銀は、よく考えてたなと思うんだけどね。その写真を銀座のあるサロンなんだけど、そこで個展ができたんです。まだ写真を始めて2~3年ぐらいだったのに個展が開けたこともあって、少し舞い上がる気持ちで、展が開けたこともあって、少し舞い上がる気持ちで、

**須永** 年代はいつですか。

れたんですよ。隣のグアム島でね。です。そのときに、ちょうど横井庄一さんが発見さい現地の人の小屋に泊めてもらって、写真を撮ったんい現地の人の小屋に泊めてもらって、写真を撮ったん

すけれども、経験もないし、雇われても人から頼まれその後、フリーカメラマンとして仕事を始めたんで

に発見された残留日本兵として知られる。戦争終結から28年目の1972年、アメリカ領グアム島で地元の猟師戦1 横井庄一(よこい・しょういち 1915―1997):太平洋

たけれど、発表する媒体はまったくなかった。という不器用さがあって、結局、仕事がぜんぜん来なかった。でも、アルバイトしながら写真を撮りためていて、写真は自分でもとてもよかったと思うのね。知り合いになった写真評論家の人からも評価してもらったけれど、発表する媒体はまったくなかった。

きに、オイルショックがきちゃった。という。真の写真は声高に訴えるものじゃなく、どちらかと見にくい内容だったんだと思います。だから、悶々と見にくい内容だったんだと思います。だから、悶々としてアルバイトして過ごしていたんですが、そんなとしてアルバイトして過ごしていたんですが、そんなとしてアルバイトして過ごしていたんですが、そんなとしてアルバイトして過ごしています。

は向いてなかったんですね。 (株は比較的早くに結婚していたので、子どもも72年 に生まれていました。写真にこだわっていても生活で に生まれていました。写真にこだわっていても生活で に生まれていました。写真にこだわっていても生活で

**須永** 渋谷の中心付近に住んでいたんですか?

屮 あったので、田舎に行けば植木屋さんの仕事もあるだ ん捨てることにした。田舎で暮らすにはどうしたらい は写真にこだわっていてもダメだから、 気持ちがすごくあったんです。 で子育てを考えるよりも、田舎で暮らしたいなという に入りました。 ろうと思って、 かと考えたとき、 それで、写真はなかなか難しいし、都会暮らし 山手線の恵比寿駅と渋谷駅のあいだに住んでま 渋谷に住みつつ、まずは植木屋 自然環境の問題にもすごく興味が でも、田舎で暮らすに 写真をいった の仕事

中村 どこの植木屋だったんですか?

町)に農家の廃屋を見つけて、そこに移り住んだんで所)に農家の廃屋を見つけて、大学を中退したり生きうど同じぐらいの若者がいて、大学を中退したり生き方に迷ってる人がいてね。それで1年半ぐらい住むと方に迷ってる人がいてね。それは楽しかったですね。ちょは谷から通ってました。それは楽しかったですね。ちょは谷から通ってました。そこに移り住んだんで町)に農家の廃屋を見つけて、そこに移り住んだんで町)に農家の廃屋を見つけて、そこに移り住んだんで町)に農家の廃屋を見つけて、そこに移り住んだんで町)に農家の廃屋を見つけて、そこに移り住んだんで町)に農家の廃屋を見つけて、そこに移り住んだんで町)に農家の廃屋を見つけて、

# 農村移住、病院事務と転々

須永 東京から一気に移ったんですね

山下公害がなくて、海も川もきれいなところでした。

**増田** 知り合いが誰もいなかったわけですよね。すご

山下 当時、NHKで「明るい農村」というテレビ番山下 当時、NHKで「明るい農村」ということになって、じゃあ仕事も住むところも探していうことになって、じゃあ仕事も住むところだなと思って、が暮らしている風景を見て、いいところだなと思って、が暮らしている風景を見て、いいところだなと思って、が暮らしている風景を見て、いいところだなと思って、が暮らしている風景を見ていいところになったんです。

増田 なんか軽いですね。

屮 伝ってくれないか」って話をもらったんですよね。 とき、「実は三重県の鈴鹿市のほうに大きい病院を建 わらない。それでも、いよいよ仕事が終了するという は「こっちやってくれ」となって、なかなか仕事が終 やってたんだけれど、仕事が終わりそうになると今度 院に産婦人科があって、そこに行って産んだんですね。 娠しました。住んでたところがすごい山奥で、 三重県で植木屋さんをやっているときに、妻が娘を妊 てようと思ってるんだけど、人を探してる。 そこの院長がなんか僕のことを気に入ってくれて、 初はその病院の植木の手入れをしてくれと言われて 軽いんですよ、ほんとうに (笑)。 そうやって あんた手 町の病

### 増田 それで事務の仕事を?

中で過ごして1年半ぐらいで、その生活を気に入ってとか掃除とかの仕事なのかなと思ってたんです。山のとか掃除とかの仕事なのかなと思ってたんです。山のとが掃除とかの仕事なのかなと思ってたんだけど、好で、ちょっと不審人物みたいな感じだったんだけど、

に先に住んで、

建設のための準備をやったんです。

だ30歳だし、山の中でずっと暮らすのも展望が開けな と思ってね。でも、いろいろ考えてはいたんです。ま けられたんだから、やってみたほうがいいよ」って後 と。それで、僕に仕事や住むところを紹介してくれた がつかなかった感じがあって、これは良くない じゃないかと思ったんです。ちょうど30歳のときかな。 る眼があるかどっちかだろうと。僕は都合よく考えた とき思ったのは、この人はよっぽどのバカか、人を見 てほしい」って言うのね。びっくりしちゃって、 たので、「あまりやる気はないです」と言ったら、 人にも相談したら「あなたは若いし、せっかく声をか う一度町の中で、人の中で生活してみるのがいいかな いかとか、 のなかであまりなかったから、だまされてもいい いので、この人はもしかしたら人を見る眼があるん 病院が建つ前から鈴鹿市に行って、 ししてくれた。それで、病院の仕事に入ったんです。 いや、そうじゃなくて、病院の運営のスタッフに入っ から眼をかけてもらうことなんて、それまでの人生 友だちも家に遊びに来ないなとか、 建設予定の更地 地に足 な、も かな

したりして、2年間過ごしました。いるんだけど、週2回ぐらい通って、事務的な勉強をんでいた紀伊長島と鈴鹿市は100キロぐらい離れて

## ある外国人との出会い

金にいなかったから、すごく喜んじゃって、 人がそんなにいなかったから、すごく喜んじゃって、 人がそんなにいなかったから、すごく喜んじゃって、 人がそんなにいなかったから、すごく喜んじゃったのにないです。そうしたら向こうも、まわりに英語を話せる たわけ。そうしたら向こうも、まわりに英語を話せる たわけ。そうしたら向こうも、まわりに英語を話せる しょっちゅう来るようになったの(笑)。

モン教徒になるつもりはないので、もう来ないでくるのは悪いから、「いろいろ話してるけど、僕はモルでも、このまま自分の英語の練習のためだけに続け

れで仲良くなっちゃったんです。て言ったら、彼らは、じゃあ休日に来ると言って、そなら来てもいい。友だちとして来るんだったらいい」っれ」って言ったのね。でも「モルモン教の話をしないれ」って言ったのね。でも「モルモン教の話をしない

何人もアメリカ人の知り合いができたんです。の場所に移ったあとも、次の人たちが紹介されて来て、その後、4~5カ月ぐらいして、向こうが転勤で別

そんななかに、一度帰国してから結婚して夫婦とも そんななかに、一度帰国してから結婚して夫婦とも を、しばらくしたらふたりとも肺炎になっちゃったん です。彼らはお金がないので、僕が働く病院に入院す ればいいと言って紹介して、入院費もぜんぶタダにし であげたりしました。事務長が「山下がいいんだった らいい」みたいな感じで、タダにしてくれたのね。そ うしたら、それをすごく恩義に感じてくれたのね。そ うしたら、それをすごく恩義に感じてくれたのね。そ がら、じゃあ、うちの病院で産めばいいと言って、そ がら、じゃあ、うちの病院で産めばいいと言って、そ がら、じゃあ、うちの病院で産めばいいと言って、そ ともができちゃったのね。しかしやっぱりお金がない から、じゃあ、うちの病院で産めばいいと言って、うちに く恩義に感じてくれて、とても仲良くなって、うちに く恩義に感じてくれて、とても仲良くなって、うちに 友だちが

クールソーシャルワークはこれから日本に必要になる

まだ日本にはないので、おたくの大学に

自分のやる気の問題だ」と言ってくれて、それで「ス

「書くなら控えめに書くな。成績じゃなく

と思うけ

たりしていました。 来てご飯をいっしょに食べたり、向こうに行って食べ

をんなころ、80年代に入る前、ちょうど校内暴力が盛んとなり、日本では中学校がたいへんなんだよという話をしたら、「アメリカにはスクールソーシャルワーカーという人たちがいて、子どもたちの話を聴いて、いろいろ助けてくれるんだ」っていう話をしてくれたんです。友だちのひとりがハイスクール時代に両親が離婚して自分が乱れちゃったとき、スクールソーシャルワーカーの人が支えてくれて、なんとか持ち直したんだという話をしてくれた。そのとき、それっておもしろいなって思ったんです。日本にはまだスクールカウンセラーもなかったのでね。

から、次の仕事の話につながるんですか? (1) じゃあ、そのモルモン教の人たちとのつながり

山下
そうそう。だから訪問を断らなくてよかった。

須永 ですね (笑)。

# アメリカへソーシャルワークを学びに

ちが がやれ 屮 をかけてくれた院長に申し訳ない。 事じゃないと思っていたところだった。とはいえ、目 病院の仕事ってお医者さんが中心だから、 る。おもしろいかな」と思ったんです。そのとき、ア ないなら、 と思ってたんだけど、向こうのスクールソーシャル は一度も思わなかったので、そういう仕事は無理だな の仕事もやり始め、大事な仕事も任されてたんだけど、 メリカ人も軽いから「お前が気がついたんだからお前 ワーカーの話は「それって日本にないし、誰もやって の仕事しか思いつかなかった。僕は教師になりたいと た。でも、子どもに関わるといったら、当時は「教師」 :いろいろ手伝うと言ってくれたんです。僕は病院 僕は子どものことがすごく好きで、 !」って言ってね。アメリカに行くなら自分た だったら、院長の性格だったらきっと応援して 日本でまた必要になってくるような気もす でも、 一生やる仕 前向きに辞

に書いたんです。たちはとてもいいことをしたことになるから」と大胆たって勉強したい。もし私を入れてくれれば、あなた

**須永** じゃあ、初めからスクールソーシャルワーカー

りたいと思ってね。く知らなかったけど、スクールソーシャルワークをやく知らなかったけど、スクールソーシャルワークをやいた。ソーシャルワーカーのことはまった

自分のことを振り返っても、僕は中学校時代に親と自分のことを振り返っても、僕は中学校時代に親と離れてひとりぼっちで、足弟はいたけど、あまり兄弟とも話はできなくて、進路などもぜんぶ自分で考えなと年上の人で相談に乗ってくれる人がほしいな、みたいなことは思ってた。そういうものがどこかにあって、いろいろ迷ったりしてる子たちの支えになれば、みたいるいろ迷ったりしてる子たちの支えになれば、みたいなことを思っていたんだよね。

たけど、そこそこの結果になった。そして、

アメリカ

の大学院の入学願書も出したのね。これもアメリカ人

でTOEFLを受けたら、基準点よりちょっと低かっないことはアメリカ人の友だちが教えてくれて、それ

れみたいな感じで、同じ問題を何回も何回も練習した

マークシート方式だから当たり外

わりと回答できるようになった。しかも、

わから

ことにしたんです。

たものは止められなくて、TOEFLの試験を受ける

なかったけど、脇のほうに置いてたのね。一時は断

しようと思ったんだけど、

いったん気持ちに火がつい

らもう無理だと思って、参考書を買っても、

捨てはし

念

あっても、

OEFLってやつですね。それまで英語を話すことはけど、まずは英語の試験を受けなくちゃいけない。T

勉強も何もしてなくて、試験の内容を見た

くれると思ってね。

それで、アメリカの大学院に行こうかと思ったん

**須永** 行った大学はどこですか?

ろも手配してくれたんです。

**須永** それはある種、布教活動でもあるのかな (笑)。

それで行ったんです。1983年のことだったかな。れてたから、家財道具もみんなお膳立てしてくれて、家族も僕がめんどうみたときにすごい恩義を感じてくない。 (笑)。彼らは布教なんかまったくやらなかった。

**須永** その後、何年間行かれたのですか?

ユタ州の隣のコロラド州の大学を受験して合格した。です。勉強したければ博士課程だということになり、勉強は何もしてなかったから、2年間じゃまったく足勉強したかったん

結局は2年間で帰ってくることになりました。でも、お金がなくて、奨学金とかを探したけどダメで、

### 須永 家族も全員?

あたりはいいよねとなって、小田原に住み始めました。山があるところがいいなと思っていたので、小田原のところもなかった。また軽い考えだけど、海があって山下 いっしょに。でも、帰ってきても、仕事も住む

だったんですか? ワークを学んだユタ州の大学では専門はどういう部類 須永 ちょっとだけ戻りますが、スクールソーシャル

で、それが結果的にはよかった。 
で、それが結果的にはよかった。 
なで、高齢者も含めたソーシャルワーク全般のことを 
くて、高齢者も含めたソーシャルワーク全般のことを 
は、専門のコースはミシガン大学にしかなかったんで 
は、専門のコースはミシガン大学にしかなかったんで 
は、専門のコースはミシガン大学にしかなかったのは、 
は、専門のコースはミシガン大学にしかなからだわけじゃな

向こうの大学院は、論文を書かなくても、研究・調査したペーパーを出せばいいんです。でも、僕はアメリカにわざわざ来たのだからと思って、修士論文を書くことにした。そうしたら、大学院に60人くらいいるなかで、論文を書くのは僕だけだったんです。それは4~5年ぶりのことだったらしくて、先生たちがすごく喜んで応援してくれてね。僕は、えこひいきされたことってなかったんだけど、その先生たちには結果的にえこひいきされたかな(笑)。

# スクールソーシャルワーカーに

**須永** その後、小田原に移ってきたと。

**山下** 小田原に住みました。3カ月仕事を探したけど、

もうそのときは40歳。どこにも雇ってもらえなくてどもうそのときは40歳。どこにも雇ってもらえなくてどの年の12月から講師というより職員として教えてたのの年の12月から講師というより職員として教えてたのがやってきました。翌年1月の中旬ぐらいに、埼玉県がやってきました。翌年1月の中旬ぐらいに、埼玉県がやってきました。翌年1月の中旬ぐらいに、埼玉県がやってきました。翌年1月の中旬ぐらいに、埼玉県がやってきました。翌年1月の中旬ぐらいに、埼玉県がやってきました。翌年1月の中旬ぐらいに、予

中村 きっかけは、どういうことだったんですか?

山下 僕の勝手な思いでアメリカに行っておいたんでクールソーシャルワーカーをやれとは言ってないし、クールソーシャルワーカーについてどう思うかを調査したかったんです。そこで、友人のひとりが教育委員会とつながりがあったのを思い起こして、彼に口をきいてもらおりがあったのを思い起こして、彼に口をきいてもらおりがあったのを思い起こして、彼に口をきいてもらおりがあったのを思い起こして、強に口をきいてもらおりがあったのを思い起こして送っておいたんでいた研究論文を日本語に書き直して送っておいたんで

を構交の仕事の、上で書からにはらに引ったやったので、帰国した年末に、あの人は日本に帰ってきてるよという話になって、「口があるんだけど」って話になっという話になって、「口があるんだけど」って話になっという話になって、「口があるんだけど」って話になっていったんです。

校が所沢にもあった。そこで僕は、横浜と所沢の予備 きるよ」と言ってくれたんです。運がいいことに予備 だろうから、空いてる日は予備校で講師やれば補足で きないでしょう」と言って、「非常勤は毎日じゃない 勤で12万円しか給料がないと知って「それじゃ生活で です」と言ってくれました。そのうえ、所沢市は非常 たいことだと思うから、それはぜひやったほうがいい ほんとうに申し訳ないんだけど辞めさせていただけな 思ったんです。そこで意を決して「入ったばかりで、 だけど始めることにした。予備校の人たちの配慮は 校に週2日勤めて、あとはスクールソーシャルワー か」と予備校の人に言ったら、「あなたが一番やり だけど、すごいチャンスなので行くしかないかなと 予備校の仕事も、 -の仕事をやるかたちで、 すぐ辞めるとなると困っちゃった なんとかぎりぎりの生活 ほ

として仕事を始めることになりました。て1986年4月から、スクールソーシャルワーカーんとうにありがたくて、いまでも感謝してます。そし

ました。しかも、不登校で家にひきこもってる子たち こちらに会いに来るわけでもないから、 思っていたんだけど、 らないだろうと。その子たちにも支援をと思ったのね。 が、今ほどではないもののいることを知って、だった 支援だと思っていたんだけど、教育委員会か 相談員」という名前でした。 う方法にしたんです。だから最初の職名は 子どもたちとコンタクトをとることを考えて、 ら親も学校も、子どもたち自身もどうしていいかわか の子どもたちがかなりの数いるということを知らされ とにかく、僕自身が子どもたちと直接関わりたいと 最初は校内暴力に関心があって、その子どもたちの つっぱってる子や不登校の子が 家庭訪問して 「訪問教育 ら不登校 そうい

須永 訪問教育相談員

山下 訪問教育相談員という名前は、僕としては本意

が後ろめたかったのか、それは大丈夫ということにが後ろめたかったのが、まな職名としては教育委員会もOKという名前は、正式な職名としては教育委員会もOKという名前は、正式な職名としては教育委員会もOKという名前は、正式な職名としては教育委員会もOKという名前は、正式な職名としては教育委員会もOKという名前は、正式な職名としては教育委員会もOK

ですからね。よくやったなと思います。んですよ。しかも、ひきこもっている子を訪ねるわけんですよ。しかも、ひきこもっている子を訪ねるわけとはいえ、ほんとうに僕が大胆だったなと思うのは、

なって始めたんです。

**須永** いままでの経歴を聞けばそうですよね (笑)。

かな。 屮 スとか、 を担当したんです。最初はつっぱってる子が多かった かった。それなのに、いきなり最初の年から15~ つっぱってる子のなかでも、 それから、 そう いう子たち……。 つっぱってる子とも、 でも、 市内では番長クラ それ自体はあん つきあ いがな 16 人

まり不安じゃなかったですね

# 相手が自分を育ててくれた

**須永** それでどうしたんですか? とにかく会って話

くて、 てはいけなかったんです。 ケースを受け持たされるんです。とくに、ある女の子 すね。週に2~3日、 あったんですよ。それはアメリカでの実習経験が大き 帰すかどうかについて、僕が関わりながら判断しなく つきっきりだけど、向こうでは、 カに行ったんだけど、 シャルワーカーとして扱ってくれるという思いだけは 自分に力がなくても、親とか子どもたちが、自分をソー しょっちゅう家出する子で、里親先を探して、家に 最初は会ってくれないことはあったけど、 てしまったので、 ソーシャルワークの〝ソ〞も知らないでアメリ しかも日本だと指導者がそばに いきなり実習をさせられたん 警察に行 その子は里親のところも飛 こったり、 いきなりたいへんな 青少年裁判 で

須永

そこから本格的に子どもに関わって

いくわけ

で

いく感じだったんです。

たので、あまり不安じゃなかったんですね。だから、あらかじめ自分がこうでなくちゃいけないたとき、相手が自分をソーシャルワーカーにしてくれたとき、相手が自分をソーシャルワーカーにしてくれたとれるにずれないでやっていけるんじゃないかと思ってんなにずれないでやっていけるんじゃないかと思ってたので、あまり不安じゃなかったんですね。

と、思うようになりました。と、思うようになりました。と、思うようになりました。あとになって、そこそこだい、まあ自分の感覚はそんなにずれてなかったかなきに、まあ自分の感覚と現実がずれてたら、たぶんと、思うようになりました。

相談できるって感覚があったんですかね? な存在はいなかったから、親の方からすると、むしろなんできるいなからはスクールソーシャルワーカーみたい

い親を責めるようなことはしなかったからね。山下をうかもしれないですね。しかも、僕はいっさ

すね。 中村 専門職ながら、上から目線じゃない関わり方で

山下 そうですね。

がったという……。抵抗感があったんじゃないですか? でも、そこはち抵抗感があったんじゃないですか? でも、そこはち

でも、何かわけのわからん人を紹介されて来られた、動いてはダメだということを前提にしたんです。それ得ることが大事ですね。僕は、学校からの依頼だけで山下。家庭を訪問するときは、かならず家庭の了解を

訪問してました。 みたいなことはありましたけどね。服装も楽な格好で

**須永** ああ、背広を着るとかじゃなくて。

**増田** 最初からアメリカに行かれて学ばれたのがよ

山下かもしれませんね。

**須永** アメリカの感覚は、また関係性がちょっとちが

ら、それにとらわれる。専門家だから、みたいにね。う。日本では、こういうものだというかたちがあった山下 ちがいますね。アメリカは対等に関わるでしょ

子どもの居場所を

の立ち上げにも関わっていかれるわけですね。すね。その後は、子どもの居場所である「バクの会」

始めて、 ないのって聞かれたら、 だから外に出てもいいんだよ。人から、 ちょっと元気になってきて、家から出てもい 上 て、1年後の87年にバクの会を始めたんです。 ういう子どもたちが行ける場所があるといいなと思っ がなかった。行くところがないのに、どこに行っても い」とか言ってたのね。だけど、実際には行くところ は無責任に、「別に悪いことをしてるわけじゃないん いいよと言うのも少し無責任な話だなと思って、 な感じになってくる子たちもいたんですね。そこで僕 スクールソ ひきこもってる子たちと会っていくうちに、 シャ 今日は休みですって言えばい ルワーカーを1986年に なんで行って いみたい

ができたらいいなと思ってるんですよ」と話したら、学校以外だったら行ける子たちもいる。そういう場所でいろいろ話して、最後に「不登校の子たちのなかにいるグループがあって、そこに呼ばれたんです。そこいるグループがあって、

ね。

で、いっしょに始めることになったんです。は私たちもそういうことを思ってたんです」と言うのその後、バクの会の代表になった滝谷美佐保さんが「実

増田 そこがひとつの出会いだったんですね。

ぞ使ってください」とおっしゃってくれたんです。をやってるんですけど、使ってない日があるのでどうちょうど折よく、そのとき参加していた人が「私、塾

何も計画がないのに場所を見に行き、新所沢駅からたけど、途中からはあんまり行けなかったですね。を近いし、ここは使えるということになって、とりあからスタートしました。それが87年の12月でしたね。からスタートしました。それが87年の12月でしたね。からスタートしました。それが87年の12月でしたね。からやってました。最初はかなりバクに関わってましたけど、途中からはあんまり行けなかったですね。

**須永** 最初から、子どもはたくさん来たんですか?

山下 最初は、僕の関わっていた2~3人が来たぐらいで、「ほかの子たちも来るといいね」って言うくらい、いで、「ほかの子たちも来るといいね」って言うくらい、り人待ち顔してても楽しそうな雰囲気じゃないから、大人が楽しもうって僕が言って、大人どうしで遊ぶようになって、その雰囲気もあったのか、人が来るようになりました。それで週1日から週2日、3日、4日と、どんどん活動が増えていきました。

建ててあげるよ」と言って、建ててくれたんです。とててあげるよ」と言って、建ててくれたんです。空き地だから自分たちで廃材を集めて建てたれで航空公園駅の近くの4坪ぐらいの空き地を選んそれで航空公園駅の近くの4坪ぐらいの空き地を選んそれで航空公園駅の近くの4坪ぐらいの空き地を選んるかなと思っていたら、「プレハブでいいんだったとるかなと思っていたら、「プレハブでいいんだったとと、その場所が使えなくなって困ってたと

かったという気持ちもあったみたいで、側面から応援ルソーシャルワークのことをあんまり手助けできなその人は市長だったとき、自分が市長としてスクー

た物件を使うようになりました。いい?」と持ちかけてくれて、所沢駅近くの料亭だっで、また、その方が「じゃあ、ほかのところはどこがけました。その後、その土地も売却されてしまったのけました。そこでは、それから3~4年ぐらい続もらいました。そこでは、それから3~4年ぐらい続したい気持ちを持ってくれたようで、ずいぶん助けて

恵まれていたのは、場所代がまったくいらなかったことです。最初の方も、「世めて光熱費だけは受けとってください」と言っても、「絶対いりません」と断らてよかった。スタッフも全員ボランティアで、僕らもくよかった。スタッフも全員がいらなかったのがすごくよかった。スタッフも全員がいらなかったので、費用はとても低くおさえられていたのは、場所代がまったくいらなかったました。

**須永** 会費はいくらだったのですか?

の人件費と場所代がいらないからできていたことです山下 1ヵ月1家族2000円です。それはスタッフ

でしょうか?
でしょうか?

本の大変だとなって、会費の値上げも考えたけど、値上と大変だとなって、場所代を払わなくちゃいけなくなった方の経営していた不動産屋が財政的に厳しくなっちゃった人です。月額20万円ぐらいで、それはちょっちゃったんです。月額20万円ぐらいで、それはちょっちゃったんです。月額20万円ぐらいで、それはちょった大変だとなって、場所代を払わなくちゃいけなくなっちゃったんです。月額20万円ぐらいで、それはちょっと大変だとなって、会費の値上げも考えたけど、値上と大変だとなって、会費の値上げも考えたけど、値上と大変だとなって、会費の値上でも考えたけど、値上と大変だとなって、やり方を変えるのは本意じゃないから、いったん閉じることにしたんです。

分たちがやってきたことは、別の場所にきっと引き継じたからといって、すべてゼロになるのではなく、自そのとき、僕は関わってくださった方に「ここで閉

じゃない」と言いました。実際、バクの会を閉じたあじゃない」と言いました。実際、バクの会を閉じたあじゃない」と言いました。実際、バクの会を閉じたあで、すべて終わるわけではないと、自分たちをなぐさがあったので、それが別なかたちで続いてたりするのがあったので、それが別なかたちで続いてたりするのがあったので、それが別なかたちで続いてたりするのがあったので、それが別なかたちで続いている。

須永 発展的閉室ですね

# 子どもを傷つけない専門家を

のですか。 増田 所沢市の教育委員会との関係はいつまでだった

どもがふたりいて生活が成り立たないこともあって、でも料をけっこう上げてくれてはいたのだけど、子成から始めたので、教育委員会もいろいろ考えてくればから始めたので、教育委員会と離れたのは、10年以上やってから

だったから、「社事大から、 うしないためのメッセージを発していきたいという思 と思ったんですね。そういうことは、人を支える活動 言われて落ち込んで帰ってきている。それではまずい んです。 よく言ってたんですけど、一番近いのが社会事業大学 につく専門職が一番やってはいけないことだから、そ ひどいことを言われたという話をたびたび聞いていた すごく多くて、あそこでもここでも傷つけられたとか、 相談を受けていると、「専門家」に傷つけられた人が かな」と (笑)。 いも、強くなってきたんです。それで、これは冗談で せっぱつまった気持ちがあったこと。もうひとつは 楽になりたくて相談した先で、 そろそろ声がかからない ひどいことを

須永 期待してたんですね?

なと、根拠のないことなんだけど、そう思っていて、ソーシャルワークをやれば、ちょっとは影響があるか厚生労働省が関係する大学だから、そこでスクール・ そうそう。物理的に近かったしね(笑)。また、

そうしたら実際に声がかかってきた。

増田 売り込まないで?

員が足りなくなったときに声がかかったんです。 話をしたことがあったんです。そうしたら、ひとり教 だちが社事大の先生をやっていて、その友だちに少し がも、つながりはあったんです。スクー

須永 社会福祉学部ですね?

山下 学部ではなくて、社会福祉士を養成する社会事業学校というのがあったんです。そこの教員として社会福祉援助技術を教えることになったんです。すごい長に「うちは給料安いですよ」って言われちゃって、長に「うちは給料安いですよ」って言われちゃって、「えー、生活苦しくて仕事変わるんだけど、でも、ほ「えー、生活苦しくて仕事変わるんだけど、でも、ほがの先生たちも生活してるから、そんなにひどいことかの先生たちも生活してるから、そんなにひどいこと

いですから」って言うので、すごく不安でした。

須永 安かったですか?

給料明細もらうまで怖かった(笑)。
山下 いや、僕にとっては高かったの。でも、4月に

中村 それまでわからなかったんですか?

山下 そうそう。

増田 聞かなかったんですか?

山下 聞かなかったね

う相談がある場合もあると思いますが。
そうい

明細書をちらっと開けてみたら、僕からしたら「あ山下 それが普通だと思います。それで最初に給料の

れ たんでしょうね。 1200万円とか、 永 0, 11 校長からすると、 いじゃん」みたいな……

年収

1000万円とか

(笑)。

そういうイメージと比べて言って

紙切 増田 た。「あなたを二度と雇いません」みたいな書類でし たけど、あれはなぜだったんでしょう。 れが来たって見せていただいたことがありまし そのころ、 私は山下さんから所沢市からこん な

屮 それまではケンカひとつしないできたのに、そのとき からダメと言い始めて、それはおかしいじゃないかと。 いて、 ほうには1年間は並行してやらせてくださいと言って わろうという気持ちがあったんです。最初、所沢市の 行っても、この子たちが卒業するまで、あと1年は関 ばかりは怒って、 小学校6年生の子と関わっていたんです。社事大に 社事大に職が決まったとき、まだ中学2年生 いという話だったんです。でもなぜか、途中 所長に文句を言って、所長では埒が B

> だけど、その後は二度と雇いませんというめずらしい 辞令が来たんです。それは僕にとっては誇りで、子ど に取ってあります。 もや家族の側に立ってきた証だと思って、 か頭にきたようです。それで、いちおう1年間はOK なっちゃった。だから教育長としてはトラウマという 下さんを辞めさせるな」と言って、そういうふうに て教育長のところに行って、さらには市長にまで「山 んたちもすごく怒ってました。親御さんたちが大挙し んとうにケンカ腰な感じで、僕の関わってきた親御さ あかないので教育長に直談判しました。そのときはほ いまも大事

#### 周 囲 の評価より子ども の 思 1.1

ちが 中村 いらっしゃったんでしょうか? 出会ってきた子どもたちには、 どんな子どもた

中 ある不登校の男の子を家庭訪問するようになって、 少配慮して話すことにしますね。えーっと、たとえば、 プライ バシーのことがあるから、 そのへんを多

走族に入ったんです。 たんだけど、「でも、 活が長かった君なんかには絶対合わないと思う。辞め 率直に「けっこう上下関係が厳しい世界だよ。 なって、そこに入ると言い始めちゃった。それで僕も、 その子たちは暴走族だったんだけど、彼らと仲良く 園はたまたまツッパリの子たちの居場所だったのね。 れで、近所の公園によく行くようになったら、 らしになっていいよ」みたいな話をしてたんです。そ 気になってきたから、表に出て散歩なんかすると気晴 ものすごくよかったんです。それで、例のごとく「元 ごくいろいろ話をして、コミュニケーションも関係も、 ろとは言わないけど、よく考えたほうがいいよ」と言っ 俺はいいんだ」って言って、 海外生 その公

に変わっていっちゃった。親から見ても学校の先生か 思うんだけど、傍から見ると、あれよあれよという間 僕とは会って話をしてるし、僕との関係はよかったと から見るとひどくなっていく。でも、そういうときも、 ら見ても、 それまでは家出もしなかったんだけど、家出はする 髪も染めて派手になるし、 何の効果もないと思われてしまう。 特攻服は着るしで、外 僕自身

> めたほうがいいんじゃないかなとも思ったんですよ。 も、この仕事に向いてないんじゃないかと思って、

増田 その子は仲間ができてうれ しかったんです

屮 辞めたほうがいいかなと思ってたんです。 目ぐらいだったんですが、この子が卒業したら、 そうそう。僕はソーシャルワークを始めて4年 もう

もはこれは失敗というか、うまくいかなかった事例で みたいな感じで言われてね。その後、族を抜けて行動 ちゃった」って言う。僕が「ほーら、言ったとおりじゃ て聞いたら、「族抜けるって言ったら、リンチされ 本人はどこも選びたくないって感じだったんですね。 ない状態だった。進路もいろいろ相談してたんだけど、 も少し落ち着いてきたんだけど、学校にはあまり行か ん」って笑ったら「山下さん、そんな笑わないでよ」 よく失敗例とか成功例を聞かれるけど、誰から見て あるとき、その子の顔が腫れてて「どうしたの?」っ 自分の力量のなさだと思いました。

この子との最後の面接の日に、 いちおう中学を卒業

います。 さん、そんなこと言わないで。俺は山下さんがいてく ぎりがつくまでは続けようという気持ちになったんで 思いきってやっていこうと思い直して、自分にふん けで、とにかく子どもがいいって言えばいいんだと、 評価も気にしてたんだけど、その子とのことがきっか だけど、ときには、ちらちら頭にチラついて、 委員会の評価は、あまり気にするほうじゃなかったん くショックを受けました。それまで、親の評価や教育 よ」って言ってくれて、僕としては、 れたことで、どんだけ救われてきたかわからないんだ 力になれなかった。それはほんとうにごめんなさい」 さん、こうやって君と1年半ぐらいつきあって、 しますね。 したら会うのは終わりということで「ごめんね。 ろ話もしたし、できたと思ってたけど、 ですから、その子との出会いはすごく力になって って、謝ったのね。そうしたら、その子は「山下 いまでも、 その子のことは、ときどき思い いい意味ですご 君にとって 世間の いろ 出

須永 その子はいま、どうされてるんですか?

山下 親御さんとは年賀状のおつきあいがあるんだけ山下 親御さんとは年賀状のおつきあいがあるんだけど、本人とはないんですね。かなり早く結婚したみたど、本人とはないんですね。かなり早く結婚したみたという知らせはきてます。

### 子どもの声を社会に

はどのように感じてこられたでしょうか? てこられたのではないかと思うのですが、そのあたり子どもの目線と社会の目線には相当なギャップを感じ 社会の見方に対してもアプローチされてきましたね。

時の世間の見方は批判的で、若いくせに何を言ってるろ、学生たちの主張は正しいと思ったんだけど、それろ、学生たちの主張は正しいと思ったんだけど、それのこ

持っていかれることに、すごく不満があった。若いからダメだという感じがあって、ちがうかたちにばわかるよ」みたいなことだった。それには、すごくばわかるよ」みたいなことだった。それには、すごくんだという感じだった。僕自身が大人たちから言われんだという感じだった。僕自身が大人たちから言われ

そして、 と思います。大人のやることや大きいところがやるこ 埋め合わせないとならない とは、常に当事者のニーズとずれているから、 た。そこで子どもたちの声を聴き、そのうえでどうし ちの言葉も聴きたかったから、まずは直接会いに行っ たんです。それは彼らの声を聴かないとダメだよって 時代、子どもたちなりに言い分があるはずだとは思っ があるから、僕が子どもたちの話を聴きたいと思った。 いう思いがすごくあった。自分が聴かれなかった思い ツッパリの子たちだけではなくて不登校の子どもた だから、ツッパリの子どもたちが話題になっていた いいかをいっしょに考えていくことが基本なんだ その思いは、いまだに一貫して変わりません。 聴いたことはきちんと大人に届けたかったん んだよね。当事者側の声や そこを

から現在まで、残念ながらずっと同じだよね。てもぴったりくることはないと、ずっと思っています。でも、それは当時子どもと関わる大人は、もう少し知恵や洞察を深めて思いをきちんと聴いて汲みとらないかぎり、何をやっ

### 親の会とのつながり

ですよね? どういうきっかけだったんでしょうか。シューレとのつながりは、もうそのころにはあったん中村 登校拒否を考える全国ネットワークや東京

応対策調査研究協力者会議が開かれてね。 かったんだけど(笑)、文部省(当時)で、学校不適あったんだけど、途中で東京シューレ代表の奥地圭子かったんだけど、途中で東京シューレ代表の奥地圭子 一番最初は、僕は不登校のことを何も知らな

須永

1989年ですね。

屮

その会議でヒアリングがあって、そこに奥地さ

んと僕が呼ばれたんです。それで奥地さんから連絡が

あって、「ちょっと打ち合わせしませんか?」という

ので会ったのが最初でした。

奥地さんは、

3 5

屮 須永 てたんでしょうかね。

\* 2 る、

否はどの児童生徒にも起こり得る」という言葉につな ヒアリングで話したことが、92年の最終報告「登校拒 がるんだよね。 山下さんのことをあらかじめ知 それで、僕や奥地さんが 9

登校 拒否症」 4否症」という記事が出たじゃない。あの記事朝日新聞の夕刊1面トップに「30代まで尾引く

(1988年9月16日) 夕刊1面に掲載された。 カウンセリングだけではなく複数の療法が必要という稲村博さん 登校拒否は早期に治療しないと30代まで尾を引き無気力症にな 996)らの研究グループの見解が朝日新聞

> たんです (1988年10月24日)。 に対して、 同じ朝日新聞の「論壇」に僕が反論を書い

もあっ 須永 じゃあ、 すでにけっこう発信されてい た時期

た。 ワー こちょこメディアに紹介されたりなんかはしてまし 屮 ・カーっていう肩書きがめずらしかったから、ちょ まだ始めたころだろうね。スクール ソ ーシャ ル

中村 載っていたのを拝見しました。 僕が学生のとき、 朝日 新聞の記事に顔写真が

屮 りました。 クに誰かついてるんですかみたいに言われたこともあ 当時、 朝日新聞がよくとりあげてくれて、 バ ッ

中村 つながったんですね? そのあたりから、 親の会の全国ネ ッ ŋ クに

屮 開かれましたね。僕は、 いんですが、そのあとの会に参加するようになったん 朝日新聞の夕刊記事に端を発した、抗議集会が 一番最初の集会には行ってな

科会などに参加されていたのを覚えてます。 れた夏合宿には参加していて、 が立ち上がってますね。私は91年秋から東京シューレ に通い始めたんですけど、その年の夏、宇都宮で開か (現在の登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク) 90年に登校拒否を考える各地の会ネットワーク 山下さんがゲストで分

屮 たね。 シ ユ レ関係の行事には、 けっこう行ってまし

須永 自然に関わりが増えてい ったんです

屮 になり りました。 親の会の全国合宿には、 でも、 そのことは僕にとって助かった 毎回のように行くこと

> ていて、 個人としての不登校観みたいなものがあって、 の人たちには、そこに共感してもらっていたように思 スクールソーシャルワークというよりも、 まわりに少数の理解者はいたけど、不登校に関しては います。その人たちが、僕にとってはとても支えになっ いっても、当初はたったひとりでやってたんですね。 ことでもあるんですね。スクールソーシャルワー 大きな力になってました。 山下英三郎 親の会 クと

うに感じておられたのですか? 須永 山下さんから見て、 親の会については、 どの

たですね。 ことを含めてね。どちらかというと、僕がみなさんに 中 もない。そこからつながれたことだから、ありがたかっ 僕は孤独なソーシャルワーカーで、 お世話になった感じがすごくあるんだよね。 ろありました。当事者の声を聴くことが大事だという 親御さんたちの話に教えてもらうことがい バックボーンも何 だって、 ろ

増田 それは山下さんのお人柄もあった気がします。

おられますか。

ころ、逆に変化していないところは、どのように見てころ、逆に変化していないところは、どのように見てるとあったと思いますが、その先で社会が変化したと

山下 表面的にはずいぶん変わりましたよね。当時は、 山下 表面的にはずいぶん変わりましたよね。当時は、 山下 表面的にはずいぶん変わりましたよね。当時は、

にした講演はしてません。だけど根本的なところは変なくちゃダメだと思ってる学生たちが少なからずいなくちゃダメだと思ってる学生たちが少なからずいという言葉は社会に広がったかな。発言する人もけっこう増えたし、僕が言っても新しいことはないと思って、この7~8年ぐらいは、あまり不登校をテーマで、この7~8年ぐらいは、あまり不登校をテーマーで、この7~8年ぐらいは、あまり不登校をテーマーで、この7~8年ぐらいは、あまり不登校をテーマーで、この7~8年ぐらいは、あまり不登校をテーマーで、この7~8年ぐらいは、あまり不登校をテーマーで、この7~8年である。だけど根本的なところは変した。

てるところです。望があるかぎりは行かせてもらおうかとも思いはじめ分に言えることもあると思うようになって、講演の要わってないから、最近は、その根本的なところでは自

増田 大事です。ぜひ。

# 問題行動ではないと言うけれど

いうところですか? 中村 いまおっしゃった「根本的なところ」とはどう

には問題視していることでもあるものね。年、文科省は「不登校を問題行動と判断してはならな年、文科省は「不登校を問題行動と判断してはならない」という通知を出したけど(2016年9月14日「不い」という通知を出したけど(2016年9月14日「不い」という通知を出したけど(2016年9月14日「不い」という通知を出したけど(2016年9月14日)が、基本的のでは、「おり、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、」」という。

中村 問題行動じゃないって言ったけれども、実態が

まだ変化していないということですね

屮 事だと思うし、 思います。 違和感を示してることは、非常に意義のあることだと そういうところをはらんだ問題だから、僕はすごく大 ろうなと思いますね。逆に言えば、不登校というのは、 な社会構造が変わらないと、なかなか変わらないんだ などから外れるのが不登校だから、そういった基本的 済効率といっしょになったものからきてる。効率主義 えられるのかどうか。根本の見方は、社会の影響や経 いような気もするし。 本音だったら、 僕はそれが本音とはあまり思えないんですよ 言葉ではなくて、 欠席日数をカウントしなくてもい ほんとうに根本的なところを変 不登校という行動で

シュ」が言われるようになり、不登校に対しても早期でつ知られるようになっていたように思います。しかでの知られるようになっていたように思います。しか会的な認知度が上がっていき、フリースクールも少し

何か感じられますでしょうか。されていたと思います。そのころと現在とのちがいは、山下さんも、雑誌などで対談されたり、いろいろ発信発見・早期対応などの動きがありました。そのころ、

山下 バックラッシュによって「甘やかすのはいけな山下 バックラッシュによって「甘やかすのはいけないな感じはしまたいなもので、現実がもっと先を行っても感じはしまたいなもので、現実がもっと先を行ってる感じはしまたいなもので、現実がもっと先を行ってる感じはしまないなもので、現実がもっと先を行ってる感じはしますね。いま強硬策を出しても「それでどうなの?」みていな感じになっちゃうんじゃないかなと思います。

**須永** それは何が、誰が変わったと思われますか?

上が学校を休み続けてることの重さがある。しかも、いかな。どんな対策をしても、ちゃんと毎年12万人以いかな。

いますね。
いますね。
いますね。
いますね。

るということですよね。 が歓迎するわけはなく、一定数のNOという集団があが歓迎するわけはなく、一定数のNOという集団があ

ぐらいのところまでは変わってきてる。場しかなかったのが、フリースクールに行ってもいい 帰しかなかったのが、フリースクールに行ってもいい がろんなバリエーションもできている。以前は学校復 いろんなバリエーションもできている。以前は学校復 いろんながですね。しかも、フリースクールなどがで ようですね。しかも、フリースクールなどがで はらいのところまでは変わってきてる。

危惧はあるかもしれないですね。
うんですけれども、何か浅い理解が進んでるっていうります。

ている……。校の子を受けいれる受け皿という認知のみにとどまっ校の子を受けいれる受け皿という認知のみにとどまっ中村 根っこが変わらないで、フリースクールは不登

須永 山下さんがおっしゃるように、世の中の空気が変わってきた部分はあると思うのですが、表面的だなと思うのは、とにかく自殺するなとか、ただそれだけと思うのは、とにかく自殺するなとか、ただそれだけまだまだ「こうすべき」という価値観も根強いですし、自殺するなというのも短絡的なメッセージにとどまっ自殺するなというのも短絡的なメッセージにとどまっ自殺するなというのも短絡的なメッセージにとどまっもかかわらず、なかなか掘り下げられる状況になっていない感覚を覚えています。

山下 やっぱり、芹沢俊介さん(評論家)の話じゃないけど、「する」と「ある」のちがいで、何か「する」と「ある」のちがいで、何か「する」かけど、「する」と「ある」のちがいで、何か「する」

たとえば、不登校したらフリースクールに行きま

しょうとなるのも、ただ休んで家にいたらダメみたいしょうとなるのも、ただ休んで家にいたらダメみたいというか。人間が存在している、「ある」ことの選択肢ではなく、何か「する」ことの選択肢ではなく、何か「する」ことの選択肢ではないですね。存在そのものを肯定するというか。人間が存在している、「ある」ことの選択肢をの問題は、そんなに重大視しなくてもすむようにな校の問題は、そんなに重大視しなくてもすむようになると思いますね。

### 協会の立ち上げ

を聞かせていただきたいのですが。 ルワーク協会を立ち上げられますね。その流れや動きれて、その後、山下さんは日本スクールソーシャ

で月1回東京で開いていたんですね。年に設立したんですけが、その前から、勉強会を開いていました。89年か90年ごろからJOJOという名前の場合である。

**須永** JOJOですか?

山下 はい、ローマ字でJOJOと書いて、「じょじょに広げていこう」という思いもあって。その母体は、たスクールソーシャルワークの講座の受講者たちでした。その方たちのなかで、講座を受けただけで終わらせず、もっと勉強したいという人たちが何人か出てきて、では勉強会を、という話になって月1回、いろんな人を招いて勉強会を始めたんですね。

まったくつかない状況だったんですけどね。 その後、まだスクールソーシャルワーク会議が、初めてアメリ 国際スクールソーシャルワーク会議が、初めてアメリ 国際スクールソーシャルワーク会議が、初めてアメリ 国際スクールソーシャルワークがどうなるかは、見通しが スクールソーシャルワークがどうなるかは、見通しが まったくつかない状況だったんですけどね。

ころに、 最初 協会と文科省の動きとは、あまり直接は関係ないかな。 ーカー活用事業が始まりました。だけど、 は一般の団体でした。わりと細々とやっていたと 4 2 ~5年経ってからNPO法人にしましたが、 08年に文科省のスクールソ 私たちの ・シャル

#### 急激に 動 61 た行 政

須永 業に動いたんですかね 文科省はなぜスクー ルソーシャル ワー -ク活用

屮 きなり予算を15億円つけたんです。 があって、スクールソーシャルワーク活用事業に、いないので、もっとちがったことをしてくれという流れ て、これまでの文科省の対策はぜんぜんうまくいって ね。 すが) スクー 財務省の当時の担当官が(僕は直接知らないん 文科省が率先して進めたわけじゃな ル ソーシャルワークに興味を持ってい いん です で

> 須永 じゃあ、 財務省側が一気に動 いた?

提言で、 Λ, Λ, 屮 実際にスクールソーシャルワークを見てもらうため 題に対する研究でした。その委員に、僕がたまたま入っ 増え、学校は他機関と連携が非常に弱いので、その課 連携について特別研究をやったんですよ。虐待問 2005年にかけて、文科省が学校と学校外の機関の た。それから、財務省の動きより少し前、2004~ ところを視察して勉強したみたいですね。文科省も興 性を謳ったんです ループはカナダに行って視察しました。そのまとめの カゴ周辺の学校をいくつか訪ねたり、 に、いっしょにアメリカに行ったこともあります。シ たので、スクールソーシャルワークを導入したほうが の研究室を訪ねてきて相談を受けたこともあ 味がなかったわけじゃなくて、文科省のお役人が僕 んじゃないかと提言したんですね。文科省の人に そう。 僕がスクールソーシャルワー でも、その財務省 の担当官は、 もうひとつのグ クの導入の必要 4.7 りまし 題が

でした。 省に連絡をとってみたんですが、文科省も「実は私た ちも予算がついちゃって、困ってるんですよ。 ぐらいあってもいいじゃないかと思って(笑)、文科 突然導入した。でも、導入するなら僕のところに一言 ていいかわからないので助けてください」という状態 その後、財務省の働きかけがあって、2008年に 何をし

クー 調査官だったことがある人だったんです。文科省のス したんだけど、中心になったのは僕ではなく、 な役割を担うことになったんでしょうね。 向なんですよ。そうい ソーシャルワークに関係のない人で、家庭裁判所の だから、最初の立ち上げのお手伝いみたいなことは ルソ ーシャルワーク担当の人たちは法務省から った関係で、その人が中心的担当の人たちは法務省からの スクー

須永 もともと流れ がちがうんですね

屮 体から申請を受けつけて、 最初は15億円も予算がついたから、 そう。 だから文科省の本流ではないんですよ 選ぶところで僕もちょっと いろんな自治

> なかったです。関わりたくなかった。 お手伝いをしたんですが、それ以降は いっさい関 わ

ど、2年目にどうなるかと思ったら、 ちゃな雇用の仕方になった。だから心配してたんだけ 国の予算だったんだけど、2年目は3割だけ 予算をぐっと削減しちゃったんです。最初は てる人はあまりいなかったわけだから、 は自治体負担になってしまった。 なり雇用したんですが、当時、ソーシャルワー その理由は、 初年度の15億円で900人ほ 今度は文科省が 当然 で、 - クを知 どをいき 1 0 0 % めちゃく 9

中村 たった1年間で急変ですね

ちに再び予算が増えてきて、最近では、ことあるたび 屮 ただ、いったん予算は減ったけれど、継続しているう さんな導入の仕方に腹が立って、 で、数が減っちゃったんですね。僕は、そのすごくず たので、2年目は小さい自治体では予算を出 にスクール そう。 ソーシ 評価も何もできない状態で予算を削減し ヤルワー クの名前が出てくるように 関わらなくなった。 Hせないの

#### すね。

数だけ増えても

なってきてます。

須永 文科省は来年度も増やす前提で概算要求してま

屮 門家に傷つけられる人がいるので、子どもに寄り添え です。 保できないかたちでの導入は困るなと思っているわけ るとしたら、スクールソーシャルワーカーなんていな 激に1万人も増やしたら、ほんとうにどんな人がなっ る専門家を育てようと思ったからだったんですが、急 です。僕たちは、 いほうがいいという話になってしまう。活動の質を担 ていくかわからないですよね。専門家を導入すること 結局、傷つく子どもたちや親御さんたちが出てく というのは、僕が大学の教員になったのは、専 でも、それはちょっと困るなと僕は思ってるん ソーシャルワーカーの倫理綱領を\*\*\*

づいて、 \*3 国際ソーシャルワーカー連盟のソーシャルワークの定義にもと 2005年に採択された倫理綱領

> まえないでスクールソーシャルワーカーになる人が増 えるのは困りますね。 大事に考えながらやってきたので、そういうものを踏

程度の少ない収入で活動をしている。それでは、きち とか、子どもたちと関わってきた人たちが、こづかい ではないかと思いますね。 んとした位置づけにならず、 してしまうおそれがあります。 もうひとつは、数だけ増やすと有償ボランティ むしろ形骸化していくの いまでも、 退職教員だ

けれども、 います。 置づけられることです。それは、それによって生活が 確立するというのは、 ちでの導入は、 できることだと思うので、 日本にもスクールソーシャルワーカーが導入された 確立されたとはまったく思っていません。 僕の思いとはかけ離れてるなと思って ひとつの職業としてちゃんと位 生活が成り立ちにくいかた

須永 山下さんだけではなくて、山下さん たちも問題を指摘しているのですよね。 の周辺の方

屮 ます。なぜそういうことになっているのか、僕にはわ を受けたソーシャルワークというか、そういうことが 沿いたい人たちが多く入っていて、教育委員会の意向 的な問題がすでに起こっています。 とはかけ離れてしまっているんですよね。 が子どもと直接会わないというスタイルが広がってい 非常に多いです。いま全国各地で、ソーシャルワーカ からない スクールソーシャルワーカーには、 んですが、ソーシャルワークの理念や方法論 そんな根本 今の流れ

須永 根本的に問題がずれてますね

屮 などとチームで動かないとダメなんですね。 名古屋市でも常勤職にはしたけれど、 元警察官

中村 ク協会の存在意義がますますあるんじゃないです そういう意味では、日本スクールソーシャ ル

屮 そうですね。 子どもの声を聴くことがほんとう

> でね。 に大事だと、

ずっと言い続けながらやってきているの

# 子どもの最善の利益と

須永 流れは重なってない 協会がメンバーを増やしていく時期と、 んですかっ 行政

屮 メンバ ーはあまり増えてないんです。

須永 何人ぐらいですかっ

とすると、ここに入れば仕事を紹介してもらえるん 中 うとはしてないんです。 入ってほしいという思いもあって、 なくて理念や価値観をしっかり共有できる人たちに じゃないかなんて考えで参加する人もいる。そうじゃ ターで講座を受けた方たちは、 ないこともあるんだけど、 200人ちょっとぐらいです。 増やそうとして 一方、 あまりかたちだけ増やそう 初期にカルチャ いまでもメン いたずらに増やそ バ に セン

増 田

出会うべくして出会ったみたい

まったくぶれないんですよね。残ってるんですけど、その人たちは子どもへの視点が

須永 子どもの声を聴くというところから?

山下 そうそう。だから、スクールソーシャルワーク山下 そうそう。だから、スクールソーシャルワーク

神保健福祉士になっているのかと思いますが。いのでしょうか。いまは、従来通りの社会福祉士や精なりたい人は、どういうルートをたどっていくのがい中村 いま、これからスクールソーシャルワーカーに

そうでしょうね。 それが本流になっていて、今後も

中村 そうすると、子どもの、とくに不登校のことな

ないでしょうか。どをよく理解して養成されているわけではないのでは

山下 不登校のことは、教科書やテキストにちょこっ山下 不登校のことは、教科書やテキストにちょこっ のことをぜんぜん知らなかったけど、子どもの最善の のことをぜんぜん知らなかったけど、子どもの最善の 利益を基盤にしたから、大きなズレもなくできたんで すね。

でも恥ずかしながら最初は、不登校の子に「学校に行きたいんでしょ? 行ったほうがいいよ」みたいなたに戻っても、だんだんと元気がなくなって、これは校に戻っても、だんだんと元気がなくなって、これはなと感じたんです。最善の利益というベースがあったなと感じたんです。最善の利益というベースがあったなと感じたんです。最善の利益というベースがあったなと感じたんです。最善の利益というべースがあったいない。

須永 それは、やはりアメリカで学ばれたのですか?

山下 言葉としてきちんと位置づいたのは、アメリカ山下 言葉としてきちんと位置づいたのは、自分がいろいて、いろんなことを考えたりしたけれども、僕がソーでのことですね。それまではなんとなくぼんやりとし

にされてきたこともあるのでしょうね。かの型にはめようとか、抑え込まないでご自分を大切増田 でも、その前から、山下さんご自身が自分を何

**須永** 土台がすでにあった。

間でしたね。 目分で感じたりしていました。すごいそれは幸せな瞬自分で感じたりしていました。「ちっちゃい目だけど目がきらきらしてる」とした。「ちっちゃい目だけど目がきらきらしてる」と

中村 引き寄せたというか

**須永** 出会いを引きつけるってやつですね。

シャルワークに出会ったのはすごく大きかった。その人にかかってるんだと思います。僕の場合は、ソーいっぱいあるんだけど、それをつかめるかどうかは、山下 いつも思うんですけど、チャンスは誰にでも

# 不登校は文化をつくってきた

しゃりたいことがあれば。
須永 最期に、山下さんから現状について、とくにおっ

**須永** ああ、当事者たちの発信ですよね。

一方、不登校に対しては、変わってきた部分と変わきこもりや不登校は、ある文化をつくってきたというきこもりや不登校は、ある文化をつくってきたというはとてもいいことだなと思ってまって、僕は以前からひ山下 そう。あれはいいなと思って。僕は以前からひ山下 そう。あれはいいなと思って。僕は以前からひ

一方、不登校に対しては、変わってきた部分と変わらない部分があるんだけど、これから根本的なところらない部分があるんだけど、これから根本的なところせんね。だから、不登校は減らないでほしいなとは思ってます。

は増えなくても、その割合は増えていくかもしれませ須永 (笑)。子どもの数は減ってるので、不登校の数

率がちがいますよね。

屮

そう。

同 じ 12 〜

13万人と言っても、

以前とは比

んね。

須永

ほかにも、

山下さんが取り組んでこられた修復

います。とがあるんですが、このあたりで終わりにしたいと思的対話のことなど、まだまだたくさんお聞きしたいこ

**須永、中村、増田** どうもありがとうございました。

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#30 山下英三郎さん

インタビュー日時:2017年9月18日 記事公開日:2017年12月29日

場 所:山下英三郎さんご自宅(長野県) 聞き手:須永祐慈、増田良枝、中村国生

写真撮影:中村国生 記事編集:須永祐慈

#### #31 内田良子さん

戦時、 内田 おなかには弟がいたんです。 の状況のなかで応召されてしまっていた。 一番上の兄が8歳で、 とくに母はたいへんな思いをしたそうです。 しかし、 姉が5歳、

父は戦争の最後

引き揚げの

私が2歳で、

ご苦労も多かったのではないでしょうか。

#31 内田良子なん

屮 がっていきたいと思います。 地時代の朝鮮半島でお生まれということでしたね。 まずは、ご自身の子ども時代のことからうか 内田さんは、 戦前、植民

揚げてきました。ですから、当時のことは記憶には残っ 内 田 見町立沢でした。八ヶ岳のふもとで、 てません。引き揚げ先は、父の郷里である長野県富士 1942年生まれなので、2歳半で終戦を迎えて引き 人学校(女学校)の教員をしていたんですね。私は 現在の韓国の慶尚南道です。 父が現地の 小学校4年生ま

屮 の方から引き揚げのご苦労の話をうかがっています。 で住んでいました。 このプロジェクトのインタビューでも、

んです。 ことを許されて、 おひなさまの小道具を入れてくれていたそうです。 を返してくれと司令部に直訴したそうです。父は帰る わめると思って、 ろうし、3人の子どもをつれての引き揚げは困難をき 途中で赤ちゃんを産んでしまったらつれて帰れないだ でひとり旅立つことがあってもさびしくないようにと ただ、無事に日本にたどりつくかはわからな 私のリュックには道中の遊び道具と、途中 母は駐屯地に無断で入り込んで、 いっしょに引き揚げることができた

#### 信じちゃ 先生の言うことは

学校との関係は、どうだったんでしょう。

屮

学校になって2年目ですね。兄は教科書に墨を塗って いるんですが、私のときは新しい教科書になってまし いわば民主化した学校に入ったわけですが、 1948年に小学校に入学しているので、新制 母は「学校に行っても、



(うちだ・りょうこ)

1942年、朝鮮慶尚南道生まれ。終戦で引き揚げ長野県で育つ。東京女子大学 を卒業後、1973年より27年間、佼成病院小児科心理室で心理相談員を務めた。 また、1973年から東京都内の複数の保健所でも心理相談員を務め、現在も続 けている。1988年から2011年まで23年間、NHKラジオ「子どもと教育 電話相談」「子どもの心相談」を担当した。1998年、子ども相談室「モモの部屋」 を設立。著書に『カウンセラー良子さんの子育てはなぞとき』『幼い子のくら しとこころQ&A』『登園しぶり 登校しぶり』(いずれもジャパンマシニスト社) など。編著に『子どもたちが語る登校拒否』『親たちが語る登校拒否』(世織書房)。

インタビュー日時:2017年9月13日

聞き手:山下耕平

場所:モモの部屋(東京都杉並区)

写真提供:内田良子さん

戦争したのだから」と言いました。る。私たちの時代は、学校の先生の言うことを聞いてとを信じちゃいけないよ。先生はまちがえることがあ

母自身、子ども時代に学校が好きじゃなかったみたいなんですね。身体が弱かったのと、医者の娘だったくて、学校にはあまり行ってなかったようです。家で世界文学や日本文学を読みふける、作家志望の文学少女でした。学校を通して上から教えられたのではなく、本から知識を得て教養を身につけた人でした。だから、本から知識を得て教養を身につけた人でした。だから、いざというときも、自分で考えて、自分で判断して行いざというときも、自分で考えて、自分で判断して行助できたんだと思います。

よね。しかし、私の場合は逆だったんです。 は、これであるとい」と言っていて、子どもながらに緊 は、これないように最初から でおかってました(笑)。よく日本の親は「学校 で行ったら先生の言うことをききなさい」と言います と言っていて、子どもながらに緊

山下 とくに当時では、そういう親御さんはめずら

は行ってなかったそうですね。かったでしょうね。内田さんご自身も、あまり学校に

内田 しょっちゅう休んでました。家から学校まで、内田 しょっちゅう休んでました。家から学校まで、いうこともありました。山の中で、とくに冬は雪が深く寒くてたいへんでした。それと、担任が軍隊帰りのスリッパで子ども全員の頭をたたいていた。私自身は、しょっちゅう休んでいたせいで、あまり記憶にないんですが、それもイヤだったと思うんです。頭が痛い、おなかが痛い、下痢をする、吐くということで、体調不良でしょっちゅう休んでました。のちに病院の体調不良でしょっちゅう休んでました。家から学校まで、登校拒否をしていたんだと気づきました。

けど、私たちは給与生活者で農協に行って買わないとそうです。農村だったので、農家は食べ物がある。だら、20歳まで生きられるかわからない」と思っていたはやせて食も細く、母は「この子は身体の弱い子だかはやせて食も細く、母は「この子は身体の弱い子だか

いけないですし、食べるに事欠いていた。つくってましたが、主食の米やしょうゆは買わないとその給料だけではまかなえませんでした。野菜は庭でいけない。当時、父は県立高校の教員だったんですが、

もまだなかったですし、家で寝て治す時代でした。悪いから医者に行くということもない。健康保険制度で休ませてくれたんです。無医村だったので、具合がそういう状況だったので、具合が悪いというと、す

と行ってみてはまた休む。そんな感じでした。かないとまずいなとか、退屈したなと思うと、ちょっかないとまずいなとか、退屈したなと思うと、ちょっれは日がな家にいて、ひとりでお留守番で、庭で草木私は日がな家にいて、ひとりでお留守番で、庭で草木

山下 どれくらいの割合、休んでいたんですか?

たのは、当時はテストがなかったんですね。印刷におないかなと思って、ときどきは行ってました。よかっいます。子どもながらに、半分以上休んだら進級でき内田 3分の1から半分ぐらいは休んでいたように思

時代だったと思います。金もかかるし紙もないから、できなかったんですね。テストがなかったのは、すごくいいかったんですね。テストがなかったのは、聞いたらわかる。らく休んですね。テストがなかったのは、聞いたらわかる。

ぶん牧歌的だったそうですね。
山下 新制学校制度になって10年ほどは、学校もずい

内田 体育や理科の授業でも、河原に遊びに行き砂を内田 体育や理科の授業でも、河原に遊びに行き砂を内田 体育や理科の授業でも、河原に遊びに行き砂を

# ここはニワトリ小屋ですか

山下 子どものころ、言葉でも苦労されたそうですね。

内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植内田 母は東京育ちの江戸っ子で、結婚してからは植

凍死してしまうところだったこともありました。 にいじめで雪に埋められて置いていかれて、あやうく にいじめで雪に埋められて置いていかれて、あやうく ルに入れて引き揚げのときに持ち帰った色鉛筆やクレ とくに兄へのいじめはひどかったようで、ランドセ

は子どもを小学校に入れたと思ったんだけど、ここはりまえのことだ」と言ったそうです。母は怒って「私流議したんですが、校長は「ニワトリ小屋に、新しい抗議したんですが、校長は「ニワトリ小屋に、新しい

ニワトリ小屋ですか」と抗議したそうです (笑)。当時、ニワトリ小屋ですか」と抗議したそうです (笑)。当時、コワトリ小屋ですか」と抗議したそうです (笑)。当時、こり、このかあちゃんは、しんのぶい (芯が強い)、その子どもたちをいじめるな」となった。一歩もひかないで抗もたちをいじめるな」となった。一歩もひかないで抗もたちをいじめるな」となった。一歩もひかないで抗めたことで、村の空気が変わった。その後、村の選挙に出ないかという話が持ち込まれたりもしました。 それは大きかったと思います。

う? 内田さん自身へのいじめはどうだったんでしょ

学校を休んでも孤立することはありませんでした。でも家族が守ってくれるという安心感が常にあって、いう空気があったんですね。ですから、いじめはあっいう空気があったんですね。ですから、いじめを跳ね返すとが助けてくれたり、母が仁王立ちして子どもを守ってが助けてくれたり、母が仁王立ちして子どもを守って外田 いじめられて学校はよく休みました。でも、兄内田 いじめられて学校はよく休みました。でも、兄

山下 その後、4年生で引っ越されたんですか

**内田** 小学校4年生のとき、同じ長野県内の岡谷市に**内田** 小学校4年生のとき、同じ長野県内の岡谷市に内田 小学校4年生のとき、同じ長野県内の岡谷市に

先生も、代用教員だとか、いろんなタイプの先生が、先生も、代用教員だとか、いろんなタイプの先生が弱動者として運動していたので、ストライキで授業が棄なんてこともありました。子どもにとっても、授放棄なんてこともありました。子どもにとっても、授放棄なんでこともありました。子どもにとっても、授が事が始まったりして、先生たちが「教え子を戦場が場合な」と言って闘う姿は力強く思いました。

山下 授業以外で学んだことも多いわけですね

な校風の学校で、もともとは男子校だったので女子はたですね。高校も、旧制中学の流れを汲んだバンカラ内田 そうですね。いまと比べると、すきまが多かっ

子どもが大人になっていくという文化がありました。お弁当を持って動物園に行くような楽しさを感じていました。コンパでは、あたりまえのように酒も飲めばてしまったこともありました。大きな意味で、たいがてしまったこともありました。大きな意味で、たいがいのことは許されて、疾風怒濤の思春期を経過して、如のことは許されて、疾風怒濤の思春期を経過して、知のことは許されて、疾風怒濤の思春期を経過して、知のことは許されて、疾風怒濤の思春期を経過して、毎日、

運動の影響もあったんですかね。 
山下 いまと寛容度がちがいますね。時代的に、学生

教員も抑圧せず「自分たちもいっしょに行進するから、教員も抑圧せず「自分たちもいっしょに行進するから、た。高校生でデモ行進していました。6月15日に樺虎り、全学で討論したりしていました。6月15日に樺虎い、全学集会を開いてデモをすることを決議しました。高校生でデモ行進していました。6月15日に樺原いて、全学集会を開いてデモをすることを決議しました。高校生でデモ行進していました。6月15日に樺原いて、全学集会を開いてデモをすることを決議しました。高校生でデモ行進していませい。6枚内田 1960年に高校3年生だったんですが、高校内田 1960年に高校3年生だったんですが、高校内田 1960年に

全共闘運動は、

学問の権威主義を批判していまし

## 学生運動が問うたこと

山下 大学はどちらに行かれたんでしょう。

内田 東京女子大学で学生寮に入りました。安保闘争内田 東京女子大学で学生寮に入りました。安保闘争 その再建運動に加わったり、大学でも自然に学生運動に関わるようになりました。しかし60年安保の直後は 潮が引いたように運動も低調になって、そのころはデモも人が集まらなかったですね。そんななか自治会を再建して、大学4年生で600人規模のデモができたときは隔世の感がありました。

山下 大学で、心理学はどのように学ばれていたんで

内田 それが学生運動に忙しくて、ほとんど授業には

書いて、教員からは「これは心理学の論文というより書いて、教員からは「これは心理学の論文というよりの書いたものでは一番おもしろかったという評価をもの書いたものでは一番おもしろかったという評価をもらいました(笑)。学生運動をやって授業に出てない学生は、大学でしかできない社会問題に取り組んでい学生は、大学でしかできない社会問題に取り組んでいると評価されていたところもありました。

**山下** 当時だったら、カール・ロジャーズを勉強し

内田 ぜんぜん、まじめには勉強してなかったんですな感性をみがいて相談現場に出たので、登校拒否をする子どもの声が、とてもよく理解できたんだと思いまる子どもの声が、とてもよく理解できたんだと思いまる子どもの声が、とてもよく理解できたんだと思いま

山下 大学を卒業されたあとは?

理学者。来談者中心療法の創始者。 \*1 カール・ロジャーズ(1902~1987):アメリカの臨床心

内田 就職先がなかったんですが、同じゼミの友人が東大で就職先がなかったんですが、同じゼミの友人が東大で教育心理学の研究アシスタントの口があると紹介してくれて、事務職の仕事に就きました。1965年から働き始めたんですが、そこで東大闘争が起きたんです。1月18~19日に安田講堂が落城しますね。当時、私の所属は教育学部だったんですが、本部は安田講堂だったので、職場がなくなって解雇になったんです。

東大闘争の一部始終を構内で間近に見ていました。東大闘争の一部始終を構内で間近に見ていましたと思いばユー#33参照)も助手共闘で活動されてましたね。ビュー#33参照)も助手共闘で活動されてましたね。ビュー#30参照)も助手共闘で活動されてましたね。どっていました。最首悟さん(本プロジェクトインタビュー#30参照)も助手共闘で活動されてました。

したね。 継続していきました。インタ 活かすか、みずからに問い直し、市民社会でその志をも参加 の多くが、それぞれが学んだ知識や経験をどこでどう出ては そのために専門知識を活かす。学園闘争を経た人たち出ては でいために専門知識を活かす。学園闘争を経た人たち出ては でいために専門知識を活かす。

善、中越地震の復興計画など、実に多くの運動に参画

しました。権力側ではなく市民の側に立って取り組み

橋反対運動、狭山事件の鑑定、

被差別部落の住環境改

まれました。夫も水俣病調査、日照権運動、国立歩道の課題が学生運動で活動した若者たちのもとに持ち込

その縁で市民運動と裁判に関わった弁護士から、

多く

て教育されますが、それにプロテストして闘ったんで

もともと専門家というのは権力に奉仕するものとし

あげての闘争のまとめ役もしていました。

すね。学園闘争は多くの市民が支援してくれました。

私は夫の内田雄造と東大闘争のなかで出会ったんで

すが、彼は当時、建築学科の博士課程にいて、学科を

夫は都市計画、私は心理でしたが、夫婦でいっしょ

クト研究員、国際東アジア研究センター主任研究員などを務めた。家、都市計画の教育者。東洋大学教授、国立歴史民俗博物館プロジェ\*2 内田雄造(うちだ・ゆうぞう/1942―2011):都市計画

立って、市民とともに闘ってきたんです。6年前に亡くなったとき、弔辞は山本義隆さん(元・東大闘争全学共闘会議代表、予備校講師)が読んでく東大闘争全学共闘会議代表、予備校講師)が読んでく東大闘争全学共闘会議代表、予備校講師)が読んでく

### 学校アレルギー

でしょう。 山下 心理相談の仕事を始められたのは、いつのこと

1973年からですね。
て、病院と保健所で同時に働き始めました。ですから、て、病院と保健所で同時に働き始めました。ですから、外田 結婚して子どもが生まれたのが1971年で、

山下 両方とも、心理相談の仕事だったんでしょうか。

内田 そうです。大学の同期の友人が佼成病院(東京

郡中野区)の心理室に勤めていました。アレルギーの都中野区)の心理室に勤めていました。アレルギーの研究をやっていて、その研究をやっていて、その研究をやっていて、私に声をかけてきたんです。せんそく発作はおさまらない。おかしいと友人は思っていて、私に声をかけてきたんです。私が学生運動をやっていたのを知っていたので、心理室を改革するやっていたのを知っていたので、心理室を改革するやっていたのを知っていたので、心理室を改革するやっていたのを知っていたので、心理室を改革するやっていたのを知っていたので、心理室を改革するやっていたのを知っていたのでしょうね。

**山下** では、最初から心理テストは問題だという認識

**内田** そうです。当時、すでに「心理テストを問う」 内田 そうです。当時、すでに「心理テストを問う」 大いう問題意識があり、私も自分の得た知識や経験を という問題意識があり、私も自分の得た知識や経験を

山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題 山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題 山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題 山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題 山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題 山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題 山下 不登校の問題だけではなく、いろんな社会問題

内田 私はもともと、臨床心理をやりたかったんですが、当時の大学では、臨床心理は特別講座だけだったんです。ですから、とにかく現場に出てから、子どもと親御さんが必要とすることについて、まず話を聴き、と親山さんが必要とすることについて、まず話を聴き、と親山さんが必要とすることについて、まず話を聴き、

件だったんですが、採用されてからは、ほとんどや親に心理テストをしてデータにして報告するという条せんでした。雇用される際には、ぜんそくの子どもと心理テストは最初から批判していて、あまりやりま

データを出せない」というスタンスでした。それには時間がかかるので、学会に間に合うようには頼関係が必要で、ラポールをつくらないといけない。「テストをするには子どもとの信

しかし、心理室の取り組みを見て、小児科医やほかの診療科から、いろんなケースがまわされてくるようになったんです。頭が痛いとか、おなかが痛い、吐き気や発熱などで、検査してもどこも悪くないというケース。あるいは、起立性調節障害、おねしょ、チック、吃音、言葉が遅い、自閉傾向など、医者の守備範囲を超えるケースですね。そこで、ゆっくり、ていねいに子どもと親の話を聴いていたら、いろんなことがわかってきたんです。

学校のある日は発作がひどくなる。アレルギー源にはよくなって、退院すると悪くなっている。さらには、が起こるか、強くなるかをきいていくと、入院するとたとえば、ぜんそくの発作も、どういうときに発作

流を行える関係が成立している状態を表す語。 あいだに、相互を信頼し合い、安心して自由に振る舞ったり感情の交来3 ラポール:臨床心理学の用語で、セラピストとクライエントと

て、学校はどんなところなの? と。
て、学校はどんなところなの? と。
ないかということが見えてきたんですね。学校を欠席ないかということが見えてきたんですね。学校を休んだほうめを飲ませて学校へ行かせるより、学校を休んだほうかないのに、休むと発作が起きなくなる。この子にとっかないのに、休むと発作が起きなくなる。この子にとっかないのに、休むと発作が起きなくなる。この子にとっかないのに、休むと発作が起きなくなる。この子にとっかないのに、休むと発作が起きなくなる。

不登校 50 年証言プロジェクト

### 山下なるほど。

内田 そうやって、心理室に紹介されてきた子どもの内田 そうやって、心理室に紹介されてきた子どものいらかと聴くと、朝からで、病院に来て、もう学校に行く必要がないとわかったころからは痛みがおさまり大丈夫だと言う。それも毎日ではなくて、月曜日と水曜日とか、曜日が決まっている。時間割を見てみると、体育がある日だとか、症状と学校生活がきれいにと、体育がある日だとか、症状と学校生活がきれいにと、体育がある日だとか、症状と学校生活がきれいにと、体育がある日だとか、症状と学校生活がきれいにと、体育がある日だとか、症状と学校生活がきれいに

出来事が合わせ鏡のように一致することが、次々に実 子どもに話を聴いていくなかで、体調の悪化と教室の ている中味をちゃんと聴いてなかったりするんです。 怒られる子に問題があると思っていて、子どもが訴え 言うんです。お母さんのほうが、先生に怒られるのは ですね。でも、子どもは「ちゃんと言っているよ」と うして言ってくれなかったの?」と言ったりするん おなかが痛い、悪夢を見るという症状になっている。 なくて四六時中緊張しているストレスから、頭が痛い うにつらいし怖いとか、いつ自分が叱られるかわから 紙1枚書かされるとか、自分はまじめにやっていても たされるとか、ひとつ字をまちがえると宿題で原稿用 証的にわかってきたんです。 してもらうんですが、お母さんもびっくりされて「ど ほかの子が叱られるのを見ているのが、 子どもに話を聴くときは、最初はお母さんにも同席 あるいは先生が厳しくて、宿題をやってこないと立 わがことのよ

の子どもたちとの出会いがあって、よく聴いていくと、山下 まず、ぜんそくを始めとして、いろいろな症状

た、という順番なんですね。そこに学校の問題があって、不登校のことも見えてき

**内田** その通りです。受診してくる多くの子は、登校しているけど、登校しぶりで体調がつらい状態のときは、子だけど、登校しぶりで体調がつらい状態のときは、子だけど、登校しぶりで体調がつらい状態のときは、子どもも不安だから病院には来ない。「自分は病気じゃなどもも不安だから病院に来る。そこで、身体症状と学どもも不安だから病院に来る。

# 心理室閉鎖、全員解雇の危機

が、そういうことを中心にやっていたら、心理室は閉できました。医者にも理解してくれる人はいたんです学校との関係が見えてくると、雲が晴れるように見え

鎖して全員解雇すると言われてしまったんです。

76年ごろのことですが、そのとき、相談室に相談に来ていた人たちが嘆願書を書いてくれたんです。心理室の相談に行って、子どもの状態が落ち着いて元気になりましたという人がかなりの人数いたので、病院長と佼成会の会長に「親たちは心理室を必要としています。ぜひ心理室を残してください」と声をあげてくれて、親とともに活動してきたことが、私たちの危機にで、親とともに活動してきたことが、私たちの危機に際して、助けてくれる関係になっていました。

しょに考えましょうね」と言って、みんな、わがことといたり、産体で休む人を解雇しようとしたり、そのたいたり、産体で休む人を解雇しようとしたり、そのたがに交渉して、4人目の院長は「内田が心理室にいるがに交渉して、4人目の院長は「内田が心理室にいるがに交渉して、4人目の院長は「内田が心理室にいるがに交渉して、4人目の院長は「内田が心理室にいるがも、いつクビになるかわからない不安定な職場で、子も、いつクビになるかわからない不安定な職場で、子も、いつクビになるかわからない不安定な職場で、子も、いつクビになるかわからない不安定な職場で、子も、いつクビになるかわからない不安定な職場で、子どもや親たちと「子どもを孤立させないように、いっとは、おいた。

として考え合っていたように思います。 そうやって子どもたちの話を聴くなかで、登校拒否

おどされている時代でした。 進学できない、就職できないと親や子どもが責められ、 んですね。当時は、学校に来なかったら卒業させない とか言われて親も責められる。それではよくならない ちっともよくならない。親の育て方が悪い、母原病だ は教育相談室とか教育機関に行かせられるんだけど、 を居場所にする必要があるということがわかってきた のことも、学校に行かせて追いつめるのではなく、 です。子どもが学校に行かなくなると、だいたい 家

そこで、マンツーマンではなく、グループ相談を始め 分と同じような状況の子どもたちがどんな生活をして 状況は共通しているということが見えてきたんですね。 た。当事者の子どもと親に、私たちは育てられたんです。 たんです。親御さん側にも、 いって、休むことができれば、こじれることはなかっ もの症状と学校生活との因果関係をハッキリさせて 子どもの年齢や性別はちがっても、追いつめられる ところが、子どもと親の話をちゃんと聴いて、子ど 当事者の子どもにも、

> してみたいという希望がありました。 いるのか、どんなことを考えているか、 出会って話を

害に遭っている子どもが卒業できず、加害者が卒業・ と交渉することがよくありました。いじめや体罰の被 進学できるのはおかしいと交渉していくなかで、進級・ 会でも、進級・卒業させないと校長から言われ、学校 は、中学校を卒業できずに除籍される子もいて、 子どもたちも10人くらい来るようになりました。当時 卒業の権利を勝ちとっていったんです。 始めました。毎回、 私たちは1982年から、 いまは「モモの部屋」にしている、この家で 20人以上の親御さんが集まって、 土曜会と水曜会という親 親の

#### の師匠

もで、 屮 最初のころに出会った登校拒否をしている子ど とくに覚えておられる方はいますかっ

\* いる子ども相談室 モモの部屋:東京都杉並区で1998年から内田さんが開いて

食べることが好きで体格もよくなっていて、病院長は、 糖尿病と精神疾患を疑っていたんです。 夜間中に籍を置いたけれども行かず、家に閉じこもっ と親が親しい関係で、学校に行かずに家に閉じこもっ 内田 私の師匠になった人がいます。彼は病院の院長 てました。当時16歳ぐらいでしたが、 ていると相談があったんです。 中学校を除籍されて、 一歩も外に出ず、

うして行こうとするの?」と言ったら、それは目から ことと、学校に行ってないからだと思います。 鱗だったようで、「行かなくてもいいんだ」と驚いて きたくない」と言う。それで「行きたくないのに、ど は除籍になって、夜間中にも行ってない」と言ってま た。私が「どうして、ここに来るようになったの?」 です。しかし、室長は当時の登校拒否の言説にのっとっ 長だった詫摩武俊さん(心理学者)が少年に会ったん した。「そんなに学校に行きたいの?」ときくと「行 ときくと、 て「学校に行かないのはわがままだ」と説教したんで 彼は不承不承、相談室に来ました。最初は、心理室 それで室長とは話したくないと、私のところに来 「僕は太っていて、糖尿病が疑われている 中学校

を傍受して、それを聴かせてくれたりしました。 ような感じでした。彼は無線が好きで、 うと、カーテンをぜんぶ閉めきって、 彼の家を訪ねることにしたんです。部屋に通してもら ほしいというので、当時は私も忙しくなかったので、 その後は、内田とだったら話してもいい、家に来て 何か深海にいる 機動隊の

主張をしていたこととほぼ同じことを、 彼との話は楽しかったですね。大学闘争で学生たちが まちがえてなかった。確信を持った」と言ってました 屋に行って、立ち読みで見つけた哲学の入門書を買っ まちがってなかったんだと思ったようです。それで本 終を聴かせてくれて、自分が思ってたり感じたことは 指導とぶつかったことがきっかけでした。その一部始 て、「僕が考えていることがここに書いてある、僕は まって、 てきて読み始めた。ソクラテス、アリストテレスに始 彼が学校に行かなくなったのは、担任の体育教師の 彼は文学や哲学の話をみずから展開していくので、 自分の言葉で話していました。 ヘーゲル、サルトルと実存哲学にたどり着い 彼は自分で獲

私のほうも、まだ経験が浅く、心理室に相談がいろ私のほうも、まだ経験が浅く、心理室に相談がいる入ってくると、子どもの気持ちがわからないけど、僕聡明な少年で、「理論的なことはわからないけど、僕心がしていることは子どもには合わないと思いますんがしていることは子どもには合わないと思いますよ」とか、アドバイスしてくれました。彼は私の師匠よ」とか、アドバイスしてくれました。彼は私の師匠ですし、私の育ての親のひとりでもあります。

その後、彼はフロイトなどを読み、大学で心理学を勉強したいと言い始めました。しかしどうやって勉強していいかわからないというので、夫が「僕のわかるに、いっしょに数学や物理をやっていると、夫は「彼は数学の法則から自分で考えている。力のある子だ」と話を巻いてました。

味関心のあるものが見つかれば、人はやるものだと教ました。彼を通して、学校に行かなくても、自分の興業程度認定試験)をパスして、大学の心理科に進学し試験を受け、大検(大学入学資格検定/現在の高校卒試験を受け、大検(大学入学資格検定/現在の高校卒試験を受け、大検(大学入学資格検定/現在の高校卒業程度認定

えてもらったように思います。

## 子どもとの対等な関係

内田 長男が小学校のときは、この家を民間の学童保内田 長男が小学校のときは、この家を民間の学童保育のように開放していて、同学年の子たちが入れ替わり立ち替わり遊びに来て、それなりに楽しくすごしてました。ところが、中学校になって管理教育を心底疑問に思って、中学1年で退学届を出して辞めたんです。本人は、もう行かないということでした。それで、バースデイケーキと同じ大きなケーキを買って、退学祝いました。

彼も、学校に行かなくても大丈夫と感じとっていたよす。登校拒否して、その後、どういう展開になるのか若者、親御さんの、いろんな話をつぶさに聴くわけで会を開いてましたから、ほかの学校に行かない子ども会いわいだったのは、この家では子どもの会と親の

うに思います。

がよかったですね。 度認定試験と大検をとりました。それも先輩がいたの 度がのほうは除籍になって、その後、中学校卒業程

それと、私の母がよき理解者となりました。関東大震災で焼け出され、植民地から引き揚げてくる経験をし、人生で2回も無一物になりました。子どもたちに「最後まで身につくものは見たものと聞いたものと食でためのだけだよ」と言って、おいしいものを食べにつれていってくれたり、いまの生活を楽しむ知恵を教えてくれました。

お母さんとは呼んでなかったそうですね。 山下 内田さんの家では、お子さんたちは、お父さん、

りなさい」といった指示命令形は使わなくて、「お願で呼んでました。そうすると、親のほうも自然と「や改合っていたんです。それで、自然と子どもたちも、び合っていたんです。それで、自然と子どもたちも、

でしょう(笑)。

がいなんて言ったら、わがまま以外の何ものでもないか」なんて言ったら、わがまま以外の何ものでもないか」なんて言ったら、わがまま以外の何ものでもないか」なんて言ったら、わがまま以外の何ものでもないか」なんて言ったら、わがまま以外の何ものでもないか」なんで言ったら、わがまま以外の何ものでもないか」なんで言ったら、わがまま以外の何ものでもないか」なんで言ったら、わがまま以外の何ものでもないがあら、これをやってくれる?」となる。基本的にいだから、これをやってくれる?」となる。基本的にいだから、これをやってくれる?」となる。

ですね。
山下 呼び方ひとつにも、力関係が入ってしまうわけ

と思います。 と思います。 と思います。 と思います。 と思います。 ともは何かあれば「いやだ、それはおかしい」とハッキ それは、子どもをひとりの人間として尊重することだ それは、子どもをひとりの人間として尊重することだ と思います。

### 権力が選んでいる

山下 内田さんは、障害児を普通学校への運動にも関

わっておられましたね

淳さんたちと「がっこの会」で活動していました。 意見書を出したり、いっしょに運動をしていて、渡辺 れど地域の普通学級で教育を受け、いっしょに育ちた 時健診を受けるか否かは大きな課題でした。私たちも いと望む親御さんがけっこういらしたんですね。就学 病院に相談に来られていた方で、障害があるけ

屮 浩籌さん、#44小沢牧子さん参照)。不登校の運動と、 の子も地域の学校へ」運動の先駆者のひとり。 することに疑問を覚え、1971年に「がっこの会」を結成。日本での「ど ケアを行なうなかで「自閉症」というラベルを貼り、子どもを「治療」 の国立成育医療研究センター)に心理職として勤務。自閉症児のデイ けれども、かみあわないところもあったように思いま た問題、学校のあり方を問うという点は共通している 障害児を普通学校へという運動は、学校から排除され なりましたね(本プロジェクトインタビュー#14中島 教育を見限る」というシンポジウムを開いて大激論に 渡部淳(わたなべ・あつし/1935―):国立小児病院 (現在 1985年に渡辺淳さんが、臨床心理学会で「公

> されてましたが、そのあたりはどうお考えでしょう。 す。このシンポジウムには内田さんも参加されて質問

どもを前にして、すごい差別を感じました。要するに 選別している。民間の地域病院にいると、両方の子ど 学びたいという子には来るなという。権力が子どもを 地域のなかで、みんなと机を並べていっしょに生活し 用な子は首に縄をつけてでもつれてこいと言いながら 権力が子どもを選んでいるわけです。権力にとって有 排除する、 く見えるんです。 もが受診してくるので、その矛盾がイヤというほどよ 子には首に縄をつけてでもつれてこいという、同じ子 そうですね。障害がある子には学校に来るなと 学校に傷つき登校を拒否している不登校の

屮 教授)は「子どもが共に育つ場としての学校を見限る 篠原睦治さん(社会臨床学会運営委員、 わけにはいかない」「登校拒否している人も、 いうことですね。それはわかります。シンポジウムで 子どもの側に主体がないという点では同じだと 和光大学名誉 ひと休

ました。「公教育を見限る」と言ってしまうと、より うに思います。 議論は、 「内なる学校を見限ろう」と話されていました。この ものが子どもにとって苦しい場になっているのだから、 都合とされる子こそがそこでふんばって、 権力にとって都合のいい場に学校がなってしまう。不 おして、もう1回学校に行ってほしい」と発言されて います。それに対して、渡辺淳さんは、学校教育その の足場として闘っていくべきだということだったと思 したら、学校を関係の創造という文脈で意味づけ かたちを変えて、 現在にもつながっているよ 学校を生活 な

死ねと言うのといっしょだと私は思いました。 限界状況を生きている。そこでふんばれというのは、 校圧力がこれ以上加われば、もう生きられないという なかには、自殺未遂している子が何人もいました。登 子どもたちが、 充分で認識が甘いと思いました。どれほど登校拒否の いるか実態を知らない。病院に来ている子どもたちの 私は、当時の学会では、登校拒否への理解が いじめなどで傷つき、追いつめられて 不

> 在をかけて登校を拒否し、 です。子どもを中心に考えれば、学校のためにふんば るべき状況ではない。私の出会った子どもたちは、存 「学校へは行かない」とふんばって抵抗しているわけ そもそも、誰のためにふんばるのか。子ども自身は と思いました。 学校をボイコットしている

場合も多いですね。そこで子どもの側に立てるかどう 中 も自身の思いと、親や周囲の大人の思いはすれちがう 子どもの側に立ってきたということですね かが問われる。内田さんは、親の相談を受けながらも たとえ、それが良心的なものであっても、子ど

す。そのとき、警察を呼んだり、子どもを精神科につ 暴力など子どもの行動を理解できないという話が出ま り暴力をふるうことはないんです。 れていったり、薬を飲ませる前に、「ちょっと待って 発する背景があって、 ほしい」と言ってきました。子どもが理由なくいきな その通りです。 言葉にできない怒りが対抗暴力 たとえば、親の会でも、 かならず怒りを誘 家庭内

そこにいたるいきさつや背景に親が気づいて、気をつ 36年になりますが、 けることで、家庭で暴力をふるう必要がなくなってい りで聴いている親御さんが気づいていく。家庭内暴力 どもの側に立って話を整理すると、そこに気づかれた ことを言ったりやったりしているんです。そこで、子 覚なく、子どもの立場からすると絶対に許せんという とがありましたか?」ときいていくと、親御さんは自 として出てきている。「暴力が出る前に、どういうこ すごいと思います。 になってきました。そういう意味では、親の会の力は の立場に立った見方を共有できる、成熟した大人の会 入院させて薬を飲ませてもおさまらない。 その親御さん自身がすぐに気づかなくても、まわ モモの部屋は、 前身の親と当事者の会から数えて 回数を重ねていくことで、 子ども むしろ、

### 親も 「被告席」 に いた

屮 題意識もクリアだったように思います。これはおかし 80年代ごろは、登校圧力が厳しかった反面、問

> 広がり、 かし、 も思います。いまの時代の苦しさは、どこにあるとお にくくなってきて、発達障害など、再び専門家に判断 考えでしょうか。 される問題になって、 いと親御さんも気づいて、親の会が広がり、居場所が 2000年代以降になると、 状況を変えていこうという運動が起きた。し 問題が個人化されているように 問題の所在が見え

ら、真剣にみずからを問うたし、学校相手にも問うて 題や親の育て方の問題になってました。その時代は、 た手引き書「生徒の健全育成をめぐる諸問題:登校拒 の側にいたんです。 いた。真剣勝負だったんです。親は、 から、親は子どもの側に立って、 いわば子どもも親も「被告席」にいたわけです。です 否問題を中心に」では、登校拒否は子どもの性格の問 **内田** たとえば、1983年に文部省 子どもをかばいなが かならず子ども (当時)が出

すから」と言って怒りましたが、それほど母親はまわ ある母親は「そんなに親の育て方が悪いと言うなら のおなかの中にもどしてほしい。 そうしたら育て直

て、 談では、子どもがなぜ学校に行かなくなったかにつ 聴けていたんだと思います。ですから、そのころの相 はない、親の育て方の問題でもないと、当時の親は気 れほどまでに抵抗するのは、子どもがワガママなので みついたり、部屋にバリケードを築いたりして、テコ づいていった。そういう意味では、親は子どもの話を でも動かない。そういう子どもの抵抗に出会って、こ いこうと悪戦苦闘するわけですが、子どもは柱にしが 親も追いつめられるなかで、子どもを学校につれて から責め立てられ、追いつめられていました。 親が説明できたんです。 W

では、学校は高圧的に、首に縄をつけてでも子どもを も起こり得る」という見解が示されましたね。それま 研究協力者会議)では、「登校拒否はどの児童生徒に 拒否(不登校)問題について」(学校不適応対策調査 がってきた。 てきて、問題意識を共有して、 子どもは抵抗して学校に来ない。そこに、親の会が育っ つれてこさせるほかに策がなかったんです。それでも、 ところが、1992年に最終報告が出された「登校 しかし、 92年の報告以降は、 居場所の取り組みも広 親の会のノ

> らに行くように導かれました。抵抗する子どもを学校 関のなかに、学校にもどす親の会をつくり、親はそち に無理に行かせるのは問題という登校拒否を考える市 ウハウを教育行政が取り込んだんです。学校や相談機 の会には行くな、 という流れになった。

ŋ

屮 ましたね。 92年の報告以降は、 適応指導教室なんかもでき

流 れが悪い、これが悪いと指摘されて、どよーんと涙を 流して笑って帰る。でも、教育行政の親の会では、あ どもが学校を休むことを受けいれ、本音で語って涙を になるんですね。私たち市民がつくる親の会では、 どうしても、 れる。そうやって、換骨奪胎されて、 つくられて、教育行政の学校にもどす親の会が勧めら ルカウンセラーが配置されて、学校のなかに相談室が つくられてしまった。 して暗くなって帰ってくる。さらに、学校にはスクー そうです。教育行政の開いている親の会では、 いかに子どもを学校にもどすかという話 いわば、親の会は塗り替えられ 相談のル

教育行政の学校にもどす親の会のほうに流されてい ように思います。 てしまったわけです。登校拒否を考える市民の親の会 当時、各地の親の会では、子どもの居場所としてフ その結果、学校復帰が強まったということがあ しい親は来るけれども、大きな流れとしては

0

と出会いたい、遊びたいと言ってくる。そこで、子ど ところに巣立っていった。子どもが巣立つと空の巣に でひとときを過ごして、それぞれの興味関心をもった じような経験をした仲間と出会って、フリースペース スクールとは言ってませんでした。子どもたちは、 すから、子どもの居場所はフリースペースです。フリー ですね。子どもは「勉強したい」なんて言ってない もが集まって楽しくすごせる場所が必要となったわけ 受けいれられて家が居場所になると、子どもは落ち着 リースペースをつくっていましたね。家にいることが いてきて、だんだん退屈して、 親の会の役割が変わってきます。 不登校して家にいる子 同 で

屮 どこの親の会でも、 世代交代が難しいというこ

とはあるようですしね

や教育行政の親の会に流されていく。 に待てないということがありますね。 「ゆっくり子どもを休ませよう」と言っても、そんな ひきつづき会を続けていくかどうかというとき、新し い親は参加しても、 わが子たちが巣立っていって一山すぎたあと、 学校復帰の圧力にあせっていて、 そこで医療機関

しかし、 先生たちは学校に行かない子や教室に入れない子を保 あることが多くて、保健室はいわば駆け込み寺だった。 担任は、得てして体罰や懲罰をふるっていたり問題の 健室で受けいれていたんです。保健室に来る子たちの 年代初めは、保健室は「心の居場所」で、養護教諭の こり得る」「学校に心の居場所をつくる」と言った90 なった。文部省(当時) 保健室に長期滞在するのはダメだと言われるように 室ができたことで、保健室登校が変わってきましたね いれてはいけない」と指導されてます。 それから、適応指導教室などの中間教室や教育相談 いまの若い養護教諭は「保健室で長期間受け が「登校拒否はどの子にも起 上の世代の養

られるわけですね。 が適応指導教室に行くか、教室にもどるように仕向け たちに言えなくなったと嘆いています。それで子ども 休んでもいい、無理するな」と保健室登校する子ども 護教諭たちも、 最近は「無理に学校に来なくてもい

# 専門家は権力に奉仕する

屮 があるように思いますが。 況よりも子どもの心理の問題にしてしまうということ セリングへの批判的な見方として、学校状況や社会状 については、どのように捉えてますでしょう。 仕事をされているわけですが、スクールカウンセラー ンセラーも配置されてきましたね。内田さんも心理の 90年代半ば以降からは、中学校にスクー カウン ・ルカウ

けです。 よう教育されるものです。とくにスクールカウンセ の立場に立つか、どちらの立場に立つかが問われるわ 専門家というのは、 もともと、 専門家というのは権力に奉仕する 子どもの立場に立つか学校

> に養成されてきたわけです。 ラーは、増え続ける不登校の子どもを学校に戻すため

わけです。カウンセラーのモラルである守秘義務を最 聴いた話は担任に報告され、 言っておきながら、本人の知らないところで、そこで 初から逸脱しているとも言えます。 また、相談室では「プライバシーは守られます」と ケース会議に報告される

屮 だというのは、手厳しいですね。 カウンセラーは、そもそも権力に奉仕するも

内田 かが問われます。 るのかをみずからに問 宿命を負っていると思います。誰のために何をしてい カウンセラーだけではなく、 い直す緊張感を常に持っている 専門家はそう いう

片 わけですね それは、 東大闘争で問われたところでもあった

内田 そうです。 しかし、 最近はみずからを問う流

摘されてますね(本プロジェクトインタビュー#30参摘されてますね(本プロジェクトインタビュー#30参摘されてますね(本プロジェクトインタビュー#30参摘されてますね(本プロジェクトインタビュー#30参流なれてます。としたが、養成された臨床心理士の人たちは、疑うこともなく「発達テスト」や「知能テスト」をして、子ともなく「発達テスト」や「知能テスト」をして、子ともなく「発達テスト」や「知能テスト」をして、子ともなく「発達テスト」や「知能テスト」をして、疑うこれたちは「心理テストを問う」ところからスタートしているので、どの分野でも専門家は体制が弱まってきているので、どの分野でも専門家は体制が弱まってきているので、どの分野でも専門家は体制が弱まってきているので、どの分野でも専門家は体制が弱まってきているので、どの分野でも専門家は体制

## 休むこと、選ぶこと

山下 内田さんは、不登校で一番大事なのは休む権利 が保障されることだと、ずっと言ってこられました。 が保障されることだと、ずっと言ってこられましたね。 がな学びのあり方が制度として認められて、選択肢 様な学びのあり方が制度として認められて、選択肢 様な学びのあり方が制度として認められて、選択肢

うお考えでしょう。く考えたいところだと思うのですが、そのあたりはどく考えたいところだと思うのですが、そのあたりてどいなってしまったようにも思います。あらためて、よ教育機会確保法をめぐっては、そこがねじれた論議

認められると期待された一方、 国会に上程され、2016年12月に可決・成立した。 と反対や慎重論の声もあり、 ことです。子どもにとって、学校に行くことは権利で ませないようにするのが不登校対策で、休めない子ど 無理だというところから休み始めているということで 悪いと思います。長年、 \*6 教育機会確保法:2015年5月、超党派の議員連盟により提 は、人間として学校を休む権利がきちんと保障される もは、まるで教育奴隷の状態です。子どもに必要なの かったのは、子どもは学校で深く傷つき、これ以上は の会で、たくさんの親や子どもの話を聴いてきてわ 日以上学校を休むことですね。たかが30日休 つまり、休養回復が必要な状態にある。それを休 不登校というのは1年間に連続または フリースクールや夜間中学校など多様な場が教育機会として 大幅に変更された案が20 かえって不登校の子が追いつめられる 病院や保健所、全国各地の親 いんで何が 断続で

あって義務ではないわけですから

とって必要な認識だと思います。
堂々と休んでもいいんだというのは、すべての子に要なことですよね。無理して行っている状態は苦しい。
とってだけではなくて、むしろ行っている子にこそ必とってがけではなくて、むしろ行っている子にこそ必とって必要な認識だと思います。

内田 労働者には年間20日の有給休暇制度があるし、内田 労働者には年間20日の有給休暇制度があるし、小ざとなれば辞めることもできる。そういう権利は大いざとなれば辞めることもできる。そういう権利は大いざとなれば辞めることもできる。そういう権利は大いざとなれば辞めることもできる。そういう権利は大いざとなれば辞めることもできる。

徒のみとなりました。また、すでに休んでいる子に認条文上、休養の必要性が認められたのは不登校児童生とサボりも認めてしまうことになると言う議員もいて、議論のなかでは、すべての子どもに休む権利を認める議論のなかでは、すべての子どもに休む権利を認める。

本の子どもの無権利状態は深刻です。
く、人道的にも当然で、それを法律でわざわざ書く日められるのは、国連子どもの権利条約をひくまでもな

逃走者のように「逃げてもいい」と言っても、伝わら とすり込まれ、心の手足を縛られている子どもたちに は、学校を休めていません。義務教育を「登校義務」 せられてました。みずから命を絶っていく子どもたち るよ」といったメッセージがマスメディアを通して発 からは「学校から逃げてもいい、フリースクールもあ うが実態を反映していると思います。子どもの自殺が 察庁の発表では2016年で320人で、こちらのほ 動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」)。警 殺した小中高生の数は2016年度は前年度から29 推進派の主張もありましたが、文科省の調査では、 に、「あなたたち子どもは学校を休む権利を持ってい ないでしょう。マスメディアが注目して発信する機会 多発する夏休み明けに、今年もフリースクール関係者 人増えて244人にのぼります(「児童生徒の問題行 る」と、なぜ真正面から正々堂々と伝えてあげないの あの法律ができれば自殺する子は少なくなると たなくても差別されたり、

いじめられることなく学校

教育を受けられる、給食を食べられる。

学びの場として子どもと等身大の学校

活の場として、 に行ける、 う子たちにこそ、人間的な安心して学べる学校が必要 にシフトする教室から、落ちこぼされていく。そうい

もっとも経済的に恵まれない子たちが、何も持

めやスクールカーストがあり、

学力テストや高校受験

るから」と。しかし、学校に来ていて、つらい。いじ 室にいる養護教員は言います。「学校には食べ物があ 不登校 50 年証言プロジェクト

なく、親も教員も認識する必要があります。ほんとう

は休むことは何の問題もないし、子どもには休む権利

学校を休む権利があるというのは、子どもだけでは

があるのに、実際には、出席日数が足りなくなるだの、

権利を子どもに明示してないわけです。そこが一番の

進級・卒業・進学にかかわるだのとおどして、本来の

「死ぬほどつらいんだったら逃げてもいい」と言う

問題です。

さしいようで、 学校は逃げられないところ」と思うでしょう。 行っている子どもたちも、「死ぬほどつらくなければ、 識者もいますが、それは子どもに酷です。 は思います。 少しもやさしくない、理解がないと私 いま学校へ 一見や

とだと思います。 られない制度にするには、多様な制度が必要というこ 選択肢が必要だということですね。そこまで追いつめ るのは、そこまで追いつめられる前に、もっと多様な山下 しかし、フリースクールなどから主張されてい 私は、それも不登校を対象としたた

> ている。 様な教育制度の必要性と、休むことの必要性は、文脈 がちがうけれども、 めに議論がおかしくなったのだと思っていますが、 そこで議論がねじれているように思います。 現象としては「不登校」に重なっ

> > - 726 -

すべての子にとって休む権利が保障されたうえで、 ら、オルタナティブ教育の本質がゆがみ、教育再生実 て学校教育法の枠組みのなかで法制化しようとするか 力から逃れるための居場所を「フリースクール」と言っ びを選ぶ自由が保障されるべきだと言うならわかりま 行会議などに政治的に利用されていくのだと思います。 して必要だと思います。 私も、オルタナティブ教育は選択肢のひとつと しかし、不登校の子が登校圧

る。 は、 岸 んでいたとしても、休むことは必要ですよね。あるい フリースクールと不登校は、重なる部分もあるけ フリースクールがイヤになっちゃうことだってあ 仮にフリースクールやオルタナティ 重ならない部分も大きいですね。 ブ教育で学

保障するために、公教育そのものが問われています。 そういう子どもたちに、ひとしく教育を受ける機会を とも言えない。経済構造の問題で、社会の問題です。 れは子どもの責任ではないのはもちろん、親の責任だ 得ない家庭状況を生きる子どもの現実もあります。そ 校の子どもがいますが、一方には、貧困にならざるを りますね。相談の現場では、すべての経済階層に不登 内田 そうですね。それと、すべての子どもにとって 貧困家庭の子どもたちは「学校に来ている」と保健 「学ぶ権利の保障」を考えるとき、貧困の問題があ

わえて、 舵を切っていく安倍内閣の教育再生実行会議に加担し クールなどへの公的支出はないですから、お金のある ではないと思います。しかも、あの法律ではフリース 間参入を認め、フリースクールに財政支援をという話 校特例校や不登校の子のための教育施設をつくり、民 状を変えることが最優先課題で、それに先んじて不登 は、すべての子どもにとってやさしい学校になります。 思います。貧困や障害のある子にとってやさしい学校 ている危険性もあ 人が私教育を買えばいいということになっていく。く を再生していくことが最優先に取り組むべき課題だと 々に不登校する子どもが生まれる疲弊した学校の現 教育の民営化の問題もありますね。そちらに

### 家庭の学校化

だと思います。直訳すれば家庭教育になるわけですね。 中 えでしょう。ここも、よく考えないといけないところ 子どもが学校に行かなくなったとき、 ムエデュケーションについては、どうお考 家が居場所や逃

学校化」だと書かれていました。
学校化」だと書かれていました。
学校化」だと書かれていました。
学校化」だと書かれていました。
学校化」だと書かれていました。
学校化」だと書かれていました。

内田 「学校」と聞いただけで耳をふさぐ不登校の子内田 「学校」と聞いただけで耳をふさぐ不登校の子内田 「学校」と聞いただけで耳をふさぐ不登校の子で、不安に陥っている家庭が学校化してしまうように思います。で、不安に陥っている家庭が学校化することを危惧します。学校で傷ついて人間不信になったり、集団が怖ます。学校で傷ついて人間不信になったり、集団が怖くなった子には、学校的なものや教育的なものから離くなった子には、学校的なものや教育的なものから離くなった子には、学校的なものや教育的なものから離くなった子には、学校的なものや教育的なものから離くなった子には、学校的なものや教育的なものから離

せん。子どもが求めているのはエデュケーションではありま要です。そのとき、家は居場所であることが第一義で、のて、何より安全な居場所で休養し回復することが必れて、何より安全な居場所で休養し回復することが必

子どもを信頼し、尊重できれば、子どもは、いつでもどこでも何からでも学び育つ。そういう子どもたちの力を信頼することが大事です。でも、その以前に、の力を信頼することが大事です。でも、その以前に、の力を信頼することが大事です。でも、その以前に、傷ついているときにはシェルターが必要です。野生動物は、傷ついたときには回復するまで巣穴ですごして、回復すれば出ていく。そういう意味で、居場所はて、回復すれば出ていく。そういう意味で、居場所はで、回復すれば出ていく。そういう意味で、居場所はない・安全を保障される場でなければいけません。そこで傷を回復しエネルギーをチャージできる場、学校に行かないことを否定されず、自分を否定されることなく、人間として生きられる場が家庭です。もちろん、不登校に対する地域や社会の誤解や偏見をなくしていく取り組みも急がれます。

生の人数は4200人でした。しかし、同じ年の不登2015)では、フリースクールに通っている小中学段階の子供が通う民間の団体・施設に関する調査/文科省の調査(小・中学校に通っていない義務教育

をともに闘ってきた長い歴史を持つ各地の親の会など 3・5%で、ごく一部です。それ以外の家にいる子を からも、たくさんの反対意見があり、法案反対署名は ル法案から不登校対策法に変わっていて、不登校運動 の必要とはくいちがってますし、かえって追いつめて ための法律は、多くの家庭にいる不登校の子どもたち そういう場所がひとつもない地域のほうが多い。フ 校児童生徒数は12万6000人ですから、不登校して あります。私も、この法律にはずっと反対してきました。 なかで、 1万1449筆も集まりました。法案をめぐる議論の しまう危険性もある。成立した法律は、フリースクー リースクールへの経済的支援や教育の機会を保障する いる子どものうち、フリースクールに通っているのは -ムエデュケーションとくくるのは無理がありま また、フリースクールは都市部に偏ってますし、 全国ネットワークを離れた親の会がいくつも

# ボイコットでありプロテスト

山下 仮に多様な教育制度ができたとしても、それ

は

も休みますね。選ぶこととはちがう問題だと思いますが、ところですよね。現実問題として、フリースクールいところですよね。現実問題として、フリースクールいたとしても、通うにはお金がかかる。そのお金を出すのは親で、親の意向に反して子どもが選択することすのは親で、親の意向に反して子どもが選択することはできない。しかし、休むというのは、親がどう言おうと身体がノーサインを示して、親の意志に反してでも休みますね。選ぶこととはちがう問題だと思いますも休みますね。選ぶこととはちがう問題だと思いますも休みますね。選ぶこととはちがう問題だと思いますも休みますね。選ぶこととはちがう問題だと思いますも休みますね。

内田 子どもが登校を拒否し、不登校をするのは、い内田 子どもが登校を拒否し、不登校を動きかけでめた、それを大人が発達障害や病気の問題にしてしいると、それを大人が発達障害や病気の問題にしてしいると、それを大人が発達障害や病気の問題にしてしいると、それを大人が発達障害や病気の問題にしてしいると、それを大人が発達障害や病気の問題にしてしいると、それを大人が発達障害や病気の問題にしてしいると、それを大人が発達障害や病気の問題にしてしていると、

いう視線がありますね。下村博文衆議院議員は、文科山下 一方には、才能のある子どもをすくいとろうと

大臣当時、「不登校の子どものなかにはアインシュタインやエジソンのような逸材が眠っているかもしれず、インやエジソンのような逸材が眠っているかもしれず、出していく」と言って、フリースクール支援を打ち出したわけです。有用な人と無用な人を分けるまなざししたわけです。有用な人と無用な人を分けるまなざしいけないところだと思います。

内田 国家にとって有用な人材を発掘するという発想 内田 国家にとって有用な人材を発掘するという発想 内田 国家にとって有用な人材を発掘するという発想 大学もをひとりの人間としてではなく、人材とし は、子どもをひとりの人間としてではなく、人材とし な幸せなど眼中にない利用主義的な発想で、ことを進 な幸せなど眼中にない利用主義のな発想で、ことを進

くられた法律は、子どもの最善の利益のためではな者、教職員など、現場の声を充分に聴くことなく、つだと言っていますが、不登校をした子どもたちや保護派はそこを見ずに、いい法律だ、不充分でも一歩前進派はそこを見ずに、いい法律だ、不充分でも一歩前進派はそこを見ずに、いい法律だ、不充分でも一歩前進派はそことを表する。

す。
く、フリースクールへの支援に傾斜していると思いま

山下 この法律をめぐっていくとよいのですが……。 要のように思っています。そのためには対立したとこ 要のように思っています。そのためには対立したとこ をタブー視するのではなく、論点をきちんと出して といく必要があるように思います。このインタビューも、

# 子ども扱いせずに聴く

**山下** 内田さんは、子どもの声を聴いてこられた。 で、休むことの重要性を訴えてこられたわけですが、 で、休むことの重要性を訴えてこられたわけですが、 の声を聴いてこられたことも大きいのかなと思います。 言葉で語られることではなく、言葉以前の身体の反応 に耳を傾けてこられた。あるいは、登園しぶりなど学 に耳を傾けてこられた。あるいは、登園しぶりなど学 に耳を傾けてこられた。あるいは、登園しぶりなど学

内田 不登校になるはるか以前に、多くの子は「学校内田 不登校になるはるか以前に、多くの子は「学校内田 不登校になるはるか以前に、多くの子は「学校内田 不登校になるはるか以前に、多くの子は「学校内田 不登校になるはるか以前に、多くの子は「学校内田 不登校になるはるか以前に、多くの子は「学校内田 不登校になる。まずは、そういう事実をしっかりないでいたりする。まずは、そういう事実をしっかり聴くことのできる関係を築くことですね。

となんだと思います。ところが学校ではとことん子どとなんだと思います。ところが学校ではとことん子どものが見いてました。小4で行かなくなってから、立派に育った人間の姿が立ちあらわれました」と言ってました。なく、ひとりの人間として尊重し、話を聴くというこなく、ひとりの人間として尊重し、話を聴くというこなく、ひとりの人間として尊重し、話を聴くというこなく、ひとりの人間として尊重し、話を聴くというこなく、ひとりの人間として尊重し、話を聴くということを必ずではとことん子どとなんだと思います。ところが学校ではとことん子どとなんだと思います。ところが学校ではとことん子どとなんだと思います。ところが学校ではとことん子ど

も扱いして、子どもの言い分(主張)をとりあげません。

山下 どうせ子どもの言うことだからと思っていると、山下 どうせ子どもの言うことだからと思っていると、

内田 子どもだから言葉で表現できないからプレイセ内田 子どもだから言葉で表現できないからプレイセっかり話すんです。「学校のことをちゃんと聴いにしっかり話すんです。「学校のことをちゃんと聴いたが、それだけ、ちゃんと聴いてもらえる機会が少ないんだと思います。

# 学校に行かなくても大丈夫とは

子ども・若者を取り巻く社会状況は厳しさを増してまを持てる。それはその通りだと思うのですが、一方で、んと休むことができれば、自分で立ち上がっていく力山下、ちゃんと聴けば、ちゃんと語ってくれて、きち

す。 大丈夫と言えるのか、問い直されているように思いま が行ってまいが、大丈夫とは言いがたい社会状況があ はまちがってないとしても、いまは学校に行ってよう すね。「学校に行かなくても大丈夫」ということ自体

内田 何をもって大丈夫なのか、ですよね。小・中学生の子どもが連続的であれ断続的であれ年間30日欠席生の子どもが連続的であれ断続的であれ年間30日欠席化する以前の社会は、子どもたちはもっと休んでいたけれど、問題視されなかったから大丈夫だったのです。

及校拒否したり、ひきこもって家にいる子どもたちは、よく「親や大人は将来が心配と言うけど、将来なは、よく「親や大人は将来が心配と言うけど、将来なま生きることがたいへんなんだ」と。だから、「いまま生きることがたいへんなんだ」と。だから、「いまま生きることがたいへんなんだ」と。だから、「いまま生きることがたいへんなんだ」と。だから、「いまま生きることがでいる。大人は、むしろ自分たち

とも保障できないわけですからね。分自身が安心してやっていけなかったら、子どものこの将来を心配したほうがいい。この不確かな時代、自

山下 逆説的に言えば、いまの社会が大丈夫じゃなく山下 逆説的に言えば、いまの社会が大丈夫じゃなくなってきているからこそ、見えてくるものがあったり、考えなってきているからこそ、もう1回、親も子も「被告席」

内田 「親が死んだら子どもは身動きがとれない。 人もいますが、私は「大丈夫です」と言ってます。何 人も親と死別した当事者の人がいますが、親の心配を 安心させたり期待に応える必要がなくなって、自分 の「いま」を生きられるようになっています。むしろ、 子どもの「いま」が否定されることのほうが心配です。 心配するということは、いまのあなたではダメという 心配するということは、いまのあなたではダメという に取り囲まれているから子どもはどうするんだ」と言う

う意味では、親自身の生き方も問われていると思いまう意味では、親自身の生き方も問われていると思いまま」を生きられていないからなんでしょうね。そうい子どもの「いま」を否定するのは、親自身が「いそこに気づいてほしいと思います。

# 発達障害という「色メガネ」

山下 発達障害については、どうお考えでしょうか。 山下 発達障害については、どうお考えでしょうか。

内田 私は保健所でも乳幼児の子育て相談を5、存出をうたってきてますが、2004年に発達障害者支援法がやってきたあたりから、乳幼児健診の現場にも発達障害のできたあたりから、乳幼児健診の現場にも発達障害のなって、あの子もこの子も発達障害だと言い出す。一なって、あの子もこの子も発達障害だと言い出す。一なって、あの子もこの子も発達障害だと言い出す。一なって、あの子もこの子も発達障害だと言い出す。一次の代からは、子どもをラ

子は大丈夫かしらって、すごく不安になってますよね。とは大丈夫かしらって、すごく不安になってますよね。 ことです。多くの親御さんが、わが子の成長を疑いのとしたみを読み替えられてしまう。そこで何が起こったかというと、親がわが子の成長を喜べなくなった、ということです。多くの親御さんが、わが子の成長を疑いの目で見るようになった。よその子と比較して、うちの目で見るようになった。よその子と比較して、うちの目で見るようになった。よその子と比較して、うちの目で見るようになった。よその子と比較して、うちの目で見るようになった。よその子と比較して、うちの目で見るようになった。よその子と比較して、うちの目で見るようになった。よその子と比較して、うちの問人が表していたんで、カードを表していたが、カードの表になっていたんで、カードの表になっていたんで、カードの表になっていたんで、カードの表になってますよね。

まっているわけですね。
山下 親も、その「色メガネ」で見るようになってし

がいいとADHD、おとなしくマイペースで遊んでいの子はADHDじゃないか」、逆に、ひとりでおもちゃたとえば、児童館でおもちゃをとった子がいれば、「あ内田 ネットの普及もあって、情報も多いですしね。

たと思います。見てしまう。「正常」の感覚が、ものすごく狭くなっ見てしまう。「正常」の感覚が、ものすごく狭くなっ成長過程であたりまえに起きることを、そういう目でると自閉症スペクトラム。どっちにしても、子どもの

言っているのです。ています。管理的小学校に適応できる子をつくれとほかの子に迷惑をかける」からと、早期に療育を勧め専門家が親に「小学校に入って集団行動がとれない、

屮 ことのようにも思います。それがないままに水路づけ して振り分けることが仕事のように思っている。しか ます。とにかく要領よく手際よく、短時間で情報収集 なから分類しようとしているように感じることもあり が言われてますね。 られてしまうのは、 いや身体反応なども含めて、それを受けとめるという ると、アセスメント 子どもの声を聴くというのは、言葉にできない思 不登校でも発達障害でも、 いわゆる専門職の人と話をしてい 子どもにとって苦しいように思い (見立て) を重視するあまり、 早期発見・早期対 は 応

> もの人生の可能性を狭めている場合があります。 子どもに診断テストをして親を不安にし、数字で子ど専門職の存在証明みたいになっていて、3歳くらいの専門職の存在証明みたいになっていて、3歳くらいの

席」から外れることができたという面もありますね。自分の育て方やしつけの問題から解放された、「被告方で、発達障害が脳機能障害だとされたことで、親が山下 安易に分類することは問題だと思いますが、一

**内田** 親だけでなく、先生も親も悪くない。 は学級崩壊が問題になって、け校も先生も問わけるが、 対し、発達障害がクローズアップされるようになって、先生がみずからの学級運は学級崩壊が問題になって、 先生がみずからの学級運

果たす場合が多くなってますね。担任が保護者に言うセラーやスクールソーシャルワーカーが、その役割をもしれないと精神科医に紹介される。スクールカウン先生の指示に従わず反抗する子どもは、ADHDか

ているわけです。

と関係がこじれるから、スクールカウンセラーが言う。と関係がこじれるから、スクールカウンセラーが言う。と関係がこじれるから、スクールカウンセラーが言う。と関係がこじれるから、スクールカウンセラーが言う。

**山下** そうすると、薬が入ってくることとつながって

ます。大人の精神科の薬を治験をしないで子どもに処 略もあると思います。薬には習慣性、依存性がありま 方しているという問題もあります。SSRIなど抗う が多くいますが、 つ剤の濫用もありますし、そこには製薬会社の経営戦 ムの子どもには統合失調系の薬が使われていたりもし 中枢神経を刺激する薬で、 ンサータやストラテラが処方されてますが、 が広汎に子どもに使われている。自閉症スペクトラ 医者が処方するから大丈夫と信じて疑わない 薬の濫用は大きな問題ですね。ADH 飲むのは子ども、薬害を引き受ける いわば「覚醒剤」です。そ いずれも D で は 親 コ

のも子どもです。むやみに信頼していると危ないです。

問題ですね。 山下 そういう意味では「専門家」の責任は重いです

がからんで出てくるのではないかと危惧しています。さまざまな社会的な事件の背景に、そのあたりの問題と疑問を持ちません。これから子どもたちが起こす、と疑問を持ちません。これから子どもた寒が起こす、内田 おそろしいほど、簡単に子どもに薬が使われて

**山下** 薬は、離脱症状の問題もありますから、医者の 山下 薬は、離脱症状の問題もありますから、医者の といけないのでしょうけど、そういうお医者さんは少 といけないのでしょうけど、そういうお医者さんは少 といけないのでしょうけど、そういうお医者さんは少 といけないのでしょうけど、そういうお医者さんは少

内田 学校信仰のあるところに専門家信仰、医療信仰

**#31 内田良子さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

ちゃ 屮 信仰から目覚め、 で考えないといけないですね。 時間を奪ってきた学校教育の弊害は大きいですね。 では、知識を暗記させ、 信用し、考えることを放棄してしまう。そういう意味 の延長線上に、多くの問題が残っています。専門的言 るか。親が登校拒否をする子どもと悪戦苦闘して学校 がありますね。 科学や医学の言葉で説明されると、 いけ ·ない一とおっしゃっていたように、自分の頭!田さんのお母さんが「先生の言うことは信じ 市民がその「信仰」から、どう目覚め 学校と教育を疑うようになった道筋 テストで評価して考える力と 今日は長時間、 疑うことなく ありが

とうございました。

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#31 内田良子さん

インタビュー日時:2017年9月13日

記事公開日:2018年1月25日 場 所:モモの部屋(東京都杉並区)

聞き手:山下耕平 写真提供:内田良子さん 記事編集:山下耕平

- 737 - - - 736 -

の先生になったんですが、

その先生に娘は気に入られ

### に行きしぶり、 出 どれたんですね。 んでした。でも、

たりはどうだったんでしょう。 それとも何か悩みながら通っていたのか、 それまで、とくに変わったことはなかったです。

小学校5年生までは何ごともなく通えていたの そのあ

5年生のときに担任の先生が産休に入って、 臨時採用

61

じめからの不登校

思われていたようです。本人も非常に困っていました。

たようで、

そのためにクラス全員から、

いやな感じに

の不登校は 今日はよろしくお願いします。 いつからですか? 山口さんのお子

ラスの子の関係が悪くて、

そのクラスは学級崩壊状態

それがもとでっ

は「早く帰りたいのに」と言っていました。先生とク よく放課後に「お手伝いしてくれ」と頼まれて、

なったことがありました。中学校はほとんど行きませ クラスの雰囲気が変わったこともあり、 最初は1995年で、 6年生のときに1カ月だけ行けなく 小学校のときは先生と話し合いをし 娘が小学校5年生のとき 学校にも 奥地

カ月間はベテランの先生をつけてくださったんです。 その臨時採用の先生は12月までだったので、 出 そうしたらクラスのようすが変わって、 そう、 子どもたちの先生に対する抗議ですかね

その後2

やり方が上手だったってこと。

奥地

出 どもが大好きな先生で、 任の先生がもどってこられたんですね。その先生は子 そうそう。 その後、 子どもたちがイキイキと変 3月に産休をとっていた担

### #32 山口由美子さん



(やまぐち・ゆみこ)

1949 年佐賀県生まれ。3 人の子どもの母親。2000 年 5 月、西鉄バスジャッ ク事件に遭遇し、全身 10 ヵ所以上も斬りつけられ、重傷を負わされた。事件 で亡くなられた塚本達子さんとは、塚本さんの主宰していた幼児室を通しての 知り合いであり、事件当日は、塚本さんといっしょにコンサートに行く途中だっ た。山口さんは、事件後、佐賀市内で親の会「ほっとケーキ」や子どもの居場 所「ハッピービバーク」の活動を始め、現在も続けている。2015年3月、九 州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学修士課程修了。

インタビュー日時: 2016年10月29日 聞き手:奥地圭子、山口幸子、木村砂織

場 所:飲食店(福岡市) 写真撮影:木村砂織

けていたんです。6年生も持ち上がる予定だったわっていったんです。6年生も持ち上がる予定だったわっていったんです。6年生の担任は降いて、新しい担任を迎えたんですが、またクラスがぞれで、新しい担任を迎えたんですが、またクラスがぞれで、新しい担任を迎えたんですが、またクラスがで「おめでとうございます」って言うしかなくて……。たとき、クラスの役員の方に相談していたこともあり、たとき、クラスの役員の方に相談していたこともあり、たとさ、クラスの役員の方に相談していたこともあり、たとさ、クラスの役員の方に相談していたんですだいたんです。

奥地 何とかしようと思って?

娘が「行きたくない」って言うので、「もう行かんでいることは知っていました。そうこうしているうちに、いることは知っていました。そうこうしているうちに、いることは知っていました。そうこうしているうちに、

きました。ともつながっていたので、安心して休ませることがでいいよ」と言いました。私は、ほかの親たちとも先生

休み始めてからは、昼夜逆転あり何でもありで、行きたいところには、私の時間の許すかぎり自由に連れて行ってました。担任の先生もときどき来てくださったんですが、娘に「先生が来られたけど、どうする?」と聞いて、「今日は会いたくない」と言うときは、おと聞いて、「今日は会いたくない」と言うときは、おいいよ」と本人が言ってからは、先生と会うようになっいいよ」と本人が言ってからは、先生と会うようになっいれて学校に行き始めました。そのとき、「私は、いじめられてて、心が針みたいに細くなっていた。でも、もう太ったから大丈夫」と言って登校し、「学校って、じめられてて、心が針みたいに細くなっていた。でも、もう太ったから大丈夫」と言って登校し、「学校って、もう太ったから大丈夫」と言って登校し、「学校って、前とちがって、学校やクラスの雰囲気が変わっていたんですね。

奥地 それは何月ぐらいのことですか?

山口 2学期の9月ごろだったと思います。

**奥地** なるほど。中学校は、そこの小学校の子が行く

山口 そうです。ふたつの小学校の生徒が混ざるところです。中学校は最初から、「行きたくないな~」った言ってました。「制服いやだな~。校則もいっぱい級委員になって帰ってきたんです。入学式の日に委員を決めるんですが、生徒がみんな下を向いて黙っているので、娘は「早く帰りたいから、もう決めてきたよ」って言っていました。

奥地 ある種、合理的ですね(笑)

うです。それぐらい、たいへんだったというのは、あのようすを見て不登校になった男の子がふたりいたよね。それでまた、そんな子からいじめが始まって、そ山口 でも、ほかに、やりたい子がいたようなんです

とで知ったんですが。

## 「いいよ」と言えても小学校のときは

たのですね。 奥地 いじめられている期間、お子さんは登校してい

山□ 娘は、学校に行きながら「行きたくない」と言っ でいました。私は、小学校のときは「いいよ」って言 えたんですが、中学校ではそう言えませんでした。高 を受験もあるし、中学になってまで甘えなくても、み たいな親としての気持ちがあって、受けいれられな たいな親としての気持ちがあって、受けいれられな たいな親としての気持ちがあって、受けいれられる

ちょっと平気じゃないよね。 奥地 学級委員の子が不登校っていうのは、やっぱり

心の中では「いつになったら、ちゃんと行くの」って山口 行かないのをそのまんまにはしていたんですが、

奥地

どう

いういじめだったか話してくれましたか。

場所になっていなかったと思います。いう気持ちでいましたから、中学のときは、家庭が居

奥地 先生はどうされたんですか?

かったですね。 と言われたりして、自分でいたんじゃないんですか」と言われたりして、自分でいたんじゃないんですか」と言われたりして、自分でいたんじゃないんですか」と言われたりして、自分で

奥地 1994年11月に愛知県西尾市で、大河内清輝 タルがいじめを苦に自殺する事件が起きて、大きく報 道されてましたね。その際、大河内くんのお母さんが 道されてましたね。その際、大河内くんのお母さんが はよかった」と記者会見で話されていたのですが、そ がう話は覚えてますか?

たのかもしれません。自分の目の前のことで、いっぱられない状況でしたし、見ていても頭に入ってなかっられない状況でしたし、見ていても頭に入ってなかっ

いいっぱいでした。

ていなかったのですね。ばらく経っているわけですが、先生はぜんぜんわかっの児童生徒にも起こりうる」という通知を出して、し奥地 1992年に文部省(当時)が「登校拒否はど

**山口** そういう話は、先生たちには入ってなかったで

今つて過ごしていたんですか?
お子さんは相当つらかったでしょうね。お子さんはどお子さんは相当つらかったでしょうね。お子さんはどお子さんは相当つらかったでしょうね。親にも、ほんとうに とがいということがありますね。親にも、ほんとうに とがいいことを決めても、現場にはなかなか届

知り合いのカウンセラーだったので、相談に出かけまのころ、学校から相談に来ませんかという案内が届き、もって絵を描いたり、何かやってたと思いますが。そ

ここに見学に行こうってことになりました。のときに取り寄せていた、自由の森学園の資料を見て、ないよね」と言ってくださったんです。そこで小学校した。その先生は「山口さん、学校ってここだけじゃ

出

教室を歩いていたら、机のあいだから足を出し

奥地 お子さんもそういう気持ちはあったの?

た?」って聞いたら、「あの学校はおもしろそうだっ 時代を子どもたちは生きていくんだ」と言われて、非 お話を聞いて、「私たちの生きてきた時代と、ちがう 出 たけど、私はまだ家族といっしょに暮らしたい」と。 常に心に残りました。 しょに行きたいと言ったので、 そうに計画していたので、下の小学生の息子もいっ てないと、いつでも旅行に行けるねと言いつつ、楽し しっかりしているんですよ、うちの子 いきました。それで、 おそらく、そうだったと思います。学校に行っ 帰り際に子どもに「どう思っ 自由の森学園の副校長先生の 学校を休ませてつれて , (笑)。

か、ほかにもいろいろあったんだと思います。てひっかけられたりとか、消しゴムが飛んできたりと

奥地 毎日毎日、それだと気が休まらないですよね。

山口 そうだったと思います。私自身も子どもがつら山口 そうだったと思います。私自身も子どもがつらいんですよね。そい思いをしているのを見るのがつらいんですよね。そがいらっしゃって、娘も喜んで通いました。ちょっとがいらっしゃって、娘も喜んで通いました。ちょっとがいらっしゃって、娘も喜んで通いました。ちょっとがいらっしゃって、娘も喜んで通いました。ちょっとがいらっしゃって、娘も喜んで通いました。ちょっとがいらっしゃって、娘も喜んで通いました。ちょっとがいらっしゃって、娘も喜んで通いました。ちょっとがいらっしゃって、娘も喜んで通いましたね。

- 743 -

そういう声がかかったんですか?奥地(そのためにつくられているからね。やっぱり、

山口 そうですね。それで娘は学校へも行ってまし 山口 そうですね。それで娘は学校へも行ってました。そうしたら、ほかの子たちが、教室にたまに来るた」とか「おまえなんか帰れ」とかいう子どもたちも何人かいたようです。学校に来づらい生徒のための教室も用意されていましたが、その窓をどんどんと叩い で、いやがらせをされたこともあったようです。担任 の先生も、ときどき来てくださったようですけど、う の先生も、ときどき来てくださったようですけど、う ちの娘は来てほしくなくて逃げまわっていたようです。

か? 奥地 どのあたりで気持ちが変わってきたのでしょう

とき、ああ、娘には居場所があったんだ。だからなんにも居場所があればよかったね」という言葉を聞いたク事件に遭って、精神科のお医者さんから、「あの子山口 どうだったんでしょうね……。西鉄バスジャッ山口 どうだったんでしょうね……。西鉄バスジャッ

ことに初めて気づいたんです。年は居場所がなかったから、生きづらかったんだってとか、折り合いつけながら生きてこれたんだ。あの少

奥地 中学卒業のとき、進路はどうされたんですか?

山口 中学のとき、「私は勉強は大きらい、学校もきいだから就職する」と言っていました。ただ親としらいだから就職する」と言っていました。ただ親としきれなくて、夫が娘といっしょに、いろんな高校を見きれなくて、夫が娘といっしょに、いろんな高校を見きれなくて、夫が娘といっしょに、いろんな高校を見きれなくて、夫が娘といっしょに、いろんな高校を見きれなくて、夫が娘といっとっては、せめて高校は出てほしいという思いがまだ捨ててまわってくれました。そうした。 横勉強を力とまとめにした公立の高校があったんです。 一、図書館は充実しているというので、「ここだった こを見に行ったら、茶髪の子はいるし、制服はない し、図書館は充実しているというので、「ここだった ら行けるかもしれない」と言って、そこからやっと受 験勉強を始めました。

らって、遊ぶ感じで勉強してましたね。をやったり、英語だけ家庭教師の先生に家に来てもるのはイヤだったようで、塾はやめて、自分で過去問塾にもちょこっと行きましたけど、みんなと合わせ

奥地 その高校は合格したんですか?

**山口** いや、自己推薦と普通試験の両方あって、どっ

らですかね。 奥地 そのころは、不登校だと、かなり不利だったか

出 を見てきた子たちとはいたくないと言ってました。そ と言ってましたが、佐賀市内の高校には行きたくな を説明したんですが、やっぱりダメでした(でも、 高校の1次試験を受けてない子は、2次試験を受けら でしょうね。娘は「佐賀の定時制でもいいから受ける」 の年からはOKになりましたので、 れで、鳥栖市の高校を受けようとしたんですが、県立 かったんですね。 だったのに、 :なかったんです。県の教育委員会まで行って、事情 それもあると思いますけど、 佐賀県から受けていたからダメだったん いじめられてた、みじめな自分の姿 行った意味はあっ 福岡県立の高校

たなと思います)。

たら、なんとか合格できたんです。ので、夫のもとにいっしょに住むことにして。そうし定時制高校を受験したんです。夫が福岡で働いていた定時和高校を受験したんです。夫が福岡で働いていた

奥地 1年遅れで入ったということですか?

山口 いや、遅れずにギリギリで合格できたんです。そのときの娘の喜びようと言ったらなかったですね。ただ、私たちには、ほんとうに失礼なことなんですが、差別意識というか、「定時制ねえ」っていう気持ちがありました。いとこが定時制高校へ行って、県の上級ありました。いとこが定時制高校へ行って、県の上級です。でも、自分の子どものこととなると、ちがっていて……。人間って怖いですね。でも、娘がそうやっていて……。人間って怖いですね。でも、娘がそうやってがってくれて、学ぶ気持ちと学ぶ場さえあればいいて喜んでくれて、学ぶ気持ちと学ぶ場さえあればいいて喜んでくれて、学ぶ気持ちと学ぶ場さえあればいいんだって、思いをあらためることができました。娘の不登校から、こちらが学ぶことが、ほんとうにたくさんあったんですよね。

奥地 そのころの山口さんのお仕事は?

した。 
山口 ずっと、洋裁を教えたり、仕立てたりしていま

娘さんが高校生になられたころだったわけですか。事件が起きたのは2000年でしたよね。ちょうど、子さんを送り出していたんですね。西鉄バスジャック奥地 そうですか。そうすると、家で仕事しながらお

山口 高校2年生のときですね。

# 塚本達子さんとの出会い

だったんでしょう。られた塚本達子先生との出会いは、どういういきさつられた塚本達子先生との出会いは、どういういきさつ奥地 いっしょにバスに同乗していて、事件で亡くな

山口 長男が4歳、娘が2歳のときで、その下に産ま

母親なもので、親との関係もたいへんで……。たんです。でも、うちの母はとても頑固でわがままないへんだったんですね。それで、自分の両親と同居しれたばかりの子もいて、私も3人の子どもを抱えてた

仕事もあって、てんやわんやですね。 奥地 親との同居があり、3人のちっちゃい子がいて、

達子さんの新聞記事を頼りに、会いに行ったんです。思って見ていたら、ぐずぐずして、ちっともはっきり思って見ていたら、ぐずぐずして、ちっともはっきりいたんですけどね。4歳の子がそろそろ幼稚園だなといたんですけどね。4歳の子がそろそろ幼稚園だなといたんですけどね。4歳の子がそろそろ幼稚園だなといたんですけどね。4歳の子がそろそろ幼稚園だなと

いていた。 代表は数学者の遠山啓さん(1909―1979)。奥地圭子もよく書代表は数学者の遠山啓さん(1909―1979)。奥地圭子もよく書

すが、『ひと』という雑誌の購読者で、「いまの学校教

塚本さんは、28年間、小学校の先生をされてたんで

育はまちがっている。

子どもの個性をまったく無視し

らっしゃいました。 ちっしゃいました。 でいるし、学校をやめるしかない。そして子どもが学ているし、学校をやめるしかないと、親も学校の成績した。 でいるし、学校をやめるしかない。そして子どもが学ているし、学校をやめるしかない。そして子どもが学

奥地 佐賀で開かれたってこと?

と思 出 ました。 よ」って言われたんです。 くるんだから、大人、親は援助するだけでいいんです 先生からは「子どもは自分で育つ力を持って生まれて 育てなければいけないと思ってがんばっていて、 くて、不消化で、「何これ?」と思いながら通 いう期待から塚本先生に会いに行ったんですが、 って切り抜いてたんです。私は子どもをちゃんと は い。その記事を読んで、 私は最初、それがわからな おもしろい人がいる って 塚本 そう Vi

奥地 でも、その後もずっとおつきあいがあったんで

におられたんですか。すよね。バスジャックの事件の日は、なぜ、いっし、

もたちの状況はひどくなるばかりで、 どんたくの初日なので、道路が混んで遅れるとイヤだ 行こうとおっしゃっていたんですけど、 チで手足が少し不自由だったんですね。当初はJRで 初めていっしょに出かけたんです。塚本さんはリウマ 声をかけて、会いに行ってたんです。もうお友だちの 話を聞きたくて、ときどき「先生、空いてる?」って 11 にも思えますよね。先生は、常々、 した。偶然なんですが、念入りに決められてたみたい から予定よりひとつ前のバスにしようと連絡がありま スにしよう」 ルのコンサートがあるから行かない?」と誘われて、 ようになっていて、その日は、塚本さんから「大阪フィ 入る時点で行かなくなるんですが、 山口幼児教室ですから、 したんです。 て何をどうしたらいいんだろうって、 しかも、約束の日、5月3日の夜は博多 って塚本さんから言われて、バスに変更 ふつうは子どもが小学校に いまの学校や子ど 私が塚本さんのお こんな片田舎に 嘆いていらし ある日、「バ

を知らしめたいっていう思いがあったのかなって……。たんですよ。だから、あの事件で、子どもたちの状況

# 西鉄バスジャック事件

について、あらためてお話しいただけますでしょうか。ない人もいるかもしれませんので、バスジャック事件奥地 事件から時間が経ち、あまり事件のことを知ら

が死亡した事件です。よって乗っ取られて、4人が重軽傷を負って、ひとりよって乗っ取られて、4人が重軽傷を負って、ひとりンターを出て福岡天神まで行くバスが、17歳の少年に山口 2000年5月3日11時59分発、佐賀駅バスセ

経緯をお願いします。 奥地 どうして乗客が死傷するにいたったのか、その

路に入ったところで、一番前に座ってた少年が突然立のいい天気で、塚本さんとバスに乗り込んで、高速道山口 まず、バスの中の状況を話しますと、五月晴れ

ちゃんが待ってるからね」って言ってらっしゃったか 前に、ひとり旅の少女が乗ってたんですね。お父さん と思いながら、みなさん後ろに下がられたので、私も 乗っ取った。荷物を置いて後ろに行け」と言ったんで たんです。リウマチだったので、前のほうに座ってた と思って、 て声をかけたんですけど、 に下がるとき、その子に「後ろにいっしょに行こう」っ ら、ああ、 が佐賀駅バスセンターで、「天神についたら、おばあ 塚本さんといっしょに後ろに下がりました。私たちの ぜん、すごみがなかったものですから。 す。でも、 ち上がって、 に気づいたとき、少年が「お前は俺の言うことを聞い いて、私たちは後ろに下がりました。通路側が危ない ておけ」って言ったので、しかたなく、その子だけ置 んです。 だけど、 後ろに下がってない乗客がいたんです。 ですから、後ろに下がっても前のほうでした。 最初は私は本気にしなかったんです。 ひとり旅なんだなとわかってたので、後ろ 塚本さんを窓側にして、私が通路側に座っ ひとりだけ居眠りをして、 大きい包丁を振りかざして「この 少年が「この子は前にお 少年の言葉に気 なんでだろう ぜん

とたん、少年がその方の首を刺したんです。なと思いました。それで、その方が後ろに下がられた彼は、こうやって言うことを聞かされてきたんだろうてない」と言って逆上したんです。そのとき、いつも

「本気で人を殺したいと思って生きている子はいない」「本気で人を殺したいと思って生きている子はいない」は自分の本来の心ではなくて、追いつめられた状況なは自分の本来の心ではなくて、追いつめられた状況なんだな」って感じたんです。それで、「気」の勉強をんだな」って感じたんです。それで、「気」の勉強をしてたので、少年に気を送りました。少年に「本来の心に戻ってほしい」という気持ちを込めて。少年に一本来の心に戻ってほしい」という気持ちを込めて気づきましたが、ちを向いたらシートの陰に隠れたりしながら、どこか冷静だったんです。

たので、そのときはわからなかったんですけど。ないか」って声をかけてくださり、少年も「うん、そうだな。駐車場でない道路の路肩に止めろ」と言ってうだな。駐車場でない道路の路肩に止めろ」と言ってらだな。駐車場でない道路の路肩に止めろ」と言っているに停めてくださったようです。カーテンが閉められるに停めてくださったようです。

高速道路を走ってる車がバスの前に何台か停まり始め 高速道路を走ってる車がバスの前に何台か停まり始め を運転手さんに向けて「あいつは裏切った。バスを早 く出せ」とくり返し、バスが出発するのを確認すると、 私のところに来て、「あいつは裏切った。連帯責任です」 と言って、私が斬られました。

奥地 連帯責任で教育された経験があるのかもしれな

があるんだと思います。それで、私が斬られて……。 はく使いますよね。少年も、それで傷ついてきたこと任って言葉が大きらいなんですけど、中学の先生って 出口 おそらくそうだと思います。私も、この連帯責

### **かないと思って** 殺人者にするわけには

奥地 斬られたときは、気を失ったんですか?

ひとりの方が降りられて、

緊急電話をかけ

「何かほしいものがあるか」と聞いたそうです。そ

うに吸い寄せられていくと言いますが、まさしくそ くなって、よく臨死体験の人たちが気持ちよく光のほ 守っていたんだと思います。でも、ふうっと意識がな ぜかそんな思いが湧いてきて、逆にそれが自分の命を 私は、「彼を殺人者にするわけにいかない」って、 思います。塚本さんは倒れてて失血死だったんです。 頭を心臓より高い位置に支えながら、ずっと座り続け 支えて、左手は無意識にひじ掛けの上に置いて、手と 識に思ったんですね。だから傷の浅かった右手で体を ぱいになったんですけど、倒れちゃいけないって無意 ちて通路に座り込み、まわりは自分の流した血でい りに入っていくような感じでした。 んな感じで、「ああ、このまま死んでしまうんだなあ」 ていたんです。 で、あわてて顔を両手でおおったら、両手も斬られ  $\Box$ ほんとうに気持ちよくなるんですね。 意外と軽く、そう思ってもいました。 後頭部も斬られました。そのまま通路に転がり落 や、気は失ってませんでした。顔を斬られ あのとき、倒れていたら死んでいたと すうっと眠 死ぬ瞬間っ な 2

奥地 痛みは感じなかったんですか?

思っててもしょうがないですからね。 からいいかな、と。思いを変えないと、 でしょうかね。 みます。何時間も放置されてから縫い合わされたから むしろ、 真新しい包丁だったせい いまのほうが痛いです。 でもね、歳をとったら、 か、 痛くなかっ 傷は、ず いろ そればっかり いろある たん つと痛

奥地 塚本先生は、どういうことだったんでしょう。

ようでした。

げられたんですよ。それをきっかけに、2回刺された

山口 私が斬られたあとに、窓からふたり、乗客が逃

奥地 2回ですか……。

で知らなかったんですが……。塚本先生がイスに倒れ山口 そのときは、私はすでに意識が遠のいていたの

んですが、自分の体も動かなかったですしね。ているのにふっと気づいて「起きてほしい」と思った

識がなくなったり、ちょっと戻ったりしていました。刺されるかわからなかったですからね。そのまま、意のときはホッとしました。目の前にいたら、いつまたはほかの乗客に足下まで引き入れてもらいました。そたの後、私が通路に座り込んでいるのがジャマだっその後、私が通路に座り込んでいるのがジャマだっ

奥地 何時間くらい経って救出されたんでしょう。

山口 私がいつごろ斬られたのかは定かでないですが、 ・ で、彼も楽になったんでしょうね。少年は、その女性 で、彼も楽になったんでしょうね。少年は、その女性 が」と言って、立ってくれました。見張りがいてくれ なだちが が」と言って、立ってくれました。見張りがいてくれ で、彼も楽になったんでしょうね。少年は、その女性 で、彼も楽になったんでしょうね。少年は、その女性

れで、飲み物や食べ物、毛布や簡易トイレがほしいとれて、飲み物や食べ物、毛布や簡易トイレがほしいとうです。だから、少年は警察に電話して、入れてもらったそら、事件ものの本が好きで、いろいろ読んでたんだそら、事件ものの本が好きで、いろいろ読んでたんだそうです。だから、彼に寄り添えたということだったようです。だから、彼に寄り添えたということだったようです。

弾チョッキが渡されたんですが、「これは偽物だから て、要求を防弾チョッキに変えたんですね。それで防 とをていねいに説明されたみたいで、それはあきらめ 求したそうです。警察はピストルは渡せないというこ 少年は「ピストルに弾を1発いれて持ってこい」と要 いた女性が「ケガ人のおるけん、はよう防弾チョ ラしていたんだと思うんです。見張りに立ってくれて 本物を持ってこい」と言って、警察が本部まで取りに 人だけでも出してくれ」という警察の要望に対して、 その後、ようやく広島でバスが停められて、 ってきて かれ、かなりの時間待たされたので、 !」って叫んでくれたんですね。 少年もイライ そのとき 「ケガ ッキ

少年は「おい、あんたんごという人好いと(僕はあなたのように言う人が好きです)」と言っていたそうです。そういう会話もあって、やっと防弾チョッキが手渡されて、これで助け出されると思ったんですが、最後に少年が「こいつしぶといな、殺してやろうか」って私に言ったんですね。そのときも、見張りに立ってくれたので、小た女性が「もうよかやんね」って言ってくれたので、少年は気持ちをおさめてくれました。それで、少年の力に変から、ほかの乗客に抱えてもらいながら出してもらいました。

奥地 それで救急車で運ばれたんですか。

が入って救出されました。 客は、次のインターで、SATという警察の特殊部隊 客は、次のインターで、SATという警察の特殊部隊

ではないですか。年は、そんなことをするんだろうって思われてきたの年は、その後は入院しているわけですよね。なんで少

たですね。 ただけで、少年のこととかは、ぜんぜん考えてなかっ 山口 入院したころは、ただ自分の体がたいへんだっ

奥地 どのぐらいで退院されたんですか?

いと思って、1カ月で佐賀に帰ってきました。 も看護師さんもすごくよい方で、患者のための病院みたいな感じでした。リハビリも、よかったらここでしたいな感じでした。リハビリも、よかったらここでした。 病院の先生

奥地 でも、ほんとうに命が助かってよかったですね。

て言ってました。だから、被害者遺族の人が加害者のされて死んどったら、俺があいつを刺しに行った」ったばかりだったんですよね。「お母さんがあのとき刺たばかりだったんですよね。「お母さんがあのとき刺いし、子どもたちのためはどうでもいいんですけど、家族の山口 自分のためはどうでもいいんですけど、家族の山口

人を殺したいという気持ちも、わかるんですけどね。

### 少年の背景は

奥地 少年について私たちが知っているのは、報道を年は不登校の時期があっていじめられていた。そして高校に入って、またいじめられるんだけれども、不安高校に入って、またいじめられるんだけれども、不安から何か武器になるものを集めていたということでした。それがお母さんは不安で、いろいろ動いておられた。それがお母さんは不安で、いろいろ動いておられた。それがお母さんは不安で、いろいろ動いておられた。それがお母さんは不安で、いろいるのは、報道を奥地 少年について私たちが知っているのは、報道を

んです。 理やり飛ばされてケガもしてるんです。腰の圧迫骨折 出 時代にひどくいじめられてたみたいで、 いと思いません? けっこう 町沢さんは、事件後も、 そして少年の名前を言ってるんですよ。 たいへんだったみたいです。 びっくりしました。 唐津に来て講演してる 少年は、 踊り場から無 いじめられ 中学 ひど

高校には1週間ぐらいしか通ってないんですよ。て、心も体も傷ついていた。そういうこともあってか、

奥地 いじめられていても、親は子どもが学校に行け ない気持ちはあまりわからず、学校に行かせようとし ていたと報道されています。それで本人は家の中でも 暴れたということのようですね。お母さんとしては、 すごく悩んで、どうしていいかわからず、町沢さんに 電話した。そうしたら、町沢さんは本人に会いもして いないのに、「病院入れろ」とアドバイスして、少年 は国立肥前療養所に医療保護入院させられたそうで すね。

て……。病院側としても、入院にはものすごく抵抗がいるんです。「何かあったらどうしますか」って脅して 町沢さんは、警察も動かして、病院も動かして

の命令で強制的に入院させる措置入院がある。
\*2 医療保護入院:精神障害の人を対象とした入院の形態のひとつ。の命令で強制的に入院させる措置入院に対し、本人の同意がなくても家族本人の同意を得て行なう任意入院に対し、本人の同意がなくても家族本人の同意を得て行なう任意入院に対し、本人の同意がなくても家族

あったようなんですけどね

でしたね。それで、早く退院するために入院中は じゃすまねえからな」とお母さんに言ったということ 院させられるときに、少年が「おぼえていろよ、 やり方はおかしいなと思いました。報道によれば、入 い子ちゃん」をして、 病院側にも抵抗感があったんですね。 外泊許可が出た。 私もその ただ

出 なんです。それで、彼もいい子の仮面をかぶったよう も暴れてたら退院できないぞ」と指導していたみたい お医者さんはその気持ちをわかっていて、「いつまで でも、彼は両親が来るたびに暴れてたんです。 早く退院したいという要望を県に出してたんですね。 そのようすを見て外泊許可が出たようです。 それは病院側 の落ち度だと思います。 少年は、 それで、

奥地 可が出た日に、 方をしていたのかもしれませんね。それで、 脅すというか、ちょっと押さえつけるような言 事件を起こしたわけですよね。 外泊許 「ただ

> うに報道されていましたが、実際のところは山口さん じゃすまねえからな」と言っていた通り、復讐したよ のほうがご存じかと思います。

### 被害者意識 は な

こられた。そこがすごいなと思うんですが、 牲になったということでもあるかと思いますが、でも、 奥地 そこから、 りの気持ちをうかがえますでしょうか。 塚本さんや山口さんや被害者の方は、いわば犠 山口さんは親の会や居場所の活動を始めて そのあた

知れて、 出 に来てくださり、おたがいに見知ってるから、気心が たんです。その先生が、事件後、私のカウンセリング 会で、相談役みたいな感じで入ってくれていた方だっ その先生は、娘が不登校のときに適応指導教室の親の 本音を語ってくださいました。 事件後、精神科医にもお世話になった 「あの子にも居場所があればよかったね」と にんですが

だからね……。 たってことですね。 あの少年には居場所がなかったのかなと思われ でも、自分がやられてる相手の子

だろうねっていうことぐらいです。 出 う思いのほうが強い。だから、あの事件に対して、何 悪いけど、彼だけが悪いわけじゃ絶対にない。そうい 私たち大人が悪いんだって。そういうふうに追い込ん かグチを言うとしたら、親や学校や病院は何してたん だ私たちの社会が一因じゃないですか。やったことは 私は、 彼に対しては被害者意識がないんです。

と思いますが、無理やり入院させてしまって、子ども を起こしちゃったら、ものすごくつらい立場ではある を通して気がつかれたのかどうか……。 の気持ちが受けとめられなかったことについて、 ですね。もちろん、親も自分の子どもがそういうこと れたんでしょうか。 事件後は、 少年の親御さんはどういう動きをさ そこは、ほとんど報道されてない 事件

> ました。 と判断され、自分の首をかけて彼と引き合わせてくだ と話してください。親に変わってもらってください。 さいました。そのとき、医療少年院の先生方には「親 演を聞かれて、私と会わせることは彼の更生に役立つ ないんですが、医療少年院の院長先生が何度か私の講 て、彼と会ったんです。そういうことは通常はあり得 彼がもどっていくのは親なんだから」って、 山口 事件後4年ぐらいしてから、医療少年院に行っ お願いし

ろん、 親に言いたかったんじゃないのかと思いますね。 れたところで、事件を起こしている。少年は、すごく た。それなのに、強制的に入院させるような処遇をさ かったし、僕はつらかったんだって、わかってほしかっ それがあらわれた事件のひとつだと言ってもい いだと思います。親を求めていて、親にわかってほし 奥地 子どもは親を求めてるんですよね。あ いじめた子たちも許せなかったとは思いますけ の事件は いくら もち

山口 ただ、いじめた子たちも苦しんでるんですよね。山口 ただ、いじめた子が、殺人を犯しているわけです。 自分たちのいじめました」って言った子がいたそとき、あの子をいじめました」って言った子がいたそとき、あの子をいじめました」って言った子がいたそとも、まの一ただ、いじめた子たちも苦しんでるんですよね。

奥地 苦しんでるよね、きっとね。

すか。 した。私は彼を擁護してるようにも見えるじゃないでした。私は彼を擁護してるようにも見えるじゃないでした。私は彼を擁護してるようにも見えるじゃないでした。私は後に、被害者でもいろんな人がいるから、こ

**奥地** 遺族やケガされた方は、つらい気持ちがありま

療少年院で、少年とはお話しできたんですか? 奥地 自分は助かっちゃった立場ですものね……。医

山口 ええ。最初は、教官がたくさんいらっしゃるなかで会ったので私も緊張してましたが、「つらかったね」と言いながら彼の背中をさすっていたら、私自身、にずけど、彼は私を信じてくれたなと感じました。本音は、相手を信じないと言えないですからね。だから、音は、相手を信じないと言えないですからね。だから、非常にうれしかったです。

がっていったんですね。れで、山口さんとしては居場所をつくることにつなれで、山口さんとしては居場所をつくることにつなっ、受けとめてくれていると感じたんでしょうね。そのかっていったんですね。自分のことをわかっ

山口 そうです。事件がなかったら、私はずっと洋裁

をしてたと思います(笑)。

# 親の会、居場所の活動

奥地 居場所は、どうやって始められたんですか?

あ、行く意味ない」って。そりゃそうですよね。その 声をかけて、ほかは誰もいない」って言ったら、「じゃ 間いる?」って聞くので、「いやあ、あなたに初めて さって、「じゃぁ家でしようかな」と思いました。そ ば」と聞いてから、居場所をやりたいなと思ってたん ざうちまで来る必要もない。「あら、そうね」って言っ れで、佐賀市の親の会、みちくさの会に行ってる子が 精神科医の先生も「ここいいかもね」って言ってくだ です。一番上の子が家を出て自宅の部屋が空いていて、 山 の幼稚園時代の仲間から電話がかかってきて、「実は たりしたこともあって。そうこうしているうちに、娘 子は、家庭がちゃんと居場所になってるから、 いたので、「うちに来ない?」って言ったら、「誰か仲 先ほどの精神科医の先生から「居場所があ わざわ

うちの子も不登校気味でね」という相談があったんです。何度かやりとりしているうちに、私以外にも悩んて、その人に引き出してもらった感じで、親の会が始て、その人に引き出してもらった感じで、親の会が始まったんです。だから、ぜんぜん何の努力もしてなくす。何度かやりとりしているうちに、私以外にも悩んかったんです。

奥地 最初に親の会をやったんですか?

子どもは元気になりますからね。 居場所は二の次で、家庭がとりあえず居場所になれば、山口 そうですね。やっぱり親の会がベースですよね。

でなく、親が集まっては経験を話したり、グチを言っなので、ずうっと親の会をやっていて、それがベースの居場所がほしいねというので、やりだしたんです。の居場所がほしいねというので、やりだしたんです。のをはいしてから、やっぱり学校に行かない子ども実が、現の会を始めて1

るから、フリースクールもまた続くというか。たり、そういうのが大事で、それがベースになってい

山口 私も、まずは家庭、親だと思いますね。親の会上口 私も、まずは家庭、親だと思いますね。親の会を始めて「じゃあ居場所がいるね」となって、親の会を始めて「じゃあ居場所がいるね」となって、親の会を始めて1年後くらいに居場所を始めました。ただ、いまは、それが少し崩れてきてるんですよ。

奥地 崩れてる? どっちが崩れてるんです。

## 貧困問題と不登校

すね。だから、何かズレてきたなと感じてます。基本、かないの家庭の子を連れてきたいって言うから、いいが貧困の家庭の子を連れてきたいって言うから、いいかは、かいり、からです。うちの居場所のスタッフに、スクー

り、ご飯も食べれなかったりとかしているんですね。思います。ほんとうに貧困の家庭だと、親が鬱だったですけど、この期におよんで、それ言えないなあって私は親の会が大事で、それをずっと譲らないできたん

たいな人が多くなったと思います。ぱいで、エネルギーもないし、気持ちに余裕もないみぬ地 そうですね。親自身が、まったく、いっぱいいっ

文科省も、2015年度から、貧困家庭でフリース 文科省も、2015年度から、貧困家庭でフリースクール等で学ぶ不登校児童生徒への支援す (フリースクール等で学ぶ不登校児童生徒への支援 す (フリースクール等で学ぶ不登校児童生徒への支援 す (フリースクール等で学ぶ不登校児童生徒への支援 なかなか難しいですね。

食堂に行っていた子がいるんですが、いまはまったく食堂に行っていた子がいる貧困家庭の子で、子ども困家庭でも、不登校の子は行きにくいなって思ったどもたちといっしょにご飯もいただいたんだけど、貧どもれから、子ども食堂にも行ったことがあって、子

ていて、不登校の子はいられないと思いますね。 でいて、不登校の子はいられないと思って、不登校の子はいられないと思って、をでのよだとか、授業の話だとか塾の話だとかをしていて、不登校の子が入る余地がないんです。 たんです。子ども食堂は、学校へ行ってる子の場になったんです。子ども食堂は、学校へ行ってる子の場になったんです。子ども食堂は、学校へ行ってる子の場になったんです。子ども食堂は、学校へ行ってる子の場になったんです。子ども食堂は、学校へ行ってる子の場になったんです。子ども食堂は、学校へ行ってる子の場になったんです。 夜、行ってなくて「行きたくない」って言うんです。 夜、行ってなくて「行きたくない」って言うんです。 夜、

親も、たぶん親の会の情報も知らないし、声をかけられたとしても、「もう、ほっといてください」ってられたとしても、「もう、ほっといてください」ってられたとしても、「もう、ほっといてください」ってのかむこともできていない家庭とは、まだつながってかかったともできていない家庭とは、まだつながってかかったとしても、「もう、ほっといてください」っていないですね。

3口 うちは、週2回しかやってないんですけど、そ

ね。の2回のあいだだけでも、いろいろおしゃべりしたり、の2回のあいだだけでも、いろいろおしゃべりしたり、

ど、親の会はやっぱり土台ですね。 奥地 子どもがつながっているのはいいと思うんだけ

山口 親の会は、ほんとうに大事ですね。ひきこもり出てきましたって人もいました。出てくるのがいいわ出てきましたって人もいました。出てくるのがいいわ出るましたって人もいました。出てくるのがいいわけでなくて、ひきこもり続けるのもいいけど、でも、親も子もおたがいにしあわせを感じながら暮らせてたらね。

ね。でも、ありのままの自分が理解されると、すごくり、いろいろやってみたいなって気持ちもありますよ人にも、やっぱり充実したり、楽しく自分を活かした人にも、やっぱり充実したり、楽しく自分を活かした人にも、 楽になってみたいなのが、楽になってくるって奥地

ね。何年続けているんでしょう。いまは親の会は、月2回、昼と夜なさってるんですちがってくるっていうのはありますよね。

山口 親の会は16年目に入りました。

て、どうお考えですか? ・出会われてきて、いま、ふり返って、不登校についに出会われてきて、いま、ふり返って、不登校についりこととが、そうですか。お子さんの不登校、バスジャック

# 苦しいけど、自分の足場を

はみずから設定できるんですよね。ただ、そのために、ずっと提示されるじゃないですか。でも、不登校の子ないなりの自分なりの生き方を探るひとつのツールにないなりの自分なりの生き方を探るひとつのツールにないなと思いますね。学校では、学ぶべきことをよっと提示されるじゃないですか。でも、不登校の子は石けばいいし、行けない子は行けないなりのと思います。同じじゃないけど、まあ、学らも同じだと思います。同じじゃないけど、まあ、学

どね。そ、人としてちゃんと立てるような気がするんですけそ、人としてちゃんと立てるような気がするんですけくっていう、そこが非常にたいへんだけど、だからこ苦しいんですけどね。自分で足場をきちんと固めてい

と現在とでは、変わってきていると思いますか? 奥地 自分のお子さんの経験も含めて、以前の不登校

山口 世の中はちっとも変ってないような気がしま山口 世の中はちっとも変ってないのは不思議でて、子どもが行かないっていうのは、学校がイヤだからですよね。子どもたちは、楽しかったら行くんですから。これだけ不登校の子どもがいて、数も増えているのに、学校のありようが変わってないような気がしますね。親も同じですね。

んです。その通知では「不登校児童生徒が悪いという題行動と判断してはならない」という通知を出してる奥地 文科省は、2016年9月14日に「不登校を問

話にも、 伸長につながる」などとも書いてるんです。だけど、 る事件に遭われ、たいへんだったと思いますが、 でしょうね。それでも以前よりは変わると思います。 これがほんとうの意味で、全国に届くのは、なかなか との信頼関係を構築していく過程が社会性や人間性の 解と受容の姿勢を持つこと」が重要とか「周囲の大人 これはすごく大きなことだと思っていて、「共感的理 のすべての学校を対象に通知を出してるんです。私は、 学校を置く国立大学法人の学長などで、 根強い偏見を払拭」すること必要とも書いているんで らしい生き方をされてきていると思います。 山口さんはある意味、不登校においても象徴的と言え 通知の宛先は、 とても感銘を受けました。 各都道府県の教育長、 つまりは全国 知事、附属 今日のお

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#32 山口由美子さん

インタビュー日時:2016年10月29日

記事公開日:2018年2月6日 場 所:飲食店(福岡市)

聞き手:奥地圭子、山口幸子、木村砂織

まとめ:奥地圭子 写真撮影:木村砂織

### #33 小林 剛 さん



(こばやし・つよし)

1934年、長野県生まれ。北海道大学大学院教育学研究科修士課程修了。北海 道および長野県の公立高校国語科教諭を経て、福井大学教育学部教授、武庫川 女子大学大学院臨床教育学研究科長を歴任。兵庫県立神出学園の設立計画に関 わり、開校から現在に至るまで学園長を務めている。

聞き手:田中佑弥、山下耕平

記事編集:田中佑弥 写真撮影:山下耕平

インタビュー日時: 2017年12月28日

場所:兵庫県立神出学園

記事公開日:2018年2月19日

田中 ざいます。神出学園については後ほどくわしくうかが インタビューの機会をいただき、

併しちゃったんですが、長いことずっと村で、 しく村を残していたところなんですね。 出身は長野県の戸隠村です。 現在は長野市に合

あったかについて教えてください。

いたいと思いますが、まずはご自身がどんな子どもで

屮 おそばで有名ですよね

な存在だったと自分では思っています。活発に動けな 学校のなかでも、どちらかというと目立たない、静か 動きまわる子どもではなかったんです。 世話になることもあって、少年時代はそれほど活発に 校を休むことも多かったし、まわりの大人にずいぶん ともと、それほど体が丈夫ではなかったんですね。学 も時代はまさに信州の山のなかで育ちました。 ので、 そうそう。 学校の図書室に通って本をたくさん読んだり いまや観光地になりましたね。 したがって、

> して、 つくりだして 自分の体と心に合った子ども時代を自分なりに いったのかなと思います。

ありがとうご

学校を休むことが多かったんですね

た。 きたいと思うけれども、 だったので、 い。学校はきらいじゃないし、先生もとてもいい先生 カゼをひくことが多かったんでね。 休むことにはたいへん罪悪感がありまし 体がそんな調子だから行けな 学校には行

田中 のではない 神出学園に来てる子たちにも、 でしょうか? 体調不良は多

多いですね

田中 というか……。 おなかが痛くなる子とか、 そういうの はわかる

小林

よくわかるんです。

だから、

僕の原点とつなぎ

所から措置された子どもを受けいれている。

夫婦の職員が住み込みで

入所者と生活する「夫婦小舎制」が採用されている。

(男子のみ) である。主に北海道の8つの児童相談所と札幌市児童相談

なった。現在は児童自立支援施設として運営されており、

定員は41名

設された。1968年に分離独立し、社会福祉法人北海道家庭学校と 施設)を創設した。その分校として北海道家庭学校は1914年に開 という感化院(非行少年や保護者のいない少年の保護・教育のための

北海道家庭学校:留岡幸助が1899年に東京で「家庭学校」

すること」「信じること」「待つこと」という3つのキー うのは働き手として期待されていたんですが、 大切にしています。 たと思うんですけれども、 ワードが僕の人生論で、これは僕の一生に関わってき の愛という言葉があたるんじゃないかと思うんですが れました。母親は、 いうと母親が保護してくれて、愛情たっぷりに育てら に労働を課すことはあまりなかったです。どちらかと なに丈夫じゃないし、兄貴がいましたので、親が僕 れず貧しい農家でありました。当時は、子どもとい 、隠村は貧しい農家が多くて、うちも、 ひたすら子どもをかわいがってくれました。 父親が非常に厳しいぶんー いまでも神出学園のなかで ごたぶんに 僕はそ -無償 「愛

### 北海道家庭学校との出会 11

小林 僕は、 新制中学の1期生だったんです。 体があ

> 生でした。先生の下宿が僕の家の近くだったこともあ 非常に目をかけてくれました。予科練あがりの若い先 ないか?」って、 り、「小林くん、 ひどかったかっていう話を先生から聞きました。 へ行くようになりました。戦争というものがどんなに ふくろがつくってくれた牡丹餅を持って先生のところ んまり丈夫じゃなかったこともあって、 今日は僕んとこへちょっと遊びに来 よく誘ってくれました。それで、 担任 の先生

て、長野高校に進学し、1年浪人して北海道大学に入 に盛んに言われて、期待に応えたいという思いもあっ 外国みたいに思われていました。だって、昭和20年代 れました。当時、北海道っていうのは長野からすれば くんは北海道大学に行って勉強しなさい」と勧めてく に入りました。 けていたので教育学部に行き、 移るわけですが、僕は先生からの影響をあちこちで受 りました。最初2年間は一般教養で、 の終わりですからね。でも、非常に尊敬していた先生 の)クラーク博士をとても尊敬していたので、 また、先生は(北海道大学の前身である札幌農学校 砂澤喜代次先生のゼミ 3年から学部に 「小林

あるんだよ。これはすごい学校だよ」と言うんですね。 たちが、どのように自分の人生や青春を取りもどして 遠軽にある北海道家庭学校に行きました。谷昌恒先 3年生の終わりぐらいだったと思いますが、 か?」ってきいたら、「北海道家庭学校っていうのが しょに行こうぜ」って言うから、「どこへ行くんです てくださってね。もう感動しました。挫折した子ども 生が「よくこんな遠くまで来てくれた」って握手をし けるのかということについて、 砂澤先生が「小林くん、いいところがあるから、い 家庭学校からたくさ 先生と 0

> 庭学校に何回も通いました。 んのヒントをもらいました。 大学院では、 もっぱら家

かっ 中 北海道家庭学校の印象はどうだったんでしょう

青春を楽しみ、 分をふり返り、そして自分の人生というものを考え、 て、寝起きをともにする先生がいて、それがあそこの しているわけです。12人ぐらいで生活共同体をつくっ う印象を持ちましたね。 の場は学校とはちがって、 教育のやり方だったんですね。子どもたちはそこで自 家庭学校は小舎制で、それこそ生活は家庭をな 自分の生き方を考える。 すごい力を持っているとい こういう教育

屮 しょうか? うか、家庭をベー それは、 先ほどおっしゃった「無償の愛」とい スにしていることが大きかったので

就任。著書に『森のチャペルに集う子ら 本基督教団出版局1993)など。 めに堀川愛生園を創設。1969年、 谷昌恒(たに・まさつね):1945年、福島県で戦災孤児のた 北海道家庭学校の第5代校長に 北海道家庭学校のこと』(日

小林 大きかったね、 ほんとうに。 やっぱり家庭学校

で

に来てる子どもたちは、愛に飢えている子どもたちなんでね。いかに愛されることが不足しているのかっんでね。いかに愛されることが不足しているのかっし、再構築していくことで、親は穏やかになっていくし、再構築していくことで、親は穏やかになっていくし、再構築していくことで、親は穏やかになっていくは、子どもがほんとうに変わっていくんですよ。これには心から感動して、これが教育なんじゃないかと思いました。規則や決まりで非行を立て直そうとするのいました。規則や決まりで非行を立て直そうとするのいました。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常した。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常した。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常した。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常した。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常した。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常した。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常した。だから、神出学園のスタッフに話すときも、常

いっしょにされたんですか? 田中 家庭学校では農作業をするそうですが、先生も

小林 そうそう。もう汗を流して、何でもやりました。

**山下** 北海道家庭学校で出会った子どもたちは、th

**小林** そうです。8割ぐらいが窃盗や暴力ですね。当

## ワルの集まる高校で

はフリースクールや学童保育を運営している。 道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会」)を創設。現在、同会授。1986年に「新しい教育・学校をめざす研究会」(現在の「北海技》、 鈴木秀一(すずき・しゅういち):教育学者、北海道大学名誉教

われました。ですね。そんなところへ望んで行くんですか?」と言

指導ではほんとうの教育にはならないということを、 生のなかでも非常に充実した時代で、本を読む暇がな 僕は家庭学校でイヤというほど勉強させてもらってた 生徒指導の先生はいつも体を張って指導してるわけで さえ込んで非行をさせないかってことになっていて、 状況だったので、高校の生徒指導は、いかに彼らを押 ちから、とにかく集まってきてたんですね。そういう くさんの子どもたちとの出会いがありました。私の人 ことになりました。普通科と水産科のある高校でした。 あり、釧路と根室のあいだにある厚岸高校に赴任する んですが、職業科はどの学区からでも受験できるんで いぐらいに、子どもたちが夜な夜な訪ねてくるんです。 1962年のことです。厚岸高校では、ほんとうにた それから1週間ぐらい経って教育委員会から連絡が です。だから職員会議では、 普通科は学区制があって、行ける高校が決まってる だから、 でも、非行からの脱出を目指すには、体を張った ワルの子どもたちが、 30人の教師がいました 札幌から、 あちこ

けれども、いつも1対29で、僕が1人なんです。職員けれども、いつも1対29で、僕が1人なんです。職員「高校やめちゃえ」と言われてきて、挫折した子どもたちがいっぱいいたんです。

授業では「古典なんかコテンコテンだ」って言って いる子どもたちに、「古典っていうのはこんなに人間 いる子どもたちに、「古典っていうのはこんなに人間 い男女の話(「雨夜の品定め」)をプリントにしました。 そうしたら授業がよっぽど楽しかったのか、僕が演劇 そうしたら授業がよっぽど楽しかったのか、僕が演劇 クラブの顧問と知ると、その学校の非行少年の頂点に いる子どもたち20人ぐらいが、どどっと演劇クラブに いる子どもたち20人ぐらいが、どどっと演劇クラブに いる子どもたち20人ぐらいが、どどっと演劇クラブに かってきたんです。初めは4人しかいなかった。しか も女の子ばっかり。そこに男の子が入ってきて演劇ク も女の子ばっかり。そこに男の子が入ってきて演劇ク も女の子ばっかり。そこに男の子が入ってきて演劇ク も女の子ばっかり。そこに男の子が入ってきて演劇ク も女の子ばっかり。そこに男の子が入ってきて演劇ク の家に来る。最初6畳の部屋を借りていたんだけれど

何人も来るので6畳の部屋だけじゃ入れない。隣

方になってくれたんです。

それで非常に自信を持

彼らはもう語りたくてしょうがないんで、

がんがん僕

小 林

あったねえ。びんびん返ってくるんですよね。

甲中

高校生との深い関わりがあったんですね

田中

若手教師としてのご苦労もあったのでは?

夜な夜な8畳間で人生論

担任の先生は非行化したあいつが盗ったんじゃないか 「先生、俺ら劇つくっていいんか?」って言うから「あ ないぞ」っていうふうにして社会を感じていくんです た母ちゃんも密漁をやってる。そんな現場を見ながら、 そのころ、非常に大きな問題になってた密漁です。夜 を飛び出すんです。それでどこへ行ったかっていうと、 ような学校になんかもういたくなくなって、彼は学校 が盗ったわけじゃないんだけれども、そんな人を疑う と疑いをかけた。それで、その疑いをかけられた少年 クラスのなかで時計がなくなるという事件が起こって う脚本をつくりました。それはこんな物語です。ある の7人が僕の部屋に泊まり込んで、「海の仲間」とい たぼうよ! それをやれ!」ってね。脚本起草委員会 ラマをつくったわけです。 な夜な魚を黙って捕るわけです。赤ちゃんをおんぶし あなた方の青春をドラマにしなさい」と言ったんです。 演劇だと思っているとしたら、そんなのとんでもない。 自分はどう生きたらいいかを考える、 これはあの母ちゃんが悪いって簡単には言え そういうド

山下 フィクションだけれども、それぞれの経験がそ

小林 そうそう、そういうことなんですね。年に1回か林 そうそう、そういうことなんですね。年に1回ちたちは「先生、俺らいいことやってんだよな」って喜んじゃって。みんな非行化した子どもたちだったんですね。それで初めてこういうことに喜びを感じたんですね。それで初めてこういうことに喜びを感じたんですね。それで初めてこういうことに喜びを感じたあっていうことがどんなに楽しいことかってことに演劇クラブの子どもたちが目覚めていくんです。それはもうほんとうに、ドラマみたいだった。

こしたんですが、演劇を通して自分たちの経験が言葉て、それを共有するというものでした。それを思い起の『山びこ学校』も自分たちの生活のことを言葉にしにもインタビューしています(#12参照)。無着さん山下 不登校50年証言プロジェクトでは無着成恭さん

ていくというところがあったのでしょうか?になって、それがまわりの人と共有できるものになっ

小林 そうですね。だから、お芝居をやっています。 は『つながり』というタイトルで、いまも持っています。 は『つながり』というタイトルで、いまも持っています。 は『つながり』というタイトルで、いまも持っているなか ないっぱい書きました。書くっていうのは、すばらし ないことなんですね。自分の思いを言語化することに ないて自分をふり返り、これからを展望できる。文集 なって自分をふり返り、これからを展望できる。文集

らいで話ができる場を確保した。 に8畳の部屋が空いてたんで、そこも借りて、20人ぐ

山下 それ、自腹ですよね?

**小林** もちろん。そこで夜な夜な人生論から生き方からいろんな話をしてね。彼らは「学校の先生とこんならいろんな話をしてね。彼らは「学校の先生とこんな

田中 当時、先生は20代ですか?

小林 20代の終わりぐらい。

れども、校長さんがなかなかおもしろい人で、僕の味てないという批判はいっぱいあって、議論もあったけ小林 まあ、教科書は使わない、まともなことはやっ

\*\* こう、女子寺よおうない、ここうなこと

彼らは非行より先生のところに行って話すほうが楽し てくださる先生もいた。 くなった。親からも感謝の言葉がきてますよ」って言っ 「小林先生が、あの子どもたちを一手に引き受けて、 ほかの先生とはいつも議論してました。職員会議

別の僕の新居まで来て掃除をしてくれました。 と言っても、「いや、いいんだ、先生。 いいんだ」と言っ まま降りないんですよ。「君たちはもう降りなきゃ」 厚岸を旅立つときに120人ぐらい集まってくれて、 は厚岸高校を見捨てたんか」って怒られました。僕が 高校に転勤することになった。子どもたちには「先生 てね。2人は釧路で帰りましたが、5人はそのまま江 のドアが閉まるときに、7人の子どもが電車に乗った 小さな駅のホームがいっぱいになった。いよいよ電車 厚岸高校には3年いて、その後、札幌の近くの江別。

もまたすごくてね。 は商業科のクラスを担任しました。その連中との交流 動を味わう6年でした。 江別高校は普通科6クラス、商業科2クラスで、僕 いるぐらいで、ほんとうに教師としての喜びと感 いまでも手紙を往き来するのが何

> なかなか難しい子どもたちが大勢いる学校で苦労が多 験を受けて、 たいなという気持ちがあって、それで長野県の採用試 かったですが、 北海道で高校教師を9年やり、 白馬高校に3年勤めました。これもまた やりがいももちろんありました。 そろそろ長野に帰り

> > - 770 -

### ツ トでリアルな研究を

どうか?」という助言があって、 たんだから、 先生から「小林くん、 になりました。 その後、大学院での指導教官であった鈴木秀 もうそれを活かして大学の道を選んだら 高等学校の先生をしっかりやっ 福井大学に行くこと

ンナー 田中 教育学研究』1号所収/1995年)という論文で「シ いますが、これは福井でのことですか? 「少年非行に関する臨床教育学的研究」(『臨床 少年への臨床的支援」について書いてらっしゃ

そうです。 僕が教授会に提案して、 相談ホ

けど、 総合相談・ひきこもり専門相談)」に関わって ま僕は兵庫県の「ほっとらいん相談(青少年のための 談だけじゃなくて、面接相談もたくさん入ってね。 ラインを福井大学で開くことになったんです。 その最初 の流れみたいなものですね。 電話相 います 11

田中 説明 いただけますか ご専門の臨床教育学とはどんな学問なのか、

前をつけ きか、そうしたことを学問的に明らかにしていく。名 究にしていくことを考えたんです。つまり本で勉強す 相談も含め臨床的に子どもの支援を継続的に行ない研 キーワードはまだなかったんですね。それで僕らは、 立ち上げることになったんです。 ないかということを何人かの先生と議論して、 人たちとの関わりのなかでどう生きるか、どうあるべ るんじゃなくて、 福井大学に赴任したころは、 れば臨床教育学っていう言葉が当たるんじゃ 悩める子ども、苦しむ親、そうした 臨床教育学という 学会を

> る大事な文献です。 想から学ぶことは多かった。臨床教育学を高めてくれ に書くほどの研究はしませんでしたけれども、 てくるような研究が大事なの。ニイルについては論文 トで、リアルで、ありのままの子どもや親の姿が見え に引き離してものを考えがちなんだけど、もっとホッ さって、 教官の鈴木秀一先生がニイルの話をときどきしてくだ そのなかで出てきたのはニイルなんですね。指導 僕も読みました。研究っていうのは、クール その思

ない 屮 われたのは、それまでの教育学では子どもたちが見え という思いがあったからなのでしょうか 臨床教育学という新しい学問を確立しようと思

汗を流すなかで初めてつか そうです。子どもたちの声を聴き、 める んです。 だか 7, いっしょに 5 僕の

育者。 含む各国に大きな影響を与えた 1921年に創設。アメリカのフリースクール運動をはじめ、 4 フリースク S・ニイル -ルの源流として知られるサマーヒル・スクールを (Alexander Sutherland Neill):イギリスの教 日本を



### 兵庫県立神出学園

自然豊かな神戸市西区神出町にあり、約2500㎡の農園や果樹園、牧草地がある。兵庫県在住の中卒~23歳までの若者を対象としており、不登校の高校生や高校中退者などが入学している。標準的な在籍期間は2年間で、1学年の定員は約30名(男子20名、女子10名程度)。在籍期間は本人の希望や復学等によって短縮または延長されることがある。

高校ではないため高卒資格を得られないが、提携している通信制高校に入学することで高卒資格を得られる。教科学習のほかに多くの体験活動やカウンセリングが行なわれている。学園には寮があり、在籍者は月曜日から木曜日まで学園で過ごし、週末は自宅に帰る。金曜日には中学3年生から35歳以下のひきこもりの若者を対象に「1日交流体験」を月に数回開催している。

くわしくは神出学園のホームページ(http://www.kande-gakuen.jp)を参照。また、書籍『癒やしの丘で――兵庫県立神出学園の不登校支援』(神戸新聞総合出版センター編 2016)でも詳述されている。

立って、そこの息づかいからものを考えていくんです。考える臨床教育学っていうのは、あくまでも現場に

# 兵庫県立神出学園の設立

僕のところに電話がありました。「先生のこれまでの 文化部こころ豊かな人づくり推進室」から福井大学の 政が考えなきゃいけないと発案されて、 さんで、悩める子どもたちが元気になっていく場を行 原俊民さんでした。 あれば教えてください。 たとのことですが、この経緯についてご存知のことが 護隊を参考に青少年支援施策に取り組むことを指示し も支援の臨床教育学』(萌文社/1996年) によると 988年に兵庫県知事が、 神出学園の構想がスタートしたときの知事は 神出学園についてうかがいます。ご著書『子ど なかなか教育に長けている知事 カリフォルニア州自然保 当時の 「生活 目

どんなスタッフが必要だとか、

カウンセラー

- は何人だ

学園構想をさらに具体化するための予算とか

福井大学から兵庫県の武庫川女子大学

それからは、

もともと県の土地ですから、

土地以外に11億円の予算

農業大学校の跡地(神戸市西区神出町)になりました。とかを決定し、1994年に開校したんです。場所は

年から兵庫県に出向。1986~2001年に兵庫県知事を務めた。\*5 貝原俊民(かいはら・としたみ):旧自治省に入省し、197

知見を兵庫県の不登校の子どもの居場所づくりに活かしたいので、力をお借りしたい」と言われ、行政がそしたいので、福井から兵庫に通って、県庁や学校関係者したので、福井から兵庫に通って、県庁や学校関係者のみなさんと議論しました。計画の青写真を持って知事さんのところへ行ったら「わかりました。ただちに事さんのところへ行ったら「わかりました。ただちに予算をつけましょう」って、もう一言ですよ。びっくりしましたね。

田中 カリフォルニア州自然保護隊には、先生は見学ます。

に行かれたのでしょうか? 田中 カリフォルニア州自然保護隊には 先生は見学

- 773 -

小林 行きたかったけど、行けなかった。構想策定委告を受けて参考になるなとは思いましたが、僕はあん員会の発足前に県庁から数人が見学に行きました。報

田中 兵庫県の職員の方々が熱心に調査されたんです

報はしっかり集めていました。 かん そうです。非常に準備に力を入れて、必要な情

象にした理由は何ですか? 神出学園が義務教育段階ではなく、中卒後を対

小林 当時、兵庫県でも高校中退はかなり大きな問題小林 当時、兵庫県でも高校中退はかなり大きな問題

山下 教護院(現在の児童自立支援施設)や情緒障害 地下 教護院(現在の児童自立支援施設)や情緒障害 のうということだったので、高校中退や不登校の子ど もを対象にしたものはなかったので、兵庫県独自でや もを対象にしたものはなかったので、兵庫県独自でや もを対象にしたものはなかったので、兵庫県独自でや のうということだったのでしょうか?

小林 そういうことです。どちらかというと矯正教育 は問題を起こした子どもたちが中心ですよね。教護院 もそうですけど、教育を中心にして、子どもたちを変 えていくというスタンスなんですね。ところが不登校 えていくというスタンスなんですね。ところが不登校 れる。教育で対処しても救えないということで、子ど もたちに寄り添う新たな支援の理念と施設が必要に もたちに寄り添う新たな支援の理念と施設が必要に もたちにおり、心を病む子どもたちは、教育で疲れて なったわけです。

高校ではないわけですよね。山下のなるほど。神出学園は、学園とは言いながらも、

**か林** そうです。僕も学園でいいのかなって思うこ**小林** そうです。この学園っていう名前については議

は行政の人と話し合って決断したんです。受けとめられる名前がほかに見つからなくてね。最後とは、いまでもあるんですよ。でも何かポジティブに

**山下** ホームページでは「公立の全寮制フリースクール」と書かれていますが、当初から「フリースクール」

**小林** 積極的には名乗っていませんが、そういう説明

すいから、ということでしょうか?を名乗っているというよりも、説明として了解されやを名乗っているというよりも、説明として了解されや

小林 そういうことだと思います。

# 体験活動中心のプログラム

田中寮生活にするかどうかについて議論があったと、

たが、先生はどうお考えだったのでしょうか?(神戸新聞総合出版センター編2016)で読みまし『癒やしの丘で――兵庫県立神出学園の不登校支援』

小林 ここでの集団の生活をどのようにつくりあげるかは、なかなか難しいテーマで、議論になりました。 寮生活は不登校の子どもたちにとっては高いハードルだけど、そこをきちんとクリアする手立てを組んで 乗りきっていけば、子どもたちは友だちができる喜び、 乗りきっていけば、子どもたちは友だちができる喜び、 した。そのためには、寮には泊まり込みのメンタルフ した。そのためには、寮には泊まりた。寮を指導する レンドが絶対に必要だと主張しました。寮を指導する スタッフじゃなくて、ともに寮で生活をする先輩とし て。

山下かつての小林先生のような存在ですね。

県庁で交渉してたら、カウンセラーは1人いればいいスタッフの配置、それからカウンセリングも必要です。小林 そう。できるだけ集団への抵抗をなくすような

してもらっています。 セラーが必要です」って訴えて、兵庫県から3人配属 子どもたちに1人では絶対に無理です。3人はカウン じゃねえかって言うので、「待ってください。60人の

験活動が多いですね。 神出学園の活動プログラムは、教科学習より体

動物は、犬、ウサギ、羊、ポニーなどがいます。料理、音楽、動物飼育をはじめ、たくさんあります。

**田中** 農業など北海道家庭学校の活動プログラムと共

小林 そうです。家庭学校のことは、ずっと僕のなか

すが、子どもたちのなかには気持ちが向かないとか、山下 とても楽しそうな活動プログラムだと思うんで

います。そういう場合はどうされているのですか?参加したくないっていうこともあるんじゃないかと思

小林 集団でやりたくないけれども、自分で本を読み たいとか、何か別のことをしたいという子どもの要望 たいとか、何か別のことをしたいという子どもの要望 だっていうときには、その子どものニーズはそのまま だっていうときには、その子どものニーズはそのま望

田中 神出学園オープン講座 (2017年12月1日)田中 神出学園オープン講座 (2017年12月1日)

がいたり、それはさまざまで柔軟に対応しています。の昼食後にさよならするんですけど、それが充分できの昼食後にさよならするんですけど、それが充分できる。原則は月曜日やってきて、木曜日

田中 割合としては、どれくらいなのでしょうか?

ていきます。 して2カ月目ぐらいになると、ほとんどうまく適応しい材(わずかですね。2割ぐらいかな。だいたい入学

田中 神戸市内から通っている子たちが多いのでしょ

**小林** そうですね。兵庫県の日本海側から来ている子

小林 そうです。やっぱり家庭の支援がないとね。お

# スタッフはどうあるべきか

**山下** 神出学園では、「スタッフ」という呼び方をさ

「さん」づけです。 「さん」づけです。ここでは先生って言葉はありません。

山下 それは、どういうお考えからなのでしょうか?

それは徹底しています。
校の流儀は、ここではとらない。指示、命令はなし。校の流儀は、ここではとらない。指示、命令はなし。学校で不登校になっているわけだからね。学別は始めて

えるのは難しいのではないかと思いますが、研修などいうことですよね。神出学園に来て急にスタンスを変員会の指導主事の方々で、学校の先生をされていたと山下 ここの教務スタッフをされているのは、教育委

があるのでしょうか?

小林 そうですね。それが一番たいへんで、僕らは最初の3カ月がほんとうに大事だと思ってるんですね。 初の3カ月がほんとうに大事だと思ってるんですね。 最初の1カ月は、僕が新しく来た人たちに神出学園 の子どもたちにはどんな寄り添いの仕方が大事かとい うことを3~4回お話をして、学園のスタッフは基本 的にどうあるべきかってことを学んでもらいます。2 カ月目は、うちのスタッフが自分たちの経験を語って、 3カ月目には、これまでの子どもたちがどうなったか という話をしています。せっかくこの学園に来たんだ から、この立場を自分のものにして、いい体験をして、 いい教師に成長できるようになってほしいと研修で話 しています。

田中 神出学園の初年度は、手さぐりでたいへんだっ

とんど1日おきぐらいに来てましたね。僕は原則、週**小林** 最初は僕の出番が多かったですね。当時は、ほ

フに感じることもあったのではないでしょうか?田中 「学園生に対してそんな言い方は……」とスタッ

事にしてきました。 小林 そうなんですよ。そこな乗り越えるにはどたとしたら、それはなぜか。そこを乗り越えるにはどたとしたら、それはなぜか。そこを乗り越えるにはどから、しっかりと考

ですよね? 田中 ここで働かれた方が教頭や校長になられるわけ

育委員会も喜んでいます。 重な経験をし、各地で非常によい働きをしていると教重な経験をし、各地で非常によい働きをしていると教

ですか? 山下 神出学園での教務スタッフの任期はどれくらい

が好きだから4年間いるっていう人もいます。7人います。大部分の人は3年で転出しますが、神出7人いま、ここへ赴任してきている教務スタッフは

**田中** 小林先生以外のスタッフは、全員入れ替わって

**小林** そうです。構想策定、開校から関わっているの

**山下** 人が代わっても理念が継承されていくというの

(を)。 継承者をつくらないうちは、僕は辞められないですね子はいるんですか?」と言われました。きちっとした

# 子ども支援のこれから

田中 2016年12月に「教育機会確保法」が制定さ田中 2016年12月に「教育機会確保法」が制定さ

けれども、 学校のあるべき姿じゃないかと思います。学校の先生 学校らしくない学校で、子どもたちがのびのび、 場と理念が必要だと思います。「学校の枠をなくせ」 それが子どもたちにとっては堅苦しいということが、 小林 ということではなくて、 け広げて、子どもたちの発想やニーズに応える学びの かなりあると思うんです。だから学校の枠をできるだ ろいろ新しい試みがあったり、 いきと学び、 いままでの固定的な教師概念を変えていかなきゃ 大事なのは学校外の学びです。 どうしても学校の枠が依然としてあって、 関わり、 成長する。これが、 学校の枠をうんと広くとって 開かれたりしています 最近は学校もい これからの いき

しょうか。
ともたちのためには不可欠な条件になるのではないでおなかぎり広いかたちにしていくのは、これからの子がもなかがのがあれば、ないがなるできるだけ乗り越えて、可ならないわけですし、教師自身も大いなる成長ができ

いでしょうか?だから神出学園には来られるという面もあるのではながの神出学園には来られるという面もあるのではな山下。子どもたちからすると、学校でないような場所

います。 と学びと人間関係ができていく。 う思いがある。 タッフにはこんな楽しい思い、体験もさせたい め合って、 て、 子どもが何を考えて、 そうですね。 いままでの学校とはちがった大いなる体験 これらをそれぞれがおたがいに受けと 神出学園では、まず子ども 何をしたいか、 そんなふうに思って それ ってい からス があ 9

質的な変化を感じることはありますでしょうか? 小子 不登校の子どもたちと関わってこられて、何か

りができない。ですね。とくに対人関係がうまく持てない、仲間づくですね。とくに対人関係がうまく持てない、仲間づくですね。とくに対人関係がうまく持てない、仲間づくが、というに対していたのでは、非行が大人を悩

山下なぜ、そうなったのだと思われますか。

小林やっぱり、幼少期から遊んでないんですよね。

くなってきているということでしょうか。ギーが向かっていたのが、そういうかたちでは表れな山下。かつては、校内暴力や非行として外にエネル

小林 そうですね。みんな内にこもってる

いまの子ども・若者をめぐる社会状況は非常に厳しい子どもたちが神出学園で元気を取りもどしたとしても、

ですね。そのあたりはどうでしょう。

小林 そう、挫折しちゃうこともありますね。

よかったということではすまない問題だと思います。山下 ある場所で子どもが元気になったから、それで

小林 子どもたちがもっと自分たちの思いを交わし合ったり、支え合ったりする場を地域につくりだして合ったり、支え合ったりする場を地域につくりだしていい体験をして、多くはうまくいっていますけれども、そうでない子どもたちもいます。神出に再び入りたいって言ってくる子どももいます。神出に再び入りたいって言ってくる子どももいます。神出に再び入りたいって言ってくる子どももいます。神出に再び入りたいって言ってくる子どももいます。神出に再び入りたいって言ってくる子どももいます。

果たしたような役割を、地域のなかにつくっていかな山下。高校生たちが夜な夜な集まった先生の8畳間が

いといけませんね

**田中** 本日はご多忙のところ、ありがとうございまし

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #33 小林剛さん

記事公開日:2018年2月19日場 所:兵庫県立神出学園 聞き手:田中佑弥、山下耕平

インタビュー日時: 2017年12月28日

写真撮影:山下耕平 記事編集:田中佑弥

### #34 田中達也 さん



(たなか・たつや)

1962年、東京都江戸川区生まれ。小学校6年生のときに学校に行かなくなり、 児童精神科医、渡辺位さんとの出会いなどから、中学2年生のとき、みずから 希望して国立国府台病院36病棟(児童精神科病棟)に入院する。当時のことは、 母親の田中英子さんが『登校拒否・学校に行かないで生きる』(渡辺位編著/ 太郎次郎社 1983) に書いている。退院後、病院で看護助手をしながら定時制 高校に通い、卒業後は鍼灸師やリハビリの仕事などに携わり、現在は社会福祉 士専門職として、幅広く活動している。

インタビュー日時:2018年1月16日

聞き手:奥地圭子

場 所:東京シューレ葛飾中学校

写真撮影:木村砂織

念して、 感謝しています。私は、自分の子の登校拒否で国府台 める声を発信しようと企画された本でした。このころ らせていただきました。この本は、希望会10周年を記 生きる』(渡辺位編著/太郎次郎社1983)もつく さんとは、 インタビューさせていただくことになりました。お母 なった」と連絡をいただき、そのご縁から、今回、急きょ おられ、先輩として、とても学ばせていただいた方で さんのお母さん、 の会「希望会」に参加させてもらっていました。達也 できることになり、 年賀状を出したところ、達也さんから「母が亡く 会長は竹下ミドリさんに替わっておられましたが、 の渡辺位先生と出会い、病院内の登校拒否の親 今日は、 世の流れに抗して登校拒否の子どもを受けと いっしょに『登校拒否・学校に行かないで 達也さんのお母さんとのご縁でお会い 田中英子さんは希望会の会長をして 亡くなられたお母さんに、とても

なく、学校を含めた社会への子どもの防衛反応であると、 国府台病院で児童精神科医長を務め、登校拒否は個人病理では 渡辺位 (わたなべ・たかし/1925--2009):児童精神 いち早く世

田中

戦争の影響がまだ残っている時代で、

親たちも、

11

い学校へ入れてあげることが、

自分たち おそらく

英子さんも編集委員会に入ってくださり、 いただきました。 寄稿もして

### 陰湿ない じめに遭っ

奥地 覚えていますか? 達也さんは、 ご自身の登校拒否の時期 で理由

田中 受けられなかった世代だったからこそ、子どもにはい 時は進学ブームで、 なものに遭いました。 へというルートに乗せようとしていたんだと思います い教育を受けさせて、 小学校5~6年生のころ、 千葉県市川市の富貴島小学校に通って 親は自分たちが高等教育をあまり 1970年代半ばのことで、 い学校を出させて、 集団のいじめみたい 11 たん い会社

それが、 夢になっていたんですね

奥地

- 783 -

の夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないかの夢を子どもに託すことにもなっていたのではないか

年たちがうらやましい。私は、そっちの代表格みたい土・日も塾に通って、塾が終わってからも課題があっために、一種の洗脳教育を受けていた。 でも、やっぱり小学生ですし、限界があるわけです。 でも、やっぱり小学生ですし、限界があるわけです。 すっちがらしてみると、自由気ままに遊んでいられる少 でも、やっぱり小学生ですし、限界があるわけです。 でも、やっぱり小学生ですし、限界があるわけです。

て、ざりがにとりをしたり、山道を発見したり、秘密お母さんが「達也は毎日遊びまわり、泥だらけになっ奥地 『登校拒否・学校に行かないで生きる』でも、

な感じだったんですね。

に日暮れまで遊びました」と書いてますね。基地(赤土の宅地造成の崖)に夢中になったり、活怒

ていて、 れを筆箱に入れられたり、 されてしまったり、定規におしっこをかけられて、そ なの前では暴力をふるわないけれども、 6年生ぐらいになると知恵がついてきますから、みん だと思います。 てました。 彼らにしてみると、 いきなり6人がかりで蹴られたり、筆箱を隠 11 ろ いろ因縁をつけてきたり、 それがうらやまし いろいろ陰湿なことをされ 帰り道に隠れ 小学校 ったん

奥地 それは学校生活がたいへんでしたね。

ね。でも、行けなくなってしまった。 思っていましたし、当時は学校へ行かないということ 思っていましたし、当時は学校へ行かないということ 田中 僕自身、学校は行かなきゃいけないところだと

奥地 当時は、本人の性格が悪いとか、親の育て方が

悪いとか、そういう認識ですからね

子に問題があるということだったんでしょうね。 た総合病院では脳波をとられました。やっぱり、この田中 そういう時代でしたね。ですから、最初に行っ

「なんで脳波をとるんだ」とおっしゃったそうですね。 奥地 うちの子も、脳波をとられました。達也さんも

田中 脳波というのは脳の機能のことですから、α波田中 脳波というのは脳の機能のことですから、α波

奥地 子ども心にもおかしいと思っていたんですね。

そういう根拠にもとづく医療については、まだ経験もけど、MRIもCTもない時代ですし、精神医学も、あったら、いろんな症状が先に出ていると思うんです田中 そうですね。たぶん、ほんとうに脳波に異常が

浅かったのかもしれないですね。

はどうだったんでしょう。 奥地 それが小学校6年生のときで、その後、中学校

田中 小学校と中学校は学区がいっしょで、ワルの連田中 小学校と中学校は学区がいっしょで、ワルの連

院につながりました。所や、いろいろなところをまわったうえで、国府台病とって安全な環境ではなくなっていたんですね。相談とって安全な環境ではなくなっていましたし、学校は自分に実際に危険がともなっていましたし、学校は自分に

# 学校は行かなければならない?

ですよね。 奥地 国府台病院は、教育研究所からの紹介だったん

田中 そうです。教育研究所には、母といっしょに行田中 そうです。教育研究所には、母といっしまいまがあるということで、国府台病院を紹介してもらいまがあるということで、国府台病院を紹介してもらいました。たぶん、関先生は児童相談所だとか、いろんなした。たぶん、関先生は児童相談所だとか、いろんなした。たぶん、関先生は児童相談所だとか、いろんなした。たぶん、関先生は児童相談所だとか、いろんなした。たぶん、関先生は児童相談所だとか、いろんなところで渡辺位先生とつながりがあったんだと思いました。

奥地 お母さんは、渡辺先生に「どうして学校へやられて気がついたと。

の?」ときかれましたね。「えっ、行かなきゃいけなしたとき、「そんなに学校って行かなくてはいけない田中 僕も、国府台病院で初めて渡辺先生とお会い

す。て行けないんだ」ということを言ったおぼえがありまて行けないんだ」ということを言ったおぼえがありるそれで、「僕は行きたいんだけど、こういう状況があっいんじゃないんですか?」と逆に聞いたぐらいでした。

国府台病院には、その後しばらくは外来で通ってい臨床心理士の方と月1回くらい会って、箱庭をやったりしていました。臨床心理士の方は何人かいらったりしていました。なんとなくそこに行ってお話をしたり、じゃつまらないので、外から雑草をとってきたりして、つくってました。それがどういうふうに評価されていたのかは、わかりませんけどね。そういう期間がありました。中1のころです。

奥地 そのころは、どう思っていらしたんですか?

いうことは認識していました。 田中 まだ、将来のことはあまり考えていなかったで

学校のやっている時間帯は、なかなか外に出られなりということもありました。当時は、ややもすると補いということもありました。当時は、ややもすると補いということもありました。当時は、ややもすると補いということもありました。本はなまっちゃいますしね。あと、僕は無線をちょっとやってたんです。トラックあと、僕は無線をちょっとやってたんです。トラックの運転手さんと話したりして、「おまえ、学校はどうしたんだ?」と聞かれたりすると、「おなかが痛くて体んだ」とか言ってました。

と言っていました。
はあったと思いますが、「もう先導型の親は辞めるよ」
母も、そういう僕を見ていて、いろいろ思うところ

うですね。 奥地 張りきって学校へ登校していた時期もあったそ

か、たとえば教養を身につけるためだとか、そこまでいたからでしょうね。でも、何のために学校に行くのやっぱり学校は行かなきゃいけないところだと思って田中 中学は、最初の1~2ヵ月間は行っていました。

ば、イヤな奴ばかりじゃなくて、友だちもいましたしねないものだと思っていたんだと思います。学校に行けは考えてなくて、やっぱり基本的に行かなくてはなら

奥地 でも、夏休み明けに宿題をぜんぶやってないか

**田中** それで行きづらくなったということはありまし

と言われてたそうですね。奥地で渡辺先生には「ネバナラヌ」がまだとれない、

自転車に僕を乗せて学校に行って、母は午前中は保健たんですが、小学校のときに自分を守ってくれなかったんですが、小学校のときに自分を守ってくれなかったという経験があるので、やっぱり学校という組織はちょっと怖いというか、学校という組織への違和感があったんですね。それで、中学の最初のころは、母があったんですね。それで、中学の最初のころは、母がいですね。

りました。

かと気がつかれたということでしたね。 思っていたけれども、あとから、それはどうだったの思っていればならないと

田中 強制するような感じでした。 ところはボトムアップするような制度もないし、だんのころはボトムアップするような制度もないし、だんのころはボトムアップするような制度もないし、だんがん学校から離れていった感じでした。

れないのか」と言っていたそうですね。転車でひとりで外出しているのに、なんで学校には来転車でひとりで外出しているのに、なんで学校には来奥地 一方で、病院には自転車でひとりで行っていた

僕も中学の仲間と外で会ったとき、「どうしたの?」田中 そういうことは、あったかもしれないですね。

いうか、説明できるようになっていたように思います。てきていたので、母自身も、何か言われても返す力ところになると、母も渡辺先生とのつきあいが長くなった。からね」という話をしたおぼえがあります。そのときかれて「病院へ行ってるんだよ。そういう必要が

奥地
それで、休んでもいいという気持ちになれた。

は学校に行けと言っていたのに、なんで?」みたいな。田中 はい。でも、最初は不思議でしたね。「今まで

## 新聞配達をしながら

奥地 学校の対応は、どういう感じだったのでしょう。

のことについては、「こんな大切な時期に、なぜこんありえない対応だったと思います。Tという教員でしありえない対応だったと思います。Tという教員でします。をの人は、早のことについては、「こんな大切な時期に、なぜこんのことについては、「こんな大切な時期に、なぜこんのことについては、「こんな大切な時期に、なぜこんのことについては、「こんな大切な時期に、なぜこんのことについては、最悪でした。いま考えても、

自然なスタンスでかまえていてくれたので、話もできもんじゃないから、精神科へ行け」という感じでした。中学の担任は美術の先生で、優しい人で、つきあい中学の担任は美術の先生で、優しい人で、つきあい中学の担任は美術の先生で、優しい人で、つきあいな長や教頭も同じでしたから、まさに排除ですよね。

**奥地** 中学生のころ、新聞配達もしていたそうですね

ました。

ました。そうしたら、やっていいということで、夕刊機械をほしかったのもありましたし、家にいても体がなまっちゃうので、新聞配達ならできると思ったんです。母は「何かあっても、あんたの代わりはできないから」と言って、まずは本職の新聞配達の後ろを1カから」と言って、まずは本職の新聞配達の後ろを1カんですが、バカバカしくなって、自分で新聞屋へ行きんですが、バカバカしくなっていいということで、夕刊ました。そうしたら、やっていいということで、夕刊

たかな。の配達から始めました。月に1万5千円ぐらいになっ

奥地 当時の1万5千円は大きいですよ

ので、配達には何の抵抗もなかったですね。 小学生3~4年生のころ、団地の子ども会で牛乳配達小学生3~4年生のころ、団地の子ども会で牛乳配達

奥地 どのくらいの期間やっていたんですか。

要としてなかったです。「できると思ってなかったけ府台病院の36病棟(児童精神科病棟)に入る前までだったので半年ちょっとですね。母は、万一、病棟でた。だから、80歳を超えても足悪が強くて、介護も必た。だから、80歳を超えても足悪が強くて、介護も必た。だから、80歳を超えても足悪が強くて、介護も必た。だから、80歳を超えても足悪が強くて、介護も必た。だから、80歳を超えても足悪が強くて、介護も必にから、80歳を超えても足悪が強くて、介護も必になったです。「できると思ってなかったけた。日本では、1000円できると思ってなかったけた。だったのできると思ってなかったけた。だったのできない。日本では、1000円できると思ってなかったけた。これが、1000円できると思ってなかったけた。

### 希望会で

奥地 その後、お母さんの呼びかけで希望会という親の会を始められましたね。希望会は病院のなかの親のの会を始められましたね。希望会は病院のなかの親のなくて、自分たちで考え合っていく会なのですよ」と、なくて、自分たちで考え合っていく会なのですよ」と、おっしゃってました。

田中 当事者会ですし、そういうことだったでしょう

の関係が悪くなるでしょう。そして、そのことを嘆いいろ参加してたんですね。みなさん、本気でした。先輩格がっていたんですね。みなさん、本気でした。先輩格がっていたんですね。みなさん、本気でした。先輩格の人たちも、びしびし言っててね。たとえば、あるお母さんが、上から、がみがみ言ったりして、そのことを嘆い

て、泣かれたりする。

を横で聞いていて「ああ、そうか」と思った記憶があ との関係がよくなった」と喜んでおられて、私はそれ 言っていたり、そういうことを、ほんとうに真剣に話 ですよ。なんで、そうやって暴れたと思いますか」と と母親が言っていても、「お子さんはもっとつらいん ずけと言うんですよ。 わらないとダメなんだと学びました。 ります。子どもが暴れるには、暴れさせている環境が し合ってました。でも、その方は1カ月後、 て、関係が悪くなるの当たり前でしょう」とか、ずけ たの。そんなこと言ったら、そりゃ子どもがムッとき ある。だから、子どもを変えようとする前に、 いると、たいへんですよね。それで「私もう死にたい」 そうすると、先輩たちが「あんた子どもになんて言っ とくに家庭内暴力なんかが出て 「子ども 親が変

たから、お母さんには、そうとう教わりました。私が入ったころは、達也さんのお母さんは先輩でし

にずたずたにされたと思いますよ(笑)。「死にたい」っ田中 そうですか。でも、その前に、母も、渡辺先生

てことなんですよね。ですが、よくよく聞いてみると、死にたいほどつらいって言うのは、生活が追いつめられていることもあるん

ている。 奥地 そうそう、そのつらさをわかってほしくて言

田中 そこが重要なんでしょうね。

## 36病棟の子どもたち

奥地 36病棟に入ったのは、どうしてだったんですか。

田中 たまに心理の先生と36病棟に行くことがあって、 てみたら、けっこう同世代の子たちが多くて、似たような子たちがいるぞ、と。それで、寮みたいなかたちで、 ちょっと行ってみようかなと思って、渡辺先生に話してみたら、先生は、病棟に入ることはあまり勧めていてみたら、先生は、病棟に入ることはあまり勧めていなかったんですね。

奥地 病気という考えではなかったですからね

田中 そうなんですよ。だけど、僕は入りました。 んかんの子もいたし、発達障害だなという子もいたし、 な子がいました。でも、病棟のなかにも、やっぱり を引があるんです。新米格から先輩格まで序列があっ て、僕も最初は超新米格だったんですが、中学3年の て、僕も最初は超新米格だったんですが、中学3年の ころにはリーダー格になっちゃいました。

いけないラインというのは心得ていたと思いますね。たいなのもいました。僕らもワルだったんだけど、やったいなのもいました。僕らもワルだったんだけど、やったいなのもいました。僕らもワルだったんだけど、やっとかれてきたわけですから、弱い子たちに対してはワルはしない。でも、そうじゃない生意気なヤツはつぶりないなのもいました。それでも、ほんとうにやっちゃしたりルがあるい方がある。

**奥地** 病棟には、何人ぐらいの子どもたちがいたんで

たんです。それが虎の門病院だったんです。

高瀬先生に「看護師になりたい」という話をしていた

高瀬先生が新聞に募集が出ているよと教えてくれ

んと上林靖子さん、高瀬直子さんの3人がいて、僕が

国府台病院の児童精神科医師は渡辺位さ

とお願いしたんです。

そのころ、

中学は卒業したんだけど、もう1年間いさせてほし

れたり。それで、

院だとは聞い

ていたんですが、

履歴書を送りました。

一流の病

たということですか

た。

田中

タルで40名くらいの、

寮のような病棟でし

**奥地** 病院に入られたのは、自分の意志だったんです

不登校 50 年証言プロジェクト

田中まったく自分の意志です。

奥地

なぜ、

入りたいと思ったんですかっ

田中 同年代の子たちが、いっぱいいたんですね。か田中 同年代の子たちが、いっぱいいたんですねど、 
を卓球したこともあったんですけど、 
すごく卓球が上 
ま父さんもたまに見えたりもしていましたけど、 
複雑 
お父さんもたまに見えたりもしていましたけど、 
複雑 
な事情もあったようです。 
その子とは、大人になって 
な事情もあったようです。 
との子とは、大人になって 
な事情もあったようです。 
との子とは 
との子と 
との子とは 
との子とは

奥地 外来の人と入院の人がいっしょにつきあってい

そうだなあ」と思ったんですね。やったりするなかで、「なんか、いい子だなあ」「楽し田中(つきあっていたというか、いっしょに卓球を

でバッテリーを充電して使ってました。 させてくれました。無線機は、電源はとれなかったのさせてくれました。無線機は、電源はとれなかったのとせてくれたんですが、最初生は、いろんなことをやらせてくれたんですが、最初

**奥地** アハハ。一般の病院ではなかなか無理でしょう

田中 絶対ありえないですよ (笑)。でも、渡辺先生は、 ・いということは、できるだけやらしてくれましたね。 ・当時、渡辺先生が医長だったので、ある程度の裁量 ・当時、渡辺先生が医長だったので、ある程度の裁量 ・ないうことは、できるだけやらしてくれましたね。

面接に行ったそうですね。 で、それまでは長髪にしていたんだけど、髪を切って変れまでは長髪にしていたんだけど、髪を切って

定時制高校に通うようになりました。に臨んだんです。それで、16歳から病院で働きながらぶりにバサッと切って、中卒の履歴書を送って、面接がしに、切ってくれる?」とお願いして、ひさし

### 分校の生徒たちは

すね。野球をしたり、バンドのやり方を教えてくれた

エレクトーンを教えてくれたり、勉強を教えてく

僕も看護師になろうと意識し始めて

看護師さんがいて、よく僕らにつきあってくれたんで

いる」ということでした。ほかにも、もうひとり男性

は「一番最後に笑える奴が誰かと、俺はいつも思って

努力家ですよね。その野中さんが最初に言ったの

まで行った人ですし、著作もいろいろあるようですか

たんですよ。その後、

いう方が

た。その最後の1年のころ、看護師の野中広志さんと

:いらっしゃったんです。当時、彼は24歳だっ

国際医療センターの総看護師長

**奥地** それまで、学習については何かなさってたんで

強したい子は、看護師の詰め所でも教えてもらってまうが教えてということであれば、でしたね。もっと勉がついていて、そこで看護師さんが勉強を教えてくれがついていて、そこで看護師さんが勉強を教えてくれがったんですが、9時から11時までは学習室は電気灯だったんですが、9時から11時までは学習室は電気

- 793 -

- 792 -

役割も担ってくれてました。から、中学生ぐらいの勉強はよく覚えていて、教えるも23~24歳ぐらいで、高校を出て専門学校を出ているだから、全日高校へ行った子もいました。看護師さんした。夜中12時ぐらいまで勉強していた子もいます。

それと、分校(情緒障害児学級)にも行っていました。

奥地 病棟から通っていたのですか。

田中 病棟からです。50mぐらい離れているだけでし

**奥地** 分校で教員をされていた横湯園子さん(本プロ奥地 分校で教員をされていた横湯園子さん(本プロ

という感じで、ちょろちょろ行っていましたね。いう方がいらっしゃいました。来たければ来てもいい田中 そうですね、横湯先生と柴田先生と小川先生と

か。 奥地 分校には、学校みたいな時間割はあったんです

**奥地** 不登校については、どういう対応だったんで

省 ち位置がちがったと思うんです。看護師や医者は厚生 田中 うことですね。でも分校の先生は、 ていろいろ言ってくるわけです。 師や医者は無理をするな、 ね。僕らは、そのあいだに挟まれるわけです。 (当時)の管轄で、 看護師や医者の立ち位置と、 分校の先生は文部省 自分のペースでいい、とい もちろん無理な進学 分校の先生では立 進学や将来を考え (当時)で 看護

ぞ」と言ってました。う人たちから一時に言われても、受けるのはひとりだ中学生当時でも、僕らは見抜いていて、「管轄のちがということではなかったですけどね。そのあたりは、

奥地なるほど。

ごろから、いろいろとしゃべるんですよね。そのなか もいましたけど。考える子は「あれ?」と思ってしま 考える。そういうなかで、 渡辺先生から課題を出されるんですよ。「なんで学校 ように、そういうやりとりをしていました。たとえば にいたように思います。何も考えないで行っている子 たとは思いますよ。 へ行かなきゃならないのかな」とか。それを僕なりに を相手にきちんと伝えるとか、 そういうことをしていたんだと思います。 自分の考えをまとめて、 渡辺先生とも心理の先生とも分校の先生とも、日 だから、 分校の生徒は、何かとても複雑な位置 自然と理屈っぽい子になっ 自分の置かれている立場 いわば理論武装という 毎日の

でも、横湯先生からすると手こずらせる子だったと思います。僕は渡辺先生の影響が強かったこともあって、分校の先生たちとはぶつかることもよくありました。先生たちが何か約束を求めてきても、「できないことは約束しません」と言ったりしてね。できないことを約束するなら、最初からしないほうがいいと。まあ、そういう屁理屈を言う子どもだったので、分校の先生たちからすると、やりづらい子だったんだんじゃないかと思います(笑)。それと、臨床心理の方の影響もずいぶんあって、中学生どうしで「心理学的考えというのは、どうなんだろうね」「心の闇って何だろう」「あの箱庭みたいなので何をみるんだろうね」とか話し合ってました。

奥地 自分たちなりの考え方で。

分の考えに反することを言われたときに対抗する術を社会に出ていったときに、自分の考えを述べたり、自かったですけどね。でも、自分を防衛するというか、田中 大人から見ると屁理屈に聞こえたかもしれな

ナースへ渡す。

そこに担当者の名前を書いて、

しかも、検査のオ

ーダーが何種類もあるんですね。

その試験管を用意して

ので。

ルを書いて貼る仕事から入ったんです。

のときのペンダコが残ってます。

ものすごい数を書く

いまでも、そ

そこにラベ

項目を見て、

試験管を用意するんですね。

へんでした。

するんですが、

ひとりにつき6本ぐらい採血管を用意

採血しているスピードに合わせて用意

しなきゃいけない。

す。身につけたというか、そういうことはあったと思いま

**奥地** 病棟に入ったことで、ある種守られた感じもあり、 病棟に入ったことで、ある種守られた感じもありませんだったでしょったら、 ある種守られた感じもあります。

田中 守られた感じはあります。スティグマというか、田中 守られた感じはあります。スティグマというか、社会に出て行く術みたいなものを身につけていって、自分の考えをきちんと表出することができていったんだと思います。だから、虎の門病院の面接で「どうしてと思います。だから、虎の門病院の面接で「どうしてと思います。だから、虎の門病院の面接で「どうしてと思います。だから、虎の門病院の面接で「どうしてと思います。

奥地 自分で自分を育てたとも言えますね。

田中 そうですね。人によって言うことがちがうこと

だったと思います。で立ち止まって考える時間があったということが大事で、そこで考えることは、ずいぶんありました。そこ

奥地 家に帰りたいとは思わなかったんですか。

見に帰っていたこともあります。 田中 外泊許可をとって、週に1回ぐらい、親の顔を

奥地 でも、病院での生活が楽しかった。

もありますし、むしろ、病院のほうが楽しかったですね。 田中 楽しかったですね。 自分で行きたくて行ったの

ということですね。 奥地 それが、後のいろんなことにつながっていった

### 命と向き合う日々

奥地 その後、どんなお仕事をされてきたんでしょう。

すよね。最初は、その仕事から始められて、その後は。 奥地 何べんも何べんも書くんですから、たいへんで

田中

最初は看護助手で、

内科の採血室と処置室に入

りました。

田中 婦長が替わったり異動もあって、処置室から声を置を持ってこなければいけないとか、そういう仕事まれたりするので、そういうときには、すぐに除細動まれたりするので、そういうときには、臓停止の人が運び込がかかったんです。処置室には心臓停止の人が運び込がした。17歳ごろのことですね。

田中

看護助手なので、

無資格でした。虎の門病院は

資格はどうなってい

たんですか

とやれば、名前とか情報が出てくるんですけど、当時採血する人がすごく多くて、いまだったらIDをピッ

ひとつひとつ手書きでラベルに書いていくのでた

いろんな種類の試験管があって、検査

でしょう。 奥地 17歳で心臓停止の人を見たりしたら、ショック

田中 いやいや。僕は看護師になるつもりだったし、 田中 いやいや。僕は看護師になるつもりだったし、 をはカーテンで閉めきって救命救急の処置をするんで 室はカーテンで閉めきって救命救急の処置をするんで 室はカーテンで閉めきって救命救急の処置をするんで というタ

こともありました。と。そんな体験の機会をいただくです。無理でした、と。そんな体験の機会をいただく

奥地 たいへんなものですね……。

田中 何にも言葉が出ません。命と向き合う日々で、 のことは、ずいぶん考えました。同じ年の女の子で、 のことは、ずいぶん考えました。同じ年の女の子で、

主時は、すごく忙しかったですね。そのころでも 1日1000人だそうです。それでも、診療が終わる時間 2000人だそうです。それでも、診療が終わる時間 帯になると暇もあるので、患者さんたちとよく話をし でました。「働きながら定時制高校に行ってるなんて、 というです。それです。いまは1日

行っていたんですか。 奥地 虎の門病院で働きながら、定時制高校はどこに

> す。その後、転校しましたが。 当時の先生とは、いまでも年賀状のやりとりがありま田中 都立一橋高校です。総武線の馬喰町にあって、

校で勉強というと、たいへんですよね。 奥地 仕事も緊張しながらがんばって、夜は定時制京

田中 ただね、病院に来ている同じ年の人には、「病気で、ずっと点滴しているのもつらい」という人もいる回ほど受診してたんですが、輸血するしか手立てがないんですね。Sさんには当時2歳ぐらいの子どもがないんですね。Sさんには当時2歳ぐらいの子どもがないんですね。Sさんには当時2歳ぐらいの子どもがないんですね。Sさんには当時2歳ぐらいの子どもがいて、彼女は点滴を受けながら、子どものための編物をしたり本を読んだりしていました。こんな環境のなかにいながら生きているという人もいるんだなと。その隣にも同じ疾患のおじいちゃんがいたんだけど、おじいちゃんは来るたび輸血しながらガァーと寝てました(笑)。

はたいへんさの質がちがうとも思いました。多くの命にかかわるような病気の方を見て、自分と

奥地生きていくという感じですね。

田中 不治の病ですしね……。当時、霞が関ビルの最 上階にプロムナードという喫茶店があったんですね。 上階にプロムナードという喫茶店があったんですね。 下に豆粒のような人間がいっぱい見えるわけです。こ たなにたくさんいて、ひとりぐらい粒がなくなったっ で、絶対わかんないよなあって思う。だけど、病院の 救急救命の現場では、ひとりの命を、みんなが総がか りになって助けている。そういうなかで、ほんとうに 人間の命ってどういうことだろうって、考えさせられ ました。虎の門病院には5年いました。

いっしょですか。 奥地 じゃあ、病院を変わるのと定時制高校卒業とは

■ 田中 定時制のほうが先に終わりました。その先の学

「まだ、いなさいよ」と言われて。 校の受験に失敗して、1年浪人したので、病院からも

#### 鍼灸師に

奥地 でも、1年後にはお仕事が変わったんですよね。

田中 そうです。定時制高校に非常勤で化学を担当し田中 そうです。定時制高校に非常勤で化学を担当し田中 そうです。定時制高校に非常勤で化学を担当し田中 そうです。定時制高校に非常勤で化学を担当し田中 そうです。定時制高校に非常勤で化学を担当し田中 そうです。定時制高校に非常勤で化学を担当し

だけれども、手術をしても治る可能性は半分だと言わを骨神経痛がひどくて、病院の整形外科にかかったんを骨神経痛がひどくて、病院の整形外科にかかったんを、ちょうどそのころ、オートバイに乗ってい

んです。しかも、鍼灸師は独立開業もできる。れてたんですね。それで、どうしようかなと思ったれで、これはおもしろいなあ、不思議だなあと思って、高校の先生の言っていたことと、その経験が合わさったの先生の言っていたことと、その経験が合わさった。看護師もいいけど鍼灸師もおもしろいなと思って、れてたんですね。それで、どうしようかなと思って、れてたんですね。それで、どうしようかなと思って、れてたんですね。それで、どうしようかなと思って、れてたんですね。

そうしたら、接骨院の先生が、鍼灸学校へ行くんだったら、うちで見習いしなさいと言ってくれて、鍼灸師の学校へ1浪して入ったんです。21歳のときだったとの学校へ1浪して入ったんです。21歳のときだったと思います。それからは、午前中から午後3時半ごろまで接骨院で見習いをやって、夜に鍼灸師の学校へ通ってました。3年間、見習いしながら学校へ行きました。るには柔道整復師もとっておいたほうがいいというので、さらに3年間、通いました。

そういうパターンで平気だったんですか。 勉強して。病棟時代から夜に勉強してたんですよね。奥地 パワーありますね。やっぱり働きながら、夜は

ない 先生の家って、実家から近かったんですね 先生と再会しました。親がつながっていたのか、 て、ずっと医療機関系で働いてきました。最終的には 声がかかったり、いくつかの病院の整形外科と関わっ れで千葉脳神経外科病院でリハビリを手伝ってくれと 勉強させてもらいました。そこに2年間いて、その流 て入ったんです。そこで、 整復師になったとき、当時の接骨院の院長には申し訳 で開業しました。30歳ごろのことで、そのころ、 千葉脳神経外科病院の鍼治療外来室長をしていました ハビリテーションセンターにアシスタントP その後、 けど、 好きなことだからできたんだと思います。柔道 1993年に鍼灸整骨院を千葉県鎌ヶ谷市 いろんな世界を見たくて、 リハビリのことをずいぶん 江戸川 病院のリ T\*2

奥地 私も2回行ったことがあります。

田中 僕も一度、渡辺先生の家に遊びに行ったことが

\*2 Physical Therapist:理学療法士

かれたのをおぼえてます。事をして、「ここでやっていくんですか」みたいにきが来てくださったことがあったんです。いっしょに食ありました。それで、開業したてのころに、渡辺先生

言うのとでは、患者の聞き方がちがうんですよ。 開業しても、患者さんがつくまではたいへんでした。 大きのとでは、患者さんがつくまではたいへんでした。 大きい病院で白ところが、同じことを話していても、大きい病院で白ところが、同じことを話していても、大きい病院で白ところが、同じことを話していても、大きい病院で白ところが、同じことを話していても、大きい病院で白ところが、同じことを話していても、大きい病院で白ところが、同じことを話していても、大きい病院で自然できた。

は、若い夫婦がいて、話を聞いたら、お花屋さんを開れて、そういう世界に行って、いい体験したなと思うのだ、そういう世界に行って、いい体験したなと思うのだ、そういう世界に行って、からね。数カ月間ですけど、夜の8時まで接骨院やったからね。数カ月間ですけど、夜の8時まで接骨院やったからね。数カ月間ですけど、夜の8時まで接骨院やった、そういう世界に行って、いい体験したなと思うのだ、そういう世界に行って、いい体験したなと思うのだ、そういう世界に行って、いい体験したなと思うのは、若い夫婦がいて、話を聞いたら、お花屋さんを開だ、若い夫婦がいて、話を聞いたら、お花屋さんを開だ、若い夫婦がいて、話を聞いたら、お花屋さんを開だ、そういうは、中途と思うない。

とはできると思いました。とはできると思いました。とはできると思いました。とはできると思いました。とはできると思いました。

**奥地** なるほど。いまは、福祉の仕事もされておられ

# ソーシャルワーカーとして

体みや往診にあてていた時を使ってやっていました。 体みや往診にあてていた時を使ってやっていました。 伊院に併設しながら、ケアマネージャーの業務も、昼 骨院に併設しながら、ケアマネージャーになりました。接 みたいと思って、ケアマネージャーになりました。接 みたいと思って、ケアマネージャーになりました。接 のたいと思って、ケアマネージャーになりました。接 のたいと思って、ケアマネージャーの業務も、全 というのは、おもしろそうだし、やって かたいと思って、ケアマネージャーの業務も、全 情院に併設しながら、ケアマネージャーの業務も、全 田中

口に困窮しているといっても、

ひとつのとこ

田中 第三者評価とか介護施設や保育園の評価機構に登録し 接骨院だけをやっていたわけではなくて、福祉施設の に所属して、 て活動したり、 勉強はきらいではないので(笑)。そのあいだも 多重債務の相談を受けたりしてました。 多重債務相談を県から委託された機関

#### 奥地 借金の相談ですかっ

田中 料電話相談があって、そこでも3年ぐらい働いて、 だんだんと見えてきました。その後、24時間対応の無 かわからなかったんですが、 の相談から入ったんですね。 ソーシャルワーカーとして、 4年間やっているうちに、 最初はどう対応してい いきなり多重債務 41 11

ろいろな相談を受けました。

奥地 どこから、 お金が出ているのですか?

ソ

関係で、 田中 になりました。それと、成年後見人の仕事もしている われて生活困窮者自立支援の仕事にもたずさわるよう 窮者自立支援事業の主任をしている人で、その人に誘 ちが関わっていて、そこでペアを組んだ人が、生活困 知的障害者施設で働いています。 厚労省です。 知的障害や発達障害にも興味を持ち、 そこには、 11 ろんな福祉職の人た 土日は

奥地 れるのですか。 現在、並行して、 W くつの仕事をなさってお

難病患者訪問相談、木曜日が法テラス、 支援、 田中 的障害者施設の夜勤で、 困窮自立支援で、 水曜日は成年後見人の仕事と、船橋保健所での 月曜が法テラス千葉で、火曜日は生活困窮自 土曜日が成年後見活動と夕方から知 朝7時に終わって、 金曜日が生活 午前中は 7

千葉に向かって、 4時以降は知的障害者施設で夜勤。朝7時に終わって、 仮眠をとって、日曜日は夕方4時まで別の仕事をして、 ったん帰宅して、7時45分の電車で、また法テラス 朝9時から仕事をしています。

### 奥地 すごいですね。どこで休んでいるんですか。

田中 綱渡りの日々です。 続きをしなければならないことがあるからです。 ただ、水曜日だけはそのために空けてあるのは、どう は、24時間いつでもなので、電話が来れば対応します。 しても金融機関に行かなきゃいけないとか、 んなことにたずさわっていますが、成年後見というの 基本は祭日以外に休みを取っていません。 役所の手 まあ 61 ろ

### 奥地 たくさんの人たちを支えているんです Á

#### 全体を見る人が 61 な 61

を見るのではなく、全体を見ないといけない。ところ 姉さん」と呼ばれる。 さんがどれだけの困難を抱えているか、誰が全体を見 が、児相でも、18歳をすぎたら支援が届かないですね。 ろんなことにからむわけです。そのひとつひとつだけ に行くと「お母さん」と呼ばれる。ひとりの人が、い て捕まって、身元保証人として警察に呼ばれると、「お 今度は「奥さん」と言われる。また、カツオが非行に走っ 債務を抱えて、生活再建支援の相談に行ったとすると、 われる。あるいは、マスオさんの会社が倒産しかけて 支援者からサザエさんは「お子さん」「娘さん」と言 護保険が必要になって入所したとします。そうすると えば「サザエさん」を例にとれば、サザエさんの家庭 ているのかと言ったら、 えないし、 障害者手帳がなければ基本的には障害者サービスは使 介護保険も65歳以上じゃないと基本的には使えないし、 の5年後を考えるわけです。 波平さんとフネさんが介 ろから見ているだけでは全体が見えないんです。 制度の狭間の問題がある。じゃあ、サザエ タラちゃんが病気になって病院 誰もいないんですよ。

奥地

なるほど。

たなと思います。

どうい

<

## **価値観はひとつじゃな**

奥地 たりしたことと。 がっていると思われますか? いまのお仕事は、 ご自分の不登校経験とつな 不登校して考えたり得

田中 方たちが自分に関わってくれたことは、いまでも覚え 渡辺先生、看護師、 ではないんだけれども、ほんとうによく関わってくれ ているんです。 直接的ではないと思いますが、 恩返ししようと思ってやっているわけ 分校の先生も含めて、 国府台病院で、 スタッフの

> ない 奥地 ですね。 原点というか、 モデルになっているのかもしれ

ぱい もいるし、不労所得でフランス料理をパカパカ食う人 できちゃうことには、あまり興味がないんです。 寝ている人もいる。でも、眠る場所って、結局は布団 てないし、どんなにおいしいものだって、 もいますね。でも、別にフランス料理にあこがれなん たらして働いて、やっと吉野家で牛丼を食べている人 してきているんだと思います。たとえば、会社で汗水 えに、社会の 1枚のなかですね。だから、僕はお金があれば誰でも マンションで寝る人もいれば、2万円台のアパートで 食べられる人なんていない。寝床だって、タワー そうかもしれません。や 価値観はひとつじゃないという生き方を 0 ぱり不登校 ケツいっ したが

買えないですね。自分なりの努力がないと、 ある程度のお金は必要なんだけど、 資格試験だとか、自分の学びたい勉強をするのにも お金だけで試験は

験の影響があるんじゃないかなと思います。 値観はひとつじゃないです。 お金の価値を否定する気はないんだけど、 です。もちろん、多様な価値観があっていいと思うし、 があれば誰にでもできることには、僕は興味がないん 結びつかない。そういうことは興味があるけど、お金 それはたぶん、 やっぱり価 、不登校経

不登校を経験して思いました。 ど、けっして、それだけが価値ではないということは、 ても、まったくそうだと思います。 僕らのころは、いい学校に行って、い Λ, Λ, お給料をもらうことがモデルの時代だったけ いま、支援者側になっ い会社に入っ

### 不 のままなの

奥地 不登校していた人と会ったりはしますか。

やっ 田中 てい うかね。ひとり、看護師になって、おばあちゃんになっ る人もいますし、 ぱり、みなさんにとって、「不」のまま、なんでしょ 意外と少ないですね。 フェイスブックでつながって なかなか連絡がとれない V

#34 田中達也さん

る人もいますけど。

卒業生だけでも、通いのほうとホームエデュケーシ 奥地 ンを合わせたら、 私は不登校専門でやってきたので、シューレの 1年に数百人は出会っています。 日

田中 すごい数ですよね

奥地 前のことです。 ているので、私たちにとっては、不登校はごく当たり が対象です。 ほかにも、親の会に来る人とか、すべて不登校 毎日毎日、不登校の子どもと出会ってき

思い 田中 るソーシャルアクションじゃないですか。あの時代に それを始めたというのは、 ・ます。 奥地さんが東京シューレを始めたのは、 とんでもない反逆精神だと 11 わ Ø

奥地 前連絡もなく来たんですよね。 始めて3日目の午前中に、 背広姿で3人で。 「こ 教育委員会の人が事 田中

否定から入らないということですね。

知的障害

元気になっているんだし、友だちもできているし、ひ 奥のほうに隠れて、息を飲んでいる。「私たちは親の 学校へ行っていない子たちが来てるんですが、 言って来ているんですよ」って(笑)。 なくて、学校には行けないけど、こっちには来たいと 「いや、別に私たちが囲い込んで学校に行かないんじゃ るはずだ。なんで学校へ寄越さん」と言ってくるしね。 なんかも「東京シューレへ行けるんなら、 かりました」と言って帰っていきましたけどね。当時 とりで家でポツンとしているよりいいんじゃないです と思って始めたんだけど、そのおかげで、こうやって 会をやってきて、子どもたちもすごせる場所がほしい けませんか?」と私が言ったんですよ。子どもたちは こで何をやっているんですか」ときくから、 なかなかたいへんでした。子どもの在籍校の校長 いけませんか?」と言いました。そうしたら「わ 学校に来れ 「ここは

甲中 ているじゃないですか。貧困問題でも居場所って大切 居場所づくりって、 東京シューレを始めたのは、すごいことだと思 いまも子ども食堂とかやっ

> とって、あると思いますね。ドラマでもフリースクー たと思うんですけど、シューレの影響で変わったこ じゃありえなかったですね。 ルが出てきたりする時代じゃないですか。僕らの時代 で、東京シューレのスター トは、そういうところだっ

たね 奥地 もいろいろできています。 (笑)。だんだん、輪が広がって、 ドラマに出てきたときは、 私もびっくりしまし いまは全国に

田中 変わってきていますしね。 校へもどすのはいいことではないと、 親の 意識も、学校へ行けないからって無理に学 最近は考え方が

奥地 国も変わってきたんです。

田中 そうですね

ない 奥地 ۲, 文科省は「不登校を問題行動と判断してはなら 全国へ通知まで出してくれています。

田中 り行政主導じゃダメなんですよ。 それは地道な活動の成果だと思います。 やっぱ

お亡くなりになるまで、 否を考える会をつくり、そこに渡辺先生に来ていただ がどう変わるか。私たちは希望会から学んで、 いていました。 いていました。国府台病院を定年退職されたあとは、 私たちは、 親が大事だと思ってます。 東京シューレにも来ていただ 親の意識 登校拒

#### スキルアップできな も含めて世 の 中 61

そのままの状態をイエスとして受けいれる」と書いて 行かないで生きる』で、お母さんが「子どもの行動は、 最後に聞きたいんですが、『登校拒否・学校に

おられましたが、いま、達也さんはどう考えられますか

思いますのでね。 たり、なんかピッチが悪かったり、波がある。だから くても反応として出ていて、なんとなく動きが悪かっ ダラダラしているのには、 います。「なんでダラダラしているの?」じゃなくて、 いまの状態を否定するところから入らないことだと思 いことってありますね。小学生でも、 の子でもそうなんですけど、言葉でうまく表出できな その子なりの背景があると 言葉にはできな

になるんだと思うんです。 年生から始まって、親も子育てしながら、1年ずつ親 でもあるんですよね。 かな。だから、子どもの誕生日は、 も子どもをもって、 いま、私も孫がいますけど、子育てというのは、 初めて親になりますからね。親1 そこはとても大事なところ 生んだ人の記念日 親

親になられていたというのは、幸せなことだったと思 辺先生との出会いもあって、子どもを受けとめられる 奥地 そうですね。スタートですね。 お母さんも、 渡

たり、 田中 母とはとてもよく話をしました。 が入ってきたりしていたんですが、病院についていっ そう、 週2回ぐらい買い物をしたりして、 思います。最後のほうは、 ちょっと認知 最期まで、

奥地 そうですか。すごいですねえ。

なんです。 世の中、スキルアップできる人ばかりじゃないんだよ。 田中 言ったんです。 も必要だよねと話したとき、母がぽつんと「でもねえ、 と思っている。そんな話を母としたことがあったんで た時代がありましたね。僕はある面では、それに賛成 のは、 仕事の話はよくするほうでした。ひとつおぼえている スキルアップできない人も含めて世の中なんだよ」と 自分で努力してスキルアップしていくという姿勢 小泉政権のとき、 僕が生活困窮に関われば、 やっぱり努力してやっていくのは大切だ スキルアップとやたら言われ その話をしましたし

奥地

それは、

とくに福祉の世界では、

大事な言葉で

しょうね

れたとき、 も胸に置いておきたいことです。 までも心に残っています。 を、だいぶ大人になってから母に言われて、 ればいいという考え方は一面的な考え方だということ それもひっくるめて世の中なんだと。 持っている人だっていれば、努力が報われない人もい れば、努力はしているけれども給料が少ない スキルアップできる人ばかりじゃない。 はい。 まったくその通りだと思いました。たしか それを福祉の専門家でもない母から言わ 福祉職として、 スキルアップす それはいつ それはい 、人もいる。 障害を

けました。 今日は懐かしい話を含め、 ありがとうございました。 Λ, , お話たくさん聞

奥地

不登校50年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #34 田中達也さん

インタビュー日時:2018年1月16日

記事公開日:2018年3月1日 場 所:東京シューレ葛飾中学校

聞き手:奥地圭子 写真撮影:木村砂織 まとめ:奥地圭子

#### #35 高岡健さん

屮

## そういうことです。ですから、

高岡

同級生のなか

たかったんだ。 担任が「高岡よ、

11

ときいてきたんですね。

「住友」が輝かしかったんですね

#### #35 高岡 健 さん



(たかおか・けん)

1953年、徳島県生まれ。1979年、岐阜大学医学部卒業。岐阜赤十字病院精 神科部長、岐阜大学准教授を経て、2015年より岐阜県立こども医療福祉セン ター発達精神医学研究所所長。日本児童青年精神医学会理事。少年事件の精神 鑑定も数多く手がける。雑誌『精神医療』(批評社)編集委員。著書に『人格 障害論の虚像』(雲母書房 2003)、『引きこもりを恐れず』(ウェイツ 2003)、『不 登校・ひきこもりを生きる』(青灯社 2011) など多数。共著に『不登校を解く』 (共著:門眞一郎、滝川一廣/ミネルヴァ書房1998)、『時代病』(共著:吉本 隆明/ウェイツ 2005)、『殺し殺されることの彼方』(共著:芹沢俊介/雲母 書房 2004) など多数。

インタビュー日時:2018年2月3日

聞き手:山下耕平、山田潤

場所:フリースクール・フォロ

写真撮影:山下耕平

爿 子ども時代、とくに学校との関係からうかがってい このプロジェクトでは、 徳島のお生まれでしたね。 多くの方に、ご自身の

ま

当時、成長産業だった住友系

(第2次産業)

の会社員

していく漁業(第1次産業)

の家の子どもと、

の子どもとがいたわけです。

高岡さんは、

うのは学校の前の木工製作所のことではなくて、 が入っていて、校長がわざわざ訓示で「この工場とい 来していて、道路を占拠するぐらいでした。 一方で、住友の関係の会社がどんどん進出していまし 中心とした町だったんですが、それが解体されていく 新居浜は、 年生のころ、 当時は、 町には、 1953年、 校歌にも「工場のサイレン」というくだり いわば住友の町でした。もともとは漁業を たくさんの住友系の従業員が自転車で往 愛媛県の新居浜市に転校したんですが、 徳島市生まれです。 小学校4~5 住友

の工場のサイレンのことです」と説明するぐらいでし

岩

高岡さんの家はどうだったんですか

業の家の子とも住友系の会社員の子とも、 もあって、私はどちらと親しいということもなく、漁 つきあっていました。 父親は四国電力に勤めていて転勤族だったこと どちらとも

る仕事に従事していました。それはあたりまえのこと んですね。アオサ採りと言ってましたが、 になっていて、 漁業の家の子は、ときどき学校に来ないことがある その間は学校公認で休んでいるわけで 海藻を集め

- 811 -

ワシは一度おまえの担任をやってみ

いま考えても先生がうまかったなと思うのは、新しい

途中でクラスを替えられたことがありました。

それから、

私は落ち着きがなかったせいか、

学年の

スを替わりました。もので、「そりゃよかったね」と言って、途中でクラも機嫌よく「いいですよ」と言ってね。母親も単純な

援学級に移されているのかもしれないですね。 山下 いまだったらAD/HDとか言われて、特別支

いいことだけを覚えているのかも知れませんが。いうことはありましたが、小学校では、放送係などをいうことはありましたが、小学校では、放送係などをいうことはありましたが、小学校では、放送係などをいることはありましたが、小学校では、放送係などをいることはありましたが、小学校では、放送係などをいることにはありましたが、小学校では、放送係などをいることには、

### 境目にあった学校ふたつの世界の

**山下** 漁業と会社勤めでは、ぜんぜん世界がちがいま

高岡 言葉として整理できたのは後になってからです高岡 言葉として整理できたのは後になっただ、対立が、感じているものはあったでしょうね。ただ、対立が、感じているものはあったでしょうね。かだ、対立が、会社勤めの家庭の子どもには、子どもだけの子どが、会社勤めの家庭の子どもには、子どもだけの子どが、会社勤めの家庭の子どもには、子どもだけの子どが、会社勤めの家庭の子どもには、子どもだけの子どが、会社勤めの家庭の子どもには、子どもだけの子ども神輿が用意されていて、それで祭に参加したことにも神輿が用意されていて、それで祭に参加したことにも神輿が用意されていて、それで祭に参加したことに対している。

不登校の子がいたという記憶はありますか? た時期と重なりますが、子ども時代に、身のまわりでキごろの話ですね。ちょうど不登校も問題にされ始め半ごろの話ですね。ちょうど不登校も問題にされ始め

いですね。覚えてないだけかもしれませんが。登校のようなかたちで連続で休んでいる子は記憶にない。 漁業の仕事で休んでいる子はいましたけど、不

# 山下 中学校以降は、どうだったんでしょう。

来ていたと言えるでしょう。の子はいなくて、いわば上昇志向の家の子どもたちがの子はいなくて、いわば上昇志向の家の子どもたちがでは均質化されていました。漁業など第1次産業の家高岡 国立大学の附属中学だったので、そういう意味

山下 地域共同体に根づいていたわけでもなく、高岡 山下 地域共同体に根づいていたわけですね。学校を批判すると 社会や学校制度を批判することもあるかと思いますが、社会や学校制度を批判することもあるかと思いますが、 社会や学校制度を批判することもあるかと思いますが、 社会や学校制度を批判することもあるかと思いますが、 
このでしょうか。

『預言内がF野球団』(秦田E告告晋L)34)といいれば、そのなかに対立もあったりするわけです。て一枚岩ではない。あちこちから流れてきている人も高岡 共同体も、実際はいろいろなわけです。けっし

う映画がありましたが、あの映画では、第1次産業中『瀬戸内少年野球団』(篠田正浩監督1984)とい

第2次産業世界から光とともにやってきたわけですね第2次産業世界から光とともにやってきたわけですねぐ校があったわけです。映画の舞台は淡路島で、敗戦学校があったわけです。映画の舞台は淡路島で、敗戦学校があったわけです。映画の舞台は淡路島で、敗戦の影響は島の共同体にもおよんでいましたが、網元も神社も残っていました。その時期の島の共同体にとって、学校は、そういう光とともにやってくる人との関係のなかで成立するものでした。滝川一廣さんの言うところの学校の「聖性」ですね(本プロジェクトインタビュー#66参照)。

山下 高岡さん自身は、学校に「聖性」を感じていた

かったですね。 高岡 私の実感としては、ぜんぜんそういうことはな

そのあたりは、だいぶちがうのですね。高校はどうさ山下をそうですか。滝川さんとは世代も近いですが、

れたんでしょう。

と言ってました。それは、 ないですか」ときいたら、「バカなことを言っちゃい 出するときに、 なら、もどしてください。だけど、受験で調査票を提 る」と言ってきたんです。 医学部を受けるなら停学を解除して学校にもどしてや から来るなと言われた経験はあるんですね(笑)。し 70年に無期停学処分を受けました。ですから、 は1969年だったんですが、高校全共闘を結成して んだ。その商売に反するようなことをすると思うかね」 かん、私たちはひとり進学させていくらという商売な 分から学校に行かなかった経験はないんですが、学校 進学校だったこともあって、教師が「旧帝大か 公立の進学校に進みました。高校に入学したの 政治闘争で処分歴ありとか書くんじゃ そのとき、私が「もどれる ある意味でとても誠実な対 私は自

屮 大学は、 なぜ医学部に?

応だったんだと思います。

まあ、 高岡 でいたので、 ということですね。 医学のほうが範囲が広いだろうと思って選んだ もともと思考方法としては理系の思考になじん 理学部か医学部に行こうと思ったんです。

屮 精神科医になろうとしたのは?

高岡 だったんです これは疲れそうだなと考えて、 消去法でした。これはおもしろそうじゃないと (笑)。 残ったのが精神科

屮 大学時代も学生運動はされてたんですかっ

高岡 小さな政治党派に所属して活動してました。

てい 屮 て、 しかし、 しんどい時期ですよね。 時代的には学生運動も収束時期に入っ

大事だと思ってました。闘争というの 後退戦と言ってましたね。 負けない は、 言ってみれ 11 が

数の大小は問題ではない。そういう意味では、 気楽さが大事だということがわかったように思います。 · やっていてよかったなと思います。 ば自分の頭で考えることですから、それさえあれば、 なんかもありましたからね。内ゲバが一番しんど そういうときに、 人への信頼とか、 一方では、 いい意味での 闘争を 内ゲ

頼が大事だというのは、 うですが、 じょうか。 下 9 2 4 岡さんは、 集団よりも個人が大事だとか、大衆への信 -2012)さんからの影響も大きかったよ 吉本隆明(詩 そういう背景もあったんで 人、 思想家/

高岡 たですね。 ありますね。 吉本さんから学ぶものは大きか 9

多い。『検証内ゲバ』(社会批評社2001)によると、1969年以降、 となっている。 死亡者113名、 暴力)のことで、 した抗争のこと。左翼党派内または左翼党派間での暴力を指す場合が 内ゲバ:内部ゲバルトの略。ゲバルトはドイツ語 Gewalt(威力、 同一党派または同一陣営などの内部での暴力を使用 負傷者4600名以上、 発生件数約1960件以上

#### 雇 61 止めにされたけど

すか? 屮 精神科医として師事していた方はおられるん

高岡 森山公夫さんには影響を受けました。著作をずっと読 京大学精神科医師連合とつながりができて、委員長の 山さんに来ていただいていたこともありました。 んで尊敬していたこともあって、勉強会を開いて、 直接、 師事していたわけではないんですが、 東

れたり、 中下 森山さんと言えば、東大で赤レンガ闘争をさ いわば反精神医学の旗手ですよね。

高岡 そうですね。 ただ、 闘争面だけではなくて、 学

\* 2 は「外来派」と呼ばれた。東大精神科の分裂は、 連合は病棟を占拠し、自主管理した。対立する東大当局側の医師たち 病棟の外観から赤レンガ闘争とも呼ばれる 1969年9月、 森山公夫らを中心とする東京大学精神科医師 1996年まで続いた。

があったほどです。を辞退されて、以後、しばらくは受賞制度がない時期を辞退されて、以後、しばらくは受賞制度がない時期をおいたんですが、ちょうど闘争の時期と重なって賞術的にも非常に優れた方でした。学会賞も受賞する予

高岡 私が雇い止めにされてしまったんですね。 も撤回を求めて闘争を組みました。そうしたら、次に らでしょう。不当な雇い止めだということで、私たち 考え方のちがいがあって、その指示に従わなかったか クビ切りですね。医員というポジションで、 先輩にあたる人が雇い止めにされたんです。 をしていました。 くらでもあったんですが、あまりにシャクにさわるん の更新なんですが、その更新を止められた。教授との のみの研修医をしていました。その2年目のとき、 3年目も雇用関係がないのに岐阜大学病院で診療 1 979年からです。 2年間、 大学病院で精神 就職口はい 実質上の 1年ごと

山下 そんなことができたんですか?

ですね。 期がありました。ちょうど上の子が幼稚園に行く前ぐ (笑)。 ます。近所のお母さん方からは「画家じゃないか」と しばらくは、月・水・金はどこにも行ってなかった時 か「書道を教えてるそうだ」と思われていたようです せて公園に行ってました。あのころが一番楽しかった らいだったので、そのころはベビーカーに子どもを乗 大学病院から給料は出ないですし、長続きはしなくて して、火・木・土はよその病院で働いてました。しかし、 たんです (笑)。 法的にはどうかわかりませんが、 いい噂だけを聞いていたんでしょうけど。 いまからふり返ってもいい時代だったと思い 月・水・金は大学病院で勝手に診療 でも、やって

# 不登校を「治療」していたが

山下 最初に医者として不登校の子に出会ったのはい

す。80年代初頭ですね。

山下どういう子どもたちだったんでしょう。

高岡 ひとりは、高校生の女の子で、お母さんがつれ高岡 ひとりは、高校生の女の子で、お母さんがつれてきてました。学校に行かず、ずっと家にいるというのとの子で、お母さんがつれ

> らなかったということでしょうか。 拒否の見直しがあった時期ですね。そういう見方は知 をのころには、すでに精神医学のなかでも登校

思って、神経症の治療をしていました。 
なりに一所懸命、学校にもどすことがいいことだとたのは、もう少し後のことですね。最初のころは、私たのは、もう少し後のことですね。そういう考えを知っ

組みで見ていたということでしょうか。山下をのときの見方としては、力動精神医学の枠

表現できないことが神経症としてあらわれているのでていることがあるのではないか。そこで本人が言葉で高岡 そうです。家族間のなかで、本人に負担になっ

と捉える。 
と捉える。 
力動精神医学:精神現象を生物・心理・社会的な力のぶつかり 
ま3 
力動精神医学:精神現象を生物・心理・社会的な力のぶつかり 
と捉える。

はオーソドックスな方法だったと思います。現してもらうということですね。それは、当時としてはないか。ですから、その葛藤を作品などを通じて表

しょう。 考え直していったのか、そのあたりはどうだったんで考え直していったのか、そのあたりはどうだったんでよってか、実際に自分の診療がうまくいかないなかで、 出かの人の知見に

高岡 両方ですね。実際、家族のなかの力動で本人に高岡 両方ですね。実際、家族のなかの力動で本人に負担になっているときの表現と、診察室ではどうもちががないんですね(笑)。本人の表現も、家のなかでのでのでしているときの表現と、診察室ではどうもちがで会うこともあるんですね。そうすると、診察室のようすとちがって元気なんですよ。これはどうも考え直さないといけないと思っていたところ、河合洋さんのさないといけないと思っていたところ、河合洋さんの考えに出会って、自分の治療論を見直すきっかけになりました。

山下 考えを変えたら、うまくいったということで

ても、うまくいくものだなと思いましたね。 高岡 おたがいに、しちめんどくさいことを考えなく

山下 「ほんとうは行きたい」と勘ぐるのではなく、「行 はない」という思いをそのまま受けとめるという

**高岡** 身体が拒否しているのだから、それが一番正直

### 稲村問題の検証

ておられたので、当時のことをおうかがいしたいと思題となりましたね。高岡さんは、この問題に深く関わっ期に治療しないと30代まで尾を引く」という見解が朝期に治療しないと30代まで尾を引く」という見解が朝期に治療しないと30代まで尾を引く」という見解が朝期に治療しないと30代まで尾を引くしている。

たのでしょう。います。児童青年精神医学会では、どういう経緯があっいます。児童青年精神医学会では、どういう経緯があっ

高岡 新聞記事が出た翌年の9年、渡辺位さんら5名高岡 新聞記事が出た翌年の9年、渡辺位さんら5名を提出されました。それを学会理事会が子どもの人権に関する委員会に付託して、調査することになったんです。それで、人権委員会委員長の川端利彦さんと私が調査を担当することになったんです。くわえて、私が調査を担当することになったんです。それで、人権委員会委員長の川端利彦さんと、私が調査を担当することになったんですね。

て引用したり、恣意的な数字の操作がありました。それにことがわかりました。それから根拠としていた「登校でました。そうすると、稲村さんの使っていた「登校でました。そうすると、稲村さんの使っていた「登校でました。そうすると、稲村さんの使い方はいいかげれで、先行文献を検証することもなく思いつきで使っていたことがわかりました。それから根拠としていたが計画査もいいかげんでした。意図的なのかどうかわかりませんが、省いている数字があったり、まちがえかりませんが、省いている数字があったり、まちがえかりませんが、省いている数字があったり、まちがえかりませんが、省いている数字があったり、まちがえかりませんが、省いている数字がありました。そ

という結論を出した次第です。という結論を出した次第です。稲村さんは法律を守ってれと、治療法の問題ですね。稲村さんは法律を守ってれと、治療法の問題ですね。稲村さんは法律を守ってれと、治療法の問題ですね。稲村さんは法律を守って

ものですよね。 
山下 調査は、実働としては高岡さんが動かれていた

高岡 そうです。

られますね。病院にも実際に行かれたんでしょうか。山下 調査のとき、稲村さんに面会して話をきいてお

よく知っているということで話を聴かせてもらいました斎藤環さん、そして佐々木由紀子さんという医師に話をうかがいました。佐々木さんは当時、稲村さんの話が出題になった浦和神経サナトリウムの常勤にで、子どもの診療はしていませんでしたが、実際をある。子どもの診療はしていませんでしたが、実際をある。

た。しかし、病院には行っていません。

山下 法律を守ってなかったというのは

高岡 稲村さんは、当時で言うところの同意入院(現在の医療保護入院)をさせていたんですね。これは本在の医療保護入院)をさせていたんですね。これは本ですが、その要件は「精神障害者であって医療および保護を必要とする場合」です。しかし、稲村さんは「欠保護を必要とする場合」です。しかし、稲村さんは「欠席目数のリミット」が近づいているという理由で強制入院をさせていました

為はあったんでしょうか。あったということですね。ほかに人権侵害にあたる行あったということですね。ほかに人権侵害にあたる行めるほど。くわえて、ガードマンの問題などが

院のふつうの精神科病棟で、保護室も一般病棟と変わは思春期病棟だと言っていたんですが、実際は民間病いました。それと、入院させていた病棟は、稲村さんのいました。それと、入院させていた病棟は、稲村さんの場

に入れられる人の多くがベッドに拘束されていました。また、女性患者が着替えをしているときに、たまたま男性看護師が入ってしまったことをきっかけに集団を男性看護師が入ってしまったことをきっかけに集団を動が起きたことがありました。その人たちはまとめて強制退院させられてましたが、それも問題があったと言えるでしょう。

山下 投薬治療での問題はあったんでしょうか

むをえない場合だけ」と言っていましたが。 高岡 水薬を食べ物に混ぜて飲ませていました。 「

### 「遷延化」するのは

拒否の予後」を問題にされていて、遷延化するとひきもう少しうかがいたいと思います。稲村さんは「登校と思います。しかし、治療論や概念の部分については、と思います。しかし、治療論や概念の部分については、と思います。

岡さんの考えをお聞かせください。 いったんおいて、治療論についてどうだったのか、高考えたいところだと思いますので、人権侵害の問題はいったんおいて、治療論についてどうだったのか、高いったんおいて、治療論についてどうだったのか、高いったんおいて、治療論についてどうだったのか、高いったんおいて、治療論についてどうだった。

チューデント・アパシーとはどこがちがうのでしょう。山下 「無気力症」というのは、笠原嘉さんの言うス

高岡 笠原さんの本はすべて調べたことがあるんです

が、笠原さんはスチューデント・アパシーという概念を肯定的に捉えているんですね。「ある種のやさしさ志向」「廻り道の時代」でもあるといって、当事者にとって意義のあるものだと捉えていたわけです。また、「無気力症」という言葉は、ほぼ単独では使われていません。笠原さんは学術的な人ですので、恣意的な使い方はしてないわけです。稲村さんのように、否定的な概念として、いわば国を滅ぼす病としては捉えてないんですね。そこがまったくちがいます。

笠原さんは記述精神医学(実際にあるものをそのまま記述して、そこから考えていく精神医学)を専門としておられました。京大の保健管理センターに勤務しておられて、そこで留年生と接するなかで気づかれたてもうまくいかない。 一番うまくいくのは、助手としてもうまくいかない。 一番うまくいくのは、助手としてもうまくいかない。 一番うまくいくのは、助手としてもうまくいかない。 一番うまくいくのは、助手としですけど、そもそも金も地位もない存在ですね。そうですけど、そもそも金も地位もない存在ですね。そうですけど、そもそも金も地位もない存在ですね。そうですけど、そもそも金も地位もない存在ですね。そうですけど、そもそも金も地位もない存在ですね。その関係でした。 おいうはいかない というに かいうんとのつながりが一番うまくいくんだということを発見された。また、京大を中退した人が、かえっとを発見された。また、京大を中退した人が、かえっとを発見された。また、京大を中退した人が、かえっとを発見された。また、京大を中退した人が、かえっとを発見された。また、京大を中退した人が、かえっとを発見された。

ラテン語の pater (父)。

生活や行動に干渉し制限を加えるべきだとする考え方。 強い立場の側が、相手の利益のためには本人の意向にかかわり パターナリズム:親と子、上司と部下、医者と患者との関係な

語源は

あるわけです。 いた。スチューデント・アパシーは、そういう文脈に て幸せな人生を歩んでいるということにも気づかれて

屮 すね。ひきこもりを治すべきものとしてみるのか。本 人に必要なプロセスとしてみるのか。 それは、 その後のひきこもり観にもつながりま

のと、 高岡 そこには道がひとつしかないですから、その道を進む そうすると、 よっぽどでないかぎり、その善意に沿って応じますね に子どもはダメになると思っていたんでしょう。そう です。稲村さんは、学校に行かなかったら、ほんとう 想の根本の部分は何かというと、徹頭徹尾、 わった面があります。では、目に見えにくい部分、発 入院治療のあり方などですね。これは批判を受けて変 いう主観から善意で接していたら、子どものほうも、 ると思います。 そうです 根本的な発想を規定しているものとに分けられ ほんとうにダメになってしまうんです。 目に見えるものというのは、たとえば ね。稲村さんの治療は、目に見える 善意なん

> ます。 んの治療論の根本には、そういうところがあると思い のでなければ、立ち止まるかもどるしかない。稲村さ

思います。「遷延化」しているとすれば、 れた人たちが、事態を長引かせてきたということだと あったと思います。そして、そういう流れに たことによる部分もあるわけです。 の事情だけではなくて、そういう流れに直面させられ 稲村さんだけではなくて、 そういう流れは それは個人 全国 巻き込ま

屮 ということですか 治療の枠組みそのものが「遷延化」させてきた

動して成立するものです。 単独で成立するわけではなくて、世の中の価値観と連 とでしょうね。 そういうことです。 そういう流れも含めてのこ もちろん、 治療とい うの は

中 それが本人を「無気力化」させてしまってきたと。

長引かせてきてしまったのだろうということです。 自分はダメだと思わせてしまって、それゆえに

#### 善意はや つ か

に 屮 善意ほど怖いものはないわけですね。 そういう意味では、よくおっしゃっ 7 いるよう

高岡 なものはないわけです。 ますが、マルクスの『資本論』第1巻に出てきます。 言いますね。もともとはダンテの言葉だとも言われて いずれにせよ、パターナリズムや善意ほどやっか 「地獄への道は善意で敷きつめられている」と 47

き継が 点は、その後、稲村さんの弟子である斎藤環さんに引 不登校が「遷延化」してひきこもりになるという観 れていますね。 斎藤さんは筑波大学の院生のと

> していました。 き、浦和神経サナトリウムで、稲村さんのもとで診療

校をひきこもりに替えただけなんです。斎藤さんは強 制入院などはさせていないでしょうが、稲村さんの根 ていることを、まったく踏襲してますね。 本の発想は正しいと思って、ずっとやっていると思い きこもり』(PHP新書1998)は、稲村さんの言っ 斎藤さんも善意なんですよ。 彼が書いた『社会的ひ いわば不登

しょう。 屮 ていたそうですね。これは、 斎藤さんは当時、民間の「入寮施設」にも関 どういうことだったので わ 0

だったと思います。 タビュー参照)。その報道をきっかけに入院治療がで 実態について報道しましたね(#19堂本暁子さんイン きなくなって、民間施設に入寮させていたということ TBSで堂本暁子さんが稲村さんの入院治療 0

報道については同情するところもあります。 稲村さ

だと思います。 言えないですが、そういう意味でも善意の人だったんだまし討ちだったと。私は番組を見てないので何ともでまし討ちだったと。私は番組を見てないので何ともですね。だから、

だったんでしょう。
山下 学会のなかで、ほかの精神科医の見方はどう

高岡 よくも悪くも児童青年精神医学会には品のよい高岡 よくも悪くも児童青年精神医学会には品のよい方が多いので、こういう問題に対しては患者の側に立方が多いので、こういう問題に対しては患者の側に立たので、ちゃんと学術的に検討して、学会誌には品のよいなので、ちゃんと学術的に検討して、学会誌には品のよいでので、ちゃんと学術的に検討して、学会誌には品のよい

**山下** このときの問題は、その後に引きずったことは

高岡 不登校そのものに対しては、これ以降はなかっ 高岡 不登校そのものに対しては、これ以降はなかっ と私とのあいだでの論争があったわけですが、学会の と私とのあいだでの論争があったわけですが、学会の なかではあまり議論になっていなくて、いわば場外乱

山下 ひきこもりについての治療論は、学会での論争

しょう。 には18歳までの年齢を対象としているからでもあるで高岡 - そうですね。児童青年精神医学会なので、おも

### 精神医学化の過程は

山下 高岡さんは『不登校を解く』(ミネルヴァ書房

たいと思います。 1998)で、登校拒否のことについて、お聞きしが精神医学化されたあたりのことについて、お聞きしいくつか質問したいのですが、まずは最初に登校拒否いた整理されていましたね。その整理にもとづいて、

高岡 うのは因果なもので、飛び込んできた現実に名前をつ 経症的登校拒否」という名前がついて、その後、学校 眼があったんだと思います。そこで「学校恐怖症」や「神 ないですけれども、これらの方々は、それだけの観察 それと高木隆郎さんですね。佐藤さんは精神科医では 拒否の精神医学化をされたのは、佐藤さんや鷲見さん、 インタビューされてますね。私はお会いしたこともな たえ子さん(#44)など、いわばレジェンドの方々に け び込んできたということだと思います。精神科医とい いですし、たいしたものだと驚きました。最初に登校 を拝見すると、佐藤修策さん(#01)や中沢(鷲見) な いと座りが悪いわけです。 かない子どもたちのことが精神科医たちの目に飛 「不登校50年証言プロジェクト」のインタビュー そこで精神医学化が起

きてきたんでしょう。

もう少し広い流れで言うと、66年に学校基本調査で、学校ぎらい(現在の不登校)」の数が報告されるようになってから、不登校の数はいったん減っていますになってから、不登校の数はいったん減っていますたんだと思います。そのときは、登校拒否として精神たんだと思います。そのときは、登校拒否として精神たんだと思います。そのときは、登校拒否として精神たんだと思います。そのときは、登校拒否として精神たんだと思います。そのときは、登校拒否として精神たんだと思います。そのときは、登校拒否として精神たんだと思います。そのときは、登校拒否として精神たんだと思います。そのときは、登校拒否として精神ないで、そこで学校になじめない子どもたちが急速に増えていって、多くの精神科医の目に飛び込んできた。そういうことだったのではないでしょうか。

次産業化していく時代ですね。 山下 しかし、最初の精神医学化は60年前後で、第2

しょうか。 
はそういう子らが精神科医のもとに来たのではないではそういう子らが精神科医のもとに来たのではないではそういう子らが精神科医のもとに来たのではないでしょうか。

んや高木隆郎さんは神経症の枠組みで見ていますよね。 みで「学校恐怖症」と捉えたのに対して、佐藤修策さたちだったと言われていますね。そのころの精神医学の枠組 上、たしかに当初は、都市部の裕福な家庭の子ども

現在では考え方がちがっていると思います。 ちがいだと断言されていました。高木さんは、当時とちがいだと断言されていました。高木さんは、当時と高岡 そうですね。ただ、高木さんはその後、登校拒

山下 高木さんにもインタビューさせていただきた かったのですが、健康上の理由で難しかったんですね。 学校恐怖症はアメリカで school phobia と言われてい たものを輸入したわけですよね。登校拒否もイギリス で school refusal と言われていたものを輸入した。い で school refusal と言われていたものを輸入した。い で school refusal と言われていたものを輸入した。い で school refusal と言われていたものを輸入した。い

> れやすかったんだと思います。 高岡 そういう言い方でいいと思います。精神医学化 高岡 そういう言い方でいいと思います。精神医学化 になるときは、残念ながら輸入から始まることが多 が始まるときは、残念ながら輸入から始まることが多 がかまるときは、残念ながら輸入から始まることが多

### 反—精神医学化

は文脈がちがうものとして書かれてますね。神医学化」という名前で、いわゆる「反精神医学」とちが出てきたわけですね。高岡さんはそれを「反―精山下 その後、そうした精神医学化に異を唱える人た

うのは病理的な状況に対する正常な反応だということ疾病か」という論文を書かれていて、登校拒否といが、渡辺さんがおっしゃっていたのは、登校拒否といきす。の文脈で考えるべきだということを主張されています。

でしたね。

**山下** 高岡さんは、渡辺位さんの考え方はどう思われ

高岡 あまり面識はないんですが、書かれたものから 言うと、全面的に賛成したいと思って読んだ記憶があ

山下 それはいつごろでしょう。

環さんや山登敬之さんも大事にされていました。 思います。私は、河合さんとは親しかったんですね。思います。私は、河合さんとは親しかったんですね。

うものでしょう。 医学化が起きたと指摘されていますが、これはどうい 医学化が起きたと指摘されていますが、これはどうい

### 偽精神医学化

高岡 ひとつは、外徳重盛さんという小児科医が唱えた「母原病」ですね。一見、精神医学のような装いでかも家族力動に重点を置いているかのような装いでから、多くの母親が責められてつらい思いをしたことから、多くの母親が責められてつらい思いをしたことと思います。

は、その両方を引き継いでいるような流れですね。 安倍晋三や下村博文が推進しようとしている「親学」 を引き起こしたかは、よく知られているとおりです。 を引き起こしたかは、よく知られているとおりです。 なら これがどういう事態

だと決めつけているわけです。ですから、偽精神医学ないにもかかわらず、学問的な装いをもって親の問題これらのものは、学術的な修練を経ているわけでは

化と名づけました。

屮 対象とすべき相手は「偽精神医学化」であって、最初 いう主張が起きてきたわけですが、それを高岡さんは 「精神医学化」ではなかったということでしょうか。 ―偽精神医学化」と書かれていましたね。抗議の そうしたなか、「登校拒否は病気じゃない」と

だったと言えるでしょう。最初の精神医学化は広がり すね。ところが偽精神医学化された言説は、それなり はなかったと思います。 もなかったですし、それほど害のあるような治療法で の広がりを持ってましたから、 ジェンドたちの学説は、そんなに広がりもなかったで 私はそう見ていました。失礼ながら、 敵とすべきは、 最初の そちら

屮 んの記事を機に起きたものでしたね。 づくのでしょう。 この図式のなかでは、 親の会や市民による抗議は、 稲村博さんはどこに位置 稲村さ

> と言ってさしつかえないでしょう。 わけですから、学術的な観点からみれば、 否症」という概念も、統計調査も治療法もダメだった 偽精神医学化です。「無気力症」とか

### もうひとつ の精神医学化

屮 つの反―精神医学化」があると書いてましたね。 しとして、 『不登校を解く』では、 「もうひとつの精神医学化」と「もうひと 98年時点の今後の見通

れを指したんだと思います。私自身はなじみがないし、 登校拒否を医学化する根拠はなくなってくるんですね 好きではないんですが、 DSMなどの操作的診断基準が出てきて、 ああいう基準に従っていくと、

屮 登校拒否という状態象ではなくて、 もっと細分

5版まで出ている。 カ精神医学会が発行する、 Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders: トメコ 精神障害の診断・統計マニュアル。 現在第

化した神経症的なあらわれをしている部分のみを医者 はみるということでしょうか。

労としての登校拒否」であるのだから、休む権利を保 「もうひとつの反―精神医学化」です。 障することが必要だと言っていたわけですね。 言っていて、それは正しいと思いました。門さんは「疲 んどが診断名なしに位置づけられることになる」と す。それに対して門眞一郎さんは「そうなると、ほと いう消極的な意義はあるんじゃないかと思ったわけで そういうことです。味気ないものですが、そう それが

爿 それは、 高岡さんの見方とつながりますか

高岡 き問題で、 同じですね。 医療 の問題ではないということです。 やはり、 社会的な文脈で考えるべ

ますが、 屮 となって、 それはよくわかります。 登校拒否は社会的な文脈で考えるべき問題だ 医者のなかで登校拒否の治療論が確立しな ただ、あえてうかがい

> 神経症の治療論を確立しなおす必要があると思われ ように思います。登校拒否について、 けですが、「精神医学化」そのものは否定していない います。高岡さんも「偽精神医学化」は否定されたわ くなってしまったことが問題だという見方もあると思 たのでしょうか。 力動精神医学や

れば、 値に縛られていて、子どもに押しつけている場合です なのは親の価値観を変えていくということですね。 しないといけないときがあるとすれば、両親が学校価 **高岡** それはなかったと思います。家族力動を問題に かし、それは強い父親とかやさしい母親というものと ね。その結果、2次的に家族力動にゆがみが生じてい っさい関係ありません。 それは治療の対象になり得ますが、 そこで必要

中 神経症についてはどうでしょう。

よって、 高岡 神経症という概念は、どういう意味で使うかに ずいぶんちがってくるんです。 通常、症状の

れらの神経症の症状は、つまりはストレス反応という症状をあらわしていることが多いのですが、いろんな症状があっても、不登校・登校拒否のほうさえ相対化症状があっても、不登校・登校拒否のほうさえ相対化のでしまえば、それらの症状は消えてしまいます。

**山下** 神経症が生じているものだということですか。

ことだと思います。

ける反応ということですね。 高岡 そうですね。比較的単純な、環境との関係にお

**山下** 渡辺位さんがおっしゃっていたように、否定的

高岡 渡辺さんが言われていたように、病理的な状況

## 自閉症の精神医学化は

学化のプロセスは、つながりがあるんでしょうか。 精神医学化されてくるプロセスと、登校拒否の精神医行して、自閉症が問題になったわけですね。自閉症が 山下 児童精神医学では、登校拒否の精神医学化と並

高岡 もともとのつながりはないんじゃないでしょう 高岡 もともとのつながりはないんじゃないでしょう か。ただ、自閉症も、ある時期までは知的障害をとも がある時期から、アスペルガー症候群など、知的障害をともなわない自閉症が問題化されてきた。それがど こで生じてきたかといえば、第3次産業優位の社会へ こで生じてきたかといえば、第3次産業優位の社会へ の移行にともなってでしょう。それは不登校が急激に増えていく時期と重なりますね。その点では一致して いると思います。

役立つ労働者だったんでしょう。凡人だったら投げ出は、知的障害をともなわない自閉症の人というのは、自閉症が着目され始めた60年代の高度成長期のころ

では、そういう人たちが社会のなかに座る場所を見会では、そういう人たちが社会のなかに座る場所を見たが必要とされるわけですが、そういうことは自閉症の人がもっとも苦手とすることです。そういうなかでの人がもっとも苦手とすることです。そういうなかでの人がもっとも苦手とすることです。そういうなかでの人がもっとも苦手とすることです。それまでは診断名もついてなかった人たちが精神などできれまでは診断名もついてなかった人たちが精神ないる。 ないる。

山下 なるほど。発達障害についても、もっとお聞き したいところですが、長くなってしまうので、これぐ らいにとどめたいと思います。いずれにしても、第3 らなうですが、長くなってしまうので、これぐ

# 格差社会における不登校

山下 最近の不登校の状況については、どう見ておら

れますか?

高岡 診察室を通じて見る範囲に縛られるので、全体 になっても、子どもも親も、かつてほど学校にもどる になっても、子どもも親も、かつてほど学校にもどる ことに固執しなくなったように思います。一時期、バ ブル崩壊後ごろは、また固執していると思えた時期が あったんですが、最近は固執せずに、すんなり学校か ら離れていくことができている。「最近の親御さんは、 学校に行かないぐらいでオロオロしなくなった。それ じゃ商売あがったりだ」と言っていた精神科医もいま したが(笑)、それはたいへんいいことだと思ってます。

そういう変化は感じますか。山下「山田さんは、どうですか。親の会をやっていて、

業主婦たちが、子どもが学校に行かなくなって、まとたが、親の会に集まってくる親御さんというのは、いたが、親の会に集まってくる親御さんというのは、い

れて、親の会はやってこれたんです。

考えるとき、社会格差みたいなものを織り込んでいか 親は集まるけど、成り立たない地域もある。 長期欠席者の数が非常に多いんですが、親の会は成立 もいますね。たとえば大阪の門真市は、 の数のなかには、安定した家庭基盤のない子どもたち ないと具合悪くなってきていると思います。 しないんです。 やがてオロオロしなくなった親という の親ではないでしょうか。 近郊の高級住宅地みたいなところでは しかし、 小・中学校の かも、 いまの不登校 不登校を そうい

高岡 親の会も社会の階層分化に対応できていないと、高岡 親の会も社会の階層分化に対応できてないということ 階層が上のほうの人にしか対応できてないということ は中・上の人たちと言えるでしょう。その点、私もよく見えていない面もあると思いますが、いま山田さんがおっしゃた子どもたちは、学校に行っても、あまり利益にならないという社会的環境に追い込まれていると、ころがあるんじゃないでしょうか。

かに階層差は出てきているのでしょうね。校という現象として重なるところはあっても、あきらなる、下のほうの人は行っても利益にならない。不登階層が上のほうの人は学校に行かなくてもなんとか

が出てきたところがありますよね。 題があって、そこにはくくれない問題として登校拒否題があって、そこにはくくれない問題として登校拒否の問題を表現の問題を表現している。

に学校に行けないとか、あるいは麻薬の取引で忙しくスで問題化されたもので、最近だと、親の介護のため高岡 怠学 (truancy) というのは、もともとイギリ

ですね。 スにおけるNEETの背景というのも、そういうものて行けないとか、そういうものを含みますね。イギリ

れて増えてくるのではないかと思いますね。 題でなくて、非行をどうするかということが問題に す。その場合は、学校に行く行かないは第一義的な問 す。その場合は、学校に行く行かないは第一義的な問

ている。 ちがってきてますよね。非行も、いわば個人化してきけですが、ヤンキー文化のあった時代と、また様相が山下 80年代にも校内暴力や暴走族が問題になったわ

まった。 しょうね。ケツ持ちしてくれる人がいなくなってししょうね。ケツ持ちしてくれる人がいなくなってし

いというようなことは?もともとの人と新しい人に分かれていて、中間がいなもともろで、親の会などで世代の分化はないですか。

**山田** 親の会の世話人レベルでも、新陳代謝がないこ

になっているんだろうと思います。いろんなNPOで聞くことですね。これも大きな問題、 世代交代ができないことが問題だというのは、

いところもあるんだろうと思います。二極化している問題は起きているんだろうと思います。二極化している問題は起きているんだろうと思います。

## 第3次産業社会の公害

期にはクリアな問題意識だったと思いますが、いまやから第2次産業に移行する時代に役割を果たしたもので、第3次産業優位の社会では、第2次産業型の学校で、第3次産業優位の社会では、第2次産業型の学校したね。それは、学校というのは社会が第1次産業山下 高岡さんは、学校というのは社会が第1次産業山下

ているようにも思いますが、いかがでしょう。いろんかたちで出てきているように思います。それは、いろんかたちで出てきているように思います。それは、第3次産業が当然の社会になっていますね。そうした

高岡 ただ、いまの学校制度のなかでは、相変わらず高岡 ただ、いまの学校制度のなかでは、相変わらず原武史さんが『滝山コミューン一九七四』(講談社ば原武史さんが『滝山コミューン一九七四』(講談社に原武史さんが『滝山コミューンーカ七四』(講談社でのところ、それがいかに抑圧的だったかは、たとえば原武史さんが『滝山コミューンーカ七四』(講談社でのところ、それがいかに抑圧的だったかは、相変わらずのところ、それがいかに抑圧的だったかは、相変わらずのところ、それがいかに抑圧的だったかは、相変わらずのところ、それがいかに抑圧的だったかは、相変わらずのところ、それがいかに抑圧的だったが、相変わらずのところ、それがいかにしています。

あいだにある矛盾は出てくるでしょうね。
と思います。それまでは、第2次産業と第3次産業のと思います。それまでは、第2次産業と第3次産業のずなのに残っている。そこは無視できないと思います。ずなのに残っている。

てくるんじゃないかと思います。また、ぐんと伸びてくる方向に行くと、学校も変わっすが、これがまた、どっちの方向に推移していくか。ここしばらくは頭打ちで小刻みに推移してきたわけでいま、不登校の数が13万人前後で推移してますよね。

山下 おっしゃることはよくわかります。ただ、たと 山下 おっしゃることはよくわかります。ただ、たと 書くらいですね (内閣府「若者の生活に関する調査報 割くらいですね (内閣府「若者の生活に関する調査報 割くらいですね (内閣府「若者の生活に関する調査報 をの関係において、不登校と同じような状態像を示す人 が増えてきたとも言えると思います。第3次産業型の が増えてきたとも言えると思います。第3次産業型の 社会から漏れ落ちてしまって、それを支えるものが家 族しかないという問題がある。そのあたりはいかがで よょうか。

になじめないという点では共通していると思います。あえて類型化すれば、コミュニケーション優位の社会高岡 ひきこもりにも、いろいろあると思いますが、

思います。
けない人がひきこもりを構成しているのはたしかだとけない人がひきこもりを構成しているのはたしかだと

害とも言えると思います。じめない人が苦しんでいるのは、第3次産業社会の公害が出ましたね。それと同じように、いまの社会にな害が出ましたね。それと同じように、いまの社会になる

## 勤労に価値なんてない

高岡 同じような問題は、今後、おそらく高齢者で出高岡 同じような問題は、今後、おそらく高齢者で出る社会参加と消費による社会参加しかなくなってくる。それに対して、年金を支給すれば済むという問題ではない。私は、働くことが週休3日もしくい週休3日半という社会にシフトしていかないと、こうした問題は解決しないと思います。つまり、労働によ過休3日半という社会にシフトしていかないと、こうした問題は解決しないと思います。つまり、労働による社会参加と消費による社会参加が、同等に扱われる社会です。

とでしょうか。 
自己否定感も薄まって、問題解決につながるというこ自己否定感も薄まって、問題解決につながるということがっていくように、賃労働に価値を置かないことが不登校の問題解決

がなければ、いくら生産してもダメなわけですから。りまえの価値観になっていく必要がありますね。消費費によっても社会参加しているわけです。それがあた

**山下** 勤労の価値が幅をきかせていることがやっかい

高岡 勤労に価値なんてないことはわかりきっている高岡 勤労に価値なんてないでまれないで残っているんですから、いまは過渡期ではないですかね。勤労の価値を捨てた後のものが、まだ出てきてないですかる。高岡 勤労に価値なんてないことはわかりきっている

山田 しかし、私なんかは第2次産業で救われたんで

ヴェ ります。それはおもしろかったです。みんな、 んですね。これはよくないと思って、子どもたちが働 というのは、学校の教室にいる生徒の姿しか見てない 関わって、物と関わる仕事のなかで自信を回復して その後、工業高校の定時制高校はおもしろいのではな です。しかし、6年間、町工場で働いて、働くという だったんですね。大学で卒論を書いているころは、何 それは、私の精神衛生にとって、 はなくて、 て教師になった経緯があります。 いかと思って、それなら教師になってもいいかと思っ ことはこういうことかと実感するものがありました。 の手応えもないまま、わけわからんようになってたん いている姿を知らないわけです。それは教員だけで ている姿を写真にとって文化祭で展示したことがあ った子どもたちはたくさんいました。しかし、 イユの影響もあって、板金工場で働き始めました。 私は大学で全共闘運動をしていて、シモー 子どもどうしも、 おたがいにそうだったん 実際、第2次産業と ものすごくい 昼間 いこと 教師 0

いている人はいるんでしょうか。 高岡 いま、定時制高校に来ている生徒で、昼間に働

信がないことほど障害になるものはないですね。 
超す学校もめずらしくない。 
実際、良好な働き口もないんですよ。 
そうした子どもたちは、自信がないのがあろに見えていますからね。 
実際、良好な働き口もないのがはごく少数です。 
発達障山田 継続的に働いているのはごく少数です。 
発達障

私なんかは、労働が人間をつくるという古い労働観私なんかは、労働が人間をつくるということの価値も、問い直さないといけないところがある。一生を通じて意味や価値のある仕事に定着ろがある。一生を通じて意味や価値のある仕事に定着ろいうことを考えないとならないところに来ているんういうことを考えないとならないところに来ているんでと思います。

## 教育機会確保法について

山下 雑誌『精神医療』 8号(批評社2016)で、

ます。 
ます。 
ます。

共産党は反対するに決まっているし、民主党(当時)共産党は反対するに決まっているし、民主党(当時)のに骨抜きにされて、最初とは似ても似つかぬ姿にない」と言ったんです。なぜなら、最初の案がそのままは律になることは絶対にないと思ったんでする徹底法律になることは絶対にないと思ったんですね。徹底あに告がいない。自民党の保守層は巻き返してくるし、るにちがいない。自民党の保守層は巻き返してくるし、るにちがいない。自民党の保守層は巻き返してくるし、るにちがいない。自民党の保守層は巻き返してくるし、大産党は反対するに決まっているし、民主党(当時)共産党は反対するに決まっているし、民主党(当時)

国会に上程され、2016年12月に可決・成立した。と反対や慎重論の声もあり、大幅に変更された案が2016年の通常と反対や慎重論の声もあり、大幅に変更された案が2016年の通常認められると期待された一方、かえって不登校の子が追いつめられる認められると期待された一方、かえって不登校の子が追いつめられるとが、対して、教育機会確保法:2015年5月、超党派の議員連盟により提案で、教育機会確保法:2015年5月、超党派の議員連盟により提出

は、お金持ちを支持基盤にした議員は賛成するだろうは、お金持ちを支持基盤にした議員は賛成する人もで、自由な議論ができる新聞であることを打ち出しせて、自由な議論ができる新聞であることを打ち出しせて、自由な議論ができる新聞であることを打ち出したほうがいいと言った記憶があります。

ね。天才がいるにちがいないと。しかし、こういうも ているんでしょう。発達障害でも同じことがあります います。 をめぐる動きというの のが広い支持を得られるわけがありません。この法律 のなかでも、ごく一部の一発逆転の人だけが目に入っ コミットしているように思います。彼らには、 ですが、 この法律は、安倍首相や下村博文が熱心だったそう 彼らは自分の劣等感の裏返しとして、 は、 その程度のも 0) だったと思 不登校 教育に

とがあります。しかし、私は自分が内容に賛成するかんで名前を載せたのか、はずしてくれ」と言われたこ私は法律の賛同者に名前が入っていて、その後、「な

でしょう。が、どちらにしてもたいした問題ではないと見るべきが、どちらにしてもたいした問題ではないと見るべきにしか考えてません。ですから、そのまま残してますどうかと関係なく、役立つものならどうぞという程度

### 危ない面もある

屮 自分の不安や教育への期待から、 うことが多いですし、こういうものができたら、親が すね。しかし、実際には、親と子どものニーズはちが だろうが、どこで学んでもいいという案だったわけで 委員会がそれを認めれば、家だろうがフリースクール 校に行かなくても、 た「個別学習計画」をめぐる問題でした。子どもが学 けないと思っています。そのひとつは、当初の案にあっ 議論で出てきた論点は、きちんと考えておかないとい いつめてしまうこともあるのではないかと懸念したん 法律はそうだとしても、 親が個別学習計画を立てて、 私はこの法律をめぐる かえって子どもを追 教育

高岡 怒られるかもしれませんが、私はホームスクー高岡 怒られるかもしれませんが、私はホームスクーさいからだと思います。世界的に見れば、そういう動きもありますね。日本でそういうことが起きていないとすれば、それはまだオルタナティブな勢力として小とすれば、それはまだオルタナティブな勢力として小とすれば、それはまだオルタナティブな勢力として小とすれば、それはまだオルタナティブな勢力として小とすれば、それはまだオルタナティブな勢力として小といからだと思います。

山下 オカルト的というのは?

信条として言っているぶんにはさしつかえないですが、は親和性がある。勢力が小さかったり、個人の思想を表に重なるからです。意外に思われるかもしれませんが、ナチスの原点はエコロジーです。緑の党にはナんが、ナチスの原点はエコロジーです。緑の党にはナんが、ナチスの原点はエコロジー思想と全体主義には親和性がある。勢力が小さかったり、個人の思想には親和性がある。勢力が小さかったり、個人の思想には親和性がある。勢力が小さかったり、個人の思想には親和性がある。勢力が小さかったり、個人の思想には、エコロジー思想でした。

がる危険性があります。社会的に大きな影響を持ち始めると、全体主義につな

一方で、英才教育をするオルタナティブスクールと すが、それ以上は出てこないでしょう。どちらにして すが、それ以上は出てこないでしょう。どちらにして すが、それ以上は出てこないでしょう。どちらにして も、挫折するのでなければ、オカルト化してしまう危 し、挫折するのでなければ、オカルト化してしまう危

は、内部の異論を許さないということも起きがちでするわけですが、そのオルタナティブを考えるとき、第るわけですが、そのオルタナティブを考えるとき、第ころもあるのだと思います。どちらも、気をつけなところもあるのだと思います。どちらも、気をつけないと危ない面はあるのでしょうね。社会運動のなかでいと危ない面はあるのでしょうね。社会運動のなかでいと危ない面はあるのでしょうね。社会運動のなかでいと危ない面はあるのでしょうね。

し、そのあたりは注意が必要だと思います。

がいる。 親とのあいだに一定の葛藤を持つことは、かならずあ な力を持つことについては、強い違和感があります。 るはずです。その親が、子どもが何かを学ぶ場に大き 家庭が居場所にならない子どもはたくさんいるし、ど う考えには同調できなかったんです。 そこに、そういう影を感じますね。 う大きなハンディを背負って暮らしている子どもたち にも家にも居場所がない子が出てきてますね。そうい あるわけですね。先ほども言いましたが、 しんどさから逃れられる唯一の場だったりすることも んなに理想的に見えている家庭であっても、子どもが い子にとっては、かろうじて学校というものが、 休息の権利ということについても、 ームスクーリングやホ 私も親の会には関わってきたんですが、 ときどき起きる事件を新聞で読むだけでも ームエデュケーションとい 現実問題として 家に居場所のな いま、 一貫 家の

が起きるんじゃないかと思っています。いっキリ区別する認識がないと、たいへんまずいことでしょう。私は、家族というものと社会というものはも、無縁のままでいられるかと言えば、そうではないと、たしかだと思っていたホームスクールの人たちとは、たしかだと思います。これまでは、そういうとは、たしかだと思います。これまでは、そういう

## 学校を脱出したとしても

山下 どちらにしても、親の影響が強いというのは、 は、まずいんじゃないかということですね。ひとつは、経 ないなかで、学校や社会との縁が切れてしまっている と、まずいことになるんじゃないか。それを、これま での不登校の文脈で見ているだけでは、見過ごしてしまうんじゃないかというのが、山田さんの問題意識で まうんじゃないかというのが、山田さんの問題意識ですよね。

山田 そうです。

本のでは、ホームスクーリングやホーム山下 もうひとつには、ホームスクーリングやホーム 山下 もうひとつには、ホームスクーリングやホーム

高岡さんは、学校からの脱出が大事だとおっしゃってきたかと思いますが、学校を脱出しても、家族を相対にも思います。また、学校を脱出しても、家族を相対にも思います。また、学校を脱出しても、家族を相対にできなくなってしまうのではまずいと思うのですが、かかがでしょう。

ら教育を重視する人がいますね。それは私にはまった教育ということを考えるとき、学校を否定していなが高岡 それはおっしゃるとおりだと思います。学校と

んてことは考えられません。とわかりません。学校はダメだけど、いい教育はあるなあり得ません。学校はダメだけど、いい教育はあるなあり得ません。学校はダメだけど、いい教育なんてくわかりません。全共闘運動は教育自体を否定していくわかりません。全共闘運動は教育自体を否定してい

は厳密に区別しておかなければいけないと思います。なかに生きている人はボロボロになってしまう。そこなかに社会が侵入してしまう。その視点がなくて、家族ののなかに社会が侵入してしまう。その視点がなくて、家族というものは社会とは相反するものだという視点が絶というものは社会とは相反するものだという視点が絶

逆立すると言っておられた。 対幻想の場ですね。吉本さんは、対幻想と共同幻想は対幻想の場ですね。吉本さんは、対幻想と共同幻想は

これが家族に侵入するのはまずいです。そういう意味へんまずいです。学校も教育も共同幻想ですからね。とになれば、それは人間を壊していきますから、たい高岡 そうです。共同幻想が対幻想に侵入してくるこ

ンというのは危ないと思います。いいし、ホームスクーリングやホームエデュケーショでは、小さいところでは宿題なんてものはないほうが

り合いをつけるかというところがありますね。世界にいったん撤退して、その後、共同幻想とどう折世界にいったん撤退して、その後、共同幻想から対幻想の

幻想への撤退ですね。 高岡 そうですね。対幻想への撤退と、それから個的

山下 しかし、家族も流動化していたり、親が経済的山下 しかし、家族も流動化していたりすると、家族は撤にも精神的にも余裕を失っていたりすると、家族は撤にもまでとちがったかたちで、いろんな問題のあらわこれまでとちがったかたちで、いろんな問題のあらわれが出てきているような気もしますが、いかがでしょれが出てきているような気もしますが、いかがでしょれが出てきているような気もしますが、いかがでしょれが出てきているような気もしますが、いかがでしょれが出てきているような気もしますが、いかがでしょれが出てきているような気もしますが、いかがでしょれが出てきているような気もしますが、いかがでしょれが出てきているような気もしますが、いかがでしょ

#35 高岡健さん 不登校 50 年証言プロジェクト

> 高岡 片 収されてしまうと危ないですよね。 ましたけど、 希望はなくなっていくんじゃないでしょうか。 には希望があります。 れているうちは大丈夫だと、私は思います。それはマ のが許容されなかったり、 ですよね。高岡さんは人間には愚行権があると言って なったら、 いと思います。 いろんな表現が出ていますよね。それがあるうちはい いうものであれ、 ンガや小説などの表現のこともあるでしょうし、 いまの不登校の活動のなかでも、 あるいは制度にからみとられていくことになると、 あるいは正しい範囲におさまってしまうように あるいは教育の そうでしょうね。 危機を感じたほうがいいと思います。 見、 その表現がかすめとられて、 何らかの表現ができていれば、そこ しかし、 「成果」になってしまったり、 しかし、 それが押しつぶされた その 文学やマンガなど、 人の表現が保た 予想の範 どう

がとうございました。 いろいろお話をうかがえて楽しかったです。 ムダだったり愚かだったりするも あるいは正しさや教育に回 今日は、あらため

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #35 高岡健さん

インタビュー日時:2018年2月3日

記事公開日:2018年3月8日 場 所:フリースクール・フォロ

聞き手:山下耕平、山田潤 記事編集・写真撮影:山下耕平

- 843 -

貴戸

まずは、ご自身の不登校の経験から教えてい

だけ だったんですね。 でも、どちらでもいいんですが、私の時代は登校拒否 験ということになります。 ればと思います。 私は不登校児だったことはなくて、 なので、 本来、 不登校ではなく登校拒否経

けるために、

と呼ばれてい

不登校という言葉に代わってきたように感じているの

何か腫れ物にさわるのを避けるように、 て、そこにあった侮蔑的な意味合いを避

少なくとも自分のことを言うときには登校拒否と

言っています。

だけど、 通ってました。学校では、運動会や行事の練習とい も多かったんです。当時は兵庫県赤穂市の小学校に 権力者にも好かれてましたし、 は1977年生まれで、 う名目で、 年です。すごく学校に適応する子どもで、 登校拒否になる前のことを話をしますと、私 私はそれに合わせるのが上手で、 毎日のように軍隊行進をさせられてました。 小学校に入ったのは1984 授業も楽しくて友だち 先生という

#36 常野雄次郎 さん



1977年、兵庫県赤穂市生まれ。小学校3年生の終わりに千葉県市川市に転校。 その後、小学校4年生から登校拒否。1年ほど家にひきこもり、11歳から東 京シューレに通う。13歳のとき、『学校に行かない僕から学校に行かない君へ』 (東京シューレの子どもたち編/教育史料出版会 1991) に、著者のひとりと して書いている。アメリカ、イギリスに留学し、イギリスのランカスター大学 を卒業。2005年、貴戸理恵さんとの共著で『不登校、選んだわけじゃないん だぜ!』を出し、明るい登校拒否や学校を選択するという考え方を批判した。

インタビュー日時:2017年8月3日 聞き手:貴戸理恵、山下耕平、山田潤 場 所:関西学院大学大阪梅田キャンパス

写真撮影:山下耕平



(つねの・ゆうじろう)

#### もう人生おしまい だ

不登校でも登校拒否

登校拒否児

とが語られますが、

私の場合は、

むしろ適応しすぎて

なくなるきっかけとして、

学校に適応できなかったこ

学校に行け

ぐらいでした。よく登校拒否の体験談で、

なさん、常野くんのリズムに合わせましょう」と言う

私の行進に合わせるリズム感がい

いので、

教師が

か。 貴戸 行けなくなった直接のきっかけはあったんです

なんとなく行けなくなってしまったんですね。 す。千葉県は管理教育で有名ですが、 学校3年生の終わりに千葉県の市川市に転校したんで は、また何の問題もなく通っていました。その後、小 くなったことがあったんですが、 小学校2年生の終わりごろ、 陰湿ないじめがあったということはなくて、 学年が変わってから なんとなく行けな 体罰がイヤだっ

私は「学校信仰のジレンマ」と名づけているんです

生おしまいだ」と思ってました。
生おしまいだ」と思ってました。
をおもまいだ」と思ってました。
をおしまいだ」と思っていました。
をおしまいだ」と思ってもいいじゃないかという考が、学校なんて行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考が、学校なんで行かなくてもいいじゃないかという考しました。

山下 行かなくなり始めたのはいつごろですか?

**常野** 小学校4年生の10月ごろです。1987年のこ

のでしょうか。 かから言われていたのか、それとも自分で感じていたかから言われていたのか、それとも自分で感じていた

常野 誰かから明示的に言われたというよりも、当時

ます。の社会規範を内面化していたということだったと思い

貴戸 五月雨登校のようなことはなかったんですか?

かったですね。 常野 学校信仰が強いがゆえに、そういうことはな

**山田** 転居・転校がなかったら、登校拒否もしてなか

常野どうでしょうね。

山田 私たちは「学校に行かない子と親の会(大阪)」 山田 私たちは「学校に行かない子と親の会(大阪)」 さんの場合は、どうだったんでしょう。

ルになることはなかったです。 常野 そういうことはなかったですね。言葉でトラブ

貴戸 学校に行けなくなるのって、スモールステップ 貴戸 学校に行けなくなるのって、スモールステップ 朝起きられないとか、朝ご飯が食べられないとか、ラ 朝起きられないとか、朝ご飯が食べられないとか、ラ 朝となってしまうと か、そういうことがありました。常野さんの場合は、

常野 そんなにドラマチックなエピソードはなくて、 常野 そんなにドラマチックなエピソードはなくて、 常野 そんなにドラマチックなエピソードはなくて、 常野 そんなにドラマチックなエピソードはなくて、

### 親や教師の対応は

**貴戸** 親御さんや先生の反応はどうだったんでしょう。

くないなら行かなくていいよ」という感じでした。 ていました。 医者めぐりもしていましたが、それでは ていました。 医者めぐりもしていましたが、それでは 兄に対しては、親は無理やり学校につれていったりし常野 ふたつ年上の兄が先に登校拒否になっていて、

**山下** 親御さんは、親の会などに行ったりはしてたん

常野 親の会はわかりませんが、赤穂にいたときから、常野 親の会はわかりませんが、赤穂にいたときから、 がということで、齋藤万比古さんにかかっていました。 だということで、齋藤万比古さんにかかっていました。 だということで、齋藤万比古さんにかかっていました。 だということで、奈藤万比古さんにかかっていました。

貴戸 そこから東京シューレにつながるまでは、どう

いう経緯だったんですか。

貴戸

赤穂と市川では、

町の風景や空気感はかなりち

- 848

に興味を持ったのかもしれないですね

がったんじゃない

でしょうか。

とは思ってたんですが、当時は予約待ちだったんです

屮

親から東京シューレのことを聞いて、行きたい

ら通い始めました。

数カ月待って、11歳のとき、

でしょう。

山の金さん」とか時代劇の再放送を見て、 、黄門の再放送を見て、 という感じでした

それまでの1年間ほどは、 どう過ごしていたん

ですね。 えて泣いたり、 毎日、 自分は学校に行けない悪い子だと親に訴 物にあたったり、 とにかく苦しかった

ま思えば、赤穂へのノスタルジーがあって、 劇の再放送を見て、昼寝して、13時ぐらいから、また「遠 テレビで「100万円クイズハンター」を見て、時代 日常的な過ごし方としては、朝10時ごろに起きて、 夕方から水 歴史もの (笑)。

ひきこもっていて苦しい、どん底の状態のなかで 小学校5年生の秋ごろか 受けたのはよく覚えてます。 最初に新幹線で東京に来たとき、 ぜんぜん、ちがいましたね。

ビル群を見て衝撃を

市川というより

b

#### 胸にぽっ かり空い た穴

中 とか身体症状として出ているようなことはあったんで しょうか。 いわゆる「2次症状」というか、 強迫神経症だ

常野 り穴が空いたような感じはしていました。 身体症状はなかったですね。ただ、 胸にぽ つ か

貴戸 ら学校に行かない君へ』(東京シューレの子どもたち 常野さんは13歳のときに『学校に行かない

れは 編/教育史料出版会1991)に経験談を書かれてい 就けるのだろうか」と不安に思っていたけれども、 ますが、そのときは「学校に行かないでまともな職に 「馬鹿な心配」だったと書かれていましたね。 そ

と、親からも学校からも圧力が強かったわけではな

かったんですね。貴戸さんも、

似たようなことをおっ

しゃってますね。

屮

当時としては、

めずらしいですよね。そうする

葉を使って、非常に強い差別意識を持っていましたね があったりするんですが、当時は「こじき」という言 配していました。私は、いまでこそ野宿者とつきあい できない、自分は「こじき」になるんじゃないかと心 学校に行かないと、まともな職業に就くことは

貴戸 それは誰かに言われてたんでしょうか。

常野 ことだと思います。 それも、 社会の価値観を内面化していたとい

う

爿

学校からの働きかけはどうだったんですか?

そんなに働きかけてくることはなかったですね。

常野

常野 むしろ、 自分で自分を責めていたんです。

親や大人からの要求には、 貴戸 では、たしかに似ているかもしれないですね。 いけないと感じていた記憶があります。そういう意味 私はすごくまじめな子どもだったんですよね。 明示される前に従わないと

どうなったんですか。家で勉強していたんですか。 学校に行かなくなって、 友だちや勉強については

常野 ですね。シューレに行ったときは11歳でしたけど、算 数の九九を完全に忘れてました。 まったく途切れて、 いっさい勉強してなかった

岸 そうですね。 休み始めてしばらくしてからは、 薬を飲んでた

- 849 -

のは覚えてます。 常野 正確には覚えてないんですが、親が代理受診し 常野 正確には覚えてないんですが、親が代理受診し

**山下** シューレに行くまでの1年のあいだの話ですよ

行って1週間ぐらいしてからでした。
だですし、とくに副作用もなかったです。いつ飲み始たですし、とくに副作用もなかったです。いつ飲み始たですし、とくに副作用もなかったですが、いつ飲み始と言われていたんですが、飲んでも何の効果もなかった。

た。

### どん底から一転して

**貴戸** 常野さんが最初にシューレに行ったときは、ど

序野 私が行っていたころは、北区東十条のアパートでやっていたんです。狭くて汚いところで、そこに子でやっていたんです。狭くて汚いところで、そこに子が、シューレもパラダイスみたいなところではなくて、が、シューレもパラダイスみたいなところではなくて、が、シューレもパラダイスみたいなところではなくて、が、シューレもパラダイスみたいな子もいました。当然でする子もいました。私の場合は、最初の1週間くらいはる子もいました。私の場合は、最初の1週間くらいは、おのすごく楽しくなって、それまでのどん底からは、ものすごく楽しくなって、それまでのどん底からは、ものすごく楽しくなって、それまでのどん底から打って変わって、超ハイテンションになっていましら打って変わって、超ハイテンションになっていましら打って変わって、超ハイテンションになっていまし

とでもないし、法律違反でもないんだよ」と言われたで話して、奥地さんから「学校に行かないのは悪いこ常野 最初に、代表者の奥地圭子さんと母と私の3人

ことには、かなりの説得力がありました。楽しそうに遊んでいる場で、そういうことを言われたいんだけど、同じように学校に行かない子どもたちがのは覚えてます。その瞬間にどう思ったかは覚えてな

力があったわけですね。 言葉だけではなくて、その場が持っている説得

常野 自分と兄だけではなくて、ほかにも学校に行か をれによって、それまでの学校信仰を捨て去ることが それによって、それまでの学校信仰を捨て去ることが のきたところはあります。

**貴戸** 親が認めてくれているだけでは、不安は解消

ど、あいかわらず自分は苦しくて不安でした。それが期、親は学校に行かないことについて受容的だったけ期。 シューレに行く前、家にひきこもっている時

かです。シューレに出会うことによって楽になったのは、たしシューレに出会うことによって楽になったのは、たし

# 登校拒否という名前の効用

いう欲求はあったんでしょうか。 貴戸 ひきこもっていた期間に、人とつながりたいと

いう気持ちが強かったかな。

**貴戸** 学校信仰を捨て去ることができたのは、何が大

も、シューレと出会うことによって、登校拒否というで、登校拒否というレッテルを貼られたわけだけれどつのカギになっていたんです。学校に行かなくなって、登校拒否というレッテルを貼られたわけだけれどという本を書かれてますが、私の場合は、名前がひとという本を書かれてますが、私の場合は、名前がひとという本を書かれてますが、私の場合は、名前のない生きづらさ』

ともつながるのですが……。ともつながるのですが……。ともつながるのですが……。としただ、それは明るい登校拒否ストーリーの問題です。ただ、それは明るい登校拒否ストーリーの問題です。ただ、それは明るい登校拒否ストーリーの問題です。ただ、それは明るい登校拒否ストーリーの問題ともつながるのですが……。

間だったんでしょう。 山下 シューレにいたのは、11歳からどれぐらいの期

常野 フルタイムで行っていたのは2年半くらいかな。その後、1年ぐらいブランクがあって、もう1年くらいは週1で通ってました。そのころは同じ北区の王子に移転してました。私が14~15歳ごろのことですね。\*1 クィア:「風変わりな」「奇妙な」などを表す言葉で、セクシュアル・マイノリティに対する蔑称、差別用語として用いられてきたが、アル・マイノリティに対する蔑称、差別用語として用いられてきたが、アル・マイノリティに対する蔑称、差別用語として明られてきたが、1990年代以降、それを逆手にとって、異性愛を規範とする社会に追和感を覚えるセクシュアリティを持つ人たちの自称として、自己肯定的に使用されるようになった。

山下 フルタイムで行ってたころは、どんな感じで過

それ以外の時間はずっと遊んでましたね。私は出ていました。ただ、長時間ではなかったので、私は出ていました。ただ、長時間ではなかったので、きものもあって、出るも出ないも自由だったんですが、常野 毎日、友だちと遊びほうけてました。授業らし

山下どういうことが楽しかったですか。

とですね。 常野 やっぱり友だちと話したり、議論したりしたこ

**貴戸** 登校拒否について議論したこともあったんです

対「別にどっちでもいいじゃん派」みたいな。あるいども、たとえば、「学校に行かないほうがえらい派」常野 あったと思います。具体的には覚えてないけれ

えに落ち着いてました。

の意味が大きかったんでしょうか。 
の意味が大きかったんでしょうか。 
単純に遊べたり、ほかの子と過ごすことが楽しかったりする。でも、り、ほかの子と過ごすことが楽しかったりする。でも、

環境問題などの議論もしてました。 常野 そうですね。登校拒否のほかにも、政治、原発、

**貴戸** おたがいの登校拒否経験を話すことはありまし

常野 どうだったかな。シューレでは「シリーズ人間」 常野 どうだったかな。シューレでは「シリーズ人間」 という授業があって、弁護士さんとか、障害児教育を もあって、そこで自分の経験を話したことがありました。学校に行けなくなった経緯を話したことがありました。学校に行けなくなった経緯を話して、苦しかったけど、いまは幸せですみたいな話をした覚えはあります。

ようなことはあったんですか。
山下 ほかの子どもたちの話を聞いて、刺激を受ける

ちゃんとは聞いてなかったんだと思います。から、シンポジウムに出たりもしてました。でも、ほから、シンポジウムに出たりもしてました。でも、ほから、シンポジウムに出たりもしてました。でも、ほ常野 そうですね。シューレに入って数カ月後ぐらい

定とか感想とか、そういうものもありましたし、戸塚で、そこに書くことはありました。ふだんの活動の予あとは、月1回、東京シューレ通信を出していたの

い君へ』出版も、その一環だったと思います。もしてました。『学校に行かない僕から学校に行かな事件のときには特集を組んだりして、そういう発信事がのときには特集を組んだりして、そういう発信

# 社会の側がまちがっている

すね。そのあたりへの意識は、どうだったんでしょう。では受容されても、シューレを取り巻く社会がありま

いかねばならないという気持ちになってましたね。常野社会の側がまちがっている、この社会を変えて

た事件。学園長の男性には懲役5年の実刑判決がくだされた。 と下事件。学園長の男性には懲役5年の実刑判決がくだされた。 と事児更生施設」。1991年、14歳の男性と16歳の女性が、喫煙などを害児更生施設」。1991年、14歳の男性と16歳の女性が、喫煙などを害児更生施設」。1991年、14歳の男性と16歳の女性が、喫煙などを当時にコンテナ内に手錠をかけられて監禁され、熱中症により死亡した事件。学園長の男性には懲役5年の実刑判決がくだされた。

> ですか。 を変えていく必要がある」と、当時から思っていたんと変えていく必要がある」と、当時から思っていたん出ていかなければ」と思うのではなくて、「この社会出了いまはシューレにいるけど、いつかは社会に

常野 そうです。

山下 ほかの人はどうだったんでしょう。

傾向はあったと思います。 常野 基本的に、みんな似たような話になっている かう人が話しているので、似たような話になっている いう人が話しているので、似たようなことを話してまし 常野 基本的に、みんな似たようなことを話してまし 常野 基本的に、みんな似たようなことを話してまし

語っていたということではないわけですね。ているのを聞いて、それを追っかけるように自分が正っているのを聞いて、それを追っかけるように自分が語っ

ような語りではなかったと思います。 常野 影響はあったと思いますが、誰かをコピペする

うのは、なぜだと思いますか。 だとすると、似たような語りになっていたとい

たとか、自分にウソをついたことはないです。り、シューレをいいところだと思っていたり、奥地さり、シューレをいいところだと思っていたり、奥地さに似ていったんだと思います。もちろん、台本を書いたとか、自分にウソをついたことはないです。

山下 私も東京シューレでスタッフをしていた経験が 山下 私も東京シューレでスタッフをしていた経験が 山下 私も東京シューレでスタッフをしていた経験が 山下 私も東京シューレでスタッフをしていた経験が

については、どうでしょう。
のみなどでの語りが大きく見えてしまう。そのあたりかんなどでの語りが大きく見えてしまう。そのあたりとですが、外に向かって語られていることは、ごく一

**貴戸** シューレに行き始めてから、家族との関係は変

常野 元気になったので、親は安心してたと思います。

# フリースクールではなかった

私の記憶では「フリースクール」とは言ってなかったシューレは「フリースクール」じゃなかったんです。常野 これは大事なところだと思うんですが、当時、

どもの自治でやっているということでした。それと、 校は管理主義であるのに対して、シューレは自由で子 「じゃあウソじゃん」と思ったりもしましたけど、学 ているんですが、当時はそれぐらい、学校ではないと 神を自由に使う場」だと言ってました。シューレはド シューレという名前も、奥地さんはギリシャ語で「精 グには出る、掃除はするということになってたので、 強調していました。ただし原則はあって、 ツ語で学校を意味しますし、それも同じ語源から来 していました。たとえば、校則がないということも あらゆる点で、学校ではないということを強 ミーティン

屮 スク そうすると、子どもたちのあいだでも、 ルに来ているという認識はなかったわけです フリ か。

いうことを強調してました。

常野 い子どものための居場所でした。 そうです。 あえて言えば居場所、 学校に行かな

屮 子どもたちのあいだから、 シュ レ いがフリ ス

> したんでしょうか。 クールを名乗り始めたことに対する反発があったりは

> > - 856 -

か、 なんらかの議論があったのか、さりげなく変わっ わかりません。 そのあたりでシューレとは縁が切れて いるので、 たの

山田 スクールは不登校の子の受け皿ではない、 いう議論がずっとありましたね。 リースクー シュ ル研究会が開かれていて、そこでは、フリー ーレの話ではありませんが、 関西 おかしいと でも フ

きて、重ならないところがあったのか、 なってきたところがありますね。どのように重なって 中 ところのひとつです。 校外の居場所というのは、 フリースクールやオルタナティブス 文脈が異なるけれども、重 よく考えたい ク ルル

でしたが、それはどういう経緯だったんでしょう。 シューレに通って、 常野さんの個人史にもどりますが、 いったん距離を置いたということ 2年半くら

不安ということはなかったですね。 て自己肯定感は持っていたので、そんなに苦しいとか からは家にひきこもっていたんですが、以前とちがっ ちょっと飽きたかなという感じですかね。それ

屮 んですね。 とくに、 辞めるきっかけがあったわけではない

はありました。でも、結局は隣駅の王子になって、王 子に移転すると同時に辞めてるんですが、 るという話があって、 持ち上がったとき、いったんは、すごく遠くに移転す ということではなかったです。 とくにないですね。強いて言えば、 それでは通えないと思ったこと 移転の話が 移転が理由

# 学歴社会に屈服したくな

屮 中学校卒業後はどうされたんでしょう。

> するつもりはなくて、勉強だけしたいと思っていたん 受け皿としてつくられた単位制高校ができてまもない 常野 りはありません」と書いてました。 ころで、そこに入学しました。だけど、最初から卒業 新宿山吹高校という、 入学したときに書いた作文でも「卒業するつも 高校中退や登校拒否

屮 それは批判意識からでしょう

ので、 常野 ることだと思っていたんです。 卒業資格を得ることは、 そうですね。学歴社会はおかしいと思っていた その学歴社会に屈服す

屮 びを広く捉えるということも言っていましたが、そう いう学びでは不安があったということはありますか。 シューレは学校とはちがう学びの場として、

いや、 そういうことはなかったですね。 ただ、

制高校として設立された 東京都立新宿山吹高校:1991年、 無学年制の定時制、 単位

識でしたね。

**貴戸** たとえば、英語とか数学とかの教科は、ぜんぜ

常野いちおう授業はあって、それには出てました。

山田 私も定時制高校の教員をしてきたので、山吹高校ができたころ、新しいタイプの高校に関心があって見学に行ったことあります。私がいちばん感激したの見学に行ったことあります。私がいちばん感激したのは、授乳室があったことです。というのは、定時制高は、授乳室があったことです。というのは、定時制高は、授乳室があったことです。というのは、定時制高は、授乳室があったことです。というのは、定時制高は、授乳室があったことです。というのは、定時制高になると、具合が悪いという人もいたんです。あるいは、飲み屋で働いている女性が化粧したまま来るのいは、飲み屋で働いている女性が化粧したまま来るのですが、山吹高校で授乳室を見て、ここまで来ているですが、山吹高校で授乳室を見て、ここまで来ているのかと感激したんです。

常野さんは、山吹高校では、勉強したいという思

に対する手応えはあったのですか。

**常野** いや、ちょっと期待外れでしたね。ほとんどの常野 いや、ちょっと期待外れでしたね。ほとんどの

たら、そのほうがよかったので(笑)。ました。単位制なので学費は安く済んで、学割を使えました。単位制なので学費は安く済んで、学割を使え

たりしてました。 した。おもに自習で、たまに予備校の単科講座をとっなって、その後、数カ月間は受験勉強を長時間やりまかって、その後、数カ月間は受験勉強を長時間やりまか。

か?

貴戸

大検(現在の高等学校卒業程度認定試験)をとっ

常野 大検は山吹の2年目ですべての科目をとってま

強に向いていたんだと思います。も、最後の部分をやればいいんですね。私は学校の勉じことをくりかえす面があるので、途中が抜けていてした。あまり苦労はなかったですね。学校の授業は同した。あまり

れません。 
ている子よりもポテンシャルとしては高かったかもしている子よりもポテンシャルとしては高かったかもしには高かったと思います。むしろ、多くの学校に行っ常野 親が中産階級で高学歴だったので、文化資本的

とでした。それまで、そういうことに気づかなかった。だったのは、そういう環境のまったくない子がいるこだったのは、僕が定時制高校の教員になってショック・山田 学校の勉強という点では、基礎はできていたん

いまは、それがもっとひどくなってますよね

### 進学は裏切り?

山下 大学に行こうと思ったきっかけは?

会で特権層にまわることだからまずいのではないか」 このまま入ってしまっていいんだろうか」と悩んで、 月ぐらい悩んで、 といったことを、 自分の出身コミュニティへの裏切り行為だし、 高校も卒業しないと言っていたのに、 えたんですね。そこで立ち止まって、「あれ、自分は は、考古学や歴史学でした。受験勉強は、数カ月ぐら たんです。 ノートに「大学に行きたい。でも、大学に行くことは いやったら目処がついて、どこかに受かるだろうと思 何か学問をやりたかったんですね。 10月ぐらいに受験を辞めることにし いろいろ書いてました。結局、 この学歴社会に 当時の関心

山下 出身コミュニティへの裏切りとおっしゃいまし

ですよね。
たが、シューレの出身者で進学している人も多かった

常野 そうですね。ただ、進学した人でも、葛藤の 常野 そうですね。ただ、進学した人は少数ではな が、「それでも僕は学校に行きたい」というタイトル ど、「それでも僕は学校に行きたい」というタイトル ど、「それでも僕は学校に行きたい」というタイトル が文章をシューレ通信に載せた人もいました。 当時は、 進学した人でも、のほほんと進学した人でも、葛藤の

**貴戸** たとえば、進学した人に対して「あいつは裏切っ

で葛藤があったということですね。 常野 そういうことはなかったです。自分自身のなか

かなりちがいますよね。高等教育は批判的な思考を学貴戸 学校といっても、義務教育と高等教育とでは、

すべて含めて「学校」と捉えていたということですか。常野さんにとって学校というのは、小・中・高・大をに行きたいという気持ちは両立すると思うんですが、ぶ場ですから、義務教育がイヤという気持ちと、大学

常野 そうですね。

**貴戸** そうすると、学問をやりたいという気持ちは

はかにももぐっている人がいたので、お金を払うのが 大(当時)で教育学者の小沢有作さん(教育学者/ 大(当時)で教育学者の小沢有作さん(教育学者/ というゼミを持っていて、そこにもぐらせてもらったというゼミを持っていて、そこにもぐらせてもらった。 というゼミを持っていて、そこにもぐらせてもらった。 というゼミを持っている人がいたので、お金を払うのが

の生活を変えていくために識字教育を行なった。 貧しい農村の非識字の農夫たちに、自分たちの境遇を考え、自分たち、4 パウロ・フレイレ(1921―1997):ブラジルの教育者。

もったいないので、もぐらせてもらってたんです。

**貴戸** そのゼミは、知的欲求を満たすものだったんで

が合 議論というかケンカになっていました。パウロ・フレ のものを疑うというようなことになると、 育には批判的なんだけど、学校をなくすとか、 が好きな人が多かったんですね。もちろん、 な思想なんですが、 イレの『被抑圧者の教育学』は教育そのものに批判的 わない。常にその議論になってました。 そうです ね。ただ、 教育学部のゼミだったので、教育 実質、私とほかの学生と 全員と意見 いまの教 教育そ  $\mathcal{O}$ 

# 東京シューレと脱学校論

想的には、フレイレのほかに、たとえばイヴァン・イ足場として、まずはシューレがあったわけですね。思

想的な影響はあったんでしょうか。リイチの脱学校論などに影響されたとか、ほかに思

常野 イリイチも読みましたし、当時、おそらく一常野 イリイチも読みましたし、当時、おそらく一学の研究』(三一書房1984)とか『教育という謎』(北斗出版(三一書房1984)とか『教育という謎』(北斗出版(三一書房1984)とか『教育という謎』(北斗出版)での読書会で読んだ記憶があります。

ようなことは言われてなかったように思います。 んよね。シューレでは、学校制度そのものを否定する のまない。

常野 そうですね。ただ私のなかでは、シューレで身

創元社1977)など。 
れの哲学者、社会評論家、文明批評家。著書に『脱学校の社会』(東京れの哲学者、社会評論家、文明批評家。著書に『脱学校の社会』(東京

思います。 につけた価値観が基盤にあったからこそ、佐々木賢さ

はラディカルさを持っていたんだと思います。 たので、その文脈のなかでは、シューレのリベラルさ うことですよね。しかし、当時は強烈な学校社会だっ 択すればい シュー 行きたくない子は行かなくてもいい、 個性に合わせて、学校に行きたい子は行けば レの思想というの い、そういう世の中にしていくべきだとい は、 いわば ij ベ 、ラリズム その子が選 11 11

たとえばフランス革命だって、ブルジョワ革命にす 支配する社会においては、そのブルジョワ革命がラ 支配する社会においては、そのブルジョワ革命がラ すが、当時においては、社会とガチでぶつかるもの だったと思います。ところが、社会のネオリベラル化 だったと思います。ところが、社会のネオリベラル化 だったと思います。ところが、社会のネオリベラル化 が進んで、「選択」とか「個性」という言葉が社会の すが、当時においては、社会とガチでぶつかるもの が進んで、「選択」とか「個性」という言葉が社会の が進んで、「選択」とか「個性」という言葉が社会の が進んで、「選択」とか「個性」という言葉が社会の が進んで、「選択」とか「個性」という言葉が社会の が進んで、シューレのリ

分だと考えています。時のシューレの思想を引き継ぎつつ発展させたのが自の側になっていったんだと思います。私としては、当ね。そういうなかで、シューレは社会の支配的価値観

## アメリカからイギリスへ

たいと思います。大学はどこに行かれたんでしょう?ていくとして、常野さんの個人史をもう少しうかがいところだと思いますが、そのあたりは、またうかがっ山下 一方で旧態依然たる価値観も根強いので難しい

格社会』という本を読んだりしていました(ランドル・常野 最初は、19歳のときにアメリカに語学留学したが野 最初は、19歳のときにアメリカに語学留学した

本どがある。 \*6 ランドル・コリンズ(1941~):アメリカの社会学者、小説家。

向してしまったんです。か大学に行ってもいいんじゃないのと思って、軽く転しているうちに、大学図書館はゴージャスだし、なんコリンズも、佐々木賢さん経由で知りました)。そうコリンズも、佐々木賢さん経由で知りました)。そう

だったんですか。 貴戸 語学留学をしようと思ったのは、どういうこと

常野 社会学に興味を持っていて、それを大学に進学 常野 社会学に興味を持っていたんだけど、当時の 私は社会学の本場はアメリカだと誤解していて、英語 私は社会学の本場はアメリカだと誤解していて、英語 ま思えば、すでに英語力はついていたので、語学留学が は必要なかったかもしれないです。ただ、語学留学が なければ大学に進学する気にもなってなかったと思い ますが。

両方あったということですかね。 ティへの裏切り」という思いと、脱学校論の影響など、 ティーの裏切り」という思いと、脱学校論の影響など、

学は、リバーサイドコミュニティカレッジというカリ学は、リバーサイドコミュニティカレッジというカリランカスター大学に編入したんです。1学年、アメリカにいて、イギリスの大学に行きました。そこからイギリスの力にいて、イギリスの大学に2年次編入したかたちですね。でも、軽く転向してしまった。大常野 そうですね。でも、軽く転向してしまった。大常野 そうですね。

貴戸 留学費用はどうされたんですか。

期間は、そのお金でまかないました。して、日本で2年間、英語の講師をして働いて、残りリスのランカスター大学の2年次が終わってから帰国常野 最初のうちは親のサポートを受けていて、イギ

か? 貴戸 なんでアメリカからイギリスに行ったんです

の社会学者)の書いたものがおもしろかったので、彼常野 イマニュエル・ウォーラーステイン(アメリカ

感じでした。
感じでした。
感じでした。

貴戸修士課程は?

2011年です。 中で辞めました。30歳ごろです。震災の年でしたので中で辞めました。30歳ごろです。震災の年でしたので

## 学校をなくすとは

を問い直したようなことはあったんでしょうか。 山下 社会学を学んだことによって、シューレの言説

常野 そうですね。社会学のなかにカルチュラル・ス

けを引き算するということではなくて、社会全体のあれない子はどうするんだ」「文字の読めない子はどうするんだ」「文字の読めない子はどうなんだ」、文字の読めない子はどうと、よく「給食でしかご飯を食べられない子はどうするんだ」と反論されます。しかし、学校をなくすというと、よく「給食でしかご飯を食べられない子はどうないますが、「学校

音楽・文学・映画を含む幅広い対象から分析する。 た学問の潮流。性・民族・階層による集団間の差異や力関係などを、\*7 カルチュラル・スタディーズ:20世紀後半にイギリスで始まっ

とつの革命です。そう考えるようになりました。り方、社会の仕組みを変えることです。つまりは、ひ

うか。 感じるようになったのは、そのあたりからなんでしょ感じるようになったのは、そのあたりからなんでしょ

常野 そうですね。シューレが言ってきたのは、学校常野 そうですね。シューレが言ってきたのは、学校に行かない人の人権が十全に保障されるためには、学校をなくさないといけないと思ってるんです。あなたは学校に行ってください、私は行きません、私は私でしあわせです、というわけにはいかない。なぜなら、図書館だろうが、公園だろうが、映画館だろうが、どこにいようと、すべての社会領域を学校が埋め尽くしているからです。そこに外寄はない。そう考えたわけです。

貴戸 わかるんですけど、たとえばフェミニズムのな

鍼灸師。

いうあたりについては、どう思いますか。 いうあたりについては、どう思いますか。 とり乱しつつ、あいまいな部分も含めて 私は私でいいと考えていく。同じように、ラディカルに学校や社会のあり方を根本的に変革しようとしなが らも、具体的な日常のなかで学歴が不必要かといえば そうではなくて、大学に行くということもある。そう いうあたりについては、どう思いますか。

し」という言葉には違和感がありますけど、そういう(笑)。私は、どちらかをとるしかないと思います。(笑)。私は、どちらかをとるしかないと思います。(笑)。私は、どちらかをとるしかないと思いますね

\*8 田中美津:1970年代、日本のウーマンリブ運動を主導した。はわかります。先ほども言ったように、いまの社会か意味では、学校と関わりを持たざるを得ないというの

なければならない。支離滅裂に見えるかもしれない る。だから、無償化からの排除には断固反対していか はない。日本の植民地支配の結果として在日朝鮮人が を朝鮮学校も学校なんだから否定していいという話で で果たしている役割というのもありますね。あるい いる以上、民族教育を保障する義務が日本国家にはあ たとえば、 就学支援金から朝鮮学校が排除されている。それ 私はそう思います。 最近、朝鮮学校の高校無償化が問題になってます 個別の学校を攻撃すればいいという話ではない。 夜間中学校や定時制高校がいまの社会 H

なんです。それは日本の植民地主義を精算することで 校を廃止するには、この社会全体を変えることが必要 きるようになればいいということではないですね。学 れらは同時に行なわれなければならない。 してセキュリティが弱くなって、放射能漏れ事故が起 たとえば、原発を廃絶するためには、原発が老朽化 資本主義を変革することでもある。 健常者中心主義や家父長制を変えていくことで そして、そ ただ学校を

> で学校はなくならない。そうでなければ、学校よりも なくすだけでは問題は解決しないし、ほんとうの意味 おそろしい いやな教育ができあがってしまうと思い

ら学校を引き算することが学校廃止論ではないわけで

だと思えていたんでしょうか。 したが、シューレにいた当時は、 山下 先ほど「学校の外部はない」と言っておら シューレは学校の外 ń

レも「学校」なわけですよね。 時は想像できなかったことです。しかし結局は、シュー していましたね。シューレが中学校を持つなんて、当 そうですね。それをシューレにいたころは強調

# 明るい登校拒否をめぐっ

屮 選んだわけじゃないんだぜ!』を貴戸さんと共著で出 るという語りは多くあったように思います。『不登校、 調のなかで、 東京シュー 学校に行かなくても社会ではやっていけ レにかぎらず、不登校を肯定する論

自身、 校拒否」を厳しく批判されたのは、よくわかります。 支えられているのであって、「登校拒否児に必要なの んは、高学歴者の特権は低学歴の人への差別によって されたとき、常野さんがそこに異を唱え、「明るい登 にはギャップも感じるんですね。たとえば、常野さん しかし、常野さん自身の経験と、書かれていること 学校エ 学歴について葛藤があったわけですね。常野さ 1) トに 「理解」してもらうことではない。

選んだわばしゃ から同までオレビングリだせー常野雄大郎 一登校 社から出版された。 1980 年代に不登校 を経験 が、不登校を病理とみて否定する見方と それに対抗する不登校は選択肢であると する見方の、両方に違和感を感じ、そこ から問いを投げかけている。その後、 論社は倒産したが、2012年にイーストプ レスから増補版が復刊されている。

『不登校、

選

は、「よりみ

わけじゃないんだ

ちパン!セ」シリー

ズのひとつとして、

貴戸理恵さんと常 野雄次郎さんの共

著で 2005 年に理論

批判的に捉えたのか、そのあたりはどうなんでしょう。 の経験として、「明るい登校拒否」と自分がズレたと うであるように、高学歴の不登校経験者はたくさんい 低学歴はイコールではないですね。常野さん自身がそ 側なんですが……)」と書かれていますが、不登校と 彼らを打倒することだ(って言ってる僕も「大卒」の いうところからの問題意識なのか、それとも学問的に 常野さんの「明るい登校拒否」批判は、ご自身

を抱えていたり、行きづまり感があったので、そのあ 常野 たりの心情も混ざってます。しかし、 では自己分析ができてないです。 いんだぜ!』を書いたとき、すでに自分自身、 | どうでしょうね。『不登校、選んだわけじゃな その因果関係ま 精神病

さんも貴戸さんも、外形的に言えば、たいへんな「エ 屮 きづまり感というのは、 えで苦労している人もたくさんいます。 ト」ですね。でも、 不登校経験者で低学歴の人もいますし、働くう 苦しさがある。常野さんの行 不登校ゆえの苦しさなんで しかし、常野

学歴ゆえの苦労は、 ないですね。 しょうか。高学歴であっても苦しいということと、低 通底するものはあっても同じでは

否定できませんが、自分の苦しみを語ろうとする際、 いまの状態のほうがずっと悪いです。 ていますが、 もできない。 シューレの語りの枠組みではフィットしなかったんで 大学を出たとか、 不登校でも仕事をしているとか、 ていた「明るい登校拒否児」のモデルとはちがいます。 んですね。それは、あきらかにシュー 無職で、今後、 その言葉では、自分の苦しみを表現しようとして 精神障害で障害年金をもらえるくらいの重症な もちろん、 順序関係が混乱してくるけれども、 いまから思うと、 本を書いた時点でも生きづらさを語っ バイトぐらいはするかもしれないです 人生充実しているというケースでは 私が有名大学を出たということは あのころはまだマシで、 結婚したとか、 ・レなどで語られ V) ま 0 有名 は

屮 それはよくわかりますが、 その苦しさと登校拒

> 否経験は、 ダイレクトにつながっているのですか

常野 うく ん……そのへんも難しいところですね

屮 自身の経験からの問いなのか、社会学を学ばれたなか は、どこか無理があるように私は感じました。それが 拒否をネガティブなものとして肯定するという論旨に 校拒否ストーリーへの違和感はわかるんですが、登校 校だけの話ではないのではないでしょうか。明るい登 底している。とすると、その苦しさというのは、 ない。でも、この社会のなかの苦しさという点では通 る調査報告書」2016)。7割は不登校経験者では 経験者は3割くらいです(内閣府「若者の生活に関す る人のほうが多いですね。 からの問いなのかが、 ひきこもりも、10代からよりも20代以降に経験してい ような苦しさを抱えている人もいるように思います。 たとえば不登校経験がまったくなくても、 腑に落ちなかったんですね。 ひきこもりのなかの不登校 不登

野 11 まの私の精神病と登校拒否体験が、

校拒否という体験が自分の原点だと思っていて、な んでも登校拒否とつなげて考えようとするところがあ しながら、そういう理論を学んでいました。 ディーズを勉強しましたが、 ります。大学ではフェミニズムやカルチュラルスタ のか重ならないのかはわかりません。でも、 常に登校拒否体験を参照 私は登

屮 精神疾患は、 41 つ発症されたんでしょう。

という診断です。 ですから、病名が変わったということに、 かないタイプの統合失調症のことです。うつ病と明確 な意味は に区別できるわけではないと医者からは言われてます。 でした。何年も治らなくて、 (妄想、幻聴、 2003年ぐらいが初診で、うつ病という診断 ないと思いますが。 単純型統合失調症というのは、 躁状態など)がない、 いまは単純型統合失調症 あまり大き 陰性症状し 陽 性

校講師をするようになって、 仕事に復帰して、 イギリスの大学から戻ってきて、同じ予備校講師 さらにかけもちで河合塾などで予備 過労状態になっていたと  $\sigma$ 

> ごろのことです。 らえたんじゃないかと思うぐらい働いてました。 いうこともあります。 いま考えると、労災認定しても 26 歳

#### -登校新 聞 の 連載 か ら始まっ

章は、 屮 登校新聞』21号~31号/1999年3月1日 日)がベースになってますね。 不登校新聞の連載「社会の中の登校拒否」(『不 『不登校、選んだわけじゃないんだぜ!』 ~8月1 の文

常野 そうですね

屮 おもには貴戸さんが書いているものですが、 から常野さんに声をかけたんですか 『不登校、 選んだわけじゃないんだぜ!』 貴戸さん

うシリ 貴戸 てもらったとき、 そうです。 ーズのひとつですが、 この本は「よりみちパン! 私も不登校新聞の「社会の中の登校 その編集者から声をかけ セ」とい

いという思いがあって、声をかけたんです。拒否」を読んでいて、この人の文章を本にして残した

す。 
査のときにインタビューさせていただいたのが最初で 
査のときにインタビューさせていただいたのが最初で

登校拒否」を読んでのことだったんですか。 山下 そのインタビューのきっかけも、「社会の中の

貴戸 そうだったと思います。

響はどうだったんでしょう。 山下 『不登校、選んだわけじゃないんだぜ!』の反

常野 あの本は、非常に不幸な本だと思っています。

「明るい登校拒否」という言説を批判しているんだけれども、結果的には、「だから子どもは学校に行かせなければいけない」と思う人たちの材料にされてしなければいけない」と思う人たちの材料にされてしつぶして、登校拒否の実態を暴露することによって、学校をなくしていこうよ、ということだったんです。私がそのためには、低学歴者が高学歴者を打倒することがそのためには、低学歴者が高学歴者を打倒することがで変だということを書いた。

山田 僕がこれまでに不登校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」には「だから子どもは学校に行かせなければならない」といい。

ういう読まれ方もしたんですか?という読まれ方をしたようには思えないんですが、そ

でした。常野(インターネットのレビューなどを読むと、そう

山田 僕はこの本から、人間というのは、そんなに簡山田 僕はこの本から、人間というのは、そんなに簡単に選択肢を選べるものではないという指摘を読みとって、それは非常に大事なものだと思いました。もうひとつは、先ほどから言われているように、学校に行かなくても市民社会ではならないか。そこで常野さんの言われていることは、非常によくわかると思いました。そういう意味では、社会学者の内藤朝雄さんも、同じような論調ですね。

じているのだから、市民社会の論理を学校に持ち込むする群生秩序の社会になっていて、そこでいじめが生山下 内藤さんが言っているのは、学校はノリが支配

べきだということですよね

山田 そうです。僕も、学校に市民社会の風をと書いていた時期があったんです。いじめや体罰は、市民社会では許されないことが学校ではまかり通ってしまったでもないことになっているという問題があるわけです。そこを問わないといけないというのが、常野さんのおっしゃっていることだと思いました。

## 議論の行方は

山下 不登校新聞の論説委員でもある小沢牧子さんは、山下 不登校新聞の論説委員でもある小沢牧子さんは、このプロジェクトのインタビュー (#44参照)でも、た、このプロジェクトのインタビュー (#44参照)でも、常野さんの批判が「不登校問題の議論の真ん中に来るごとはなかった」「可能性はあそこだけだった」と語ってました。不登校新聞の連載時は、周囲の反応はどうでました。不登校新聞の連載時は、周囲の反応はどうでました。不登校新聞の連載時は、周囲の反応はどうでました。不登校新聞の連載時は、周囲の反応はどうでもんでしょう。

常野 小沢さんとは社会臨床学会でお会いしたことが 常野 小沢さんとは社会臨床学会でお会いしたことがありました。当時、不登校新聞の編集担当から聞いていた話では、読者からのリアクションとしては、かなり批判的な意見が多かったということでした。ネガティブなリアクションが多かったとがあら、10回で打ち切られたのかなと思うんですが……。

はあります。 読者からの反応は批判的なものも多かったような記憶 山下 打ち切ったという記憶はないですが、たしかに

**貴戸** 編集部のなかで、これを載せるのは冒険みたい

す。いろいろ頼んでいるなかのひとり、という感じだっ知っていて、連載を頼んだわけでもなかったと思いま知。こういう問題意識があると

たのではないかと思います。

まって、 書房2009)で、 身、それに応えられなかったという思いがあって、そ う投げかけをしてくれたんですよね。 校新聞のメーリングリストで議論に応答してくれとい で出された問題提起は炎上のようなかたちになってし は終わらない』(新曜社2004)も含めて、 があります。同時期に出版された貴戸さんの の後、自著(『迷子の時代を生き抜くために』北大路 不登校新聞のことで言うと、『不登校、選んだわけ ゃないんだぜ!』を出されたとき、常野さんが不登 不毛な議論に終始してしまっていたように思いま そのあたりはどうでしょう。 問いかけた問題の本丸の部分での議論はなく そのあたりについて書いたこと しかし、 『不登校 あそこ 私自

という実感はないですね。 た福村幸子さんなどですね。たしかに、議論ができた うな人でした。たとえば、不登校新聞の編集部にもい た福村幸子さんなどですね。たしかに、議論ができた

があると、当時、話していた記憶があります。別の運動で似たような立場にいる人には伝わった感じ別の運動で似たような立場にいる人には伝わった感じ、

でリースを引用してくれていました。
でますか」というパンフの一節で、「私は結婚します。
でますか」というパンフの一節で、「私は結婚します。
したね(私も反婚主義なんですが)。「婚姻制度を知っしたね(私も反婚主義なんですが)。「婚姻制度を知っしたね(私も反婚主義なんですが)。」

るを得ないのですが、当時は、そういう自分の立場に登校、選んだわけじゃないんだぜ!』も、すごく限定された足場から語っていますよね。80年代に「不登校ろで経験した不登校を、日本的な学校から仕事への移ろで経験した不登校を、日本的な学校から仕事への移ろで経験した不登校を、日本的な学校から仕事への移るで語っている。もちろん、限定された立場から書かざで語っている。もちろん、限定された立場から書かざるを得ないのですが、当時は、そういう自分の立場に

無自覚だったと思います。

『不登校、選んだわけじゃないんだぜ!』の私が書いた部分は、人に見せるためというよりも、ぶわっとほとばしるように書いていたものでした。80年代に、あの言説空間のなかで不登校して、2000年代以降、若者の雇用が劣化して、貧困や格差が厳しくなる社会の現実に出て行くリアリティのなかで、「いままで信じていたものが、ちがうじゃん!」みたいなところがあったんだと思います。

向けて書かれていたところがあったのでしょうか。世間一般にというよりも、シューレや奥地圭子さんにつも、その言説を問い直したいという思いがあって、シューレに通っていて、そこで救われた思いを持ちついた。常野さんの文章の宛先はどこだったんでしょう。

けではなかったです。

**山下** もちろん、そうだと思います。そこから普遍化

ということで言えば。 している問いになっていると思いますが、 第一の宛先

たですね。 いまでも持ってます。 そうですね。でも、 せめて反論はしてほしいという気持ちは、 それが届いた感じはなかっ

屮 いだでの反響は、どうだったんでしょう。 常野さんのつながりのあるシューレ出身者のあ

ただ、 ガティブに見られているのだから、戦略的にウソをつ いてもいいじゃないか、というような認識でしたね。 よという話をしてしまうと、ただでさえ登校拒否はネ いきなり40代までひきこもっている人もいます 私の関わ 明るい登校拒否イ っている人のなかでは共通認識でした。 メ ージはウソだよねというこ

### 醜さの の反乱

上 『不登校、 選んだわけじゃない んだぜ!』

> 校拒否は暴力を生む。登校拒否はひきこもりにつなが だ。逆に僕は、こう言いたい。登校拒否は病気だ、 するのだ/肯定できるだろうか、と。」 る。登校拒否は不自由だ。登校拒否は暗く、汚く、 「リアリティーのないハッピーエンドはもうたくさん 常野さんは最後に、このように書かれてます。 い。そして、そのようなものとしての登校拒否を肯定

とい なかったところがあるように思います。自戒を込めつ ティブなものとして肯定するというのは、問いが届か にはならなかった。いま、ここを語るとしたら、どう つ言えば、 リアリティーのないハッピーエンドがたくさんだ、 うのはわかります。けれども、登校拒否をネガ なぜネガティブなのかまで踏み込んだ議論

この映画には、 を説明するために、3本の映画の話をしたいと思いま 常野 とくに訂正するところはないですね。その部分 る種族だけは、 ひとつ目は『ロード・オブ・ザ・リング』です。 徹底的に悪でしかないモンスターなん いろんな種族が出てくるんだけど、

う」と言い合いながら、「醜くて醜くて、いとおしく うぐらいなんですね。それで、最終的に結ばれるとき はすごく醜くて、通りがかっただけで花も倒れてしま ずなのにおかしいと思ってたら、シュレックが「い しいお姫さまになってハッピーエンドなのかと思った し合うようになって、最後、結婚式でキスをして、美 ます。それで、シュレックという別のモンスターと愛 てキスをすれば美しい姿になるという設定になってい をかけられてモンスターになっていて、真の愛を抱 つ目は です。そいつらは殺してもいいし、死んでも悲しくな てたまらない」と言って物語が終わります。 映画は絵本が原作なんですが、絵本では、シュレック い。モンスターに関しては救いがないわけです。ふ これが美しい姿なんだ」という。くわえて、この モンスターの姿のままなんです。呪いが解けたは おたがいに「ああ、あなたはなんて醜いんでしょ 野獣が実は美しい王子さまという設定になって 一方、『シュレック』では、フィオナ姫が呪 『美女と野獣』(ディズニー版)で、この映画 61 11

が言いたいかというと、 醜さ、 モンスター性み

> です。 私が書いた一節をつなげて考えられないかなと思うん さの側が反乱を起こすんだということですね。それと、 みれば、呪いが解ければ」ということではなくて、 うときに、「ほんとうは美しいんだよ。視点を変えて いなものを、 いかにして美の支配から救い出すかとい

まず 貴戸 ング(なりすまし)」が含まれます。実際は不登校な 社会からスティグマ(烙印)を与えられた者が、どん 登校だったけど高学歴を得る」というのも、 スを別の部分のプラスで補うよう努力するもので、「不 などですね。それから「補償努力」。ひとつのマイナ んだけど、親戚の前では学校に行っているフリをする (『脱アイデンティティ』 勁草書房2005) によれば なふうに戦略的にアイデンティティを操作・管理して いるかを類型化しています。上野千鶴子さんの整理 1980)という本があります。 9 8 2 0 「印象操作」があり、これにはたとえば「パッシ ゴフマン (アメリカの社会学者/1922-『スティグマの社会学』(せりか書房 ゴフマンはそこで、

てしまうという問題もあるわけですね。ことでしょう。いわば、イチヌケですね。あるいは、ことでしょう。いわ戦略があります。たとえば黒人こそ美しい、醜さいう戦略があります。たとえば黒人こそ美しい、醜さこそ価値があるというのは、それにあたりますね。で言えば、人種や美醜というカテゴリーを固定化させて言えば、人種や美醜というカテゴリーを固定化させてしまうという問題もあるわけですね。あるいは、ことでしょう。いわば、イチヌケですね。あるいは、ことでしょう。いわば、イチヌケですね。

## 解放されるには登校拒否児が

警官が黒人を殺すという事件です。最近は、誰もがスそれが象徴的に現れているのは、アメリカで白人の

それはトランプ支持者の all lives matter みたいなこ 価値を肯定することを通してしか、そこまで到達でき 児、元登校拒否児が解放されるためには、登校拒否の 点とするとしても、いま現に抑圧されている登校拒否 な言葉なんです。理想的には、差異のない社会を到達 ている社会に対する抵抗を無効化してしまう、反動的 重要だ、意義はある)というものです。それ自体は正 する抵抗運動として、black lives matter(黒人 えるかたちで報道されるようになりました。それに対 とになってしまいます。 ない。いきなり、何もこだわりのない状態を求めると しくても、その言葉は、黒人の命を奪っても平然とし かえってくる反応は、 し、トランプ支持者の集会でそれを言うと、かならず は重要だ、意義はある)というものがあります。 マホで撮影できるようになったことで、誰の目にも見 all lives matter (すべての命は しか の命

会(大阪)の25周年集会でお話しされていて、私もひさんは昨年(2016年)、学校に行かない子と親のされば昨年(2016年)、学校に行かない子と親の

「しみじみ見ていると、保村さんは「リバ さしぶりに会いました。そのとき、福村さんは「リバ さしぶりに会いました。なんでかといったら、 ごくうらやましくなりました。なんでかといったら、 ごくうらやましくなりました。なんでかといったら、 ごくうらやましくなりました。なんでかといったら、 ごくうらやましくなりました。なんでかといったら、 不登校ってある一定の時期になる状態だけど、ほかの 不登校ってある一定の時期になる状態だけど、ほかの 不登校ってある一定の時期になる状態だけど、ほかの 不登校ってある一定の時期になる状態だけど、ほかの かりつ いっとにとっての「不登校」/ 『「学校 カッション:わたしにとっての「不登校」/ 『「学校 カッション:わたしにとっての「不登校」/ 『「学校 に行かない子と親の会 (大阪)」の25年』田中佑弥編 に対けている。

では流動的で、ほかのマイノリティとちがう面がある。きないですね。生得的なスティグマからは逃れにくい。きないですね。生得的なスティグマからは逃れにくい。ところがある。ところが不登校はイチヌケができてしまう面がありますね。常野さん自身、問題意識を持ちながら、高学歴者であったりもする。そういう意味ちながら、高学歴者であったりもする。そういう意味もながら、高学歴者であったりもする。そういう意味をは、なかなかイチヌケがでは流動的で、ほかのマイノリティとちがう面がある。

でも、私はそこが大事なのではないかと思うんですが……。 もやもやとしているからこそ、大事なのではないね。もやもやとしているからこそ、大事なのではないね。もやもやとしているからこそ、大事なのではないね。それを生ぬるいと感じて、もやもやを無理に解消のとして位置づけようとしていることにも、そういう意味では、やや無理を感じたんです。常野さんが自身意味では、やや無理を感じたんです。常野さんが自身の経験として、そうとしか語れないというよりも、そう語らねばならないというような意志を感じるんですね。それが、問いとして届かなかった要因のひとつになっているのではないかという気もするのですが……。

じゃあ醜かったら悪いことになるのか、醜くかったらじゃあ醜かったら声に、る、元気だから肯定するという言説に対抗するために、る、元気だから肯定するという言説に対抗するために、る、元気だから肯定するという言説に対抗するために、る、元気だから肯定するという言説に対抗するために、る、元気だから肯定するという言説に対抗するために、る、元気だから肯定するという言説に対抗するために、る、元気だから肯定するという言説に対抗するために、ネガティブな側面を強調しているん常野 たしかに、ネガティブな側面を強調しているん常野 たしかに、ネガティブな側面を強調しているん

なんじゃないのかということを言いたかったんです。何が問題なのか、その醜さを認めないことこそが差別

しゃ 登校は、かつてほどはネガティブにまなざされてい 力はなくしているんじゃないでしょうか。一方で、 てないようにも感じます。学校信仰が揺らぐととも ものでしょう。 子にリアリティ い登校拒否のストーリーが、 の本を書 下 対抗言説だった明るい登校拒否ストーリー それは運動の成果というよりも、常野さんがお ったように、 かれた当時はまだしも、 つ しゃることは、よくわかります。 を持っているかといえば、私は持っ 社会状況の変化のなかで生じてい いま学校に行っていない いまの時代に、明る ただ、こ -も求心 不 る 0 な

明るい登校拒否ストーリーも力を失っている。そうしいう問題がありますね。同じように、学校に行かないいう問題がありますね。同じように、学校に行かないいう問題がありますね。同じように、学校に行かないのになって、格差や差別がうやむやにされてしまうと

疑問です。いっても、それが、いまの子どもに響くのかと言えばいっても、それが、いまの子どもに響くのかと言えばたなかで、登校拒否をネガティブなほうに引っぱって

## it could get worse

また、たとえ話で恐縮ですが、アメリカではやった youtube 動画に、「it get's better」または「it will get better」というシリーズがあります。アメリカで、セクシュアルマイノリティもしくはジェンダーマイノリティの人
ルマイノリティもしくはジェンダーマイノリティの人
たちが、youtube でメッセージを発したんです。「あ

get better (いまよりよくなる)」と。社会に出たら学 子どもや青年たちに対して、直接、 にたいと思っている人には、「そのうちよくなる」と あった。というのは、「そんなの信じられない。実際、 校よりマシな環境だとか、そういうことを言うわけで 事だと思 したくはないですが、 いうバッチをつけてました。 人は it could get worse(悪くなるかもしれない)と いうメッセー ノリティの人たちもいるわけです。あるいは、 うセクシュアルマイノリティもしくはジェンダーマイ 大人になっても、 なたたちの年齢のころはそうだった。だけど、it will それが大流行した。しかし、 いま死のうとしているかもしれない。 っています。 ジは説得力を持たないわけです。 今日も死にたいと思っている」とい そういうメッセージのほうが 私は、 それに対する批判も 語りかけることを いま困難を抱える 私の友 いま死 私もあ

すか。 山下 ご自身のなかで、何がそんなに worse なので

もらっていますが、将来の経済的な心配があります。するかもしれませんが、現時点で無職で、障害年金は常野 精神の病が問題ですかね。あと、バイトは再開

レクトにつながっているんでしょうか。 山下 くどいようですが、それは登校拒否経験とダイ

も考えられません。 を考えられません。 も考えられません。 も考えられません。

山田 英語で bullying(いじめ)と harassment(悩ませること)という言葉を比較すると、harassment は法的にハッキリ犯罪なんです。ところが、日本の不登校、いじめなどには、それが見当たらないことも多登校、いじめなどには、それが見当たらないことも多音にも被害者になりうる。そのあたりが関係しているのではないですか。

学校なんか行かないでも市民社会のなかではやって

発があるのはわかります。シューレや奥地さんに対 さ、とりとめのなさがある。大人は必死に隠している あって、そのなかで子どもが生きていることの頼りな ている。これは世の中全般がそうなっているところが りには、そこが決定的に欠けていて、浄化されてしまっ 苦しさ、暗さ、 のは、そんなに明るいものではないですね。頼りなさ、 うことでもあるんだと思います。人間が生きるという んどさそのものをちゃんと見つめないといけないとい だけではなくて、人間がこの社会で生きることの けど、子どもたちはそこに気づいていると思いますね。 くさんだ」と言う必要があった。それは、 て、 けるという明るい登校拒否の語りに対して、 一度は「リアリティーのないハッピーエンドは しんどさがある。明るい登校拒否の語 反発という 強い反 た

しかし、やっぱり無理を感じる部分もあるというのがごまかすのではなくて、そこと対峙していく言葉がごまかすのではなくて、そこと対峙していく言葉が必要だということだと思います。そこには共感します。

はないかと思うんです。なくて、ひもといていくべき問いが、そこにあるのでなくて、ひもといていくべき問いが、そこにあるのでは正直な私の感想です。だから、よくないというのでは

私はいまも、子どもや若者と関わりがあって、いろ悩む部分があります。学校に行かないことを否定しないのはもちろんですが、変な肯定の仕方はしたくない。しかし、ネガティブなものとして受けとめろで、変わらず苦しんでいる面もあります。その子のいまの現実のなかで、どういう言葉が必要なのか。たとまの現実のなかで、どういう言葉が必要なのか。たとえば、常野さんがいま考えていることを、学校に行かなくなった当初の常野さんが聞いたとしたら、どう思うでしょう。

うと呼びかけたいんですね。労働運動でも、労働組合いわけではなくて、この社会はおかしい、劣位にあるものが優位にあるものを打倒して、社会を変えていこ言いたいのは、相手を楽にさせるメッセージを送りた言いたいのは、相手を楽にさせるメッセージを送りた言いたいのであかりませんが、う常野 タイムマシーンがないのでわかりませんが、う

を結成することが大切です。しかし労組なんかつくったら、雇い主のほうはつぶしにかかって、下手をしたら自分がクビを切られて、別の労働者が雇われてしら自分がクビを切られて、別の労働者が雇われてしたがう大義をかけてやるべきだと呼びかけないと状況という大義をかけてやるべきだと呼びかけないと状況という大義をかけてやるべきだと呼びかけないと状況という大義をかけてやるべきだと呼びかけないと状況という大義をかけてやるべきだと呼びかけないと状況という大義をかけてやるべきだと呼びかけないと状況という大義をかけている、だから、それを転覆するの社会は矛盾に満ちている、だから、それを転覆するために関わないとならないということを示したいというにないです。

山下 かといって、個々人が、この社会で生きていく山下 かといって、個々人が、この社会で生きている しているわけではないわけですよね。ラディカルさ しているわけではないわけですよね。ラディカルさ は、一歩まちがえると、革命のためにはもっと世の中 が悪くならないといけないというような、無理な道理 になってしまうと思います。

が起きます。改良にも、いろいろあります。それが矛常野 もちろん、日々の実践のなかではいろんなこと

ステップとしての改良なのか、ということでしょう。盾を隠蔽する方向での改良なのか、あるいは革命への

# 不可能に見えることこそ

貴戸 最後に何かあれば。

**常野** 健常者中心主義、家父長制、資本主義をつぶす、あるいは学校をなくす。それを革命と言いましたが、あるいは学校をなくす。それを革命と言いましたが、思うじゃないですか。不可能だと思える。だから、ご思うじゃないですか。不可能だと思える。だから、ごかえれば、社会は不可能を可能とするようなかたちで変わってきたわけです。

んです。でも、ローザ・パークスが白人席に座った瞬気で白人席から移動しろと言われたとき、頑迷に座りスで白人席から移動しろと言われたとき、頑迷に座りスで白人席から移動しろと言われたとき、頑迷に座りスで白人席から移動しると、ローザ・パークス

**#36 常野雄次郎さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

前にも、 いです。 とはないと思います。なぜなら、 本的に変えていくことを目指す。 学校のない社会を目指す。 ことです。それは5000億年後かもしれないけど、 するための条件をつくりだすために闘っていくという ボコボコにされて逮捕されて、 間に、その可能性が見えていたかというと、 るのではなくて、不可能にしか思えないことを可能に 人が無数にいる。 同じようなことをしていた人はいるわけです。 革命というのは、可能そうだからや 社会そのもののあり方を根 歴史に名を残してない 私は、そう主張した ローザ・ ・パークス以 そんなこ

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #36 常野雄次郎さん

インタビュー日時:2017年8月3日

記事公開日:2018年3月22日

場 所:関西学院大学大阪梅田キャンパス 聞き手:貴戸理恵、山下耕平、山田潤

記事編集・写真撮影:山下耕平

- 883 - - - 882 -

#### #37 古山明男さん

ですね

(笑)。ですから、「この人たちも、

あのとき

会社に不適応だった

古山 私自身、

門学校の講師をしていたんですが、暇はたくさんあっ たので、「高校生まで全科目教えますよ」と言ってね。 不登校の子どもたちが来ていました。僕はそのころ専 そうです。 会社勤めしてたとき、 うちの近くで、

中学生から高校生の

#### 古山 #37 古山明男 さん



(ふるやま・あきお)

1949年千葉県生まれ。京都大学理学部卒業。出版社勤務を経て、私塾・フリー スクールを開き、学習支援と不登校の子どもとの交流に関わってきた。教育の 多様性を推進する会(通称おるたネット)の代表であり、オルタナティブ教育 の啓発普及のための情報発信およびそのネットワークづくりにつとめている。 著書に『変えよう!日本の学校システム――教育に競争はいらない』(平凡社 2006)、『ベーシック・インカムのある暮らし』(平凡社 2015)がある。

インタビュー日時:2018年2月9日

聞き手:加藤敦也、佐藤信一 場 所:古山塾(千葉市)

写真撮影:佐藤信一

## 不登校と関わるきっ かけ

んですね。 私と不登校との関わりは、 88~89年ごろからな

がなついてくれました。

何がストライクだったかとい

「きみはこうするといいよ」というようなこと っさい言わないということだったんです。

たら、それがストライクでね。たくさんの子どもたち たことをしよう」と思って接していたんです。そうし の僕の気分でいるんだろうな」って、

あたりをつけて

「自分がされたくなかったことはすまい、されたかっ

加藤 それは、 どうしてだったんでしょう。

古山 える場があっ ボランティアで不登校の子どもたちに勉強を教 て、 そこで先生をやらないかという話が

と、何気ない関係をつくることです。

来たんです。

千葉市でのことですか

加藤 のつもりでも、 ばれって言うのかよ」と思ってね。 俺は辞めるかどうか考えてんのに、 け。もちろん、 もったいないから、 ら勤めてたんですが、 会社勤めしてたときは、 っていたんだと思います。 それがいかに人を傷つけるか、 い人だったんだけど、「くそったれ。 がんばろうよ」って言ってくるわ 親切な人が「君、このままじゃ いつ辞めようかと考えなが 親切なアドバイス

もしくは職種でもよいのですが さしつかえなければ、会社はどこだったの

古山 平凡社という出版社です。

やあ、 編集のお仕事ですか。

ちゃったんです。 社なら何とかなるかなと思って受けたら、採用され まともに勉強してなくて、エンジニアとしては食って けなくてね。でも、やたら本は読んでるから、出版 だけ、という感じでね。大学は理学部なんですけど、 つまりは周囲の期待に応えて、いい会社に入った ええ。 でも、 勤め始めた動機が不純だったん で

社会のはずなのに、目上とか目下とかおかしいじゃな た。それと自分の社会観があって、 て、 その下には印刷や製本の人たちがたくさん働いてい いかってね。そういう社会観に生きていたものですか 出版社も会社組織で、自分は編集者をしているけど 僕は中学、 当時は、資本主義批判の価値観が広がっていまし 自分も日本資本主義の尖兵じゃないかと思いまし その人たちの苦労の上に成り立っているわけです 高校、大学と、 部活には入らなかった いまは身分のない

> んです。 も先輩・後輩があるじゃない。それをいっさい無視し て敬語を使わなかったので、総スカンをくらいました。 先輩・後輩の関係があるから。 でも、会社に

藤 ああ、 なるほど (笑)。

でした。 から見れば、 古山 不適応の一番の原因はそれかな (笑)。あちら ぜんぜん社会的訓練ができていないヤツ

## 私塾とフリースクー ルを並行

クーラーだったとおっしゃってますが、それは学校の加藤 古山さんは、小学生時代、実質的にはホームス 勉強はしてなかったみたいな感じですか。

古山 ラジオを分解したり。 はいっさいお断りで、 虫をいじったり、 してませんでした。 心までは学校に売りわたすもの 自転車あちこち乗りまわしたり 好きなことをやっていまし 学校の門を一歩出 たら、「勉

子どもながらに思っていました。

いたんですか 千葉の街中ですけど、 昔は虫とかも、 けっこう

古山 たくさんありましてね。モンシロチョウが んでたりして、そういう時代でした。 僕が小学生のころは、まだキャ ベ 、ツ畑 11 っぱい や松林 飛

は勉強するようになったら、 実際、高校に行ってからプレッシャーに負けて、少し ければ、子どもはすごい力を持っているんです。勉強 てましたけど、とんでもない。自分の納得を壊されな よ。みんな「古山はよっぽど勉強してるんだ」と言っ やる。そうしたら、ずば抜けて成績がよかったんです 強は敵だと思ってたんです。 7 してたら、かえって成績はよくなかったと思いますね。 ない。それで、 これは不登校というより勉強論なんですけどね、勉 いう程度になっちゃった。 自分のおもしろいと思ったことだけを 絶対に内面には入れさせ まあ上位ではあるけどっ

成績は気にしてなかったんですね

古山 想しか浮かばないんです。 てない。「こいつはトーダイに入りそうだ」という発 だんポシャッちゃった。 してくれる大人は、誰も現れなかった。それで、 ぜんぜん。 でも、 親も教師も親戚も成績しか見 私の興味関心を直接に応援

ちなみに、 古山さんの親御さんのご職業は

古山 と遊びたいので、葛藤はすごくあったんです。 にけっこうからめとられて、勉強しなきゃいけないの たのね。それには反抗できないの。もし勉強にあれこ 息子がいい成績をとってくると、うれしそうにしてい も、勉強にはまったく干渉しなかったですね。ただ、 るだけだったんだよね。それで、結局は点数の価値観 ることもできたと思うんだけど、 れ干渉されていたら、「うるさい!」とか言って暴れ いわば物品調達係です。 父は下級公務員です。 母は専業主婦でした。 警察の鑑識課庶務係で ただ、うれしがって それで 両親と

うが、いっさい言わない、という方針でした。ほんとうの学びの場をつくりたいという気持ちになっほんとうの学びの場をつくりたいという気持ちになって、

加藤 88年ごろからボランティアで不登校の子どもと

古山同じころです。

**加藤** 同じころですか。というと、88~89年くらいで

んで、30~50人近くになったんです。くれたので、口コミで、お友だちがお友だちを呼び込ら、よかったのよ」って、歩く広告塔みたいになって

加藤 古山さんの塾に通う子たちが。

ら遊んでたんです。 時間を分けて来てもらっていました。それで、もっぱペース)、いっぺんに5~6人しか入らないでしょう。

いう、いわゆる進学塾的では……。スト対策だとか入試対策を思い浮かべますけど、そうスト対策だとか入試対策を思い浮かべますけど、そうかし、一般的にはテ

をほしがる場合があるんですよね。そういうときには、京葉学院とか、いっぱいあるから、どうぞほかに行っ京葉学院とか、いっぱいあるから、どうぞほかに行っなかったですね。「そういうところは市進とか

基本的にはつきあってました。

佐藤 子どもが求めれば、それにつきあう。

古山 そうです。ただ、ほんとうに子どもが求めてい古山 そうです。た数はほしいけれど、勉強したいわけでのためです。点数はほしいけれど、勉強したいわけではない。その葛藤をわかってあげて、柔軟に対応するのが仕事でした。

2藤 フリースクールは、あとから始めたんですか。

古山 塾と並行していました。相談を持ち込んでくる あたったけど、どうしよう」「いちおう行ってはいる んだけど何にも吸収してない、人間関係もできてない」 んだけど何にも吸収してない、人間関係もできてない」

てるんだけど行きづらいなって悩んでいる子も来てい加藤 そうすると、実際に学校に行ってない子も、行っ

たということですか。

古山 そうです。学校で適応できない、あるいは人間古山 そうです。学校で適応できない、あるいは人間とかなるものではないですね。むしろ、この子たちが安心であれている。学校で適応できない、あるいは人間

**加藤** でも、算数塾として始まったということなんで

うことですか。 加藤 そこから誰でも高校まで通えるようにしたとい

来てましたし、大学生も来てました。そういうなかで、古山 とくに年齢制限はしてなかったので、高校生も

いう教育観を固めました。どの学校に行くかではなく、その子がどう学ぶかだと

加藤 学校に行ってない子が、算数塾に来ることは

古山 来る子もいました。ある程度元気になった子に 古山 来る子もいました。ある程度元気になった子に たちなんですけど、学校の友だち関係そのままの場に たちなんですけど、学校の友だち関係そのままの場に たちなんですけど、学校の友だち関係そのままの場に たちなんですけど、学校の友だち関係そのままの場に たちなんですけど、学校の友だち関係そのままの場に たちなんですけど、学校の友だち関係そのままの場に たちなんですけど、学校の友だち関係そのままの場に

るんでしょうか。どういう指導をされていたんでしょう。大検とかにないかいう指導をされていたんでしょう。大検とかにない藤、いろいろなパターンがあると思うんですけど、

古山 大検を取らせるケースが多かったです。何をし

たですね。 ほかのフリースクールに比べれば、お勉強色が強かってもいいよというフリースクールではあったんですが、

りあたりどのくらいの時間だったんでしょう。 加藤 時間で区切っていたということですけど、ひと

古山 フリースクールのほうは週3回午後だけです。 私塾のほうは5~6人ずつ、週1回2時間ずつです。 様は、子どもたちが誰に言われるわけでもないのに と思ってるんです。そのなかに、それぞれの子どもた ちの天職につながるようなものが含まれていて、そこ に意識的に接してやらないと、埋もれちゃったままで、 点数だけの世界に入っちゃうんですよね。ですから、 子どもたちがやりたがることを最優先させてきました。 「私は子どもがいやがれば教えません」と了解をとっ て、よろしいという人たちばかり来てたんです。です からまあ、遊びまくった、遊びまくった(笑)。

**加藤** 一般的な塾だと、教材を買いそろえてたりしま

古山ありません。市販教材は使いません。

そういうのはやらなかったんですか。いたので、よくドリルみたいなのがあったんですけど、加藤 それはめずらしいですよね。僕も親が塾をして

**古山** 自作教材中心でした。必要なときは、むしろ教

加藤 教科書をベースにして。

言って持ってくるから対応してただけです。 古山 ベースでもないんだけど、子どもらが必要だと

**加藤** それはいいですよね。いいですよねっていうか、

**古山** 算数の教え方の研究はしていたので、自分で開

# 「点数価値観」に染まる子ども

加藤 88~89年ごろに塾を始められたということは、 通っていた子どもたちは、いわゆる団塊ジュニアで、 ものすごい受験競争が激しい状況のなか、ものすごい 値観があったと思います。そういう雰囲気については、 値観があったと思います。そういう雰囲気については、 をういうふうに考えておられましたか。

て遊びに行くでしょう。でも中学生になると、カバンない人たちが集まってきていたので比較的楽でした。ない人たちが集まってきていたので比較的楽でした。ない人たちが集まってきていたので比較的楽でした。に友だちの影響ですよね。小学生のうちは、うちの塾に来ると、カバンをポーンと放り出して「外行こう」って遊びに行くでしょう。でも中学生になると、カバンを遊びに行くでしょう。でも中学生になると、カバンない人たちが集まってきていたので比較的楽でした。

ざるで水をすくうような感じでした。 うなんですね。だから、そこにつきあっていましたが、 て言うのも、そういう子どもたちにとってはかわいそ どいいよって思うんだけど、「やらなくてもいいよ」っ が悪い。それだったら思いっきり遊んだほうがよっぽ ならないと思っている。だから、教えていても、入り 強につきあいだすと、やる気がないのね。やらなき 本人が勉強したいなら、つきあう。でも、 実際に勉 や

ういうプレッシャーはずっとありますよね。 学校に行ってる子どもたちには、いつの時代も、 ぱり高校進学があるからね。 昔も今も そ

## ルタナティブ教

ナティブ教育などに関心を持って探求され始めたのは 凡社2006)という本も書かれていますが、 なさっていて、 古山さんは、 『変えよう!日本の学校システム』(平 いまは「おるたネット」の代表を オルタ

いつごろからですか?

けで続いてきたわけですが、まさか2010年代末に なっても続いているとは思ってなかったです いました。どちらも、 したとき、 1990年前後です。1990年にソ連が崩壊 次は日本の学校教育体制の崩壊だと思って それが現実だからという理由だ

#### 加藤 そこまでですか

る人、 古山 どれだけいるんですか。 だって、ほんとうにすばらしいと思ってやって

#### 加藤 学校教育を。

ど、崩れないですね。しぶといね。僕は、最初からフリー なんてパッと崩れるに決まってると思ってたんですけ う。でも、 古山
そうです。休むとたいへんだ、 へんだ、卒業できないとたいへんだ、それだけでしょ これいいよってものが現れれば、学校教育 成績悪いとた

いました。 は知っていましたから、そのタイプで行こうと思って クールタイプあるいはサドベリータイプがあること

ご存知だったわけです

古山 本で読んだだけですけど、90年代には、オルタナティ た。ホームスクール関係の本もたくさん読みましたね があって、シュタイナー教育の本はよく読んでいまし ブ教育のことはいっぱい勉強してたんですね。 はい。それと、ルドルフ・シュタイナーに興味

うい ったことも本を通して勉強されていたんですね。 塾やフリースクールの運営と並行しながら、そ

古山 逆に、本でわかることと実際にやることとのあ 験させられました。 いだに、どれだけギャップができるかということも体

加藤 おるたネット は、 どういう経緯で始められたん

はこの国際条約にもとづいて考えてほしいとか、歴史 的経緯はこうなんですとか、そういう情報を提供して ただ、運動がどんどん突っ走るものですから、その点 研究してたものですから、その会と関わったんです。 うという機運がそうとうあったんですね。そのとき ちょうど教育特区を使ってオルタナティブ教育をやろ いたんです。 私塾をやりながら、教育の歴史や国際比較をずいぶん んです。それが2001年に始まって、そのころは 古山 前身に「教育の多様性の会」という会があ

校を制度的に取りに行ったんです。それが一段落して 僕とリヒテルズ直子さんでした。それで、特区運動の それと、理論面とかいろんな話題提供をしていたのが はシュタイナー学校をとりまとめていたんですよね。 まはブラジル学校を専門にやっているけど、あのとき この会をどうしようとなって、なくすのももったいな なかで奥地圭子さんとも会って、それでNPO立の学 この会の実質的リーダーだった小貫大輔さんは、

たのが「おるたネット」なんですよ。いということで、そのメンバーで寄り集まってつくっ

加藤 名前を変えたのはい

つですか。

**古山** 今年で10年目に入りますか。ですから2008

加藤 活動内容をお話しいただけますでしょうか。

**加藤** つくろうとする人の支援というこティブ教育の学校をつくろうとする人の支援というこよでする人の支援というのは、オルタナ

古山 そうです。ひとりひとりの学ぶ権利でまとまろ

制度的な提言をしようという予定でした。動と、つくろうとする人の支援が中心です。それと、う、と。そのなかでも、オルタナティブ教育の啓蒙活

加藤 予定でしたというのは?

あのなかでいっしょにやろうってことになりました。オルタナティブ学校系を包摂できたでしょう。だから、古山 「多様な学び保障法」が、フリースクール系と

2010年でしたかね。 多様な学び保障法を実現する会ができたのは

直後でしたから、2010年ぐらいでしたね。 佐藤 2009年にJDECで政策提言をして、その

## 多様な学び保障法

の主旨は、現状とは別の提案をされていたわけですね。 加藤 多様な学び保障法の話が出ましたが、一番最初

しいただけますでしょうか。その経緯というか、法案の本来の目的について、お話

古山 教育機会確保法のもとになった多様な学び保障 古山 教育機会確保法のもとになった多様な学び保障 す。でも、フリースクールやオルタナティブ学校を運 
**加藤** その1メートルというのは、いまの法律に関し

だけなのかは、これから何をするか次第でしょう。が、決定的なブレークスルーなのか、お茶を濁されたが、決定的なブレークスルーなのか、お茶を濁された

りは私教育の自由を保障するということだと思うんでとも重要なのは、学校をつくる自由と選ぶ自由、つまと。 (笑)ご著書は興味深く読んだんですが、もっ

どういうふうにつながるんでしょうか。すが、そこと先ほどの教育選択権がほしいという話は、

古山 もともとは、不登校問題なんです。だって、学校に行けなくなったら、ほかの教育を手配するしかないでしょう。なんでそうならないのっていう単純な話です。それで外国の事例を調べたら、不登校でこんなに困っているのって、日本だけじゃないですか。不登での解決は、それぞれの子どもに合った教育が生まれることでできる。これが根本的な解決であって、子どもを学校に適応させるというのも、いまの学校がよくなるというのも、行きづまっているところを、ウンウン言って押してるだけじゃないですか。

アンスのでは、アンスのである。アンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアンダのをアン

分たちの学校をつくる自由でもあると。 加藤 まあ、そうですね。教育選択権というのは、自

古山 子どもの権利条約はすごくスポットライトを浴むしたが、子どもの権利なもので、親の教育選択の の尊重は当然のことですが、親にも立場をちゃんと与 んです。ここには親の教育選択権が入ってるんですよ。 えないといけない。その論拠は、国際人権規約にある んです。ここには親の教育選択権が入ってるんですよ。

たよね。親の教育選択権というのは、社会権だと。編/東京シューレ出版2017)にも書かれていましル全国ネットワーク、多様な学び保障法を実現する会加藤 それは『教育機会確保法の誕生』(フリースクー

学校にもどすのではなくて、その子に合った教育をつ古山 社会権規約です。不登校の場合でも、子どもを

いけない。的な問題として「教育」から「学び」へ転換しなきゃ的な問題として「教育」から「学び」へ転換しなきゃくるんだという話をしてきました。というより、根本

加藤 そうですよね。オルタナティブ教育の発展の歴に法をめぐる議論のなかでも、親の教育選択の自由の保法をめぐる議論のなかでも、親の教育選択の自由から成り立っな法をめぐる議論のなかでも、親の教育選択の自由から成り立っな法をめぐる議論のなかでも、親の教育選択の自由から成り立った。

通事故で亡くなってしまった。 古山 そこを突っ込んでたのが西原博史さんなんです

加藤 つらい話でしたね……。西原さんのお考えにつ

古山 西原さんは憲法学者で、もともと思想良心の自

由を徹底的に研究していた人なんです。いまの社会で、由を徹底的に研究していた人なんです。いまの社会で、また。、親に教育権がないといけない。それは先進国ではら、親に教育権がないといけない。それは先進国では当然のことになっていると。いくら思想良心の自由と当然のことになっていると。いくら思想良心の自由といなくて、それで点数を取ることが正しいってやらしかなくて、それで点数を取ることが正しいってやらしかなくて、それで点数を取ることが正しいってやられてたら、思想良心が育つ基盤がありません。自分のれてたら、思想良心が育つ基盤がありません。自分の計です。(笑)。

加藤 西原さんのご著書では、『子どもは好きに育ていい』(日本放送出版協会2008)という本と、『良心の自由と子どもたち』(岩波新書2006)は、まさに思想良心の自由をタイトルにも掲げていますし、その2冊で言われていると思いますが、親の教育権、その2冊で言われていると思いますが、親の教育権、教育選択の自由という話は、ふだんはなかなか聞かな
教育選択の自由という話は、ふだんはなかなか聞かな

古山 ええ、日本では押さえつけられました。

でも、

親の教育選択権は基本的人権のひとつです。

# ひとりひとりに合った教育とは?

加藤 『変えよう日本の学校システム』を読んでいて、加藤 『変えよう日本の学校システム』を読んでいてと。つまり、最初からオルタナティブ教とうまくいくと。つまり、最初からオルタナティブ教とうまくいくと。つまり、最初から学校じゃなければ、もったけど、この子は最初から学校じゃなければ、もったけど、この子は最初から学校システム』を読んでいて、

古山 そういう子には、いっぱい出会いました。幼稚古山 そういう子には、いっぱい出会いました。幼稚園では、モンテッソーリとかシュタイナーとか、いろ園では、モンテッソーリとかシュタイナーとか、いろにですよね。いま、小学校を選ばせてくれっていうニーズはかなりあります。宿題やる習慣をつけて、いい成績をとるのが、いい教育なんだって思う人だけでい成績をとるのが、いい教育なんだって思う人だけでいなったといですよね。

加藤 『変えよう!日本の学校システム』70ページに、

ですよ。

古山 その子は、シュタイナー教育が合ってただろう

古山 その子は、シュタイナー教育が合ってただろう

その子に合ったペースではないと書かれてますね。教科になってしまう。それは学校のペースの問題で、動酵 学校の教科だと、時間が切り替わって、ほかの

校2年生ごろに知り合ったんですが、最初から学校にリングをしている女の子がいます。その子とは小学とえば、いま私たちが援助している子で、ホームスクーとういうお子さんは、けっこういましてね。た

てみたんですが、できないんです。とぜんぜんちがう子なんです。ちょっと算数をさせスとぜんぜんちがう子なんです。ちょっと算数をさせスとぜんぜんちがう子なんです。ちょっと算数をさせてとがんだんだけど、それでた。父親は何とか行かせようとしたんだけど、それでた。父親は何とか行かせようとしたんだけど、それでたってなかったんです。学校に行って2~3日で、泣行ってなかったんです。学校に行って2~3日で、泣行ってなかったんです。学校に行って2~3日で、泣

### 加藤できない。

古山 知性のタイプが、ぜんぜんちがうんです。その古山 知性のタイプが、ぜんぜんちがうんです。そとえば(スナック菓子の袋にある「メキシカす。たとえば(スナック菓子の袋にある「メキシカンチップ」という文字を見せながら)、「これは『メ』、これは『キ』、これは『シ』、『メキシ』、そうだね、合ってるね」と、記号の定義から入ってポンポンと行ける子たちがいます。一方で、そんなことをされると、いったい何のためにそんなことやってるんだろうと、いったい何のためにそんなことやってるんだろうなって、もやーってするだけの子もいる。そういう子は、学校で教えられることも、なんとか自分のなかでは、学校で教えられることも、なんとか自分のなかでは、学校で教えられることも、なんとか自分のなかでは、学校で教えられることも、なんとか自分のなかでは、学校で教えられることも、まやーっとしたまま毎

日が過ぎていく。そこに、これくらいがんばればわか日が過ぎていく。そこに、これくらいがんばればわかるよってプレッシャーをかけられると、意識がポーンとあっとんじゃう。できれば中学の前半くらいまでは、

加藤 え、中1まで点数教育をやらないと。

古山 中2くらい、14歳まで。

加藤 それはどうしてでしょう。

と同じような知性になっていきます。 古山 4歳の反抗期、あそこが大事で、そこから大人

というか。 
の学校教育の歴史が始まってから、ずっと変わらないの学校教育の歴史が始まってから、ずっと変わらない

古山 そう、そう。でも、ずっとと言っても200年

も経ってない (笑)。

ちょっとまずいところがある」と指摘して、うまくか とうの意味で子どもが食らいつくのは、 み合うと、うまくいく。時間が経つと、 やった直後です。やった気分でいるときに、「ここは われてもね。ほんとうの意味で、子どもが直せるのは になる。それで、まちがったところを直しなさいと言 うちじゃないですよね。早くても2~3日経ってから 中学だと、テストの採点が返ってくるのは、その日の きなかったところを一つひとつわかろうとしますか。 できないことを一つひとつわかっていかないといけな がほしいっていうなら、つきあう。点数がほしいなら、 しか意味を持たなくなっちゃうんです。だから、 い。でも、テストで50点とか60点とかつけられて、で 一答のクイズ形式です。 僕は点数がほしい子どもも相手にしています。 かならず一問 何点取ったか ほん

その場で考えて、どこがまずかったのかをみる。まずその場で答えてピンポーンあたりとか、×だったら、(学習塾チェーンの名前)で、ぜんぶ一問一答なんです。

これがおもしろいんですよ。
たら、その場で考えて修正して、その場で結果が出る。乗っかって)、こうすれば、うまくいく。もし、まずかったとえば、ここ(天秤に似たような傾斜のある台のかったときに、その場で、直接こうやるんだとわかる。

何を反省すんの。 実はコンピューターゲームは、ぜんぶそういうふう にできています。あそこでボスに倒されちゃったら、 ておくとか、すかさず反省し、作戦を練り、次を試す。 そこに意味があるんですね。時間が経っちゃったら、 ではコンピューターゲームは、ぜんぶそういうふう

学校のテストで、いっぺんに○をつけて、いっぺんに×をつけてというやり方では、点数しか残んないんに×をつけてというやり方では、点数しか残んないんに、をつけてというやり方では、点数しか残んないんに、なっくり直したいんです。

加藤(笑)おもしろいですね。

古山 まず足し算を完ぺきにして、次に引き算を完ぺきにして、というタイプの訓練はつまんないし、落ちでにして、というタイプの訓練はつまんないし、落ちで何回言っても同じことができないんだよ」とか「なんで何回言っても同じことができないんだよ」とか「なんたくなるんですよ。ああいう学校でやってる知性のタイプに合う子はいますけど、全員に合ってるわけじゃない。

使わないほうがいい。

僕がやるとしたら、手を動かして数えることから始くです。
のますね。
いまだったらパソコンのマウスでも、できめますね。
いまだったらパソコンのマウスでも、でき

です。
です。
です。
をから、まずは数えること、それから数量で表すことがいら、まずは数えること、それから数量で表すことができなくなっていめていくと、具体性に落とすことができなくなっていめていくと、具体性に落とすことができなくなっていいきなり数という概念を前提にして、記号にあてはいきなり数という概念を前提にして、記号にあては

それと掛け算は、やっぱり面積から入りたいです

いて、ほ リと手を突っ込んで骨だけをこすっているような話で の年齢では、感受性全体のなかに知性が埋め込まれて ないじゃないですか。知性に対して暴力的ですよ。あ で行っちゃうとかね。小学校のドリルなんて、つまん うかって、本気で考えているのね。それで微分積分ま そう思っていて、記号や言葉を使わない数学をつくろ り呼び名をつけたりする必然性はないそうです。僕も 然数とは何かから入っているんですが、彼の説明によ 手に数学を基礎から研究できる人工知能をつくってい るんです。グラフ理論というのを使って、 ね。このあいだ、すごい人と出会ってね。その人、勝 自然数の基礎知識に3とか5とか記号をつけた わーっと何かを捉えているところに、 そもそも自 ガリ ガ

ときから、どんどん難しいことをやらせるようになった生くらいから、連立方程式とか、代入とか難しいことをやってたりします。一般的な感覚として、小さいとをやってたりします。一般的な感覚として、小学校1~2

古山 言葉に関しては、教え方次第だと思います。と古山 言葉に関しては、教え方次第だと思います。と 古山 言葉に関しては、教え方次第だと思います。と 古山 言葉に関しては、教え方次第だと思います。と 古山 言葉に関しては、教え方次第だと思います。と

加藤 もやしみたいな知性というのは?

ど、特定の型を見せられれば、反復することはできる。緑色してない、ひょろひょろとした知性ですね。だけ ただの答え出し屋です。葉っぱがついてない、

加藤 ああ、なるほど。ある計算式というか、そうい

古山 自分で遊んで、自分でいじり込んでが大事です。

# 教育機会確保法について

加藤 まあ、そうですね。『変えよう!日本の学校シル藤 まあ、そうですね。『変えよう!日本の学校シの子どもに合った教育が提供されない問題なんだと。の子どもに合った教育が提供されない問題なんだと。の子とが、ご著書のだいたいの骨格というか趣旨にいうことが、ご著書のだいたいの骨格というか趣旨になっていたように思います。

りましたら。
りましたら。
もましたら。
かましたら。

古山 教育機会確保法は、学校教育を受けていない。

たちがいるという現状を追認した法律であると思います。だから最初は、この程度かよって、頭に来ています。だから最初は、この程度かよって、頭に来ています。だから最初は、この程度かよって、頭に来ていまかった子に、無条件に何でもいい、許す、それしかないだろうと思います。ところが、不登校の現実を知らいだろうと思います。ところが、不登校の現実を知らない方たちは、子どもががんばればいい、学校がよくなればいいと考えるわけですよね。

加藤 ちょっと待ってくださいね (笑)。不登校の現を対着の競争的な環境を直すのが先で、選択権の話よりも先い、子どもを理解してあげようという立場の人で、れから、子どもを理解してあげようという立場の人で、れから、子どもを理解してあげようという立場の人で、の競争的な環境を直すのが先で、選択権の話よりも先の競争的な環境を直すのが先で、選択権の話よりも先の競争的な環境を直すべきだという、強固な反対論を対している。

たりについてのご意見はいかがでしょう。というか、そういう意見があったと思います。そのあ

古山 実際に学校に行けなくなっている子たちに接し
すい。

加藤接してみると。

古山 そうです。あんたたち、学校で何とかできると古山 そうです。あんたたち、学校で何とかできると

実践をするということですか。 加藤 自分でやってみなって言うのは、自分で教育の

に来れるように、あんた、やってごらんなさい、やれどもに働きかけるのでもいいですから、この子を学校といいのから、の子を学校といいですから、での子を学校と、学校に来てガタガタ震えてる子、校門に

います。るようだったら、言うことを聞いてあげますよって思

不登校について3つ、考え方があります。1番目は、不登校について3つ、考え方があります。1番目は、学校のほうをよくしようという考え方。2番目は、学校のほうをよくしよりだすしかないという考え方。世の中の主流は1番目がったんです。それが2番に動いたというのが教育機だったんです。それが2番に動いたというのが教育機だったんです。それが2番に動いたというのが教育機

トしているってことですか。 かんばらせようから、学校をよくしようにシフ

込まれてきたのが教育機会確保法だと思います。 古山 ええ。プラス学校外も認める、というのが織り

加藤 そのあたりで、いろいろ、せめぎあいというか。

いるんですが、まあ、世の中の流れというのは、よう古山 我々は学校外があって当たり前だろうと思って

加藤

その話、

ちょっと聞きたいです。

ます。 古

個別学習計画は、防波堤に使えるんですね。個々

個々の現実のなかから柔軟に教育をつくりだせ

校を軽んじる子どもが増えてたいへんでしょう」って 民党でさえ、もっとも右派の「そんなことをしたら学 人たちが、 やく1番目から2番目には来たというところかな。自 裏でそうとう文句を言っていたらしいです

加藤 う話です ああ、 「不登校を助長する」と言っていたとい

心では思っていたでしょうけれども、今回の法律の経古山 助長するとか、こんなことでいいのかって、内 ぱり2番目と3番目のあいだでのせめぎ合いだったわ 過では、そういう人たちは主流にはなれなくて、 古山助長するとか、 けです。 こんなことでいいのかって、 やっ

(笑)。 加藤 ときだって、 そうですね。たとえば、インターネットを見た パッと表から見たときはね。 みんなそういうふうに思いますもんね

古山 私は学校外容認派なのですが、学校外の学び は

> うすれば、 であればいいぐらいにしか書いてないことですね。 です。この法律でよいところは、学校外の学びは適切 いまのところあまり目立たないのがいいと思ってるん お上の規制がかからないんです。

です。だから、いまは既成事実をつくっちゃいましょ て、定義も何もされていないから、 れから、この法律の一番いいところは、漠然としてい るようになった。これはけっこうデカいんですよ。そ ろが法律ができて、堂々と学校外もありますって言え うということを言っています。 いいと思うんですけどね」っていう感じだった。とこ ムスクールがあるなんて言えなかった。「個人的には 口が裂けても公式にはフリースクールがあるとかホー 学校や教育委員会も、この法律ができる前までは 何でもできること

加藤 あるということです なるほど。いまのところ、 いろいろな可能性は

とか、 古山 時数何時間やったかとか、 はい。きちんと定義されちゃうと、 免許を持っている人 許認可

が いるかとか、 いろいろ出てくるじゃないですか。

## 個別学習計画について

状を追認したもので、まだまだ不満というか、この程 これについてはどうお思いですか。 教育委員会の認定というところで懸念が出てましたが、 度かってお話でしたが、当初案というのがありました そこには個別学習計画というものがあって、地方 成立した教育機会確保法についての評価は、現

やってるうちに、すぐれたものが生き残るかたちにな

のなかから、さまざまなものが出てきて、ごちゃごちゃ

るだろうと。それは、上からのものじゃまったくない

でしょう。そうではなくて、

個々の実情に応じた教育

ほっとくと、学習指導要領をどうするかの話になる

何でもできるようになる。

個別の実情に合った、

いろ

んなものができる。

の家庭で、とにかく学校に合わないんですって言えば

思っていました。 日本の教育は独自の進化をとげることができるぞ、 いものにもなり得るんだけれども、僕は、これで あれは教育委員会のさじ加減ひとつで、 とんで

古山 そうそう。

佐藤 それぞれに応じたもの、ということですよね。

ました」でもいいような、そういう計画でいこうって 古山 く簡単で、「テレビを見ました」でも「マンガを読み いうだけの話ですよね。これが認められて、 そうです。実際には、個別学習計画って、すご 何とか10

加 藤 そうですね、 下からいろいろなものが

ですから。

- 905

ものができてくると思いましたね。年持ちこたえれば、ほんとうに子どもの学びに沿った

培したものを出してくる。 は、学校の授業中、何をしてたかというと、瞑想したっ 年生で学校行かなくなって、障害を疑われてたんだけ つくって、 ような子もいます。ある子はチャカチャカ何かモノを て言うんです。 んとかの法則やらを理解している。ある子は小学校5 ものすごく賢くて、人生智を持っている。 ま、 ある子は、 っていまして、そういうことが実際にできていま かなりのホームスクーラーの子どもたちと 集まるたびにハーブティーだとか自分で栽 すっと「空」の世界に入るって。その 小学生だけど、分子やら原子やら、 その子 な

のは、ぜんぜん人を育てるものではないよね。だから、 のは、ぜんぜん人を育てるものではないよね。だから、 これをクリアしないとダメだよとやっていく ろから、 これをクリアしないとダメだよとやっていく ろから、 これをクリアしないとダメだよとやっていく ろから、 これをクリアしないとが、 あんたはできる、 あ

は、柱になっちゃいけないと思うんですよね。達成評価タイプの教育は、少なくとも義務教育年齢で

**加藤** なるほど。個別学習計画制度の評価はおもしろ

古山はい、してました。

いいでしょうか。加藤(それを聞きたいんですけど、公開してもら)

古山 かまわないです。これをやると、結局はアメリカのホームスクールみたいになりそうです。 アメリカカのホームスクールみたいになりそうです。 アメリカカのホームスクールみたいになりそうです。 アメリカお局は自由です。 それと似たかたちになるだろうと結局は自由です。 それと似たかたちになるだろうと結局は自由です。 それと似たかたちになるだろうと お局は自由です。 これをやると、結局はアメリカのボームでは、

縛りしか、かけようがないと思います。していますから、縛りをかけようとしても、ゆるーいとくに日本の場合は、不登校というところから出発

けられるようにしないとね。 いわゆる英才教育的なものが、その子にとっては自 いる感じなんだよね。やたら優しい、やたら共感能力 いる感じなんだよね。やたら優しい、やたら共感能力 もっている、でも意味を持たないものをずらずらと並 で立てられると、もうダメというタイプもいる。体を で立てられると、もうダメというタイプもいる。体を で立てられると、もうが、それぞれに合った教育を受 それぞれの子どもたちが、それぞれに合った教育を受 それぞれの子どもたちが、それぞれに合った教育を受 けられるようにしないとね。

そのあたりが、いろいろな伸び方していって、10年経つと、8歳だった子が18歳になる。そうすると、そろ見えてきます。やってきたことの意味がわかっことが教育であるという、いままでの教育観とは、まったくちがう教育観が生まれてくる。まあ、主流にはなたくちがう教育観が生まれてくる。まあ、主流にはなれないだろうけど、無視しようのない流れになるだろれないだろうけど、無視しようのない流れになるだろれないだろうけど、無視しようのない流れになるだろれないだろうけど、無視しようのない流れになるだろれないだろうけど、無視しようのない流れになるだろれないだろうは、

加藤 なるほど。最後に付け加えると、お話を聞いて、たとえば教育機会確保法が現状を追認したもので不満があるだろうということは、ご著書を読んでても思いましたし、学校教育に合わない子どもって、不登校にかぎらず、たくさんいるわけですよね。ですから、この法律は、不登校に限定するのではなく、普遍的な法律にする必要もあるのかと。

ていましてね。これはいいと思っています。 保障法の運営会議でも、基本的には、そんな感じになっ対応してあげてほしいと思います。 いま、多様な学び対応してあげてほしいと思います。 いま、多様な学びのよいです。 不登校は表れ方のひとつ

教育批判としては、ジョン・ホルトのホーム・スクーリング運動が有名。なお、ホ 段として古くから合法化されている。また、アメリカでは親の信仰上の理由や公教育批判の文脈で盛んとなった。とくに後者の公 対する内発的動機と主体性を重視する教育もあり、 般にはなく、親と子の教育方針によりその内容が左右される。その意味で、学力向上を目的とした教育もあれば、子どもの学習に 通学せずに、家庭を拠点とする教育のこと。イギリスでは、ホームエデュケーションと言い、 に行かない選択 アメリカの実践』(マラリー・メイベリーほか著、秦明夫・山田達男監訳/東信堂1997)参照。 ホ ムスクーラー:ホームスクーリングを教育手段としている子どもと親のことを指す。ホームスクーリングとは、 その内容は多様であるといえる。くわしくは、『ホームスクールの時代 ームスクーリングには定型化された方法論が一 法律で学校に代わるその他の教育手 学校に

- 908

\* 2 市進:市進学院のことを指す。 市進学院も京葉学院も千葉県に本拠地を持つ有名な学習塾

ナティブ教育のひとつである。 ①公教育への批判的な視座、 ジ)を指し、広義には学校教育の代替という意味合いがある。永田佳之はオルタナティブ教育の特徴として、次の4つを挙げている。 \*3 国際比較に見る21世紀の学校づくり』永田佳之/新評論2005、 オルタナティブ教育:「既存の教育にとって代わる別の教育」(『オランダの教育』リヒテルズ直子/平凡社 2006、 ②成員の親和性、③関心とケアの文化、④子どもやスタッフの高い参画意識。(『オルタナティブ教育 19ページ)。 記事で述べられているホームスクー ルもオルタ 58 ペ 1

教育の創始者である。 知識の獲得ではなく、 性に働きかけるアプローチを重視する教育を提唱した。シュタイナー教育は、既存の学校教育の達成目標のように、教育を単なる \*ルドルフ・シュタイナー(1865 「意思、感情、 人智学という神的な霊性の認識を重視する神秘思想に基づき、 思考において調和のとれた人間として成長すること」を目的とし、 1 9 2 5) は、思想家・教育者であり、オルタナティブ教育として有名なシュタイナー その反物質主義的な思想傾向から子どもの感 しばしば「教育芸術」と呼

は横浜シュタイナー学園ホー 境との共存を理念ともしている非競争主義的な教育スタイルは、オルタナティブ教育の特徴に大きな影響を与えている。くわしく ばれるように、自分の感情を「内発的に」心や体を使って表現するプログラムを組むなど、独特の教育方針で有名である。 コレクション1』(ルドルフ・シュタイナー、 -ムページ https://yokohama-steiner.jp/kyoiku/about\_steiner/ 参照。あるいは『子どもの教育 高橋巌訳、筑摩書房2003)参照。 シュタ 自然環

学校法人として、 \* 5 教育特区:小泉政権時代の構造改革特区の一種で、文部科学省関連のもの。たとえば、 東京シューレ葛飾中学校がある。 東京都葛飾区の特区制度を活用した

\* 6 小貫大輔(おぬき・だいすけ): 東海大学教養学部国際学科教授。 専門は国際協力・人間開発、異文化間コミュニケーション。

いる。 択権が市民にあり、 あるという。つまり、 2 0 0 6 の教育事情の特徴には、「公立小学校と私立小学校間の政府補助金の平等の原則」(『オランダの教育』リヒテルズ直子) \* 7 リヒテルズ直子:教育評論家。比較教育学を専門とし、オランダの教育事情にくわしい。リヒテルズによると、オランダ 36ページ)があること、また「理念や方法の自由をそれぞれの学校の権利として認めていること」(同44ページ)などが オルタナティブ教育も含めて、 学校の自由裁量の余地が大きく、教育に多様性があるところに特徴があるとしている。付け加えて、教育選 個別のニーズに応じた多様な教育スタイルが選べる点もその特徴であるとして /平凡社

を目的とする」とあり、 な学びの場を選択できるようにし、 律の目的を記した第1条には「この法律は、子どもが、その個性を尊重され、 \* 8 多様な学び保障法:多様な学び保障法を実現する会が作成した「子どもの多様な学びを保障する法律」の骨子案の略称。 15条の条文から構成されていた。くわしくは、 普通教育の機会の確保と環境を整備し、基本的人権としての子どもの学ぶ権利を保障すること 多様な学び保障法を実現する会ホームページ参照 一人ひとりそれぞれの学習のニーズに応じて、 多様 法

http://aejapan.org/wp/wp-content/uploads/kossianVer.3\_140706.pdf

#37 古山明男さん

9 JDEC:日本フリースクール大会のこと。Japan Democratic Education Conference の略。

\*

徳的教育を確保する自由』を有することを認める。」(『早稲田社会科学総合研究第14巻第1号』「親の教育権と子どもの権利保障」 される最低限度の教育上の基準に適合するものを児童のために選択する自由』ならびに『自己の信念に従って児童の宗教的及び道 会権規約13条では)3項において父母などが『公の機関によって設置される学校以外の学校であって国によって定められ又は承認 \* 10 西原博史/早稲田大学社会科学学会2013、 社会権規約: 1966年採択。西原博史は親の教育権の法的根拠となる社会権規約の項目を次のように紹介している。「(社 67 ページ)

てていい 由を専門としている。 日に交通事故で亡くなった。 11 西原博史(にしはら・ひろし/1958-- 「親の教育権」入門』 (日本放送出版協会2008) などがある。 「多様な学び保障法を実現する会」 の発起人でもあった。 子どもの教育に関する著書としては、『良心の自由と子どもたち』(岩波書店2006)、『子どもは好きに育 教育基本法改正の際には国会の場で公述人として改正に反対の意見を述べた。 -2018):憲法学者。元早稲田大学社会科学総合学術院教授。 人権論・思想良心の自 2 0 1 8 年 1 月 22

教具・教材を特徴とする。」(『変えよう!日本の学校システム-女医マリア・モンテッソーリによって創設された教育。子どもの発達の実証研究に基づき、 モンテッソーリ:古山氏は著書のなかで、 モンテッソーリ教育について次のように紹介している。「1909年、 教育に競争はいらない』古山明男/平凡社200 子どもの自発性を引き出す教育方法と 6 78ページ)。 イタリアの

\* 13 支援についても「家庭に対する経済的な支援を行なう」と示されていたが、 子どもについて、 「義務教育段階に相当する普通教育の多様な教育機会の確保に関する法律案」第4章にあった条文のこと。 個別学習計画:2015年9月段階にフリースクール議員連盟を中心とした超党派議員立法チームが作成した法律案である 保護者が学習計画を地方教育委員会に提出し、 認定されれば就学義務の履修と見なすという内容であった。 2016年3月に全面削除となった。 支援対象と見られていた 財政

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #37 古山明男さん

インタビュー日時:2018年2月9日

記事公開日:2018年4月6日 場 所:古山塾(千葉市)

聞き手:加藤敦也、佐藤信一

写真撮影:佐藤信一まとめ:加藤敦也

いまは、

文部科学省が「不登校は問題行動と判

#### #38 倉地透さん

倉地 思います。中3のあいだは、 東京シューレに入ったのは中2の終わりごろだったと 2 の 1学期からで、

けっこうシュー

レに行っ

奥地

それで20歳で結婚だっけ

倉地

そうです。その会社にいたんですね、

練馬区の中学校でした。

どういう対応を受けてきたのか、 入れたいと思っていました。だまされて、 ロジェクトに入れたいと思って、透くんの話は絶対に ころはたいへ した。やっと、 しい時代もあって、 てい 戸塚ヨットスクー かれちゃっ んでしたね。 そこまで来たんです。 とくに80年代、 たわけですからね

いまは46歳で、 簡単にプロフィ 中2から不登校だったんですよね? ールを聞きたい

奥地 通ってたような時代でし したから ルなんかが、 ふつうにまか いんだけど、

断してはならない」と全国に通知を出す時代になりま 学校に行かない子たちが、 そういう話をこのプ シューレができた でも、 北海道まで 非常に厳 のころは、 奥地 奥地 も1週間でダ ゃないんですよね。 シュ まだ高等部がはっきりと確立していたわけ レを辞めたのはいつごろでしたかね。

アルバイトしながら通ってましたね。 高校に入ったときにシュー メになって、 またシュー は レに戻ってきて、 1回辞めて、

いまは高等部もあるんだけどね

じゃあ、 16 ~17歳のころに退会してるのかな。

親の会社じゃないところで働き始めたんです。 婦人服の縫製をやってたんで、それを継ぐって名目で いの縫製工場で働き始めました。 ふつうだったら高校卒業年齢のときから、 仕事を始めたからだったと思います。 親がアパ 18 歳 ル関係で

#### #38 倉地 透さん



(くらち・とおる)

1971年、東京都練馬区生まれ。中学校2年生より登校拒否。中2の終わりご ろから17歳まで東京シューレに在籍。18歳から縫製工場で働き、20歳で結婚。 転職して工務店で働きながら専門学校に通い、27歳で二級建築士の免許を取 得。その後、独立して、2008年に建築会社マッスルホームを設立、取締役社 長をしている。ふたりの子どもの父でもあって、お子さんたちとは趣味のキッ クボクシングを楽しんでいる。

株式会社マッスルホーム http://www.muscle-home.com/

インタビュー日時:2018年3月1日

聞き手:奥地圭子

場 所:東京シューレ王子

写真撮影:佐藤信一

奥地 でも、その前にお母さんが亡くなられて……。

**倉地** お袋が亡くなることによって、結婚が早まったれて、前分の会社もうまくいかなくなって、借金袋が亡くなったことによって、親父がやる気をなくし袋が亡くなったことによって、親父がやる気をなくしちゃって、自分の会社もうまくいかなくなって、借金も抱えて、がくっときちゃったんですよね。

きに工務店に入ったんですね。

きに工務店に入ったんですね。

きに工務店に入ったんですね。

きに工務店に入ったんですね。

通ったんだっけ? 奥地 23歳で工務店就職で、それで夜は専門学校!

築士の資格を取りました。それが27歳のときです。**倉地** そうです。夜と日曜日に通って、そこで二級建

建てるんだよね?店でしばらくやっていって、30歳のときに自分で家を店でしばらくやっていって、30歳のときに自分で家を

**倉地** そうです。その後、独立して、株式会社マッス

# いきがっていたのが逆転……

ころは、学校では楽しくやっていたの?以上前の不登校の話を聞きたいと思います。小学校の以上前の不登校の話を聞きたいと思います。小学校のの場所である。

**倉地** 楽しくやってました。

**奥地** 中2で不登校になったのは、どういう経緯だっ

すごい差が出るじゃないですか。 んですよ。中2でもちっちゃかった。中学のころって、んですよ。中2でもちっちゃかった。中学のころって、にいたんです。僕、身長が伸びるのがすごく遅かった食地 学校のなかでは、そこそこ悪いグループのほう

てよく言われた。 奥地 私も背が低かったから、中学生のころ、チビっ

**倉地** 小学校のころは、真ん中とか、真ん中よりちょっと後ろぐらいにいたのに、だんだん前に行っちゃっとが、あるとき、そのグループのリーダー格のヤツとろが、あるとき、そのグループのリーダー格のヤツともめて、負けちゃったんですよ。そうしたら、次の日もめて、負けちゃったんですよ。そうしたら、次の日からクラス全員を敵にまわすというか、「あいつ無視からクラス全員を敵にまわすというか、「あいつ無視からクラス全員を敵にまわすというか、「あいつ無視からクラス全員を敵にまわすというか、「あいつ無視からクラス全員を敵にまわすというか、「あいつ無視が、あって感じで。

じだったの? みんなが言うこと聞くような感じ? 奥地 クラスの人たちとリーダーの関係ってどんな感

**倉地** 強いというか悪いから。

奥地怖いのか。

を仲間外れにしたいわけですよね。
たなっちゃうから。そいつからしてみたら、俺ひとりになっちゃうから。そいつからしてみたら、俺ひとります。

れはたいへんだったよね。奥地・シカトの対象になっちゃったってことよね。そ

親とか先生に相談できないんですよね。ひたすら耐えられちゃうわけ。そうなっても、プライドがあるから、られちゃうわけ。そうなってもんだから、よけいにやいばってたり、いろいろやってたのが、急にしゅんとのは、

奥地

すぐには知らなかった?

は水銀の体温計だったから、ぽんぽんってやれば上 ようになったんです。朝、学校に行くのがイヤで、昔 がっちゃうから、 てたんだけど、もう、毎日そんな学校に行くのも、 .だん憂鬱になってきちゃって、だんだん仮病を使う 「熱ある」って言って。

奥地 先生もあんまりわかってなかった。

倉地 むしろ、 いばってると思ってるから。

奥地 ないもんね。 クラスのなかの変化が、先生にはなかなか見え

倉地 表と裏ではぜんぜん、 てるみたいに、なあなあな感じでやるからね。 先生の前だと、 そのリーダーのヤツも仲良くし ちがくて。 でも、

奥地 984年ごろですよね。 そのころって、 学校に来ない子はいました?

> あいつ来てないの?」みたいな感じだったから。 倉地 かったですね。休むのもめずらしいぐらいで、 僕が行っていた学校には、不登校は誰もいな 「えっ、

奥地 をつくったころなの。 84年というと、 まだシューレもできてない。 私らが「登校拒否を考える会」

倉地 そうですよね。 シューレは85年からですよね。

奥地 間は不登校なんて許さんって感じだったからね。 つけてでも学校に行かせる」という方針だったし、 そのころは、 教育委員会も学校も、「首に縄を

倉地 親も、 やっぱ世間体をすごい気にするからね。

## 車に乗せられて学校に

奥地 だったの? 透くんのお母さんとかお父さんはどんな対応

ですか。 倉地 またガマンして行くんだけど、行けば「何、休んでん だよ」って感じで、よけいひどいことされるじゃない それも2~3日したら「もう行け」って話になるから、 最初、仮病で休んでるうちはよかったんだけど、

に言うよ」みたいな感じでした。

**倉地** すぐには。母は「これ以上やったら、

お父さん

奥地

て言いましたね。子どもは、お父さんに言いつけられ

昔はよく母親が子どもに「お父さんに言うよ」っ

たら困るし怖いので、言うことを聞いたんですよね。

てるの、 起きられなくなっちゃうんだよね。「遅刻するよ」っ て言われても、「うん」って言ってるだけで起きられ かれて、家を出されちゃって。でも、そのうち今度は 感じで、仮病もだんだん通用しなくなって、ひっぱた 激怒ですよ。ぜんぜん話を聞いてくれない。「何、言っ ず母親にわけを話したんですよね。そうしたら母親は なくなっちゃって……。 もう、ほんとうにガマンできなくなって、とりあえ ダメダメ」「とにかく行きなさい」みたいな

倉地

まあ、

学校に入るまでずっと見てるんですよ。

車に乗せられて学校に送られたりもしました。それで

結局は親父に言われちゃって、

無理やり

奥地 お父さんはいつごろ知っ たの

倉地 親父は家にいないことのほうが多かったので。

人たちにまぎれて行くわけです。「何、 奥地 そうだよね。 よ」って話になっちゃうし、また格好の餌になっちゃ しいから、ある程度手前で降りて、 こっちも目の前で降ろされるのは、 その日は覚悟して、 なんとか、ほかの さすがに恥ずか 車で来てんだ

しょうがなく

行くわけね。

なっちゃったんだ。

大好きな乗馬クラブが、

そういう変なつなぎに

くに行かして突き放せばいいんだ」とか言われたんだ それで、親父は「そういう子どもは甘えてるから、遠

と思うんです。

いまでも、

あまり許せないですけど。

と見てるんですよ。自転車持って、ずっと……。

それと、「おみやげ買ってくるから、おこづかいちょ

Ŏ

ところが見えるんですけど、何回振り返っても、 て、ずっと見てるんですよ。改札に入って、歩いてる

ずっ

相談させてほしいって、

叔母に頼んだんでしょうね。

らっしゃい」なんだけど、わざわざ最寄りの駅まで来

れ?」と思ったのは、お袋が、ふつうは家で「行って

最初は2泊3日だと聞いていたんですけど、

相談をラジオでもやってて、たぶん親父が昌子さんに

あとから知ったことですけど、昌子さんは教育

倉地

叔母はあんまり賛成じゃなかったんだけど、

父

「おっ、いいの?」みたいに喜んじゃったんですけどね。

- 919 -

3000円くらいなのに、1万円くれたんですよね うだい」って言ったら、ふだんだったら、200

いまだったら、「うん?」って思うかもしれないけど。

奥地

その人、

本も出

してたから、

私も覚えてる。

しても、

しいんですよ。だけど、親父はその人の言う通りにや

透は萎縮するだけでダメよ」って言ってたら

あとで聞いたところでは、叔母は「そんなこと

るんだと言って。

来てた馬主に、大妻女子大学の昌子武司というカウンてリフレッシュしてたんですよね。その乗馬クラブに

だから、自分のなかでは、所沢の叔母さんの家に行

9

れてしまって。

親の方針には逆らえなかったんでしょうね、

押し切ら

いで済む。

セラーがいたんです。

僕も、

しょっちゅう会っては

奥地

そのころは、まだ父親が強かったもん

たんですが。

そうなんですよね

奥地

また行かなくなる。

う? 奥地

そこは、いまとちがうかも。目線がきついでしょ

- 918 -

倉地

でも、

結局、

朝になるとそんな感じで。

倉地

奥地

家にいるときは、

どうやって過ごしてたの?

出るとしても、すごくコソコソですよね。

北海道の牧場に置い

7 1)

かれ

たいな状態になっちゃうんで、出られないんですよね

「なんでいるの?」「あれ、学校は?」

家にいない時間が

お父さんもお母さんも働いてたら、 あるでしょう。

倉地

ひたすらゲームやってるか、

テレビ観てる

か

奥地

それで、お父さんがカウンセラーのところに

女子大のカウンセラーのところに相談に

でも、

行ったの?

行って、たいへんなことになったということでしたが。

ファミコンはあったんですよね。初期のころの。

テレビ観てることが多かったかな。それか、ずっと寝

てるか。

倉地

母方の叔母が乗馬をやってたんですね。その乗

部屋から一歩も出ない生活になったって

奥地

ので、

かると……。

ひきこもっちゃったんでね。マンションだった ほかのお母さんとかに見つ

け、本来の自分でいられた。乗馬クラブがあったのは たんですよ。友だちはいないし、馬に乗ってるときだ 馬クラブに行って、馬に乗ってるときだけが楽しかっ

(埼玉県)で、練馬(東京都)から離れてるから

人目も気にしなくていい。「学校は?」とか言われな

昼間に外に出ると、

て、 んです。 ながら行ったんですけどね。北海道の千歳空港に着い だったかな、 カーを空港で借りて、 旅行気分でおいしいものを食べて、親父がレンタ まあ、こっちは2泊3日のつもりでニコニコ 車で3時間ぐらいかけて牧場まで行った 日高市の浦河っていうところ

場所とかを聞いてたと思うんですけど、親父は、自分 共のところに立ち寄ったんですよね。そこで、 なんでこんなところに知り合いがいるんだろうって思 ではその牧場は知り合いだって言ってたんですよね。 うところですけど、子どもなので、別にそれ以上は考 その前に、記憶があいまいなんですけど、どこか公 親父の言うことを信じちゃってたんで……。 牧場の

> 奥地 それは疑わないよね

牧場に着いて、ご主人さんはじめ、みんなに紹介され 厩舎で馬を見たりして、「わー、楽しいな」って。 と思うんですけどね。こっちは、馬もいっぱいいるし をしていて、よろしくお願いしますって感じだった 馬見て来いよ」って。そのあいだ、親父はご主人と話 て、親父は「ここで2泊お世話になるから」「おまえ、 大人のつきあいまで、 わからないですからね

をさらっと言ってきて、でも、そこはこっちも敏感で たら、おまえもしばらくいたいだろう」みたいなこと 回も聞くんだろうとは思ったんですけど。 「それはいい」みたいな返事をしてました。 だんだん、親父が言葉の端々に「こういうところだっ なんで何

けっこう距離があるんですけど、その道を車が帰って わけです。牧場の入口からお世話になった家までは、 つつ、でも、父親が帰ってしまったとは思わず、 でたら、父親の車が見えて、いま来た道を帰っていく いく。「あれ? それで、広いので、いろんなところへ行って楽しん あれは借りてきた車だよな」と思い

たんです。

と話があるからいらっしゃい」って言われて、「学校 「行っちゃったね」みたいな感じになってるから、「あ 感じになりました。 もう、そこでだいたい「うっわ、やられた」みたい 行ってないんだって?」ってところから始まって……。 れ、お父さんは?」ってきいたら「帰られたよ。 ね。車に頭を下げて、見送ってる感じなんです。それで、 でも、ご主人と奥さんは確実に見送ってるんですよ ちょっ

屋の掃除をしてもらうよ」って、 その夫婦の長男がいるんですよね。 んですけど、それで跳ね起きて、着替えて下に行くと、 「君はしばらく、ここであずかるから」「毎朝、馬小 毎朝5時に、自分の部屋のブザーがブーって鳴る 要は働けってことで

奥地 何歳ぐらい  $\dot{o}$ 

倉地 みろ」って言われて、 そのお兄さんに「こうやってやるんだ」「やって 20代半ばぐらいの人で、 でも、 まだ背が小さかったし、 牧場を継ぐんでしょう

> 力もないし、 けっこうな重労働でした。

奥地 自分で来たくて来たわけじゃないしね

### つ帰れるの かな

倉地 ら」って言われて、遅いと怒られるし……。 たりでやるわけで、 乗馬クラブのときは、自分のところだけ世話すればい クラブでもやっていたんで。ただ、数が多いんですよ。 いんだけど、何十頭もいるのを、そのお兄さんとふ 馬房を掃除するのは、 「午前中までにこれぜんぶやるか 慣れてたんですよ。乗馬

奥地 いな? り、学校に行ってないとこういう目に遭うの そのときの気持ちは、どうでしたか? か、 やっぱ みた

倉地 俺、 いつ帰れるのかなって。

奥地 何の話もないわけよね。 いつ帰れるんだろうっ

て、

毎日思うよね

#### 奥地 新鮮な面もあったわけ Ŕ

す」って言って。 んですよ。でも、すぐに飽きますよね。それで、夜**倉地** 帰りたいんだけど、すごく楽しい時間もあった になるとやっぱり連絡しちゃうんです。「電話借りま

### 奥地 そのころは家電 (固定電話)

4秒10円とかだったんですよね。 家電で、 高いのもわかってなかったんですけど、

### 奥地 北海道から東京じゃあねえ。

またまそこに親父がいたりすると、 と助け舟的な言い方をしてくるんですよ。だけど、た て言われて切られちゃう。 れば早く帰ってこれるんだから」みたいな、ちょっ すか。お袋は声を聞いちゃうと「あんた、ちゃんとす てくる。そうすると「なんで?」ってなるじゃないで そうすると「かけ直すから」とか言って、またかかっ 「お前みたいなヤツは、しばらくそっちで頭冷やせ」っ でも、 わか ってないから電話しちゃうんだけど、 パッと代わられて

#### 奥地 頭ごなしね

日リフレッシュしに行くか? 」って言ってた言葉を 倉地 思い出すと、 たいな感じで、「何だ、それ」って。「北海道に2泊3 「もう二度と電話かけてくるんじゃねえぞ」み やられたなと。

### 奥地 そこで、 お父さんとケンカしたりもしたの?

うもないんですよね。 うと、帰れなくなっちゃうと思ってるんで、どうしよ 離れてるし、こっちからケンカふっかけっちゃ お金も1万円しかない

### 奥地 そこも考えたわけね。 子どもは立場弱いもん ね

倉地 からない。 るんだけど、たとえば電車がどこに走ってるのかもわ たし、だいたい北海道のこのあたりっていうのはわか 3時間車に乗ってきたってだけで、車では寝ちゃって 自分には、どこにいるかもわからないんですよ

### 奥地 帰れる自信ないよね

すよ。 倉地 が往き来してるのは見えるんだけど、どれぐらい先か く向こうのほうに国道らしきものが見えて、トラック 牧場の隣もまた牧場、とにかく何もない。すご 交通機関がなくて、ただ牧場が広がってるんで

もわからない。

オー!」って攻めて走るんですよ。そうすると、すご ワー!」なんて言ってはしゃぐと、そのお兄さんも「ウ せてもらったら、ほんとうに楽しかったので、「オ ないですか。「いいんですか?」みたいな感じで、乗 ね!」って言ってたら、「乗る?」って話になるじゃ て、よくわかんないんだけど「いいっすね、いいっす てたんですよ。その車をほめると乗れるかなと思っ くんですよね。 いスピードで行くから、町には、5分ぐらいですぐ着 それで、そのお兄さんが車好きで、改造車に乗っ

この人たちって電車で行くときはどうしてるんです 報をだんだん得たんですよね。町への道順とか、「こ な、よ、 れていってくれるようになったんです。それで、情 か?」って聞いたら、「電車はここを走ってる」とか。 ンガ読みたい。本屋に行きたい」って言ったら、「い そんな感じで、お兄さんも遊んでくれるんで、「マ つれていってやる」って、その後も、町につ

われるんで、本屋の店員さんにきいたりもして。て、あんまりお兄さんばかりにきいちゃうと不審に思てす。毎回、町に行くたびに、ちょっとずつ情報を得

奥地 いろいろと知恵を使ったね。

**倉地** それだけ慎重だったんですよね。1回だまされ か。「こんなこと、きかれたよ」って話が家にいくと、か。「こんなこと、きかれたよ」って話が家にいくと、かっていた。

ば、なんとかなるかなって思ったんです。のは、なんとなくわかったので、そこまで歩いていけを右に曲がってしばらく行くと電車の駅があるというそれで、とにかく1本道を行くと国道に出て、それ

### 脱出を決行

うがなくなっちゃって、とにかく出る日を自分のなか**倉地** それで、1週間ぐらいしたら家出したくてしょ

で決めようと思ったんです。

ちゃえばって。

ちゃえばって。

は、だいたい次の日みんな寝坊してるんですよ。そきは、だいたい次の日みんな寝坊してるんですよ。その出産って、夜中とかに急にくるんですよ。出産

奥地 そこをよく発見したよね。考えたね。

**倉地** それしかないなって。それで「今日産まれそう たけど、透くん見るかい?」ってときに「見たい」と 方時に起きて毎日肉体労働やってるから眠いんですけ ど、今日は寝ちゃいけないって、がんばって、夜中1 やごろに出産の立ち合いに行ったんです。でも、「う わー、やばい、眠い」って、もう船漕ぎ出しちゃって、 ご主人も「もう寝なさい、眠そうだからいいよ」って 言って。それで部屋に戻ったんだけど、暖房とかもいっ さい切って。

奥地寝ないようにしたわけね。

**倉地** それと、玄関のすぐ脇が夫妻の寝室なんですよ。 **倉地** それと、玄関のすぐ脇が夫妻の寝室なんですよ。 をっていました。でも、携帯とかもないじゃないです 座っていました。でも、携帯とかもないじゃないです。

ました。でも間に合うと思って、「いましかない」って決行し、ハッと起きたら、4時をちょっと過ぎちゃっていて、

ちょうどいいやと思って、そのまま出ました。わー」と思ったけど、雨の音で物音が聞こえないから、外に出ようとしたら雨が降ってるんですよ。「う

奥地 傘は持ってたの?

**倉地** 持ってないです。そんなのどうでもいいと思っ

奥地 ひたすら帰りたかったのよね

**倉地** もう出ちゃったら、逃げるしかないじゃないで すか。でも、牧場の入口までの道、親父が車で帰った 道って、寝室の窓から思いっきり見えるところなんで 気づかれちゃう。だから、土手の死角を選んで走って 気づかれちゃう。だから、土手の死角を選んで走って 気がかれちゃう。だから、土手の死角を選んで走って

るものはないし、見えちゃうし。 見つからないようにって。でも、牧場だから、さえぎ奥地 どきどきしたでしょう? 早く牧場を出たい、

**倉地** 1時間経ったら、みんなが起きる時間になっ

奥地 車ですぐ追いつかれちゃうもんね。

**倉地** そう。あの改造車で来ちゃうなって思うんで、

番犬に襲われちゃったんです。2匹いました。とにかく道を急いでたら、すぐ隣の牧場のあたりで、

奥地 そうすると、聞こえるもんね。

**倉地** 離れてるんで、それは大丈夫だったと思います **倉地** 離れてるんで、それは大丈夫だったと思います ながら、バス停の小屋みたいなところに逃げ込んで、 しながら、バス停の小屋みたいなところに逃げ込んで、 とすると、びゅって来るし、後ずさり こっちに行こうとすると、びゅって来るし、後ずさり こっちに行こうとすると、びゅって来るし、後ずさり たのようすを見てたんですね。それで、いなくなった 際に出ていったんですけど、やっぱり後ろからついて に出ていったんですけど、やっぱり後ろからついて をうしたら、そこの牧場のおじさんが出てきて、「何 そうしたら、そこの牧場のおじさんが出てきて、「何 そうしたら、そこの牧場のおじさんが出てきて、「何 とってるんだ!」って、大を追っ払ってくれたんです よ。犬はキャンキャン逃げていって、「ケガはないか な。犬はキャンキャン逃げていって、「ケガはないか な。犬はキャンキャン逃げでいって、「ケガはないか な。犬はキャンキャンとが、「大丈夫です」。

いけないんだけど、昨晩はお産でたいへんで、牧場のすか。「実は東京から来ていて、親が倒れて帰らなきゃすれで「何やってるの?」って話になるじゃないで

てきたんです」って言ったんです。ご主人を起こしても起きてくれないから、仕方なく出

奥地 必死だからね。

倉地 おじさんが「○○さん送ってくれればいいのに」倉地 おじさんが「○○さん送ってんですよ」って言ったら、「そうかわかった、車乗りなさい」「どこまで行たら、「そうから、「いや、もう明け方までお産がたい

千歳空港に行きたかったんですけど、なかな電車がちょうど行っちゃったあとで、高速バスがいいってことになって、乗り場までつれていってくれたいってことになって、乗り場までつれていってくれたて、同じような車が来ると「うわ」ってなってました。高速バスの乗り場では、おじさんが「中学生だけど高速バスの乗り場では、おじさんが「中学生だけども料金で乗せてやってくれ」「じゃあ、がんばれよ」って言ってくれて、「おじさん、すいません」みよ」って言ってくれて、「おじさん、すいません」みよ」って言ってくれて、「おじさん、すいません」みよ」って言ってくれて、「おじさん、すいません」みよ」って言ってくれて、「おじさん、すいません」みよいな感じで、高速バスに乗れたんですけど、なかなよ」って言ってくれて、「おじさん、すいません」みよいな感じで、高速バスに乗れたんですけど、なかなよ」って言ってくれて、「おじさんですけど、なかなよ」って言ってくれて、「おじさんですけど、高速バスがいっていません」。

けど。か出発しないんですよね。たかが5分ぐらいなんです

奥地もうドキドキしちゃうよね。

く覚えてます。それを見て「ああ、よかった」って。野郎」かなんかのビデオが流れてて、それをすごくよよかった」って。バスのなかのテレビで、「トラックよか、まあ何とか出発して、高速に乗った瞬間、「あー、倉地 座ってからも「うわー、やべえ」と思ってて、

# -万円では東京に帰れない

無理かもしれないけど、飛行場に行って考えるかと 恵になんですけど、「ここまでは来ないだろう」とは はくわしくないけど、あのころの感覚では北海道から はくわしくないけど、あのころの感覚では北海道から はくわしくないけど、あのころの感覚では北海道から はくわしくないけど、あのころの感覚では北海道から はくわしくないけど、あのころの感覚では北海道から

です。の電車をきいて、それに乗って千歳空港まで行ったんの電車をきいて、それに乗って千歳空港まで行ったん思って、札幌でラーメン食べて、札幌駅で飛行場まで

すぐに裏を取ろうとするんですよ。日航機の墜落事故があったばかりだったから、JAL日航機の墜落事故があったばかりだったから、JAL

奥地 まだ中学生だもんね。

**倉地** だから「やっぱいいです」って言って、ANAに行っても同じで。一番しょぼい東亜国内航空なら大またかなと思ったら、東亜はいきなり連絡しようとするんですよ。これはもう直談判しかないなと思って、 1000円のテレフォンカードを1万円のなかから買ったんですね。それで、叔母さんのところに電話したら、叔母さんも親じゃなくて私のところにかかってくるって思ってたらしくて、出た瞬間「あんたどこにいるの?」いま、みんな探してるのよ」って言って、ANA

からタクシーに乗って戻りなさい」って。きないな」と思ってたら、叔母さんは「とにかくそこね。カチャ、カチャって。「やばい、あんま長電話でね。カチャ、カチャっていいでがいで減っていくんですテレフォンカードがすごい勢いで減っていくんです

## 奥地 言われたんだ。

**倉地** たぶん、親父に言われてたんでしょうね。「透から電話かかってきたら、タクシーに乗せて返してくれ。タクシー代はこっちで持つから」みたいな感じで。「やだ、絶対やだ」って、こっちも腹が立ってきちゃって「結局、大人はこうなんだよな」と思って、「もうわかった。いいよ、頼まない」って電話を切っちゃった。でも、「どうするかな……自宅に電話するとなあ」って思って……。

奥地 どう言われるか、わかってるもんね

**倉地** 親父は電話かかってるのを待ってるに決まっ

けて、助けて」って。
は、こうなったらイチかバチかやるかと思って、なの子を誘拐したから」って言って、女の子が「助ま、女の子を誘拐したから」って言って、女の子が「いまえ、いまどこにいるんだ」って言って、女の子が「いまえ、いまどこにいるんだ」って言って、女の子を誘拐したから」って言って、女の子を誘拐したから」って言って、女の子を誘拐したから」って言って、女の子を誘拐したから」って言って、女の子を誘拐したから」って言って、女の子が「助けて、助けて」って。

奥地 女の子に協力してもらったわけね。

てるんですけどね(笑)。
てるんですけどね(笑)。
てるんですけどね(笑)。
てるんですけどね(笑)。
てるんですけどね(笑)。
てるんですけどね(笑)。

それが夕方の5時ぐらいだったですかね。

奥地 お父さんが来るまで待ってたの?

**倉地** ご飯食べたりして待ってましたね。

奥地 1万円の残りは持ってるからね (笑)。

「まったく、おまえはよう」ぐらいな感じで来て、「女菓子で使っちゃったから、残りは2000~3000菓子で使っちゃったから、残りは2000~3000菓子で使っちゃったから、残りは2000~3000菓子で使っちゃったから、残りは2000~3000菓子で使っちゃったから、残りは200~3000

丈夫、大丈夫。すぐに解放しました」って言って。の子は大丈夫だったか?」って言うから、「ああ、大

奥地 その日のうちに東京に帰ったの?

**倉地** いや、夕方から来たので、もう帰りの便はなくて、親父も「どっかホテルに泊まって、今日はゆっくも、これでいろいろわかっただろ」「おまえ大丈夫だも、これでいろいろわかっただろ」「おまえ大丈夫だな?」みたいな感じで言うんですよ。こっちも「わかっな?」みたいな感じで言うんですよ。こっちも「わかった、大丈夫」だって。

奥地 まだ帰るまでは安心できないもんね (笑)。

にも行きます」って。 丈夫です。ごめんなさい。もう二度としません。学校 文夫です。いつ手の平を返すかわかんないから、「大

奥地 言わざるを得ないよね。

## お袋にキレた

瞬間、お袋にキレましたね。
合地 それで次の日に無事に東京に帰って、「明日かかの日に無事に東京に帰って、「明日かかの日に無事に東京に帰って、「明日かかり」

となって、母親も泣き出して……。から、あのとき駅まで来たんだろ」って、もう、わあっ「お前グルだったのか?」わかってたんだろ?」だ

奥地 それはぶつけざるを得ないよね。

**倉地** 「絶対、おまえらのことなんか信用できない」ってい」「学校にも絶対行かない」って、言ったんです。 叔 で言って、家を出て叔母さんの家に行ったんです。 叔 で言って、家を出て叔母さんの家に行ったんです。 叔 で言って、家を出て叔母さんの家に行ったんです。 叔 で言って、家を出て叔母さんの家に行ったんです。 叔 で言って、家を出て叔母さんが「うちであずかるわ」って言って、家を出て叔母さんが「うちであずかるわ」って

えてくれました。とダメよ。おかしくなっちゃってる」って言って、叔父さんと叔母さんで教とダメよ。おかしくなっちゃってる」って言ってくれ言ってくれたんです。「あの子、しばらくケアしない言ってくれたんです。「あの子、しばらくケアしない

でたんだよね?
奥地 たしか、その叔母さんがシューレのことを知っ

**倉地** そうなんです。叔母さんが勧めてきたんですよ。 「ここは自由だから」って。新聞か何かで知ったと言って、「この子には、こういうところがいいんじゃないの」って。それで、親父が奥地さんに会いに行ったら、の」って。それで、親父が奥地さんに会いに行ったら、でも、そのときはまだ、親父の言葉は信用できなかったんですよ。だから親父に「東京シューレ行こう」ったんですよ。だから親父に「東京シューレ行こう」ったんですよ。だから親父に「東京シューレ行こう」ったんですよ。

# 奥地 また、だまされるかもしれないもんね

いな、それ北海道の北じゃないの?」って(笑)。**倉地** 「北区」っていうから、「北っていうのがあやし

奥地 もう北にアレルギーが (笑)。

**倉地** 北はやめてほしいよと思って、東十条の場所も知らなかったんですよ。叔母さんが「1回行ってみな知らなかったんですよ。叔母さんが「1回行ってみな知らながったがですよ。叔母さんが「1回行ってみな知らなが、「」は、「我一条の場所もですよね。

**奥地** 狭い階段上がって、3階の狭いところでやって

**倉地** そう、東十条のアパートの一室だったときで、 ん、Aちゃんもいて。

## なんだ、ここは?

奥地 初期のシューレには、どういう印象を受けた?

奥地 学校よりはいいって思ったんだね (笑)。

**倉地** それで通い始めた感じですね。 に閉じこもってるのはあんまり好きじゃなかったので、に閉じこもってるのはあんまり好きじゃなかったので、もともと家

奥地シ

る?

いっぱいやったな。バスケとか。

不登校 50 年証言プロジェクト

奥地 高架下のところだけどね。

じかな。 たり、本屋に行ったり、喫茶店でご飯食べたりって感鉄湯に行ったりして。あとは、みんなとゲーセン行っ銭湯に行ったりして。あとは、みんなとゲーセン行っ

里町の緑町公民館を無料で借りて。 北海道にも行ったね。そのときは、どういう気分だった? 根室のほうから斜里のほうに行きましたね。清のときは、どういう気分だっ

俺とSは仕事もしていて抜けられなかったから、あと 倉地 あのときはSとふたりで電車で行ったんですよ。

から行ったんですよね

奥地バイトをしてたからね。

**倉地** Sは出版社のバイトで、自分もバイトを何か をのころになると、いまシューレでスタッフをしてい る美奈ちゃん(萩原美奈子さん)もいました。北海道 る美奈ちゃん(萩原美奈子さん)もいました。北海道

奥地 シューレに出会ったことは、自分にとって、ど奥地 シューレに出会ったことは、自分にとっていくところでしょう。ミーティングをとんどなくて、大人が指示・命令するんじゃなくて、子どもでやっていくところでしょう。ミーティングをとか。自由に通ってきていいし、ほんとうに遅い時間とか。自由に通ってきていいし、ほんとうに遅い時間とか。自由に通ってきていいし、ほんとうに遅い時間

**倉地** 3時とかね。Kなんて、けっこう遅くに来てま

やってた。 奥地 それも、自分のペースでいいんだって感じで

## 仲間との出会いと触発

**倉地** 最初は、親に対して「ここに行ったら満足だろ」って感じだったんですよ。別にシューレに行きたいから行くんじゃなくて、どこかに行ってないと、この人たちは何を考え出すかわかんないから、「ここに行ってればいいんだったら、ここに行くよ」って感じだったんだけど、行けば横のつながり、仲間ができるじゃないですか。

「俺は何やりたいんだろう? 何かやらなきゃいけなりたいことの決まってるヤツはうらやましかったし、が就職したとか、なんとなく、みんな道が決まっていな。仲間どうしで、いろんなことをしゃべるんですよね。将来は何をやりたいとか、稼ぎたいとか。何かやらなきれで、同世代が多かったので、触発されましたね。

思いますね。 ね。それはたぶん、家にいたら思わなかったことだとい」って、自分のことを考えるきっかけになりました

ヒヤしながら関係をつくってたわけでしょう?間では、ちがいを感じてましたか? 学校では、ヒヤ奥地 学校の友だちやクラスメイトと、シューレの仲

らいな感じで。「いいんじゃね、別に来なくても。卒業できれば」ぐきたんですよね。そいつらはわかってくれてたんで、倉地 だんだん学校の友だちも、ひとりずつ戻っては

壁はないですね。どっちもいっしょ。俺の友だちいっぱい知ってますよ。だから別にそこにせたりもしたぐらいなんで、Tさんなんか、けっこうシューレの友だちにも会わせるよって言って、会わ

つきあってた感じなんだね。 奥地 学校の友だちともシューレの友だちとも、両方

ら変わりはないと思うし。 倉地 どっちも、ふつうにいっしょですね。別になん

# 交渉してもらって、卒業できた

か覚えてますか? 奥地 あのころだと、卒業も厳しかったですけど、何

**倉地** 校長は、出席日数足りないから卒業させないと

奥地 だいぶ交渉しないといけなかったのよね。

たのよ」っていうのは、あとから聞きました。たんだよね。「あんたのところの校長はたいへんだったが、な渉してたってのは、奥地さん、俺に言わなかっ

奥地 あのころは、そういうことがめずらしくなかっ

奥地 行ったの?

けど、親父は「何でそんなこというのかね」って言って。ものいらねえよ、行かなくていい」って言ったんです。他 親父に連れて行かれたんですよ。俺は「そんな

書は、となりますよね。 奥地 親はそうはいかないでしょうね。せめて卒業証

**倉地** その日だけ学生服を着て、職員室に行ったんで

奥地 先生は、なんか言ってた?

すよ。金八さん目指してるぐらいな人で、一生懸命、**扈地** 3年の担任が、けっこう熱血な先生だったんで

ないんだよな」って話したんですけど。 ないんだよな」って話したんですけど、それで、「先生はしてくれるいされたんですよ。「学校はわりと何もしてくれないですね」った、ちらっと言ったことがオンエアされたんですけて、ちらっと言ったことがオンエアされたんですけて、ちらっと言ったことがオンエアされたんですけて、ちらっと言ったことがオンエアされたのごろ「朝の家に通ってきたんですよね。それで、そのころ「朝の家に通ってきたんですよね。それで、そのころ「朝の家に通ってきたんですよね。それで、そのころ「朝の家に通ってきたんですよね。

奥地 先生は必死でやってるつもりだからね (笑)。

じゃないですか。学校には来なかったわけだから。 は、最終的に学校じゃなくてシューレを選んだわけね。 最終的に学校じゃなくてシューレを選んだわけな だから、卒業証書をもらってるときも、何とな

奥地 そこに釈然としないものがあったんでしょうね。

なく「はい、はい」みたいな(笑)。それはすごく感**倉地** 「卒業おめでとう」って言うんだけど、なんと

じましたね。職員室はアウェイな感じがしました。

てくるだけで補導されちゃうこともよくありました。されてなかったですからね。初期のシューレだと、通っ奥地 まだそのころは、登校拒否は問題行動で、理解

**倉地** 補導されてましたね。それで、しょっちゅう電

いう時代だった。「この子は悪いことしてないんだから叱らないでくだ「この子は悪いことしてないんだから叱らないでくだいの子は悪いことしてないんだから叱らないでくだい。引き取りにいる。電話がかかってきて、警察に行って、

**倉地** 僕も16歳のとき、中学を卒業した年にファース スーツを着てるおじさんたちにパッと囲まれて、「お かけられたことがありました。朝10時に店に行った かけられたことがありました。朝10時に店に行った かけられたことがありました。朝20時に店に行った かけられたことがありました。朝20時に店に行った

あやしいって言ってね。 という雰囲気って、子どもは怖いですよね。

**倉地** 僕も4~5人に囲まれて、「何だよ? 何した

されなかったからね。アルバイトはどんなところで? 奥地 初期のころは、なかなか学校外の居場所は理解

**/ 信地** 最初はロッテリアで、それからガソリンスタン

## 働くうえでの支障は

奥地 そのころ、学校に行かなかったとか、フリースタールに行ってたというので、働くうえでの支障はありました? それを知ったら、シラーッとしちゃったとか。わりとそういうことがあったって、シューレのとか。 フリース

ど、就職になると、やっぱり高卒からなんで。ですか。それは喜ばれることが多かったですね。だけ逆に、高校に行ってないから長い時間入れるじゃないが、 アルバイトでは、あんまり支障はなかったかな。

奥地 くやしい思いをしたこともあったんですかね?

**倉地** ありましたもん。 た検を取ったほうがい

奥地 それで、18歳のときに、最初に話していた縫製

工場に就職したということですかね。

りあえずは、そこに就職したんです。 **倉地** コネを使わないと就職できなかった感じで、と

奥地 就職して、最初はどんな仕事をやったの?

**倉地** 車の免許は18歳ですぐに取って、内職をやって いる下請けのおばさんたちのところに行って、「これいる下請けのおばさんたちのところを朝から16軒まんです。下請けのおばちゃんのところを朝から16軒まわるんですよね。前に出したのを回収して、次の仕事を置いて、伝票を切っていく。それで、午後は、大きいトラックに乗って、納品に行かされました。ひたすら車ばっか乗る仕事ですよね。

ですか。ミシンの人は、ひたすらミシン。裁断の人は、ひたすら1日中アイロンをかけてるじゃないとに行く人だったんですよ。たとえばアイロンかけるとの会社のなかでは、僕だけが、いろんなセクショ

ました。

な、そこに持って行ったり、いろんなところに行ってが、そこに持って行ったり、プレスの不良品が返ってくれいたすら裁断。そのなかで、僕だけは車に乗って、ミ

こう、やりがいがあった感じ?と、ちょっと物足りなくはなかった? それとも、けっと、 若いときだから、そういうところで働くだけだ

**倉地** それが僕にしかできない仕事だったんですよ。

奥地働きやすかったんだね。

**倉地** 働きやすかったのとか。 時間にうるさい人が多かったんですけど、時間を過ぎ

奥地 まだそのころは昭和の雰囲気が残ってるよね。

ニケーションが楽しく取れてたんで。て」とか、そういう感じがすごく好きでした。コミュと何枚でできあがるから、ようかんでも食べて待ってと何枚でできあがるから、ようかんでも食べて待って

の後どうなったんですか? 奥地 雰囲気があたたかければね。お父さんとは、そ

### 両親とのその後

二度としない」と約束して。とを二言目には言ってたんです。親父も「それはもうとを二言目には言ってたんです。親父も「それはもうとを二言目には言ってんだろ?」みたいなこ

奥地 それは反省してくれたって意味?

ていて、デカいステレオがほしくてバイトしたりして **倉地** そうなんですよね。当時、僕がオーディオに凝っ

たんですよ。スピーカーを換えたい、プレイヤーを換たんですよ。スピーカーもらっちゃったんで言わないってことで、スピーカーもらっちゃったんで言わないってことで、スピーカーもらっちゃったんで言わない、プレイヤーを換たが、アンプを換えたいとか、そういう感じでいたスピーカーもらっちゃったんで言わない、プレイヤーを換たれで、いったんはチャラにしました。

てことなんですよね。ご病気で? 奥地 そうこうしてるうちにお母さんが亡くなったっ

**倉地** くも膜下ですね。

奥地 私の母も、くも膜下出血で亡くなったんです。

**含地** あれも運なんですよね。破裂した場所によって は大丈夫な場合もあるし。母の場合は脳に近いところ は大丈夫な場合もあるし。母の場合は脳に近いところ は大丈夫な場合もあるし。母の場合は脳に近いところ

「覚悟してください」みたいな状況でした。

奥地 それまでは、日常では、お母さんと話してたの?

**倉地** ぜんぜん元気だったんで、いきなりですよ。いなが最後の言葉なんですから、なくそばばあ」ぐらいないがら言えますけど、お袋と最後に会話したのがケ

奥地 それが最後になっちゃったの?

**倉地** もう、あのときは悔いました。はあーって……。

奥地でも、わかんないもんね。

だったんだなって、そのときは悲しかったですね……。ポジティブに捉えていけるんですけど、あれが最後**倉地** いまだから、最後まで「らしかったな」って、

₩ 奥地 それで、お母さんが亡くなられてから、

たい

んだったんですね。

# 退職、結婚、工務店へ

**倉地** 親父が、お袋が亡くなってからやる気なくなったんで、この先どうしようってなったんですよね。縫製の仕事も自分がやりたくてやってたわけじゃないし、まだ自分の好きなこともわかってなかったんですけど、まだ自分の好きなこともわかってなかったんですけど、それと、その職場にいた女性と結婚して、家も買いた。

奥地 お母さんの遺したお金で?

**倉地** 何千万もあったわけじゃないんですけど、当時まだ若かったので、結婚はまだ早いっは、別の理由もあって。嫁のご両親が新潟に住んでるは、別の理由もあって。嫁のご両親が新潟に住んでるけるの貯金と合わせて頭金にして、アパートを借りる

それで、家を買って、ちゃんと幸せにしますっていて、なかなか会ってもくれなかったんですよね。

てるのに。を持って、会いに行ったんですよね。会わないと言っを持って、会いに行ったんですよね。会わないと言ってあとはハンコつくだけの書類

て、家を買って結婚したんです。ということを話て、会ってくれたんです。それで結婚を許してもらったら、「そこまで考えてくれてるんだね。じゃあ応ご両親も、来ちゃったものだから会うしかなくなっ

です。何もしないわけにはいかなかったんで。ときに声をかけてくれた工務店に行くことになったんと事は辞めちゃってたんですけど、たまたま、その

**倉地** 叔母が「あなたは小さいころから、木とかがあ工務店の仕事はやりたかったの?

好きなことがわかんなかったって言ってたけど、

母の家には、

じいさん、

ばあさんもいたんですよ。

すぐ何かつくるよね」って言ってたんです。

叔

このイス、いまもまだ置いてあるんです。じいさんにつくってあげた木のイスがあったんですよ。袋の両親。それで、叔母の家に、僕が小さいときに、

奥地すごい頑丈なものをつくったんだね。

てたら、 とき、叔母の家のイスのことを思い出したりして、「あ 調子よく言ってくれてるんだなって思ったけど、 ぐ切れるじゃん。最初っからまっすぐってなかなか切 切ってごらん」って言われてやってみたら、「まっす あ、絶対これ楽しい」って。「のこぎり引いたことある? ね。それで、「何もやってないんだったらうちの手伝 て。小さいころからノコギリとか使ってたん れて、自分でも、大工工事は楽しいっていうのがあっ 倉地 れないんだよね。意外と素質あるんじゃない」 いする?」って、その工務店から声をかけてもらった ろに、こんなのをつくってたんだよね」って言ってく りだよねって(笑)。叔母が「あんた、小っちゃいこ 何十年もすげえなと思って、IKEAもび ほんとうに楽しくなってきちゃ って。 ですよ って。

## 働きながら専門学校に

ね。どれぐらい経ってから、勉強しようって思ったの?奥地 それで夜の専門学校に通うことにするんですよ

**倉地** 厳密に言うと、2回目の親方のところに行って **倉地** 厳密に言うと、2回目の親方のところで、いろんな大 がらなんですよ。最初の親方のところで、いろんな大 工工事も覚えたんですけど、もっと深くやりたかった 工工事も覚えたんですよね。そこで何か資格を取った なで、親方にお礼奉公したあとに、基礎からやる工務 はうがいいんじゃないのって話になって。

でも、まあ学がないじゃないですか。それで、数学はきらいじゃないけど、わかんないところがあると、およっとイヤぐらいだったんですよね。だから、いまから全教科をやるのは難しいけど、数学に特化してやればいいんじゃないかなと思って。取れるかどうかは別にして、チャレンジはしてみようかなと思ったんですね。わりと、やりだしたら本気でパッと入っちゃうタイプなんで。

か? 奥地 仕事していて、何時から学校に行ってたんです

日曜日は朝から夕方まででしたね。

肉体労働をやってるわけだから。 昼間も奥地 夜、眠くなったりしなかったですか? 昼間も

**倉地** 眠いですよ。ばんばん肉体労働やったあとに作 常着のまま学校行って、でも、そんなのいっぱい来て るんですよ。そこでも仲間ができて、また、触発しあ るんですよ。そこでも仲間ができて、また、触発しあ

奥地 何年、通ってたの?

**倉地** 1年ですね。長期戦は無理なんで、短期で詰め

同業者の社長どうしみたいな。

勉強もたいへんだったでしょう。テストもあるし。

倉地 たりからやりましたからね。速度の計算とかもできな かったので、ドリルとか買ってきて。 すごい勉強しましたよ。小学校4年生の算数あ

不登校 50 年証言プロジェクト

奥地 んだ。 人間やり直そうと思えば、 11 つからでもできる

て聞いたこともないって感じで。 なんて知らないし、 サインコサインなん

奥地 そうだよね。 中2から行ってない んだもん ね

シュ ーレでも、 そんなにはやってるわけじゃな

いからね。

学校に行ってたのは23歳のときですよね。

倉地

中3から出てくるものは、

もうわかんないです。

その後、 一級建築士は取ったんですか?

倉地 子どもにまかそうかなって いや、 一級は取ってないですね。 (笑)。 一級はうちの

のは、 奥地 どうして? なるほど(笑)。その後、 独立しようと思っ

### 独立して社長に

店に行って、 ところから、 倉地 本的に仕事が甘かったんですよね。 と大工でやってきたんですけど、最後のところは、 いろいろあるんですけど、最初 最後は建設会社に行ってたんです。ずっ 個人の工務店、 次にちょっと大きい の大工 の親方の 、工務

奥地 甘いって、 6.1 6.1 加減って意味。

ちゃってた時代なんですよ。 倉地 11 や、 仕事が少ないってことです。 今はオリンピックとかで

が多くて、そんななかでも、 やるみたいな感じで。 るところだったんですけど、 建築の仕事もきてますけど、 自分で持ってきた仕事を わりと仕事をきっちりや そのころはヒマなところ

らい取ったんですよね。それで、自分でやったらって 社長は同じ目線でいたい、僕にも社長になってもらっ も甘えちゃうって。すごい切られ方だなと思いました。 を切られちゃったんですよ。僕がいると、うちの会社 かな?」って思っているうちに、その会社で働く期限 でやるタイプじゃないよ」って言われて。「そうなの ら絶対自分でやったほうがいいよ。おまえは人の下 なったんです。社長からも「そんだけやれるんだか 次は後輩の家で、 で会社で受けてもらって、僕が建てるみたいな。その 言ったんです。 たとえば、先輩が家を建てるとき、自分でやらない 上下関係じゃなくて同じところでやりたい 次は誰の家って、立て続けに3棟ぐ

> **倉地** そう。すごく懐のある人で、 わしたりしてます。 すよね。 いまだに、つきあいはありますし、 いい方だったんで 仕事をま

合いができていくのが早いんですよ。 東京に戻ったら、水を得た魚じゃないですけど、 東京に出てきてやってます。もともと練馬で生まれて るんで、やっぱりこっちに戻りたかったんですよね そのころは埼玉で仕事をしてたんですけど、いまは

りは土地勘もあるし、知り合いのつてで「誰々さん知っ ホームグラウンドは東京なので、練馬とか板橋のあた に寄せたかったんですよね。だけど、仕事となると、 それは嫁さんの両親が新潟なんで、ちょっとでも近く になって、 てます」とか、すぐつながるので、広がるのが早かった。 それからリフォームを覚えて、店舗とかもやるよう 家を買ったときに、埼玉の川越にしたんですけど 要は何でもやるようになっちゃいました。

### 子どもたちは

奥地 お子さんは何歳になられた。

行っていて、建築やりたいって言ってます。 倉地 上が今度19歳になりますね。いま、東洋大学に

**奥地** 親子冥利に尽きるじゃない。なかなか親の仕事

**启地** なんで建築やりたいのかは知らないですけどね。

家でそういう話をしたり。
奥地 お父さんが楽しそうに働いてるからじゃない。

で。 
全地 自分で自分の家を建てるのを見てるんですよね。

家を建てたって言ってたよね。 奥地 働きながら、空いた時間とか休みの日を使って

**倉地** 工務店に勤めながら自分の家を建てて、子ども

子たちにも、指さして「ここだよ」みたいな。わざと家の前を通って行くんですよ。それで、ほかのも、それを毎日見に来てたんですよね。幼稚園バスが、

奥地 お子さんの夢になったんだ。下のお子さんは?

**倉地** 下の子は今年6月で9歳になるんで、上の子と**倉地** 下の子は今年6月で9歳になるんで、上の子とりっ子でさびしかったので、どうしても兄弟をつくってあげたかったんです。あいだに2回流産しちゃってる

奥地 いま、学校は行ってる。

倉地 行ってますね (笑)

奥地 もし行かなくなったらどうする。

の子にも「行きたくなかったら、別に行かなくたって**倉地** 行かなくなったら、行かなくなったで。俺、上

てて、「まあ、それならいいけど」みたいな感じで。のほうは「別に」「友だちみんないいヤツだし」とか言っいいんだよ」って、いつも言ってたんだけど、子ども

火地 楽しく行ってれば、一番いいよね。

**倉地** 楽しく行ってるんだったら。それと、ふたりとも環境がいいって言うんだったら。それと、ふたりとも

# いまごろかよ、この野郎

きて、変わってきてるんです。 やは問題行動じゃない」って通知を出して、フリース が変わってきてるんです。お金はまだ出てないんだ けど、経済的支援にも努めますというような法律もで けど、経済的支援にも努めますというような法律もで は、経済的支援にも努めますというような法律もで

かれて北海道に置いていかれた立場からすると、こうまったく問題児扱いされて、治すためには嘘までつ

いう変化をどう思いますか?

ろよ、この野郎」ですよね。
合地「いまごろかよ」ってね(笑)。「もっと早くし

奥地 この野郎だよね (笑)。

に行っちゃってるし、なんか逆じゃないかなって(笑)。うちの子は「学校行かなくていいよ」って言ってるの倉地 こっちがどんだけ苦労したと思ってるんだよ。

か。 3年経って、やっと少し変化してきたっていう

できないからって。「だから?」「はあ?」って感じなで学校に行かせることが先決ないと、いい大学に入れけないから、いい高校に行かないと、いい大学に入れないから、いい大学に入らないと、いい高校に行かはることが先決なんだろうって、意味わないから、いい大学に入らないと、いい高校に行かはですからね。なん

50 年証言プロジェク

んですけど。

奥地 そうじゃない人生をつくってきた立場からする

**倉地** ふつうに大学出てたら、こういう楽しみ方はで きてないはずだしなと思ってるから。二級建築士取る とき、高校も卒業して専門大学に行ってたヤツらも夜 学に来てたんですよ。それなのに落ちてましたから 学にってギリギリ卒業じゃないですか。 2年から行っ 学だってギリギリ卒業じゃないですか。 2年から行っ でなかったんですから。

るってもんでもないよね。 奥地 学ぶ力って、別に学歴をのぼってきたから、あ

くてゴロゴロしてるように、まわりからは見えてたか言いながら、ずっと危機感はあったんで。何もしてなないの?」って感じですよね。こっちは、何だかんだれの。「何やってたの?」逆に安心しちゃったんじゃ

うんですよ。は、1回入っちゃえば、そういうこと考えてないと思は、1回入っちゃえば、そういうこと考えてないと思たいなことを言ってましたしね。学校に行ってるヤツうに「この先どうする?」「このままでいいの?」みもしれないけど、シューレの仲間たちとは、毎日のよもしれないけど、シューレの仲間たちとは、毎日のよ

中とも向き合ってるとも言えるもんね。 奥地 そういう意味では自分と向き合ってるし、世の

# 崖っぷちに強くなった

**奥地** いまも不登校は少数派だけど、そのころはもっ と少数派ですものね。大多数が学校に行くのがあたり と少数派ですものね。大多数が学校に行くのがあたり とのなかで、そうではない道を歩いてきたのは、た まえのなかで、そうではない道を歩いてきたのは、た

(を)。 は合ってたと思いますね。いつも崖っぷちですからじゃないけど。だから起業したほうが、たぶん自分にじゃないけど。だから起業したほうが、たぶん自分にというか、崖っぷちをずっと歩いてきてるんで、崖っ倉地 強くはなりましたよね。崖っぷちには強くなる

奥地 自分で全責任を持ってやるしね。

**倉地** 公務員とかじゃないから、売上を上げなきゃても給料が入るわけじゃないから、売上を上げなきゃても給料が入るわけじゃないから安定しないし、黙って

奥地 たしかに不登校の人は崖っぷちに強いかもしれ

土壇場に強くなるんですよね。知恵が湧くっていうか。**倉地** 強いですよね。崖っぷちがふつうなんで(笑)、

奥地 子ども時代から崖っぷち (笑)。北海道の牧場の話だって、どうやって生きて帰れるかみたいなことの話だって、どうやって生きて帰れるかみたいなことを張りめぐらせて打開の道を考えたんですものね。社を張りめぐらせて打開の道を考えたんですものね。社をで現れていたわけだからね。専門家のおかしな助たちで現れていたわけだからね。専門家のおかしな助言で、ひどいですよね。

**倉地** あのあと、その専門家は誰か、とにかく聞きたくて、「どいつだよそいつは」って親父にきいたんです。 たらしいんですよ。そうなったら、よけいに教えろったらしいんですよ。そうなったら、よけいに教えろって。「おまえ逃げてんじゃないか。失敗したって言ってるんじゃないか」って。しかも、僕は帰ってきちゃったわけじゃないですか。帰ってきちゃったあと、親父が昌子武司に「帰ってきちゃったんですけど、どうしましょう?」って話したら、「もう、それぐらいできましょう?」って話したら、「もう、それぐらいできましょう?」って話したら、「もう、それぐらいできる子ですから大丈夫」って言ったらしい。バカかと。

倉地

けしからんですよ、どうしようもないですよ。

奥地 けしからんね (笑)。

奥地 夫なのにね。 自分が変わったわけじゃなくて、 初めから大丈

倉地 何言ってるんだよ、

思って。 最後まで上から目線だなと

まちがっていたことで、 だったと、 奥地 それにめげず生き抜いてこられて、 に起きていたんですが、そのひとつですよね。よくぞ たのかなと思います。それにしても、 から、そういう意味では、 ますけど、でも、それを自分でなんとかくぐってきた はありがとうございました。 ほんとうは、 あらためて思いました。不登校への見方が しなくてもいい経験だったと思い 人権侵害にあたることが次々 自信というか強さにもなっ すごいです。 たいへんな経験

対に会わせない。おまえは何するかわかんないから」っ て言ったんですよ。 昌子武司だって聞き出したとき、「会わせろ」っ 一度対談したいって。 でも、「絶

倉地

て。

奥地

その人、

不登校の専門家として売り出してい

本屋さんにたくさん本が並んでてね。よけいに、

けし

からんって思いましたね。

不登校50年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp 倉地透さん #38

インタビュー日時:2018年3月1日

記事公開日:2018年5月4日 場 所:東京シューレ王子

聞き手:奥地圭子 写真撮影:佐藤信一 まとめ:奥地圭子

### 駒﨑 僕が5歳のころ、 起業してブラジル

で

転校後の男性教員

、 (後年、

校長に)

暴力的・差別

うですね

移り住んで、そこで空襲に遭って、 おふくろは乳が出ないので、 その後、長野県に疎開したんですが、僕は乳飲み子で、 根にかぶったところをたたき落としたと言ってました。 れて間もないころ、 どってきたんですね。 やっていたと言ってました。 そうです。 1 9 4 母親の実家を頼り兵庫県西宮市に 4年、 敗戦で、 代わりに杏の実を拾って 鎌倉生まれです。 父親は焼夷弾が屋 また神奈川にも

栗田 その後、 お父さんは、 単身ブラジル へ渡ったそ

#### #39 駒﨑亮太 さん



(こまざき・りょうた)

1944年、神奈川県鎌倉市生まれ。東京大学経済学部卒業後、会社勤めをした ものの、すぐに辞めて、高校教員に。洲本高校、茅ヶ崎高校の全日制を経て、 1983 年から湘南高校の通信制に (1996 年まで)。通信制高校では、脱学校の 思想と重ね合わせて活動していた。三吉クリニック (藤沢市) との出会いから、 カフェ・ドゥ・そーじゃんという居場所にも関わる。1996年から2005年まで、 茅ヶ崎高校の定時制で教員をしていた。

インタビュー日時:2018年3月21日

聞き手:栗田隆子、山下耕平 場 所:磯里(神奈川県大磯町)

写真撮影:山下耕平

ちゃったんです。でも、 げると言ってね、 びのび育ったんですね。 本的な親の権威を持ってなかったんです。 いなくなったものから、 幼い子ども3人と妻を残して行 いつだったか「日本は自由で 僕は父親の権威を知らずにの いい面もあってね、 そのうえ、 父親は日

ります。

まずは、

駒崎さんの子ども時代のことからう お会いするのは30年ぶりぐらいにな

お生まれは神奈川県で

した。

はないけど、

君たちは自由にやりなさい」と言ってま

かがっていきたいと思います。

栗田

おひさしぶりです。

信制に通っていて、

当時、

駒﨑さんの授業も取ってま 私は89年から湘南高校の通

した。ですから、

われたこともあります。 あるんだろうけどね。 同僚から「あなたには男親の影がない まあ、 プラス ・マ ナス両面 ね」と言

ご苦労もあったのでしょうね

屮

とになったんです。 売り払って、 手で横暴でね。 父方の祖父のめんどうを母がみることになって、家を 父親は次男だったんですが、どういうわけか 借家生活で、 舅で元校長のこのじいさんが身勝 祖父といっしょに暮らすこ

それと、僕は小学校を途中で転校してるんですが

ころですよね。

湘南学園は私立学校で、何というか、のびのびしたと栗田 転校前は、湘南学園に通われていたそうですね。

別崎 4年生までは湘南学園に通ってました。その後、 いっとな立の御成小学校(鎌倉市)に転校したんです。そこ で何が変わったかというと、いろんな子がいたんです とうをみる施設のことを「保育園」と言ってたんです どうをみる施設のことを「保育園」と言ってたんです が、「保育園」から学校に通ってきている子が、クラ が、「保育園」から学校に通ってきている子が、クラ スに4~5人ぐらいいました。

当時の僕は、坊ちゃんの仲間に入りたかったんだよね。があったし、差別もあった。でも、恥ずかしいことに、があったし、差別もあった。でも、恥ずかしいことに、ないる。金持ちの家の子は、ピアノやお絵描きや習同じクラスに、貧しい子もいれば、お金持ちの坊ちゃ

いう感じだったんでしょう。 栗田 転校後の学校の暴力的な先生というのは、どう

# 学校や教育への不信感

駒崎 S先生がひどくてね。とくに目をつけている子 を何かにつけては教壇に立たせていました。工作の授 業中、ウルサイと言って、子ども全員を裸足で雪の校 業中、ウルサイと言って、子ども全員を裸足で雪の校 でね。怖いのなんの。その子は涙を流してました。僕 した。理科の授業で回虫の話をしていたんだけど、そ した。理科の授業で回虫の話をしていたんだけど、そ した。理科の授業で回虫の話をしていたんだけど、そ いうんだ。そういうことがあったものだから、学校と いうんだ。そういうことがあったものだから、学校と か教育には不信感が生まれましたね。

栗田 一方で、中学以降は優等生だったそうですね。

ちたらいけないってプレッシャーになっちゃってね。から、「おまえ、すげえじゃないか」となってね。落んだよ。そうしたら最初に1番になっちゃったもんだ駒崎 中学に入ったらね、成績の順位が貼り出された

**山下** 1957年の入学になるわけですよね。当時の

**駒崎** 驚きだよね。いわゆる「いい中学」だったんだな。

育を始めてたのかもしれないですね。校ですよね。そういうところでは、すでに競争的な教校のでは、の成中って、公立だけど越境で来るような中学

けどね。していたわけではなくて、けっこう遊んでもいたんだしていたわけではなくて、けっこう遊んでもいたんだがめられたなと思います。かといって、ガリガリ勉強駒崎でも、子どもをゆがめるよね。僕なんかも、ゆ

栗田 ガリ勉じゃなくて、遊んでいても成績がよくな

いとカッコ悪い、みたいな

**駒崎** 「点取り虫」とか言ってね、非難された。

いな感じがありますものね。だけじゃなくて、芸術にも長けてないといけないみただけじゃなくて、芸術にも長けてないといけないみた栗田 それも地域性もあるかもしれないですね。勉強

モテなかった。 駒崎 そうね、でも僕はそういうセンスがなくてね。

に来ない子はいましたか? 栗田 それも大事なところだった (笑)。当時、学校

かった気がしますね。 駒崎 病気の子はいたけど、学校に来ない子はいな

**山下** 家業のために来られない子というのもいなかっ

ね。

たんです。 葉が汚いために就職差別もあったというので、「ねさ はもともと漁村で、なんというかガラが悪くてね。言 よ運動」というのが、私が小学校のときでも、まだあっ 私は同じ鎌倉でも腰越の出身なんですね。腰越

#### 屮 ねさよ運動

意味がわからないから「バカ」とか書いて燃やしてた さよ」をつけないようにするってことです。先生から うことだったんです。 りしたんですね。でも、それは方言が汚い言葉だとい 「汚い言葉を紙に書いて燃やせ」って言われて、私は 「それでね」「でさ」「それでよ」とか、語尾に「ね

ところで、 湘南高校も階層の高い人が行く公立の進学校で 駒崎さんは湘南高校に進学したんですよ

たとえば石原慎太郎も湘南高校出身ですよね

行ったことがあるんですよ。父も旧制の湘南中学校(現 てない」とか言って、怒ってたけどね。 うことだったんでしょう。父は「あいつら礼儀がなっ 在の湘南高校)だったんでね。そのツテを頼ってとい ブラジルに行きたいといって、 そうだね。余談ですが、石原慎太郎と裕次郎 僕の父親のところに

#### 教育へ の疑問 から教員

栗田 高校時代に60年安保があったんですか

なった友だちは東大に進学したんだけど、駒場の門の ど、僕も含めて、1年生はあまりデモに行ったりはし います。 前で包帯を巻いてビラを配っていたのが印象に残って てなかったね。後に社研(社会科学研究会)の部長に 高校入学が60年で、 安保のことは知っていたけ

教員になろうとしたのは、どうしてですか?

教育 別とか、部落差別とか、 知の自覚というかな。ちゃんと考えてこなかったのは るためには、ジャーナリストか学校の教員かだと。無 れはちゃんと伝えないといけないと思ったんだ。伝え ところが、大学に入って、そういうことを知って、こ ど知らなかった。授業でも教えてもらってなかった。 になろうと思ってたの。高校のときまでは、朝鮮人差 のせいじゃないかと思ってね。 青臭いようなんだけど、ジャーナリストか教員 沖縄の問題について、 ほとん

屮 ね。 大学では、 教育への疑問から教員になろうとしたわけです どこで社会問題を知ったんでしょう。

駒﨑 になろうと思ってたんだけど、岩波書店と朝日新聞に モで街頭に出たりしてました。 ゼミだとか、デモや集会ですね。ベ平連のデ 最初はジャーナリスト

や作家の小田実らが呼びかけて始まった、無党派の反戦運動 ベトナムに平和を!市民連合。 1965年、哲学者の鶴見俊輔

> 意して、 ちゃってね。隣接した産業に行こうと思って、大日本 ができた。こんな仕事は続けられないと7月ごろに決 落ちて、筑摩書房は通ったんだけど、やる気をなくし 印刷に就職したんです。 翌年4月に大学にもどったんです。 おかげで、早くにやめる決心

屮 大学にもどったというのは

逃げた。 学にもどったんです。それが、ちょうど68年のことで 5年目は隣の科に移っていいという制度があったんで す。それで、 東大闘争が起きていたんですね。 経営学科と経済学科があって、 東大の経済学部にいたんですが、経済学部には 社会科の教員免許をとろうと思って、 4年で卒業したあと、 でも、 僕は闘争から

栗田 逃げたというのは

たんですね。 東大闘争は、 でも、 僕は教員免許をとりたくてもどっ 大学を解体しようという運動だっ

本高校だそうですね。それは、なぜだったんでしょう。 栗田 なるほど。最初の赴任は淡路島(兵庫県)の洲

「ケリ」はつけないといけない。

講師扱いで採用されて、9月から正教員になりました。だけど、兵庫県には親戚もいたので、受けてたんです。だけど、兵庫県には親戚もいたので、受けてたんです。が「どうせ出るんだろ。じゃあ、それまでは講師でやっが「どうせ出るんだろ。じゃあ、それまでは講師でやってくれよ」と言ってくれたんです。それで、7月からてくれよ」と言ってくれたんです。それで、7月からでも、数員採用試験はあちこちの都道府県で受けたんりは、

## 教科書は使わない

栗田 洲本高校で、印象深い生徒との出会いがあった

授業中にほかの本を読んでたんです。それで、僕がど 期待していたところがあったんでしょうね。 教員は教科書を離れられないとか、指導要領がどうと あんなふつうの授業はつまらないという。そこで僕は、 りにやっていた。それで、 実際の授業は、ふつうに指導要領に沿って、教科書通 はとても問題意識のある人で、僕が言うことに、半ば なってしまわれたのですね」と言われたんです。 たの口から、そんな言葉を聞くとは思いませんでした」 か弁解したんですよね。そうしたら、「まさか、 うしてかと思って、手紙を書いたんです。 けちょんけちょんに言われた。 Mさんという人に、「先生も、すっかり教師に その子はつまらなく思って そうしたら、 だけど、 あな 彼女

それが、ものすごくショックでね。それ以来、もう

領にも沿わないと決めました。僕の原点です。そういうことは言わない、教科書は使わない、指導要

感じだったんですね。 栗田 89年のことですよね。当時は、生徒もそういう

**駒崎** ありがたかったです。おかげで、その後は、そ 東田さんが湘南高校にいたころだったら、世界史の授 栗田さんが湘南高校にいたころだったら、世界史の授 中のでは原発問題しかやらないとか、日本史は明治から しかやらないとか、おもに在日朝鮮人の問題をやって しかやらないとか、おもに在日朝鮮人の問題をやって

すか。 栗田 洲本高校には、どれくらいいらっしゃったんで

栗田 駒崎さんは「自分が茅ヶ崎高校を『悪く』した」

んでしょう。とおっしゃってましたが、それはどういうことだった

れ」ていくわけ。それで多くの教員たちは焦るんだけ 受験教育はしない、管理教育はしないと、職員会議で す。若い教員が僕らについてくれたんだよね。それで と噂される。でも、進学率はどんどん新設校に「抜か らは人気の教員になってね。中学でも、 にも反対する。それを生徒の側も知っているから、 抵抗していたんです。問題を起こした生徒の退学処分 員のグループをつくって、徹底的に抵抗していたんで 高 率を上げるために、規則をビシビシやる。一方で、茅 新しい高校がどんどんできて、そういう新設校は進学 高校生の数が増え出して、学校の増設が進むわけです。 長」とか言われてました(笑)。 (茅ヶ崎高校) では、僕らが管理教育に反発する教 「順番」になってたのね。ところが70年代になると、 僕らが抵抗する。僕は「裏の天皇」とか 神奈川の高校は、 湘 南、 自由な高校だ

高を悪くした」と言われていたということですね。どんどん抜かされていったから、駒﨑さんたちが「茅栗田 歴史のある高校だったのに、進学率で新設校に

の話です。 の話です。 茅高には70年から83年までいたんだけど、 り。 くわえて、4崎で駒崎(笑)。それが70年代後半崎」。くわえて、4崎で駒崎(笑)。それが70年代後半崎」が問題の高校だと言

### 70年代半ばの変化

人気もあって、仲間意識もあったわけですよね。 山下 70年代前半までは、生徒とも共犯関係というか、

言っていた。 なんかやりたくない」「大人に迎合したくない」とか りに 受けてたんだよね。生徒のほうも、「受験勉強

> るという点では共通していたわけですよね。 おけですよね。そこで、何が変わっていったんでしょう。洲本高校で学生運動に共感していた生徒にしても、 学校に反発するという点では共通していた中様にしても、

**栗田** たしかに、私たちのころは分断が進んだあとで

だけどね。そのあたりから、一気に変わっていったね。クが始まった。僕のクラスは猛反発して、論争したんクが始まった。僕のクラスは猛反発して、管理のほうりが始まった。僕の教員が僕につかなくなって、管理のほう

#07参照)。 #07参照)。

でのちがいもあったかもしれないけどね。 でのちがいもあったかもしれないけど、僕の場に、ずるずる引っぱっていたのかもしれないね。78年に、ずるずる引っぱっていたのかもしれないね。78年に、3年生を担当していて、変化が表に出ないようかに、それぐらいから変化はあったんだけど、僕の場駒崎 賢さんは茅高の定時制にいたんですよね。たし

働の人が増えていく。 すよね。核家族が完成した時代。その後は、パート労栗田 75年は、専業主婦率がピークになった年なんで

> いろいろな意味で、節目の年なんでしょうね。 山下 不登校が増え始めるのも75年からなんですよね。

たのではなく、追いやられてしまったんですね。
山下 駒﨑さんが自分で見切りをつけて通信制に移っ

12月に校長に呼び出されて「転勤しませんか」と言わ月ごろに希望を出すものだったんです。それが、82年駒崎 そうです。あのころは、通常、転勤は自分で2

やっ

ぱり教えようとしてい

たのが成り立たない

駒﨑

そうなんだよ。

教えるという

屮

それまでも教科書を使わなか

9 たり

してい

っ b 駒﨑

屮

どういうちがいを感じたんでしょう。

から、

通信制もそうかと思ってたら、

ぜんぜんちが

0

の」という文章を書くことになるわけですね

989年5月号/岩波書店)。

茅高では、

外に向かって反発する子が多か

た

栗田

それで、「先生、

教えない

で、

私、

学びたい

(『世界』

てい

たんだよね。

子たちが通信制に集まるようになったと思います。

みたいな感じだったんですよね。だんだん、

そうい

う

でも、

通信制は学ぶ場で、こちらが教えられない

う感じがしたんです。

でも、

それがよかった

抵抗したんだと思います。 はいきません、通信制に転勤してください」と言うの てね。「したくない」と言ったら、「そういうわけに 教育委員会からの要請で、 校長も、 ぎりぎりまで

ていた人もいれば、体罰とかで問題になったヤツもい なった教員が集まっていたんです。僕みたいに反発し 教員を送り込んでいたわけです。 でしたね。全日制だと生徒に影響が出てしまいそうな クビになる代わりに通信制に来ていたような感じ のころの通信制というのは、 あちこちで問 題に

#### 教えら れ な 61 欲求不満

屮 ながら学ぶ人のためにつくられた学校ですよね 通信制高校は、 もともとは定時制以上に、

半分以上は若い子じゃなかったですね。 そうです Ą 83年当時でも、 年配の方が多くて、

栗田 私が入っ 0) は89年ですけど、 た 0 た6年で、

体

が学校に行かない

入れなくて、

むしろ身

とは20代ぐらいで、 ものすごく変わっていたと思います。 たかな。転編入で。 い子ばっかりでした。 いわゆる「ワルかった」人が来て 年配の方もいたけど少数で、 私のころは、 あ

駒﨑 編入が増えてるんですね。 この表 (左) の いように、 82 ( 87 年 の 5 年間で

中

倍増してますね

年度	82	83	84	85	86	87
平沼	71	79	58	101	103	148
湘南	80	92	118	153	220	227
厚木南	61	64	114	118	132	128
合計	212	217	288	371	452	503

82~87年度における各校の転編入生徒数の推移

栗田

私はある意

たわけ

っですね。

に移ってくる子が増え ほかの高校から通信制

「先生 教えないで 私 学びたいの―通信制高校問題検討会 議中間報告一」(神奈川県高等学校教職員組合通信制高校 問題検討会議/1988年7月  $**83 \sim 86$  年度の合計は計算が合わないが、資料表記のママとした。

「先駆的」だったとい

うのか、

駒﨑さんの周

囲に集まっていた反教

・反学校の仲間には

教員たちの実感だったということですか。 生徒の誰かが言った言葉ではなかっ

たんです

栗田

僕と生徒との肉声での接点を奪おうとしたんだと思い

できない。教育委員会は、通信制に異動させることで、

議論ができていた。でも、

そういうことが、

ぜんぜん

ときは、教室に行って僕が話しかけたら反応があって、

教えられない欲求不満がありましたね。

茅高の

んなで考えたものです。

冊子をまとめるときに題名を

つけようというので。

のはね、

通信制問題検討会議(通称、

駒﨑

「先生、

教えない

で、

私、

学び

たいの

とい

通問検)で、

み う

ました。これはショ

ックだった。

駒﨑 そうです

上 通信制の集まりでは、 手島純さんも 9 しょ

のが教育ですよね。 務める。 現在は星槎大学教授。

\* 2 神奈川県で通信制、 定時制、 全日制の高校で35年間、 教員を

てね。

知り合いですか? っしょにやってました。彼は厚木南高校にい に活動されていたんでしょうか。

屮 名前も出てきていましたね。 高校を結びつけて書かれていて、そこに駒﨑さんのお えてもらったんです。この本では、脱学校論と通信制 島純/北斗出版1989)という本を読んでいて、教 いえ、息子が『通信制高校を知ってるかい』(手

# 教育そのものを問うように

屮 でしょう。 とちがう感じで学校を休む生徒に出会ったのは、 教員として、最初に不登校というか、それまで 41 つ

したね。 をしている家庭でした。学校に来ないから、 茅高のとき、 お母さんがシングルマザーで、 生徒5~

> の子は、 れはなんだろうな?」という感じがありましたね。そ うとニコニコしているんだけど、やっぱり来ない。「こ まで自分で切符を買って来たんだよね。彼は、 学旅行に遅刻したんだよ(笑)。それで、 中学校の教員になってます。 6人といっしょに遊びに行ったりしたんだけどね。誘 よく遅刻もしてたんだけど、きわめつきは修 山口県の萩 いまは

片 が出てきたという感じはありましたでしょうか。 いう話がありましたが、それと並行して、不登校の子 いですね。先ほど、70年代半ばに雰囲気が変わったと 教員をされているんですか。それも、おもしろ

ど、来ないんだよね。誘うと「行きます」と言うんだ 行っても、特別、家に問題があるようには思えないけ けど、来ない。そのころは、まだピンと来てなかったな。 かんねえな」という感じでした。たとえば家庭訪問に ちゃんと考え始めたのは、 いま思えば、そうだね。でも、 通信制に行ってからだね。 当時は「よくわ

屮 になったんですか。 通信制では、 そういう子とたくさん出会うよう

うになっていったんです。80年代後半からかな。教育 たわけです。それが、だんだん教育そのものを問うよ 長で考えていたんだよね。管理教育が問題だと思って していったんです。 のあり方を、通信制の学びのあり方とあわせて考え直 イヤだとか、 だんだんね。80年代前半までは、学校の管理 権力に反発するとか、そういう問題の延 が

屮 校の子どもと接する感覚は、通じるものがありますで 教えることが成り立たないという感覚と、 不登

ないなかで、学ぶことに気づいた」とか、 てよかった」とか、「何も与えられなくて、教えられ なかで、「教えられないで自分で学ぶチャンスができ をもらってね。 そう、そうなんだよね。 そうだったのか、と。「なんだよレポー レポートを書いてくる そういう声

> それはうれしかったね。 トぐらいで気づいてくれるのかよ」って思ったけど、

上 ぶことをサポートするという、新たなスタイルができ なったけど、 てきたということですか。 それまでの自分の授業スタイルは通用 通信制で、教えるのではなく子どもが学 しなく

ぐらいだったかな。通常は6割ぐらいですから、投げ だから、こっちも一番いいものを出さなきゃと思って けど、やさしいものにして単位だけ「あげる」という トテープを使ったり、面接のときにいろいろ工夫した くれる人もいるから、 ちゃう人も多かった。 は低かったんです。クリアするのが難しいから。 それだけに難しい。だから、僕のレポートの提出率 らから強制的に教え込んだり、 ました。くいついてくれたら、しめたものでね。こち 駒﨑 そうですね。手がかりはレポートだけだからね のはイヤだったんだよね。 レベルは下げたくない。カセッ でも、そこで救われたと思って そんなことでは、学ぶ喜び 説明することはしない。 3 割

針だったかな。 全様への侮辱でしょう。だから、あ

栗田 保守的な先生は提出率を気にしてましたよね。 一方で、変わった先生も多かったですね。 O 先生から 満鉄のことを学んだり、先生が率先して黙々とひとり で教室を掃除してたりとか(笑)。 最初は「生徒」が がなら「掃除しろ」とか命令することもできなかった だから「掃除しろ」とか命令することもできなかった

#### 隅の親石

う。 したけど、そういう考えとは、どこで出会ったんでしょ 栗田 脱学校的な観点は80年代後半からということで

もいっしょに「生徒の学習権を実現するために学校・駒崎 通信制の教員の集まりが発展して、全日制教員

という冊子を出してたんです。という冊子を出してたんです。教育を見直す研究会」という研究会をやってたんです。教育を見直す研究会」という研究会をやってたんです。

**栗田** 教職員組合がベースにあったというのも、大事

こそ学校教育を問い直せる場でもあった。通信制は学校のヒエラルキーから言えば底辺。だからが多かったから、そういう雰囲気もあったんですかね山下 生徒も先生も、ほかの高校から流されてきた人

すね。 駒﨑 そうですね。聖書で言うところの隅の親石で\*\*\*

重要な位置を示すこととなるたとえとして使われることが多い。なった、これは主の御技……」と続く。世間からうち捨てられた存在が、\*3 旧約聖書詩編118「家の建てる者の退けた石が、隅の親石と

**栗田** ちょっとシェルターのような雰囲気はあったな

**駒崎** 通信制に来る前の学校で、つまんねえことをたくさん浴びせられてきて、もうイヤだという人は多くさん浴びせられてきて、もうイヤだという人は多とか、どんどんそういう声が返ってきたんだよね。教とか、どんどんそういう声が返ってきたんだよね。教とか、どんどんそういう声が返ってきたんだよね。教いんだって、みんなから教えられました。

にとって大事なことだったわけですね。 上から教え込まれなくなること自体が、子ども

駒崎 もつれた釣り糸を引っぱっても、かえって絡ま

いう感じかな。ることはゆるめないといけない。それのできまれる。

でした。

「通信制での経験は、2回目の生まれ直しだったかものがイヤだというのは、通信制に来て、わかったことうことはなかったんですよね。教えられることそのもは、自分の中学高校で、勉強が苦痛だとかイヤだといは、自分の中学高校で、勉強が苦痛だとかイヤだといい。

よね。通信制は何年まで勤められていたんでしょう。山下 しかし、それは教員にとっては厳しい問いです

崎高校の定時制に2005年までいました。 駒崎 湘南高校の通信制は96年までで、その後、茅ヶ

制高校が、不登校とつながっていく時代ですよね。の変化は、どう感じておられましたか。ちょうど通信の変化は、どう感じておられましたか。ちょうど通信

**駒崎** 80年代末から、単位制高校が出てきましたで

なんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつ合わせて、卒業に必要な単位を満たす。それはとても合理的で、学校をバラバラにしてしまうわけですね。一方で、逆に通信制を学校化していく流れがありました。スクーリングをたくさんやって、通信制でも学校に来ないと卒業できないような流れができてきた。教育委員会が取り込んで、神奈川でも横浜修悠館高校教育委員会が取り込んで、神奈川でも横浜修悠館高校教育委員会が取り込んで、神奈川でも横浜修悠館高校なんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつなんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつなんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつなんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつなんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつなんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつなんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつなんかは、通信制の経験者の教員を集めて学校をつる。

らえないと困るといって、 自分で自分のやりたいことをしたいという感じで、あ せいせいした」という感じだったでしょう。 れは予想していなかった変化でした。僕らが通信制 間定時制や、 している。 がけっこういた。 でやっていたころは、「学校に行かなくてよくなって、 両極というかね。教えてもらいた 力があったように思います。自分でできる子 新しい通信制に流れていきましたね。そ いまは、 そうじゃなくて、教えても 通信制でも出席をとったり いという子は、 むしろ、

が多かったですね。

# 娘が学校に行かなくなって

う見ておられたんでしょう。 山下 駒﨑さんは、フリースクールなどの動きは、ど

が、脱学校的だと思ってましたね。 2回、行ったことがあります。あまりよくは知らない 2回、行ったことがあります。あまりよくは知らない 駒崎 東京シューレには、できてまもないころ、1~

くっていました。

がに、矛盾や葛藤はあったんでしょうか。
山下 教員をしていることと、脱学校の考えとのあい

なったんですよね。それはよかったと思ったんです。駒崎 どうでしょうかね。僕の娘も学校に行かなく

んかイヤだったのね(笑)。もは学校に行っているじゃないかと言われるのは、な脱学校みたいなことを言っておきながら、自分の子ど

成は、小学校に入ったころ、「学校って、あんなところだったのか」から始まって、粘土は自分の好きなようにつくりたいのに、丸くしましょうとか四角くしましょうとか言われてイヤだと、「行きたくない」と言い始めました。3年生の担任の先生がわかってくれる人で、「寝ててもいいから来たら」って言われて、その1年間くらいは行ってたかな。中学はぜんぜん行かなくて、高校は通信制に行ったんだよ。それは、ん行かなくて、高校は通信制に行ったんだよ。それは、ちょっとうれしかった(笑)。

栗田 そうだったんですね(笑)。

## 何なんだこれは……

すよね。そのころって、メンタルの問題も増えてきて通信制に入ったころは、転編入が激増していたわけで乗田 ちょっと話がもどりますけど、私が湘南高校の

う。いる時期だったと思います。そのあたりは、どうでしょ

**駒崎** 在日コリアンで、その後、喘息で亡くなっまい飛び降り自殺した生徒や、統合失調症で、やはり自殺してしまった生徒、そして元少年工科学校の生きで、通信制に編入してきて、その後、薬物中毒になってし

会えてはなかったですからね……。思ってしまうのですね。当時、彼らはおたがい直接出の後はちがっていたのではないかと、どうしても僕はのだらどうしが学校でもっと直接出会えていたら、そ

てました。

「何なんだこれは」と、ずっと思った」という感じで、「何なんだこれは」と、ずっと思っそのころは、「これは何なんだろう。あまり経験ない時は、まだしっかり理解できていかなかったですね。時は、まだしっかり理解できていかなかったですね。

新聞。

本プロジェクトインタビュー#27参照)

保坂展人さん(現在は世田谷区長)らが1983年に創刊した

最初のころは、大人なり教員がしっかり受けとめて、 最初のころは、大人なり教員がしっかり受けとめて、 ると思っていたんだけど、どうもそれだけじゃないと。 そのころ、藤沢に三吉クリニックが開業したんですね。それで、三吉クリニックとの関係から「カフェ・ドゥ・そーじゃん」という居場所を始めて、そうしたら、ドゥ・そーじゃん」という居場所を始めて、生きづらい若そこには学校との関係だけではなくて、生きづらい若くい人がたくさん来るようになったんですね。よくわかい人がたくさん来るようになった船で、ずるずると引っぱらない世界に、乗りかかった船で、ずるずると引っぱらない世界に、乗りかかった船で、ずるずると引っぱらない世界に、乗りかかった船で、ずるずると引っぱい人がたくさん来るようになった船で、ずるずると引っぱらない世界に、乗りかかった船で、ずるずると引っぱらない世界に、乗りかかった船で、ずるずると引っぱらないかり受けとめて、

たのは、いつでしょう? 通信制を紹介されたんです。三吉クリニックと出会っ栗田 私も三吉クリニックに通っていて、湘南高校の られていく感じでした。

#30参照)がやっていた居場所と同じ名前ですが、別した。山下英三郎さん(本プロジェクトインタビューした。山下英三郎さん(本プロジェクトインタビューを返す動をしていて、「ばくの会」という名前で活動をした。

て、それが「そーじゃん」につながっていったんです。そのなかで、クライエントで来る中高生の話が出てきんやケースワーカーの広瀬隆士さんが参加していて、団体です(笑)。そこに、クリニック院長の三吉譲さ

# 反学校ではない子どもたち

山下 そーじゃんは、いつから始めたんでしょう。

どって、 知らせたら、 ばらく滞在するという意味ですね。 そのうえに少ししゃれて「カフェ」ってつけたの。 ……」と言っているうちに、 に障害者の作業所にしたんですね。そのときは、 の発音でしたけど(笑)。でも、 りだと (笑)。彼は「そーじゃん」でなく 「さじゃー して戯れに英和辞書をひいて「sojourn」を発見。し 86~87年に始めました。大人には雀荘があるけ みんなでワイワイ「じゃんそう、じゃ スタッフに給料を出せないというので、 英ちゃんも共鳴してくれました。ぴった `「そーじゃん」って……。 しばらくやっている 山下英三郎さんに 、んそう 91 年

なってね。性ふたりが、さすがに夜にバイトしながらはキツイと、議論があったんだけど、コーディネーターの若い女

も居場所が必要だということだったんですかね。 はなくて、しんどい子が出てくるなかで、学校の外に はなくて、しんどい子が出てくるなかで、学校の外に

ながった人も含めて、「そーじゃん」を始めたんですね。 前に、「ばくの会」で「校害テルテル」という活動を 前に、「ばくの会」で「校害テルテル」という活動を 民の集会所を借りて、そこの電話を利用して、『学校 民の集会所を借りて、そこの電話を利用して、『学校 民の集会所を借りて、そこの電話を利用して、『学校 民の集会所を借りて、そこの電話を利用して、『学校 という活動を、市

則(=拘束)くそくらえナノダ!」とか「私たち、先山下 なるほど。この立て看、いいですね(写真)。「校

生の着せ替え人形じゃない!」とか。

ちこちに貼ってました。 駒崎 そういうポスターを学校の前だとか、街中のあ



学校解放新聞の立て看(藤沢駅前にて)

感じだったんですけど……。ている人もいたんですよね。私は、遠巻きに見ているじですよね。このころは、子どもでこういう活動をしまれ、管理教育からの解放とか、そういう感要田 これは、管理教育からの解放とか、そういう感

した。 地崎 あのころは、おもしろかったんだよな。通信制 助崎 あのころは、おもしろかったんだよな。通信制 りだ。

**山下** そのへんが不登校と重なる部分があるし、栗田

栗田
そうそう、闘うモードじゃないのよ。

からない苦しさがあって、どうしていいかわからない。する、連帯するというのではなくて、自分でもよくわする、 中間でもよくわいないで、それに対して運動

くなっていく感じはありましたでしょうか。化」とか、脱学校論みたいなものも、だんだん通じな化」とか、見学校論みたいなものも、だんだん通じな

**駒崎** う~ん、難しいところですね。

山下 私もフリースクールに関わっていて、同じよう山下 私もフリースクールに関わっていて、同じようがあったんですね。かつては、なぜなんだろうと思っ感じというか。そのあたりは、なぜなんだろうと思っ

## 倫理が劣化している?

じゃなくても、これは何とかしないといけないと思っね。他人の状況がどうだろうと関係ない。自分のことも日本全体の倫理のレベルが下がった気がするんだより崎 70年代の大学闘争がアウトになったあと、どう

て動くようなことがなくなっていますよね。社会問題で、「こんなこと許せない」「これはひどい」という感覚がなくなってきて、感覚的なところで投げやりとい覚がなくなってきて、感覚的なところで投げやりとい覚がなくなってきて、感覚的なところで投げやりとい覚がない。人々が、やさしさとか自由を追求しなくなった。ない。人々が、やさしさとか自由を追求しなくなった。学校の状況もひどくなっているでしょう。その背景を考えていくと、そのあたりから始まっているようなを考えていくと、そのあたりから始まっているようなでがします。脱学校というより、みんな脱力してしまっている。こういう状況だと、どこに手を打てばいいのている。こういう状況だと、どこに手を打てばいいのでする……。

というか。そういうものを、いま、どう捉えるか。てくるテーマのひとつになってますよね。影のテーマの関係というのも、このプロジェクトで浮かび上がって無 大学闘争的なものとか運動的なものと不登校と

駒﨑 そうねえ……。

山下 駒﨑さんは、全日制高校から通信制に移っ

じていると言えるでしょうか。別の可能性というよりも、より苦しくなってきたと感用の可能性というよりも、より苦しくなってきたと感見がはショックを受けたけれども、別の可能性を拓い

のか、見えない感じですね。いると、どこにどう手を打てばいいのか、拓けていく駒崎 心を病むというかね。そういう人とつきあって

がってきた感じになってきたのもあると思います。この3月(2018年)で終わりなんです。作業所になった91年から数えても、27年間、続いてきたんですが、だんだん来る人がいなくなってきてね。来る人も、駒崎 僕も、もう関わらなくなってたんだけど、実は、駒崎 僕も、もう関わらなくなってたんだけど、実は、

おさめられてしまってきたところもあるんでしょうね。

まり結局、医療だけが残っている。の枠が衰退していったのかもしれないですね……。つの枠が衰退していったのかもしれないですね……。つ

病気なんだってことでね。 しょう。そこで、ホッとしちゃう。この人はこういう いん 医療で命名されると、みんなが納得しちゃうで

山下 ほんとうは、そのわからなさから考え合っていい下 ほんとうは、そのわからなさから考え合ってい

倫理といっていいのかわからないけど。栗田(それと倫理の劣化はつながっている気がします。

駒崎 命、かもね

栗田 命の劣化ですか……。しんどいと、いま生きるだけで精いっぱいになってしまって、目の前のことしだけで精いっぱいになっているかもしれないと思います。だから、他者のことも見えないし、未来のことも考えだから、他者のことも見えないし、未来のことも考えだから、他者のことも見えないし、日の前のことしだけで精いっぱいになってしまって、目の前のことしていたから……。

# どん底まで行ったところから

その後は把握できてないんだよね。ただ、湘南高校に駒崎 僕が通信制にいたのは96年までだったからね。

そういう動きとも並行しているかもしれないですね。ね。有名進学校だけの学校にしたいということでね。定時と通信制はいらないと言って、切り離したんだよついて言えば、全日制の卒業生が影響力を持っていて、

かの都道府県でも別の学校に分けられてきてますよね。山下 公立の通信制は進学校のなかにあったのが、ほ

様だったと思うんですけどね。 栗田 湘南高校も、通信制や定時制があることで、多

**駒崎** 最初に話した、公立の小学校にはいろんな子が りいたというのと同じで、高校でも、いろんな子と出会っ いたというのと同じで、高校でも、いろんな子と出会っ

難しくなってますしね。どう巻き返せるのか、たしか安定ですし、教員が仲間をつくって声をあげることも安定ですし、教員が仲間をつくって声をあげることも来田 分断がテーマになってきますよね。そういうな

にわからない……。

本のかもしれないですね。 山下 一方で、べてるの家みたいな動きもありますよ 山下 一方で、べてるの家みたいな動きもありますよ

もしれないですね。 駒崎 どん底まで行ったところから連帯が始まるのか

**栗田** 今日は、とてもなつかしく、インタビューとい

#**39 駒崎亮太さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #39 駒﨑亮太さん

インタビュー日時:2018年3月21日

記事公開日:2018年5月8日 場所:磯里(神奈川県大磯町) 聞き手:栗田隆子、山下耕平 記事編集・写真撮影:山下耕平

- 975 - - - 974 -

奥地

今日はイランから帰国された直後とのことで、

#### #40 中澤 淳さん



(なかざわ・じゅん)

1974年、大阪府茨木市生まれ。小学生のとき、大阪から関東へ転校し、その後、 小学校4年生より学校に行かなくなる。小学校6年生より東京シューレに通い、 東京シューレ通信の編集長、海外を含めた各地への合宿企画など、さまざまな 活動に関わる。18歳で東京シューレを退会後、アルバイトをしながら海外各 地をまわった。フランス語の専門学校へ通い、フランスへも語学留学。そうし た経験を活かし、帰国後に旅行会社に就職。現在は、ふたりの子どもの父親で もある。

インタビュー日時:2018年3月13日

聞き手:奥地圭子、木村砂織 場 所:東京シューレ葛飾中学校

写真撮影:木村砂織

勤務しておられるんですよね。 お疲れのところすみません。 におられるんでしょう。 HISという旅行会社に いまは、どういう部署

とアフリカ地域を担当しています。既存店舗のケアも 管理をおもに担当する部署です。私は、おもに中近東 の種がないかも探しますし、そういう仕事ですね。 しますし、既存店舗がないところに行って、ビジネス 海外事業戦略本部です。当社の海外ビジネス  $\mathcal{O}$ 

何語で仕事してるんですかっ

中澤 リカ人みたいな英語を話すんです。 んですよ。ア 今回は英語でした。 メリカから経済制裁されてるのに、 イランの方は英語が上手な アメ

奥地 ね? 英語もどこかで学ばれたんですかっ 中澤さんはフランス語を勉強してきたんですよ

> たね。 いです。 た「I am here,you are there」って思い出します。 しかないんですよ。 フランス語の通じる国って、地球上で6分の 棒人間みたいなイラストを描いたテキストでし フランス語は専門学校で勉強したんですけど、 いまでも、 英語は、 当時のスタッフから教えてもらっ シューレで勉強したぐら 1ぐらい

奥地 政府の方に会ったり、銀行関係者に会ったりして、ちゃ んと通じるわけね オリジナルの教材を使ってたからね。それでも (笑)。

だから、商社とかで海外で活躍されている方と比べた す。まあ、 たら、言葉だけじゃなくて文脈でわかるんですけど。 ることはよくわからないんですよね。 したいという熱意があれば、 私の英語力なんて笑われちゃうぐらいのレベルで いちおう、なんとか。 なぜなら、 要するに気合いと根性ですね(笑)。こう こうしたいと思っていることが ただ、 語学力の不足はなんとか 銀行の方が言って 自分の業界だっ - 977 -

ら、

気がしますね。 奥地 そのあたりは、子どものころから一貫している

からないです。 中澤 そうですかね、自分ではわからないです。自分

不登校したのは小学校のときでしたね。 奥地 私らのほうが感じるのかもしれないね (笑)。

ウんですけど……。 中澤 もはや自分がいつ不登校したかも、よく思い出

奥地 1985年、東京シューレが誕生した年に、中

んですよね。そのころはどこに住んでましたか? 澤さんは小学校5年生で、お父さんといっしょに来た

中澤・千葉県松戸市の六実です。

# 子どもが自分と同じ学校に

奥地 手元に『東京シューレ〇B・〇G100人インタビュー』(編集・発行:東京シューレ/2015)があるので、そこに書いてくれた文章を読むと、「僕があるので、そこに書いてくれた文章を読むと、「僕があるので、そこに書いてくれた文章を読むと、「僕があるので、そこに書いてくれた文章を読むと、「僕の登校拒否は大阪から関東へ親の仕事の関係で転居し、「一個百回書かせる。1日に2000字書かされた覚えもあります。僕は順応しようと一生懸命でしたが、ぎりまりになり、コップの水があふれた感じで、小4の5月より行かなくなりました」とありますね。そのあたりは覚えてますか?

中澤はい。

**中奥地** それは、学校のそういうやり方が自分には合わ

中澤 いま思うと、なんでそんなに窮屈な思いをして中澤 いま思うと、なんでそんなに窮屈な思いをしたちが、まさに僕が通った小学校に通っているんどもたちが、まさに僕が通った小学校に通っているんどもたちが、まさに僕が通った小学校に通っているんと重たい気分にもなりましたね。「また、ここに来たな」って。でも、授業参観などで何度も行くと慣れてな」って。でも、授業参観などで何度も行くと慣れてな」って。でも、授業参観などで何度も行くと慣れてたことは忘れちゃうもんなんですね。そのうち「親子たことは忘れちゃうもんなんですね。そのうち「親子で同じ学校もいいもんだな」なんて。

奥地 その学校に行ったのは何年ぶりでしたか?

中澤 30年ぶりぐらいじゃないですか。

奥地 お子さんは、いま何歳ですか?

2009年生まれです。上の子が2005年生まれで、下の子が

2011年かしらね。あら、震災の年に入学したの? 奥地 そうすると、上の子が小学校に入学したのは

中澤 ただ、そのときは船橋に住んでいて、いまの松 戸の小学校に来たのは、長男が小学校4年生のときな んですね。転校生としてあの小学校に入ったというの も、僕自身と長男は同じ境遇です。だから、長男はよ く3年間、がんばって学校へ行ったなと思います。 長男は、ずっと学校がイヤだと言っていて、イヤだ なと思うツボも僕とよく似ていて、具体的には何も思 いだせないんですけど、長男を鏡にして、自分もきっ とこうだったんだろうなって、逆に教えられたんです。 んが何人かいたりしますけど、親子ともども友だちの のから嫌いのタイプはいっしょなんですよ。びっくりし 好き嫌いのタイプはいっしょなんですよ。びっくりし

ません?

奥地 てるのかな。 びっくりするね(笑)。やっぱり感じる力が似

は鏡に見えます。長男からは学校でのイヤな出来事の がよくわかる。 エピソードをあれこれ聞きますけど、 これはもう理屈ではなくて、ほんとうに子ども いちいち気持ち

雰囲気なんかはどうなんでしょう? っしょかもしれないけど。 先生方はガラッと代わっていると思いますけど、 建物の雰囲気は

味では、 中澤 校の半分ぐらいは使ってないんですよ。僕のころは1 学年3組で、 だなって思います。子どもの人数もすごく減って、学 しょうね。いまは、先生もずいぶん生徒にフレンドリー 昔の管理教育は、 ぜんぜんちがいますけど、 いまは1組しかないんです。 もうできなくなってるんで でも、 そういう意 やっぱりわ

> まえ、よくその環境でがんばってるな」って。 かる。 子どもを通じて感じるものがあるんです。

卒業式まで行ったわ」と思って。 僕は卒業式までは行かなかったから、「あんた、 上の子は、この3月(2018年)で卒業なんです

奥地 子どもに感心してるんだ(笑)。

中澤 感心します。

奥地 子どもはほとんど休まなかったの

中澤 りにちゃんと行ってました。 もちろん皆勤なんかではないですけど、それな

奥地 下のお子さんも?

とが気にならないのかな。 またちがう個性を持っていて、あんまり、 上の子は僕にそっくりだと思うけど、下の子は 何でも大丈夫って感じです。 そういうこ

奥地 つきあってるのね。 じゃあ、 ふたりとも不登校と関係なく、 学校と

中澤 ならなかったですね。不登校になったら、ここ(東京 シューレ葛飾中学校)に入れようかと思ってました。 不登校の可能性は充分ありましたけど、 そうは

#### お ばあちゃ んたちも駆けつ け 7

奥地 は覚えてますか 自分が学校に行かなくなったころの、 親の対応

て、 大阪からおばあちゃんが来たり、四国からもおば や んが来たり、 もちろん、父親も母親も最初はびっくり仰天し たいへんな騒ぎになりました。

奥地 歩一歩のぼって見に来たんですよね。 のシューレの、 覚えてます 東十条のアパートのらせん階段を一 (笑)。 四国のおばあちゃんが、 初

> す」って、深々と頭を下げられたんです。 めんどうな子をみていただいて、ありがとうございま んからしたら、びっくり仰天だよね。学校に行かないっ それで、私にていねいに「ほんとうに手のかかる よくわからない。 おばあちゃ

も言わなくなりました。 中澤 そのころには父親も母親も腹をくくったのか、 うしんどかったですね。 でも、2~3カ月したら、 でも、半年ぐらいは、 みんないなくなって けっこ もう何

ちょっとでも鳴ると布団をかぶって出てこなくなる。 いつも不安そうなんです」って言ってました。 お母さんは、「この子は雷がすごいきら

てたような気がします。大風が吹いて、空が真っ暗に しちゃったり。 なるぐらいなことがよくあって、たまにバチンと停電 時期が夏でしたからね。あのころ、よく雷が鳴っ

レのことは、どうやって知ったんでしょうか。ど、実際は、そうでもなかったんだよね(笑)。シューそうにしている子がやってくるのかなと思ったんだけ

不登校 50 年証言プロジェクト

いですよ。 中澤 母親が、朝日新聞に載っていたのを読んだらし

すよね。人がもっと増えたらいいよねって話していた 奥地 だと思います。シュー 出るようになって、それでお母さんが読んでくれたん 記事になったら、めずらしがられて、ほかの新聞にも 者から取材があって、記事になったんですよ。 たからだと思います。そうしたら、ほんとうに新聞記 ころだったので、 たちはこんなところに行っている」と、投書したんで かは覚えてますか? 当時、ある女の子が中学生のころ、 少しでも多くの人に知ってほしかっ レに来るまで、家で何をしてた 新聞に ひとつ 私

中澤 家で電車の路線図を書いたり、電車に乗って新

聞を買いに行ってましたね。

奥地 電車に乗って新聞を買いに行くというのは?

中澤 千葉には千葉日報、茨城には常陽新聞、福島に たの地方紙が買えるわけです。地方紙が読みたくて、その地方紙が買えるわけです。地方紙が読みたくて、その地方紙が買えるわけです。地方紙が読みたくて、そのためにわざわざ買いに行ってました。一番遠かったのは、常磐線の勿来駅か湯本駅で、福島県に入ったところですね。そこまで行って、ただ新聞を買って帰ったりしてました。

ど、どういう興味からだったんですか? 奥地 そういう小学生って、めずらしいと思うんだけ

はなくて、その土地独特のものを見たいって気持ちんだろう。でも、そうしたくなる気持ちはわからなく中澤 わかんないですね (笑)。何がおもしろかった

響が残っているというか、共通するものがあります。 響が残っているというか、共通するものがあります。 言ってみれば、中央集権的なものへのアンチですね。 たこで何が起きてるかは、現地に行かないとわからないことがある。 インターネットで調べて、ぜんぶ おかったつもりになるな、ということですね。

**奥地** 中澤くんが旅行好きなのは、そこが原点になっ

中澤そういう気がしますね。

とか、そういうことはなかったですか? 奥地 学校に行かないことで友だちからいじめられる

たので、近所の友だちとは自然と縁が薄れました。中学校になって、僕はシューレに毎日行くようになっ中学校になって、僕はシューレに毎日行くようになっただ、小学校6年生まではずっと遊んでました。ただ、中澤 学校に行っていたときに仲がよかった友だちと

## 初期のシューレで

奥地 初期のシューレは、日本のフリースクールの初奥地 初期のシューレは、日本のフリースクールの初島初は、親から聞いて来てみたんですよね。私の記憶最初は、親から聞いて来てみたんですよね。私の記憶では、お父さんが東工大の教授でいらして、シューレで科学の講座を月1回やってくれていたんですね。その講座がすごくおもしろかった。私が感心したのは、小3から18歳ぐらいまでの子がいて、それをいっしょにやるわけです。それなのに、どの子も興味を持って、にやるわけです。それなのに、どの子も興味を持って、はすごい楽しそうに聞いたりしていて、学ぶっていうのはすごいなと思ったんです。

ど、自分にそういうことできるのかなって思いますね。中澤 当時の父親と自分が近い齢になってきてますけ

の形が合わさっていく。元は、こういう大きい大陸だっかでつくってきて、その大陸を動かすと、大陸と大陸奥地 たとえば、地球儀の大陸の形をダンボールか何

なっ 小 6 ましたよ。 なったんだと思います。 自分が中学年齢になって、ある程度入っていきやすく 気おくれしていた部分があったんだと思うんですけど、 のときは、 てからは、 シューレは中学生が主体だったから、ちょっと 小学校6年生のときはそうでしたね。 齢の近い人があまりいなかったんです 親と関係なく来るようになりました。 毎日、 行くのを楽しみにして 中学に

その当時はシュ レでは何をやってましたか

> 中澤 ゲー ムですね

奥地 いまのゲームとは、 ちがうもんね。

電気の

中澤 バットで叩いて直すような(笑)。 「X1ターボ」ってやつです。 調子悪かったら、

奥地 何分から何分までやるんだとか書いてましたね ゲー ムのところにノートが置いてあって、 . (笑)。

中澤 ましたよね。 よく1台のパソコンで、あの人数がゲ いまじゃありえない です ームして

奥地 方を話し合ったり、 それをまた、 変えたり しょっちゅうミーティングでやり ね。

中澤 うが長いかもしれません。 ほうに熱が入って、結局はトランプしていた時間のほ いからトランプをして、そうすると今度はトランプの ゲー ムを誰かがやってるあいだに、し まるでトランプ部でした。 ょう

子どもたちで、どこに行ってみたいとか出し合って、 東京近辺の、 やってますが、 いまでも、シュー たとえば大使館に行ったり。 あのころの原型を受け継いでいますね。 レでは「いろいろタイム」を

ましたけど。 う思ったんですよ。 てことがあります。 いまでも、「なんか、ここはシューレで来たな」っ トルコ大使館に行ったときも、そ いまは移転して、変わってしまい

ほんとうに何事も起きないわけですから 自分たちでこれをやりたいって言わないかぎりは

奥地 ード下でスポーツにも行ってましたね

中澤 バ スケやってましたね。 新幹線の高架下で

# 学校にもどるなんてブレブ

奥地 あと、 自分たちで、 いろいろ旅行に出かけてま

したね。

ごくよく覚えてますけど、ほんとうはそうでない 中澤 のほうに行ったり、九州に行ったり。旅行のことはす なく勝手に行ったりもしてましたね。友だちと、東北 もっとたくさんあったはずなんですけどね。 シューレの行事でも行きましたし、行事と関係

もとしては、どんな感じだったんですかね? 世間では「不登校」と見ていて、そこで育ってる子ど 奥地 そういう日々の暮らしってどうなんですかね ん気にならなかったんでしょうか。 ぜんぜ

感じだったんですよね。目の前に夢中なことがたくさ に精いっぱいだから、まわりがどう見ているかまでは てなかったですよ。自分が楽しんだり、成長すること だったし、まわりが見えてたかどうかと言えば、見え あまり考えてなかったし、「そんなこと知るか」って んあるから、 そのときは、その人生に必死というか一生懸命 そんなことにかまっているヒマもないと

それを受けるとかいう話になったときでしたね。わりの人たちが高校に行くとか、中検でしたっけ?いうか。唯一、ふと意識したのは、中3になって、ま

奥地 当時は、中検を受けた子も何人かいましたね。

くわかんないところはありますけどね(笑)。思ったんですけど、「せっかくここまできたのに、こ思って、「そんな生きざまはありえない」って思ったんですよね。いま思えば、どういう考え方なのか、よとですよね。いま思えば、どういう考え方なのか、よりかんないところはありますけどね(笑)。

ないでやれるかって議論してましたよ(笑)。は高校に行きたい子が多いですね。だけど、そのころは高校に行きたい子が多いですね。だけど、そのころ奥地 当時とぜんぜんちがうのは、いまの不登校の子

以上の学力があるかどうかを認定するために国が行なう試験。 る義務を猶予又は免除された者に対して、中学校を卒業した者と同等 中学校卒業程度認定試験。保護者が義務教育諸学校に就学させ

中澤 「学校にもどるなんて反動であり、修正主義で あって、断じて受けいれられない」みたいな感じでし あって、断じて受けいれられない」みたいな感じでし をよね。いまから思えば、そんな意固地にならなくて

奥地 筋を通したい、というような感じでね

約束してないのに(笑)。 中澤 誰に筋を通してるんだって、そんなこと誰にも

奥地 進学への不安はなかったですか?

中澤なかったですね。びっくりしますよね

思っていたってこと?それで、そのまま学校に行かないままやっていこうと奥地 中学は、まったく行かないできたわけでしょう。

くやったもんだなと思います。とか、心配しそうなものなんですけど、心配しなかっとか、心配しそうなものなんですけど、心配しなかっ中澤そうですね。そうなったら未来がどうなるのか中澤

奥地 やりたいこと優先みたいな感じだったのかな?

すよね。 から都合よく歩み寄ってくれるぐらいに思ってたんでから都合よく歩み寄ってくれるぐらいに思ってたんで中澤 やりたいことを持ってれば、何か世の中のほう

奥地 自信もあったのか (笑)。

すよね。 中澤 ほんとうに根拠のない絶対的自信があったんで

鉄道会社でバイトしたものの

奥地 中学校を卒業してからはバイトにも行ってまし

仕事をやってましたね。 中澤 東武野田線の駅で、通勤のお客さんを押し込む

奥地 それは、どうして始めたんですか?

でも、鉄道会社で働くのはやめたほうがいいって。ほうがいいなって思ったんです。どんなに鉄道が好きりたくて、3年間バイトして、鉄道会社では働かない中澤 鉄道会社がどういう仕組みで動いてるのかを知

奥地 それはどうして?

よね。 じゃない。駅員室とか改札口で切符を切ったりする仕 事は、その人がやりたかった仕事とはちがったんです から、ずっと電車が走ってるところを見られるわけ ないといけない。 その言葉はすごく骨身に染みたんですよ とくに高卒入社の社員は、歯車のひとつになら 歯車に徹することがその人の仕事だ

たよね。 木村 中澤くんは、 鉄道会社をつくるって言ってまし

会社になるんだって思ってました。 鉄道会社の社員になるんじゃなくて、 俺が鉄 道

奥地 中学校の卒業式はどうしたんですか

中澤 てくれてありがとうございます」って、 んです。 中学校の卒業式も、 中学校は、 卒業式のあとに一度だけ 小学校の卒業式も行 ごあいさつに つてな 出し

> 行った覚えはありますけどね。たしか屋久島に行く前 目でしたよ。

りガードしてたんでしょうね。 で悩んだふうはなかったよね。 ご両親が学校との関係をうまくやって、 あんまり学校とのこと L つっか

あったかなんて、 こっちから聞いたこともなかったですね。 たんでしょうね。でも、中学校とどういうやりとりが ことはなかった気がします。親がうまく話してくれて のへんの事情はまったく知らないんです。 したりはしてましたね。でも、そんな激しく迫られる 先生は「来い」とは言っていて、友だちを寄越 いっさい聞かされたこともないし、 だから、

登校拒否を治そうとして病院に入れられることもあり わりさんから補導されることもよくありましたからね 話で怒鳴られたり、子どもが外を歩いていたら、 に行けるなら、学校に行けるだろう」って校長から電 奥地 当時は、すごくたいへんな時代で、「シュ おま 1

ましたし、戸塚ヨットスクールもありましたしね

# 人とちがうことができちゃう

奥地 記憶はないので(笑)。 いますか? そんなに学校の勉強をしっかりやってた シューレ時代に自分が培った力は何だったと思

すね 人の差なのかなって。シューレを出た人も、 そのちがいが、学校で学んだ人と、シューレで学んだ 何かをやると人とちがうことになっちゃうんですよ。 していても、 りにはできないですけど。 (笑)。何でしょうね、自分が社会で何か仕事を たしかに、学校の勉強はしっかりやってない 人とちがうことができちゃうというか、 ひとくく で

奥地 個性的な人が多い感じですよね

外赴任する人に向けての研修で、 昨日、 会社で研修をやったんです。これから海 いろんな人が入れ代

> ۲, わり立ち代わり話すんですけど、別におもしろい話を しようと思ってるわけじゃないんですけど、僕が話す みんなドカンと笑うんです。

奥地 わかる (笑)。

中澤 生懸命メモしてる人もいるんですけど、こんな話メモ けど、なんか言ってることがおかしいみたいです。 してもしょうがないよ、みたいな。 そういうつもりで話してるわけじゃないんです

れない。 しかしたら、 それはシューレで培ったものかもわからない 父親から受け継いでるものもあるかも

というのは、シューレにいたときに養われてるベース 何だと言われても、 シューレが育てたものだと思います。 大人になってでき上がってる血肉のかなりの部分は が子どもから大人になるときにいた6年間ですから、 があって、それが発展していったものですね。自分 でも、 やってることすべての考え方だった 難しいですね。 しかし、 'n, それが 直観

奥地 難しいよね。よくシューレでは実行委員会をついます。 作って、何かやるときには、それをやりたい子たちがくって、何かやるときには、それをやりたい子たちがたって、何かやるときには、それをやりたい子たちが な画にもとづいて何かを実現しちゃう力がかなりあった。 そういう力は、たぶん学校にいたら出なかったよ た。そういう力はそうとう伸びたかなって思います。

中澤 「何か意見はありますか?」って聞かれて、意見がない状態は耐えられないんです。意見しないのは、 見がない状態は耐えられないんです。意見しないのは、 はほ敗北みたいな感じですね。だから、たいがいの場 合は、無理なく意見を言えてるんですけど、何も意見 す。何か言わなきゃって。でも、それはむしろ大人に なってからかもしれないですね。子どものころは思い つくままボンボン言ってましたね。「意見どうぞ」っ て場を与えられてるのに、「いや、とくにございません」 で終わりにすることは理解できない。

うきっかけで行ったんでしょう? き屋久島の話がちらっと出ましたけど、あれはどうい奥地 次々、湧いてくるみたいな感じなんだよね。さっ

そこから船で行きましたね。6~7人で行きました。きたいなと思って、青春18きっぷで鹿児島まで行って、中澤 なんで屋久島に行ったんでしょうね。なんか行

# 子どもたちだけで行動してた

代にあんなことをしたら、責任問題になりますよ。合宿に行ったり、よくできたもんですよね。いまの時中澤 しかし、いま思えば、子どもたちだけで勝手に

自分たちだけで朱鞠内湖に行ってたよね。 奥地 北海道合宿のときも、スタッフがつかないで、

ね。本体組は船で、ほかに飛行機組と鉄道組とがいて。木村 そもそも、実際現地集合みたいな感じでしたよ

なことも思わなかったですね。年齢で言えば、いわゆる上級生がですよ。でも、そんよ。みんな「次どうやって行くの?」って、聞いてくる。中澤 僕は鉄道隊を引率しましたけど、当時13歳です

しょう? 「神秘の湖」って言ってたから。 奥地 自分たちだけで行って、満足感はあったんで

ない、朱鞠内に来たと。 中澤 そりゃそうですよね。時刻表でしか見たことが

るならやってみな」って、「まかせておいていい」としちゃうような精神があって、こちらも「じゃあ、や奥地 そういう新しい未知のところを自分たちで探究

思えるみたいな

すごく大事だと思いますね。 中澤 「やるならやってみな」っていうのは、いまでも、

ですか? 考えたんでしょう? 何をやっていこうって考えたん奥地 そういう生活をしながら、中学卒業後は、どう

たね(笑)。 筋もブレずに高校に行かなかったぞって、鼻高々でし筋もブレずに高校に行かなかったぞって、鼻高々でしたね (笑)。

へんにいるみんなが「ばんざい」って、電話のまわりなかったですね。たとえば、ある男の子が「僕は学芸員になりたいから、資格を取るために高校に行かなしにくい時代だったんだけど、電話で合格の知らせが来たんですよ。「合格したの?」って言ったら、その来たんですよ。「合格したの?」って、電話のまわりへんにいるみんなが「ばんざい」って、電話のまわりへんにいるみんなが「ばんざい」って、電話のまわりなかった。

### 次々と海外へ

奥地 それで、中澤くんは、中卒後は、何をやったの?

中澤 ひきつづき、シューレにいながら、バイトして中澤 ひきつづき、シューレにいながら、バイトしてきましたよね。シューレでも山口に行ったり、高山に行ったりしましたけど、たぶん初めて海外に行ったのは17歳ぐらいのときで、友だちと韓国に行ったんですよね。船で行こうとしたら、船が台風で欠航になって、あわてて飛行機で行ったりとか、まあまあ、たいへんな旅行でしたけど。

外はウクライナでした。ロシアとウクライナ。リブイリの事故があって、その関係で。2カ国目の海りましたね。あと、ウクライナに行ったんだ。チェルりましたね。あと、ウクライナに行ったんだ。チェル外はウクライナでした。

奥地 原発の事故があって、国際交流で薬品を届ける、い?」って誘われて、シューレでも6~7人が「行こい?」って誘われて、シューレでも6~7人が「行こい?」って誘われて、シューレでも6~7人が「行こい?」ってなってたね。

がします。全体の人数は多かったですけど。て、でも、シューレから行ったのは僕ひとりだった気中澤 「誰か行きますか?」ってチラシを見せてもらっ

いけない活動だったから。 中澤 そうかもしれないですね。定期的に行かないと

向こうでは何語でしゃべったの? 奥地 じゃあ、知らない人といっしょに行ったんだね

これますから」って言われて(笑)。 いですよ。「ひとりになって道で迷ったときは、こういですよ。「ひとりになって道で迷ったときは、こういうふうに言ってください。そうしたらここに帰ってと、同行した通訳さんに即席でロシア語を教えてもと、同行した通訳さんに即席でロシア語を教えてもと、同行した通訳さんに即席でロシア語を教えてもと、同行した通訳さんにすけど、覚えたての英語中澤 ホームステイしたんですけど、覚えたての英語

たいへんでしたけど。といへんでしたけど。なを積み込む仕事をやってました。力仕事だったから、どうなってるのか見たくて。コンテナに郵袋というしたね。羽田空港でバイトもしました。空港の裏側がものあたりから、いろんな海外に行くようになりま

奥地 多少、お金は貯まったんですか?

りはしませんでしたけどね。 中澤 稼いでも、すぐに旅行に行っちゃうから、貯ま

奥地 たしかマダガスカルにも行ってたよね。

じゃないですか。あれが僕の卒業旅行ですよ。シューレを出るときにシアトルに1カ月ぐらい行ったろのときで、それはもうシューレを出たあとですね。中澤 マダガスカルに行ったのは、たぶん18~19歳ご

う!」ってなったのが92年ぐらいでしたね。
を貸してくれた社長が、シアトルにいっぱい物件を 持っていて、「タダで貸すから、海外体験したい人は 持っているでしたが、シアトルにいっぱい物件を

中澤 大きなアパートに1ヵ月くらいいましたね。それを知ってる人なんですよね。ソ連が崩壊したで、けっこう大事だったんですよね。ソ連が崩壊したで、けっこう大事だったんですよね。ソ連が崩壊したがあったから、社会人になって旅行会社の仕事をするがあったから、社会人になって旅行会社の仕事をするときも、シアトルとか西のほうにしか行ったことない。それを知ってる人なんて、ほとんどいないですがあったから、社会人になって旅行会社の仕事をするときも、シアトルとか西のほうにしか行ったことなりで、シアトルとか西のほうにしか行ったことない。

たですね。いふくらませられるんですよ。だから、あれは大きかっいふくらませられるんですよ。だから、あれは大きかっせたんです。知ってることの応用で、経験値を倍ぐらかったのに、さもぜんぶ行ったことがあるみたいに話

奥地 サハラ砂漠にも行ってましたね。

でくたいへんでしたけど。 中澤 シアトルに行ったあとにサハラに行きました。 おのころの中国も、まだぐちゃぐちゃでしたから、すい、そのあとがマダガスカルで、中国にも行きました。 中澤 シアトルに行ったあとにサハラに行きました。

すごく貧しい子たちに会ったって言ってましたね。もシベリア横断鉄道に乗りました。マダガスカルでは、奥地 その後、シューレでも大陸横断旅行をして、私

くまずい食べ物を食べていて、「いくらなんでも、こ人という区分けでした。おいしくないというか、すご中澤 靴を履いてると金持ちで、履いてない人は貧乏

ああいう経験は人生観が変わりますよね。の貧しさなんだなと思って、身につまされたというかて、その食事を取り合ってるんです。これがほんとうたら、陰に潜んでいた子どもが4~5人ぐらい出てきれは食えないな」ってものを残して、食堂の席を立っ

## マラリアにも懲りずに

奥地 たしか病気にかからなかったっけ?

中澤 マラリアにかかりましたね

奥地 死線をさまよったの?

中澤 そこまでではなかったですけど、車も走ってないような町で、病院に行くと言ったら、人力車が迎えいような町で、病院に行くと言ったら、人力車が迎えいような町で、病院に行くと言ったら、人力車が迎えたぞ。ハッハッハッ」みたいな(笑)。

奥地 それで、ほんとうに治ったの?

4日間は寝込んでました。日ぐらいは高熱で動けなかったです。2週間の旅行で、日ぐらいは高熱で動けなかったです。2週間の旅行で、4

ぬって。 奥地 それは不安だったでしょう? これで終わりか

中澤 誰も知り合いもいないし、自分がそこにいるっ中澤 誰も知り合いもいない。いまだったら、よその星に行くみたいなもんですね。まったく連絡がつかないに行くみたいなもんですね。まったく連絡がつかないに行くみたいなもんですね。まったく連絡がつかない中澤 誰も知り合いもいないし、自分がそこにいるっ

か。 
といですか。そんなところに行くのは危ないなと、 
とれで無事に帰ってこられて、ふつうは懲りる

できるはずなのにって。 
うって思いましたけどね(笑)。もっと楽しい思いもうって思いましたけどね(笑)。もっと楽しい思いもだこんな修行みたいなことしなきゃいけないんだろ

うと思ったの? 奥地 そもそも、どうしてマダガスカルに行ってみよ

中澤 昔、大阪にいたときに、日曜日のお昼に「世界中澤 昔、大阪にいたときに、日曜日のお昼に「世界かいところだなと思って、いつかはあそこに行ってみらいところだなと思って、いつかはあそこに行ってみらいところだなと思って、いつかはあそこに行ってみたいなって思ってたんです。

目に遭って、でも懲りずに旅行は続けて。 奥地 それを10代の終わりごろに実現して、そういう

奥地 サハラ砂漠はどんなだった?

すけど、そこに行くまでがたいへんですよね。中澤 サハラ砂漠は、砂漠自体はすごくきれいなんで

もないわけでしょう? 奥地 どうやって行くんですか? 鉄道もないし、車

中澤 宿の悪いおじさんにだまされたりとかしました

奥地だけど行ってみたい。

でしたけど、まだ国のなかがぐちゃぐちゃで、あらゆた。 2回目のロシアで、最初に行ってから2~3年後中澤 そう。あとロシアを横断するのがたいへんでし

どこに行っても、ワイロを渡さないと物事が進まない。る人がワイロというか、お金をせびってくるんですよ。

奥地 でも、そういう世界を見て鍛えられたわ

中澤 大人になって、いまだったら、急に物事が進 コで役人にちょっとチップを渡したら、急に物事が進 コで没人にちょっとチップを渡したら、急に物事が進 のしょうね。

て(笑)。 で、(笑)。 で、(笑)。 で、(笑)。 で、(笑)。 で、(な)のときシベリア鉄道の車掌に渡した30ドルと比が進みますから」って言うと、「あっ、そうなの?」ってたら、50ディルハムのほうがよっぽど安いやと思って、(笑)。

### フランスに留学

奥地 フランスに留学されたのは何歳のときでした

か? どうしてフランスに行こうと思ったんでしょう。

中澤 96~97年だったので、21~22歳ぐらいですね。 その前の年にシベリア鉄道でチェニジアに行く途中、 ランセ」というフランス語学校に通ってたんですけど、 そこの友だちが、グルノーブルという街に留学してい そこの友だちが、グルノーブルという街に留学してい そこに立寄ったんですね。そうしたら、楽しそう というフランス語学校に通ってたんですけど、 で、そこに立寄ったんですね。

ね。どれぐらいやってたんでしょう? 奥地 まずは、日本でフランス語を勉強してたんです

ぐらい、週3回通ってたんですよね。 中澤 シューレを出たあと、アテネ・フランセに2年

て? 奥地 それは、いずれフランスに行こうかなと思っ

中澤 ちがうんですよ。シューレの友人がアテネ・フ

ないから、それでフランス語にしたんです。な英語をやっていて、同じものをやってもおもしろくわれて、「いいかもな」と思ったんです。当時、みんの語コースがあるから、フランス語やりなよ」って言ランセで英語を勉強していて、「うちの学校にフラン

行ったんだ。フランスへは語学留学だったんですか? 奥地 それで多少はできるようになって、フランスに

てました。 語学学校なんで、フランス語だけを勉強しいました。語学学校なんで、フランス語だけを勉強し

奥地 どんな生活だったんですか?

ことしてましたね(笑)。 中澤 寮にいたんですけど、寮に台所がなくて、コン中澤 寮にいたんですけど、寮に台所がなくて、コン

奥地 毎日、何時間ぐらいなの?

ぎゅうぎゅうでしたけど、やればできるもんですね。買い物に行ったりもしないといけない。けっこう1日あって、プラス宿題も出て、かつご飯をつくったり、中澤 朝から、日本の学校でいう6時間目ぐらいまで

### 偽中卒です

奥地 そこで、のちに結婚することになる奥さんと出

会うんですよね?

んですよね。それで、いっしょのクラスにいたんです。と、2年分か3年分の単位になるみたいな設定だったら交換留学で来てたんです。その語学学校で1年やる中澤 彼女は、その語学学校にニューヨークの大学か

奥地 なんか、すごい青春ストーリーみたいね (笑)。

中澤 そうでしょう (笑)。彼女は大学4年間の単位 中澤 そうでしょう (笑)。彼女は大学4年間の単位 を3年でぜんぶ終わらせちゃって、1年間やることな いからフランス語を取ったような感じだったんです。 だから、彼女のほうがフランス語を勉強してたから、当然僕 か、僕はずっとフランス語を勉強してたから、当然僕 のほうができたんです。でも、僕がクラス分けのテス トのときに、何かの勘ちがいではなはだしく悪い点数 を取って、彼女はすごくがんばって勉強して、同じク ラスになったんです。

吳地 奥さんはニューヨークの大学を出たわけだから

高学歴なんだね。

中澤 すごい高学歴です。

て、中卒ですよね? 奥地 中澤くんは学歴なんか取るもんかって思ってい

中澤 偽中卒です。行ってもいない中卒ですよ。

なかったよね? になったと。それで、いっしょにもどってきたわけじゃ 奥地 中卒で、いっしょにフランス語を勉強すること

ね。それで、私はそれからもう1年いました。 した。彼女は半年だけいて、いったんニューヨークに 帰ったあと日本に帰ったんですけど、私のほうは、入 帰ったあと日本に帰ったんですけど、私のほうは、入 帰ったあと日本に帰ったんですけど、私のほうは、入

ということ? 奥地 それはもうちょっと、自分で力をつけたかった

込むときなんじゃないかなと思ったんでしょうね。で、ほんとうは、もっとやればよかったんですけど、これがひとつの区切りなのかなと。モラトリアムは終わりにして、実社会に飛びかなと。モラトリアムは終わりにして、実社会に飛びかなと。モラトリアムは終わりにして、実社会に飛びかなと思ったんでしょうね。

とは思わなかったの? 奥地 彼女が先にもどってるから、自分ももどりたい

いうと、そういう区切りのほうが大きかったですかね。中澤 もちろん、それもありましたけど、どっちかと

## 就職活動は4日間

最初に勤めたのが? 奥地 働くつもりで帰国したってことよね。それで、

じゃないですか。

まして、

私の時代は就職氷河期だったら

L W う話もありますよね。

いま、

就活で1

00件まわっても断られたとい

奥地

中澤 Sだとも知らなかったんです。行ってみて、「ここH でも、 ンチャイズ店で会社名もちがってたので、最初はHI Sかよ」と思ったぐらいでした。 最初はアルバイトのつもりだったんです。 旅行会社のHISのフランチャイズ店でした。 フラ

奥地 ことだったんですよね。 ほんとうは、採用試験は大卒か高卒以上とい う

完全に無視しました 専門大卒以上って書いてありましたね。 (笑)。 でも、

奥地 ですか? そのへんがユニークなんだけど、どう考えたん どうせダメだって一般人は思うんですよ。

はいけるぞと。 しょに送ってください」って書いてあったから、これ中澤 「行ったことのある国のリストをつけて、いっ これは採らないほうが損するぞと思って、 そのときで21カ国行ってたんですよ。 送ったんで

> もしれないと思った。 奥地 大卒以上じゃなくても、 もしかしたら大丈夫か

別にどうってことなかったですからね。バイトぐらい の気持ちだから、ダメならダメでいいやと思って。 そうですね。それに、 そこに落ちたからって、

奥地 そのときの面接のことは覚えてますかっ

中澤 ですよ。 した。支店長さんは、終始いぶかしげな感じだったん そのときは支店長さんと、 社長さんとふたりで

奥地 学歴が中卒だもんね (笑)。

りたいんです」と。「どこに鉄道ひきたいんだ?」「西 きいてきたんですね。それで、 中澤 だけど、社長さんは「君の夢はなんだ?」って 「僕は鉄道会社をつく

アフリカのあたりにひきたいと思ってるんです」「そ います」って話をして、そうしたら「そうか、わかった。 数千億かかると思 分で苦労して会社を興した人だったんですよね。それ 中澤 は、あとから聞いたことですけど、 い入れがあったんだと思います。 その社長も高校中退だったらしいんですよ。 それで、すごく思

れはいくらかかるんだ?」「まあ、

奥地 ね。 だから、 高校中退ということは、中卒ということですよ 共感してくれたのかな。

その後、旅行業界に転職して、だんだんえらくなって 貸してあげますから、どうぞ営業してください」とい 澤田さんが恩義に感じて、「あなたにHISの看板を 雄さんをいろいろ手助けしてあげたそうです。それを さい会社で困っていて、うちの社長が創業者の澤田秀 いって独立したんですね。そのころ、HISがまだ小 研究をして、トップドライバーにまでなったそうです。 をしていて、 うことになったんですね。 社長は、高校を中退したあとタクシーの運転手 流しでどこを走ったら稼げるかを自分で

中澤

だから、

私の就職活動は以上で終わりです。

奥地

それはすごいね。

超スピードじゃ

会社に来いと。

4日間ですよ、

会社に入るまでに。

明日面接に来てくださいと言われて行って、

明日から

郵便で履歴書を送った次の日に電話がかかってきて ゃあ君、明日から来なさい」って言われたんです。

それはすごい買われたんだね

奥地

じ

や あ、

採用試験を受けたときは、

そういう小

- 1000

す。

- 1001 -

だったんですけど、 引をさせてもらえて、看板もつけさせてもらえる会社中澤 1店舗しかない小さい会社でした。HISと取 HISではなかったんですね。

### 経験が活きた

奥地 最初の仕事はどんな感じだったんですか

中澤 もう予約とったのか?」って言われて、「いや、 ト行きの航空券を予約してもらったんです。「おまえ、 応して、忘れもしませんが、JALのフランクフル て一番最初に入ってきたお客さんに僕が出ていって対 じゃ、わからないじゃないですか。しかも、「明日か したいって言うから予約をとりました」って。 の日だったんですよね。それでも、店舗がオープンし ら来なさい」って言われたお店は、その日がオープン トレ 最 初は、 ーニングを受けただけで、 わけがわからなかったです。 でも、そんなん 3時間

> 奥地 そういう予約は慣れているだろうからね。

わかってないんで。 りするぐらい、たくさんのミスをしました。なにせ、 紙にいろいろ書いてたんですけど、 ė, っぱりちがうんですよ。 ほんとうにびっく あのころ

行ったらいいかは、最初から先輩よりも知っていたかただ、地理とか地名とか、あと、どういうルートで とがいっぱいあって……。 てて空港に航空券を持って行ったりとか、 管理がぐずぐずだったから、発券し忘れて、当日あわ ら、そういう意味でお客さんはついたんです。ただ、 そういうこ

奥地 お客さんをハラハラさせて(笑)。

中澤 そういうことがありました。 てるんですよ。「なんなの?」 お客さんは、怒りを通り越して、 みたいな。 あきれて待 3 4 回

奥地 それでも、 支店長になってましたね

社長もお店を手放して、HIS本体に吸収されて、私 社になっていたので。 のとき袂を分かった人もいるんですけど、 は知らないあいだにHISの一員になったんです。そ テロで旅行業界はいっせいにガタってなったんですね。 たとき、ちょうど私が支店長だったんですけど、あの 27歳ですよ。2001年にニューヨークのテロがあっ 「おまえはわらしべ長者みたいなヤツだな」って言 れました。あのときはHISも、 5年かけて支店長になったんです。 そこそこ大きな会 その先輩に でも、まだ

奥地 成績もトップだったって。

中澤 でした。 いんですけど、1カ月目から最後まで、ずっとトップ したね。ふつう、 成績は、支店長時代も含めて、ずっとトップで 一度も2番になったことがない。 支店長は自分で予約をとったりしな

> 奥地 の旅行経験ですか? それは何が効いたんでしょう。 やっぱり過去

「これで行ってください」って感じなんです。 旅行の組み立てから何から、ぜんぶ自分で組み立てて そうすると、「じゃあ、あなたにまかせるわ」となって、 たほうがいいです」とか、私はハッキリ言うんです。 んな商品あります」って言ってるけど、「ここはこうバイスができたんですよ。HISはパンフレットで「こ いてないからやめたほうがいいですよ。こっちに行っ いう良いところと悪いところがあって、 旅行経験があって、 お客さんに気の利 あなたには向 いたアド

奥地 かったって思えるわけね。 それで行ってみたら、 そうやって信用を得てきた。 ほんとうにそのほうが ţ

5, 中澤 わしていけちゃうぐらいでした。 からカウンターに行かなくても、 後半は何もしなくても、電話を取らなくても自分 おみやげを買って持って来てくれたりね。 お得意さんだけでま だか

部にいるんですかね。 やれで、いまは本ないで、好きな旅行をどんどんやって、それがその仕ないで、好きな旅行に行けないですからね。そこが、本なかなかおもしろいなと思います。それで、いまは本なかなかおもしろいなと思います。それで、いまは本なかなかおもしろいなと思います。それで、いまは本

# 転職も考えたけど……

奥地 それは昇進したということですよね。

中澤 ふつうに考えたらそうなんですけど、これがた中澤 ふつうに考えたらそうなんですけど、これがたしたみたいなもんだったんです。お店でお客さんと話したみたいなもんだったんです。お店でお客さんと話をするのと、本部で航空会社の人と値段交渉するのでは、ぜんぜん異質の世界なんですね。もう、わけがわからなくて、毎日毎日怒鳴りつけられて……。理由もわからない。まったく理解ができない世界で、半年か1年がんばればわかるようになるのかなと思ったんですが、いつまで経ってもわからないし、上手にならないんですよね。しかも、そんなに怒るならお店に戻してくれればいいしかも、そんなに怒るならお店に戻してくれればいいしかも、そんなに怒るならお店に戻してくれればいい

奥地 やっぱり期待はあったんだ?

うになったと思いました。向いてないと思う仕事でも、ですけど、7年目ぐらいに、やっと自分にもできるよすね。ずっと、この職業は合わないなと思っていたんでね、 期待されてるふうにはまったく感じなくて、で中澤 期待されてるふうにはまったく感じなくて、で

すよね。やり続けていたら、いつか人はできるようになるんで

か? 奥地 部署を変えてほしいとは思わなかったんです

この会社辞められないんだ」って思って……。 たりしたんですよ。感覚的に「これは受かったな」とたりしたんですよ。感覚的に「これは受かったな」と たりしたんですよ。感覚的に「これは受かったな」と とったんだけど、社長にダメって言われてさ」みたいなことが何回も続いたので、「俺

奥地 覚悟したって感じ?

かせるしかないじゃないですか。だから、時間かかっけが残って、気がついたら自分が一番先輩みたいにけが残って、気がついたら自分が一番先輩みたいにかって、ガミガミ怒ってた人も異動になって、自分だい。

んだ、簡単にあきらめちゃいけないなって思いました。ても、あきらめなかったら、かならず成しとげられる

怒られて、そのころは何が支えだったんでしょう? 奥地 そういう教訓を得たんだ (笑)。毎日、仕事で

中澤家族がいるってことですね。

## 仕事はめぐり合わせ

奥地 それで、その後、モロッコに行ったんですね。

と思いました。モロッコなんて平気だって。い年数に比べれば、どんなところに行っても怖くないロッコに行きました。あんなガミガミ怒られる、つら中澤 結局、その部署には10年いて、2014年にモ

全国調査して何が売りになるかを見つけてとか、ぜんるところから始めて、店を構えるところも見つけて、奥地 モロッコでは、まず自分が住むところを見つけ

しかも、 銀行の口座が開設できなかったんです ぶやったと言ってましたね

ても、ダメだと言われてしまう。これには困りましたね。 ら会社は認められません」と言われて、どっちに行っ は口座をつくれません」と言われて、だけど、 つくるには銀行口座がないといけないんですね。それ 役所に行っても、「資本金を送る口座がなかった 銀行で口座をつくろうとしたら「勤務先がない人 会社を

奥地 結局、 モロッコにお店は出せたんですか

中澤 では、 ええ。 とても儲かってるんですよね。 おかげさまで商売繁盛で、 アフリカ大陸

奥地 モ ロッコに行ったことの意味が出 たんだ。

中澤 その げですけど、 もちろん、 ルの方向がまちがっていたら、 軌道のレールを敷くのは大事ですからね。 後任の人が適切に運営しているおか 永遠にまち

> がった方向に行っちゃいますから、 しかったんだなとは思います。 最初の仕掛けが正

あとは、 どういうところに行きましたか

張べ 中澤 アゼルバイジャンなんかに行きましたね。 ースで、イラン、 海外赴任したのはモロッコだけです。あとは出 南アフリカ、サウジアラビア、

奥地 中東担当だから、 中東が多いんですか

中澤 社に入ったときの21か国の倍以上になりました。 ないですが、50カ国以上は行ったことがあります。 中東・アフリカばっかりですね。もう数えきれ

奥地 会社に入ってから何年になりますでしょうか?

中澤 もう20年経ったんですよ。 今年21年目です。

奥地 いまは管理職ですか

上司は自分より後輩ですし、私はヒラに毛が生えたよ きもあれば悪いときもありますし。 うなもんです。 むしろ出世は遅いほうだと思います。 管理職ですけど、けっして、えらくはないです 仕事はめぐり合わせですから、 いまの私の いいと

奥地 11 まの仕事は好きですか?

中澤 あわてないことですよね。 なときもありましたけど、 いう仕事をさせてもらってるなと思います。 向いてるというか、いいめぐり合わせで、こう そういうときは、 たいへん ジタバタ

た だ行かなかっ ただけじゃ 11

ランスから帰ってきて、結婚したんですよね。 そう言えば、さっき聞き忘れてましたけど、 フ

中澤 就職して丸2年経ったころに結婚しました。

24

歳のときでした。

奥地 日本に帰ってきてから? もともと、そういう話があったの? それとも

中澤 失礼かもしれないけど、 これはパッと思いつきで。思いつきと言ったら これはもう直感ですよね

奥地 彼女と結婚したい

二度とこんな人には会えないなと思って。 中澤 ここで結婚しないでどこか行かれちゃ ったら、

奥地 てたんだ。 やっぱりフランスでの生活が非常に印象に残

中澤 本質的には考え方は近いものがあったのかなって。 ヤでアメリカに飛び出していったような人だったから のときに彼女は学校に行かないという選択肢はまった 彼女も学歴は非常に高いけど、 日本の学校が そ 1

ですね。飛び越えるために外国に行ったというタイプだったん飛び越えるために外国に行ったというタイプだったんく思いつかなくて、そこから逃げ出すためというか、

だった?行ってなかったことを知ったときに、どういう反応行ってなかったことを知ったときに、どういう反応奥地(彼女は、あなたが不登校して、ほとんど学校に

も言われます (笑)。 も言われます (笑)。 も言われます (笑)。

進学や結婚で不登校は不利だったりするけど……。いないは、あんまり関係なかったのね。よく日本では、奥地 彼女の価値観では、学校に行っている・行って

中澤 それに代わるだけの実力があると認めてもらえないですからね。だから、ただ行かなかっただけじゃが経験できないことをいろいろ経験して、見識を溜めていうよりも、その行ってないあいだに、ふつうの人たんですよね。だから、ただ行かなかったからいいったがですよね。だから、ただ行かなかったからいいった。

低い人が結婚しました」って言ってましたね(笑)。奥地 結婚式のとき、「超学歴が高い人と、超学歴が

中澤そうでしたね。

# これが受験ってものなんだ

んが通っていた学校に行ってるということでしたね。いうかね。いまは、ふたりのお子さんがいて、中澤くかけている人もいるけど、そういうわけでもないって致いと幸せになれないと思って、そういうことを追いぬ地 なんか人生って、わかんないよね。学歴が高く

**中澤** そして、私立中学に合格しまして、4月からは

奥地 受験生の親だったんだ。

中澤 僕は社会ぐらいしか教えてあげられなかったん中澤 僕は社会ぐらいしか教えてあげられなかったのが一番下の学校とかじゃないですからね。はじめから、ここに行きたいって言ってですからね。はじめから、ここに行きたいって言ってた志望校にちゃんと行けたんですね。下の子も、そのた志望校にちゃんと行けたんですね。下の子も、その付属の小学校の試験に合格して転入して、いまはふたりとも私立です。

奥地 お金はかかるね。

学校なんて絶対に行けない、絶対無理だって言ってま小学校が集まって、エッセンスのギュッと詰まった中ら、地元の小学校でさえイヤだったのに、その地元の中澤 お金もかかります。うちの子どもからしてみた

の狂いで勉強するから」って。した。「あの学校に行くぐらいだったら、僕は死にも

のなんだ」って、ひとつ世界が広がりましたね。にサポートするだけでしたけど、「これが受験ってもてました。ペース配分から何から。僕は言われた通り中澤 ですから、終始、奥さんのほうが主導権を握っ

から経験したわけですね。 奥地 子どものころ経験しなかったことを親になって

くて。 生も、まさかお父さんがそんな人だとは思ってもいな中澤 進学塾とかも初めて行ったんですけど、塾の先

奥地 奥さんは受験を経験してるのかな?

中澤 猛烈に勉強する人ではありましたけどね。 から、たいへんみたいですね。だから、奥さんのほう 勉強についていくのって、英語の勉強と科目の勉強だ リカの大学の試験って、また別じゃないですか。 日本の受験というのは初めてでしたね。 推薦とかで通っちゃったような人だったし、 本格的な日本の受験勉強はしたことないんです アメリカで ただ、 アメ

ときに3年生の勉強をしてたぐらいだったので。 ました。途中までは、絶対に受からないと思ってたん から、どのように勉強するかは、いっさいをまかせて でも、 ほんとうに勉強が遅れてたというか、 勉強の仕方を教えることについてはプロです 4年生の

奥地 なか ったんだ。 親として、「勉強しろ」って、言ってたわけじゃ

中澤 もわりと余裕を持って合格してました。 どん遅くなっちゃって。でも、 言ってなかったんですよね。そうしたら、 最後はちゃんと、 どん しか

#### 念じれば、 11 い方向に

強をして私立に入ったって聞いたら、 奥地 大笑いするんじゃない? 昔のシューレ仲間が、 中澤くんの息子が受験勉 「えーっ」って

中澤 しろいんですよね。 それが人生ってもんですよ。 だから人生はおも

奥地 ぜんぜん計算通りにならないも

中澤 んですよ。 でも、 念じればきっと、ぜんぶいい方向に行く

奥地 やっぱり楽天的なところもある 0

れ願った通りになるような気がするんですね。中澤 誠実に熱意を持ってやってれば、程度の 誠実に熱意を持ってやってれば、程度の差はあ

れだけの熱意があるかで語学力だけじゃないと言って たけど、 最初のイランの話でも、 念じれば、 やっぱり人生はいい方向にいくと。 相手に伝わるのは、ど

奥地

ど。 中澤 いかもしれないですよ。ときに悪い時期もあるんだけ そういう気がしますね。 でも、すぐにはならな

奥地 7年の苦しみもあるわけだしね

中澤  $\phi'$ ような気がしますけどね。 まじめにやっていれば報われることのほうが多い 家庭だって、ごたごたするときもあるけど、で

奥地 ますか? ある人が、それを信じてやってくれるといいけど。 ふり返って、 そういう言葉で、い 自分が不登校したことはどう捉えて ま、 ちょっとつら い状況に 11

中澤 まぐれみたいなもんです、 まぐれです (笑)。

> にうまくはできないです。 も う 1 回、 同じ人生やれって言われても、 もうこんな

奥地 なるほど、そうかもしれない

中澤 (笑)。 ふりだしにもどるとなったら、 もう辞めます

#### そのときは 僕 の出番

ようもないよね。たとえば、 に入っても、 奥地 辞めるって言っても、 不登校になったとしたら、 自分のお子さんが私立中 なっちゃったら、どうし どうする?

中澤 そのときは、 たぶん僕の出番ですよね

奥地 (笑)。 今度はお母さんじゃなくて、 お父さん の出番

中澤 いまは奥さん主導で子どものマネージ メン

するようになるでしょうね。し仮に不登校になったら、今度は僕がマネージメントすよ。ふたりとも合格させたわけですから。でも、もすよ。

ていて、

そのマネージメントはすごかったと思うんで

### 奥地まかしとけ、みたいな?

中澤 そのときはね。やっぱり役割がありますから。 中澤 そのときはね。やっぱり役割がありますから。 は、いろんな選択肢や方法がある。でも、それも一概は、いろんな選択肢や方法がある。でも、それも一概は、いろんな選択肢や方法がある。でも、それも一概に言えないですけどね。

わからない人もいるだろうし。くなったからにはそうするんだって、そういうわけのいってほうが心地いい人もいるだろうし、1回行かな

ひょっとしたら、ちょっと休んで、

またもどりた

奥地

その人その人の進み方が選べるといいですね

持たないということですね。 さというか、これはこういうものだという固定概念はさというか、これはこういうものだという固定概念は、柔軟

奥地 そういうふうに、自分のいまを受けとめて考えられれば一番いいですね。中澤くんは「僕の話を聞くたです。笑ってばっかりいましたね。ありがとうござたです。笑ってばっかりいましたね。ありがとうござたです。

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #40 中澤淳さん

インタビュー日時:2018年3月13日

記事公開日:2018年5月30日場 所:東京シューレ葛飾中学校 聞き手:奥地圭子、木村砂織

写真撮影:木村砂織 まとめ:奥地圭子

今日はよろしくお願いします。

不登校経験につ

まずは生い立ちからうかがえます

#### #41 伊藤書佳さん

わけでもなかったのかもしれないですね で寝ていることもあったから、 そんなになじんでい

屮 葉県の木更津に引っ越して、 でしょうか。 いてうかがう前に、

京都大田区に引っ越して、 父の仕事の都合で2歳ごろに佐賀県に、4歳ごろに東 1 9 6 9年、 東京都立川市で生まれたんですが 小学校2年生の夏休みに千

その後は木更津で育ちま

屮 お父さんのお仕事は?

法律関係の仕事をしていました。

屮 小学校はどんな感じだったんでしょう。

楽しかったのですが、よくおなかが痛くなって保健室 小学校に入学したのは1975年です。 学校は

#41 伊藤書佳 さん



(いとう・ふみか)

1969年、東京都立川市生まれ、千葉県木更津市で育つ。中学校2年生より学 校に行かなくなり、『学校解放新聞』の編集に関わるようになる。中学校卒業 後も、「学校に行かないで生きてみよう、実験してみよう」と思い、進学はし なかった。1993年から2008年まで、雑誌『ちいさい・おおきい・よわい・ つよい』(ジャパンマシニスト社)の編集に携わっていた。『安心ひきこもりラ イフ』(勝山実/太田出版 2011) の編集も手がけた。現在は雑誌『教育と文化』 (教育文化総合研究所) の編集に携わる。「不登校・ひきこもりについて当事者 と語り合ういけふくろうの会」の世話人のひとり。著書に『超ウルトラ原発子 ども一ゲンパツは止められるよ』(ジャパンマシニスト社 1989)。

インタビュー日時:2018年2月20日 聞き手:山下耕平、山田潤、栗田隆子

場 所:大阪ボランティア協会

写真撮影:山下耕平

な」「やめてよ」って思ったり言ったりしながら、 折られたり、 りと楽しくやってたと思います。 でダメージを受けるという感じではなくて、「イヤだ ので、後ろからランドセルをキックされたり、 く寝坊はしてましたけど。 小学校2年生で木更津に引っ越してきて、 そういうことはありました。でも、 宵っ張りなので、 転校生な それ わ

小学校のことで、 ほかに覚えてることがあ ñ

屮

ていたり、 るときはおなかを殴るんだ、跡がつかないから」と言っ んで揺すった。生徒を殴ることもあって、 教室の窓から下に投げて、 み出しているのを見つけて、そのランドセルを3階の すぐのころ、 の男性教員が担任になったんです。 6年生になって、 緊張感の高い毎日でした。 その先生がロッカーからランドセルがは ものすごく体罰をふるう30 持ち主の子の胸ぐらをつか 一学期が始まって しかも「殴

て

ふだんから先生はその子のことをからかっ

ていて

クラスには、

知的障害のあるKくんという子がい

載っているんです。 ました。そのときの授業のようすが卒業アル 身裸にさせて並ばせて、あばら骨を見させたりしてい き理科の授業の際に、骸骨の見本の横にKくんを上半 でした。Kくんはとても細かったんですけど、 あると バムに

出田 ちょっと信じられないね

屮 ご自身がやられたことはあったんですか

ことがあるので、 無理やり顔を皿に押しつけられて「食べろ」と言われ 食べられないものがある子は、ずっと座らされたり、 から無理やり食べて、それはすごくつらかったですね。 ていたのですが、その先生のときは残しちゃいけない が絞まって「苦しい」と泣いたことはありました。 て、 にひっかけていたら、「なんで、かぶってないんだよ」っ 小食で食パンをぜんぶ食べきれずに持ち帰ったりし いきなり帽子のゴムをぐうっと引っぱられて、首 赤白帽子のゴムが伸びていて、かぶらないで首 必死で食べていました。

> ういう人もいるんだと思ってました。 なかったし、ほかにも殴る先生もいるし、先生にはそ でも、そういったことを体罰と呼ぶというのも知ら

ちゃうし、ガマンするしかないのかなって。それでも もっとひどいことになってしまう。親が変に言われ と、帰りの会で「○○のお母さんは頭がおかしい」と に来たんです。そうしたら、そのお母さんが帰ったあ 話したことがありました。 友だちといっしょに教育委員会に言いに行こうかって 言って、みんなの前で非難したんです。親に言っても あるとき、おなかを殴られた子のお母さんが抗議

上 だったんですか。 それは、 子どもたちどうしで思い ついたこと

伊藤 そう。

育委員会にというのは、お父さんが法律の仕事をして 屮 いたから、そういう発想が出てきたんでしょうか。 親に言うとか、校長に言うとかではなくて、

あったんです。一度、隣のクラスの先生に相談したん だけど、「そうだよね、 いう人もいました。 ちの子が悪かったら、先生どうぞ殴ってください」と いになぐさめられただけでした。親のなかには、「う それぐらい、学校全体が先生の味方という感じが いや、私じゃなくて、友だちが言い出したんで でもしょうがないよね」みた

らい 出 くちゃしてたよね。 ある時期までは、学校の教師というのは、めちゃ いまの学校からは信じられないく

伊藤 かもしれません。結局は言いに行かなかったんですけ 言えば、この状況から助けてもらえるのかわからな 育委員会に言いに行こうという話が出たのも、どこに かったからで、 いまとは先生の位置づけがちがうように思います。教 圧倒的に力関係がハッキリしてたと思います。 いわば、お上に直訴する感じだったの

## 校内暴力が起きるの

屮 が激しかった時代ですよね 中学時代のことを聞かせてください。

そういうなかでも楽しいことはあったんですよね。だ 抑えるためにさらに殴る。そういう時代でした。でも、 廊下をポケットバイクが走ってたり、トイレを詰ま 力もありました。二宮金次郎の像が3回壊されたり 茶飯事だし、先輩後輩の上下関係も厳しいし、校内暴 らせて廊下が水浸しになっていたり……先生はそれを そうです。中学校は制服もあるし、 1年生のときはけっこう楽しくやってました。 体罰も日常

屮 思うんですが、その暴力の被害に遭った生徒や教師も があった」みたいに、やや美化して語る向きもあると ういう単純な見方はイヤなところがあるんですよね いたわけで、 校内暴力については、「あのころは、まだ元気 私なんかは、 自分の経験からしても、 そ

のお話がすごく好きだったんですね。ところが中学に

ポケットにごちそうを詰めるというお話です。そ

伊藤さんは、

校内暴力はどう見てたんでしょう。

はそれを起こす理由がある。校内暴力よりむしろ学校 もこわいし、ケンカでワーっとなっているのもこわい、伊藤 暴力はほんとうにいやです。大きい声を出す人 代は元気でよかった、とは思いませんが、校内暴力に ちょっとおもしろかったですね。校内暴力があった時 れども、学校のなかでポケバイが走ったりするのは、 何かが壊されているのを目にするのもつらいです。け の側の暴力のほうがひどいと思ってました。

どっちもつらい。 のあり方がおかしいんじゃないかって思ってまし そういうのを見ていて、どっちも変だ、この学校 た。

十 校則で覚えているものはありますか?

るとか、 伊藤 服のスカーフは結び目からの長さを10センチ以上にす ースみたいな編み目の入っているのはダメとか、 スカー カバンの厚さは10センチ以上とか、靴下は白 ト丈が床上30センチ以上とか、セーラー

> ごく細かかったです。 前髪はおさえて眉毛の上でないといけないとか……す

中下 床上30センチ以上だったわけですね。カバンも「つぶ す」とか言って、薄くしてたりしましたよね。 当時は、スカートは長いのが流行ってたから

だ、これは!」とか言って。何が悪いのか、 持ってきちゃいけないものがあったら没収したりする わからなくて、そういう学校のいちいちについて、ずっ と疑問に思ってました。 んです。そういうとき、先生が急変するんですよ。「何 が教室にいないときに、先生が全員のカバンを調べて そうそう。それで、体育とか音楽の時間で生徒 ほんとに

屮 では、それがおかしいという視点は持ちにくいですね。 そういう視点を持つきっかけはあったんでしょうか。 しい状況でも、みんながあたりまえと思っているなか でも、先ほどおっしゃっていたみたい 、に、おか

直す。 もうひとつ、小学校4年生のときに、「ごちそうを食 歓迎されているんじゃなくて、この服が歓迎されてい に帰って、お風呂に入って、一番いい服に着替えて出 かしいなと思って、自分のまわりのお客を見るとみん くれない。話しかけても無視される。ホジャさんはお 替えずにそのままの格好で行ったら、誰も相手にして ドウ畑でほこりまみれになって働いてきて、急いで行 んの家のパーティに呼ばれて行くのですが、 さんのお話です。ホジャさんが、お金持ちのハリルさ ルコの民話で、ホジャさんというトンチのきいたおじ べた上着」というお話を教科書で読んだんですね。ト ちます。ほかにもそう思っている子はいたと思います。 からすごくいやで、殴ることないだろと思って腹が立 るんだから、服に「たくさんたべろ、上着くん」と言っ な上等のよそゆきを着ている。それでホジャさんは家 かないと遅れてしまう時間になってしまったので、着 あたりまえと思っていても、殴られるのは痛 今度はものすごく歓迎された。それは、自分が 一日中ブ

> とをしているじゃないかと思って。 入ったら、その服で人を判断している人たちと同じこ

屮 いという人はいたんですか おもしろいですね。身近で、 この状況はおか

まりを破るのが楽しいんじゃん」とか「先生に見つか るかどうかのところで、スカート丈を長くしたりする もいたけど、「そうは言っても卒業までだし」とか「決 かまわず、学校の決まりがおかしいという話をしてた る人はいました。当時の同級生にきくと、私は誰かれ のが楽しいんじゃん」とか言う人もいて……。 みたいです。それで、「そうだね」と言ってくれる人 伊藤 言ってる人はいなかったですね。でも、思って

#### と考えて 11 たら微 熱 が

「服装の乱れは心の乱れだ。夏休み中も中学生にふさ 伊 藤 わしい生活、 中2の夏休み前の終業式で、生活指導の先生が 服装を心がけるように」と言っていたの

まだ自分のなかでつながってなかったんです。ていたら、夏休みのあいだ、なんか変だとずっと考えていたら、夏休みが明けてから微熱が出ていることは、イヤだなと思っていることと微熱が出るようになっていたら、夏休みのあいだ、なんか変だとずっと考えたんです。夏休みのあいだ、なんか変だとずっと考えたがです。

病院に行って検査しても、どこも悪くない。医者にるんだもん」ってことで、2~3週間、休んでいたるんだもん」ってことで、2~3週間、休んでいたら、担任の先生がようすを見に来てくれて、「何かイウ、現任の先生がようすを見に来てくれて、「何かイウ、現任の先生がようすを見に来てくれて、「何かイルなことでもあったのか」ときいてきたんです。それないのは、たいへんじゃないか。たとえば、日曜日には、生徒を原宿に行かせないために、木更津駅の改札に先生が交代で立っていたことがあったんですよね。いらない決まりをなくせば、みんなが楽になる。

言ってくれたんです。特別いい先生ということでもなそうしたら、その先生は「そうかもしれないね」と

けど、新聞をつくるときなど、たまには行ってました。学校を休んだり。学校には、ほとんど行ってないんじゃき学校に行って5人くらいで新聞づくりを始めたんでき学校に行って5人くらいで新聞づくりを始めたんできが。担任の先生には顧問になってもらいました。でも、新聞を印刷したら、校長先生に怒られたりして、また学校を休んだり。学校には、ほとんど行ってないんじゃかったけど、話は聞いてくれた。それで、「決まりをかったけど、新聞をつくるときなど、たまには行ってました。

栗田 校長先生が怒ったというのは、書いた内容で?

伊藤 そうですね。「決まりをなくしたらいい」という内容が書いてあったからだと思います。私は、みんう内容が書いてあったからだと思われてるかもしれないいちいさいものの集まりだと思われてるかもしれないいちいさいものの集まりだと思います。私は、みんつ内容が書いてあったからだと思います。私は、みんつ内容が書いてあったからだと思います。私は、みんう内容が書いてあったからだと思います。私は、みんう内容が書いてあったからだと思います。私は、みんう内容が書いてあったが出ました。

出下 たとえば、保坂展人さんは中学校で「全共闘」山下 たとえば、保坂展人さんは中学校で「全共闘」山下 たとえば、保坂展人さんは中学校で「全共闘」

伊藤 でも、『子どもたちが語る登校拒否』(世織書房1993)でも、書いていた人がたくさんいたじゃないですか。ミニコミをつくっているグループもあったし、何か書く人はたくさんいたんじゃないかな。高校の新聞部では学校批判をしているところもあったはずです。学校解放新聞にも高校で新聞部に入って活動している人たちが何人も来ていました。

近いはずなのに遠い感じがします。 のんですけど、学校のなかで書いていたわけじゃないまが残っていたというのは、私からすると、年代は悪気が残っていたというのは、私からすると、年代は悪田 『子どもたちが語る登校拒否』には私も書いて

> ○、小さって思います。印刷はどうしてたんですか。 すからね。その後の、脱色された娯楽中心の新聞だっ すからね。その後の、脱色された娯楽中心の新聞だっ すからね。その後の、脱色された娯楽中心の新聞だっ すからね。その後の、脱色された娯楽中心の新聞だっ ない。

たです。ちょっとは味方にはなってくれる。くれました。でも、全面的に味方ということでもなかっ伊藤 先生が事務の人に刷ってくれるように手配して

親に言っていました。
新聞は出したものの学校は休んでたので、あるとき、年徒指導の先生が家庭訪問に来たんですね。白いエナ生徒指導の先生が家庭訪問に来たんですね。白いエナ生が指導の先生が家庭訪問に来たんですね。白いエナ

## 水を飲みたくない馬に

過ごされていたんでしょう。山下「学校に行かなくなったあとは、どういうふうに

山下 親御さんは、どういう感じだったんでしょう。

伊藤 親にも「学校が変だ」ということは言っていて、母は「それはわかるけど」って、聴いてはくれたんですね。でも、「水を飲みたくない馬に、無理に飲ませようとしても飲まないように、行きたくない人を無理に行かせようとしてもね」って言うときと、「行かなくてどうするの!」ってなるときとあって、行ってほしいという気持ちと、行かなくてもいいという気持ちしいという気持ちと、行かなくてもいいという気持ちのあいだで、ずっと揺れている感じでした。父は、「バカか、おまえは!」みたいな感じでした。

かったですか。 無理に学校につれていかれるようなことはな

伊藤 それはなかったですね。ただ、父がいるときは、休んでいると怒られるから、父が出かけたころに家かをして、家で隠れたり、「行ってきます」って行くふかで助かっていたところもありましたね。あと、近所れで助かっていたところもありましたね。あと、近所の良くしているおばさんがいて、そのおばさんの家に仲良くしているおばさんがいて、そのおばさんの家に仲良くしているおばさんがいて、そのおばさんの家に行って女性週刊誌を読んで、父が出かけたころに家に行って女性週刊誌を読んで、父が出かけたころに家

山田 私は定時制高校の教員をしていて、ヤンチャを してきた子への親近感があったんですね。だから、不 登校なんて聞いても「学校ぐらい行って暴れてやっ たらええやないか」って思ってました。学校に行けな くて神経症をわずらったりというのは、よくわからな かったんです。伊藤さんのお父さんにも、そういう感 かったんです。伊藤さんのお父さんにも、そういう感

b藤 そういう気持ちはあったかもしれません。でも、

「それがちがうんだよ」って思ってました(笑)。

てたりはしたんですか? 親御さんは、親の会だとか、どこか相談に行っ

伊藤 そういうことは、いっさいなかったですね。

**山下** 学校の先生が無理につれていくということはな

られて、行ったこともあります。 伊藤 無理やりではなかったですけど、車で迎えに来

山下 病院につれていかれたことは?

に」と思ってたんですけど、とにかく1回でもいいかで病院に行かないといけないの? どこも悪くないの童相談所か精神科に行け」となったんですね。「なんり話から、父も「これはおかしいんじゃないか」「児伊藤 さっきの「児童相談所に行ってください」とい

別におかしくない」と言ってくれて、それで済みました。 ら、ひどいことにならないんじゃないかと思って。でら、ひどいことにならないんじゃないかと思って。でも、3カ月待ちだというので、さつき台病院(千葉県も、3カ月待ちだというので、さつき台病院(千葉県も、3カ月待ちだというので、さつき台病院の渡辺位先も、3カ月待ちだというので、さつき台病院の渡辺位先

山下 渡辺位さんのことは、どこで知ったんですか?

や渡辺位さんの存在を知っていたんです。 伊藤 本屋さんで『ひと』を見つけて、奥地圭子さん

### 学校解放新聞に

聞』が創刊されて、それを朝日新聞の若者欄で知って伊藤 それと、中2の3月(83年)に『学校解放新

れていた。 
和ていた。 
数学者・遠山啓(1909―1979)を編集代表に、太郎次 
れていた。

人たちだったんでしょう。
山下 学校解放新聞を創刊したメンバーは、どういう

大学生などの若い人たちだったと記憶してます。郎さん(教育評論家)をはじめ、保護者の立場の人や郎さん(教派展人さん、伊藤悟さん(著述家)、斎藤次

栗田 西原理恵子さん(マンガ家)も関わってました

伊藤 そうでしたね。創刊号にも西原理恵子さんのイ伊藤 そうでしたね。創刊号にも西原理恵子さんのイ伊藤 そうでしたね。創刊号にも西原理恵子さんのイ

**山下** 青生舎と学校解放新聞は、どういう関係になる

伊藤 青生舎は、70年代の後半から保坂さんと仲間の人たちが運営していた、若者たちが集まるフリースペースです。保坂さんが10代のころに文庫本がボロボロになるまで読んでいた魯迅の「青年を殺戮するのは、生かす場所をつくろうと「青生舎」という名前にした生かす場所をつくろうと「青生舎」という名前にしたのだそうです。青生舎では、いろんなイベントやお祭りも企画されてました。原発問題にも取り組んでることがあったし、喜納昌吉さんのコンサートが準備されることもあった。

いた。保坂さんは中高生を取り巻く教育問題の、すごてくる中高生もたくさんいました。家出してくる子もん来てました。実際に保坂さんを訪ねて青生舎を訪ねる時、保坂さんは『月刊明星』とか『セブンティー当時、保坂さんは『月刊明星』とか『セブンティー

のだそうです。 さんの本を読んでいて、亡くなるときにも持っていたく真ん中にいたと思います。鹿川裕史くんも、保坂

**山田** そうですか。保坂さんの本を読んでいたりして、

んじゃないかなと思ったりします。 てというか耐えられなくなって死んじゃうこともある感度が高くていろんなことがわかってきた人が絶望し感度が高くていろんなことがわかってきた人が絶望し

気がします。鹿川くんは同世代ですしね。学校解放新山下 その絶望感は、私も他人事ではなかったような

\*2 1986年2月1日、当時、東京都中野区富士見中学校2年生\*2 1986年2月1日、当時、東京都中野区富士見中学校2年生\*2 1984年12月3日、当時中学校3年生だった尾山奈々さんが自殺。学校のあり方に抗議する文章が遺されており、保坂展人さんが自殺。学校のあり方に抗議する文章が遺されており、保坂展人さんが自殺。学校のあり方に抗議する文章が遺されており、保坂展人さんが自殺。学校のあり方に抗議する文章が遺されており、保坂展人さんが高級。

聞創刊のきっかけは、どういうことだったんでしょう。

伊藤 鹿川くんが自死する4年前、保坂さんが原告として争っていた内申書裁判が東京高裁で逆転敗訴になりました。その後に緊急に開かれた集会で、保坂さんが「学校解放センターをつくろう。裁判を機にして、が「学校解放センターをつくろう。裁判を機にして、が「学校解放センターをつくろう。裁判を機にして、が「学校解放センター」をつくり出すためのきっかけた若い人たちからも同意してくれる人が出てきて、この「学校解放センター」をつくり出すためのきっかけとして学校解放を対新聞が創刊されることになったと聞いています。

山下 最初は大人がつくったんですね

伊藤 集会には大学生、高校生も来ていて、仲間に加

てましたし、私も84年から参加するようになりました。わっていました。編集会議には中・高生や大学生も来

人を呼びかけたということですか。 もたちもいっしょにやろうと、編集に関わってくれるもたちもいっしょにやろうと、編集に関わってくれる

伊藤 子どもたちもいっしょにというより、同じよう 伊藤 子どもたちもいっしょにというより、同じようとだったと思います。子どもといっしょにという感じとだったと思います。子どもといっしょにというより、同じよう

栗田ケアという発想とはちがうわけですね。

伊藤 そうでない人が多かったことに助けられていましいたいという気持ちが大きい人もいたと思います。でいたいという気持ちが大きい人もいたと思います。で

**山下** 編集会議に参加したのはいつからだったんです

くっていたから、新聞に興味があったんですね。です。中2の春休みでした。自分も中学校で新聞をつです。中2の春休みでした。自分も中学校で新聞をつけた。

部数はどれぐらいだったんですか。 山下 学校解放新聞はどれぐらいの頻度で出していて

一郎さん(マンガ家・山本夜羽音)でした。 
らいではけて、1年後には1万部まで部数を伸ばした 
らいではけて、1年後には1万部まで部数を伸ばした 
たけど、最初の1年くらいは話題になっていました。 
たけど、最初の1年くらいは話題になっていました。 
たけど、最初の1年くらいは話題になっていました。

山下その後、いつまで発行してたんでしょう。

一さん(子どもの権利活動家、翻訳家)でした。 で続いていました。『KIDS』の編集長は、平野裕 で続いていました。『KIDS』の編集長は、平野裕 りろ覚えなのですが1986年ごろに『KID

## しっくりしなくなった

トしてましたね。 一本を含めが、フリースクールや居場所を訪ねてレポーのでであるが、フリースクールや居場所を訪ねてレポーのででである。 一次では『ここならGOO』(ジャパンマシー)である。

しっくりしなくなってきている感じがしていました。自分のやっていることと自分が思っていることとが、のビデオをつくっているとき、

山下しっくりしないというのは?

伊藤 私自身は、フリースクールとかフリースペース

行こうとは思わなかったんだけど、そういう場所があるのは悪くないと思っていました。だけど、学校に行ってない子だけが集まるというのは、ちょっとイヤだったんですね。学校に行っている人も行っていない人も共通の問題について語り合うことができると思っていたし、学校解放新聞は、そういう場だったところがよいところだったと思うんです。学校に行ってない人もいところだったと思うんです。学校に行ってない人もいところだったと思うんです。学校に行ってない人もな人がいるのがよくて、そこで語り合うのが大事なことだと、私は思っていたんです。

たとえば、大阪でも、全逓(全逓信労働組合)の事務所を若い人に開放していて、私も行ったことがありました。そこにも、学校に行ってない人も行っているました。そこにも、学校に行ってない人も行っている主売さんが、「管理教育から学校を解放する自立センター」を立ち上げたり、生協のセンターの中にたまりター」を立ち上げたり、生協のセンターの中にたまりター」を立ち上げたり、生協のセンターの中にたまりまで、中高生から老人まで、さまざまな人があったり、先生も生いっしょに集まっているところがあったり、先生も生いっしょに集まっているところがあったり、先生も生いっしょに集まっているところがあったり、先生も生いっしょに集まっているところがあったり、先生も生いっしょに集まっているところがあったり、先生も生いっしょに集まっているところがあったり、先生も生いっしょに集まっているところがあったり、先生も生いっしょうに表する。

でも、だんだんそういう場が消えていきました。垣根がなかったんですよね。そういう感じがよかった、徒も、学校に行っている人も行っていない人もいて、

くりだすという流れがあるのかもしれないですね。を分かち合うというよりも、同じ立場の人が運動をつを分かち合うというよりも、同じ立場の人が話いう言葉も出てきますよね。ほかの運動でも、同じよ栗田 もうちょっと後の時代になると、「当事者」と栗田

それとも当時からクリアに、そういう問題意識を持っそれはいまの問題意識から思うことなんでしょうか、山下すごくよくわかるんですけど、あえて聞けば、

ていたんでしょうか。

は思わなかったんです。 ら、学校に行かない子どもが集まる居場所に通おうと 伊藤 当時から、そういう意識は持ってました。だか

いうことですかね。 場所紹介はしていても、違和感やズレは感じていたと山下 でも、『ここならGOO』をつくっていた。居

伊藤 自分が通わないとしても居場所を否定はしてい伊藤 自分が通わないとしても居場所を否定はしている。表立った、安心して過ごす子どもの人たちに出会って、ましそうでいいなあと思っていました。反面、大人は、子どものためのスタッフとして存在している、そういうところに、もやもやしたものを感じました。また、親が申し込まないと入れないところも残念でした。子どもが自分でふらっと行るといいのになと。そういう場にしていないフリースクールやフリースペースいう場にしていないフリースクールやフリースペース

ぼなかったとことです。

「選官を問題にしているのではなくて、子どもが自分の運営を問題にしていかないとならないですよね。いまに会を問題にしていかないとならないですよね。いまになって救いだったなと思うのは、当時はフリースペーなって救いだったなと思うのは、当時はフリースペースの部分が大きくて、学びを強調しているのではなくて、子どもが自分の運営を問題にしているのではなくて、子どもが自分の運営を問題にしているのではなくて、子どもが自分

# 学校に行かないで生きてみよう

できないという話にはならなかったですか。 
山下 話がもどりますが、学校を卒業するとき、卒業

伊藤 卒業はできました。高校も受験したんですけど、 大文・ 大文・ 大大は、自己採点でもクリアしてたはずだったんです。 こなら絶対受かると言ってくれた学校を受けたんです。 テストは、自己採点でもクリアしてたはずだったんです。 まちちゃったんです。後からわかったのは、欠 が、落ちちゃったんです。後からわかったのは、欠 が、落ちちゃったんです。 を受けたんです。

かと問題になって。

か。 保坂さんは、そこで裁判までやったわけじゃないです 保坂さんは、そこで裁判までやったわけじゃないですか。

伊藤 そんなことは考えもしなかったですね。あ、いけ藤 そんなことは考えもしなかったかもと思うなあ。自己採点もそれほど高い点ではなかったから、受かっに行きたいともそんなに思ってなかったから、もういいかなって。最初、高校に行こうと思ったのは、学校いかなって。最初、高校に行こうと思ったのは、学校いかなって文句を言ったり、学校を変える活動とかをしたいと思ったからで、とにかく高校だけは行かないと、とは思ってなかったんです。

山下 進学について、葛藤はなかったんでしょうか。

にも行かないでどうするんだ? 行かないなら働け」伊藤 高校に行きたくないと言ったら、父親に「高校

高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、 高生のページの編集だとか、原発問題の勉強会だとか、

もうひとつ、青生舎にはいろんな人がいて、「なんで大学に行きたいの?」ってきかれたんですよね。それで、自分でも「学校に行かなくていいと思っているのに、大学に行きたいっていうのはなんでだろう?のに、大学に行きたいっていうのはなんでだろう?がされてがら大学で学ぶっていうと許されるのは動きたくないから大学で学ぶっていうと許されるのはなんでだろう」と考えるよう。実験してみよう」と学校に行かないで生きてみよう。実験してみよう」と

多くの人が「学校に行かないと生きていけない」「社会を変えたいんだったら、もっと体系的に勉強して、会を変えたいんだったら、もっと体系的に勉強して、たってきたりしたんですけど、「うるさいなあ。自分言ってきたりしたんですけど、「うるさいなあ。自分だって、どうなるかわからないとせに、おかしいだろ」とか思って、「え、なんで? なんでメチャクチャにとか思って、「え、なんで? なんでメチャクチャになっちゃうの?」「なんで体系的に勉強して、実験したくなっている。」と聞き返しているうちに、実験したくなってしまったのだと思います。

と思った。よって行かないと。行きたくないし、大学で学びたいこともないんだなあかったんです。ああ、私は勉強したくないし、学校にかったんです。ああ、私は勉強しても、何も楽しくな

デモに行ったりだとかしているうちに、そっち

のほう

き方をしようというのは、同じではない。の決意は不登校とイコールではないように思います。の決意は不登校とイコールではないように思います。

でも、地続きだと思います。 ね。どちらかというと、フーテンとかプーですよね。 行っていないわけですから、不登校ではないですもの伊藤 すでに中学を卒業していて、どこの学校にも

がいりますよね。いと思っている生き方とちがう道を行くのには、決意いと思っている生き方とちがう道を行くのには、決意しないと、そうは思えないと思います。みんなが正し山下。もちろん、そうでしょうね。でも、相当に意識

**伊藤** うん、でも、困ったら、生活保護があると思っ

難しかったんじゃないかと思いますが。いたからでしょうか。ひとりで決意するというのは、新聞の仲間だとか、問題意識に共感してくれる大人が山下 そこで「実験しよう」と思えたのは、学校解放

伊藤 そうですね。たぶん、いろんな人に会ったから

だと思います。

的に生きている人はいたんですか? 山下 そのなかに、学校に行かないで、そのまま実験

パンと、 坂さんにおしえてもらって、青生舎に来ている人たち 穫れた野菜の料理と、 が、公団住宅のような団地に住んでいて、自分の畑で たことがあったんです。東京郊外だったと思うのです そうしたら「遊びにいらっしゃい」と言われて、訪ね とまわし読みしていて、当時は本に著者の住所が書い 書房1980)や『現代をいかに生きるか』(農文協 も学校に行ってなかった。江口さんはアナキズムの本 伊藤 ほとんどいなかったけど、 てあったから、友人が思い切って連絡してみたんです。 1981)という本を書いていたんです。その本を保 の翻訳したりとかしていて、 (定時制高校中退) でしょう。それと、江口幹さ騰 ほとんどいなかったけど、ほら、保坂さんは 自分もそういう大人になりたいと思いました ワインとで、ごちそうしてくれて、 ドイッパンのようなハード系の 『自由を生きる』(筑摩 すごく楽 口幹さん

ちがいますよね。ひとりでも、本のなかでも、そういう人がいることで、ひとりでも、本のなかでも、そういう人がいることで、

ですよね。
それで、結局のところ、大学は受験しなかったわけ

だったんです。「なんで働かないといけないんだ」って。たくなかったんだけど、「とにかく働かなきゃいけない」とか、それもすごくイヤに職を持たないといけない」とか、それもすごくイヤに職を持たないといけない。とか、それで、働きをなさい」とか、「なんで働かないといけないんだ」って。

りハードル高いですよね。 栗田 「働きたくない」は、「学校に行きたくない」よ

だって、学校って、人の働く先を振り分ける機関でしょ働くのがイヤだということじゃないかって思うんです。

のは許されない。父も「絶対、おまえに金なんかやらだけど、学校に行かないのは許されても、働かないだけど、学校に行かないのは許されても、働かないがだが、学校に行かないのは許されても、働かないう。誰しも、そんなに可能性が無限に広がっているわう。誰しも、そんなに可能性が無限に広がっているわう。誰しも、そんなに可能性が無限に広がっているわう。誰しも、そんなに可能性が無限に広がっているわ

で、18歳になってからアルバイトを始めたりしました。それから働いているんだから猶予をくれ」と頼み込んまではブラブラさせてくれ。みんなは高校に行って、まではブラブラさせてくれ。みんなは高校に行って、のは許されない。父も「絶対、おまえに金なんかやらのは許されない。父も「絶対、おまえに金なんかやら

山下アルバイトは、どんなことをされたんでしょう。

伊藤 原宿にあるかわいい子ども服ブランドのお店で伊藤 原宿にあるかわいい子ども服ブランドのお店で、4歳ぐらいまで、昔で言うとこ就職するのもイヤで、4歳ぐらいまで、昔で言うとこが職するのもイヤで、4歳ぐらいまで、世で言うところのプータローでした。

# 子どもが産まれて編集者に

の出会いは、どういう経緯だったんでしょう。い・つよい』(1993年創刊/ジャパンマシニスト社とい・つよい』(1993年創刊/ジャパンマシニスト社)

伊藤 学校解放新聞の編集委員に、現在はジャパンマ 生者の松田博美さんが校則の本をつくりたいというこ 生者の松田博美さんが校則の本をつくりたいというこ とで、青生舎によく来られるようになったことで、知 とかりやすい原発をやめるための本をつくりたいというこ という本を出してもらったり、たいへんお世話になっ という本を出してもらったり、たいへんお世話になっ ていたんですね。

留守番電話を使って子どもの人たちからメッセージを「トーキング・キッズ」という活動をしていたんです。

日なら、 さんが『ちいさい・おおおきい・よわい・つよい』(以 れてきて、活動を辞めることになったんです。辞めた でも、「トーキング・キッズ」の活動は、子どもの声 て率直に話ができる世の中がいいなと思ってたんです で、社会の問題やおかしいなと思っていることについ ていました。同じように大人の人たちともつながりた ようになるよ」と言ってもらえたんですけど、 発送作業のバイトをさせてもらうことになったんです 下、『ち・お』)を創刊するというので、アンケートの でもしたいなと思うようになって。そうしたら、 らヒマになって、ほかにすることもないから、バイト が中心になりますから、自分とのあいだで齟齬が生ま いとも思っていました。大人も子どもも同じテーブル くて、子どもの人たちとつながりたいと思って活動し に聴いてほしいということに、実はそれほど興味がな ろまで関わっていたんですね。私は子どもの声を大人 ような番組をつくって発信するという活動で、93年ご 募集して、 そのうち「編集の仕事だったら、定収入が得られる 朝10時くらいに来られるかもしれません」っ 寄せてもらった声をつないでラジオ番組の

たら、私は働いてなかったですね、きっと。した……。それが、24歳のときに妊娠して、子どもを正とにしたので、定収入が必要になったんです。して編集者として働かせてもらうことになったんです。よ願いをいるな」と言われたりしまて返事をして、「仕事をなめるな」と言われたりしま

ていたんでしょう。登校はどの子にも起こり得る」という文部省(当時)の報告が出たわけですが、そのあたりは、どう思われの報告が出たわけですが、そのあたりは、どう思われていたんでしょう。

及とうに問題に気がついたわけではないって。理解されたとか、学校に行かないことが理解されたと解釈進んだとか、学校に行かないことが理解されたと解釈がもの問題ではなく学校の問題だというみんなの怒りどもの問題ではなく学校の問題だというみんなの怒りを吸収しようとしているんじゃないか。けっして、ほどの子にも起こり得ると態度を軟化することで、子どの子にも起こり得ると態度を軟化することで、子との中の理解がはないって。世の中の理解がは、

じがあって、すごい孤立感を味わいました。舎にいる友人から「なんて、おまえはひねくれているをが」「そうやって、何でもイヤばっかり言ってたらのだ」「そうやって、何でもイヤばっかり言ってたられたなんて喜んでちゃだめだと。そう言ったら、青生れたなんて喜んでちゃだめだと。そう言ったら、青生

ける。 は、それに合わせるのではなく、おかしいと思い続 でも、それに合わせるのではなく、おかしいと思い続 しいと思ったことは、まわりがどうであっ はるほど。そのあたりは、一貫していますね。

# 「ふつうの大人」になろうと

てきたことはあったんでしょうか。 山下 『ち・お』の編集に関わるようになって、見え

ても言わなくなりました。ちんぷんかんぷんなこと病気の捉え方も変わりました。健康第一とか、まちがっけ藤 予防接種のことは、勉強になりました。健康や

ことを知り、どんなにしてもわからないものがあると もどうしても途中で読めなくなってしまうものがある みたいな感じですかね。でも、その後、何十回読んで 稿でも、100回読めばわかると思ってました。職人 になってきたんです。だから、そのときは、どんな原 そうしたら、だんだん何が書いてあるかがわかるよう です。でも、校正しないといけないから、何十回も読む。 はぜんぜんわからない。読んでいるうちに寝ちゃうん で、科学者の社会的責任とはどういうことかを学びま きらかにして、集団予防接種を止める働きをされた方 る立場にいた人ですが、大規模疫学調査によってイン 立公衆衛生院疫学部感染症室長)は、ワクチンをつく いとわからないことをわかるようになってどうするの わかるようになる必要があるのか、そんなにまでしな いうことも再確認しました。まあ、 した。しかし、その母里さんの原稿が難しくて、最初 フルエンザワクチンの集団接種に効果がないことをあ した。連載担当をさせてもらった母里啓子さん(元国 時間が経つとわかるようになるという経験もしま という話もあるし。 いまだったら、なんでそんな そんなにまでして

> てましたしね。無理しないほうがい て、逆に電話口で小学生の男の子にまちがわれたりし ます。でも、がんばらなければよかったなって(笑)。 識のある大人になろうと思って、がんばってたと思い していたときは、「ふつうの大人」というか、一般常 きる仕事でした。だから、『ち・お』の編集の仕事を ない。そんな感じで、『ち・お』だけが、なんとかで ろくないから、やりたくない」ってなっちゃうんです。 思います。 で話そうと思って低い声でしゃべる練習とかしたりし がんばっても、 おもしろくないとか何かちがうと思うと、身体が動か かかわる本をつくるとなったときに、「これはおもし したから。編集の仕事でも、たとえば子どもの支援に く働かないといけない、ほかでは働けないと思ってま に読まないといけないのって思うけど(笑)、とにか ぜんぜん追いつかない。落ち着いた声 いなって、いまは

悪くないなと思ったりしましたね。た人たちも、すてきで変な大人の人だったし、仕事もものがあるし、すごく勉強になりました。そこで出会っ予防接種の問題は、原発や教育の問題とも共通する

の生活をしないといけないと思っていたんです。たら、ふつうの親みたいにしないといけない、ふつう伊藤 あるような、ないような…… 子育てをしてい

栗田親になったときに、「ふつう」を意識した。

伊藤 気をつけなきゃと思ったんです。自分はかなり世間とズレた感覚を持っているけど、子どもは自分とで、一般常識を兼ね備えた人たちの生活も知ったうえで、自分はどこが居心地がよいかと思えるほうがいいで、自分はどこが居心地がよいかと思えるほうがいいと思ったんですね。

山下 ひとりで、ちいさい子がいながら仕事もして

どうやって生活をまわしてたんですか?

らったり、助けてもらいながらやってました。て言われて、編集部の人の家でごはん食べさせてもそんな感じでした。「どういう生活をしてるんだ」っはんはバナナだけとか、毎日ホワイトシチューとか、はの様。たいへんでした。最初はふたり暮らしで、朝ご

会社はそのころ世田谷区の烏山にあって、職住接近会社はそのころ世田谷区の烏山にあって、職住接近れでも間に合わないときは会社につれていって、そのたに行って、別の未認可の保育園につれていって、そうに行って、別の未認可の保育園につれていって、そうに行って、別の未認可の保育園につれていって、そのれでも間に合わないときは会社につれていって、職住接近会社はそのころ世田谷区の烏山にあって、職住接近

山下 実家を頼ることは?

には頼れなかったんですね。そのときは、そうやって伊藤 そのころは会社のそばに住んでいたので、頻繁

らって、恵まれました。実家の近くに戻って、実母や妹に思いっきり助けても、います。子どもが3歳ちょっと前になったころからは、がます。子どもが3歳ちょっと前になったころからは、働かないといけないと思っていましたけど、いま思え

## いけふくろうの会『安心ひきこもりライフ』

を持ったのは、どういうことからだったんでしょう?ろうの会」を開いたりしてますが、ひきこもりに関心イフ』(太田出版2011)を編集したり、「いけふく山下 伊藤さんは、勝山実さんの『安心ひきこもりラ

です。そういう観点からの本をつくりたいと思ってです。そういう観点からの本をつくりたいき社会の問題は、働くということの問題だったり、ひとりで稼いもっていることは、同じ問題だと思ってきました。結れです。私は、学校に行かなくなることと、ひきこけ藤 ひきこもりに関する本は、ずっとつくりたかっ

そこに勝山さんがいた。
たんです。ひきこもりから脱することを目指さない本

山下 勝山さんのことは、不登校新聞の連載(265で、おもしろいと思ったんでしたよね。

伊藤 そうです。『ひきこもりカレンダー』(文春ネスコ2001)のときは、キレッキレで、最後を「勝ちに行こうぜ」で結んだ勝山さんが、中年になって円熟味を帯びて、こんなおもしろい人なんだと思って衝撃

も含めて、お話しいただけますか。 ひきこもり関係の本の金字塔だと思います。いけふくひきこもり関係の本の金字塔だと思います。いけふくは、「安心ひきこもりライフ」はよかったですよね。

もりのことについて、それを取り巻く社会状況につい伊藤 2010年から始めました。不登校とかひきこ

思ったんです。それで、島根のフリーダスという居場 次会でいいんじゃないかと。そのほうが楽しいなと せる感じがあったんですよね。だったら、 次会になったときが本番というか、ようやく本音で話 最初から2次会というのが、 2009年に登校拒否を考える夏の全国合宿のお手 いをしたんですけど、打ち合わせのときより ざっくばらんに話せる場がほしかったんです。 回くらい、池袋あたりの居酒屋で集まってます。 コンセプトなんですね。 最初から2

é,

2

あって、 から、ヒマになりたいと思ったんですね。ずっと雑誌 友だちと会う時間もなくて、ほとんど旅行にもデモに ました。会社にいたときは、 や本をつくって、 も行かなくて、 2008年に自分が会社を辞めたということもあ 自分の趣味を語り合う、 疲れた。でも、 ただ仕事をして生きていたんです。だ 仕事のことしか考えてない15年間が 会社を辞めてヒマができたの 好きなことについて語り 家と会社の往復だけで ŋ

合う会をやりたいと思ったんです。

月

屮 それが不登校・ひきこもりだった(笑)。

伊藤 方はちがうじゃないかってことを語り合いたい。 り合いたかったんです。働いて稼いで一人前って考え きこもりだけじゃなくて、 ちょっとおかしいですかね(笑)。不登校・ひ 能力主義の問題について語

すか 出 集まってくるのは、 ひきこもっている人たちで

所のOBの秋田匠さんと、ふたりで世話人をすること

参加されてますね。

にして、いまも続けてます。

毎回、20人くらいの人が

働いてる人も働いていない人も精神障害がある人もな 校とはあまり関係ない人とか、いろんな人が来てます。 あります。 い人も生活保護を受給してる人もしたほうがいい人も している人とか研究してる人とか、 いる。年齢層も20代から60代まで、 ひきこもっ てい る人と、親御さん、 わりとばらつきが ひきこもりや不登 兄 支援

屮 集まるのがい あまり いわけですね。 かっちりした場ではなくて、 雑多な人が

ちゃ 語り合うと言いながら、しゃべんなきゃいけないとい うことがない場所で、 たりもします。 いう人が2~3年してから、いっぱいしゃべって いるのが楽しいですね。ただ黙っている人もいて、 カオスが好きだから。いろんな人とごちゃご 来なくなっちゃう人もたくさんいます。 ムダがたくさんある場所です。

屮 子どもが参加することは

伊藤 思ってます。 を借りて、誰でも来られる場所を無料でやりたいなと えているのは、 居酒屋でやってるので(笑)。だから、 V けふくろうの会とは別に空き家とか いま考

屮 いるわけですね。 子どもも来られるようにという志向性は持 9 7

> 伊 藤 られるような場所がほしいです。 そうですね。大人でも子どもでもいっ しょに

### 教育機会確保法

伊 藤 りませんか? ところで、 そろそろ教育機会確保法の話\*4

屮 そうですね。 ぜひ。

と反対や慎重論の声もあり、大幅に変更された案が20認められると期待された一方、かえって不登校の子が追 を目指すと謳ったクラスジャパンプロジェクトのよう ばよい たね。 本中の友だちと学びあい、つながる」ことで学校復帰 どもは特例校や夜間中学やフリースクールなどに行け 国会に上程され、 教育機会確保法:2015年5月、超党派の議員連盟により提 障害のある子どもは特別支援学校、 この法律で、別学体制が強化されてしまいまし フリースクールや夜間中学校など多様な場が教育機会として と。「インターネット上のクラスを通じて、 2016年12月に可決・成立した。 かえって不登校の子が追いつめられる 不登校の子

な教育機構を登場させることにもなりました。 教育機会確保法が成立すれば、学校以外の学び場が

育の価値とはちがう場所で生きていこうとしている人 とになる。せっかく学校から逃れて、学校とか国の教 るわけですよね。社会が国の教育に覆われてしまうこ 普通教育を受ける機会を学校以外で確保するというこ 私は、国に認められるのはよくないと思ってるんです。 国に認められるようになると言われてきたわけですが、 はすごく問題だと思うんです。 たちを、 とは、国家の教育が学校以外の場所へ広がることにな 国の教育が追っかけてくることになる。 それ

教育法に縛られない、別系統の教育の場をつくろうと Ŕ 問題ですが。 いう面があったわけですね。 この法案のもっとも野心的な方向としては、学校 しかし、 一口に「国に認めてもらう」と言って それに賛成かどうかは別

られちゃったら、 学校教育法に縛られなくても、 野心も何もあったものじゃないので 教育基本法に縛

> それぞれが社会で自立できるようになればい 階層ごとにそれなりに国の教育を身につけてもらって はないですか。オルタナティブとは別の意味で公教育 ことだと思います。 の多様化が進んできたわけですよね。学校の外でも、 いという

か成長するということになってしまった。 いつのまにか、学校に行かなくても別の場所で学ぶと 「学校に行かないでも生きていける」ということが

理です。 屮 セリングばかりが幅をきかせてしまう。 題が個人化してしまって、そうなると、医療やカウン ないでしょうか。そういうものがないと、ますます問 事ですが、どこに足場をつくっていけるかが大事じゃ 私にもあります。それを嘆いたり、批判することも大 そこにいたるまでの流れがありますよね。 がいないと難しい。自分の時代には、そういう場があっ いなと思っても、問題意識を持っても、 この法律は、 そういうことを受けとめてくれる仲間や大人 こういふうになってきたことへの失望感は 突然あらわれたわけではなくて ひとりでは無 いくらおかし 学校外の居

たからよかった、ではすまない。いまの子ども・若い だせると思いますか 人にとって、そういう足場にできるものをどこに見い

ないといけないと思ってます。 なくなってしまったから、さらに逃げる場所をつくら ルは少なからず逃げ場になってきていたのに、そうで いままで、学校に行かない子にとって、フリースクー でしょうか。 たのかということへの批判が足りていないのではない の側からこの法律を求める運動が始まってしまっ 判することも大事だけどと言いなが 私は逃げることが大事だと思っていて、 5 なぜ

と思い込まされていることから逃げる。 「活躍」して働いて生きていかないといけない社会だ ともに逃げるしかないなって思っています。 言ってましたが 社会臨床学会の中島浩籌さんが「ともに逃げる」と (本プロジェクト#14参照)。 大人も、 私も、

務教育の場になる。私は、それがいちばん危険だと思っ 山田 この法律の最初の案が通ったら、 家庭さえも義

> とについては、賛成した人も反対した人も、展望を持 ろ問題はあるけれども、 う思われますか。 つのは難しいと私は思ってるんです。 ていたんですね。ただ、 今後、どうすべきかというこ いまの法律になって、 伊藤さんは、ど いろい

多様化、これがなぜ問題なのかを一人でも多くの だと思います。教育機会確保法に代表される公教育の いっしょに考えていくことだと思います。 伊藤 まず、批判的検討を徹底して行なうことが大事 人と

思っています。「学校に来い」って言われても行かな 誌に、関西学院大学の桜井智恵子さんが、 にするにはどうしたらいいかを考えることが必要だと みなさんといっしょに読んで議論したいと思います。 「多様化」について考察した論稿が掲載されます。ぜひ 校政策」論をてがかりに、教育機会確保法と公教育の 行なった岡村達雄さんの「養護学校義務化」と「不登 研究者で1980年代の教育の多様化に関する分析を もうひとつ、私は、学校をどの子もいられる居場所 8月に刊行される『教育と文化』(91号)という雑 公教育論の

#**41 伊藤書佳さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

いという場所になればいいはまったくない。いつ来て ちゃごちゃいられる場所を、 ことが大事だと思います。 な人もいられる場所になったほうがよくて、だからと くていいんだ」って言っていきたいと。学校は、どん いかと思っています。 つくっていってくれたら、 のいる場所のひとつになったほうが いって、みんなが行かなければいけないということで いけど、「来なくていい」と言われたら、 いつ来てもい 逃げ場が復活するんじゃな わけです。学校は、 そして、 いろんな人があちこちで 0 61 61 いろんな人がご 行かなくてもい 「なんで来な そう考える 子ども

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #41 伊藤書佳さん

インタビュー日時:2018年2月20日

記事公開日:2018年6月25日 場 所:大阪ボランティア協会

聞き手:山下耕平、山田潤、栗田隆子

記事編集・写真撮影:山下耕平

- 1043 - - - 1042 -

じで、みんなが張りつめていて、 校は、けっこう楽しい思いで通っていたんですけど を受けていても、 やがらせをしたりしていて、 まならない。みんなが騒いだり、 ような状態でした。勉強の進みが速いのに、 がぜんぜんない。 新しい学校は、 勉強、勉強の雰囲気で、 41 つも先生はイライラ怒っている感 物がなくなったり、 いたずらしたり、 クラスは学級崩壊の 楽しい雰囲気 授業はま

とうございます。 と思います。来留未ちゃんが不登校になったの 「不登校の子どもの権利宣言」(巻末に掲載)に関 いろんなことを考えたり、活動されてきま それぞれの不登校体験からお聞きした 忙しいなかを来ていただいて、 おふたりは不登校を経験 した当事者 あり

か。

転校したときから、

そういう日常だったんです

していました

何年生ごろからだったでしょう? 私は、小学校4年生の2学期から不登校になり 転校先が学級崩壊 転校がきっかけです。 それまで通っていた学

春に転校

奥地 たんで 飯を食べられなかったり、 目が覚めてしまう。 遅くまで起きていて、 たりしてました。夜は宿題をやらなきゃという思いで して、1学期は一生懸命通っていたんですけど、 ばならないところなんだな、 もう、やっとの状態で、安らかに眠れて 1 日 目 から、ここはすごく緊張 そういうことをくり返す状態でし それなのに、 不眠症のような状態になっ と思いました。 して行 4時ぐらいには

彦田

もう体はぼろぼろで、

気持ちも苦しかったです

#### #42 本田真陸さん彦田来留未さん



(ほんだ・まりく)

1994年生まれ。中学校1年生から不登校。東京シューレに中学校2年生から 18 歳まで在籍。アラスカ旅行の実行委員長として、企画、準備をした。「不登 校の子どもの権利宣言」の作成に参加。現在は、アフリカのために働くことを 考え、準備中。(写真左)

(ひこた・くるみ)

1989年生まれ。小学校4年生から不登校。東京シューレに小学校5年生から 21 歳まで在籍。「不登校の子どもの権利宣言」の作成に参加。現在は、以前か ら好きだったイラストに力を注ぎ、絵本をつくっている。(写真右)

インタビュー日時:2018年4月25日

聞き手:奥地圭子、木村砂織 場 所:東京シューレ葛飾中学校

写真撮影:木村砂織

奥地 せるほど、 宿題は多かったんですか。

多かったです。 よけいにできないという悪循環で。 問題が解けないし、あせればあ

奥地 誰かに相談はしていましたか。

彦田 なかったように思います。 んとうにイヤだったことは自分のなかに溜め込むしか いんですけど、たぶん、ぜんぶは話せていなくて、ほ くんに、こういうことをされた」とか話していたらし あとから母に聞いたところでは、家でも「○○

はどうだったんでしょう。 奥地 90年代後半ぐらいのことですよね。 学校の先生

彦田 校に行って、担任の先生と話したらしい 私が学校に行けなくなった最初の 担任の先生も自分のことでいっぱいいっぱいで、 私が学校を休んでしまったのは、 自に、 「来留未さん んですね。だ 母が学

> 届けてくれたりしてくれたんですけど、 だったと思います。日々、電話してくれたり、 校がめちゃくちゃで、先生も助けようにも難しい状態 ぼろのような状態でした。 のせいではない」と言っていたそうです。それほど学 もう私はぼろ 手紙を

#### 生きてい る価値はな 61

奥地 親はわかってくれましたか

ちを察してくれました。その後、学校へ行ったり行か 彦田 行きたい」と毎日言ってたんです。 ているような状態を見て、 なきゃならないと思っていたので、 なかったりをくり返すんですけど、私は学校へ行か 母は、私が行けなくなって、布団のなかで泣 何かあったんだろうと気持 「学校に行きたい

奥地 い」なんですね 行かねばならないと思うところからの 「行きた

行かないんだ」とは言わないんだけれども、 うとしてくれていました。父は怒っていて、「なんで て、 **彦田** そうすると、母は、その応援をしなくちゃと思っ 私を一生懸命守りながら、学校へ行く応援をしよ 父のいらだちを感じていました。 私のほう

奥地 いましたか。 その当時は、 行けない自分のことをどう感じて

彦田 だ」と思っていました。そのときの気持ちは、 分は大人にもなれないし、 値がないと思って、それを母に言っていました。「自 も思い出しますね。 にもみんなにも迷惑をかけて、 自分はダメだ、こんな自分はもう生きている価 学校に行かないなんて、 ほんとうにダメな自分 いまで 親

奥地 その後、 家にいた期間はどれぐらいでしたか。

京シュ 彦田 休み始めてから、ちょうど1年経ったころ、 ーレに行きました。 ただ、その間には、私が

> 思います。 す。それを私には言わずに、守っていてくれていたん 先生も、校長や教頭にいい顔したかったんだろうなと と、やさしいふうでありながら、いま思えば、担任の も、担任の先生の対応が、それまでよりも厳しくて 学校だったので、学校や教育委員会に連絡して、 ですね。でも、 ら、すごくイヤなことをいっぱい言われていたそうで たんですね。「来留未さんのためを思っているんだよ」 「とにかく学校にもどって」という働きかけが強かっ いながらも、 の学校にもどれるようにしてくれていたんです。 の学校だったら通えると思う」と言って、隣の地区 あとから聞いた話では、母は校長や教頭か 完全に行けなくなりまし 私は、 しんどい学校に行かなきゃと思 で

すか。 奥地 東京シュー レには、 どうやってつながったんで

した。 彦田 母が、 テレビで見た記憶があったということで

たんです。

### 肌の色のちがいで

ぬ中1のときからですよね。 奥地 真陸くんは、どんな不登校体験でしたか。たし

わりと納得していたように思います。 学校のころは、まわりの人も慣れてきて、自分はこう のころからずっとあったんですね。ただ、 うという理由でからかわれることが、幼稚園や小学校 というのも、自分がハーフで、肌の色や髪の毛がちが そういう場所は、あまり好きではなかったんです 本田 とがあっても、 いうヤツなんだとわかってくれて、半年もすると、だ んですけど、それよりずっと前、幼稚園のころから いいかなぐらいのレベルで、ガマンできたというか たいクラスにもなじめるし、多少、からかわれるこ 13 中学生のころに学校に行かなくなっ 自分のなかでは、まあ、それくらいな 幼稚園や小 ね た

奥地どんな小学校でしたか。

本田 自分の体感では、わりとふつうの小学校でした本田 自分の体感では、わりとふつうの小学校でした。開かれた学校づくりとが校長になった小学校でした。開かれた学校づくりとけど、自分が4~5年生のとき、日本で初めて民間人けど、自分の体感では、わりとふつうの小学校でした

ぬ。どうやってかわしていたんですか。 奥地 でも、からかわれることは続いていたんですよ

本田 クラス替えのたびに、からかわれてました。か本田 クラス替えのたびに、からかわれていたというのが、たぶん大きくて、幼稚園のころからですので、自分はそう言われるのが当然だと。いちいち反応しても盛り上がるだけだし、もし泣きでもしいち反応しても盛り上がるだけだし、もし泣きでもした。か本田 クラス替えのたびに、からかわれてました。か

学での不登校は、どうやって始まったんですか。奥地「逆に、いろいろ笑われちゃうというか……。中

終的には、ぜんぜん知らない2~3年生にまで広まっ たちに広がり、 ボブという名の黒人の少年のイラストが出てきたばっ なったんです。それと、同じころに、英語の教科書に よく知らない2~3年生からも、 までは、同級生からだけだったのが、今度は、あまり 部に入ったんです。部活には上下関係があって、それ 態で、ちょっとイヤだなあ、というのが最初です。 が誰もいなくて、 るからかいが始まったのと、あと、すごく運の悪いこ らない人たちがいっぱい増えて、そこで、自分に対す てしまって、 は同じ部活の1年生から始まって、それがクラスの人 かりに、自分のあだ名がボブになってしまって、最初 自分はバスケットボールが好きだったので、バスケ クラスがちがったから、 公立中学校に入学して、自分の小学校時代を知 小学校6年生のときに同じクラスだった子たち 廊下ですれちがうたびに言われるように さらにバスケ部の上級生に広まり、最 同じ小学校から来た人はいるけれど そんなに仲良くはない からかわれるように 状

奥地 それはイヤですねえ

と言ったら、「中学生にもなって、そんなことを言う と、あまり気合を入れずに、学校でこんなことがある ど、自分の場合は幼稚園のころからだったので、すっ たです。 と思って、 自分は、ボブと言われることがイヤなのであって、 と思ったんですけど、その先生は、続けて「バスケッ と言ってくれたんです。そのときは「ああ、よかった」 わりに「もう、みんなには言ったから大丈夫だから」 言ってくれたんです。それで、その先生は、部活の終 なんて」と、親が怒ってくれて、学校の顧問の先生に りと勇気をもって言うようなところだと思うんですけ 親には言いました。おそらく、ほかの子だったら、わ した。とはいえ、その一件から部活内でのからかいは 人であることをどうこう言っているわけではないのに トの選手って、黒人の人が多いよね」と言ったんです。 もうどうにもイヤで、でも、先生には言わなかっ 先生にはちょっと距離を感じていて、ただ、 それから、その先生に不信感を持ち始めま

# バスケは好きだけど部活は…

本田 でも、そのあと、その顧問の先生から、いやがらせというか、体罰が始まったんです。みんなとふざらせというか、体罰が始まったんです。みんなとふざらせというか、体罰が始まったんです。みんなとふざらせというか、体罰が始まったんです。みんなとふざらせというか、体罰が始まったんです。それで夏休みに入って、いた崩れてしまったんです。それで夏休みに入って、いた崩れてしまったんです。それで夏休みに入って、いた崩れてしまったんです。それで夏休みに入って、いた崩れてしまったんです。それで夏休みに入って、いた崩れてしまったんです。それで夏休みに入って、いた崩れてしまったんです。それで夏休みに入って、いた崩れてしまったんです。

スケットボールが好きだから、やりたい。でも、夏休な扱いを受ける。それもまたシャクだし、そもそもバも、途中で変えたら「あいつ逃げて来たんだ」みたい部活は全員強制で、部活を変えてもいいとは言って

まずでよしざりで、ままいっき者できて、見まなりのとます」と出たものの、そこらへんで時間をつぶしてきます」と出たものの、そこらへんで時間をつぶしのせいにしてしまおうと思って、「○○くんが帰れとうしたの?」ときかれて、自分に強くあたっていた子うしたの?」と出たものの、そこらへんで時間をつぶしみの終わりごろ、朝練に行こうと思って、家を「行っみの終わりごろ、朝練に行こうと思って、家を「行っ

無断で休んだので、先生から連絡がきて、親は私の無断で休んだので、先生から連絡がきて、親は私の悪いことに、その子はたまたま遅刻をしていて、ウの悪いことに、その子はたまたま遅刻をしていて、ウッがばれちゃったんです。それで、「いますぐ学校に来い」となって、親に引っぱってつれていかれて、体来い」となって、親に引っぱって、

の先生は、さすがにちょっとおかしい」と思ってくれたけど、「どうせ、あんたが悪いことしたんでしょ」ったけど、「どうせ、あんたが悪いことしたんでしょ」ったけど、「どうせ、あんたが悪いことしたんでしょ」ったけど、「どうせ、あんたが悪いことしたんでしょ」った。以前から、親には「先生がイヤだ」と話していたん

たようです。

ルは好きだし、葛藤がありました。じゃないという空気になって、でも、バスケットボーていいという話にはならなくて、部活を辞めればいいでも、そう思ってくれたところで、学校に行かなく

て、行かなくなりました。
て、行かなくなりました。
で、行かなくなりました。
の先生がいる。それで、夏休みだったんです。だから、部活を辞めたところで、学校だったんです。だから、部活を辞めたところで、学校

奥地 行かなくなって、親はどうだったんですか?

いという選択を知らなかったし、親も知らなかった。リしていたように思います。そのときは学校に行かな本田 親はピリピリしてたし、もちろん自分もピリピ

奥地 そのころ、自分のことをどう思っていましたか。

本田

学校に行かなくなってよかったという気持ちが

わりと自分は気楽だったかなと思います。で、「別に日本の学歴なんていらないし」と思っていてでいるつもりはないと小さいころから思っていたの強かったように思います。あと、自分はずっと日本強かったように思います。

ですか。 奥地 学校に行かないことで助かったなという気持ち

本田 そうです。ただ、勉強をしないのはどうなんだ なったこともあったので……。

奥地 家で勉強したんですか。

ど、その後は行きませんでした。 塾と適応指導教室、どちらが先だったか忘れてしまい塾と適応指導教室、どちらが先だったか忘れてしまい。 たと思います。

よかった

(笑)。そうでなかったら、行かなか

0

バ

スケの写真があってよかったね

(笑)。

本田 が「先生」というか……。

たつ理由があって、

ひとつは、

働いている人

たね。

になって、

2~3回で行かなくなったということでし

奥地

家では、

何をして過ごしていたんですか

奥地

それは、

どうしてですか。

奥地

リタイヤした校長先生が、

そう。

おばあちゃんというか年輩の人で、

でした。でも、 そこでイヤだと言えないのがストレ

す。「ここで一生懸命勉強して、 た。それと、学校へもどそうという考え方だったんで さしく、やさしくしてくるのが、ちょっとイヤでし ことをすごく幼い子どものように扱うというか、や 学校へもどれるとい

あと、いっしょに通っていた女の子3人組がいて、彼 そういう空気を自分は感じとって、それがイヤでした。 いわねえ」という空気だった。直接は言わないけれど、

女らが、すごくぐいぐい来るタイプだったんです。も

ともと、新しいところに行くのがそんなに好きではな いタイプなところに、キャッキャしている子たちがい なんだか引いてしまいました。とくに先生がイヤ

やっておられたとか。 0

れで、もう外に出たくなくなったということもあった と思います。

「あっ、やばい」と思って、シュッと引き返した。そ

向こうが遠くから声をかけて来たんだけど、

を着て歩いている同級生に見つかったことがあったん

に行く日がぶつかって、行く途中にぞろぞろジャージ

中学校のマラソン大会の日と、自分が適応指導教室

ですね。

ているであろう時間帯は外に出なかったですね。

たけど、世間の目が気になって、みんなが学校に行っ に外に行くタイプではなくて、誘われれば行ってまし だり、テレビを見たりしてました。もともと、そんな

ゲームもちょっとはしていたし、

マンガを読ん

奥地

けからですか。 なるほど。 シュ レに来たのは、

どんなきっか

ス

うかがいたいと思います。 象でしたか。

で、真陸くんは2008年ですね。来留未ちゃんから

シューレに来て、どんな印

家にい

くて、

ると、そんなにやることもないんですよね。それで、

家で半年ぐらい過ごしていたんですが、

適応指導教室に行かなくなって、塾にも行けな

自分でも調べてみたんです。そうしたら、東京シュー ルとか不登校の本を図書館から借りて来ていたのを思 自分が学校に行かなくなってから、親が、フリースクー 出して、「フリースクールって何ぞや?」と思って、

真を見つけて、「おっ、ここなら」と思ったんです。

レ王子のブログに、バスケットボールをやっている写

ら、つまらなくても、こういうところに行くしかない ないみたいな感じで、 ところには、 るところは、ぜんぜん子どもがいなくて、大人しかい 彦田 それまでにも、 ていました。 のかなあ。ここで勉強するしかないのかなあ」と思っ いくつか行ったりもしていたんです。あ それでも「自分は心の病気だか 地域のフリースペースみたいな

ごく楽しそうにしている。いっぱい人が来ていて、ゲー 過ごしていて、私もそこに入れたんです。みんながす ながなんとなく自分を受けいれている雰囲気です。 明日から通うんだ、ここに通いたい」と思うほど、 なかで過ごしているのを見て、 ムしたり、勉強したり、ほんとうに自由に同じ建物の みんなが「誰か来た」みたいにならないで、ふつうに 人かが声をかけてくれて、 シューレに出会って、まず最初に感じたのは、 自己紹介してくれて、でも 「ああ、 自分はここに

受け 1) れてく れる雰囲気 が

奥地 では、

思いますが、 来留未ちゃんが入会したのは2000年 シューレでの話をうかがっていきたいと

場所を使って過ごしているのを見て、すごく安心しま

思っていたのに、みんなが自由に好きなように時間と 家でひとりでテレビを見たり、 ていない自分は、 分にとってよかったんですね。 まず一番には、安心したんだと思います。学校に行っ すごく罪悪感があって、こんな自分ではダメだと 笑うことも許されないと思っていて、

ゲームしたりしていて

「こんなところがあるから見に行ってみない」という けたいと思っていたのですか。それとも、 ので、親にくっついてきたという感じですか。 そのころは、 家以外にどこか行くところを見 お母さん が 5

彦田 を言われたんだと思って、遊べなくなったんですね でたとき、「もしかして来留未ちゃんって、 が何かわかってなかったんだけど、すごくイヤなこと なんじゃない?」と言われたことがあって、 というのが、 遊ぶ相手がいなくて、すごく友だちがほし まずありました。、近所の友だちと遊ん 登校拒否 登校拒否

> に言っていたら、 誘われたんです。 それで、友だちがほしいとか、文通相手がほしいと親 「IDECに行かない?」って母に

奥地 た年だものね。 2000年と言えば、 Ι DECを日本で開催

彦田 ミングだったのかなと思います。 シューレに行ったんです。 行かなかったんです。それが夏のことで、秋に初めて いっぱい人が来る場所に行くなんて恐ろしいと思って でも、いきなりいろんな国の人に会うなんて それが自分にとってのタイ

奥地 でしょうかね。 お母さんは、 IDECのことをどこかで見たん

彦田 私が通っていた精神科の クリ ニックみたい 、なと

する場。 り毎年開催されている、世界各地のオルタナティブ教育関係者が交流\*1 International Democratic Education Conference:1992年よ 2000年には日本で開催された。

ころで聞いたんです。 えてくました。 てくれたということだったんですが、そこの先生が教 いうことではなくて、 ただ遊んですごす時間をつくっ そこでは、何か治療を受けたと

#### 勉強するところだと思っ たら

奥地 んでしょう。 真陸くんは、 シューレでは、 最初はどうだった

と呼んでいて、 をしていて、スタッフの女性のことを「オイ、ババア」 たとき、自分と同じ齢ぐらいの子が寝そべってゲーム 建物の外観は知ってたけど、中では机を並べて先生み てしまった」「僕はなんてところに来てしまったんだ」 ていたんですよね。でも、3階の扉をガチャッと開け たいな人がいて、ふつうに勉強しているものだと思っ 本田 見学に行ったとき、最初はすごく緊張してまし の子たちが座っていて、「とんでもないところに来 もともと新しいところに行くのが好きではないし、 横を見れば、ピアノのイスに超でかい

> と思いました (笑)。

奥地 最初は、 ぱっと、そう思ったんだ。

本田 ここは、 やめておこうと思いましたね

奥地 だけど、 なんで入ることにしたんだろう。

地さんやスタッフとちょっと話して、5階に行ったと 上手に感じたんですね。それが2番目の印象です。適 になりましたね。 シューレの人たちは、 応指導教室の女の子たちは、すごくグイグイきたけど、 いれてくれている感というか、距離の取り方がすごく きに、自分と同じ齢くらいの子がいて、 その後、「静寂の間」という小さな部屋で、 べたべたもしてこない。それで、 自分のことを放っておくわけで やっぱり受け 楽な気持ち

のことを聞かれるのに、シューレではそれがなかった ということが、 あと、自分の場合、どこに行っても、 自分のなかでは大きかったです。 最初に見た目

ただ、入会を決めたのは、「ここが大好き」とか、そんなにポジティブな理由ではなくて、どこか所属するところがほしかったということだったと思います。ところがほしかったということだったと思います。といないし、いまから学校にもどるなんてできない。そろうか」とか思うし、かといって、勉強も半年もしていないし、いまから学校にもどるなんてできない。そろか」とか思うし、かといって、勉強も半年もしていないし、いまから学校にもどるなんてできない。その人たちがイヤな人ではなかった。

## 中学年齢は家で過ごした

たかというあたりを教えてもらえますか。 奥地 シューレで、どんな過ごし方、どんな活動をし

いつかは学校に戻らないといけないんじゃないかとに入ってこないから、もうやめようと思って。最初は、つ、勉強もしようと思っていたんだけど、ぜんぜん頭を田 初等部のとき、最初はシューレの活動もしつ

思って通っていたんですよね。

いろいろタイムで、みんなで出かけるとか、何かついろいろタイムで、みんなで出かけるとか、毎日毎日がすごく刺激的で、いろんな年齢見るとか、楽しんでいたんだけれども、半年ぐらい通ったころに、すごく疲れてしまったんです。シューレが疲れたわけではなくて、学校で苦しんでいたものの疲れが出たんだと思います。それで、そこからホームシューレにしました。

**奥地** 家中心で、しばらくはやってみようかなと思っ

**彦田** なので、中学年齢は、ほとんど家で過ごしてま

爽地 家では、どういうふうに過ごしていたんですか

**彦田** 最初のうちは、ほんとうに疲れている状態で、

るまでには何年もかかりました。とか、そういうことがたびたびあって、それが癒されとか、そういうことがたびたびあって、それが癒されどをに行っていたときと同じように、夜、突然涙が出学校に行っていたときと同じように、夜、突然涙が出

てじゃないと、そこで気づいていったんですね。学校の勉強だけがすべてじゃないし、学校だけがすべでも、その一方で、だんだん気持ちも癒えてきて、

シューレで見たように、ほんとうに生きていく力を 身につけるというか、たとえば料理をするとか、生活 するうえで大事なことをしていきたいと思って、家 で家事を手伝ったりとか、自然としていくなかで、い ろんなことを覚えました。そのうち、だんだん自分の ろたなことを覚えました。そのうち、だんだん自分の なってきて、絵を描いたり、物をつくったり、ギター を弾いてみたり、昼夜逆転しながら、次々に、たくさ んのことをやっていきました。

分にとって、けっこう大きい出来事でした。当時は、をやりとりしたり、合宿に参加したりして、それは自交流誌)で知り合った友だちと文通をしたり、メールホームシューレのつながりでは、『ばるーん』(会員

に自信につながっていったような気がします。て、やっと1年に1回ホームシューレの合宿に参加で外に出るだけでおなかが痛くなるような緊張感もあっ外に出るだけでおなかが痛くなるような緊張感もあっ

**奥地** それで、もう一度、シューレに通う会員に、も

**彦田** はい。高等部に上がってからです。

奥地 それは、どういう気持ちからですか。

房田 15歳になるとき、高校へ行こうかとも一瞬考えたんです。資格があることによって、自分の学びたいと
たんです。資格があることによって、自分の学びたいときに初めてアルバイトをしたのがきっかけでした、
なっためだけに高校卒業資格を取るのは変な気がして、
ときに初めてアルバイトをしたのがきっかけでした。
ときに初めてアルバイトをしたのがきっかけでした。
ときに初めてアルバイトをしたのがきっかけでした。

それから、また力がついてきて、実際に体力もつい

通おうと思ったんです。 てきて、外に出るようになって、 シューレにも、 また

ろうそくで地上絵みたいにでっかい絵を描いて、 が覚えているのは、フリー たことがありましたよね。 シュ レでは、どんな活動をやり ・スクールフェスティバルで、 ましたか。私 並べ

彦田 個人的に友だちと映像作品をつくったりしました。 やっていったし、あとは、沖縄合宿を企画したりとか、 は い。そういうことも、 みんなで実行委員会で

ましたか。 シュー レのなかで、自分がどう変化したと感じ

現していく、シューレの日常も、ミーティングで、 彦田 次々と実行委員会に出て、 りするなかでも、 と気持ちをすり合わせて、意見がかみ合わなかった んなでつくっていく。自分自身が全力でやって、誰か おたがいに伝え合っていく。 いろいろなことを実 そうい み

> う、それまでは心が疲れてできなかったことができて、 もっとやりたいと思うようになりました。

### くて断れず合宿に

奥地 活動に参加しましたか。 真陸くんは、2008年に入ってきて、どんな

んです。 たですね。シューレに10時ぐらいに行って、1時ぐら にあるので行きませんかと、スタッフの方に言われた てみたりしてました。そんなある日、 スタッフの人とぼそぼそ話したり、カプラを積み上げ いに帰ってみたいな生活で、 本田 最初のうちは、活動らしい活動はしてい あまり人と話さないで、 九州合宿が8月 なか

奥地 参加して、 佐賀で全国子ども交流合宿があって、そこにも 九州をめぐるという合宿でしたね。

本田 はい。 そこに誘われて、 僕は断ることができな

かったんです、 スタッフが怖くて (笑)。

かったんだ。それで、行ってみて、実際はどうだった

奥地 だけど、 行くほうがずっと怖いんじゃない?

本田 タッフというより、大人の意見を否定するということ ちょっとできなかった。 目の前で「行きませんか?」と言われて、 ス

奥地 たのかな。 まだ、 入ってまもなくだからということもあ Ó

本田 いに思っていましたしね。 合宿というのは、だいたいみんな行くものみた

奥地 学校文化では、そうだもの

と言 われてしまうかなあと思ったりして。 そう、そう。断ったら、「なんで来なかったの?」

奥地 ほんとうに行きたくて行ったわけじゃ

な

本田

のかい ちょっとイヤだったというか、なんか不登校とか、 本田 の ? くわからないし、でも、こんないっぱい不登校がおる 10日間ぐらいだったですよね。 って (笑)。 楽しかった (笑)。全国から来る交流合宿

ょ は

奥地 自分も不登校なのに

と10日もいっしょにいたら、黙っているというのは不 をしないという選択肢はないというか、 本田そう、 楽しかったです。 可能な話で、それで話してみたら、 そうなのね。3~4日すると、もう会話 いろいろ話せるし 10人以上の人

奥地 ね。 シューレの子だけで、 水俣にも行ったんですよ

そのときは、 水俣のこととかには、 あんまり目

覚えてます(笑)。が向いていなかったですね。海で、溺れたりしたのは

**奥地** ほかには、どんな日常の活動をやっていたんで

本田 九州合宿が終わってからは、わりと話せるようになったというか、楽しく過ごせるようになりました。リースクールフェスティバルの実行委員会とか、そういうところには、あまり参加していませんでした。イベントが巨大すぎて、自分たちでつくっていると感じなかったのかもしれない。もう少し小さいフェスティバルだったら、子どもたち自身でつくれた感を、味わえたかもしれないですね。

奥地なるほど。

象を受けて、自分自身がイベントをつくる、物事をつ本田 大人がいろいろがんばったイベントみたいな印

そうだなって、ぼんやりと感じていたのはたしかです。表したり、いろいろやっているのを見て、わりと楽したとか、まわりにいた人たちが、お絵描きしたり、発た。だけど、その一方で、来留未ちゃんの世代の人たくるみたいな感じには、そのときはなってませんでしくるみたいな感じには、そのときはなってませんでし

奥地 ふだんは何をして過ごしていたのかな。

本田お話です。

# 不登校の子どもの権利宣言

うやって始まったものなんですか? 奥地 「不登校の子どもの権利宣言」というのは、ど

**彦田** 真陸くんも私も行ってないんだけど、いろいろ**彦田** 真陸くんも私も行ってないんだけど、いろいろ

すよね。それを持ち帰って、シューレのなかで話し合ったんで

てきてましたね。 奥地 「なんか釈然としないんだよね」と言って、帰っ

**彦田** それを聞いたとき、「じゃあ、日本の私たちの をの? と、いろいろな疑問が湧いてきて、それをきっなの? と、いろいろな疑問が湧いてきて、それをきっなの? 学校に行くことだけが幸せなの。 と思ったんです。

奥地 これは自主講座で、週1回やってましたね。

ションするというのが講座のスタイルでした。の権利条約をひとつひとつ読みといて、ディスカッとに関わってきた人で、佐藤さんといっしょに子どもを田 スタッフの佐藤信一さんが、子どもの権利のこ

奥地 辞書を片手に、元の意味を調べたりしたそうで

すね。

ていたんでしょう。 奥地 講座は、どれくらい続いて、何人ぐらい参加し

本田 1年半です。人数は10人もいなかったですね。

彦田 7~8人ぐらいです。

ういう興味だったんでしょう。もしろくなさそうで、1年半も続いたというのは、どもしろくなさそうで、1~2回はできても続かないよ奥地 子どもの権利条約って、ちょっと固そうで、お

本田 自分の場合、そもそも参加したのは、怖くて断

#### 本田

それも、

まだ入ったばっかりのときで、「ちょ

奥地

来留未ちゃんの場合は、どうだったんでしょう。

自分たちの言葉を出し合って

うど始まったばかりだから出てみない?」と言われて、

いっしょに出ていた人

となって、その後の半年はボチボチ出てましたけど

関わるようになったのは、この権利宣言をつくろうと

が始まってから1年ぐらいして、

権利宣言をつくろう

彦田私は、

実はあまり出ていなかったんです。

講座

ふだんいっしょにいる人たち

なってからでした。

権利条約の勉強は基本的なところで、そこから

れなかったからで (笑)。

てほしいなと。

- 1062 -

それもそうなのっ

出てみたのが最初です。はじめは小難しいし、そんな

に乗り気でもなかったんだど、

たちは中等部が多くて、

まあいいかと。

だから、

仲間がいた感じなんですね

たと思います。 学校とは関係ないけど、これは守られ

れが守られていたら、

ろも強く感じることができたから、ということもあっ に加えて、自分が差別を受けないとか、そういうとこ

本田 それがよかった。 それで、 続けているうちに、

かったと思ってみたり。それと、学校に関連すること これは学校でも守られてないなあと思ってみたり、こ

僕はこんなイヤな思いをしな

かと思っていたところ、お風呂に入っているときに の実行委員長だった子が、 ですね。当時、シューレの会員で全国子ども交流合宿 るし、おもしろいじゃないかと思って、 つくることに踏み出すというのは、また一歩ちがう話 自分たちでオリジナルに不登校の子どもの権利宣言を ッと思いついたそうです。それで、 何か目玉になるものはない

すごく意味があ 講座に参加し

そこから始まったと聞いてます。 ている人たちに言ったら、みんな賛成してくれたんで、

彦田 感じです。 不登校の経験を社会に発信するものをつくりたいと言 われて、それなら参加したいという人が集まってきた そのとおりです。 自分たちの子どもの権利

奥地

私が覚えているのは、朝、子どもたちが来て、「5

٤

だと思います。夏休みのあいだ、こればっかりやって

から、みんなで削ったり、

付け加えたりしていったん

えてないですが、何人かが大まかな柱を出して、そこ

その後、どうやって骨組みをつくったか、ちょっと覚

奥地 実際、 どうやってつくってい ったのでしょう。

彦田 くイヤだったということを、自分たちの言葉で出 いうことはしないでほしいとか、こういうことがすご 人に伝えたいことを、とにかく出し合いました。こう て、 初めは、 書き出していきました。 学校の先生や、 自分の親 や、 身近な大

なと。

が難しいんだもの」って。

だから、

相当苦労したのか

と聞いたら、「1条」と言うんですよ。「だって、言葉 くるのね。それで「今日は、どのぐらい進んだの?」 う。それからずっと5階にいて、夕方になって降りて 階でやるからカギを貸して」と言って、上に行くでしょ

奥地 書き出したものは、 どれぐらいあったんですか。

彦田 その間にメンバ 書き出していく作業だけで、 ーも変わって、 何日もかかりまし いっぱい出した。

> 本田 苦労しました

奥地 どういう点に苦労しましたか

本田 言葉の選び方が難しかったですね。自分たちの

言いたいことを出し合って、

でも、最初は誰を対象に

- 1063 -

そういうところが難しかったです。いほうがいい表現は使わず、どういう表現にするのか。可いたいことの本質を曲げずに、あまり使わなするかが、あまり定まってなかった。誰を対象にする

**彦田** そうだね。5条の「比較して優劣をつけてはな**彦田** そうだね。5条の「比較して優劣をつけてはな

葉は使わないほうがいいのではないか、とか。た。言葉が相手に与える印象とか、「自分」という言本田 そういう言葉の選び方が、すごくたいへんでし

## 共に生きやすい社会を

奥地 まとめるまでに正味40時間ぐらいかかったと聞

留未ちゃんが書いたんでしょうか?高く評価されて、広まっていきましたね。前文は、来いてますが、できたものは、弁護士や大学の先生にも

知ってほしいという思いが入っているのかなと。 の文は実行委員長が書いたのかな。 自分たちの権利を してほしい」「~してください」と訴えているのでも なくて、「共に生きやすい社会をつくっていきません なくて、「共に生きやすい社会をつくっていきません なくて、「共に生きやすい社会をつくっていきません か」と書いたんです。 それは、子どもと大人でつくっ でいくという、シューレの基本にあるものを社会に がってほしいという思いが入っているのかなと。

て、そこでは、自分たちの体験や思いも書いてましたね、言に込めた思い」という文章もあわせて発表されてい奥地 この権利宣言では、「不登校の子どもの権利宣

うにするなよ。学校も行ってないのに」みたいなことえると、わがままになる」とか、「そんなに、えらそえると、わがままになる」とか、「子どもに権利を与

を言われてしまったからなんですね。

も出さなければ、これは伝わらないと思ったんです。しさがありました。結局、大人も自分に権利があるとしさがありました。結局、大人も自分に権利があると思って生きていないので、子どもに権利なんて与えられないという考え方にぶち当たってしまった。それで、この宣言の背景にある、自分たちの不登校経験や思いとの宣言の背景にある、自分たちの不登校経験や思いと出さなければ、これは伝わらないと思ったんです。

実が出たと言っていたね。 東京の早稲田で全国子ども交流合宿を開催したときで あるかもしれない」という不安もあったけど、実際は、 あるかもしれない」という不安もあったけど、実際は、 東京の早稲田で全国子ども交流合宿を開催したときで 東京の早稲田で全国子ども交流合宿を開催したときで

て、子どもたちを守っていくものをつくらなければと齢だったので、自分たちが大人になっていくにあたっ彦田 当時、私は19歳で、子どもの権利から外れる年

思ったんです。き、なんか、とんでもないものをつくってしまったという責任感がワッと湧きだして、拍手で採択されたと

思いました。と言われたとき、そういうことだったんだよなあ、とと言われたとき、そういうことだったんだよなあ、とて、「法律というのは自分たちを縛るものなんだよ」のちに大田堯先生(本プロジェクト#05参照)と会っ

ですか。
・
のは、ほんとうに責任が生じちゃったという感じいうのは、ほんとうに責任が生じちゃったという感じいまか。

**彦田** 伝えていかねばと思いました。

## ネットワークで広めたい

**彦田** 1年半ぐらいだったと思います。

奥地 最初は、シューレや親の会の関係の集会で話すというのは、これまたすごいなと思いまにめていこうというのは、これまたすごいなと思いました。自分たちで集会を開いたり、ネットを使ったりした。自分たちで集会を開いたり、ネットワークをつくって

が多かったと思います。 自分たちで足を運んで、いろんな会に行って話すこと は、

奥地 おふたりとも、手ごたえはどうでしたか。

本田 手ごたえはありましたね。それまでに、こうい本田 手ごたえはあったものの、とくに学校関係の人たちは、りあげるエネルギーは相当なものだったと思う。ただ、りあいるなかったでしょう。それを子どもたちでつく

そんなにスムーズには理解されるものではなかった。そういう人たちに、いきなりこれをぽんと出しても、分たちも権利を持っているとはあまり考えていなくて、言葉も難しいし、おそらく同世代の子どもたちは、自ごないないような人たちは、好意的な感じではなかったていないような人たちは、好意的な感じではなかった

奥地 それで、工夫していたよね。

て、それはすごくよかったと思いました。来てない子がいるからあげようかな」と言った子がい来てない子がいるからあげようかな」と言った子がい来てない子がいるからあげようかな」と言った子がいを配ったとき、「友だちに学校に

いますが。とか、あちこちに行っていて、何十カ所はあったと思とか、あちこちに行っていて、何十カ所はあったと思奥地 どれぐらいの数、話してまわりましたか。長野

本田 どれぐらいだろう、わからないなあ。

彦田 私たちが直接伝えるだけではなくて、できたら、 彦田 私たちが直接伝えるだけではなくて、できたら、 彦田 私たちが直接伝えるだけではなくて、できたら、 彦田 私たちが直接伝えるだけではなくて、できたら、 彦田 私たちが直接伝えるだけではなくて、できたら、 彦田 私たちが直接伝えるだけではなくて、できたら、

奥地 その人がつくればいいのにね (笑)。

で現実にぶち当たる感じがありました。 彦田 そうそう。みんなどこか他人事というか、そこ

奥地 このネットワークの活動は、何年ぐらい続けた のですか。シューレで始めた活動でしたけど、それぞ がんだん会員でなくなったりして、それでもしばらく だんだん会員でなくなったりして、それでもしばらく

います。2014年ぐらいまでだと思います。 本田 自分が大学2年生ごろまでは、やっていたと思

その後は、みんなそれぞれという感じですね。2015年ごろまでは集まって協議してましたけど、

いということで、いったん活動は終わりにしようかと。なって、あとはこれを知った人が活用してくれればい奥地 宣言をつくった人が広めていく活動は難しく

ただけど、難しかった。
たが、「終わりました」という発表はしていな

## 自分たちの手を離れても

ていますよ。たとえば、東京シューレの説明会にはか奥地 でも、この宣言は、いろいろなところで使われ

をどう思っていますか。

この宣言があって、すごく助かるというならず入れてます。この宣言があって、この宣言は非常によい、ほんとうに煮詰められた言葉で、しかも「込めたいるということがよくわかる。この宣言は非常によて、実際にこういうことがあって、この宣言につながって、実際にこういうことがあって、すごく助かるというならず入れてますし、私が講演に行くときも、これをならず入れてますし、私が講演に行くときも、これをならず入れてますし、私が講演に行くときも、これを

本田 つくっているときは、正直、自分が何をしているかわかってなかったです。これが一体どうなるのかるかわかってなかったし、言ってしまえば、最初は交流合らって、その後、いろんな方面から注目されて、そうらって、その後、いろんな方面から注目されて、そうなって初めて、自分がつくっていたのはこんなに大きなものだったのかと感じたんです。

本田 10年もこの宣言に関わるとは思ってなかったで

**奥地** 自分たちの手から離れて、あちこちで、この宣

して闘っているというのは、これは胸が熱くなる。らない人が、自分たちが10年前につくったものを手にらない人が、自分たちが10年前につくったものを手にいにこの宣言を持っていった人がいるそうですね。

言を覚えちゃった子がいました。 利宣言を1条ずつ貼ってあるんです。それで宣言の文奥地 うれしいよね。流山シューレでは、トイレに権

たこともありました。ミーティングを長引かせて(笑)、反発を買ってしまっティングで1条ずつやっていたら、ただでさえ長い本田 ただ、自分たちもシューレで失敗したのは、ミー

# **彦田** 興味を持ってもらうのが難しいよね。

かならず権利宣言についてやってます。木村(東京シューレ葛飾中学校では、日本語の授業で、

奥地 そうそう、毎年やっています。

#### 本田 すごい。

## 歴史に残ることをやった

奥地 来留未ちゃんは、ふり返ってみて、どうですか。

**彦田** 自画自賛するなら、歴史に残ることをやったな

登校児童が悪いという根強い偏見を払拭し、学校・家校を『問題行動』と判断してはならない」とか、「不校を『問題行動』と判断してはならない」とか、「不登思ってます。いま、学習指導要領の総則にも、「不登奥地 そうね。私は、これは教科書に載ったらいいと

庭・社会が不登校児童に寄り添い、共感的理解と受容の姿勢を持つことが、児童の自己肯定感を高めるための姿勢を持つことが、児童の自己肯定感を高めるためなくて、社会的自立に向けて支援する、しかも子どもなくて、社会的自立に向けて支援する、しかも子どもの意志を尊重するという、私たちが言ってきたようなの意志を尊重するという、私たちが言ってきたようなことが入っているんですよね。

もちろん矛盾する点もなくはないけど、昔だったら絶対にありえなかったことが起きて、世の中が変わったとでいる。そこに影響を与えているのが教育機会確校の子どもの権利宣言」があるんですよ。教育への権利とか、学び・育ち方のあり方を選ぶとか、安心して休むとか、これがほんとうに保障されるためには、いまの学校教育法しかない制度では無理だよね、となったんです。

休養の必要性や学校外の学びの重要性が明記されて、うにまではなっていないんだけど、でも一歩は進んだ。ただ、実際に成立した法律は、ほんとうに選べるよ

た。

公民連携での不登校支援を打ち出されています。適応公民連携での不登校支援を打ち出されています。適応指導教室で、私たちが親の会をできるんめます。適応指導教室で、私たちが親の会をできるんめます。適応指導教室で、私たちが親の会をできるんの学校時代からは、ちょっとずつ変わってきているんですよ。一石を投じた波紋は広がって、意外と大きな力になっているんです。だから、教科書に載ったらいかなと思っているんだけどね。

# 自分の心がいいと思える生き方を

うか。 これからやりたいかなど、お話しいただけますでしょ 奥地 最後に、いま、どうやって生きているか、何を

就職する就職しないとか、いい悪いじゃなくて、したの創作活動をしています。学校に行く行かないとか、自分

ことではないと思っています。「まあ、なんとか生き ながら生きていこうと。それでいいんだと思えたのは に出てからも、 思います。学校に無理して行けなかったように、社会 えるものでないと、自分は選んじゃダメなんだなあと 大きいですね。自分のペースで、自分の心がいいと思 校を通して思えたということが、自分にとっては一番 るわけじゃないけど、どうなるかわからないけれど らかなと思っています。 権利宣言の活動をはじめ、 やっぱり、 から幸せとか、しなかったら不幸せだとか、そういう けるさ」と、 いろんな生き方があっていいんだと、 自分が気持ちいいと思えるものを選び 100パーセント自信をもって言え いろいろな活動があったか

が、これはどんな思いを込めてつくったんですか。 奥地 ここに来留未ちゃんがつくった絵本があります

と思ってくれたらいいなあと。たとえば休んじゃいけ自分のほんとうの思いに従って生きていてもいいんだ意田 『そこらじゅうの声』という本で、読んだ人が、

ね、ということを伝えたくて書きました。し、自分のしたいことをして生きていっていいんだより、笑ったり、自分の感情を出して生きていっていいめ、さいとか、就職しなければいけないと思って人生を歩ないとか、就職しなければいけないと思って人生を歩

描いていたのですか。 奥地 絵がステキですよね。絵は、子どものころから

**彦田** よく、「学校で習ったんですか?」ときかれる

### アフリカへ行きたい

す。 員の資格を取るために、養成講座に週3日通っていま 本田 いまはフリースクールで働きながら、日本語教

う? 奥地 なんで日本語教師の資格を取りたいんでしょ

員の資格が取れる養成講座に通いはじめました。 て、アフリカ地域に関する研究を専攻したかったんです。でも、結果が残念で、何かしら向こうで生きていす。でも、結果が残念で、何かしら向こうで生きている日本語を教える職業はどうだろうかと思って、よ学院に行っない。大学院に行っ

しょう。 奥地 アフリカに行きたいというのは、どうしてで

あんまりい 歴史に関心を抱くようになって、 ころが、中学校3年生か高校1年生のときに、黒人の うのは、自分に何か悪いところがあったわけではない ろに家族でアメリカへ旅行に行ったとき、アメリカ の歴史を学んでいくと、 アメリカに行くんだと思って、 んだと初めて感じて、それからは、僕は絶対、将来は 人は誰も自分のことをジロジロ見てこなかった。4 歳 の肌をからかわれてきたんです。でも、 のときでしたけど、自分がジロジロ見られるとい い国じゃないぞ」と思ったんです。 小学校にさかのぼって、常に自分は自 「おや、どうやらアメリカ 生きてきたんです。と 本や映画でアメリカ 幼稚園のこ は 0)

ほとんどの人は、あまりお金もないし、アフリカに行 僕の進む道なんだ」と思って、 アメリカにいたのではなくて、 くことはできなかったんだけど、そもそも自分たちは うムーブメントが巻き起こったんですね。 アメリカでは、 僕はそれに感銘を受けたんです。 アフリカに帰るべきであると主張した人たちがい 50~60年代にアフリカ回帰主義とい つれて来られたのだか そこから、 「ああ、 将来はアフ 実際には これ が

リカに行きたいと考えて生きています。

奥地 したいと言ってましたね。 アフリカへ行って、 子どものためのことを何

おい 本田 は、まだ不登校がどうこうという状態にはない。そも そも学校がまだ足りてないから、 代にエネルギ て。 子どものためもあるんだけ ーを注ぎたいです。 たとえばア ど、 不登校のことはさて とくに若者の世 ·フリカで

#### 奥地 課題がちがいますよね

本田 年代から比べれば非常に行きやすくなってい アフリカもそれなりの発展を遂げつつあるし、 立ってたというだけで、黒人が逮捕されていました。 最近でもアメリカで、スターバックスで注文しないで をアフリカに集めたい(笑)。ニュースを見ていたら 「もうやめようぜ、アメリカに住むの」って。 できることなら、 いろんなところにい いまなら、 、る黒人

とデカく言っていきたい の場所なんだと。「みんなでアフリカへもどろうぜ」 カにあこがれていて、 を持つことが大事だと思うので。 へんか。アフリカ出身の若者は、ヨーロッパやアメリ バチバチのバトルをくり広げたい。 なんとかこれをくい アメリカから黒人が消えたら、どれほどたい 知識層が流出しています。 し、この考えに反対する人と 止めたい。アフリカこそ最高 何より、 自分

くり は大事なのではないかなと思っているんです。 の考え方に賛同する人たちが出てくる。だから、自分 きて、社会と対立した。でも対立によって、どちらか たとえばアメリカでは、 かしらのビジネスをしながら、バチバチの トルを見ることによって、関心を持つことが、まず ルーツに関心を抱いていない人たちも、 、広げていきたいと思って 50年代にマル います。 コムXが出て 私と誰かの バトルを なので、

がら、 奥地 見ながら、 自分らしく生きていこうというのは、 ふたりとも、 自分のル ありがとうございました。 ーツや自分の原体験を大事にしな 感銘を受 社会を

> なると感じるところがあります。 をかけないと社会は変わらないですし、 は重なるところがあるかなと思います。 けます。これからも、 変わると思います。 からも自分なりの生き方を貫くことで、 らやっていってください。黒人の差別と不登校の差別 今日はどうもありがとうございま いままでの経験を大事にしなが おふたりとも、 たぶん社会が 問題意識が重 かなりの時間 これ

した。

# 不登校の子どもの権利宣言

#### 前文

私たち子どもはひとりひとりが個性を持った人間です。

みや思いを、十分に理解できない人たちから心無い言葉を言われ、傷つけられることを経験 しかし、不登校をしている私たちの多くが、学校に行くことが当たり前という社会の価値観の中で、私たちの悩 しています。

不登校の私たちの権利を伝えるため、すべてのおとなたちに向けて私たちは声をあげます。

を尊重してください。そして共に生きやすい社会をつくっていきませんか。 おとなたち、特に保護者や教師は、子どもの声に耳を傾け、私たちの考えや個々の価値観と、 子どもの最善の利益

を選べる世の中になるように、 多くの不登校の子どもや、 苦しみながら学校に行き続けている子どもが、 今日この大会で次のことを宣言します。 一人でも自身に合った生き方や学び方

#### 一、教育への権利

者が、 私たちには、 すべての子どもに教育を受けられるようにする義務である。 教育への権利がある。学校へ行く・行かないを自身で決める権利がある。義務教育とは、国や保護 子どもが学校に行くことは義務ではない

#### 二、学ぶ権利

私たちには、 学びたいことを自身に合った方法で学ぶ権利がある。 学びとは、 私たちの意思で知ることであり他

# 者から強制されるものではない。私たちは、 生きていく中で多くのことを学んでいる

# 二、学び・育ちのあり方を選ぶ権利

ないでほしい。 のように学び・育つかを選ぶ権利がある。 私たちには、 学校、フリースクール、 フリ おとなは、 一スペ ース、 学校に行くことが当たり前だという考えを子どもに押し付け ホー ムエデュケーション(家で過ごし・学ぶ)など、

### 四、安心して休む権利

に反して行かせるのではなく、 私たちには、安心して休む権利がある。 家などの安心できる環境で、 おとなは、学校やそのほかの通うべきとされたところに、 ゆっくり過ごすことを保障してほしい 本人の気持ち

## 五、ありのままに生きる権利

はならない。 私たちは、 歩む速度や歩む道は自身で決める ひとりひとり違う人間である。 おとなは子どもに対して競争に追いたてたり、 比較して優劣をつけて

### 六、差別を受けない権利

係に制限を付けないでほしい。 例えばおとなは、 不登校、障がい、 成績、能力、 不登校の子どもと遊ぶと自分の子どもまでもが不登校になるという偏見から、 性別、 性格、容姿、 国籍、 家庭事情などを理由とする差別をしてはならない。 子ども同士の関

# 七、公的な費用による保障を受ける権利

権利がある。 学校外の学び・育ちを選んだ私たちにも、学校に行っている子どもと同じように公的な費用による保障を受ける

にしてほしい。 例えば、フリースクール・フリースペースに所属している、 高校に在籍していない子どもたちには保障されていない。 すべての子どもが平等に公的費用を受けられる社会 小・中学生と高校生は通学定期券が保障されている

# 八、暴力から守られ安心して育つ権利

私たちには、不登校を理由にした暴力から守られ、安心して育つ権利がある。 暴力的な入所・入院などのあらゆる暴力をしてはならない おとなは、 子どもに対し体罰、

### **兀、プライバシーの権利**

おとなは私たちのプライバシーを侵害してはならない

をかけてくること、親が教師に家での様子を話すこともプライバシーの侵害である。 必ず意見を聞いてほしい 例えば、学校に行くよう説得するために、 教師が家に勝手に押しかけてくることや、 私たち自身に関することは、 時間に関係なく何度も電話

# -、対等な人格として認められる権利

る。 に考えなければならない。子どもが自身の考えや気持ちをありのままに伝えることができる関係、 生活の中で子どもの権利が活かされるように、 おとなは私たちを対等な人格として認め、 環境が必要であ 11 つしょ

# 十一、不登校をしている私たちの生き方の権利

0 おとなは、不登校をしている私たちの生き方を認めてほしい。 それなしに、 私たちの幸せはうまれない。 私たちと向き合うことから不登校を理解してほ

### 丁二、他者の権利の尊重

私たちは、他者の権利や自由も尊重します。

## 十三、子どもの権利を知る権利

け ればならない。 私たちには、子どもの権利を知る権利がある。 子どもの権利が守られているかどうかは、 国やおとなは子どもに対し、子どもの権利を知る機会を保障しな 子ども自身が決める。

二〇〇九年八月二十三日 全国子ども交流合宿 「ぱおぱお」 参加者 同

#42 本田真**陸さん、彦田来留未さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#42 本田真陸さん、彦田来留未さん インタビュー日時:2018年4月25日

記事公開日:2018年7月5日 場 所:東京シューレ葛飾中学校 聞き手:奥地圭子、木村砂織

写真撮影:木村砂織 まとめ: 奥地圭子

- 1079 - - - 1078 -

はなかったんでしょうか 教師の裏の顔を知っ てい るの で、

斎藤

当時、

臨床系には小泉準三という教授がい

屮

親戚中が教員ということで、

レッシャ

など

屮 ンテリ家庭で、 たんですが、 はどんな感じだったのでしょう。 いたいと思います。 #43 斎藤 環 さん まずは、

ご自身の子ども時代のことからうかが

斎藤さんご自身は、

学校との関係

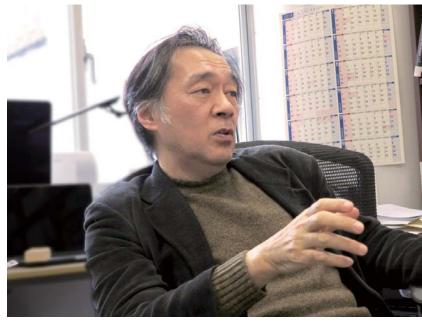
学校は楽しかったですね。 かなりの僻地で、 961年に岩手県北上市和賀町で生まれ 私自身、勉強もできたし、 とくに疎外感があるとか、 農村部ではめずらしい 少人数で友だちとの距離 小学校は1学年1クラ 過ごしていました。 特別扱い

受けていたところはありました。 親戚中、教師だったんです。 だったのは、両親がふたりとも教師で、もっと言えば、 いじめを受けるということもなく、 は近いし、みんな親しくて、 ス22名の小さい学校でした。家庭環境がちょっと特殊 学校に反発するとか、 むしろ学校は好きでした。 不適応を感じること

> 的な関心が強くて、 あったかもしれません。 医を選択したのは、そうしたプレッシャーへの反発が 者になれ」というプレッシャーはありました。精神科 まったく視野に入っていませんでしたが、 れはよかったと思います。将来の仕事として教師は やっている部分がある。 員で、お盆や正月に親戚が集まると教育談義に花が咲 に変な幻想を持たなかったと思います。 うから (笑)。 ではエゴのぶつかり合いで、 くんですが、 が多かったので、 当時は精神科医になる人は、 日教組運動の裏を見ていると、ある意味 それと、 周囲の医学生とは距離感があった それで精神科医し 私は哲学や思想といった人文 たぶん、 教師も人間だとわかって、 自分たちの生活のために がっかりしたでしょ 人文志向が強 日教組 親から「医 0 そ

#### 稲村研究室に

屮 に師事された経緯を教えていただけますでしょうか。 稲村博さん(精神科医/1935 9 9 6



(さいとう・たまき)

1961年、岩手県北上市生まれ。筑波大学医学専門学群を卒業し、1986年よ り筑波大学大学院で稲村博研究室に。1987年から爽風会佐々木病院勤務。同 病院診療部長などを務めた。現在は、筑波大学医学医療系社会精神保健学教授。 専門は思春期・青年期の精神病理学、病跡学、精神分析、精神療法。「ひきこもり」 についてメディアに発信し続けているほか、近年は「オープン・ダイアローグ」 の啓蒙活動に精力的に取り組んでいる。マンガ・映画などのサブカルチャー愛 好家としても知られる。おもな著書に『社会的ひきこもり――終わらない思春 期』(PHP新書 1998)、『戦闘美少女の精神分析』(太田出版 2000)『オープ ンダイアローグとは何か』(医学書院 2015) など多数。

インタビュー日時:2018年3月20日

聞き手:山下耕平、貴戸理恵 場 所:筑波大学総合研究棟D

写真撮影:山下耕平

で。それまで、稲村さんの業績については、ぜんぜんで。それまで、稲村さんの業績については、社会医学系に小田 晋教授と稲村博助教授の研究室がありました。稲村さんの研究室は自分で選んだわけではなくて、た。稲村さんの研究室は自分で選んだわけではなくて、た。稲村さんの研究室は自分で選んだわけではなくて、まず。

山下 稲村研究室には学部生から入っていたんですか。

知りませんでした。

高藤 いえ、院からです。院に入ったのは1986年で、ここは大事なところなのですが、稲村研究室は85で、ここは大事なところなのですが、稲村研究室は85時子さんがTBSの報道特集で「格子のなかの悲鳴」という番組を流して、稲村さんの入院治療はマスコミという番組を流して、稲村さんの入院治療はマスコミたんです。

神経サナトリウムですよね。山下をの入院治療をしていた病院というのは、浦和

斎藤 そうです。稲村さんは、無理やり一般病棟の一家藤 そうです。稲村さんは、無理やり一般病棟の でいたわけです。非常に情けないとしか言いようのないことをやっていたわけです。非常に情けないとしか。 いことをやっていたわけです。 がことにして、非常に劣悪ないことをやっていたわけです。 がことをやっていたわけです。

てこさせるようなことも、やらされていたそうです。 神科医)は「自分は本来、子どもの側に立つ人間なのに、何も知らない新人時代にこんな治療に関わらせらに、何も知らない新人時代にこんな治療に関わらせらに、何も知らない新人時代にこんな治療に関わらせらに、何も知らない新人時代にこんな治療に関わらせられた山登敬之さん(精当時、この治療に荷担させられた山登敬之さん(精

(『こころの科学』123号/日本評論社2005)にくわしい。\*1 このあたりの経緯は、山登敬之「極私的不登校闘争二十年史序説」

山下 児童青年精神医学会で稲村さんの治療について 山下 児童青年精神医学会で稲村さんの治療について が(本プロジェクト#35参照)、それは事実誤認と サナトリウムでの治療に関わっていたと話されていま サフトリウムでの治療に関わっていたと話されていま

斎藤 浦和神経サナトリウムには非常勤で半年だけい なですからね。

### 遷延化・無気力は

どう思われていたのでしょう。
・ 斎藤さん自身は、稲村さんの考えについては、

す。晩年まで、いのちの電話でまわされてきた難しい臨床家としてはそこそこ誠実な人ではあったと思いま流になりませんが、稲村先生は、

で、常識の延長上で治療するという考えです。そうい 創設にかかわった点は自殺予防活動のさきがけという その部分では、 てしまうのは、 う功績面を、 オープンダイアローグにも通ずるところのある発想 スのビフレンディングを紹介していました。これは は、彼が書いたもののなかで一番残るもので、 みから創案された『心の絆療法』(誠信書房1981) 点でも歴史的意義があったと思います。自殺予防の試 ありました。たとえば自殺予防学会やいのちの電話の て、そこまでの恨みはないですし、尊敬できる部分も ケースを富坂診療所で無償で診ていたりしていました。 私は、直接、入院治療に手を染めなかったこともあっ スキャンダルをもとに、まったく否定し 私も薫陶を受けた面はありますが、 弟子としては残念な思いもあります イギリ

<sup>\*2</sup> Be+friend + ing からできた造語。友だちになる、寄り添うこと
\*3 統合失調症などに対する治療的介入の手法で、フィンランドの
ケロプダス病院を中心に実践されている。患者やその家族から依頼を
受けた医療スタッフが、24時間以内に治療チームを招集して患者の自
受けた医療スタッフが、24時間以内に治療チームを招集して患者の自
完を訪問し、症状が治まるまで毎日対話するというシンプルな方法で、
入院治療・薬物治療は可能なかぎり行なわない、患者を批判しないで
人院治療・薬物治療は可能なかぎり行なわない、患者を批判しないで
人院治療・薬物治療は可能なかぎり行なわない、患者を批判しないで
とにかく対話する、などのルールがある。

いては、 屮

浦

問的な面での指導はないに等しいです。

ても問題だったと言えると思います。 あきらかに人権侵害の状況があって、 和神経サナトリウムでの入院治療の問題につ 誰が見

斎藤 もちろんです。

屮 藤さんは引き継がれているのではないでしょうか。 になんらかの治療論が必要だという点については、 すると「遷延化」するとか「無気力症」になる、そこ しかし、 稲村さんが言っていた、 不登校を放置 斎

2014) でも、 私の診たひきこもり事例の8割に不登校経験がありま スにしているんですが、このときに取ったデータでは、 5年後時点で、 した。最近の文科省の調査(「不登校に関する実態調査」 ひきこもり』(PHP新書1998) は博士論文をベー 平成18年度不登校生徒に関する追跡調査報告書 そこは否定しません。 非就学・非就業の人は2割弱です。 中学校3年生時に不登校だった人の 最初の本である『社会的

> すが、母集団が約13万人で、その2割がすべてひきこ もりではないにしても、 方を替えれば、8割以上はなんとかなっているわけで くまちがえていたわけではないと思います。 ていく可能性を考えると、 一定数の人たちがひきこもっ 稲村先生の指摘は、 まった

このときは、まだ稲村先生の「無気力」という言葉を 年期に発症し遷延化した無気力状態に関する研究」で とは明確にしておきたいと思って、「ひきこもり」と 引きずっています。その後、無気力ではないというこ まちがいです。私の博士論文のテーマは「思春期・青 ないですし、「無気力症」という言葉は、 いう言葉にシフトしていったという経緯があります。 ただ、警鐘の鳴らし方はまずかったと言わざるを得 あきらかに

中 治療論についてはどうでしょう。

とです。そのうえで言えば、逆に無関係であるからこ そ、不登校のなかには、 なんらかの治療的支援を必要とする不登校、 であって、 不登校の議論から学んだのは、不登校は状態像 病気でも価値判断の対象でもないというこ 問題のない不登校もいれば 別の言い

方をすれば、 んです。 病気の不登校もいる。これも事実だと思

たくない。 もってやってきたとき、「不登校は医療の問題じゃな 売りするのには反対ですが、医者のもとにニーズを ニーズに対して応えられるスキルは持っていたほうが から来なくていいです」と追い返すことは、 い。これが私の立場です。それを強制したり、 医者としては、病気の不登校を持ったお子さん 私は 押し 0)

マです。 会長は原田隆史さん(元中学校教員)で、 田メソッド」にもとづいて「自立教育」を体得させるとしている。 立ち上げたプロジェクト。批判を受けて「学校復帰」の文言は消えた。 を支援する」と謳って、角川ドワンゴ学園の役員などが中心となって 望ましいかを対話を通じて見いだしていきたいという は関わりを断ちきるのではなく、どういう関わり方が あぶりだしたように、不登校が増えると日本経済がや マがあります。偏見を減らすという意味からも、医者 ばいというような偏見もありますね。 だけではなく、 不登校を取り巻いている偏見というのは、 「学校・企業・地域が一丸となって不登校の小中学生の学校復帰 精神医療の使命のひとつに、アンチスティグ クラスジャパンプロジェクト問題が巻いている偏見というのは、精神医療 ネットクラスを通じて いわばスティグ

> 0 が、 いまの私の考え方です。

屮 それは、 ひきこもりでも同じでしょうか。

斎藤 そうです。

#### 孤立状況を脱する非常 ロ を

体が病気ということではない。 屮 治療に関わってこられた。 登校とかひきこもりとか、 する見方もあるわけですね。しかし、斎藤さんは、不 部分だけをDSMのように、 的対応を必要とする人がいる。 とでしょう。 不登校もひきこもりも状態像であって、それ自 そのあたりは、どういうこ あくまで状態像のところで それぞれの症状に分解 そのとき、その症状の しかし、一部には治療

斎藤 不登校もひきこもりも、 孤立に陥り やす 11 状態

カ精神医学会が発行する、 5版まで出ている。 \*5 Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders:アメコ 精神障害の診断・統計マニュアル。

きに、抜け出せる非常口を用意できるかどうか。響を及ぼすことは、カシオボらの研究を始めとして、問題担当大臣を新設したそうですが、不登校やひきこ問題担当大臣を新設したそうですが、不登校やひきこもりを孤立状況と捉えなおすと、なんらかの支援のインフラはあったほうがいい。本人が孤立したくないとですね。長期の孤立状態が多くの人びとの心身に悪影ですね。長期の孤立状態が多くの人びとの心身に悪影

ですか。
ですか。

のは、そういうことでいいんじゃないかと思いました。 ズに合わせようという発想がある。私も、医療という 院に来たのだから、できる範囲で応えよう、患者のニー に来たのだから、できる範囲で応えよう、患者のニー のは、そうあってほしいと思っています。オープンダ

\*6 ジョン・カシオポ(John T Cacioppo):シカゴ大学心理学部教授。の克服法を具体的に提案している。

不登校は病気じゃないけれども、医療にできることの状況がありますね。

見ている部分もあるかと思うのですが。 山下 斎藤さんは、治療論として精神療法に可能性を

高藤 オープンダイアローグを不登校への支援で試験 高藤 オープンダイアローグを不登校への支援で試験 あり、治療らしくない治療です。薬は使わないですし、 かっていることは対話だけですから。治療チームの やっていることは対話だけですから。治療チームの やっていることは対話だけですから。治療チームの するという発想です。患者個人の内面や脳に問題を還 するという発想です。患者個人の内面や脳に問題を還 するという発想です。患者個人の内面や脳に問題を還 でするような発想とは縁遠い。

倒になってしまっていますね。それは、治療論がきち山下 精神医療の大きな流れとしては、投薬治療一辺

法も連綿と続いていますね。 方で、戸塚ヨットスクールなどに始まるマッチョな手んと議論されてこなかったがゆえでしょうか。その一

を診る機会の多かった医者がやっているにすぎない そういう構図がずっと続いてますよね。 長田塾などが出てきたわけですね。親もそっちのほう ラの貧困につけこむかたちで、戸塚ヨットスクール 200人ほどしかいない。この人数ですべてのニーズ 児童青年精神医学会の学会専門医の資格を持つ医師も (私も含めて)。これは貧しいと言うほかない状況です。 掲げている人はいても、それは、たまたま児童青年期 ことが大きいと思います。学会はありますが、 産業として力を持ってしまった。それは、 が効き目がありそうに思って、 を始め、不動塾、風の子学園、コロンブスアカデミー に対応できるはずもない。そういう日本の医療インフ て児童青年期精神医学が実質的に機能してこなかった 青年期精神医学の講座にはないに等しい。看板を ルが出てきたあたりから、ああいう団体がスキマ は あります。 80年代前半に戸塚ヨット つい行かせてしまう。 日本にお 大学で 13 ス

> あにというのでは困るわけです。 助けてくれないから、じゃあ戸塚ヨットみたいなとこ ルにはなってほしいと思っています。どこに行っても が返さないでいっしょにやっていこうと言えるレベ のにというのでは困るわけです。

はないかと思ったのですが。の感覚からすると、これは医者でなくともできるのでの感覚からすると、これは医者でなくともできるのでしないかし、オープンダイアローグというのは、私

受けてきているので、 グは、研修を2年くらい受けたら、誰でもできるレベ ね。これがネックになっています。オープンダイアロー てほしいんですけど、 カウンセラーは山ほどいるわけですから、ぜひ参加し もいいし、スクールカウンセラーでもいい。スクール 携わるのは、 ルの技術です。 けた半専門家でよくて、ほんとうは医者はいらない。 なポイントは、まさにそこなんです。 斎藤 その通りです。不登校、ひきこもり支援の重要 たとえばスクールソーシャルワーカーで 精神医療のほとんどは、 チームでやりたがらないんです 心理士は個人精神療法の訓練を 数年の研修を受 その程度の

に責任を負う立場というくらいでしょうか。の存在意義は、全体のごく一部を占める精神疾患や発の存在意義は、全体のごく一部を占める精神疾患や発レーニングとケアで十分だと思っています。精神科医

## クラスジャパンは最悪

してしまうという危惧があるということでしょうか。定の枠組みがないと、個人の価値観やカリスマが横行山下 しかし、そこで専門性が必要だというのは、一

☆藤 そうです。クラスジャパンなんて、ひどいですが、おそろしいたくらみです。

確保法について、どのようにお考えなんですか。 逆に、こちらからうかがいたいのですが、教育機会

険性や、子どもと親のニーズがちがうことなどを最初 山下 私はずっと批判してきたんですね。民営化の危

なっていると思っています。から指摘していたのですが、懸念した通りの状況に

斎藤 私も最初はかなりましな法律かと思っていましたが、多様な学びの場を増やすという趣旨が、結局はクラスジャパンのようなビジネスを登場させる結果になっていて、本末転倒ですね。最悪ですよ、日本中をクラスにするという発想は。しかし、不登校の歴史を知っていないと、何が悪いのかわからないという人も多いでしょうね。

大幅な見直しが必要ですね。んだ法律だと言われても仕方ないと思います。いずれんだ法律だと言われても仕方ないと思います。いずれもに押しつけやすくなってますね。親の不安につけこそれと、敷居が下がったことで、親が選択肢を子ど

#### 入寮施設は

設に関わっておられますね。 入院治療が問題になったあと、斎藤さんは別の入寮施入院治療が問題になったあと、斎藤さんは別の入寮施

施設をつくろうと考えたのが出発点だったと思います。 施設をつくろうと考えたのが出発点だったと思います。 施設をつくろうと考えたのが出発点だったと思います。 麻材さんはひきこもの改善には同世代の人とのた。稲村さんはひきこものである人がほとんどでしいなくて、20代でひきこもっている人がほとんどでした。稲村さんはひきこもりの改善には同世代の人との共同生活が大切だと考えていて、そういう人のための共同生活が大切だと考えていて、そういう人のための共同生活が大切だと考えていて、そういう人のための共同生活が大切だと考えたのが出発点だったと思います。

りにつくったということでしょうか。 山下 病院での入院治療ができなくなったので、代わ

**斎藤** はっきり、そう言っていいと思います。

いうものだったのでしょう。 山下 斎藤さんにとって、この施設での経験は、どう

れませんが、そのぶん人との距離が近くて、ハウスか雑魚寝でしたし、快適な環境とは言えなかったかもしなら、

山下 ひきこもり新聞(創刊号/2016年11月1日)山下 ひきこもり新聞(創刊号/2016年11月1日)

ますが、趣旨はかなり共通しています。本人が自発的するゾテリア・ハウスという治療施設が世界中にありするゾテリア・ハウスという治療施設が世界中にあります。統合失調症に対して薬を使わず共同生活で支援ます。統合失調症に対して薬を使わず共同生活で支援するゾテリア・ハウスという治療施設が世界中にありするゾテリア・ハウスという治療施設が世界中にありするゾテリア・ハウスという治療施設が世界中にありするゾテリア・ハウスという治療施設が世界中にありするゾテリア・ハウスという治療施設が世界中にありするゾテリア・ハウスという治療を使わずるグラスを表しています。本人が自発的ますが、趣旨はかなり共通しています。本人が自発的ますが、地質はかなり共通しています。本人が自発的ますが、地質はかなり共通しています。本人が自発的ますが、地質は大きないますが、地質が表現しています。

ると、いまでも思っています。に入って共同生活を行うグループホームには意味があ

## 偏見を強化するのはまずい

しゃっていましたが、どこがまずかったのでしょう。もあるけれども、警鐘の鳴らし方がまずかったとおっ貴戸 先ほど、稲村先生の考えは引き継いでいる部分

斎藤 はっきりしているのは、人びとの偏見を強化する方向で広めてはまずいということです。稲村さんは、る方向で広めてはまずいということです。稲村さんは、です。たしかに不登校の一部が、長期間ひきこもってしまうという現実はあるわけですが、彼の発言には統計的な根拠は示されていないし、全員がそうなってしまうような警鐘の鳴らし方でしたので、かなり危険まうような警鐘の鳴らし方でしたので、かなり危険まっような警鐘の鳴らし方でしたので、かなり危険

**貴戸** 斎藤さん自身は、かなり戦略的な言葉づかいを

のでしょうか。口を変えている。そういう態度は、どこから来ている義性が重要だとおっしゃっていて、文脈によって語り

斎藤 反面教師をいっぱい見てきたからですね。それ 高藤 反面教師をいっぱい見てきたからです。 町沢さんは、心理学・精神医学ブームの立役者です。 町沢さんは、 ときにテレビ局のスタッフと連携して、自分の患者を ときにテレビ局のスタッフと連携して、自分の患者を きあい方には少なからず問題があった。精神科医とメ ぎってとのつきあい方を、三者三様の「失敗」から学 ディアとのつきあい方を、三者三様の「失敗」から学 がってとのつきあい方を、三者三様の「失敗」から学 がってとのつきあい方を、三者三様の「失敗」から学 がってとのつきあい方を、三者三様の「失敗」から学 がってといます。

う。 貴戸 斎藤さんの言葉の宛先は、どこにあるのでしょ

ですが。向こうに当事者を見ていると、ほんとうは言いたいの向こうに当事者を見ていると、ほんとうは言いたいのは親になってしまっているかもしれないですね。その斎藤 当事者と言いたいところですが、いまのところ

覚的に書かれているように思います。 言いますか、結果として何をもたらすかを、かなり自 貴戸 斎藤さんは、言葉のパフォーマティブな効果と

を変えようという面もあったのではないでしょうか。 を変えようという面もあったのも、事実を語るといかもこもりを肯定するというのも、事実を語るといかもこれない。不登校ない」というのも、そうだったかもしれない。不登校ない」というのも、そうだったかもしれない。不登校の運動でも

きたあと、東京シューレが出てきて、いわばタカ派対斎藤 同感です。80年代に戸塚ヨットスクールが出て

るんです。 と忘れられてしまうところがあると、私は思ってい 題とちがって、ときどきあえて注意喚起していかない 含めて、うやむやなかたちで忘れられていく。それが 明らがひきこもりを肯定する。そして、そんな対立も 力)に対して、芹沢俊介(評論家)、高岡健、吉本隆 て期間を短縮して反復されたように思います。 ようにしています。 5年ぐらいのスパンで起きたんじゃないでしょうか。 もりを問題視する稲村・斎藤一派(のようにみえる勢 ひきこもりは、いわば透明な存在なので、ほかの問 不登校をめぐって起きたことは、ひきこもりにお だから、 オープンダイアローグの手法を導入すると 私は意図的にメディアに露出する 発言の影響力を確保するためです ひきこ

れも大きな問題だと思います。 は青少年を専門に取り扱う省庁がないんですよね。そ にれられることはないと思いますが、そもそも日本に にれられることはないと思いますが、そもそも日本に は青少年を専門に取り扱う省庁がないんですよね。 か、高齢化の問題についてはライフプランの視点から

### 根強い指導文化

の言葉が変わっていくことはありますでしょうか。すね(リフレクティング)。そういうなかで、専門家ローグでは、当事者の前で専門家どうしが話し合います。 清楽さんご自身の語り口も、だんだん変わって

当事者の耳にも入りやすい言いまわしに変えるようにいところで話すと、かなり無遠慮な批判になりがちでいところで話すと、かなり無遠慮な批判になりがちであ部分を評価したりといった配慮が必然的に増えます。る部分を評価したりといった配慮が必然的に増えます。

なる。

以外の場で専門家が会議したりはするんでしょうか。貴戸 オープンダイアローグでは、リフレクティング

ても、透明性があって、信頼してもらいやすい。 前で議論しながら決めていく。ですから、子どもにとっ がくと思うのは、その点もあります。すべて、本人の がくと思うのは、その点もあります。不登校に応用が が それはやってはいけないというのが、オープン

とです。 すし、こちらがぜんぶ知っていて、相手は知 ています。 いう前提です。 目線ですよね。指導や説得というのは対話ではないで 入するのに、 ただ、 難しいの 何かというと指導で、指導というのは上から 一番苦労するのは学校じゃない ですから、 は、 学校現場は指導文化が根強 オープンダイアロ がらないと かと思っ ーグを導 いとこ

## ニコイチの危険を解除

貴戸 対象になっているクライアントから、専門家個

診ていただきたい」というような。人に対するアクセスはありますか。「ぜひ、あなたに

者に頼っているあいだは治っているけど、離れていく 者としてオープンダイアローグを始めて、 多少開示しても、 から、 個人の治療者への転移がほとんど生じない はまだ謎なんですが、チームで治療しているかぎりは、 関係性から、 とぶり返してしまうことになりやすい。ところが、オー なってしまうんです。転移性治癒といって、その治療 ぐれた治療者であっても、 プンダイアローグのチーム治療は、 しろい現象です。 はオープンダイアローグをやっていて、 したことです。 個人崇拝になって、いわゆる転移・逆転移関係に 逆に、こちらが感情を表出したり、 2年ほどやっていて、 治療者を解放してくれるんです。なぜか 問題が起きない。 個人精神療法の難しさは、 むしろすぐれているがゆえ 1回も経験ないです。 それは、 そうした転移的な 非常におも 一番びっく 個人情報を んです。だ いかにす 私が治療

危険と言いますよね。 体存症の当事者のあいだでは、「ニコイチ」が

高藤 ニコイチになるのはどういう状況かと考えると、 高藤 ニコイチになるのはどういう状況かと考えると、 高藤 ニコイチになるのはどういう状況かと考えると、

とつの言葉の重みが場のなかに解けていく。一ではなく、いろんな言葉が混ざることで、ひとつひこック(多声)になることの力というか。対話が一対ニック(多声)になることの力というか。言葉がポリフォ

が理想です。相手の言葉をしょっちゅう引用しながごくいい言葉だけど誰が言ったかわからないというのクな空間は、言葉の所属があいまいになってくる。す斎藤 おっしゃるとおりだと思います。ポリフォニッ

険な状態だと言っている。 関係を望むことをニコイチと呼んで、ニコイチはDVと表裏一体で危寒7 ダルク女性ハウスでは、相手と自分がぴったり重なって一個の

それが醍醐味です。 ら話していく。 いわば入れ子関係みたいな感じですね

屮 を書いています。そうした対話の場というのは昔から サークルの戦後思想史』思想の科学研究会編/平凡 「なぜサ いろいろなところで生成してきたように思います。 であったり、 いう面があるように思います。 あって、たとえば不登校の親の会や居場所にも、そう 社1976)という文章で、まったく同じようなこと 鶴見俊輔(哲学者 ークルを研究するのか」(『共同研究集団: 当事者研究であったり、かたちを変えて、  $\stackrel{/}{1}$  $9 \\ 2 \\ 2 \\ -2 \\ 0$ あるいは、 べてるの家  $\frac{1}{5}$ 

精神医療に位置づけようとされているのでしょうか。 確立することで、保険点数にもなる医療行為として、 斎藤さんは、オープンダイアローグを治療論として

斎藤 精神科医の存在よりも、 最終的には精神医療のシステムを解体したいんです。 スのほとんどの問題は解決すると考えているからです。 の集団でケースに対応していくことで、 過渡期としては、 短期の研修を受けた半専門家 ですね。本音を言えば私は、 メンタルヘル

> 日本でもそれは実現できるはずだと思っています。 それを実践しています。私自身の手応えから言っても、 実際、フィンランドのケロプダス病院の医療区 一では、

えないですし、日本では民間病院が90%以上なので で、これは日本だけの特殊事情です。 の国では、民間病院が9%以上なんてあり得ないこと 精神病院関係者の頑強な抵抗もあるでしょうね。 精神科医が既得権益を簡単に手放すとは思 ほか

者の場合でも高齢者でもそうですね。 対象になりかかったわけです。 収容しようという発想になりやすい。 日本では、困った問題が起きると、 不登校も、 それは知的障害 その人を隔離し その

#### 介入なしには立ち直 な

屮 入が必要だとおっしゃってこられたわけですよね。 しゃっていましたが、 先ほど、孤立状況が長引くのはよくないとお そこで斎藤さんは、 専門家の介 0

は最初の本 専門家の介入が必要だと強い (『社会的ひきこもり』) だけで、 トーンで言った W ・ろいろ 0

できる用意はしておいたほうがい 批判も受けて反省して、現在は、介入を求められたら、 しています。 い、というト ーンに

岸

しかし、その介入の仕方には問題も起きがちで

屮 本では、「専門家による治療なしでは立ち直ることが できません」と言いきっておられました。 そこは自己批判もあるのですね。 ただ、 最初 0

ように、高齢化がどんどん進んでいる面もあるわけで なんとかなるというようなことを言っていたわけです 護する人たちは、病気ではないのだから放っておけば ないと思います。 回復」がきわめて起きにくいからだと思っています。 が介入せずに勝手に回復することはほとんど期待でき 実際、どうにもならなくて、「8050問題」の 高齢化の原因の半分は、 いまは「専門家」とは言ってませんが、 2000年代前半、ひきこもりを擁 ひきこもりに「自然な 第三者

> す きません。 ね。 そう思います。 議論を呼ぶところかと思います。 不登校もひきこもり Ę

難な状況にあるまともな人として扱ってくれたので救 われた」と言っていました。これこそが、 てくれて、「自分をひきこもりとして扱わないで、 れて苦労していたけれども、近所の友だちが毎日会っ を無条件に全肯定することから始めなければ支援はで する介入のあり方です。 あるひきこもりの当事者は、親から責めら 私 の理想と

とい 屮 うことですか。 つまり、 本人を問題視して介入するのではない

斎藤 う視点を外して介入してほし そうです。 介入するときは、 11 あくまで病気と

屮 なんとか学校に戻そうという姿勢で家庭に来ら それはわかります。 不登校でも、 学校の先生 ħ て が

の記事をきっかけに、 豊中市社会福祉協議会コミュニティソー \* 8 んが新たな地域課題として問題提起し、朝日新聞(20 80代の親と収入のない50代の子の世帯の生活困難問題。 大きく注目されるようになった。 -シャルワー -カーの勝部麗子さ 17年12月30日) 大阪府

証言プロジェクト 斎藤 ど

うまくいくことはないですからね

### 信頼関係は肯定から

青定するということです。 高藤 どんな支援をするにしても、信頼関係がなけれ 高藤 どんな支援をするという以前に、その人の存在を がきこもりを肯定するという以前に、その人の存在を がきこもりを肯定するという以前に、その人の存在を がきこもりを肯定するという以前に、その人の存在を がきこもりを肯定するという以前に、その人の存在を がきこもりを肯定するという以前に、その人の存在を

元気にはなれないということです。
ことがまともになってくる。そして、人は対話なしに復してもらうことを目標設定にすることで、いろんな得してもらうことを目標設定にすることで、いろんな事登校や就労よりも、まずは家庭のなかで元気を回

**山下** それは家族以外の第三者との対話ということで

すよね。まずは家族と対話できるような環境にもどらしんでいる不登校の子は、家族とも対話がなくなりま斎藤 家族との対話も含みます。家族に抑圧されて苦

事者にまかせていいと思います。ら始めて元気になってくれば、あとの意志決定は、当らかと、家のなかで元気になれない。家族との対話か

ですよね。
ですよね。
ですよね。
ですよね。

か? 山下 いま、おっしゃったことは、親の会などで言われてきたことと、それほど変わらないように思います。れてきたことと、それほど変わらないように思います。れてきたことと、それほど変わらないように思います。

**斎藤** そうですね。学校が善か悪かのようになってしまうのは避けたいんですよ。そこは人それぞれの解しまうのは避けたいんですよ。そこは人それぞれの解しまのなうな文脈ができてしまうと、別の意味で抑圧になっ ような文脈ができてしまうと、別の意味で抑圧になってしますが、

うが圧倒的に多いと思いますが。 ルにやっていきたい。とはいえ、学校が悪い場合のほ

貴戸 不登校でも、ひきこもりでも、学校はどうでも、場戸 不登校でも、ひきこもりでも、学校はどうでもながらないといけないと思っている。しかし、そう思っていても、できない。登校拒否はすくみ反応で、いわゆる怠学とはちがうものとして問題化されてきたわけですね。「学校に行かねばならない」という規範が内面化されていて、ある面では、すごく社会性を持っていると言えるのに、それゆえに社会参加できなくなっいると言えるのに、それゆえに社会参加できなくなっている。

高藤 そういうスパイラルはありますね。肯定という なたはそのままでいい」「学校に行かなくてい というのは、「あなたのことをもっと知りたい」です。 とれだと教えてもらう立場ですし、上から目線にはな それだと教えてもらう立場ですし、上から目線にはな らない。

### 暴力は拒否すべき

山下 肯定と受容はちがうともおっしゃってますね。

ものの、 持ちを理解するようにと言われて、親は必死に耐える と誤解されたのでしょう。 暴力をこじらせてしまうことです。 は専門家が受容の限界設定をしていれば起こらなかっ セラーに相談しても、子どもを受けいれ、子どもの気 に受けとめる」という方法論が、暴力でも受容すべき ズの「クライアントの語る言葉は、すべて批判なし\*。 た事件だと思っています。 4件の事件が裁判記録に残っています。私は、これら いって、最後は子殺しにいたったケースもありました。 かというと、退行を促進させてしまうことと、家庭内 グ業界を席巻したことがありました。これの何が問 80年代に全受容ブームがあって、 暴力はおさまるどころかエスカレートして 受容の限界設定は必要です。 家庭内暴力が起きてカウン カール・ロジャー 力 ウンセ

<sup>1987):</sup>アメリカの臨床心理学者。来談者中心療法の創始者。\*9 カ ール・ロ ジャ ーズ(Carl Ransom Rogers / 1902 ―

りません。 限界設定をしっかりやっておかなければ、受容にもな

**山下** 限界設定とは具体的にはどういうことでしょう。

斎藤 子どもの暴力は受けとめてはいけない、いや、子どもにかぎらず、いかなる暴力も拒否してよいのだ、ということです。禁止ではなく拒否、「ダメ」ではなということです。禁止ではなく拒否、「ダメ」ではなをきちんとおさえておかないと、対話も成り立たない。をきちんとおさえておかないと、対話も成り立たない。をますというスタンスが必要です。90年代にカナダやアメリカからDVの概念が輸入されてきて、ようやくそういう当たり前のことが、正面から言えるようになりました。

暴力も含めて全受容すべきだと言っていたんでしょう。山下 それはその通りだと思いますが、具体的に誰が

斎藤 たとえば、岩月謙司という、もともとは動物学

思っていた人もいました。

思っていた人もいました。
なんでも子どもに返せばうまくいくと能感をもって、なんでも子どもに返せばうまくいくと能感をもって、なんでも子どもに返せばうまくいくと思っていた人もいました。

促進のようなことは、私は聞いたことがないです。気持ちを受けとめようという言われ方はしても、退行気持ちを受けとめようという言われ方はしても、退行気持ちを受ける。

**斎藤** 育て直しや退行促進ではないにせよ、一部だと いいのです。逃げないで、発散を受けとめるべきとしてい 思いますが、いまだに暴力も受けとめるべきとしてい まかれたものでも、「暴力が出たことは、ある意味で まかれたものでも、「暴力が出たことは、ある意味で とことは、ある意味で はしいと願っていますが。たとえば奥地圭子さんの まかれたものでも、「暴力が出たことは、ある意味で はしいと願っていますが。たとえば奥地圭子さんの と聞きます。私の聞きちがいであって

点は強調しておきたいです。 
点は強調しておきたいです。 
まかれていますが、明確に暴力は拒否すべきとは書かれていますが、明確に暴力は拒否すべきとは書かいずれにせよ「全受容」的な発想は過去のものという 
いずれにせよ「全受容」的な発想は過去のものという 
は強調しておきたいです。

山下 奥地圭子さんは、暴力でも受容すべきとは言っ 山下 奥地圭子さんは、暴力でも受容すべきとは可能 を拒否しながら対話する姿勢を保ち続けることは可能 で、むしろ対話のためには限界設定も必要ということ

まったら、統合失調症ではないから入院させなくていまったら、統合失調症ではないから入院させなくていの精神興奮状態に見えてしまうので、経験のないドクの手にかかると、措置入院させられてしまうことがあります。その前に、きちんと暴力拒否の手順を踏があります。その前に、きちんと暴力拒否の手順を踏があります。その前に、きちんと暴力をしたいいると、統合失調症をしまったら、統合失調症ではないから入院させなくているでもあります。

わってほしいと思っています。い。不要な入院をさせないためにも、適切な対応で関

てしまう。すれの、病院も患者が減っているから、入院させかで入院させました、みたいなケースになりやすいでんで入院させました、みたいなケースになりやすいでしかし、どうも難しいみたいで、ついつい警察を呼

山下それは、やはり民間病院が多いからですかね。

**斎藤** そうですね。民間病院は入院患者が8割を切っ

山下 統合失調症の患者が減ってきていることも影響

です。少なくとも家庭内暴力事例の大半にとっては、力か依存症で埋めようとしている。これはやばい傾向し、新規に入院する患者は薬物依存症とか認知症しかし、新規に入院する患者は薬物依存症とか認知症しかし、新規に入院する患者は薬物依存症とか認知症しかれてす。うつ病も軽症化して入院しなくなりました

不登校 50 年証言プロジェクト

## 介入における暴力性は

入院は有害無益ですから。

事後承諾にして始めてしまったほうがいい、とおっ てくる訪問治療はものすごく害がある。ひきこもった の座談会で、斎藤さんは「なまはげみたいな、突然やっ のあたりは矛盾もあるように思いますが。 しゃっています(『現代思想』2016年9月号)。そ ムドコンセントのようにやってもうまくいかないから、 一方で、オープンダイアローグについては、インフォー つぶされるんです」とおっしゃっていました。 の言うことを聞くかもしれない。でも、何かがそこで と思います。 下 最初に出会う他者が強圧的だと、とりあえず相手 介入のあり方について、 月刊 『子ども論』(2001年9月号) もう少しうかがいたい しかし

ますし、強制性もありません。この点は暴力的支援と ンダイアローグでは患者さんの拒否権は常に尊重され の大きなちがいです。 大前提として、当たり前のことですが、 オー プンダイアローグは訪問で Ì プ

それでも、急性期にチームで押しかけて対話を始めて 過程と合意や治療契約が一体化しているのです。 治療と進みますが、オープンダイアローグでは治療 るけれど、初回の面接で治療契約は結べることが多 ると思いますが)。それが難しい場合は事後承諾にな れる方向けの説明です(そうした契約にも暴力性はあ も難しいのですが、意外に断られることも少ない 運動興奮の状態では、対話が成立しにくく同意の確認 なされることもありますが、拒否された場合はもちろ るという現実もあります。 保護室で身体拘束、 て急性期の患者と対話できなければ、 わけではありません。ただ現実には、 しまうのは暴力だ、という主張を頭ごなしに退けたい 形式的なインフォームド・コンセントは合意→契約→ いので、それほど倫理上の問題はないと考えています。 口頭なり文書で同意をとりかわすべき」と強く主張さ いう言い方をしたのは、「どんな場合でもまず事前に 導入を断られることはまずないんですね。事後承諾と の時期はいろんな意味で「開いて」いるので、対話の ん開始できません。ただ、統合失調症の急性期、精神 という別の激しい暴力が控えてい あなたが精神運動興奮状態 今の日本におい 医療保護入院で ただ、

多くの人にも同意していただけると思います。 いう話になる。私はもちろん対話がいいし、この点は になったとして、 対話と隔離とどちらを選びますかと

屮 結果オーライであれ なるほど。 しかし、 ばい いと思って なまはげ的介入の場合で いるわけですよね。 b

数多く存在します。拉致事例の救出活動に関わった際 ことでは、本人にとって結果オーライにはなりにくい です。ごく一握りの成功事例の陰に、悲惨な失敗例が そのことは痛感しました。 拉致監禁して、寮に入れて強制労働させるような メンタルスクールのように、本人の意志を無視し ワンステップスクールや戸塚ヨットスクー ル

います。 医療手段のなかでも、もっとも低いと考えてよいと思 す)。その意味での暴力性は、さまざまな支援手段や 重症事例に対する非同意入院などは皆無ではありませ もちろんですが、ほぼ強制はともないません(一部 が、通常の医療行為よりはそうなる可能性は低いで オープンダイアローグ的な介入には、身体的暴力 ここでの議論の前提は、 あらゆる介入、 あら 0 は

> とい 暴力性がひそむという発想であって、その意味ではフ かい的な暴力の萌芽を見て取ることは不可能ではない 無縁であるとは言いきれない、というほどの意味です ゆる支援、あるいは「支援・介入しないこと」にすら 「誰かを助けたい」と考えることのなかにすら、おせっ リースクールやオープンダイアローグですら暴力とは うことですね。

屮 が問題かもしれませんね。 そういう意味では、 暴力性に無自覚であるほう

話がうまくいかなければ、 ど、そうならなかった場合は、本人にとって暴力でし 対話を始めてしまえば、ほぼ、 本人が拒んでいるときには対話は開始されません。た かなかったということもあるかもしれません。もし対 だ、本人抜きで家族とは対話をするかもしれません。 くこともあるわけです。さきほどお断りしたように、 らないですからね。たとえば妻の要請で夫のケアに行 て訪問するわけですが、それが当事者の要請とはかぎ そうですね。もちろん本人や家族の要請を受け チー いい結果になるんだけ ムが帰ったあとに妻に

走を招く可能性はないでしょうか。

うね。方法論として広めていこうとすると、善意の暴

です。 斎藤 善意の暴走は最小限にできると考えています。 チェックリストを活用することで、懸念されるような うになっています。まっとうな対話がなされていたか、 障しています。 この対話を続けていいか確認して、そこで安全性を保 では対話を続けること自体が目的になっていて、毎回、 院)をつくったところですが、オープンダイアローグ リストがあって、クライアントがチームを評価するよ イドライン」(『精神看護』2018年3月号/医学書 たケースに細々と行っているのが現状で、 訪問支援はほとんど実施できません。 ちょうど「オープンダイアローグ対話実践のガ 一点お断りしておくと、現在の我々の 加えてクライアントのためのチェック 大半は外来 ごく限られ 体制

#### 成熟はない?

貴戸 『社会的ひきこもり』のサブタイトルは「終わりに思いますが。 がでは、斎藤さんもそういう見方になってきているよ がし、いまや社会が成熟のモデルを示すこと自体が しかし、いまや社会が成熟のモデルを示すこと自体が がしない思春期」で、成熟の問題として論じていますね。 のサブタイトルは「終わ

ては、成熟度に合わせた就労モデルを組まないといけ 話もある。「若者の高年齢化」です。就労支援にお 定義はどんどん拡がっていますよね。いまは30歳まで ことではないでしょうか。たとえば、 援からこぼれる人が出てくる。 ないので、 が若者になっていて、まもなく44歳まで延ばすという の成熟の証だと思うので、 ると考えています。個人の成熟が遅れることは、 斎藤私は、 若者の定義を延ばさないと、どんどん、 社会の成熟度と個人の成 それはそれで、けっこうな 内閣府の若者の 然熟度は 反比 社会 近例す 11

ないと危惧しています。 は、これはほとんど意味をなさないと思っています。 は、これはほとんど意味をなさないと思っています。 が高まるという幻想を持っているのでしょうけど、私 がしろ「若者の弱者化」やホームレス化を促進しかね ところが一方で、法務省は成人年齢を18歳に引き下

『社会的ひきこもり』を書いたころ、念頭にあったのは、コフートの成熟論です。たとえば、30代のひのは、コフートの成熟論です。たとえば、30代のひのは、コフートの成熟論です。たとえば、30代のひのまま温存されていると感じたことがしばしばあった。のまま温存されていると感じたことがしばしばあった。なければ自己愛が成熟していかないということではななければ自己愛が成熟していかないということではななければ自己愛が成熟していかないということではななければ自己愛が成熟していかないということではないかと。コフートは、自己愛を育てるのは親密な他者いかと。コフートの自己愛理論がそのままあてはまるとれば、コフートの自己愛理論がそのままあてはまると思ったんです。

一方で、対社会的な成熟を問題にして、社会との接点がなければ成熟が起こりにくくなるという指摘もしていて、当時は成熟論の残滓を引きずっていましたが、その後、成熟は遅れて当然だという視点が出てきたり、もあって、私の見方も変わってきました。ニューエコもあって、私の見方も変わってきました。ニューエコリミー以降の産業構造においては、むしろ未成熟さのほうが売りではないかとさえ言えます。そう考えると、もはや成熟という視点は、あまり重要ではなくなったとも言えます。

ただ、ひきこもっている人のなかには、一定の割合で一発逆転幻想が捨てられない人がいますね。いまからでも偏差値の高い大学に入って見返してやるとか、為さとも言えるでしょうし、社会性の乏しさとも言えるかもしれません。それが実現困難だから、というよりも、「それしか解決策はない」という方向に視野がりも、「それしか解決策はない」という方向に視野がりも、「それしか解決策はない」という方向に視野がいるかぎりは自己肯定感はなかなか調達しにくいので、それを調達できるのはむしろ身近な仲間関係かもしれませんよと提案しています。

唱した。 唱した。 コープの適応性、共感の必要性に着目して自己心理学を提 は、コープの過応性、共感の必要性に着目して自己心理学を提 に、コープの過応性、共感の必要性に着目して自己心理学を提 に、コープのである。

高いという表現をよく使います。そこでは、健康度がな医学の領域で使われています。そこでは、健康度がな医学の領域で使われています。そこでは、健康度がいるれと、いまは、むしろ健康という視点を使ってい

貴戸 健康度が高いというのは?

失調症のような重篤な疾患がないのに、 医の常識からすれば、何年も家から出られないという が本人にも不本意な方向に歪められていくのは、やは くらんでいく印象があるんですね。本来のまっとうさ 互の誤解がこじれて、もともとありもしない病理がふ たいない」という感じがする。私が診ている範囲では、 られない のは、統合失調症にちがいないと思うわけです。統合 もともと健康なのに、学校空間や家庭空間のなかで相 · 「もったいない」と感じてしまう。 欧米の精神科 この言い方は語弊があるかもですが、正直「もっ むしろ当事者の「まっとうさ」のほうが印象的で 病的な印象や不健康さを感じる場面はあまりなく 不登校でもひきこもりでも、 のかが理解できない。 しかし、 当事者と話 実際、 なぜ家から出 多くの して

しいと思っています。しいと思いますし、何よりも彼ら自身にも気づいてほ社会の側にも彼らの健康さやまっとうさに気づいてほひきこもり当事者の健康度は高いんですね。ですから

## 仲間からの動機獲得

せておけばいいと思われてきたように思います。 2000年代以降ですね。日本では、子どもから大人 2 のの年代以降ですね。日本では、子どもから大人

コストを本人と家族が背負っている。 事者が背負っていると言えるように思います。つまりるコストを非常に安くすませてきたツケを、家族と当

けだと思います。 いで成人年齢を下げたら、弱者化する若者が増えるだいで成人年齢を下げたら、弱者化する若者が増えるだめ、 の政府にはありますね。しかし、インフラを整備しな勝手に成熟するだろうみたいな、いいかげんさが日本

なっているとも言えます。 しれませんが、誰もが漏れ落ちる時代に のは、団塊ジュニア世代に合わせてですね。社会が個 のは、団塊ジュニア世代に合わせてですね。社会が個

きこもり問題の核にあると思われますでしょうか。人が社会参加すべき・したいと思っています。登校拒否のり、私はこれを豊かさだと思っています。登校拒否のり、私はこれを豊かさだと思っています。登校拒否のり、私はこれを豊かさだと思っているにも関わらず/それゆえに社会参加できない」という複雑さがあず/それゆえに社会をのつながりの問題には、「本一方で、若者と社会とのつながりの問題には、「本

は働かねばが何%で、働きたいが何%ですか」ときくは、いちように「働きたい」と言います。私が「それす。そう言っていいと思います。彼らは診察場面で

うとか、義務感以外の要素がないともたないです。 と、たいがいは「働かねばが100%」と言うんです おのある状態、好奇心からとか、何かほしいから働こりのある状態、好奇心からとか、何かほしいから働こりのある状態、好奇心からとか、何かほしいから働こうとか、義務感以外の要素がないともたないです。 きっとか、義務感以外の要素がないともたないです。 しょうとか、義務感以外の要素がないともたないです。

ないですね。
その葛藤をどう解きほぐして、余裕を回復してもら

るような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではなくて、私の印象論にとどまるのでするような話ではないまるのでするようないまるのでするようないますない。

に、いかにつなげるかが大事だと思っています。が、孤立した義務感の世界から、開かれた動機の獲得

## 学校機能の分散化を

きたと思いますか。 
なぜ、日本では不登校がこれほど大きな問題になってなぜ、日本では不登校がこれほど大きな問題になってれてきましたね。不登校もそういうところがあります。

かなるという信仰が強いんだと思います。きていないからでしょう。いまだに、指導すれば何ときていないからでしょう。いまだに、指導すれば何と

ぜんぶ一括して学校に集約している。せんぶ一括して学校に集約している。もうひとつ言えるのは、日本では、小・中・高と、学校機能をモジュール化して分散させればいいのに、学校機能をモジュール化して分散させればいいのに、学校機能をモジュール化して分散させればいいのに、学校機能をモジュール化して分散させればいいのに、

校以外の子どもの生活の場が必要ということですね。山下 それはオルタナティブな学校というよりも、学

の抑圧のもとで、その状態がずっと維持されてきた。 制度的な義務教育と自生的な同調圧力という両面から 先生の負担も大きいし、誰も幸せになれない。しかし、 から社会性まで、ぜんぶ学校でというのは無理です。 かっと部活を少し外注するように

# -ンキーとひきこもりの中間を

が強いですよね。性というのは、学校文化的、あるいは体育会的な要素性というのは、学校文化的、あるいは体育会的な要素

けですね。 山下 しかし、そこに不適応だと、孤立してしまうわ

高藤 そうですね。森口朗さんが『いじめの構造』(新新書2007)で示しているデータでは、スクール 初新書2007)で示しているデータでは、スクール 私の実感とも一致します。つまり、学校のシステムは 私の実感とも一致します。つまり、学校のシステムは 私の実感とも一致します。つまり、学校のシステムは 私の実感とも一致します。つまり、学校のシステムは へのコンプレックスが抜けない人もいますね。

山下 しかし、その7割にも対話がないですよね

斎藤 対話はなくて、あるのはノリだけです。

山下 対話のなさ、ノリに染まることが社会性になっ

に言えば、お笑い芸人みたいなコミュニケーションで 斎藤 学校空間のなかでのコミュ力というのは、端的

ン強者、カースト上位になれる。こと。それがあれば、共感力がなくてもコミュケーショすよね。笑いがとれて、人がいじれて、空気が読める

はあったのかとも言いたくなるのですが。
山下 そうすると、そもそも日本において社会的成熟

ます。 意藤 成熟の条件としては、情緒的コミュニケーショ かの能力と欲求不満耐性、このふたつがあれば十分だ と思っています。ヤンキーは、情緒的コミュ力は高い はないけど、ガマン強い。ひきこもりは逆で、コミュ力 はないけど、ガマン強い。ですから、成熟というのは、 ヤンキーとひきこもりの中間になることだと言ってい ヤンキーとひきこもりの中間になることだと言ってい

必要のように思いますが。
グのように対話を重視するのであれば、対話の文化が
山下 なるほど (笑)。しかし、オープンダイアロー

から、ちゃんとコミュニケーションを学ぶ学科を設け斎藤 これだけコミュ力重視の社会になっているのだ

斎藤

そうです。

そこをスルーしてはいけないと思

V3

なっていますね。スクールカーストもそうですが。てしまったので、コミュ力偏重は学校のウラ文化にればいいのにと思います。そういう機会がないまま来

国に行ったら話せなくなるとかいうことがありますね。 人が、文化を異にする人と出会ったときに、どんなコ人が 日本のコミュニケーション文化になじんでいる

ている人も、海外に行くと元気になる人が多いです。があって、ふだんより饒舌になったりする。ひきこもっがあって、ふだんより饒舌になったりする。ひきこもっが通じない空間では機能不全になりがちです。一方、が通じない空間では機能不全になりがちです。一方、

山下世間のまなざしから解放されるわけですね。

すぐに避難所ができて、1週間もすれば世間ができて気が1回リセットされるからだと思います。しかし、たという話もありましたが、それは、そこで世間の空たという話もありましたが、それは、そこで世間の空

しまう。震災の「効果」は一時的なんですね。

### 発達障害バブル

斎藤 もうひとつ大きな問題は、発達障害バブルです。 のは日本だけです。消えた理由は少ないからなんいるのは日本だけです。消えた理由は少ないからなんですが、日本だけ突出して多い。しかし、器質性疾患が国によってそんなにちがうわけがないんです。日本が国によってそんなにちがうわけがないんです。日本で多いとしたら、文化的背景の問題があるんでしょう。ノリのコミュニケーションに入れないと障害バブルです。

れる子が急増していますよね。 
山下 特別支援学級もパンク状態になるほど、診断さ

してしまっているという印象すらあります。協調性重えすぎです。学校になじめない子はぜんぶ発達障害に振に傾く傾向がありますね。しかし、それにしても増援学級に入れるかどうかの判断を急ぐあまり、過剰診援がいちばんひどくて、就学前に特別支

せん。うのは罪深い。誤診率が非常に高いと言わざるを得まうのは罪深い。誤診率が非常に高いと言わざるを得ま視の空間で、そこになじめない子に診断をくだすとい

込まれたといっても、当時の議論はまだかなりセンシ 斎藤万比古さん(精神科医)らが進めているような、 があっていいと思っています。この点では、たとえば 論がまかり通る。それは非常に危惧するところで、そ 達障害が原因だから療育せよ薬を飲め、という雑な議 失われてしまって、いまは極端に言えば、不登校は発 ティブなものだったと思いますが、そういう繊細さが 文もほとんど書かれなくなった。主たる関心がほと が不登校に関心がなくなっていることです。 不登校やひきこもりの医療化には疑問なしとしません。 んなことなら精神医療のなかで、もっと不登校の議論 んど発達障害に向いてしまっている。私は論争に巻き それと、もうひとつ問題なのは、児童青年期専門 最近は 論 医

障害として医療化されているということですね。 一小 不登校やひきこもりの医療化というのは、発達

ます。

### 還元主義は問題

をして、 けです。 だけを見て診断する遠隔操作の方向に向かっています。 計らないし、聴診もしないし、打診もしない。データ どんどん患者の身体に触れなくなっています。 関係をていねいにつくるという発想が抜け落ちてしま しています。しかしこのモデルも行き過ぎると、治療 は内科モデルを理想としているので、 ならないと思っています。 くらずに診断主義に走ってしまうと、遠隔操作で診断 います。よく指摘されることですが、 や治療方針がおのずから決まることになる。精神医療 しかし、精神科は治療関係が命ですから、そこをつ 内科モデルでは、正しい診断が しかし、これは問題をこじらせる方向にしか 薬だけを出すみたいなことになってしまうわ 最近の内科医は 同じ方向を目指 つけば正しい薬 血圧も

ます。
その典型はうつ病で、80年代からSSRIが導入されて何が起こったかというと、90年代を通じて、増えす。改善はしても寛解しない人が溜まり続けて、増えれて何が起こったかというと、90年代を通じて、うつれて何が起こったかというと、90年代を通じて、うつれて何が起こったかというと、90年代からSSRIが導入さ

貴戸 専門家が、対話から撤退していると。

ではあり得ないわけです。

ではあり得ないわけです。しかし、そんなものは精神医療質みたいに、確実に細菌を叩けて治せるような。あの質みたいに、確実に細菌を叩けて治せるような。あのがして、薬を飲んだらパッと治ることです。抗生物

**貴戸** こまごまとした複雑な問題系が、正常と異常の

て見ようと思えば、いくらでも異常性を見いだしてい題だと思っていて、正常と見れば正常だし、病気とし斎藤 不登校とかひきこもりというのは境界線上の問

うのは悪しき還元主義として批判されるべきでしょう。の原因だった!」みたいに喧伝する人がいて、そうい断がつくこともあるでしょうが、「実はこれが不登校障害」とか、ああいう医療化も問題です。そういう診障害」とか、ああいう医療化も問題です。そういう診験がつくことができる。困るのは、身体科の人が不登校をターくことができる。困るのは、身体科の人が不登校をターくことができる。困るのは、身体科の人が不登校をター

## 就労はゴールではないが

しい。一定のトレーニング期間が必要で、ビジネスマローワークや面接に行ってうまくいくかと言えば、難は思っていませんが、多くの人にとって、現実問題とは思っていませんが、多くの人にとって、現実問題と斎藤 私は、ひきこもりのゴールが必ずしも就労だと

あったほうがいいと思っています。就労のニーズに対して、きちんと応えられる窓口がけーや面接の受け方を学べる場面はあったほうがいい。

山下 一方で、就労=社会参加になってしまっている山下 一方で、就労に失敗すると、とたんに孤立してしまがゆえに、就労に失敗すると、とたんに孤立してしまがゆえに、就労に失敗すると、とたんに孤立してしまがゆえに、就労に失敗すると、とたんに孤立している。

ズがかつてないほど高まっている面はあります。すぐにでも就労をという話になってしまうんですね。うことでした。しかし、30歳半ばを超えてしまうと、労ではなくて、信頼できる何人かの仲間を持とうという。私の当初のゴールは就

てくる。就労移行支援のように、年齢制限のないサー年齢が上がってくると、それしかないという人も増えも増えてきました。就労がゴールではないとはいえ、最近は、就労移行支援を利用して一般就労できる人

たくないですが、いことだと思います。もちろん、それが唯一とは言いいことだと思います。もちろん、それが唯一とは言いビスを活用して社会参加を果たすコースがあるのはい

アルな関係については、どうでしょう。 らえることが大事という話がありましたが、セクシュらえることが大事という話がありましたが、セクシュ

斎藤 私は一時期、デイケア内では「すぐ『彼女をつ 斎藤 私は一時期、デイケア内では「すぐ『彼女をつ なの?」と聴く頻度は多かったかもしれません。 とうなの?」と聴く頻度は多かったかもしれません。 とうなの?」と聴く頻度は多かったかもしれません。 どうなの?」と聴く頻度は多かったかもしれません がませんし紹介もしませんが、せいぜい「彼女とかは どうなの?」と聴く頻度は多かったかもしれません 遊めるというよりは「反対しない」「場合によっては 進めるというよりは「反対しない」「場合によっては 進めるというよりは「反対しない」「場合によっては 産めるというよりは「反対しない」「場合によっては で援する」というスタンスですね。

貴戸 ただ、恋愛関係の負の面として、ニコイチに陥

りやすくもありますよね。

思います。 ります。なかには、こじれてストーカー化してしまっ た事例もありますが、比率としては、すごく少ないと く社会参加につながっている数のほうが多い印象はあ もちろん。ただ、事例数だけから見れば、うま

貴戸 んですか? いまは、 あまりそういうことは言わなくなった

ますからね。 もよくないかと思ったり、 あまり言っても、 シャレにならない場合もあります。 20代だったらよくても、30代を過ぎてく  $\wedge$ あと高年齢化の問題もあり 、テロ セクシズムを強化して

## 女性のひきこもり

貴戸 女性のひきこもりについては、どう見ておられ

> それまで「家事手伝い」で済んでいたのに、アラフォー 事例化が進む問題ではないでしょうか。 ひきこもっているとか。そういう意味では、これ になって急にひきこもり扱いされるとか、専業主婦で 斎藤 女性のひきこもりは事例化しにくいですよ から

2000年代初頭にもあったんですが、 りUX女子会」が有名ですよね。女子会の試みはいま、林恭子さんらが主催している「ひきこも が大きくて、一度に50人とかが集まるんですね。そう ばらばらになってしまう。 ングが理由です。仲良し集団ができて排他的になって 的だと思っています。 なると、グルーピングが問題にならない。これは画期 しまった。私の知るかぎりでは、その一部はグルーピ しかし、UX女子会は規模 みんな消えて

ぼ半々ですし、ひきこもりも実際は半々に近いのだと いなかったんだと思います。ニートの統計では男女ほ が7割というのは、自分のところに来た事例しか見て いたことが顕在化した。私がかつて推定していた男性 女子会が注目されて、 女性のひきこもりがたくさん

ただ、女性のひきこもりのほうが動きやすい気は

出す人が、男性よりは多いですね。どうしても男性は の対象になりにくい。しかし、 スペックが重視されるので、働いてないだけで異性愛 ています。たとえば、異性関係でひきこもりから抜け 人が男性よりは多い印象があります。 ついたりすることもある。そういうかたちで抜け出す 接近してくる男性はいる。ときには支援者と結び 女性は働いていなくて

が見えなくなって続いていることもあるわけですよ しかし、 って続いていることもあるわけですよね。その一方で、専業主婦になって、問題

なまじ、表面的には適応しているように見えるだけに。 そのほうが、 きついかもしれないと思いますね。

#### 当事者研究とのちが 61

屮 ますが、これに いま、 いろんな分野で当事者研究が流行って ついては、 どう見ていますか Vì

ごくシンパシーを持っています。 オープンダイアローグと直結した話なので、 ただ、 たとえば、 べす

> アローグではアウトカム(成果)を積極的にアピール る」と言ってほしいところがあります。オープンダイ とか言ってしまう。でも、 ていても、ある種の逆説をこめて「治りませんように」 で、あえて治療成果は誇らないですよね。実際には治っ するので、 てるの家では、ありのままを肯定する方向に向かうの そこはちがいますね。 やっぱり家族はベタに「治

すかね。 岸 そのアウトカムというのは、 就労率になるんで

てい どうしてもそういうことになりますね。ただ、 斎藤 しているときは、 成果を定量するとしたら、 そういうことは忘れましょうと言っ 就労率が何割とか 対話を

たでいい」と言いながら、 行なわれてきたように思います。「ありのままのあな させる意図がある。でも、 たとえば、居場所のなかでも、 その意図は直接は言わない そう言うことで状態を好転 意図 の間接化は

おざわざ口にする必要がない。 居場所がどういう目的を共有しているかというと、 にあるわけですよね。オープンダイアローグも同じで、 がすよ。だけど、その意図や目的は場にゆだねる。 がですよる。 まいながら、実際は目的な がですよる。 まいながら、実際は目的な がですよる。 まいながら、実際は目的な

山下 これは私の経験上の実感ですが、相手を変えようとか、助けたいみたいな下心を持っていると、絶対うとか、助けたいみたいな下心を持っていると、絶対に見抜かれます。むしろ、そういうものを捨てないと信頼関係はできないという実感があります。間接化というか、こちらの意図をどれだけ捨てて、相対することができるかが問われているように思います。

高藤でも、その場の目的は変化ですよね。当事者の

のモデルと同じになってしまうように思います。 支援者―被支援者という関係では、旧来の治療や支援とでも、専門家が関わるとしても、その専門性が通用どでも、専門家が関わるとしても、その専門性が通用がるような気がしています。オープンダイアローグながるような気がしています。

関係をフラットに近づけていくのが現実的ではないで関係をフラットに近づけていくのが現実的ではないですなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさなどに先例がありますが、これはこれで独特の難しさがあるように思います。たとえ自助グループをつくっかあるように思います。たとえ自助グループをつくの前現実的ではないである。

きえています。 考えています。。 考えています。 とようか。すでにケロプダス病院が進めているように、 しょうか。すでにケロプダス病院が進めているように、 と思者の区分は残したうえで、専門家はそこで「専門 と患者の区分は残したうえで、専門家はそこで「専門 を患者の区分は残したうえで、専門家はそこで「専門 なわけですね。そこで専門性が活かされると思っている るわけですね。そこで専門性が活かされると思っている ます。こういう態度の「オン/オフ」は、比喩的には フッサールの言う超越論的還元(エポケー)に近いと 考えています。

## 使命感のある人は危ない

山下 支援者が陥りやすいのは、支援者であることに ロアイデンティティを持ってしまったりすることで、 にアイデンティティを持ってしまったりすることで、 にアイデンティティを持ってしまったりすることで、 であることや一定の枠組みが必要だということはある であることや一定の枠組みが必要だということはある。

**斎藤** それと羞恥心ですね。人助けという恥ずかしい

効率重視になってしまったりするわけです。か、いいことをしていると思い込んじゃう人は危ないか、いいことをしていると思い込んじゃう人は危ないか、いいことをしていると思い込んじゃう人は危ないかととしている自分にごめんなさいという。使命感と

教師を見てきたからですか。 貴戸 斎藤さんがそういう感覚を持たれたのは、反面

よ。それは精神医学で何度もくり返されてきたことできましたね。その次が医療化、精神医学化なんですけだとか、ぜいたく病だとか、価値判断で叩かれて歴史的に見ると、不登校もひきこもりも、最初は怠

医療化の議論をていねいにしておくべきだったかもし ます。そこには反省点もあって、手順的にはもう少し うにです。 れません。 のバックラッシュにつながってしまったところもあり くを学びましたが、まずかったのは福祉化を焦りすぎ の段階を達成できたように思います。私はそこから多 運動のおかげもあって、不登校はかなり早くからこ だから一部の医師や厚労省の反発を買って医療化 弱者支援の文脈で考えましょうと。フリースクー そして、その次の段階が福祉化です。 結局、 依存症に対して松本俊彦さんらがやったよ ひきこもりは、 医療化と福祉化のあ 診断ではな

命させたいと思っているんです。 は魅力を感じてしまうんですね。私は、その議論を延 は魅力を感じてしまうんですね。私は、その議論を延 は魅力を感じてしまうんですね。私は、その議論を延 は魅力を感じてしまうんですね。私は、その議論を延

だで、

いまだに行ったり来たりしています。

**扇藤** まったく同感で、その延命がないと、素朴な一

すぐ回収されてしまう。さっっさと診断して薬を出しましょうというところに、元化した議論になって、不登校はぜんぶ発達障害で、

ズムの方向に行くのではないかと思っています。 は複雑な議論がありますが、これは新しいヒューマニ てのエビデンスです。 チュードが出てきています。これらすべてに共通し 支援ではハウジングファースト、認知症ではユマニ んな方向に波及していくように思っています。 現場を中心に、その有効性が実証されていくと、 人を自由にさせるのかというスキルを考える。そこに ているのは、 かにも、依存症ではハームリダクション、ホー です。そのひとつがオープンダイアローグですが、 はちがった新しい人間主義が来るという予感があるん 私には、これからさまざまな現場で、 パターナリズムの全面撤退と成果につい 教え導くのではなく、 いかに本 ムレス 臨床 いろ

認知症介護の技術で、技術の基本は「見る」「話す」「触れる」「立つ」。 安心できる住まいを得られるようにしようという考え方。ユマニチューを、ハウジングファーストは、ホームレス状態にある人に、まずはえ方。ハウジングファーストは、ホームレス状態にある人に、まずはとなっている健康被害を行動変容などにより予防または軽減させる考となっている健康被害を行動変容などにより予防または軽減させる考となっている健康被害を行動変容などにより予防または軽減させる考となっている健康を表している。

## ハームリダクション?ヤンキー文化は

子さんのように方法論にして暴力を再生産してしまう。 ルなどでもあるわけですよね。しかし、そういうもの ルなどでもあるわけですよね。しかし、そういうもの を乗り越えて強くなったと思っている人は、長田百合 を乗り越えて強くなったと思っている人は、長田百合 を乗り越えて強くなったと思っている人は、長田百合

はハームリダクションになっているかもと思っているただ、率直に言うと、ひょっとしたらヤンキー文化

そ、残ってきたのでしょう。資源のとぼしい、 うのも、 のは、 ですが、 んです。 資源にならない国で、気合いを資源にしてきた。それ とりつくろうだけでは、かえって有害なものをもたら で、それなりの成功を得て、 けはないですからね。ブラック企業のような精神とい す可能性もあると思っていることは告白しておきます。 していますね。因果関係があるかどうかはわからない 底的に暴力が消し去られた一方で、銃乱射事件 役に立たないカルチャーが、こんなに生きのびるわ 14 でい 軽い体罰のような暴力が容認されてきたからか ない。その可能性を考えておかないと、表面を ある一時期までは生産性を上 日本で殺人事件が減少して、 たとえばアメリカ社会では、 その成功体験を捨てられ 重犯罪が少ない 公共の場から徹 げてきたからこ 人しか -が頻発

では、対話は成熟していかないでしょうね。 山下 しかし、ヤンキー文化やブラック企業的な社会

いといけないと思っています。すべての基盤としての斎藤 日本社会においても、個人主義をもっと考えな

個人主義が欠けている

貴戸 がない。私たちも、当事者研究などをしているのです ます。だけど、みんながそんな自己を持っているわけ 自分で自分のことを語ることが迫られるようになって すべてにおいて、自分で選びとって、自分で吟味して、 たら、決まったレールに乗っていればよかったのが、 なってきて、苦しい面もありますね。30年ほど前だっ 関係のなかから自己を生み出すような場が、 しかし、 個人であることが強調される社会に より

する場でもありますね。あらかじめ意味があるわけで斎藤 そうだと思います。対話というのは意味を生成 さらに主体化していくなかで回復が起こる。 するなかで、あらたに意味が生成されてくる。 はなくて、そこに複数の主体がつどって、対話を交換 それを

重要になってくるように思います。

#### 境界域の 問題だからこそ

貴戸 斎藤さんは、 ひきこもりの問題をずっと考えて

> れたんでしょうか。 ぜ、ずっとひきこもりという現象に関心をもってこら こられて、付随するものに関心を拡げていかれてます 思春期のほかの問題に関心が移るのではなく、

ずっと続いています。 ながっていくんですね。そのセンサーを鍛えるうえで ろ考えたり活動したりすることが、境界域の思考につ けではないんですが、ひきこもりをめぐって、いろい すごくクリティカルなテーマで、 し、精神医学的にすごくおもしろい対象というわ 現象として見ると、 症状もとぼ そういう興味は しいし、 病理は

もすぐ死ぬわけでもない問題に対して、 もらう素材としても有益だと思っています。 ういうスタンスを持つべきかと考える。学生に考えて をもっていますが、ひきこもりという、 たとえば、大学で社会精神医学の倫理に関 放っておいて 精神医学はど する授業

貴戸 きこもり系にシンパシーがあるように見受けます。 ん探し系」に分けて論じていましたが、ご自身は、 斎藤さんは、若者を「ひきこもり系」と「じぶ Ŋ

れは個人史からのものでしょうか

能性もあったと思います。まだ、私も思春期がくすぶっ ます。個人的に親に対する恨みつらみはもちろんない 圧倒的に本人のほうに感情移入してしまう傾向があり 能性があるとは思っていて、親と本人がいる場面では、 んですが、一歩まちがえば自分もひきこもっていた可 ているのかもしれません、 のですが、もしひきこもっていたら親を恨んでいた可 私は、 不登校経験も、ひきこもった経験もない 56歳ですけど (笑)。

味では仲間をつくりやすくなった面はありますね どこにもいなくなってますしね。しかし、そういう意 先ほどの話にもあったように、成熟した大人は、

局は、オ そのぶん価値も低い。 と思っています。ネット上の出会いは希少性がなくて、 定着しやすい てくれるかと思ったのですが、意外と使えなくて、結 **斎藤** そう思います。ただ、ネットがそこで飛躍させ ーソドックスな生身での出会いしかないかな 生身の出会いは希少性があって、

> あまりいい出会いにはならないですよね。 貴戸 コミュニケーションのコストを下げすぎると、

とえば実名で本を書いて、それゆえに「ひきこもり= 自分自身」という等式から逃れられなくなってしまう とが増えていて、それはいいことだと思いますが、 場合もありますね。そのあたりは、どうお考えでしょう。 ところで最近は、ひきこもりの当事者が発信するこ

なってしまうと、もう、 斎藤 ここにもパラドックスがあって、 まうということがありますね。 ひきこもりではなくなってし 本で有名に

屮 勝山実さんなんかも、 そうでしょうか

あの人は、 ターだと思います。 勝山さんは、絶妙なラインにいると思いますよ ひきこもりカルチャーが生んだトリックス 身体をはってやってますし、 ああ

<sup>(</sup>太田出版2011) などの著書がある。 こもりカレンダー』(文春ネスコ 2001)、 ひきこもり名人を自称して、執筆活動などをしている。『ひき 『安心ひきこもりライフ』

ような危険性はあると思います。しまって、抜けられなくなることもある。諸刃の剣のこともありますよね。アイデンティティを固定させていう人は貴重です。しかし、リスクを背負ってしまう

#### 質的な変化は

⇒ 貴戸 不登校もひきこもりも、斎藤さんもおっしゃる 貴戸 不登校もひきこもりも、斎藤さんもおっしゃる 貴戸 不登校もひきこもりも、斎藤さんもおっしゃる 貴戸 不登校もひきこもりも、斎藤さんもおっしゃる

・ はいっしまうというところがありますね。ですから、

・ はいっしゃる

 はいっしゃる
・ はいっしゃる

・ はいっしゃる
・ はいっしゃる
・ はいっしゃる
・ はいっしゃる
・ はいっしゃる
・はいっしゃる

詳細な年表をつくっていただきたいです。 斎藤 そうですね。アーカイブ化は大事ですし、ぜひ

居場所にも効果があるとなって、就労支援の枠組みにています。たとえば、「意図の間接化」と言うことで、かされるかたちで表現されていくことも大事だと思っ貴戸 それと、これまでの取り組みが制度や政策に活

いかと。含まれていくのであれば、そういう表現も必要ではな

もので、本来は成果を求めてはいけないと思います。ね。しかし、サポステは社会のインフラとして必要な効率重視の成果主義の方針がそれを許さなかったですが、斎藤 一時期、サポステがそうなりかけたんですが、

り現象に質的な変化はあると思いますか? 貴戸 ひきこもりを長期間、見てこられて、ひきこも

斎藤 20年くらい前までは、いったん就職した人がひきこもることはなかったんですが、最近は、就職経験者が仕事に失敗して、ひきこもることは増えてますす。これも平均年齢を押し上げている要因のひとつです。あと、症状は軽くなったかもしれません。すごい妄想を抱いてしまうとか、極端な強迫症状とかは、減ったような気がします。

貴戸 仕事に失敗してひきこもった場合と、不登校か

感じますか。 らの連続でひきこもっている場合で、質的なちがいは

## ホームレス化への懸念

人したらもうめんどうをみなくてもいいと思う家族はけです。しかし、若いホームレスが増え始めると、成みないといけないという思いだけでがんばってきたわ家族はいままで、何がなんでも子どものめんどうを

能性は否定できないですね。 で、イギリスのように、支援策を打ちやすい面はあので、イギリスのように、支援策を打ちやすい面はあいます。しかし、社会の不安定化、治安が悪化する可ります。しかし、社会の不安定化、治安が悪化する可能性は否定できないですね。

**山下** すでに、一部ではそういう現実も始まっている

斎藤 そうですね。 人以下ということで、まだまだ日本は、野宿者よりも がある。家族は、もうもたないですし、福祉は財源的 がある。家族は、もうもたないですし、福祉は財源的 に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして がある。家族は、もうもたないですし、福祉は財源的 に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして に無理がある。いまのように自己責任的な見方をして にもいるうちは難しいですね。

## 環境さえマッチすれば

**貴戸** ひきこもっている人のなかには、被害経験のあ

たね。底した人間不信をみたことがないとおっしゃってまし

已愛がぼろぼろになってしまうので、死に近づきやす きできた場合の話です。 徹底した人間不信が残りがちですね。P くなってしまう。 は苦しみ続けます。 回復する確率は50%程度だと言われていますが、それ それができず、 ひどい人間関係を新たな良質な人間関係で上書 つい昨日の経験のような記憶が残り続け、 そうですね。 ずっと生傷がひらいたような状態 そういう激しい痛みが続くと、 いじめPTSD しかし、 ひきこもっている 0) 場合 TSDが自然 は、 当事者 かなり

ですから、彼らの自己愛が健康なことは救いだと思わずかな例外がPTSDのケースです。的なひきこもり事例で自殺事例は経験がありません。的なひきこもり事例で自殺事例は経験がありません。のなないことがほとんどです。私の知るかぎり、典型がら死にたい」と口にする人は多いですが、実際にはから死にたい」と口にする人は多いですが、実際にはから死にたいて、「自分は生きていても仕方ない

ける。問題は、社会の側がそのサービスを充分に提供います。環境さえマッチすれば、いろんな可能性が拓ですから、彼らの自己愛が健康なことは救いだと思

ました。 大事だと思います。今日は長時間、ありがとうござい していないと思いますので、議論を重ねていくことが していないと思いますので、議論を重ねていくことが していないと思いますので、議論を重ねていくことが

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #43 斎藤環さん

インタビュー日時:2018年3月20日

記事公開日:2018年7月19日場 所:筑波大学総合研究棟D間き手:山下耕平、貴戸理恵記事編集・写真撮影:山下耕平

できていないということだと思います。

#### 兼子

娘は

11

ま24歳ですが、

小学校2年生の3学期

ずは

お子さんの不登校経験をお話しください 日 本ではそういう方が多いですよね。 で は、

まだ登場していただいてい ションでお子さんの成長を考えてきたという方には わってきたさまざまの立場の方、当事者、 に話をうかがってきました。 このプロジェクトでは、これまで、 ないので、今日はホ ただ、ホームエデュケー 親の方など 不登校に関 i ム エ

月に、

お腹が痛くて「学校に行くのが心配」という

からわが家では学校に行かせないでホー ホームエデュケーションでやっている方には、 ムエデュケーションを始めましたという方がおら ムエデュケー 最 初

いと思っています。

デュケーションについて、

いろいろお話をうかが

11

ションでやるんだという方と、不登校をきっかけに れますが、 兼子さんの場合はどちらでしょうか

兼子

不登校になってから、

ホ

-ムエデュ

ショ

をスタ

トしたというかたちになります。

兼子 奥地 夏休みに「心に穴が空いて何をしても埋まらない」 言ったことはなくて、 言ったんです。 でしょうか。 ことから始まって、 不登校が始まりました。 それまでは、 親から見て、 心に穴が 何か原因とかきっかけはあ 空 「学校に行きたくな 娘は「学校に行きたくな ほぼ皆出席で学校に通ってたん 61 Γ, γ, となって 0 た

奥地

兼子 ないなあと思って、 そうですね。 2年生のあたりから少し顔の表情が曇ってきて すごい言葉です 1年生のときは「楽しい」って言ってたんです 7歳の子が言うようなセリフでは そのときから、 「もしかし

#### #44 兼子和美さん



(かねこ・かずみ)

静岡市在住。現在24歳の娘さんが小学校2年生で不登校(2001年)、8歳 から 18 歳まで 11 年間、ホームエデュケーションで育った。15 歳のとき、 学校にも行ってみたくなり、県立単位制高校に進学、ホームエデュケーション と半々の4年間を過ごし、その後、公立大学国際関係学部に入学。13歳のと きに「植物を育てながら庭をつくる」仕事をしたいと思い立ったことから、現在、 娘さんはイギリスの大学でガーデニング&ガーデンデザインを勉強している。

インタビュー日時:2018年5月24日

聞き手:奥地圭子

場 所:東京シューレ王子

写真撮影:本間周子

感がありました。

ていると思われましたか?感じていたというのは、どういう学校の状況が関係し感じていたというのは、どういう学校の状況が関係し

兼子 夏休み以降も、娘は「行きたくない」と言うことはいっさいなく、表面的には変わりがなかったので、 何かはあるんだろうと思っていましたけど、いじめの何かはあるんだろうと思っていましたけど、いじめののまま学校に行けなくなった理由について、娘は「この後、学校に行けを続けたら、先生の言うことを聞くだけのロボットにされてしまう」と言っていました。で真っ黒な怪物がやってきて、その怪物に心を占領されたら、もう元にはもどれなくなってしまう」みたいな表現もしていました。ですから、具体的な何かというよりも、全体的な感じだったと思います。

室の、学級という王国の王様で、その先生に逆らうこまた、大人になってからの表現ですが、「先生は教

がイヤだったんだと思う」と言っていました。とはできなかった」「学校全体の圧迫感みたいなもの

**奥地** やっぱり、学校に気持ちよく、楽しく通って

**地子** と言ったので、私のほうも、学校に行かせなくなりまから2週間後ぐらいに、娘が「学校に行きたくない」 ・ そうですね。「学校に行くのが心配」と言って

## 家庭が学校に支配されている

奥地 多くのお母さんですか? とか「お腹が痛い」と言う程度だったら、がんばってとか「お腹が痛い」と言う程度だったら、がんばってとか「お腹が痛い」と言う程度だったら、がんばってとか「お腹が痛い」と言う程度だったら、がんばって

兼子 思わなかったです。娘が「心に穴が空いて

……」という表現をしたころには、私にも「学校ってに流されて、行きたくない方向に行かされるというか。 に流されて、行きたくない方向に行かされるというか。 に家庭が支配されていて、毎日、毎日、子どもに「早 に家庭が支配されていて、毎日、毎日、子どもに「早 くしなさい」とか「宿題やっちゃいなさい」とか、そ ういう言葉をかけたくないのに、かけないといけない。

あと、学校に行っていると、何か娘のよいところがあと、学校に行っていると、何か娘のよいとあって言ったときには、「あ、そうだね」って、わりとあって言ったときには、「あ、そうだね」って、わりとあって言ったときには、「あ、そうだね」って、わりとあって言ったときには、「あ、そうだね」って、わりとあって言ったときには、「あ、そうだね」って、わりとあっなうと。

うちの子も、不登校になった最初のころ、作文に「べ感じていたことがベースにあったということですね。**奥地** お母さん自身が、学校に対していろんなことを

動いたり学んだりはしにくい空間ですからね。るようだ」ということを書いてました。小学生でね感じは、子どもたちはかなり感じているのかもしれないですね。学校は、ほんとうに自由に本人の気持ちでいですね。学校は、ほんとうに追んで行かれていてする。

**兼子** 娘は、集団で子どもどうしいっしょにいること をか、学校の授業そのものは好きだったんですけど、 とか、学校の授業そのものは好きだったんですけど、

らしが始まったんですかね?が「行きたくない」と言ってから、家でやっていく暮が「行きたくない」と言ってから、家でやっていく暮

うすを見ることにしました。決めちゃうのもまちがいかなと思って、しばらくはよくわからなかったので、勝手に親が行かないでいいと

奥地 それで、ようすを見た結果は?

**兼子** 2年生の残りの3学期は、バレンタインデーのときに「お菓子をつくるから明日は学校に行く」と言たに行かないというようなことが何回かあって、3 校に行かないというようなことが何回かあって、3 校に行かないというようなことが何回かあって、3 校に行かないというようなことが何回かあって、3 校に行かないというようなことが何回かあって、3 がから離れてやっていこうって決めました。

## 近所の子たちと遊びながら

過ごされていたんですか? 奥地 その初期のころは、お子さんはどうやって家で

兼子 うちの娘は、友だちと遊びたいという気持ちが

毎日遊んでました。すごく強かったので、近所の子たちや学校の友だちと、

奥地 お友だちは、学校から帰ってきてから?

私は仕事をしていたので、最初のころは祖父母に来てもらったり、児童クラブに特別にお願いしたり、会が「家でひとりでいるほうがいい」と言ったので、私が「家でひとりでいるほうがいい」と言ったので、私が「家でひとりでいるほうがいからね」と言ったので、私が「家でひとを何しててもいいからね」と言った。 がしました。「ママがいないあいだは、あなたがようにしました。「ママがいないあいだは、あなたがようにしました。「ママがいないあいだは、あなたがようにしました。

**奥地** 親としては無理に学校に行かせようとは思わな や刺激をされるのが通例でしたけど、そのあたりはど してあげようと、さまざまに連絡を取ってきたり、登 してあげようと、さまざまに連絡を取ってきたり、登

東子 やっぱり学校からはいろいろありました。校門

奥地校門タッチ、まだあったんですね。

か、さまざまなアプローチがありました。 がないか」とか、担任の先生が自宅に来てくださると後に来てみないか」とか「学校から紹介する病院に行兼子 「校門のところまで来てみないか」とか「放課

曳地 先生が自宅に来られたときは、お子さんはどう

兼子 2年生のときは、知っている担任の先生だった

は会わなくなりました。
ないし、先生にも会いたくないと言って、3年生からにまったく行かなくなってからは、学校に近寄りたくので、来られたら会っていましたけど、その後、学校

りました。
りました。
りました。

でしょう? 学校に行かないことについて、どんな気持ちだったん 奥地 なるほど。では、ご家族、お父さんや祖父母は、

#### 家族の理解は

と言ってました。その後は「学校は行かなくてもいいせんでしたが、ときどき「学校は行ったほうがいいよ」たほうがいいと思うけど、イヤなのを無理に行かなくまけったほうがいいと思うけど、イヤなのを無理に行かなく

けど、勉強はしたほうがいいよ」に変わりました。

けど、勉強はしておいたほうがいいよと。 奥地 そこは変わったんですね。家にいるのは認める

話があったときなどには、かなり言ってきました。でしたね。登校圧力というか、学校に行けと一番言っでしたね。登校圧力というか、学校に行けと一番言っ

**奥地** 直接、娘さんと会ったときも、そういうことを

あちゃんがケンカしてる」って泣いちゃうんですよね。
かないで。言うなら会わせない」と、けっこう強く言たったら、会ったときは、いっさいそういうことを言だったら、会ったときは、いっさいそういうことを言だったら、会ったときは、いっさいそういうことを言いたいん

しだったんですよね。
でも、学校に行かないやり方を受けとめられたら、学校に行かないやり方を受けとめられたら、学校に行かないやり方を受けとめられた。

兼子 不登校の意識が強かったと思います。

には、どのように出会ったんですか? 奥地 その後、ホームエデュケーションという考え方

## との出会いホームエデュケーション

娘が学校に行かなくなって1カ月くらいして、『学なう』という気持ちが、自分のなかにあったんですね。 なんとなく「学校がもしイヤだったら自分で育ても、なんとなく「学校がもしイヤだったら自分で育てな。 娘が不登校になったときは、まだホームエデュ

校は義務じゃない』(エデュケーション・アザワイズ がは義務じゃない』(エデュケーションを紹介した本に出会って、「あ、こういう ケーションを紹介した本に出会って、「あ、こういう その後、いろんな本を読んで、東京シューレの本も その後、いろんな本を読んで、東京シューレの本も シューレに入会しました。2002年5月、娘が小学シューレに入会しました。2002年5月、娘が小学 シューレに入会しました。

やっていこうという感じだったんですか?会されたときは、わが家はホームエデュケーションで会されたときは、わが家はホームエデュケーションで会されたときは、わが家はホームエデュケーションのあり方が頭のなかにあった

ですね。そうしたら娘は「そういうやり方があるんだっうちで育つやり方があるけど、どう?」って聞いたん娘に「こういうホームエデュケーションっていう、お娘に「こういうホームエデュケーションっていう、お

まあ2~3年、とりあえずやってみよう、みたいな気ら、いちおう娘の承諾を得てホームエデュケーションを始めたし、ホームシューレにも入会しました。ですかの資料を見せて、入会することにしたんです。ですかたら、やってみたい」と言ったので、ホームシューレ

### 家で子どもひとりで

持ちでスタートしました。

ぬな1日の過ごし方をしていたんでしょう?
奥地 娘さんが小学校3~4年のころは、実際上、ど

**兼子** 朝は、自分が寝ているあいだに出かけられるの 兼子 朝は、自分が寝ているあいだに出かけられるの まされたり、工作したり、ゲームしたり、DVDを 総を描いたり、工作したり、ゲームしたり、DVDを 総を描いたり、工作したり、ゲームしたり、DVDを にであるからスター はイヤだと言って、私が仕事に行く前に起きてきて、 はイヤだと言って、私が仕事に行く前に起きてきて、 はイヤだと言って、私が仕事に行く前に起きてきて、 はイヤだと言って、私が仕事に行く前に起きてきて、 はイヤだと言って、私が仕事に行く前に起きてきて、

不登校 50 年証言プロジェクト

次にはこれをやろうって、 ていたんですか? ぜんぶ、 自分でやりたいから、今はこれをやろ お子さん自身が考えて

ことはたくさんありました。そのかわりオモチャだと いろんなことに興味関心を持つ性格なの あれ買ってこれ買ってというのも多かったんです。 そうです。 もともと生まれつき好奇心が強くて で、やりたい

学校3~ と思いますが、 ですか? 昼間は、 4年生で家でひとりというのも心配はあった おばあちゃんが来られたりはしてたん お子さんひとりだったんですよ ね。

来ると、 兼子 ほんとうに最初のころだけは来てましたけ かえって娘は気をつかうんですよね。

11 ない ほうが気楽なのね。

> 兼子 ひとりのほうがい いって言うんです。

地震でも来たらどうだろうとか。そこで、「親が仕事 を辞めないといけないでしょうか」という相談を受け たとえば火の始末だとか、 子を家にひとりで置いていく不安はなかったですか? ることもよくあります。 なるほど (笑)。しかし、 人が来たらどうしようとか、 小学校の低中学年

はフリ ばにい とりの 家にいる時間を増やしていました いほうがいい ーの仕事だったので、仕事をある程度減らして つもいてほしいという気持ちはありました。私 おじいちゃ んだけど、ほんとうはお母さんにそ ん、おばあちゃんといるよ ŋ

けど、 も、ひとりではいられないとなったら辞めるしかない そのギリギリのところでやっていました。 これ以上、娘の状態が不安定になったり、どうして できるところまでがんばってみようと思って

お子さんのようすや気持ちを見ながら、 自

仕事を調節していたということですね。それで、 生時代に困ったことは起きなかったですかっ 小学

ました。不安はあっても、 だちの家に電話をかけて、 タイプでしたし、 ったと思います。 ひとりで困ったことはなかったみたいです。友 何か怖い目に遭ったりしたことはな 家に呼んで遊んだりして わりと外には出かけられる 14

#### 地域の なかで

てい 9 たんですか? ホームシューレとの出会いは、 その後どうなっ

シューレのメンバーにも、年1回の合宿以外は、なか してからずっと入ってまして、その当時は、ホー なかなかいなくて。 なか出会える機会がなかったんです。ホームシューレ なかで「お近くの方いませんか?」って聞いても、 ホームシューレには、 ですから、 娘が3年生の5月に入会 最初は年1回の合宿を 4

> 楽しみにして、 していました。 あとは 『ばる~ ん』という冊子で交流

奥地 お子さんも、 何か投稿してたんですか

兼子 うかたちで、 はい、 参加していました。 最初から絵を描いて、 毎月投稿すると

こうという人や、不登校の人たちのつながりがありま すよね。それはどうやってできたんですか? 奥地 兼子さんのお住まいの地域には、家でやって

すけど、 域社会のいろんなものを活用して、子ども会に入った もどうしが出会う場はなかったんです。 な場はなくて、ホームシューレ以外は、 ながってやってきました。 り、地域のイベントに参加したりして、 時期的に不登校の子どもが集まって遊ぶよう 不登校を考える親の会にも行ってたん 地域社会とつ ですから、地 家で育つ子ど

のちになっ 掛川市でホー ムシュ ーレのサロ

とりするようになりました。月1回開かれるようになってからは、ひんぱんにやり

ことは、地域の人は知っているんですよね?たわけですよね。でも、娘さんが学校へ行っていないムシューレの合宿に参加する以外は、地域で育ってき奥地(そうすると、小学校のあいだは、年1回のホー

**兼子** 知っている人たちもいますし、知らないグルー 大いました。娘が人や雰囲気を見て、ここには言っておかないとまずいから、言ってもいい?」とか聞いておかないとまずいから、言ってもいい?」とか聞いておかないという場合があったので、いちいち娘にていました。 私はオープンにしてもよかったんですけていました。 私はオープンにしてもよかったんですけていました。 私はオープンにしてもよかったんですけていました。 私はオープンにしてもよかったんですけていました。 私はオープンにしてもよかったんですけていまし、知らないグルー

だり行事に参加していたんですか。奥地 本人は、あまり気にしないで、地域の子と遊ん

兼子 楽しく遊べる場所だったら、別に学校行ってる

子でも行ってない子でもかまわないという感じでした。

ですね。奥地(そうできたのだったら、それはとてもよかった

# 中身よりも、やってたことが大事

奥地 ところで、小学校も高学年ぐらいになると、一奥地 ところで、小学校も高学年ぐらいになるといれたのか、あるいは、お子さんはどういうかのご家庭では学習が気になるわけですね。だいたい般のご家庭では学習が気になるわけですね。だいたい

人が何かやろうというきっかけがあってからでも間に思っていたんです。もうちょっと平気になったり、本した。なので、本人が学校に対して否定的な感情があいは、生活と遊びから学んでいけばいいと考えていま兼子 学習に関しては、私自身は、小学生のうちぐら

ない?」と言っていました。で、4年生ぐらいからは「勉強したほうがいいんじゃで、4年生ぐらいからは「勉強したほうがいいんじゃほども言いましたように勉強は大事という考え方なの合うだろうと考えていたんですけど、夫のほうは、先

ぬですよね。 奥地 やっぱり高学年になると、より気になってくる

**兼子** そこで話し合って「あなたが大事だと思うんだったら、あなたが子どもと話し合って学習を勧めるだったら、あなたが子どもと話し合って学習を勧めるい関わらない」と言ったんです。娘が「教えて」って来れば、それは教えるけど、私から「やりなさい」と来れば、それは教えるけど、私から「やりなさい」とはいっさい言わないから、やるんだったら、ふたりではいっさい言わないから、やるんだったら、ふたりで相談してどうぞって。

どうなったんですか?
奥地 あはは、なるほど(笑)。それで、その結果、

兼子 最初はすごいケンカで、毎日、「やれ!」「やり

たくない!」みたいな。しかも、窓を全開にしてケンカしているもので、近所の人に丸聞こえだから、私もさすがに「ケンカするのやめてくれない?」って言ったんですよ。そうしたら夫が「僕たちケンカなんかしてないもんね」と言って、娘も「ねーっ」って言って、そこでふたりがタッグ組んだんですよ(笑)。そして、おもしろいことに、そこからケンカしなくなっちゃったんです。なんでかわかりませんけど。

どうなったんですか? 奥地 おもしろいですね。それで、結局、勉強の話は

**兼子** 娘は、やったりやらなかったりで、夫のほうも、チェックしたり、毎日厳しく見ることはなくなって、ば教えるから」みたいな感じになっていました。娘はば教えるから」みたいな感じになっていました。娘は

たけど、学校の勉強もちゃんとしてた」って、胸をただ、あとから、娘は「私は学校には行ってなかっ

奥地 そうですね、それ、意外と大きいかもしれないは「私はやってたんだ」ってことが大事で、15分でもと思いました。

奥地 そうですね、それ、意外と大きいかもしれない奥地 そうですね、それ、意外と大きいかもしれない奥地 そうですね、それ、意外と大きいかもしれない奥地 そうですね、それ、意外と大きいかもしれない

ダメだよ」とか、平気で言うんですよね。 競争 地域の子と遊んでると、子どもたちは「学校の

学校に行って国語・算数・理科・社会をやっているの奥地 それもあるかもしれませんね。地域の子たちは、

ていると、そう思うことはありますよね。ておかなきゃと思ったり、地域の学校の子とつきあっを知ってるわけだから、自分はやってないとか、やっ

だけど、知ってる?」とか、子どもどうしはふつうに 兼子 はい。たとえば、算数で「今日はこれやったん

言うんですよ。

奥地
それで、くやしかったりしてね。

兼子 そう、あとで泣いてたりしてね

はドリルか何かをしてたんですか?おこうみたいな気持ちにはなったんでしょうね。勉強奥地 そう、そう。だからやっぱり、ちょっとやって

**兼子** 算数と国語の漢字ドリルだけだったと思うんです。

奥地 もっぱら、お父さん?

系のことをやってましたね。 目15分~30分程度で、あとは、夫が「理科の実験をいっ日15分~30分程度で、あとは、夫が「理科の実験をいっまで実しょにやろう」と言って、リトマス紙を買ってきて実しない。

もあったのかもしれませんね。 奥地 お子さんのほうも、おもしろいなあと思うこと

いし、おもしろいと思う性格なので。が強いので、遊び半分でやるぶんには、何でもやりた兼子の娘は、理系も文系も大好きなんですよ。好奇心

学校には愛想がつきた

奥地 学校の先生は、何も言ってこなかったですか?

せないということも言われました。地悪したり……。たとえば、進級させないとか卒業さした。私に対して厳しく言ってきたり、脅したり、意兼子 いや、もちろん学校からは、けっこう言われま

お母さんが防波堤になられたわけですね。 奥地 14~15年前だと、まだそうですよね。そこで、

**兼子** そうですね。学校に行くと、「このまま学校に ・ないまうどうしようもないですよ」みたいな言い方 さんはもうどうしようもないですよ」みたいな言い方 さんはもうどうしようもないですよ」みたいな言い方 とんばもうどうしようもないですよ」のたいな言い方 なんはもうどうしようもないですよ」のよま学校に ・ このまま学校に

奥地 そうですよね、昔は無責任にいろいろなことを奥地 そうですよね。私も「登校拒否してるような子は進言いましたよね。私も「登校拒否してるような子は進言かましたよね。私も「登校拒否してるような子は進

兼子

は 1,

自分の判断です。

そこで、あらためて、

約束は守らないし、 愛想が尽きたというか。いろいろひどいことを言うし、 すます学校には行かせたくないって思っちゃうぐらい、 るんだろうって思いました。ですから、私は逆に、ま そう。 なんで子どもの可能性をこんなに否定す 嘘はつくし……。

奥地 学校は、 そうよね。

兼 子 いじゃないですか」って平気で言うんですね。 最悪なのは「子どもをだまして、つれてきたら

業式はどうされたんですか? えし、 ひどいね、それは。 それで、 小学校の卒

に行きました。 さんざんイヤミを言われましたけど。

娘は卒業式も行かないで、

私が卒業証書を取

'n

奥地 仕事だったんじゃないですかね。 そうでしょうね。まあ、 それに耐えるのが親の

> すが、 兼 子 まあ娘のことを考えると、「NO」はハッキリ言いま 自分のことだったら怒鳴り返してるんですけど、 ガマンしたことも多かったです。

奥地 そうでしょうね

### 劣等感を脱けて

奥地 たんでしょう? 子もいますけど、娘さんの場合は、どういう気持ちだっ は不登校していて、「中学からは行くからね」という 中学校はどうされたんでしょう。 小学校のとき

兼 子 変わってしまっていたのが、また本来の娘にもどって か、不登校になってから、 ンッと抜けられた感じだったんですね。 とか、身体的な具合の悪さとか、そういうものからパ 別にどうってことないや」って、 すごくいい感じになったというか。 中学に行く前のころになると、「不登校って 娘がちょっとちがう感じに 劣等感とか、否定感 なんという

奥地 いうか、こだわらなくなった。 つまり、 学校のことはもう気にしなくなったと

兼子 とを見て、「中学生は楽しくなさそうだから、 校は行こうと思えば行けるんだけど、どうしようか はやめた」って。 な」って考えて、 そう、こだわらなくなって、 地域で学校に行っている子どものこ あらためて「中学 行くの

奥地 んですかね? 「楽しくなさそう」というのは、どこの情報な

兼 子 学生を見てたりしていたんです。 います。たとえば、剣道をやっていたので、 地域で中学生を見ていて、そう思ったんだと思 そこで中

奥地 まあ、 自分の判断ということですね

奥地

兼子 そうです。

は 知っ ていたんですか? お子さんもホームエデュケーションという言葉 このままホームエデュケーションを続けようと、

が決めました。

兼子 はい。 小3のときから言っていたので。

奥地 でおられた。 娘さんも、 ホームエデュケーションという意識

兼子 使ってなかったですけど、 感じですかね。 まあ、 ホームエデュケーションという言葉は そういうやり方で行くって

そうしようということですかね 家で育つあり方があると思っていて、 中学でも

揺れはなかったですか?とか、高校受験があるからどうしようとか、そういう奥地 中学校のあいだは、途中で学校に行ってみよう

兼子 それは、まった

**兼子** それは、まったくなかったです。

ぬうに過ごしてたんでしょう。
のときは、家ではどういう

**兼子** 小学校6年生のときに、もう不登校という意識 で、まあ、いろんなことやって、夜は「あー楽しかっ て、毎日「今日は何しようかな」って笑顔で起きてき で、毎日「今日は何しようかな」って笑顔で起きてき

### 習いごとに忙しく

い人が多いと思いますけど、どういう過ごし方だったを楽しく過ごして充実するって、なかなか想像しづら奥地 学校に行かずに家にひとりでいて、それで1日

んでしょう。

がいっぱいある毎日でした。 兼子 そのころには習いごとも増えて、やりたいこと

くて。 奥地 なるほど、家のなかに、ずっといるわけじゃな

**兼子** そうですね。地域の友だちは、みんな自分たち かって、精神的には、すごくホームシューレのお友だ なって、精神的には、すごくホームシューレのお友だ なって、精神的には、すごくホームシューレのお友だ

か? 奥地 習いごとは、剣道以外は何をなさってたんです

や創作が好きなので、図画工作教室とボタニカルアー第で、毎週土日は海に行っていました。それから、絵兼子 そのころは、ヨット少年団に入って、お天気次

ト(植物学的な絵画)をやってました。

奥地 それは週1ぐらいですか?

兼子 美術系は週1~2回で、剣道は週2でやってい

ろんな人と出会っていたわけですね。 奥地 けっこう、いろんなところに行って、そこでい

### 横浜に通いながら

きました。岡にはなかったので、4年間くらいは通わせていただのにはなかったので、4年間くらいは通わせていただました。そのころは横浜まで通っていました。静兼子(はい。ホームシューレのサロンにも、月1回行っ

ラソルという名前でやってますよね。読者の方に、ホー1回としても何十回も通っていたんですね。 横浜はパ奥地 4年間というのは、けっこう長いですよね。月

けますか。ムシューレのサロンがどういうものか、お話しいただ

やってたんですか? 奥地 横浜のパラソルは、場所はどういうところで



18歳のときに描いたボタニカルアート作品(国立科学博物館・植物画コンクール受賞)

不登校支援の施設を無料で借りて、開催していました。 兼子 何回か変わったんですけど、そのころは、市の

奥地 当時は、何人ぐらい集まっておられましたか?

**兼子** サロンって、子どもの成長に合わせて、すごく 人数の波があるんです。娘が行き始めたときは、ちょ 人数も少なめのころでした。一番少ないときには、ふ たりというときもありましたね。でも、また新しい方 に声をかけて、少しずつ増えていく時期だったと思い に声をかけて、少しずつ増えていく時期だったと思い

奥地 子どもと親と両方が来るような感じですか?

だけが集まるような場もあります。
横浜は、親子サロンなのでいっしょでした。親

奥地 子どもたちは集まって、どんなことをしていた

んですか?

**兼子** そのころは、絵を描くのが好きな子どもが多ま子 そのころは、絵を描いたり、ゲームをしたり、おしゃべりをしながら絵を描くっていうのが「最高に幸せでべりをしながら絵を描くっていうのが「最高に幸せででしたり、と。だから、それだけで充分で、余分なこと楽しい」と。だから、それだけで充分で、余分なこと楽しい」という。

ているよ、みたいな。 ムエデュケーションの意識ですかね。家を中心にやっムエデュケーションの意識ですかね。家を中心にやっ

**兼子** ホームシューレの会員さん中心だったので、あ

## 自主サロンを立ち上げて

曳地 掛川のサロンは、どういう経緯で始まったんで

**兼子** 横浜のパラソルに通って、静岡にもそういう場所があったらと思って、サロンを開きたいと思ったん所があったらと思って、サロンを開きたいと思ったんがあったらと思って、サロンを開きたいと思ったん

奥地 しんどいと、外に出にくかったりしますしね。

の会に出たりしながら、参加者をさがしました。合うところから始めようと思って、地域の不登校の親兼子 そうですね。なかなかいないので、親子と知り

**奥地** 不登校の親の会というのは、登校拒否を考える

兼子はい。

はなくて、いろんな人が不登校のことで来ているわけ奥地 そうすると、ホームエデュケーションの意識で

ますと紹介をされたんですか?ですよね。そこに参加されて、こういう活動をしてい

もおられるしね。行けるようになるんだろう」と思いながら来ている方行けるようになるんだろう」と思いながら来ている方いんだろうか?」と思われるし、「どうしたら学校に奥地」なかなかね。やっぱり多くの方は「家だけでい

なくて苦労しました。 になってくださったんです。だけど、なかなか集まら兼子 世話人の方にはすごく理解していただいて、力

奥地 掛川のサロンが立ち上がったのはいつごろです

かっ

**兼子** 今年でちょうど10年になりますから、2008年です。掛川の前に、ホームシューレ主催の静岡サロケです。掛川の前に、ホームシューレ主催の静岡サロケーです。

50人はいましたよね。 ンじゃないですか? この前、参加したときには40~奥地 いまやホームシューレのなかで一番大きいサロ

**兼子** ふだんは、そんなにいません。常連では、親子

裏す。多くはホームシューレ会員なんですよね?
奥地 でも、10年続くっていうのは、しっかりしてい

たいと言って、入ってくださる方がけっこういらっは入っていなくても、やっぱりホームシューレに入り兼子 はい。ほとんどホームシューレ会員です。最初

シューレを退会された方もいますけれど。しゃるので、大体はホームシューレ会員です。ホーム

行かれてたんですか? 奥地 娘さんは掛川のサロンには、どれくらいの期間、

くなっちゃったんです。の単位制定時制高校に行くことになって、参加できな兼子 娘は、立ち上がって1年も経たないうちに県立

### 定時制単位制高校に

卒業のころからの話をうかがえますか? 奥地 なるほど。では、娘さんの話にもどって、中学

県立の定時制単位制高校に行っていた子がいて、大学たので、「高校は行こうかな」というのは、わりと早たので、「高校は行こうかな」というのは、わりと早たので、「高校は行こうかな」ということを知っています。

して行くことになりました。して行くことになりました。場立だったので、いちおう受験と決めちゃいました。県立だったので、いちおう受験と決めちゃいました。県立だったので、見学に行ったり、いいし、すごく自由のある高校だと聞いて、「じゃあ、のように授業も好きに選べるし、週に何回行ってものように授業も好きに選べるし、週に何回行っても

か? それとも理・社も? 奥地 教科受験があるわけですよね。英・数・国です

兼子 5科目です。

けど、どうやって5教科勉強したんですか?いいか、想像がなかなか難しいという場合も多いですエデュケーションでやってくると、受験をどうしたら奥地 へえ、5科目ぜんぶやったわけですね。ホーム

験勉強はしませんでした。ただ、テストを受けたこと自分で少し教科学習をやってたんですけど、とくに受兼子 とくに何もしてません。中学生になってから、

やるんだよ」というような練習は、直前にしました。とで、過去問題を買ってきて「これを1時間、座ってないので、テストを受ける練習だけはしようというこ

奥地 そうなんですよね。テスト慣れしてないから、内容よりもテストそのものなのよね。名前だけじゃなくて番号も書かなきゃいけないとか、時間内にやらないといけないとか、でも、そこで「うーん、うーん」って考えてたら、ほとんどできないまま「はい、出して」ってきれた。ったとかね。だから、ちょっと練習してで言われちゃったとかね。デスト慣れしてないから、

**兼子** 想像もできないと思うんですね、テストをどうか、わかる問題は書けばいいし、できないところは飛計って、テストを受ける練習は、何回かしました。過計って、テストを受ける練習は、何回かしました。過計って、テストをどうるがというのは。なので、時間をが、わかる問題は書けばいいし、できないところは飛が、わかる問題は書けばいいし、できないと思うんですね、テストをどう

奥地 そうですね。そのぐらいおおらかに「この自分

まく行くんですよね。を入れてくれるなら行くよ」ぐらいの感じが、一番う

来年でもいいじゃない、という気持ちで受験しました。うしても行きたかったら、また秋に受ければいいし、兼子 秋にも募集があったので、落ちたとしても、ど

すよね。 奥地 でも、受験したら、パッと入っちゃったわけで

兼子はい。

が、けっこうあったんでしょうね。 奥地 ふだんのいろんな経験から身についているもの

ですけど。 英語とかはまったくできなかったどできるんですね。英語とかはまったくできなかった

奥地 英語はなかなか厳しいですけど、社会や理科な

するからね。

兼子 だいたい半分ぐらいはできていたと思います。

## 学校も行ってみたかった

奥地 高校へは、なんで行きたかったんですかね?

学校も行ってみたいということだったと思います。イヤじゃないし好きだけど、好奇心のある子なんで、兼子 ホームエデュケーションは、ずっとやっていて

奥地 高校で何か学びたいってことですか?

られないので、部活で剣道をやってみたいというのもいます。あと、剣道は学校に所属してないと大会に出という気持ちや、学びたいという気持ちがあったと思さん子どもがいる場所で、友だちをつくって遊びたい 美子 学校に行ってみたいというのは、集団で、たく

**奥地** きっと、そうですよね。授業はどんな感じだっ

兼子おもしろいと言ってました。

奥地 やっぱりね。東京シューレのフリースクールの 奥地 やっぱりね。東京シューレのフリースクールの きつて、「おもしろい」とか「新鮮」とか言いますね。 と行っていた子は、あんまり積極的に質問しないんで と行って。「シューレの子はすごい積極的ですね」って 言われたことがあります。娘さんの場合も、ほんとう 言われたことがあります。娘さんの場合も、ほんとう に新鮮だったのかもしれないですね。

生とのお別れもさびしかったようです。 
なったんですが、自分で選んだ興味のある授業を受けなったんですが、自分で選んだ興味のある授業を受けなったんですが、自分で選んだ興味のある授業を受けなったんですが、自分で選んだ興味のある授業を受けなったんですが、自分で選んだ興味のある授業を受けなったんですが、自分で選んだ興味のある授業を受け

あったと思います。

実がありますからね。 よね。学校じゃないと権利が与えられないみたいな現奥地 なるほど。たしかに、そういうこともあります

やってるんだけど、知識がバラバラなんですよね。ホームエデュケーションって、すごくいろんなことを兼子 それと、これは私が思ったことなんですけど、

とですかね。 奥地 バラバラ……。系統的に学んでないみたいなこ

すごく落ち着いて、よかった部分はあると思うんですとで、自分が今までやってきたことが統合整理されて、あったのかなと思います。高校で系統的に学んだこあったのかなと思います。高校で系統的に学んだこう。系統的には学んでないので、一度、

して捉えられたって感じなんですかね? 自分から求めているし、楽しく充実して学べる空間と奥地 高校は、小学校の圧迫される感じとはちがって、

兼子

兼子はい。

奥地 それで、せっせと行っていたわけっ

自分で決めて、自分で行っていました。

兼子

# 学校もやりたいことのひとつ

すかね? 奥地 娘さんが高校で力を入れていたものって、何で

充ったので。兼子 高校に行く一方で、自分のやりたいことはホー

学校を活用するぞ、みたいな感じなんですかね?か? 剣道を習ってるのもそうだし、学校で学んだとつだし、絵を習ってるのもそうだし、学校で学んだとつだし、絵を習ってのもホームエデュケーションのひとつとして学校へ行っているということですのは、ほう、そうなんですか。ホームエデュケーショ

**兼子** そういう意識なんでいました。 のひとつが学校というだけのことでした。ただ、高校のひとつが学校というだけのことでした。ただ、高校のひとつが学校というだけのことでした。ただ、高校のひとつが学校というだけのことでした。ただ、高校のひとつが学校というだけのことでした。ただ、高校のひとつが学校というだけのことでした。

うことになりますね。 まあ、でも非常にいいかたちで、学校を利用したといめ、学校って、ずいぶんの時間を占めますからね。

兼子 そうですね。

**奥地** それで、3年で卒業して、その後の進路どう考

### 庭をつくる仕事を

**奥地** 進路については、在学中から卒業したらこうし

**兼子** はい。中2年齢の13歳のときに、いろいろと家を立くる仕事をやりたい」と決めたそうです。あら庭をつくる仕事をやりたい」と決めたそうです。ある本を読んでいて、そういう考えが「天から降りてきが かってきたなかで、「将来、自分は植物を育てなが

奥地「これだ!」って思ったんだ。

兼子(そうです。

奥地 おうちでも、庭いじりをされていたんですか?

兼子 遊びのなかで、花を買って育てたり、盆栽をしたりしてましたけど、「そこまで植物好きだったの?」 という感じだったんですよね。そんなに一番好きなこという感じだったんですよね。そんなに一番好きなこという感じだったというか。ただ、本人からすると、好とではなかったというかを通して人と関わったほうが自分はしいんです。植物を通して人と関わったほうが自分はながら植物を育てる仕事のほうが室内の仕事よりもながら植物を育てる仕事のほうが室内の仕事よりもながら植物を育てる仕事のほうが室内の仕事よりもながら植物を育てる仕事のほうが室内の仕事よりも

ていたということですか? 奥地 なるほど。では、高校もそういう意識から行っ

んです。 ボタニカルアートは、その勉強の一環としてやってた 兼子 高校時代も、植物の勉強など自分でしていて、

奥地それんです。

奥地 それで、卒業後は?

イギリスの大学へ

**兼子** 高校で、意外と学校の勉強は楽しいとわかったので、大学に行ってもいいかなと思って、大学は植物ので、大学に行ってもいいかなと思って、大学は植物たんですけど、行きたい大学が日本にはなかったんで

たということですか? 奥地 日本になかったということは、海外に目を向け

ギリス人のガーデンデザイナーさんだったんです。そ 兼子 この仕事と思わせた本の作者は、日本在住のイ

行くことにしました。日本の大学では、そういう庭をつくずの国際関係学部へ、センター受験と一般受験をして、オギリスに留学する自信がなくて、いったんは公立大学の国際関係学部へ、センター受験と一般受験をして、

しました。そこからイギリスの大学に留学年の前期までやって、そこからイギリスの大学に留学年の前期までやって、そこからイギリスの大学のことを

奥地 公立大学のほうは?

兼子 休学して、留学しました。

語はどうしたんですか? 英語は苦手だったとおっしゃってましたでしょう。英奥地 先ほど、ホームエデュケーションでやってきて、

予 高校生になってから、英語は始めました。

まで2年間、ほとんど独学で勉強しました。にして、中学校のドリルや参考書を買ってきて、受験まで何もやってないから、自分で一から勉強することの授業をちゃんと取らなきゃいけない。だけど、それに行くかもしれないって考えたら、高校の授業も英語

ハードル高いと思うんですけど。 発表したりしなきゃいけないわけですから、なかなか発表したりしなきゃいけないわけですから、なかなか

**兼子** 大学入試も国際関係学部なので、ぜんぶ英語

やっちゃうもんですね。不登校してから海外に行く人やっちゃうもんですね。不登校してから海外に行くはんて、ろくにやってないでしょう。だから、最初はんて、ろくにやってないでしょう。だから、最初はない。という

しちゃってるんですよね。たちもいる時代になりましたけど、みんな、なんとか

兼子なんとかしなきゃいけないから、なんとかする、

か? 奥地 娘さんが海外に行かれたのは何歳のときです

兼子 21歳です。いま24歳で、3年目が終わったとこ

奥地 4年制の大学ですか?

(行ったので、合計4年間で、来年で卒業です。1年間専攻のちがうところに行ってから、いまの学部の大学は3年で学士卒業なんですが、

奥地 そうですかね?

**兼子** まだ卒業後のことは考えてないと思います。本

イギリスで学んでガーデンデザイナーになるという。
奥地 では、いまは目的を達成中ということですね。

兼子 そうですね。

## 学校中心か子ども中心か

の体験を通してみて、どう思われますか?と考えるのはかなりちがうと思いますが、そこは自分と考えるのと、不登校

もうこの育ち方でいいじゃん」と思ってしまったので、兼子 私は、イギリスの本を読んだときから、「ああ、

かで学校に縛られて抜けられない。

いました。不登校という考え方でいるかぎり、どこう考え方に変わって過ごすのとでは、かなりちがうとけが不登校で過ごすのとホームエデュケーションといけが不登校で過ごすのという考え方に変わって過ごすのとでは、かなりちがうという考え方に変わって過ごすのとでは、かなりちがうという考え方に変わって過ごすのとでは、かなりちゃったんホームエデュケーションに頭がすっと行っちゃったんホームエデュケーションに頭がすっと行っちゃったんかで学校に縛られて抜けられない。

奥地 学校がくっついてるんですよね。

**兼子** 私にとって、ホームエデュケーションって、もう学校を捨てちゃって、あとで子どもにプラスになるのだったら、また利用するよ、ぐらいの考え方なんですよね。ほんとうにのびのびと、何というか、自分たちが中心なんです。子どもが中心だし、自分の家庭が中心でやっていく。学校は、あくまで子どもが望んで、子どもに合えば活用するものという考え方です。ですから、学校中心の考え方でいるか、子ども中心、自分の家庭中心でいるか、その基本の考え方のちがいが、すごく大きいと思います。

ピーです。かっったって、心から思っています。家族みんなでハッかったって、心から思っています。家族みんなでハッ私も夫も娘も、ホームエデュケーションで育ってよ

奥地 お父さんもよかったって?

**兼子** 夫も、あとからは「よかったなあ」って、しみ

奥地 そうですか (笑)。お子さん自身も、そういう

言ってます。 ンで育つのが空気のようにあたりまえに育った」と兼子 もう、まったく。「私はホームエデュケーショ

# ホームエデュケーションの良さは

少しずつ進んで、不登校への寛容度は上がってきてい奥地 日本では、不登校を受けとめることは、やっと

そのあたりは、どう思っておられますか?うのは、なかなか理解が進んでないように感じますがるように思いますけど、ホームエデュケーションとい

**兼子** そうですね……。不登校は受けとめて、学校に は行かなくてもいいけど、でも、いつかどこかで学校 に行ってくれるのを待つみたいな考え方の方が多いの に行ってくれるのを待つみたいな考え方の方が多いの がないでしょうか。学校じゃなかったらバイトか仕 事で、やっぱり日本社会の流れに乗ってくれるのを 事で、やっぱり日本社会の流れに乗ってくれるのを 事で、やっぱり日本社会の流れに乗ってくれるのを 事で、やっぱり日本社会の流れに乗ってくれるのを

いがちですよね。 奥地 それだけ学校に行くのはあたりまえのことで、学校のイメージが強くて、学校に行ってる子と比べイメージとしては、ついつい学校に行かなくなっても、学校のイメージが強くて、学校に行かなくなっても、

て知らせていきたいですが、育て方のひとつとして、もっと積極的に、ホームエデュケーションもいいよっにくい。ですから、不登校を受けとめるというよりも、ホームエデュケーションの良さは、なかなか伝わり

兼子 自由ですね

奥地 何が自由なんですか ね

歩い 自分の子どもや家庭がやりたいこと、進みたい方向に 世間とか一般とか基準とかにあまり縛られることなく るという感じです 兼子 ていけるってところが、 自分の 心に正直に、 (笑)。 ホームエデュケーションは、 自分が自由に生きてい 私は好きかな。 け

性が育たないんじゃないか」と言われたりしますけど、 無理して合わせたり、 その点は、 一方で、よく「ホームエデュケーションだと社会 それが 実際にやってきた立場からどうですかっ ペハッピー が な感じの元ってことですよね んばったりしなくてい いとい

ころと関わり うちの場合は、 ながら育ってきたので、社会性はまった 地域社会をはじめ、 いろんなと

く心配ないと思うんですね

たとえば、どういう点が良さだと思いますか?

奥地 果的にそうなったって感じですか たんですか。 それは意識的にいろんな人と出会うようにされ それとも、 子どものタイ ・プから して、

かして、 兼子 格から偶然こうなったというわけではないと思います。 りました。そのあたりは意識はしました。子どもの性 半分ずつですかね。 いろいろつながっていこうという気持ちはあ 子どものタイプをうまく活

奥地

そういうやり方で、

お子さんの個性も伸び

7

るなと思いますし、ホー

ムエデュケ

・ショ

ンであって

ŧ, 政に対しては、どういうことを望まれますか 自立していく道筋をちゃんと歩ん でますよね。

ちになったら、 に認めてほしい 私としては学校対応が一番 ームエデュケーションを教育の 私はうれしいなと思います。 学校に籍を置かなくても のス ひとつとして国 トレスだった 11 かた

兼子

で、

ムエデュケー しいと。 親の就学義務を学校だけに限定しないで、 ションの家庭はそれを登録制として認め

奥地

てほ

兼子 ました。 私は、 登録制にしてもらって b 11 と思 0 て

奥地 今日は、 選択肢にできるようにしていきたいなと思っています。 こともあるので、 は変わっていないんですよね。 は認められたけど、 で入ってるんですね。ただ、学校以外の学びの重要性 会確保法は、 ースクールもホームエデュケーションも、 きちんとは決まらなかったんですけど、 11 い話をいろいろありがとうございました。 視野としてはホー すぐには無理だと思いますけど、フ システムとしては、親の就学義務 来年には見直しという ムエデュケーションま ひとつの 教育

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #44 兼子和美さん

インタビュー日時:2018年5月24日

記事公開日:2018年8月7日 場 所:東京シューレ王子

聞き手:奥地圭子 写真撮影:本間周子 まとめ:奥地圭子

奥地

今日はよろしくお願いします。

#### 西村

当時の状況では、そうだと思いますよ (笑)。

衛生センター

の中国四国ブ

口

クで協議会を開くとこ

ただけるのではないかと思ったんです。

まあ、

東京に変な人がいる、

これは何かヒント

をい

#### の年あたりです

#### 西村 ね。 から にうかがった際、 の報告 ずい 今日はこの冊子 -』)を持ってきました。 (『不登校への理解-

ぶん前の資料ですね。 東京シュ V で

センターとなってますね。 日付は1990年7月29日、 シンポジウムをしたときの記録です 西村さんとの出会いが相当 場所は山口県視聴覚 山

っと前からで、 たしか86 87 年 のことです。

すぐに知りました、東京に変な人がいると(笑)。

#### 奥地 西村 古いことがわかります。 85年に東京シュ b レができているので、

西村 もしろいことを言っていたなあと思って。 してみたら、 んも登場していますね(#40)。それで思い出して探 このプロジェクトのインタビューに、 この冊子が出てきたんです。 けっこうお 中澤淳さ

-その実践

もそも、 奥地 たんですか。 では、 どうやっ その てシューレのことを知って あたりの話から、 お聞きします。 いただい

す。そうすると、たいていは本人の性格だとか、 で知ったんだったと思います。 そうなのかな?」と感じて悩んでい の問題だとか書いてあるわけです。 らもよくわからなくて、 んですが、 は精神保健福祉センター)に不登校の相談が来ていた たまたまです。 相談件数は増えているものの、 当時、 文献に頼るしかなかったんで 精神衛生センター たところ でも、 当時はこち 「何か変だ

#### #45 西村秀明 さん



(にしむら・ひであき)

1949年、山口県生まれ。1972年、日本大学文理学部心理学科卒業、山口県 中央児童相談所、宇部保健所(現宇部健康福祉センター)、山口県精神保健福 祉センターを経て、2003年より宇部フロンティア大学教授。臨床心理士。精 神保健福祉士。著書に『子どもの心理 親の心理―子育てはこころ育て』、『ひ きこもり その心理と援助』、久保武さんとの共著に『不登校の再検討―子ど もたちへの理解と対応 思春期精神保健活動からの報告』(いずれも教育史料出 版会刊)。

インタビュー日時:2018年6月30日

聞き手:奥地圭子

場 所:東京シューレ大田

写真撮影:木村砂織

それで、

奥地 うど山口が企画担当だったんです。それが奥地さんと えています。 の最初の出会いでした。 湯田温泉で行なわれた大会でしたね。 西村さんが、 不登校と出会われたの それ は は、 覚

ろだったので、そこにお呼びしようじゃないかと。ちょ

西村 最初は、 児童相談所にいたころです

つごろですか。

### 人生はなりゆき

ます。 西村さんの個人史を簡単にうかがっておければと思い お生まれも山口ですか。 児童相談所に勤められるまでの経緯も含めて、

大学もなりゆきで行ったんですが、 の方々のことに関心を持って、 うになりゆきで児童相談所に勤めることになりました。 そうです。 大学は県外に出て卒業して、 ほんとうは精神病院に そこで精神障害者 ほ 6 ح

> て、行くところがなくなって…… 行きたかったんです。 しかし、すべて断られてしまっ

幹にありましてね。いまでも人生なんてなりゆきだと 所への勤務を命ずるという通知が来て、要するに、ほ 仕方なく受けていたんです。それで、 思っています。 るんですが、 です。トルストイが「人生はなりゆきだ」と言ってい かに行くところがなかったので児童相談所に勤めたん ですが、ようやく2月下旬か3月上旬ごろに児童相談 んですが、2次で採用がなければ、教員といっしょで、 不合格と同じなんです。 一方で、 山口県でも何かひとつ試験を受けておけというので 公務員試験は受けていたんです。 それが僕にぴったりで、 就職したのは1972年のことでした。 なかなか通知が来なかったん 1 次 は しっかり僕の根 親が地 合格した

奥地 大学のときには何か資格は取られたんですかっ

西村 ませんでした。 11 いえ、 ぜんぜん。 当時は、 何も資格なんてあ

会ができたのが1973年ですから、同じころです は児童相談所に行ってますよね。 るんです。そのころだと、 1 9 2 5 うちの子は78年に不登校して、 1972年というと、国府台病院のなかに希望 ・2009/児童精神科医)に会ってい 不登校している子の親たち 80年に渡辺位先

が多かったように思います。 た学校に行かない子というのは、神経症的な状態に追 んどうをみないので生活ができないという子どもたち いやられている人は少なくて、要養護、 そうですね。ただ、当時の児童相談所に来てい つまり親がめ

児童相談所に持ち込まれたということですか。 代になっても、 多くて、それは、 よね。それが、 いというなかで長期欠席している子が多かったんです ているとか、貧しくてどうやって暮らせるかわからな なるほど。 まだ山口のほうにはいらして、 だんだん減ってはくるけれども、 親がいなくて親戚の家にあずけられ 戦後しばらくは長欠児の数はすごく それ 70 年 が

> 設が全国に設置され始めるんです。それによって長\*\*\*。それと、1972年から情緒障害児短期治療施ね。それと、1972年から情緒障害児短期治療施 所は、施設入所も含めて、 うこと自体が問題になるということではなかったです 養護施設へ措置されていました。学校へ行かないとい に児童相談所に来ていたという印象でした。 れ考えず情短施設へという流れになっていて、 いといけないわけですが、長欠時については、 ムができあがってしまった観がありました。児童相談 欠児は、児童相談所から情短施設に流れていくシステ うに思います。だから、たいていは保護されて、 まだまだ、全国的にもそういう傾向は 子どもたちの処遇を考えな あっ あれこ 形式的 児童

ている。2016年の児童福祉法改正で、児童心理治療施設と名称変 以上を被虐待児が占める。また、約3割が広汎性発達障害の児童となっ は児童虐待への対応が求められるようになり、現在は在籍児童の7割 タルケアなどを目的とし、 \*更された。 1962年から)。当初は学校恐怖症(不登校)や年少非行児童のメン 9 2018年現在、 6 1年の児童福祉法改正で定められ 12歳未満を対象としていた。しかし、近年 全国に50施設できている た施設 (開設は

奥地 児童相談所には何年ぐらいおられたんですか?

市の保健所へ転勤することができました。 古けど、結局は4年間いました。その後、国の施策で なったと聞いて、こっそり保健所の方に自己PRして、 なったと聞いて、こっそり保健所の方に自己PRして、 なったと聞いて、こっそり保健所の方に自己PRして、

社会復帰促進事業は、精神障害者の方に社会とつながっていっていただくという取り組みで、いろいろたいへんな思いはしましたけど、自分がそこで仕事をしているという実感はありました。児童相談所では、ある意味、事務的な流れに沿ってやっていたわけです。ところが、社会復帰促進事業は、精神障害者の方に社会とつなも、その骨組みのなかであれば何をやってもよかったんです。

## 学生時代の出会いから

奥地 学生時代から精神障害に関心があったというこ

とでしたが、それはどういう経緯だったんですかっ

西村 話すと長くなるので簡単に言いますと、僕はい 西村 話すと長くなるので簡単に言いますと、僕はい 西村 話すと長くなるので簡単に言いますと、僕はい 西村 話すと長くなるので簡単に言いますと、僕はい 西村 話すと長くなるので簡単に言いますと、僕はい

大学の入口がロックアウトされて、大学には入れな大学の入口がロックアウトされて、大学には入れない。それで少し時間をもてあまして、精神病院でバイい。それで少し時間をもてあまして、精神病院でバイい、それで少し時間をもてあまして、精神病院でバイい、それで少し時間をもてあまして、精神病院でバイい、村学の入口がロックアウトされて、大学には入れな大学の入口がロックアウトされて、大学には入れな大学の入口がロックアウトされて、大学には入れな大学の入口がロックアウトされて、大学には入れな

奥地目が、開かれたんですね。

ださいという活動でした。これは、ずいぶん喜ばれまり、そのあいだ、お母さんは好きなことしてきてくると、お母さんは毎日世話をしなければいけない。そると、お母さんは毎日世話をしなければいけない。そると、お母さんは毎日世話をしなければいけない。そのあいだ、お母さんは好きなことしてきれど、西村 はい。もともと細い目ですけど (笑)。それと、西村 はい。もともと細い目ですけど (笑)。それと、

にも行けずでしょうからね。 奥地 そうでしょうね。お母さんは、行きたいところ

とで、ほとんど大学には行かないままで……。所にも週1回、そしてバイトで精神科に行くというこ所にも週1回、その活動を週1回、精神衛生研究

じでしょうね。
奥地 大学よりもむしろ、生の勉強ができたという感

# ボランティアで活動の場を

所では、どういう仕事をされていたんでしょう。 宇部市の保健所に移られたということでしたね。保健実部が、児童相談所に4年間いて、

西村 保健所で、まず始めたのがデイケアでした。週 1回開催していたんですが、当時、精神障害者の人たちは地域に出る場がなかったんです。それで、週1回 を加者は10人前後で、大多数の方は援助を受けていないわけです。それを何とかしたいと思って、ほとんどいわけです。それを何とかしたいと思って、ほとんどがランティアでいろんなことをやりました。週 組みでは自由にはできなかったですからね。

たんです。ずいぶん、長いあいだやって、いまはなくいったですから、実際に出会う場をつくろうと思っしょに遊ぼうじゃないかという会です。差別や偏見がったですから、までに出会う場をつくろうと思っまず、「日曜日をエンジョイする会」を同僚たちとまず、「日曜日をエンジョイする会」を同僚たちと

なっていますが、 それから、共同作業をつくりました。デイケアに週 毎回50人ぐらい来ていました。

じゃないかと思います。 うじゃないかということになりまして、夜の飲み会も かってしまうので、月1回、 るんですが、就職すると、また支援の枠組みから遠ざ 族会の方が当番で世話をするというかたちでつくった できないということで、家族会の方と話し合って、家 さやけ作業所」ができたんです。共同作業所の第1号 る場をつくろうと考えたんです。そのころ、東京に「あ やってました (笑)。 んです。そうすると、今度は就職する人たちも出てく って、家族会の方々といっしょに、毎日出てこられ 回来ても残る6日は家にいる状況を何とかしようと しかし、保健所では作業所は 希望者で飲む会をつくろ

あ、どこだったらできるかというと、精神衛生センター だったんです。 が、これを県内に広げていきたいと考えたんです。し そういう活動を5年間、保健所でやっていたんです 宇部の保健所にいてもできないわけです。じゃ

> 奥地 県のセンターだからということですか

時代から精神衛生センターとは懇意につきあっていま とをやりたいから入れてくれと言ったんです。保健所 ターの方に売り込みに行きまして、自分はこういうこ うと思ったんですね。それで、こっそり精神衛生セン なかで転勤希望を言っていても変えてもらえないだろ す。ただ、児童相談所での経験から、きっと保健所の したので、無事、転勤させていただくことができました たようなことを各地域に拡げていきたいと考えたんで 各地域の保健所に働きかけて、宇部でや そうです。 センターは全県を対象にしてい ってい 、ます

### 教科書」を捨てろ

ですか。 奥地 そこで、 不登校の子と出会うことになっ たわ H

西村 ル依存症の方の断酒会の活動もやっていましたが、 そうです。精神障害者の作業所だとか、アル コ セ

行かないという子どもたちに出会うようになりました。 していたんです。そういうなかで、ぼちぼちと学校へ ンターは診療や相談機関でもあるので、それにも従事

りますか。 の不登校との出会いで、何か覚えておられることはあ それは80年代の初めごろですかね。 最初のころ

そういう目で見ていると、彼はおとなしいし、ものを 西村 うすると、どうしても、そういう印象と学校に行かな また、親御さんの話を聞くと、 言わないし、何かにつけて消極的に見えてくるんです。 そういう目でその子のことを見てしまっていたんです。 「きっとこの子には、どこか性格的な問題があるんじゃ うしたら学校に行くようになるのか」という相談です いという現象を結びつけて考えてしまったんです。 ないか」とか、「親子関係はどうなんだろうか」とか、 やってきたんです。 当時、僕は「教科書」しか知りませんでしたので 小学校の高学年ぐらいの子が親につれられて いまも昔も変わりませんが、「ど けっこう仲が悪い。そ

> うね。 奥地 徒の健全育成をめぐる諸問題:登校拒否問題を中心に」 1983)。当時だと、どうしてもそういう印象でしょ 文部省(当時)の最初の手引書通りですね(「生

と。みんな模索していましたからね。 ていました。これまでにない、まったく新し ほんとうに申し訳ない。それから、 申し訳ないことをしてしまったという後悔ばかりです。 これが原因だ」と理解したものです。 所長なんかも、「目からうろこだった」とおっしゃっ けではなくて、 いがあったんですよ。あのときは、 そうなってしまうんですね。 中国四国地方ブロックの各センタ 奥地さんとの出会 山口のセンターだ それで、「ああ いま考えれば、 i. 0

奥地 さんだったかなと思いましたけれども 所長の久保武さんも、 ちょっと変わったお医者 (笑)。

西村 あ のとき、 奥地さん の話を聞いたあと、 「子ど

またちのグループをつくって、やってごらんなさい」 と言われたんです。それで、グループを始めること にし、子どもふたりから始まりました。始める前に にし、子どもふたりから始まりました。始める前に は、奥地さんにノウハウをいろいろ聞かせていただき は、奥地さんにノウハウをいろいろ聞かせていただき は指導するのではなくて、子どもについていくことだ と。こちらの位置がどうあるべきか、しっかり教えて いただいて、とにかく始めた。これまでの教科書とは いただいて、とにかく始めた。これまでの教科書とは まるきりちがうわけで、いろいろ議論はあったんです まるきりちがうわけで、いろいろ議論はあったんです が、そのときも、久保先生は「教科書を捨てろ」と宣 言しましてね。教科書を捨てて、目の前の子どもたち から学ぶ、これをポリシーとしてやろうと。

奥地 それはやっぱり、すごい先生ですね。

## 信用されていなかった

どの相談にきていた小学校高学年の子なんですが、彼始めたんです。それで、4年ぐらい経ったとき、先ほ妨めたんです。それで、4年ぐらい経ったとき、先ほ

とに気がついたんです。面接室で話しているときの声とは、ぜんぜんちがうこがグループでワイワイやっているときの声を聞いたら、

#### 奥地なるほど。

西村 グループでいるときのほうが、ぜんぜんイキイ 西村 グループを通して、その子のほんとうの声が聞こえた りループを通して、その子のほんとうの声が聞こえた と言いますか、「この子の声って、こんな声だったのか」 と言いますか、「この子の声って、こんな声だったのか」 と体験させられて、では、僕が面接室で聞いていた彼 と体験させられて、では、人のほんとうの声が聞こえた と本験させられて、では、人のほんとうの声が聞これでのか」 と本験させられて、では、人のほんとうの声が聞これでのか」 と本験させられて、では、人のほんとうの声が聞これでのかと。

文部省が言っていることもおかしいのではないか。んじゃないかと思うようになったんですね。教科書やも変化が起こってきて、どうも我々がまちがっていたそれで、グループをやっていくうちに、僕のほうに

うすれば将来なんて、それこそなりゆきで、おのずと子どもたちは、いまを元気でいることが大事で、そ

で、思いもよらぬことでした。で、思いもよらぬことでした。はらは自分で何とかに遭っていた」と告白してくれたんです。それは、じめに遭っていた」と告白してくれたんです。それは、でめに遭っていた」と告白してくれたんです。僕自身が心からほけてくるんじゃないか。いや、彼らは自分で何とか開けてくるんじゃないか。いや、彼らは自分で何とか

それは、いま思えばわかることですが……。ね。信用できない大人には話さないということです。つまり、それまでの僕は信用されてなかったんです

が変わってくるというか。のを感じるんですよね。そうすると、態度、表情、話のを感じるんですよね。そうすると、態度、表情、話

西村 いっしょに遊んでいるうちにね。

めて、そこから学んでいったことが、たくさんありまとの出会いから、親の会を始めて、東京シューレを始経験は、私にもいろいろあります。私も、渡辺位先生奥地 それをさせていたのは、こっち側だったという

よかったのでしょうね。をしたと思うので、それを受けとめていただいたのがをしたと思うので、それを受けとめていただいたのがくなると子どもたちが元気になりますというような話した。そこから学んだこととして、学校にとらわれな

でした。 
でした。 
でした。 
ない意味で言ってますから(笑)。それは、大きな変化い意味で言ってますから(笑)。それは、大きな変化たのと、久保先生という変わり者がいたという――いたのと、久保先生という変わり者がいます。

奥地 講演にうかがった際、久保先生が「日本の精神奥地 講演にうかがった際、久保先生が「日本の精神

とおっしゃっていました。(久保先生は、「いまはどんどん変えているんだよ」「行っちゃ、ダメ」と怒られたんです。

#### 星のうさぎ

気になっていったということですかね。 目の前の子どものところからやっていこうという雰囲 といりますと、職員の方々も、

本気になって遊ぶことができた感じはありましたね。ういう話に乗りやすくて、子どもとの遊びもけっこうの村 そうです。スタッフも、みんな若かったし、そ

すよね。これは、どういう命名だったんですか? 奥地 その子どもグループの名前が「星のうさぎ」で

たい」と言ったそうなんです。それで、お母さんが主が、そこに来られていた方の娘さんが「うさぎを飼い西村 「かめの会」という親の会も開いていたんです

をあらためて、「飼おう!」と決めたんだそうです。あったら、ますます学校に行かなくなるじゃないですか」と言ったそうなんですね。それで、お母さんのほか」と言ったそうなんですね。それで、お母さんのほのと言ったらしいんです。それで、お母さんのほか」と言ったところ、その主治医は「そんなものを治医に相談したところ、その主治医は「そんなものを治医に相談したところ、その主治医は「そんなものを治医に相談したところ、その主治医は「そんなものを治医に相談したところ、その主治医は「そんなものを治医に相談したところ、

奥地 そのお母さんも、たいしたものですね。

らって、 さぎだけじゃつまらないから、月のうさぎ……うく という話になったとき、「うさぎにしよう。でも、う と思います。それで、グループの名前をどうしようか でも月にうさぎじゃ月並みだし……」と、 てくれるようになって、うさぎもつれてきたんだった ら元気になったんです。 結局は 当時とすれば、 うさぎを飼ったんですから。 「星のうさぎ」になったということでした。 すごい決断ですよ。 彼女も私たちのグループに来 でも、 そんな感じ 主治医に逆 そうした

した。たしか2回交流しましたよね。たちが貧乏旅行をしたいというので、うかがったのでたちが出会うようになるんですよね。シューレの子奥地 それで、「星のうさぎ」の人たちとシューレの

2週間くらい合宿をしたように思います。 西村 そうですね。2回目は川上村の廃校を借りて

奥地 川上村の五右衛門風呂には驚きました。廃校が奥地 川上村の五右衛門風呂には驚きました。廃校がな家があって、そこに五右衛門風呂があって、東京の子たちは五右衛門風呂なんて入ったことがないから興味しんしんで、「熱い、熱い」って言いながら入って味しんしんで、「熱い、熱い」って言いながら入って味しんしんで、「熱い、熱い」って言いながら入って味しんしんで、「熱い、熱い」って言いながらみっていた。

その後、風の子学園事件をきっかけに全国子ども

のうさぎ」の方が来られてましたね。

ちゃん、マツオくん、ユウタくんとか。 西村 ええ、けっこう行っていると思います。シノブ

られましたね。 ち登場していただいています(#21)。 私もひさしぶも登場していただいています(#21)。 私もひさしぶぬがざわしのぶさんには、このプロジェクトに

# こちらが学ばせてもらった

か印象深かったことはありますか。 奥地 「星のうさぎ」の子どもたちとの出会いで、何

になったというのが正しいです)、けっこう人数も増えるという言い方はおかしいですね、そう思えるよう何とかするだろう」と、こちらが考え方を変えると(変西村 先ほどお話したように、「この子たちは自分で

罪判決、控訴および上告されるも実刑が確定した。 罪判決、控訴および上告されるも実刑が確定した。 罪判決、控訴および上告されるも実刑が確定した。 罪判決、控訴および上告されるも実刑が確定した。 罪判決、控訴および上告されるも実刑が確定した。 罪判決、控訴および上告されるも実刑が確定した。

とを彼らが教えてくれました。をつくって、こちらが学ばせてもらった。いろんなこえていきまして、にぎやかになりましたね。グループ

いう感じなのでしょうか。 奥地 部屋があって、そこへ自由にやってきていいと

動場もあって、それは便利でしたね。 病院と同じ敷地内にあったので、体育館もあれば、運**西村** そうです。自由に使っていました。センターは

うふうに見られていたんですか。 に行っているということは、当時、学校からはどうい奥地 施設的には恵まれてますよね。そういうところ

シンポジウムを開いたりもしました。そういうことをちらから県内の各地域をまわって、子どもたちによるちのだから、いろんな協議会で話したりだとか、この村 グループを始めた当初は、やはりめずらしかっ

が知れわたっていったように思います。通して、学校の先生方にも、少しずつグループのこと

**奥地** みんな、びっくりしたでしょう。不登校の子た

子どもじゃない」とか。
な子は特別な子で、多くの学校に来ない子はそういうることが多かったですね。「シンポジウムに出るようのは、びっくりするなんてもんじゃなくて、批判され

て、捨てゼリフを吐いて帰っておられました。 また、見学に来られることもあったんですね。そういう感じじゃないですか。そういうようすると、まあ、子どもたちは遊んではかりでしょうではひとりポツンとマンガ読んでいる子がいて、でも、そういう感じじゃないですか。そういうようすを見て、帰り際にはたいていの方が「こうやって甘やかすから、帰り際にはたいていの方が「こうやって甘やかすから、学校に行かないで、ここ(センター)に来てるんだ」って、捨てゼリフを吐いて帰っておられました。

言葉になる。
さいんですよね。それで表面だけを見ると、そういうないんですよね。それで表面だけを見ると、そういうないんですよね。それで表面だけを見ると、そういうないんですよね。実常に苦しかった子が、なぜ、

**西村** 甘やかしているからここに来て、学校には行か

年代のころは、 ぱり甘やかしているという見方をするんですよね。80 だって思うわけです。しかし部外者の方々はね、やっ うものがおさまっていって、落ち着いて元気になっ こすこともある。ところが居場所があると、そうい 関係がうまくいかない。イライラして家庭内暴力を起 行かそうとしているうちは、子どもは苦しいし、親子 るのなら学校にも来れるはずだ。 ニコニコしてくれるから、 親の方はわかるようになるんですよね。 東京でも、 学校の校長から「東京シューレに行け そういう批判はありました 親はもうこれがいいん なんでつれてこない 学校へ

んだ!」と、電話で怒鳴られたこともありました。

# センターには相談に行くな

感じでしたか。との面談もなさるでしょう。90年代ごろだと、どんなとの面談もなさるでしょう。90年代ごろだと、どんな奥地ところで、精神保健福祉センターでは、親の方

西村 最初は「かめの会」を始めて、その後、親の会

ても、精神保健福祉センターにだけは相談に行くな」はないのですが、「子どもが学校へ行かないことになっ西村 ただ、学校は批判的でした。直接聞いたわけで

史料出版会1993)という本ができたんです。

ですが、それを聞きつけたのが、教育史料出版会の橋

そういうことです。それで、ことは収まったん

常俊さんです。そこから『不登校の再検討』(教育

西村

奥地

それを行政が干渉するのは、

おかしいと。

聞きました。

奥地 ほんとうですか (笑)。そういう時代と言うか。

西村 時代ですかねえ……。

**奥地** 精神保健福祉センターには、何年ぐらいお勤め

西村 22年いました。

意味があるかもしれない(笑)。 員を22年やって、シューレを始めたんです。22年には の数

じゃないから知りませんが、まずいないと思います。のは、僕しかいないんじゃないかな。全員調べたわけ長くても4~5年で替わるんですが、22年いたという、西村 奇遇ですね。公務員はだいたい2~3年から、

認知症の心理リハビリなども実践しました。の地域援助活動はもちろん、次々と事業を展開させて、いろんな事業に取り組みました。精神障害者の方々い旨でずっとお願いしていて、そのための理由づけで、久保先生と仲よくさせてもらっていて、転勤希望はな

奥地 不登校の本も出されてましたよね。

翌日、 事として扱ってくれたんです。その記事が掲載された にさせてもらっていた記者の方だったのですが)、 新聞社の記者が聞きつけまして(実はふだんから懇意 「かめの会」に発表してもらったんです。 ものです。統一性もなく、 全国に知れわたりましたが、 対策調査研究協力者会議の答申です。その部分だけが どの児童生徒にも起こりうるもの」という学校不適応 わからない。それで、その批判点をまとめたんです。 その後、登校拒否を考える夏の全国合宿で、それを 地方公務員が国家公務員 はい。きっかけは、 いったい何が言いたいのか 1992年の「登校拒否は あの答申書自体はひどい (文部省) を批判した それを朝日

と県庁のおえらさま方がセンターにやってきて、「なんてことをしてくれたんだ」と、大問題になりました。んてことをしてくれたんだ」と、大問題になりました。たんですが、公務員だから問題になったんだそうです。しかし、そこでも久保先生が立ちはだかりまして、「いくら公務員だと言っても、精神保健福祉センターというのは研究機関である。相手がどこであろうと、問題と思ったことに対して是正提言することを妨げようというならば、研究に対する妨害である」と。それと、「文部省を批判したのではなく、答申を批判したものである」とも。わかったような、わからないような(笑)。

からは、いい評価をいただきましたし、某○△研究所も僕はそう思っているのですが、全国の親の会の方々も僕はそう思っているのですが、全国の親の会の方々とといいではそう。

奥地 県の反応は、ひとつの反応でしょうけど、

も僕はそう思っているので、少しはアクセスがありまが来られたり、本を読んで不登校の相談に来られるとが来られたり、本を読んで不登校の相談に来られるということもありましたのですが、全国の親の会の方々も僕はそう思っているのですが、全国の親の会の方々

**奥地** そうですか。センターでは、県外の人にも対応

**西村** 来られれば、もちろん対応します。

内の人だけかと思っていましたが。 奥地 それは、いまでもそうですか。なんとなく、県

れはどこのセンターでも拒まないと思います。 西村 そういうわけではないのです。来られれば、そ

## センターを辞めて大学に

奥地 そして、その後、大学に移られたんでしたね。

西村 そうです。精神保健福祉センターは、業務の柱 西村 そうです。精神保健福祉センターは、業務の柱 西村 そうです。「星のうさぎ」もそうだし、精神障害者 の地域援助、アルコール依存・酒害対策、認知症対 策、幼児自閉症への取り組みなどですね。幼児からお 年寄りまで、さまざまな心の健康に関わる支援の研究 を、毎日の相談診療業務も含め、しっかりやってきた であれば、僕はまだまだセンターにいたかったんですが、法律が変わったんですね。

ついて、病状報告書が病院から保健所経由で来るんでうか判断する。あるいは、いま入院している人たちにさんがいると、医療審査会で調査し、それが妥当かどをが利医療では、たとえば不当入院だと訴える患者

生も辞めると言いだして、いっしょに辞めたんです。ろが、法律が変わって、精神保健福祉センターでやりなさいとなったんです。それは、ものすごい事務処理数になるんです。それでは、これまでやってきたよう数になるんです。それでは、これまでやってきたような、おもしろくない。だから、辞めようと。久保先ると、おもしろくない。だから、辞めようと。久保先

たんだろうと思っていたんです。 奥地 そうだったんですか。なんで、同時に辞めちゃっ

に合わなくて……。ん、とても重要な業務ではありますが、個人的には性め、とても重要な業務ではありますが、個人的には性ターに来たんじゃない」という思いがあって、もちろ西村、ふたりとも、「こういう仕事をするためにセン

もらえないかという話があったんです。ある意味、こ地元の宇部短期大学が4年制の大学を設置して、そこ地元の宇部短期大学が4年制の大学を設置して、そこね。僕はどうするかと思っていたところ、渡りに船で、

で引き受けました。れもなりゆきで、「ああ、行きます」と、ふたつ返事

奥地 若い人を育てたいという思いがあって。

**西村** ぜんぜん、そんな気はなかったです(笑)。あっ、**西村** ぜんぜん、そんな気はなかったです(笑)。あっ、

会や「星のうさぎ」は、どういう状況だったんですか。奥地 辞められたとき、センターが関わっていた親の

トワークは、もう援助できないということになって、にしたんですけれども、地域にある親の会やそのネッ局、子どものグループは大学のほうに持っていくことのまなくなってしまったんです。いろいろあって、結びは、 申し訳ないことに、まだ続いていたんですが、

くなってしまいました。力で存続していきましたが、岩国、萩、周南の会はな力で存続していきましたが、岩国、萩、周南の会はな下関の「虹の会」、山口の「かめの会」、防府の「かた

えられたということですか。 奥地 でも、子どもの居場所は、大学でも可能だと考

西村 そうですね。実は、そのころ大学で臨床心理士 養成のために大学院をつくることになったんですね。 年前から臨床心理相談センターなるものを設置して、 それを機能させなければならないという決まりがある んです。だったら僕がやりますということで、同僚と ふたりで相談対応に従事することになったんです。そ こで、あらためて不登校のグループを始めたんです。 これも最初は2~3人からの出発だったんですが、そ の後、「星のうさぎ」と合流して、いまのグループに 落ち着いたということです。

#### 奥地 その後、 ムで医療を

クリニックも始められましたよね

わらない。 西村 すが、どうしたらいいですか」と。いまも昔も何も変 40~50年前からあるにもかかわらず、最初の相談って、 多かったんですね。しかし、不登校の相談というのは をやっていて、そこでも学校へ行かないという相談が たいてい同じですよね。「学校へ行きたがらないんで いまから5年前、臨床心理相談センター の運営

も杓子も発達障害』という本を書こうかなと思うぐら ていったんです。最近では、発達障害が多いですね。『猫 な場合は医療にまわしますが、強迫性障害、パニック 統合失調症の方も来られますし、もちろん医療が必要 さんは医療に走るんですね。 の状況です(苦笑)。○△障害と言われると、 それと、精神神経科領域の方々も来られるわけです。 摂食障害、不安障害など、だんだん相談が増え ひと昔前は、 不登校でさ

> したが……。 え医療機関へ「治療」を求めて群がった時代がありま

奥地 そうですね

営する法人に持ちかけたら、やろうじゃないかという 療をやりたいと思いはじめたんです。それを大学を運 ますから、協働するチームを組んで、 と診ようと。心理職やケースワーカーが、うちにはい 話になって、 はちゃんと診ないじゃないですか。であれば、ちゃん ところが、すべてとは言いませんが、医療機関 クリニックを開設したということです。 ちゃんとした医

者さんですよね。いまは、大学のなかに相談機能と医 もしかしたら、東京シューレでも、 奥地 療機能を持っているということですよね。 かもしれない話だと思いましたが、大事なのは、 すよね。その話を聞いて、びっくりしたんですよね 学校法人がクリニックをつくったということで がんばれ ばできる お医

処方してもらうとか、すぐ対応できます。 床心理相談センターに相談に来られて、たとえば「眠 が必要という話になれば、クリニックで診てもらって れなくて困っている」と訴えられる方がいて、睡眠薬 は多いです。そういう場合には、協働して、どういう 面接を受けたい、カウンセリングを受けたいという方 アプローチが最善かを考えて対応していく。逆に、臨 が同じ建物の中にあります。実際、診療に来られて そうです。臨床心理相談センターとクリニック

うです。診療にも時間をかけますしね。悩みごとにも、 心理士やケースワーカーがしっかり対応しますし。 僕の知るかぎり、来院される方は喜んでおられるよ

#### 儲からな いけど、 61 い医療 を

奥地 薬治療があったり、 して、親のほうも 転やゲー いても、入院させられていることもあります。 東京では、過剰投与と言ってもいいくらいの投 ム漬けになっているからと病院が入院を提案 「入院させないと治らないですよね」 子どもは入院したくないと言って 夜昼逆

> と思いますけど、疑問に思うこともあります。 と言ったりして……。 う傾向については、どう感じておられますか。 いいお医者さんもいらっしゃる そうい

飲んだほうがいいと思います」と、 と言って処方します。それで「あんまり変わらないよ うえで「飲んでみる?」と確認して、飲むという場合 も必要最低限にしています。ご本人に「この薬、まだ うちでは、そういう医療対応はしません。薬について 勧めるということもあります。 かとなったり、場合によっては、「この薬はもう少し うな……」と言うようだったら、じゃあ飲む必要ない は、「飲んでみてどうだったかを聞かせてください」 薬には主作用と副作用があるわけで、 いる?」とたずねたり……。 ありますね。それは、やはりまずいと思います。 いま言われたようなことは、まだまだ根強く、 飲むのは本人ですから 医療判断 それを説明した で服用を

科医ですが、 く患者の話を聞きますし、 このクリニックの院長は、秋元隆志先生という精神 臨床心理士でもあるんです。 そのうえで、 いま言ったよ だから、 ょ

抜くとまずいんですよね。ですから、期間をかけて、 ただ、大量に薬を投与されてきた人は、いきなり薬を 大量に薬をもらっている人が来られることもあります。 うな処方の話になります。 しかし、他院から転院されてこられる方のなかには、

れています。 いろいろ状況を確認しながら、 大学周辺だけではなく、 減薬していくようにさ 広い範囲から来られ

奥地 んですかね。 る

西村 までで、それ以上は予約を入れられないんです。 申し訳ないんですが、受診可能なのは1日30名ぐらい を超えると、十分話ができなくなるので。 けっこう、 あちこちから来られますね。 ただ、 30 人

奥地 3分診療みたいになっちゃいますものね

うね。 そうなんです。そうすれば、うんと儲かるでしょ 聞いた話では、東京では、 めちゃめちゃ儲けて

> をやり 増やそうと考えてはいるんですが、なかなか儲けには 理職やケースワーカーと連携して、 つながらないというのが実情で……。でも、 いるクリニックもあるそうです。うちでも、うまく心 たいというのが基礎ですからね。 もう少し外来数を いい医療

奥地 ね。 儲けるために始めたわけではないでしょうから

西村 福祉のチームとしての考え方を教えているんですね。 ると、僕は思っています。我々の考えている医療・心理・ いるんです。 本学学生の実務実習のクリニックとしても機能させて そうです。もうひとつには、指導教員をつけて 学生にとって、 いい実践学習になってい

奥地 しょうね。 学生さんにとっては、 大学に行かれてから、 何よりの学びになるで 何年になりますか

西村 16年目ですね

奥地 もう、そんなになりますか

### 夏の全国合宿

思ったのは、どうしてでしょう。 けていただきましたね。これを引き受けてもよいと からかもしれませんが……。 2015年には、夏の全国合宿の開催を引き受 もちろん、 頼まれた

思ったんです。 に分かれて話もできるわけじゃないですか。ですから、 得られると思って、しかも分科会もあって、 の人たちにも広くPRすれば、 広く呼びかけて、 が ありました。 11 や、そういうわけでもなくて、チャンスだと 教育や福祉の関係者はもちろん、一般 正確な現状を知ってほしいという思 日本の最前線の知識が グループ

くれたとか、 参加者の人たちからは、学生さんがお茶を立てて 学生さんにもすごくよくやっていただきました 案内してくれたとか、 評判でした。学生

さんからの反応は、どういう感じだったでしょうか。

多かったなあ。 た。しかし、やっぱり勉強になったという声 立ちっぱなしで、終わったときにはぐったりしてまし だったんだけど、断然お母さん方のほうが多かったよ 行列ができてましたね。子どもたち向けのプログラム 西村 るまってましたが、コーヒーを担当した学生は1日中 うな(笑)。待合室もつくって、そこでコーヒーをふ おもしろかったですよね。いろんなコーナ プロが無料で施術してくれるエステコー みんな、とても勉強になったと言って -ナーには を設置し いました。 一番

とか。 とするじゃないですか。 よ」と電話がかかってきて。11時ごろの電話ってドキッ を書いたら、夜中の11時ごろに、ご本人から「行くわ を聞きたいとおっしゃって、大丈夫かなあと思いなが ら頼んだら、 そうしたら「樹木ですけど」って、 山口の実行委員会が、 引き受けてくださったんですよね。手紙 何か親族に何かあったのかな 女優の樹木希林さんの話 もうび つく

りしちゃって。あの講演もおもしろかったですよね。

の先生からそんな話が聞けて、うれしかったですね。 を加したという方が多かったようです。おおぜいの人 を加したという方が多かったようです。おおぜいの人 に来ていただけましたし、学校の先生方もけっこう来 られていました。その後、あの大会にぜんぶ参加した という学校の先生と出会って、その先生は「とても勉 という学校の先生と出会って、まかです。おおぜいの人

ましたけど。 
う来て、実行委員会にもずいぶん入っていただいていう来て、実行委員会にもずいぶん入っていただいていにも何か影響がありましたか。親の会の方々もけっこ奥地 そうでしたか。大会を開いていただいて、地域

## 般的な関心は低いまま

きました。しかし、長年やっていて感じるのは、自分西村 親の会の方々には結束して運営を支えていただ

を持っておられないということがありますね。ど、そういう経験をお持ちでない人は、ほとんど関心らっしゃると、関心を持ってやって来られるんですけの身内あるいは親戚に、不登校やひきこもりの子がい

います。 奥地 そうですね。たしかに、一般的にはそうだと思

だわらない別の生き方があっていいわけで、その組み どのようにして自分の人生をつくってきたか、教えら 親御さんにとっては初めての経験で不安だとは思いま 立てを構築する支援をすればいいというのが、頭にあ れてますからね。6・3・3・4 制というシステムにこ うしたらいいでしょう」ということですね。もちろん、 東京シューレって知っていますか?」と。 るわけです。それで、 りというか(笑)。こちらは、先輩の子どもたちから、 す。でも、失礼ですけど、こちらからすると、うんざ んの相談って、最初は「学校へ行かないんですが、 先ほども申し上げたように、 よくきくんですね、 いまも昔も親御さ 「ところで ど

るみたいです。そして、「そういう考え方で対応しますが、相です。そして、「そういう生き方もあるのか」って思われる、「あっ、そういう生き方もあるのか」って思われる、「あっ、そういう生き方もあるのか」って思われるみたいです。

うは目が輝いてきたりする……。も自身は、半信半疑ながら少し安心されるようです。も自身は、半信半疑ながら少し安心されるようです。

奥地 そうやって生きていけるんだとさえ、わかれば奥地 そうやって生きていけるんだとさえ、わかれば奥心がないから、行かなくなって切実な問題になって関心がないから、行かなくなって切実な問題になってとの親御さんは、子どもが学校に行っているあいだはというところがありますね。

ンポジウムも開いて、学校へ行かせようとして布団叩山口の大会では、「星のうさぎ」の卒業生たちでシ

### 奥地 山口でですか。

すが、多くの方は知らないんです。(笑)。もちろん、知っておられる方もいらっしゃいまるんです。「東京シューレというのはですね……」と西村 はい。でも、知らないんです。そこから始ま

**奥地** しかし、山口と東京では、あまりにも遠い話で

ドがたくさんあるわけですよね。 
やってきて、いろんな先輩がいる。そういうエピソーれまで、こういう実践があり、我々もこういう実践を 
僕の家から萩市へ行くより近いんですから(笑)。こ 
僕の家から萩市へ行くより近いんですから(笑)。こ

があるんだと。そういう実態のことを先に提示するん学校が人生のすべてじゃなく、つまりは多様な生き方学校を通るのとは、ちがった生き方、もうひとつの学校を通るのとは、ちがった生き方、もうひとつの

ではないですか?ろ出ましたね。西村さんも、ひさしぶりに会われたんきで叩かれた話とか、昔のたいへんだった話もいろい

き会って、飲んだりしているみたいです。レでも、初期の子たちは、もう40代ですけど、ときどとでも、そどもどうしも、つきあいが長いですね。シュー

るようですね。 ら誘い合って遊びにいったり、飲みに行ったりしてい 西村 そうですね。同窓会だけではなくて、日ごろか

## ひきこもりと被害者学

奥地 西村さんは、ひきこもりについても、よくおど

しょう。う声はありますよね。そのあたりでは、どうお考えでう声はありますよね。そのあたりでは、どうお考えでてきたところもありますが、ひきこもるのは心配といしされてますね。いま、不登校については見方が変わっ

うと思っているんですね。がって見える場合もありますが、基本的な構造はちが西村 不登校・ひきこもりというのは、表面上はつな

精神保健福祉センターにいたころ、県警からの要請 で「被害者支援センター」なるものをつくったんです で「被害者支援センター」なるものをつくったんです した。被害者学の考え方というのは、とてもすっきり していて、支援の方向が明確なんです。この考え方を していて、支援の方向が明確なんです。

日常生活においても、これまでできていたことができすると、感情のコントロールがうまくできなくなるし者といっしょです。被害に遭っているわけです。そう彼らは、やっぱり傷つけられているわけです。被害

なくなったり、また状態像としてはうつうつとした 気分に支配されてしまう。そういうふうに、さまざま 気分に支配されてしまう。そういうふうに、さまざま な変化を起こすようになります。極端に思われるかも にれませんが、たとえば地下鉄サリン事件の被害でも、 震災被害でも、被害の経験のあとは、さまざまな急性 ストレス反応が起こります。それが慢性化して、PT のような状態になっている方もいらっしゃいます。

これに対して、まわりがどう対応しているかというと、ある意味、不登校といっしょなんです。本人は、衝撃的な出来事に遭遇して疲弊してしまっているにもかかわらず、「いつまでもボヤボヤしてないで、根性を持ってやらないとダメじゃないか」などと言うんですね。深く傷つけられて心身が疲弊しているということに目を向けない。これを被害者学では、二次被害あるいは二次受傷と言います。

言いませんよね。骨折が治ってから走ればいいと思いそこで「骨折したくらいで休まず、根性で走れ」とはたとえばマラソンランナーが骨折したとしますね

持ちました。

## ありがとう

えていただけますか。

ある日から、何かを志向し始める。彼らの言葉で言うただ、ひたすらじっと無為に過ごしているように思うただ、ひたすらじっと無為に過ごしているように思うのが、 よく、ひきこもっていると何も考えてなくて、 西村 よく、ひきこもっていると何も考えてなくて、

ていたところ、 ある方の例をかいつまんで話しますと、ひきこもっ 「タイミングがある」と言うんです。

ひとこと言いたい」と言ったんだそうです。そして、 れて、結婚にいたった。その結婚式での話なんですが、 プロポーズした。そうしたら、彼女はそれを受けてく 就職活動を始め、ようやく就職にこぎ着けて、そこで で恋をするんですね。それで結婚を夢見るようにな いだ、そっとしておいてくれて、 マイクを持って両親に向かって「ひきこもっているあ 一通り式典が終わったところで、突然、彼が「両親に のですが、結婚するには経済力が必要だというので、 病気になって入院したんですが、そこ ありがとう」と言っ

奥地 ほう。

たんだそうです。

西村 感謝の意を伝えたかったんでしょうね。すごいエピ ・ドだと思いました。 結婚式のみんなの前で、ですよ。 どうしても、

> で考えられたんでしょうか。 対応の仕方を、どこから学んだんでしょうね。ご自分 そうですね。そのご両親は、そういう考え方や

ら。それだけです。だから、自分で考えられたんだと えるしかありませんでした。だって、わかりませんか けです。しかし、僕は、正直に「わかりません」と答 思います。 いったいどうしたらいいんでしょう」と相談されるわ きこもって、どうすることもできない状態なんですが 僕のところにずっと来ておられ たんですが

奥地 ことですよね。 まあ、よけいなおせっかい をしなかったという

仲がいいですけどね。 て、よく叱られたものです。 ぐらいのことしか言えなかったように思います。 西村 から、「頼りにならない」「あなた、専門家でしょっ!」っ そうですね。僕も「そうっとしておきましょう」 いまは、 そのお母さんと です

母親がつくる食事だけは食べてくれていたわけですよ すねえ。そっとしておくといっても、放っておいたわ と食べてくれるだろうか」「明日どういう献立にした 活で、3年間、 (笑)、お母さんは「親としてできることはないか」と、 ないですか」って、また怒られてしまったんですが けではないんですよね」ときいたら、「当たり前じゃ 「そっとしておいたことが、ほんとうによかったんで 3年間だったとおっしゃってました。 ら喜んでくれるだろうか」と、そればっかりを考えた トアウトしていましたからね。食事も部屋の前に置い 一生懸命、考えたそうです。まったく両親をシャッ その結婚式のあと、そのお母さんと会ったとき それで、「どういう食事をつくったら、 彼はそれを食べて食器を出しておくといった生 一言も会話してなかったんです。でも、 おいしい

通じていたと思いますね。 それは、 すごいです ね それは、 本人にすごく

西村 通じたんだと思います。 僕も、 これこそが癒し

> してね。 そういうことなんだろうと僕は思っています。しかし、 ら食事をつくればいいんですね」みたいな話になりま こういう話をしても、 なんだと思ったんですね。癒すことが大切というのは、 て思うんですが……。 いやいや、そういう話じゃないんですけどっ 大方の場合は「じゃあ、 明日か

## 自分の価値観ができた

ていったそうです。 で彼を押さえ込み、 よ。病院側は「君、 です。そうしたら、 んできた人がいましてね。この青年は、ひきこもって せられる」と言って、精神保健福祉センターに飛び込 いたところ、 別の方では、ある日、突然「精神病院に入院さ 親御さんが心配して病院に相談に行くん 注射を打って眠らせて病院につれ 病院が強制的に入院させるんです 合宿しよう!」とか言って、数人

ら しかし、とくに精神的な症状があるわけでもない ~2カ月で退院になるんですね。 「この1カ月のあいだに就職するかバイトするか しかし、主治医か L

何か社会活動ができなかったら再入院すること」と言何か社会活動ができなかったら再入院すること」と言いわたされ、そういう条件での退院だったんです。彼いおまに日が過ぎていって、受診の日を迎えた。それいままに日が過ぎていって、受診の日を迎えた。それいままに日が過ぎていって、受診の日を迎えた。それいままに日が過ぎていって、受診の日を迎えた。それがまで、「入院はもうしたくない。何とかならないか」と言うわけです。

奥地 なるほど。

何かに向きあって考えていたと思うんですね。うに思う」と言うんです。やっぱり、そこで一生懸命、もう半年ひきこもっていたら、何か見いだせていたよ西村 彼はね、「1年半ひきこもっていたけれども、

奥地 それが途中で断ち切られた感じになったのね。

西村 そうなんです。それで、僕は「いま一番したい

約束を交わして、彼は帰路につきました。とれればいい。精神保健福祉センターで何とかする」としかし、「ひきこもったら、また入院させられる」としかし、「ひきこもったら、また入院させられる」とあ、帰って、ひきこもればいい」と応対したものです。きこもりたい」と即座に応えました。そうしたら、彼は「ひことは何ですか」と尋ねたんです。そうしたら、彼は「ひことは何ですか」と尋ねたんです。そうしたら、彼は「ひ

すけどね)。 みると、 を言いに来てくれた。それで、その後の事情をきいて 言いに来てくれたということでした。うれしかったで 固まったんだそうです。それで東京に出て、ある業界 務を自分の仕事として生きようと、そういう気持ちが きたんです。「その節はお世話になりました」と、 らなかったんですが、5年過ぎたころに、彼がやって ぶん、話しぶりから放送業界じゃないかなと思うんで のアシスタントをやっていると教えてくれました(た しく言うのは恥ずかしいということでしたが、 いひきこもっていたそうです。その後のことは、くわ その後、連絡がなくなって、どうなったのかもわ さすがに入院はしなくてすんで、1年半くら それで、帰省した折に、 ちょっとお礼を ある業

西村 だから、ひきこもっていることを意味あるもの のついているわけで、それは由々しき事態だと、僕 にしないといけないわけです。それをまわりが否定的

ね。そのとき、「ひきこもってよかったこと、ある

奥地 そうですね。邪魔したり、断ち切ったりね。

# 安心すると先を考えられる

**西村** いま、ひきこもりの親御さんのグループもやっているんです。ひきこもりのご家族の方は、そうは言っているんです。ひきこもりのご家族の方は、そうは言っているんです。ひきこもりのご家族の方は、そうは言っているんです。ひきこもりの親御さんのグループもやっ**西村** いま、ひきこもりの親御さんのグループもやっ

奥地 当事者の言葉が、一番、親に届きますよ。

て カー・セン 単士 ・三里四十〇三里ガラフ 一名・著し月できょう

西村

たとえば、

親御さんがひきこもるわが子に辛辣

のです。これには、また教えられましたね。のです。これには、また数えられました」と言ったれない、自分としての価値観ができました」と言ったれない、自分としての価値観ができました」と言いましたのです。これには、また教えられましたね。

奥地 それこそ、本質ですよね。

に教えてもらったと思います。 切な意味があると思うようになったんです。ほんとう西村 彼のこの言葉で、僕は、ひきこもることには大

奥地 そうやって、ほんとうに生きた事例から学んで、

えすることはありますけど、基本は耳を傾けるだけで ありましてね。でも、広いところよりも狭いところの で4~15人が限界なんですが、いっぱいになることも 実に勉強になります。大学の僕の部屋でやっているの て翻訳してくれるんです。そういう場ができていて 話されたりすると、彼らが、 安定してくると、 んなる黒子で、 ほうが、話が凝縮しますね。そこでの僕の立場は、た で「子どものほうはどう受けとめているんだろう」と なことを言ってしまったとするじゃないですか。それ そして、ここでも経験するのですが、 もちろん、質問があれば、僕のわかる範囲でお応 黙々とコーヒーをふるまったりしてま ひきこもっている青年も安定してき その青年の気持ちになっ 親御さんが

ることは大事だと思います。 解がとても大事で、安心できなければ、人生を自分な解がとても大事で、安心できなければ、人生を自分な要地 とれは、不登校といっしょですよね。周囲の理

西村 そうですね。安心すると、本人たちの動きが少 西村 そうですね。安心すると、本人たちの動きが少 を取ったという青年がいました。1級免許って 親御さんの話では「漁師になるんだ」と言っていたそ 難しいですよ。それまでひきこもっていたんですが、 難しいですよ。それまでひきこもっていたんですが、 なってはいませんが、穏やかになってく ると、そういう模索というのか、先の自分がイメージ ると、そういう模索というのか、先の自分がイメージ できるようになるのかなと思いますね。

るというのは、よくありますね。 ちょっと予想していないような動きがどんどん出てくちょっと予想していないような動きがどんどん出てく

きたとおっしゃるんです。たと言っておられました。子どもを見る目が変わってもり経験者の青年たちと出会って、それだけで安心し西村「あるお母さんは、例会に来てくれているひきこ

**奥地** ひきこもりも、当事者が発信するようになって

きこもりも共通してますよね。がちょっと広がることにもなる。それは、不登校もひのです。当事者の話が、何よりわかりやすいし、理解と思いますね。私たちはそれを紹介しているようなもと思いますね。

西村 そうですね。

### 社会が変化するには

は、どう見ておられますか。 とう見ておられますか。 なれてきたのが、いまは文科省が「不登校は問題行動されてきたのが、いまは文科省が「不登校は問題行動は、教育機会確保法があると思いますが、以前は問題行動と 奥地 不登校の話にもどりますが、以前は問題行動と

す。ベースになる法律がなければ、社会は変化しないたいことはありますよ。でも、基本的には賛成なんでもちろん賛否ありますし、細かく言えば、僕にも言い西村 僕は、あの法律はとても大切だと思っています。

ですからね。

それで、 でい したね。 幸子さんがやっておられるクッキングハウスも、そう 出しあって運営しているけれども、そういうかたち でいる作業所の実状を説明し、「いまは家族がお金を 帰促進事業の通知を頼りに、その延長線上で取り組ん 当然、補助金も出なかった。そこで、厚生省の社会復 できて、僕らも共同作業所をつくったという話をしま #26参照)。 いう活動をされたものだと思います(本プロジェクト んです。 す。それと前後して、 験からもそう思います。 1975年の厚生省(当時)の通知から始まったんで それは、精神障害者のことに長く関わってきた経 いのか」と、運営資金の必要性を訴えたんですね 東京も単独で助成金を出していました。 しかし、当時は法的な枠組みはなかったので 山口県が単県で補助金を出すことが決まった 東京では「あさやけ作業所」が 精神障害者のデイケアも 松浦

の目的外使用が発覚し、返還命令を受け、2007年に破産・解散した。 \*3 1965年に結成され、活動してきたが、2002年に補助金当時、全国精神障害者家族会連合会があって、全

国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた国に共同作業所をつくっていこうという運動を始めた

作業所の助成金をすべて打ち切るということになったんです。これには仰天しました。そして、2005年に障害者自立支援法が成立します(施行は2006年)。あのとき、精神障害者の支援に関わっていた者は、このままでは地域の精神障害者の支援活動がつぶれていくと、いっせいに批判の声を上げました。しかし、法律というのは使いようで、また、法律そのものも活動によって変えていくこともできます。紆余曲折はありましたが、結果、自立支援法をベースによ曲折はありましたが、結果、自立支援法をベースにして、従来の共同作業所の主宰者はがんばって、どこも法人格をもつようになって、大きくなっていくんでも法人格をもつようになって、大きくなっていくんでも法人格をもつようになって、大きくなっていくんでも法人格をもつようになって、大きくなっていくんでも法人格をもつようになって、大きくなっていくんで

支援事業の規模によってちがいはありますが、人

件費も取れるようになり、拡張できるような仕組みにいくものだし、うまく使えば展開させていけるものだいくものだし、うまく使えば展開させていけるものだいくものだし、うまく使えば展開させていけるものだと思うようになり、拡張できるような仕組みに

とはノーマライゼーション、 するという理由から、「自立」を削って、「基本的人権 対象者として新たに加わることができるようになりま 改正されましたし、難病患者の方々についても支援の かった発達障害者の方も支援の対象に含まれるように せて変貌してきたんです。当初の法律では対応できな B型事業所、 をとる必要はありますが、就労継続支援A型事業所 国的に、支援施設や諸事業が拡がっています。法人格 んですね。こういうかたちで推移していくなかで、全 を享有する個人としての尊厳」と明記して視点を変換 した。また、理念としても「自立」を核として謳うこ 障害者自立支援法も、成立時から順次、実情に合わ いまの障害者総合支援法へと展開・変容してきた いろいろな事業が、この法律でできるような仕組 就労移行支援事業、 つまり「共生」理念に反 地域生活支援事業な

みになったというわけです。

奥地 根拠になる法律がいるということですよね。今奥地 根拠になる法律がいるということですよね。今のことだけだった。だけど、実際には不登校の子はいうことだけだった。だけど、実際には不登校の子はいるかけだし、憲法上も、その人たちの学ぶ権利を保障るかけだし、憲法上も、その人たちの学ぶ権利を保障る必要があるということを国が認めてきた。もちろん充分なものではないけれども、根拠法ができたので、そこから少しずつ変えていくことで、拡げていきたいと思っています。

いるんじゃないですか

奥地 フリースクール調査は2015年に行なわれま 奥地 フリースクール調査は2015年に行なわれました。これは、国も実態を把握しないと、どう支援し した。これは、国も実態を把握しないと、どう支援し もからない。それで、ネット情報とか、ガイドブック わからない。それで、ネット情報とか、ガイドブック とかで情報を集めて、私たちも提供しました。

ました。とにかく、もうちょっと進めたいと思っていフリースクール等議員連盟の幹事長のところへも行き3年で見直しとなっているんですね。それで、先日も奥地 教育機会確保法は2016年12月に成立して、

### 本来あるべき法律に

す。それで、文科省もフリースクールの調査をやってだけど、それだけでは全体を網羅できないはずなんでと体裁が保てないということはあるんだと思います。と体表の理解では、義務教育だから、国や自治体が西村 僕の理解では、義務教育だから、国や自治体が

いましたが、

たんですね」と言う方もおられました。実際に話を聞

話を聞いたら、「ほんとうに変わってき

非常にいい方向に来ていて安心したと。

### 教育委員会は柔軟に

西村 ほうは、けっこう変わってきましたよ。 各学校の対応はまだまだですが、 教育委員会の

かったなと思います。どういう感じですか やっぱり変わってきましたか。それは非常によ

楽しく過ごしてもらえる場の提供というものです。家 にじっとしているのだったら、 の理念は我々と共通してまして、遊ぶ、ゆっくり休む、 を試行していました。開催頻度は少ないんですが、そ のではなくて、各地域をまわる「巡回フリースペース」 育委員会では、 言うと、協議会のための協議会という感じだったんで いことをしてみようじゃないかと。ゲーム大会でもい それが、ちょっと本腰を入れてきまして、ある教 以前より協議会は開かれていたんですが、悪く 従来からある適応指導教室のようなも たまには何かおもしろ

> ようかとかいう意見でしたが。 とか。 最初は、書道やろうかとか、 山登りをし

書道では、子どもは寄りつかないですよね

なく、 西村 ずいぶん柔軟な思考になってきたなと感じます。 そうですね。でも、 教育委員会も四角四面じゃ

物を立てています。その運営を民間にまかせると言っ ひとり来ました。たぶん、だんだん増えると思います。 来ていない子どもたちに居場所を提供し始めて、先日 があったんです。いま、親の会を始めたり、それまで ちが来てくれないし、空気が固くて困っている。シュー なりました。北区から、「適応指導教室には子どもた ています。 かして、そういう状況を変えてもらいたい」という話 レさんに入ってもらって、民間のノウハウや知恵を活 それから、世田谷区では、適応指導教室の新しい建 東京シューレでも適応指導教室と契約することに 公民連携は、全国的にいろんな動きが起きて 北区は一部の委託なんですが、 世田谷区は

最初に子どもに会うのは、世田谷区の職員がやるんで カ所全体をまかせるという話です。ただし、面接で 西村 長いスパンで見ると、 変わっていますよ。

登校を受けとめていく考え方も、だんだん広まってき ています。 180度の転換ですよね。そういう時代になって、 たのが、 変わっているんです。問題行動だと言っ 問題行動じゃないというわけだから、

んだん寛容な雰囲気をつくってきて、 は進んでいたと思います。 みになろうとしている。 そういう意味では、 山口県の精神保健福祉センター 西村さんたちの活動が、 ようやく、

西村 仕組みは、 やはり大切にしたほうがい

#### 時 間

てもらいました。警戒心を持って聞いている人たちも

かを話していただいて、教育機会確保法のことも話し イトルで、これまでの不登校施策がどう変わってきた てもらいました。「どう変わる不登校施策」というタ 先日は、私たちの集会に文科省の課長に来てしゃべっ

ついて話してほしいという依頼もあります。あるい

は

それと、学校の先生方の養成研修で、多様な学びに

たのが、先日、「学校復帰」の文言は削除されること 帰」と「社会的自立の応援」というふたつが入ってい ですが、そこには目的があって、これまでは「学校復

になりました。

間にまかせて、

すが、来たい子はぜんぶ自由に受けいれて、内容は民

委託金を出すと言っています。

あるいは、横浜市でも公民の連絡協議会があったん

すものね。 ついても、 奥地 でも、 ず 時間かかりますね。精神障害者のことに いぶん時間をかけて変わってきたわけで

は か か るけれども

2 西村 不登校も同じような歴史じゃないですかね。 05年の自立支援法成立まで何年かかったことか。 もちろんそうですよ。 1975年の通知から、

変わった。 ました。50年前の社会の認識で当たり前だと思われて 産んでどうするんだと思って、 当時は、自分の生活さえうまくできない人が子どもを 判になっている。 と思えるようになっているんですよね。 いたことが、 いま考えたら、 いことをやっているんだと思ってやっていた。しかし、 ていて、 んですね。その治療に携わっていた医師がテレビに出 ますね。長年、 最近、 「恥ずかしながら、僕はその手術をやってい いまは変わってきている。 優生保護法のことがニュ 恥ずかしい」というような話をしてい 強制的な不妊治療がなされてきて、 そこまで、 50年ぐらい これは福祉なんだ、 社会の感覚が それはひどい スにな かかっている 0 7 裁 た。

そうですね。

人の考え方という

か、

社

会の

多数

すごい時間がかかるんだなあと思います。 それを考えても、 社会の観念や価値観が変わるには 不登校でも

> れて当たり前という時代があって、だんだん、そんな だまだなんですけどね。 のおかしいという考えに変わってきている。 戸塚ヨットスクー ル へ行って当たり 前 病院 まあ、 入れら

ルの り前のように行なわれていました。 って、 前頭葉白質を切除するということが、 医師モニスはノーベル賞をとってますからね 精神障害では、 怖いですよね。 口 ボトミ ー手術とい 考案したポルトガ 当時 うの は当た あ

れないようになってほしいなと思っています。 な問題なんですよね。不登校も、 の人がどう考えているかというの 早く「不」とか言わ は、 ものすごく大き

ない 西村 今後は、 でしょうか そうなるでし かなり早く、 よう。 いろんな施策が出てくるんじゃ 教育機会確保法ができて

奥地 にな 就学義務をはたさなきゃいけない。そこを選べるよう 校へ行けない子たちが選ぶという流れですね。 に選んでいることになると思います。 レと学校と二重に籍を持って、 いません。東京シューレに来ている子は、 のことで、やっとです。でも、 って、 学校以外の教育を法律で認めたのは75年ぶ 義務教育が多様な制度になれば、 親はそういうかたちで まだ二重籍は解消 いまは、 東京シュー ほんとう まだ学 して り \*

すけど、

11

ずれは動かしていきたいと思います。

は長時間、

ありがとうございました。

λ おもしろくなると思います お 0 しゃる通りです。 そこが変わると、 ぜん

奥地 そこまで持って 11 けるかどうか、 まだ難しい

其ノ他ニ於テ尋常小学校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ得」となっている スル私立小学校二入学セシムへシ但シ市町村長ノ認可ヲ受ケ家庭又ハ 童保護者ハ就学セシムヘキ児童ヲ市町村立尋常小学校又ハ之ニ代用ている。また、明治33年(1900年)の小学校令第36条は「学齢児 雖モ別ニ普通教育ヲ受クルノ途アルモノハ就学ト做スヘシ」となっ れていたと言える 941年の国民学校令の施行までは、 明治12年(1879年)の教育令第17条は「学校ニハイラスト (本プロジェクト#25永井順國さん参照) 学校外の教育が法的に認めら

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #45 西村秀明さん

インタビュー日時:2018年6月30日 記事公開日:2018年8月28日

聞き手:奥地圭子 写真撮影:木村砂織 まとめ:奥地圭子

所:東京シューレ大田

- 1193 -

ッ

ージのなか、どうやってもぐりこんだの

父は寝屋川でも小学校の教員に職を

じめ、 寝屋川市に出てきたんです。 は敗戦時に台湾から命からがら復員して、 も時代のことからうかがいたいと思います ムでは山田潤さんにインタビューすることになりまし にあたり、関東チー 951年、 たのですが、 よろしくお願いします。 一族みな教員で、 レッド 948年、 ・ムでは奥地圭子さんに、 パ まずは、 山田さんの子ど 関西チ

半ほどの農家の納屋のようなところで、台所も便所も 解放運動や新見市政の民主化運動などにも取り組んで ました。父方の祖父が唐松小学校の校長だったのをは 押し入れもなくて、 ていたのは、毛布と鍋ぐらいです。 りの弟をつれて、 テ ルをつなぎ合わせたちゃぶ台でした。 私が3歳のときに、夜逃げ同然で大阪府 ほんとうに無一物で出てきた。 たったひとつの家具は、 父も小学校の教員でした。父 ージで唐松に住めなくなって、 岡山県新見市唐松で生まれ 母親が私と産まれたばか 住んだのは、 戦後は農地 割れた丸 持っ 四畳

出田

#46 山田 潤 さん



1948年、岡山県新見市生まれ。京都大学文学部を卒業後、松原専修職業訓練 校で板金工作を学び、72年から77年まで吉田板金工作所に勤める。77年、 今宮工業高校の定時制課程の英語科教員に。91年、「学校に行かない子と親の 会(大阪) | を立ち上げ、世話人代表を務める。98年の不登校新聞創刊時から 2002年まで、全国不登校新聞社の理事を務めた。98年から2014年まで関 西大学非常勤講師。訳書に『ハマータウンの野郎ども』(ポール・ウィリス/ 熊沢誠、山田潤訳/筑摩書房 1985)、『大英帝国の子どもたち 聞き取りによ る非行と抵抗の社会史』(スティーヴン・ハンフリーズ / 柘植書房新社)。

(やまだ・じゅん)

インタビュー日時:2018年7月27日

聞き手:山下耕平、貴戸理恵、栗田隆子、田中佑弥

場所:ココナッツハウス(大阪市)

写真撮影:山下耕平

2年半にわたった、このプロジェクトを終える 得ました。 しかし、 かなり貧しい暮らしで、

親がどうやって炊事していたのか、

ようわからんの

で

す。たぶん庭に七輪を出して、そこで煮炊きしていた

屮

私や弟には、 貧しい環境で暮らしている子はいっぱ んだと思います。ただ、 貧乏に苦しめられたという記憶はない 当時は、 ほかにも似たような いましたから

たとおっ 岩 お父さんが、 しゃ ってましたね 家に貧しい家の子をつれてきて

古着を買ってきて、 クラスの子どもをひとりつれてきて、 つれ てい 修学旅行の前には、 っていました。 身づくろいをさせてから修学旅行 かならずと言って 風呂に行かせて 11 11 ほど、

に

いだに、 屮 ことになりますか 小学校入学が1954年です。 山 寝屋川市内で4回引っ越しをして、 田さんの小学校時代は、 小 中学生のあ そのたび

9 5 0

年代とい

人が肥料にするわけですね。 に少しずつ暮らしぶりはよくなっていきました。3回 は少しずつ暮らしぶりはよくなっていきました。3回 に少しずつ暮らしぶりはよくなっていきました。3回

それと、子どものころはぜん地強強をしたという記憶がないんです。とにかく遊びまわっていました。当時は、家の近くには信号がひとつもなかったんです。中学生のとき、全校生徒が集められて、「交通信号がつきます。これはどういうものかというと……」と、寝屋川署のおまわりさんが来て説明していたのを覚えてます。そういう状況だったので、あちこちに子覚えてます。そういう状況だったので、あちこちに子じもの遊ぶ基地があって、とにかく遊ぶことがいっぱいあった。親にも、勉強しろと言われた覚えはなかったですね。

たんですね。

学校も、農繁期にはたくさんの子どもが休んでまし

**米田** 山田さん自身が休むことは?

やったり、送辞も答辞も読むような生徒でした(笑)。山田 僕はずっと皆勤で、小・中・高と、生徒会長を

おっしゃってましたね。 山下 当時は、学校が文化に接する唯一の場だったと

山田 ほんとうにそうでした。最初に映画を観たのも山田 ほんとうにそうでした。最初に映画を観たのもよに落ち着いた。そういう子は、私だけではなくて、笑に落ち着いた。そういう子は、私だけではなくて、実に落ち着いた。そういう子は、私だけではなくて、たくさんいたと思います。

いたんだと思います。
(笑)。受け持ってもらった先生のなかに、あれは立派(笑)。受け持ってもらった先生のほうから学校の「聖性」のようなものは感じていて、秩序としては成り立ったのようなものは感じていて、秩序としては成り立っただ、当時の教師はぜんぜんダメだったと思います

### そんなもの知るか

まった。山田さんの実感としては、どうでしたか?学習指導要領が試案から基準になり、就学時健診が始と変わったとおっしゃっていました(本プロジェクと変わったとおっしゃっていました(本プロジェク

山田 あまり、変わったという実感はなかったですね。日本の文教政策の節目が重要な意味を持つことはある日本の文教政策の節目が重要な意味を持つことはある時にやっていたと思います。ですから、一方には封建由にやっていたと思います。ですから、一方には封建由にやっていたと思います。ですから、一方には封建いで戦前の雰囲気を引きずっていた学校があり、一方には、組合の教員が好き勝手にやっている学校があったですね。

時間に堂々と開かれて、その案内を校内放送で流すん員は自由出退勤だし、組合の中央委員会なんかも授業も、大阪のかなりの高校は組合管理だったんです。教私が1977年に定時制高校の教員になったときで

がついていた。いまはありえないですね……。です。組合活動で授業を抜ける先生には補講の段取り

**山下** 山田さんの中学校時代は、どうでしたか?

という思いもあったんだと思います。 えば、彼なりに苦労してやってきて、自分が果たせな 思っていたので、逆にびっくりしました。いまから思 すごく複雑な感じだったんです。ところが、家に帰っ 意識しました。ただ、それは喜ぶというよりも、もの た感じがあって、そのとき初めて、席次というものを ラスのなかでも「山田が1番らしいぞ」と、ざわつい じはありました。当時は偏差値なんてものは かったものを、こいつが果たしてくれるんじゃな んなガリ勉になったのか」と叱られるんじゃないかと たら、親父がものすごく喜んでね。僕のほうは、「そ が校内で実施して、私は学年で1番だったんです。ク んですが、1年生の2学期に業者の模擬テストを学校 中学校からは、 だんだん高校入試を意識する感 なかった いか

貴戸 小・中学校時代の勉強は、山田さんにとって知

的好奇心を満たすものだったんでしょうか?

活動家として、一生懸命「学習」していたんでしょうね。だだ、親父が組合の活動家で共産党員でもあったので、ただ、親父が組合の活動家で共産党員でもあったので、

貴戸 それを読んでいたんですか?

ると、引いて調べていたりしていましたね。 
百科事典もあったので、教科書でわからないことがあ 
百科 
まじめに読んだのは、大学に入ってからです。

山下いわゆる文化資本はあったわけですね。

るのはショックでした。 
て家庭訪問に行って、本らしい本が1冊もない家があて家庭訪問に行って、本らしい本が1冊もない家があ

栗田 中学校の同級生で、中卒で仕事に就く子もいた

就職していました。 山田 1クラスに60人近くいるなかで、20人は中卒で

就職していました。

**山下** 就職する子たちの家庭状況は、どんな感じだっ

山田農家だけではやっていけなくて、

兼業で日銭を

山下 貸しくても、ほかも貧しかったから苦しかった零細な農家が多かったと思います。

階層差を感じることはあったんでしょうか。覚えがないとおっしゃっていましたが、そのあたりでし

だけで便所が使えることが、とてもうれしかった覚えているところから便所に直接行ける、自分たちの家族小学4年のとき、初めて家に便所ができて、寝起きし山田 あまりなかったですね。うちもたいがい貧乏で、

があります。

校に進学していたんですね。トップの成績をとっていた子たちも、地元の寝屋川高トップの成績をとっていた子たちも、地元の寝屋川高をれと、当時は高校のランクなんて意識はなくて、

はどうしてだったんでしょう。はなくて、四條畷高校に進学されたんですよね。それはなくて、四條畷高校に進学されたんですよね。それはなくて、四條畷高校に進学されたんですよね。それ

思ったんです(笑)。 ひとりになりたかったんです。誰も自分のことを知らひとりになりたかったんです。誰も自分のことを知らい出田 それは大学進学に有利だからとかではなくて、

いうことはあったんでしょうか。 貴戸 当時、学校恐怖症だとか、不登校の子がいると

める」という動詞は使いましたが、名詞形の「いじめ」います。「いじめ」なんて言葉も使わなかった。「いじんでしたね。ほとんど、そういう意識はなかったと思山田 あったかもしれないけれども、直接は知りませ

を覚えました。
じめ」という名詞を聞いたときは、非常に奇異な感じはなかったと思います。ですから、80年代に入って「い

ただ、高校のときに、担任の先生から相談を受けたことはありました。農家の子で、勉強に自信がないと言い出して、精神的にピンチになっていたんですね。その子が「俺はネズミを獲るネコほどの価値もなね。その子が「俺はネズミを獲るネコほどの価値もない」と言ってたのは覚えてます。

もあったのではないでしょうか。 山下 高校時代は60年代半ばですね。時代状況の影響

てはいけないという不文律があったんです。「3校禁」のが、ちょうど高校生のときでした。それには教職員組合も反発していたし、生徒のあいだでも、「勝手に期待される人間像をつくるな」と、10校前後の高校の生徒会役員が交流集会に集まったりしていました。しかし当時は、文化系クラブの生徒が3校以上で集まっかし当時は、文化系クラブの生徒が3校以上で集まっかし当時は、文化系クラブの生徒が3校以上で集まっかし当時は、文化系クラブの生徒が3校以上で集まっかし当時は、文化系クラブの生徒が3校以上で集まったりしている。

と呼ばれていて、体育系は集まってもよいが、文化系と呼ばれていて、体育系は集まってもよいが、文化系に、敗戦直後期の学校は民主的だったのに、その後、だんだん反動化して管理教育色を強めたというのも、だんだん反動化して管理教育色を強めたというのも、たし、そういう意味では、いまのほうがマシだと思いたし、そういう意味では、いまのほうがマシだと思いたし、そういう意味では、いまのほうがマシだと思いたし、そういう意味では、いまのほうがマシだと思いた。

### 全共闘運動のなかで

**山下** 大学時代の話をうかがいたいと思いますが、山 田さんの大学時代は、全共闘運動まっさかりのころで

クでした。そのときに自分は何をしていたかと。そのて、京大生の山崎博昭くんが亡くなって、これはショッて、京大生の山崎博昭くんが亡くなって、これはショッムです。ところが、67年10月に第1次羽田事件があった。 ところが、67年10月に第1次羽田事件があった。 ところが、67年10月に第1次羽田事件があった。

5 だったんだと思います。それで、家を出たんですが えは、 うつきあわんわ」と思って、帰ったんです。そうした とこれ以上つきあうのはイヤやと思った。だって、彼 たまに用事があって実家に帰ると、親父がいっぺんに 言われてね。息子への期待があっただけにショック 青(日本民主青年同盟/共産党系の学生組織)も武装 堂の地下に泊まっていたんです。しかし、 年をとった感じで、 そんなヤツといっしょに暮らせないから出て行け」と していて、 してるんです。「こいつら本気か?」と思ってね。民 らは鉄パイプの先をとがらして、突撃の練習をしたり クトに属して、 家に帰ったら、親父が「どこに行ってたんや。おま 69年冬の安田講堂攻防戦のときには、陥落前日に講 翌日に機動隊が突入して、安田講堂は陥落した。 わしの仲間を叩くために東京に行ってたんか。 学生どうしで衝突していた。それで、「よ バリケード闘争なんかをしていました。 親不孝をしたなと思いました。 東京の連中

**山下** 京大では、88~69年ごろの状況はどんな感じ

山田 安田講堂のあと、民青(と大学当局)が先に 上て、それが半年ほど続きました。『パルチザン前史』 して、それが半年ほど続きました。『パルチザン前史』 というドキュメンタリー映画があるんですが、そこに というドキュメンタリー映画があるんですが、そこに というドキュメンタリー映画があるんですが、そこに というドキュメンタリー映画があるんですが、そこに というドキュメンタリー映画があるんですが、そこに

でしょうか。
さん自身は、そういう暴力に直面したことはあったんさん自身は、そういう暴力に直面したことはあったんが少し出ましたが(本プロジェクト#35参照)、山田山下 高岡健さんのインタビューのとき、内ゲバの話

ると止めてました。民青と何回かゲバ棒(角材)でやりで、僕としては本気ではなかったんです。だから、りで、僕としては本気ではなかったんです。だから、りが、僕としては本気ではなかったんです。だから、りで、僕としては本気ではなかったんです。だから、りじ、僕としては本気ではなかったんです。だから、りが、後としかでは、

鳴が聞こえてきて……。 りあったときも、途中で制止しようとして、味方にどりあったときも、途中で制止しようとして、味方にど

があるんでしょうか。
先行になって、暴力にいたってしまったことへの反省発があるように思いますが、それは全共闘運動が理念があるように思いますが、それは全共闘運動が理念

す。でも、なかには本気のヤツもおったんやね……。らは、半分遊びで悪ノリしていたところがあったんでらは、半分遊びで悪ノリしてなかったですけどね。僕

味合いで「自己否定」という言葉が使われていたと思田中 当時、エリートになる自分を否定するという意

後、3回生のころからは、「京大フロント」というセ

いますが、山田さんはどう受けとめていましたか。

ブルだとは思ってなかったですしね。 議論には、まったく共感しませんでした。自分をプチーでは、プチブル(小市民)の自己否定みたいな

田中 大学に見切りをつけた、ということでもなかっ

山田 いやいや、とにかく卒業だけはしようと思って、空論を書き始めて、大学院への願書も出していたんです。しかし、自分の書いているものに何の手応えもなかったですし、一方では、封鎖解除されたあとの荒れ果てたキャンパスを見て、何のためにこんなことをしたのかという思いもありました。みんな疲れていたと思いますね。それで、これはいっぺん大学を出ないと思ったんです。

#### 職業訓練校へ

山田 下宿は「哲学の道」のすぐ脇だったんですが、

をしていたんです。作業員が倒した電柱に腰をかけて、 工具ベルトを腰につるして、ものすごく楽しそうに 仕事をしている。それで、電気工事もおもしろいので はないかと思って、卒論を書き終えてから、枚方市の はないかと思って、卒論を書き終えてから、枚方市の はないかと思って、卒論を書き終えてから、枚方市の たんですが、板金工科のほうがおもしろそうと思って、 たんですが、板金工科のほうがおもしろそうと思って、 たんですが、板金工科のほうがおもしろそうと思って、 たんですが、板金工科のほうがおもしろそうと思って、

大阪の職業訓練校は、もともとは北九州の炭鉱離職 大阪の職業訓練校は、もともとは北九州の炭鉱離職 1年間、職業訓練を受けるために来ていました。僕が入った板金工科も、20名のうち15名はその春に中学校 入った板金工科も、20名のうち15名はその春に中学校 を卒業した人たちでした。

ことも、まったく知らなかったですからね。とれまで、新聞がどうやって届けられるかなんてはの集金もあって、学生気分を抜くにはよかったですね。それまで、新聞がどうやって届けられるかなんてね。それまで、新聞がどうやって届けられるかなんては、それまで、新聞配達の仕事を始めました。仕事は配達だれる。

(1909―1943/フランスの哲学者) のように。はなかったんですか。たとえばシモーヌ・ヴェイユ栗田 理念的に、工場労働をしようと思ったわけで

本ものでしたね。 山田 私が職業訓練校に行ったのは71年で、シモーヌ・山田 私が職業訓練校に行ったのは71年に『工場の哲問と労働の未来』が70年に出て、翌71年に『工場の哲学』が出されているんです。私も、人間にとって労働とは何かとか、労働を自己疎外の問題として考えることに関心はあったけれども、やっぱり、それは観念的なものでしたね。

で見かける工業製品が、誰のどんな労働によってつく動かしてみるまで、鉄板というものがどのように固くまを曲げたり、伸ばしたり、それから、しぼったりすまを曲げたり、伸ばしたり、それから、しぼったりするんです。それは、めちゃくちゃおもしろかったです。実際、ういっぺん板金の仕事を自分で始めてみると、町の中いっぺん板金の仕事を自分で始めてみると、町の中いっぺん板金の仕事を自分で始めてみると、町の中で見かける工業製品が、誰のどんな労働によってつく

ら、いろんな仕事の跡があるんです。りしたものとしてしか見ていなかったけど、よく見たて、ぜんぜん見方が変わりました。それまではのっぺられたものか、気になるし、気づく。とくに電車なん

### 板金工作所へ

**山下** 職業訓練所のあと、板金工になられたんですよ

山田 72年から吉田板金工作所で働き始めて、77年ま山田 72年から吉田板金での最後の仕事は自動車のが次パーです。ダイハツのシャレードという小型四輪な金型でプレスするから、亀裂が入ったり、ひんまがったりするんです。バンパーは直線部分がなくて、ぜんだりするんです。バンパーは直線部分がなくて、ぜんが球面にすることで強度を保っているんですが、その型をつくるのは難しいんですよ。その試作品の不具合を修正する仕事でした。

なっていて、バンパーがついている車はないんですしかし、いまの車体は一体成形のモノコックに

いていました。 いていました。 いていました。 いていました。 いていました。 いていました。 によって制御される旋盤に変わっていくようすを描れまでの手作業の旋盤から、コンピュータのプログラれまでの手作業の旋盤から、コンピュータのプログラれまでの手作業の旋盤から、コンピュータのプログラれまでの手作業の旋盤から、コンピュータのプログラを指していました。

てからです。 いろんな分野で威力を発揮し始めたのは80年代に入っいろんな分野で威力を発揮し始めたのは80年代に入っいろんな分野で威力を発揮し始めたのは80年代に入っいろんな分野で威力を発揮し始めたのは80年代に入っいる人がある。

に負い目のようなものはなかったですか?あったんじゃないでしょうか。あるいは、自分のなかんですよね。そのあたりで周囲とのギャップなどは山下。その町工場には、ほかに大卒の人はいなかった

でした。後に、「大卒のおまえが職業訓練校に入学す作業でもありましたら、みんなに追いつくのに精一杯山田」みんな腕利きの技能工で、試作の板金は知的な

言われて、返す言葉がなかったことはあります。ることで、定員から落ちる中卒の子もいたんやで」と

**山下** 逆に、知識面でのギャップなどを感じることは

師でも少しまとまった文章をまともに書ける人は少な師でも少しまとまった文章をまともに書ける人は少ないかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教化なにそういう力が分け与えられたらいいと思います。心なにそういう力が分け与えられたらいいと思います。心なにそういう力が分け与えられたらいいと思います。しかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教しかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教しかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教しかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教しかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教しかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教しかし、多くの教師の読み書き能力も低いですよ。教しかし、多くの教師の読み書きまともに書ける人は少な

その一方では、訓練校でも定時制高校でも話の上手

いと思います。



吉田板金工作所時代の山田潤さん。資格認定の実技試験に備えて、工場で練習しているところ(バケツの底面部を打ち広げている)。

でしょうか?

おもしろおかしく語る子がいて、

な子はいました。

いたずらだとか武勇伝みたいな話を、

それは聞いていてほ

んまにおもしろかったです。

すね。中

Щ

田さんは、

定時制高校の教員になられていま

そのまま板金工を続けようとは思わなかったん

て、吉田板金で働きながら3年間通いました。そうい がなかったので、 員になるのもいいと思ったんです。 と言うのを聞いたりすると、 ですねん言うて、チンタラ学校なんか来られへんで\_ が「先生、 う経験もあったので、 ている子への親しみはあったので、 もともと、 みんなが残業でがんばってるときに、 中卒で働いている子だとか、 大阪市立大学の夜間部に学士入学し 働きながら定時制高校に来る子 その気持ちがよくわかり しかし、教員免許 定時制高校なら教 ヤンチャし

### 定時制高校の教員に

山下 教員になって最初のころは、どんな感じだった

いますね。 (笑)。それでも、ものすごいエネルギーはあったと思のあたりに集まって、わっさわっさやっているわけやで、教室に入れるだけでたいへんでした。いつも校門山田 最初のころは、ほんとうにヤンチャな子ばかり

先生はこれ以上、何もせんでくれ」と言うんです。そ えるような話やない。どっちかが手を引かんとどうし その親分格に会って聞いたら、「これは先生の手に負 休みが明けたら、関西本線側の子がひとりも来ない て依存を深めていくような感じになっていきましたね と思ったことがあります。 れで、僕も、彼らが決めたことを尊重するほうがいい ようもない。だから俺らが手を引くことにしたんや。 グループ間の対立抗争が起こったんです。それで、夏 教師も「せめて高校は」と言うから仕方なく来たとい がけっこういた。学校から離れたいと思っても、 につきおうてきたけど、もうええわ」という感じの子 エネルギーはだんだんなくなっていって、教師に対し いる子と南海本線沿線から来ている子とのあいだで 定時制高校に来る子どものなかには、「9年も勉強 最初に担任したクラスでは、関西本線沿線から来て しかし、その種の自律的な

そのあたりの実感はどうでしょう。 参照)。 山田さんが教員になられたのは77年ですが

山田 労働現場と同じで、ギリギリ、変わる前後の学 でを経験できたのでしょうね。定時制高校に入ってつ くづく思ったのは、なんで義務教育の9年間もかけて、 自分はできないということを徹底的にたたき込まれて、 自信も、他人への信頼感も大きく損なわれている子がたくさんいる。僕自身は学校教育の恩恵を受けてきた たけだけれども、一面で学校教育はこんなひどいこと をしているということは、定時制高校の教員になって 感じたことでした。

ていたんでしょう。山下「実際、そういう子たちに、どういうふうに教え

になっている生徒に、小学4年の問題をやらせることトをつくってやっていました。ただ、すでに15~16歳ほんとうにていねいに、ひとりひとりに合ったプリン

山田 数学科なんかは、基礎学力保障ということで

が教育熱心であるほど通じませんでしたね。
で働くということを積極的な選択肢として認めないと
は、どうしたって半人前扱いなんですね。中学校を出
は、どうしたって半人前扱いなんですね。中学校を出

子、しんどい子、底辺の子と見てしまう。
しんどい子、という見方をしている。そこに同情して、
しんどい子、という見方をしている。そこに同情して、
でおかんと」という考えが抜けないんです。低学力の
でおかんと」という考えが抜けないんです。低学力の

がぜんぜんない。これはあかんと思いました。 ででを卒業して働くということを肯定的に見るまなざしかにも、「せめて高校は」という意識が強くて、中学のの中学校で1~2人でした。中学校の先生たちのなっの中学校で1~2人でした。中学校の先生たちのないがぜんぜんない。これはあかんと思いました。

# 4ぜ、こんなに痛めつけるのか

**山下** 佐々木賢さんは、定時制高校は75年に劇的に変

出

そうですね。

だから、

学校でも、

英語を教えて

思うけれども、 ました。この子らにいま必要なのはそういうことかと。 な素養を自分のものとして獲得することは必要だとも 自分の抱えている問題が何かを知るためにも、 に問題はないのかという気持ちが、僕のなかにはあり ないんです。 つかされてましたからね。 それと、教師たちのわかり方に生徒を近づけるのが 僕の担当の英語なんて、とくに愛想を 実際、 そんなにうまくい

か

ことですよね。

論していたように思います。 宮工業高校の定時制では、ずっと、そういうことを議 分たち自身で納得するようにわかることが大事で、 いことなのかどうか、ということがありますね。 今 自

栗田 生徒とですか。

もんです。 のを元に戻すというのは、そうかんたんにはできない かったです。できないということをたたき込まれたも 教師どうしで、ですね。 なかなか生徒とは難し

屮 定時制高校に来る子どもたちからエネルギ が

それと関連するかと思いますが、山田さん自身も、 ら人相手に変わったわけですよね。そこで働き方のち 金工から定時制高校の教員になって、仕事が物相手か を感じたことはあったんでしょうか。 板

ものすごい大事なことだと思っているんです。たとえ 働の対象を持つことで、 衛生にものすごくいい。うまくできても、 こともわかるし、 いけれども、先にそれをやらないと寸法がとれないと いけないということもわかる。そういう具体的な労 が強いんです そういうなかで仕事の工夫をする。それは、精神 自分のやった跡はきちっと残って、うまくできた 鉄板をこう加工したら、その次の加工がやりにく 思い通りにならない工作対象を持つということが ときどき町工場がなつかしくなりましたね。僕 失敗して、二度とこんなことをして ものすごく救われたという思 できなくて

屮 しかし、 高校は町工場とは別の世界ですね

> えたとおっしゃっていたことと、手仕事で働ける職場 同時代に並行して起きていたことで、 なくなっていったことや、教師に依存的な子どもが増 がなくなったり、中卒で働ける場がなくなったことは つながっている

基礎的

というふうに、全員がうまく適応していけるとは、 山田 その通りです。製造業がだめなら第3次産業で は思ってないんです。それは無理だ。

という話が、逆に、不気味に響いてきてしまうんです。 すよね。そうすると、言葉をあやつれることの大事さ ことがものすごく求められてますからね。 サービス業などの仕事では、それこそ言葉をあやつる は、 て働くことは難しく、 ケアワーカーなどサービス業に就く人が増えてま いまだと、中学卒業後に工場で技術を身につけ いわゆる「低学歴」とされる人

出 そうですね

貴戸 言葉だけではなく、 感情や関係も含めてですね。

ギリスにも行きましたしね。 うに自由にやらせてもらえたんです。2カ月近く、 していたように思います。今宮工業高校では、ほんと ているほうが、よっぽど楽しくて、そんなことばかり いるよりも、生徒をつれて、いろんな職場を見てまわ

#### イギリス の 労働組合運 動

屮 イギリスへは何をしに行ったんですか

言ってきたんですね。 とるから、 自主管理していて、校長も「何かあったら私が責任を 飛んでいったんです。当時の職場は、文字通り教員が それで、 ンブリッジ大学のニーダム研究所に留学していました。 めいっぱい使って、聞き取り調査の手伝いに来い」と がイギリスに半年間留学していた際、私に「夏休みを よろしい」という感じでした。 山田 79年に、熊沢誠さん(経済学者/労使関係論) ほぼ2カ月近く、学校の仕事をやりくりして あなたがいいと思うことをやってくれたら 同時期に、中岡哲郎さんも、

しに案内してくれる。それには感動しました。 しに案内してくれる。それには感動しました。 日本では、 会社の職制(管理職)を 通路をまわるしかなかったんです。ところがイギリス の工場では、どこに行っても、経営側の案内がついて、見学 通路をまわるしかなかったんです。ところがイギリス の工場では、どこに行っても、経営側にあいさつなしに、地域の労組を通じて見学できました。日本の労働 組合は企業別ですが、イギリスでは職業別ですからね。 私たちはAUEWという機械工組合を通して、各工場 私たちはAUEWという機械工組合を通して、各工場 私たちはAUEWという機械工組合を通して、各工場 は 場場委員)が出て来て、経営側とまったく関係な しに案内してくれる。それには感動しました。

ごとに組合があって、経営側は、それぞれの職域の労なかに、電気工組合、機械工組合、板金工組合と職域なかに、電気工組合、機械工組合、です。では、もなく技術職組合の管轄だ」と言っていたんです。そういうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のいうのを管轄権紛争と言うんですが、ひとつの企業のというに対している。

りには動かせないようになっていたんです。整がつかないと機械ひとつとっても会社側の思うとお組と調整しないといけない。異なる職種の組合間で調

も、まだまだ現場の組合の威力は健在でしたが……。た79年は、ちょうどサッチャー首相が誕生した年でした79年は、ちょうどサッチャー首相が誕生した年でした。サッチャーは「組合があるかぎり、イギリスは生た。かったんです。僕らが行ったときには、それでしにかかったんです。僕らが行ったときには、それでと言えます。僕らがイギリスに行っそういうイギリスの状況を打開するために、サッ

も変わってきているわけですよね。と拮抗していたわけですね。しかし、イギリスの状況栗田 労働者も企業に隷従しているのではなく、企業

どありません。 ての名称のまま活動している労組は、いまではほとんの名称のまま活動している労組は、いまではほとん別労組の名前はいまでもすべて憶えていますが、かつ山田 変わりました。当時あった主要な職種別・産業

かったです。日本は大勢が企業別の労働組合ですから、しかし、当時のイギリスの労働運動に学ぶことは多

労働者も会社の採算や利潤のことを考える。会社あっての自分たちの職場ですから。ところが、イギリスの労働者にとっては、企業の壁を越えて存在する同一の労働者にとっては、企業の壁を越えて存在する同一の労働者にとっては、企業の壁を越えて存在する同一の対していない。機械ひとつ、会社の思うようには使えないのもそのせいです。もっといえば、イギリスの会社は、日本のように、全従業員に支払う賃金の総額を自由にコントロールすることができないのです。職種にコントロールすることができないのです。職種にコントロールすることができないのです。職種コストが決まる賃率を積み上げる形で会社の労働コストが決まるのです

ちゃ強かったし、教職員組合もけっこう強い時期があ 働組合)とか動労(国鉄動力車労働組合)はめちゃく さは何だったのか。日本でも、 抗が続いても、結局はつぶされてしまった。そのもろ 渉力がどこからきていたのか、そこが問題です。 りました。 チャー政権が本気でつぶしはじめたら、 います。末端の管理職を小バカにしていたところ 教職員組合でも、 いまにして思うのは、 けれども、どこかに傲慢さもあったんだと 結局、 そういう労働組合の交 かつての国労(国鉄労 学校としての責任は しばらくは抵 サッ

もろいですね。かなり急速につぶれてしまった。かし、そういう関係は、いっぺん相手側が開き直ると、えらの仕事やろ」とうそぶいていたところがある。し校長や教頭が担っていて、それに対して「それがおま

**栗田** 労働組合に関してですと、組合からはじかれた 女性ばかりに私は出会ってきたんですよね。そして、 女性ばかりに私は出会ってきたんですよね。そして、 するメンタリティや価値観と、いまのそれとでは大き するメンタリティや価値観と、いまのそれとでは大き するメンタリティや価値観と、いまのそれとでは大き するメンタリティや価値観と、いまのそれとでは大き するメンタリティや価値観と、いまのそれとでは大き するメンタリティや価値観と、いまのそれとでは大き するメンタリティや価値観と、いまのそれとでは大き

山田 70年代にはさかんに「労働」という言葉が使われていましたが、それはマルクスの労働価値説や労働の退潮とともに、「仕事」という言葉で語られるようの退潮とともに、「仕事」という言葉が使われていましたが、それはマルクスの労働価値説や労働

私が翻訳に関わった『ハマータウンの野郎ども』も、

庫になっている。 北書は1985年、筑摩書房から刊行された。現在は、ちくま学芸文訳書は1985年、筑摩書房から刊行された。現在は、ちくま学芸文書になっている。

考える野郎どもは、「俺らは頭脳労働なんてせえへん 目標を先に置いた考え方で、そういう考えでは、一生 に見合ういい仕事に就くというようなやり方は、 ル・ウィルスの主張だったわけです。勉強して、 が野郎どもの主体的な選択だというのが、著者のポー び」というのは逆説でしかない。ところが、それこそ 事に就くことになっている。 の学び」という意味です。そこには逆説があるんです 原題は Learning to Labour で、直訳すれば「労働 う逆説ですね。 れども、その結果、 い下積み仕事のことですから、「下積みの仕事への学 学校では、 下積みの労働でええねん、放っておいてくれ」と 先送りの人生になってしまう。 いまの楽しみこそが優先されなければいけないと 学校から自分たちの独立性を保とうとするけ よい成績を修めた者から順番にいい仕 下積み仕事に定着してしまうとい しかし labour はしん むしろ、 いまの充 それ 常に

# **ノンエリート」をめぐって**

**山下** 熊沢誠さんとの出会いは、どういう経緯だった

んでしょう。

です。中岡哲郎さんのことは学生時代から知っていたんですが、中岡さんと熊沢さんが1970年に研究会を始められたんです。社会主義革命に向けての労働組を始められたんです。社会主義革命に向けての労働組る労働のあり方の変化を働いている人はどう受けとめる労働のあり方の変化を働いている人はどう受けとめる労働のあり方の変化を働いている人はどう受けとめる労働のあり方の変化を働いている人はどう受けとめる労働のあり方の変化を働いている人はどう受けとめる労働のあり方の変化を働いている人はどう受けとめる労働のあり方の変化を働いている人はどうを関いている人間の復権をテーマにしていました。

の運動を非常にていねいに追っていました。労働者のの運動を非常にていねいに追っていました。労働組合で、仕事内容について具体的に聴いていったんです。そこを執拗に細かく、具体的に聴いていったんです。そこを執拗に細かく、具体的に聴いていったんです。そこを執拗に細かく、具体的に聴いていったんです。の労働組合運動なんて、誰も見向きもしていませんでの労働組合運動なんて、誰も見向きもしていませんでした。そうしたなか、熊沢さんはイギリスの労働組合した。そうしたなか、熊沢さんはイギリスの労働組合した。そうしたなか、熊沢さんはイギリスの労働組合した。

いうのが、熊沢さんが言っていたことでした。 形成し、どれだけ自分たちで職場をコントロールして 形成し、どれだけ自分たちで職場をコントロールして のか。労働者が日々働いている現実から離れたと はないとのように自己

りますよね。 生きていくすべを具体的に考えようということでもあ会に駆り立てられるのではなく、ノンエリートとして会に駆り立てられるのではなく、ノンエリートとして

いますか。そして、熊沢さんは、ノンエリートにとっいる。しかし、自分のことをノンエリートと言う人がたしかに、学校とか企業でエリート扱いされる人は

えばそう考えます。
べての人に必要だと言っていて、僕も、どちらかと言べての人に必要だと言っていて、僕も、どちらかと言ってこそ職業教育が必要だと言っています。本田由紀さ

に代わる展望がはっきりしない。

に代わる展望がはっきりしない。

に代わる展望がはっきりしない。

に代わる展望がはっきりしない。

に代わる展望がはっきりしない。

に代わる展望がはっきりしない。

に代わる展望がはっきりしない。

練校や町工場を体験することができたのは、たいへん私自身について言えば、一度大学を離れて、職業訓

とさえあります。 人り直して、工業高校の教員にもなれた。もっといろ んな職業を経験できればなおよかったのに、と思うこ とさえあります。

ヨーロッパ諸国では、青年がひとつの職業に定着するまで、かなり長い年月をかけています。大学も出たり入ったりしている。そういう意味では、18歳で高校を卒業して、あるいは22歳で大学を卒業してそのままを身雇用で定年を迎えるなんて、こんな淋しい人生はないと思いませんか。そういう枠組みをそのままに、職業教育なんてあり得ません。

この社会を成り立たせるために、どんな仕事があって、それをどんな人が担っているか、そこにある待遇て、それをどんな人が担っているか、そこにある待遇の人に必要なのは、いまの日本の現状をちゃんと知ることが大事です。ノンエリートだけではなく、すべてことが大事です。ノンエリートだけではなく、すべてれは、学校教育の内部だけでは完結しないと思います。学校にいるあいだに自分が将来携わる職業を決めさせるための職業教育ではだめなんです。

選択するという方向に考えすぎです。内田樹さん(思そもそも、多くの人が、自分で自分に合った職業を

想家)は「キャリアのドアのこちら側にはドアノブがの」と言っていますが、そう考えるほうが楽だと思いの」と言っていますが、そう考えるほうが楽だと思いかかって扉が開くのです。あらかじめ、自分の適性だとか能力を見きわめておいて、それにふさわしいキャとか能力を見きわめておいて、それにふさわしいキャとか能力を見きわめておいて、それにふさわしいキャとか能力を見きわめておいて、それなことが実際にありえますか。声をかけられてやってみたら、こんなおもしますか。声をかけられてやってみたら、こんなおもしますか。声をかけられてやってみたら、こんなおもしますか。声をかけられてやってみたら、こんなおもしますか。声をかけられてやってみたら、こんなおもしますか。声をかけられてやってみたら、こんなおもしますか。声をかけられてやってみたら、こんなおもしますか。声をかけられてやってみたら、これなおもしますが、は「キャリアのドアのこちら側にはドアノブがあっています。

# 不登校新聞の論説をめぐって

しておきたいと思います。ことにもつながったと思いますし、あらためて問い直した。それは、山田さんが不登校新聞の理事を辞めるしかし、ちゃんとした議論にすることができませんでしかし、ちゃんとした議論にすることができませんで

言っていました。 言っていました。 で、編集当事者が批判するのはフェアではないとして、編集当事者が批判するのはフェアではないとして、編集がの人が読書欄で批判を載せたことに対して、編集があるが、反発する読者がいるのは当然だけ

屮 語能力や社交性や文化などを学校で獲得する機会は重 で生きていくのだと指摘されていました。そして、 就くことは別として、多くの子どもたちは地味な仕事 ただ、その問題にとどめず、 で反論したというのはフェアではなかったと思います。 の地味な仕事に屈することなく生きていくうえで、言 います。熊沢さんは、 いたことについて、もう少しふり返っておきたいと思 不足でもあったと思いますし、編集部の人間が読書欄 それは、 当時、 一部の才能のある子が専門職に 編集長だった私の力量と見識 熊沢さんの言わんとして そ 0

要で、不登校に問題があるとすれば、その機会が奪われていることだ、というのが熊沢さんの主張でした。この意見が反発を招いたのは、ある種、必然だっただこの意見が反発を招いたのは、ある種、必然だっただこの意見が反発を招いたのは、ある種、必然だっただンシュタインがいる」という発言などに象徴されるように、不登校を肯定する論調のなかにも、能力主義のあやうさがありますね。

山田 そうですね。それと、仕事というのはその中味山田 そうですね。それと、仕事というのはその中味を得るということ自体が重要なんですね。定時制高校を得るということ自体が重要なんですね。定時制高校の1年生が4月に仕事を始めて、月末に最初の給料袋の1年生が4月に仕事を始めて、月末に最初の給料袋のすねをかじっていたのが、自分で働いて給料をもらって、教室で給与明細のスリップを見せ合う。それらって、教室で給与明細のスリップを見せ合う。それらって、教室で給与明細のスリップを見せ合う。それを見て、ほかの生徒も「先生、俺も働けるかな」と言ってきたりする。もちろん、労働疎外とか、搾取とか、てきたりする。もちろん、労働疎外とか、搾取とか、てきたりする。もちろん、労働疎外とか、搾取とか、てきたりする。もちろん、労働疎外とか、搾取とか、てきたりする。もちろん、労働疎外とか、搾取とか、

もが自分の足で立ち始める、大事なステップですよね。給料を得るというのは、親に依存せざるを得ない子ど

山下 ただ、その疎外の問題は、いまは深刻ですよね。 労働の現場は相当に劣化していて、基幹労働を非正規 だ人が、職場がおかしいと思うのではなくて、自分が た人が、職場がおかしいと思うのではなくて、自分が に大が、職場がおかしいと思うのではなくて、自分が に大が、職場がおかしいと思うのではなくなっていけなくなっ に対している。

貴戸 熊沢さんは「可視的な仲間」という言葉を使っておられますが、それは仕事という毎日行く場所で、ともに仕事をする仲間との連帯が大事だということでともに仕事をする仲間との連帯が大事だということでそういう職場のなかで、どうやって可視的な仲間をつそういう職場のなかで、どうやって可視的な仲間をつくることができるのか。大学でも、労働組合は職員とくることができるのか。大学でも、労働組合は職員とくることができるのか。大学でも、労働組合は職員となることができるのか。大学でも、労働組合は職員となることができるのか。大学でも、労働組合は職員という言葉を使っまることができるのか。大学でも、労働組合は、大力を対している。

山田 たしかに、その通りですね。非正規雇用も問題山田 たしかに、その通りですね。非正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、正規雇用であっても、一連の大企業の不祥事ですが、上述や学生の側でも、そことはませい。

# 評価することへの慎みがない

えですか。 ・としての学校のあり方については、どのようにお考いますが、学校のあり方については、どのようになってきていますが、学校の扱割が重視されるようになってきて

山田 教育の場としてではなくて、地域の子どもが学

たらのと、さぶというだとなってまで、かにいだったけ脱色できるかと考えてみることが必要です。思っています。学校というものから、「教育」をどれうものがあるということは、たいへん大事なことだと齢に達したら、誰でもそこに行ける場として学校とい

定の教育課程があることは学校の一面として必要で に何を評価しようとしているのか。そこには、 をまるごと評価対象にするというのはよくないですね 動はどうだとか、そういうところまでひっくるめて人 だけではなく、学校行事への参加だとか、 というところは、できるかぎり弱めないといけない。 そういうことを通じて成長していくわけですから、一 になってますね。 いて、それに適した人は誰かという相対評価はありえ ん危険な考えだと思っているんです。一定の職務につ しょう。しかし、子どもたちを教育評価の対象とする からんかったことがわかるようになるとか、子どもは そういう意味では、私は絶対評価というのはたいへ もちろん、学ぶことの楽しさも大事で、 しかし、その相対評価を全教科に及ばせて、それ ま、学校では絶対評価への移行で、ムチャクチャ 本来、すべての評価というのは相対評価なんで いっぱいデータを集めて、何のため 日ごろの行 いままでわ 人が人

で、一生懸命、勉強したり訓練を受けたりしていますね。生たちは、絶対評価をいかに精緻にするかということを評価することに対する慎みがない。しかし、若い先

山下 先生自身も評価されているわけですしね

# 学校に行かない子と親の会

山下 親の会を始められた経緯のあたりも、お話しい

山田 先ほど話したように、中学校を出て働きに出る山田 先ほど話したように、中学校を出て働きに出るのはかわいそうという見方はおかしいという意識がのはかわいそうという見方はおかしいという意識がのはかわいそうという見方はおかしいという意識がずっとあったんです。そう思っていたところに、新聞ずっとあがでその世話人をされていた恩田良昭さんに電話をかけたんです。それまで、僕は高校に行かないさに選択肢としてあると思っていたんですが、恩田ことは選択肢としてあると思っていたんですが、恩田ことは選択肢としてあると思っていたんですが、恩田ことは選択肢としてあると思っていたんですが、恩田ことは選択肢としてあると思っていたんですが、恩田さんは「義務教育だって、行かないという選択肢はあっさんは「義務教育だって、行かないという選択肢はあっていたは「美務教育だって、行かないという選択肢はあっていた。

ださったんです。会に参加していいですか」ときいたら、受けいれてくたりとも学校に行ってなかったんですね。それで、「例ていい」とおっしゃった。恩田さんのお子さんも、ふ

とです。当時、京都の会には、近畿一円から参加者があって、当時、京都の会には、近畿ということになって、「学校に行かない子と親の会(大ということになって、「学校には大阪でも会を立ち上げようとがからもたくさん来ていました。それで、恩田さん大阪からもたくさん来ていました。それで、恩田さんとです。

**田中** 山田さんは「学校に行かない」という言い方は 田中 山田さんは「学校に行かない」という言い方は

れで大事なことだったと思います。 月、集まってくる人を支え続けてこられた。それはそ す。しかし、その話しぶりがきっぱりしていて、「大 ます。しかし、その話しぶりがきっぱりしていて、「大

> がって、 るし、無理にでも行かせることがほんとうによい と、異議申し立てが起きてきたわけですよね。 親もとじこもりがちになるわけです。そこから、奥地 子さんどうしているんですか?」ときかれるから、母 や」と夫から責められ、あるいは自分で自分を責める。 たと思います。「おまえの子育てはどないなってたの 境に陥っていたんですね。不登校になると、子どもも が学校に行かなくなったということで、ものすごい苦 育児を任せられているにもかかわらず、 圭子さんたちをはじめとして、全国で親の会が立ち上 はなく母親も孤立していました。 しんどかったと思うけれども、母親も相当しんどかっ の親の会に集まった母親たちというのは、主婦として のは母親たちのエネルギーなんです。 子どもが学校に行かなくなることで、子どもだけで 僕が京都の会にめぐりあって、一番、衝撃を受けた 学校に行かないのには、それなりの理由があ 一歩、外に出たら「お 90年代に不登校 最愛のわが子 のか

お母さんも、よくおられました。それまで、顔の筋肉も、母親たちが集まって話し始めると、ものすごい熱す、母親たちが集まって話し始めると、ものすごい熱

う話もよく聞きました。かいいことあったの?」と、子どもからきかれたといかいいことあったの?」と、子どもからきかれたといん話して、笑って、家に帰ったら「お母さん、今日何がこわばっていてニコリともしなかったのが、たくさ

あるいは、熱心にいろんな本を読んだり、講演を聴きに行ったりして、いったい自分たちは何を考えて子育でをしてきたのかと問い直しながら、どんどん元気になっていく。親の会というのは、そういうことの積た運動というより、自分たちが元気になるための運動た運動というより、自分たちが元気になるための運動だったんだと思います。

は思わなかったんですか? 栗田 山田さんは、不登校の子どもに直接関わろうと

はうがいいと思ってました。 車戒があったんです。子どもとは学校で教師としてつきあっているわけだから、ちがう場を持って、むしろきあっているわけだから、ちがう場を持って、むしろいった。

わっていくという経験はあったんでしょうか? 栗田 親の会に関わって、ご自身が家族のなかで変

山田 娘は中学生のころから、私の親の会での活動を山田 娘は中学生のころから、私の親の会での活動を体んだりしてました。ヤンチャする子で、親からすを休んだりしてました。ヤンチャする子で、親からすると心配なところはありましたけどね(笑)。

由来は何なんでしょう? 信も「ココナッツ通信」ですけど、「ココナッツ」の信も「ココナッツ通信」ですけど、「ココナッツ」の、通

しょに参加してました。大阪の会でも月に1回、山歩いた女の子が「ココナッツハウス」という名前をつけいた女の子が「ココナッツハウス」という名前をつけでいい」というスタンスの人で、その子は学校には行かがに、星空見学会だとか、山歩きの会に父親といっかずに、星空見学会だとか、山歩きの会に父親といっかずに、星空見学会だとか、山歩きの会でも月に1回、山歩山田 最初にかまえた事務所の番地が、5572番地

て、おもしろかったですね。ら、ほんまに、植物やら鳥や虫のことをよく知っていきをしていたんですが、この子といっしょに歩いてた

そのあたりは、いま厳しくなっていると思いますが。裕があるから成り立ってきたという面がありますね。業主婦層がいて、時間的にも経済的にもある程度の余業に帰るがいて、時間的にも経済的にもある程度の余

山田 そうですね。不登校の子どもの数は、ぜんぜん 山田 そうですね。不登校の子どもの数は、ぜんぜん が置されている。大阪でも、たとえば門真市とか守口 たれをなんとかしたいと親たちが集まるということは まずない。孤立したまま生活に追われていて、つなが りようがなくなっている。それで、自分の子どもの状 況もわからなくなっているんですね。

**栗田** 山田さんが、最近、そういう子どもたちと接す

と思いますね……。 と思いますね……。 はんとうに、どないしているんやろうつながりがなくなってしまって、わからなくなってしい とくに定時制高校を退職してからは、そういう

# >やしいじゃありませんか

山下 山田さんは、自分の子が不登校だったというわけでもなくて、どちらかというと、問題意識から関わってこられたわけですよね。そこに、ある種の座りの悪さを抱えつつ、そのことも明らかにしつつ、関わってこられたように思います。そのあたりで運営の難しさこられたように思います。そのあたりで運営の難しさこられたように思います。

をしようというのか」と言われて、「あんたが辞めるか、事になることを私たちに相談したか。理事になって何れた何人かから、「ええかげんにせえよ。あんた、理問の理事になったことでした。これは、ほんとうに痛助の理事になったことでした。これは、ほんとうに痛助の理事になったことでした。これは、現年に不登校新山田 会の仲間からの一番の反発は、98年に不登校新山田 会の仲間からの一番の反発は、98年に不登校新

た方もおられました。私らが辞めるかどちらかだ」となって、離れていかれ

だと思います。
に呑みこまれることへの反発のようなものがあったんに呑みこまれることへの反発のようなものがあったんないんですね。それが、なんらかの方向性をもつ運動なんというか、親の会というのは基本は運動体では

山田 僕自身、学校教育というもののおそろしさを感じていて、他律的な学びに9年間も縛られて人物評価じていて、他律的な学びに9年間も縛られて人物評価じていて、他律的な学びに9年間も縛られて人物評価じているんです。フリースクールがあったとしても、の判断だけで自分の居場所を選ぶことはできないともの判断だけで自分の居場所を選ぶことはできないともの判断だけで自分の居場所を選ぶことはできないともの判断だけで自分の居場所を選ぶことはできないとも

ずっと考えてきました。として学校があるための条件は何か、そういうことを解決はないけれども、子どもが少しでもいやすい場所校というものをどうしていくのがよいのか、理想的な校というものをどうしていくのがよいのか、理想的な

親の会に来られる方のなかには、自分の子が学校に 親の会に来られる方のなかには、自分の子が学校に なぜ自分たちの子が安心して行けないのか。くやしいじゃありませんか。ですから、私はいのか。くやしいじゃありませんか。ですから、私はいのか。くやしいじゃありませんか。ですから、私はいのか。くやしいじゃありませんか。ですから、私はいのか。くやしいじゃありませんか。 私の子が学校に 親の会に来られる方のなかには、自分の子が学校に 親の会に来られる方のなかには、自分の子が学校に

山下 その話を聞かれたのは何年ごろですか。

ではなくて、いまの学校のあり方がおかしい、それをではありません。大阪で登校拒否を考える夏の全国合宿を開いたのが95年でしたかね。あのころは、大阪の会にも、ものすごいエネルギーがあって、そういうエ会にも、ものすごいエネルギーがあって、そういうエ会にも、ものなかには、不登校を子どもの選択とみるのないだった。

うちの父も、 そういうことを言

栗田 はメインストリームにはならなかったわけですね しかし、そういう主張は、不登校運動のなかで

## 苦しみに沈む時期も必要

屮 登校でもないあなたに、この苦しみがわかるのか」と いうような反発はなかったですか。 親の会の世話人をされていて、「自分の子が不

とうにわかっているかと問われれば、 かりません」と言うほかありません。 ありましたね。そこは「僕は親ではないからわ わかりません。 いまでも、ほん

登校が家庭のなかで受容されたという経験があります。 私は、 母親が親の会に行ったことで、 自分の不

> と、母に話したことがあるぐらいです。 校を責めたりしてしまう。 苦しいですよね。それで自分を責めたり、自分の不登 自分のせいで母親が不幸になっている姿を見ることは 親もしんどかったと思いますけど、子どもからすると のおかげで、いろいろ考えることができてよかったね」 しんでいるとはまったく思わず、むしろ「私の不登校 きました。おかげで私の場合は、 めに親の会に行っていたんだなと、最近になって気づ 私の母は、 自分のせいで親が悲 そうならないた

それは、母親にしてみれば、ほんのちょっと、 行きすぎだったかもしれないけれども、 ですが、親が不登校について主張していくときに、 そこが気になり続けてきたんですね 験を代理表象してしまう側面もあったように思います。 の範囲だけで話すのではなくて、子どもの不登校経 ただ、こういう言い方をするのは適切かわからない 私は、ずっと 半歩の

実際に、 山田 登校の子のほうが正常だと主張される方もいましたが いうことはありますよね。 親のなかには、 その子どもからしたらどうだったんだろうと 明るい不登校だとか、 子どもは子どもで、 むしろ不 いろん

なことを考えていますからね。

えるのも、大事なことだと思います。苦しみは苦しみ だとも思います。 として引き受けるというか、苦しみに沈む時期は必要 それと、苦しむことは悪いことばかりではないと捉

屮 であるとか、そういう語りがあったからこそ、 あるいは奥地圭子さんの『登校拒否は病気じゃない』 もあったのではないでしょうか。 んも、学校のことを外から見ることができたという面 しかし、恩田さんのようなキッパリとした意見、 山田さ

山田 それは、 その通りです。

屮 きました。そのあたりは、 さんがおっしゃったように、親が子どものことを代弁 しまってきた面もあったわけですよね。それと、貴戸 してしまうという問題もあった。このプロジェクトで 力を持ってしまうと、そうではない語りが抑圧されて 「選択」をめぐる問題は、くり返しテーマにして とはいえ、不登校を選んだというような語りが 山田さんはどのように考え

ておられますでしょう。

#### 教育 の権利は2段構え

出田 てはならない」となっています(B)。 育機関を設置し及び管理する自由を妨げるものと解し の条または前条のいかなる規定も、個人及び団体が教 ものとする」とある一方で(A)、 教育を義務的なものとし、すべての者に対して無償の 親の選択権を認めるBはセットになっているんですね。 初等教育は、義務的でなければならない」とある(以下、 基礎的の段階においては、無償でなければならない。 ける権利を有する。教育は、 なってますね。第26条1項は「すべて人は、教育を受 わけです(以下、Bとする)。国家に義務を課すAと、 の種類を選択する優先的権利を有する」となっている Aとする)。そして、3項で「親は、子に与える教育 子どもの権利条約においても、第28条1項に「初等 世界人権宣言では、教育への権利は2段構えに 少なくとも初等の、及び 第29条2項に「こ

もれなく教育を保障する義務を負うということですね 義務的というのは、英語で compulsory で、 国家が

もふ

評価に対する慎みがある。 7年生までは教育評価をしないと書いてあることです。これはすごいなと思いました。もうひとつ驚いたのは、はないと明記されています。最初にこれを読んだとき、はないと明記されています。最初にこれを読んだとき、

ただ、いまの私は、compulsory なのは教育であるというのは危険だと思っています。学校以外でも、それが達成されるのであれば学ぶ場は学校でなくてもいい、家でもいいというのは、むしろ怖いのではないかとさえ思います。学校に通うほうが、むしろ来るだけは来て、あとは寝ているということもありうる。ところが、通学ではなく教育それ自体が compulsory になったら、おちおち寝ていることでもできない。

ならないと思っています。わが子にふさわしい教育と「教育を受ける権利」という1段目だけがあって、2「教育を受ける権利」という1段目だけがあって、2「教育を受ける権利」という1段目だけがあって、2に関学校)という公立校に多くの国民が信頼を寄

Bだけを言うのは危険だと思います。らない。ただし、AとBがセットになることが大事で、を親が選ぶ権利は、きっちり保障されていなければな

Aがよりよく実現する方向を重んじるのか、それよりもBの親の選択の自由を選ぶのか、そこは、宗教事りもBの親の選択の自由を選ぶのか、そこは、宗教事りがよいことだと思います。かなりあやふやなは決められないことだと思います。かなりあやふやなは決められないことだと思います。

方向に進む恐れがあったと思っています。 に拡大する傾向があり、国にとって安上がりな教育のしかし、当初の教育機会確保法案には、Bを安易

山下 たしかに、AとBのどちらに重心を置くかで、 意見が変わってきますね。私は、何より議論が足りてでもありになってしまうと、教育評価の視線が学校のマールや夜間中学校など多様な場が教育機会として認められると期待クールや夜間中学校など多様な場が教育機会として認められると期待された一方、かえって不登校の子が追いつめられると反対や慎重論の声もあり、大幅に変更された案が2016年の通常国会に上程され、フリースクールや夜間中学校など多様な場が教育機会として認められると期待のされた一方、かえって不登校の子が追いつめられると反対や慎重論のきれた一方、かえって不登校の子が追いつめられると反対や慎重論のされた一方、かえって不登校の子が追いつめられると同じない。

が教育化が強まってしまうという逆説がありますね。してしまうことを懸念してきました。自由化するほう外に広がるばかりで、子どもからすると逃げ場をなく

### 学籍選択の自由?

ついて署名運動をしようとしたことがありましたね。んたちは、90年代半ばごろにも学籍を離脱する自由に山田 具体的には、学籍の問題がありますね。奥地さ

立ち消えになったことがありました。
したんですが、内部からもいろんな意見が出て、結局はたんですが、内部からもいろんな意見が出て、結局は長会」をつくって、署名運動をしようとしたことがあっ

択権だけを言うのはまずいです。それでは、選択肢がれの自由があると読めなくもない案になっていました。 択の自由があると読めなくもない案になっていました。 状の自由があると読めなくもない案になっていました。 がといけない。 がないまま、あいまいに学籍選 がないといけない。 がないまま、あいまいに学籍選

なにしんどいことはないと思います。も自身が単独で選ぶことなんてできないですね。こんも自身が単独で選ぶことなんてできないですね。こんできても親は判断にとまどうでしょうし、その責任は

私立の学校を選ぶということもあるわけですが。穏当ではないかと思いますね。もちろん、いまだってがは地域の学校に行ってみるというのが、一番自然です。とりあえれば最初からわが子の学籍を辞退するなんて、かん

地域の学校に、できるだけすべての子が無理せず行います。

とは、矛盾していないのでしょうか。 地域の学校に行くことがもっとも自然であるということに、 AとBがセットであることが理想ということと、

きません」という親がいて、その選択に対して国家が山田 矛盾はしていないと思います。「うちの子は行

断じてあってはならないと思います断に対して、法令違反として国が圧力をかけることは介入することはできないということです。その親の判

田中 AとBが両立している状況で、選択する親子が

田中 フリースクール等の立場から教育機会確保法を田中 フリースクール等の立場から教育機会確保法を田中 フリースクール等の立場から教育機会確保法を

れないですし、これまでの経過を見ていて、その傾向山田 Aを軽視しているとしたら、僕はいっしょにや

はあったと思います。

るという目的もあったのではないでしょうか。新しい法律づくりには、そういうデメリットを解消すという心理的な負担を感じることがあると思います。という心理的な負担を感じることがあると思います。

合ったものを保障するためにあるものでしょう。とで生じるものですか? 日本の義務教育は履修主義ではなくて在籍主義でいいと思っているんです。学籍は子どくな生じるものですか? 日本の義務教育は履修主もを縛るものとしてあるのではなくて、国がそれに見したで生じるものですか? 日本の義務教育は履修主

した。そして、結局は学籍の話は法律の成立過程で立場合にかぎった話で、そういうものでもありませんでと思いますが、教育機会確保法は、あくまで不登校のと思いますが、教育機会確保法は、あくまで不登校のと思いますが、教育機会確保法は、あくまで不登校のと思いますが、教育機会確保法は、あくまで不登校のと思いますが、教育機会確保法は、ありますが、教育を関係

ですね。ち消えたわけですが、よく考えないといけないところ

それと、教育機会確保法を望んだのは、フリースクール関係者だけではなくて、クラスジャパンプロジェクル関係者だけではなくて、クラスジャパンプロジェクル関係者だけではなくて、クラスジャパンプロジェク思っています。そこにあるのは、Aを軽視して自由化・思っています。そこにあるのは、Aを軽視して自由化・セれを見ないで、フリースクールの主張が認められたと思うのは楽観的にすぎると思います。

考えを相対化できる場は、

子どもの成育にとって絶対

に必要だと考えています。

的にとれていれば問題は少ないかもしれませんが、僕をしている人たちのあいだで、なんらかの連携が恒常

んぜん賛同できないんです。ホー

山田僕は最初から、

ホームエデュケーションには

ムエデュケーション

は親が教育を担うということには反対なんです。

親の

屮

高岡健さん

Ŕ

親の影響力が強いことはまずい

# ームエデュケーションへの疑問

さんは以前から疑問を呈されてきましたね。思います。ホームエデュケーションについては、山田思います。現の選択権について、もう少しうかがいたいと

うのは、こういうところで立ち上がってくるものなんうのは、こういうところで立ち上がってくるものなん学していたんですけど、ホームエデュケーションとい学していたんですけど、ホームエデュケーションとい学していたんですけど、ホームエデュケーションというのは、こういうところで立ち上がってくるものなん

リカ、カナダなどにも、似たような文脈があるんだと 学していたんですけど、ホームエデュケーションとい だと腑に落ちたんですね。国土が広くて、文化的多様 だと腑に落ちたんですね。国土が広くて、文化的多様 だと腑に落ちたんですね。国土が広くて、文化的多様 なかにも多様性がある。そういう人たちのなかで、近 なかにも多様性がある。そういう人たちのなかで、近 なかにも多様性がある。そういう人たちのなかで、近 なかにも多様性がある。そういう人たちのなかで、近 なかにも多様性がある。そういう人たちのなかで、近 なかにも多様性がある。そういう人たちのなかで、近 なかにも多様性がある。そういう人たちのなかで、近

田メソッド」にもとづいて「自立教育」を体得させるとしている。会長は原田隆史さん(元中学校教員)で、ネットクラスを通じて「原立ち上げたプロジェクト。批判を受けて「学校復帰」の文言は消えた。を支援する」と謳って、角川ドワンゴ学園の役員などが中心となってを支援する」と謳って、角川ドワンゴ学園の役員などが中心となって不登校の小中学生の学校復帰

思います。

州では、ホームエデュケーションは制度的に認められ 育省に行って話を聞いたんですが、南オーストラリア ているけ 山下さんともいっしょに、南オーストラリア州の教 れども、 学籍は公立学校にあると言ってい

学籍は大事だと思います。そのことによって、 出 すべての子どもに対して責務を負うわけです。 学校に行 いっている、 行っていないにかかわらず 国家が

校にやってもいいというんです。そういう自分のベー ないと言うんです。なぜかというと、自分のそばに置 動車修理もしていて、9歳までは子どもを学校にやら 話で、お父さんはガソリンスタンドを経営しながら自 は世界のチャンピオン』という小説です。父子家庭の を学んだほうがいいと。このお父さんは、 スになる経験があって、 ンをバラして元に組み立てて動くようにできたら、学 いて、自動車修理の仕事を自然に覚えさせて、エンジ ホームエデュケーションということで想い起こすの ロール・ダールというイギリスの作家の『ダニー それから学校でいろんなこと 子どもに土

> れることをおそれたわけです。 算数・理科・社会を勉強させられて、 台になる経験がぜんぜんないままに、脈絡もなく国語・ テストで評価さ

を持つときに、外に働きかける具体的な対象を持つこ ものすごく大事なことだと思います。 とは、それを将来、 子どもが、 自分なりの世界観、物事の考え方の基本 仕事にするかどうかは別として

ま

言うけれども、 はないかと思います。 方の土台をうまくつくることのできる子は少ないので 感じがする。 ス的な仕事を通じて、自分なりの世界観や物事の考え これは僕の偏見かもしれないけれども、対人サ プログラム上の記号操作では頼りない グローバル化だとかITだとか

もののなかに生活の安定があるわけがない でもスクラップできるようにつくられてます。そんな ういう暮らしの場は減っているわけですが、そのこと ラキラしているけれども、 自体がおかしい。ショッピングモールなんて表面はキ 社会情勢としては、 街の中心部の商店街はシャッター通りになり、そ 自営業者はどんどん減 ほんとうに安普請で、 いってい いつ 0

実際は、 私たちの日々の具体的な暮らしのなかには

ちで自給自足の農業を始めている人なんかもいますね。 ろんな仕事があるはずなんです。なかには、自分た

屮 相対化されて、上手に利用する程度のものになるのか もしれないとも思います。 います。逆に言えば、具体的な足場があれば、学校は か。それこそ総論ではなく各論が必要なところだと思 いまの子どもたちとそういう足場をつくっていけるの のかもしれませんね。しかし、具体的にどうやって、 ほんとうの意味で学校を相対化することは難し そういう何らかの生活の足場を持たないことに

自分がやっていける道を右往左往しながら見つけてい ように思っているけれども、 かり ることは、それ自体が目的なんです。それは、選べな そういうことではないのですよ。地域の人とともにい 主義的なニュアンスがありますね。僕が言いたいのは くほかない。 んだわけじゃないですね。与えられた条件のなかで、 のでもある。多くの人が、あたかも何でも選べる 学校を利用するという言い方にも、 選べないなかでも、 誰しも自分の両親だって、 そばにいる人と折り どこか個 人

> いと思いますね。 合ってやっていく。 そのほうがよっぽど楽でおもしろ

#### 「昔はよかった」 で はな

らない。もし、山田さんが、いまの時代の子どもたち せないと、自分たちには何もないということにしかな 組合も衰退した、いまの時代状況で何ができるかを示 かない人に向かって語るとき、手づくりがなくなり、 ていると思います。 の安定を得ることは、 ないですね。山田さんのように物の生産を通じて精神 へのメッセージを言うとしたら、どうでしょう。 ことをきいているのだと思いますが……。 選べないということで言えば、時代状況も選べ いま、あるいはこれから学校に行 いまの時代では相当難しくなっ

経済が続くという前提に立っているわけですね。 資源の供給があり、地域間の格差が続き、グローバル かなと思っているんです。 達したら、これだけの仕事がなくなるとか、ほんとう 山田 その時代状況の認識についてですが、 それは、 いまと同じような A I が発

そも、そういう見方自体に疑問がある。

ましょうとか、この方面に使うのはやめましょうとか、 労働の現場にどう持ち込むかは、さまざまな選択のな が決まってきたわけではない。新しいテクノロジーを テクノロジーの技術的必然だけで、 を失ってはいけないと思っています。いままでだって かで決まってくることです。もうちょっとゆっくりし 僕は、仕事の機会をみんなでつくり合うという発想 仕事のありよう

です。そう考えないと、必然的にこうなると将来予測 そういう人間の知恵とのかねあいで決まってくるもの

それに備えてという考え方は本末転倒だと

を立てて、

岸 実践的に考えて、そこから普遍的な問いを立てていく は、抽象的な観念論ではなく、現場から具体的、現実的、 ますよね。デューイを含め、プラグマティズムの思想 の子どもたちが学校を相対化できる具体的な足場を わけですね。私の問題意識として常にあるのは、 山田さんの思想には、 デューイの影響があ いま ŋ

リカの哲学者。 ジョン・デューイ (John Dewey /1859-『学校と社会』などの著書がある。 1952)・アメ

> しまって、 だけでは、 実際にどうつくることができるか、です。理念や言葉 昔話を聞かされているということになって その言葉は子どもや若者に響かないように

は重要です。 山田 手仕事を重視した教育思想家としてもデュ

ちょっと変わりうると思いますし、 まうわけです。あなた自身が、そういう社会を生きな 私たちひとりひとりがこの社会をつくっている。もち たのことではないですか」と話したことがあります。 会がどうのと言うけれども、その社会というのはあな 思っています。いつだか、若い人たちと話していて、「社 がらえさせることになる。 けれども、あきらめてしまえば社会の惰性を強めてし ろん思うがままにはならなくて、社会的制約は受ける いうことになってしまいますね。それではいけないと て話をするとき、うっかりすると「昔はよかった」と いま指摘されたように、高校生や若い 僕は、 いまの社会はもう そう思いたいです 人に向

るも もいれば、受けとめてくれない人もいる。 えると、さしあたっては人間関係しかないんじゃない えたいです。 とうまくいくこともある。そういうなかで、見えてく 同じ人に言っても、 かと思います。人間だって、思い通りにはならない い対象を、 のもあったりしますよね。 同じことを言っていても、 山田さんがおっしゃるような思い通りにならな いまの私たちが具体的にどう持てるかと考 別の日に別のシチュエーションだ そこにある共同性を考 受けとめてくれる人 同じことを わ

を見いだしていくこともできる。 思っています。そういう意味では、ケア労働であると のですよね。そういうなかで格闘するしかない。そし は選ぶことはできるかもしれない。だけど、 見通しのある、 教育を選ぶというとき、コンテンツが確定していて 「場」って、行ってみないと誰がいるかわからない 人の身体性、生き死にを扱う領域のなかに共同性 真摯に関われば、何か見えてくるのではないかと そこで格闘すれば、思い通りにはならないけれど 出会った人と、そこでいっしょにつくっていくも パッケージ化された教育みたいなもの 私は、 そういうこと 共同性と

を考えています。

まく再利用していくことが絶対に必要です。私たちの 域ごとに、そこに住んでいる人が、 が協働でメンテナンスしていくほかない。特定の職業 のところにきています。それは、そこに住んでいる人 るわけですが、それらのインフラが耐久年数ギリギリ ルなど、いろんなインフラに支えられて成り立ってい 生活は、 メンテナンス(修復・保全)が大事だと思っているん 一度つくったものをどう上手に活かしていくかは、地 くほかない。 いままでの物づくりは大量生産できたけれども 以前から、ずっと言っていることですが、 電気、水道、ガス、鉄道、道路、橋、トンネ 住民がそこで生じる必要を協働で満たして 僕は、 そこに可能性をみています。 現にあるものをう

**#46 山田潤さん** 不登校 50 年証言プロジェクト

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

#46 山田潤さん

インタビュー日時:2018年7月27日

記事公開日:2018年9月4日

場 所:ココナッツハウス (大阪市)

聞き手:山下耕平、貴戸理恵、栗田隆子、田中佑弥

記事編集・写真撮影:山下耕平

- 1233 - - 1232 -

していました。

この40年間、

不登校から学ぶことは

になってきたと思います。

なかった。

しかし、

には、すでに登校拒否を治すような本が置かれるよう わりでも見かけることがなかったんですが、 は関わってきたことになります。 うど40年前のことです。ですから、 言うと半世紀ですから、 の統計を開始して、 お話しいただけますでしょうか 私が不登校に関わるようになったのは、 の不登校からで、1978年のことだったので、ちょ このプロジェクトを開始したわけですが、 ちょうど不登校が増え始めるころで、 文部省 戸塚ヨットスクール ちょうど50年にあたる2016年 さすがに長い時間ですね。 1966年に「学校嫌い がマスコミに出始めた 70年代半ばというの 約50年のうち40年

自分の子ど

50 年 と

を考える各地の会ネットワーク」という親の会のネッ

トワークをつくって(現在の名称は「不登校・登校拒

るかと思います。 校との関わりは、

まずは、 質も幅も、

不登校との関わりの

略を

会」を始め、それから1年半経って、学校以外

の居場所

1984年に親の会「登校拒否を考える

子どもたちの活動の場があったらい

いかとなって、85年に東京シュー

う活動がもとになって、

990年に

「登校拒否

レを始めました。そ

そういうことじゃないんだと、自分の子ども

るようになるんだろう」と思ってい

たん

ですが

の不登校

非常に深く広いも

のがあ の不登

ていただくことになったわけですが、

奥地さん 奥地さんに話

このプロジェクトの最終回に、

親として「どうやったら学校へ元気に

んとうに多くありました。

#47 奥地圭子 さん



(おくち・けいこ)

1941 年生まれ。4歳のときに東京大空襲に遭い、父の郷里広島で育つ。1963年、 横浜国立大学学芸学部卒。その後22年間、公立小学校教員。1984年「登校拒否 を考える会」設立。1985年に東京シューレを開設。1990年、登校拒否を考える 各地の会ネットワーク設立(現在は NPO 法人登校拒否不登校を考える全国ネット ワーク)。1998年、NPO 法人全国不登校新聞社設立。2001年、NPO 法人フリー スクール全国ネットワーク設立。2006年学校法人東京シューレ学園設立。いずれ も代表理事、理事長を務めている。2007年東京シューレ葛飾中学校開校、2018 年3月まで校長。2012年「多様な学び保障法を実現する会」設立、現在まで共同 代表。2015年文科省「フリースクール等検討委員会」委員就任。

インタビュー日時:2018年9月6日

聞き手:朝倉景樹

場 所:東京シューレ王子

写真撮影: 今井睦子

登校新聞を創刊しましたが、そこでも不登校経験を持 ちの子は登校拒否だったんです」とは、 があるなかでは、「私は不登校してました」とか、「う リースクール全国ネットワークをつくりました。 否を考える全国ネットワーク」)、2001年にはフ つ人たちが編集部で大活躍することで、 そういうなかで、だんだん輪が広がってきたと思う 以前から、当事者の発信は大事だと思って 学校に行って当たり前という社会通念 いまはだんだん当事者発信の時代 私たちは、 1998年に不 世の中の不登 なかなか言え

まだ私のま

いたんですが、

ですね。

本屋さん

の寛容度がだんだんに上がってきたのか

うちの子が不登校だったころは、「首に縄をつけてでも学校へ行かせないと、ズルズル社会に出られなくでも学校へ行かせないと、ズルズル社会に出られなくなる」だとか、非常にひどい言葉ですけど「廃人になから、いまは受けとめ方もやっと変わってきて、「学校復帰が前提ではない」と、文部科学省が通知を出したり、学習指導要領の総則に書く時代になった。それはやっと、この3すごく大きな変化です。でも、それはやっと、この3すごく大きな変化です。でも、それはやっと、この3すごく大きな変化です。でも、それはやっと、この3すごく大きな変化です。でも、それはやっと、この3すごく大きな変化です。でも、それはやっと、この3

いろいろやってきてよかったなと思うところですね。が、それがやっと変わってきた。それは一番うれしい、のは、なかなか変えられない難しいことだったんですのは、なかなか変えられない難しいことだったんです

年ほどのことですね。

### わが子の不登校

**朝倉** そうしましたら、まずは親として不登校を体験

奥地 当時、私は教員をやっていて、ちょうど中堅ど ころになっていたころでした。自分の子どもが学校に ころになっていたころでもあったんですよね。転校 じめが広がってきたころでもあったんですよね。転校 じめが広がってきたころでもあったんですよね。転校 じめが広がってきたころでもあったんですよね。転校 では、ほかの人と少しちがう雰囲気を持ち込むので、 からかいやいじめの対象になって、とても学校に行き つらくなっていたんです。長男は、前の学校と比べて 「学校の雰囲気がちがう。息苦しい学校だ」と言って ました。私の言葉で言うと、管理的な学校だったんで す。班競争があったり、休み時間まで何をするか決まっ ていたり、お手洗いに行くのも背の順に並ばないとい けなかったり、非常におかしなやり方をしていた。

も、長男は納得してないですから、手を後ろへ引っ込と言って、仲直りの握手をさせようとしたんです。で「やめろよ」って、最初は小さい声で言うんですけど、て「やめろよ」って、最初は小さい声で言うんですけど、と言って、仲直りの握手をさせようとしたんです。と言って、仲直りの握手をさせようとしたんです。でと言って、仲直りの握手をさせようとしたんです。でと言って、仲直りの握手をさせようとしたんです。でと言って、仲直りの握手をさせようとしたんです。ではいいですから、手を後ろへ引っ込と言って、仲直りの握手をさせようとしたの不信感がありました。たと、といいですから、手を後ろへ引っ込と言って、仲直りの握手をさせようというにない。

得のいかないようすでした。 得のいかないようすでした。 得のいかないようすでした。 得のいかないようすでした。 得のいかないようすでした。 得のいかないようすでした。

そういうことがあって、朝になると、熱が出るとか、そういうことがあって、朝になると、熱が出るとおなかが痛いとか、頭が痛いとか、身体症状が出るよおなかが痛いとか、頭が痛いとか、身体症状が出るよおになる。元気になると、当時の私は「来週は学校行気になる。元気になると、当時の私は「来週は学校行気になる。元気になると、当時の私は「来週は学校行ないとから気がついたことですが、自分でもちゃんとはあとから気がついたことですが、自分でもちゃんとしないといけないと思っているから、体調が悪くても必死で学校に行って、運動会の練習なんかもする。そ必死で学校に行って、運動会の練習なんかもすると、今とへとになって帰ってきて、「お風呂入っうすると、へとへとになって帰ってきて、「お風呂入っ

ないとできないぐらいでした。たら」「ご飯食べたら」と言っても、まずは寝てからじゃ

そこで、親としては「運動会の練習のときは見学させてください」とか、「疲れていたら早く帰してください」とか書いて先生に渡すんだけど、やっぱり先生の立場としては「みんな同じように疲れている。がんばっているのはおまえだけじゃない」とか言って、認められないんですよね。それで、必死にがんばって運動会は無事に終わったんですけど、運動会から帰ってきて、玄関で靴を脱ぐために座ったら、それきり立てなくなっちゃったんです。トイレも這っていくような状態になってしまいました。

はすべてダメで、どんどん痩せていって……。透明な水だけは吐かないんですね。消化の必要なものつくってやっても吐くし、味噌汁やプリンもダメで、スが飲みたい」って言ってたんですけど、ジュースをスが飲みたい」って言ってたんですけど、ジュースをのは、食べ物を受けつけなくなったん

分の子どもを育てられないのは非常に情けない気がしからない。教師をやっていたので、教師がまともに自私も混乱して、ほんとうに何が起きたのか、よくわ

うなものだったんでしょうか。

て、教師を続けていていいんだろうかとも悩みました。アTAの仲間からも「奥地さんが甘やかしたんじゃないの」とか、「もっとこういうふうに押せば大丈夫よ」とか、言われるんですよね。あとから考えると、学校とか、言われるんですよね。あとから考えると、学校とか、言われるんですよね。あとから考えると、学校の人の目もなんだか怖い気がして、ヒソヒソやっていると、何となく自分のことを言われているような気がると、何となく自分のことを言われているような気がると、何となく自分のことを言われているような気がると、何となく自分のことを言われているような気がると、何となく自分のことを言われているような気がると、何となく自分のことを言われているような気がんですね、同じ学校ですから。

朝倉をういう状況は、どのくらい続いたんでしょう。

年ぐらいで、拒食症は3~4カ月でしたかね。 奥地 登校拒否そのものは、グズグズし始めてから2

### 70年代の状況は

朝倉 当時、世間の登校拒否に対する見方は、どのよ

奥地 統計上、登校拒否の数が増え始めるのは75年かぬ地 統計上、登校拒否の数が増え始めるのは75年からで、78年というと、まだ3年ぐらいしか経っていないですかね。何か学校でつらいことがあっても、「みいですかね。何か学校でつらいことがあっても、「みいですかね。何か学校でつらいことがあっても、「みんな学校へ行って、そうやって大人になるもんだ」と思っている。学歴社会になって、塾なんかも盛んで、思っている。学歴社会になって、

国府台病院には、「希望会」という親の会があって、

ました。 たいへんな状態に追いつめられて、やってこられていいて知り合いました。みなさん、子どもが、なかなかいて知り合いました。みなさん、子どもが、なかなかそこに不登校のお子さんがいる親の方がいっぱい来て

**朝倉** お子さんの在籍した学校からの対応は、どう

奥地 先生がやって来て、やっぱり親の育て方の問題奥地 先生がやって来て、やっぱり親の育て方の問題

ましたけど、でも、最初のころは、友だちが来てくれをれから、子どもが「友だちと会えないのがつまんです。どうしてそうなるのかなと思ったら、「月曜日はす。どうしてそうなるのかなと思ったら、「月曜日はもたちは自分の気持ちで来てるんじゃないから、いじもたちは自分の気持ちで来てるんじゃないから、いじもたちは自分の気持ちで来てるんじゃないのがつまんとれから、子どもが「友だちと会えないのがつまん

るのはいいことじゃないかと、私も思ってました。ところが、子どものほうは、渡辺先生に「友だちが、 ないかってなるし、それは縄がよじれるように苦しないかってなるし、それは縄がよじれるように苦しないかった」と話していたんですよね。

それを横で聞いて初めて、私が先生に頼みに行った のも先回りをしていたんだなと気づきました。子どもの は友だちと遊べなくてつまんないって気持ちを親に訴 えたかったのに、私はすぐに解決を求めていて、それ えたかったのに、私はすぐに解決を求めていて、それ えたかったのに、私はすぐに解決を求めていて、それ が子どもの側に立つというのは、なかなか難しいですね。 私は渡辺先生に会って、それから希望会に出会って、 私は渡辺先生に会って、それから希望会に出会って、 和めて気がつきました。

もに何かをやらせようとしてしまっていた。
はできている」「ふつうは」というところから、子どついたんです。どうしても、「こうあるべき」「みんなほんとうには子どもの側に立てていなかったなと気がいたわけです。だけど、自分の子が不登校になって、いたわけです。だけど、自分の子が不登校になって、

おが家の場合にかぎらず、当時の不登校の人たちは非常にきつかったと思います。いまでこそ登校圧力は 明まりましたが、当時は、学校へ来られないなんておいなところに入れられることもありましたからね。あ と、当時は山村留学も流行ってました。山村留学とい うのは、親のもとにいると甘えるから親から離して、 他人の飯を食わせて、その村の学校に行かせるという ようなことですね。子どもは希望していないんだけど ようなことですね。子どもは希望していないんだけど

## 渡辺位さんとの出会い

**朝倉** 渡辺先生とは、どういう経緯でつながったんで

奥地

う雑誌の編集部に持って行ってたんです。

自分の教師としての実践記録を、

。そうしたら、

れていた。 郎社から1973年に創刊された教育誌。2000年8月まで刊行さ郎社から1973年に創刊された教育誌。2000年8月まで刊行さまり、数学者・遠山啓(1909―1979)を編集代表に、太郎次

編集部の人が登校拒否について話していて、「いろんな先生がいろんなことを言っているけど、やっぱり渡よね」みたいな話をしていたんですね。

こちらは、子どもが拒食症の真っ最中で、藁にでもすがりたい気持ちだったので、すっ飛んで、国府台病院に予約を取りに行ったんです。しかし、翌週にでも診てもらえるのかと思ったら、3カ月待ちだったんですね。その間、どうやったら食べてくれるのかと思って、ほんとうにあらゆる工夫をしました。田舎から好きなものを送ってもらったり、子どもがおいしいと言っていたレストランに行ってみたり、好きだった食言っていたレストランに行ってみたり、好きだった食力したんだけど、ほんとうにちょっと箸をつけるとか、見ただけで「いらない」と言ったりで……。

よ」と言ったんです。ほんとうは、その通りなんでしょまでも、東大病院とか墨東病院とか、かかりつけのまでも、東大病院とか墨東病院とか、かかりつけのまでも、東大病院とかとうにいろんな病院に行っても、なんともなんないじゃないか。そういうのとはちがうなんともなんないじゃないか。そういうのとはちがえるわけです。

よ」と言って、行ってくれたんです。と言って、行ってくれたんです。「1日ならいいき合うつもりだったんでしょうけど、「1日ならいい会わなきゃわかんないじゃん」って。すると、私に付せないと思っていたんですね。ですから、必死に説得けど、拒食症の状態ですし、私は医者じゃないと治うけど、拒食症の状態ですし、私は医者じゃないと治

1日しか来ないって言ってるんですけど」と言ったら、 1日しか来ないって言ってるんですけど」と言ったら、 渡辺先生はあっさりと「今日1日だけ来たかったのね、 わかりました。じゃあそうしましょう」と言われて、 たぶん子どもはそれで安心したのかなと思います。「お 母さんは、あちらのソファで座って聞いていてくださ い」というところから始まって2時間ですね。初診者 は10時から12時の2時間と決まってたんです。そのあ は10時から12時の2時間と決まってたんです。

した。私も、学校の管理教育はおかしいと思っていたこともあって、それは私の先走りだと。それで、なんこともあって、それは私の先走りだと。それで、なんこともあって、それは私の先走りだと。それで、なんこともあって、それは私の先走りだと。それで、なんこともあって、それは私の先走りだと。それで、なん

うに思います。が渡辺先生に話すのを聞いていて、初めてわかったよが渡辺先生に話すのを聞いていて、初めてわかったよでいたことで子どもを追いつめていたんだと、子ども部分はあったんですけど、自分がよかれと思ってやっ

もちろん言わないし、食べてくれなかったわけでしょ たんです。それはほんとうに、 夕飯はどうかなと思ったら、夕飯もふつうに食べられ す。もう、びっくりして。それがお昼ご飯だったので たと思うんですけど、子どもは、その2皿を「おいし くって、ぜんぶにぎったら、2皿できちゃったんです で帰って、ご飯が電気釜にあったのでおにぎりをつ う。それが自分から食べるって言ったので、すっ飛ん たよ。こんないい気分、何年ぶりだろう」と言って、「お をして、「お母さん、羽が生えたようにいい気分になっ い、おいしい」って、ぜんぶ、たいらげちゃったんで よね。拒食症の後だから、ほんとうは2~3個でよかっ にぎり食いてえ」って、自分から言ったんですよね。 それまでの3~4カ月、自分から食べたいなんて その2時間が終わったら、子どもがうーんと背伸び 目の鱗をとられるよう

## 僕は僕でよかったんだね

まっていた。それは何だろうと、自分の考え方や子ど たのに、逆に「こんな自分ではダメだ」と思わせてし としてでも元気になってもらいたいと思ってやってき 間話しただけで子どもがそう思えた。親のほうは、何 た」って思えたというのが、ちょっとショックだった 学校に行けるようにならなきゃ。でもできない」と思っ ているんだけど、子どもからすると、「こんな僕じゃ 拒否が始まって、そのときで5年生。親も一生懸命やっ は2年間ぐらい悩んでいたわけです。3年生から登校 たんだね。渡辺先生に会ったら、そう思ったよ」と言 んです。いくら専門家といっても、たった1日、2時 ていた。それが、渡辺先生に会って「僕は僕でよかっ ダメだ、早く元気になって、早くみんなと同じように ていました。それでハッとしたんです。それまで、親 への関わり方をふり返らざるをえなかった。 子どもはそのとき、「お母さん、僕は僕でよか 0

それまでは、どうしても学校を中心に考えていて、みそこで発見したのが、「わが内なる学校信仰」です。

ついては、後から知っていくわけですが、出 とってはそれは必要なことなんだと。そういう考えに 常じゃないように見えるかもしれないけど、その子に 食べて下痢をしなかったらおかしいように、一見、正 まったく正常なことだというわけです。腐ったものを 学校から身を護るための生き物としての防衛反応で すね。渡辺先生は、子どもが学校と距離をとるのは、 親の育て方が何か悪かったのかと思っていたんです。 も、子どもの動きや言葉に対して、拠って立つ位置が か、ふつうはこうしているというのは関係ないんで るんだからって考えていたんです。それで、やっぱ り管理的だったり問題のある学校でも、 んなと同じようにできてあたりまえ、 だけど、渡辺先生は、みんなが学校に行っていると いじめがあった みんな行 会った日 って

いろいろやってきて、でも、なかなか学校は変わらなて悩んでいたことと、子どもが学校に感じたことはて悩んでいたことと、子どもが学校に感じたことはそらこうでしょ」とか言って、校長とケンカしたり、たらこうでしょ」とか言って、校長とケンカしたり、そこでふと、自分が教師として学校のあり方についそこでふと、自分が教師として学校のあり方につい

ちがっていたんでしょうね。

たいへんだったんじゃないかって、すうっとつながったいへんだったんじゃないかって、すうっとつながったら、よくないんだと。そもそもはとってよくなかったら、よくないんだと。そもそもはとってよくなかったら、よくないんだと。そもそもはとってよくなかったら、よくないんだと。そもそもはとってよくなかったら、よくないんだと。そもそもはとってよくなかったら、よくないんだと。そもそもはどもにとって、つらい対応をしてしまっていた。子どもからしたら、学校もたいへんなのに、家族の対応ももからしたら、学校もたいへんなのに、家族の対応ももからしたら、学校もたいへんなのに、家族の対応もたいへんだったんじゃないかって、すうっとつながったい。そういう学校の体質や物の考え方に対して、子どい。そういう学校の体質や物の考え方に対して、子どい。そういう学校の体質や物の考え方に対して、子どい。

ないと思います。そのときの経験があって、そこからは、私はブレていよく「奥地さんはブレないね」って言われますが

たんですね。

## 希望会で学んだこと

のであれば、「続けて行かない?」ってことになりそりですか? お子さん自身にとって、とてもよかった朝倉 お子さんが渡辺先生と会ったのは、その一度き

うに思いますが。

なって、拒食症は治っちゃったし。になっちゃったから。ご飯もふつうに食べるように奥地 でも、必要がなくなっちゃったんですよ、元気

「僕は僕でよかったんだ」と思えたのと、家のなかの考え方が変わったこともあって、子どもはどんどんの考え方が変わったこともあって、子どもはどんどんの考え方が変わったこともあって、子どもはどんどんの考え方が変わったこともあって、子どもはどんどんの考え方が変わったこともあって、子どもはどんどんの考え方が変わったこともあって、子どもはどんどんの考え方が変わったんです。それまでは、車に乗せなんだとか図書館だとか、学校のある時間でも堂々とさんだとか図書館だとか、学校のある時間でも堂々とさんだとか図書館だとか、学校のある時間でも堂々とさんだとか図書館だとか、学校のある時間でも堂々とさんだとか図書館だとか、学校のある時間でも堂々とあったがですね。

も自信をなくして、「教師をやっていてもいいのかな」不登校だなんて人に言えないし、なんとなく子育てには、私自身もどこか引け目を感じていて、うちの子がそのときに、私自身も変わってるんです。それまで

問題じゃないかって思えたんです。れは自分の育て方の問題じゃなくて、みんなで考えるという気持ちでいたんです。でも、その日を境に、こ

それからは、教育研究集会だとか、PTAの集まりだとかで、子どもにとって学校はどうなっているのか、教育そのもの親がどういう考え方をしているのか、教育そのものをどう考えたらいいのか、「うちの子が登校拒否して、発言していったんですね。それは、ぜんぜん恥ずかし、い問題じゃなくて、子どもがよくそういうことを感じたなと思って、学校が変わらないとダメですよねって、たなと思って、学校が変わらないとダメですよねって、あちこちで言うようになったんです。

身のことをどう考えているかは、子どもの状態にも相身のことをどう考えているかは、子どもが東にも間係ありますか」ってきいたら、「おおいに関係ある人じゃないですか。そういう親子はよく見ますよ」っんじゃないですか。そういう親子はよく見ますよ」った、おっしゃったのね。私の経験からも、親が自分自て、おっしゃったのね。私の経験からも、親が自分自て、おっしゃったのね。私の経験からも、親が自分自て、おっしゃったのね。私の経験からも、親が自分自なった。

当関係あるかなと思います。

午後に休暇をとって参加していました。回やっていたんですが、教師の仕事を持っていたのでの会に参加するようになりました。そのころは月に2私のほうは、国府台病院で開いていた希望会という親私のほうは、1回しか渡辺先生に会ってないんですが

て、みんな真剣で、ほんとうに勉強になりました。10分ほど話をされたら、帰られるんです。渡辺先生は10分ほど話をされたら、帰られるんです。渡辺先生は10分ほど話をされたら、帰られるんです。渡辺先生はが

も、そこから学ぶんですね。私自身、だんだん、いろ をとえば、「先週から子どもが口をきかなくなって、 ないの? 言った言葉を思い出してみなさいよ」と ないの? 言った言葉を思い出してみなさいよ」と ないの? 言った言葉を思い出してみなさいよ」と よ」って、みんなが言って、「子どもの気持ちからしよ」って、みんなが言って、「子どもの気持ちからし よ」って、みんなが言って、「子どもの気持ちからし ないと思うよ」なんて話になるわけです。ほかの参加者 いと思うよ」なんて話になるわけです。

んな謎が解けてきました。

で起きると、相談の電話だったりね(笑)。 るようになって、朝5時ぐらいから電話が鳴るんです よ。夜中の2時ごろにかかってきたこともありました。 な中の2時ごろにかかってきたこともありました。

#### 悩みの深さに

**朝倉** 相談の電話を受けるようになったのは、なぜで

東地 みなさん困っておられたので、うちの電話番号を教えてたんですよ。いまのように個人情報なんて考えてる時代じゃなかったですし、何か役に立ちたいと思って。学校に電話されても困るから、家の電話番号思って。学校に電話があって「ごめんなさい、起こし朝5時ぐらいに電話があって「ごめんなさい、起こしまやいましたか。子どもが寝なくて、朝方やっと寝てくれて、犬の散歩に行くからって外に出て、公衆電話なれて、犬の散歩に行くからって外に出て、公衆電話番号

をさして、ぎゅって傘を下に向けて歩くしかないんで ます外を歩けなくなって、 なって、男の子なんだけど乳房ができちゃって、ます あと、病気と診断されて病院に入れられて、薬漬けに 施設に入れちゃったもののどうしたらいいか、とかね んでいて、ご飯だけを届けているとか、 もが占領して、親は近くに小さいアパートを借りて住 やって見つけたか家に突然来られたこともありました ておられたり、 夕食ができない。それで子どもが手伝ってくれたりね うんだけど、すぐ別の電話がかかってきて、なかなか すとかね。 のでした。一家心中寸前だとか、3年ぐらい家を子ど 電話だけじゃなくて、職場を出ると門のところで待っ しているときにかかってきて「ちょっと後で」とか言 しかし、そのころの相談の悩みの深さは、相当なも 駅のそばで会ってくださいとか、どう 晴れていても、 子どもを矯正 いつでも傘

けいれたんです。それで、クラスの子たちは、その子なると人生がダメになる」と思って、その子たちを受んも、希望会に関わる前のことで、「学校に行けなくクラスの子が全員で迎えに来たんですね。そのお母さんこれは、希望会のお母さんの話ですけど、ある日、

先生とクラスの子が追っかけてくるんですが、「来る を教室へ帰したところで、その子は一目散に家に帰っ そうよね。その子からしたら、 て、その後3年間、ひきこもっちゃったんです。そりゃ ンバン投げるんです。 の子はターッと走って理科室に入って、ガラス物をバ いる。それで、 て叫んだり暴れたりしますよね。みんながそれを見て を担いで商店街のなかを通って、つれて行っちゃった です。当然、「降ろせ。なんで、そんなことするんだ」っ 飛び降りるぞ」って。それで、先生が子どもたち 学校に着いて降ろされたところで、そ その後、屋上に駆け上がって ひきこもらざるを得な

を本にしましょうという話になったんです。 経って、通信も10年分あったので、ここまでのこと とうにきつい状態になったお子さんが、希望会に出 施設や病院に入れるかだったんですよ。それで、ほん 『登校拒否・学校に行かないで生きる』(太郎次郎 やかに暮らすようになったりね。その希望会が10 ていたんです。 会って、すごく元気になって、 そのころの登校拒否への対応は、 そういうようなことが、たくさんありました。 家族のなかも、ごたごただったのが穏 働いたり進学したりし 学校へもどすか それ 年

1983)という本です

### 反響の大きさから

登校してもダメと言われて、何べんもやり直しになっ て、そのことがきっかけで不登校になって、 て、「校則だからしょうがない」と思って、散髪して ね。そのころは制服や頭髪の規則がものすごく厳しく 方の娘さんは、飛び降り自殺で亡くなられたんです 住んでいた都営アパートの部屋で開いてました。その つめられて、亡くなられてしまったんです。 その編集会議は、希望会に来ていたお母さん 結局は追



『登校拒否 学校に行かないで生きる』 渡辺位編著/太郎次郎社 1983 年

変えた最初の本だと思っています。 言ってくれました。私は、 に座談できて、みんな自分の側からの意見をしっかり の中の状況が厳しかったですからね。それでも、 くありましたね。 んですけど、 やっぱり、いったん引き受けても、当時は世 出てくれる子をそろえるのがたいへんで あの本は、 反響は、 不登校の流れを b のすご 無事

たしかに、しぶきがキラキラして虹みたいになってい 飛び降りるつもりでね。そうしたら、子どもが「お母 お母さんは「この先も苦しい目にばかり遭わせるん さんが「こんな本があるんなんて、 やろうとしていたんだ」と思ったそうです。そのお母 て、そこで、お母さんはハッと我に返って「私は何を さん、滝の水きれいだね~」って言ったんだそうです。 日光の華厳の滝まで行ったという方がいました。 じゃないか。もう自分も生きる元気ない」と思って 2ぐらいの子が登校拒否して、 お手紙をくださった方のなかには、 ほかにも、 仲間に入れてください」と手紙をくださったんで 親の会に参加したいという手紙が 村八分状態に遭って 生きていてよかっ 母子家庭で、 滝に

族で、「もし初めから自分が受けとめていたら、こん と言われたんです。 いて、「娘の供養になるから、 なことにはならなかったのに」って、すごく嘆かれて 母子家庭で、 お母さんにとってはたったひとりの家 うちに来てやってくれ」

したね。

子どもがまともじゃないんだ」とか言われて、 詰めることがないようにと思って、反省しながら書か ことが続いたんです。書いたお母さん自身は、ほか まったんですけど、その後、やっぱりやめますという 議をさせてもらいました。原稿の手記は20 本に書いてくださった。 ん減ってしまって……それでも、 もないから、よせ」とか「そんなことをやっているから、 れているんです。 人たちが同じような苦しみに遭ったり、子どもを追い それで、 しょっちゅう集まって、企画会議や編集会 だけど、家族から「そんなのみっと 何名もの 方が、 2~30通は どんど あ 0 集

朝倉 この本には子どもの座談会も載って 11 ましたね

奥地 の座談会じゃ あれは日本で初めての、 ないかと思います。 不登校の当事者どう うちの子も出てい る

朝倉

希望会に入りたいと。

そうです。

それで、

渡辺先生が病院にきいて

要するに、病院の患者でない人は受けいれられない くださったんだけど、病院長がダメだというんです。

ね。それで、私と竹下ミドリさん(当時の希望会の会 病院としては、集団治療と捉えていたんでしょう

それは、

について来ることで、そもそもをどう考えるかが大事。

う名前にしたんです。

対応をどうするかは、その考え

が大事だということで、「登校拒否を考える会」とい

会の方向性としては、登校拒否をどう考える

長)で、病院の外に親の会をつくろうと話し合ったん

です。こんなにたくさんの人が悩んでいて、私たちは

経験をいっぱい持っていて、

いっしょに考えていけば、

もっと子どもを受けとめる人が増える。子ども自身は

力を持っているんだから、それで育っていく人も増え

る。だから、希望会は希望会として病院のなかでやっ

それが

得ないですね。でも、子どもからすれば、まずは親に

わかってほしいという気持ちがある。だから、まずは

行かないことを受けいれるなんて、そう簡単にはあり ないし、受験競争ばかりに関心のある社会が、学校に 思っていました。学歴社会がいっぺんに変わるわけは なことだけじゃなく、社会が変わらないとダメだと

私は、当時から、親がどう対応するかという個人的

みんなで考えないとダメなんじゃないかと。

いまも続いている親の会の始まりです。 ていくとして、病院の外にも会をつくろうと。

そもそもをどう考える

会」になりますよね。「登校拒否親の会」とか、 そのときに、会の名前が「登校拒否を考える ほか

朝倉 ひとりひとりが、そもそもを考えてい

親が考えることが大事で、

親の会を始めたんです。

奥地 登校は文化の森の入口』(東京シューレ出版2006) そう、そこが大事ですね。渡辺先生は、のちに『不

という本を出されますが、そういう考え方ですね。不 登校・登校拒否って、 り方、社会のあり方、 口になるんですよね。 自分の考えとか、 すべてに関わっていく。 親のあり方、勉強とは何ぞやと いろんなことを深く見ていく切 いまの学校のあり方、教育のあ

朝倉 誰もが参加できるかたちにされたということでしたね。 なるほど。登校拒否を考える会は、希望会から、

と、次々に出てきますから、社会にもっと広く問題を 訴えたいと考えたんです。本を出したのも、そのひと うがいいと思ったんです。それと、社会が変わらない たちは、自分たちだけではなく、誰もが参加できたほ りたいんだったらどうぞ」みたいな感じで。でも、私 なかでずっとやるのでいい。奥地さんや竹下さんがや ことではなかったんですね。希望会のなかでは反対し つながって、発信したり考えを広げたりしていこうと。 つなんだけど、考える会をつくることによって、親が た人たちもいました。「自分たちは希望会で、 それで、 希望会から登校拒否を考える会になったという ふれこみををつくるときに、 会の規則が必 病院の

> く「親が悩んで集まって、傷の舐め合いをしてるんで 発足した当初から、そういう意識は持っていたんです。 しょう」みたいな悪口を言う人たちもいましたけど、 には「日本社会を変えたい」と書いてあるんです。よ 要だと言われてつくったんですが、その項目のひとつ

奥地 恒則さんとか、不登校の親じゃない人たちも協力して やす会」の八杉晴実さんとか、 ん(本プロジェクト # 28参照)とか、「わかる子をふ くれました。ただ、ほとんどは親でやっていたんです 考える会の初期には、夜間中学の松崎運之助さ 「数学塾むれ」の池見

## 塾でイキイキと学ぶ子たち

朝倉 その方たちとは『ひと』で知り合ったんですかっ

線授業」だとか「落ちこぼれ」という言葉が出てくる 奥地 をやっている人たちのつながりを、 す。それで「子ども支援塾ネット」という良心的に塾 なかで、受験塾ではない、補習塾も広がっていたんで いや、そうではなかったですね。当時、 八杉さんたちが 「新幹 Ó

は、どういう経緯なんでしょう?

の名前もあり得たと思いますが、この名前にされ

んかも来られていました。
さん(NPO法人フリースペースたまりば理事長)なクト#31参照)や児玉勇二さん(弁護士)、西野博之くっていたんです。そこに内田良子さん(本プロジェ

私も、教員のころ、まだそういう塾があると知らないころは、子どもたちに「学校と塾とどっちが大事?」と言ってたんです。塾へ行く子が増えてきて、子どもたちが放課後活動で、新聞活動とかドッジボール大会をしようとか言っても、塾でポロポロ抜ける子がいて、をしようとか言っても、塾でポロポロ抜ける子がいて、ですよね。

でも、その塾の人たちに出会って、その実践発表を聞いて、ほんとうに真剣に子どもたちが学ぶとはどういうことか、どういう考え方でやる必要があるかを知るんです。学校では「落ちこぼれ」と言われて、怒られてばかりで冴えない顔をして元気がなくなっていると、それらの塾では、すごくイキイキと学んでいました。塾では、環境や教え方、その子を見る目がちがうんですよね。子どもを肯定的に見ている。そうすると、子どものほうもすごい力を発揮する。それで、自分が「塾と学校とどっちが大事?」と言っていたのは

とってはどっちでもいいんです。そんなの、子どもにちがっていたなと思ったんです。そんなの、子どもに

よね。 と、いっしょに遊んだりして非常に表情がいいんです 会をやっていて、楽になった子たちが来るようになる ときに、そういう塾に出会っていたから、 がい 以外の場があればいいんだな」と思ったんです。そう もう家は飽き飽きしたよ」って言われて、「あ、 たち、どこ行けばいいの? 学びでもいいと考えたかもしれません。それと、 ることを知っていたからじゃないかと思います。 知っていて、学校以外の学びが子どもに歓迎されてい 抵抗がなかったのは、たぶん支援塾ネットの人たちを いう流れがあったのと、そこで学校以外の場にあまり フリ っぱい出てきて、 でも、月1回しかない。それで、あるとき「僕 ースクールにつながる話で言うと、 そこで何ができるのかと考えた 明日から行くとこないよ。 学校以外の 学校 親の

## 東京シューレの始まり

じゃなくて、親・市民と言われていたのは、そのよう朝倉 奥地さんが東京シューレを始めるとき、親だけ

なつながりがあったからでしょうか。

奥地 まあ、親の会をやっていたわけだから、親が中奥地 まあ、親の会をやっていたわけだから、親が中には、夜間中学や塾の人もちょっといたわけです。初には、夜間中学や塾の人もちょっといたわけです。初ぶことは楽しいよって体感してもらいたいという思いぶことは楽しいよって体感してもらいたいという思いああって、講座もいろいろ楽しいものを用意して、数もあって、講座もいろいろ楽しいものを用意して、数もあって、講座もいろいる楽しいものを用意して、数もあって、講座もいろいる楽しいものを用意して、数されていた時実さん、国語は松崎運之助さん、英語は藤学は八杉晴実さん、国語は松崎運之助さん、英語は藤学は八杉晴実さん、国語は松崎運之助さん、表が中という雑誌を発行していた大学の先生でどもとゆく』という雑誌を発行していた大学の先生でさるとゆく』という雑誌を発行していた大学の先生で

朝倉すごい豪華ですね。

1年目は私ひとりで、ほかは、みんなボランティアで、目には西野博之さんにスタッフになってもらいました。きて、ひとりぶんの給料は払えるようになって、2年奥地 そうやってやっているうちに、子どもが増えて

とずつ大きくなった感じです。 まだ20歳ぐらいだったと思います。 東京シューレ葛飾中学校校長)も来ているんですよね うことになったんです。西野さんは2年間、スタッフ 談して、支援塾で知り合っていた西野さんに来てもら て、子どもにとってよくないんですね。それで、誰か を今日の人が知らないからトンチンカンになったりし ていたんですが、それでまずいのは、昨日あったこと れ」って、おっしゃったんですよね。そうやって、ちょ バイトをするので給料はいらないから手伝わせてく をしてくれました。そのころ、木村砂織さん(現在は 通しでいてくれる人がほしいと思って、保護者会で相 月曜日の午前中はこの人、午後はこの人みた 木村さんは「夜に 13 いにやっ

出ったり、うまく行くんだろうかと思ったりしていたいがいいに、うまく行くんだろうかと思ったり、うまく行くんだろうかとないですがら行くところでしょう。それが子どもが朝から来て、学校と並行して開いて、それでやっていけるのかって、学校と並行して開いて、それでやっていけるのかった。

りこういうところがいるんだな」って、やり始めてか で、「おはよー!」って言って入って来るようになっ なと顔を合わせないように入ってきた子が、何カ月か カ月でとても明るい表情になったり、元気になったり 自分をダメだと思ったり、落ち込んだり、イラつい ら自信を持ったというか、そういう感じでしたね。 したんですね。帽子を目が隠れるまでかぶっていた子 だけど、始めてみたら、学校に行かなくて、すごく していた子たちが、居場所に来るようになって、数 自然に帽子を脱ぐとか、横向きで、ずーっとみん そういう変化がすごくあって、「ああ、 やっぱ

# フリースクールという名前

朝倉 はないですよね。 当時は「フリースクール」という名前で始めたわけで スクールの草分け」と言われていますけれども、 東京シューレは85年に開設されて、「日本のフ

と後ですね。 フリー 種類としてはフリースクールになるのか スクールと言い出したのは、 もうちょ 2

> 交流の場」と言っていました。フリースクールは教育 なとは考えていたんですが、最初は「学校外の学びと にかなりのエネルギーがかかっていたと思います。 不登校への対応が基本的に重要だったというか、 のひとつのかたちだと思いますが、そのころは、 まだ

朝倉 明するのは……。 そうすると、 世間に対してシューレのことを説

対応したんです。「あの、どなたですか?」「教育委員 なところだったので、ドアを開けるとぜんぶ見えるん は、アパートの一室で、細長い、うなぎの寝床みたい 開けて、「ここは何しているんですか?」って。当時 きたんです。背広姿の人が3人で来て、 新聞が記事にしてくれたんですが、 会だ」に始まって、「ここはどういうところですか?」 「奥にいて」と言って、その人たちに入ってもらって ね。それで私はカーテンを閉めて、子どもたちには ですよ。そう言われて、子どもたちが怯えたんですよ の教育委員会が突如、何のアポイントもなくやって それが難しかったですよね。 それを読んだ北区 初期のころ、 突然ドアを

も言わなかったから大丈夫だよ」と言いました。 ろはけしからんという話だったら、そう言うから、 子どもたちにも「大丈夫だったよ。 ありません」というお答えでした。それで、そのと か?」って私が言ったら、「いけないというわけじゃ りたいと言うので、こういう場所があったら楽しくで 退屈したり、友だちをつくりたいとか、スポーツもや 校に行ってない子たちで、みんなそれぞれ家にいて ときくので、説明しました。「ここに来ているのは学 きは「わかりました」ということで帰ったんですよね。 きるかなと思ってやっています。 いけないんでしょう もし、こんなとこ

校が始まるより来る時間が遅いですよね。 ところへ行く、 洲警察だとか池袋東署だとか、 どもがおまわりさんに補導されることも多くて、 てきかれると、 に怪訝に思われるわけです。それで「何してんの?」つ もを引き取りに行ってました。子どもが学校ではない いけど理解しにくかったと思います。そのころは、子 当時は、学校外の居場所というのは、とてもじゃな お昼過ぎに子どもが外を歩いていると、非常 しかも自由に来ていいわけだから、学 子どものほうも、 いろんなところに子ど うまく説明できない 10時とか11 八重

#47 奥地圭子さん

ちゃったりね。そうすると、よけいにあやしまれて、 ありました。 引き取りに行って、「何も悪いことしていないでしょ てもらえないので、とうとう言って、それで私たちが 言わなかったりするんですよね。でも、それだと帰し 追っかけられて、警察につれていかれたり。 う」と言って、 守るつもりだったと思うんですが、シューレの名前を から、背負っているナップザックを投げ出して逃げ つれて帰ったり。そういうことがよく しかも、

#### ロンララとの交流 か

となることも増えていると思いますが、当時はフリ を得てきて、 スクールという言葉も市民権がないわけですよね。 いまでこそフリースクールという言葉は市民権 フリースクールと言えば、 「そうですか」

まり知られていなかったわけで、それを使っていいか 奥地 わからなかったのと、 わからなかったんですね。 当時は、この場がフリースクー フリースクールという言葉もあ 私自身は、 すでにフリ ルにあたるの か

も会っているんです。ニールやサマーヒルスクールの 「フリースクール」とは書いてません。 わからなかったので、最初のころのパンフレットには われていない言葉で、社会的にどう受けとめられるか さんたちが開いていたんですね。だけど、日本では使 実際は教員の発表が多かったですけど、先述の藤田悟 ことも知っていましたし、フリースクール研究会にも クロンララスクール校長のパット・モンゴメリさん 何度か出 ルについ 入りしていました。フリースクール研究会は、 て知っていて、シューレをつくる前に、

ちで行ったんですよね。そのとき、そこにクロンララ 無料で貸すよと言ってくださったので、高等部の子た ビルの大家さんがシアトルにアパート群を持っていて、 ラとの交流からだと思います。シューレで借りて て子どもたちと交流したんです。 のナットさんというスタッフが訪ねて来られて、 たぶん、はっきり使うようになったのは、 クロ ン いる ラ

ちで決めて、 レとフリースクールはすごく似ていて、成り立ちはち シアトルから帰ってきた子どもたちが、 いっしょのようだと言うんです。子どもた 自分たちのやりたいことを自分たちで 何かシュ

> ことを言っていたんです。それで、その後、日米フリー にも発展していくんです。 スクール交流をしようとなって、子どもどうしの交流 から、シューレもフリースクールなんだね、みたいな やっていくとか、学校の教科書にとらわれないでやる ルー ルも自分たちで決めてやっていくとか。

ていないような気がしますが、『登校拒否は病気じゃ と言うようになったと思います。8年代は、あまり使っ スクールと言っているようですね。まあ、そのあたり ない』(教育史料出版会1989)では、すでにフリー いう感じがして、90年代ぐらいからはフリー 私も、子どもたちもそう思うんだったらい 厳密にどこかで決めたわけではないんですよね。 -スクール 11 かなと

#### 子どもたちも闘っ て 61 た

奥地 と思います。 ていたんですけどね。私は、それは評価できることだ や誤解を解くのに闘っていたと思います。それは意識 して闘おうと思ったわけじゃなくて、自然にそうなっ 8年代の子どもたちは、世間の不登校へ 何せ文部省の調査で、 登校拒否の原因の 0) 偏見

校の先生方が回答しているんですけどね。 第1位は、毎年「怠け」だったんです。この調査は学

すごくたいへんでしたけど、それが世情に影響を与え それには、 記事にしてくれて、その翌年ごろから、文部省の調査 たんですよね。アンケート結果は、89年に毎日新聞が たちがアンケートに取り組み始めたんです。アンケー 子どもの回答が集まるんじゃない」と言って、子ども めて、親の会で知り合っている人もけっこういた。そ 誰かが言って、「それやってみようか」となったんで 査したら、ちがうんじゃないの?」みたいなことを 怠けなのか?」とか言い出したんです。それで、「大 聞を広げて、「このなかには俺も入ってるんだな」とか トを作成して、発送して、返ってきた回答を集計する れで、「そういうところを通してアンケートを頼めば、 人がやるとこうだから、登校拒否している子どもで調 「怠けだって言われているけど、こんなに苦しいのに 88年のある日、子どもたちが会議用のテーブルに新 88年というと、学校外の居場所がポチポチでき始 小学校は家庭が原因」みたいに変わったんです。 不登校の理由が「怠け」から「中学生は学校が びっくりしましたね。それと、 東京都のア

> ンケー ト項目もちょっと変わったりしました。

動を、 朝倉 とですかね。 親の会と不登校の子たちが担っていたというこ 当時は、登校拒否に対する偏見を変えて行く活

われて、 奥地 「シューレの子たちも研究会に来ませんか?」って誘 て、400人ぐらいの参加者があった ので、その発表も兼ねて弁護士さんたちが集会を開い 子と学校に行っていないシューレの子とでつくったも たちの人間宣言」が出るんです。 が自分たちの研究会でとりあげたんですね。そのとき め自殺の後です。この件について、弁護士さんたち に子どもたちが声をあげたのは、中野富士見中のいじ クールに来ていた子ですね。アンケートの前に、最初 始めていました。子どものほうは、やっぱりフリース そうですね。親の会は各地にできて、 何人か行ったんです。そのなかで、 学校に行っている (88年5月8日)。 つなが 一子ども ŋ

#47 奥地圭子さん

だけどこのままじゃ「生きジゴク」になっちゃうよ」とつづられていた。だった鹿川裕史くんが自殺。遺書には、「俺だってまだ死にたくない。 986年2月1日、当時、東京都中野区富士見中学校2年生

それが、そういう活動の最初ですね。そのシンポジウムにはシューレの子たちも入りました。

表の集会のとき、非常におもしろかったのは、集会の参加者で、ある教育大学の4年生が、「君たちは学校に行かないことを認めろって言うけど、義務教育なんだからおかしいじゃないか」と発言をされたんです。それに対して、シューレの子が「それは義務教育の捉え方をまちがえていると思います」と発言したんです。そうしたら、弁護士さんが「子どもの言った通りです」と補強してくれたんです。その学生さんが、帰りにアンケートを出してくれて、「今日は、僕は恥婦のにアンケートを出してくれて、「今日は、僕は恥婦のとしっかり勉強します」と書いてあった。それをもっとしっかり勉強します」と書いてあった。それをもっとしっかり勉強します」と書いてあったのは、集会もっとしっかり勉強します」と書いてあったのは、集会もっとしっかり勉強します」と書いてあったのは、集会もっとしっかり勉強します」と書いてあった。それをもっとしっかり勉強します」と書いてあった。それをもっとしっかり勉強します」と書いてあった。

## 登校拒否は病気じゃない

新聞の1面トップに出ましたね。それに対して、私た症/早期完治しないと無気力症に」という見解が朝日1935―1996)の「30代まで尾を引く登校拒否奥地 一方で、88年には稲村博さん(精神科医/

が大勢発言してくれました。ちは抗議集会を開いたんですが、そこでも子どもたち

「何で入れちゃったんだろう?」と思ったり。 集会は教育会館で開いたんですが、ものすごい人が 集会は教育会館で開いたんですが、ものすごい人が 集会は教育会館で開いたんですが、ものすごい人が

ありました。

のでは、でも学校に行って、何度も交渉して病院から出した例も出たいと言ってもなかなか出してくれない。それで、だけの子が、病院に入れられていたんです。しかし、だけの子が、病院に入れられていたんです。しかし、にんとうに入院が必要だったら別ですが、ごく一般

ていいじゃない」という反論も、けっこうありました。それに対して「病者を差別している」とか「病気だっ校拒否は病気じゃない』というタイトルにしたんです。またま登校拒否について本を出すことになって、『登またま登校拒否について本を出すことになって、『登

たりから、そういう施設を利用する人はだんだん減 かったんですが、戸塚さんが裁判で有罪判決を受けた とか病気の人はダメだと言っているんじゃない。そう えようということであって、病気になっちゃいけない とはおかしいということを言ったわけです。 として、それを病んでいると捉えることこそが誤解で ちを正常として、学校から距離をとっている子を異常 ていくことになったんです。 いうことも、ずいぶん言わなきゃいけなかったですね。 あり差別であって、そういう偏見にさらされているこ でも、それは差別じゃなくて、学校に従っている子た それまでは、戸塚ヨットスクールを始め、怠けで軟 な精神を直すといった施設に入れられることも多 その後もぼつぼつとはありますけど、このあ それを変 9

#### 冤罪事件

トを学校に出させたんですよね。学校や教育委員会もが不登校の子を疑って、不登校している子どものリス京都足立区の綾瀬で母子殺し事件が起きたとき、警察奥地 もうひとつ、冤罪事件もありました。89年に東

思います。 世間の目が冷たいというのは何なんだって ところがおかしいですね。まったく罪じゃないとわかっても、世間の目が冷たいというのは何なんだって、そのになって、そういう だけど、世間の目は冷たくて、結局、住んでいたとこ がらくは通っていたんですが、やっぱり元の家にいら れなくなって引っ越して、シューレに来られなくなっ てしまったんですけどね……。日本社会は、そういう ところがおかしいですね。まったく罪じゃないとわ ところがおかしいですね。まったく罪じゃないとわ ところがおかしいですね。まったく罪じゃないとわ

わけですからね。 8年代に世間の誤解や偏見とフリースかり返ると、80年代に世間の誤解や偏見と関ってま子どもも親も、個々人で学校や教育委員会と闘ってまけた。周囲には、偏見の目で見る、いろんな人がいるした。周囲には、偏見の目で見る、いろんな人がいるした。周囲には、偏見の目で見る、いろんな人がいるした。周囲には、偏見の目で見る、いろんな人がいるかけですからね。

毎朝お経をあげないといけないとか。した。お祓いだとか言って、高い壺を買わされるとか、あと、80年代では、宗教がらみになることもありま

日本社会では、大多数が学校へ行ってあたりまえと

思われているなかで、不登校というのは何だかわから 当事者はとっても苦しんだんです。し

場に立って、 照)とかね。 みたいな専門家で、そういうことをわかる人たちも少 も生んでいると思うんですね。もちろん、渡辺位先生 たわけです。それが、日本社会を反転させるきっかけ た。そして、こんなのおかしいという動きをしていっ では、子どもたちが自分らしさを取りもどしていっ ないことで、非常に問題扱いされてきたんですね。 りました。 ルワーカーの山下英三郎さん(本プロジェクト#30参 しずつ増えたとは思いますけどね。スクールソーシャ ういうなかで、 80年代、不登校の子どもたちが集ったところ 医療のあり方を見直そうという動きもあ 日本児童青年精神医学会でも、人権の立

#### 朝倉 そうでしたね

的な教師やカウンセラーとか、そういう人も増えてき を学校へもどそうというのはおかしいと考える、良心 つつはあったけど、 8年代末ごろになると、登校拒否をしている子 総体としては、まだまだ理解しが

> ないという、根拠のない観念に子どもたちが縛られて たいという人が多くて、治さないと社会でやって いた。80年代までは、そういう時代だったと思います。 いけ

### 文部省の認識転換は

運動があって、文部省もそういう言葉を使わざるを得 それは、親の会や子どもたちの発言など、いろいろな 省も使い始めます。「心の居場所づくり」というように。 告で「登校拒否はどの児童生徒にも起こりうるもの」 と、文部省の学校不適応対策調査研究協力者会議の報 朝倉 そうやって80年代に闘ってきて、 認識転換がありますよね。 ないことにもなったのだと思いますが、このあたりで という見解が示されて、「居場所」という言葉を文部 90年代に入る

かには、 後から知ったことですけどね。協力者会議の委員のな た市民活動が意味を持ったからなんですね。それは ように、 その認識転換があったのは、私たちが 永井順國さん(本プロジェクト#25参照)の 不登校の捉え方を考え直す必要があるという やってき

委員も入っていたわけです。それで、山下英三郎さん あって説得力を持ったとおっしゃっていました。 と私が、会議のヒアリングに呼ばれたんです。それも

利かせていて、そこには、子どもの性格が悪い、 問題:登校拒否問題を中心に」という手引き書が幅を 育て方が悪いと、 それまでは、文部省の「生徒の健全育成をめぐる諸 ばっちり書いてあったんです。 親の

朝倉 ね あ n は、 稲村博さんの理論がベースにあるんで

じゃ を認めると言っても、学校へもどるために役に立つん 提ではあったんですよね。だから、学校以外の居場所 につながるんです。ただ、相変わらず学校復帰が前 リースクールなどへの出席を学校の出席扱いにすると 告書とあわせて、 から脱却とまでは言わないまでも、一歩出た。あの報 出席扱いや通学定期については、 フリースクールに通うのに通学定期が使えること ないかというような考え方が残っていたんですね。 そうですね。それ 民間施設のガイドラインが出て、フ が、 92年の報告書では、 それを認めるかど

> あっさりと認める学校も多かったですけど。地域に 国がそう言ってくれているのに、同じ国なのにおかし よっては、なかなか認めないところも多かったですね うかは校長裁量になっていて、シューレの関係では いという状態が、ずっと続いてました。

#### 通学定期運

棚ぼたで実現したわけではなく、奥地さんたちが相当 朝倉 通学定期が使えるようになったのは93年からで 尽力されたからだと思いますが。 したが、これも運動があったからですよね。けっして

部省や鉄道機関に働きかけてはいたんですよね。だけ ど、けんもほろろで、「勝手に学校に行かないでいて にでも起こりうる」とか出席扱いにすると言うのであ 通学定期を使わせろとは何ごとだ」という反応でした。 通学定期が使えて当然だろうと。実はその前から、 フリースクールへの出席が学校の出席扱いになるなら、 それで、 そうですね。 92年に報告書やガイドラインが出て、「誰 民間施設のガイドラインが出 文 て

の人が協力してくれて、3万筆以上の署名が集まりまたら○○円で通えるのに、通勤定期しか使えないから、たら○○円払っています」ということをデータにして、議員に持って行ったんですよね。署名運動もして、全国員に持って行ったんですよね。署名運動もして、全国の人が協力してくれて、3万筆以上の署名が集まりまれば、教育の応援として通学定期を認めてくれと運動れば、教育の応援として通学定期を認めてくれと運動

朝倉 3万6000筆ぐらいでしたかね。

関いて、文部省は本気なんだって思いましたね。これ間いて、文部省は本気なんだって思いました。それを部省に問い合わせてくれ」ということでした。それを部省に問い合わせてくれ」ということでした。それを部省に問い合わせてくれ」ということでした。それを部省に問い合わせてくれ」ということでした。それをいて、文部省は起きるかもしれないけど、その場合は文部省に問い合わせてくれ」ということでした。それを部省に問い合わせてくれ」ということでした。それを記者に関い合わせてくれ」ということでした。それを記者に関い合わせてくれ」ということでした。それを記者に関い合わせてくれ」ということでしたね。これ

が。 学定期が認められたのは、小中学生だけだったんです 進んだことにはなったと思います。ただ、このとき通 も、子どもの学ぶ権利を保障しようという動きが一歩

朝倉 それは、権利の伸張として大きな一歩だったと思います。ただ、フリースクールに通うことが認められることによって、一方では、あまり気持ちが進まない子どもに対しても、ともかくフリースクールにでもい子どもに対しても、ともかくフリースクールにでもけに、ホームエデュケーションの運動・活動を始めるけに、ホームエデュケーションの運動・活動を始めることにもつながったと思いますが、そのあたりもお話しいただけますか。

## ホームエデュケーションを

学受験が心配という親御さんが多くて、そのためにぎをしないと、やっぱり高校受験が心配、その後の大いように見えて、そういう面も生みましたね。出席稼ぬ地 そうでしたね。出席扱いにするというのは、い

なったとたんに増えたんですよね。シューレに行きなさいみたいなことが、出席扱いに

実際、子どもに会っても、いやいや来ているなという感じがありました。東京シューレの唯一の入会条件かったら入れないということです。本人が希望しないかったら入れないということです。本人が希望しないいといけない。入れない自分はダメだ」とか思っているのを、なんとかしたいなと。

変えたいよね、と。そこで、だいぶ考えて思いついたのが、ホームエデュケーションという道があるのに、日本では、どエデュケーションという道があるのに、日本では、どエデュケーションという道があるのに、日本では、ど

できるか話し合った。それで、つながりあうための雑たらいいだろうと話し合ったんですよね。シューレのたらいいだろうと話し合ったんですよね。シューレのならいいだろうと話し合ったんですよね。シューレのいくような活動をやろう、具体的にどういう活動だっいくような活動をやろう、具体的にどういう活動だった。

「ばる~ん」という名前になりましたね。最初は「いるか」という名前になりましれないから、結局はの雑誌だって思われちゃうかもしれないから、結局はの雑誌だって思われちゃうかもしれないから、結局はの雑誌の名前は何がいいか考えて、

くれて、イギリスやアメリカに調査に行きましたね。 は、 諸外国の例をもっと日本に知ってもらったらいいに、 諸外国の例をもっと日本に知ってもらったらいいたいかということで、朝倉さんが連絡をとってんじゃないかということで、朝倉さんが連絡をとって、 がまでも、「ばる~ん」は月刊で発行されていて、いまでも、「ばる~ん」は月刊で発行されていて、

朝倉 オランダにも行きましたね。あのとき、旅行代朝倉 オランダにも行きましたね。あのとき、旅行代明倉 オランダにも行って、オランダ、イら大西洋を越えてヨーロッパに行って、アメリカから大西洋を越えてヨーロッパに行って、アメリカから大西洋を越えてヨーロッパに行って、オランダにも行きましたね。あのとき、旅行代明倉 オランダにも行きましたね。あのとき、旅行代明倉 オランダにも行きましたね。あのとき、旅行代明倉 オランダにも行きましたね。あのとき、旅行代明倉 オリスに行って、そこから日本に帰ってきた。

ションの子どもがほんとうに堂々と育っていました。奥地 そうでしたね。イギリスでは、ホームデュケー

表のころで何千人と言ってました? 私たちもホームステイさせてもらったんですが、学 私にないモデルが海外にはあるなと思いました。日本の とないモデルが海外にはあるなと思いましたね。アメ によいモデルが海外にはあるなと思いましたね。アメ によいモデルが海外にはあるなと思いましたね。アメ によいモデルが海外にはあるなと思いました。日本の なしたりするんだろうと思っていたので、ほんとう なしたりするんだろうと思っていたので、でんぜ

朝倉 8000人ですね。

がっていましたね。 奥地 日本でも、あるグループがクロンララとつな

朝倉300人くらい、いましたね。

ベースにして、いろんな社会資源を使っていく。 もっと教育を家庭を中心に考えてみようと。家庭を もっと教育を家庭を中心に考えてみようと。家庭を 教育のあり方で、普遍性がある、むしろ日本が特殊な 教育のあり方で、普遍性がある、むしろ日本が特殊な

日本では、ひきこもりのイメージが相当強くて、「家でいいなんて言ったら、ひきこもっちゃうんじゃないかったんです。でも、だんだんに家で育つのがいいとかったんです。でも、だんだんに家で育つのがいいという人たちが出てきて、火付け役になるかなと思って、メリカとイギリスから来ていただいて、日本側からも、オリカとイギリスから来ていただいたりした。

**朝倉** 堂本暁子さん、山下英三郎さんにも登場してい

くらい注目を集めたんですよね。て、通りがかりの人にきかれたんだけど(笑)、それで、通りがかりの人にきかれたんだけど(笑)、それ定員のところに900人くらい来てね。階段に人が定員のところに900人くらい来てね。階段に人が

して活動し、シューレ大学のアドバイザーも勤めていた。 以後、学校には通わなかった。映画監督、メディアプロデューサーと 以後、学校には通わなかった。映画監督、メディアプロデューサーと 嫌人運動家の羽仁説子。小学校4年生のときに学校に行かなくなり、進と女優の左幸子を両親に持ち、祖父は歴史学者の羽仁五郎、祖母は 羽仁未央(はに・みお:1964―2014):映画監督の羽仁

では、どんどん発展するということにはならなかったでは、どんどん発展するということにはならなかったですね。でも、ホームエデュケーションで育った人が、い紀経って、ホームエデュケーションはあり得る話で、そういう道なったりしています。だから、海外で言っている通り、ホームエデュケーションはあり得る話で、そういう道もちょっと開けてきた。ほかのフリースクールでは、もちょっと開けてきた。ほかのフリースクールでは、もちょっと開けてきた。ほかのフリースクールでは、もちょっと開けてきた。ほかのフリースクールでは、もちょっと開けてきた。ほかのフリースクールでは、あいもあるし、家でやっていくのもあるしと、両でやってきました。

### 子どもの権利として

ションの活動があるということが認識されてきたこと当尽力されてきましたね。その際、もともとはホームだったと思います。そういう話が現実性を持ったといだったと思います。そういう話が現実性を持ったといだったと思います。そういう話が現実性を持ったという話エデュケーションを基盤に法律を起草するという話エデュケーションを基盤に法律を起草するという話

が大きかったように思いますが。

奥地 そうですね。子どもの権利条約が1989年に奥地 そうですね。子どもの権利条約が1989年にして捉えていくようになりましたね。学校は、そもそも子どもの学ぶ権利を保障するためにつくられたものも子どもの学ぶ権利を保障するためにつくられたものとが、そこで傷つくとか、個性が尊重されないということが、子どもの権利条約もつとしてあるだろうと。でとが、子どもの権利条約もつとしてあるだろうと。でとが、子どもの権利条約について不登校の分野からも考えてみようと、登校拒否を考える全国ネットワークの人たちで集まって、合宿をしましたよね。

朝倉 96年の箱根大会でしたね。

から国連に報告するレポートづくりにも参加して、国子どもの権利条約は根拠になるということで、NGOの全国合宿に持ち込んだんです。それから、同時期に奥地 まずは大田シューレで合宿をして、それを箱根

います。ている人たちがいるということは追い風になったと思ている人たちがいるということは追い風になったと思ムエデュケーションは機能している、そうやって育っ連でも報告してもらいましたよね。海外で、実際にホー

す。それが非常によかったんですね。 す。それが非常によかったんですね」ということで、 
「自分に合っているのは家なんですよ」ということで、 
学校を始めて、これは不登校の子どもたちを支援する 
学校を始めて、これは不登校の子どもたちを支援する 
学校を始めて、これは不登校の子どもたちを支援する

がっていくんですね。障されるようにもっていきたいというところへつなぞういうことを土台にして、法律的にもちゃんと保

## 90年代に花開いた活動

**朝倉** 90年代半ばからは、シューレの子どもたちが

「子どもたちでつくる」「子どものやりたいことを応援奥地」すごく、おもしろかったですよね。シューレは

始まったんですよね。

が、そこから次々と、夢みたいなことが実現していくなってやることになって、そのとき、自分たちで気球なってやることになって、そのとき、自分たちで気球なってやることになって、そのとき、自分たちで気球なってやることになって、そのとき、自分たちで気球なってやることになって、そのとき、自分たちで気球なってから次々と、夢みたいなことが実現していくが、そこから次々と、夢みたいなことが実現していくが、そこから次々と、夢みたいなことが実現していくが、

朝倉 91年に広島であった事件ですね。

奥地 子どもたちがふたり、瀬戸内海の島にある風の子学園という矯正施設で、炎天下のコンテナに手錠をう事件でした。その追悼として、「こういうことが二う事件でした。その追悼として、「こういうことが二たんですね。東京からもいっぱい参加して、第1回のたんですね。東京からもいっぱい参加して、第1回のたんですね。東京からもいっぱい参加して、第1回のにるですね。東京からもいっぱい参加して、第1回ので気球をあげようという話が出た。王子シューレの4

した(笑)。 いくらい、天井まで布だらけみたいな状態で縫ってまいくらい、天井まで布だらけみたいな状態で縫ってま

「いやあ、うちの子すごい! こういうことをやれる けど、気球があがるのを見て、 に行かないのはダメなんじゃないかと思っていたんだ 空にあがったときは、なんとも感激しましたね。 気球づくりに協力してくれたんです。バーナーも借り したけどね(笑)。 では、布をなくしちゃったり、 て、学校へのこだわりが消えたんですよね。制作途中 んですね。もう学校に行く行かないじゃないわ」と言っ お母さんは、 てきてくれて、空気をあたためて気球がふくらんで そのころ、 いくらフリースクールに行っても、学校 たまたま長男が東工大の気球部にいて 涙をポロポロを流して いろんな苦労もありま ある

行こうとか、模型をつくってみようとか言っているうたら建てられるんだろう、建てた人のところに見学にと言い出して、最初は茶飲み話だったのが、どうやっした。また、ある子が「ログハウスを建ててみたい」りましたね。太平洋をまたいで、1カ月ほど旅をしまりましたね。太平洋をまたいで、1カ月ほど旅をしまりました。

トンやっているのには度肝を抜かれました(笑)。 ちに、実行委員会ができて、場所探しをして、160 ちに、実行委員会ができて、場所探しをして、160 たとき、女の子が高い足場の上で、梁に向かってトン たとき、女の子が高い足場の上で、梁に向かってトン たとき、女の子が高い足場の上で、梁に向かってトン

それから、鉄道好きの子たちが、実際に機関車をつくったこともありました。秩父の工場に見学に行ったり、自動車関係にお勤めのお父さんたちが手伝ってくれたりして、でも、基本の設計図は自分たちで書いて、数学をやってなかった子が、必要だから何から、ぜんンとか電気系統の勉強をして、溶接から何から、ぜんンとか電気系統の勉強をして、溶接から何から、ぜんときには、すごい自信になってました。その機関車たときには出して、小さい子たちを乗せてくれているそうです。

クール的な学びだからできたことですね。これが学習長したり学んだりすることがあって、それはフリース長ういうでっかい夢を実現するなかで、いろいろ成

を通して自分が学んでいくのもいいかなと思いますね。ますが、フリースクールみたいに自分のやりたいこと切れになってできない。いろんな学び方があると思い指導要領に沿った時間割があったら、どうしてもコマ

### 世界大会を東京で

日本開催なんかもありましたね。 朝倉 海外のことでは、大陸横断旅行やIDECの\*\*

は何年でしたか? 尽力されましたが、第1回目のIDECに行かれたの 尽力されましたが、第1回目のIDECに行かれたの

で、子ども3人と私で参加してきました。 朝倉 97年ですね。ウクライナで大会が開かれたとき

奥地 それで、もどってきて、すごくよかったと。「自

する場。2000年には日本で開催された。 り毎年開催されている、世界各地のオルタナティブ教育関係者が交流りる場。2000年には日本で開催された。

をやろう」と言いだしたんですよね。
いけど、お金のかかることだから、「日本で世界大会たいなことを言ってました。それで、みんなで行きたたいなことを言ってました。それで、みんなで行きたかはフリースクールと言っても肩身が狭いけど、世由とはなんぞや」とか、とても考えさせられて、「日由とはなんぞや」とか、とても考えさせられて、「日

です。 それで、99年にイギリスのサマーヒルスクールで開かれた大会に何人かで行って、そこで翌年の開催地に立候補したんですよね。そうしたら、「日本の子どもたちがすごいやる気だから、日本でやりましょう」となって、2000年に日本大会を開くことになったんなって、9年にイギリスのサマーヒルスクールで開

れて、最後にアウシュビッツにつれていってくれましれて、現後にアウシュビッツにつれていってくれましたりして、シベリア横断鉄道に乗って、日本海からおにとって、ものすごい勉強になったと思いますね。おーランドでは、独立学校の子どもたち5人が、子どもたちだけでやってきて、日本人をバスに乗せてくれて、ワルシャワとクラコフに泊まって案内をしてくれて、最後にアウシュビッツにつれていってくれましれて、最後にアウシュビッツにつれていってくれましれて、最後にアウシュビッツにつれていってくれましれて、最後にアウシュビッツにつれていってくれましれて、最後にアウシュビッツにつれていってくれましれて、最後にアウシュビッツにつれていってくれましれて、最後にアウシュビッツにつれていってくれました。

てくれて、その主体性にびっくりしたのを覚えてます。たくらいで、何から何まで、ぜんぶ子どもたちがやった。学校の先生たちは、最後にちょろっとあいさつし

# 不登校への圧力が減っていった

**朝倉** その時期、おもに90年代に、子どもたちのスケー

扱いや通学定期も、そのひとつですね。以前に比べたら、かなり対応が柔らかくなった。出席います。まだまだ学校復帰前提ではあったけれども、奥地 ひとつには、国がソフト化したことがあると思

時期じゃないかと思います。世界的に見れば、日本のように国が決めた学習指導要領のなかだけでやっているのが狭いのであって、グッこともあると思います。追い風が吹いていると感いうこともあると思います。追い風が吹いていると感じました。90年代は、不登校への圧力が減っていったじました。90年代は、不登校への圧力が減っていったじました。90年代は、不登校への圧力が減っていった時期じゃないかと思います。

だ、 います。 といって、 6.1 6.1 感じになって、親のほうも、学校にとらわれなくても た。子どもたちも、「自分たちでいいじゃん」という が若い人に感じられなくなったということもあると思 況の深刻さが押し寄せてくるなかで、 うことが見えてきましたよね。バブルが崩壊して、不 んなに引け目を強くもたなくてもよくなって、 もうひとつには、経済的に、学校・大学を出たから フリースクールでやれるわ」という感じが出てき かなという感じになってきましたね その結果、学校のレールに乗らなくても、そ いいところに就職できるとかぎらないとい 学歴の持つ意味 「なん

# フリースクールのネットワーク

ルのネットワークができましたね。 2001年にフリースクール全国ネットワークに加えて、フリースクール 全国ネットワークが始 保ほどIDECの話もありましたが、その翌年

対応するか、なんですね。でも、子どもがほんとうに奥地 親の会で話されるのは、基本的に不登校にどう

じゃないかと思ったんですね。 じゃないかと思ったんですね。そこが役に立つんい要素を持っていると思います。そこが役に立つんくフリースクールというのは、学校教育にはない新しくフリースクールというのは、学校以外の場を求める子た

日本は学習指導要領1本ですから、学習上の工夫をどんなに一生懸命やっても、その枠の範囲でしかできない。子どもの個性や可能性は、もっといろいろあるのに、学習指導要領に縛られてしまっている。私も22年間、教員として学校のなかで学校を変えようと思って、相当いろんなことをやったんです。でも、やっぱり限界があって、学校以外が必要で、それを選べることが大事じゃないかと思ったんですね。

がそこで保障されるということです。少なくとも学校がそこで保障されるということです。少なくとも学校いう状況を変えていかないといけない。フリースクールどうしがつながって、国に対しても、地域社会に対しても、フリースクールの存在を認めさせて、活動ししても、フリースクールの存在を認めさせて、活動ししても、フリースクールの何が難しいって、公的ながそこで保障されるということです。少なくとも学校がそこで保障されるということです。少なくとも学校がそこで保障されるということです。少なくとも学校がそこで保障されるということです。少なくとも学校がそこで保障されるということです。少なくとも学校がそこで保障されるということです。少なくとも学校

と対等に保障されるようにしたい。

うにしていく必要がある。ということが、非常に大事だと考えています。いろんということが、非常に大事だと考えています。いろんブな教育のあり方が多様にあって、そこで育っていくブロリースクールにかぎらず、いろんなオルタナティ

ですね。 動はつながっているんです。子どもたちが世界大会を をつくる素地になったんですよね。だから、 走りまわってくれて、フリースクール全国ネットワー ない?」って声をかけたんです。「それはおもしろい 委員をしていたある青年に、「ネットワークをやる気 という機運があったので、シューレでIDECの実行 開こうなんて言わなかったら、 クができたんです。そのネットワークが、新しい法律 たくさん集まった。そこで、 リースクール関係者や、教育について考えている人も には、世界中の人たちが集まってくれて、日 は、2000年のIDEC東京大会でした。この フリースクール全国ネットワークをつくるきっか 僕は時間があるからやりましょう」と言って つながって何かやりたい もうちょっと遅れてい ずっと活 本のフ 大会

### 不登校新聞創刊

・財倉 IDEC東京大会では、不登校新聞でも毎日、

きて、実際には学校以外の育ちもできるのに、学校が 奥地 すよね。12年間やってきて、フリースクールも増えて はもう動かないといけないと思ったんです。その時点 た」ということでした。そういう報道に接して、これ たちは「学校が燃えたら学校に行かなくてすむと思っ 始まる夏休み明けに、苦しくて自殺してしまう子たち ではガソリンをかぶって焼身自殺した子がいたんで の年の9月、静岡で鉄道自殺をした子がいて、淡路 きっかけになったのは、97年9月の自殺問題なんです 85年のシューレ開設から12年は経っていたわけで 筑波では中学校の体育館が燃えて、火をつけた子 毎年、夏休み明けは気がかりだったんですが、そ 不登校新聞は8年に創刊したんですが、 「学校は休むことができるよ、 その

以外もあるんだよ」って知らせなきゃと思ったんです。金私たちはマスメディアには感謝しているんです。金もないなかで、マスメディアには感謝しているんです。金見ているし、こちらの一番言いたいところを報道してくれるわけじゃない。ちょっとちがうように書かれることも多くて、それだったら協力しなきゃよかったということも、よくありました。そこで、自分たちのメディアを持って、もっと自分たちで発信したいと思ったんです。

阪の山田潤さん(本プロジェクト#46参照)に会って すね。それがなかったら、 ただきました。 理事になってもらいました。 いいと思って、名古屋の多田元さん(弁護士)と、大 います。まずは、東京、大阪、名古屋に局を置けたら いたので、 ^、広報していただいたり、ボランティアで担ってい それで、 の世話人の方たちには、通信局になってもらった その協力を得て、不登校新聞はできたんで すでに親の会の全国ネットワー みなさん不登校の状況をよくしたいと 創刊できていなかったと思 ほかの全国ネットワー クができて

て、いまは編集長です。
に、飛行機の機内で声をかけてきて、「僕、新聞やりに、飛行機の機内で声をかけてきて、「僕、新聞やりに、飛行機の機内で声をかけてきて、「僕、新聞やりに、飛行機の機内で声をかけてきて、「韓、新聞やりに、飛行機の機内で声をかけてきて、「幸、新聞ができた。その後、子ども若者編集部にいたいう思いで、協力してくださったんですね。そうやって、いまは編集長です。

会員で。 朝倉 当時は、まだ10代でしたよね。新宿シューレの

者からの見方で発信できているかなと思います。をういう立場から、いろんな人にインタビューに行ったり、取材に行ったりしていました。不登校新聞も当たり、取材に行ったりしていました。不登校新聞も当から、取材に行ったとも大きかったんだと思います。

#### 法律づくりへ

**朝倉** メディアを使って発信することで社会に影響を

きていますね。
うな社会をつくっていくことも、ずいぶん長くされてデュケーションの子どもや家族が生きていきやすいよして働きかけて、不登校、フリースクール、ホームエ会は変わらないですね。具体的に法律や制度に市民と

奥地 法律づくりを始めたのは、2009年の日本フリースクール大会で、「フリースクールの政策提言」リースクール大会で、「フリースクールの政策提言」を出したのがきっかけです。その時点でも、不登校をめぐる悩みや苦しみは変わらないところがあって、それは個人的な問題じゃなくて、この社会の構造、とくに選べるようになれば、不登校や登校拒否ではなくて、自分はそういう道でやっているということになる。そこに踏み出さないかぎり、子どもの苦しさや親のたいへんさは変わらない。

用を払って支えている。それもおかしいし、解決しな的なお金が学校外の場には出ないので、自分たちで費身で、そこに通う親たちも税金を払っているのに、公び場の人たちも、正式ではないという意味では日陰のび場の人たちも、正式ではないという意味では日陰の

ていても、いまの制度では二重籍になっていて、在籍でいても、いまの制度では二重籍になっていて、在籍での卒業証書をもらうかたちでないといけない。そうたんです。それまで、私たちがフリースクールを公したんです。それまで、私たちがフリースクールを公したんです。それまで、私たちがフリースクールを公したんです。それまで、私たちがフリースクールを公したんです。それまで、私たちがフリースクールに通っない」と言われてきたんです。また、フリースクールに通っなためには、法律をつくる必要がある。

2016年に成立した教育機会確保法には、休養の必 そこで、私たちが考えたのは、学校教育法のほか に「多様な学び保障法」をつくって、学校以外を選んでも社 会的にも応援され、不利益がないようにする。もちろ ん、最初から私たちが目指したような法律になると は思ってませんでした。ただ、少しでも岩盤に穴を開 けかった。日本社会がどれほど学校にこだわってるか、 この30年間で山ほど経験してきたので、そう簡単じゃ ないのはわかっていました。よく「奥地さんたちが目 指した法律ではないのに、それに賛成するのか」と言 われるけど、何もなかったのが、一歩進んだんです。

要性とか、学校以外の場の重要性とか、子どもの意思要性とか、学校以外の場の重要性とか、子どもや親に必要な情報を提びするということが、ぜんぶ入ったんです。以前よりの法律をもっと目指すべきものに変えていくようにしの法律をもっと目指すべきものに変えていくようにしていてする。

# 変化した部分、変化しない部分

ますか。 不登校への見方の変化をどのように見ていらっしゃい朝倉 奥地さんが40年、不登校に関わってこられて、

メ」みたいな考え方が一般的だったんですよね。いまます。変化しない部分はどうしても残っちゃうと思います。変化しない部分はどうしても残っちゃうと思います。変化しない部分はどうしても残っちゃうと思います。変化しない部分はどうしても残っちゃうと思い変地、変化しない部分に高いとダメ」だとか、「首に縄をつけてでも学校に行かさないとダメ」がとか、「首に縄をつけてでも学校に行かさないとダメ」をいい、一般に対していると思い変地を対している。

きたと思います。はどうか」ぐらいの受けとめ方にはなって、幅は出てはどうか」ぐらいの受けとめ方にはなって、幅は出ては、「そういう子どももいるよね」「無理に行かせるの

ところには、なってきてますね。 行けない子の気持ちがわかるかというと、難しいで会に出ているわけだから、ほんとうに学校に行かない、会に出ているわけだから、ほんとうに学校に行かない、

変わらないと思います。そうは言っても、学校に行かないことへの不安から、以外の学び育ちがほんとうに選べるようにならないと、以外の学び育ちがほんとうに選べるようにならないと、

**朝倉** 不登校運動と言いますか、親の会の運動やフリースクール運動が、日本の教育や日本の社会を変え

ても、そうだったと思うんですね。だけど、フリースがすごく強かったと思うんです。戦後、憲法が変わっ奥地 日本では、教育はお上がやるものだという感覚

ううかとう、などで含まったと言い思ううは、下覚が、少しは広がってきたかなと思います。 なかで、教育はお上だけがやるものじゃないという感報や市民たちがつくりだしてきたわけです。そういうクールは、子どもの教育を、学校とはちがうかたちで

をです。私たちが親の会やフリースクールをやってな です。私たちが親の会やフリースクールをやってな がったら、こういう変化は起きてなかったでしょうね。 です。私たちが親の会やフリースクールをやってな かったら、こういう変化は起きてなかったでしょうね。 やっぱり内から動いてこそ、変えられることがある。 やっぱり内から動いてこそ、変えられることがある。 やっぱり内から動いてこそ、変えられることがある。 やっぱり内から動いてこそ、変えられることがある。 たちを動きやすくした面もあるのかなと思います。

は、ほかの社会問題でもそうですね。たとえば、性のうに、パッと散るようでは社会を変えられない。それ社会を変える元になっているんですね。線香花火のよそうやって、長いあいだずっと活動してきたことが、

から先も継続していくことが大事だと思います。かしい。だけど、日本社会の多数の人が「そうだよね」かしい。だけど、日本社会の多数の人が「そうだよね」となるには、時間がかかる。いま、やっと不登校につとなるには、時間がかかる。いま、やっと不登校につとなるには、時間がかかる。いま、やっと不登校につから先も継続していくことが大事だと思います。

か。 終了だそうですが、これに取り組まれていかがでした50年証言プロジェクトは、このインタビューをもって朝倉 ありがとうございました。最後に、この不登校

えを深めていったり、 ありますが、読者の方には、それも含めて、 した。それぞれに考え方や現実のとらえ方のちがい たちにたくさんの考える手がかりを残してください 生の証言です。これが残せたということは貴重で、私 した。これは「日本の不登校史」に関わった人たちの 人に登場いただき、くわしい話を聴かせていただきま ればと思います。 2年余りにわたって、 エネルギー 検討していく材料にしていただ 47本の記事を公開し、 はかかりましたが 今後、考 は ま

です。最後になりましたが、厚く御礼申し上げます。多くのみなさんのご寄付により実現可能となったもの意義な活動ができたと思います。このプロジェクトは

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp #47 奥地圭子さん

インタビュー日時:2018年9月6日 記事公開日:2018年10月8日 場 所:東京シューレモ子

聞き手:朝倉景樹 写真撮影:今井睦子 まとめ:朝倉景樹 本プロジェクトは寄付で運営し、すべ ての記事を無償で公開しています。 ご寄付のほど、よろしくお願いします。

郵便振替口座:00100-6-22077

加入者名:全国不登校新聞社

一口 1000 円/ 3000 円/ 5000 円

不登校 50 年証言プロジェクト http://futoko50.sblo.jp

実施期間: 2016年7月~2018年10月

編集·発行:全国不登校新聞社

© 2018 Zenkoku Futoko Shimbun sha

東京編集局(関東チーム事務局) 〒 114-0021 東京都北区岸町 1-9-19 TEL:03-5963-5526 / FAX:03-5963-5527 E-mail:tokyo@futoko.org

大阪通信局(関西チーム事務局) TEL:050-5883-0462 E-mail:osaka\_c@futoko.org